# 組立て・取付け説明書

## サーモスX

## サーモスII-H

## サーモスL

国土交通大臣認定 防火設備

## 防火戸サーモスX

国土交通大臣認定 防火設備

## 防火戸FG-H/L

2018.1

はじめに

このたびは、当社商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
本書は、商品をながく安全にお使いいただくための、商品の組立て方法、取付け方法などをまとめたものです。商品の組立て、取付けされる方は、本書をよくお読みいただいた上で、当社商品の組立て、取付けをしていただきますようお願いいたします。

# 安全にお使いいただくために

商品を組立て、取付けいただく上で、人身事故や財産の損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして下記のような警告表示をしています。内容をよくご理解の上、商品を組立て、取付けしてください。

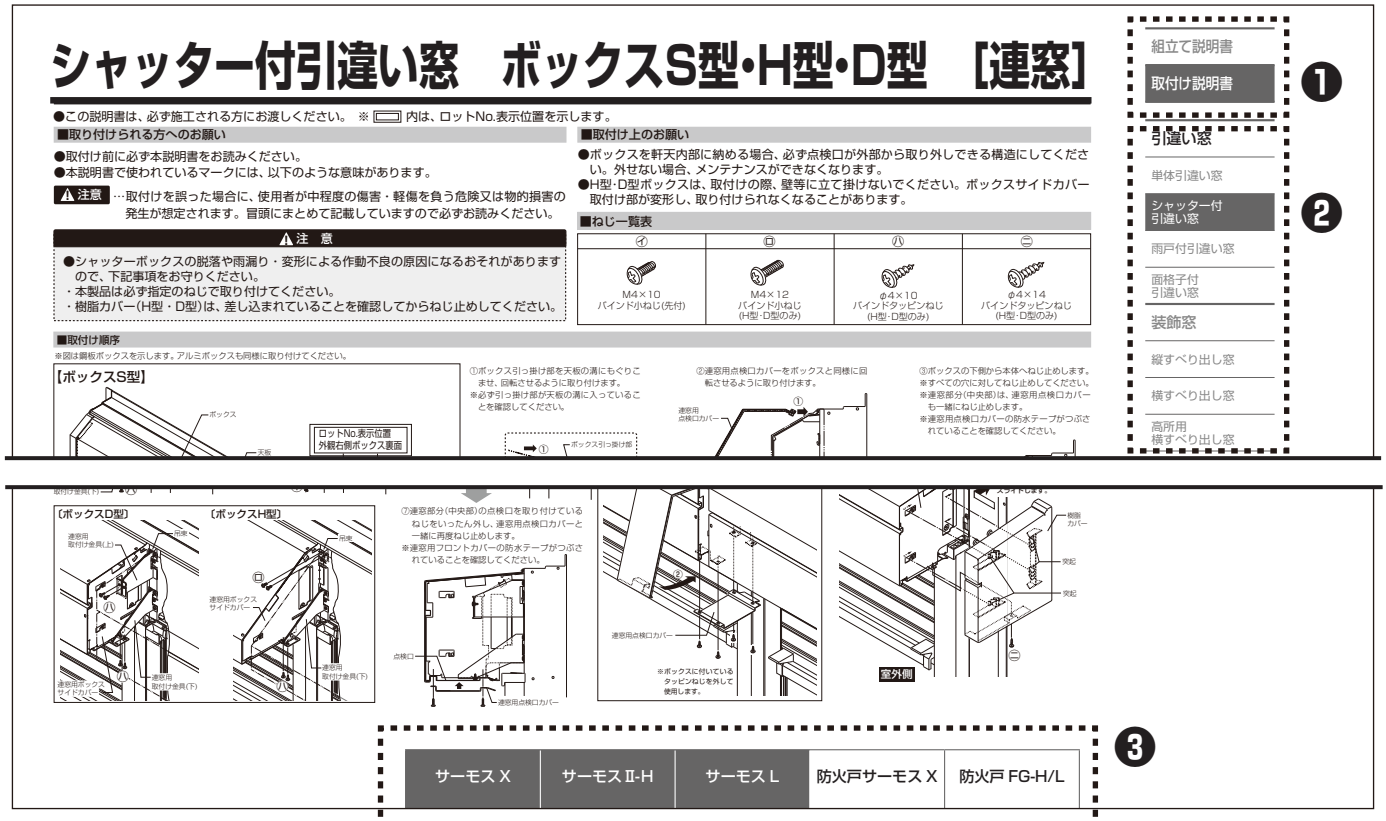
# 警告用語の種類と意味

| 警告用語 | 意　味 |
|---|---|
| ⚠警 告 | 組立て、取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。商品毎の冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。 |
| ⚠注 意 | 組立て、取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。商品毎の冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。 |
| お 願 い | 特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障等につながる場合があります。 |

# カタログの見方

本カタログは、左右および下部のインデックスから必要な情報を検索することが可能です。

❶…組立て説明書／取付け説明書　　❷…品種名称　　❸…シリーズ名称



# CONTENTS


| 名称 | | | | ページ |
|---|---|---|---|---|
| 本体 | 引違い窓 | 半外付型 | 枠 | 4 |
| | | | 障子 | 5 |
| | | | フレームイン外れ止め調整 | 15 |
| | シャッター付引違い窓 | 枠 | | 16 |
| | | ボックスS型・H型・D型 | [単窓] | 40 |
| | | | [連窓] | 41 |
| | | 本体・ガイドレール | イタリヤ・クワトロ手動［単窓］ | 42 |
| | | | イタリヤ手動［連窓］ | 46 |
| | | | イタリヤ手動 | 50 |
| | | | イタリヤリモコン電動［単窓］ | 54 |
| | | | イタリヤリモコン電動［連窓］ | 62 |
| | | | イタリヤリモコン電動 | 70 |
| | | | リモコン イタリヤリモコン電動 電気工事説明書 | 77 |
| | | | 壁スイッチ イタリヤマルチ電動 電気工事説明書 | 79 |
| | | | イタリヤ外鍵付［単窓］ | 80 |
| | | | イタリヤ外鍵付［連窓］ | 84 |
| | 雨戸付引違い窓 | 枠 | | 88 |
| | 面付引違い窓 | 面格子 | | 94 |
| | 縦すべり出し窓 | オペレーター | | 95 |
| | | カムラッチ | | 105 |
| | | グレモン | | 111 |
| | | | TF | 119 |
| | 横すべり出し窓 | オペレーター | | 130 |
| | | カムラッチ | | 136 |
| | | グレモン | | 142 |
| | 高所用横すべり出し窓 | | | 150 |
| | | アングルコーナーピース | | 162 |
| | 上げ下げ窓 | | | 163 |
| | FIX窓（外押縁タイプ） | | | 182 |
| | FIX窓（内押縁タイプ） | | | 186 |
| | ルーバー窓 IF | 本体 | | 196 |
| | | オペレーター本体 | | 205 |
| | | チェックシート | | 206 |
| | 内倒し窓 | | | 208 |
| | 外倒し窓 | | | 214 |
| | テラスドア・開き窓テラス・採風勝手口ドア FS・勝手口ドア | 枠 | | 222 |
| | テラスドア・開き窓テラス・採風勝手口ドア・勝手口ドア | | | 223 |
| | テラスドア・開き窓テラス・採風勝手口ドア FS・勝手口ドア | | | 227 |
| | テラスドア・開き窓テラス・勝手口ドア | 本体 | | 231 |
| | 採風勝手口ドア FS | 本体 | | 233 |
| | ガラス交換マニュアル | | | 245 |
| 有償品 | 大型把手 ストッパー | | | 251 |
| | アシスト把手 ストッパー | | | 253 |
| | アシスト把手 プレートおよびスペーサー | | | 254 |
| | 非常用進入口ストッパー | | | 255 |
| | 非常用進入口専用品 | | | 256 |
| | 指はさみ防止部品（縦枠用） | | | 257 |
| | 指はさみ防止部品（合掌用） | | | 258 |
| | フィルター付上桟一体換気窓 | | | 259 |
| | フラットアタッチメント | （単体引違い窓用） | | 260 |
| | | （シャッター付引違い窓用） | | 264 |
| | 204 下枠アタッチメント | | | 274 |
| | 枠付水切り | | | 275 |

| | 名　称 | | ページ |
|---|---|---|---|
| 有償品 | 小開口アーム | （縦すべり出し窓オペレーター用） | 277 |
| | | （縦すべり出し窓カムラッチ用） | 281 |
| | | （縦すべり出し窓グレモン用） | 285 |
| | 別体換気窓 | | 287 |
| | ハンドル用オペレーター | | 288 |
| | オペレーター本体 | | 290 |
| | チェーン式オペレーター | 滑車 | 291 |
| | | オペレーター本体 | 294 |
| | 電動ユニット | | 296 |
| | 連窓方立 180° | | 302 |
| | 連窓方立・角度枠 | | 320 |
| | 浴室用連窓方立 | | 330 |
| | 段窓無目 | | 336 |
| | 浴室用段窓無目 | | 358 |
| | 枠付面格子（ブラケット短） | | 368 |
| | 枠付面格子（ブラケット長） | | 369 |
| | 固定式網戸 | （高所用横すべり出し窓用） | 370 |
| | | | 374 |
| | 可動式網戸 | | 376 |
| | 横引きロール網戸 | | 382 |
| | 上げ下げロール網戸 | | 384 |
| | 網戸溝カバー | オペレーター用 | 388 |
| | | 高所用横すべり出し窓用 | 390 |
| | | グレモン用 | 392 |
| | FIX窓外押縁防犯部品セット | | 394 |
| | 外倒し窓用 | SL80 | 395 |
| | | 復帰セット | 399 |
| | シリンダー・サムターン | | 400 |
| | サムターン | | 402 |
| | 取替用サムターン | | 404 |
| | CP シリンダー・サムターン | | 406 |
| | ハンドル | | 407 |
| | ピボットヒンジ | | 408 |
| | フリクションアーム | | 411 |
| | 内付ドアクローザ | | 412 |
| | 網付格子 | | 416 |
| | しまえるんです J | 本体 | 417 |
| | | 連窓補助枠 | 422 |
| | | 段窓補助部材 | 423 |
| | | クローザカバー | 425 |
| | 下枠ステンレスカバー | | 429 |
| | | （テラスドア用） | 430 |
| | | （採風勝手口ドア FS 用） | 431 |
| | 土間納まり用アンカー | | 432 |
| | 窓枠受けフィン | | 433 |
| | アングルカバー | （ねじレスショートアングル用） | 434 |
| | | （ねじ付アングル用） | 436 |
| | タイル用四方額縁 | | 438 |
| | 窓モール | | 439 |
| | アングルねじ | | 440 |
| | 枠取付けねじ（低頭ねじ） | | 441 |
| | ユニットバス用アタッチメント | （マド） | 442 |
| | | （テラス） | 446 |
| | 浴室用防水部品セット | | 452 |

# 引違い窓　半外付型　枠

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

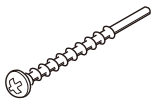
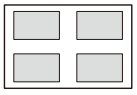
**⚠注 意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付側の2ヵ所）には隙間隠し部品シールの上に浴室防水部品セット（別売り）を張付けてください。

## ■組立て上のお願い

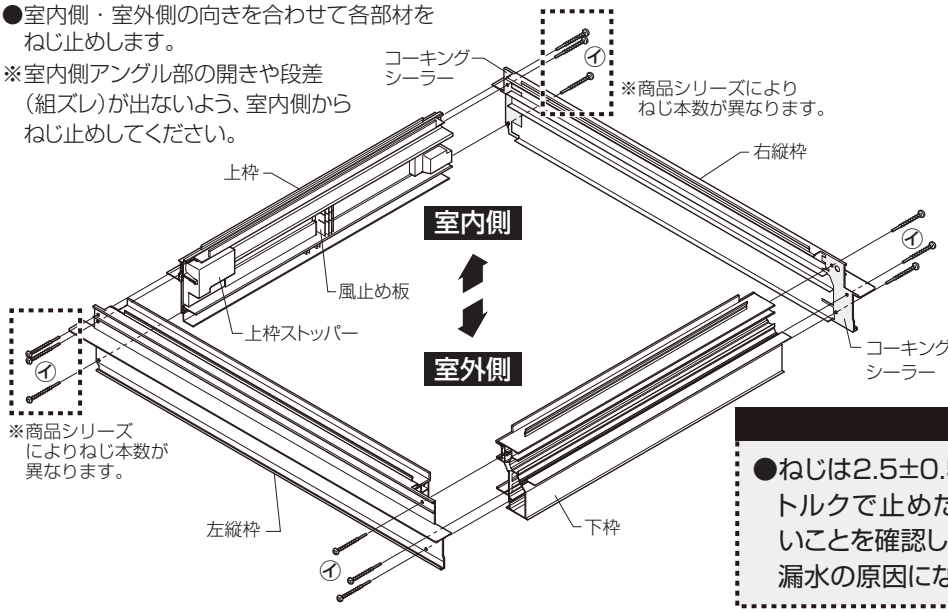
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●障子の組立ては、「障子組立て説明書」をご覧ください。
●枠の取付けは、「枠取付け説明書」をご覧ください。
●同梱の取付け説明書および取付け部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

## ■部品一覧表

| ㋑ | ㋺ |
|---|---|
|  |  |
| バインドタッピンねじ φ4×30 | 隙間隠し部品シール |

## ■枠の組立て

●室内側・室外側の向きを合わせて各部材をねじ止めします。
※室内側アングル部の開きや段差（組ズレ）が出ないよう、室内側からねじ止めしてください。




**⚠注 意**

●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
漏水の原因になるおそれがあります。

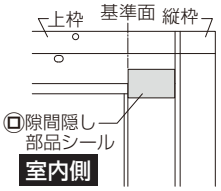
**⚠注 意**

●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
漏水の原因になるおそれがあります。

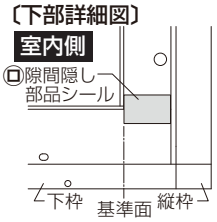
## ■隙間隠し部品シールの取付け

●縦枠と上枠（下枠）の接合部分（室内側4ヵ所）に張付けてください。
①張付け側のリケイ紙をはがします。
②基準面を合わせて張付けます。

〔上部詳細図〕




〔下部詳細図〕




**お願い**
※隙間隠し部品セットはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
※防火商品の場合は部品セットに同梱されている組立て説明書を確認ください。

**⚠注 意**

●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付側の2ヵ所）には隙間隠し部品シールの上に浴室防水部品セット（別売り）を張付けてください。漏水の原因になるおそれがあります。

# 引違い窓　半外付型　障子

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。
※ □ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■組立てされる方へのお願い

**⚠ 警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

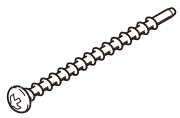
**⚠ 警 告**

●本品で使用するグレチャン付ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

### ■組立て上のお願い

●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●枠の組立ておよび取付けは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●框の切り欠き部と上下桟が合わないまま、たたいて位置合わせしないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

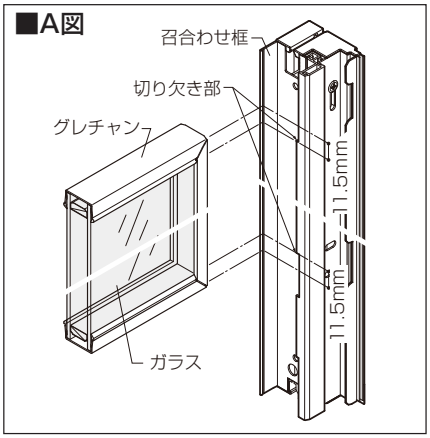
### ■組立てねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ |
|---|---|
|  | |
| ナベタッピンねじ<br>φ4×35：窓　φ4×50：テラス | プッシュボタンφ8 |

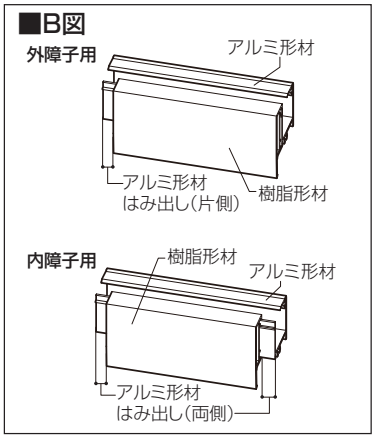
## ■障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。2枚建て、4枚建ての場合、上桟は樹脂形材の両側からアルミ形材のはみ出しがある方を内障子に使用してください。(B図)
③左右の框を差し込んだ後、上下桟を差し込み、ねじで固定します。
※框の上下桟用の切り欠き部にグレチャンが11.5mm出るようにしてください。(A図)
※框の切り欠き部と上下桟が合わないまま、たたいて位置合わせしないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
※上下桟を組立てる際は、ねじれが生じないようにしてください。
※戸車調整穴は窓・テラス共に最下端の穴になります。
④プッシュボタンを取付けます。
※取付け位置は下図を参照してください。

■A図

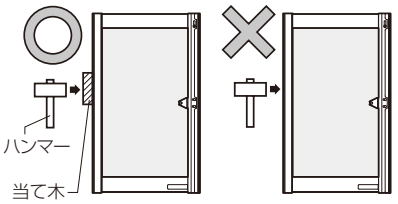



■B図




**お願い**

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



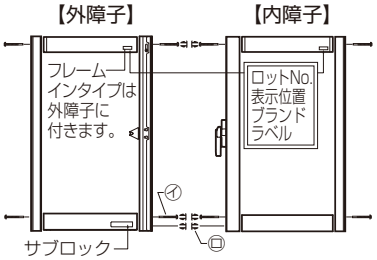

**⚠ 警 告**

・必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

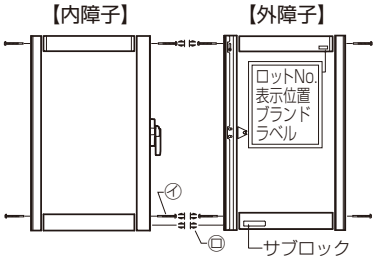
## ■組立てねじ・プッシュボタンの取付け図(内観図)

### ●2枚建て

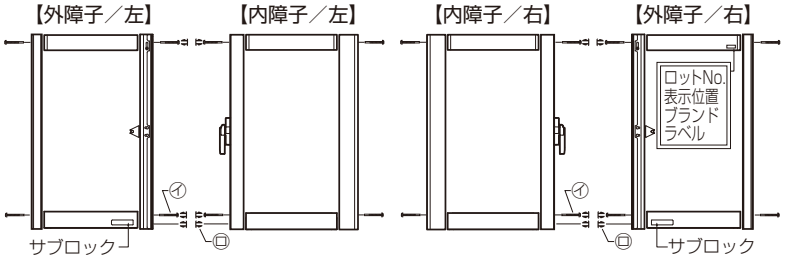
HK(R)



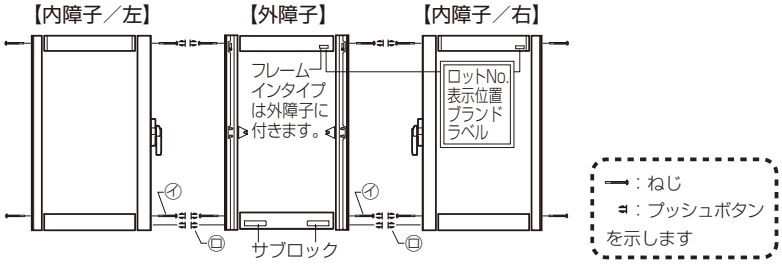

HK(L)




### ●4枚建て




### ●HKK



# 引違い窓　半外付型　障子

●この説明書は、必ず組立てされる方へお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警 告**

●本品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順に従ってください。

**お願い**
●障子は、組立て時に室内側から見て防火ラベルが内障子ガラスの右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●障子組立ねじ(㋑)、芯材組立ねじ(㋺、㋩)は必ず正しい個所に使用してください。(下図)
●枠の組立ておよび取付けは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立てねじ一覧表

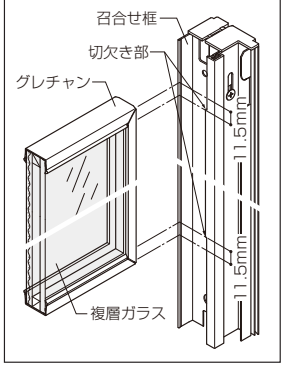
| ㋑ | ㋺(茶色) | |
|---|---|---|
| 障子組立用 | 芯材組立用 | |
| ナベタッピンねじ(2種) φ4×50：窓(8本) φ4×70：テラス(8本) | 茶色 ナベタッピンねじ(1種) φ4×55：窓(1本) φ4×55：テラス(3本) | |
| ㋩(茶色) | ㋥ | ㋭ |
| 芯材組立用 | | |
| 茶色 ナベタッピンねじ(1種) φ4×12：窓(1本) φ4×12：テラス(1本) | プッシュボタン | プッシュボタン ※Xの場合のみ |

## ■障子の組立て

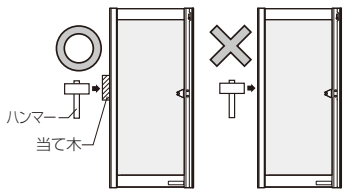
①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③左右の框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※框の上下桟用の切欠き部にグレチャンが11.5mm出るようにしてください。(A図)
※上下桟を組立てる際は、ねじれが生じないようにしてください。
※戸車調整穴は、窓・テラス共に召外框のみ、中央の穴になります。
召外框以外は、最下端の穴が戸車調整穴になります。(下図)
④プッシュボタンを取付けます。
※取付け位置は下図を参照してください。

**⚠警 告**
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順に従ってください。

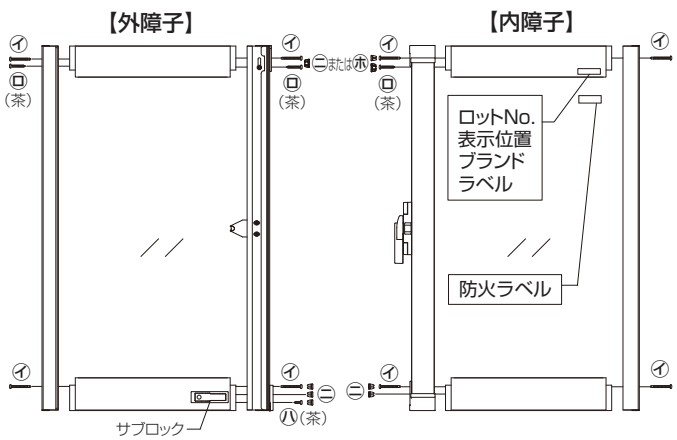
■A図




**お願い**
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

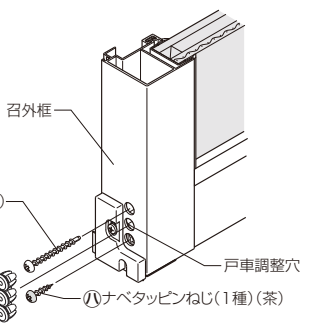



## ■組立てねじ・プッシュボタンの取付け図(内観図)




**お願い**
※障子組立ねじ(㋑)、芯材組立ねじ(㋺、㋩)は必ず正しい個所に使用してください。
：㋑ナベタッピンねじ(2種)　：㋺ナベタッピンねじ(1種)
：㋩ナベタッピンねじ(1種)　：㋥プッシュボタン
：㋭プッシュボタン　を示します。

【召外框下部】



# 引違い窓　半外付型　障子

●この説明書は、必ず組立てされる方へお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

**⚠警 告** …組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警 告**

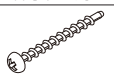
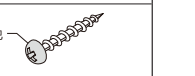
●本品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順に従ってください。

**お願い**
●防火戸FGの障子は、組立て時に室内側から見て防火ラベルが内障子ガラスの右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●障子組立ねじ(㋑)、芯材組立ねじ(㋺、㋩)は必ず正しい個所に使用してください。(下図)
●枠の組立ておよび取付けは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立てねじ一覧表

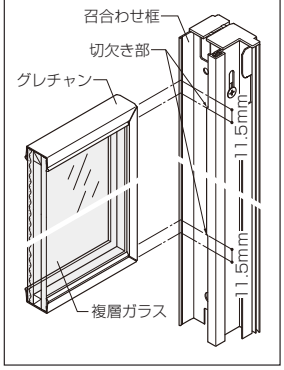
| ㋑ | ㋺(茶色) |
|---|---|
| 障子組立用 | 芯材組立用 |
|  <br>ナベタッピンねじ(2種)<br>φ4×50：窓(8本)<br>φ4×70：テラス(8本) |  <br>ナベタッピンねじ(1種)<br>φ4×35：窓(2本)<br>φ4×55：テラス(3本) |
| ㋩(茶色) | ㋥ |
| 芯材組立用 | |
| <br>ナベタッピンねじ(1種)<br>φ4×12：テラス(1本) | <br>プッシュボタンφ8 |

## ■障子の組立て

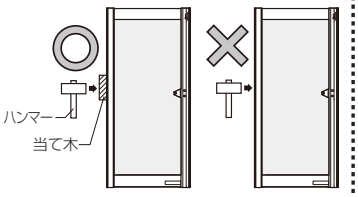
①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③左右の框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※框の上下桟用の切欠き部にグレチャンが11.5mm出るようにしてください。(A図)
※上下桟を組立てる際は、ねじれが生じないようにしてください。
※戸車調整穴は、窓・テラス共に召外框のみ、中央の穴になります。
召外框以外は、最下端の穴が戸車調整穴になります。(下図)
④プッシュボタンを取付けます。
※取付け位置は下図を参照してください。

**⚠警 告**
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順に従ってください。

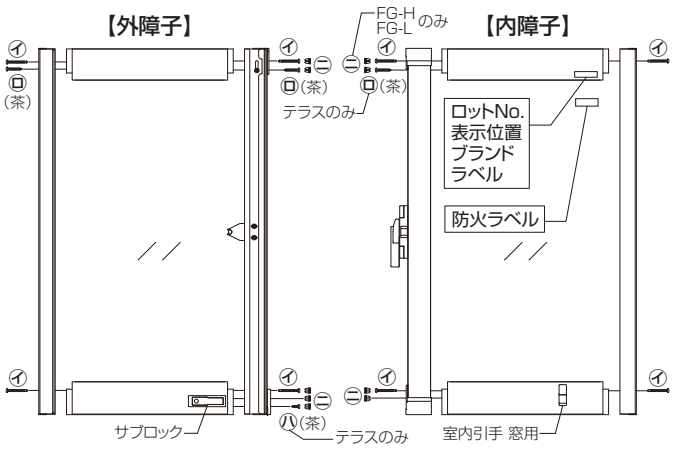
■A図




**お願い**
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

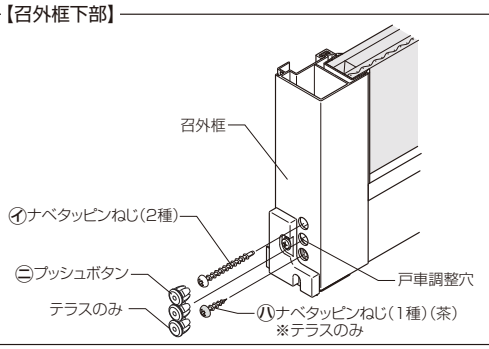



## ■組立てねじ・プッシュボタンの取付け図(内観図)




**お願い**
※障子組立ねじ(㋑)、芯材組立ねじ(㋺、㋩)は必ず正しい個所に使用してください。
：㋑ナベタッピンねじ(2種)　：㋺ナベタッピンねじ(1種)
：㋩ナベタッピンねじ(1種)※テラスのみ　：㋥プッシュボタン
を示します。

【召外框下部】



# 引違い窓　半外付型

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●防火戸の場合は枠と障子のブランドラベルに防火戸サーモスXと表示されていることを確認してください。枠と障子ともに防火戸サーモスXを使用しない場合、遮炎性能を満たしません。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

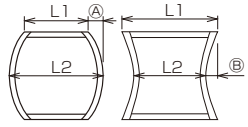
### ⚠ 注 意

●障子建込みの際は、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の障子重量は最大で約90kgになります。)
●障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。
・必ず指定のねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
・躯体取付けねじは必ず枠取付けねじを固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。
・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
●漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)
・浴室にご使用の場合は必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

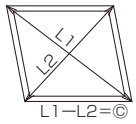
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
●取付け前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。
●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。(204単純段差の場合は27.5mm)アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5～2.0N・mにて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

■サッシ枠のフクレ・ツヅミ



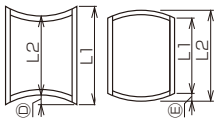

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

■サッシ枠対角差



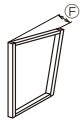

| C |
|---|
| 3 |

■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



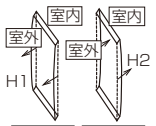

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ




| F |
|---|
| 2 |

■サッシ枠の室内外のソリ



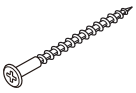

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■取付けねじ一覧表

㋑～㋩

枠取付けねじφ3.1×32
(低頭ねじ)

㋥




躯体取付けねじφ3.8×38
(薄平木ねじ)

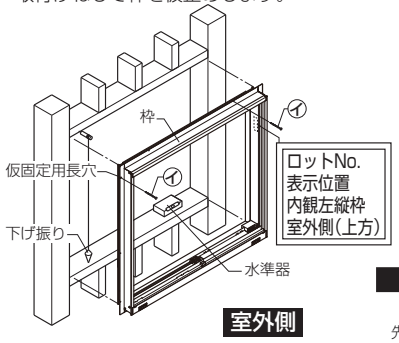
## ■取付け順序

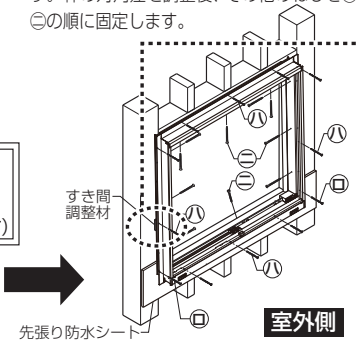
### 1枠の固定

※枠固定の取付け精度については、「■取付け上のお願い」をご覧ください。

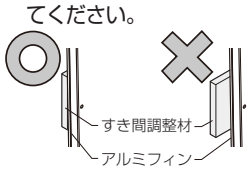
①開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。

②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじⒹを固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじを㋩、㋥の順に固定します。




**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

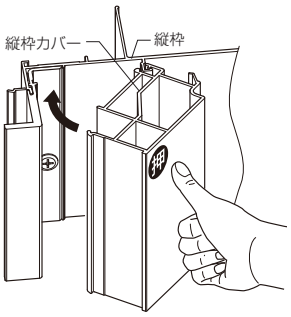



### ⚠ 注 意

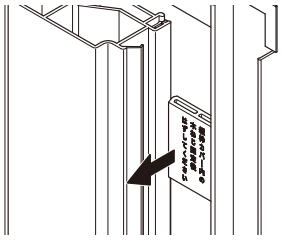
●㋥躯体取付けねじは必ず枠取付けねじを固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。
枠がころび、樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。
※枠取付けねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

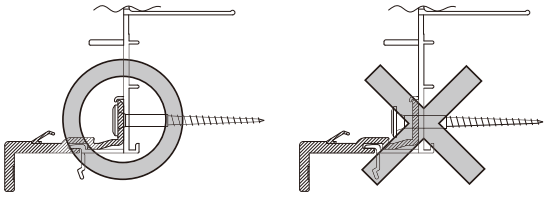
③躯体取付けねじを固定後、縦枠カバーを上端から順に指で押し込み、縦枠にはめ込んでください。
※縦枠カバーは、ハンマーなどではたたかないでください。縦枠カバーが割れるおそれがあります。
※躯体取付けねじは、サイズによりない場合もあります。



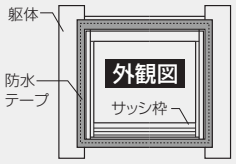

※青い部品は縦枠カバーはめ込み後、はずしてください。



**お願い**
※右縦枠取付ねじの浮きに注意してください。
ねじが浮いていると、ねじ頭と障子が干渉し、障子戸先が変形もしくはへこむおそれがあります。



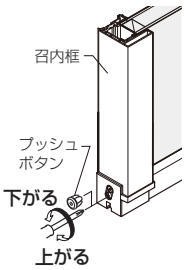
**⚠ 注 意**
●本製品取付け後、必ず防水テープ（別売り）を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

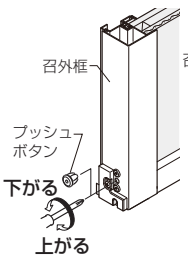


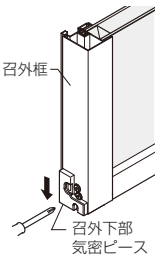

## 2障子の建込み

### ■建付け調整

#### ■戸車調整
●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）
※戸車調整穴は、防火戸の召外框のみ、中央の穴になります。
防火戸の召外框以外は最下端の穴が戸車調整穴になります。
※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

#### ■内障子


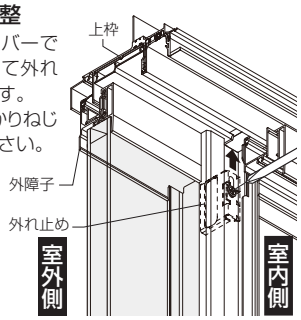

#### ■外障子（防火戸のみ）



#### ■外障子



※調整後はしっかりねじを締めてください。

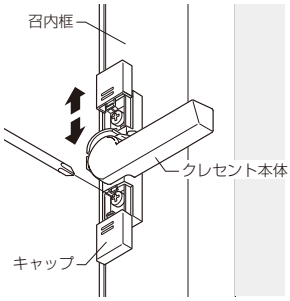
**お願い**
※外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。）

#### ■外れ止め調整
●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

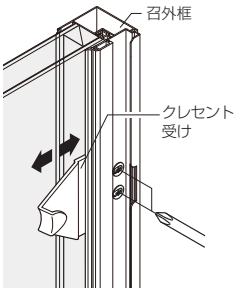



**⚠ 注 意**
●必ず外れ止めを上げてください。
障子が落下するおそれがあります。

#### ■クレセント調整
**【上下方向の調整】**
**（クレセント本体）**
①キャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

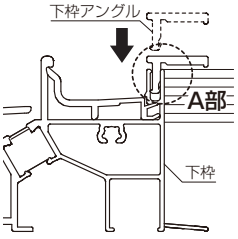



**【左右方向の調整】**
**（クレセント受け）**
●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

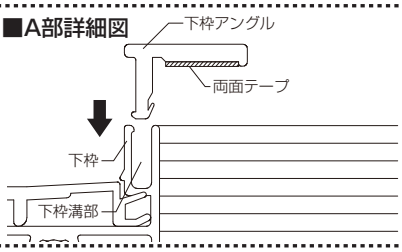



### ■下枠アングルの取付け

#### ■下枠アングルの取付け（在来単体・装飾テラスのみ）
※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に3mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




■A部詳細図



# 引違い窓　半外付型

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●障子建込みの際は、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の障子重量は最大で約90kgになります。)

●障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。

・必ず指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。

・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。

・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。

●漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)

・浴室にご使用の場合は必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

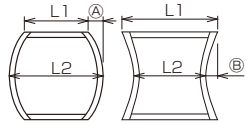
●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。

●取付け前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。

●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。
(204単純段差の場合は27.5mm)
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

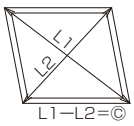
**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

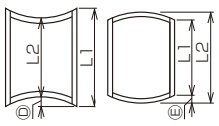
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 3 |

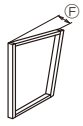
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

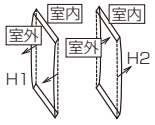
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**



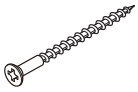

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

**■取付けねじ一覧表**

Ⓘ

スクリュー釘φ2.1×32
(枠取付け)

Ⓗ



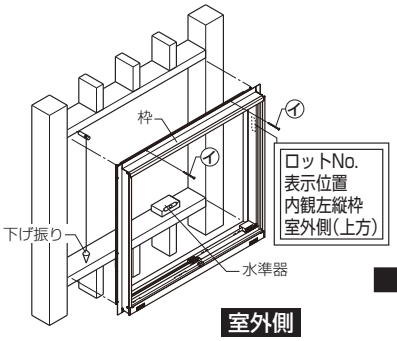
皿木ねじφ3.8×38
(躯体取付け)

## ■取付け順序

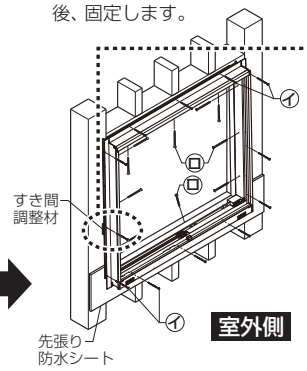
**❶枠の固定**

※枠固定の取付け精度については、「■取付け上のお願い」をご覧ください。

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

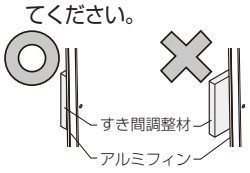



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




**⚠ 注 意**

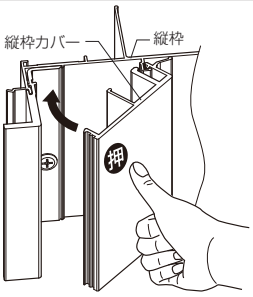
●躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。

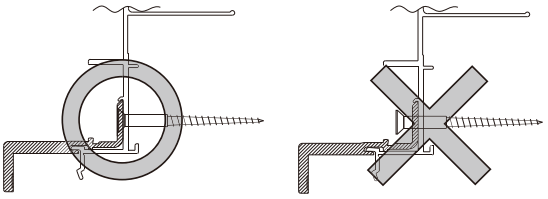
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。

※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

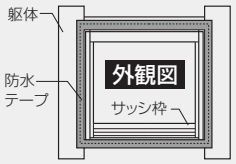
③躯体取付けねじを固定後、縦枠カバーを上端から順に指で押し込み、縦枠にはめ込んでください。
※縦枠カバーは、ハンマーなどではたたかないでください。縦枠カバーが割れるおそれがあります。
※躯体取付けねじは、サイズによりない場合もあります。




**お願い**
※右縦枠取付ねじの浮きに注意してください。
ねじが浮いていると、ねじ頭と障子が干渉し、障子戸先が変形もしくはへこむおそれがあります。



**⚠ 注 意**
●本製品取付け後、必ず防水テープ（別売り）を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

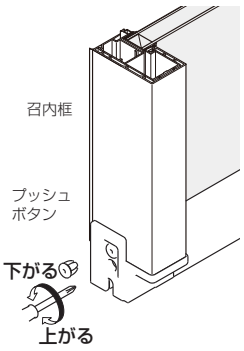


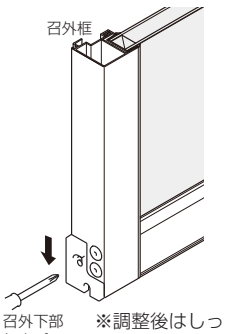

## 2障子の建込み

### ■建付け調整

#### ■戸車調整
●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）
※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

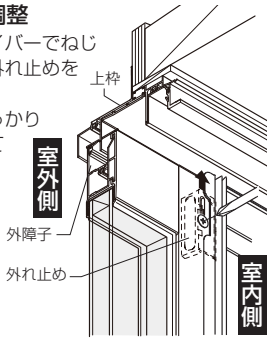
**お願い**
※外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。）

#### ■内障子



#### ■外障子


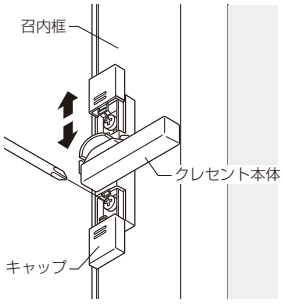
※調整後はしっかりねじを締めてください。

#### ■外れ止め調整
●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

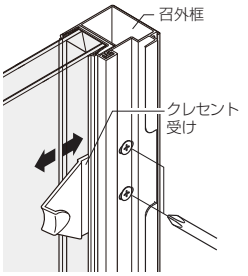



**⚠ 注 意**
●必ず外れ止めを上げてください。
障子が落下するおそれがあります。

#### ■クレセント調整
**【上下方向の調整】**
**（クレセント本体）**
①キャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

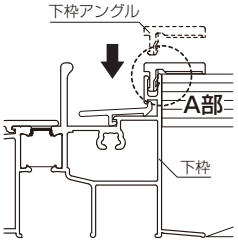



**【左右方向の調整】**
**（クレセント受け）**
●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

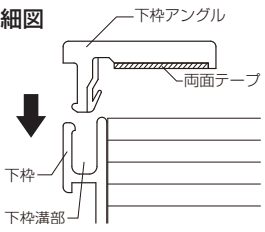



### ■下枠アングルの取付け

#### ■下枠アングルの取付け（在来単体・装飾テラスのみ）
※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




**■A部詳細図**



# 引違い窓　半外付型

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●枠と障子のブランドラベルに防火戸FGと表示されていることを確認してください。枠と障子ともに防火戸FGを使用しない場合、遮炎性能を満たしません。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●障子建込みの際は、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の障子重量は最大で約70kgになります。)

●障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。

・必ず指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。

・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。

・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。

●漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)

・浴室にご使用の場合は必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

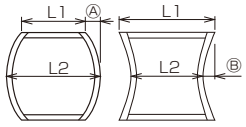
●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。

●取付け前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。

●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。
(204単純段差の場合は27.5mm)
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

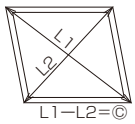
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**

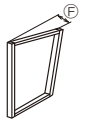



| C |
|---|
| 3 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**

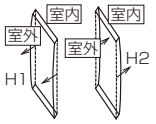
| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**



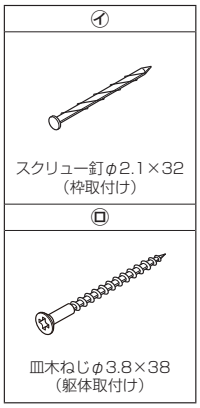

| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

**■取付けねじ一覧表**



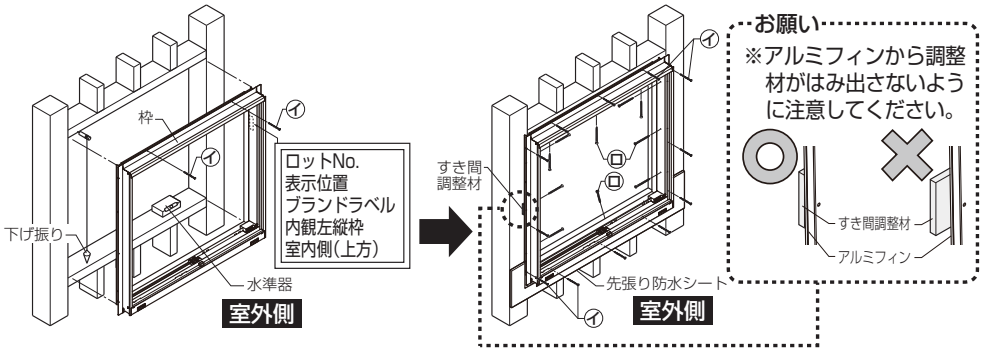

## ■取付け順序

**1枠の固定**

※枠固定の取付け精度については、「**■取付け上のお願い**」をご覧ください。

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。




**⚠ 注 意**

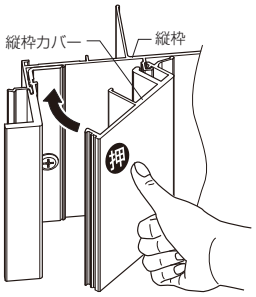
●躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物(調整材)を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。

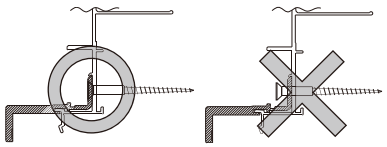
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。

※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

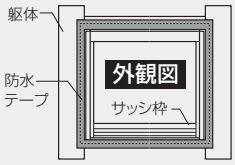
③躯体取付けねじを固定後、縦枠カバーを上端から順に指で押し込み、縦枠にはめ込んでください。
※縦枠カバーは、ハンマーなどではたたかないでください。縦枠カバーが割れるおそれがあります。




**お願い**
※右縦枠取付ねじの浮きに注意してください。ねじが浮いていると、ねじ頭と障子が干渉し、障子戸先が変形もしくはへこむおそれがあります。



**⚠ 注 意**
●本製品取付け後、必ず防水テープ（別売り）を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。




## 2障子の建込み

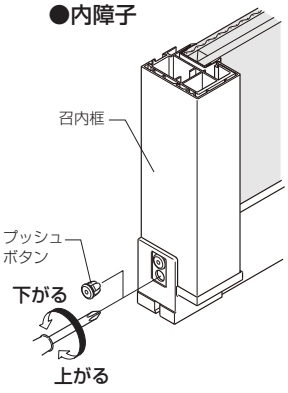
### ■建付け調整

#### ■戸車調整

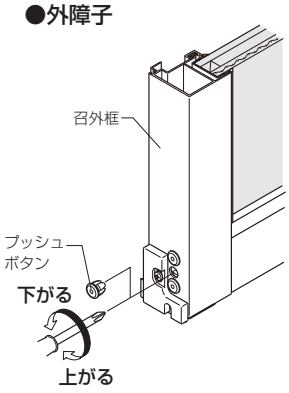
●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）
※戸車調整穴は、窓・テラス共に召外框のみ、中央の穴になります。
召外框以外は、最下端の穴が戸車調整穴になります。
※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

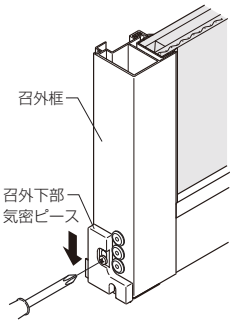
**お願い**
※外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。）

●内障子




●外障子

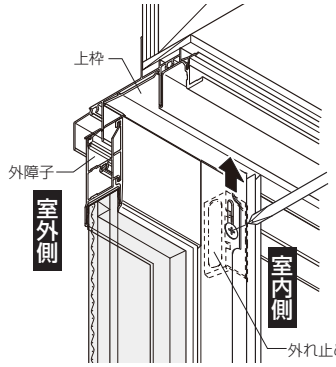



※調整後はしっかりねじを締めてください。

#### ■外れ止め調整

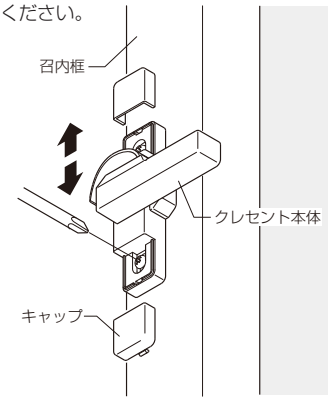
●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。



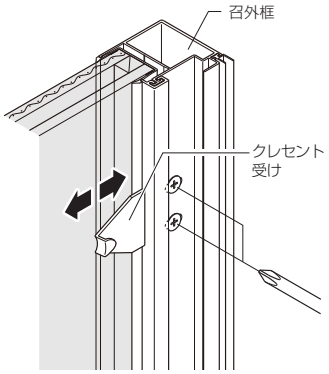

**⚠ 注 意**
●必ず外れ止めを上げてください。
障子が落下するおそれがあります。

#### ■クレセント調整

**【上下方向の調整】**
**（クレセント本体）**
①キャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



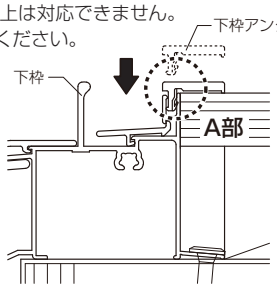

**【左右方向の調整】**
**（クレセント受け）**
●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めてください。



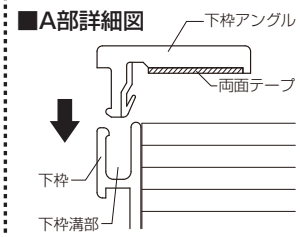

### ■下枠アングルの取付け

#### ■下枠アングルの取付け（在来単体・テラスのみ）

※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。
また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




■A部詳細図



# フレームイン外れ止め調整

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
※六角レンチは、障子建込み後、外れ止め調整に使用します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**⚠警 告** …調整方法を誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

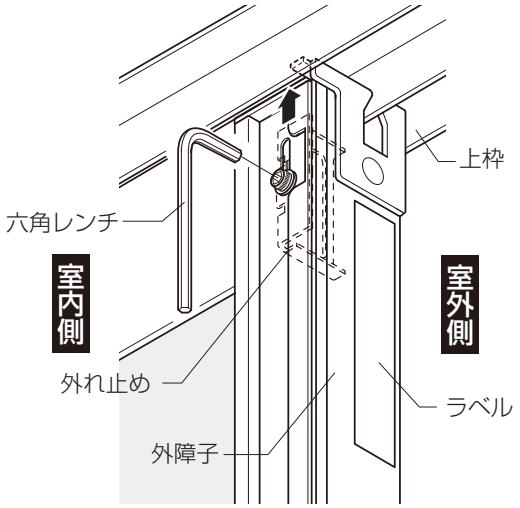
**⚠警 告**

●障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

## ■建付け調節

### ■外れ止め調整

●六角レンチでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。
※この商品は室内側から障子を外すことができません。
障子を外す際は室外側から外してください。



# シャッター付引違い窓　枠

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

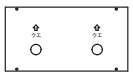
**⚠ 注 意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・上枠・下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- 天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。
- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 背板の取付け時は、背板の4周（上枠、縦枠の止水アングル、天板）およびコーナー部に防水テープを張って、さらに圧着してください。

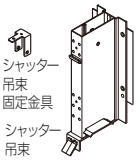
## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●障子の組立ては、「障子組立て説明書」をご覧ください。
●枠の取付けは、「枠取付け説明書」をご覧ください。
●同梱の取付け説明書および取付け部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●室内側アングル部の開きや段差（組ズレ）が出ないよう、室内側からねじ止めしてください。
●背板取付け部のホコリ・油などを除去してから取付けてください。

## ■部品一覧表

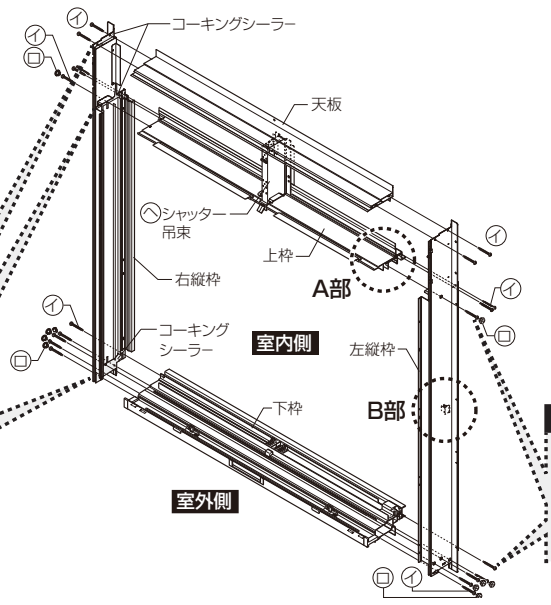
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|
| | |  | | |
| バインドタッピンねじφ4×30 | プッシュボタンφ10 | 背板 | 皿小ねじM4×5 | 防水テープ |

**シャッター連窓の場合**

| ㋬ | ㋣ | ㋠ | ㋡ |
|---|---|---|---|
|  | | | |
| シャッター吊束固定金具<br>シャッター吊束 | バインドタッピンねじφ4×10 | 皿小ねじM4×10 | バインドタッピンねじφ4×25 |

## ■各部名称図

●室内側・室外側の向きを合わせて各部材をねじ止めします。
●組立て説明書内のイラストは連窓の場合を示し、シャッター吊束を記載しています。組立て順序3以降の手順は、単窓・連窓共に同じになります。




**⚠ 注 意**

●縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・上枠・下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。

**⚠ 注 意**

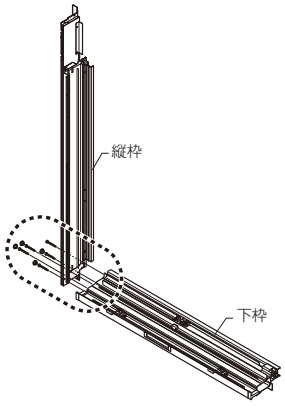
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て順序

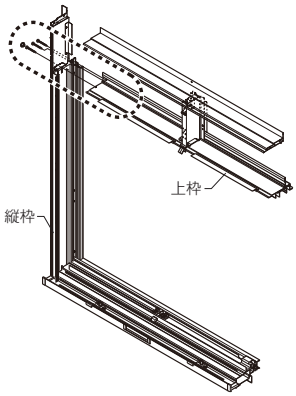
**❶天板とシャッター吊束の組立て（シャッター連窓の場合）**

**❷上枠とシャッター吊束の組立て（シャッター連窓の場合）**

**❸縦枠と下枠の組立て**



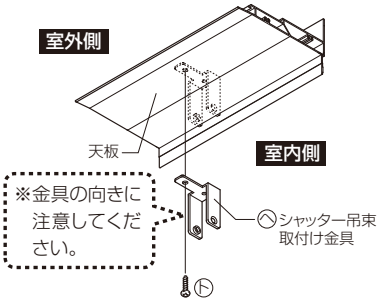

**❹縦枠と上枠の組立て**



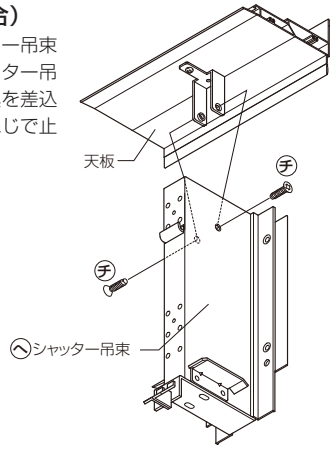

## ■組立て詳細

### ❶天板とシャッター吊束の組立て（シャッター連窓の場合）

①天板に㋓シャッター吊束固定金具を㋑バインドタッピンねじで取付けます。

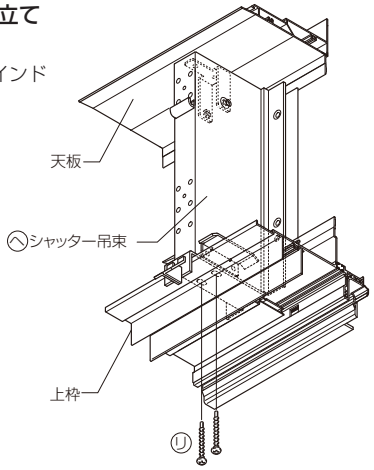



②㋓シャッター吊束に㋓シャッター吊束固定金具を差込み㋕皿小ねじで止めます。



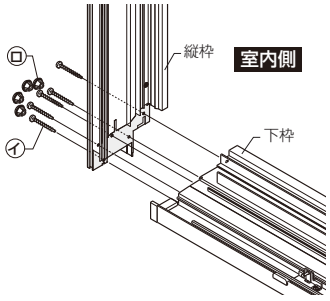

### ❷上枠とシャッター吊束の組立て（シャッター連窓の場合）

●㋓シャッター吊束と上枠を㋘バインドタッピンねじで固定します。

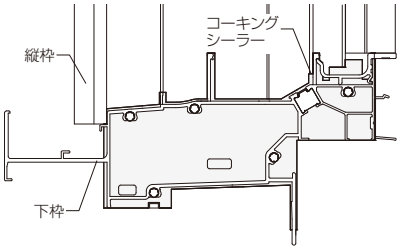



### ❸縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ5本で仮止めします。再度下枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。

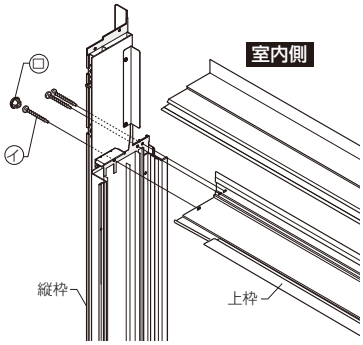



**■縦枠と下枠の位置合わせ**

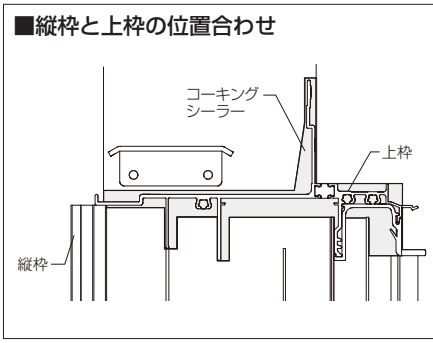



### ❹縦枠と上枠の組立て

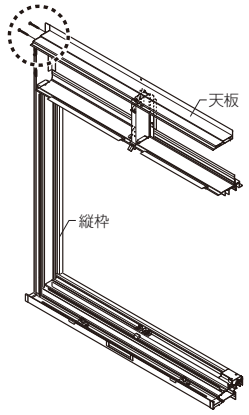
●縦枠と上枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ3本で仮止めします。再度上枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。



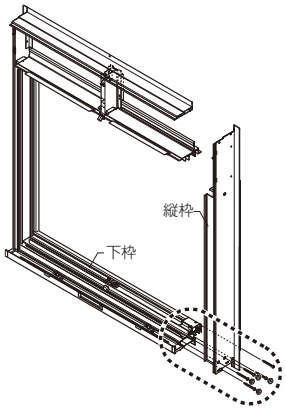

**■縦枠と上枠の位置合わせ**



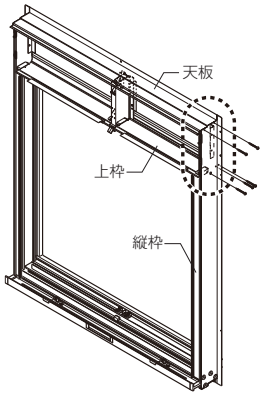
## 5縦枠と天板の組立て



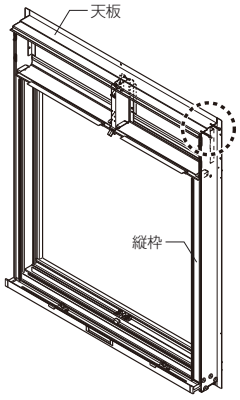

## 6縦枠と下枠の組立て




## 7縦枠と上枠・天板の仮止め

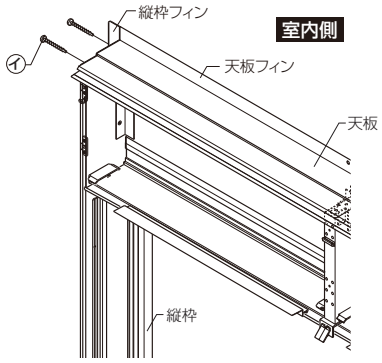



## 8縦枠と天板の固定

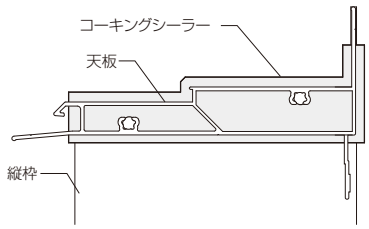



## 5縦枠と天板の組立て

●縦枠と天板の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ2本で仮止めします。
再度天板の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。

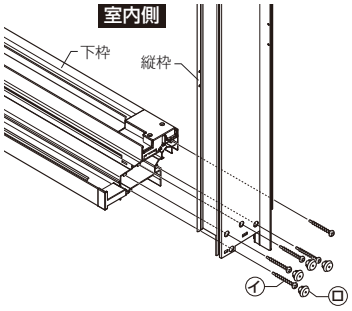



■縦枠と天板の位置合わせ

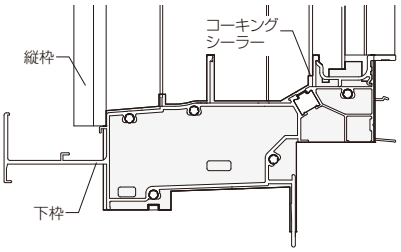



## 6縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ5本で仮止めします。再度下枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。

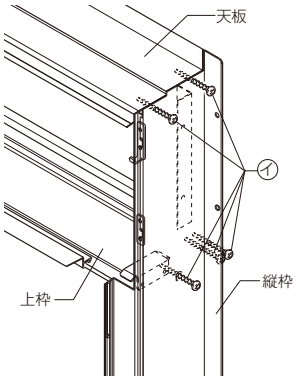



■縦枠と下枠の位置合わせ



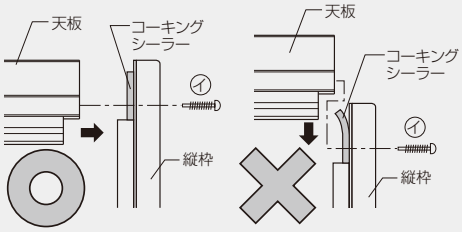

## 7縦枠と上枠・天板の仮止め

●縦枠と上枠・天板の位置合わせをし、㋑バインドタッピンねじの先端部を差込み、2～3回転ほど締めて仮止めします。



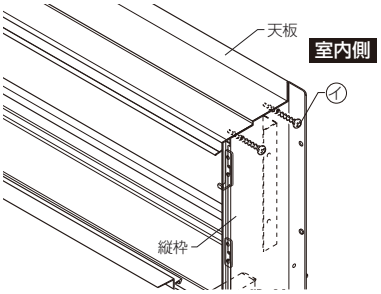

**⚠ 注 意**

●天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。

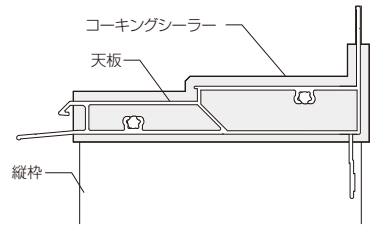



## 8縦枠と天板の固定

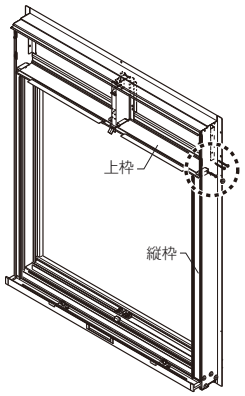
●縦枠と天板の位置を下図のように合わせて、室内側の㋑バインドタッピンねじから順に固定します。



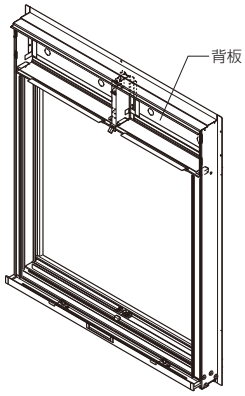

■縦枠と天板の位置合わせ



## ❾縦枠と上枠の固定

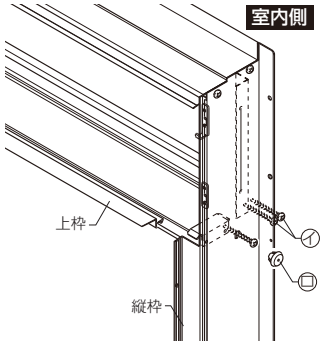



## ❿背板の取付け

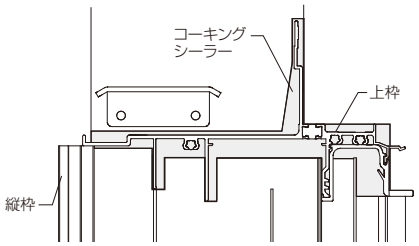



## ❾縦枠と上枠の固定

●縦枠と上枠の位置を下図のように合わせて、室内側の㋑バインドタッピンねじから順に固定します。
ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。

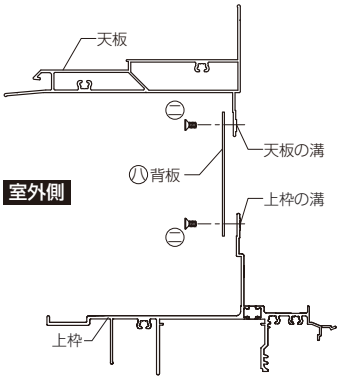


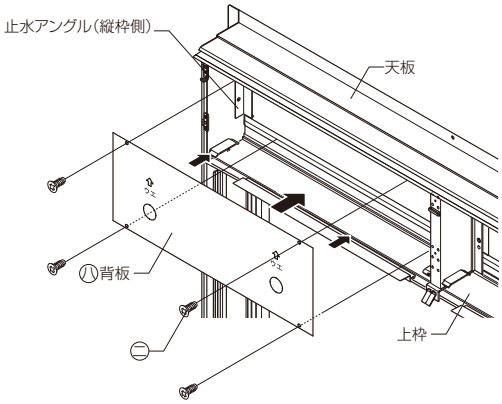

■縦枠と上枠の位置合わせ



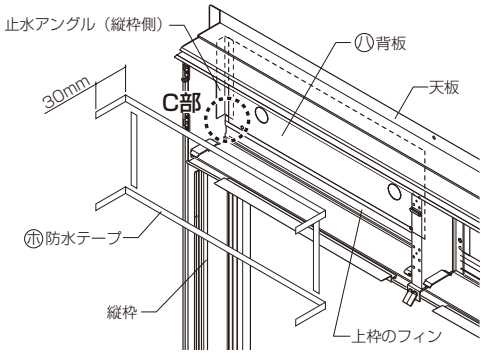

## ❿背板の取付け

①㋩背板の「ウエ」の表示が室外側にくるように⬆の向きを上にして、天板・上枠の溝に背板を合わせて㋥皿小ねじで取付けてください。

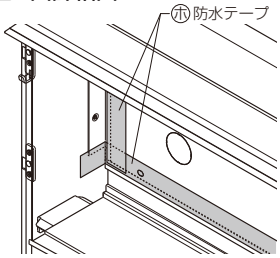



②上枠のフィン、縦枠の止水アングル、天板のフィンに㋭防水テープを張付けてください。
※上枠・天板に張る㋭防水テープは、両端が縦枠の止水アングルをかぶせるようにコーナー部で30mm折曲げて張付けてください。



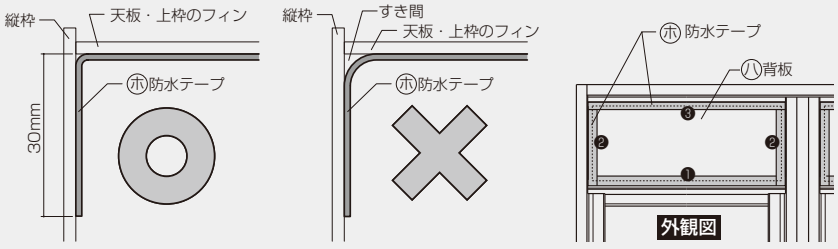

■C図詳細図




③㋭防水テープを圧着します。

**⚠ 注 意**

●防水テープは、下記順序で背板の4周およびコーナー部に必ず圧着してください。
❶上枠→❷縦枠の止水アングル→❸天板




※コーナー部を圧着してください。

④張付け後、㋩背板、㋭防水テープに浮きがないか確認してください。

# シャッター付引違い窓　枠

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

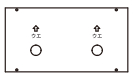
**⚠ 注 意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・上枠・下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- 天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。
- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 背板の取付け時は、背板の4周（上枠、縦枠の止水アングル、天板）およびコーナー部に防水テープを張って、さらに圧着してください。

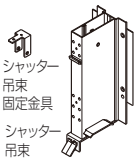
## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●障子の組立ては、「障子組立て説明書」をご覧ください。
●枠の取付けは、「枠取付け説明書」をご覧ください。
●同梱の取付け説明書および取付け部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●室内側アングル部の開きや段差（組ズレ）が出ないよう、室内側からねじ止めしてください。
●背板取付け部のホコリ・油などを除去してから取付けてください。

## ■部品一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|
| | |  | | |
| バインドタッピンねじφ4×30 | プッシュボタンφ10 | 背板 | 皿小ねじM4×5 | 防水テープ |

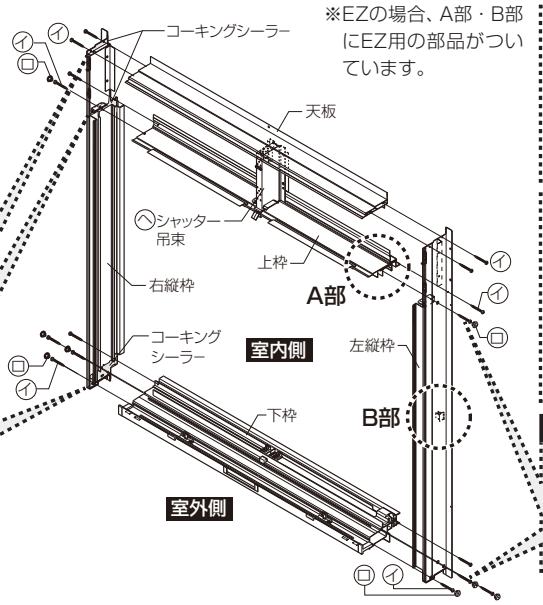
**シャッター連窓の場合**

| ㋮ | ㋠ | ㋡ | ㋰ |
|---|---|---|---|
|  | | | |
| シャッター吊束固定金具<br>シャッター吊束 | バインドタッピンねじφ4×10 | 皿小ねじM4×10 | バインドタッピンねじφ4×25 |

## ■各部名称図

●室内側・室外側の向きを合わせて各部材をねじ止めします。
●組立て説明書内のイラストは連窓の場合を示し、シャッター吊束を記載しています。組立て順序3以降の手順は、単窓・連窓共に同じになります。

※EZの場合、A部・B部にEZ用の部品がついています。

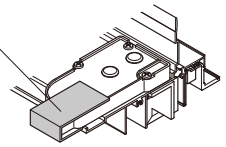



**⚠ 注 意**

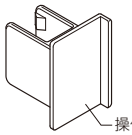
●縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・上枠・下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。

**■A図詳細図**

この保護テープはシャッター本体取付け時まではがさないでください。



**■B図詳細図**




**⚠ 注 意**

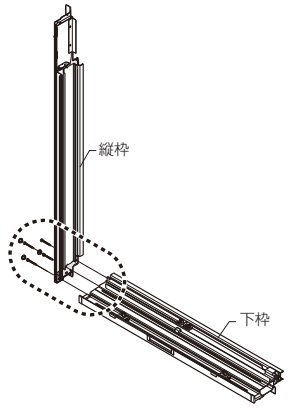
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て順序

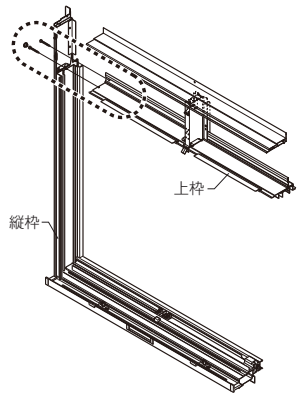
**❶天板とシャッター吊束の組立て（シャッター連窓の場合）**

**❷上枠とシャッター吊束の組立て（シャッター連窓の場合）**

**❸縦枠と下枠の組立て**



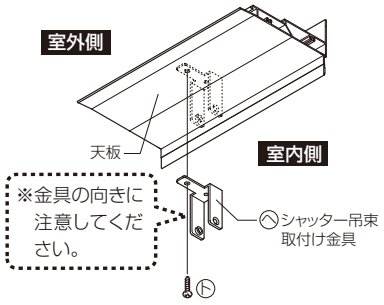

**❹縦枠と上枠の組立て**



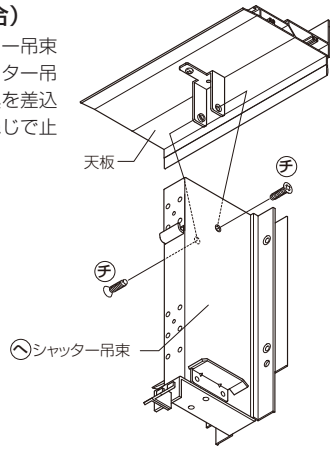

## ■組立て詳細

### ❶天板とシャッター吊束の組立て（シャッター連窓の場合）

①天板に㋭シャッター吊束固定金具を㋟バインドタッピンねじで取付けます。

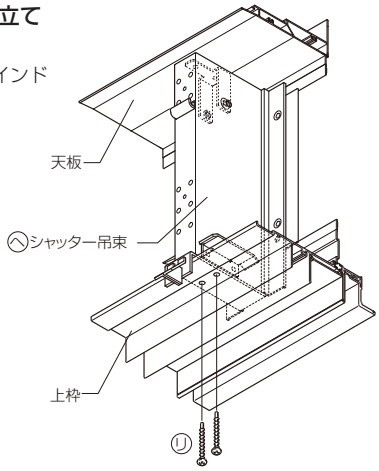



②㋭シャッター吊束に㋭シャッター吊束固定金具を差込み㋠皿小ねじで止めます。



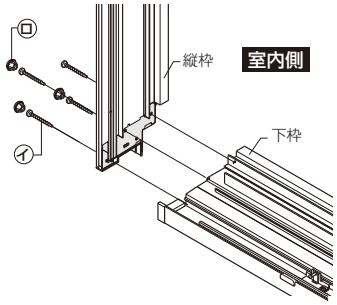

### ❷上枠とシャッター吊束の組立て（シャッター連窓の場合）

●㋭シャッター吊束と上枠を㋥バインドタッピンねじで固定します。

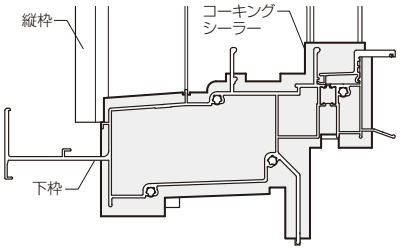



### ❸縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ4本で仮止めします。再度下枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。

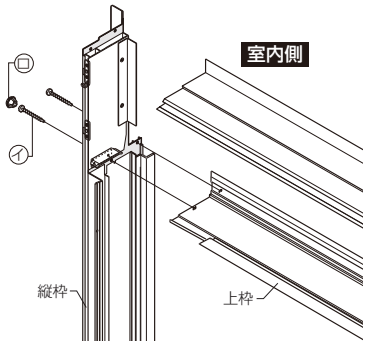



**■縦枠と下枠の位置合わせ**

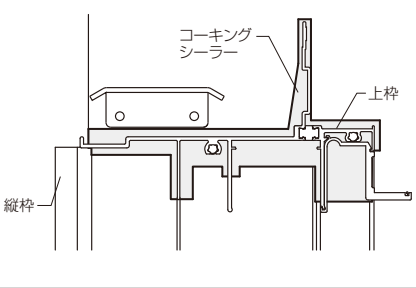



### ❹縦枠と上枠の組立て

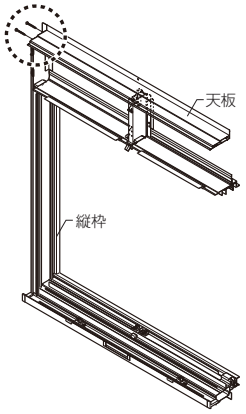
●縦枠と上枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ2本で仮止めします。再度上枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。



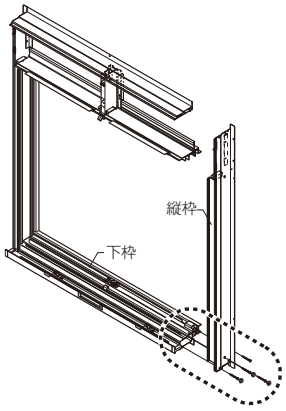

**■縦枠と上枠の位置合わせ**



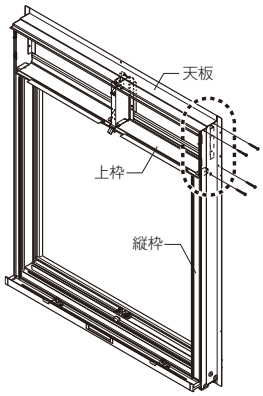
## 5縦枠と天板の組立て



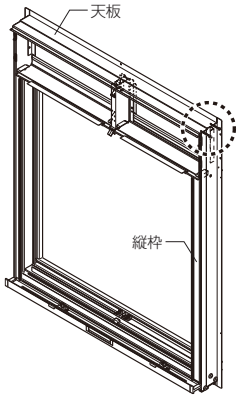

## 6縦枠と下枠の組立て




## 7縦枠と上枠・天板の仮止め

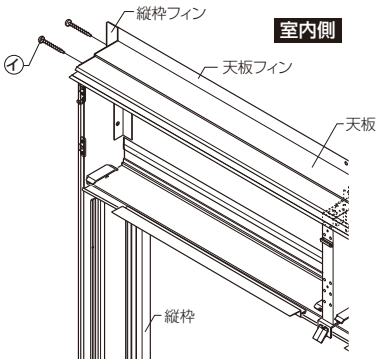



## 8縦枠と天板の固定

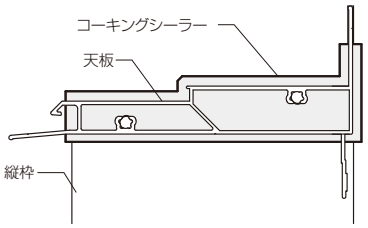



## 5縦枠と天板の組立て

●縦枠と天板の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ2本で仮止めします。
再度天板の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。

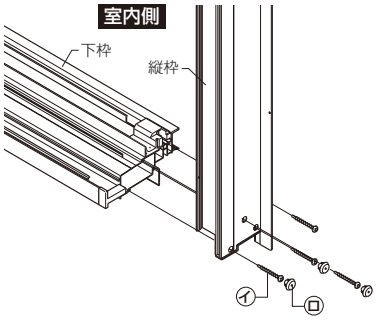



■縦枠と天板の位置合わせ

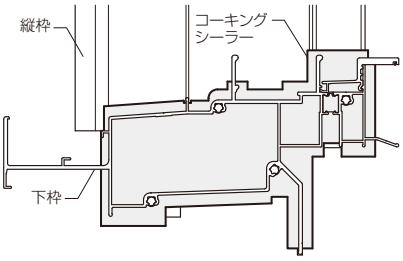



## 6縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ4本で仮止めします。再度下枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。

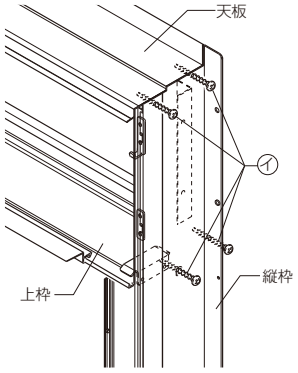



■縦枠と下枠の位置合わせ



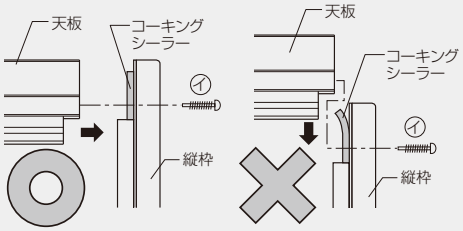

## 7縦枠と上枠・天板の仮止め

●縦枠と上枠・天板の位置合わせをし、㋑バインドタッピンねじの先端部を差込み、2～3回転ほど締めて仮止めします。



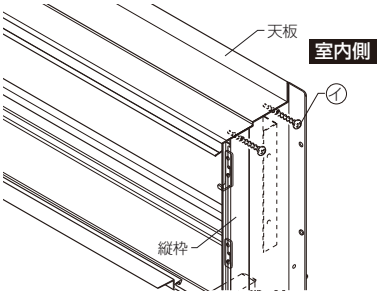

**⚠ 注 意**

●天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。

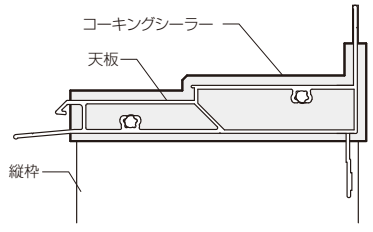



## 8縦枠と天板の固定

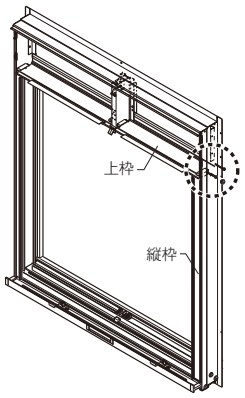
●縦枠と天板の位置を下図のように合わせて、室内側の㋑バインドタッピンねじから順に固定します。



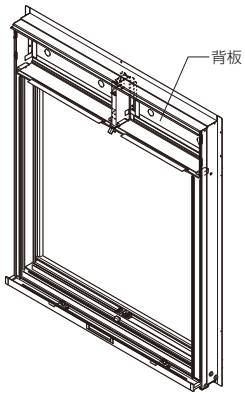

■縦枠と天板の位置合わせ



## 9縦枠と上枠の固定

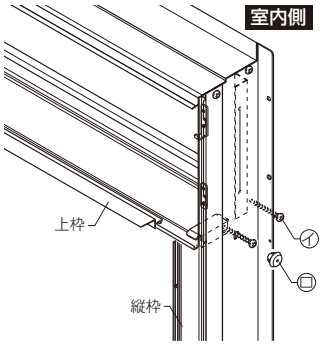



## 10背板の取付け

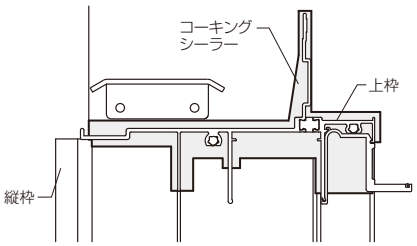



## 9縦枠と上枠の固定

●縦枠と上枠の位置を下図のように合わせて、室内側の㋑バインドタッピンねじから順に固定します。
ねじ止め後、㋥プッシュボタンを取付けます。

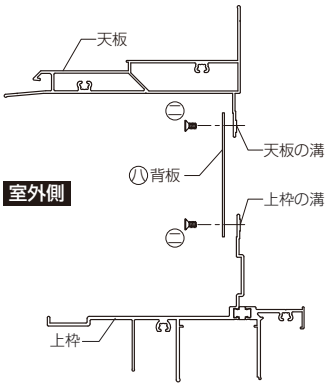


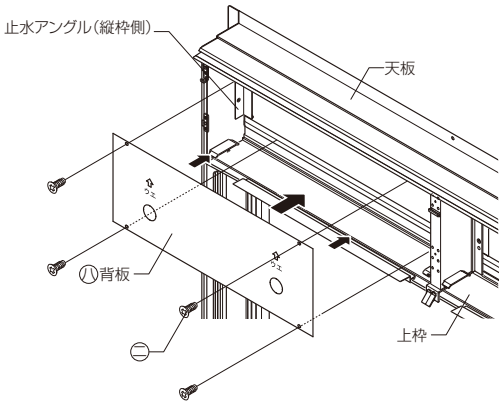

■縦枠と上枠の位置合わせ



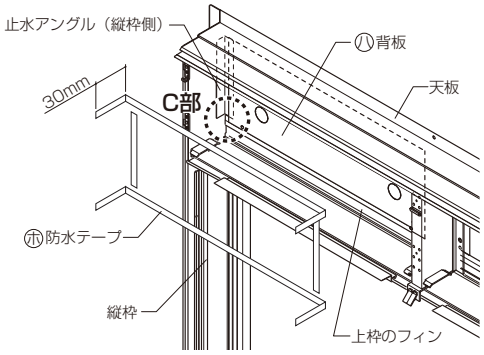

## 10背板の取付け

①㋩背板の「ウエ」の表示が室外側にくるように⬆の向きを上にして、天板・上枠の溝に背板を合わせて㋷皿小ねじで取付けてください。

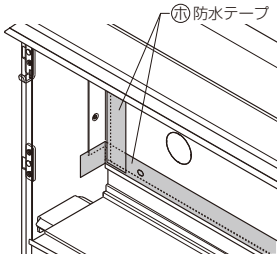



②上枠のフィン、縦枠の止水アングル、天板のフィンに㋣防水テープを張付けてください。
※上枠・天板に張る㋣防水テープは、両端が縦枠の止水アングルをかぶせるようにコーナー部で30mm折曲げて張付けてください。



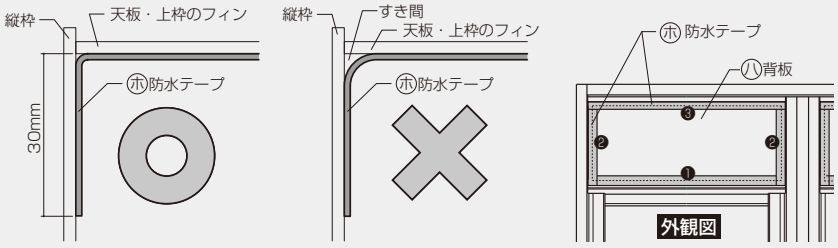

■C図詳細図




③㋣防水テープを圧着します。

**⚠ 注 意**

●防水テープは、下記順序で背板の4周およびコーナー部に必ず圧着してください。
❶上枠→❷縦枠の止水アングル→❸天板




※コーナー部を圧着してください。

④張付け後、㋩背板、㋣防水テープに浮きがないか確認してください。

# シャッター付引違い窓　枠

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・上枠・下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- 天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。
- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 背板の取付け時は、背板の4周（上枠、縦枠の止水アングル、天板）およびコーナー部に防水テープを張って、さらに圧着してください。

## ■組立て上のお願い

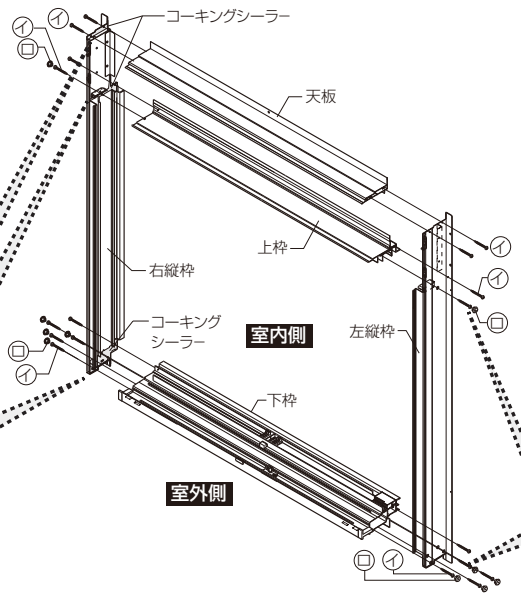
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●障子の組立ては、「障子組立て説明書」をご覧ください。
●枠の取付けは、「枠取付け説明書」をご覧ください。
●同梱の取付け説明書および取付け部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●室内側アングル部の開きや段差（組ズレ）が出ないよう、室内側からねじ止めしてください。
●背板取付け部のホコリ・油などを除去してから取付けてください。

## ■部品一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| バインドタッピンねじφ4×30 | プッシュボタンφ10 | 背板 | 皿小ねじM4×5 | 防水テープ |

## ■各部名称図

●室内側・室外側の向きを合わせて各部材をねじ止めします。




**⚠ 注 意**

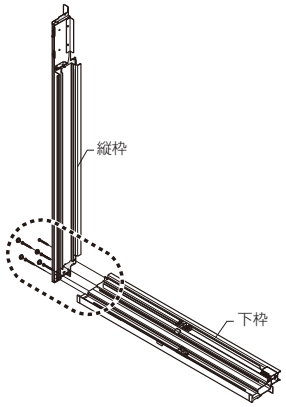
●縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・上枠・下枠の周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。

**⚠ 注 意**

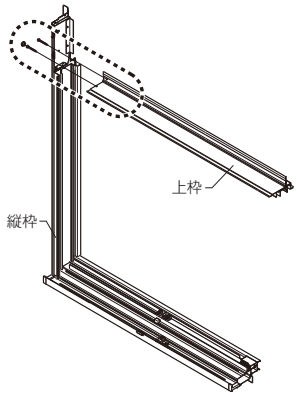
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て順序

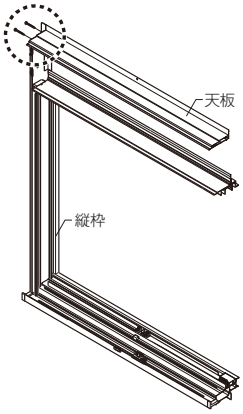
### ❶縦枠と下枠の組立て



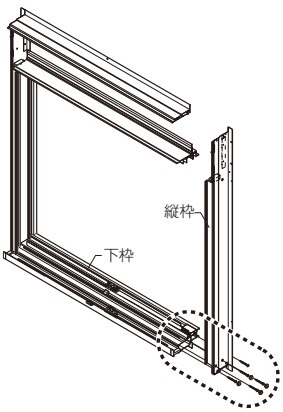

### ❷縦枠と上枠の組立て




### ❸縦枠と天板の組立て



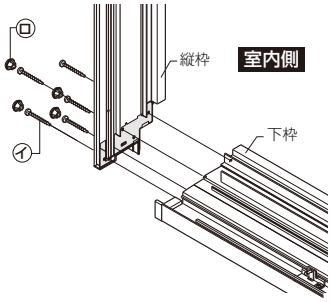

### ❹縦枠と下枠の組立て



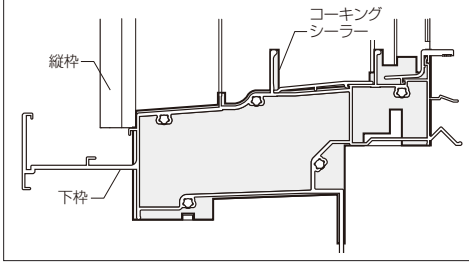

## ■組立て詳細

### ❶縦枠と下枠の組立て

●縦枠と下枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ5本で仮止めします。再度下枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。

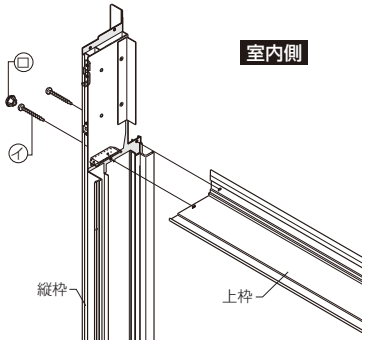



■縦枠と下枠の位置合わせ

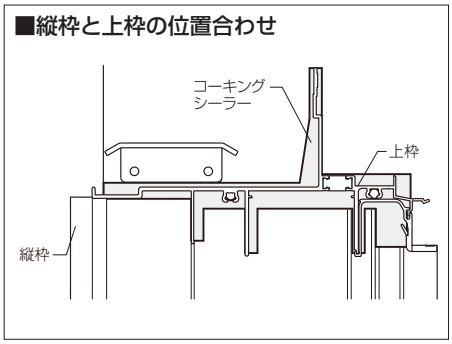



### ❷縦枠と上枠の組立て

●縦枠と上枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ2本で仮止めします。再度上枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。

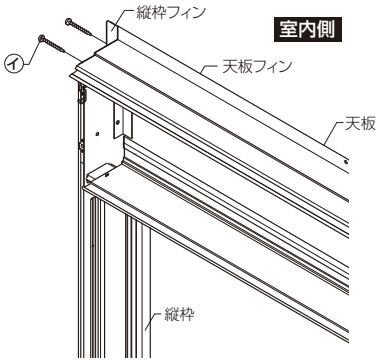



■縦枠と上枠の位置合わせ

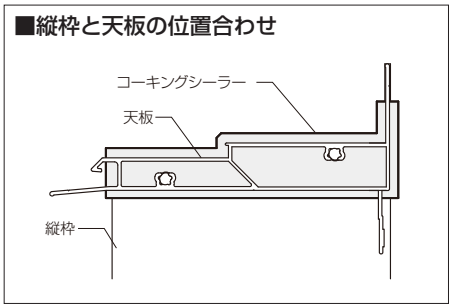



### ❸縦枠と天板の組立て

●縦枠と天板の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ2本で仮止めします。
再度天板の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。

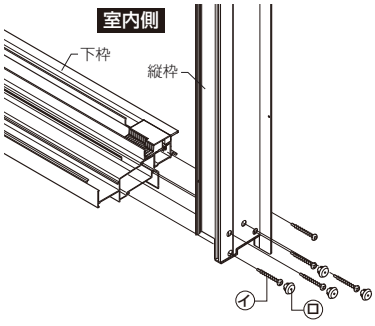



■縦枠と天板の位置合わせ

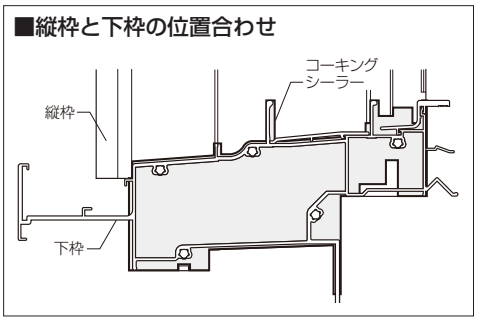



### ❹縦枠と下枠の組立て

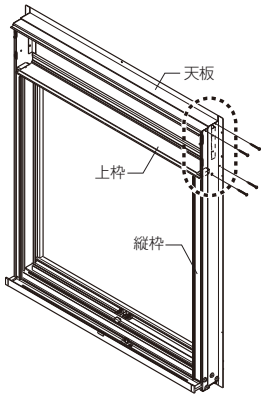
●縦枠と下枠の位置を下図のように合わせて、㋑バインドタッピンねじ4本で仮止めします。再度下枠の位置合わせをして、室内側のねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。



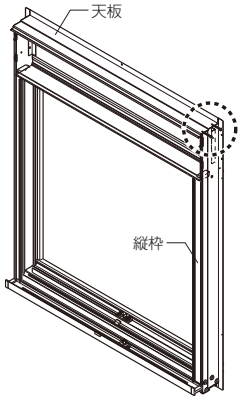

■縦枠と下枠の位置合わせ



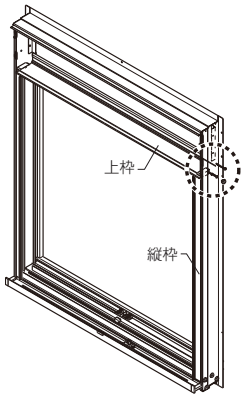
## 5縦枠と上枠・天板の仮止め



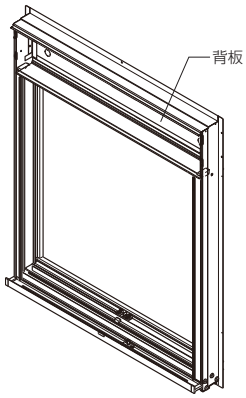

## 6縦枠と天板の固定




## 7縦枠と上枠の固定

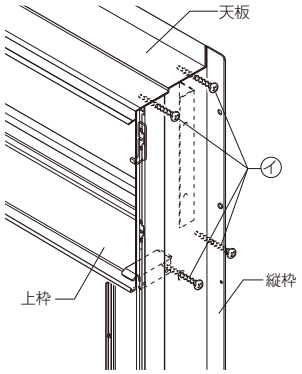



## 8背板の取付け



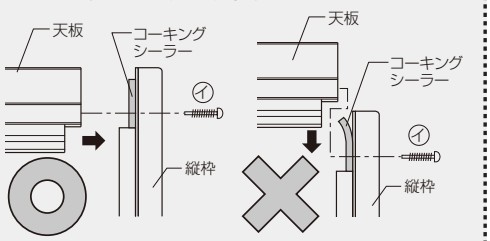

## 5縦枠と上枠・天板の仮止め

●縦枠と上枠・天板の位置合わせをし、㋑バインドタッピンねじの先端部を差込み、2～3回転ほど締めて仮止めします。



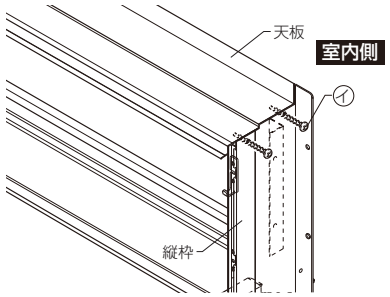

**⚠ 注 意**

●天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまいます。

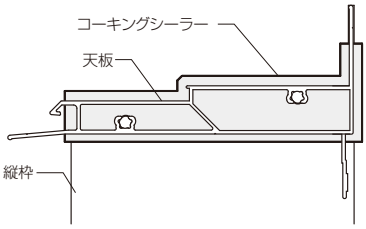



## 6縦枠と天板の固定

●縦枠と天板の位置を下図のように合わせて、室内側の㋑バインドタッピンねじから順に固定します。

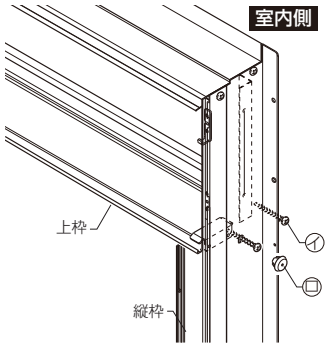



**■縦枠と天板の位置合わせ**

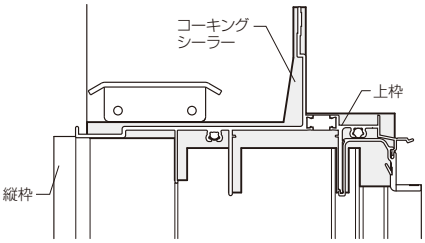



## 7縦枠と上枠の固定

●縦枠と上枠の位置を下図のように合わせて、室内側の㋑バインドタッピンねじから順に固定します。ねじ止め後、㋺プッシュボタンを取付けます。

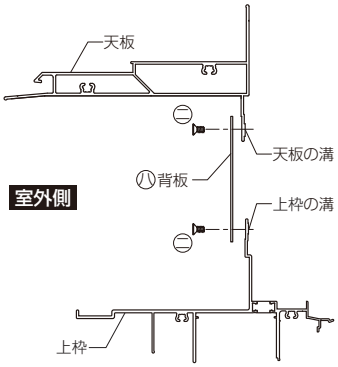


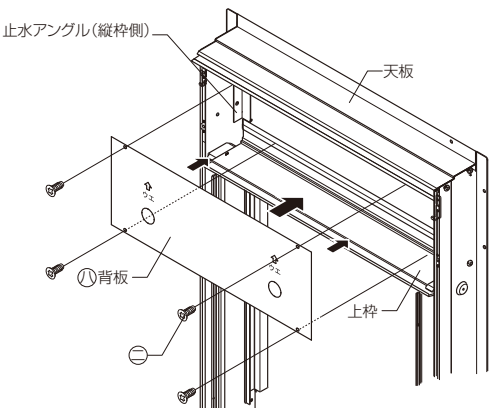

**■縦枠と上枠の位置合わせ**



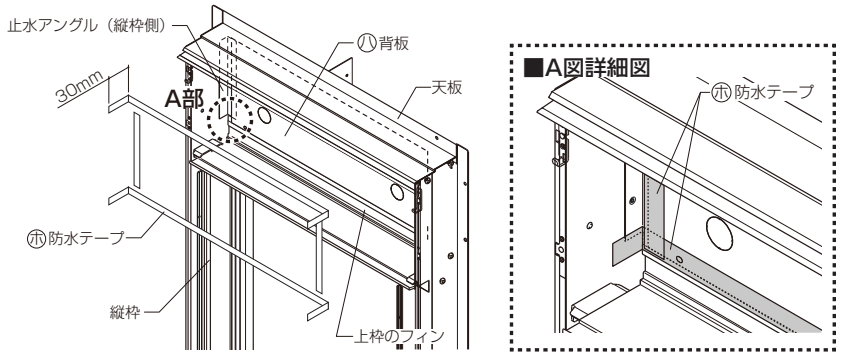

## 8背板の取付け

①㋩背板の「ウエ」の表示が室外側にくるように⬆の向きを上にして、天板・上枠の溝に背板を合わせて㋷皿小ねじで取付けてください。

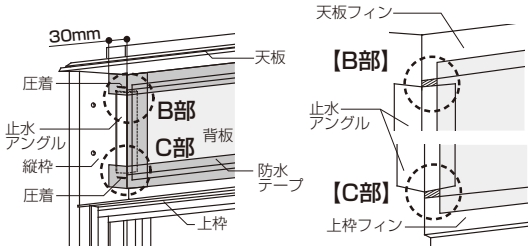


②上枠のフィン、縦枠の止水アングル、天板のフィンに㋣防水テープを張付けてください。
※上枠・天板に張る㋣防水テープは、両端が縦枠の止水アングルをかぶせるようにコーナー部で30mm折曲げて張付け圧着してください。

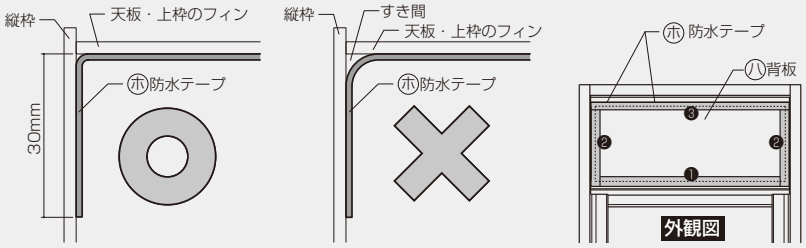



③㋣防水テープを圧着します。
※防水テープは下図▨が隠れるように張付けてください。




**⚠ 注 意**

●防水テープは、下記順序で背板の4周およびコーナー部に必ず圧着してください。
❶上枠→❷縦枠の止水アングル→❸天板




※コーナー部を圧着してください。

④張付け後、㋑背板、㋣防水テープに浮きがないか確認してください。

# シャッター付引違い窓　枠

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●障子建込みの際は、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の障子重量は最大で約90kgになります。)

●障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。

・必ず指定の釘・ねじを指定の本数使用して枠を固定した後、障子を建込んでください。

・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。

・躯体取付けねじは必ず枠取付けねじを固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。

●シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱などの躯体に取付けてください。

・シャッターを連窓にする場合、吊束を取付けてください。吊束は最大60kgの荷重がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。

●漏水の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、サッシ枠のねじ止めフィンを完全におおい、躯体との取合せ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ(別売り)を張ってください。(本文中の図参照)

・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。

●本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを取付けされる方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター<電動>の取付け範囲には含まれません。

●天板・上枠は水平に取付け、シャッター取付け部の開口寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。(a図参照)

●サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下のソリがないようにしてください。
取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。

●モルタル取付けの際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。

●モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。

●下枠先端部にのったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。

●シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

●取付け前に樹脂形材が外れている場合は、樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。

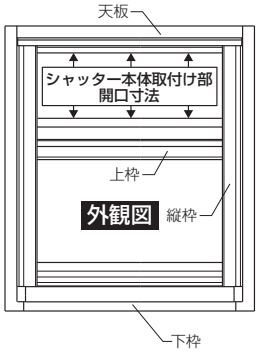
●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。(204単純段差の場合は27.5mm)
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。

●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5～2.0N・mにて取付けを行ってください。

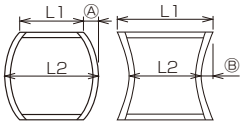
●節などの硬い部分や硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。

■a図



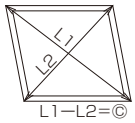
●躯体に固定する際に、サッシが下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**



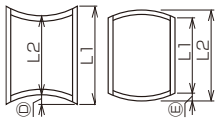

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**



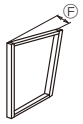

| C |
|---|
| 3 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**



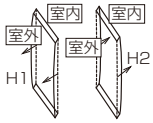

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**



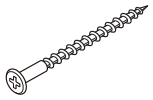
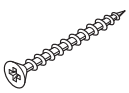

| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**



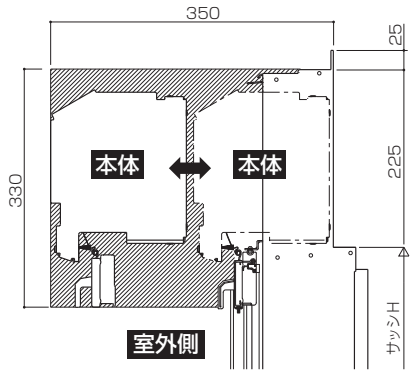

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

**■取付けねじ・使用部品一覧表**

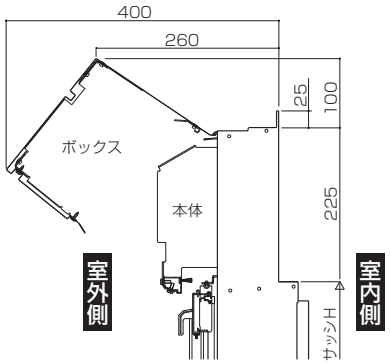
| ㋑〜㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋠ |
|---|---|---|---|---|
| |  |  | | |
| 枠取付けねじ[サッシ部]φ3.1×32（低頭ねじ） | 躯体固定ねじφ3.8×38（薄平木ねじ） | 枠取付けねじ[シャッター本体部]φ4×35（皿タッピンねじ） | 吊束補強板（吊束固定連窓のみ） | 平頭釘φ3×50（吊束固定連窓のみ） |

**■取付け順序**

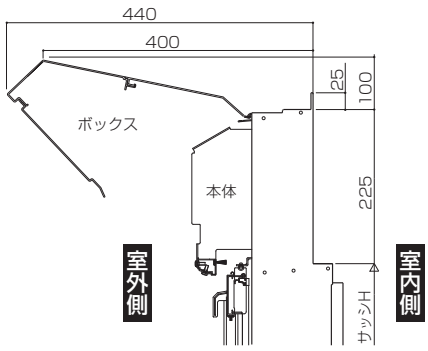
※シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。




**■D型ボックス**

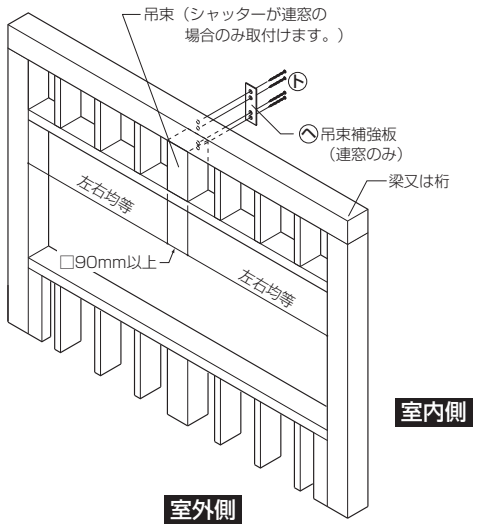



**■H型ボックス**



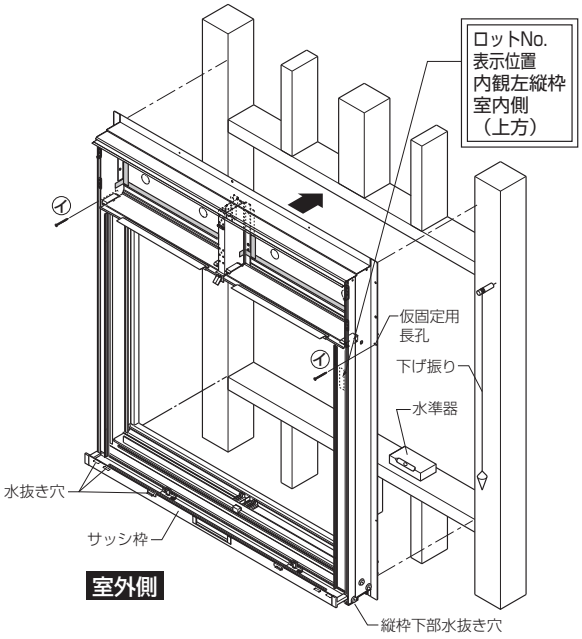

**❶吊束の取付け（連窓時）**

※吊束は左右均等の位置に取付けてください。
連窓するシャッターが左右均等でない場合、シャッター吊束取付け穴に吊束の中心がくるように取付けてください。

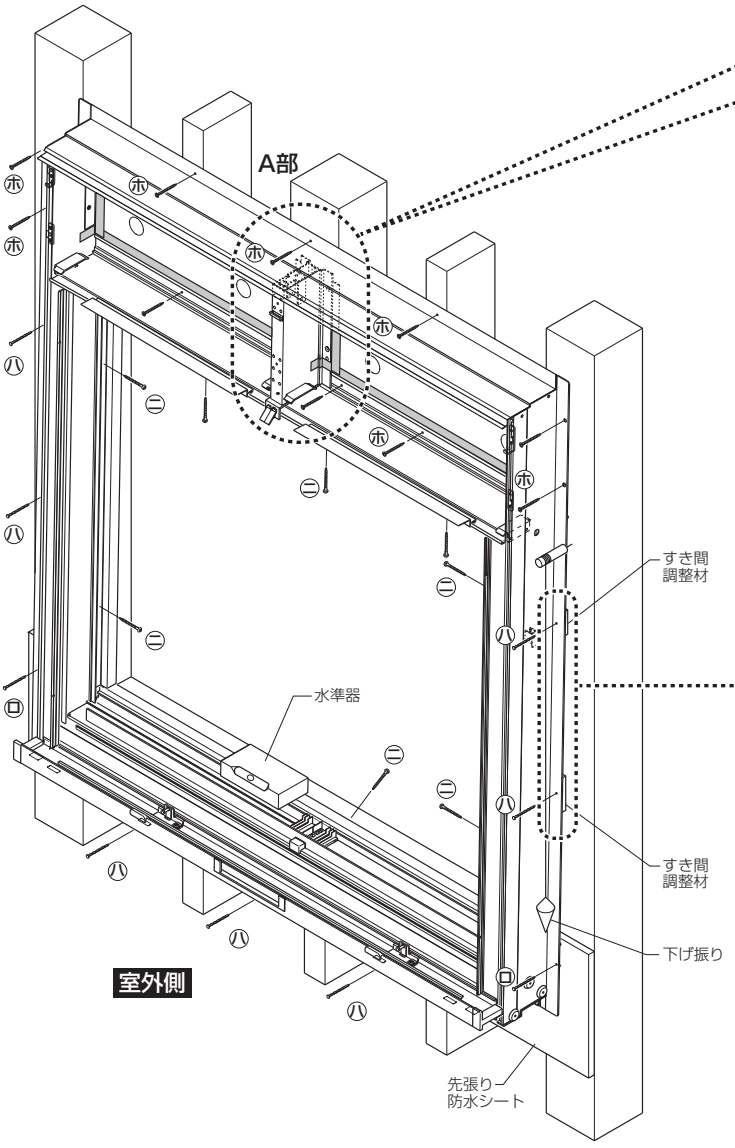



**❷枠の固定**

※枠固定の取付け精度については、「■取付け上のお願い」をご覧ください。
①開口部の水平・垂直を確認し、縦枠のサッシ部上部にある仮固定用長孔に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㊁を固定します。
枠の対角差を調整後、その他のねじを㋑、㋣、㋩の順に固定します。

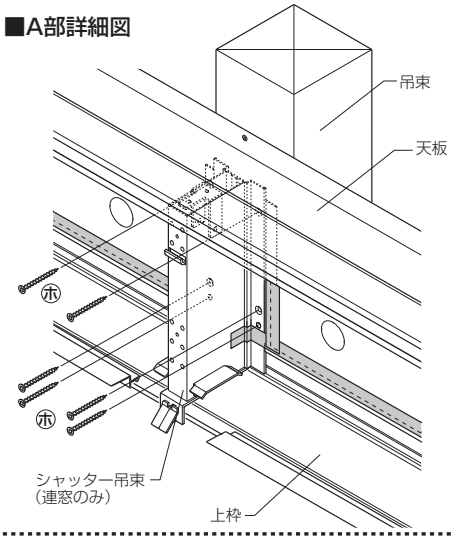



■シャッター吊束部取付け詳細（連窓のみ）

**⚠ 注 意**

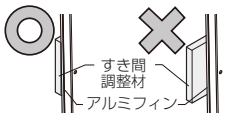
●枠取付けねじはすべて取付けてください。障子が落下するおそれがあります。

■A部詳細図




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

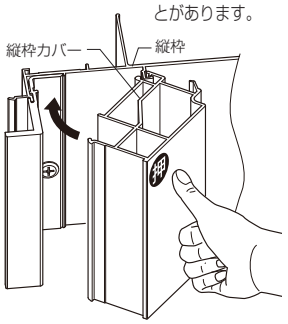



**⚠ 注 意**

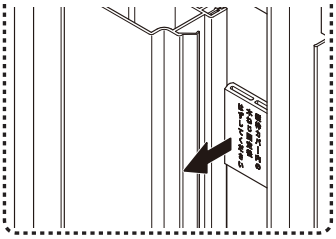
●㋥躯体取付けねじは必ず枠取付けねじを固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がころび、樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。
※枠取付けねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。
縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

③躯体取付けねじを固定後、縦枠カバーを上端から順に指で押し込み、縦枠にはめ込んでください。
※縦枠カバーは、ハンマーなどではたたかないでください。縦枠カバーが割れるおそれがあります。
※躯体取付けねじは、サイズによりない場合もあります。

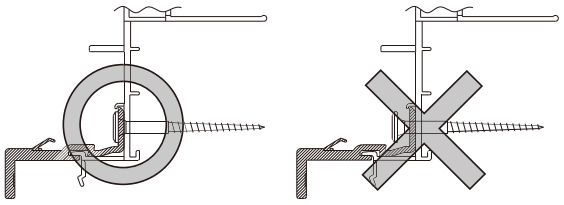



※青い部品は縦枠カバーはめ込み後、はずしてください。



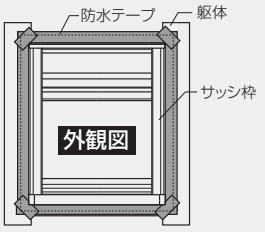
**お願い**

※右縦枠取付ねじの浮きに注意してください。
ねじが浮いていると、ねじ頭と障子が干渉し、障子戸先が変形もしくはへこむおそれがあります。



**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠のねじ止めフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ（別売り）を張ってください。



## 3 障子の建込み

### ■建付け調整

#### ■戸車調整

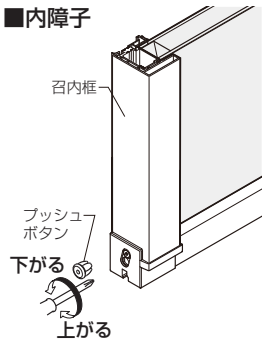
●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）

※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください

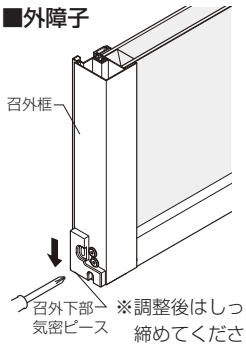
**お願い**

※外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。）

■内障子




■外障子




※調整後はしっかりねじを締めてください。

#### ■クレセント調整

**【上下方向の調整】（クレセント本体）**

①キャップを外します。

②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。

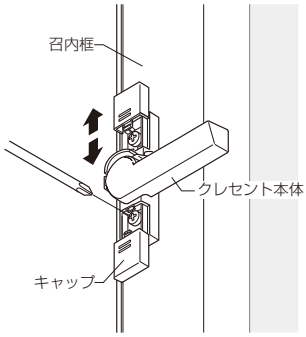
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

**【左右方向の調整】（クレセント受け）**

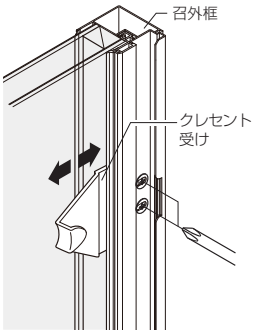
●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

【上下方向の調整】




【左右方向の調整】



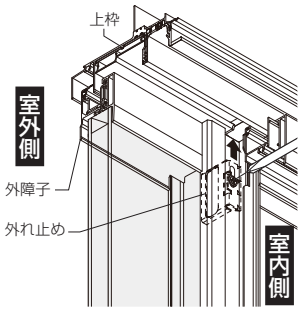

#### ■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

**⚠ 注 意**

●必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。




### ■下枠アングルの取付け

#### ■下枠アングルの取付け（在来単体・装飾テラスのみ）

※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。

※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に3mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

●下枠アングルがねじレスの場合

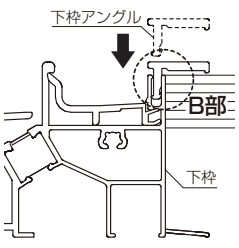
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。

※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。

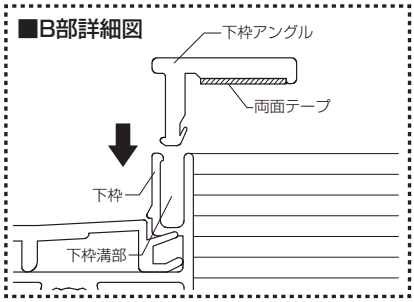
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。

※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。

③内装材に強く押付けて圧着します。




■B部詳細図



# シャッター付引違い窓　枠

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●障子建込みの際は、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。（組立て後の障子重量は最大で約90kgになります。）

●障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。
・必ず指定のスクリュー釘・ねじを指定の本数使用して枠を固定した後、障子を建込んでください。
・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。
・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。

●シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱などの躯体に取付けてください。
・シャッターを連窓にする場合、吊束を取付けてください。吊束は最大60kgの荷重がかかりますので、□90mm以上の木材を使用してください。

●漏水の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、サッシ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合せ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ（別売り）を張ってください。（本文中の図参照）
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス（点検口）、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

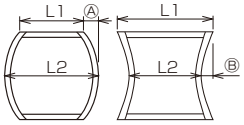
## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
●本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを取付けされる方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター＜電動＞の取付け範囲には含まれません。
●天板・上枠は水平に取付け、シャッター取付け部の開口寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。（a図参照）
●サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下のソリがないようにしてください。
取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
●モルタル取付けの際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。
●モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
●下枠先端部にのったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。
●シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
●取付け前に樹脂形材が外れている場合は、樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。
●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。（204単純段差の場合は27.5mm）
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

■a図

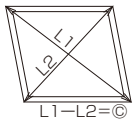
●躯体に固定する際に、サッシが下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**



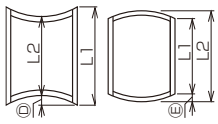

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**



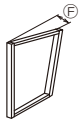

| C |
|---|
| 3 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**



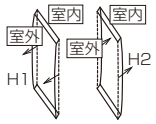

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**



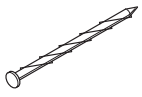
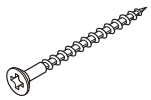
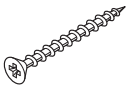
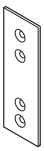
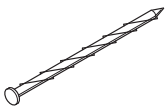

| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**



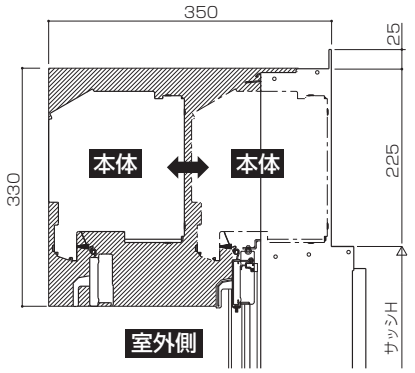

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

**■取付けねじ・使用部品一覧表**

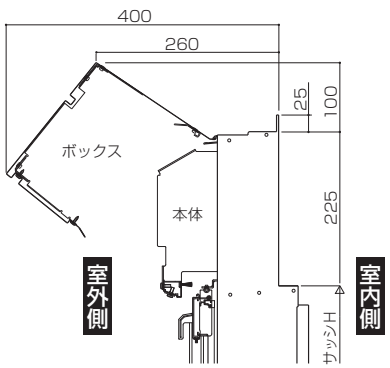
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| スクリュー釘φ2.1×32（枠取付け[サッシ部]） | 皿木ねじφ3.8×38（躯体固定） | 皿タッピンねじφ4×35（枠取付け[シャッター本体部]） | 吊束補強板（吊束固定連窓のみ） | 平頭釘φ3×50（吊束固定連窓のみ） |

**■取付け順序**

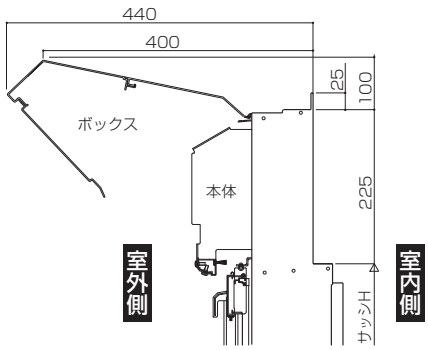
※シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。




**■D型ボックス**

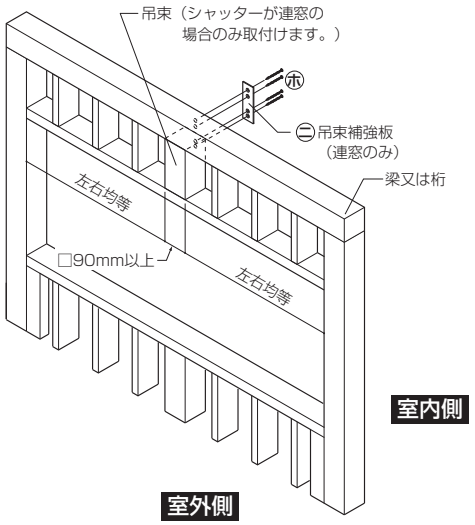



**■H型ボックス**



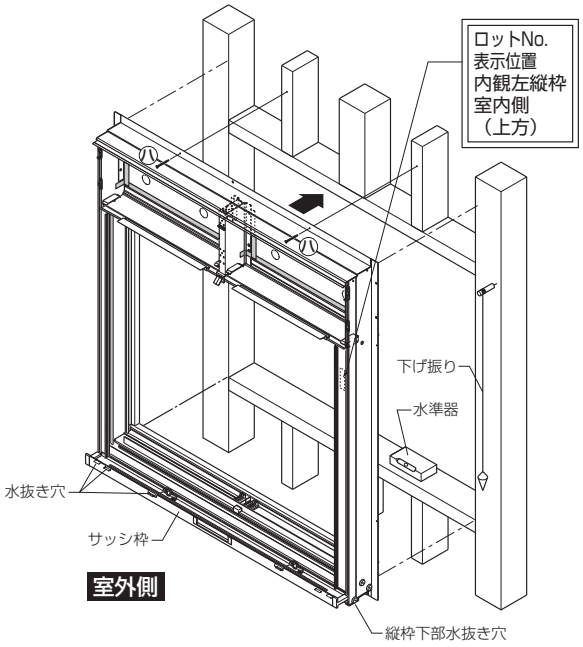

**❶吊束の取付け（連窓時）**

※吊束は左右均等の位置に取付けてください。
連窓するシャッターが左右均等でない場合、シャッター吊束取付け穴に吊束の中心がくるように取付けてください。

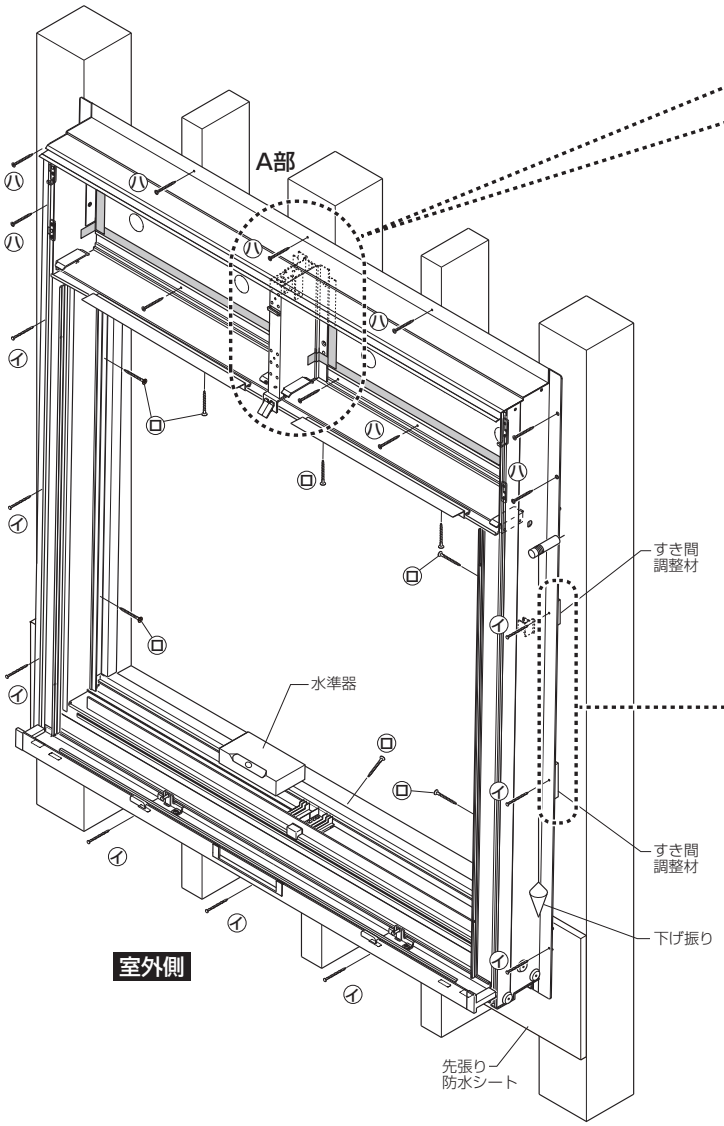



**❷枠の固定**

※枠固定の取付け精度については、「■取付け上のお願い」をご覧ください。
①開口部の水平・垂直を確認し、㋩皿タッピンねじで枠を仮止めします。



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。

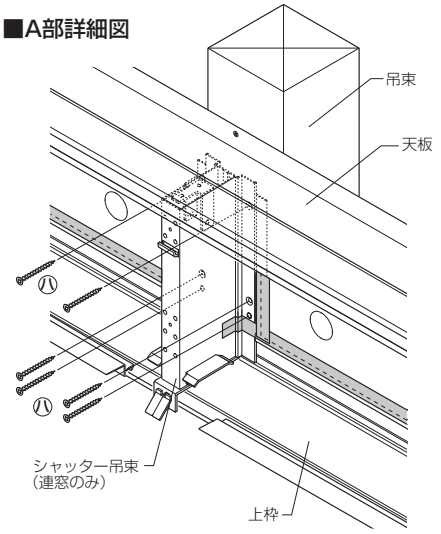



■シャッター吊束部取付け詳細（連窓のみ）

**⚠ 注 意**

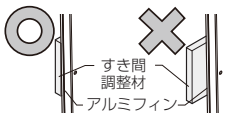
●枠取付けねじはすべて取付けてください。障子が落下するおそれがあります。

■A部詳細図




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

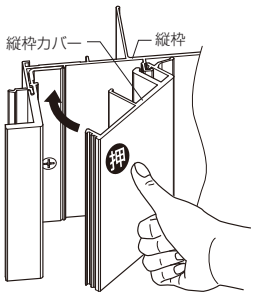



**⚠ 注 意**

●躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

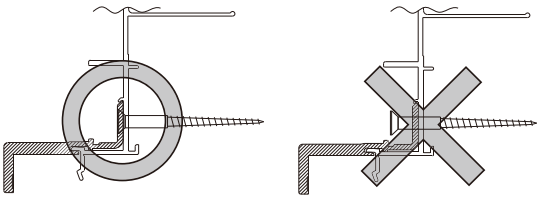
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

③躯体取付けねじを固定後、縦枠カバーを上端から順に指で押し込み、縦枠にはめ込んでください。
※縦枠カバーは、ハンマーなどではたたかないでください。縦枠カバーが割れるおそれがあります。
※躯体取付けねじは、サイズによりない場合もあります。



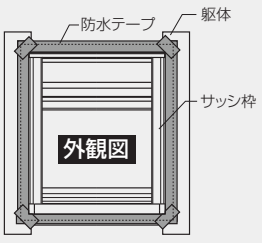

**お願い**

※右縦枠取付ねじの浮きに注意してください。
ねじが浮いていると、ねじ頭と障子が干渉し、障子戸先が変形もしくはへこむおそれがあります。



**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ（別売り）を張ってください。



## 3 障子の建込み

### ■建付け調整

#### ■戸車調整

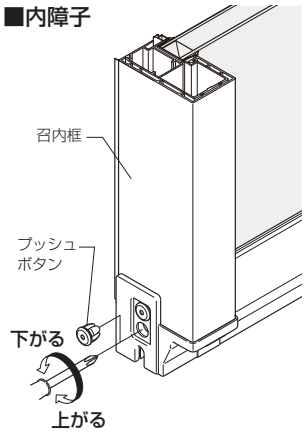
●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）

※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください

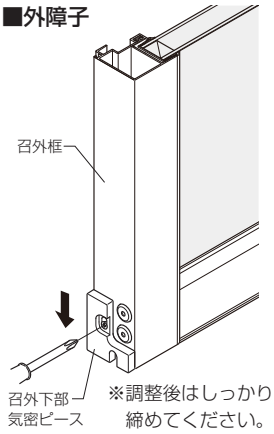
**お願い**

※外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。）

■内障子




■外障子




#### ■クレセント調整

**【上下方向の調整】（クレセント本体）**

①キャップを外します。

②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。

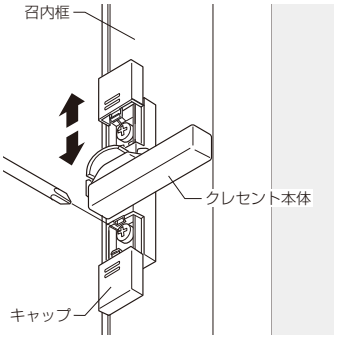
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

**【左右方向の調整】（クレセント受け）**

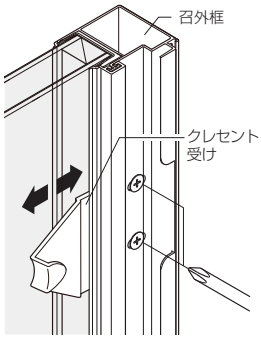
●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

【上下方向の調整】




【左右方向の調整】



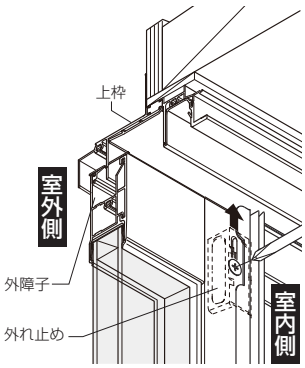

#### ■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

**⚠ 注 意**

●必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。




### ■下枠アングルの取付け

#### ■下枠アングルの取付け（在来単体・装飾テラスのみ）

※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。

※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

●下枠アングルがねじレスの場合

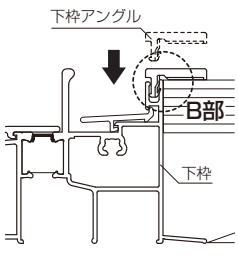
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。

※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。

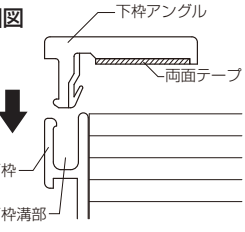
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。

※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。

③内装材に強く押付けて圧着します。




■B部詳細図



# シャッター付引違い窓　枠

●枠のブランドラベルに防火戸FG、本体とガイドレールに防火設備と表示されていることを確認してください。枠・本体・ガイドレールともに、防火仕様を使用しない場合、遮炎性能を満たしません。
●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

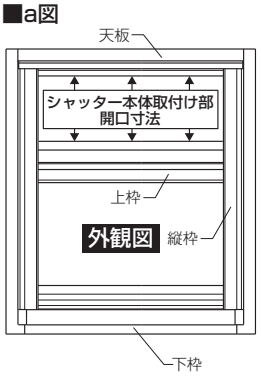
**⚠ 注 意**

●障子建込みの際は、相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。（組立て後の障子重量は最大で約90kgになります。）
●障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがあります。
・必ず指定のスクリュー釘・ねじを指定の本数使用して枠を固定した後、障子を建込んでください。
・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。
・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
●シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱などの躯体に取付けてください。
●漏水の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合せ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ（別売り）を張ってください。（本文中の図参照）
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス（点検口）、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

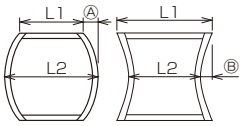
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
●本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを取付けされる方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター＜電動＞の取付け範囲には含まれません。
●天板・上枠は水平に取付け、シャッター取付け部の開口寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。（a図参照）
●サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下のソリがないようにしてください。
取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
●モルタル取付けの際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。
●モルタルはくり剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
●下枠先端部にのったり、重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。
●シャッター部分の組立て・取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
●取付け前に樹脂形材が外れている場合は、樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。
●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。（204単純段差の場合は27.5mm）
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

■a図



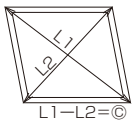
●躯体に固定する際に、サッシが下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**

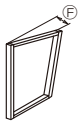



| C |
|---|
| 3 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**

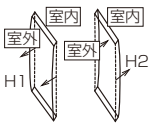
| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**



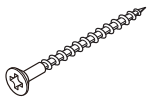
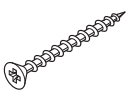

| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

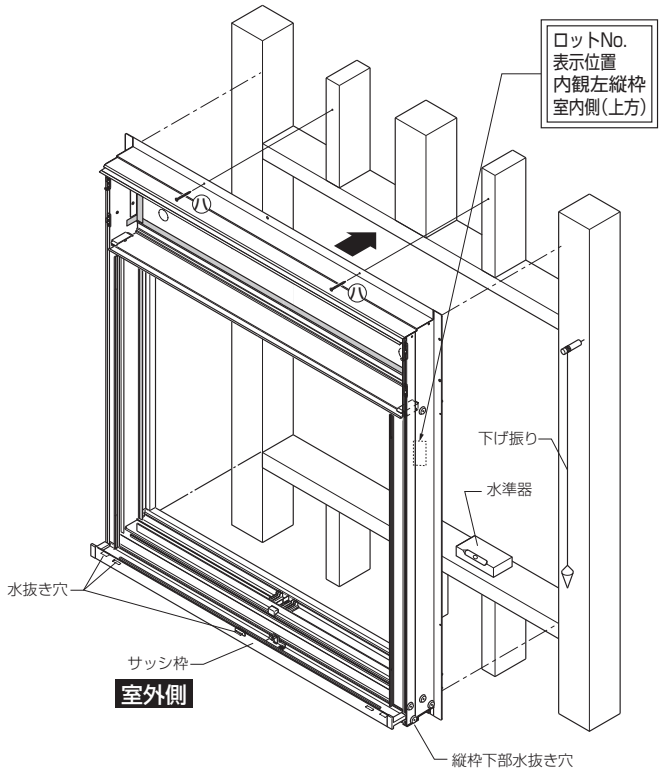
## ■取付けねじ・使用部品一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
| |  |  |
| スクリュー釘φ2.1×32（枠取付け[サッシ部]） | 皿木ねじφ4×38（躯体固定） | 皿タッピンねじφ4×35（枠取付け[シャッター本体部]） |

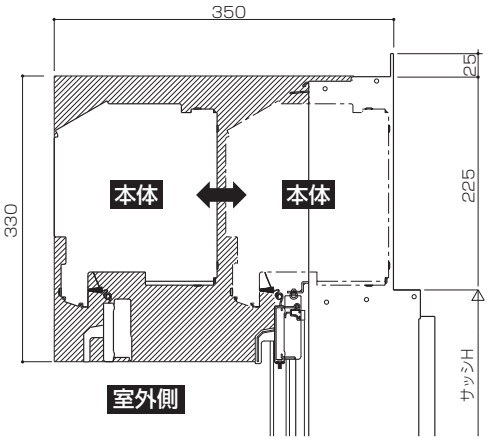
## ■取付け順序

### ❶枠の固定

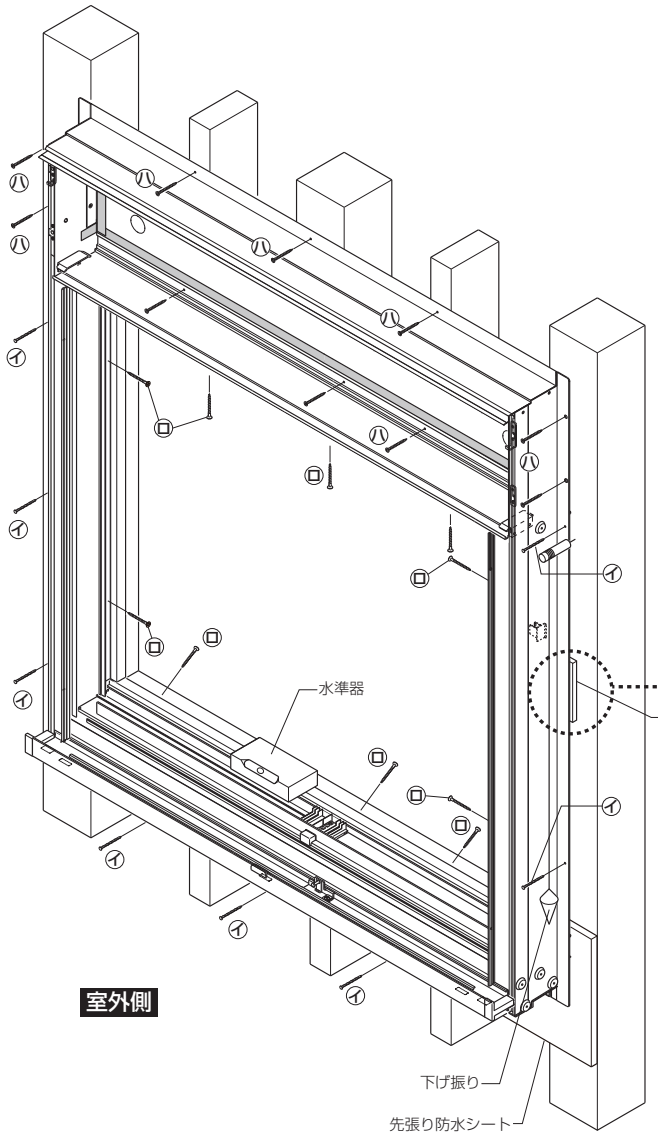
※枠固定の取付け精度については、「■取付け上のお願い」をご覧ください。
①開口部の水平・垂直を確認し、㋩皿タッピンねじで枠を仮止めします。



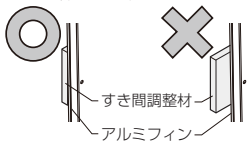

※シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。



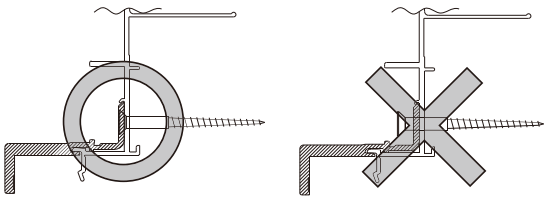
②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。




**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



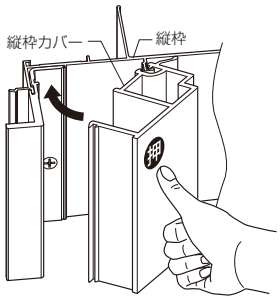

**お願い**
※右縦枠取付ねじの浮きに注意してください。
ねじが浮いていると、ねじ頭と障子が干渉し、障子戸先が変形もしくはへこむおそれがあります。



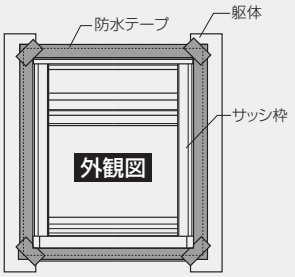
**⚠ 注 意**
●躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

③躯体取付けねじを固定後、縦枠カバーを上端から順に指で押し込み、縦枠にはめ込んでください。
※縦枠カバーは、ハンマーなどではたたかないでください。縦枠カバーが割れるおそれがあります。




**⚠ 注 意**
●本製品取付け後、サッシ枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部およびサッシ枠の角部が完全に隠れるように防水テープ（別売り）を張ってください。



## 2障子の建込み

### ■建付け調整

#### ■戸車調整

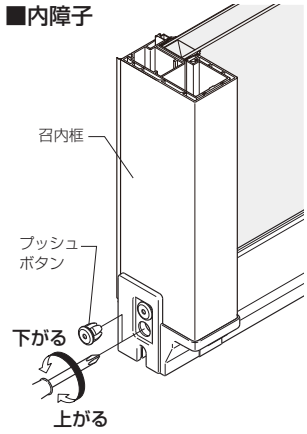
●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）

※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください

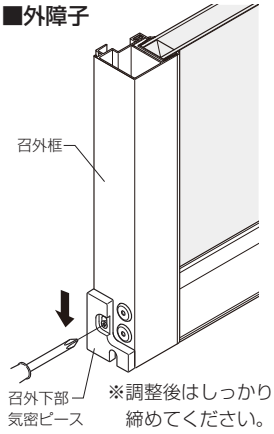
**お願い**

※外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。）

■内障子




■外障子




#### ■クレセント調整

【上下方向の調整】（クレセント本体）

①キャップを外します。

②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。

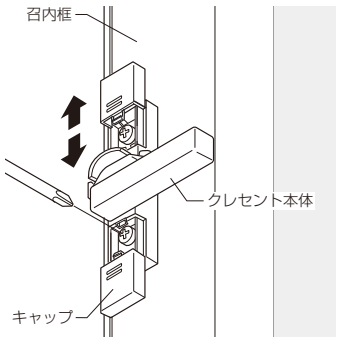
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。

【左右方向の調整】（クレセント受け）

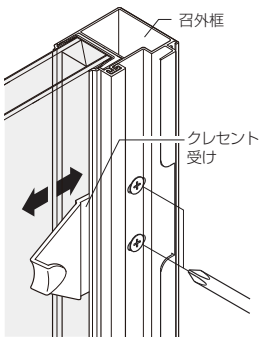
●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

【上下方向の調整】




【左右方向の調整】



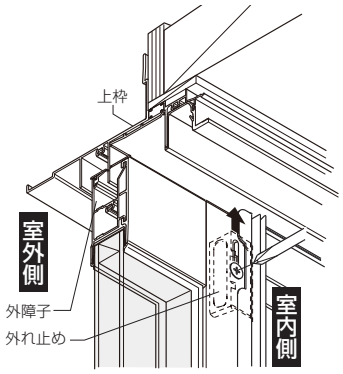

#### ■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

**⚠ 注 意**

●必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。




### ■下枠アングルの取付け

#### ■下枠アングルの取付け（在来テラスのみ）

※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。

※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

●下枠アングルがねじレスの場合

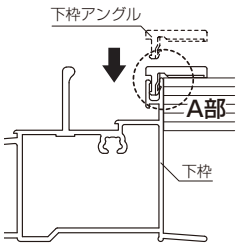
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。

※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。

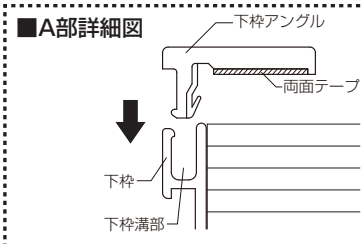
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。

※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。

③内装材に強く押付けて圧着します。




■A部詳細図



# シャッター付引違い窓　ボックスS型・H型・D型　[単窓]

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。　※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取り付けられる方へのお願い

●取付け前に必ず本説明書をお読みください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●シャッターボックスの脱落や雨漏り・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品は必ず指定のねじで取り付けてください。
・樹脂カバー（H型・D型)は、差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。

## ■取付け上のお願い

●ボックスを軒天内部に納める場合、必ず点検口が外部から取り外しできる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●H型・D型ボックスは、取付けの際、壁等に立て掛けないでください。ボックスサイドカバー取付け部が変形し、取り付けられなくなることがあります。

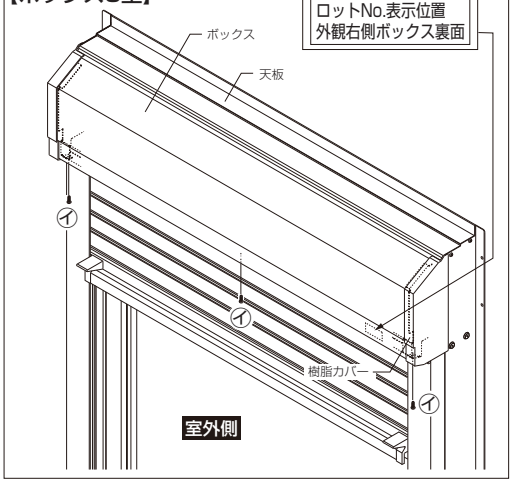
## ■ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
| | | |
| M4×10バインド小ねじ(先付) | M4×12バインド小ねじ(H型・D型のみ) | φ4×14バインドタッピンねじ(H型・D型のみ) |

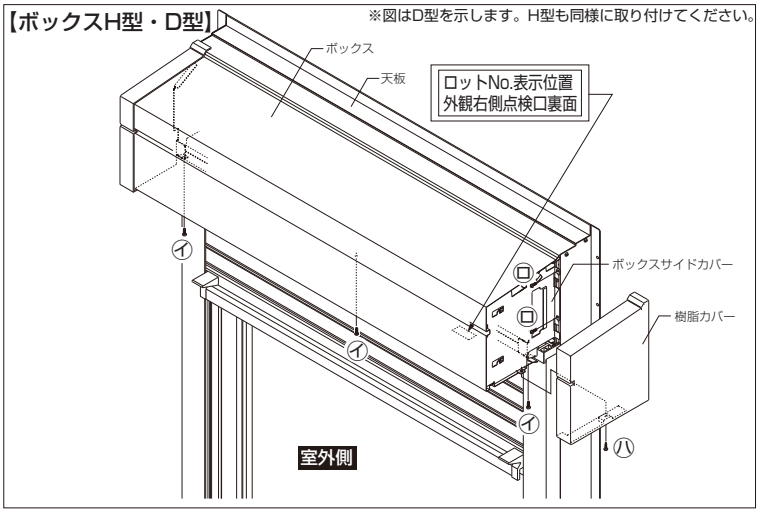
## ■取付け順序

※図は鋼板ボックスを示します。アルミボックスも同様に取り付けてください。

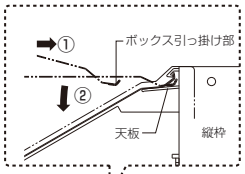
【ボックスS型】

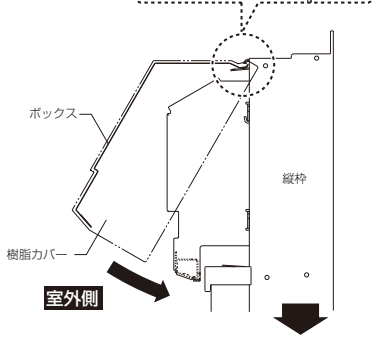



【ボックスH型・D型】　※図はD型を示します。H型も同様に取り付けてください。

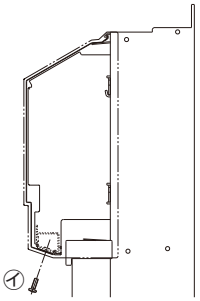



①ボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取り付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。

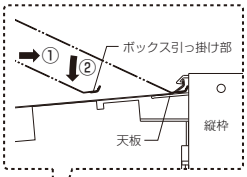


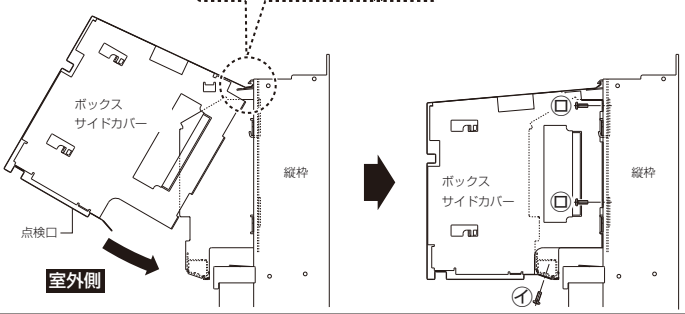




②ボックスの下側から本体へねじ止めします。
※すべての穴に対してねじ止めしてください。



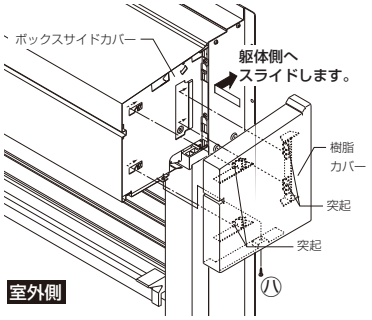
①ボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取り付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。




②ボックスサイドカバーの両端部から縦枠へねじ止めします。
③ボックスの下側から本体へねじ止めします。
※すべての穴に対してねじ止めしてください。

④樹脂カバー裏面のすべての突起をボックスサイドカバーの穴に合わせて躯体側へスライドさせ、ねじ穴を合わせてねじ止めします。
※樹脂カバーが差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。



# シャッター付引違い窓　ボックスS型・H型・D型　[連窓]

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※ ▭ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

### ■取り付けられる方へのお願い

●取付け前に必ず本説明書をお読みください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠ 注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●シャッターボックスの脱落や雨漏り・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品は必ず指定のねじで取り付けてください。
・樹脂カバー(H型・D型)は、差し込まれていることを確認してからねじ止めしてください。

### ■取付け上のお願い

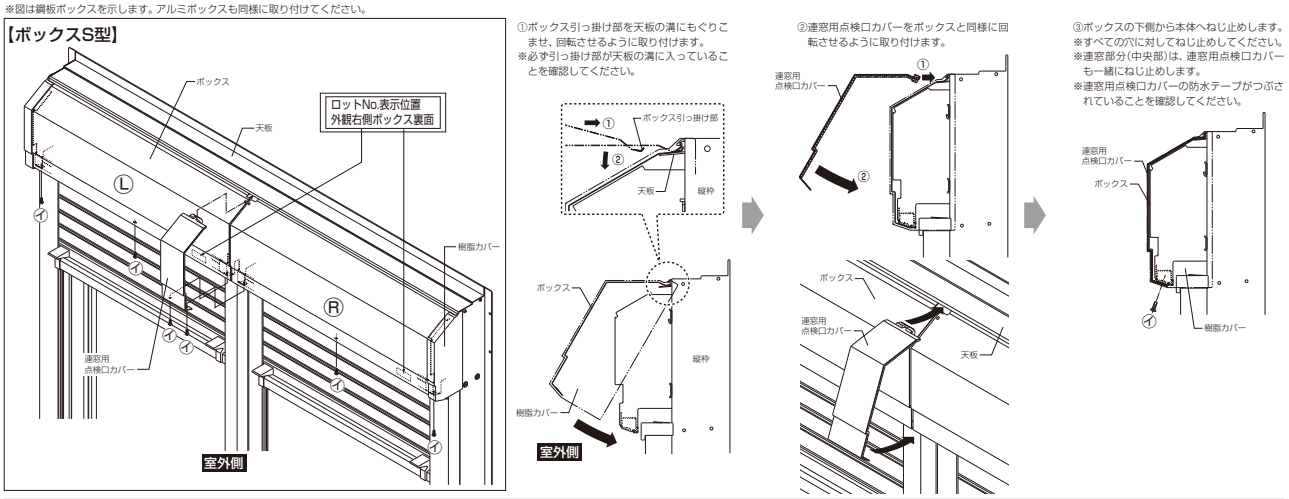
●ボックスを軒天内部に納める場合、必ず点検口が外部から取り外しできる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●H型･D型ボックスは、取付けの際、壁等に立て掛けないでください。ボックスサイドカバー取付け部が変形し、取り付けられなくなることがあります。

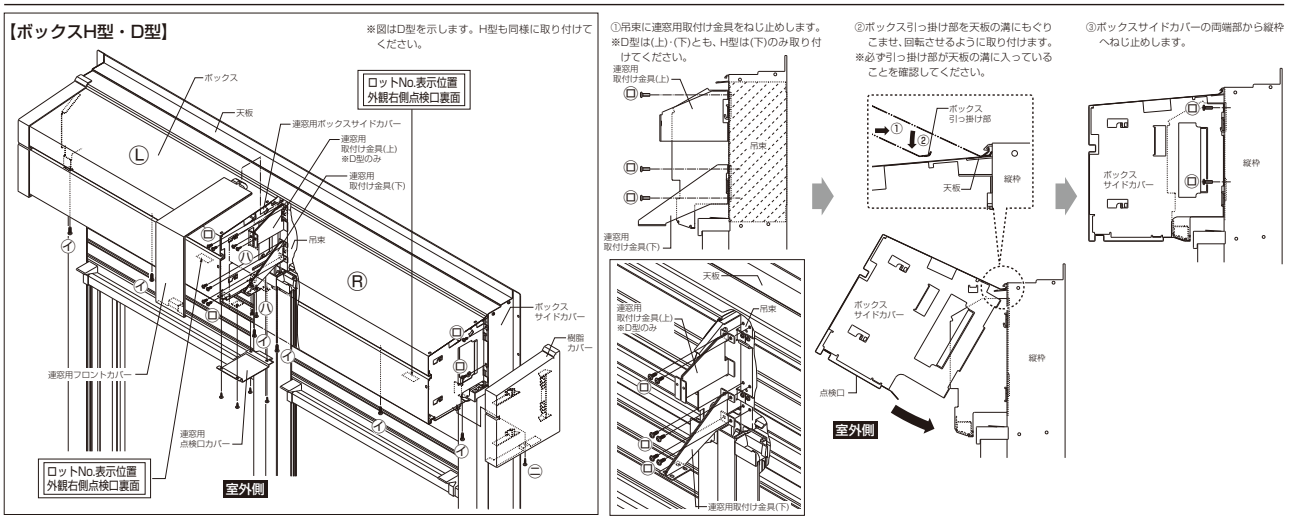
### ■ねじ一覧表

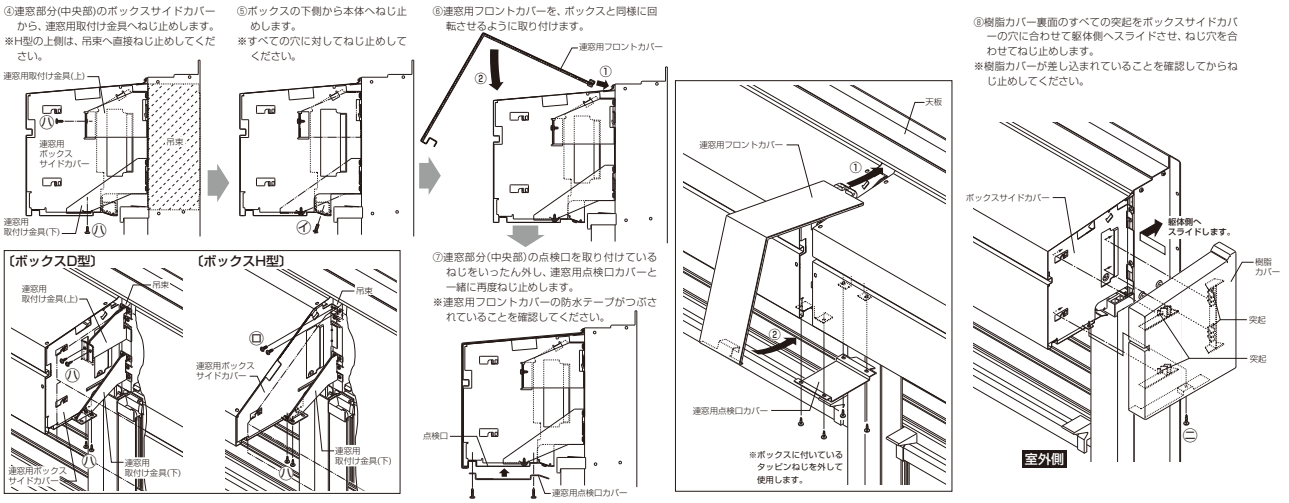
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|
| M4×10<br>バインド小ねじ(先付) | M4×12<br>バインド小ねじ<br>(H型･D型のみ) | φ4×10<br>バインドタッピンねじ<br>(H型･D型のみ) | φ4×14<br>バインドタッピンねじ<br>(H型･D型のみ) |

### ■取付け順序

※図は鋼板ボックスを示します。アルミボックスも同様に取り付けてください。



# シャッター付引違い窓　本体・ガイドレール　イタリヤ・クワトロ手動[単窓]

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

※シャッター本体の脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
●本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。
※取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
※漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
●入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス（点検口）、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

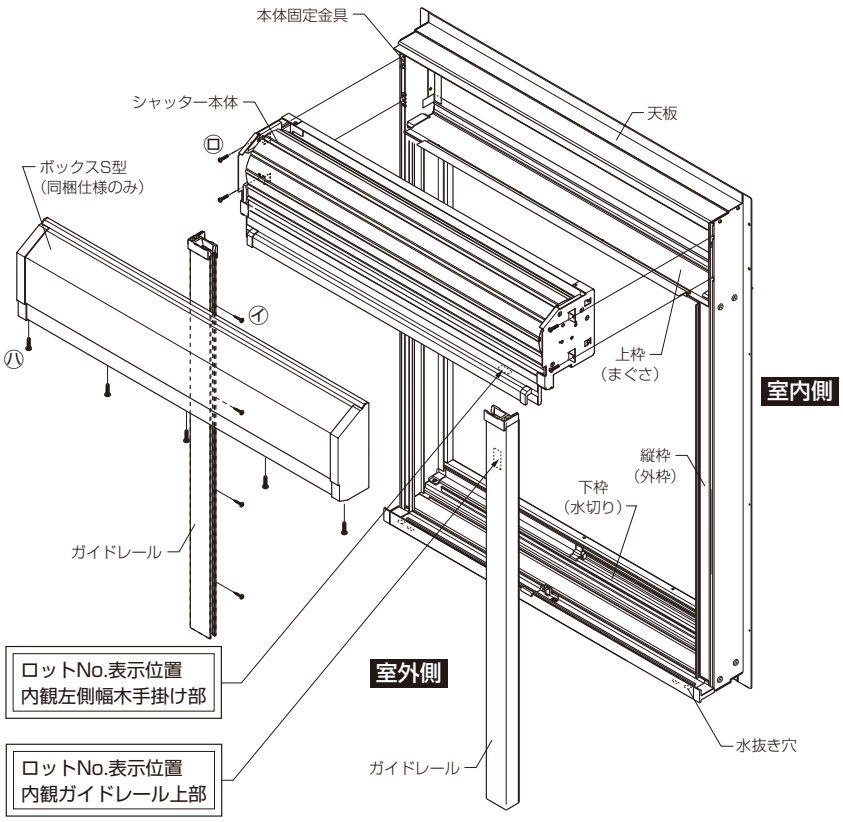
## ■取付け上のお願い

●シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠（水切り）の上下のソリがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、かい物などで調整してください。
●本体取付けフィンの固定の際、天板のへこみがないように水糸などで確認して行ってください。シャッターの作動不良の原因になります。
●本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス（点検口）およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●壁仕上げの際、ボックス（点検口）・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠（水切り）にモルタルが付着しないように指導してください。
●モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
●枠部分の組立て・取付けについては「サッシ枠 組立て説明書」、「サッシ枠 取付け説明書」、「単体枠 取付け説明書」をご覧ください。
●S型以外のボックスの取付けについては、「ボックス 取付け説明書」をご覧ください。

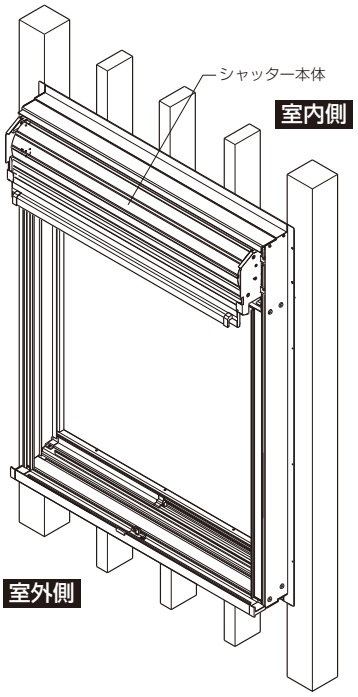
## ■ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩（ボックスS型同梱仕様のみ） |
|---|---|---|
| | | |
| トラスタッピンねじ（D9.4）φ4×8 | バインド小ねじ（D8.3）M4×12 | バインド小ねじ（先付け）M4×10 |

## ■構成図



## ❶本体の取付け

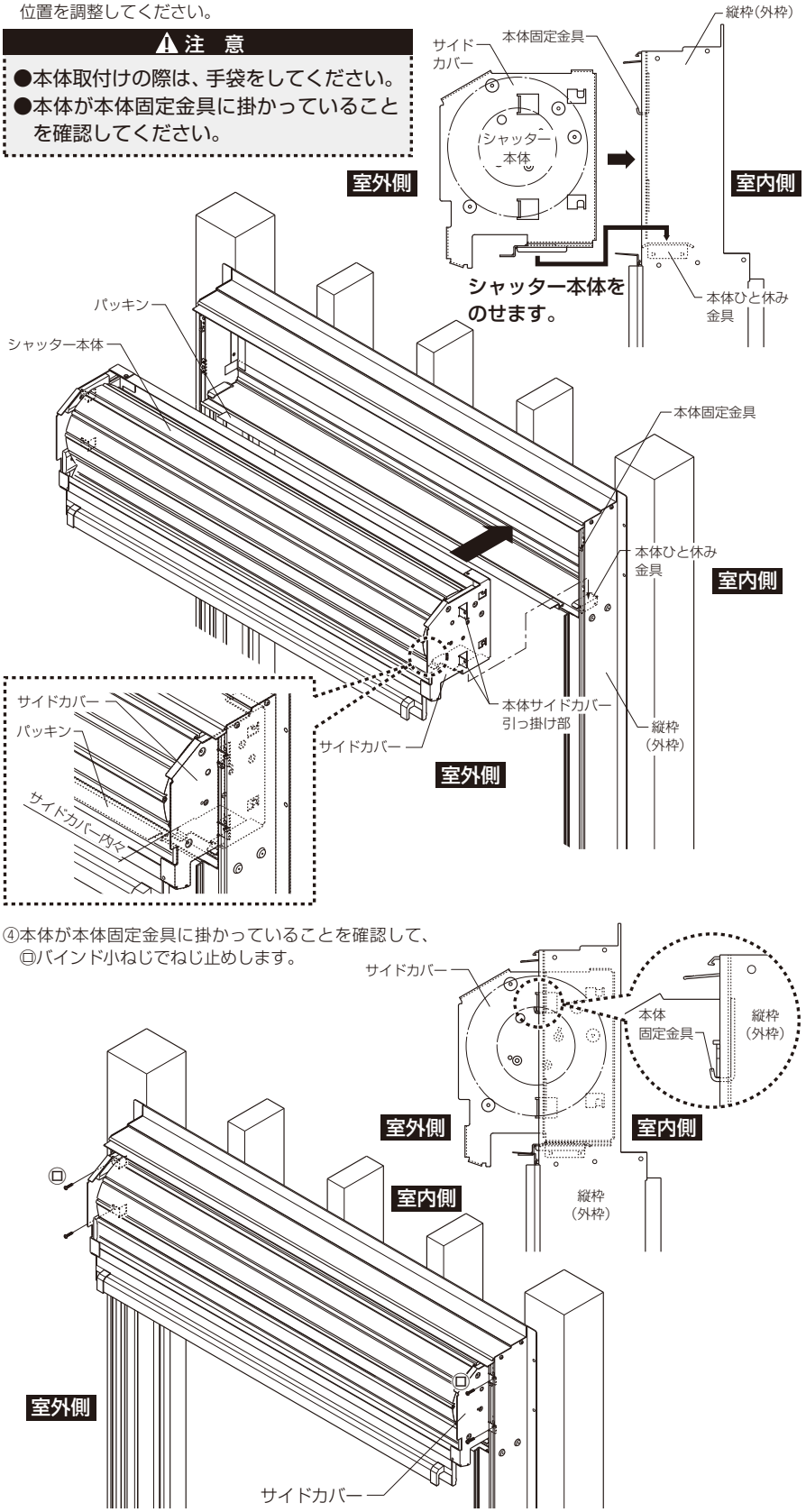



## ❶本体の取付け

①シャッター本体を縦枠(外枠)のひと休み金具の上にのせます。
②本体サイドカバーの引っ掛け部が、本体固定金具に当たるまで押込んでください。
③本体サイドカバーの引っ掛け部を、片側ずつ本体固定金具に掛けてください。
※パッキンは、サイドカバーの内々に配置されているか確認してください。ズレている場合は、パッキンの位置を調整してください。

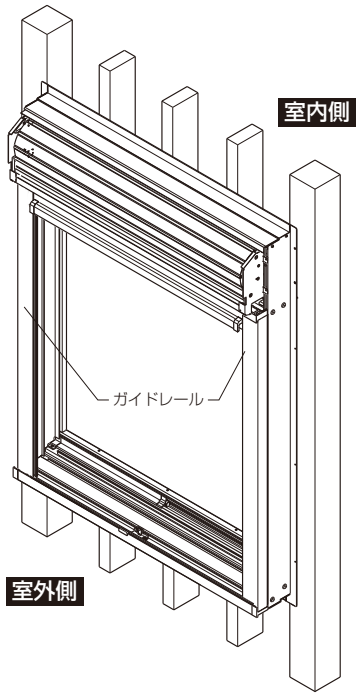
**⚠注　意**

- ●本体取付けの際は、手袋をしてください。
- ●本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。



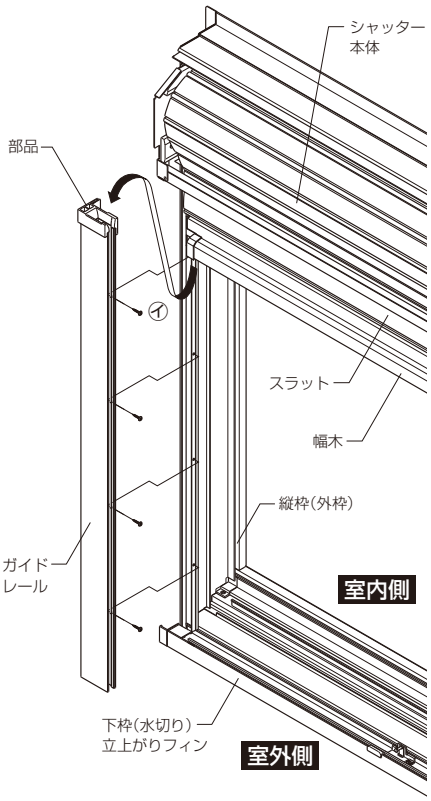

④本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、
◎バインド小ねじでねじ止めします。

## 2ガイドレールの取付け

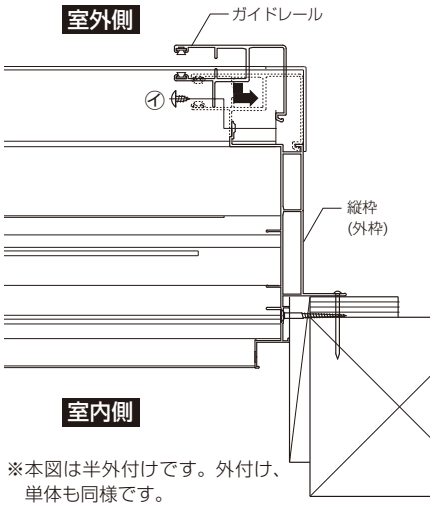



## 2ガイドレールの取付け

①幅木を引下げ、ガイドレールの上端(部品側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠(水切り)立上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠(外枠)にはめ込み、㋑タッピンねじで固定します。
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「3スラットの横ズレの確認」を行ってください。




**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



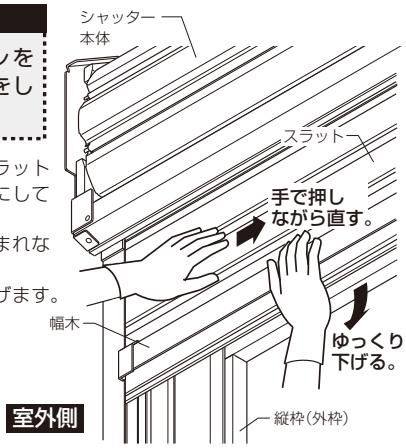

※本図は半外付けです。外付け、単体も同様です。

### 3スラットの横ズレの確認

①幅木の中央を持ち、開口の1 ／ 3程度までスラットをゆっくり下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

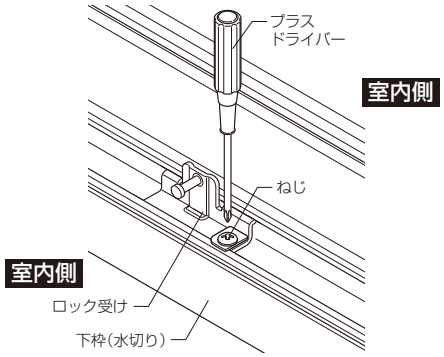
**⚠注 意**
●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

※縦枠(外枠)・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。



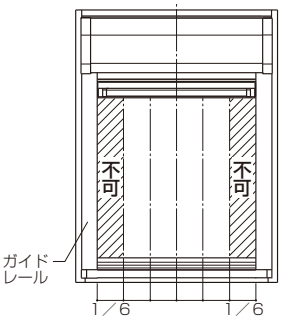

### 4ロック位置の確認と調整方法

※ロックのかかりを確認してください。
①数回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
②ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締直します。

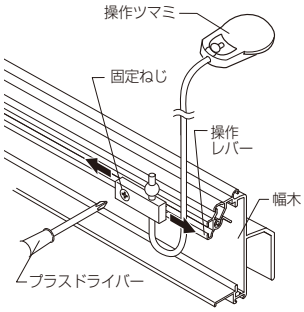


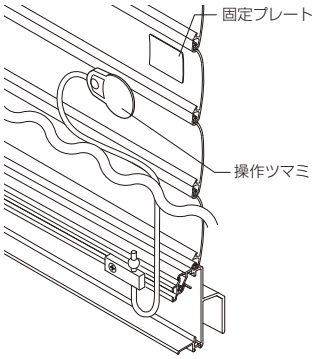

### 5操作ツマミ位置の確認と調整

※使い勝手などのために操作ツマミの位置を変更する場合は、以下の手順にしたがってください。
※開口の1 ／ 6の距離よりもガイドレール寄りに操作ツマミを移動させないでください。幅木の端を持って開閉することにつながり、作動不良の原因になります。
①操作レバーに付いている操作ツマミの固定ねじをゆるめてスライドさせます。
②位置を決めた後、固定ねじを締直します。(クワトロは固定プレートの下になるように位置を合せてください。)



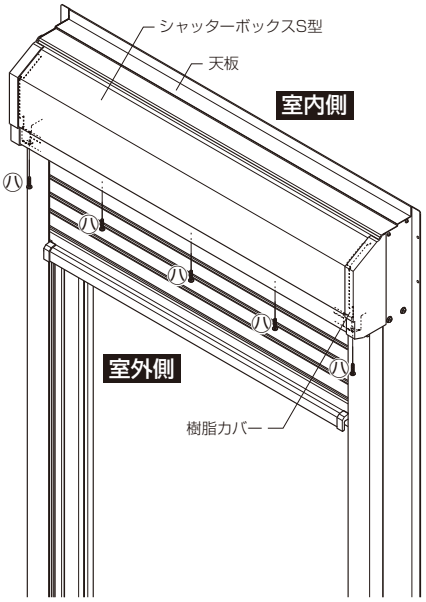

【クワトロの場合】



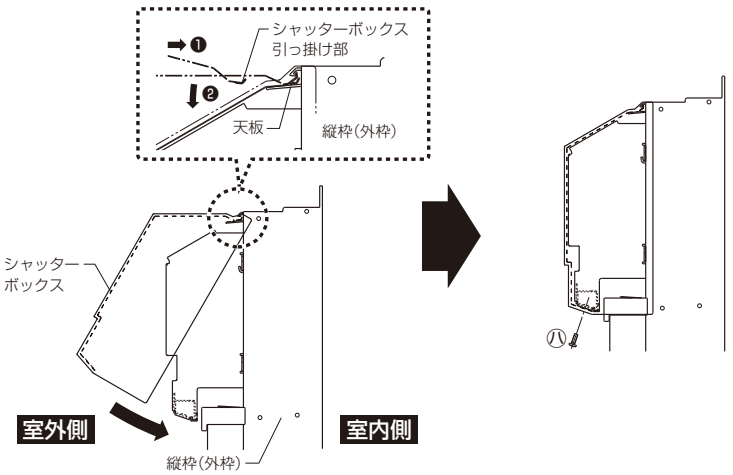

**シャッターを開けるときのお願い**
※スラットのキズや変形防止のため、操作ツマミはスラットにつけずに垂らしておくか、一番下のスラットにつけてシャッターを開けてください。

### 6シャッターボックスS型の取付け(同梱仕様のみ)




①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。

②シャッターボックスの下側から本体へ㋑バインド小ねじで止めます。



# シャッター付引違い窓　本体･ガイドレール　イタリヤ手動[連窓]

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

※シャッター本体の脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
●シャッター吊束が□90mm以上の木材に固定されていることを確認してください。
●本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。
※取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
※漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
●入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

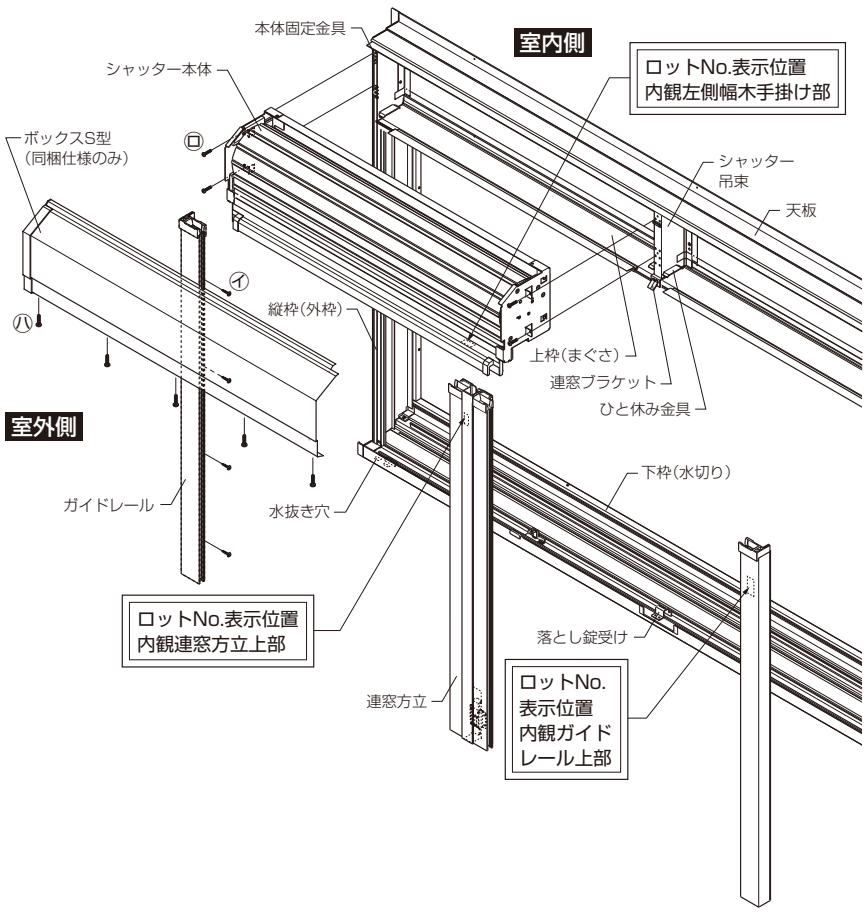
## ■取付け上のお願い

●シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠(水切り)の上下のソリがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、かい物などで調整してください。
●本体取付けフィンの固定の際、天板のへこみがないように水糸などで確認して行ってください。シャッターの作動不良の原因になります。
●本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス(点検口)およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●壁仕上げの際、ボックス(点検口)・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠(水切り)にモルタルが付着しないように指導してください。
●モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
●枠部分の組立て・取付けについては「サッシ枠 組立て説明書」、「サッシ枠 取付け説明書」、「単体枠 取付け説明書」をご覧ください。
●S型以外のボックスの取付けについては、「ボックス 取付け説明書」をご覧ください。

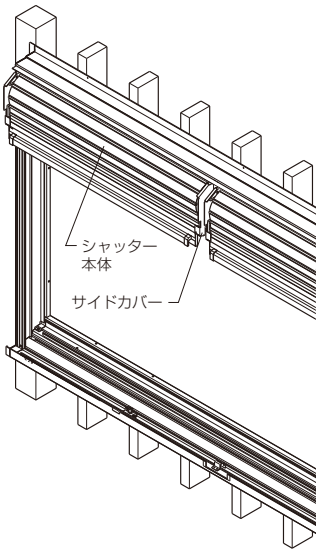
## ■ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩(ボックスS型同梱仕様のみ) |
|---|---|---|
| | | |
| トラスタッピンねじ(D9.4)φ4×8 | バインド小ねじ(D8.3)M4×12 | バインド小ねじ(先付け)M4×10 |

## ■構成図



## ❶本体の取付け

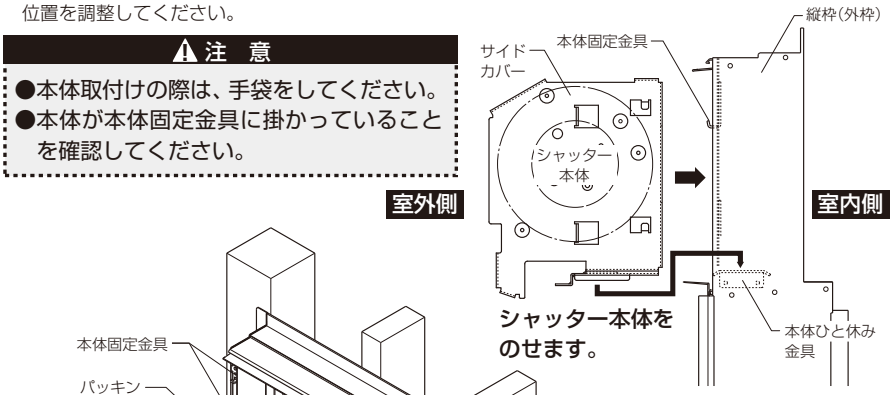


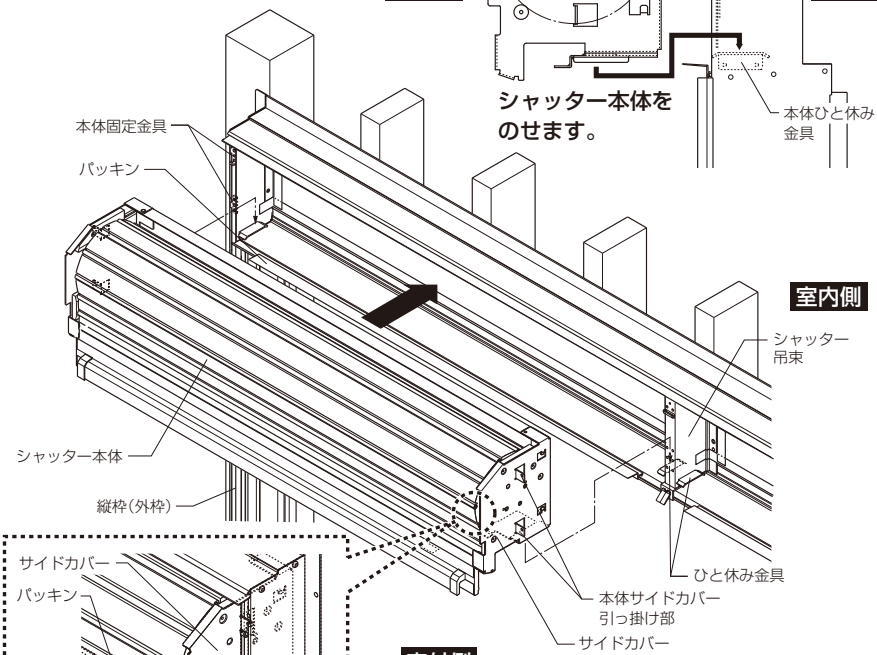

## ❶本体の取付け

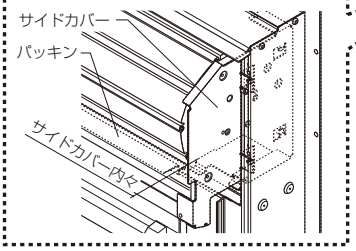
①シャッター本体を縦枠(外枠)のひと休み金具の上にのせます。
②本体サイドカバーの引っ掛け部が、本体固定金具に当たるまで押込んでください。
③本体サイドカバーの引っ掛け部を、片側ずつ本体固定金具に掛けてください。
※パッキンは、サイドカバーの内々に配置されているか確認してください。ズレている場合は、パッキンの位置を調整してください。

**⚠注　意**

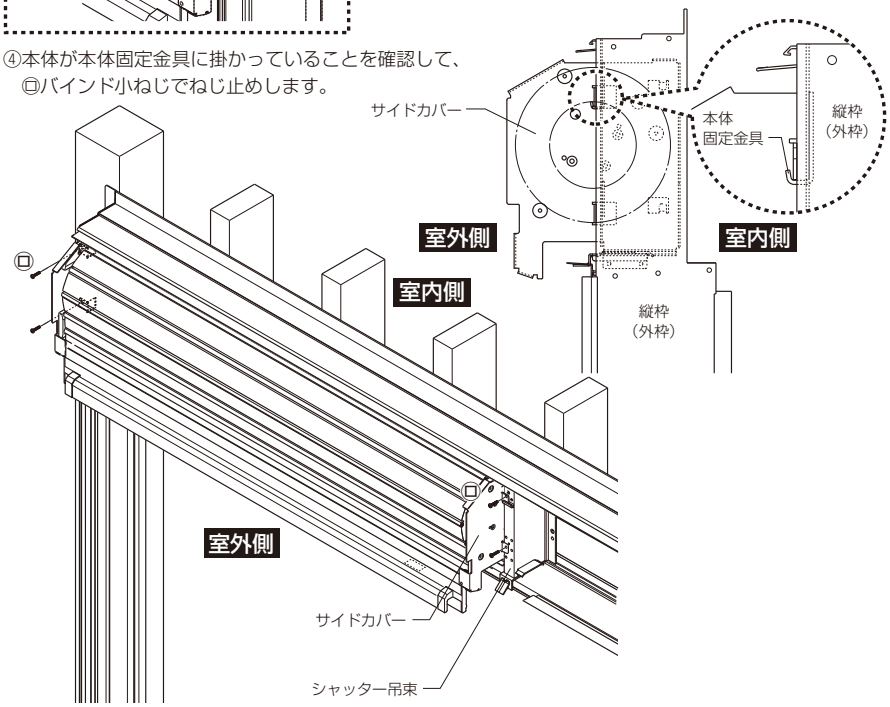
●本体取付けの際は、手袋をしてください。
●本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。



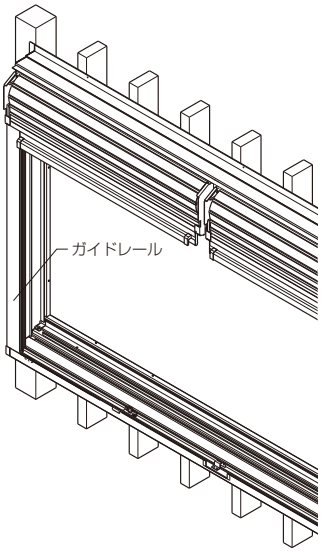




④本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、
回バインド小ねじでねじ止めします。

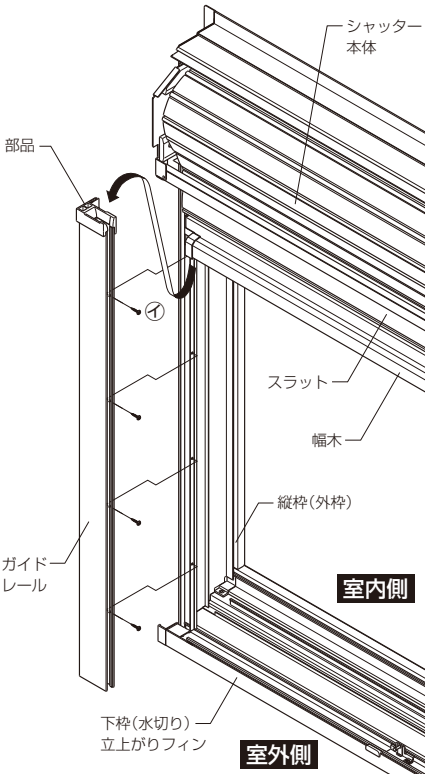


## ❷ガイドレールの取付け

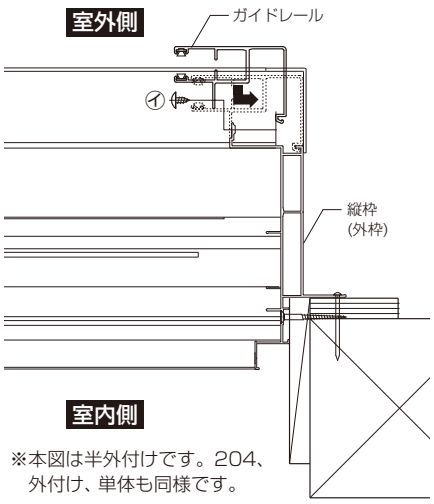



## ❷ガイドレールの取付け

①幅木を引下げ、ガイドレールの上端(部品側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠(水切り)立上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠(外枠)にはめ込み、㋑タッピンねじで固定します。

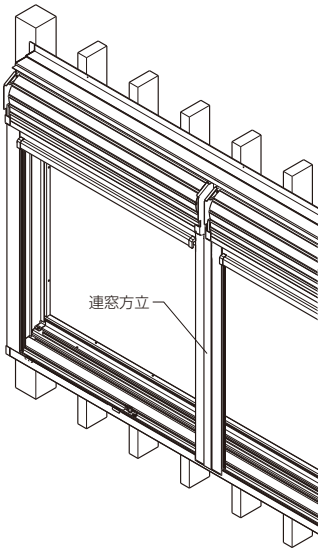



**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



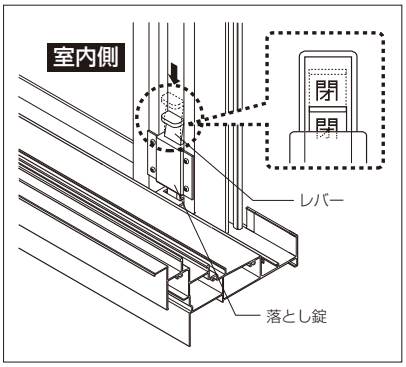

※本図は半外付けです。204、外付け、単体も同様です。

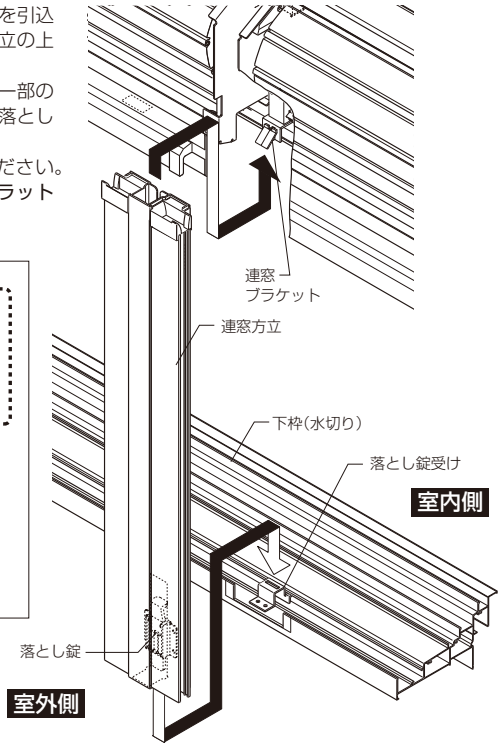
## ❸連窓方立の取付け




## ❸連窓方立の取付け

①幅木を引下げ、連窓方立の上部に左右の幅木を引込みます。そのまま連窓方立を押上げ、連窓方立の上部を連窓ブラケットに差込みます。
②連窓方立を室内側に引込み、落とし錠のレバー部の『閉』刻印が半分隠れるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定します。
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「❹スラットの横ズレの確認」を行ってください。



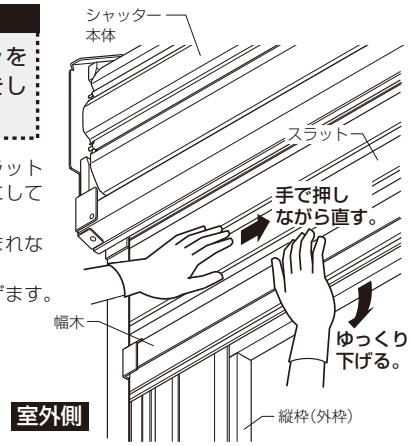



### 4スラットの横ズレの確認

①幅木の中央を持ち、開口の1／3程度までスラットをゆっくり下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

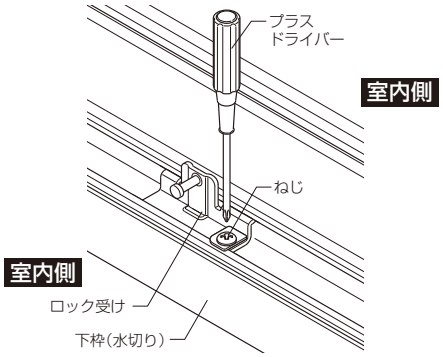
**⚠注　意**
●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

※縦枠(外枠)・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。



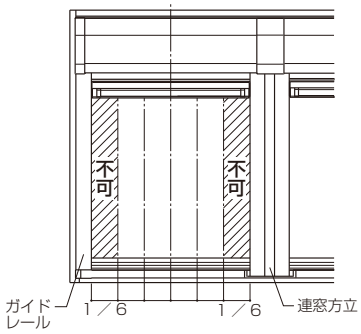

### 5ロック位置の確認と調整方法

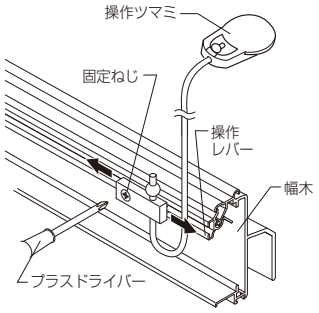
※ロックの掛かりを確認してください。
①数回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
②ロックの掛かりが悪い場合は、下枠についているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締直します。




### 6操作ツマミ位置の確認と調整

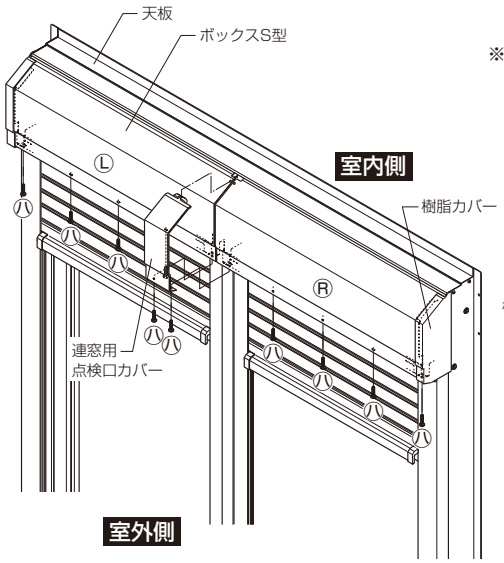
※使い勝手などのために操作ツマミの位置を変更する場合は、以下の手順にしたがってください。
※開口の1／6の距離よりもガイドレール、連窓方立寄りに操作ツマミを移動させないでください。幅木の端を持って開閉することにつながり、作動不良の原因になります。
①操作レバーに付いている操作ツマミの固定ねじをゆるめてスライドさせます。
②位置を決めた後、固定ねじを締直します。



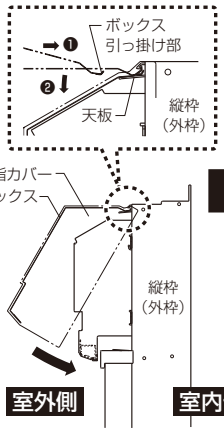




**シャッターを開けるときのお願い**
※スラットのキズや変形防止のため、操作ツマミはスラットにつけずに垂らしておくか、一番下のスラットにつけてシャッターを開けてください。

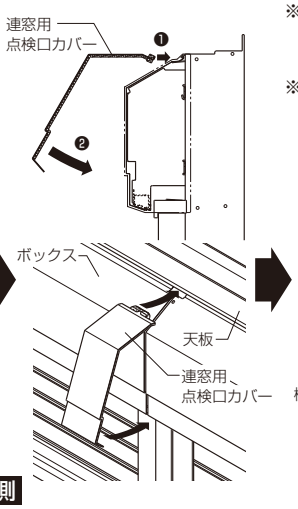
### 7シャッターボックスS型の取付け(同梱仕様のみ)



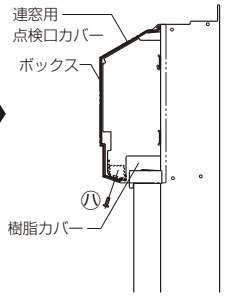

①ボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。




②連窓用点検口カバーをボックスと同様に回転させるように取付けます。




③ボックスの下側から本体へⓃバインド小ねじで止めます。
※連窓部分(中央部)は、連窓用点検口カバーも一緒にねじ止めします。
※連窓用点検口カバーの防水テープがつぶされていることを確認してください。



# シャッター付引違い窓　本体･ガイドレール　イタリヤ手動

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●シャッター本体・シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
・本体サイドカバーの引掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。
●取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス（点検口）、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

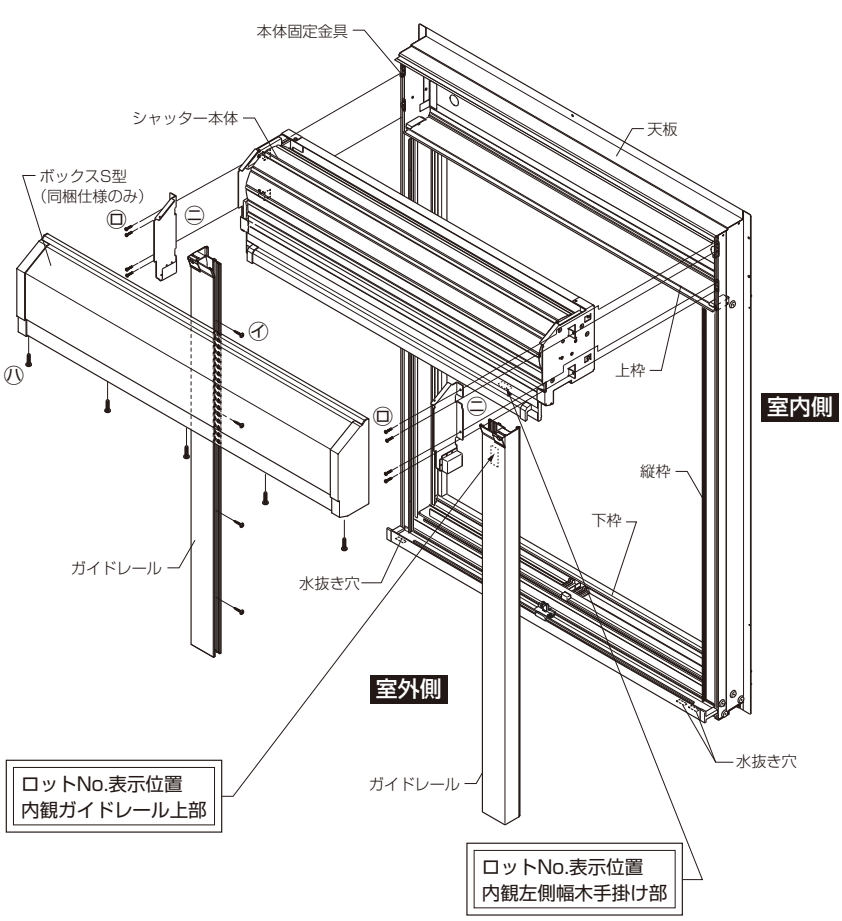
## ■ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩（ボックスS型同梱仕様のみ） | ㋥（ボックスS型同梱仕様のみ） |
|---|---|---|---|
| | | | |
| トラスタッピンねじ（D9.4）φ4×8 | バインド小ねじ（D8.3）M4×12 | バインド小ねじ（先付け）M4×10 | 樹脂カバー裏板 |

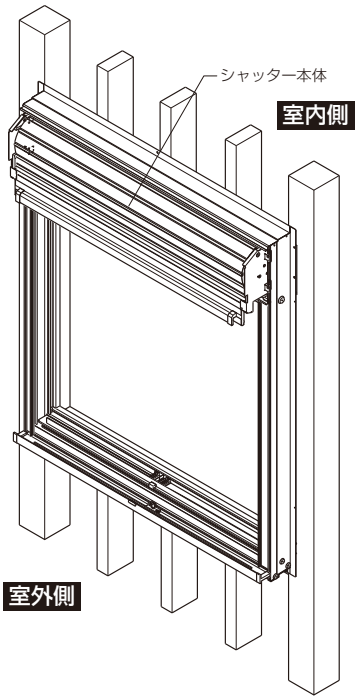
## ■取付け上のお願い

●シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠の上下のソリがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、かい物などで調整してください。
●本体取付けの際、天板の水平が出ていることを水糸などで確認して行ってください。シャッターの作動不良の原因になります。
●壁仕上げの際、ボックス（点検口）・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないように指導してください。
●モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
●枠部分の組立て・取付けについては「サッシ枠 組立て説明書」、「サッシ枠取付け説明書」をご覧ください。
●S型以外のボックスの取付けについては、「ボックス取付け説明書」をご覧ください。

## ■構成図



## ❶本体の取付け

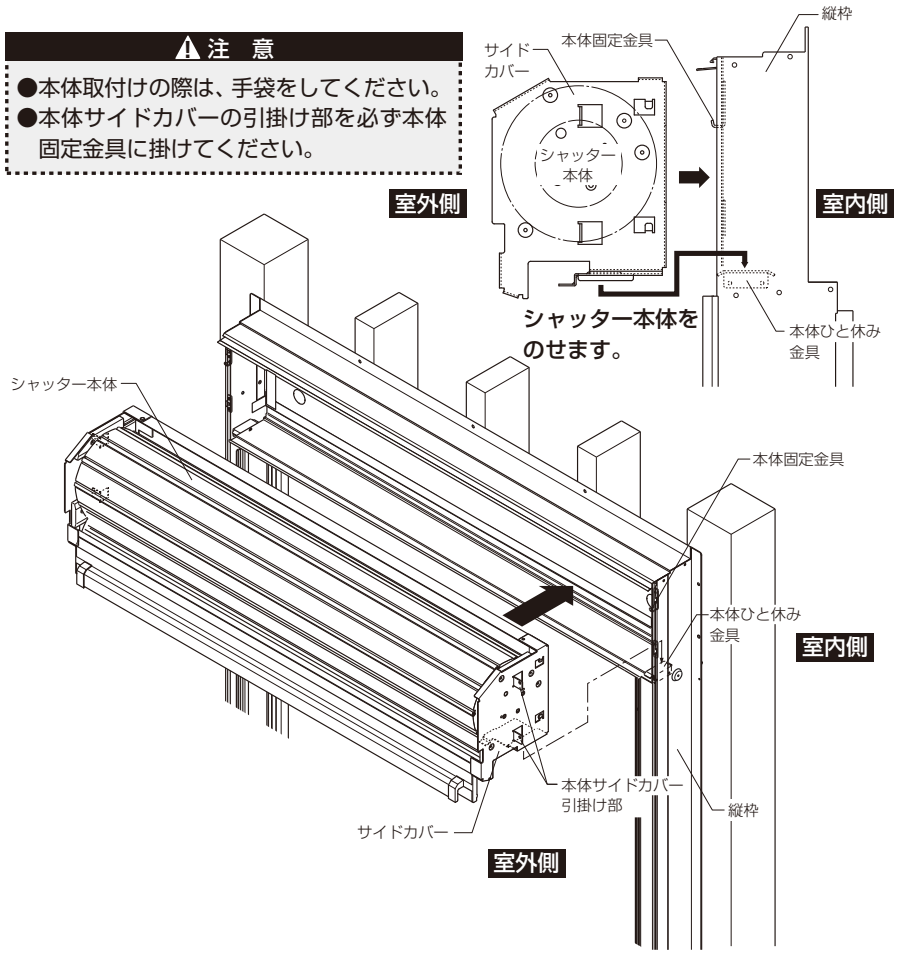



## ❶本体の取付け

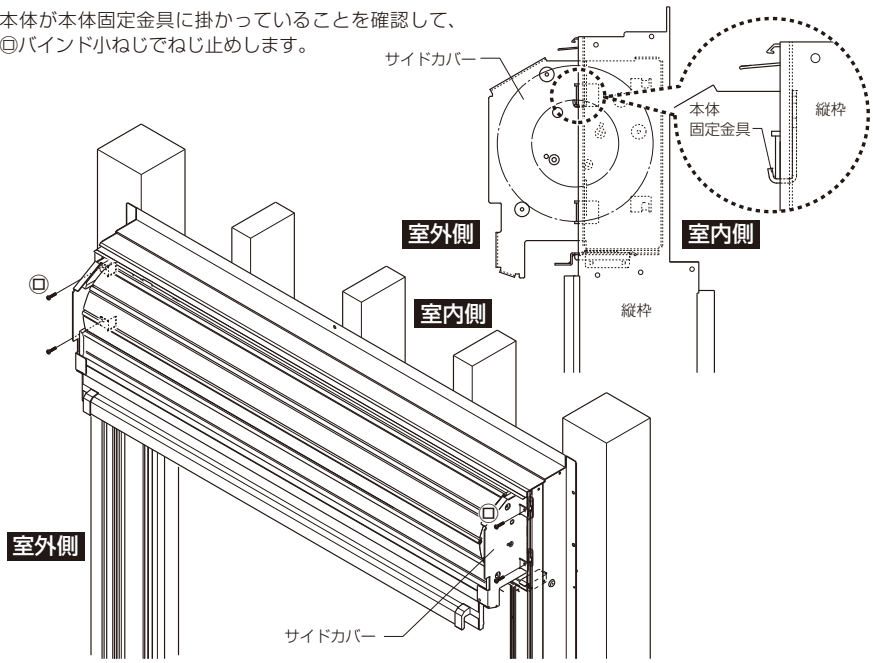
①シャッター本体を縦枠のひと休み金具の上にのせます。
②本体サイドカバーの引掛け部が、本体固定金具に当たるまで押込んでください。
③本体サイドカバーの引掛け部を、片側ずつ本体固定金具に掛けてください。

**⚠注　意**

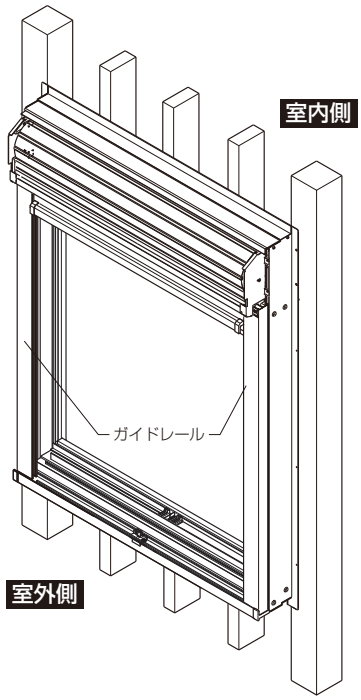
●本体取付けの際は、手袋をしてください。
●本体サイドカバーの引掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。




④本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、
▣バインド小ねじでねじ止めします。

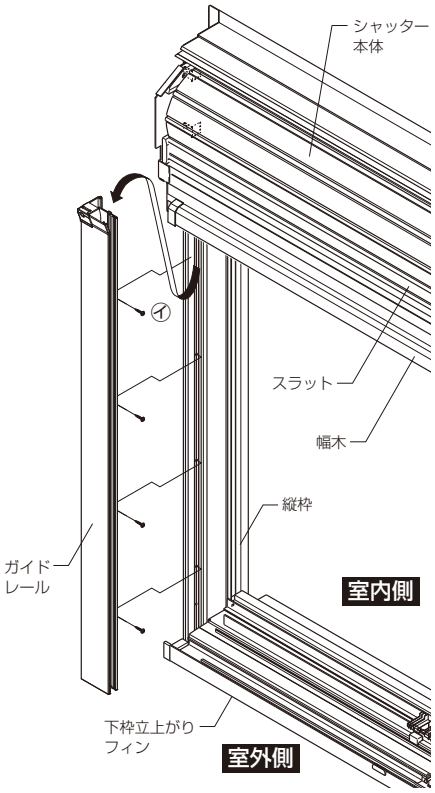


## ❷ガイドレールの取付け

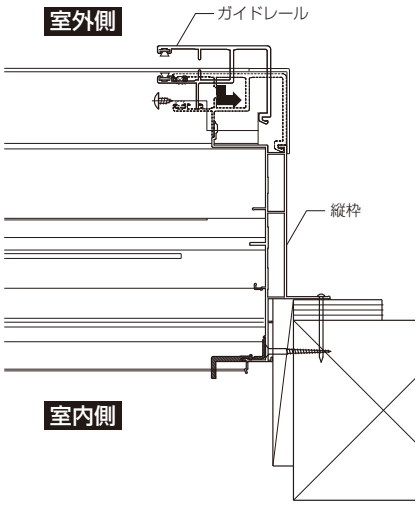



## ❷ガイドレールの取付け

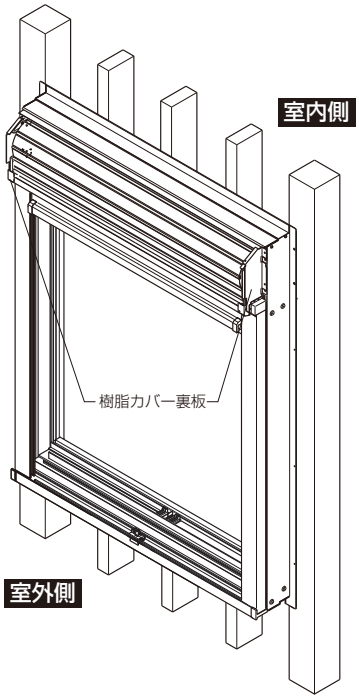
①幅木を引下げ、ガイドレールの上端に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠立上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠にはめ込み、㋑タッピンねじで固定します。
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引掛かりなどの支障がある場合は、「❹スラットの横ズレの確認」を行ってください。




**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。

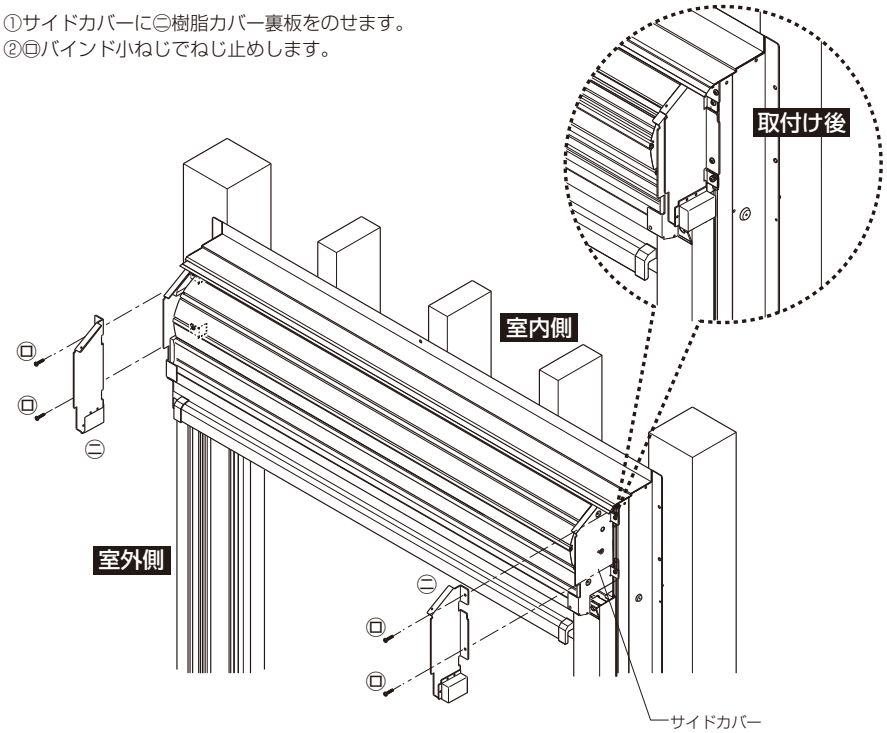



## ❸樹脂カバー裏板の取付け（同梱仕様のみ）




## ❸樹脂カバー裏板の取付け（同梱仕様のみ）

①サイドカバーに㋒樹脂カバー裏板をのせます。
②㋺バインド小ねじでねじ止めします。

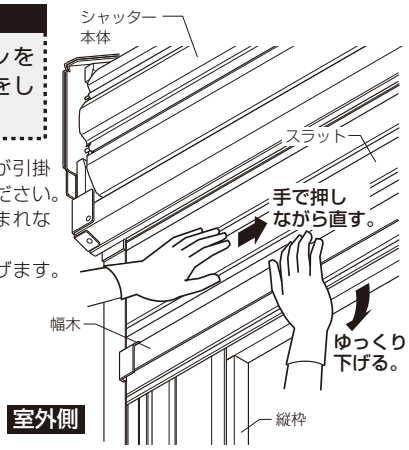


### 4スラットの横ズレの確認

①幅木の中央を持ち、開口の1 ／ 3程度までスラットをゆっくり下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

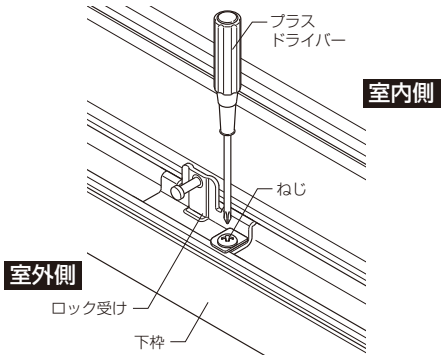
**⚠注 意**
●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

※縦枠・本体にスラットが引掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。



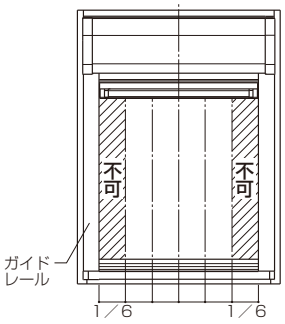

### 5ロック位置の確認と調整方法

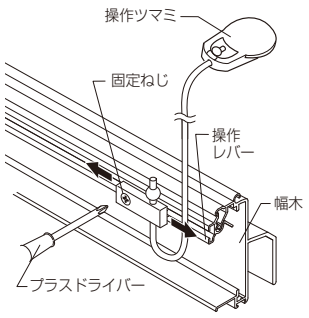
※ロックのかかりを確認してください。
①数回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
②ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締直します。




### 6操作ツマミ位置の確認と調整

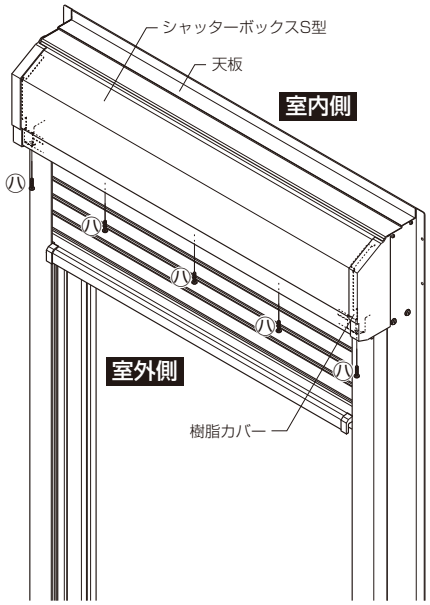
※使い勝手などのために操作ツマミの位置を変更する場合は、以下の手順にしたがってください。
※開口の1 ／ 6の距離よりもガイドレール寄りに操作ツマミを移動させないでください。幅木の端を持って開閉することにつながり、作動不良の原因になります。
①操作レバーに付いている操作ツマミの固定ねじをゆるめてスライドさせます。
②位置を決めた後、固定ねじを締直します。



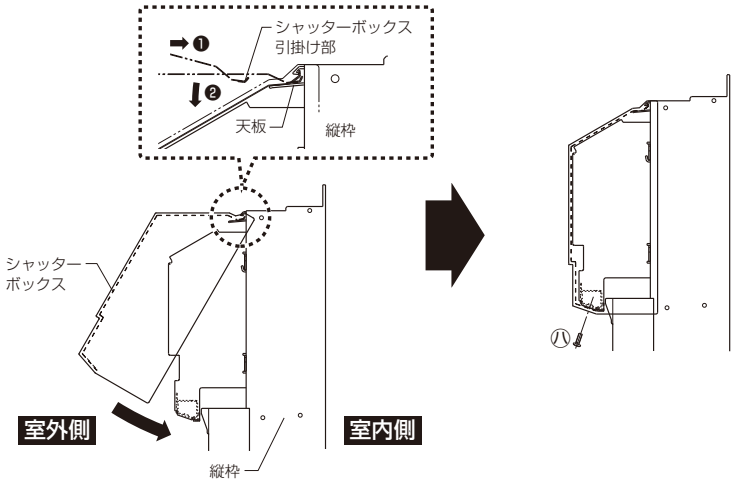

**シャッターを開けるときのお願い**
※スラットのキズや変形防止のため、操作ツマミはスラットにつけずに垂らしておくか、一番下のスラットにつけてシャッターを開けてください。

### 7シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）




①シャッターボックス引掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。

②シャッターボックスの下側から本体へ㋑バインド小ねじで止めます。



# シャッター付引違い窓　本体・ガイドレール　イタリヤリモコン電動[単窓]

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●漏電、感電や火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。
・電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。
・AC100V配線はVVF1.6mm以上をご使用ください。
・電源線、アース線は折曲げたり、挟んだり、キズ付けたりしないでください。
・動作確認終了後、電源線、アース線を本体内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線、アース線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。
・動作確認をする際は、シャッターの下に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
●シャッター本体・シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじを指定の本数使用してください。
・本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。
●取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス（点検口）、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

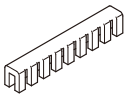
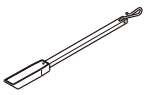
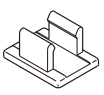
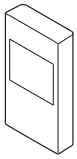
## ■取付け上のお願い

●本製品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。
●電気配線工事は屋内配線との接続になるので、内装工事前に配線工事をご依頼ください。
※シャッターの電源線、アース線は外観左側になりますので、電気配線工事を依頼される際はご注意ください。
●障害物にあたると停止・反転する機能は、モータ内部電圧の変動を利用した方式を採用しております。そのため、瞬間式の給湯等（瞬間的に電力制御を行う電機機器）とシャッターが同じ電源回路にあると誤作動のおそれがありますので、別の回路にしてください。
●シャッター本体取付けの際、動作確認のために、AC100V（定格電圧範囲内90V～110V）を使用します。事前に、電気工事士さまなどと打合わせの上、電源を用意してください。
●通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。
●シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠の上下のソリが無いことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因となりますので、かい物などで調整してください。
●本体取付けフィンの固定の際、天板の水平が出ていることを水糸などで確認して行ってください。シャッター作動不良の原因となります。
●本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス（点検口）およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●壁仕上げの際、ボックス（点検口）・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないようにしてください。
●モルタルはくり材はアルミ表面を傷めますので使用しないようにしてください。
●枠部分の組立て・取付けには「サッシ枠 組立て説明書」、「サッシ枠 取付け説明書」をご覧ください。
●一次側AC100Vとアース線の接続に必要なジョイントボックスなどの電設資材は、別途市販品をご使用ください。
●背板のブッシングの取付け穴の大きさに合わせて、室内側へ電源線、アース線を通すための配線穴をあけておいてください。

## ■取付け部品・ねじ一覧表

| 本体取付け用 | ガイドレール取付け用 | ボックス取付け用 |
|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩（ボックスS型同梱仕様のみ） |
| | | |
| バインド小ねじ M4×12（D8.3） | トラスタッピンねじ φ4×8（D9.4） | バインド小ねじ 先付けM4×10 |

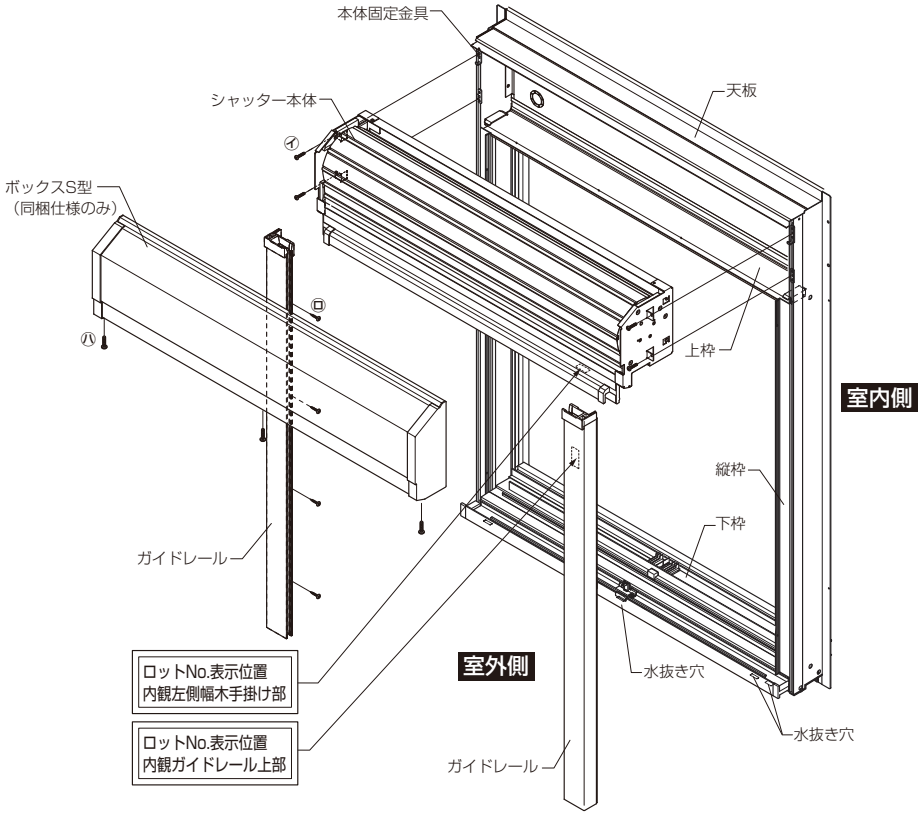
同梱部品

| ブッシング | 操作ハンドル | | | リモコン |
|---|---|---|---|---|
| | 操作ハンドル | 操作ハンドルホルダー | 表示シール | リモコン部品セット |
|  |  |  | |  |



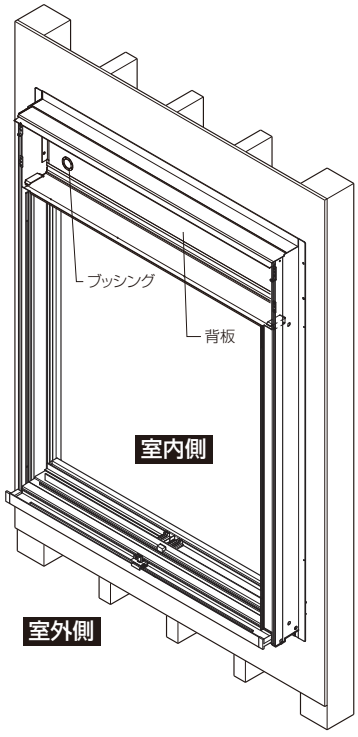
| サーモスX | サーモスII-H | サーモスL | 防火戸サーモスX | 防火戸FG-H/L |
|---|---|---|---|---|

## ■構成図




## ■取付け順序

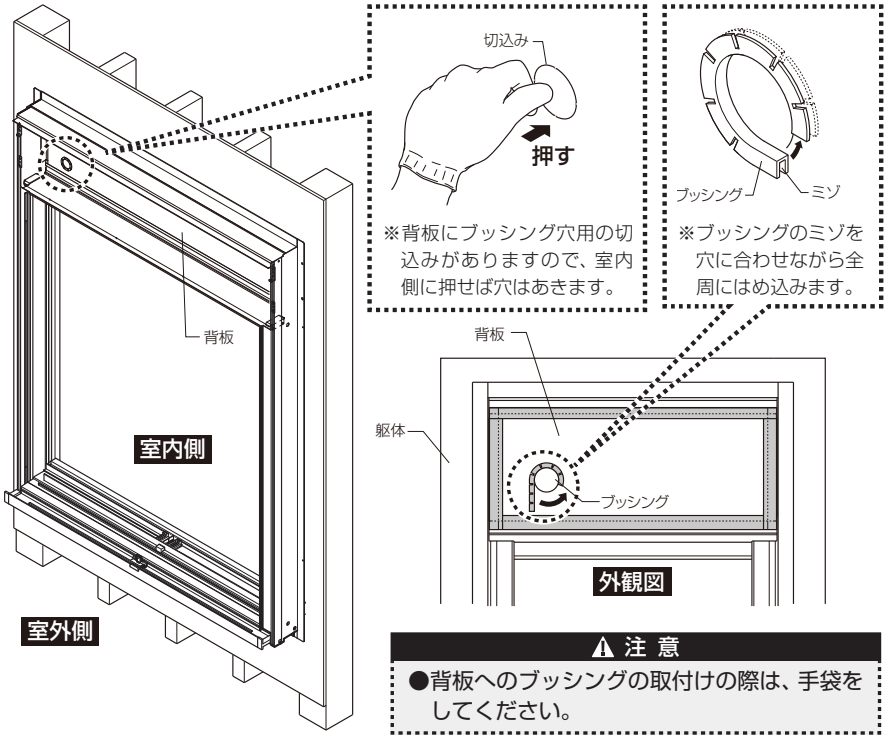
**1背板へのブッシングの取付け**




## ■取付け詳細

**1背板へのブッシングの取付け**

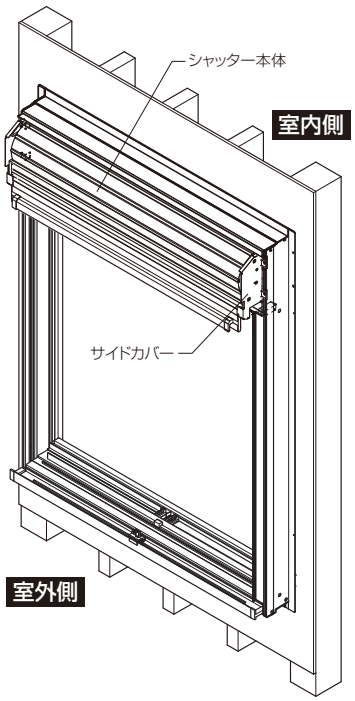
①外観左側の枠背板にブッシングを取付ける穴をあけます。
②ブッシングをはめ込みます。
③はめ込み後、ブッシングに浮きがないか確認してください。




**⚠ 注 意**

●背板へのブッシングの取付けの際は、手袋をしてください。

## 2シャッター本体の取付け

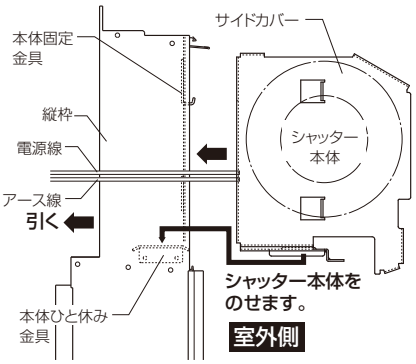



## 2シャッター本体の取付け

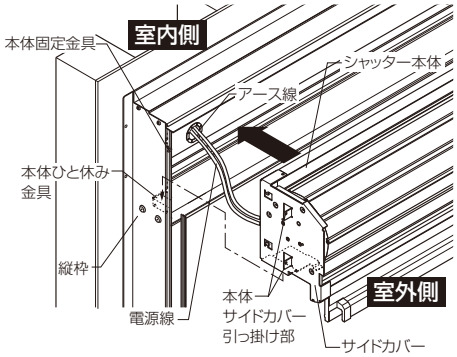
①電源線、アース線を配線穴から室内側へ通し、軽く引きながらシャッター本体を縦枠のひと休み金具の上にのせます。

**⚠ 注 意**

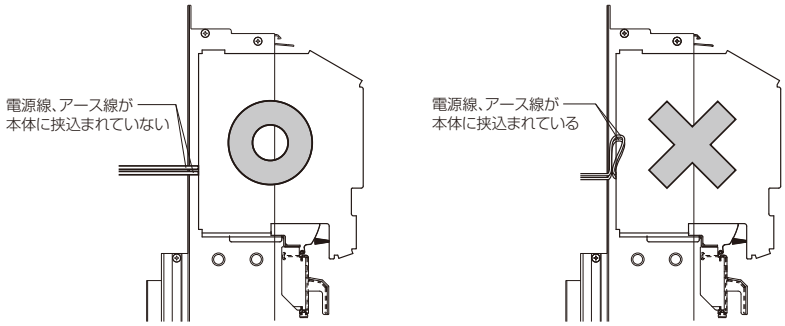
- ●本体取付けの際は、手袋をしてください。
- ●本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。



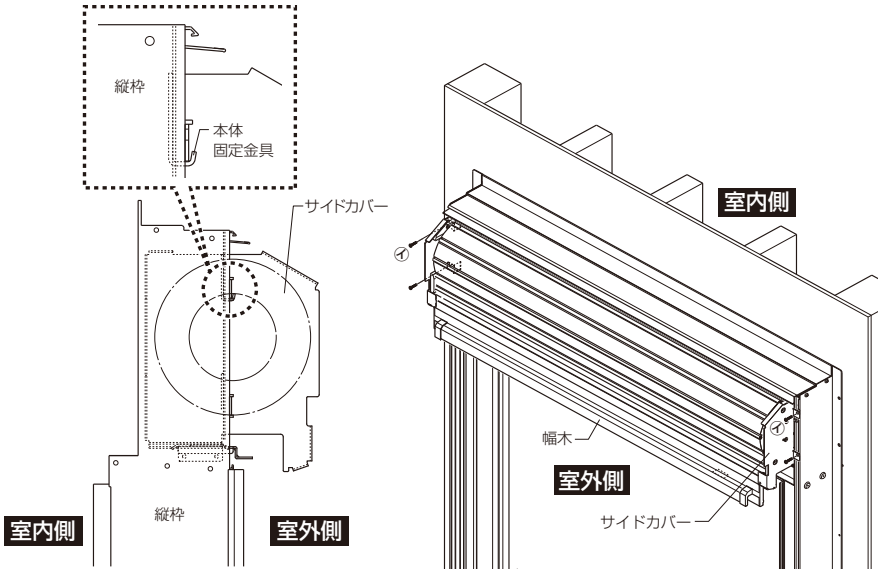

②電源線、アース線を軽く引きながら本体サイドカバーの引っ掛け部が本体固定金具にあたるまで押込んでください。



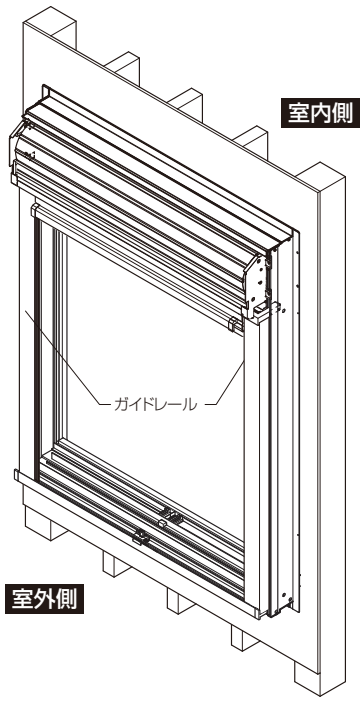

※電源線、アース線を本体と背板の間に挟込まないようにしてください。




③本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、㋑バインド小ねじでねじ止めします。



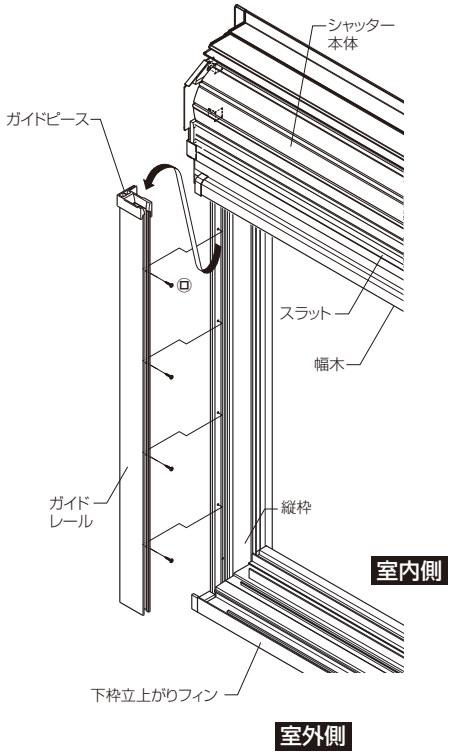
## 3ガイドレールの取付け

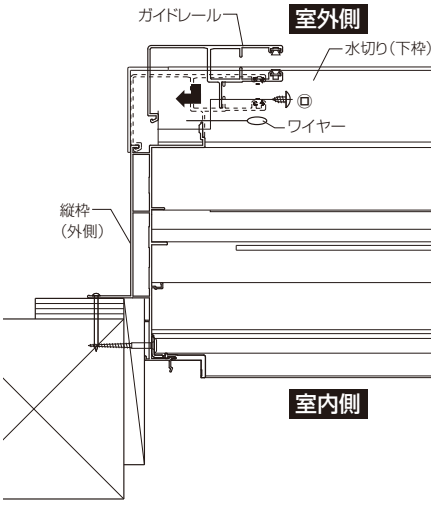



## 3ガイドレールの取付け

①ガイドレールの上端（ガイドピース側）に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠立ち上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠にはめ込み、⊡トラスタッピンねじで固定します。

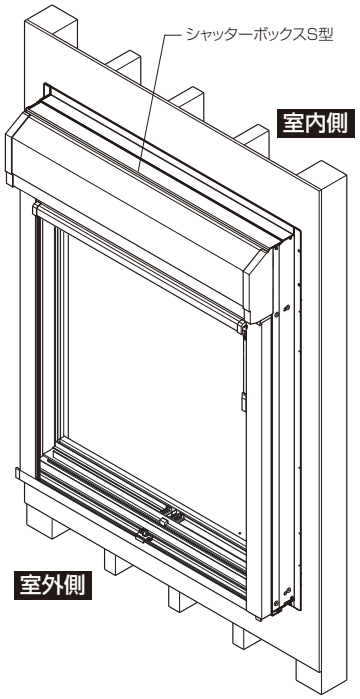
**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



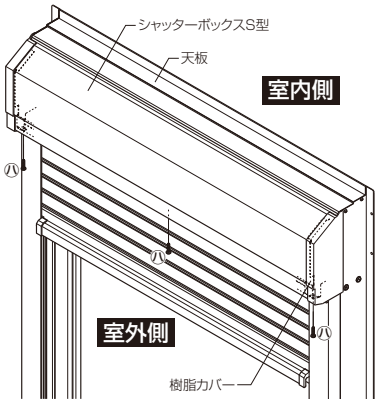

**お願い**
※クラッチのワイヤーをガイドレールの外側に出してガイドレールをはめ込んでください。

## 4シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）

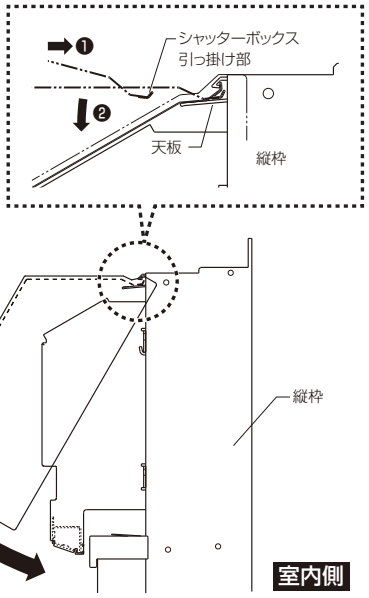



## 4シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）

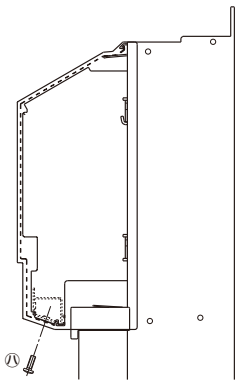
【シャッターボックスS型】



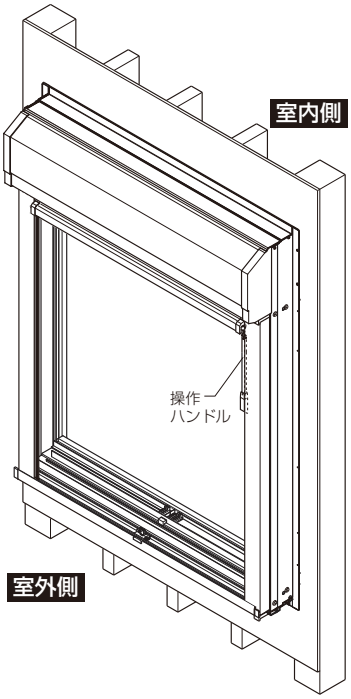

①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。




②シャッターボックスの下側から本体へⒷバインド小ねじで止めます。

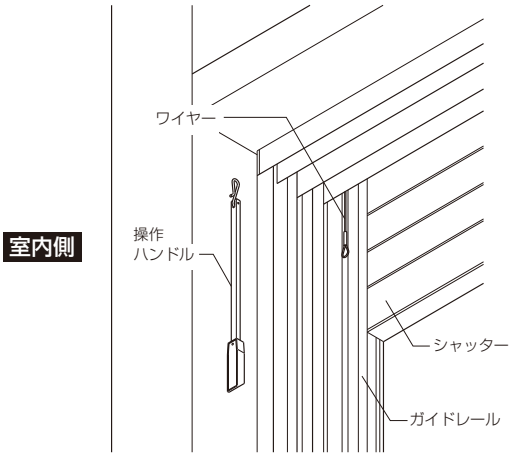


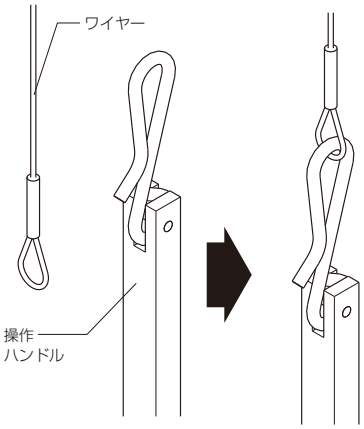
## 5操作ハンドルの取付け




## 5操作ハンドルの取付け

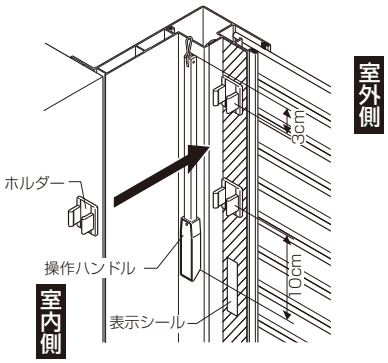
①ガイドレール上部からぶら下がっているワイヤーに操作ハンドルを引っ掛けます。
※このときワイヤーを引っ張らないでください。停電時開閉機構が働き、シャッターが電動で動かなくなります。




②ホルダー張付け面（下図斜線部）のホコリ・油分をふき取ります。
③操作ハンドル上端から3cmおよび下端から10cmの位置に、ホルダーを張付けます。
④操作ハンドルをホルダーに固定し、同封の表示シールを真下に張ります。

**お願い**
※操作ハンドルは、必ず下図の向きでホルダーに固定しておいてください。（操作ハンドルが引っ掛かり、シャッター開閉不良の原因となるおそれがあります。）

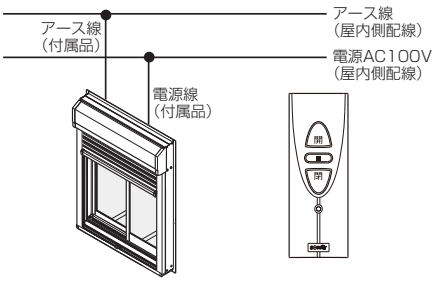


## 6動作確認

### 6動作確認

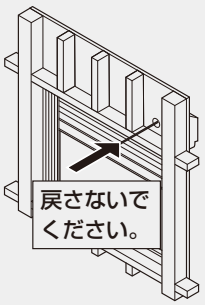
①電源線、アース線を仮結線状態にします。
※仮設電源を使用する場合は、電圧が定格電圧範囲内(90V ～110V)にあることを確認してください。
②初期設定を行います。
※設定方法は、リモコンに同梱の電気工事説明書を確認してください。
※リモコン取付け時に他の取付け箇所と間違えないように、リモコンの梱包箱に設定箇所を記載して、リモコンを引き渡してください。

■配線図




**⚠ 注 意**

●シャッターが動き始めることがありますので、シャッターの下に顔や手を出さないでください。
●電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
●動作確認終了後、電源線、アース線を本体内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線、アース線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。




**お願い**
※通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。

③初期設定完了後にリモコンを操作して、シャッターを開閉させます。引っ掛かりなど支障がないよう、スラットの横ズレの確認を行ってください。

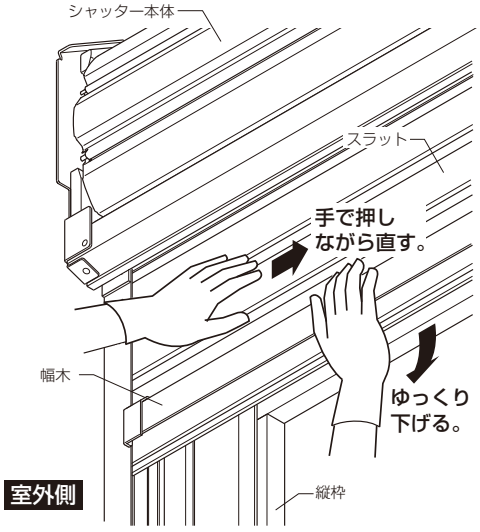
### ■スラットの横ズレの確認

①開口の1/3程度までスラットを下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

**⚠ 注 意**

●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

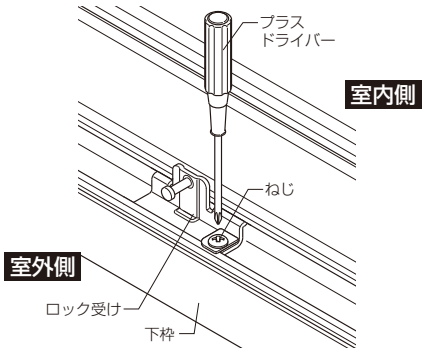
※縦枠・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。




## 7ロック位置の確認と調整方法

### 7ロック位置の確認と調整方法

※ロックの掛かりを確認してください。
①2、3回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
②ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締直します。



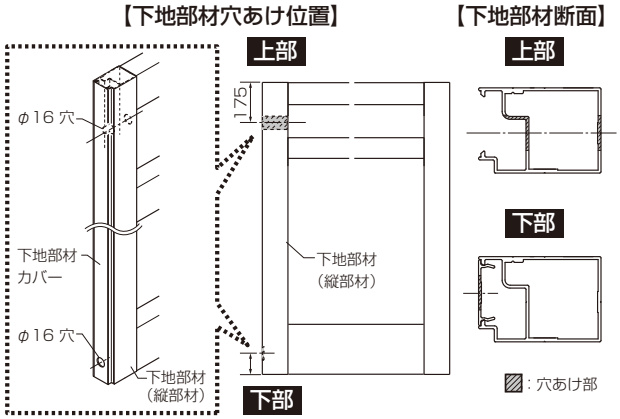
## ■リフォームシャッターへの取付け手順

●リフォームシャッターにイタリヤ(リモコン電動)を取付けする場合、下記の手順で配線工事を行ってください。下記手順は標準的な工事方法を説明しておりますので現場状況に応じて配線工事を行ってください。

### <屋外コンセントの場合>

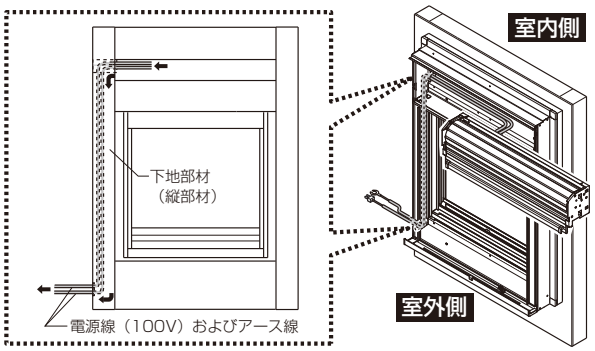
#### 1リフォームシャッター下地部材への配線工事準備

●下地部材外観左側の縦部材にφ16の穴を下地部材および下地部材カバーにあけます。



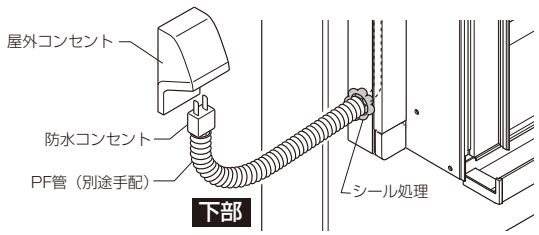

#### 2本体取付けと配線について

●下地部材にあけた穴に配線を通し、カバーにあけた穴から配線を出します。




#### 3配線処理

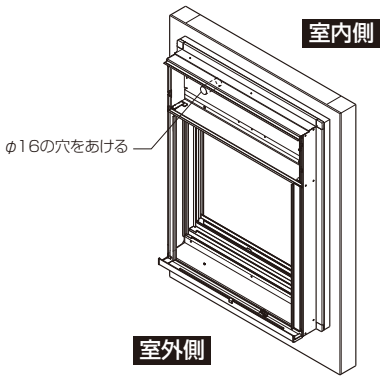
●配線を下地部材カバーから出し、フレキシブルチューブ(別途手配品)に通し屋外用プラグを使用して屋外コンセントに接続します。




### <屋内コンセントの場合>

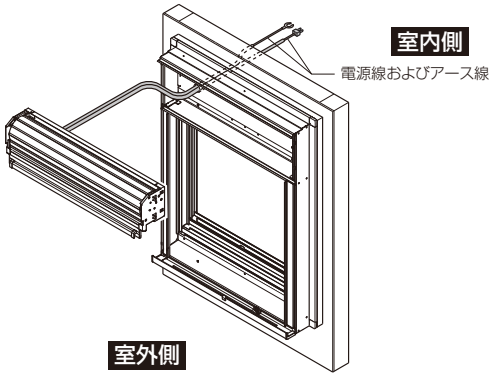
#### 1配線工事準備

●ボックス内から内装ボードまで配線用φ16の穴をあけます。



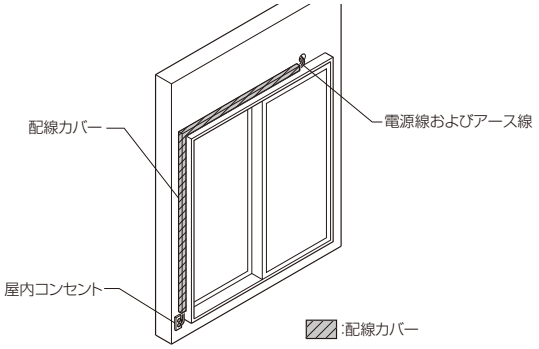

#### 2本体取付けと配線について

●電源線およびアース線を先ほどあけた穴から室内に引き込みます。




#### 3配線処理

●配線カバー(別途手配品)を用いて屋内コンセント近くまで配線し、屋内用プラグを使用して屋内コンセントに接続します。アース線はアース端子に取付けてください。



# シャッター付引違い窓　本体・ガイドレール　イタリヤリモコン電動[連窓]

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●漏電、感電や火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。
・電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。
・AC100V配線はVVF1.6mm以上をご使用ください。
・電源線、アース線は折曲げたり、挟んだり、キズ付けたりしないでください。
・動作確認終了後、電源線、アース線を本体内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線、アース線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。
・動作確認をする際は、シャッターの下に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
●シャッター本体・シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじを指定の本数使用してください。
・シャッター吊束が□90mm以上の木材に固定されていることを確認してください。
・本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。
●取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス（点検口）、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

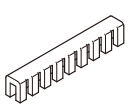
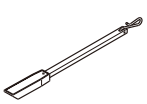
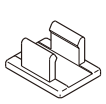
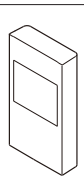
## ■取付け上のお願い

●本製品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。
●電気配線工事は屋内配線との接続になるので、内装工事前に配線工事をご依頼ください。
※シャッターの電源線、アース線は外観左側になりますので、電気配線工事を依頼される際はご注意ください。
●障害物にあたると停止・反転する機能は、モータ内部電圧の変動を利用した方式を採用しております。そのため、瞬間式の給湯等（瞬間的に電力制御を行う電機機器）とシャッターが同じ電源回路にあると誤作動のおそれがありますので、別の回路にしてください。
●シャッター本体取付けの際、動作確認のために、AC100V（定格電圧範囲内90V～110V）を使用します。事前に、電気工事士さまなどと打合わせの上、電源を用意してください。
●通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。
●シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠の上下のソリが無いことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因となりますので、かい物などで調整してください。
●本体取付けフィンの固定の際、天板の水平が出ていることを水糸などで確認して行ってください。シャッター作動不良の原因となります。
●本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス（点検口）およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●壁仕上げの際、ボックス（点検口）・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないようにしてください。
●モルタルはくり材はアルミ表面を傷めますので使用しないようにしてください。
●枠部分の組立て・取付けには「サッシ枠 組立て説明書」、「サッシ枠 取付け説明書」をご覧ください。
●一次側AC100Vとアース線の接続に必要なジョイントボックスなどの電設資材は、別途市販品をご使用ください。
●背板のブッシングの取付け穴の大きさに合わせて、室内側へ電源線、アース線を通すための配線穴をあけておいてください。

## ■取付け部品・ねじ一覧表

| 本体取付け用 | ガイドレール取付け用 | ボックス取付け用 |
|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩（ボックスS型同梱仕様のみ） |
| | | |
| バインド小ねじ M4×12（D8.3） | トラスタッピンねじ φ4×8（D9.4） | バインド小ねじ 先付けM4×10 |

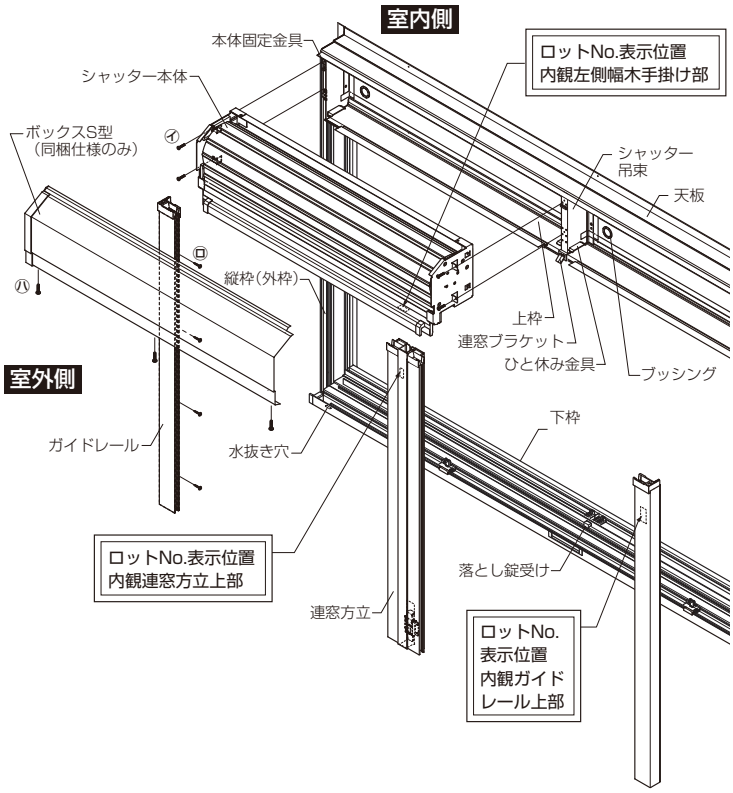
同梱部品

| ブッシング | 操作ハンドル | | | リモコン |
|---|---|---|---|---|
| | 操作ハンドル | 操作ハンドルホルダー | 表示シール | リモコン部品セット |
|  |  |  | |  |



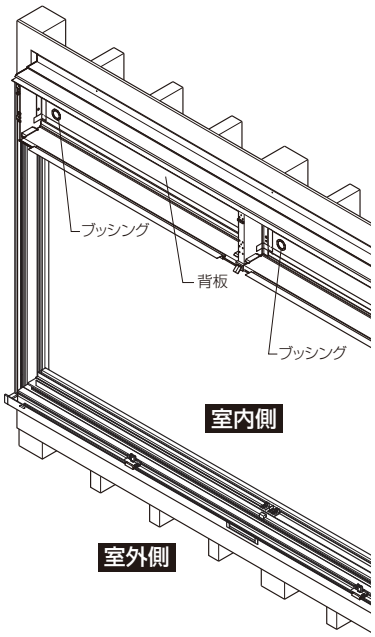
| サーモスX | サーモスII-H | サーモスL | 防火戸サーモスX | 防火戸FG-H/L |
|---|---|---|---|---|

## ■構成図




## ■取付け順序

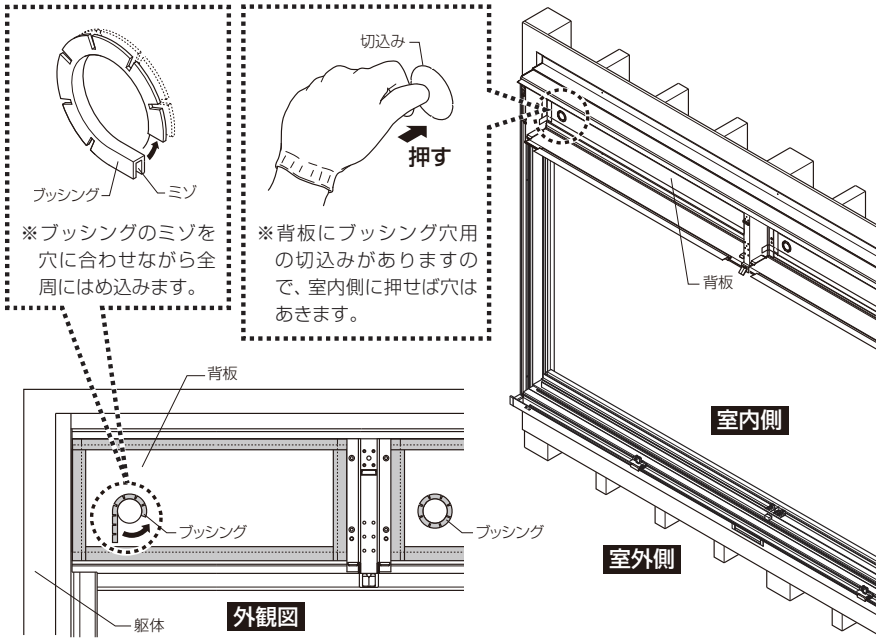
### ❶背板へのブッシングの取付け




## ■取付け詳細

### ❶背板へのブッシングの取付け

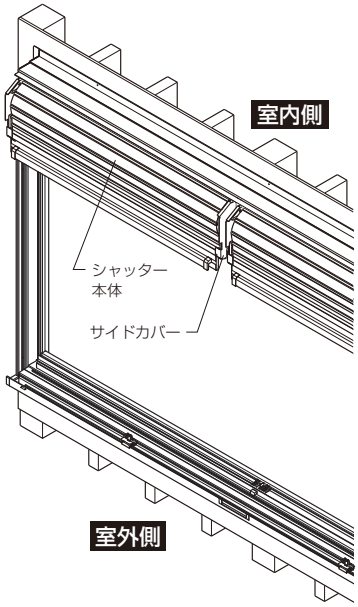
①外観左側の枠背板にブッシングを取付ける穴をあけます。
②ブッシングをはめ込みます。
③はめ込み後、ブッシングに浮きがないか確認してください。




**⚠ 注 意**

●背板へのブッシングの取付けの際は、手袋をしてください。

## 2シャッター本体の取付け

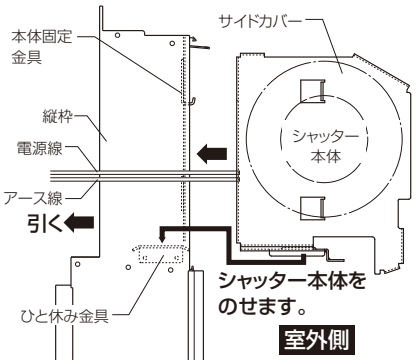



## 2シャッター本体の取付け

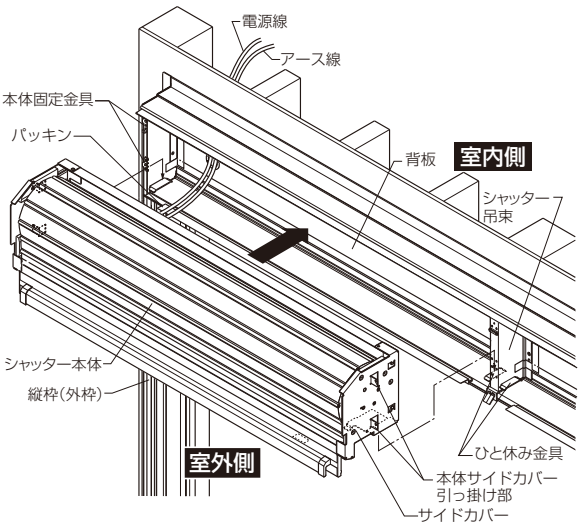
①電源線、アース線を配線穴から室内側へ通し、軽く引きながらシャッター本体を縦枠のひと休み金具の上にのせます。

**⚠ 注 意**

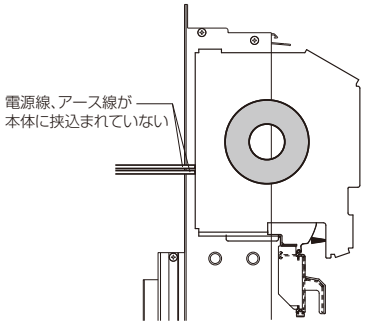
- ●本体取付けの際は、手袋をしてください。
- ●本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。

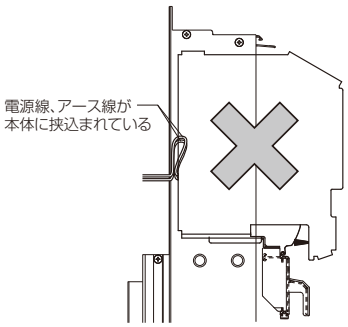



②電源線、アース線を軽く引きながら本体サイドカバーの引っ掛け部が本体固定金具にあたるまで押込んでください。

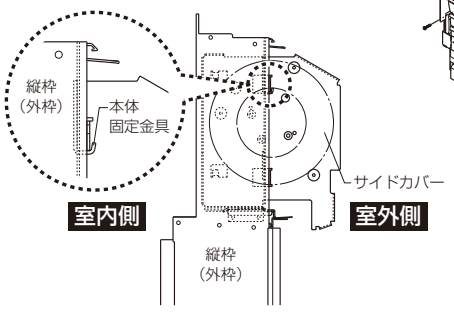


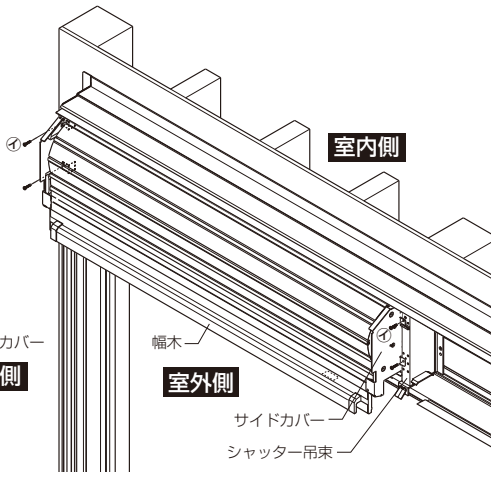

※電源線、アース線を本体と背板の間に挟込まないようにしてください。



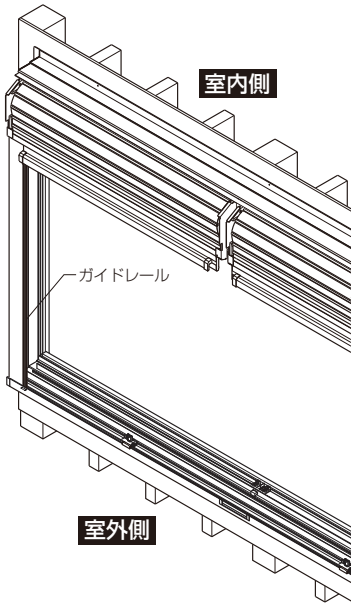




③本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、㋑バインド小ねじでねじ止めします。



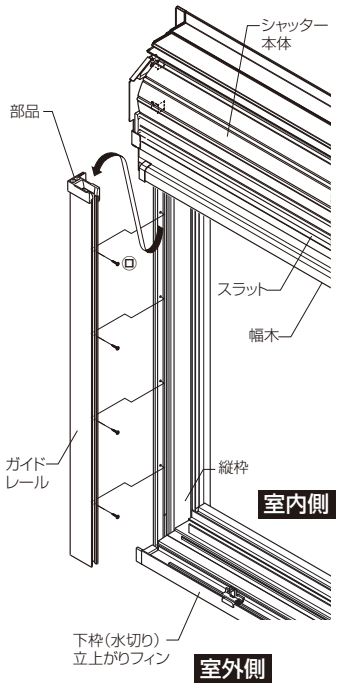



### 3ガイドレールの取付け

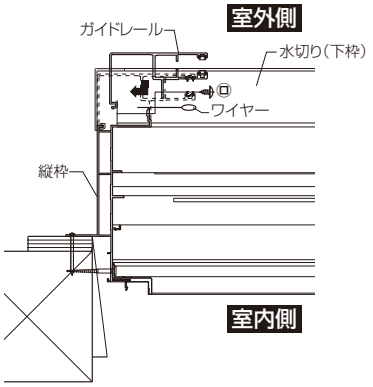



### 3ガイドレールの取付け

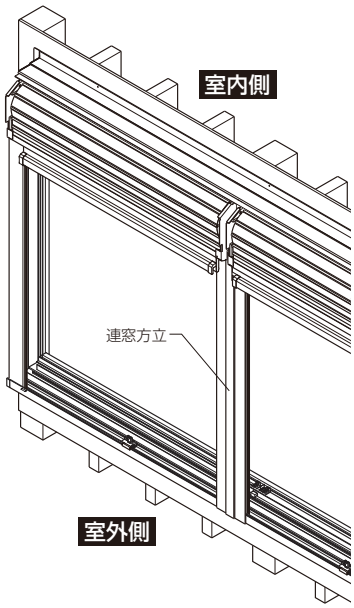
①幅木を引下げ、ガイドレールの上端(部品側)に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠(水切り)立上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠(外枠)にはめ込み、⊡タッピンねじで固定します。




**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。
※クラッチのワイヤーをガイドレールの外側に出してガイドレールを挿入してください。

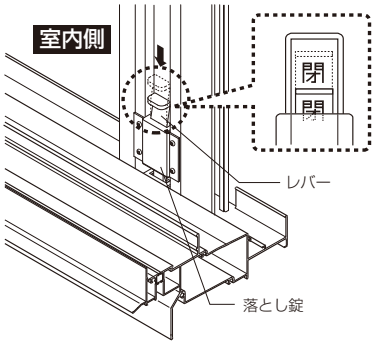


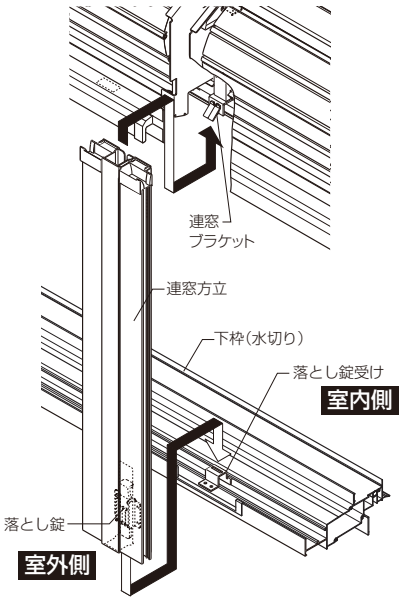

### 4連窓方立の取付け



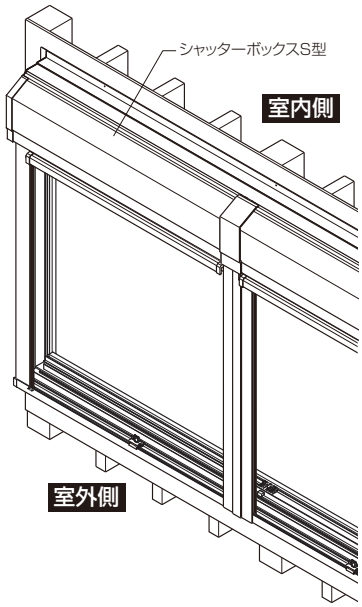

### 4連窓方立の取付け

①幅木を引下げ、連窓方立の上部に左右の幅木を引込みます。そのまま連窓方立を押上げ、連窓方立の上部を連窓ブラケットに差込みます。
②連窓方立を室内側に引込み、落とし錠のレバー部の『閉』刻印が半分隠れるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定します。
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「7 ■スラットの横ズレの確認」を行ってください。



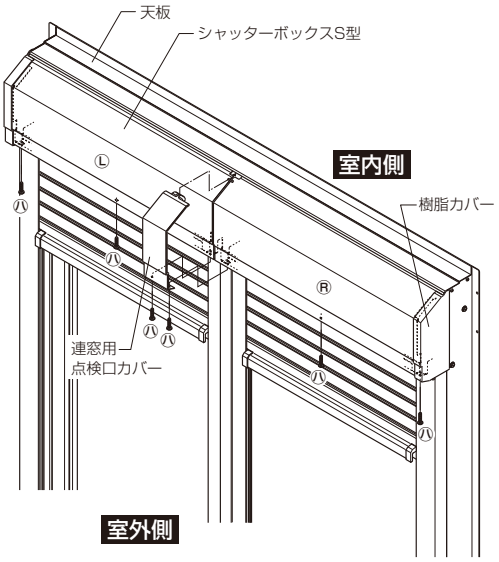



## 5シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）

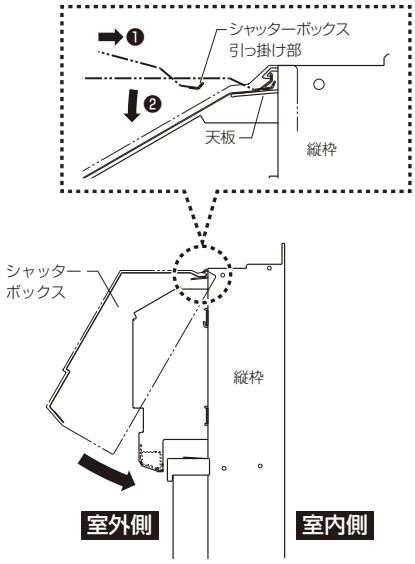



## 5シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）

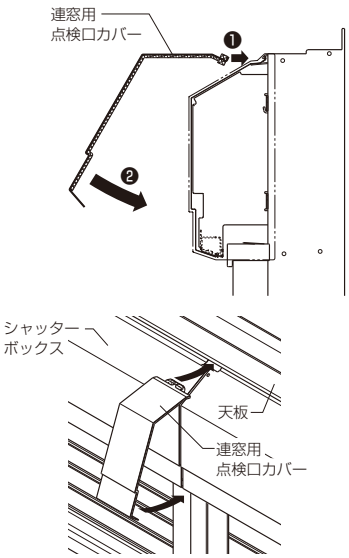
【シャッターボックスS型】



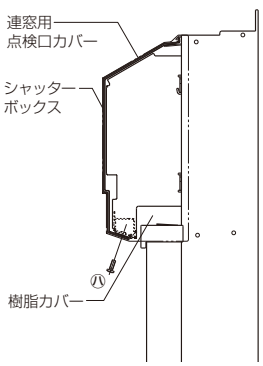

①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。



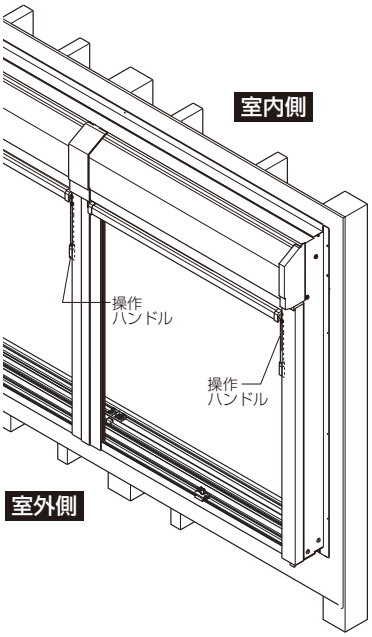

②連窓用点検口カバーをシャッターボックスと同様に回転させるように取付けます。




③シャッターボックスの下側から本体へ⑪バインド小ねじで止めます。
※連窓部分（中央部）は、連窓用点検口カバーも一緒にねじ止めします。
※連窓用点検口カバーの防水テープがつぶされていることを確認してください。

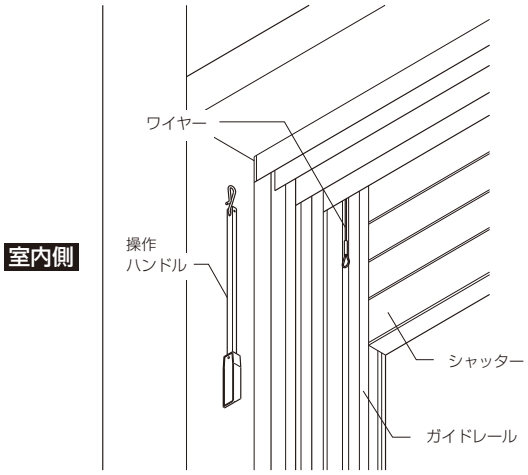


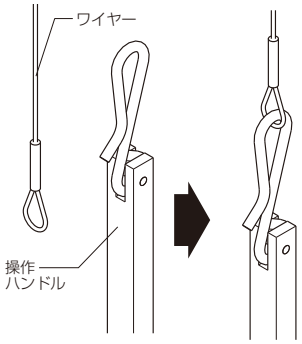
## 6操作ハンドルの取付け




## 6操作ハンドルの取付け

①ガイドレール上部からぶら下がっているワイヤーに操作ハンドルを引っ掛けます。
※このときワイヤーを引っ張らないでください。停電時開閉機構が働き、シャッターが電動で動かなくなります。

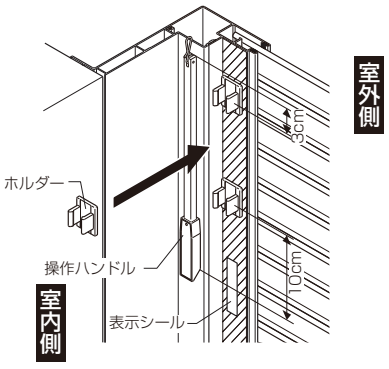


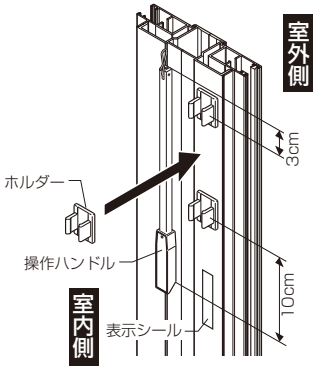

②ホルダー張付け面(下図斜線部)のホコリ・油分をふき取ります。
③操作ハンドル上端から3cmおよび下端から10cmの位置に、ホルダーを張付けます。
④操作ハンドルをホルダーに固定し、同封の表示シールを真下に張ります。

**お願い**
※操作ハンドルは、必ず下図の向きでホルダーに固定しておいてください。
(操作ハンドルが引っ掛かり、シャッター開閉不良の原因となるおそれがあります。)

**●縦枠部**




**●連窓方立部**

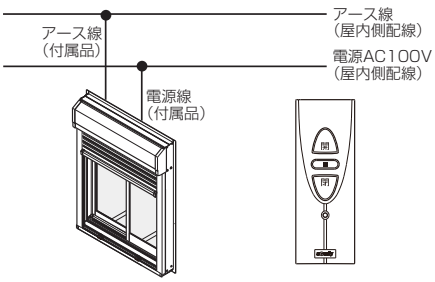


## 7動作確認

### 7動作確認

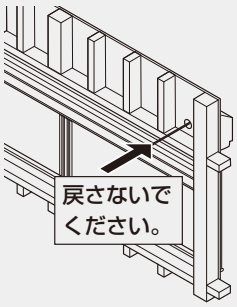
①電源線、アース線を仮結線状態にします。
※仮設電源を使用する場合は、電圧が定格電圧範囲内(90V～110V)にあることを確認してください。
②初期設定を行います。
※設定方法は、リモコンに同梱の電気工事説明書を確認してください。
※リモコン取付け時に他の取付け箇所と間違えないように、リモコンの梱包箱に設定箇所を記載して、リモコンを引き渡してください。

■配線図




**⚠ 注 意**

●シャッターが動き始めることがありますので、シャッターの下に顔や手を出さないでください。
●電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
●動作確認終了後、電源線、アース線を本体内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線、アース線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。




**お願い**
※通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。

③初期設定完了後にリモコンを操作して、シャッターを開閉させます。引っ掛かりなど支障がないよう、スラットの横ズレの確認を行ってください。

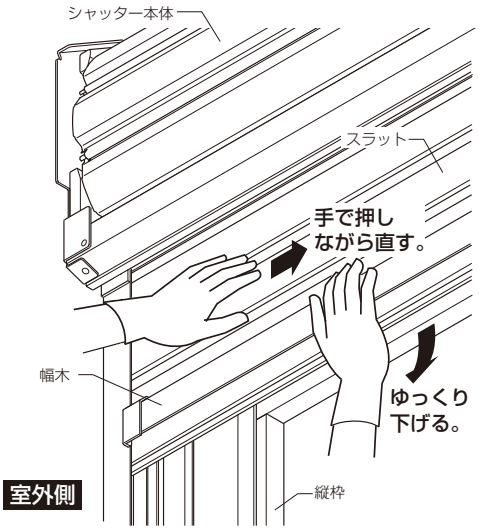
### ■スラットの横ズレの確認

①開口の1/3程度までスラットを下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

**⚠ 注 意**

●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

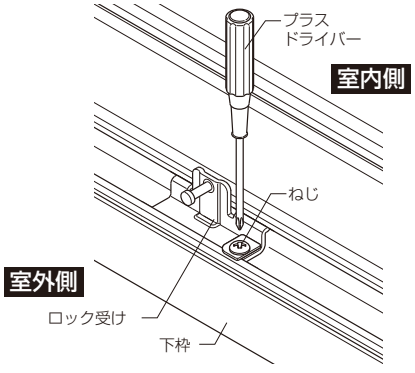
※縦枠・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。




## 8ロック位置の確認と調整方法

### 8ロック位置の確認と調整方法

※ロックの掛かりを確認してください。
①2、3回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
②ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締直します。



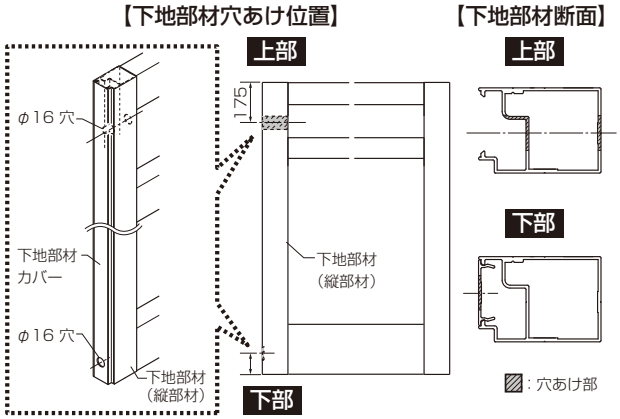
## ■リフォームシャッターへの取付け手順

●リフォームシャッターにイタリヤ(リモコン電動)を取付けする場合、下記の手順で配線工事を行ってください。下記手順は標準的な工事方法を説明しておりますので現場状況に応じて配線工事を行ってください。

### <屋外コンセントの場合>

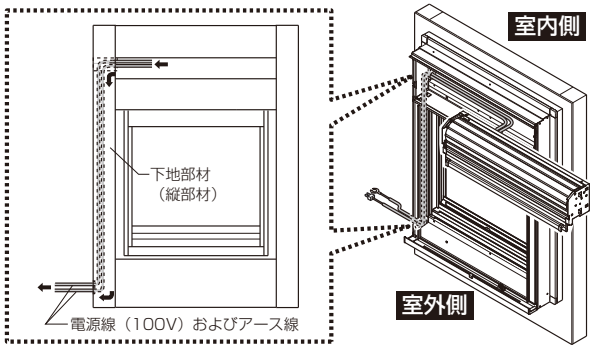
#### ❶リフォームシャッター下地部材への配線工事準備

●下地部材外観左側の縦部材にφ16の穴を下地部材および下地部材カバーにあけます。



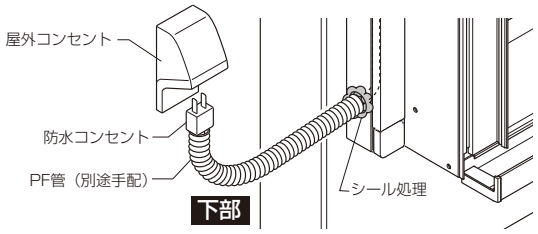

#### ❷本体取付けと配線について

●下地部材にあけた穴に配線を通し、カバーにあけた穴から配線を出します。




#### ❸配線処理

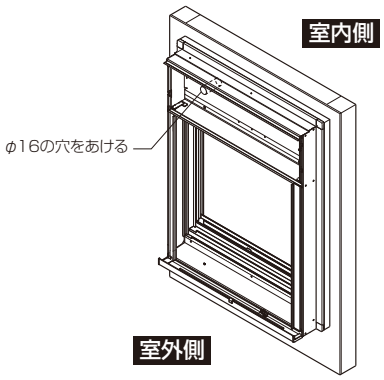
●配線を下地部材カバーから出し、フレキシブルチューブ(別途手配品)に通し屋外用プラグを使用して屋外コンセントに接続します。




### <屋内コンセントの場合>

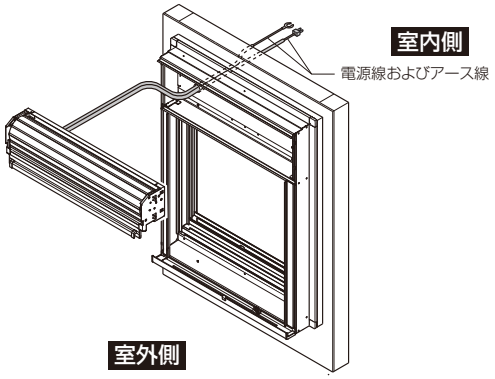
#### ❶配線工事準備

●ボックス内から内装ボードまで配線用φ16の穴をあけます。



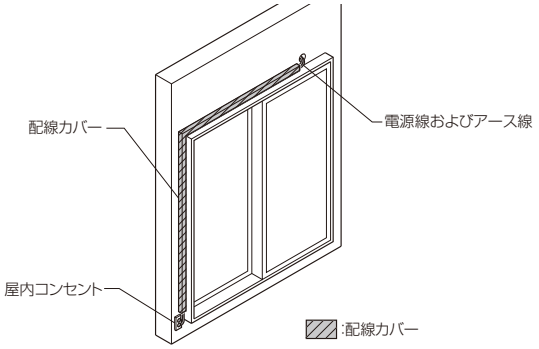

#### ❷本体取付けと配線について

●電源線およびアース線を先ほどあけた穴から室内に引き込みます。




#### ❸配線処理

●配線カバー(別途手配品)を用いて屋内コンセント近くまで配線し、屋内用プラグを使用して屋内コンセントに接続します。アース線はアース端子に取付けてください。



# シャッター付引違い窓　本体・ガイドレール　イタリヤリモコン電動

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●漏電、感電や火災の原因になりますので、下記事項をお守りください。
・電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。
・AC100V配線はVVF1.6mm以上をご使用ください。
・電源線、アース線は折曲げたり、挟んだり、キズ付けたりしないでください。
・動作確認終了後、電源線、アース線を本体内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線、アース線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。
・動作確認をする際は、シャッターの下に顔や手を出さないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
●シャッター本体・シャッターボックスの脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
・本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。
●取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス（点検口）、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

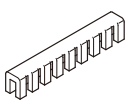
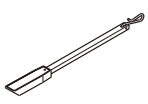
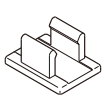
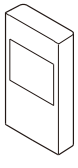
## ■取付け上のお願い

●本製品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。
●電気配線工事は屋内配線との接続になるので、内装工事前に配線工事をご依頼ください。
※シャッターの電源線、アース線は外観左側になりますので、電気配線工事を依頼される際はご注意ください。
●障害物にあたると停止・反転する機能は、モータ内部電圧の変動を利用した方式を採用しております。そのため、瞬間式の給湯等（瞬間的に電力制御を行う電機機器）とシャッターが同じ電源回路にあると誤作動のおそれがありますので、別の回路にしてください。
●シャッター本体取付けの際、動作確認のために、AC100V（定格電圧範囲内90V～110V）を使用します。事前に、電気工事士さまなどと打合わせの上、電源を用意してください。
●通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。
●シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠の上下のソリが無いことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、かい物などで調整してください。
●本体取付けフィンの固定の際、天板の水平が出ていることを水糸などで確認して行ってください。シャッター作動不良の原因となります。
●本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス（点検口）およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●壁仕上げの際、ボックス（点検口）・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないようにしてください。
●モルタルはくり材はアルミ表面を傷めますので使用しないようにしてください。
●枠部分の組立て・取付けには「サッシ枠 組立て説明書」、「サッシ枠 取付け説明書」をご覧ください。
●一次側AC100Vとアース線の接続に必要なジョイントボックスなどの電設資材は、別途市販品をご使用ください。
●背板のブッシングの取付け穴の大きさに合わせて、室内側へ電源線、アース線を通すための配線穴をあけておいてください。

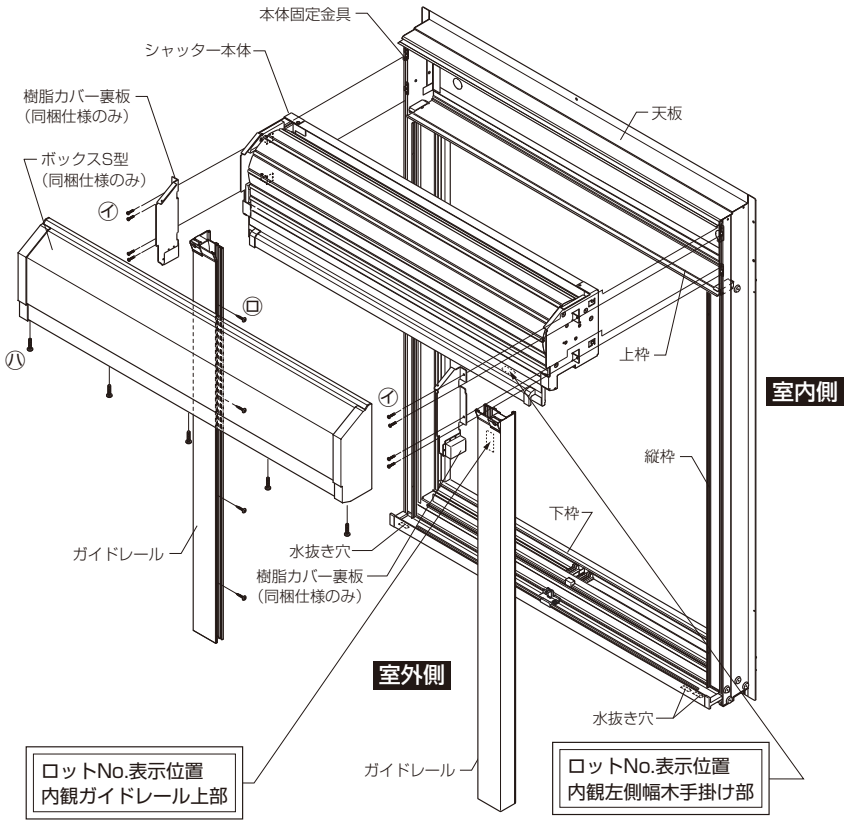
## ■取付け部品・ねじ一覧表

| 本体取付け用 | ガイドレール取付け用 | ボックス取付け用 |
|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩（ボックスS型同梱仕様のみ） |
| | | |
| バインド小ねじ M4×12（D8.3） | トラスタッピンねじ φ4×8（D9.4） | バインド小ねじ（先付け）M4×10 |

同梱部品

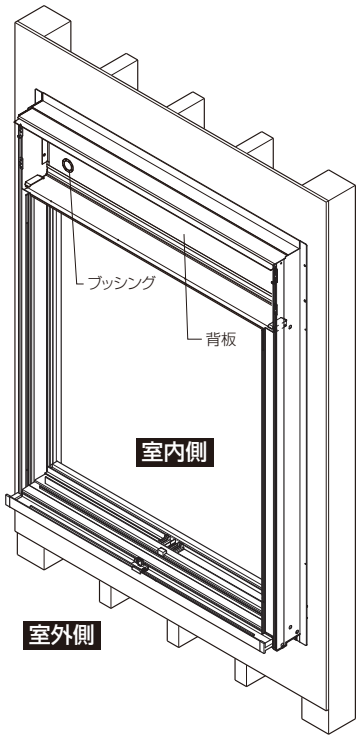
| 樹脂カバー裏板（ボックスS型同梱仕様のみ） | ブッシング | 操作ハンドル | | | リモコン |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 操作ハンドル | 操作ハンドルホルダー | 表示シール | リモコン部品セット |
| |  |  |  | |  |

## ■構成図




## ■取付け順序

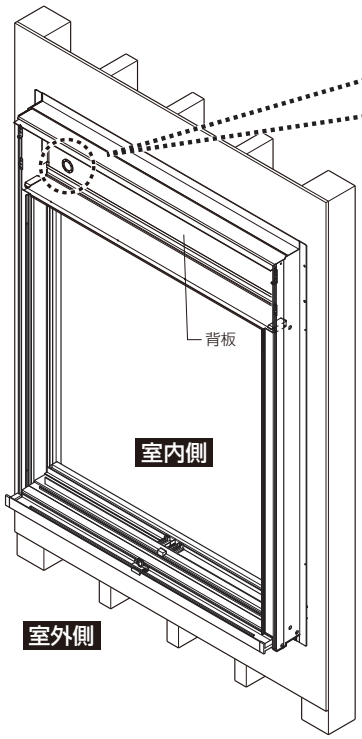
**1背板へのブッシングの取付け**

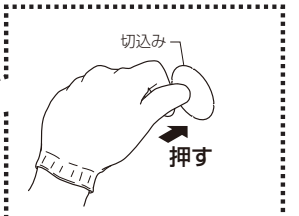



## ■取付け詳細

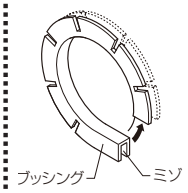
**1背板へのブッシングの取付け**

①外観左側の枠背板にブッシングを取付ける穴をあけます。
②ブッシングをはめ込みます。
③はめ込み後、ブッシングに浮きがないか確認してください。

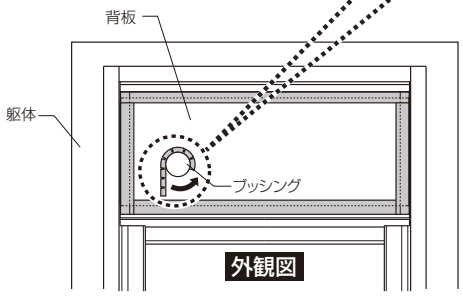



※背板にブッシング穴用の切込みがありますので、室内側に押せば穴はあきます。



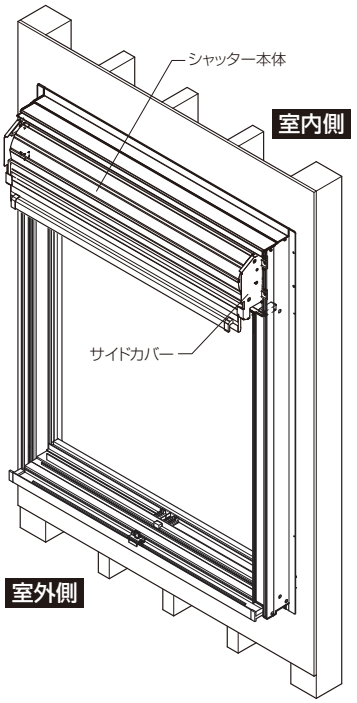

※ブッシングのミゾを穴に合わせながら全周にはめ込みます。




**⚠ 注 意**

●背板へのブッシングの取付けの際は、手袋をしてください。

## 2シャッター本体の取付け

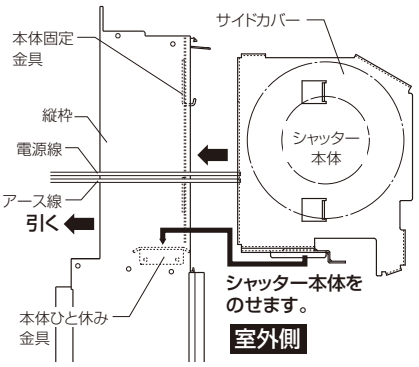



## 2シャッター本体の取付け

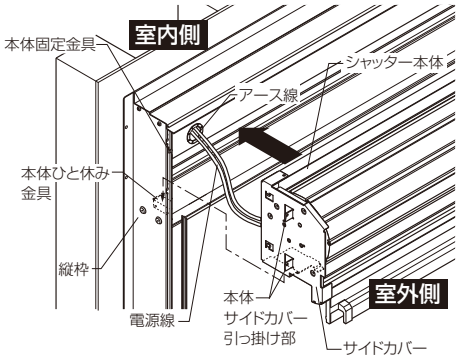
①電源線、アース線を配線穴から室内側へ通し、軽く引きながらシャッター本体を縦枠のひと休み金具の上にのせます。

**⚠ 注 意**

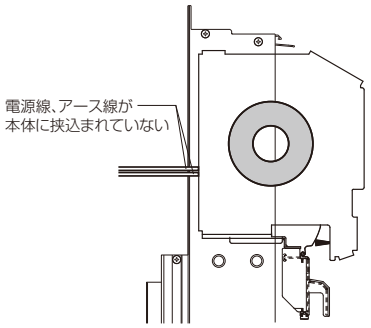
- ●本体取付けの際は、手袋をしてください。
- ●本体サイドカバーの引っ掛け部を必ず本体固定金具に掛けてください。

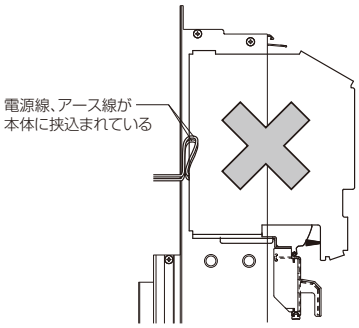



②電源線、アース線を軽く引きながら本体サイドカバーの引っ掛け部が本体固定金具にあたるまで押込んでください。

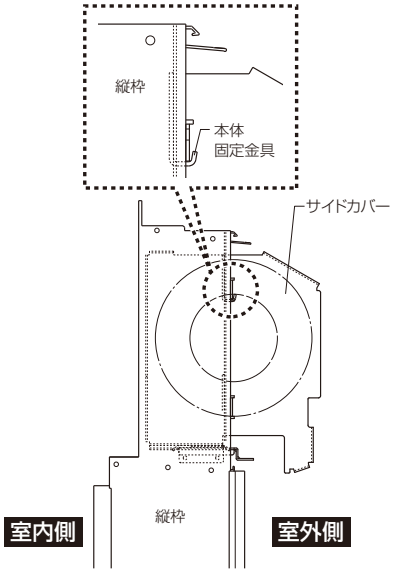


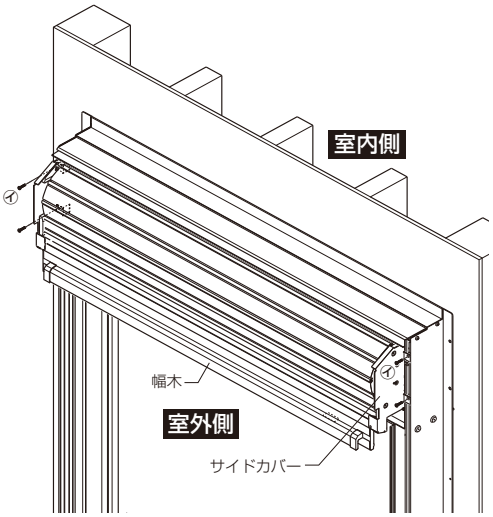

※電源線、アース線を本体と背板の間に挟込まないようにしてください。



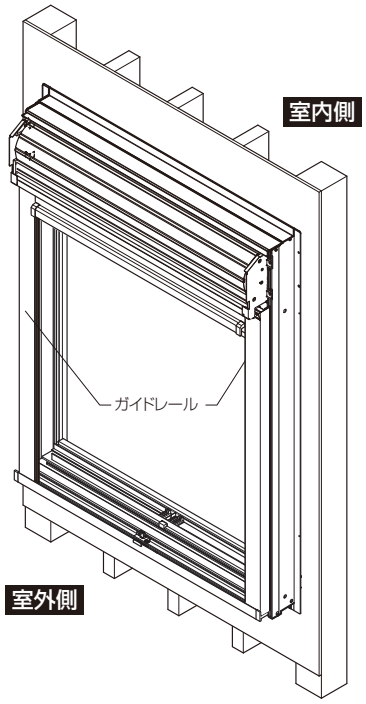




③本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、㋑バインド小ねじでねじ止めします。



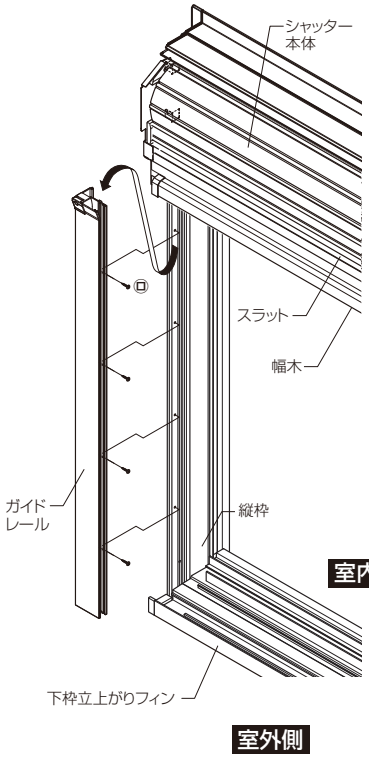
## 3ガイドレールの取付け

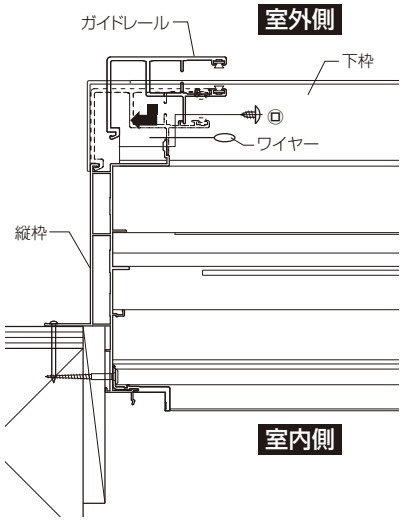



## 3ガイドレールの取付け

①ガイドレールの上端（ガイドピース側）に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠立ち上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠にはめ込み、㊁トラスタッピンねじで固定します。

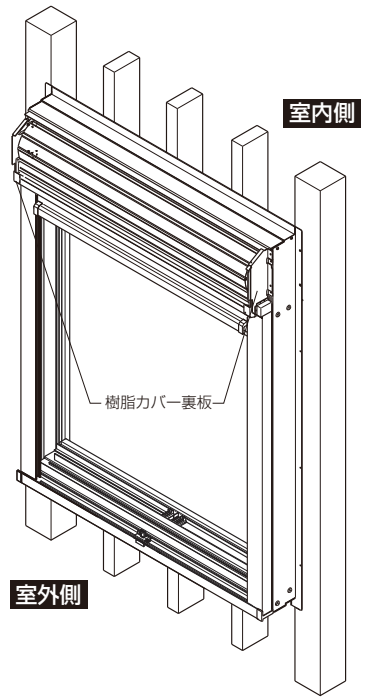
**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



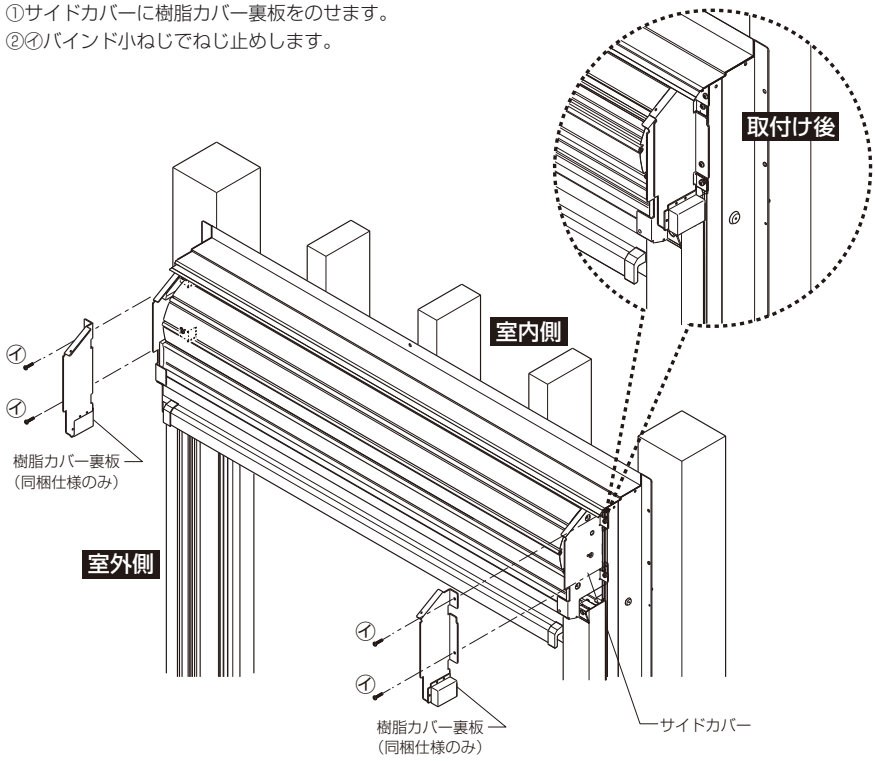

**お願い**
※クラッチのワイヤーをガイドレールの外側に出してガイドレールをはめ込んでください。

## 4樹脂カバー裏板の取付け（同梱仕様のみ）

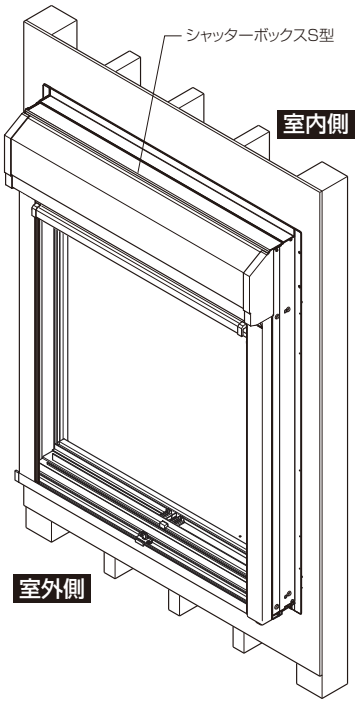



## 4樹脂カバー裏板の取付け（同梱仕様のみ）

①サイドカバーに樹脂カバー裏板をのせます。
②㋑バインド小ねじでねじ止めします。

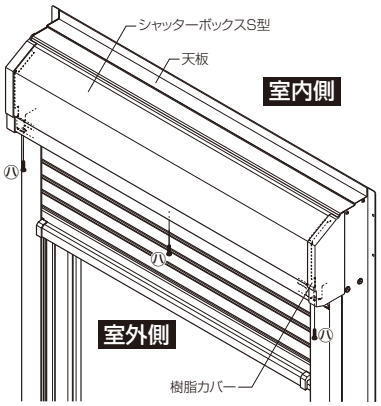


## 5シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）

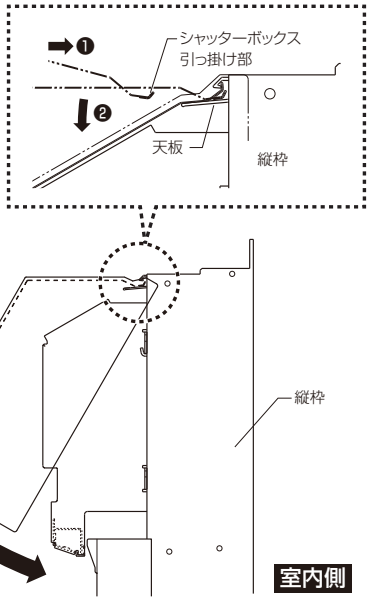



## 5シャッターボックスS型の取付け（同梱仕様のみ）

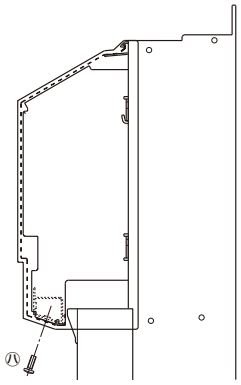
【シャッターボックスS型】



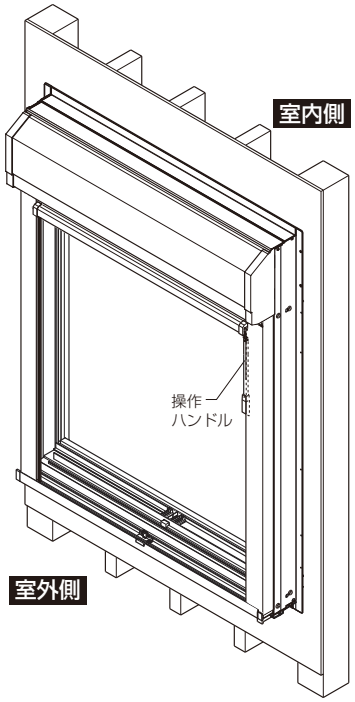

①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。




②シャッターボックスの下側から本体へ㋑バインド小ねじで止めます。

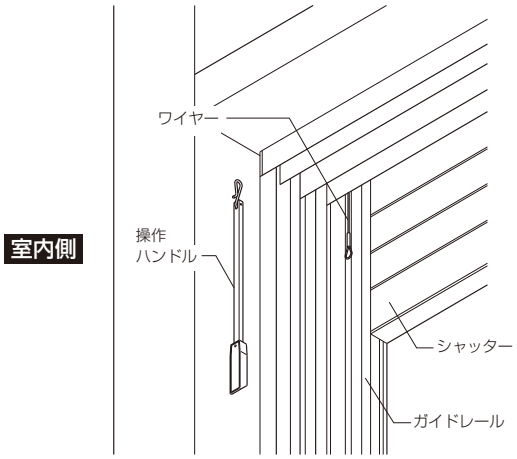


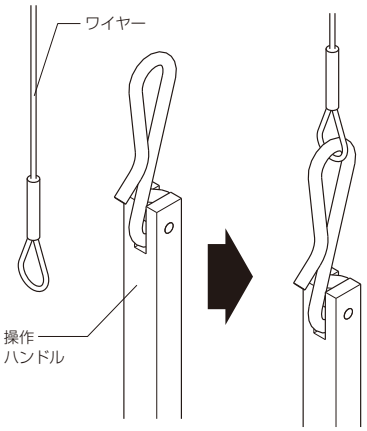
## 6操作ハンドルの取付け




## 6操作ハンドルの取付け

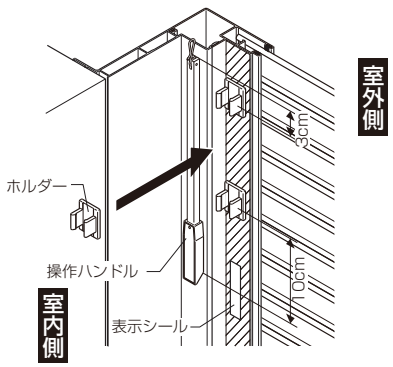
①ガイドレール上部からぶら下がっているワイヤーに操作ハンドルを引っ掛けます。
※このときワイヤーを引っ張らないでください。停電時開閉機構が働き、シャッターが電動で動かなくなります。




②ホルダー張付け面(下図斜線部)のホコリ・油分をふき取ります。
③操作ハンドル上端から3cmおよび下端から10cmの位置に、ホルダーを張付けます。
④操作ハンドルをホルダーに固定し、同封の表示シールを真下に張ります。

**お願い**
※操作ハンドルは、必ず下図の向きでホルダーに固定しておいてください。
(操作ハンドルが引っ掛かり、シャッター開閉不良の原因となるおそれがあります。)

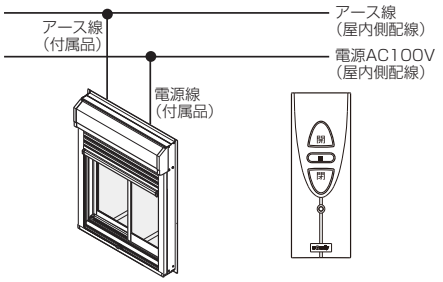


## ❼動作確認

❼動作確認

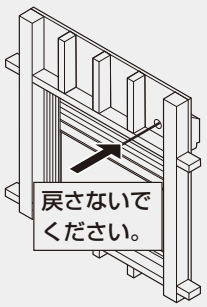
①電源線、アース線を仮結線状態にします。
※仮設電源を使用する場合は、電圧が定格電圧範囲内(90V ～110V)にあることを確認してください。
②初期設定を行います。
※設定方法は、リモコンに同梱の電気工事説明書を確認してください。
※リモコン取付け時に他の取付け箇所と間違えないように、リモコンの梱包箱に設定箇所を記載して、リモコンを引き渡してください。

■配線図




**⚠ 注 意**

- ●シャッターが動き始めることがありますので、シャッターの下に顔や手を出さないでください。
- ●電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
- ●動作確認終了後、電源線、アース線を本体内に戻さないでください。又、電気工事の際、あまった電源線、アース線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。




**お願い**
※通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。

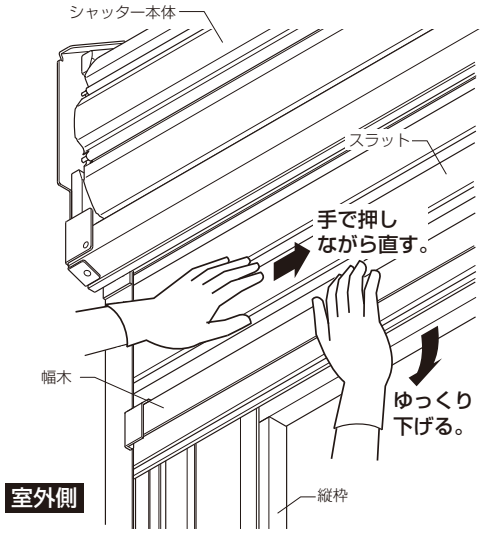
③初期設定完了後にリモコンを操作して、シャッターを開閉させます。引っ掛かりなど支障がないよう、スラットの横ズレの確認を行ってください。

■スラットの横ズレの確認
①開口の1/3程度までスラットを下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

**⚠ 注 意**

- ●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

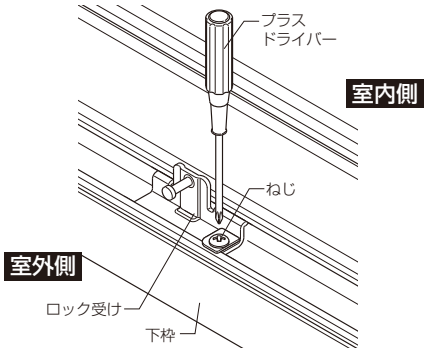
※縦枠・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。




## ❽ロック位置の確認と調整方法

❽ロック位置の確認と調整方法

※ロックの掛かりを確認してください。
①2、3回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
②ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締直します。



# シャッター付引違い窓　リモコン　イタリヤリモコン電動　電気工事説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

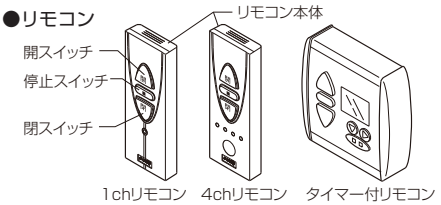
●電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
●リモコンはリモコン取付け時、子供の手の届かない高い位置に取付けてください。誤って人・物が挟まってケガや故障するおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

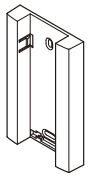
●この商品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。設定前に供給電源が常に定格電圧範囲内(90V～110V)であることをご確認ください。
●障害物にあたると停止・反転する機能は、モータ内部電圧の変動を利用した方式を採用しております。そのため、瞬間式の給湯等(瞬間的に電力制御を行う電気機器)とシャッターが同じ電源回路にあると誤作動のおそれがありますので、別の回路にしてください。
●通電後、必ず４往復開閉し初期設定を完了させてください。
●屋外や浴室など湿気の多い場所や暖房器など熱源に近いところへは取付けないでください。
●腐食性ガスや可燃ガスの発生する場所および薬品を常時使用するような場所には取付けないでください。
●アース工事は必ず行ってください。

## ■各部の名称および部品明細

●リモコン




●リモコンホルダー

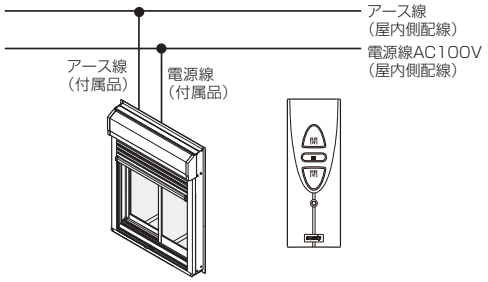


●フィッシャープラグ 30mm(2本)

●タッピンねじφ3×20(2本)(1chリモコン、4chリモコン)

●タッピンねじφ3×25(2本)(タイマー付リモコン)

## ■配線図

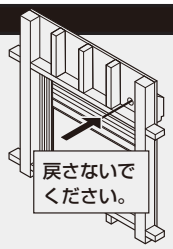



## ■配線手順

●電源線(付属品)・アース線(付属品)をそれぞれ所定の位置へ配線してください。造作材の貫通および固定作業は、電気工事の有資格者が行ってください。
※電源線、アース線は、くぎ打ちされないように配線してください。
※天井裏の配線が不可で、間柱および柱、ハリに穴をあける場合は、必ず工務店さまの承認を得てください。
※アース工事は必ず行ってください。

**⚠注 意**

●シャッターが動き始めることがありますので、シャッターの下に顔や手を出さないでください。
●電気配線工事は必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。
●作動確認終了後、電源線、アース線を本体内に戻さないでください。また、電気工事の際、あまった電源線、アース線を本体内に戻さないよう、電気工事士さまにご連絡ください。




## ■シャッター設定方法

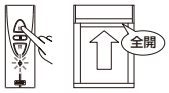
**●設定前に供給電源が定格電圧範囲内(90V～110V)であることを確認してください。**

**初期設定操作**

**1上下限位置設定**

**お願い**
※通電後、必ず4往復開閉し初期設定を完了させてください。

●上下限の停止位置を設定します。
①開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。
※上限の停止位置を正確に出すため、シャッターが全開状態の場合は、閉スイッチ▽を押し、スラットを少し下げてから、開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。




②閉スイッチ▽を押し、シャッターを全閉にしてください。もう一度開スイッチ△を押し、シャッターを全開にしてください。

③シャッター全開後、リモコンの開閉スイッチを操作して、シャッターをもう1往復させてください。上下限位置設定が完了します。

**2感度設定**

●下限位置での停止感度を設定します。
①上下限位置設定完了後、リモコンの開閉スイッチを操作して、シャッターをもう2往復させてください。感度設定が完了します。
※これでシャッターの設定は完了です。

## ■停電後復帰方法

●下記現象の場合、停電から復帰した状態になったと考えられます。停電復帰操作を行なってください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 現　象 | 開スイッチ△を押しても、全開しないで途中で止まる | 閉スイッチ▽を押すと、全閉して反転後途中で止まる | 閉スイッチ▽を押しても、全閉しないで途中で止まる |
| 復帰方法 | ①閉スイッチ▽を押して、シャッターを少し下げます。<br>②停止スイッチを押して、シャッターを停止させます。<br>③開スイッチ△を押して、シャッターを全開します。 | | ①開スイッチ△を押して、シャッターを全開します |

## ■シャッターの点検

**●シャッターの設定完了後、以下の項目について点検してください。**

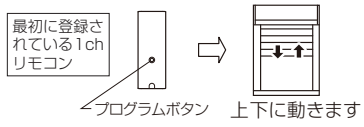
①スイッチのワンタッチ操作で、全開・全閉・停止しますか。
②操作ハンドルを引いて、手動開閉できますか。
③プレッシャーリターンセンサーは作動しますか。
④ロックは施錠できますか。

※②、③、④の点検方法については、「お施主さま用取扱い説明書」をご覧ください。

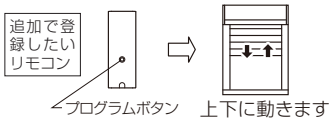
## ■追加リモコン登録方法

※リモコンを追加で複数台登録する場合のリモコンの登録方法です。
※通電状態で行なってください。
※シャッターを中間位置まで作動させてください。

①シャッターが小さく上下に動くまで(約2秒)、最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンを押します。

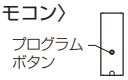



②追加で登録したいリモコンのプログラムボタンを一度短く押します。その後、シャッターが小さく上下に動きます。これで登録が完了です。

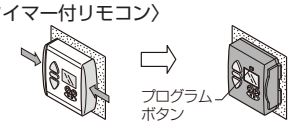



**■各リモコンのプログラムボタンの位置**

〈1chリモコン、4chリモコン〉




〈タイマー付リモコン〉




❶フロントカバーの両サイドをつかみ、手前に引っ張ります。
❷プログラムボタンを押します。フロントカバーを取付けます。

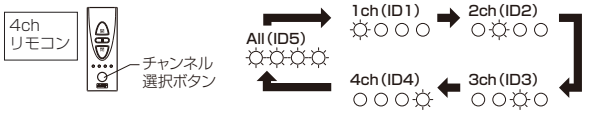
●4chリモコンの登録

(1) 4chリモコンを追加する場合
チャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。
次に上記①、②の手順でリモコンを登録します。

(2) 4chリモコンの各チャンネルに複数シャッターを登録する場合
①複数シャッターを登録する4chリモコンのチャンネルを選択します。
②シャッターが小さく上下に動くまで(約2秒)最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンを押します。
③4chリモコン裏側のプログラムボタンを1度短く押します。
その後、シャッターが小さく上下に動きます。
※シャッター1台ずつの登録が必要となります。登録するシャッター数に合わせて②、③の手順を繰り返し行なってください。

**■チャンネルの選択方法**

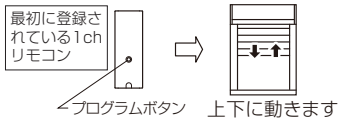
チャンネル選択ボタンを押してください。現在選択されているチャンネル(ID)が約5秒間早い間隔で点滅します。この点滅をしている間にチャンネル選択ボタンを押すとチャンネル(ID)が切り替わります。
※4chリモコンは各チャンネル(ID1～ID5)に登録したシャッターを操作することが可能です。



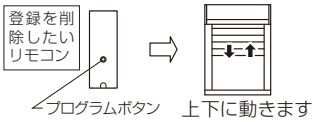

## ■追加リモコンの登録削除方法

※リモコンを追加で複数台登録している場合のリモコンの削除方法です。
※リモコンが複数台登録されている場合は、下記の①、②の手順を繰り返し行なってください。
※シャッターを中間位置まで作動させてください。

①最初に登録されている1chリモコンのプログラムボタンをシャッターが小さく上下に動くまで(約2秒)押します。




②登録を削除したいリモコンのプログラムボタンを一度短く押します。その後、シャッターが小さく上下に動きます。




※4chリモコンの削除
4chリモコンの場合は、まず初めにチャンネル選択ボタンを押して、チャンネルを選択します。
次に上記①、②の手順でリモコンを削除します。

# シャッター付引違い窓　壁スイッチ　イタリヤマルチ電動　電気工事説明書

●この取付け説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

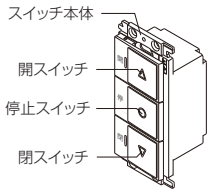
●電気配線工事は、必ず電気工事の有資格者が行ってください。漏電・感電・火災の原因となるおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

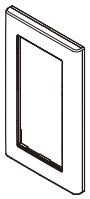
●この商品はAC100V専用です。他の電圧は使用しないでください。
●スイッチは「窓シャッターPRS」「窓シャッターSRS」専用のものをお使いください。配線前にスイッチの品番を確認してください。(スイッチ本体の裏面に表示してあります。)
●1個の壁スイッチで複数のシャッターの開閉はできません。
●屋外や浴室など湿気の多い場所へは取付けないでください。
●直射日光の当たる場所や暖房器など熱源に近いところへは取付けないでください。
●腐食性ガスや可燃ガスの発生する場所および薬品を常時使用するような場所には、取付けないでください。
●パネル押さえ金具・スイッチボックスは、市販品をご使用ください。
●窓シャッターPRSは必ず過負荷感度の設定を行ってください。

## ■各部の名称および部品明細

●スイッチ




●プレート(1セット)

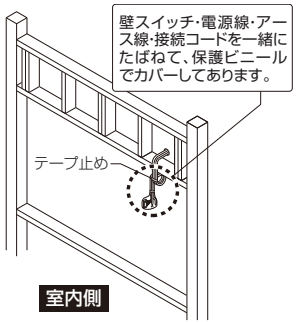


●皿小ねじ M3.5×5(2本)(プレート枠に組込み)

●皿小ねじ M4×25(2本)

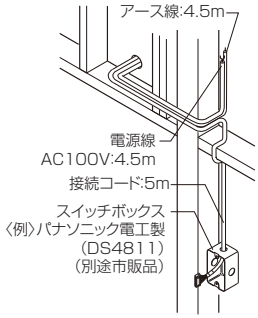
●ナベタッピンねじ φ4×16(2本)

## ■電気工事店さま引渡し状態




## ■配線手順

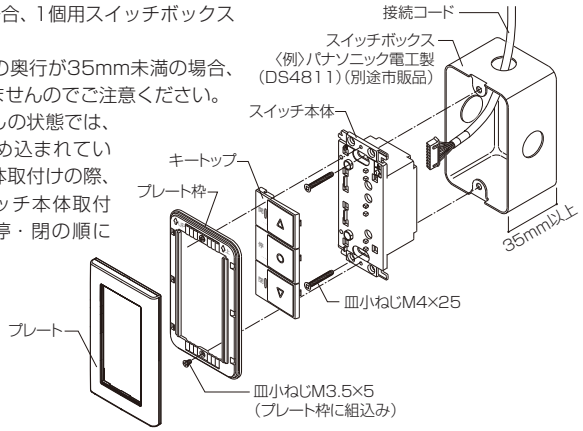
●図のように電源線・アース線・接続コードをそれぞれ所定位置へ配線してください。配線において、造作材の貫通および固定作業は、電気工事の有資格者に施工させてください。壁スイッチの取付け方法は、次項を参照してください。



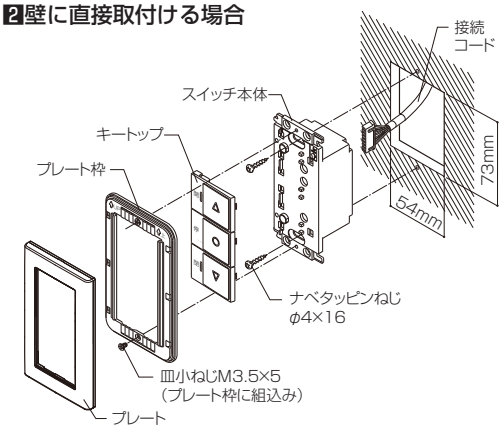

## ■取付け順序

### ❶スイッチボックスを使用して取付ける場合

●本機1個取付ける場合、1個用スイッチボックスをご使用ください。
※スイッチボックスの奥行が35mm未満の場合、本機は取付けられませんのでご注意ください。
※キートップは引渡しの状態では、スイッチ本体にはめ込まれています。スイッチ本体取付けの際、一度取外し、スイッチ本体取付け後、上から開・停・閉の順に付直してください。

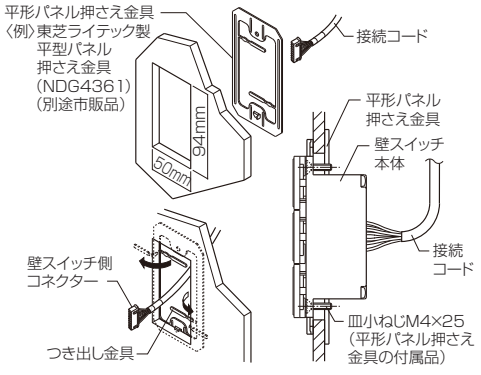



### ❷壁に直接取付ける場合



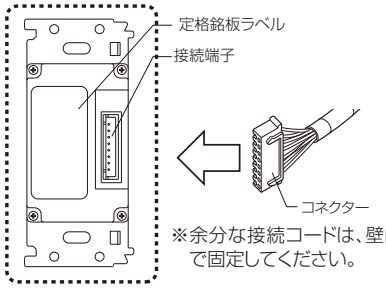

### ❸パネル押さえ金具で取付ける場合

①右図の壁穴あけ寸法にしたがって、壁に穴をあけます。
②平形パネル押さえ金具の突起をドライバーなどで壁にくい込ませます。つき出し金具を手前に折り曲げて仮固定します。
③壁スイッチ側コネクターを壁スイッチ本体に接続し、平形パネル押さえ金具付属の小ねじで壁に取付けます。
④つき出し金具をペンチで切断します。
⑤プレート(付属品)を取付けます。
●パネル押さえ金具は、平形パネル押さえ金具をご使用ください。




## ■接続コードの接続方法

●接続コードのコネクターを 壁スイッチの接続端子に差込みます。この場合、コネクターについている突起が入るまで押込んでください。




※余分な接続コードは、壁内で固定してください。

# シャッター付引違い窓　本体・ガイドレール　イタリヤ外鍵付[単窓]

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●シャッター本体の脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
・本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。
●取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

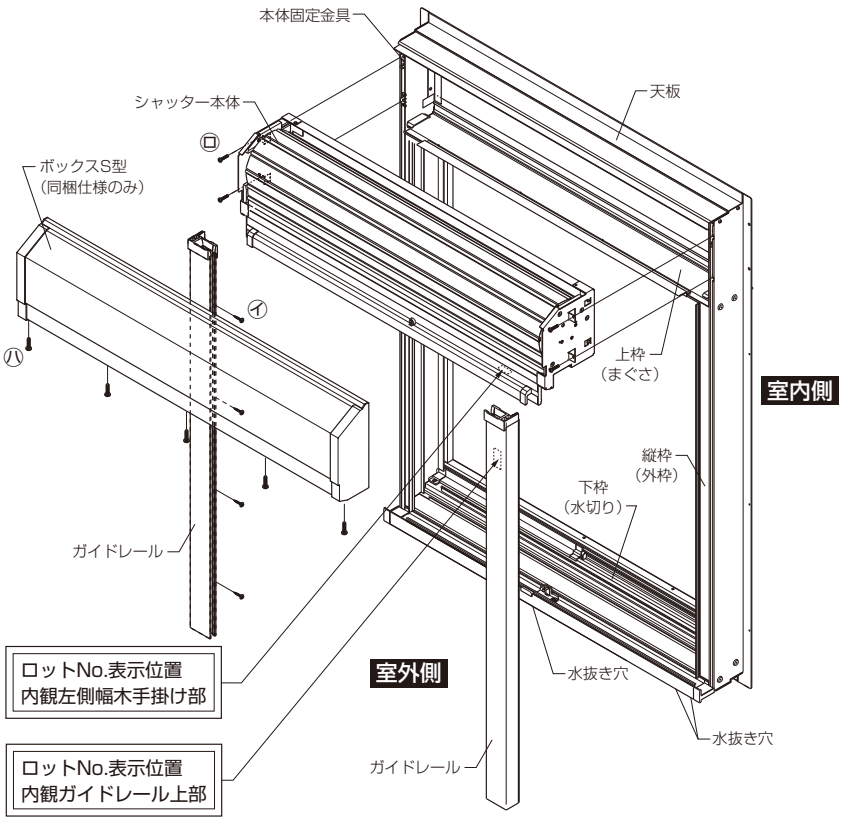
## ■取付け上のお願い

●シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠(水切り)の上下のソリがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、かい物などで調整してください。
●本体取付けフィンの固定の際、天板のへこみがないように水糸などで確認して行ってください。シャッターの作動不良の原因になります。
●本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス(点検口)およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●壁仕上げの際、ボックス(点検口)・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠(水切り)にモルタルが付着しないように指導してください。
●モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
●枠部分の組立て・取付けについては「サッシ枠 組立て説明書」、「サッシ枠 取付け説明書」、「単体枠 取付け説明書」をご覧ください。
●S型以外のボックスの取付けについては、「ボックス 取付け説明書」をご覧ください。

## ■ねじ・同梱部品一覧

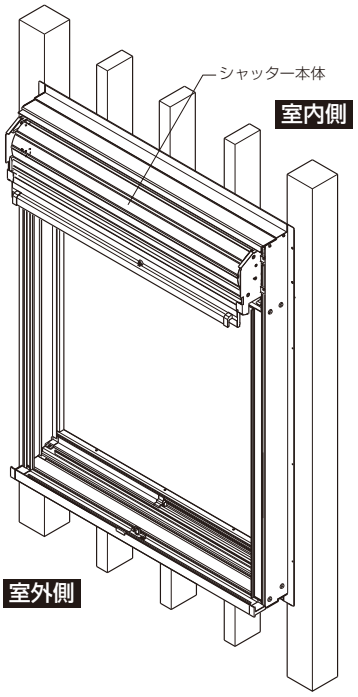
| ㋑ | ㋺ | ㋩(ボックスS型同梱仕様のみ) | ㋥ キー(3本) |
|---|---|---|---|
| | | | |
| トラスタッピンねじφ4×8(D9.4) | バインド小ねじM4×12(D8.3) | バインド小ねじ(先付)M4×10 | |

## ■構成図



## ■取付け順序

### ❶本体の取付け



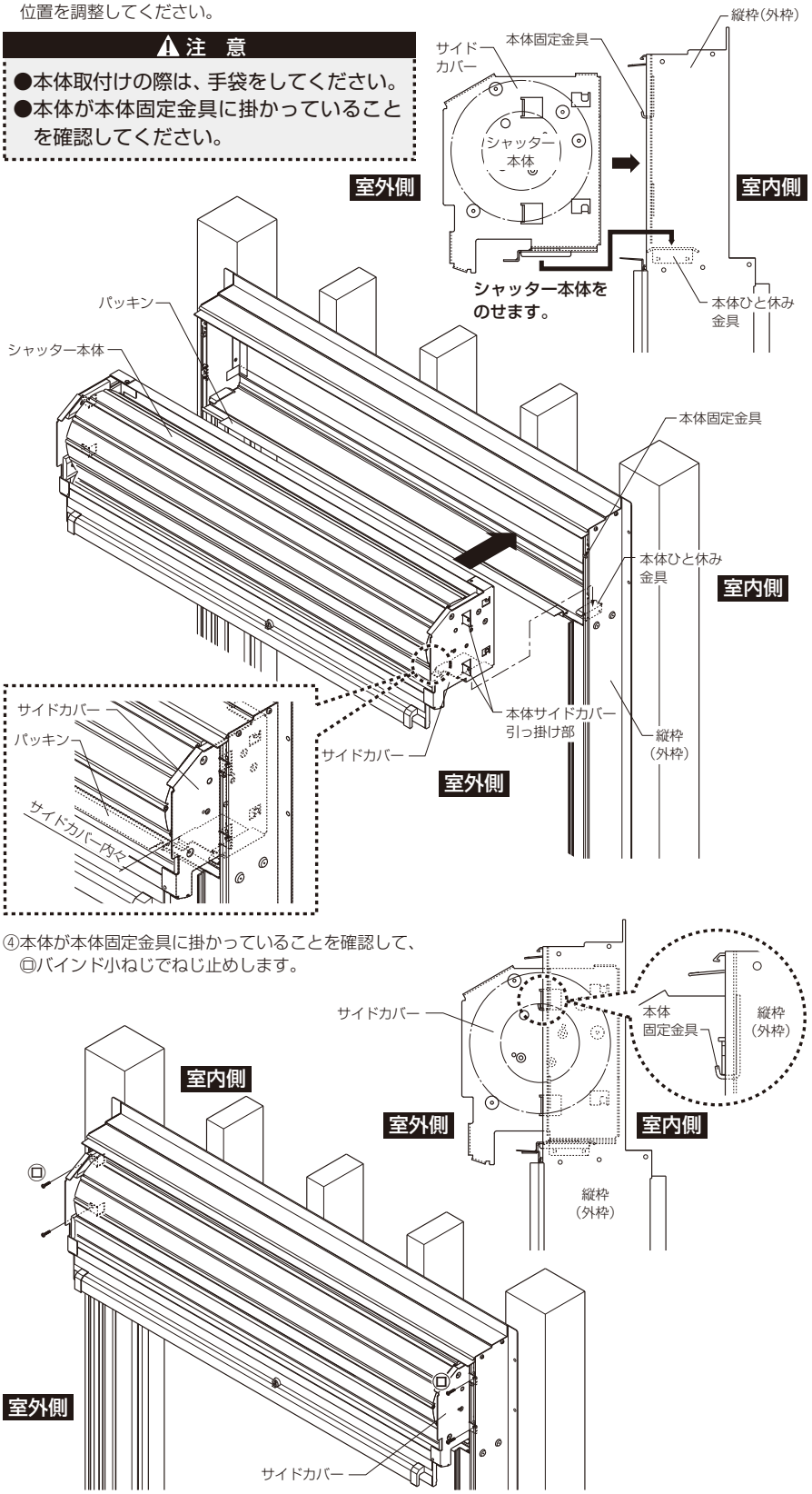

## ■取付け詳細

### ❶本体の取付け

①シャッター本体を縦枠(外枠)のひと休み金具の上にのせます。
②本体サイドカバーの引っ掛け部が、本体固定金具に当たるまで押込んでください。
③本体サイドカバーの引っ掛け部を、片側ずつ本体固定金具に掛けてください。
※パッキンは、サイドカバーの内々に配置されているか確認してください。ズレている場合は、パッキンの位置を調整してください。

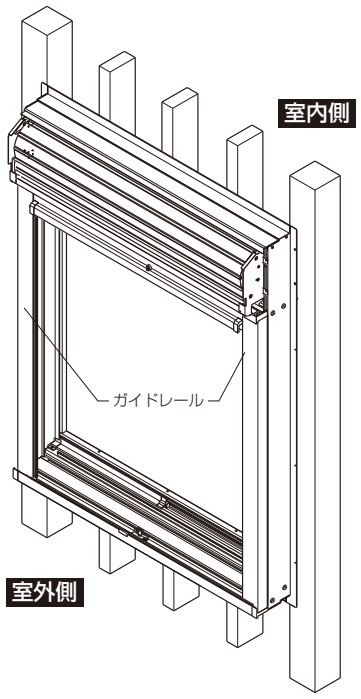
**⚠注 意**

- ●本体取付けの際は、手袋をしてください。
- ●本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。



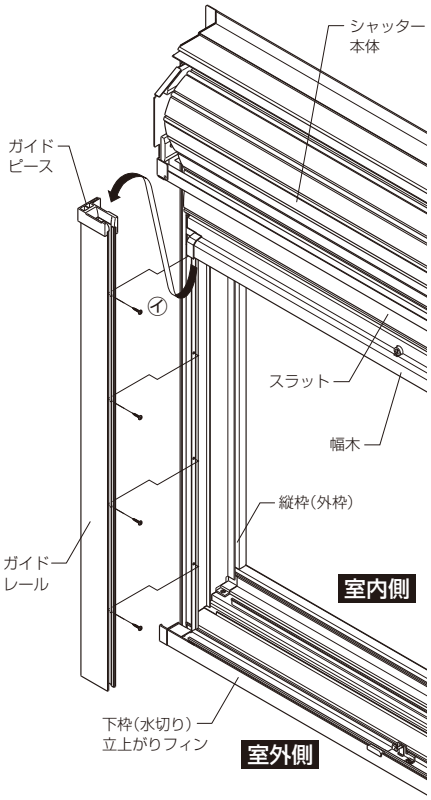

④本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、
回バインド小ねじでねじ止めします。

## ❷ガイドレールの取付け

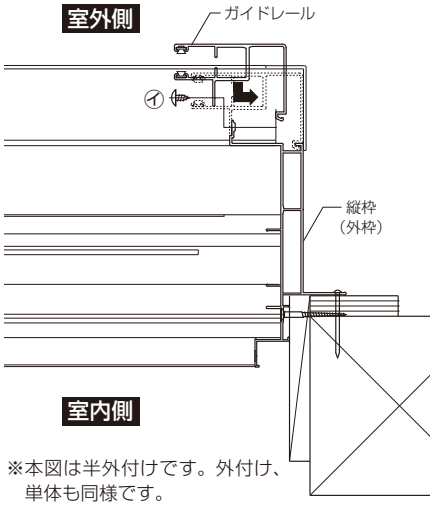



## ❷ガイドレールの取付け

①幅木を引下げ、ガイドレールの上端（ガイドピース側）に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠（水切り）立上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠（外枠）にはめ込み、㋑トラスタッピンねじで固定します。
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「❸スラットの横ズレの確認」を行ってください。




**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。




※本図は半外付けです。外付け、単体も同様です。

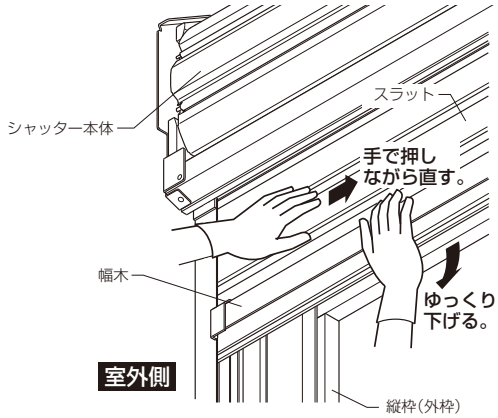
### 3スラットの横ズレの確認

①幅木の中央を持ち、開口の1 ／ 3程度までスラットをゆっくり下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

**⚠注　意**

●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

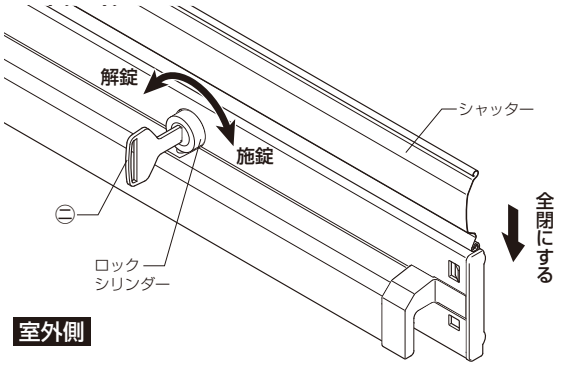
※縦枠(外枠)・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。

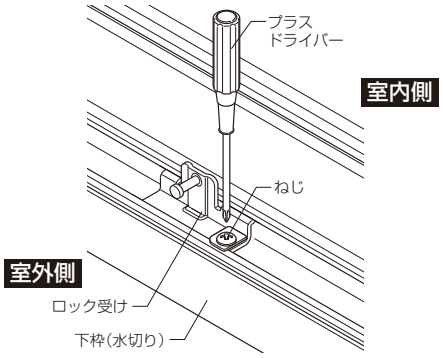



### 4ロック位置の確認と調整方法

※ロックの掛かりを確認してください。
①シャッターを全閉にします。
②数回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
③ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締直します。

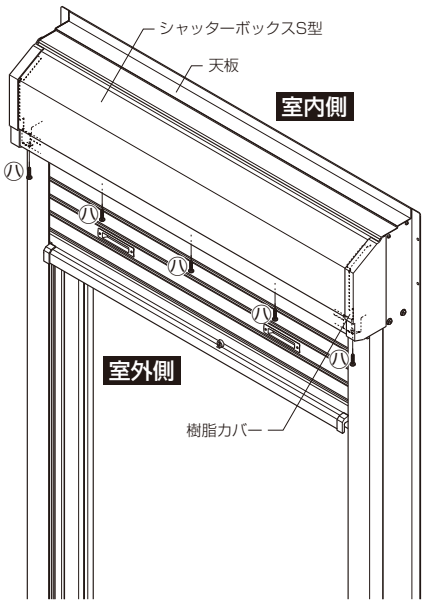
※施錠時、幅木が下枠から浮いてしまう場合は、幅木が下枠から浮かないように手で押えながら施錠してください。
※施錠後、必ずロックが掛かっていることを確認してください。



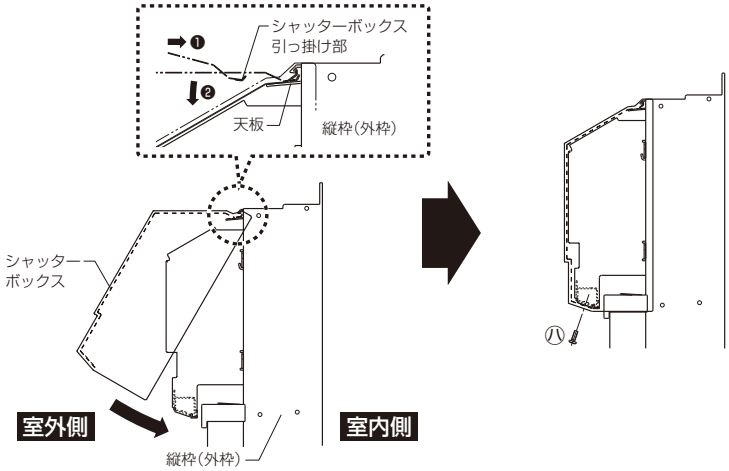

**シャッターを開けるときのお願い**
※スラットのキズや変形防止のため、操作ツマミはスラットにつけずに垂らしておくか、一番下のスラットにつけてシャッターを開けてください。

### 5シャッターボックスS型の取付け(同梱仕様のみ)




①シャッターボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。

②シャッターボックスの下側から本体へ㋑バインド小ねじで止めます。



# シャッター付引違い窓　本体・ガイドレール　イタリヤ外鍵付[連窓]

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●シャッター本体の脱落や漏水・変形による作動不良の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじを指定の本数使用し、固定してください。
・シャッター吊束が□90mm以上の木材に固定されていることを確認してください。
・本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。
●取付け時およびスラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・シャッター本体を取付ける前に、枠の周りに防水テープが張ってあることを確認してください。
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、下枠・縦枠下部の水抜き穴を埋込まないでください。

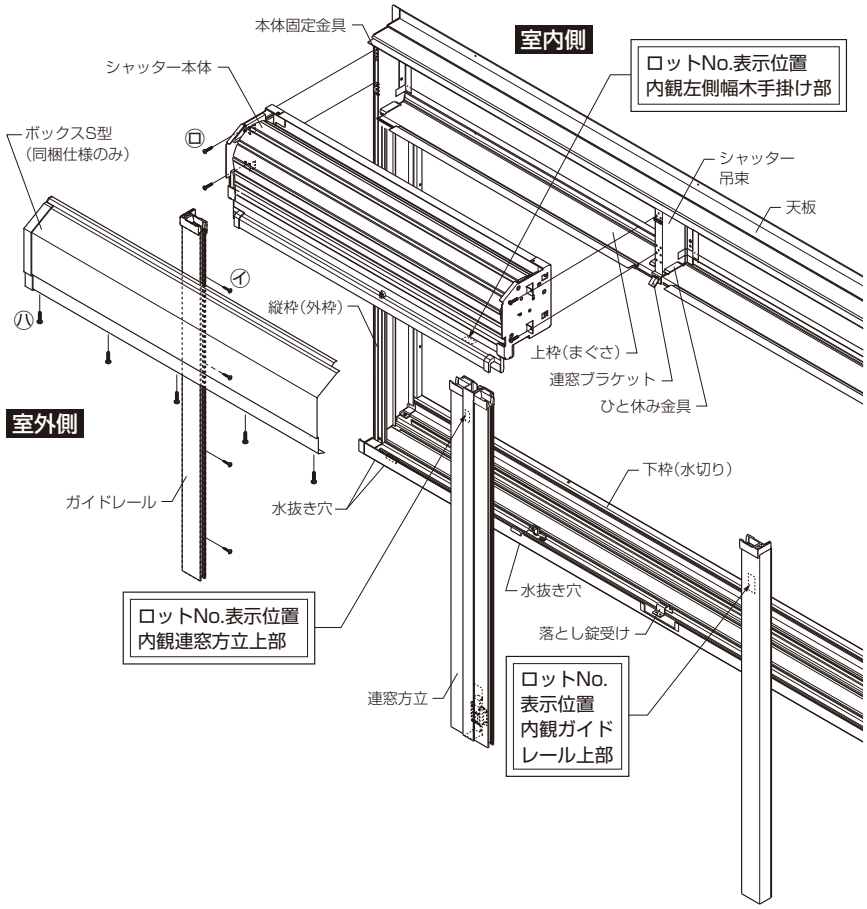
## ■取付け上のお願い

●シャッターを取付ける前に枠の水平・垂直および下枠(水切り)の上下のソリがないことを確認してください。取付け精度が悪いとシャッターの作動不良の原因になりますので、かい物などで調整してください。
●本体取付けフィンの固定の際、天板のへこみがないように水糸などで確認して行ってください。シャッターの作動不良の原因になります。
●本製品を軒天内部に納める場合、必ず軒天点検口を設け、必ずボックス(点検口)およびガイドレールが外部から取外せる構造にしてください。外せない場合、メンテナンスができなくなります。
●壁仕上げの際、ボックス(点検口)・ガイドレールを塗込まないでください。メンテナンスができなくなります。
●モルタル施工の際、ガイドレール・下枠(水切り)にモルタルが付着しないように指導してください。
●モルタルはくり剤はアルミ表面を傷めますので使用しないように指導してください。
●枠部分の組立て・取付けについては「サッシ枠 組立て説明書」、「サッシ枠 取付け説明書」、「単体枠 取付け説明書」をご覧ください。
●S型以外のボックスの取付けについては、「ボックス 取付け説明書」をご覧ください。

## ■ねじ・同梱部品一覧

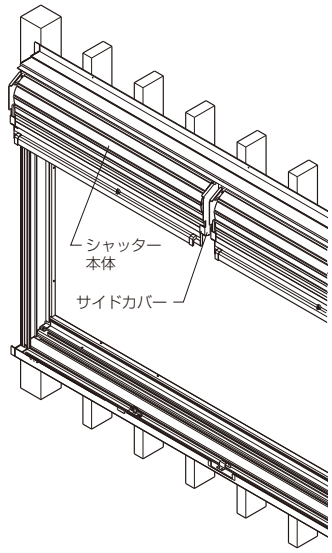
| ㋑ | ㋺ | ㋩(ボックスS型同梱仕様のみ) | ㋥ キー(3本) |
|---|---|---|---|
| | | | |
| トラスタッピンねじφ4×8(D9.4) | バインド小ねじM4×12(D8.3) | バインド小ねじ(先付)M4×10 | |

## ■構成図



## ■取付け順序

### ❶本体の取付け



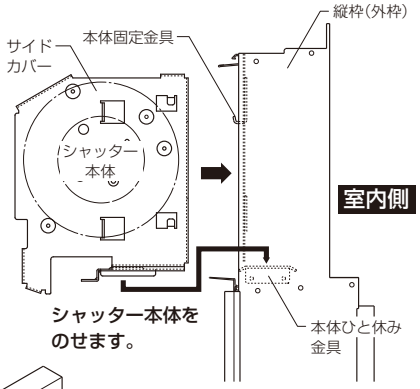

## ■取付け詳細

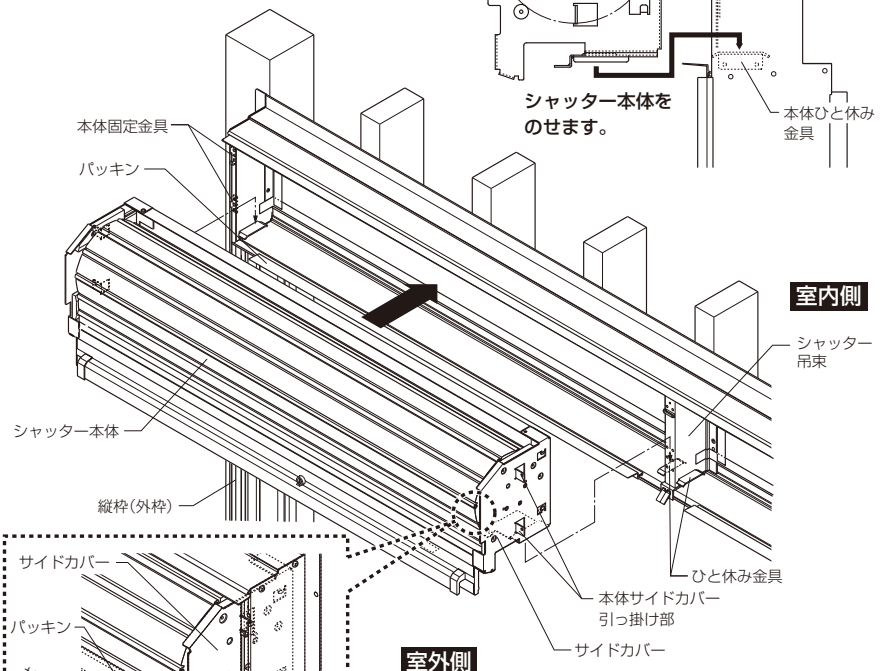
### ❶本体の取付け

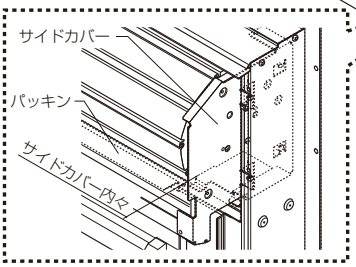
①シャッター本体を縦枠(外枠)のひと休み金具の上にのせます。
②本体サイドカバーの引っ掛け部が、本体固定金具に当たるまで押込んでください。
③本体サイドカバーの引っ掛け部を、片側ずつ本体固定金具に掛けてください。
※パッキンは、サイドカバーの内々に配置されているか確認してください。ズレている場合は、パッキンの位置を調整してください。

**⚠注 意**

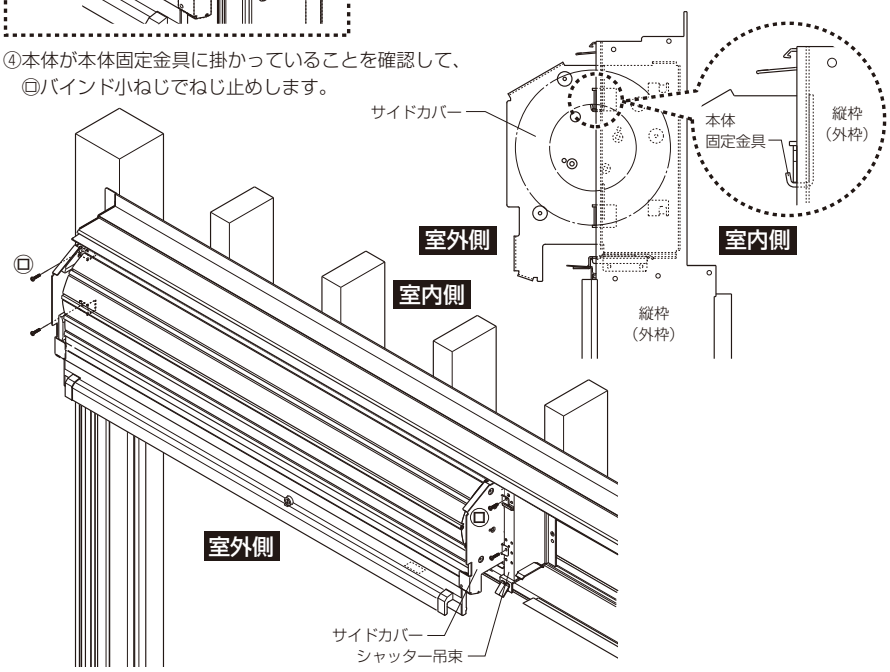
- ●本体取付けの際は、手袋をしてください。
- ●本体が本体固定金具に掛かっていることを確認してください。



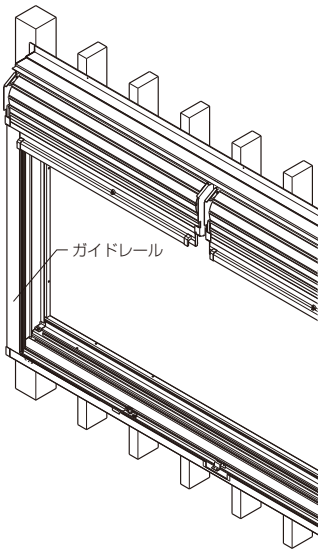




④本体が本体固定金具に掛かっていることを確認して、
Ⓐバインド小ねじでねじ止めします。

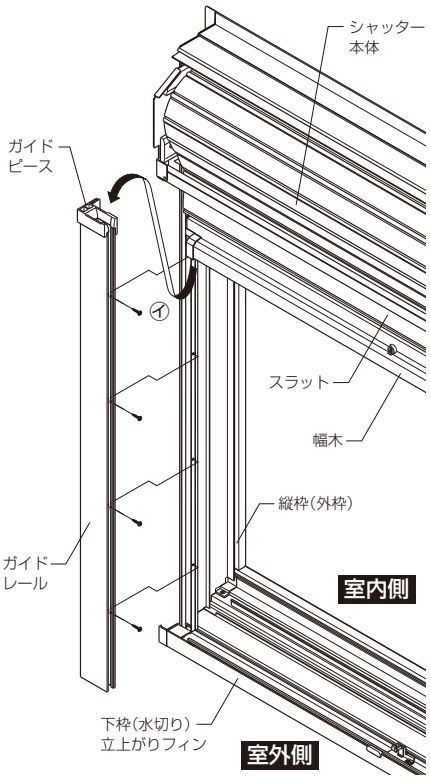


## ❷ガイドレールの取付け

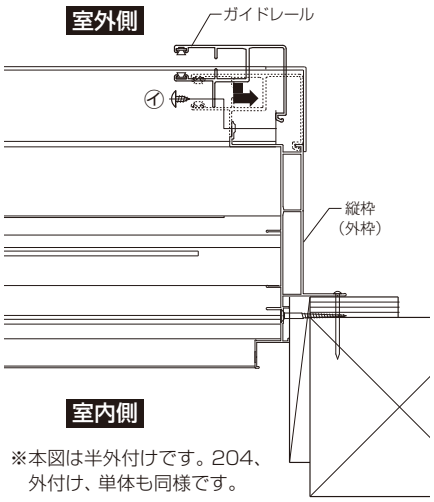



## ❷ガイドレールの取付け

①幅木を引下げ、ガイドレールの上端（ガイドピース側）に幅木を引込み、そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠（水切り）立上がりフィンをこえるように内側へ入れます。
②ガイドレールをスライドさせ、縦枠（外枠）にはめ込み、㋑トラスタッピンねじで固定します。

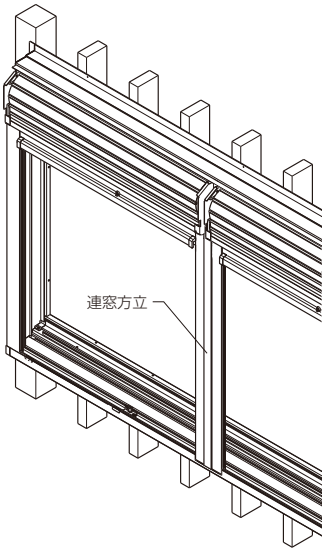



**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



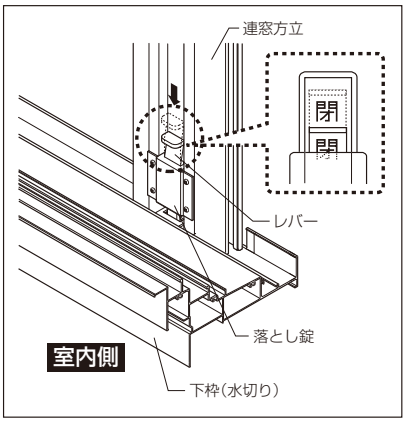

※本図は半外付けです。204、外付け、単体も同様です。

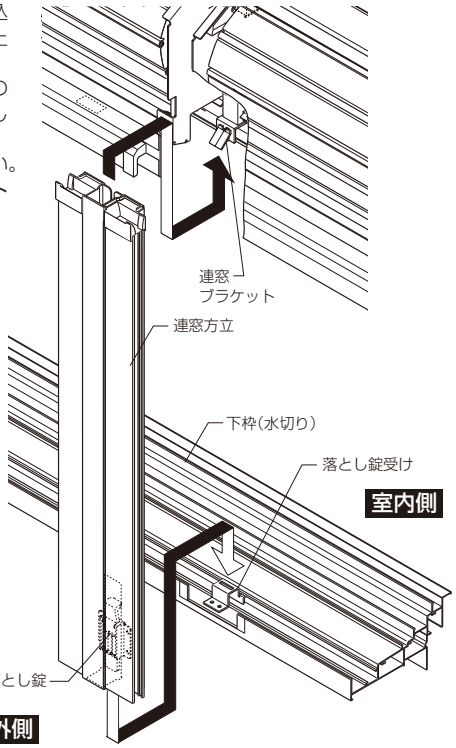
## ❸連窓方立の取付け




## ❸連窓方立の取付け

①幅木を引下げ、連窓方立の上部に左右の幅木を引込みます。そのまま連窓方立を押上げ、連窓方立の上部を連窓ブラケットに差込みます。
②連窓方立を室内側に引込み、落とし錠のレバー部の『閉』刻印が半分隠れるまでレバーを下げて、落とし錠受けに固定します。
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「**❹スラットの横ズレの確認**」を行ってください。



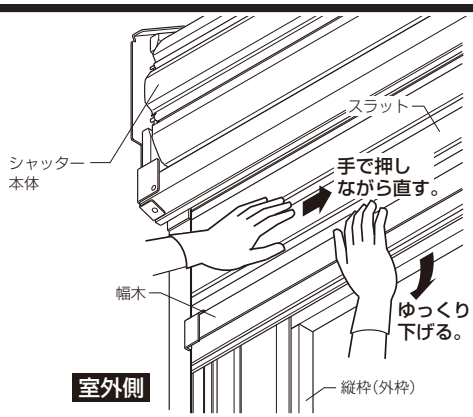
### 4スラットの横ズレの確認

①幅木の中央を持ち、開口の1 ／ 3程度までスラットをゆっくり下げます。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

**⚠注　意**

●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

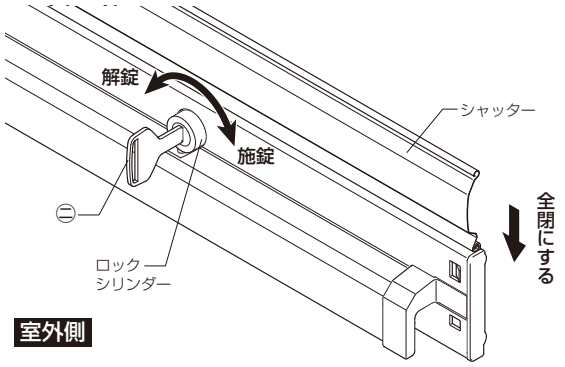
※縦枠(外枠)・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げます。

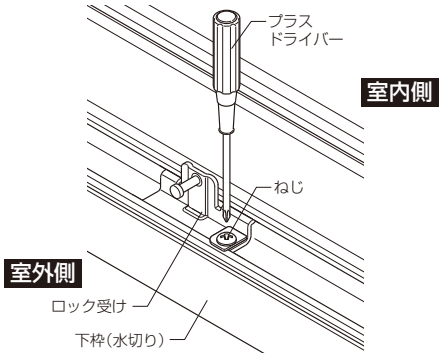



### 5ロック位置の確認と調整方法

※ロックの掛かりを確認してください。
①シャッターを全閉にします。
②数回ロックの施・解錠をくり返し、掛かりと作動を確認します。
③ロックの掛かりが悪い場合は、下枠に付いているロック受けのねじをゆるめてスライドさせ、ねじを締直します。

※施錠時、幅木が下枠から浮いてしまう場合は、幅木が下枠から浮かないように手で押えながら施錠してください。
※施錠後、必ずロックが掛かっていることを確認してください。

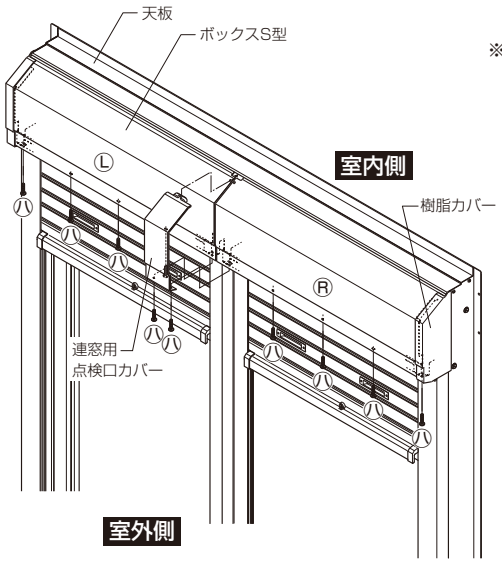


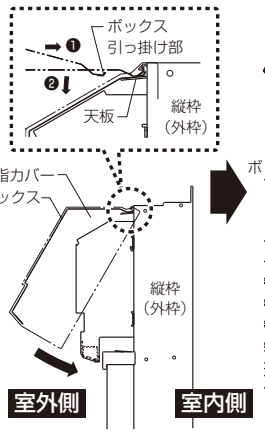

**シャッターを開けるときのお願い**

※スラットのキズや変形防止のため、操作ツマミはスラットにつけずに垂らしておくか、一番下のスラットにつけてシャッターを開けてください。

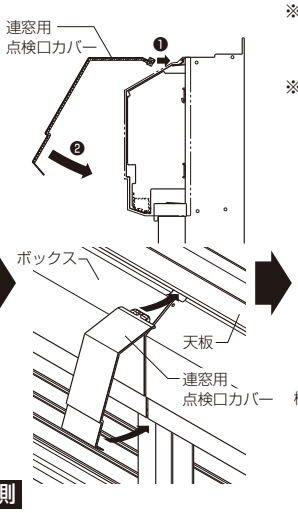
### 6シャッターボックスS型の取付け(同梱仕様のみ)



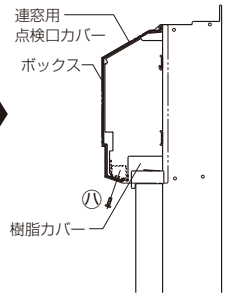

①ボックス引っ掛け部を天板の溝にもぐりこませ、回転させるように取付けます。
※必ず引っ掛け部が天板の溝に入っていることを確認してください。




②連窓用点検口カバーをボックスと同様に回転させるように取付けます。




③ボックスの下側から本体へ㊅バインド小ねじで止めます。
※連窓部分(中央部)は、連窓用点検口カバーも一緒にねじ止めします。
※連窓用点検口カバーの防水テープがつぶされていることを確認してください。



# 雨戸付引違い窓　枠

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- 鏡板戸袋タイプの場合は、取付け後、戸袋屋根・戸袋皿板・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所に必ずコーキング材を充てんしてください。(取付け説明書参照)
- ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 鏡板付きタイプの戸袋を取付けしない側および鏡板なしタイプの縦枠両側の外側コーキングシーラーをはがしてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●障子の組立ては、「障子組立て説明書」をご覧ください。
●枠の取付けは、「枠取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書・取付け部品セット(袋ごと)は、必ず施工される方へお渡しください。
●左右勝手は、戸当たり縦枠の取付け方で決まります。現場の左右勝手を確認した後、組立ててください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

## ■組立て部品・ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| 戸当たり縦枠上部ジョイントブロック | 戸当たり縦枠下部ジョイントブロック | トラスタッピンねじ(1種) φ4×14 | バインドタッピンねじ φ4×30 | バインドタッピンねじ φ4×35 |
| ㋬ | ㋣ | ㋠ | ㋡ | |
| | | | | |
| バインド小ねじ M4×6 | 皿小ねじ M4×12 | トラス小ねじ M4×10 | バインド小ねじ M4×10 | |

## ■構造説明図

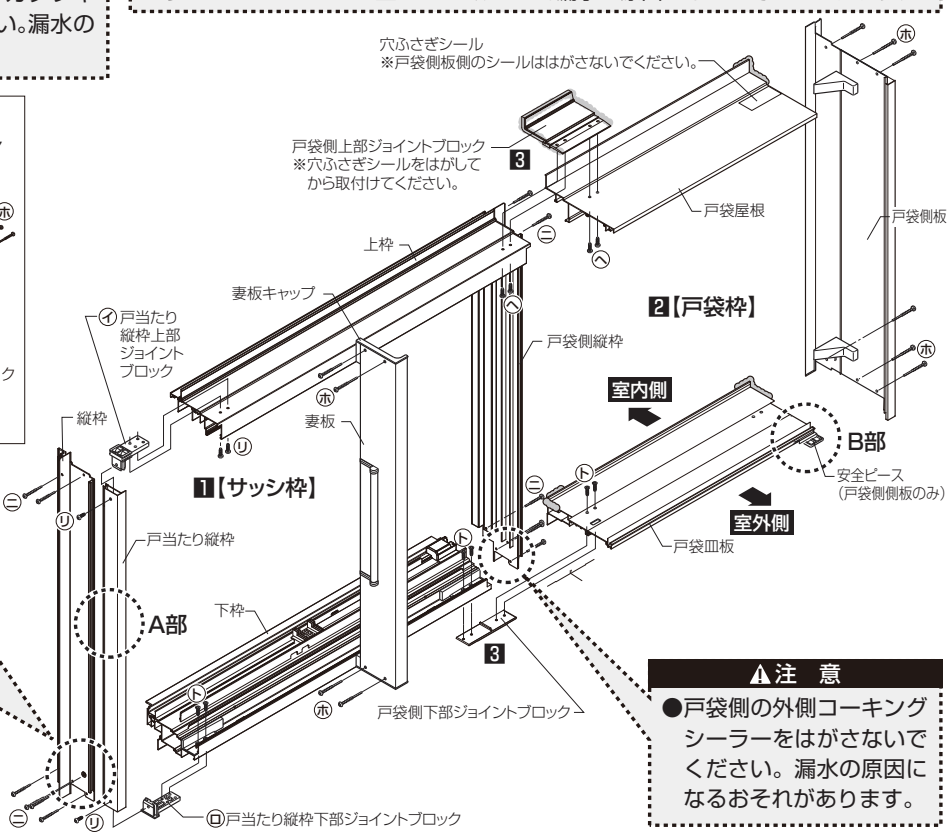
【鏡板付きタイプ】

**⚠注　意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

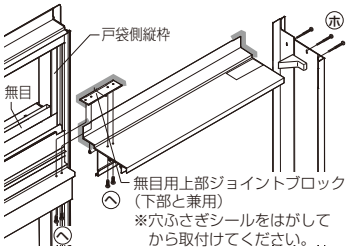
**⚠注　意**

●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すようにあわせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。



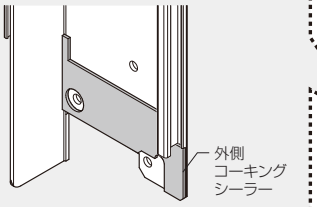

### ■ランマ付無目止まりの組立て

※ランマ付通しタイプの場合は、ランマ無しと同様の組立て手順となります。




**⚠注　意**

●戸袋を取付けしない側の外側コーキングシーラーをはがしてください。漏水の原因になるおそれがあります。




**⚠注　意**

●戸袋側の外側コーキングシーラーをはがさないでください。漏水の原因になるおそれがあります。

## ■組立て順序

【鏡板付きタイプ】

**1** サッシ枠の組立て

**2** 戸袋枠の組立て

**3** サッシ枠と戸袋枠の連結

【鏡板なしタイプ】

**1** サッシ枠の組立て

**2** 戸袋枠の組立て

**3** 側板ブラケットの取付け

**4** サッシ枠と戸袋枠の連結

**5** 縦枠気密パッキン（同梱）の取付け

## ■組立て詳細

【鏡板付きタイプ】

### 1 サッシ枠の組立て

※左右勝手は、戸当たり縦枠の取付け方で決まります。
①4方の枠を組立てます。
※室内側アングル部の開きや段差（組ずれ）が出ないよう、室内側からねじ止めしてください。
②縦枠に戸当たり縦枠をはめ込み、戸当たり縦枠上部・下部ジョイントブロックをねじ込みます。

### 2 戸袋枠の組立て

●4方の枠を組立てます。

### 3 サッシ枠と戸袋枠の連結

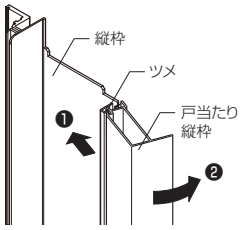
※戸袋枠は、サッシ枠を躯体に取付けてから連結してください。
●戸袋側上部・下部ジョイントブロックで、サッシ枠と連結します。

**⚠注　意**

●取付け後、戸袋屋根・戸袋皿板・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所（□部）に、必ずコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になるおそれがあります。（取付け説明書参照）

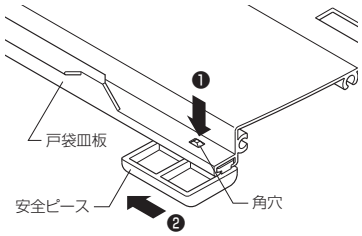
### ■戸当たり縦枠の取付け（A部詳細図）

①縦枠の溝に戸当たり縦枠のツメを引っ掛け、サッシ枠の内側へ押込みます。
②戸当たり縦枠上部・下部ジョイントブロックを差込んでねじ止めします。
※上部用・下部用を必ず確認してください。




### ■外観左戸袋の場合／安全ピースの移動（B部詳細図）

①外観左戸袋の場合は、戸袋皿板に付いている安全ピースをスライドさせ、反対側に移動します。
※角穴から出ている安全ピースの突起を押すと移動できます。
②移動させた安全ピースが反対側の角穴にはまったことを確認します。




【鏡板なしタイプ】

### 1 サッシ枠の組立て

●上記鏡板付きタイプと同様の手順で組立てます。
※左右勝手は、戸当たり縦枠の取付け方で決まります。
①4方の枠を組立てます。
※室内側アングル部の開きや段差（組ずれ）が出ないよう、室内側からねじ止めしてください。
②縦枠に戸当たり縦枠をはめ込み、戸当たり縦枠上部・下部ジョイントブロックをねじ込みます。

### 2 戸袋枠の組立て

●3方の枠を組立てます。

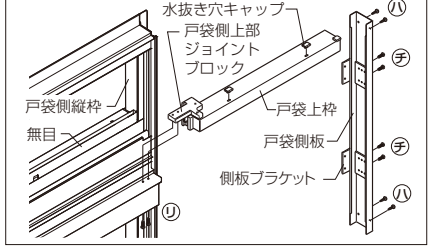
### 3 側板ブラケットの取付け

●戸袋側板に側板ブラケットをねじ止めします。
※側板ブラケットを下表の箇所に取付けてください。

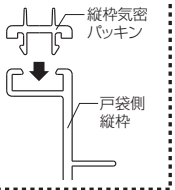
| | 側板ブラケット取付け範囲 | |
|---|---|---|
| 在来 | 2039.5>H | 2039.5≦H |
| 204 | 2079.5>H | 2079.5≦H |
| 204単純段差 | 2069.5>H | 2069.5≦H |
| ランマ付（無目止まり） | 2009.5>B | 2009.5≦B |
| 側板ブラケット取付け数 | 2 | 3 |

### ■ランマ付無目止まりの組立て

※ランマ付通しタイプの場合は、ランマ無しと同様の組立て手順となります。




### ■C部詳細図




**⚠注　意**

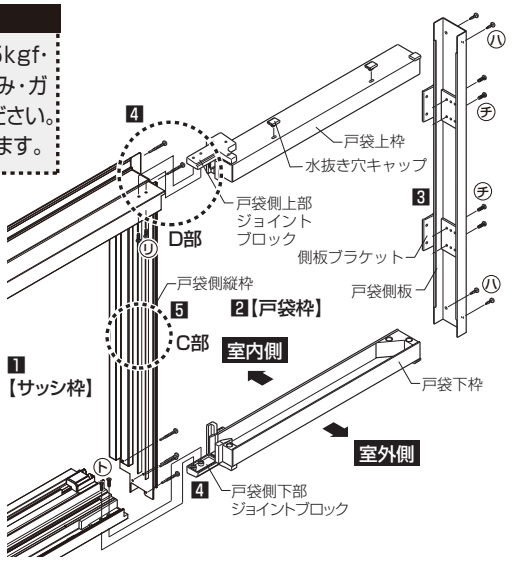
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

### 4 サッシ枠と戸袋枠の連結

※戸袋枠は、サッシ枠を躯体に取付けてから連結してください。
●戸袋側上部・下部ジョイントブロックで、サッシ枠と連結します。

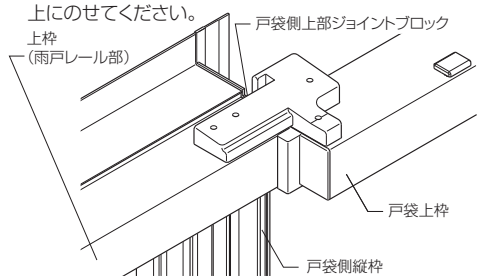
### 5 縦枠気密パッキン（同梱）の取付け

●戸袋側縦枠に縦枠気密パッキンを押込みます。



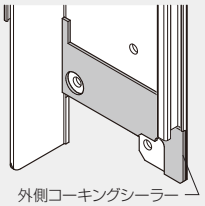

### ■D部詳細図

※戸袋側上部ジョイントブロックを上枠（雨戸レール部）の上にのせてください。




**⚠注　意**

●縦枠両側の外側コーキングシーラーをはがしてください。漏水の原因になるおそれがあります。




**⚠注　意**

●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すようにあわせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

# 雨戸付引違い窓　枠

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠注 意

●本製品は、組立て後の障子重量は最大で約90kgになります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

●障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂下がり、障子が脱落するおそれがあります。

・必ず指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。

・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。

・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

・障子の建込み･建付け調整後､必ず外れ止めを上げてください｡障子が脱落/落下するおそれがあります｡

●11枚建ての場合は、戸袋ブラケットを構造材に付けられるように躯体を作ってください。戸袋皿板が外側にころび、雨戸が脱落/落下するなどの不具合が発生することがあります。

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・本製品取付け後､サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください｡（本文中の図参照）

・鏡板戸袋タイプの場合は取付け後、戸袋皿板・戸袋屋根・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所に必ずコーキング材を充てんしてください。

・側板ブラケットは柱などの構造体又は補強した個所に取付けてください。

・外壁材の上から側板ブラケットを取付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから木ねじで固定してください。（最大壁厚40mm）

・浴室にご使用の場合は必ず、浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●必ず指定のねじで枠を躯体に固定した後、障子を建込んでください。

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。

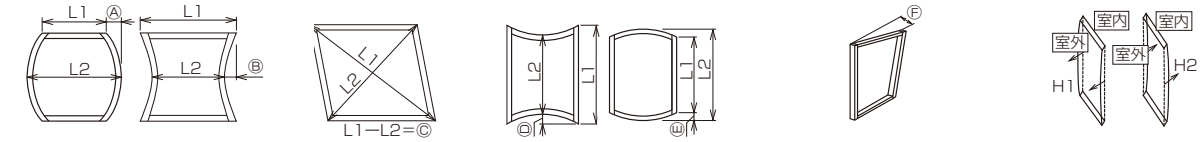
●戸袋は仮止めの後、必ず戸袋皿板の水平を出してから固定してください。

●施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。

●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台（下枠取付け位置）から37.5±1mmにしてください（204 単純段差の場合は 27.5mm）。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。

●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ･ツヅミ　■サッシ枠対角差　■サッシ上下枠の内反り･外反り　■サッシ枠のねじれ　■サッシ枠の室内外の反り**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| C |
|---|
| 3 |

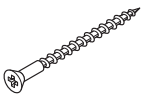
| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| F |
|---|
| 2 |

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■取付けねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|
| |  | | |
| スクリュー釘<br>φ2.1×32<br>（枠取付け） | 皿木ねじ<br>φ3.8×38<br>（躯体取付け） | バインドタッピンねじ<br>φ4×35 | トラスタッピンねじ<br>φ4×65<br>（鏡板なしタイプのみ） |

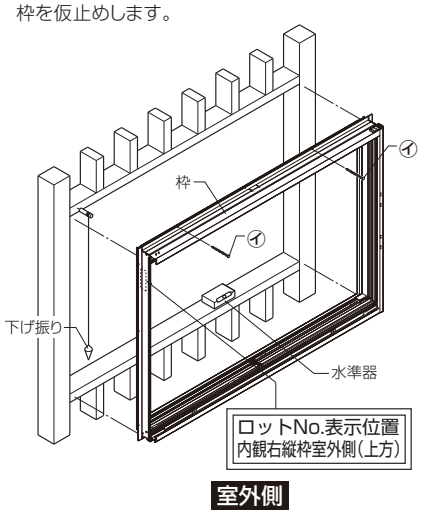
## ■取付け順序

【鏡板付きタイプ】

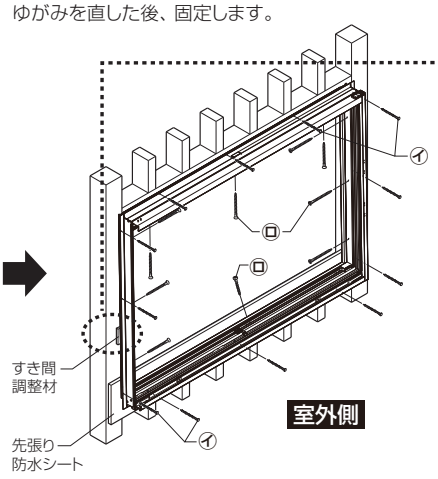
### 1枠の固定

※枠固定の取付け精度については、「■取付け上のお願い」をご覧ください。

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

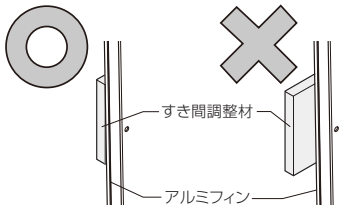



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれゆがみを直した後、固定します。




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



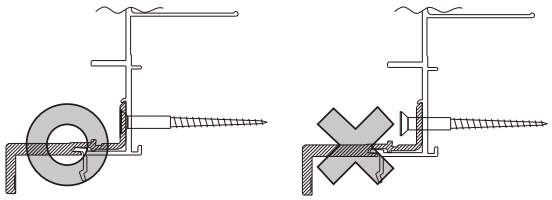

**⚠ 注 意**

●躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。
下枠が外側にころび、障子が脱落/落下するなどの不具合が発生することがあります。

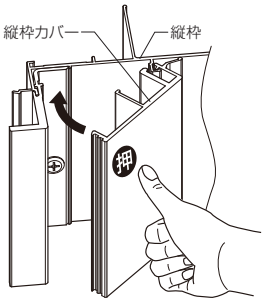
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**

※右縦枠取付ねじの浮きに注意してください。
ねじが浮いていると、ねじ頭と障子が干渉し、障子戸先が変形もしくはへこむおそれがあります。

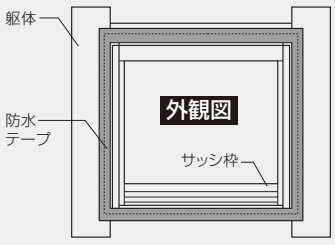


③躯体取付けねじを固定後、縦枠カバーを上端から順に指で押し込み、縦枠にはめ込んでください。
※縦枠カバーは、ハンマーなどではたたかないでください。縦枠カバーが割れるおそれがあります。
※躯体取付けねじは、サイズによりない場合もあります。



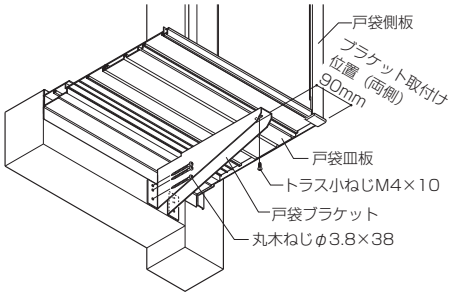

**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、必ず防水テープ（別売り）を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。




### ■11枚建て戸袋ブラケットの取付け

※11枚建ての場合は、サッシ枠と戸袋枠を躯体に固定した後、戸袋ブラケットを取付けてください。




**⚠ 注 意**

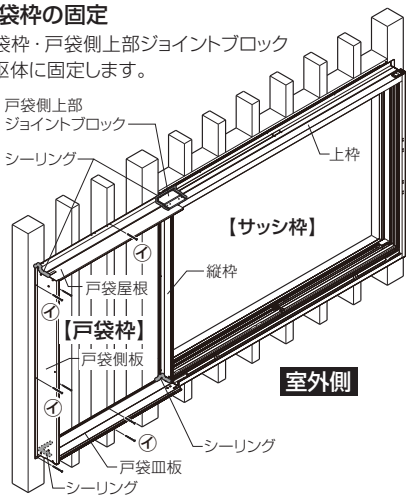
●戸袋ブラケットを構造材に付けられるよう躯体を作ってください。

### 2サッシ枠と戸袋枠の連結

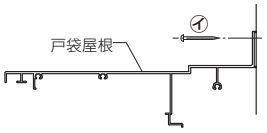
※「組立て説明書」を参照してください。

### ❸戸袋枠の固定

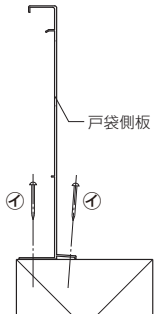
●戸袋枠・戸袋側上部ジョイントブロックを躯体に固定します。



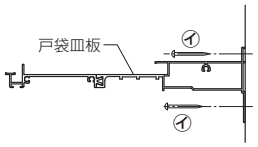

■戸袋屋根の固定




■戸袋側板の固定




■戸袋皿板の固定

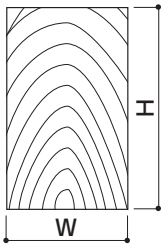



**⚠ 注 意**

●取付け後、戸袋屋根・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所（●●● 部）に、必ずコーキング材を充てんしてください。漏水の原因になります。

### ❹内張り耐水ベニヤの取付け

●表の寸法にしたがって切断し、戸袋枠内部の躯体に釘で固定します。




■半外付

| 呼　称 | H寸法 |
|---|---|
| 07 | 747 |
| 09 | 947 |
| 11 | 1147 |
| 13 | 1347 |
| 15 | 1547 |
| 18 | 1847 |
| 20 | 2047 |
| 22 | 2247 |

| 呼　称 | W寸法 |
|---|---|
| 063 | 620 |
| 066 | 655 |
| 094 | 935 |

■204テラス

| 呼　称 | H寸法 |
|---|---|
| 18A | 1807 |
| 20A | 2007 |
| 22A | 2207 |

| 呼　称 | W寸法 |
|---|---|
| 066 | 655 |
| 089 | 885 |

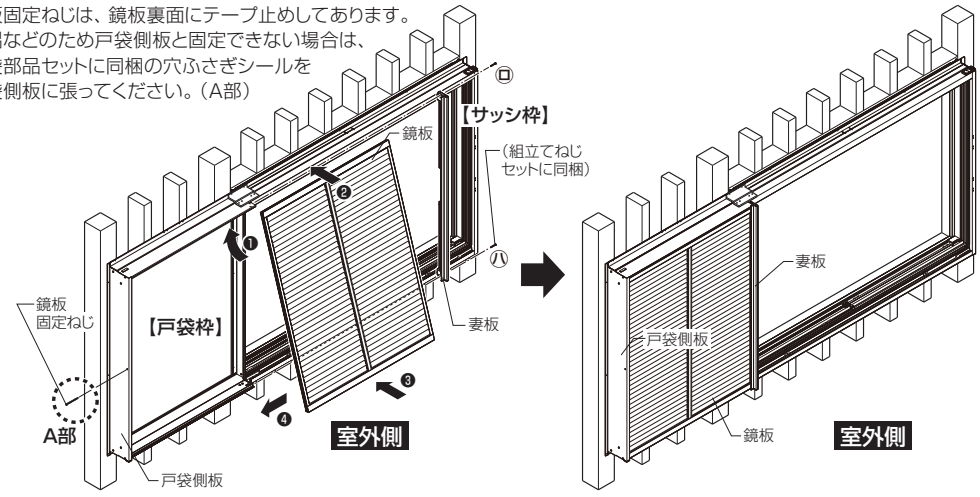
■204単純段差

| 呼　称 | H寸法 |
|---|---|
| 18B | 1847 |
| 20B | 2047 |
| 22B | 2247 |

| 呼　称 | W寸法 |
|---|---|
| 066 | 655 |
| 089 | 885 |

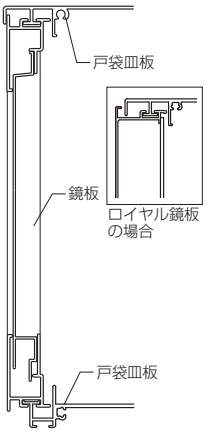
### ❺鏡板・妻板の取付け

①鏡板をサッシ枠側から下図の手順で差込みます。
②妻板・戸袋側板と固定します。
※鏡板固定ねじは、鏡板裏面にテープ止めしてあります。
※入隅などのため戸袋側板と固定できない場合は、戸袋部品セットに同梱の穴ふさぎシールを戸袋側板に張ってください。（A部）




■鏡板の差込み

※上枠側から先に入れてください。




### ❻障子の建込み

【鏡板なしタイプ】

### ❶サッシ枠の固定

●【鏡板付きタイプ】と同様の手順で取付けます。

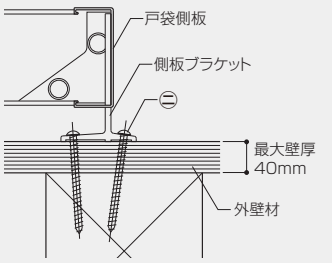
### ❷戸袋枠の固定

●サッシ枠に戸袋枠を連結します。（「組立て説明書」を参照してください。）皿板の水平を出した後、側板ブラケットを躯体に固定します。側板ブラケットの出幅を調節して戸袋に固定します。

### ❸障子の建込み

**⚠ 注 意**

●側板ブラケットは、柱などの構造材又は補強した個所に取付けてください。
●外壁材の上から側板ブラケットを取付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから木ねじで固定してください。
（最大壁厚40mm）



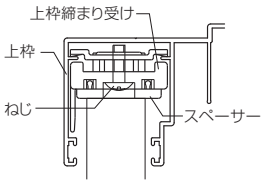
## ■雨戸の建付けと締まり受けの調整

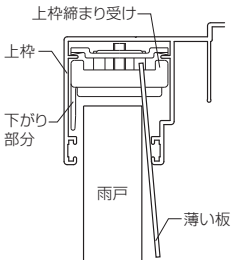
### ■雨戸の建付け調整

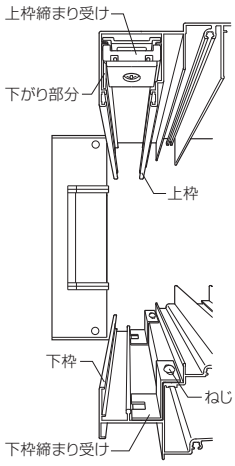
●雨戸の戸車で建付け調整をします。雨戸が締まり受けに当たる場合は、スペーサーをスライドして外します。

### ■上枠締まり受けの調整

①上枠締まり受けを止めているねじをゆるめ、移動できるようにしておきます。
②雨戸をすべて閉め、締まりのロッドを上げます。
③直尺などの薄い板を雨戸と上枠のすき間から差込み、上枠締まり受けをロッドに当たるまで移動させます。
④締まりのロッドを下げ、雨戸をあけます。上枠締まり受けの位置をずらさないよう下がり部分（右図参照）を指で押さえ、ねじをかるく締めます。
⑤締まりのロッドのかかり具合を確認した後、ねじを締めます。上枠締まり受けが動かないように、確実にねじを締付けてください。
※インパクトドライバーは、ねじ山を破壊するおそれがあるので使わないでください。



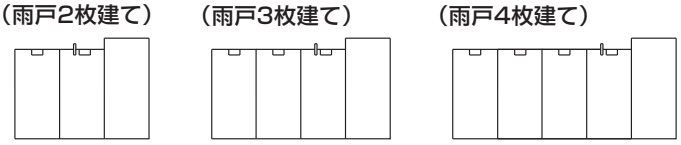




### ■下枠締まり受けの調整

●下枠締まり受けの穴にロッド位置がくるよう、ねじをゆるめて調整した後固定します。

### ■雨戸外れ止めの調整

●雨戸外れ止めが右図の位置になるよう、ねじをゆるめて調整した後固定してください。
※雨戸外れ止めは、締まり受けと共通部品です。



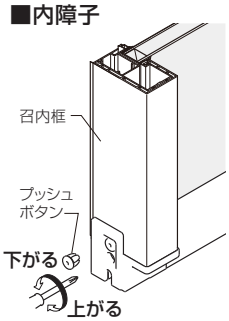

## ■建付け調整

### ■戸車調整

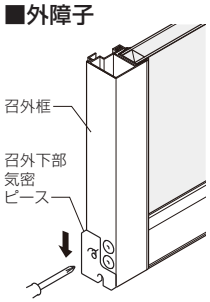
●プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押込んでください。）
※出荷時、障子は下がった状態にしてあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

**お願い**
※外障子を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。（障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。）

### ■内障子



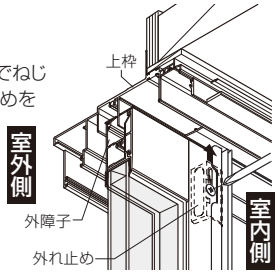

### ■外障子




※調整後はしっかりねじを締めてください。

### ■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

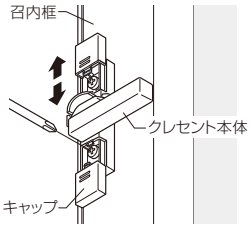



**⚠ 注 意**
●必ず外れ止めを上げてください。
障子が脱落/落下するおそれがあります。

### ■クレセント調整

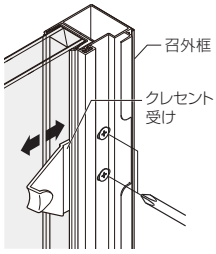
**【上下方向の調整】（クレセント本体）**

①キャップを外します。
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。




**【左右方向の調整】（クレセント受け）**

●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めてください。

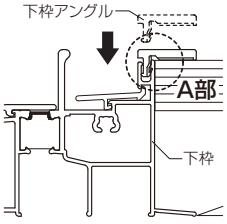



## ■下枠アングルの取付け

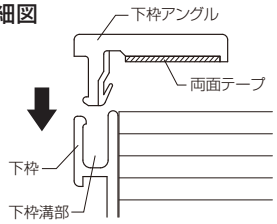
### ■下枠アングルの取付け（在来テラスのみ）

※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




**■A部詳細図**



# 面付引違い窓　面格子

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

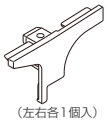
**⚠注 意**

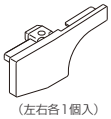
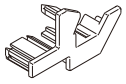
●面格子取付け後、ゆすってみて緩み・ガタツキのないことを確認してください。
●形材の切断面との接触などによるケガ防止のため、キャップ類は必ず取付けてください。

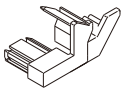
## ■取付け上のお願い

●面格子はサッシ枠に取付けてから、躯体に取付けてください。サッシ枠がそっている場合や、直角が出ていない場合、後からでは面格子を取付けられないことがあります。
●面格子は、ガラスを組込む前にサッシ枠に取付けてください。
●面格子を取外す際、ナベワンウェイねじは専用ビット工具（別売品）で外してください。

## ■取付け部品一覧

| | ねじセット | | コーナーキャップセット | | | 2分割タイプ連結金具セット | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 面格子取付けねじ | 面格子取付けねじ | 上桟コーナーキャップ | 下桟コーナーキャップ | 上桟コーナーキャップ取付けねじ | 下桟連結金具 | 上桟連結金具 | 金具取付けねじ |
| たて格子 | トラス小ねじM4×8 | ナベワンウェイねじ（3種）φ4×8 |  （左右各1個入） | （左右各1個入） | トラス小ねじM4×10（2本入） | （1個入） | （1個入） | トラス小ねじM4×8（4本入） |

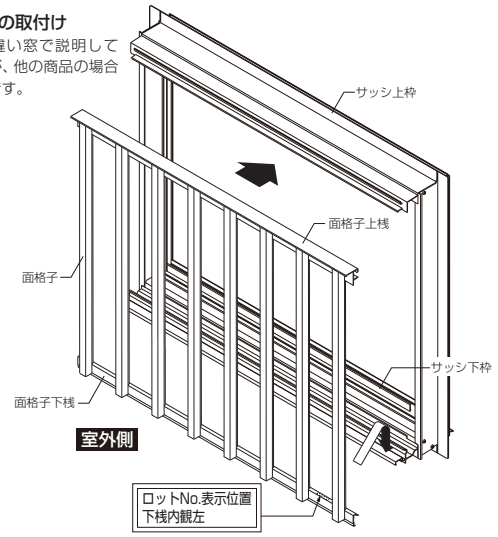
| | ねじセット | | コーナーキャップセット | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 面格子取付けねじ | 面格子取付けねじ | 上桟コーナーキャップ | 下桟コーナーキャップ | 上桟コーナーキャップ取付けねじ |
| ヒンクロス格子 井桁格子・横格子 | トラス小ねじM4×8 | ナベワンウェイねじ（3種）φ4×8（2本入） |  （左右各1個入） |  （左右各1個入） | トラス小ねじM4×10（2本入） |

| | ねじセット | | コーナーキャップセット |
|---|---|---|---|
| | 面格子取付けねじ | 面格子取付けねじ | 下桟コーナーキャップ |
| 目隠しルーバーセキュリティーフィルター | トラス小ねじM4×8 | ナベワンウェイねじ（3種）φ4×8（2本入） |  （左右各1個入） |

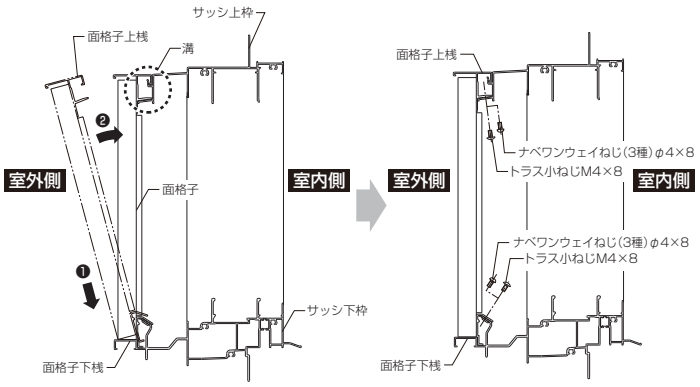
## ■取付け順序

### ❶面格子の取付け

※図は引違い窓で説明していますが、他の商品の場合も同様です。

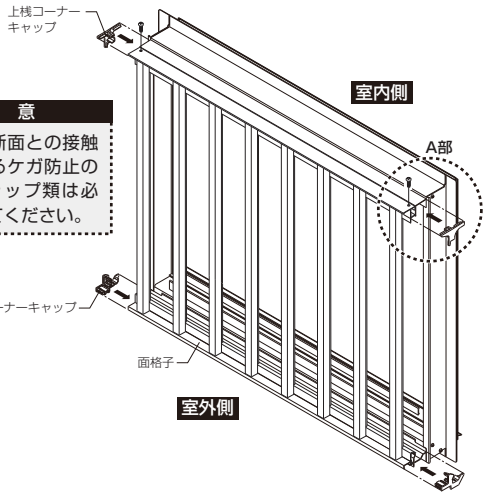



①サッシ下枠に面格子をのせます。
②サッシ上枠の溝に面格子上桟の先端を引っ掛けます。
③サッシ上下枠と面格子上下桟の取付け穴を、合わせてねじ止めします。
※内観側サッシ上枠の一番右側取付け穴と、内観側サッシ下枠の一番左側取付け穴は、ナベワンウェイねじで取付けてください。
※サッシと面格子の上下部材端部は左右均等にしてください。




### ❷上桟・下桟コーナーキャップの取付け

●端部に、上桟コーナーキャップ・下桟コーナーキャップをはめ込みます。

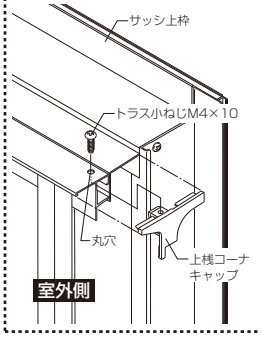



**⚠注 意**

●形材の切断面との接触などによるケガ防止のため、キャップ類は必ず取付けてください。

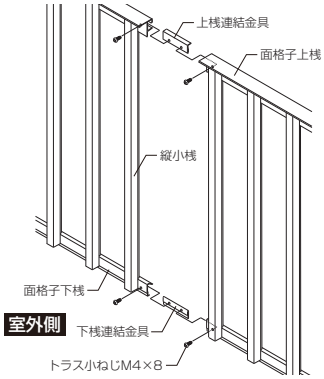
**■A部詳細図**

※上桟コーナーキャップは、面格子上桟にはめ込んでねじ止めしてください。




**■たて格子2分割タイプの場合**

※2分割タイプの場合は、面格子を連結してからサッシ枠に取付けてください。




※2枚の面格子とも内観側サッシ上枠の一番右側取付け穴と、内観側サッシ下枠の一番左側取付け穴をナベワンウェイねじで取付けてください。

# 縦すべり出し窓(オペレーター)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは障子の落下防止の為下記事項をお守りください。
・ステー取付ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ⚠ 注 意

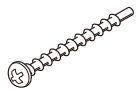
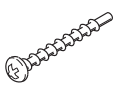
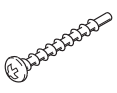
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分(躯体取付側の2ヵ所)には気密補助シールを使用せずに浴室防水部品セット(別売り)を取付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。

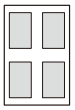
**お願い**
●防火戸の障子は組立て時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

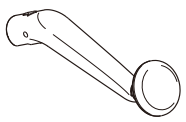
## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書、取付けねじセットおよびコーナー気密部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書と障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

## ■部品・ねじ一覧表

| 記 号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿 図 |  |  |  | |
| | バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 | 薄平小ねじ M4×10 | トラス小ねじ M4×4 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | ステー | オペレーター |

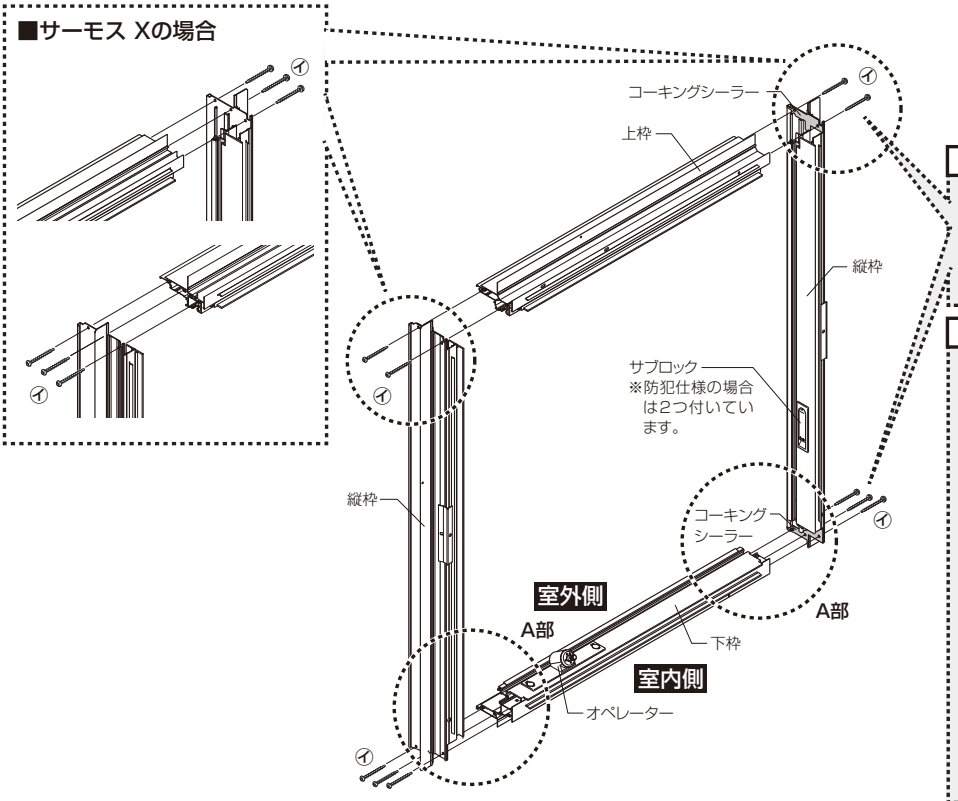
| 気密部品セット | |
|---|---|
| 記 号 | ㋭ |
| 姿 図 |  |
| | 気密補助シール |
| 使用部位 | 枠 |

| ハンドル (取付けねじ付) | |
|---|---|
| 記 号 | ㋬ |
| 姿 図 |  |
| | ハンドル |

## ■組立て順序

### 1枠の組立て

■サーモス Xの場合



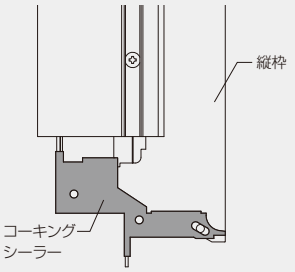

**▲注 意**

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**▲注 意**

●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図




### 2気密補助シールの取付け

※一部品種・機種には、気密部品セットが無い場合があります。

**お願い**

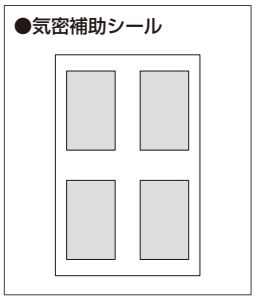
※気密部品セットはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
※気密補助シールは両面シールになっていますので、躯体取付け側のリケイ紙ははがさないでください。

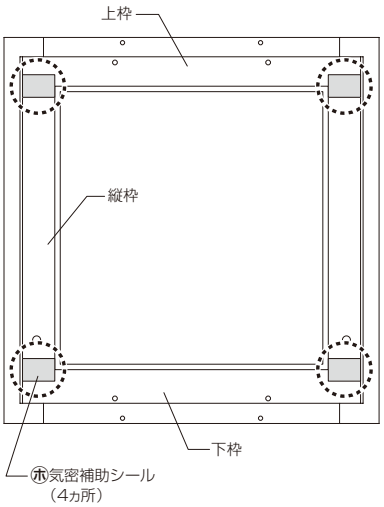
**▲注 意**

●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付側の2ヵ所）には気密補助シールを使用せずに浴室防水部品セット（別売り）を取付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。

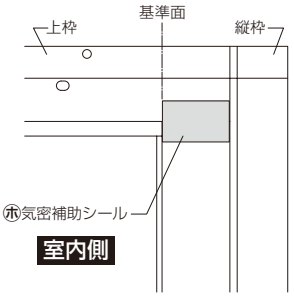
●縦枠と上枠（下枠）の接合部分（室内側4ヵ所）に張付けてください。
①張付け側のリケイ紙をはがします。
②基準面を合わせて張付けます。

●気密補助シール

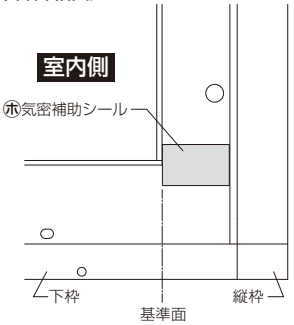





〔上部詳細図〕



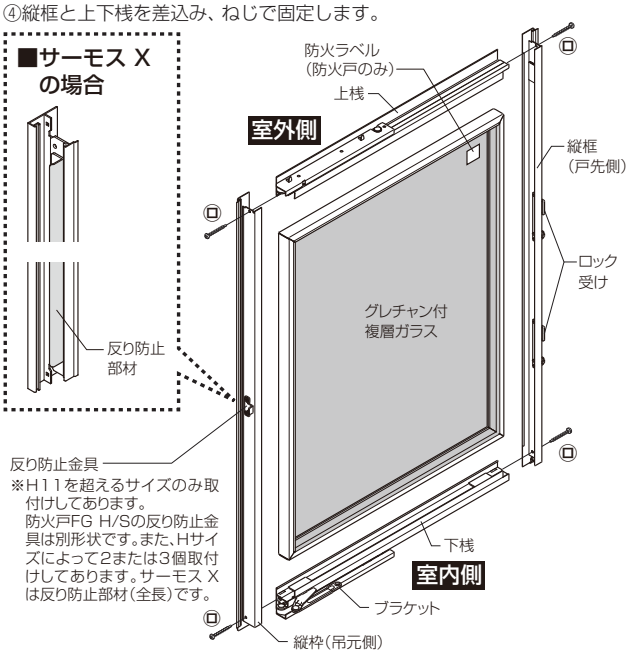

〔下部詳細図〕



## 3障子の組立て

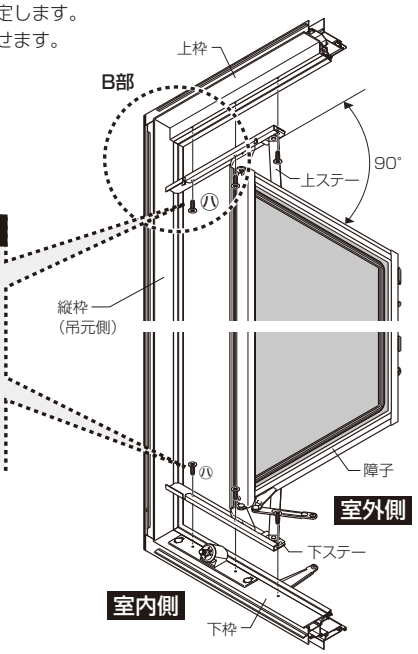
①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
※防火戸のガラスは室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。
③上桟のセッティングブロックが所定の位置にあるか確認してください。もしずれている場合は所定の位置にずらしてから組立てをしてください。（サーモス X・防火戸FGを除く）（A図）
④縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。

■サーモス X の場合




## 4障子の取付け

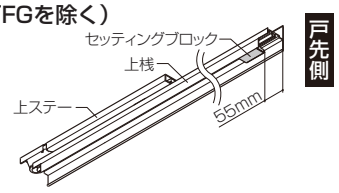
※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いている上·下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。（2個所）
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。（障子が仮止めされます。）
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。



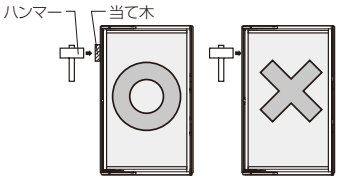

**⚠ 警 告**
●ねじは 2.5±0.5 N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 警 告**
●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

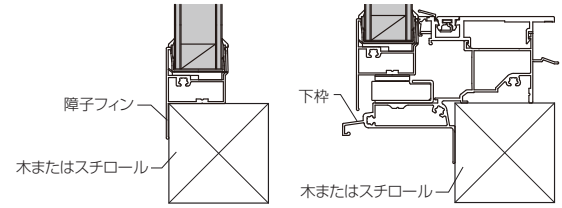
■A図（サーモス X・防火戸FGを除く）
※セッティングブロックが所定の位置にあるか確認してから組立てをしてください。



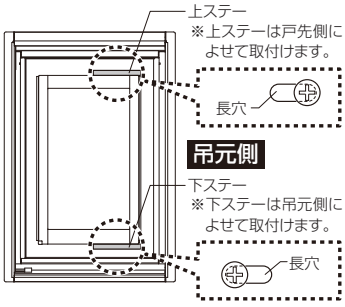

お願い
※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。



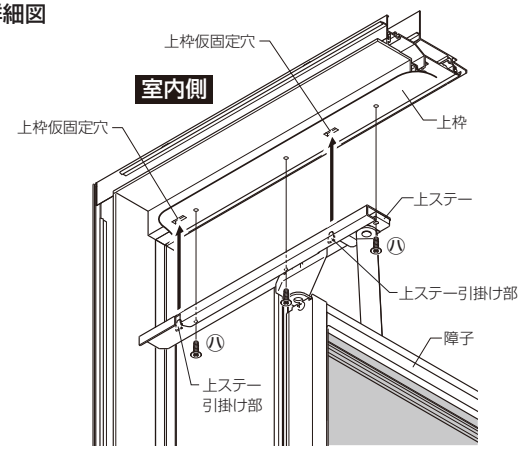

※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。また、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



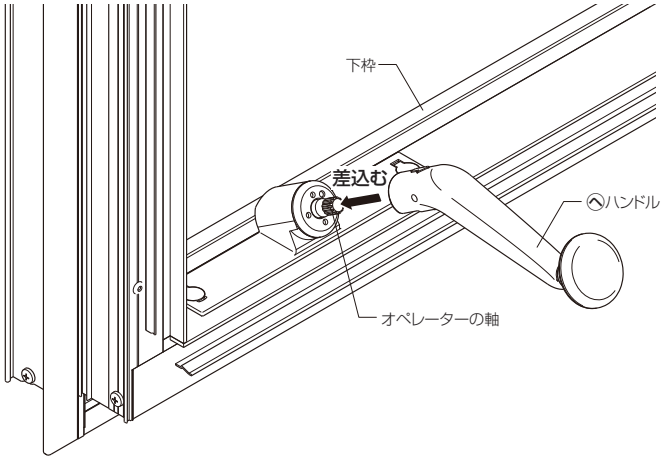

■障子の取付け位置
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。



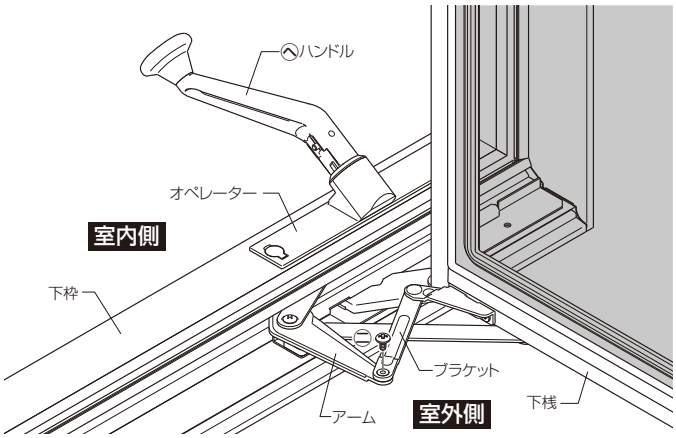

■B部詳細図



⑥ハンドルをオペレーターの軸に差込みます。



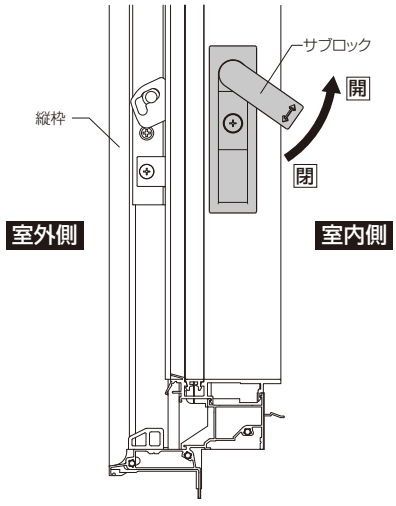

⑦ハンドルを回し、オペレーターのアームを出します。
⑧オペレーターのアームを障子のブラケットとねじ止めします。

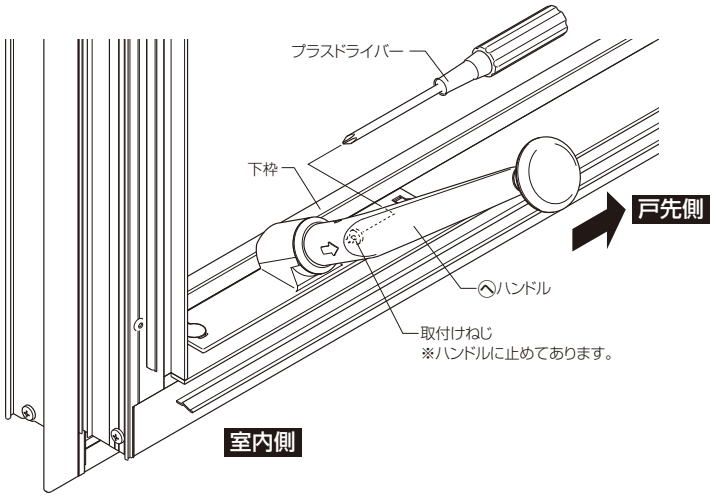



⑨ハンドルを回し障子を閉め、障子を閉めたときにハンドルが戸先側に向くように、向きを合わせ、ねじ止めします。
※ねじ締めの際は2.0±0.5N・m {20±5kgf・cm} のトルクで止めてください。

**■サブロックの開閉位置**

※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。



# 縦すべり出し窓(オペレーター)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
- ・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
- ・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

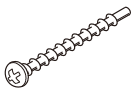
### ⚠注 意

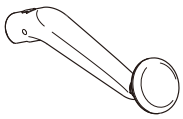
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ・ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書と障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

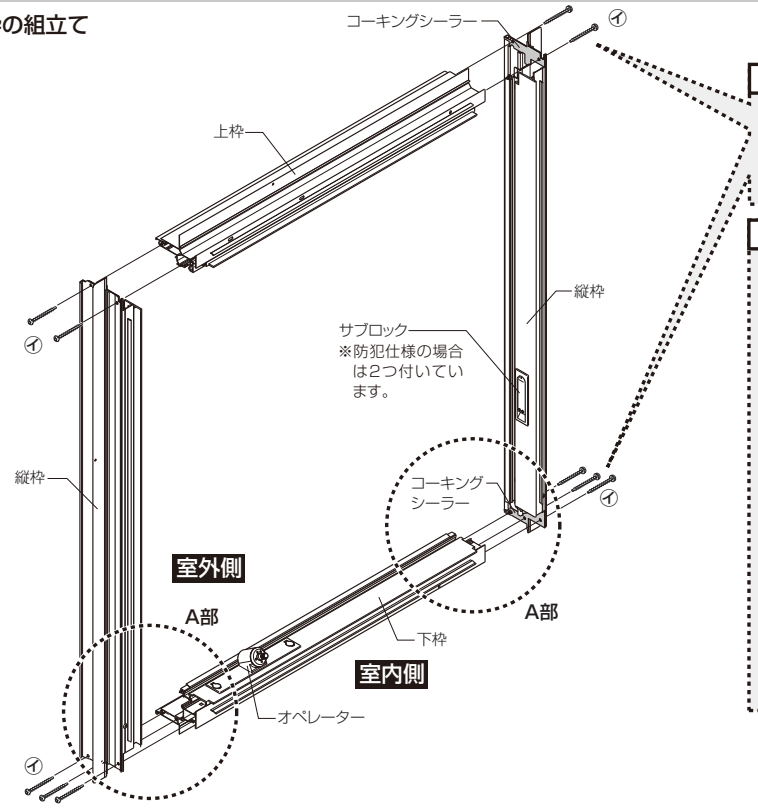
## ■部品・ねじ一覧表

| 記 号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿 図 |  バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 | 薄平小ねじM4×10 | トラス小ねじM4×4 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | ステー | オペレーター |

| オペレーターハンドルセット | |
|---|---|
| 記 号 | ㋭ |
| 姿 図 |  ハンドル |

## ■組立て順序

### 1 枠の組立て



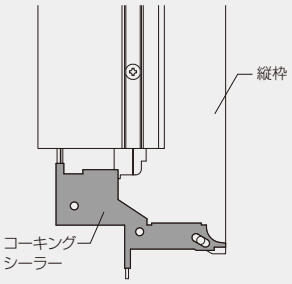

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図

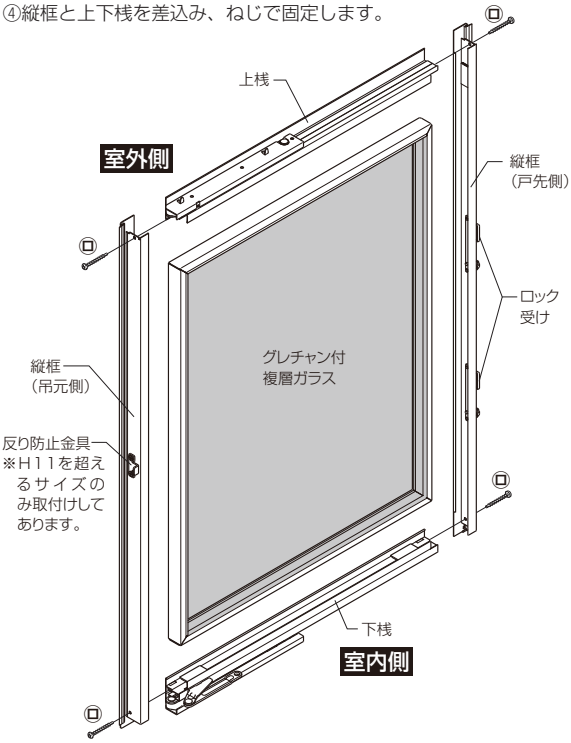



### 2 障子の組立て

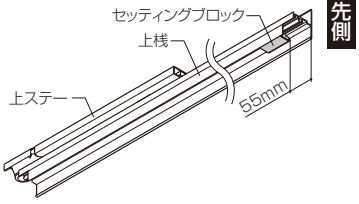
①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上桟のセッティングブロックが所定の位置にあるか確認してください。もしずれている場合は所定の位置にずらしてから組立てをしてください。（A図）
④縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。

**⚠ 警 告**

●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。



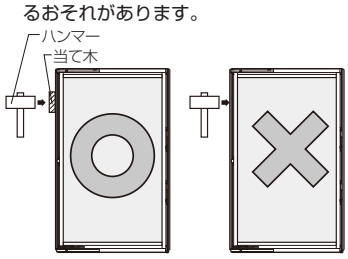

■A 図



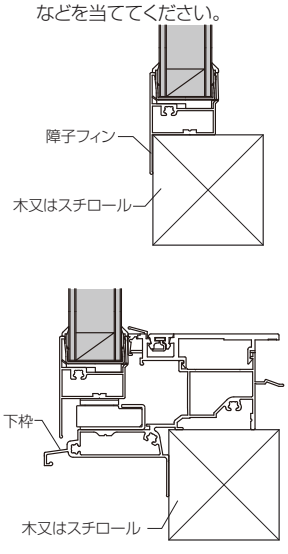

※セッティングブロックが所定の位置にあるか確認してから組立てをしてください。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。

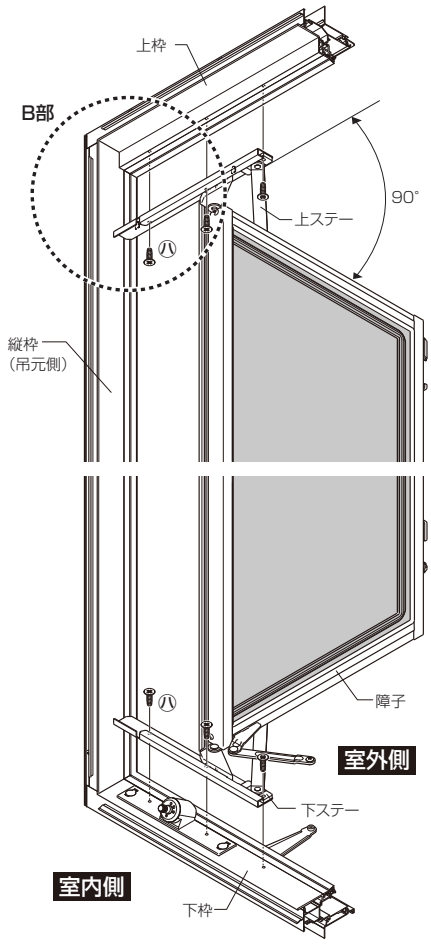



※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



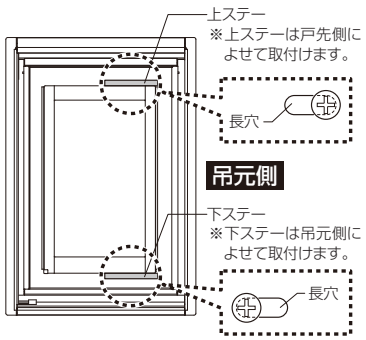
## 3 障子の取付け

※連窓･段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いている上･下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。（2個所）
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。（障子が仮止めされます。）
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。

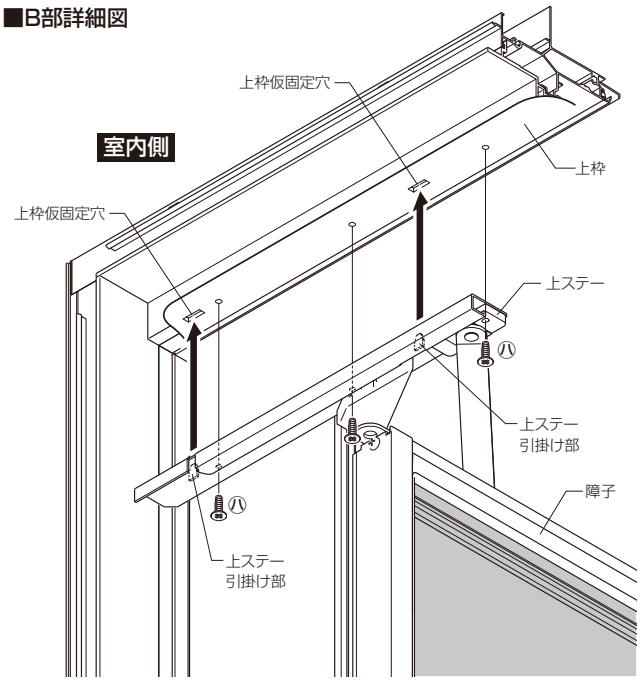



### ■障子の取付け位置

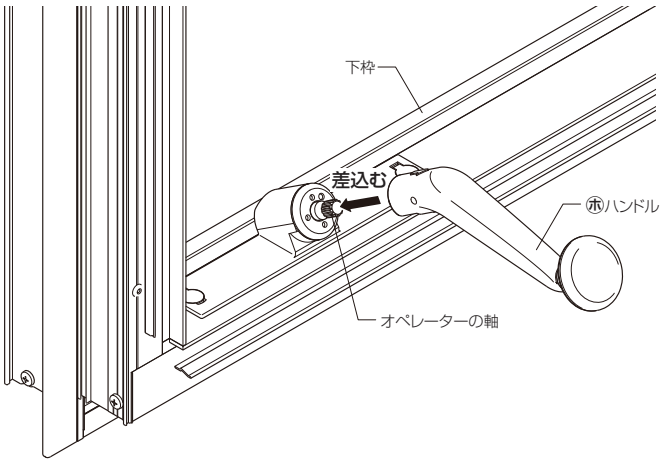
※上･下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。



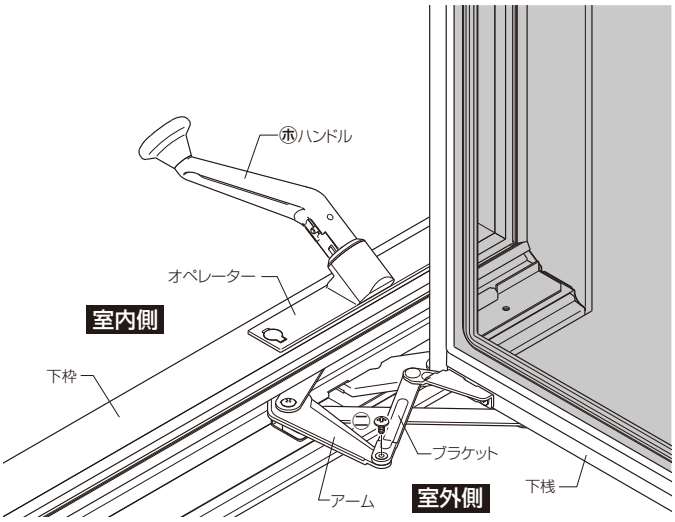

### ■B部詳細図




⑥ハンドルをオペレーターの軸に差込みます。



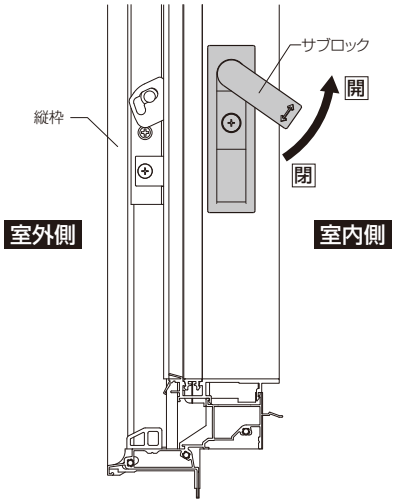
⑦ハンドルを回し、オペレーターのアームを出します。
⑧オペレーターのアームを障子のブラケットとねじ止めします。

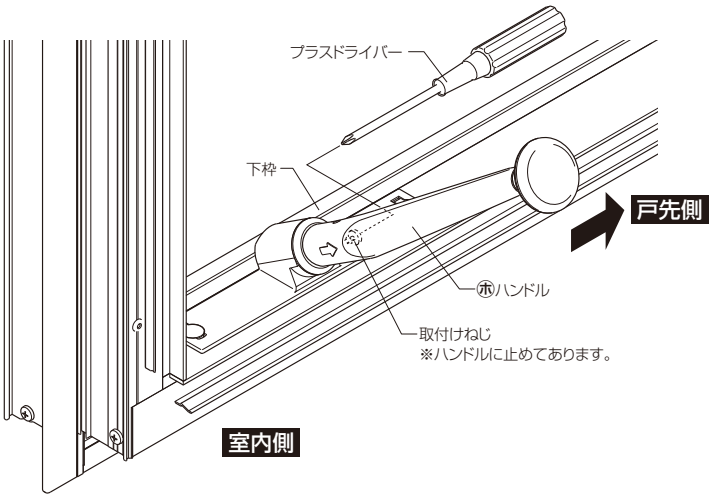



⑨ハンドルを回し障子を閉め、障子を閉めたときにハンドルが戸先側に向くように、向きを合わせ、ねじ止めします。
※ねじ締めの際は2.0±0.5N·m{20±5kgf·cm}のトルクで止めてください。

**■サブロックの開閉位置**

※障子開閉の際は、サブロック必ず開の状態にしてください。



# 縦すべり出し窓(オペレーター)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

**⚠警告**…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警告**

●ステー取付けねじは障子の落下防止の為下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

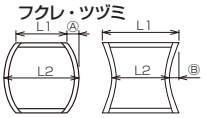
**⚠注意**

●本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘または指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

■取付け上のお願い

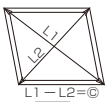
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N·mにて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●連窓段窓する場合は、必ず連窓方立段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A | B |
|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 1.5 |

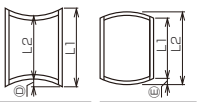
■サッシ枠対角差




L1 −L2=Ⓒ

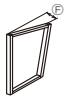
| C |
|---|
| 2 |

■サッシ上下枠の内反り・外反り



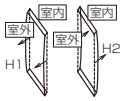

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ




| F |
|---|
| 2 |

■サッシ枠の室内外の反り




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

■部品・ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | | | |
| | 薄平小ねじ M4×10 | トラス小ねじ M4×4 | スクリュー釘 φ2.1×32 | 枠取付ねじ (低頭ねじ) φ3.1×25 |
| 使用部位 | ステー | オペレーター | 枠 | 枠 (サーモスXの場合) |

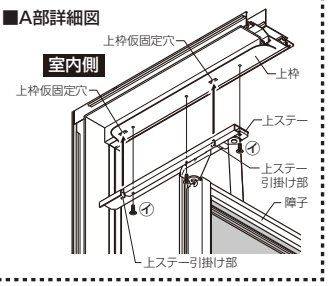
| ハンドル (取付けねじ付) | |
|---|---|
| 記号 | ㋒ |
| 姿図 | |
| | ハンドル |

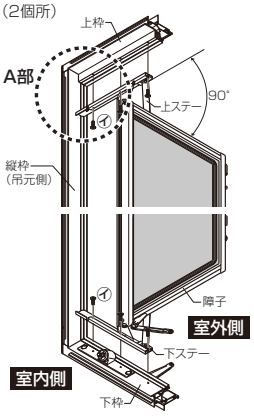
| 記号 | ㋓ |
|---|---|
| 姿図 | |
| | 丸木ねじ φ3.5×25 |

■障子・ハンドル取付け

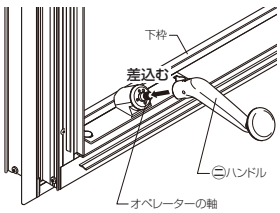
※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いている上·下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2個所)
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。
(障子が仮止めされます。)
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。

■A部詳細図

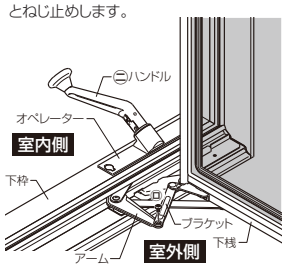


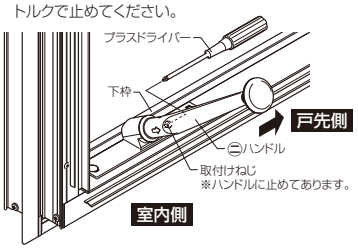

⑥ハンドルをオペレーターの軸に差込みます。




⑦ハンドルを回し、オペレーターのアームを出します。
⑧オペレーターのアームを障子のブラケットとねじ止めします。

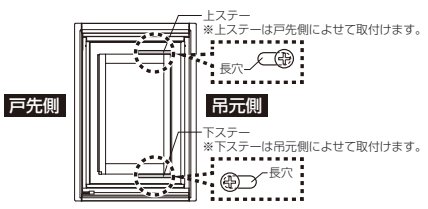



⑨ハンドルを回し障子を閉め、障子を閉めたときにハンドルが戸先側に向くように、向きを合わせ、ねじ止めします。
※ねじ締めの際は2.0±0.5N·m {20±5kgf·cm}のトルクで止めてください。



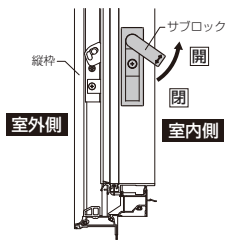

■障子の取付け位置

※上·下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。




■サブロックの開閉位置

※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。

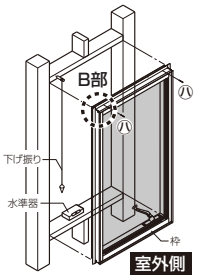


## ■枠取付け順序

**❶枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。
サーモスXの場合は、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に枠取付けねじで固定します。

■B部詳細図（サーモスXのみ）



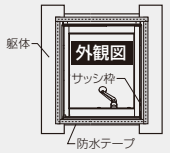

**❷枠の調整と固定**

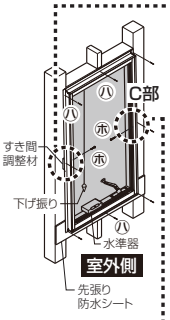
●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※釘またはねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

**▲注 意**
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**▲注 意**
●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。

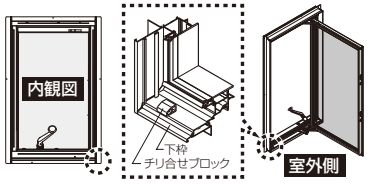



**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

**■チリ合せブロックについて**
※縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。
※施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。（窓の開閉に支障が出ます。）

【チリ合せブロック取付け位置】

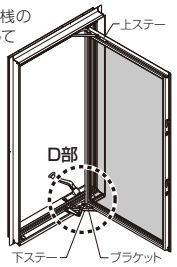



**■C部詳細図**
※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

## ■障子の建付け調整

**■障子の戸先が下がっている場合**

上・下ステーと下桟のブラケットで調整してください。




**●上下ステーの調整**
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、図1のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

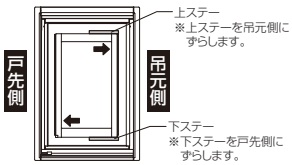



図1

**●ブラケットの調整**
※下のステーの位置を調整したら必ず、図2のようにブラケットの調整をしてください。下ステーを移動したのと同じだけブラケットを吊元側に動かしてください。（下ステーの位置を調整しない場合は、ブラケットの調整も不要です）
※ブラケットの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

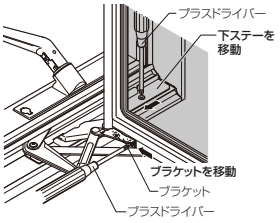
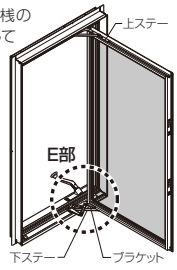



図2（D部詳細図）

**■ハンドルでの障子開けはじめが重い場合**

上・下ステーと下桟のブラケットで調整してください。




**●上下ステーの調整**
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。ハンドルでの障子開けはじめが重い場合は、図3のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

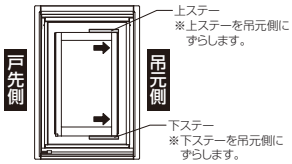



図3

**●ブラケットの調整**
※下のステーの位置を調整したら必ず、図4のようにブラケットの調整をしてください。下ステーを移動したのと同じだけブラケットを戸先側に動かしてください。（下ステーの位置を調整しない場合は、ブラケットの調整も不要です）
※ブラケットの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

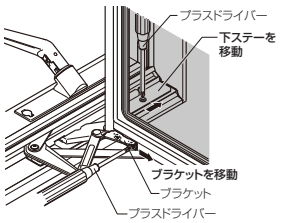
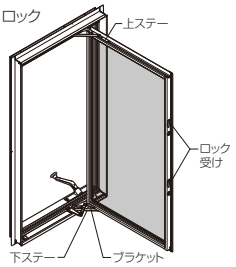



図4（E部詳細図）

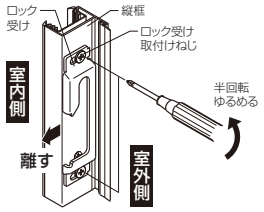
**■サブロックの操作が重い場合**

ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。

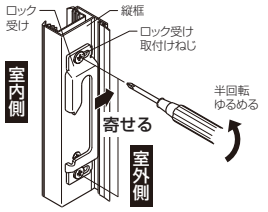



**●ロック受けの調整**
※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
※ロック受け取付けねじをゆるめ（上下半回転）、位置を調整してください。
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

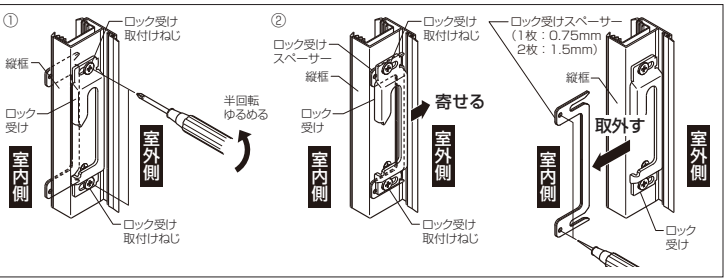
[サブロックの操作が重い場合]




[サブロックの操作が軽い場合]




**●ロック受けスペーサーの調整**
※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
①ロック受け取付けねじをゆるめます。（上下半回転）
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。
②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
※スペーサーを1枚取外すと0.75mm、2枚外すと1.5mm、ロック受けが縦框側に寄ります。
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。（ロック受けの調整を参照）
※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。



# 縦すべり出し窓(カムラッチ)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

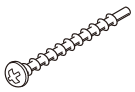
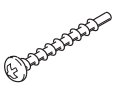
### ⚠ 注 意

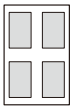
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立てねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
・浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分(躯体取付け側の2ヵ所)には気密補助シールを使用せずに浴室用防水部品セット(別売り)を取付けてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書と障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

## ■部品・ねじ一覧表

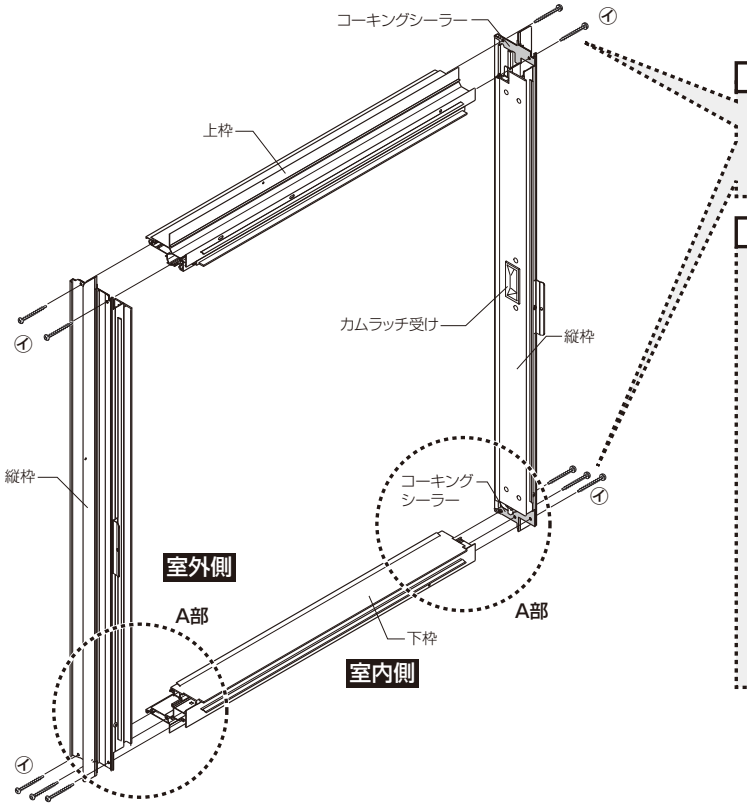
| 記 号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|---|
| 姿 図 |  バインドタッピンねじ φ4×30 |  ナベタッピンねじ φ4×25 | 薄平小ねじ M4×10 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | ステー |

| 気密部品セット | |
|---|---|
| 記 号 | ㋥ |
| 姿 図 |  気密補助シール |
| 使用部位 | 枠 |

| プッシュボタンセット | |
|---|---|
| 記 号 | ㋭ |
| 姿 図 | |
| 使用部位 | 枠 |

## ■組立て順序

### 1枠の組立て



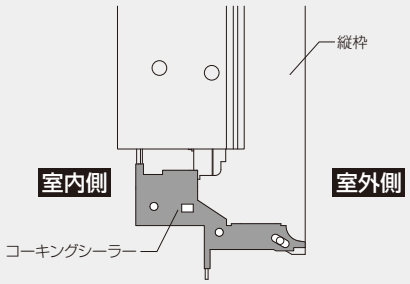

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図




### 2気密補助シールの取付け

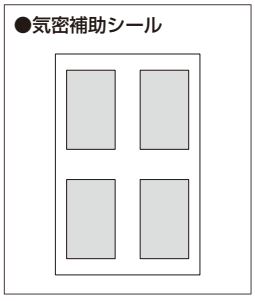
**お願い**

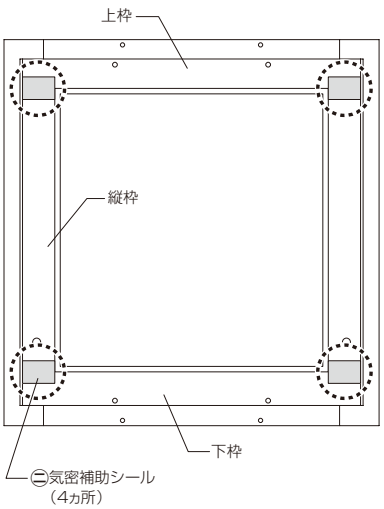
※気密部品セットはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
※気密補助シールは両面シールになっていますので、躯体取付け側のリケイ紙ははがさないでください。

**⚠ 注 意**

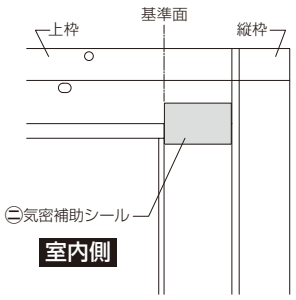
●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付側の2ヵ所）には気密補助シールを使用せずに浴室防水部品セット（別売り）を取付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。

●縦枠と上枠（下枠）の接合部分（室内側4ヵ所）に張付けてください。
①張付け側のリケイ紙をはがします。
②基準面を合わせて張付けます。

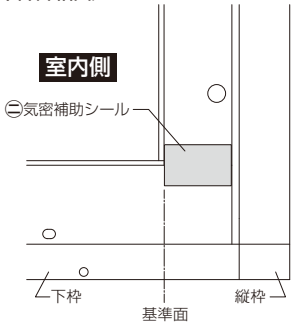



〔上部詳細図〕

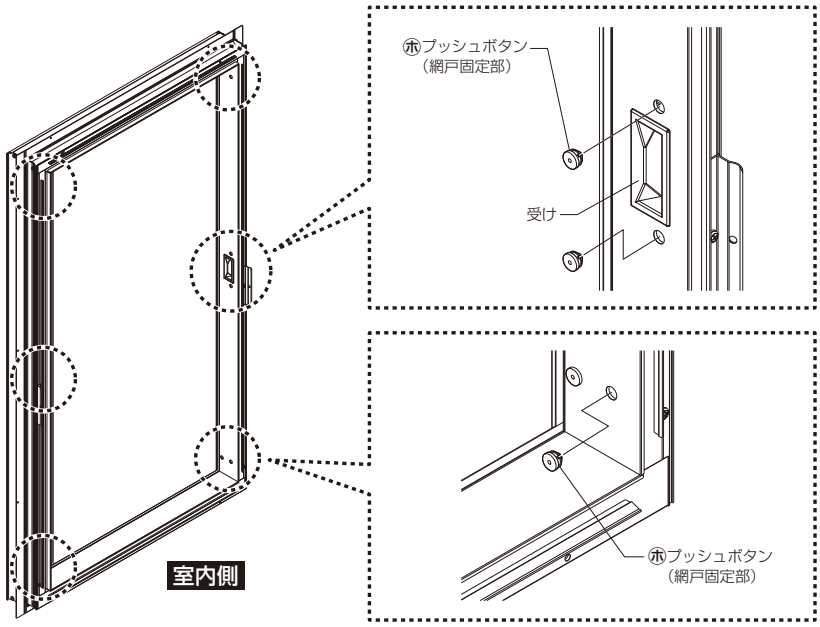



〔下部詳細図〕



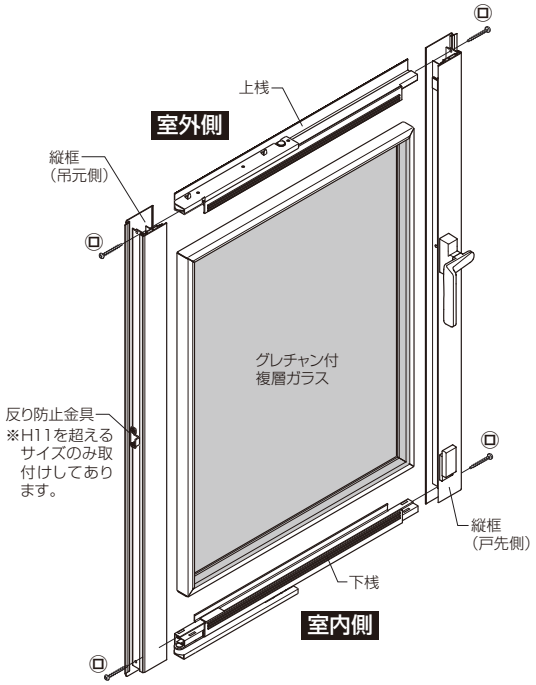
## 3 プッシュボタンの取付け

●左右縦枠の室内側の網戸固定部の穴にプッシュボタンを取付けてください。




## 4 障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。

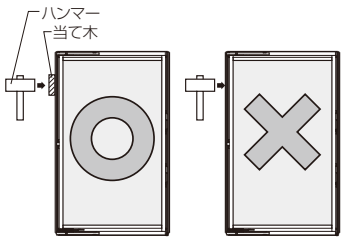



**⚠ 警 告**

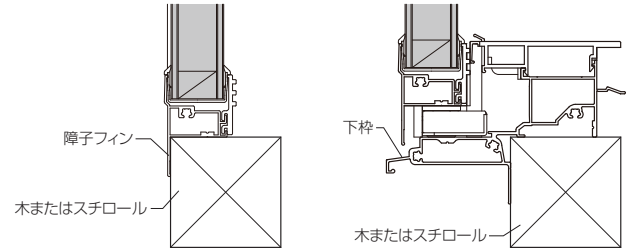
●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。




※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。また、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



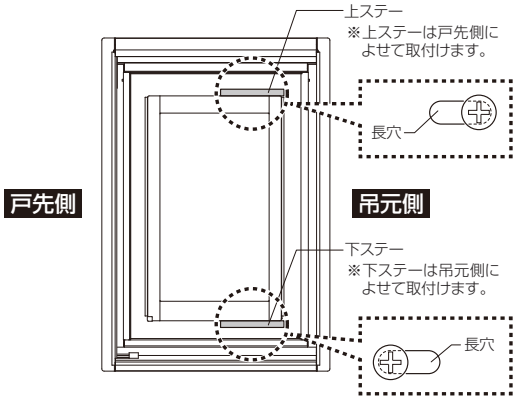
## 5障子の取付け

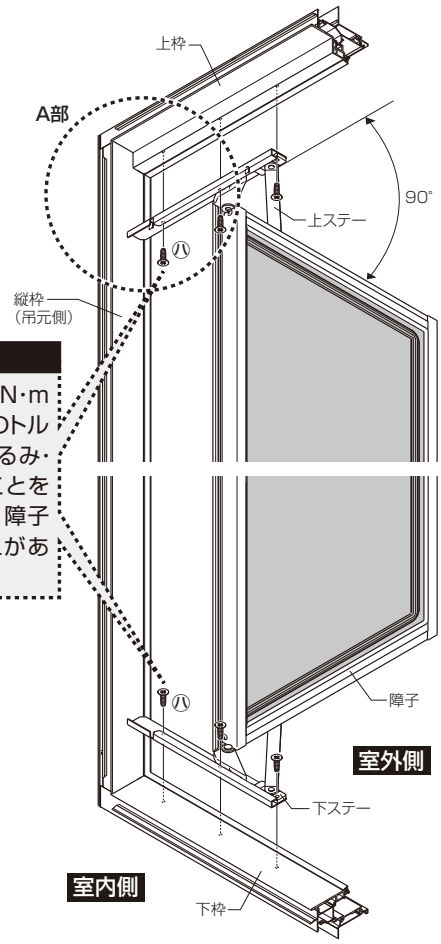
※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いている上･下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。（2ヵ所）
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。（障子が仮止めされます。）
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。

**ポイント**

### ■障子の取付け位置

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。

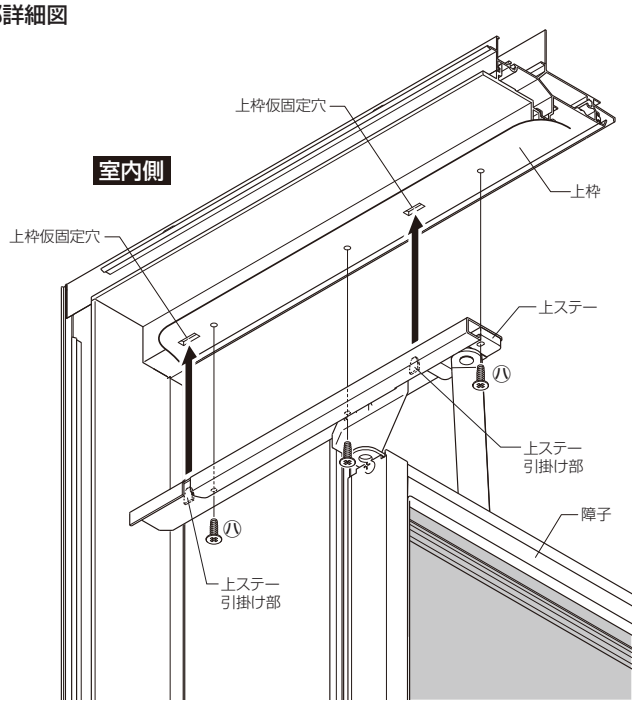



**⚠警 告**

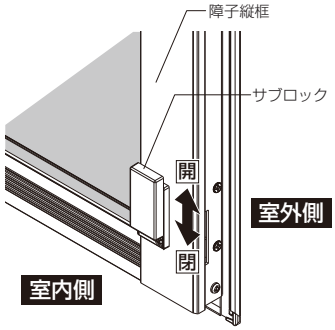
●ねじは2.5±0.5N･m{25±5kgf･cm}のトルクで止めた後、ゆるみ･ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

### ■A部詳細図




### ■サブロックの開閉位置

※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。



# 縦すべり出し窓(カムラッチ)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●ステー取付けねじは障子の落下防止の為下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N {25±5kgf・m}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

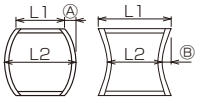
### ⚠注 意

●本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。また、指定個所には必ずシーリング処理を実施してください。

## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**

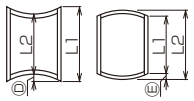



| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**

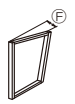
| C |
|---|
| 2 |

**■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ**



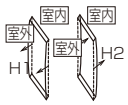

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外のソリ**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■部品・ねじ一覧表

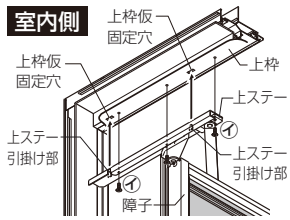
| 記 号 | ㋑ | ㋺ |
|---|---|---|
| 姿 図 | | |
| | 薄平タッピンねじ M4×10 | スクリュー釘 φ2.1×32 |
| 使用部位 | ステー | 枠 |

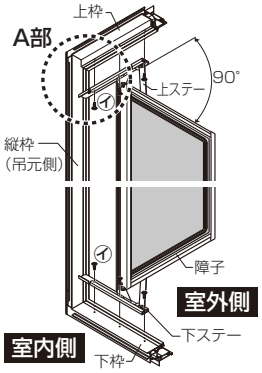
| 記 号 | ㋩ |
|---|---|
| 姿 図 | |
| | 丸木ねじ φ3.5×25 |
| 使用部位 | 枠 |

## ■障子取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2個所)
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。(障子が仮止めされます。)
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。

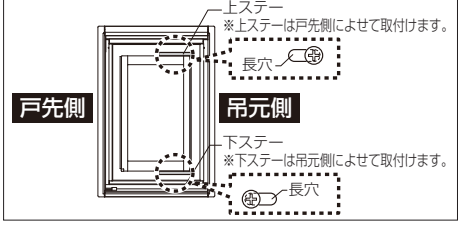
**■A部詳細図**



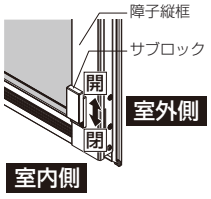

**■障子の取付け位置**

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。
障子の取付けの際は下図のように位置決めしてください。




**■サブロックの開閉位置**

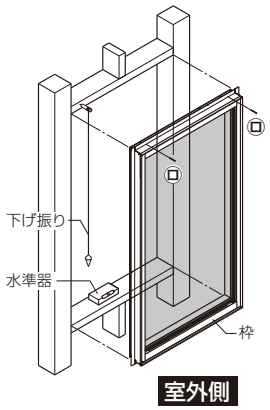
※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。



## ■枠取付け順序

### 1 枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

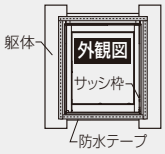



### 2 枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

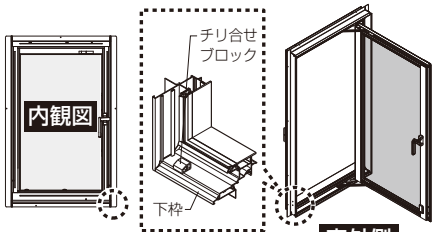
**お願い**
※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

**⚠注　意**
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

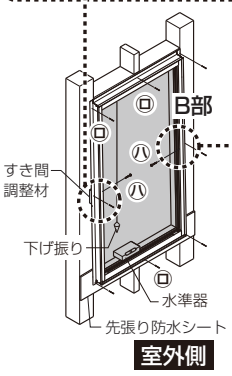



**■チリ合せブロックについて**
※縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。
※施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。(窓の開閉に支障が出ます。)

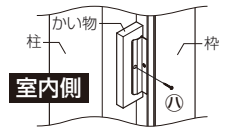
【チリ合せブロック取付け位置】




**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

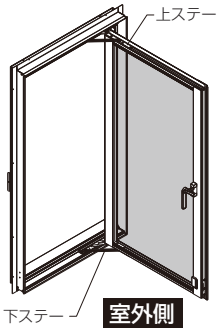



**■B部詳細図**
※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。




## ■障子の建付け調整

**■障子の戸先が下がっている場合**
上・下ステーで調整してください。




●上下ステーの調整
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、図1のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

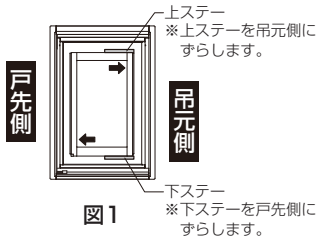
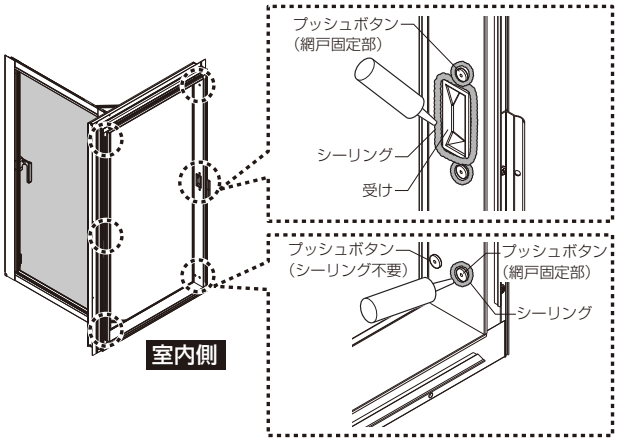


図1

## ■浴室にご使用の場合

**⚠注　意**
●必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。
●指定個所には必ずシーリング処理を実施してください。

※カムラッチ受けの周りにシーリング処理を行ってください。
※網戸を取付けない場合は、室内側の網戸固定部のプッシュボタンの周りにシーリング処理を行ってください。



# 縦すべり出し窓(グレモン)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警告

●本製品で使用するグレチャン付ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

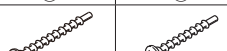
### ⚠注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立てねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
●連窓する場合は、連窓側に取付けされているブラケットは外してください。

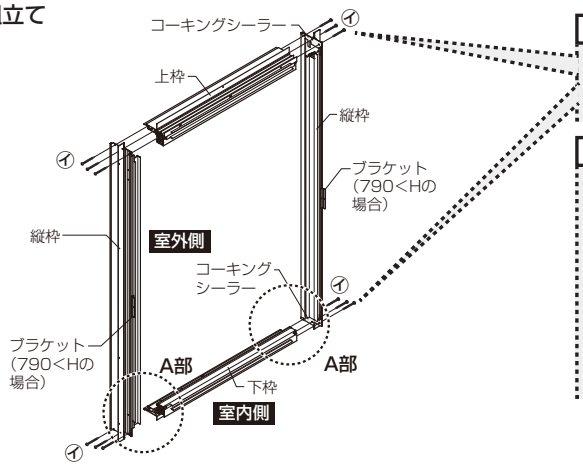
## ■部品・ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ |
|---|---|---|
| 姿図 |  バインドタッピンねじ φ4×30 |  ナベタッピンねじ φ4×25 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 |

| 記号 | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|
| 姿図 | ナベタッピンねじ(1種) φ4×20 | 薄平小ねじ M4×10 |
| 使用部位 | 障子 | ステー |

## ■組立て順序

**1枠の組立て**



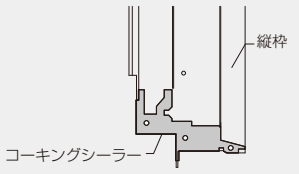

### ⚠注意

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ⚠注意

●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図

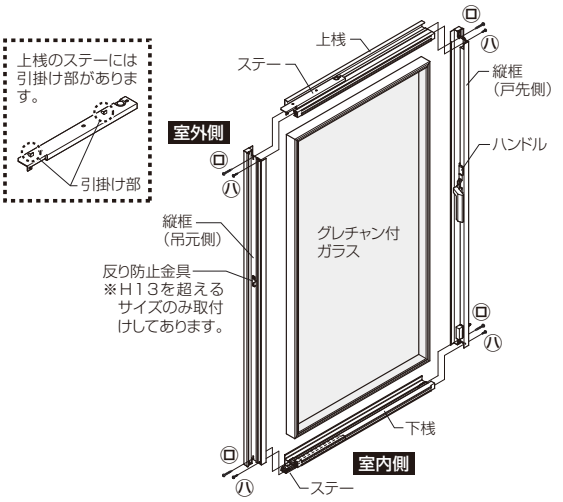


## 2障子の組立て

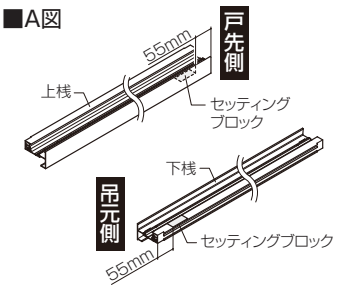
①グレチャン付ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上桟・下桟のセッティングブロックが所定の位置にあるか確認してください。
もしずれている場合は所定の位置にずらしてから組立てをしてください。（A図）
④縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。

**⚠警 告**

- 必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
- ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。



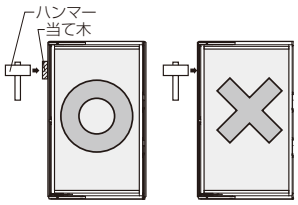

■A図



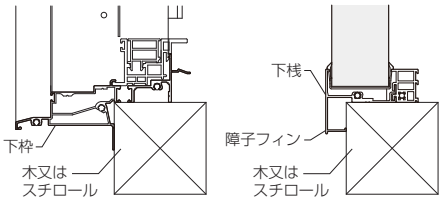

※セッティングブロックが所定の位置にあるか確認してから組立てをしてください。
※405<Wのサイズに取付けしてあります。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。

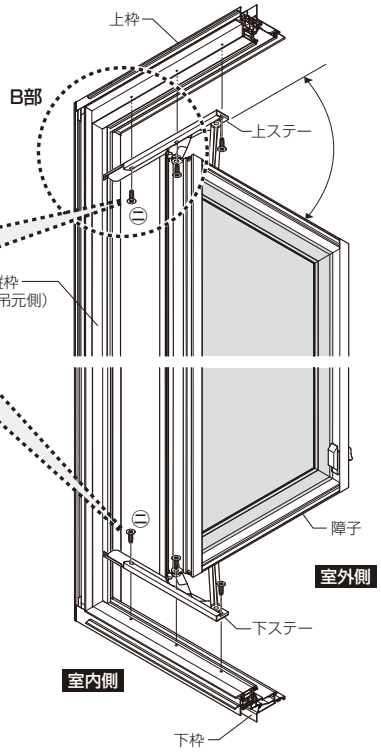



※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。




## 3障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いている上・下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。（2個所）
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。（障子が仮止めされます。）
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。



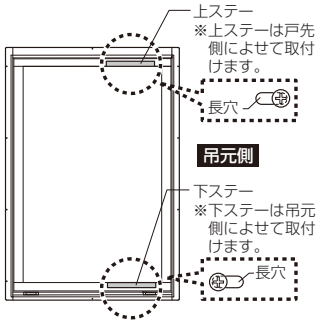

**⚠警 告**

- ねじは2.5±0.5N·m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

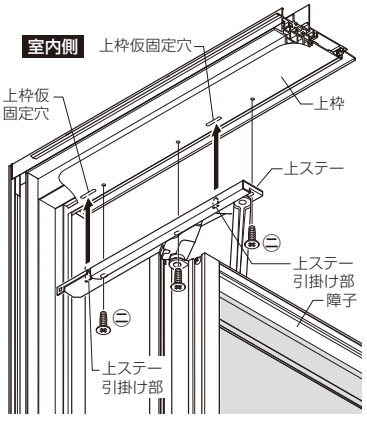
**ポイント**

■障子の取付け位置

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。




■B部詳細図



# 縦すべり出し窓(グレモン)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

■取付けされる方へのお願い

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警 告**

●ステー取付けねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N{25±5kgf・m}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注 意**

●本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

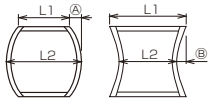
■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ 2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

■部品・ねじ一覧表

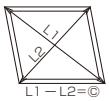
| 記 号 | ㋑ | ㋺～㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|
| 姿 図 | | | |
| | 障子取付ねじ(薄平タッピンねじ) M4×10 | 枠取付ねじ(低頭ねじ) φ3.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 |
| 使用部位 | ステー | 枠 | ― |

■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

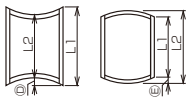
■サッシ枠対角差




L1 − L2=Ⓒ

| C |
|---|
| 2 |

■サッシ上下枠の内反り・外反り

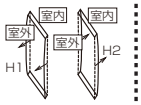



| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ

| F |
|---|
| 2 |

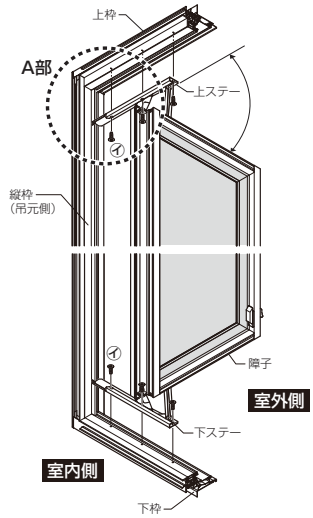
■サッシ枠の室内外の反り



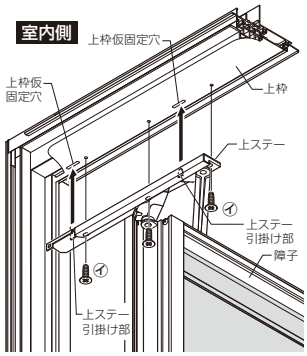

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

■障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いている上·下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2個所)
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。(障子が仮止めされます。)
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。

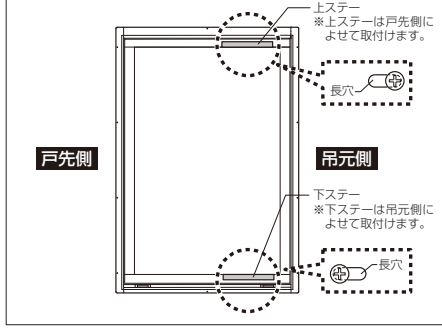



■A部詳細図




■障子の取付け位置

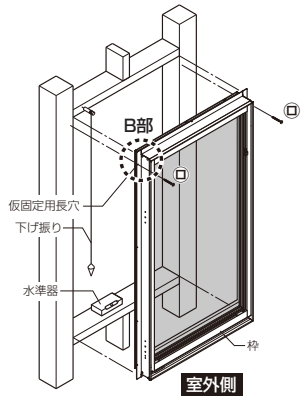
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。



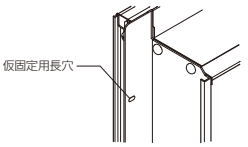
## ■枠取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。




### ■B部詳細図




### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋑を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋩、㋭を固定します。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。
枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**

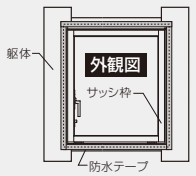
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

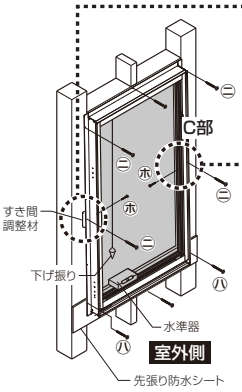
**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**⚠注 意**

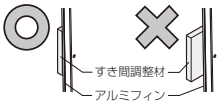
●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




### ■C部詳細図

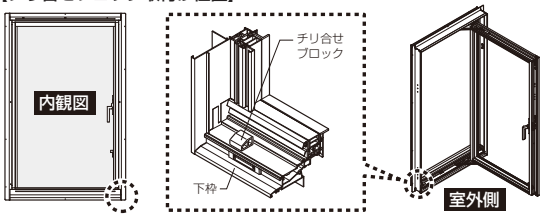
※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

### ■チリ合せブロックについて

※縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。

※施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。（窓の開閉に支障が出ます。）

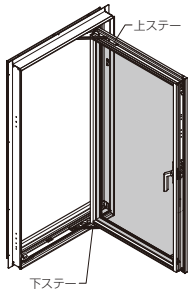
【チリ合せブロック取付け位置】




## ■障子の建付け調整

### ■障子の戸先が下がっている場合

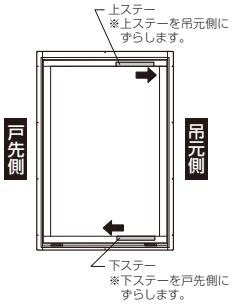
上・下ステーで調整してください。




### ●上下ステーの調整

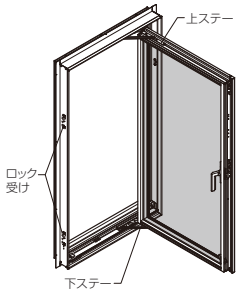
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、下図のようにステーの位置を調整してください。

※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。




### ■ハンドル操作が重い場合

ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



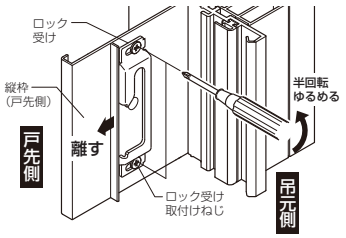

### ●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。

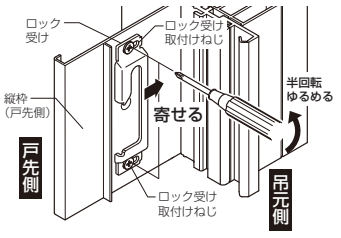
※ロック受け取付けねじをゆるめ（上下半回転）、位置を調整してください。

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

［ハンドルの操作が重い場合］




［ハンドルの操作が軽い場合］




### ●ロック受けスペーサーの調整

※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。

※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。（上下半回転）

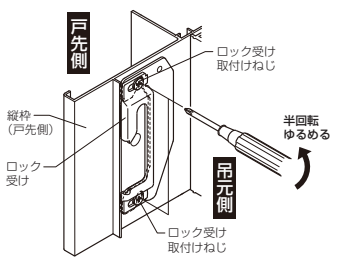
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

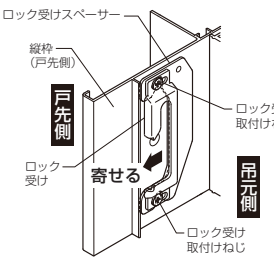
②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。

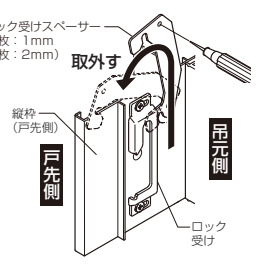
※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。

※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。

③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。（ロック受けの調整を参照）



# 縦すべり出し窓(グレモン)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 警 告

●ステー取付けねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

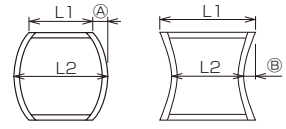
### ⚠ 注 意

●本製品は、製品重量が最大40kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m{15～20kgf・cm} にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

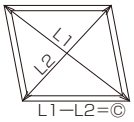
**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

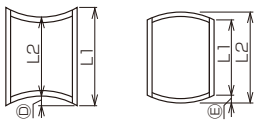
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 2 |

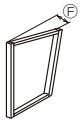
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

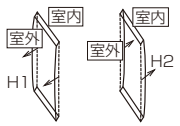
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 |
|---|
| 1 |

| H2 |
|---|
| 1 |

## ■部品・ねじ一覧

| 用　途 | 枠取付けねじ | |
|---|---|---|
| Hサイズ | − | 790≦H　に付属 |
| 記　号 | ㋑～㋥ | ㋭ |
| 姿　図 | 低頭ねじ φ3.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 |
| 使用部位 | 室外側 | 室内側　アルミフィン |

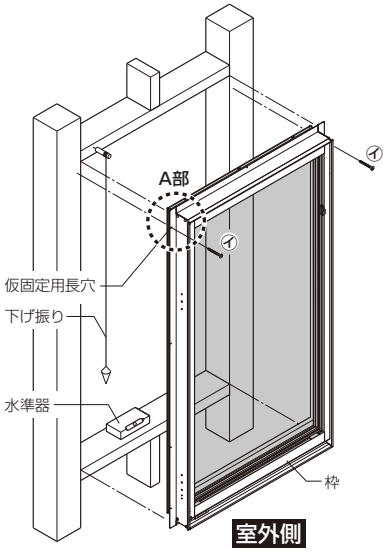
| 用　途 | 障子取付けねじ | |
|---|---|---|
| Hサイズ | W≦640　用 | 640<W　用 |
| 記　号 | ㋮ | ㋬ |
| 姿　図 | 薄平小ねじ φ4×10 | 皿小ねじ φ5×12 |
| 使用部位 | ステー | ステー |

※障子取付けねじは、㋥、㋭のどちらかが付属されています。

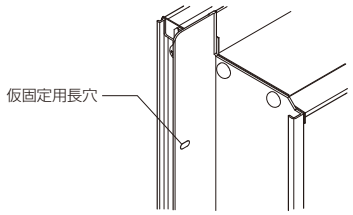
## ■枠取付け手順

### ❶枠仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。




### ■A部詳細図




### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋺を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋑、㋩を固定します。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。
枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**

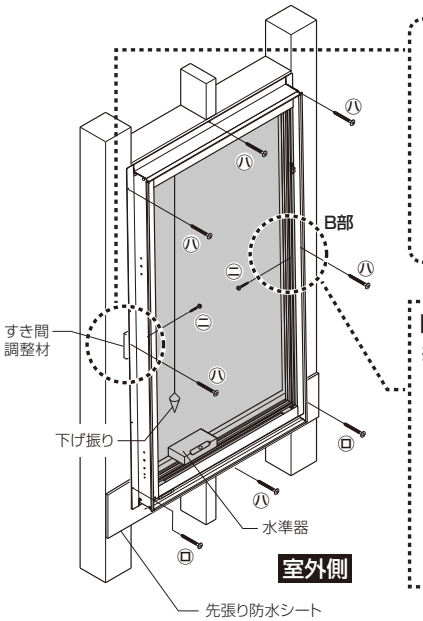
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

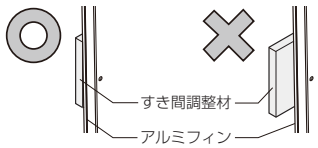
**⚠注 意**

●本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



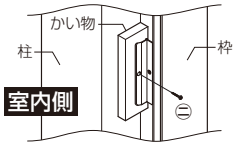

**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




### ■B部詳細図

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。



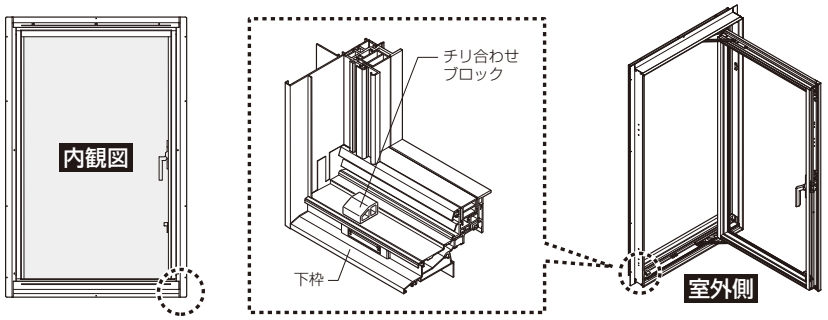

### ■チリ合わせブロックについて

※縦すべり出し窓に付いているチリ合わせブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。

※施工完了後は、必ずチリ合わせブロックを取外してください。（窓の開閉に支障が出ます。）

※チリ合わせブロックは、405≦Wに取付けしてあります。

**【チリ合わせブロック取付け位置】**



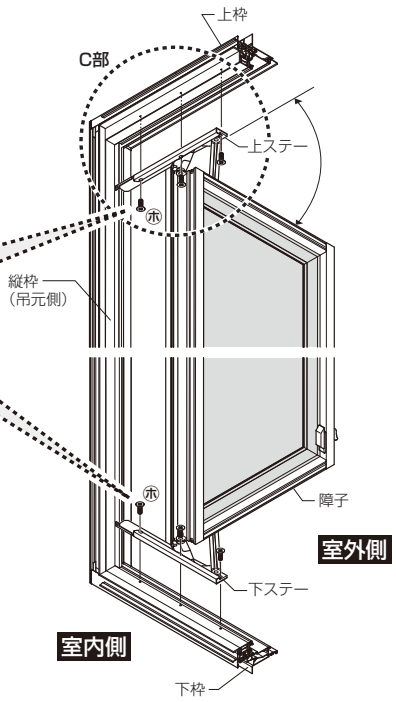
## ■障子の取付け

**Wサイズによりステーが異なります。使用するねじ、取付け方法も異なりますので、それぞれに合った説明に従ってください。**

### ●W≦640の場合

①障子に付いている上·下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2個所)
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。(障子が仮止めされます。)
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。

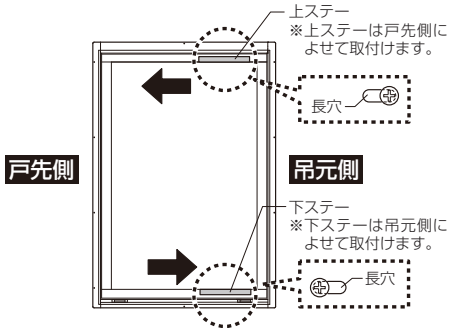
**⚠警 告**
●ねじは2.5±0.5N{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。



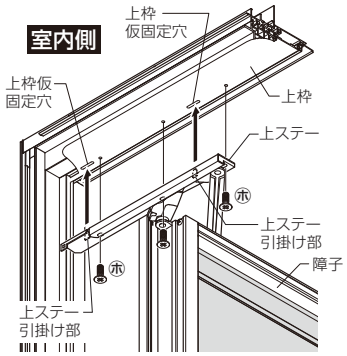

**ポイント**

**■障子の取付け位置**

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。




**■C部詳細図**

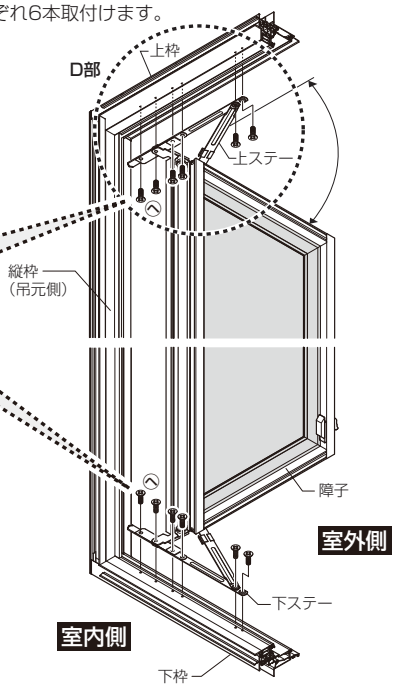



### ●640<Wの場合

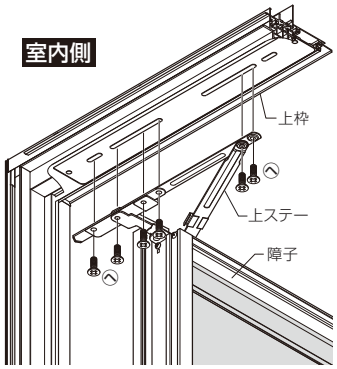
①障子に付いている上·下ステーを引出し、90°に広げます。
③下ステーを下枠にのせて、障子の上部を立て起こします。
④上ステーのねじを最初に取付けます。
※ステー取付けねじは、上下それぞれ6本取付けます。

**お願い**
※すべてのねじを取付け終わるまで障子をささえておいてください。

**⚠警 告**
●ねじは2.5±0.5N{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。




**■D部詳細図**

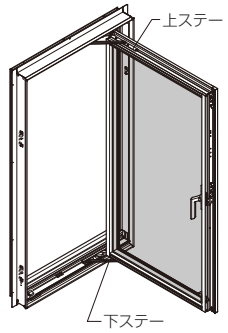


## ■障子の建付け調整

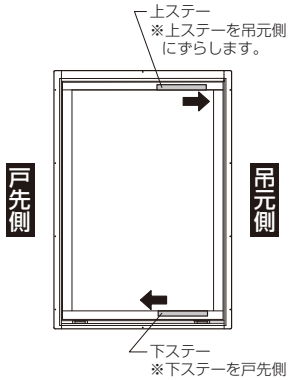
**Wサイズにより調整方法が異なりますので、それぞれに合った説明に従ってください。**

### ■障子の戸先が下がっている場合

上・下ステーで調整してください。




### ●上下ステーの調整

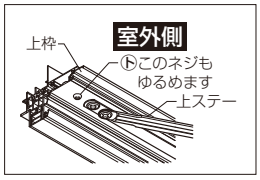


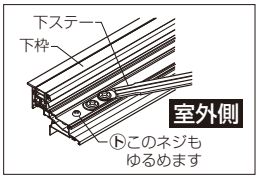

**[W≦640の場合]**

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、下図のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。
※調整後、ステー取付けねじを締めなおしてください。

**[640<Wの場合]**

※ステーの固定ねじとステーの戸先側にあるねじ1本Ⓣを一度ゆるめて調整します。
※調整後、ステー取付けねじを締めなおしてください。



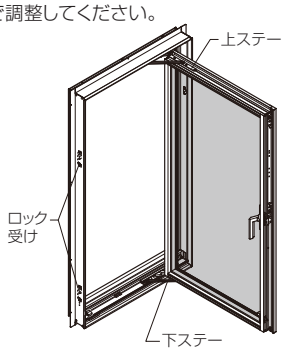




**⚠警 告**

**●ステー取付けねじは2.5±0.5N{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。**

### ■ハンドル操作が重い場合

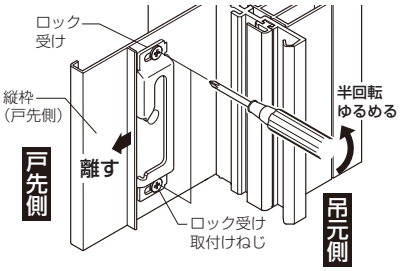
ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



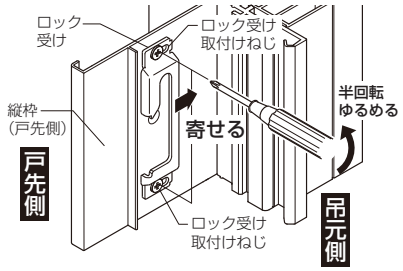

### ●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
※ロック受け取付けねじをゆるめ（上下半回転）、位置を調整してください。
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

**[ハンドルの操作が重い場合]**




**[ハンドルの操作が軽い場合]**

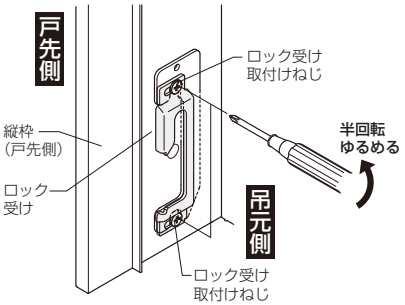


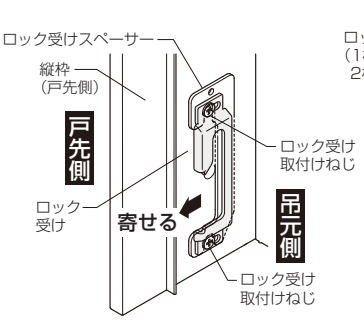

### ●ロック受けスペーサーの調整

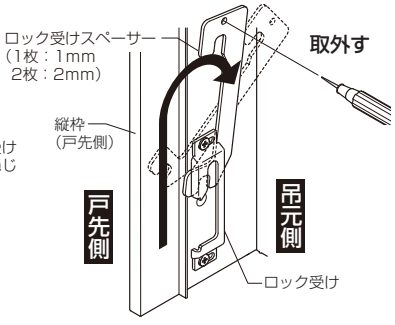
※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。
（上下半回転）
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
（ロック受けの調整を参照）



# 縦すべり出し窓(グレモン)　TF

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

**⚠注 意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

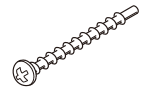
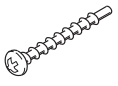
**⚠注 意**

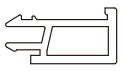
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●障子取付けねじは必ず取付けされる方へお渡しください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。

## ■部品・ねじ一覧表

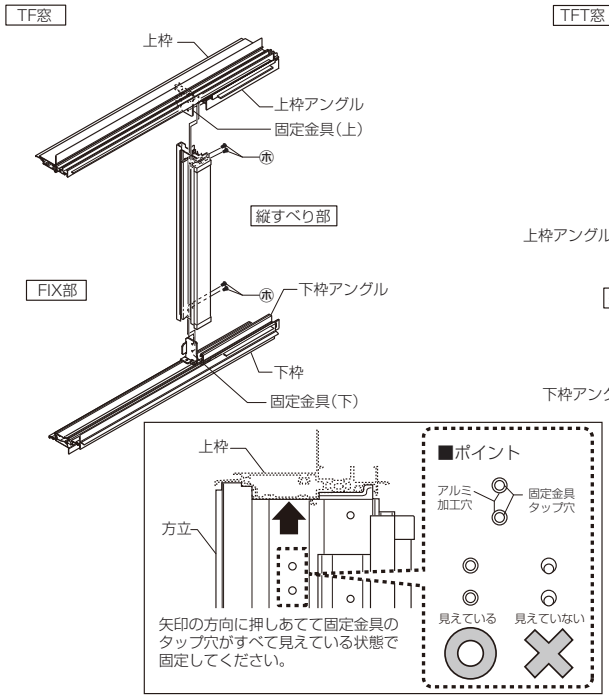
| 記　号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿　図 |  |  | | | |
| | 枠組立てねじ<br>(バインドタッピンねじ)<br>φ4×30 | 障子組立てねじ<br>(ナベタッピンねじ)<br>φ4×25 | 障子組立てねじ<br>(ナベタッピンねじ(1種))<br>φ4×20 | 障子取付けねじ<br>(薄平小ねじ)<br>M4×10 | 方立組立てねじ<br>(バインド小ねじ)<br>M4×10 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | 障子 | ステー | 方立 |

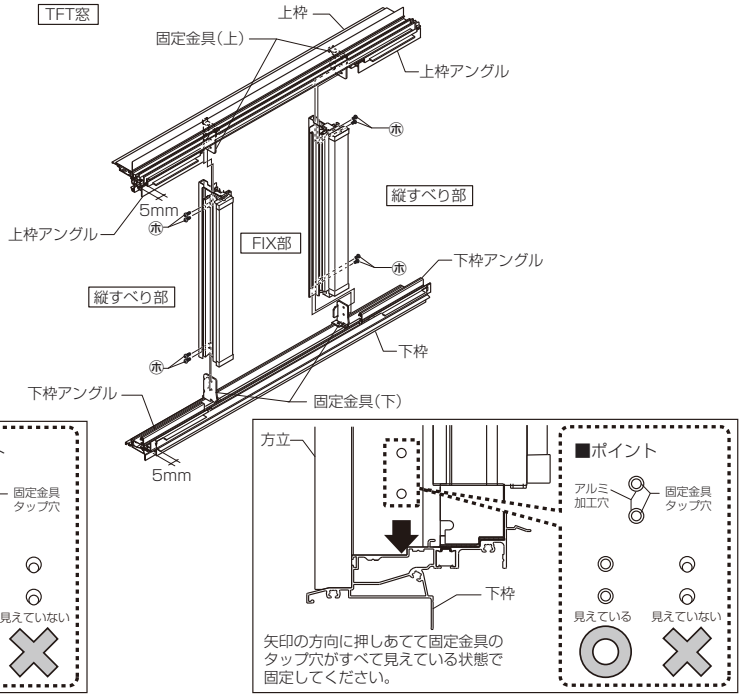
| 押　縁 | |
|---|---|
| |  |
| 上用／1本 | 縦用／2本 |

## ■組立て順序

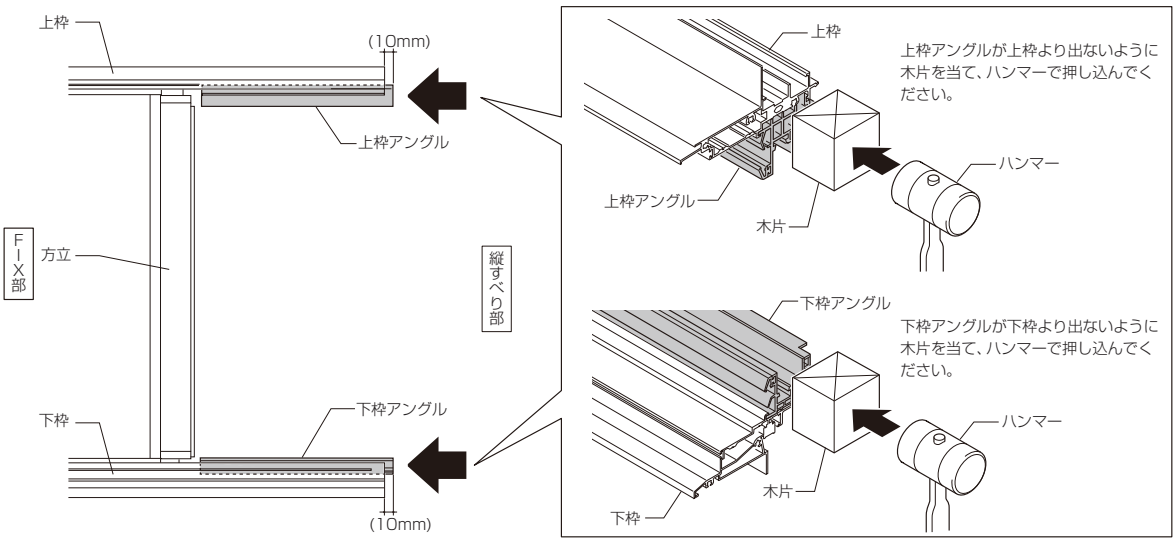
### ❶-1 方立の組立て

●方立を上枠または、下枠の固定金具に押しあててねじ㋭で固定します。



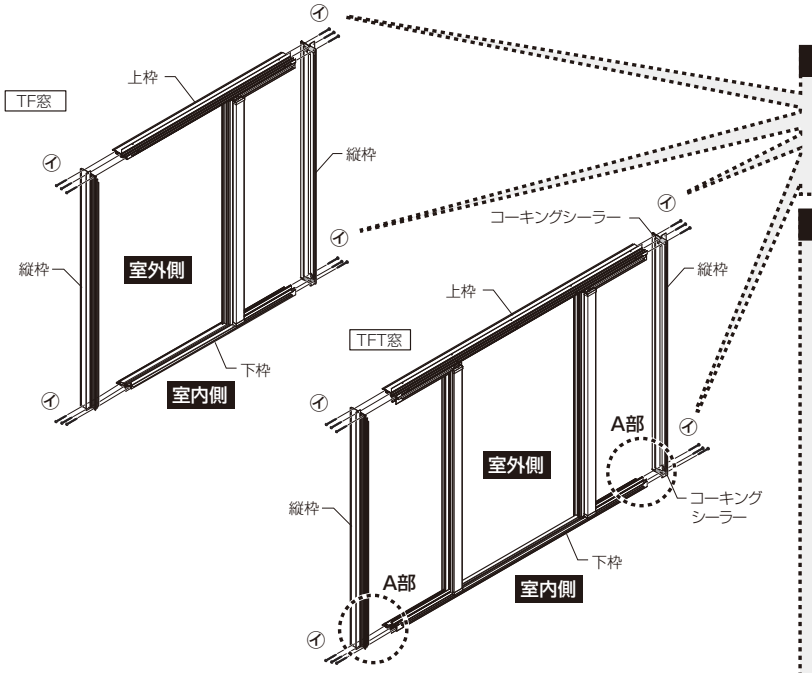



●上下枠のアングルは組立てやすいようにあらかじめ10mm程度出ています。
方立組立て後上下枠のアングルを上下枠より出ないように押し込んでください。




### ■1-2 枠の組立て

●室内側、室外側の向きを合わせて各部材をねじ㋑で固定します。



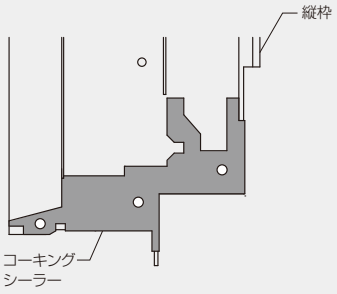

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図



# 縦すべり出し窓(グレモン)　TF

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 警 告

●本製品で使用するグレチャン付ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ⚠ 注 意

●ガラスは必ず指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
●本製品は、ガラスを入れると製品重量が最大95kgとなります。ガラス、障子の取付けは枠取付け後に行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立てねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
※本製品は浴室に使用できません。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●障子取付けねじは必ず取付けされる方へお渡しください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●製品やガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。

## ■組立て順序

**1 方立の組立て**

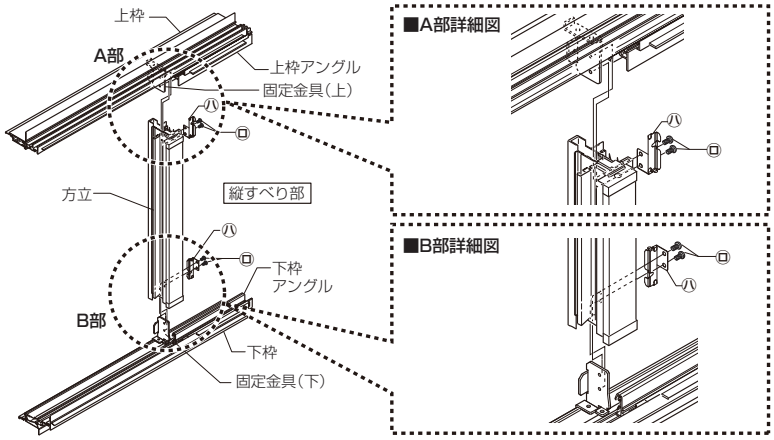
●方立を上下枠の固定金具に押しあててねじ㊁で固定します。

## ■部品・ねじ一覧表

| 用途 | 枠組立て部品・ねじ | | | 障子組立てねじ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
| 姿図 | | | | | |
| | バインドタッピンねじ φ4×30 | バインド小ねじ M4×10 | 方立上下金具 上用／下用 | なべタッピンねじ φ4×25 | なべタッピンねじ (1種)φ4×20 |
| 使用部位 | 縦枠 | 方立 | 方立 | 框 室外側 | 框 室内側 |

| 用途 | 障子取付けねじ | FIX窓部のガラス押さえ部品 | | |
|---|---|---|---|---|
| 記号 | ㋬ | ㋣ | ㋒ | ㋕ |
| 姿図 | | | | |
| | 薄平小ねじ φ4×10 | ガラス保持金具 左用／右用 | 押縁 上枠用 | 押縁 縦用 |
| 使用部位 | ステー | 縦枠／方立 | 上枠 | 縦枠／方立 |

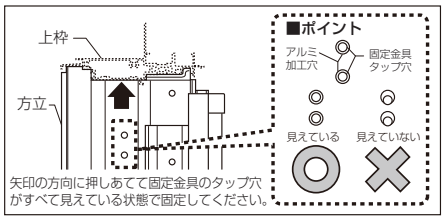
## ■組立て順序

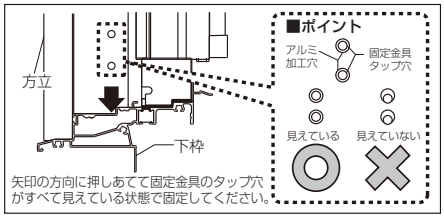




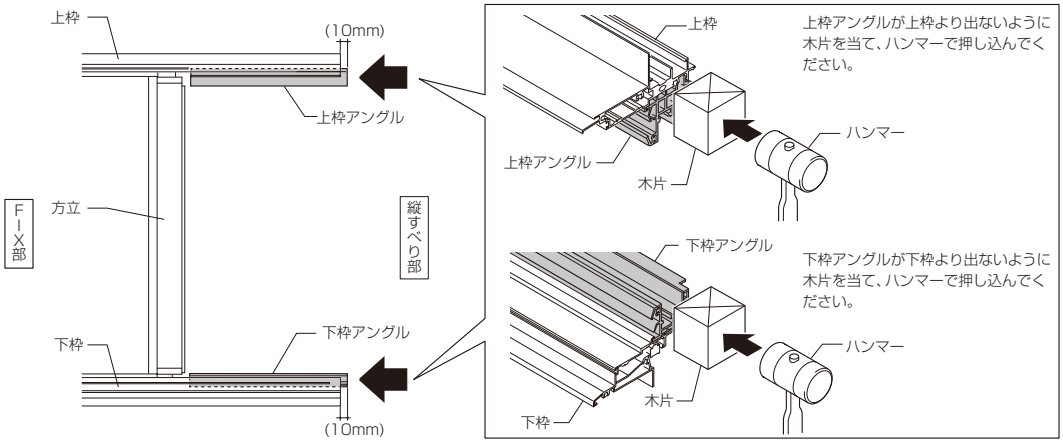




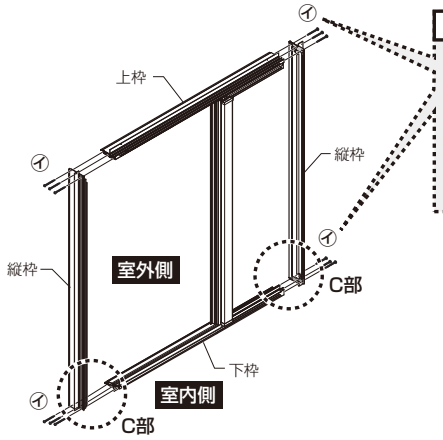



●上下枠のアングルは組立てやすいようにあらかじめ10mm程度出ています。
方立組立て後上下枠のアングルを上下枠より出ないように押し込んでください。




## ❷ 枠の組立て

●室内側、室外側の向きを合わせて各部材をねじ㋑で固定します。



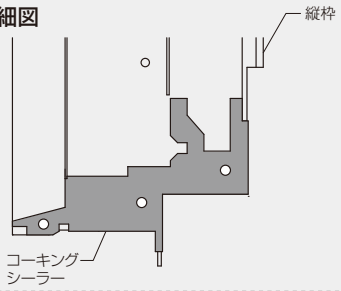

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m {25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

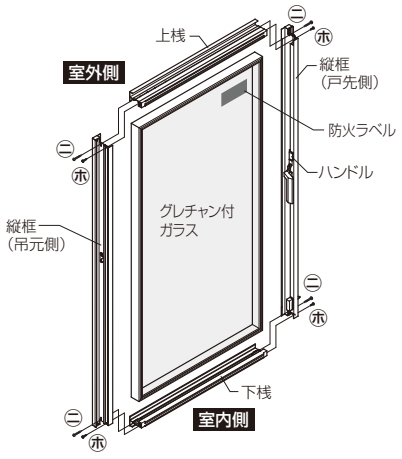
●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■C部詳細図




## ❸ 障子の組立て

①グレチャン付ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②防火ラベルが室内側の右上にくるように配置してください。
③ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
④縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※障子組立てねじは2種類あります。先のとがったねじ㋥は室内側に使用してください。




**⚠ 警 告**

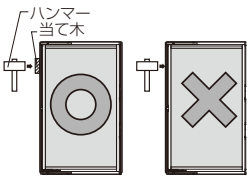
●必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**⚠ 注 意**

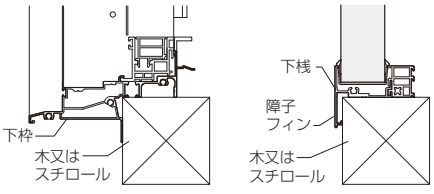
●ガラスは必ず指定のものを使用してください。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。




※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。また、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



# 縦すべり出し窓(グレモン)　TF

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

■取付けされる方へのお願い

**⚠警 告**…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警 告**

●ステー取付けねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N {25±5kgf・m}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

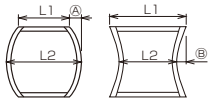
**⚠注 意**

●本製品は、製品重量が最大70kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ 2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●取付けの際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●特殊薄板を使用したトリプルガラス(室内側)に吸着チャック(吸盤)を使用される場合、エッジから200mm以内の位置に吸着して使用してください。ガラスのたわみの影響を受けにくく、安定して取付けることができます。

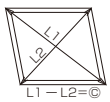
■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

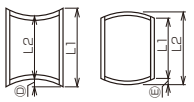
■サッシ枠対角差




L1 −L2=Ⓒ

| C |
|---|
| 2 |

■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



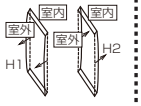

| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ

| F |
|---|
| 2 |

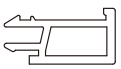
■サッシ枠の室内外のソリ




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

■部品・ねじ一覧表

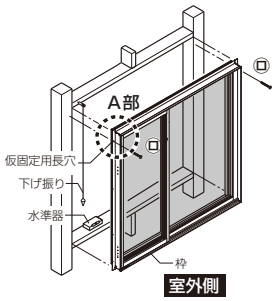
| 記号 | ㋑ | ㋺～㋩ | ㋭ |
|---|---|---|---|
| 姿図 | | | |
| | 障子取付ねじ(薄平タッピンねじ) M4×10 | 枠取付ねじ(低頭ねじ) φ3.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 |
| 使用部位 | ステー | 枠 | − |

| 姿図 | 押縁 | |
|---|---|---|
| | |  |
| | 上用／1本 | 縦用／2本 |

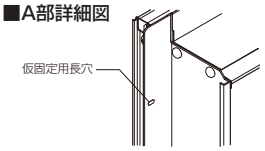
■枠取付け順序

**1枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋺枠取付けねじで枠を仮止めします。




■A部詳細図



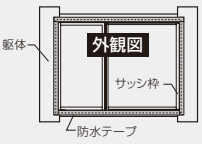

**2枠の調整と固定**

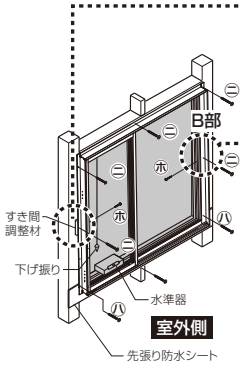
●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、、縦枠下部ねじ㋑を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋥、㋭を固定します。
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。
枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

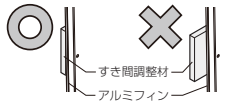
**⚠注 意**
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**⚠注 意**
●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

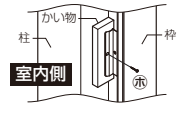



**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

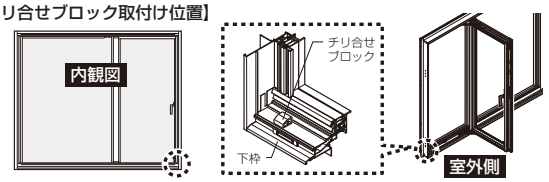



■B部詳細図
※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。



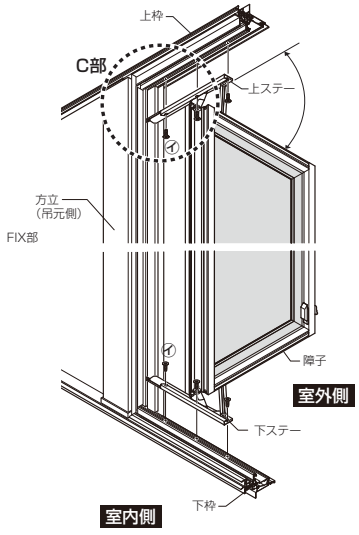

■チリ合せブロックについて
※縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。
※施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。(窓の開閉に支障が出ます。)

【チリ合せブロック取付け位置】

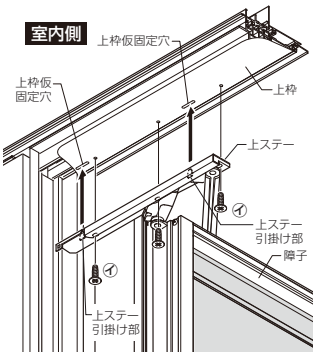


## ■縦すべり出し窓部の障子の取付け

※ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いている上･下ステーを引出し、90°に広げます。
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2個所)
③下ステーを下枠にのせます。
④下ステーのねじを最初に取付けます。(障子が仮止めされます。)
⑤残ったねじをすべて固定します。
※逆の手順で障子を取外せます。

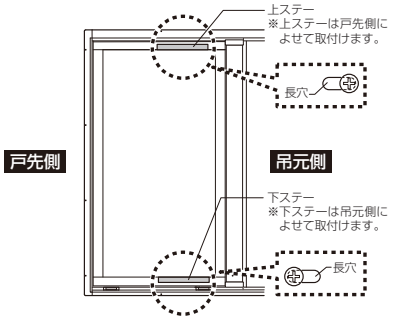



### ■C部詳細図




### ■障子の取付け位置

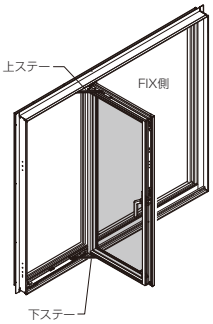
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。




## ■障子の建付け調整

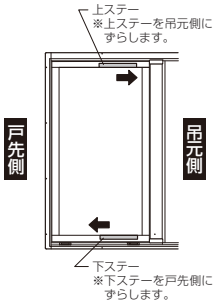
### ■障子の戸先が下がっている場合

上・下ステーで調整してください。



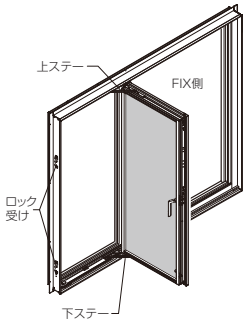

#### ●上下ステーの調整

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、下図のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。




### ■ハンドル操作が重い場合

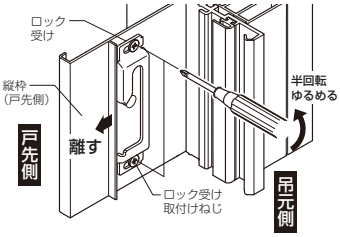
ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



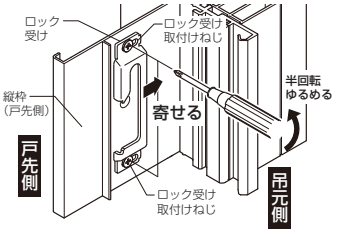

#### ●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
※ロック受け取付けねじをゆるめ(上下半回転)、位置を調整してください。
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[ハンドルの操作が重い場合]



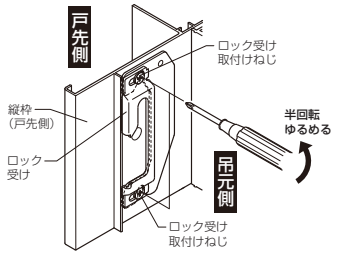

[ハンドルの操作が軽い場合]



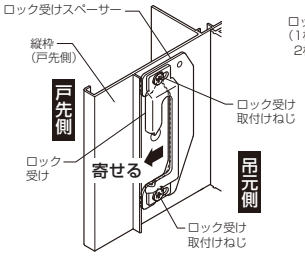

#### ●ロック受けスペーサーの調整

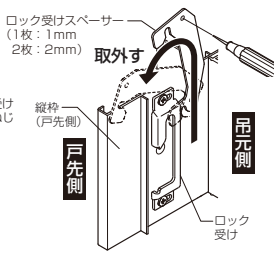
※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。
(上下半回転)
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。




②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
(ロック受けの調整を参照)

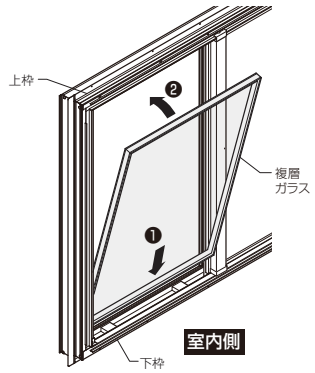


## ■FIX窓部の取付け

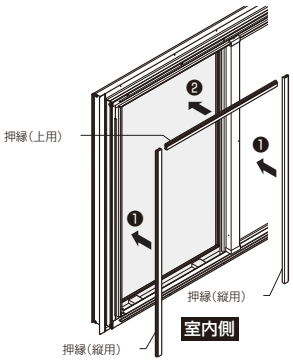
### 1ガラスの建込み

●下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。



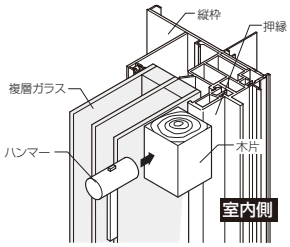

### 2押縁の取付け

●縦→上の順に押縁を入れます。
※押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



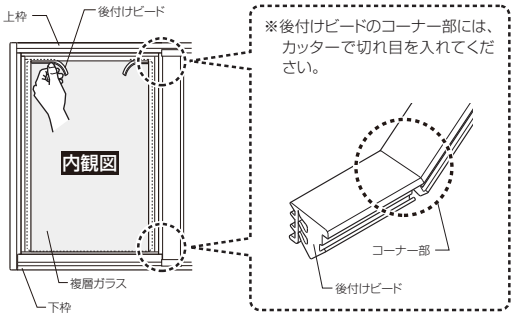

**お願い**

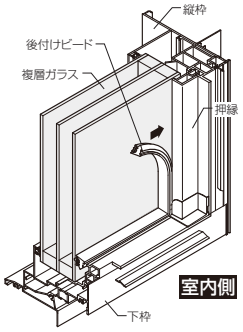
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。




### 3後付けビードの取付け

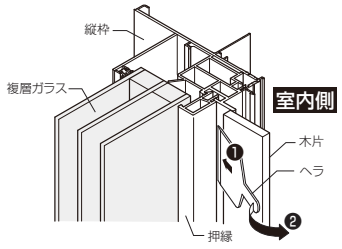
●4方に後付けビードをまわします。
※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。



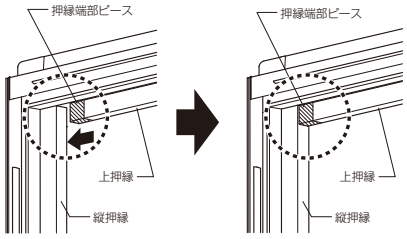

### ■ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に下図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して左右の押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)

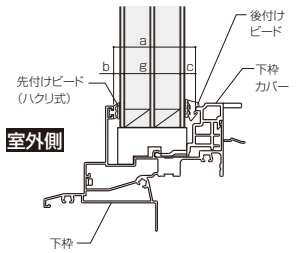



### ■押縁端部ピースの調整

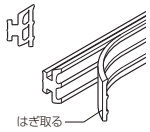
●W2(FIX部)>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。




### ■ガラスビードの使用区分




### ■先付けビードのハクリ方法




### ■PG(複層ガラス)トリプルガラス(kr) a=34

| ガラス厚(g)(mm) | ガラス構成 | 先付けビード(b) | | 後付けビード(c)(別売り) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 22 | 3−16−3 | 4 | | 8 | ECZ□11 |
| 23 | 3−16−4 | 3(ハクリ) | | 8 | |
| 24 | 4−16−4 | 4 | | 6 | ECZ□33 |
| 25 | 5−16−4 | 3(ハクリ) | | 6 | |
| 26 | 5−16−5 | 4 | | 4 | ECZ□35 |
| 27 | 6.8−16−4<br>3-10-1.3-10-3 | 4 | | 3 | ECZ□36 |

### ■トリプルガラス (Ar) a=45

| ガラス厚(g)(mm) | ガラス構成 | 先付けビード(b) | | 後付けビード(c)(別売り) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 35 | 3-14-1.3-14-3 | 4 | | 6 | ECZ□33 |

# 縦すべり出し窓(グレモン)　TF

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

■取付けされる方へのお願い

**⚠警 告**…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警 告**

●ステー取付けねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N {25±5kgf・m}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注 意**

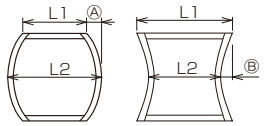
●ガラス、ビードは必ず指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
●本製品は、ガラスを入れると製品重量が最大95kgとなります。ガラス、障子の取付けは枠取付け後に行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
・ガラス保持金具(室内)取付け後、ガラス保持金具(室内)下端と下枠カバー下面の距離が15～18mmになっていること、ガラス保持金具(室内)が 室内側に外れないことを確認してください。外れてしまう状態では取付けが不完全なため、所定の防火性能を満たしません。
・ガラス保持金具(室内)の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。ねじのかかりが不十分な場合、所定の防火性能を満たしません。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
※本製品は浴室に使用できません。

**お願い**
※ガラス建て込み時に室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5～2.0N・m{15～20kgf・cm} にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
※ガラス、製品破損防止のため、障子、ガラスは枠を躯体に固定した後に取付けしてください。

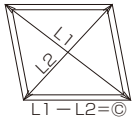
■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

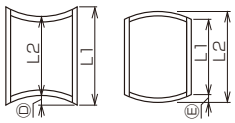
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠対角差




| C |
|---|
| 2 |

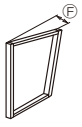
■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

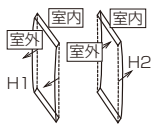
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ




| F |
|---|
| 2 |

■サッシ枠の室内外のソリ




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

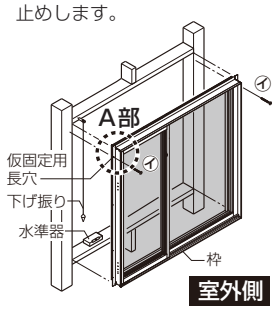
■部品・ねじ一覧表

| 用　途 | 枠取付けねじ | | 障子取付けねじ | FIX窓部のガラス押さえ部品 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 記　号 | ㋑～㋥ | ㋷ | ㋸ | ㋹ | ㋺ | ㋩ |
| 姿　図 | | 790≦Hに付属 | | | | |
| | 低頭ねじ φ3.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 | 薄平小ねじ φ4×10 | ガラス保持金具(室内)左用／右用 | 押縁　上枠用 | 押縁　縦用 |
| 使用部位 | 室外側 | 室内側アルミフィン | ステー | 縦枠／方立 | 上枠 | 縦枠／方立 |

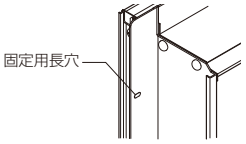
## ■枠取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。




■A部詳細図




### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋺を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋑㋩を固定します。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**

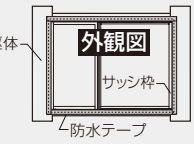
※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

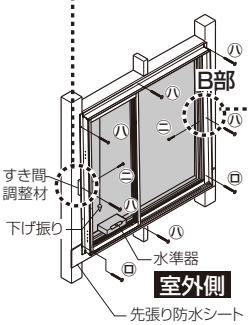
**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**⚠注 意**

●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



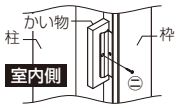

**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

※アルミフィンは、790≦Hに取付けしてあります。

■B部詳細図

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。




## ■縦すべり出し窓部の障子の取付け

※ガラス、製品破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に取付けてください。

①障子に付いている上·下ステーを引出し、90°に広げます。

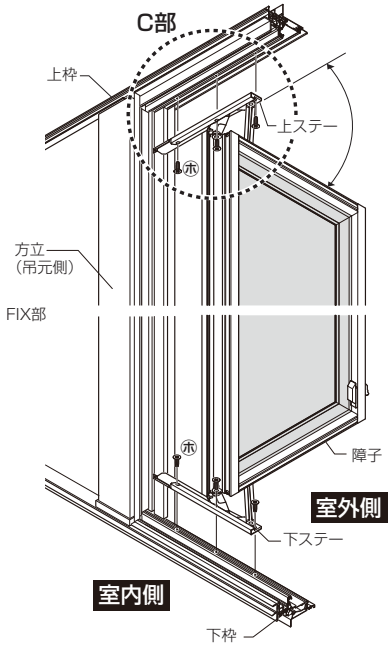
②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。（2個所）

③下ステーを下枠にのせます。

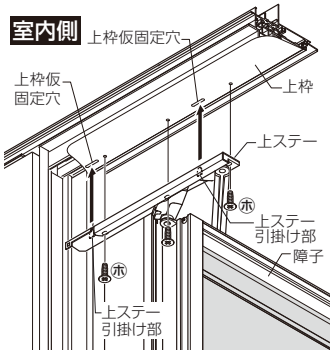
④下ステーのねじを最初に取付けます。（障子が仮止めされます。）

⑤残ったねじをすべて固定します。

※逆の手順で障子を取外せます。

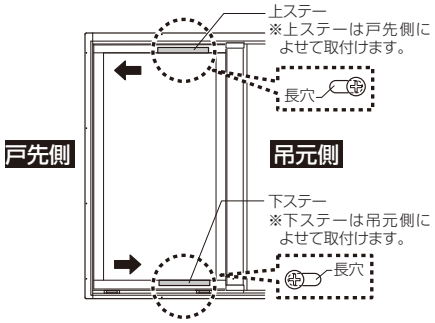



■C部詳細図




■障子の取付け位置

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。障子の取付けの際は右図のように位置決めしてください。

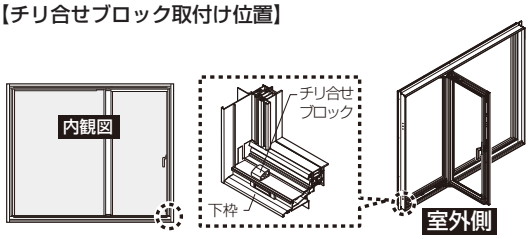



■チリ合せブロックについて

※縦すべり出し窓に付いているチリ合せブロックは、枠の固定が完了するまでは絶対に取外さないでください。戸先が下がり開閉に支障がでるおそれがあります。

※施工完了後は、必ずチリ合せブロックを取外してください。（窓の開閉に支障が出ます。）

【チリ合せブロック取付け位置】

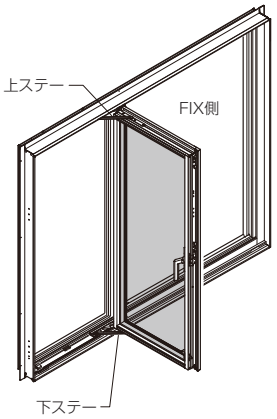


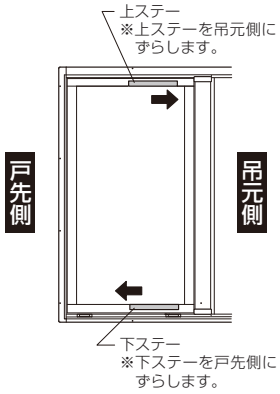

**⚠警 告**

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■障子の建付け調整

### ■障子の戸先が下がっている場合



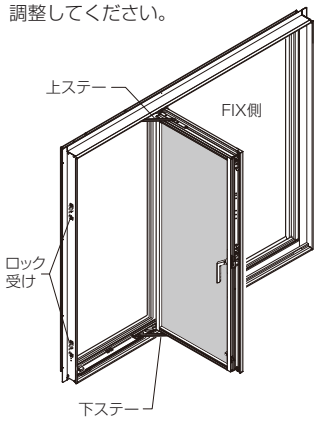

上・下のステーを左図の方向にずらします。
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、下図のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。
※調整後、ステー取付けねじを締めなおしてください。

**⚠警 告**

●ステー取付けねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ■ハンドル操作が重い場合

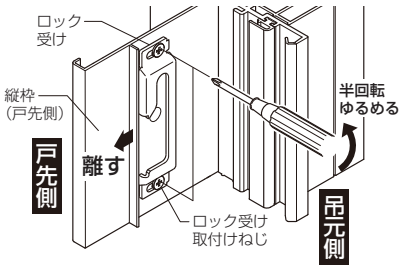
ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



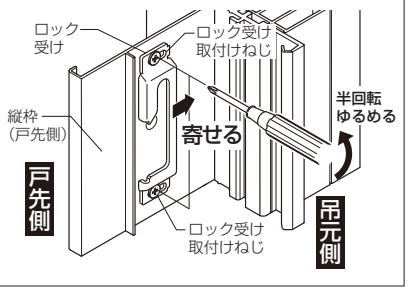

**●ロック受けの調整**

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
※ロック受け取付けねじをゆるめ(上下半回転)、位置を調整してください。
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[ハンドルの操作が重い場合]




[ハンドルの操作が軽い場合]

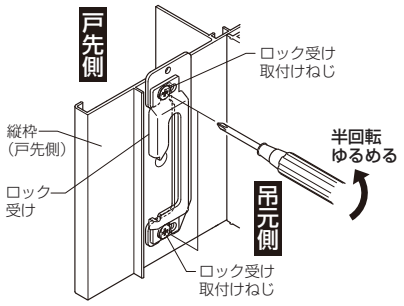


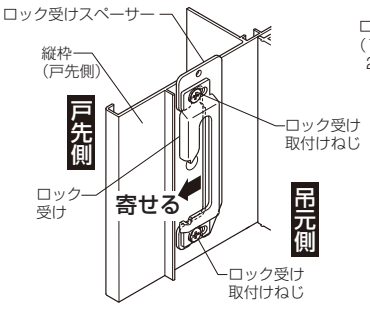

**●ロック受けスペーサーの調整**

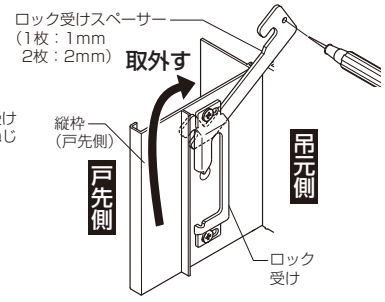
※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。
(上下半回転)
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
(ロック受けの調整を参照)



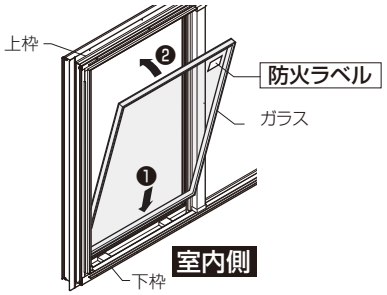



## ■FIX窓部の取付け

### ❶ガラスの建込み

※ガラス、製品破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に取付けてください。
●下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。
※ガラスは、防火認定ラベルが内観右上になるようにはめ込んでください。

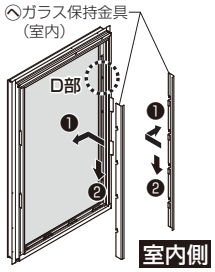



**▲注 意**
●ガラスは必ず指定のものを使用してください。

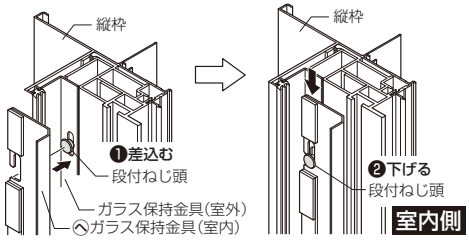
**お願い**
※室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

### ❷ガラス保持金具（室内）の取付け

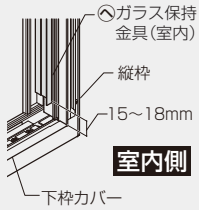
①㋑ガラス保持金具（室内）の穴部を段付ねじ頭に差込んでください。
②㋑ガラス保持金具（室内）の穴部がすべて段付ねじ頭に入っていることを確認してから、ガラス保持金具（室内）を下げてください。
※ガラス保持金具（室内）を下げられない場合は、段付ねじを**半回転**ゆるめてください。
※ガラス保持金具（室内）が取付けしにくい場合は、ガラスを中央の位置から5mm程度片側に寄せ、十分なクリアランスを確保して取付けしてください。
取付け後は、ガラスを中央の位置に戻してください。




**■D部詳細図**

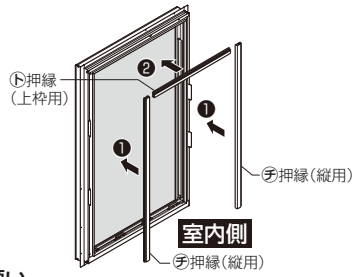



**▲注 意**
●ガラス保持金具（室内）の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。
●ガラス保持金具（室内）取付け後、ガラス保持金具（室内）下端と下枠カバー下面の距離が図の寸法になっていること、ガラス保持金具（室内）が室内側へ外れないことを確認してください。

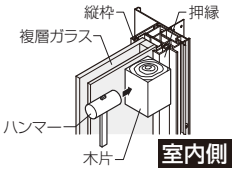



### ❸押縁の取付け

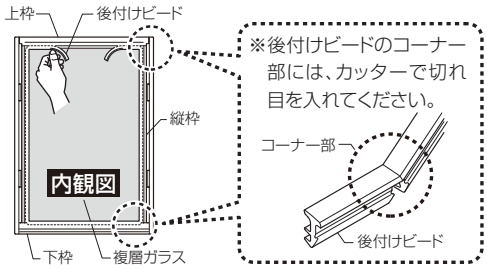
①縦→上の順に押縁を入れます。
※押縁（縦用）は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。

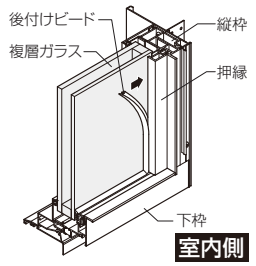



**お願い**
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

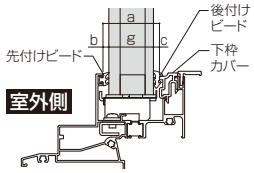



②4方に後付けビードをまわします。
※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。




**■ガラスビードの使用区分**

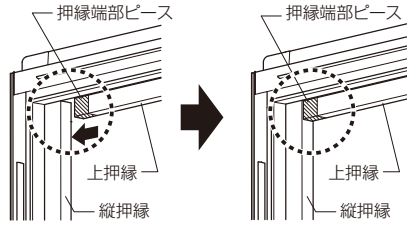



**■PG（複層ガラス）a=34**

| ガラス厚(g)(mm) | ガラス構成 | 先付けビード(b) | | 後付けビード(c)（別売り） | |
|---|---|---|---|---|---|
| 27 | 6.8−15−5 | 3 |  | 4 | |

**■押縁端部ピースの調整**

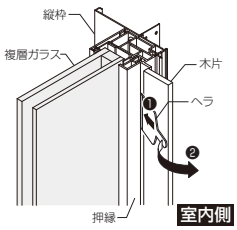
●W2（FIX部）>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。




**▲注 意**
●後付けビードは必ず指定のものを使用してください。

**■ガラスの外し方**

※取付けと逆の手順で取外してください。
※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に右図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して左右の押縁を外してください。
押縁（縦用）を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。
（樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。）



# 横すべり出し窓(オペレーター)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警 告**

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは障子の落下防止の為下記事項をお守り下さい。
・ステー取付ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認して下さい。

**⚠注 意**

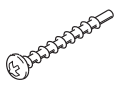
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立てねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後ゆるみ·ガタツキのないことを確認して下さい。

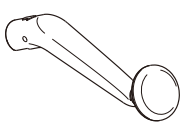
**お願い**
●防火戸FGの障子は組立て時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書、取付けねじセットおよびコーナー気密部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書と障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

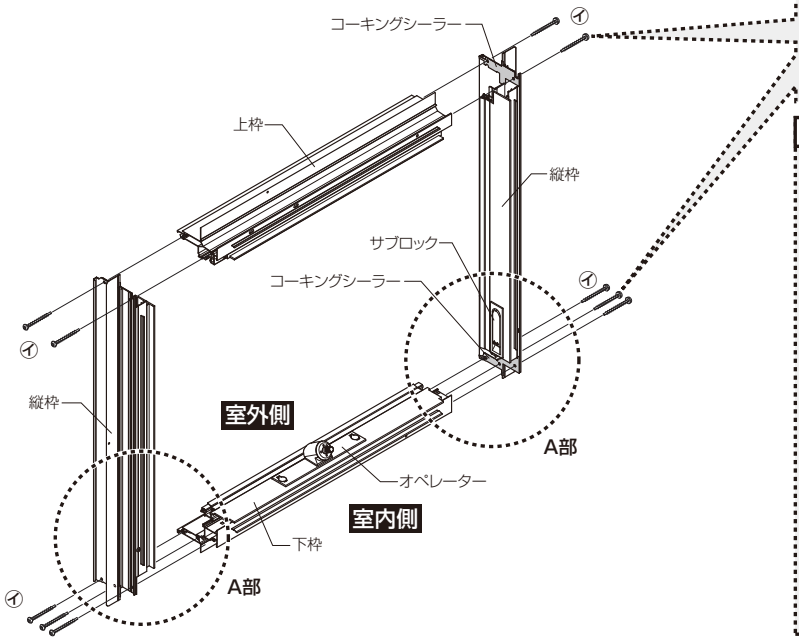
## ■部品・ねじ一覧表

| 記 号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|---|
| 姿 図 | |  | |
| | バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 | 皿小ねじM4×8 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | ステー |

| オペレーターハンドルセット | |
|---|---|
| 記 号 | ㋥ |
| 姿 図 |  |
| | ハンドル |

## ■組立て順序

### 1 枠の組立て



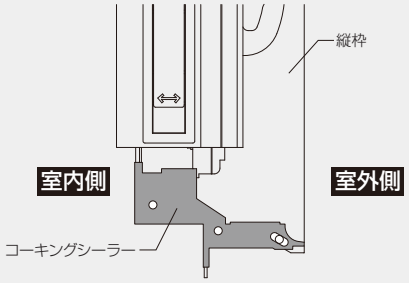

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

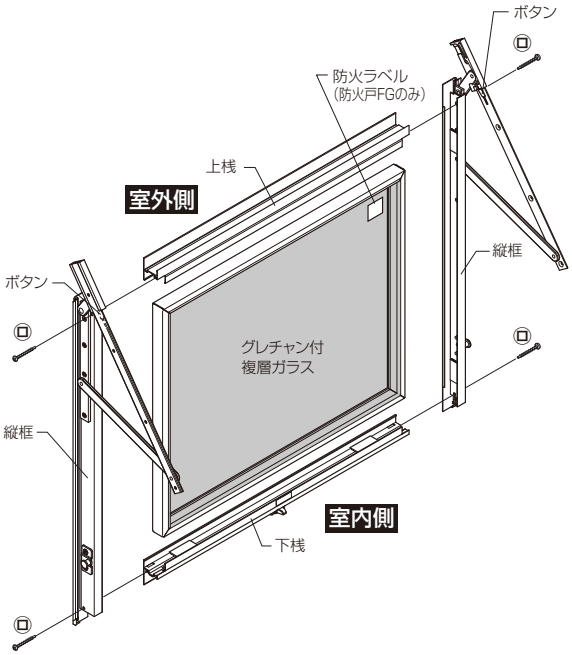
●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図




### 2 障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
※防火戸FGのガラスは室内側から見て防火ラベルが右上にくるよう配置して下さい。
③縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※上部の組立て穴はステーの内側にありますので、ステーを全開にして組立てを行ってください。それでもとめにくい場合は、ステーの白いボタンを押してさらにステーを開いてください。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

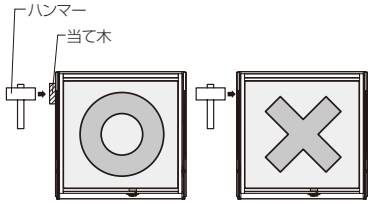



**⚠ 警 告**

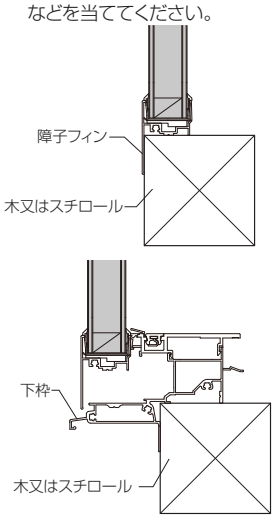
●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。




※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。

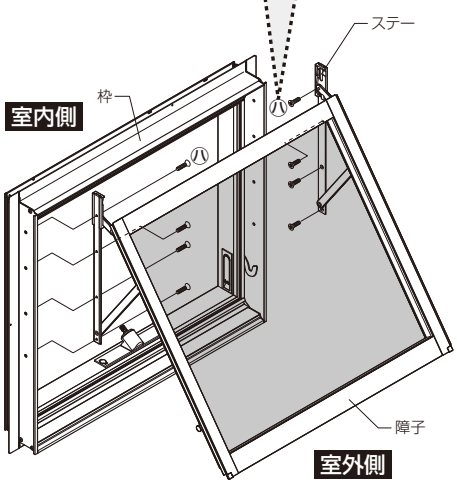


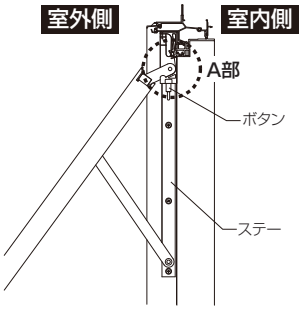
### 3 障子の取付け

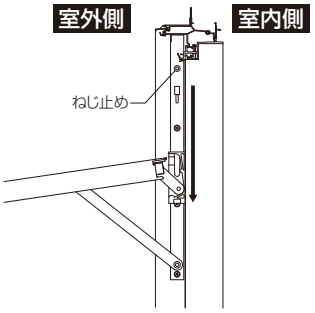
※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
※障子を閉じる際は一旦A部の状態にして、ボタンが元の状態になったことを確認して下さい。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。

**⚠ 警 告**

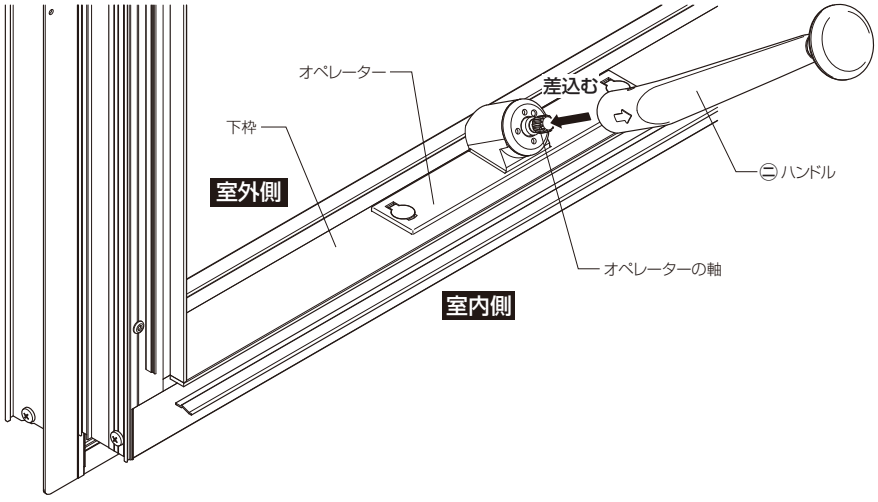
●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認して下さい。



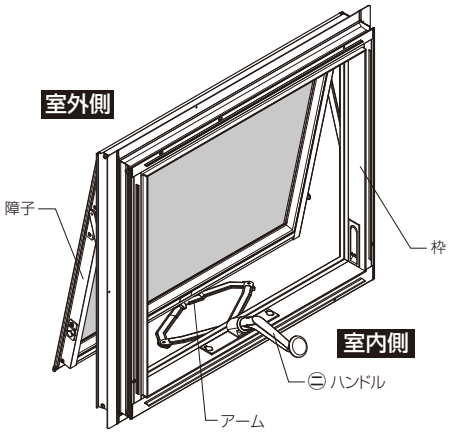



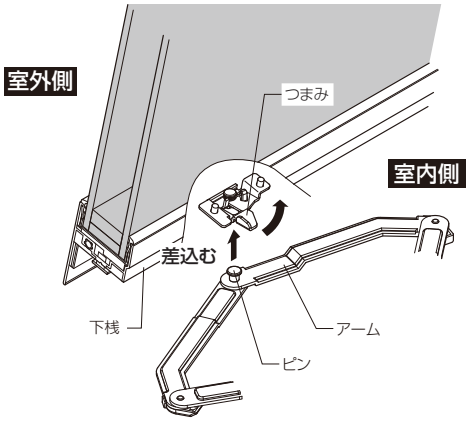




②ハンドルをオペレーターの軸に差込みます。




③ハンドルを回し、アームを伸ばして下桟と連結します。
※下桟のつまみを右へ回し、下からアーム先端のピンを差込んでください。

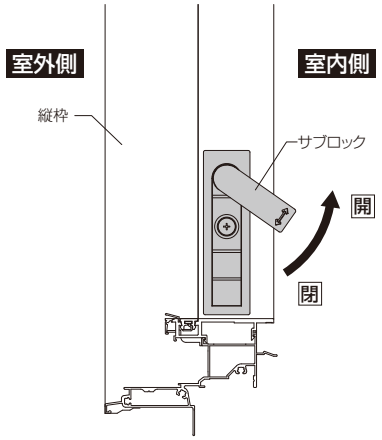


④ハンドルを回し、障子を閉め、障子を閉めたときにハンドルが横を向くように向きを合わせ、ねじ止めします。
※ねじ締めの際は2.0±0.5N・m{20±5kgf・cm}のトルクで止めてください。

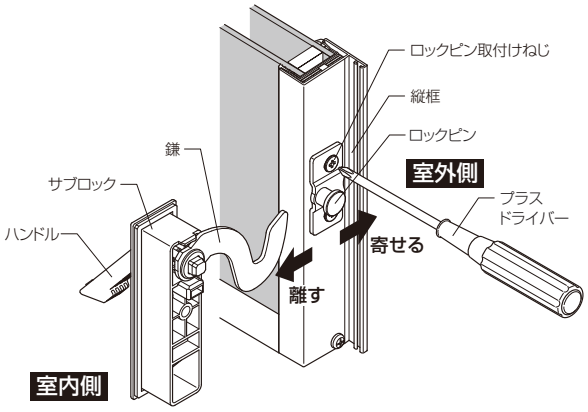
**■サブロックの開閉位置**

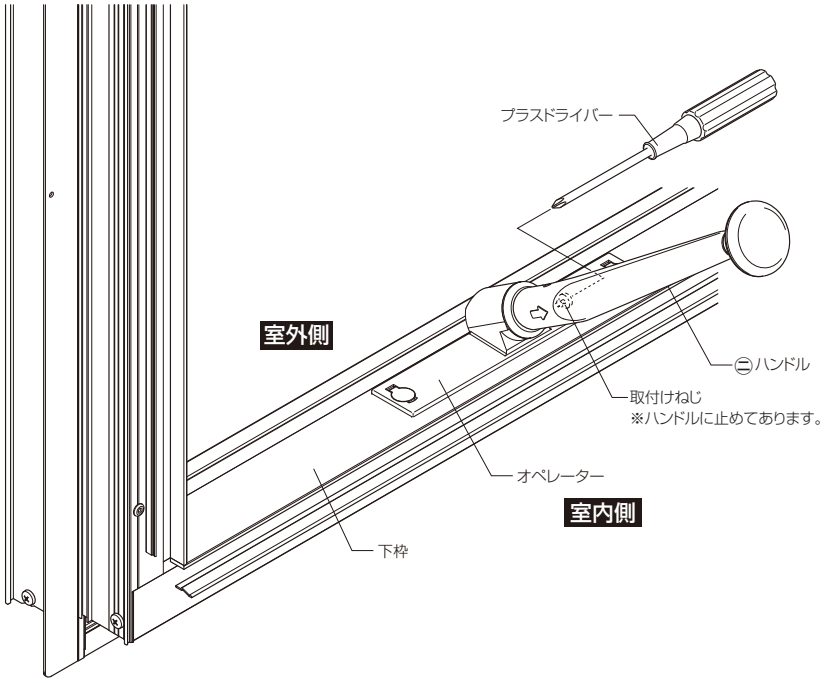
※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。




**■ロックピンの調整**

●サブロックの鎌とロックピンが当りハンドルの操作が重いときは、ロックピン取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。



# 横すべり出し窓（オペレーター）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警 告**

●ステー取付けねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

**⚠注 意**

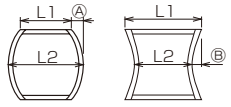
●本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**お願い**
●防火戸の障子は組立て時に室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

## ■取付け上のお願い

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●連窓·段窓する場合は、必ず連窓方立·段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

**■サッシ枠のフクレ·ツヅミ**



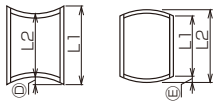

| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**

| C |
|---|
| 2 |

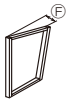
**■サッシ上下枠の内反り·外反り**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

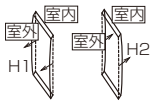
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

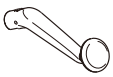
**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

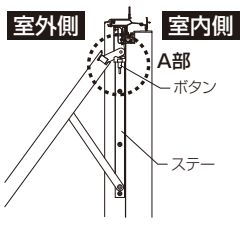
## ■部品·ねじ一覧表

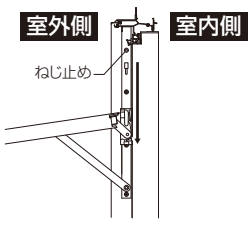
| 記号 | 姿 図 | 使用部位 |
|---|---|---|
| ㋑ | 皿小ねじM4×8 | ステー |
| ㋺ | スクリュー釘φ2.1×32 | 枠 |

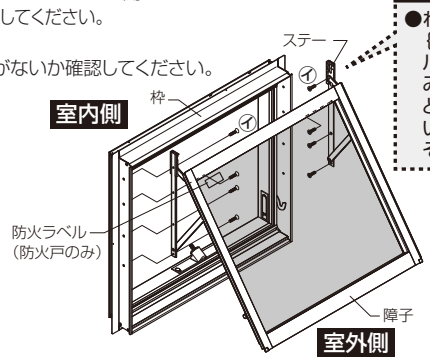
| 記号 | 姿 図 | 使用部位 |
|---|---|---|
| ㋩ |  ハンドル | ハンドル（取付ねじ付） |

## ■障子·ハンドル取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
※取り付けた障子を閉じる際、一旦A部の状態にしてボタンが元の状態になったことを確認してください。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。



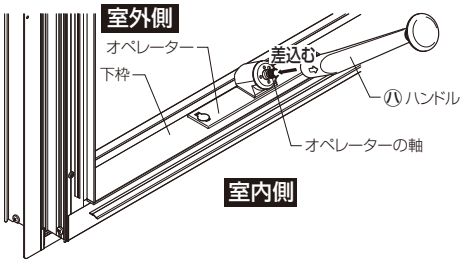



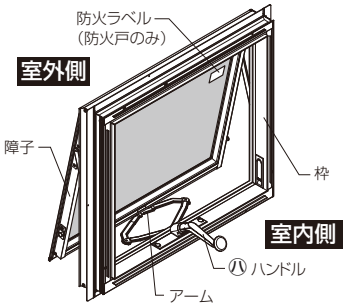

**⚠警 告**

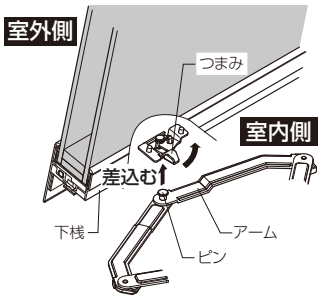
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

②ハンドルをオペレーターの軸に差込みます。



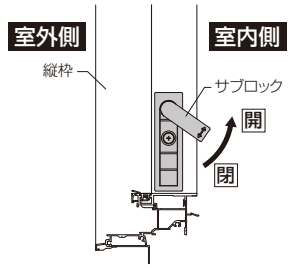

③ハンドルを回し、アームを伸ばして下桟と連結します。
※下桟のつまみを右へ回し、下からアーム先端のピンを差込んでください。

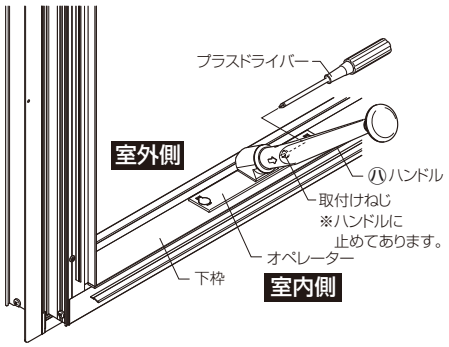



④ハンドルを回し、障子を閉め、障子を閉めたときにハンドルが横を向くように向きを合わせ、ねじ止めします。
※ねじ締めの際は2.0±0.5N・m{20±5kgf・cm}のトルクで止めてください。

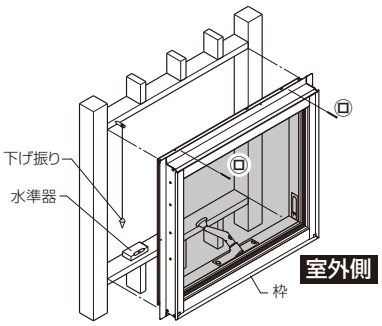
**■サブロックの開閉位置**
※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。




## ■枠取付け順序

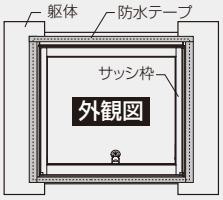
### 1 枠の仮止め
●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。




### 2 枠の調整と固定
●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

**⚠注　意**
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

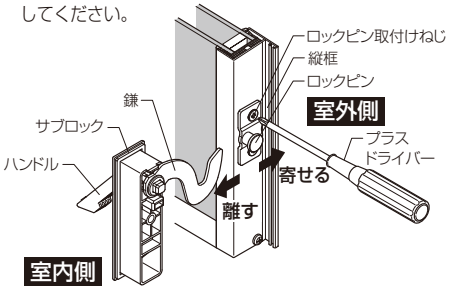
**⚠注　意**
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

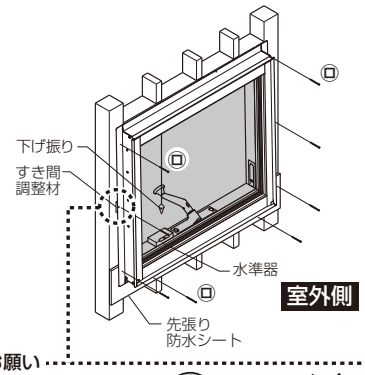



**お願い**
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

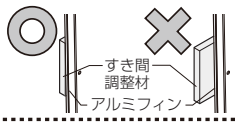
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

**■ロックピンの調整**
●サブロックの鎌とロックピンが当りハンドルの操作が重いときは、ロックピン取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。




**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



# 横すべり出し窓（カムラッチ）

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 警 告**

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。

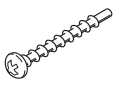
**⚠ 注 意**

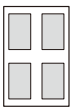
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立てねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
・浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付け側の2ヵ所）には気密補助シールを使用せずに浴室用防水部品セット（別売り）を取付けてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書と障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

## ■部品・ねじ一覧表

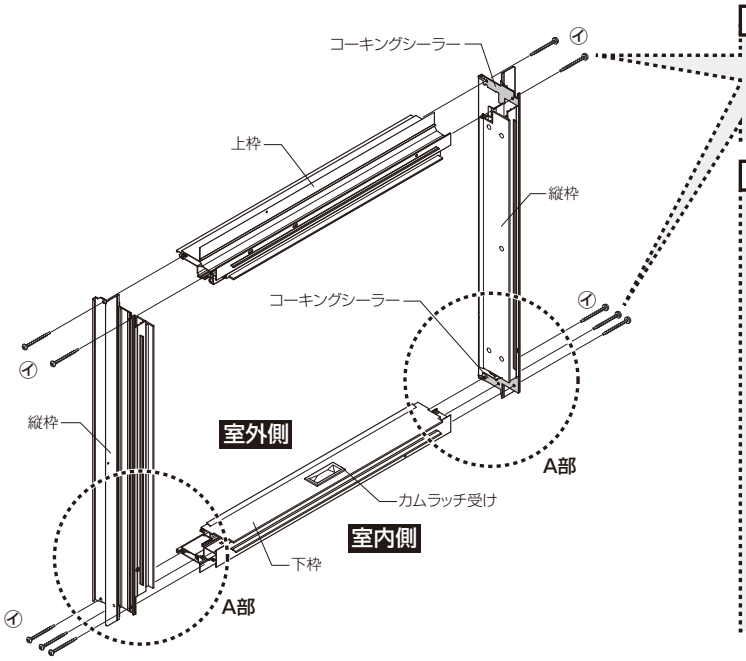
| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|---|
| 姿図 | |  | |
| | バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 | 皿小ねじ M4×8 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | ステー |

| 気密部品セット | |
|---|---|
| 記号 | ㋥ |
| 姿図 |  |
| | 気密補助シール |
| 使用部位 | 枠 |

| プッシュボタンセット | |
|---|---|
| 記号 | ㋭ |
| 姿図 | |
| 使用部位 | 枠 |

## ■組立て順序

### ❶枠の組立て



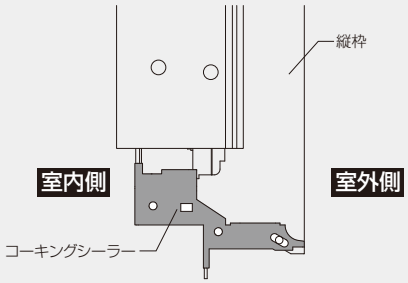

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図




### ❷気密補助シールの取付け

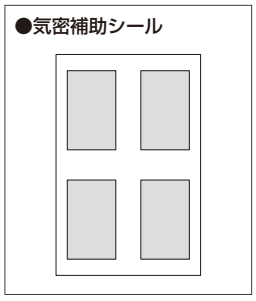
**お願い**

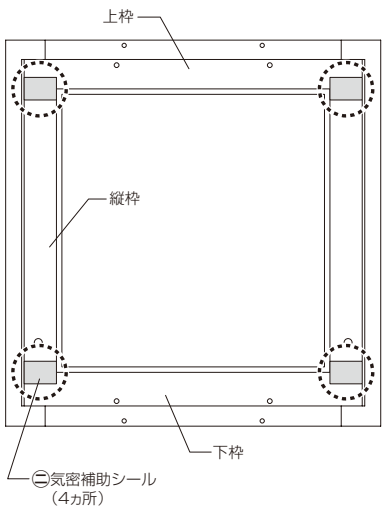
※気密部品セットはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
※気密補助シールは両面シールになっていますので、躯体取付け側のリケイ紙ははがさないでください。

**⚠ 注 意**

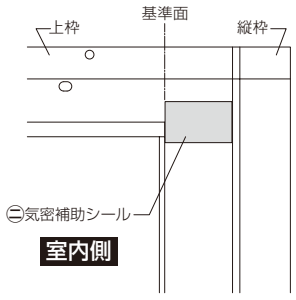
●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付側の2ヵ所）には気密補助シールは使用せずに浴室防水部品セット（別売り）を取付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。

●縦枠と上枠（下枠）の接合部分（室内側4ヵ所）に張付けてください。
①張付け側のリケイ紙をはがします。
②基準面を合わせて張付けます。

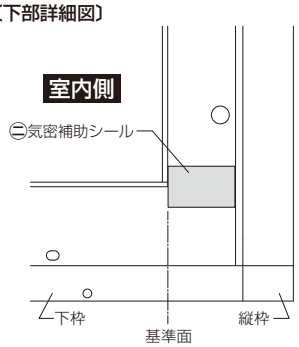



〔上部詳細図〕

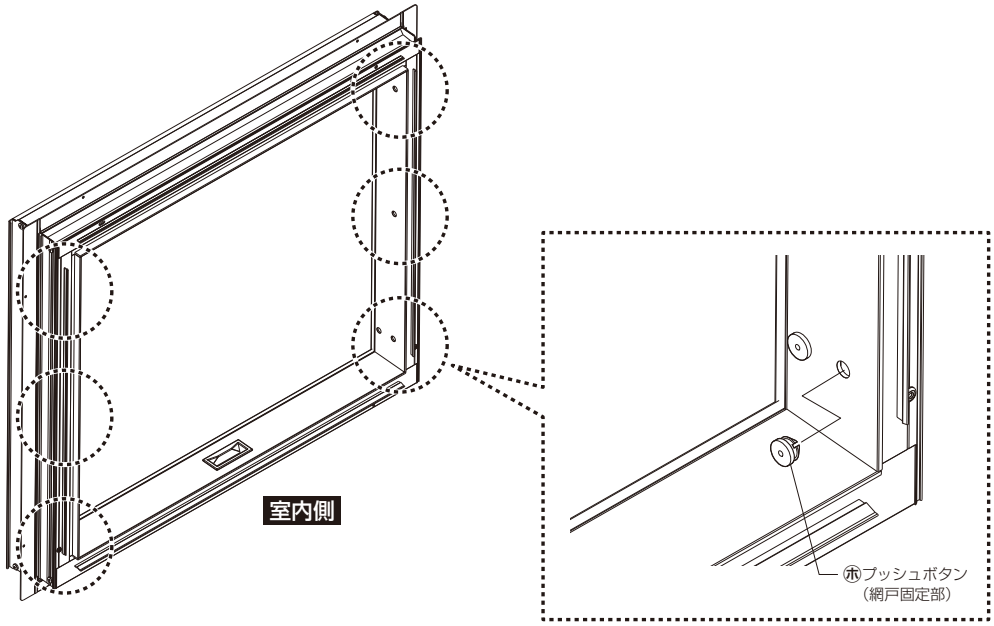



〔下部詳細図〕



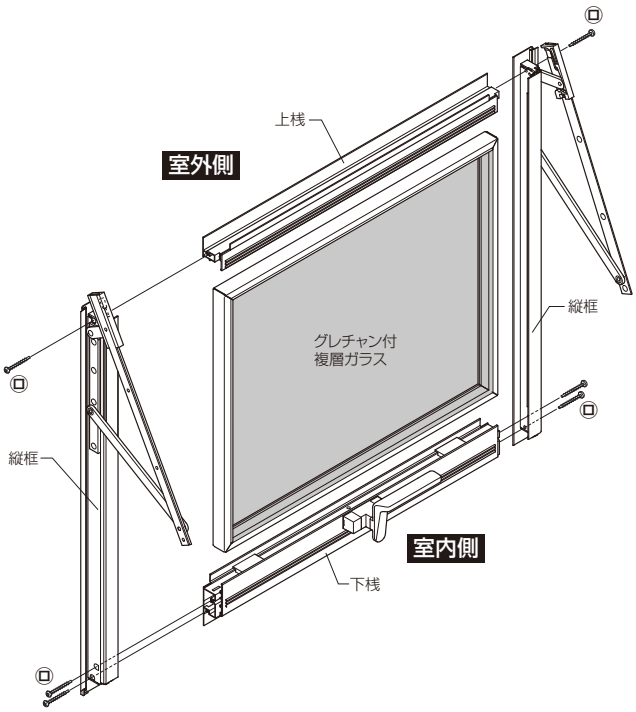
## 3 プッシュボタンの取付け

●左右縦枠の室内側の網戸固定部の穴にプッシュボタンを取付けてください。




## 4 障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

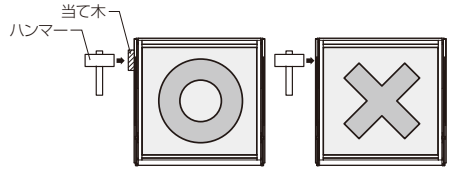



**⚠ 警 告**

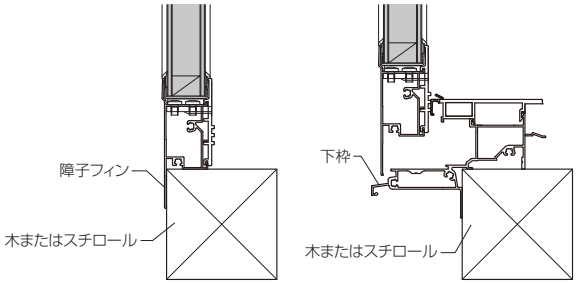
●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。




※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。また、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



## 5 障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。

①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。

**※一番上のねじは枠を立てて固定してください。**

※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いて（**=ストッパー解除状態**）ねじ止めしてください。

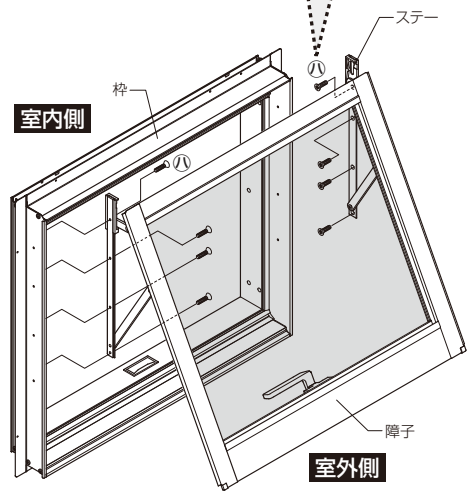
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。

※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

※逆の手順で障子を取外せます。

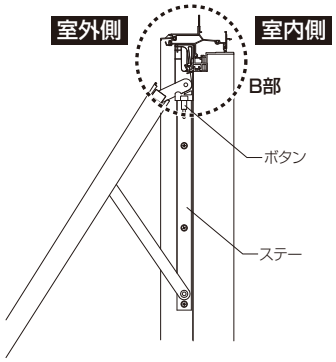
**⚠警　告**

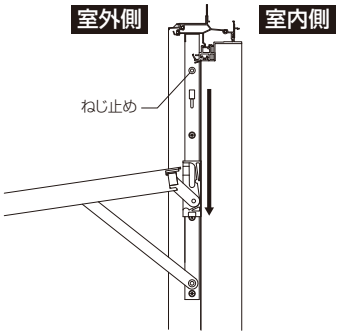
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。障子が落下するおそれがあります。




**ポイント**

※一番上のねじは枠を立てて固定してください。

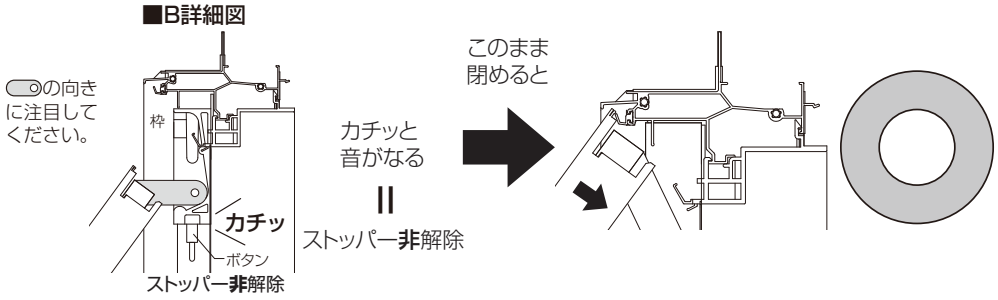


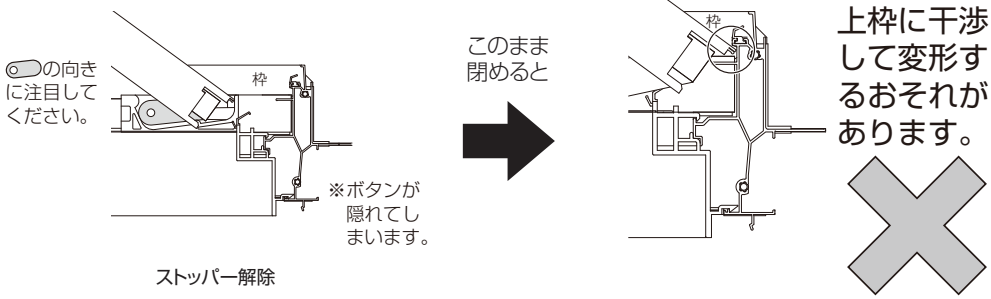

**お願い**

障子を閉める際、いったんB部のボタンがストッパー**非**解除状態の状態になったことを確認してください。
ストッパー解除のまま閉めますと障子上部が上枠に干渉して変形するおそれがあります。

枠を立てて一番上のねじを固定してください。




枠を横にして一番上のねじを固定しないでください。



# 横すべり出し窓（カムラッチ）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
- 必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
- 指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
- 開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- 浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。また、指定個所には必ずシーリング処理を実施してください。

## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

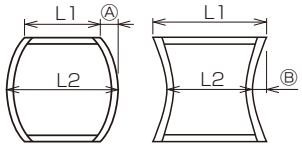
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

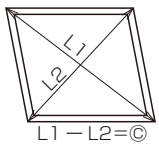
**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

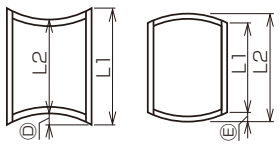
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 2 |

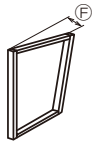
**■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

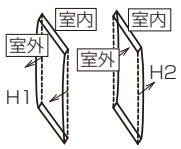
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外のソリ**



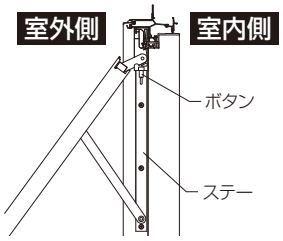

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

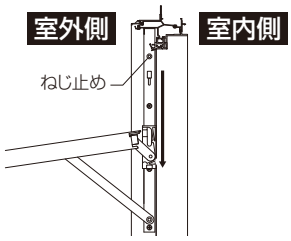
## ■部品・ねじ一覧表

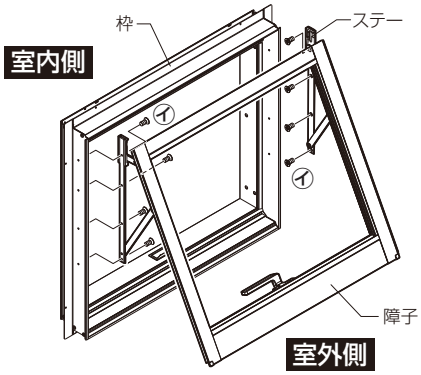
| 記 号 | ㋑ | ㋺ |
|---|---|---|
| 姿 図 | | |
| | 皿タッピンねじ M4×8 | スクリュー釘 φ2.1×32 |
| 使用部位 | ステー | 枠 |

## ■障子取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。



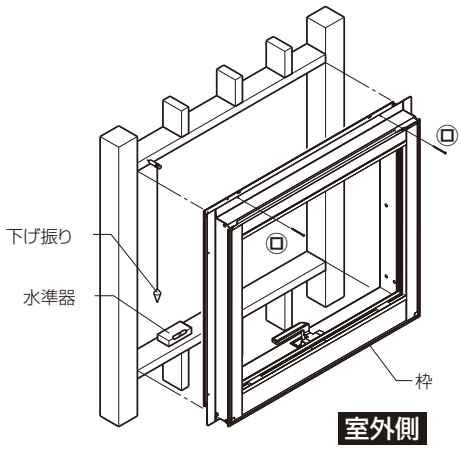




## ■枠取付け順序

### 1枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

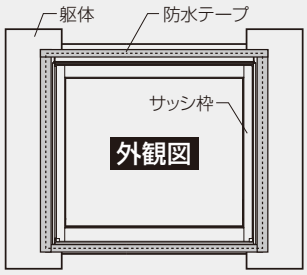


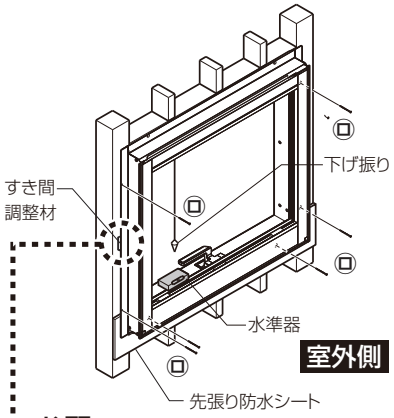

### 2枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

**⚠注 意**

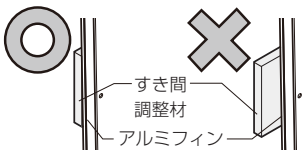
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




**お願い**

※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

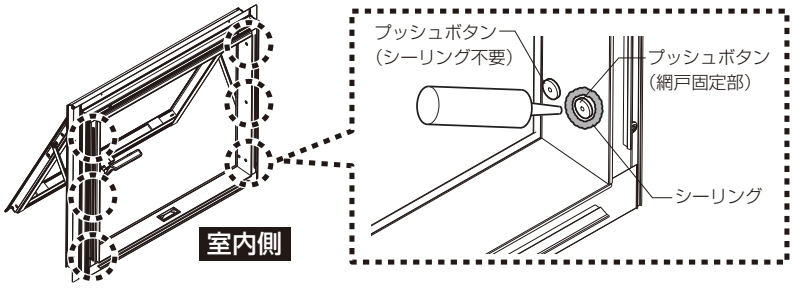
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

## ■浴室ご使用の場合

**⚠注 意**

●必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。
●指定個所には必ずシーリング処理を実施してください。

※網戸を取付けない場合は、室内側の網戸固定部のプッシュボタンの周りに、シーリング処理を行ってください。



# 横すべり出し窓(グレモン)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 警 告

●本製品で使用するグレチャン付ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ⚠ 注 意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立てねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

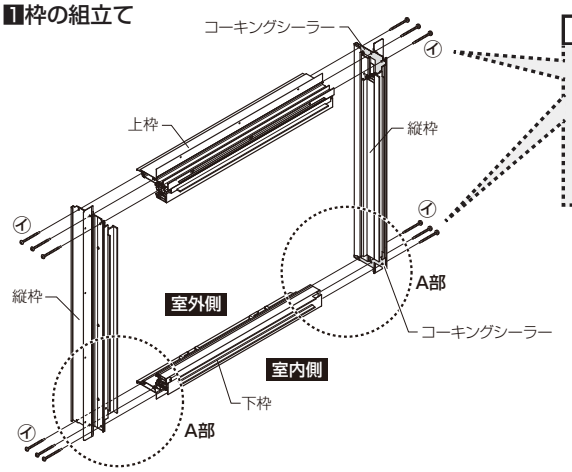
## ■部品・ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ |
|---|---|---|
| 姿図 | バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 |

| 記号 | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|
| 姿図 | ナベタッピンねじ(1種) φ4×20 | 皿小ねじ M4×8 |
| 使用部位 | 障子 | ステー |

## ■組立て順序

**❶枠の組立て**



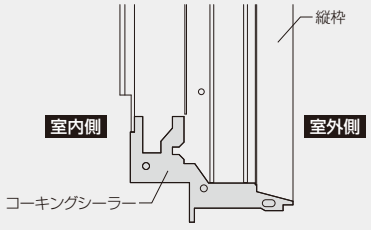

**⚠注 意**

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注 意**

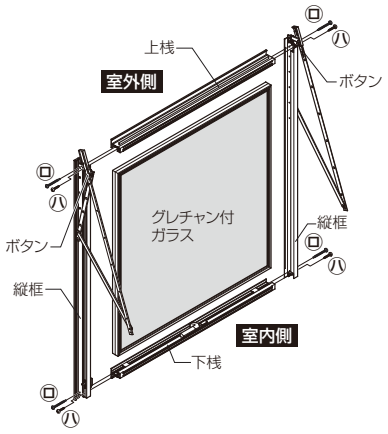
●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

**■A部詳細図**



## 2障子の組立て

①グレチャン付ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※上部の組立て穴はステーの内側にありますので、ステーを全開にして組立てを行ってください。
それでもとめにくい場合は、ステーの白いボタンを押してさらにステーを開いてください。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

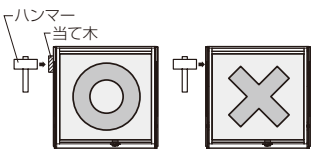



**⚠警 告**

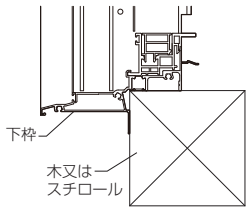
- ●必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

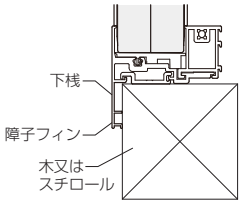
**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。




※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。




## 3障子の取付け

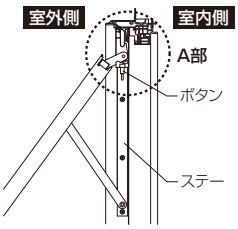
※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。

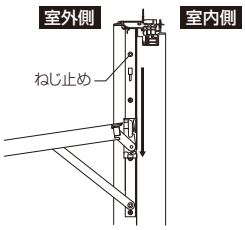
**※一番上のねじは枠を立てて固定してください。**

※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いて(**=ストッパー解除状態**)ねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㊀はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。

**ポイント**

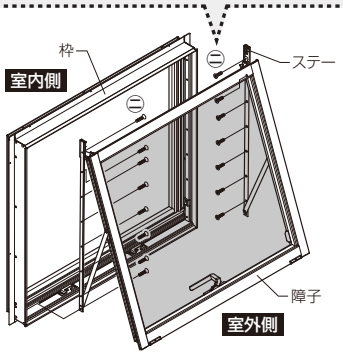
※一番上のねじは枠を立てて固定してください。




**⚠警 告**

- ●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



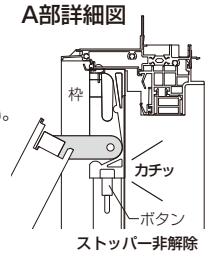

**お願い**

障子を閉める際、いったんA部のボタンがストッパー非解除状態の状態になったことを確認してください。
ストッパー解除のまま閉めますと障子上部が上枠に干渉して変形するおそれがあります。

**枠を立てて一番上のねじを固定してください。**

㊀の向きに注目してください。

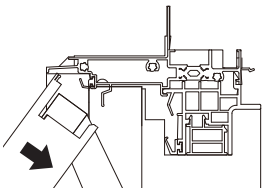
A部詳細図

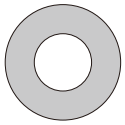



ストッパー非解除

カチッと音がなる
＝
ストッパー非解除

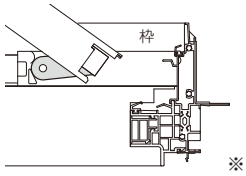
このまま閉めると





**枠を横にして一番上のねじを固定しないでください。**

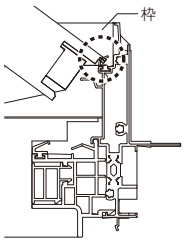
㊀の向きに注目してください。




ストッパー解除

※ボタンが隠れてしまいます。

このまま閉めると




**障子上部が上枠に干渉して変形するおそれがあります。**

# 横すべり出し窓（グレモン）

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警告

●本製品で使用するグレチャン付ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ⚠注意

●ガラスは必ず指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立てねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室用防水部品セット（別売り）をご使用ください。

**お願い**
※ガラス建込み時に室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

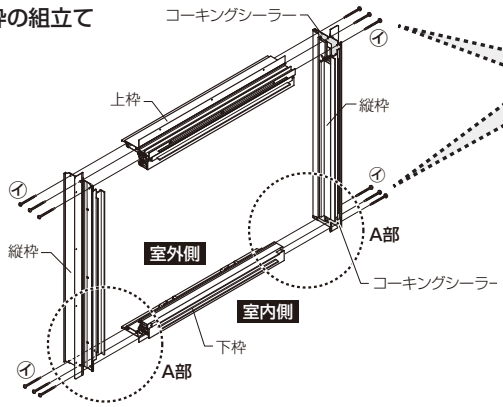
## ■部品・ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ |
|---|---|---|
| 姿図 | バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 |

| 記号 | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|
| 姿図 | ナベタッピンねじ(1種) φ4×20 | 皿小ねじ M4×8 |
| 使用部位 | 障子 | ステー |

## ■組立て順序

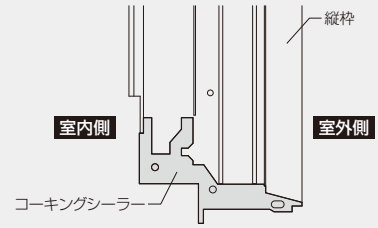
**❶枠の組立て**




**⚠注意**
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

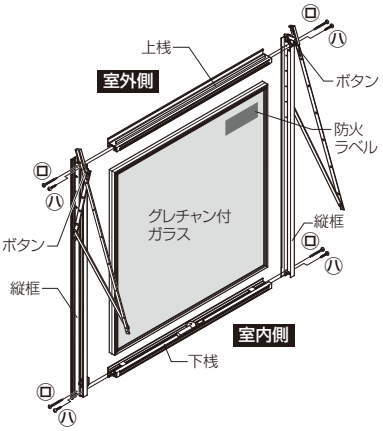
**⚠注意**
●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

**■A部詳細図**



## 2障子の組立て

①グレチャン付ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②防火ラベルが室内側の右上にくるように配置してください。
③ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
④縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※障子組立てねじは2種類あります。先のとがったねじ㋑は室内側に使用してください。




**⚠警 告**

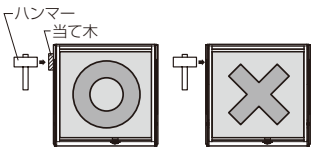
- ●必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**⚠注 意**

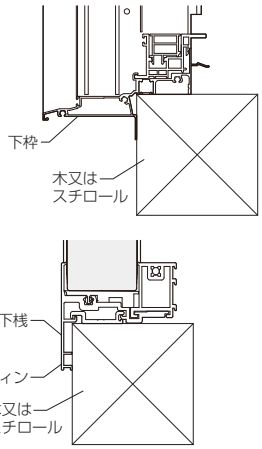
- ●ガラスは必ず指定のものを使用してください。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。




※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。また、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。




## 3障子の取付け

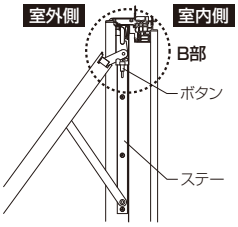
障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。

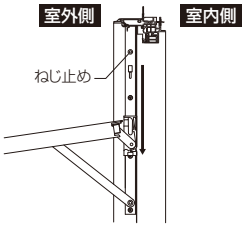
※一番上のねじは枠を立てて固定してください。

※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いて（**=ストッパー解除状態**）ねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㋒はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。

**ポイント**

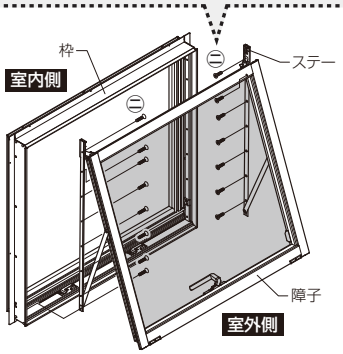
※一番上のねじは枠を立てて固定してください。




**⚠警 告**

- ●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



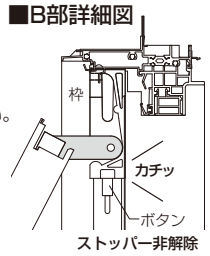

**お願い**

※障子を閉める際、いったんB部のボタンがストッパー非解除状態の状態になったことを確認してください。
ストッパー解除のまま閉めますと障子上部が上枠に干渉して変形するおそれがあります。

**枠を立てて一番上のねじを固定してください。**

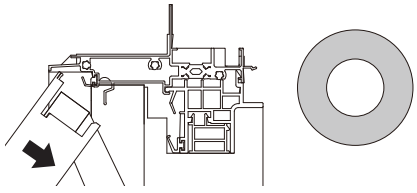
㋒の向きに注目してください。

■B部詳細図



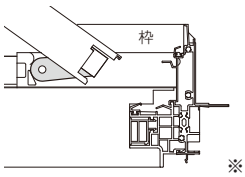

カチッと音がなる
＝
ストッパー非解除

このまま閉めると

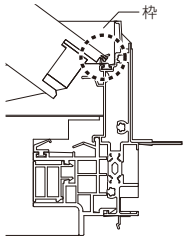


**枠を横にして一番上のねじを固定しないでください。**

㋒の向きに注目してください。




このまま閉めると




※ボタンが隠れてしまいます。

**障子上部が上枠に干渉して変形するおそれがあります。**

# 横すべり出し窓(グレモン)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●本製品は、製品重量が最大18kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

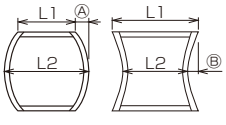
## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ 2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

## ■部品・ねじ一覧表

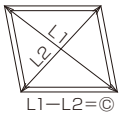
| 記号 | ㋑ | ㋺～㋭ |
|---|---|---|
| 姿図 | 障子取付ねじ（皿小ねじ）M4×8 | 枠取付ねじ（低頭ねじ）φ3.1×32 |
| 使用部位 | ステー | 枠 |

## ■サッシ枠のフクレ・ツヅミ



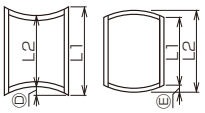

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

## ■サッシ枠対角差



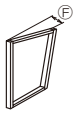

| C |
|---|
| 2 |

## ■サッシ上下枠の内反り・外反り



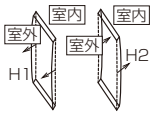

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

## ■サッシ枠のねじれ




| F |
|---|
| 2 |

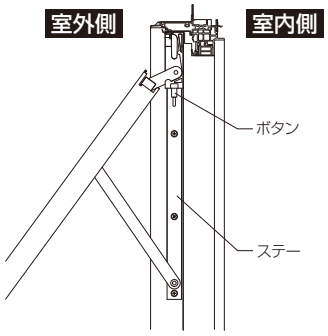
## ■サッシ枠の室内外の反り

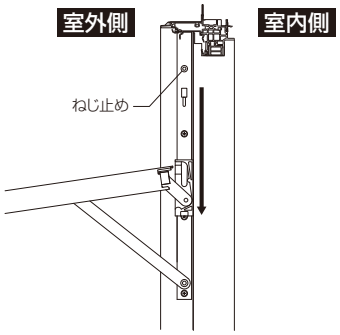


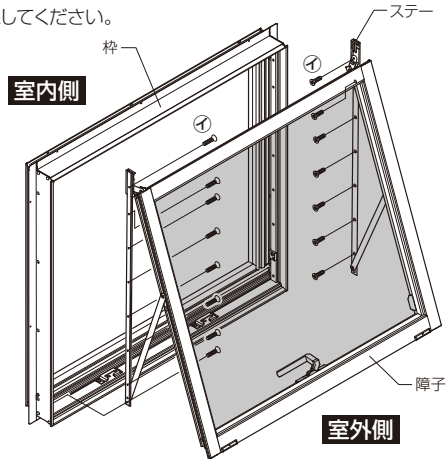

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。



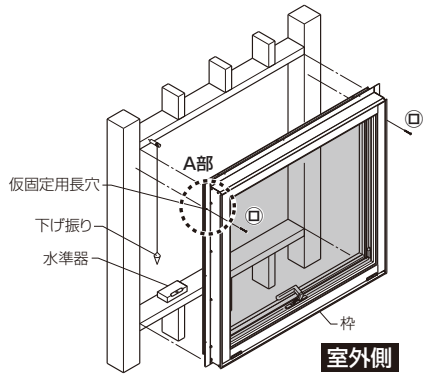



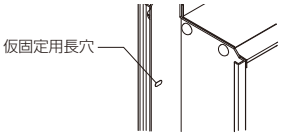
## ■枠取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋺枠取付けねじで枠を仮止めします。




■A部詳細図




### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋑を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋩を固定します。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。
枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**

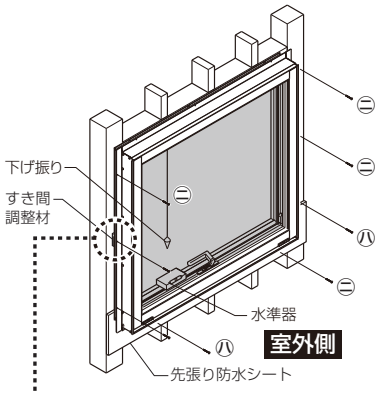
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

**⚠ 注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

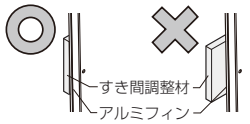
**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



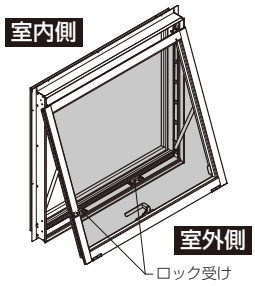

**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




### ■ハンドル操作が重い場合

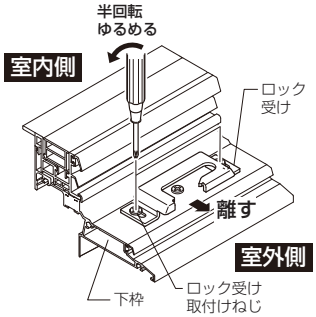
ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



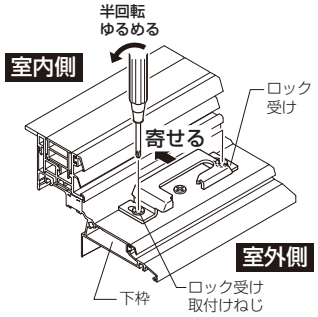

### ●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
※ロック受け取付けねじをゆるめ(半回転)、位置を調整してください。
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[ハンドルの操作が重い場合]




[ハンドルの操作が軽い場合]

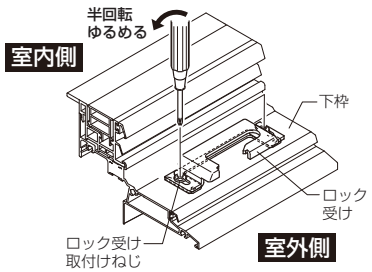


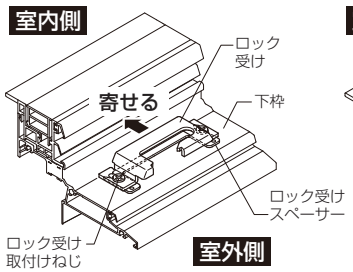

### ●ロック受けスペーサーの調整

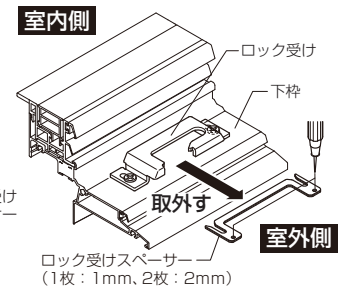
※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。(半回転)
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

②ロック受けを室内側に寄せてから、スペーサーを取外します。
※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが下枠側に寄ります。
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。(ロック受けの調整を参照)



# 横すべり出し窓(グレモン)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 警 告

●ステー取付けねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N {25±5kgf･cm}のトルクで止めた後、ゆるみ･ガタツキのないことを確認してください。

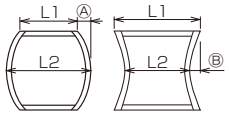
### ⚠ 注 意

●本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

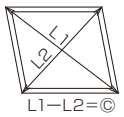
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N･m{15～20kgf･cm} にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ･米松など)の場合は、φ2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**



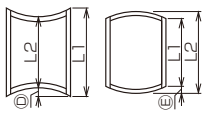

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**



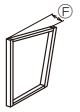

| C |
|---|
| 2 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**



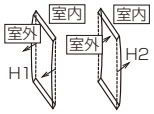

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**



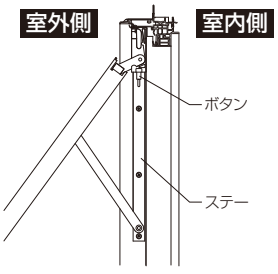

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

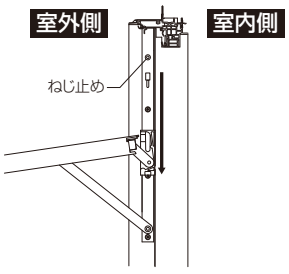
## ■部品・ねじ一覧表

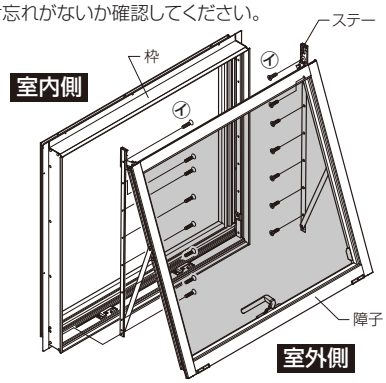
| 記号 | ㋑ | ㋩～㋭ |
|---|---|---|
| 姿図 | | |
| | 障子取付ねじ（皿小ねじ）M4×8 | 枠取付ねじ（低頭ねじ）φ3.1×32 |
| 使用部位 | ステー | 枠 |

## ■障子の取付け

障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。



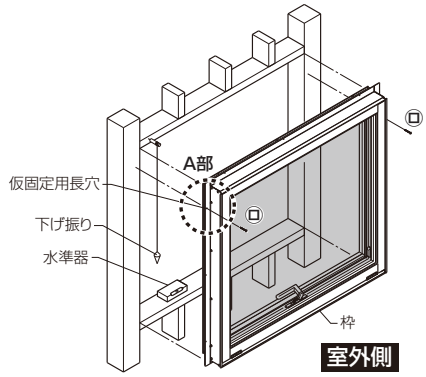

### ⚠ 警 告

●ねじは2.5±0.5N {25±5kgf･cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

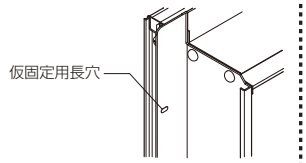
## ■枠取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋺枠取付けねじで枠を仮止めします。




■A部詳細図




### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋑を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋩を固定します。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。
枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**

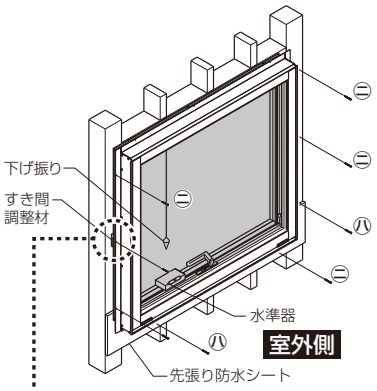
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

**⚠ 注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

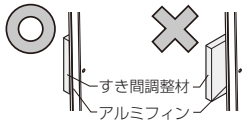
**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



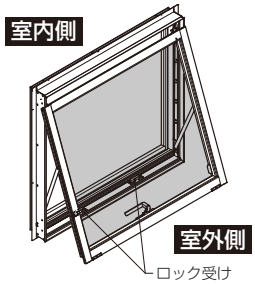

**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




### ■ハンドル操作が重い場合

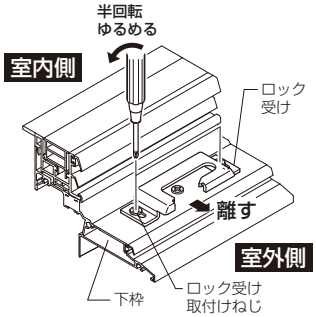
ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。



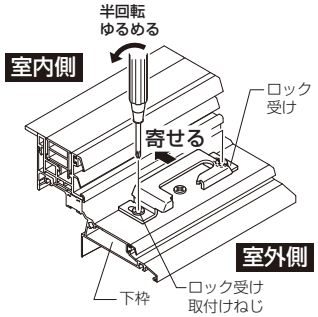

### ●ロック受けの調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
※ロック受け取付けねじをゆるめ(半回転)、位置を調整してください。
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[ハンドルの操作が重い場合]




[ハンドルの操作が軽い場合]

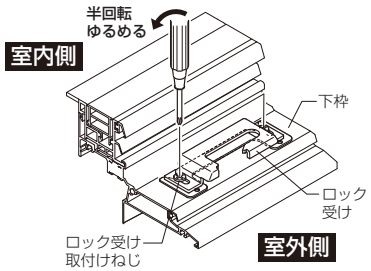


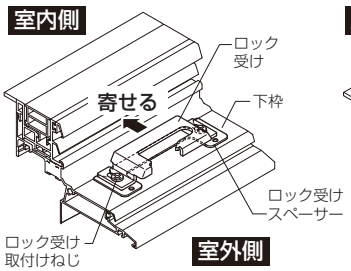

### ●ロック受けスペーサーの調整

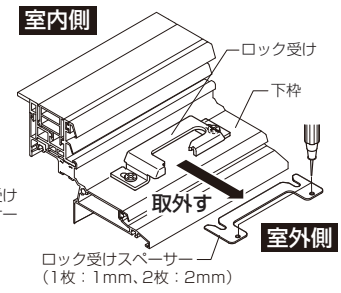
※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
※①～③の作業を全てのロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。(半回転)
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

②ロック受けを室内側に寄せてから、スペーサーを取外します。
※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが下枠側に寄ります。
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。(ロック受けの調整を参照)



# 高所用横すべり出し窓

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警告

●本製品で使用するグレチャン付ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付けねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ⚠注意

●ガラスは必ず指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。(防火戸)
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
・浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分(躯体取付け側の2ヵ所)には気密補助シールを使用せずに浴室用防水部品セット(別売り)を取付けてください。

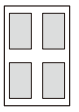
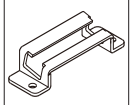
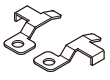
**お願い(防火戸の場合)**
※ガラス建込み時に室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
※防火戸に連窓方立、段窓無目は使用できません。
※電動ユニットの場合、浴室には取付けできません。

## ■部品・ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | | | |
| | バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 | ナベタッピンねじ(1種) φ4×20 | 皿小ねじ M4×8 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | 障子 | ステー |

| 記号 | ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋠ |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  | |  |
| | 気密補助シール | 下桟金具 | バインド小ねじ M4×8 | 障子組立金具 ※防火戸のみ |
| 使用部位 | 枠 | 下桟 | 下桟金具 | 縦框 |

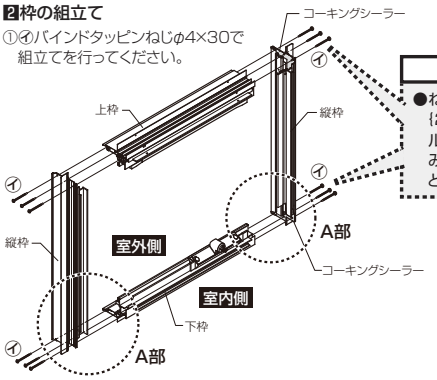
## ■組立て順序

**❶オペレーターの取付け**

下枠にオペレーターを取付けてください。
※取付方法は、別売りのオペレーターセットの説明書に従ってください。

**❷枠の組立て**

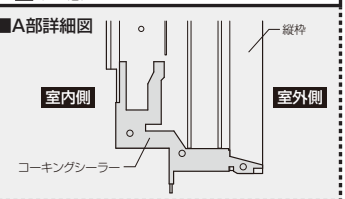
①㋑バインドタッピンねじφ4×30で組立てを行ってください。




**⚠注意**
●ねじは2.5±0.5N·m {25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注意**
●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図



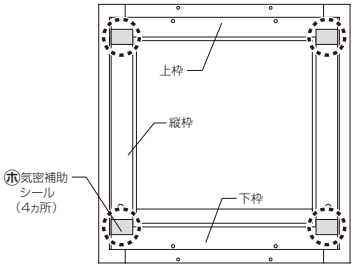

**❸気密補助シールの取付け**

※一部品種・機種には、気密補助シールが無い場合があります。

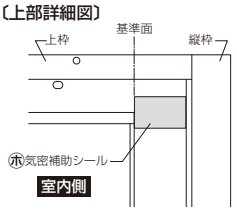
**お願い**
※気密補助シールはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
※気密補助シールは両面シールになっていますので、躯体取付け側のリケイ紙ははがさないでください。

●縦枠と上枠(下枠)の接合部分(室内側4ヵ所)に張付けてください。
①張付け側のリケイ紙をはがします。
②基準面を合わせて張付けます。

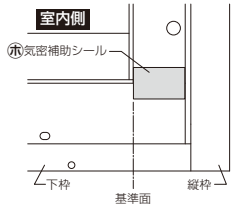
**⚠注意**
●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分(躯体取付側の2ヵ所)には気密補助シールを使用せずに浴室防水部品セット(別売り)を取付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。




〔上部詳細図〕

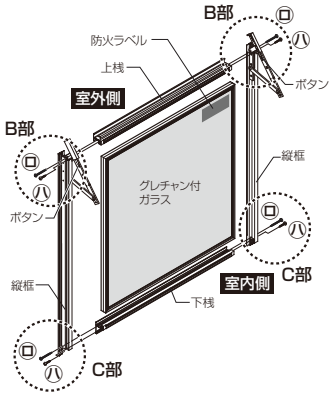


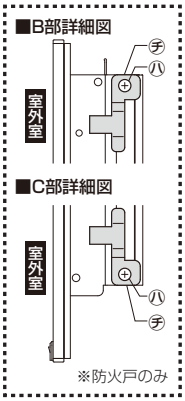

〔下部詳細図〕



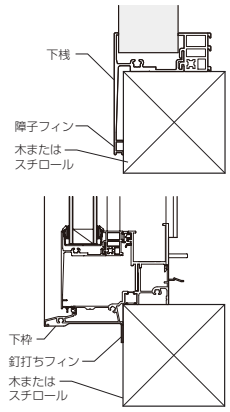
## 4障子の組立て

①グレチャン付ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②防火戸は、防火ラベルが室内側の右上にくるように配置してください。
③ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
④縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※障子組立てねじは2種類あります。先のとがったねじ㋑は室内側に使用してください。
※上部の組立て穴はステーの内側にありますので、ステーを全開にして組立てを行ってください。
それでも止めにくい場合は、ステーの白いボタンを押してさらにステーを開いてください。
※ねじは2.5±0.5N・m｛25±5kgf・cm｝のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。




※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。また、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。



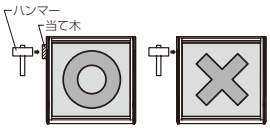

**⚠ 警 告**

- ●必ず指定のグレチャン付ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

⑤防火戸は、㋒障子組立金具を室内側㋑なべタッピンねじ（1種）φ4×20に通して組み立ててください。㋒障子組立金具には左右勝手があります。**B部、C部詳細図**の通りにしてください。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。




## 5障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。

### ※一番上のねじは枠を立てて固定してください。

※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いて（**=ストッパー解除状態**）ねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㋩はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。

**⚠ 注 意**

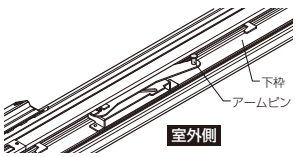
- ●ねじは2.5±0.5N・m｛25±5kgf・cm｝のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

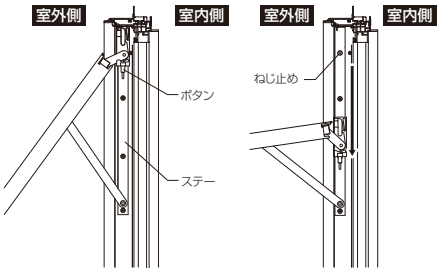
**ポイント**

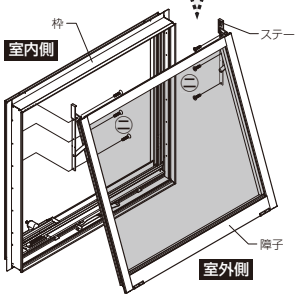
※一番上のねじは枠を立てて固定してください。

**ポイント**

※下枠のアームのピンで下桟に傷をつけないようにしてください。

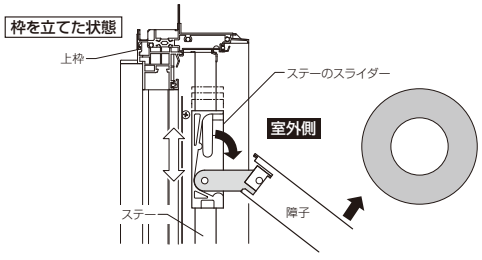


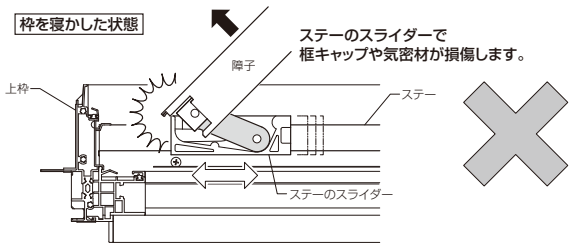




**お願い**

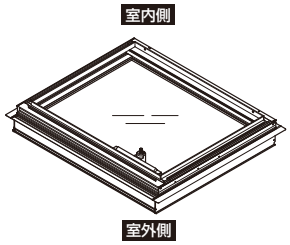
ストッパー解除は枠を立てた状態で行ってください。
寝かした状態で障子の開閉を行うと、気密材や框キャップが損傷します。

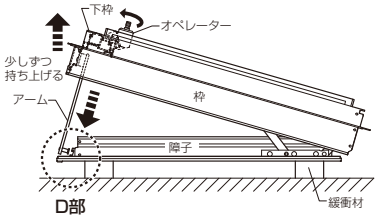


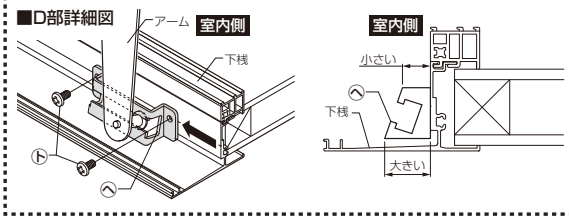




## 6下枠と下桟の連結

①障子を下にして製品を寝かせてください。　②オペレーターを回しながら、下枠を少しずつ持ち上げてください。アームが開いてきます。
③アームを全開にして㋓下桟金具をアームピンに横から挿入して、㋭バインド小ねじM4×8で固定してください。




**ポイント**

※下桟金具の取付け向きは、**D部詳細図**の通りにしてください。逆向きは開閉不良の原因になります。

※ねじは2.5±0.5N・m｛25±5kgf・cm｝のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
④オペレーターを逆に回して障子を閉じてください。障子の全開は、製品を立てて行ってください。

# 高所用横すべり出し窓

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

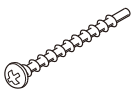
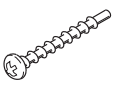
### ⚠注 意

●本製品は、障子組立て後の最大幅は約1700mmになります。障子の取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

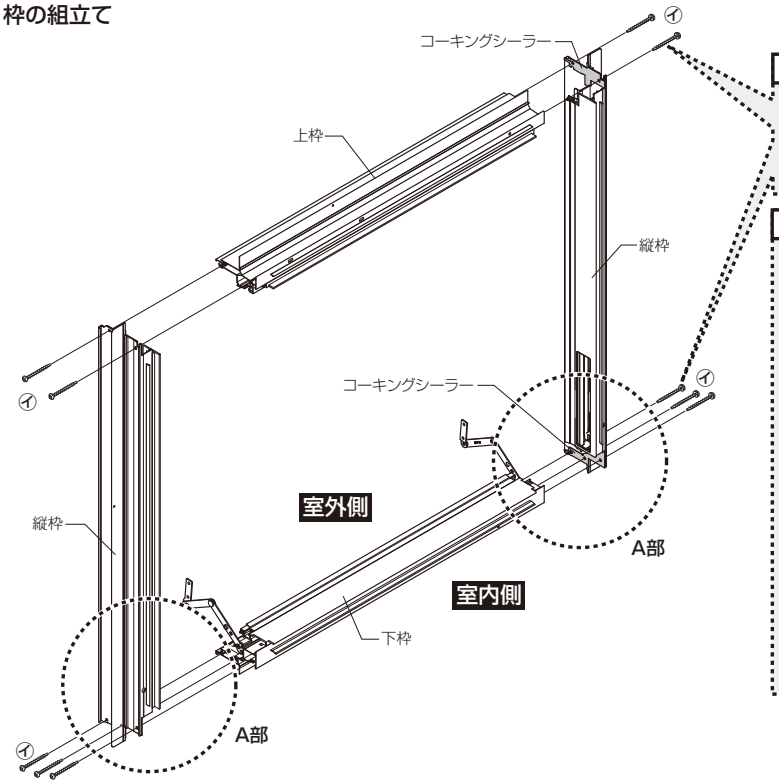
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書と障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
●オペレーターは枠の組立て後、すぐに取付けしてください。

## ■部品・ねじ一覧表

| 記 号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿 図 |  バインドタッピンねじ φ4×30 |  ナベタッピンねじ φ4×25 | 皿小ねじM4×8 | 平小ねじM4×6 | トラス小ねじM4×6 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | ステー | 障子 | 枠 |

## ■組立て順序

### 1 枠の組立て



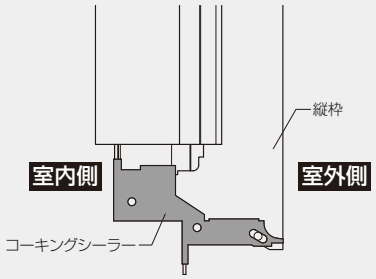

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図

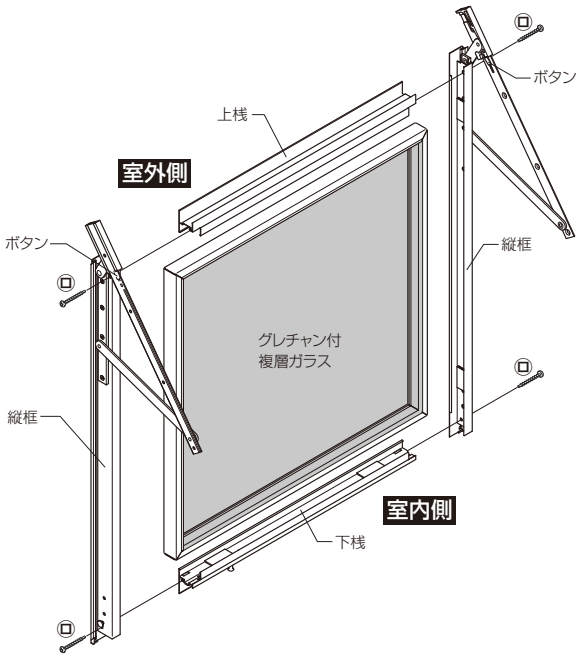



### 2 オペレーターの取付け

●部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。

### 3 障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※上部の組立て穴はステーの内側にありますので、ステーを全開にして組立てを行ってください。それでもとめにくい場合は、ステーの白いボタンを押してさらにステーを開いてください。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

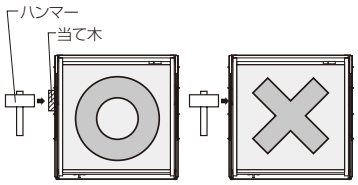



**⚠ 警 告**

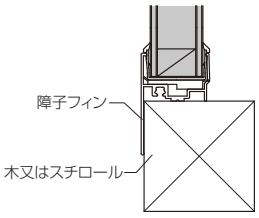
●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

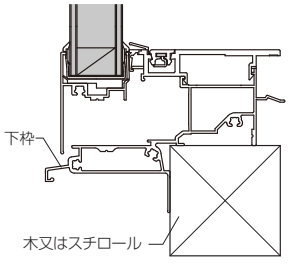
**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。



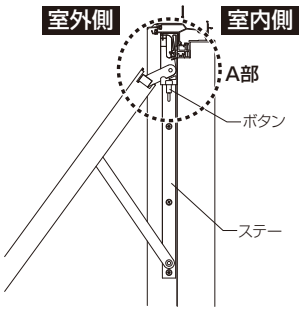

※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。

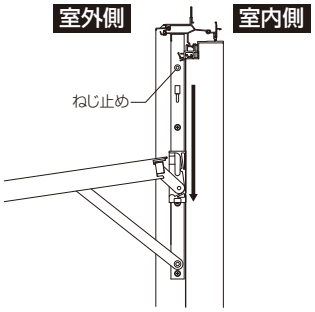


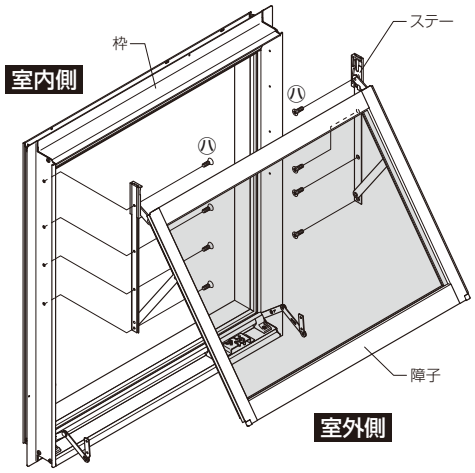



## 4 障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上のねじは枠を立てて固定してください。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いて（**=ストッパー解除状態**）ねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。



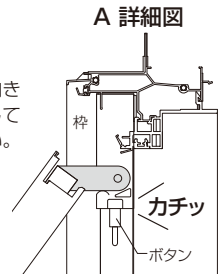




**お願い**

**障子を閉める際、いったんA部のボタンがストッパー非解除状態の状態になったことを確認してください。**
**ストッパー解除のまま閉めますと障子上部が上枠に干渉して変形するおそれがあります。**

枠を立てて一番上のねじを固定してください。

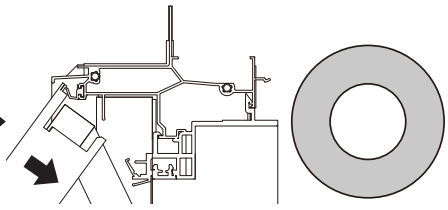
の向きに注目してください。




ストッパー非解除

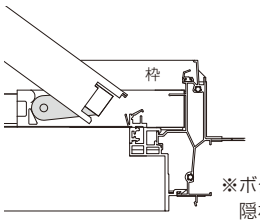
カチッと音がなる
＝
ストッパー非解除

このまま閉めると



枠を横にして一番上のねじを固定しないでください。

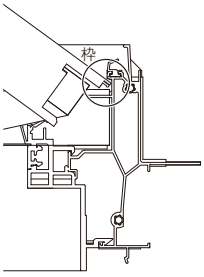
の向きに注目してください。




※ボタンが隠れてしまいます。

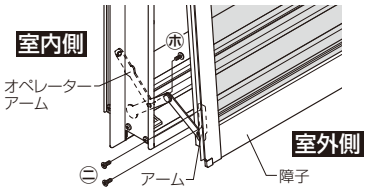
ストッパー解除

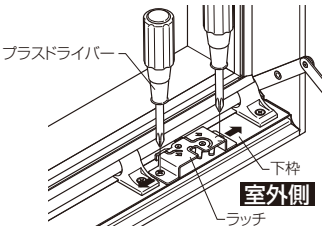
このまま閉めると

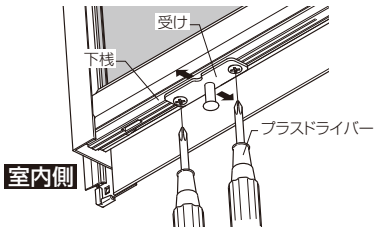



障子上部が上枠に干渉して変形するおそれがあります。

②アームと障子及びアームとオペレーターアームをねじ止めします。
③滑車、ハンドルを取付けてください。
※部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。
④ラッチと受けの調整を行ってください。
※オペレーターを操作して障子を開閉し、ラッチと受けがかからない場合は位置を調整します。
※ねじをゆるめて、ラッチと受けの位置を調整してください。



# 高所用横すべり出し窓

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。
●ステー取付ねじは障子の落下防止の為下記事項をお守り下さい。
・ステー取付ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認して下さい。

### ⚠注 意

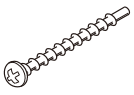
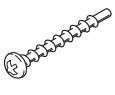
●本製品は、障子組立て後の最大幅は約1700mmになります。障子の取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・枠組立ねじは2.5±0.5·Nm{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**お願い**
●防火戸FGの障子は組立て時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

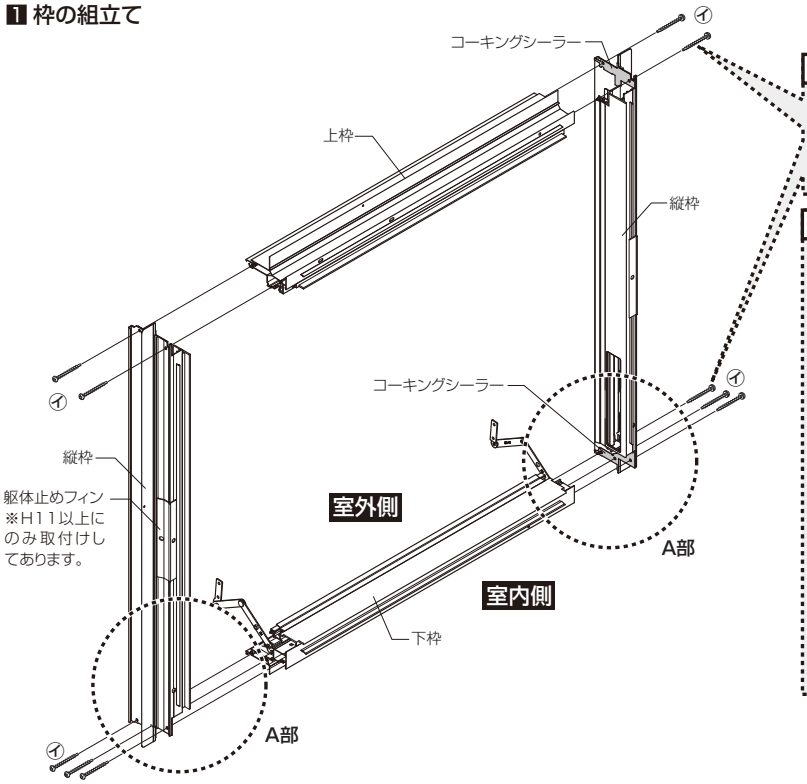
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書、取付けねじセットおよびコーナー気密部品セットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書と障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
●オペレーターは枠の組立て後、すぐに取付けしてください。

## ■部品・ねじ一覧表

| 記 号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿 図 |  バインドタッピンねじ φ4×30 |  ナベタッピンねじ φ4×25 | 皿小ねじM4×8 | 平小ねじM4×6 | トラス小ねじM4×6 |
| 使用部位 | 枠 | 障子 | ステー | 障子 | 枠 |

## ■組立て順序

### 1 枠の組立て



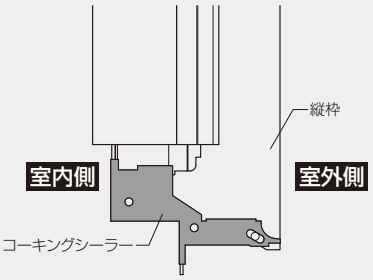

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図

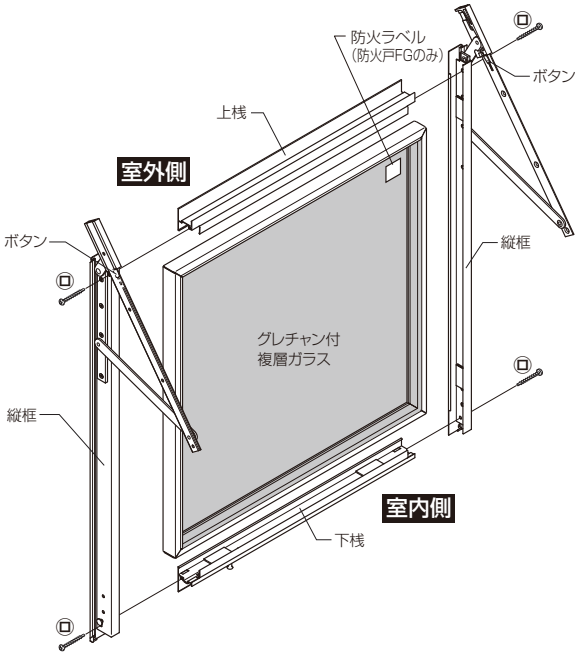



### 2 オペレーターの取付け

●部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。

### 3障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
※防火戸FGのガラスは、室内側から見て防火ラベルが右上にくるよう配置して下さい。
③縦框と上下桟を差込み、ねじで固定します。
※上部の組立て穴はステーの内側にありますので、ステーを全開にして組立てを行ってください。それでもとめにくい場合は、ステーの白いボタンを押してさらにステーを開いてください。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

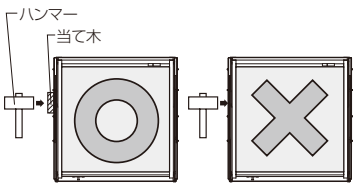



**⚠ 警 告**

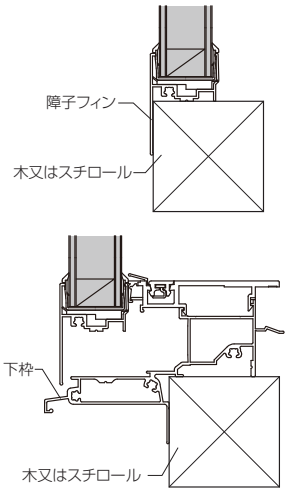
●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**お願い**

※組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。




※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。

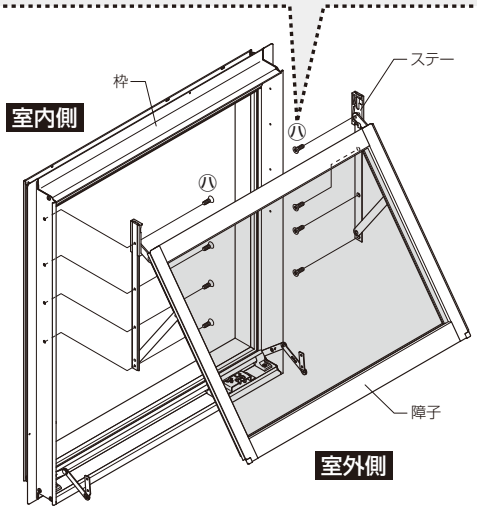


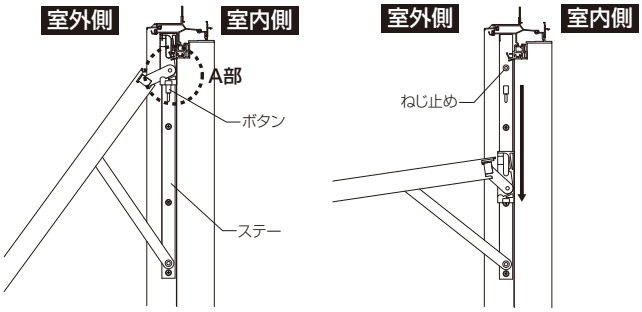
## 4 障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
※障子を閉じる際は、一旦A部の状態にして、ボタンが元の状態になったことを確認してください。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。

**⚠ 警 告**

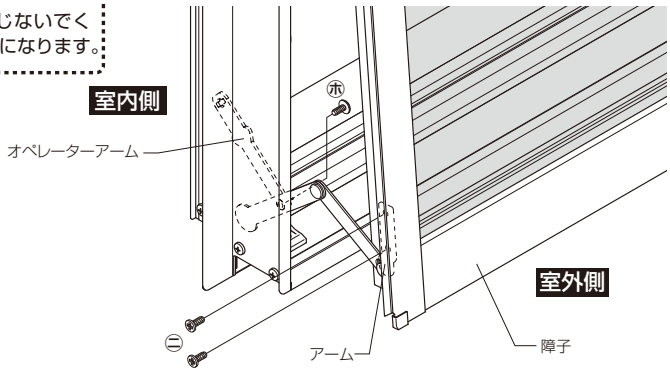
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認して下さい。



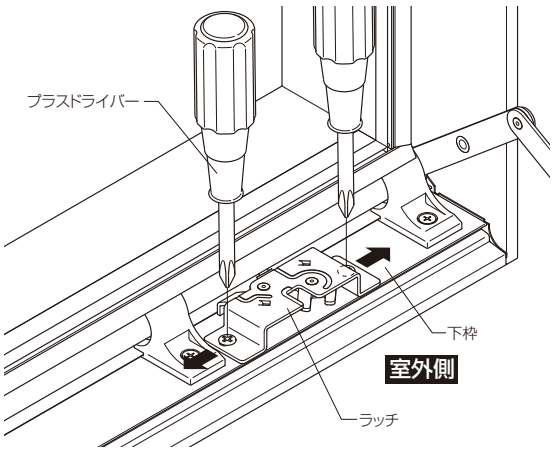



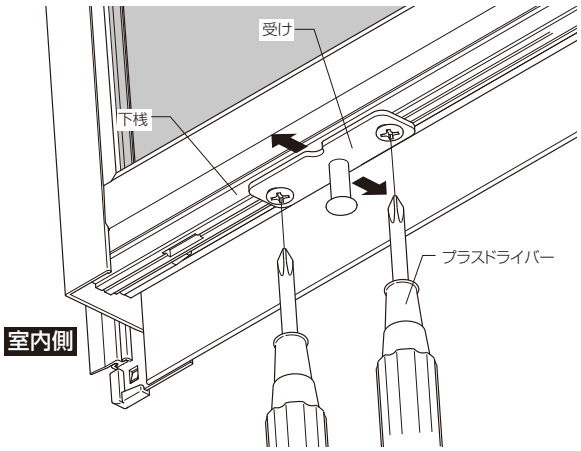

②アームと障子及びアームとオペレーターアームをねじ止めします。

**お願い**
※②の作業完了前に障子を閉じないでください。障子が開かない状態になります。




③滑車、ハンドルを取付けてください。
※部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。
④ラッチと受けの調整を行ってください。
※オペレーターを操作して障子を開閉し、ラッチと受けがかからない場合は位置を調整します。
※ねじをゆるめて、ラッチと受けの位置を調整してください。



# 高所用横すべり出し窓

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警告**

●ステー取付けねじは障子の落下防止のため下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

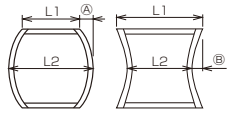
**⚠注意**

●本製品は、製品重量が最大25kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

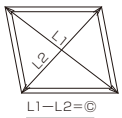
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m{15～20kgf・cm} にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ・米松など）の場合は、φ2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立、段窓無目の説明書をご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
※防火戸に連窓方立、段窓無目は使用できません。
※電動ユニットの場合、浴室には取付けできません。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**



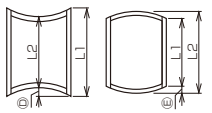

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**



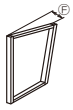

| C |
|---|
| 2 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**



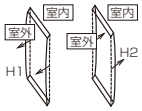

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**



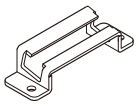
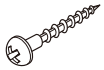

| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**



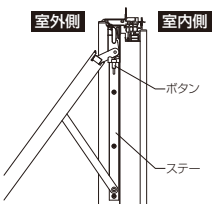

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

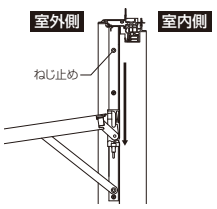
## ■部品・ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺～㋩ | ㋭ | ㋬ | ㋣ |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | |  | |  |
| | 障子取付けねじ（皿小ねじ）M4×8 | 枠取付けねじ（低頭ねじ）φ3.1×25 | 下桟金具 | 下桟金具取付けねじ（バインド小ねじ）M4×8 | 枠取付け丸木ねじ　φ3.5×25 ※790≦Hのみ |
| 使用部位 | ステー | 枠 | 下桟 | 下桟金具 | 縦枠 |

## ■障子の取付け

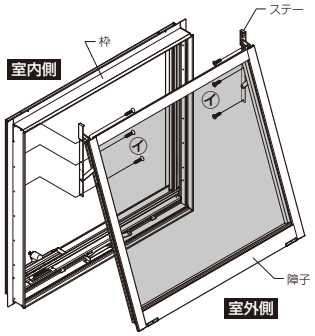
障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。



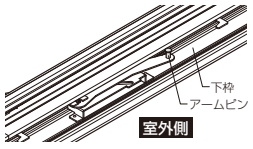

**⚠警告**

●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



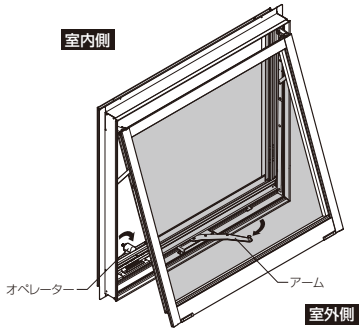

**ポイント**

※下枠のアームのピンで下桟に傷をつけないようにしてください。

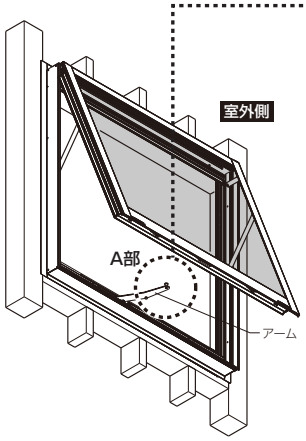


## ■下枠と下桟の連結

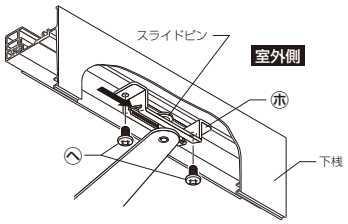
①オペレーターを回して、アームを全開にしてください。




②㊂下桟金具を横からスライドピンに挿入して㋭バインド小ねじM4×8で固定してください。




■A部詳細図

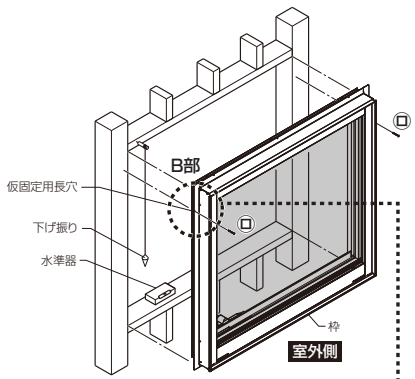



※ねじは2.5±0.5N・m｛25±5kgf・cm｝のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

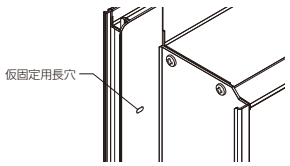
## ■枠取付け順序

**❶枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋺枠取付けねじで枠を仮止めします。




■B部詳細図




**❷枠の調整と固定**

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋑を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋩を固定します。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。
枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**

※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

**⚠ 注 意**

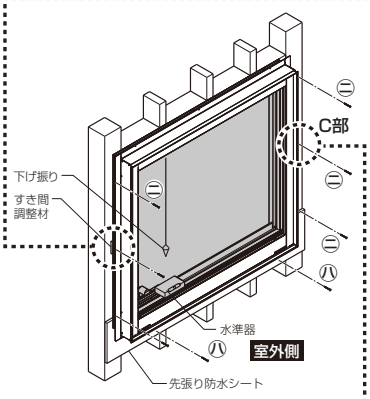
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



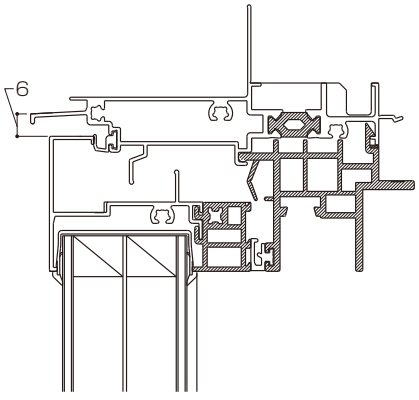

■C部詳細図(790≦Hのみ)

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

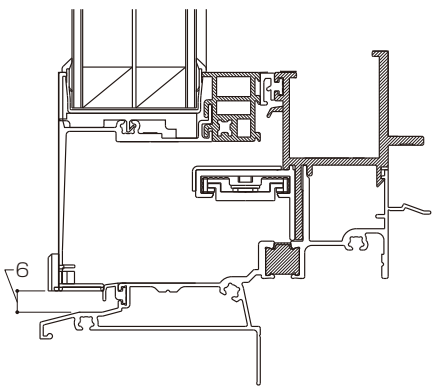
## ■施工状態の確認

枠と障子のチリ(すき間)寸法が正しく施工されているか確認してください。

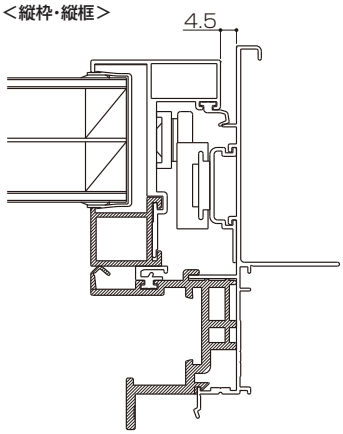
**＜上枠・上桟＞**




**＜下枠・下桟＞**




**＜縦枠・縦框＞**



# 高所用横すべり出し窓

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●ステー取付けねじは障子の落下防止の為下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N{25±5kgf･m}のトルクで止めた後、ゆるみ･ガタツキのないことを確認してください。

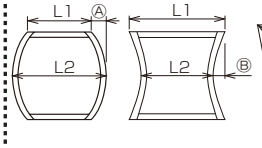
### ⚠注 意

●本製品は、製品重量が最大22kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平･垂直を正確に出して取付けてください。

## ■取付け上のお願い

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

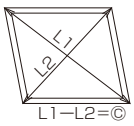
**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

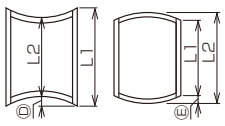
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 2 |

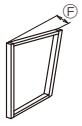
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

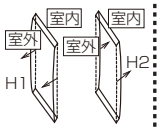
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

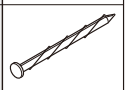
## ■部品･ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ |
|---|---|
| 姿図 | 皿小ねじM4×8 |
| 使用部位 | ステー |

| 記号 | ㋺ |
|---|---|
| 姿図 | 平小ねじM4×6 |
| 使用部位 | 障子 |

| 記号 | ㋩ |
|---|---|
| 姿図 | トラス小ねじM4×6 |
| 使用部位 | 枠 |

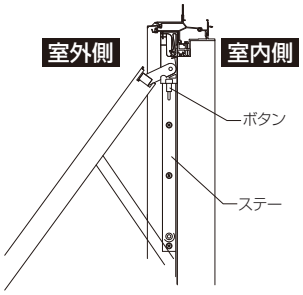
| 記号 | ㋥ |
|---|---|
| 姿図 | 丸木ねじφ3.5×25 |

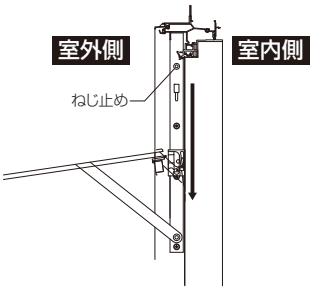
| 記号 | ㋭ |
|---|---|
| 姿図 |  スクリュー釘 φ2.1×32 |
| 使用部位 | 枠 |

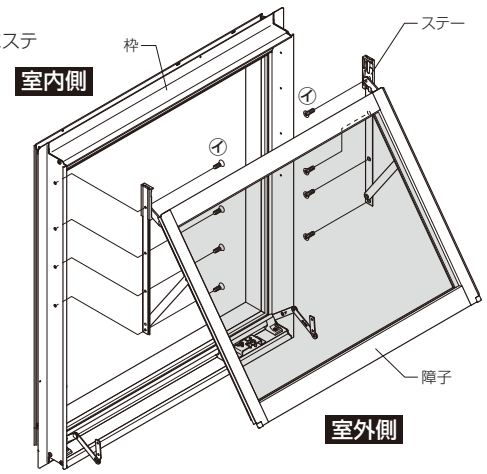
| 記号 | ㋬ |
|---|---|
| 姿図 | ※W1186以上の場合のみ取付け アングル コーナーピース |
| アングルコーナーピースセット | |

## ■障子･ハンドル取付け

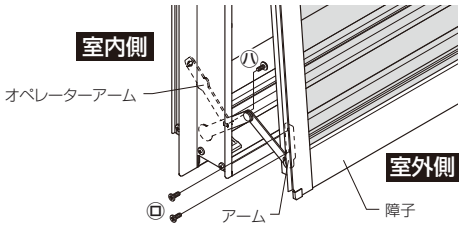
※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
①障子に付いているステーをいっぱいに開き、枠にねじで固定します。
※一番上の取付け穴はステーの内側にありますので、片側ずつ白いボタンを押して、さらにステーを開いてねじ止めしてください。
※障子取付けねじ㋑はサイズにより個数が異なります。
※障子の取付けねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。
※逆の手順で障子を取外せます。



②アームと障子及びアームとオペレーターアームをねじ止めします。

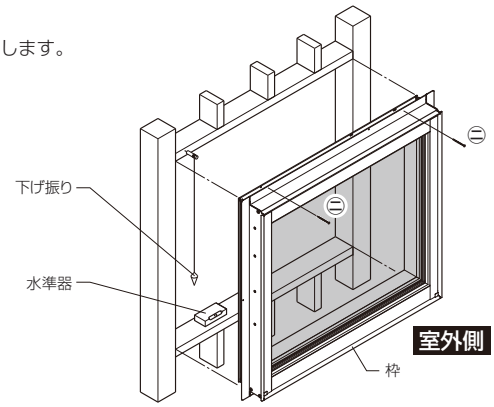



③滑車、ハンドルを取付けてください。
※部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。

## ■枠取付け順序

### 1 枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



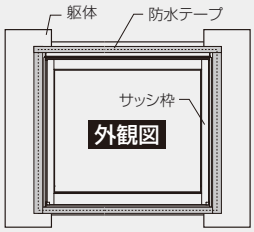

### 2 枠の調整と固定

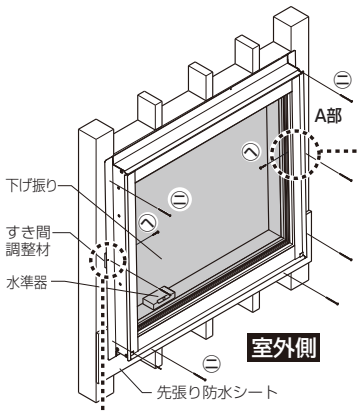
●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

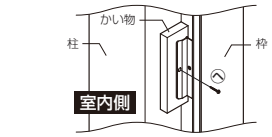
**⚠注 意**
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**⚠注 意**
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



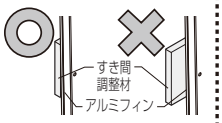




■A部詳細図




※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

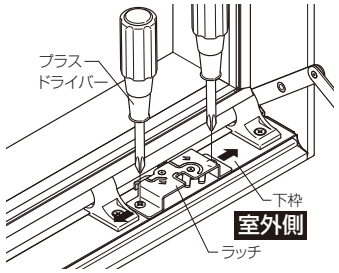


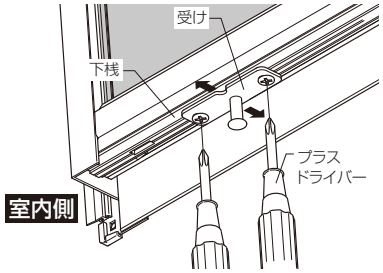

### 3 アングルコーナーピースの取付け

●部品セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

### ■ラッチと受けの調整

●オペレーターを操作して障子を開閉し、ラッチと受けがかからない場合は、ねじをゆるめて、ラッチと受けの位置を調整してください。



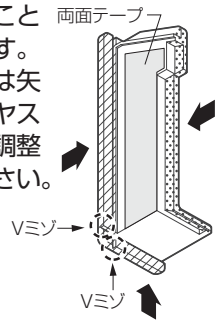
# 高所用横すべり出し窓　アングルコーナーピース

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願い

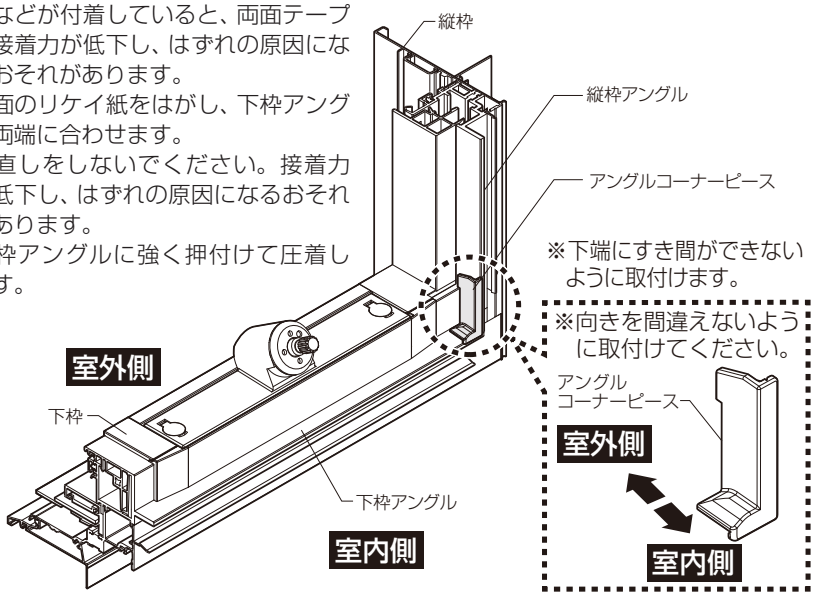
●アングルコーナーピースは、内装材施工後に取付けてください。

※納まりに応じて▨部をカッター、ニッパーなどで、ていねいに切取ってください。
※段窓時は▩部も切取ってください。
※納まりによってはぴったり合わないことがあります。その場合は矢印の面をヤスリなどで調整してください。




## ■取付け順序

①アングルコーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②裏面のリケイ紙をはがし、下枠アングル両端に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③縦枠アングルに強く押付けて圧着します。



# 上げ下げ窓

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告** …組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

### ⚠注 意

●防火戸サーモスXにおいては、下記事項をお守りください。
・ガラスは指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
●障子の外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。
・障子を建込む際は、必ず縦枠カバーが閉まっていることを確認してください。
・障子を建込む際は、必ず左右両方の清掃モードのツマミを解錠してください。
・障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないことを確認してください。
●障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・下障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
・障子建込み後は、枠固定時までロックをかけておいてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが、上枠・無目・下枠のまわりにはみ出るように合わせてねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
・浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分(躯体取付側の2ヵ所)には気密補助シールを使用せずに浴室防水部品セット(別売り)を取付けてください。

**お願い**

●気密部品セットはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
●気密補助シールは両面シールになっていますので、躯体取付け側のリケイ紙ははがさないでください。
●防火戸サーモスXの場合、ガラス建込み時に上障子のガラスは室内側から見て、防火ラベルが右上にくるように配置してください。
●防火戸サーモスXの場合、枠組立て時、上障子倒れ防止金具が室外側に曲がらないようにしてください。上障子の建込みの際、上障子が金具と干渉し、奥まで入れ込めなくなる可能性があります。

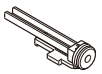
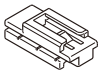
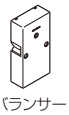
## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず取付けされる方へ障子取付け用部品をお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する際は、必ず連窓方式・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
●バランサー部品箱は別売りです。

## ■組立て順序

**1ガラスの確認**
**2障子部材の仮配置**
**3上障子の組立て**
**4下障子の組立て**
**5枠の組立て**
**6気密補助シールの取付け**
**7バランサーの取付け**
**8アームスライダーの取付け**
**9上障子の建込み**
**10下障子の建込み**
**11バランサーの調整**
**12バランサーカバーの取付け**

## ■部品・ねじ一覧表

| 外枠組立て用 | 障子組立て用 | | | | 障子取付け用 | | バランサー取付け用 | | バランサー(別売り) | 気密部品セット |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋮ | ㋯ | ㋰ | ㋱ |
| | | |  | |  | | | |  | |
| バインドタッピンねじ φ4×30 (14本入) | ナベタッピンねじ φ4×25 (8本入) | ナベタッピンねじ (1種)φ4×20 (2本入) | ピボットヒンジ (2個入) | トラス小ねじ M4×6(D8) (2本入) | アームスライダー (LR各1個入) | トラス小ねじ M4×8(D8) (4本入) | バランサーカバー (LR各1個入) | 専用取付けねじ (4本入) | バランサー (LR各1個入) | 気密補助シール |

## ■組立て順序

### 1ガラスの確認

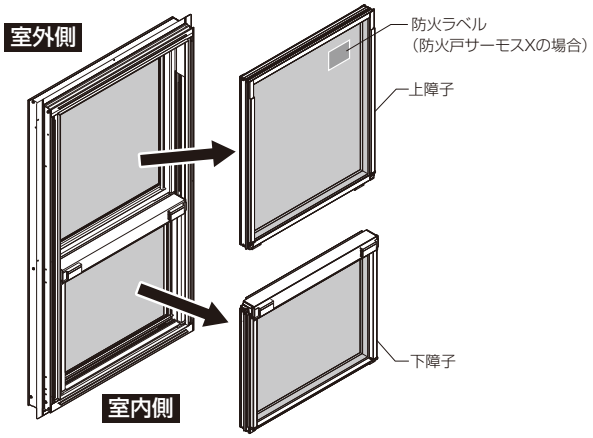
●グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。

**⚠警　告**

●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

### 2障子部材の仮配置

●ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※下図を参考に 内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。




※バランサーを枠内に内蔵しているため、必ず上障子の方が下障子よりガラス寸法、縦框の長さとも大きくなります。
（特注：障子均等タイプを除く）

### ●上障子 形材断面および内外方向

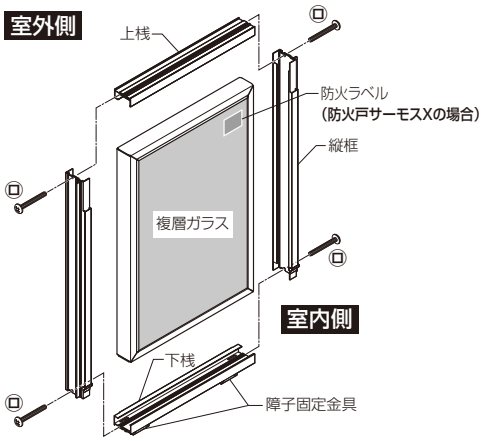
| | 上桟(アルミが室外側) | 下桟(アルミが室外側) | 縦框(モヘアが室内側) |
|---|---|---|---|
| サーモスX TG(Ar) | 外 アルミ 内 | 外 アルミ 内 | 外 モヘア 内 |
| サーモスX TG(Kr), PG 防火戸 サーモスX | 外 アルミ 内 | 外 アルミ 内 | 外 モヘア 内 |

### ●下障子 形材断面および内外方向

| | 上桟(ロックが室内側) | 下桟(引手が室内側) | 縦框(モヘアが室内側) |
|---|---|---|---|
| サーモスX TG(Ar) | ロック 外 内 | 引手 外 内 | 外 モヘア 内 |
| サーモスX TG(Kr), PG 防火戸 サーモスX | ロック 外 内 | 引手 外 内 | 外 モヘア 内 |

### 3上障子の組立て

①部材の内外を「**2障子部材の仮配置**」の表にて確認します。
②専用の複層ガラス（別売り）に下桟、縦框、上桟の順にガラスに差込みます。
③上下桟と縦框をねじで固定します。




**⚠注 意（防火戸サーモスXの場合）**

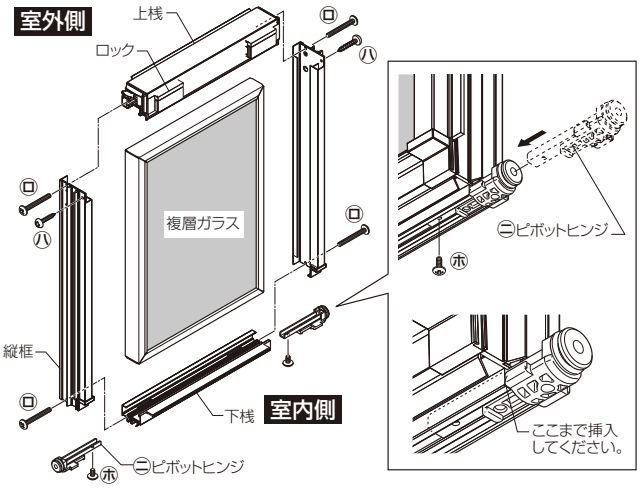
●ガラスは指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。

**お願い（防火戸サーモスXの場合）**

●障子組立て時に上障子のガラスは室内側から見て、防火ラベルが右上にくるように配置してください。

### 4下障子の組立て

①部材の内外を「**2障子部材の仮配置**」の表にて確認します。
②専用の複層ガラス（別売り）に下桟、縦框、上桟の順にガラスに差込みます。
下桟と縦框部は 樹脂キャップと部材が干渉しないよう組立てます。
③上下桟と縦框をねじで固定します。
④下桟にピボットヒンジを奥まで差込み、ねじ止めします。

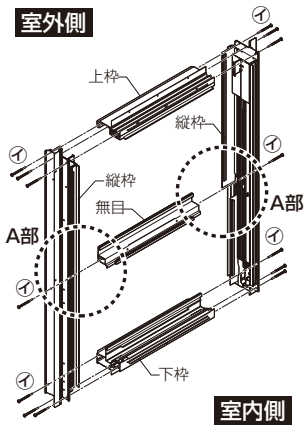



**⚠注 意（防火戸サーモスXの場合）**

●ガラスは指定のものを使用してください。指定のものを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。

## 5 枠の組立て

①各部材の向きを合わせて仮配置します。
②片側の縦枠に、各横部材を垂直に挿入し、ねじ止めします。
※左右どちらの縦枠からでも問題ありません。
③もう片側の縦枠を、各横部材に対し垂直に挿入し、ねじ止めします。

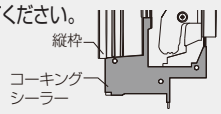



**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●コーキングシーラーが、上枠・無目・下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めしてください。

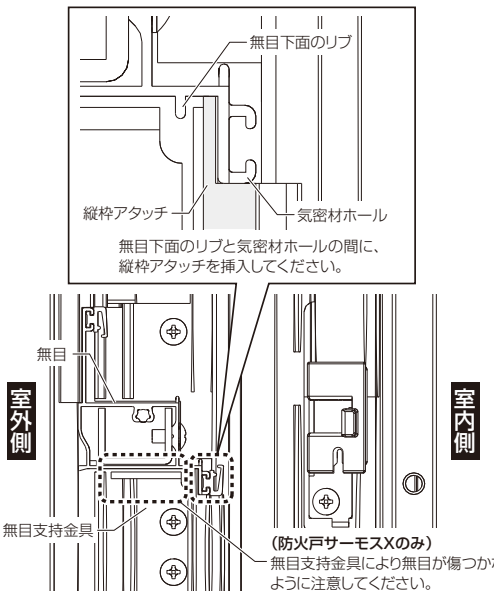



●ねじ止め後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### ■A部詳細図

無目下面のリブと気密材ホールの間に、縦枠アタッチがくるように、無目を差込んでからねじ止めしてください。

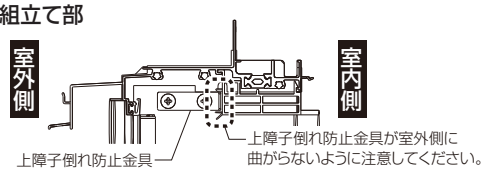
防火戸サーモス X の場合は、無目下面部が無目支持金具と干渉しないように、無目を差込んでからねじ止めしてください。




**お願い（防火戸サーモス X のみ）**

※上障子倒れ防止金具が室外側に曲がらないようにしてください。上障子の建込みの際、上障子が金具と干渉し、奥まで入れ込めなくなる可能性があります。

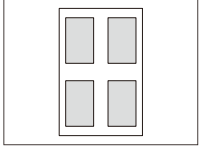
■上枠組立て部

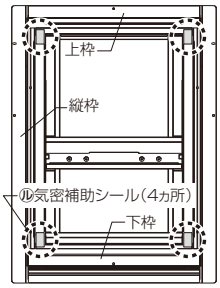



## 6 気密補助シールの取付け

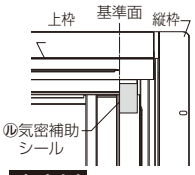
●縦枠と上枠（下枠）の接合部分（室内側 4 ヵ所）に張付けてください。
①張付け側のリケイ紙をはがします。
②基準面を合わせて張付けます。

●気密補助シール

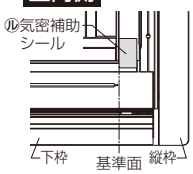





〔上部詳細図〕




〔下部詳細図〕




**お願い**

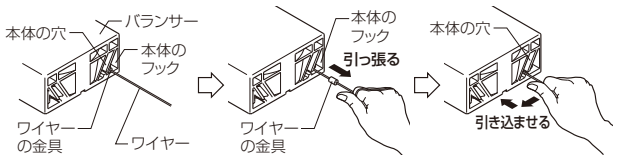
※気密部品セットはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
※気密補助シールは両面シールになっていますので、躯体取付け側のリケイ紙ははがさないでください。

**⚠ 注 意**

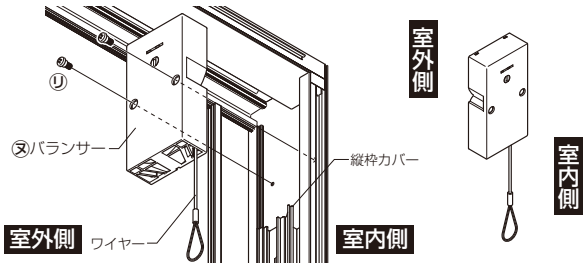
●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付側の2ヵ所）には気密補助シールを使用せずに浴室防水部品セット（別売り）を取付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。

## 7 バランサーの取付け

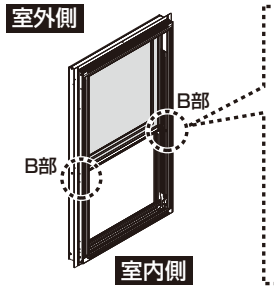
※ガラス厚さ、サッシH、W寸法によって使用するバランサーが異なります。取付け前にバランサーの機種を確認してください。
①バランサー（別売り）のワイヤーを手に巻き少し引っ張り、金具をフックから外します。ゆっくりワイヤーのテンションをゆるめていき、バランサーの穴に金具を引き込ませ、テンションがなくなったら手を離します。



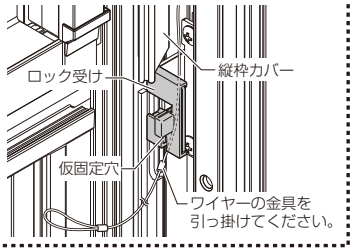

②縦枠カバーを開けます。
③バランサーはワイヤーが出ている方が室内側になります。このワイヤーが縦枠の溝に入るように、向きを合わせて、ねじで固定します。
※バランサーカバーは必ず調整を行った後に取付けてください。




④ワイヤーを引っ張り、ロック受けの内側に通し、ワイヤーの金具をロック受けの仮固定穴に引っ掛けます。
その後、縦枠カバーを閉めます。




■B部詳細図

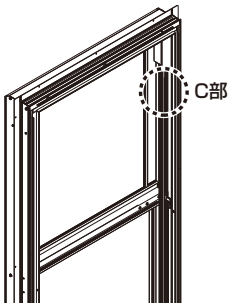



※バランサーを縦枠に取付けてから枠を組立てても問題ありません。

## 8アームスライダーの取付け

アームスライダーの左右を確認し、縦枠の上部の切欠きから差込みます。
（C 部詳細図）

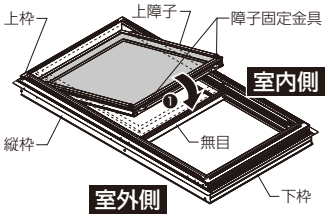
※H 750 未満には内倒しアームはついていませんので、アームスライダーは使用しません。
※バランサーを取付ける前に、縦枠に差込んでも問題ありません。




■C部詳細図

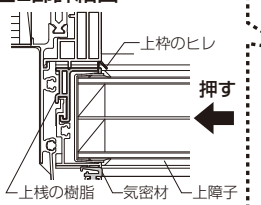
## 9上障子の建込み

※上障子の建込みは、枠を寝かせた状態で行うことを推奨します。その際、上枠側は室外側に手が入るようにしてください。（机の上等に寝かせている場合は 5cm 程度の木片等をはさんでください。）

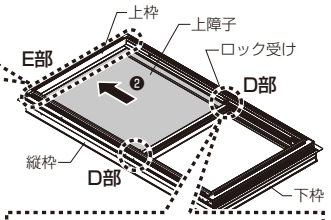



①障子の上桟側を上枠の付近におき、下桟側をゆっくり無目に近づけるように倒します。
②室外側から手を入れ、障子を少し浮かせた状態（障子と縦枠の気密材のこすれを少なくした状態）にして、上枠の溝に障子を入れ込みます。その際、挿入に抵抗がありますが、枠の気密材をしっかり当てるためなので、確実に奥まで入れてください。
※上枠のヒレが巻込まれてしまった場合は、上桟部のガラス面を室内側から強く押すと解消します。
③下桟の障子固定金具を無目の穴位置に合わせ、確実にねじ止めします。（障子の位置はねじをゆるめることで調整できます。）

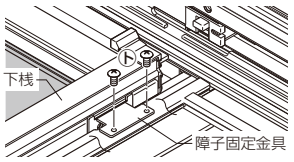
■E部詳細図




上障子上桟の樹脂が上枠のヒレで見えなくなるまで押し込んでください。




■D部詳細図

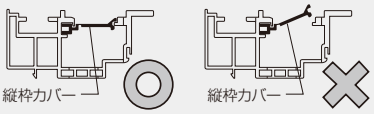



## 10下障子の建込み

※下障子の建込みは必ず枠を立てた状態で行ってください。
①縦枠カバーが閉まっていることを確認してください。

**⚠ 注 意**

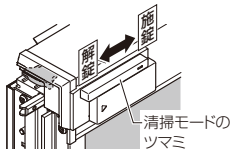
●障子を建込む際は、必ず縦枠カバーが閉まっていることを確認してください。




②清掃モードのツマミを解錠します。

**⚠ 注 意**

●障子を建込む際は、必ず左右両方の清掃モードのツマミを解錠してください。

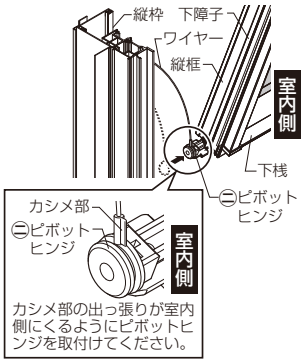



❶清掃モードのツマミを解錠します。
❷障子を建込んだら、清掃モードのツマミを施錠します。

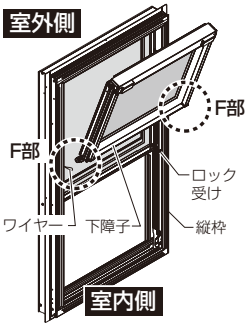
③ワイヤーの先端をカシメ部の出張りが室内側にくるように、ピボットヒンジの溝にはめ込みます。

■F部詳細図

※ワイヤーは、必ずピボットヒンジの溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れると、バランサーが破損するおそれがあります。



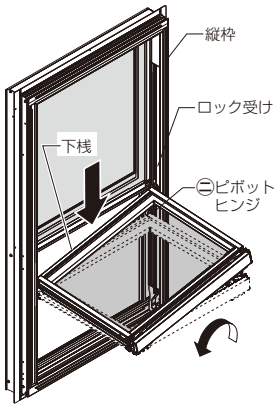

カシメ部の出っ張りが室内側にくるようにピボットヒンジを取付けてください。



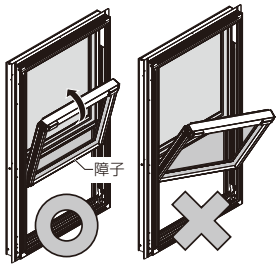

**⚠ 注 意**

●下障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。

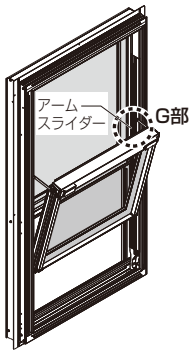
④障子を斜めにして、下桟のピボットヒンジ部がロック受けより下にくるまで垂直に引き下ろしてください。
この位置で障子を水平にしてピボットヒンジを縦枠の溝の中に差込み、内倒し状態から障子を起こしてください。
※ワイヤーを室内側に引き出すと縦枠樹脂部材が傷つきますので、できるだけ縦枠溝付近で作業をしてください。




※障子は必ず水平にして、内倒し状態から起こしてください。障子が傾いた状態で起こすと、部品が破損することがあります。



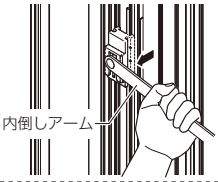

⑤アームスライダーに内倒しアームを固定します。（G 部詳細図）



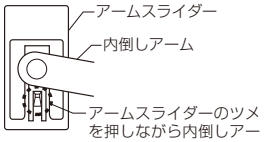

■G部詳細図

①アームスライダーに内倒しアームを下から差込みます。

②内倒しアームを矢印方向に強く引っ張り、抜けないことを確認します。

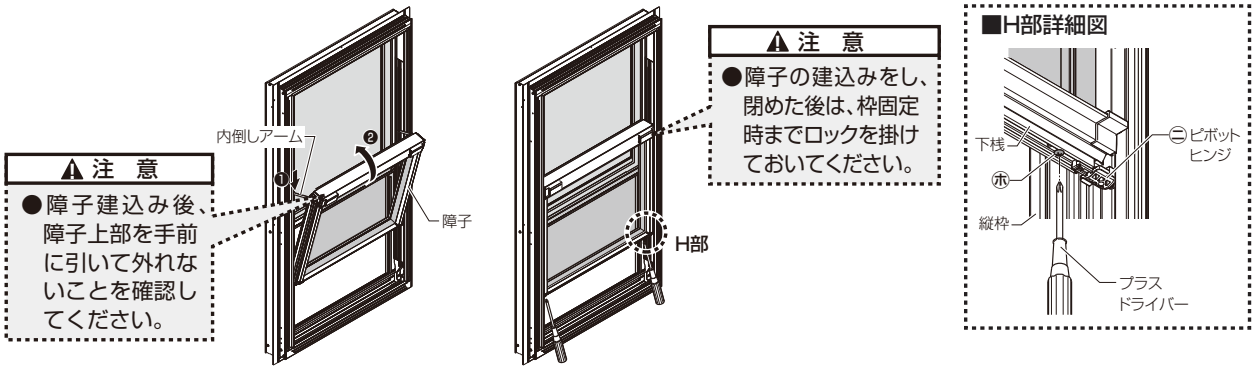



内倒しアームの外し方



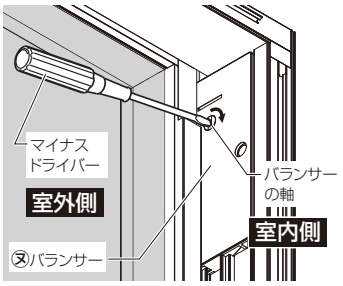

アームスライダーのツメを押しながら内倒しアームを下げると、アームスライダーから外れます。

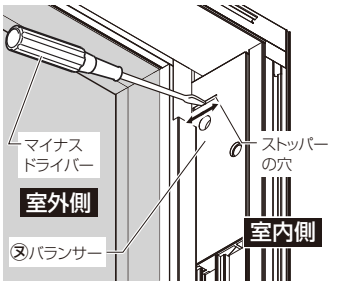
⑥内倒しアームを押し下げながら、障子を起こし、縦枠の溝位置で清掃モードのツマミを施錠します。
⑦ピボットヒンジが左右に 1mm 程度のガタツキとなるようねじ位置を調整します。




### ⓫バランサーの調整

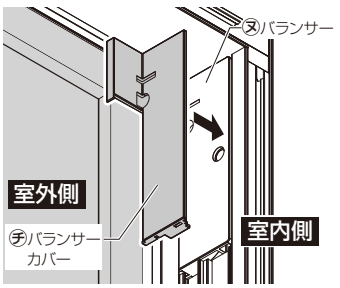
※バランサーの調整は枠固定後にも必ず行ってください。
①障子を一番下に下げます。
②障子の上げと下げの力がほぼ均等になるよう、バランサーの軸をマイナスドライバーで回して調整します。( 内観右側は時計回り、内観左側は反時計回り )
※左右とも同じ回転数にしてください。軸を回しすぎたときは、ストッパーの穴にマイナスドライバーを差込んで左右にスライドさせ、戻してください。




### ⓬バランサーカバーの取付け

※バランサーカバーを取付けた後でも、バランサーの調整ができるよう、軸とストッパー部の位置に合わせて穴があいています。
●バランサーカバーの左右を確認して、取付けてください。




### ■バランサーの調整目安表

※下表は、バランサー調整のあくまで目安です。
●建付け状態、重量などのバラツキにより変動しますので障子の上げと下げの力がほぼ均等になるよう調整してください。
●左右の回転数は、必ず同じにしてください。
● 1/7 回転で「カチッ」と音がします。これを 1 クリックとします。

#### ■防火戸サーモスX

| 重量機種 | | W呼称 | W023 | W033 | W057 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | サッシW | 300 | 405 | 640 |
| H呼称 | サッシH | ガラス構成 | クリック数 | | |
| H07 | 770 | 6.8-A-4 | 37 | 24 | 13 |
| | 770 | 6.8-A-5 | 43 | 33 | 21 |
| H09 | 970 | 6.8-A-4 | 13 | 18 | 3 |
| | 970 | 6.8-A-5 | 21 | 25 | 10 |
| H11 | 1170 | 6.8-A-4 | 3 | 10 | 26 |
| | 1170 | 6.8-A-5 | 9 | 17 | 29 |
| H13 | 1370 | 6.8-A-4 | 22 | 31 | 44 |
| | 1370 | 6.8-A-5 | 30 | 41 | 26 |

#### ■サーモスX

| 重量機種 | | 窓タイプ | サーモスX TG(Kr) | | | | | サーモスX TG(Ar) | | | | | 窓タイプ | サーモスX PG(Ar) | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | W呼称 | W023 | W033 | W057 | W066 | W071 | W023 | W033 | W057 | W066 | W071 | W呼称 | W023 | W033 | W057 | W066 | W071 |
| | | サッシW | 300 | 405 | 640 | 730 | 780 | 300 | 405 | 640 | 730 | 780 | サッシW | 300 | 405 | 640 | 730 | 780 |
| H呼称 | サッシH | ガラス構成 | クリック数 | | | | | クリック数 | | | | | ガラス構成 | クリック数 | | | | |
| H07 | 770 | 3-A-1.3-A-3 | 5 | 41 | 8 | 24 | 33 | 5 | 39 | 7 | 23 | 32 | 3-A-3 | 14 | 27 | 32 | 10 | 17 |
| | 770 | 3-A-3·3-A-3 | 19 | 3 | 27 | 11 | 19 | 18 | 2 | 26 | 10 | 18 | 3-A-4 | 4 | 37 | 5 | 21 | 29 |
| | 770 | 3-A-4-A-3 | 23 | 9 | 1 | 17 | 26 | 22 | 8 | 33 | 16 | 25 | 3-A-5 | 10 | 48 | 15 | 32 | 7 |
| | 770 | 4-A-1.3-A-4 | 19 | 3 | 27 | 11 | 19 | 18 | 2 | 26 | 10 | 18 | 4-A-5 | 17 | 1 | 24 | 8 | 16 |
| | 770 | 5-A-1.3-A-5 | 32 | 20 | 10 | 28 | 38 | 31 | 19 | 10 | 28 | 37 | 3-A-6.8 | 22 | 7 | 32 | 15 | 24 |
| H09 | 970 | 3-A-1.3-A-3 | 30 | 16 | 5 | 21 | 30 | 29 | 14 | 4 | 20 | 30 | 3-A-3 | 18 | 0 | 22 | 39 | 13 |
| | 970 | 3-A-3·3-A-3 | 49 | 0 | 26 | 22 | 29 | 48 | 38 | 25 | 1 | 8 | 3-A-4 | 27 | 12 | 35 | 18 | 26 |
| | 970 | 3-A-4-A-3 | 55 | 5 | 34 | 28 | 35 | 54 | 5 | 33 | 6 | 13 | 3-A-5 | 37 | 24 | 12 | 30 | 40 |
| | 970 | 4-A-1.3-A-4 | 49 | 0 | 26 | 22 | 29 | 48 | 38 | 25 | 1 | 8 | 4-A-5 | 46 | 36 | 23 | 42 | 27 |
| | 970 | 5-A-1.3-A-5 | 9 | 15 | 23 | 38 | 46 | 8 | 14 | 2 | 16 | 24 | 3-A-6.8 | 53 | 4 | 31 | 26 | 33 |
| H11 | 1170 | 3-A-1.3-A-3 | 55 | 4 | 30 | 25 | 31 | 54 | 3 | 29 | 3 | 10 | 3-A-3 | 39 | 25 | 12 | 29 | 38 |
| | 1170 | 3-A-3·3-A-3 | 18 | 23 | 29 | 44 | 26 | 17 | 22 | 7 | 23 | 26 | 3-A-4 | 51 | 1 | 25 | 45 | 28 |
| | 1170 | 3-A-4-A-3 | 25 | 30 | 35 | 24 | 35 | 24 | 29 | 13 | 24 | 34 | 3-A-5 | 5 | 11 | 39 | 31 | 39 |
| | 1170 | 4-A-1.3-A-4 | 18 | 23 | 29 | 44 | 26 | 17 | 22 | 7 | 23 | 26 | 4-A-5 | 15 | 20 | 26 | 41 | 50 |
| | 1170 | 5-A-1.3-A-5 | 38 | 8 | 46 | 39 | 50 | 37 | 7 | 24 | 38 | 49 | 3-A-6.8 | 23 | 28 | 33 | 49 | 26 |
| H13 | 1370 | 3-A-1.3-A-3 | 19 | 22 | 27 | 42 | 23 | 18 | 21 | 6 | 20 | 23 | 3-A-3 | 3 | 7 | 32 | 26 | 33 |
| | 1370 | 3-A-3·3-A-3 | 3 | 10 | 48 | 41 | 16 | 2 | 10 | 26 | 40 | 15 | 3-A-4 | 15 | 19 | 24 | 38 | 46 |
| | 1370 | 3-A-4-A-3 | 8 | 17 | 29 | 51 | 20 | 7 | 16 | 28 | 50 | 19 | 3-A-5 | 28 | 31 | 34 | 50 | 28 |
| | 1370 | 4-A-1.3-A-4 | 3 | 10 | 48 | 41 | 16 | 2 | 10 | 26 | 40 | 15 | 4-A-5 | 0 | 8 | 45 | 31 | 42 |
| | 1370 | 5-A-1.3-A-5 | 18 | 29 | 44 | 22 | – | 17 | 29 | 43 | 21 | 27 | 3-A-6.8 | 7 | 15 | 21 | 42 | 27 |
| H15 | 1570 | 3-A-1.3-A-3 | 0 | 6 | 42 | 34 | 44 | 38 | 6 | 21 | 33 | 43 | 3-A-3 | 21 | 23 | 27 | 41 | 16 |
| | 1570 | 3-A-3·3-A-3 | 19 | 29 | 42 | 21 | 26 | 18 | 28 | 41 | 20 | 26 | 3-A-4 | 35 | 37 | 39 | 23 | 33 |
| | 1570 | 3-A-4-A-3 | 25 | 37 | 15 | 25 | – | 24 | 36 | 51 | 25 | – | 3-A-5 | 7 | 14 | 18 | 39 | 26 |
| | 1570 | 4-A-1.3-A-4 | 19 | 29 | 42 | 21 | 26 | 18 | 28 | 41 | 20 | 26 | 4-A-5 | 16 | 25 | 32 | 28 | 33 |
| | 1570 | 5-A-1.3-A-5 | 3 | 25 | 22 | – | – | 3 | 4 | 22 | – | – | 3-A-6.8 | 23 | 34 | 43 | 33 | – |
| 特注：障子均等タイプ H09 | 970 | 3-A-1.3-A-3 | 51 | 1 | 26 | 22 | 29 | 50 | 0 | 25 | 0 | 7 | 3-A-3 | 36 | 21 | 9 | 25 | 35 |
| | 970 | 3-A-3·3-A-3 | 14 | 20 | 26 | 41 | 22 | 13 | 19 | 5 | 19 | 28 | 3-A-4 | 48 | 36 | 22 | 41 | 26 |
| | 970 | 3-A-4-A-3 | 21 | 26 | 32 | 48 | 30 | 20 | 25 | 10 | 26 | 35 | 3-A-5 | 2 | 7 | 35 | 29 | 36 |
| | 970 | 4-A-1.3-A-4 | 14 | 20 | 26 | 41 | 22 | 13 | 19 | 5 | 19 | 28 | 4-A-5 | 12 | 17 | 24 | 38 | 46 |
| | 970 | 5-A-1.3-A-5 | 34 | 4 | 42 | 34 | 45 | 33 | 4 | 21 | 38 | 48 | 3-A-6.8 | 19 | 24 | 30 | 46 | 28 |
| H11 | 1170 | 3-A-1.3-A-3 | 16 | 20 | 25 | 39 | 47 | 15 | 19 | 3 | 18 | 26 | 3-A-3 | 0 | 5 | 29 | 24 | 31 |
| | 1170 | 3-A-3·3-A-3 | 0 | 8 | 45 | 37 | 48 | 38 | 7 | 23 | 41 | 48 | 3-A-4 | 12 | 16 | 22 | 36 | 44 |
| | 1170 | 3-A-4-A-3 | 6 | 14 | 26 | 47 | 18 | 5 | 13 | 31 | 46 | 18 | 3-A-5 | 24 | 28 | 32 | 48 | 30 |
| | 1170 | 4-A-1.3-A-4 | 0 | 8 | 45 | 37 | 48 | 38 | 7 | 23 | 41 | 48 | 4-A-5 | 36 | 5 | 42 | 34 | 44 |
| | 1170 | 5-A-1.3-A-5 | 15 | 26 | 40 | 20 | 25 | 15 | 25 | 44 | 20 | 25 | 3-A-6.8 | 4 | 12 | 23 | 44 | 26 |
| H13 | 1370 | 3-A-1.3-A-3 | 37 | 4 | 40 | 31 | 41 | 35 | 3 | 19 | 35 | 40 | 3-A-3 | 18 | 20 | 25 | 39 | 47 |
| | 1370 | 3-A-3·3-A-3 | 16 | 26 | 39 | 19 | 24 | 15 | 25 | 42 | 19 | 24 | 3-A-4 | 32 | 1 | 37 | 26 | 36 |
| | 1370 | 3-A-4-A-3 | 23 | 34 | 48 | 24 | – | 22 | 33 | 47 | 23 | – | 3-A-5 | 5 | 12 | 22 | 42 | 25 |
| | 1370 | 4-A-1.3-A-4 | 16 | 26 | 39 | 19 | 24 | 15 | 25 | 42 | 19 | 24 | 4-A-5 | 14 | 23 | 35 | 26 | 31 |
| | 1370 | 5-A-1.3-A-5 | 1 | 23 | 21 | – | – | 0 | 2 | 20 | – | – | 3-A-6.8 | 21 | 32 | 45 | 31 | – |

# 上げ下げ窓FS

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

### ⚠注 意

●障子の外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。
・障子を建込む際は、必ず左右両方のラッチストッパーを解除してください。その際、 必ず窓の上部を手前に引いて外れないことを確認してください。
●障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・下障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
・障子建込み後は、枠固定時までロックをかけておいてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

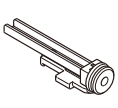
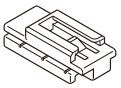
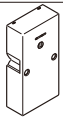
●必ず指定のねじで組立ててください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および外枠取付け用部品セットは、必ず取付けされる方にお渡しください。
●ガラス寸法はダンボールまたはカタログをご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する際は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
●バランサー部品箱は別売りです。

## ■組立て順序

**1**ガラスの確認
**2**障子部材の仮配置
**3**上障子の組立て
**4**下障子の組立て
**5**枠の組立て
**6**バランサーの取付け
**7**上障子の建込み
**8**下障子の建込み
**9**バランサーの調整
**10**バランサーカバーの取付け

## ■部品・ねじ一覧表

※本文図中の㋑～㋣は、部品・ねじの種類を示します。

| 外枠組立て用 | 障子組立て用 | | | | 障子取付け用 | | バランサー取付け用 | | バランサー（別売り） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋠ | ㋡ | ㋢ |
| | | |  | |  | | | |  |
| バインドタッピンねじ φ4×30（10本入） | ナベタッピンねじ φ4×25（8本入） | 障子固定金具（LR各1個入） | ピボットヒンジ（2個入） | トラス小ねじ M4×6（D8）（2本入） | アームスライダー（LR各1個入） | トラス小ねじ M4×6（D9.4）（2本入） | バランサーカバー（LR各1個入） | 専用取付けねじ（4本入） | バランサー（LR各1個入） |

## ■組立て順序

### 1ガラスの確認

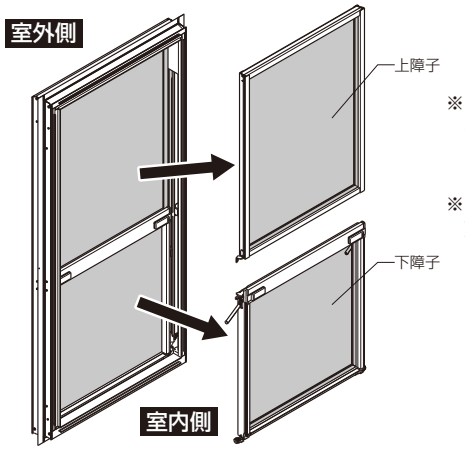
●グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。

#### ⚠警 告

●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

## 2障子部材の仮配置

●ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※下図を参考に 内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。




※面一構造の上げ下げ窓のため、全閉状態では上障子と、下障子が同一面に配置されています。
※バランサーを枠内に内蔵しているため、必ず上障子の方が下障子よりガラス寸法、縦框の長さとも大きくなります。

### ●上障子 形材断面および内外方向

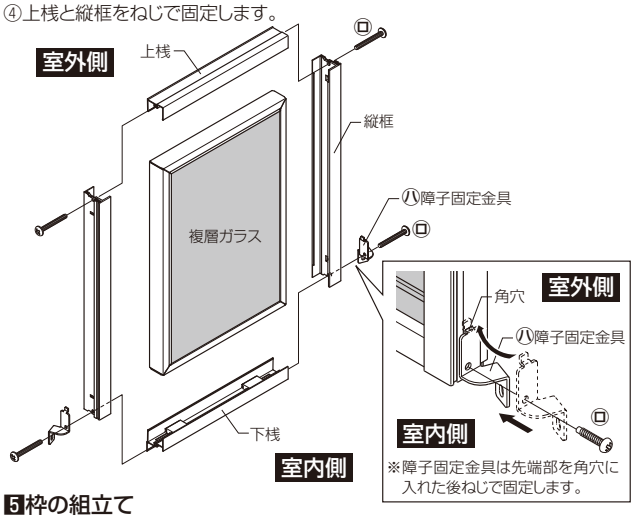
| | 上桟(リブが室外側) | 下桟(リブが室外側) | 縦框(モヘアが室内側) |
|---|---|---|---|
| サーモスII H | 外 内 リブ | 外 内 リブ | 外 内 モヘア |
| サーモスII S | 外 内 リブ | 外 内 リブ | 外 内 モヘア |

### ●下障子 形材断面および内外方向

| | 上桟(ロックが室内側) | 下桟(引手が室内側) | 縦框(モヘアが室内側) |
|---|---|---|---|
| サーモスII H | ロック 外 内 | 引手 外 内 | 外 内 モヘア |
| サーモスII S | ロック 外 内 | 引手 外 内 | 外 内 モヘア |

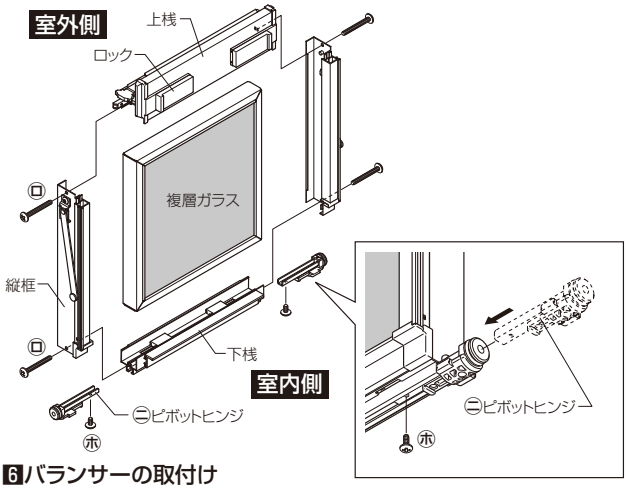
## 3上障子の組立て

①部材の内外を「2障子部材の仮配置」の表にて確認します。
②専用の複層ガラス(別売り)に下桟、縦框、上桟の順にガラスに差込みます。
③下桟と縦框部は 障子固定金具の左右を確認し、取付けた後でねじで固定します。
④上桟と縦框をねじで固定します。



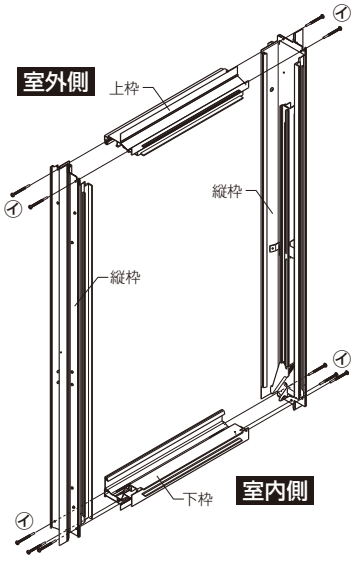

## 4下障子の組立て

①部材の内外を「2障子部材の仮配置」の表にて確認します。
②専用の複層ガラス(別売り)に下桟、縦框、上桟の順にガラスに差込みます。
下桟と縦框部は 樹脂キャップと部材が干渉しないよう組立てます。
③上下桟と縦框をねじで固定します。
④下桟にピボットヒンジを奥まで差込み、ねじ止めします。




## 5枠の組立て

●各部材の向きを合わせて、ねじ止めします。

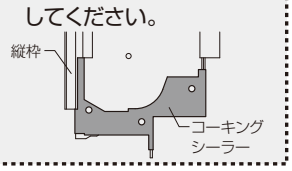



**⚠注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

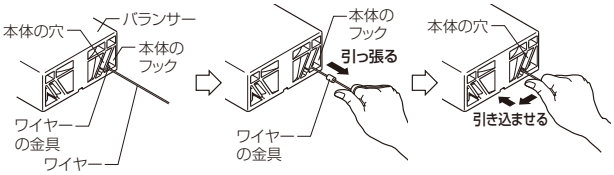
**⚠注 意**

●コーキングシーラーが、下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めしてください。
●ねじ止め後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

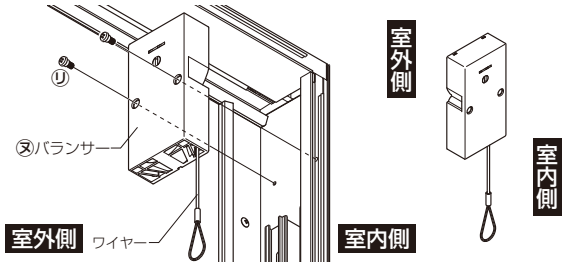



## 6バランサーの取付け

※ガラス厚さ、サッシH、W寸法によって使用するバランサーが異なります。取付け前にバランサーの機種を確認してください。
●バランサー(別売り)のワイヤーを手に巻き少し引っ張り、金具をフックから外します。ゆっくりワイヤーのテンションを緩めていき、バランサーの穴に金具を引き込ませ、テンションがなくなったら手を離します。

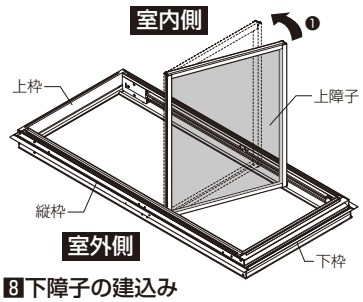


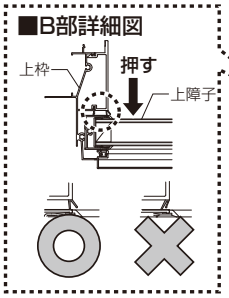

●バランサーはワイヤーが出ている方が室内側になります。このワイヤーが縦枠の溝に入るように、向きを合わせて、ねじで固定します。
※バランサーカバーは必ず調整を行った後に取付てください。

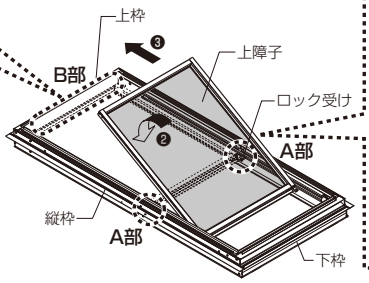


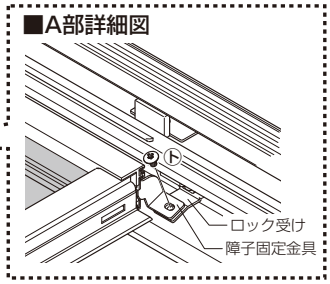
## 7 上障子の建込み

※上障子の建込みは、枠を寝かせた状態で行ってください。
①障子の下桟を、ロック受けより下枠側に下ろし、障子を斜めにして、障子固定金具を枠の溝に入れ、障子を水平にして、枠側にゆっくり倒します。
②障子を上にあげて、上枠の溝に 障子を入れ込みます。その際、挿入に抵抗がありますが、枠の気密材をしっかり当てるためなので、確実に奥まで入れてください。
※上枠の室内側気密材が巻込まれてしまった場合は、上桟部のガラス面を室内側から強く押すと解消します。
③障子下部の障子固定金具をロック受けの穴位置に合わせ、確実にねじ止めします。
④障子の位置はねじをゆるめることで調整できます。



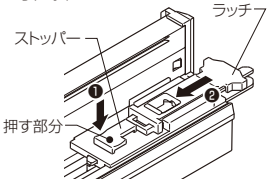




## 8 下障子の建込み

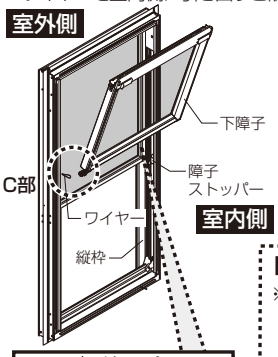
※下障子の建込みは必ず枠を立てた状態で行ってください。
①ラッチを押し込みストッパーに引っ掛けます。



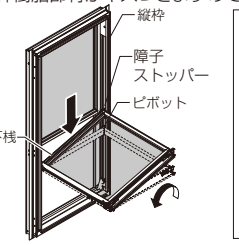

❶この部分を押さえ続けます。
❷ラッチの引手部を引き、❶を離しラッチをストッパーに引っ掛けます。
❸ラッチストッパーを解錠する際は、❶を再度押します。

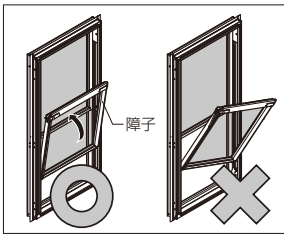
**⚠ 注 意**
●障子を建込む際は、必ず左右両側のラッチストッパーを解除してください。

②ワイヤーの先端をカシメ部の出張りが室内側にくるように、ピボットの溝にはめ込みます。
③障子を斜めにして、下桟のピボット部が障子ストッパーより下にくるまで垂直に引き下ろしてください。
この位置で障子を水平にしてピボットを縦枠の溝の中に差込み、内倒し状態から障子を起こしてください。
※ワイヤーを室内側に引き出すと縦枠樹脂部材がキズつきますので、できるだけ縦枠溝付近で作業をしてください。



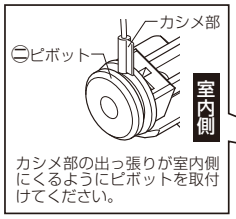

**⚠ 注 意**
●下障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。

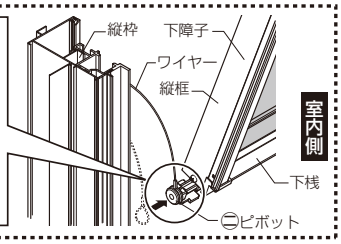


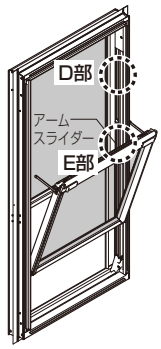

※障子は必ず水平にして、内倒し状態から起こしてください。障子が傾いた状態で起こすと、部品が破損することがあります。

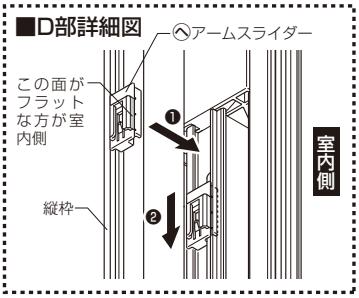
■C部詳細図
※ワイヤーは、必ずピボットの溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れると、バランサーが破損するおそれがあります。

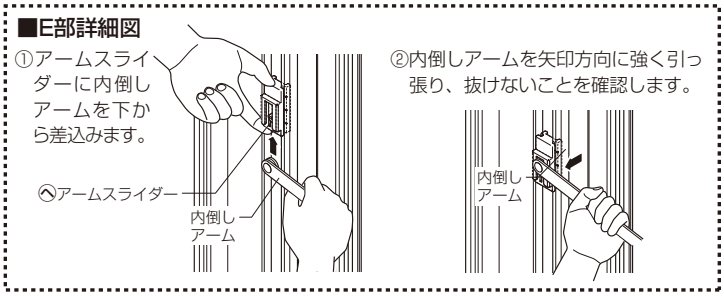


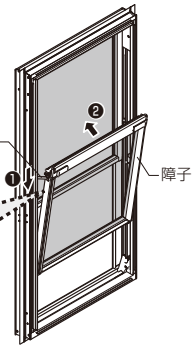

④アームスライダーの左右を確認し、縦枠の上部の切欠きから差込みます。（D部詳細図）
※H750未満には内倒しアームはついていませんので、アームスライダーは使用しません。
⑤アームスライダーに内倒しアームを固定します。（E部詳細図）



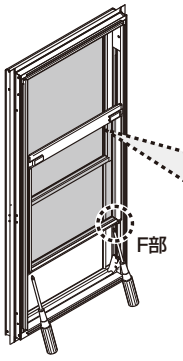



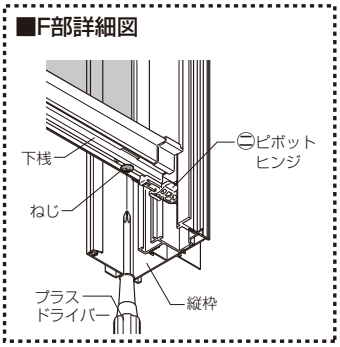

⑥内倒しアームを押し下げながら、障子を起こし、縦枠の溝位置でラッチをストッパーから開放します。
⑦ピボットが左右に1mm程度のガタツキとなるようねじ位置を調整します。




**⚠ 注 意**
●障子建込み後、障子上部を手前に引いて外れないこと確認してください。

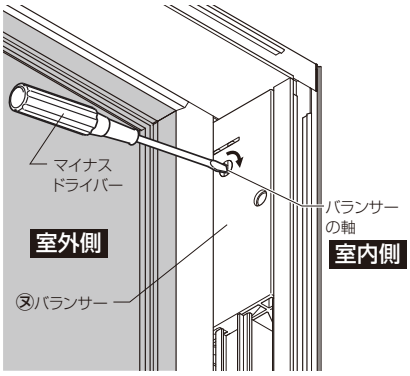


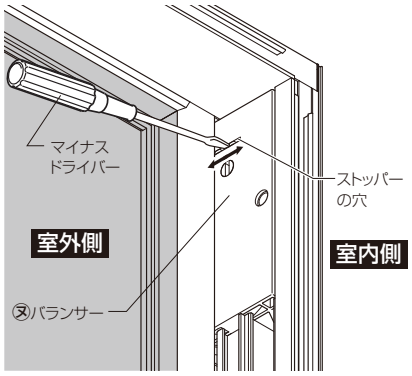

**⚠ 注 意**
●障子建込み後は、枠固定時までロックを掛けておいてください。



## 9 バランサーの調整

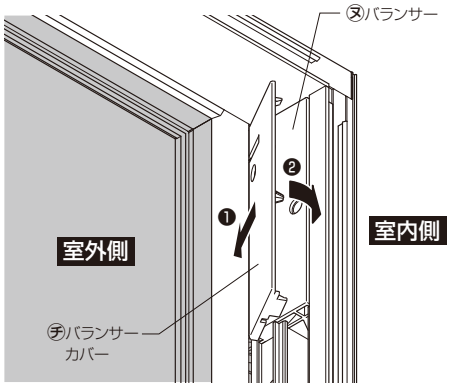
※バランサーの調整は枠固定後にも必ず行ってください。
①障子を一番下に下げます。
②障子の上げと下げの力がほぼ均等になるよう、バランサーの軸をマイナスドライバーで回して調整します。(内観右側は時計回り、内観左側は反時計回り)
※左右とも同じ回転数にしてください。軸を回しすぎたときは、ストッパーの穴にマイナスドライバーを差し込んで左右にスライドさせ、戻してください。




## 10 バランサーカバーの取付け

※バランサーカバーを取付けた後でも、バランサーの調整ができるよう、軸とストッパー部の位置に合わせて穴が開いています。
●バランサーカバーの左右を確認して、バランサーカバーの室外側の端面全体をもぐり込ませ、倒すように取付けてください。




## ■バランサーの調整目安表

※下表は、バランサー調整のあくまで目安です。
●建付け状態、重量などのバラツキにより変動しますので必ず障子を上げる力と下げる力が同じになるまで調整してください。
●左右の回転数は、必ず同じにしてください。
●1/7回転で「カチッ」と音がします。これを1クリックとします。

### ■サーモスIIH／サーモスL 上げ下げ窓FS

| 機種 | | W呼称 | 023 | 033 | 057 | 066 | 071 | 特注 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | サッシW | 300 | 405 | 640 | 730 | 780 | 870 |
| H呼称 | サッシH | ガラス構成 | クリック数 | | | | | |
| 07 | 770 | 3 -A- 3 | 11 | 22 | 25 | 4 | 12 | 25 |
| | | 3 -A- 4 | 0 | 33 | 1 | 16 | 24 | 5 |
| | | 3 -A- 5 | 7 | 43 | 11 | 28 | 3 | 16 |
| | | 4 -A- 5 | 14 | 54 | 21 | 5 | 13 | 28 |
| | | 3 -A- 6.8 | 20 | 5 | 29 | 12 | 21 | 37 |
| 09 | 970 | 3 -A- 3 | 14 | 51 | 17 | 1 | 8 | 22 |
| | | 3 -A- 4 | 23 | 7 | 31 | 14 | 22 | 38 |
| | | 3 -A- 5 | 33 | 20 | 9 | 26 | 36 | 27 |
| | | 4 -A- 5 | 43 | 32 | 20 | 39 | 25 | 36 |
| | | 3 -A- 6.8 | 51 | 2 | 29 | 25 | 32 | 44 |
| 11 | 1170 | 3 -A- 3 | 34 | 19 | 7 | 24 | 33 | 25 |
| | | 3 -A- 4 | 47 | 35 | 22 | 41 | 25 | 37 |
| | | 3 -A- 5 | 2 | 8 | 36 | 29 | 36 | 17 |
| | | 4 -A- 5 | 12 | 18 | 25 | 39 | 47 | 31 |
| | | 3 -A- 6.8 | 21 | 26 | 32 | 47 | 24 | 42 |
| 13 | 1370 | 3 -A- 3 | 55 | 3 | 28 | 23 | 30 | 42 |
| | | 3 -A- 4 | 11 | 15 | 22 | 36 | 43 | 25 |
| | | 3 -A- 5 | 24 | 28 | 32 | 48 | 25 | 42 |
| | | 4 -A- 5 | 36 | 5 | 43 | 29 | 40 | 30 |
| | | 3 -A- 6.8 | 5 | 13 | 19 | 40 | 27 | 35 |
| 15 | 1570 | 3 -A- 3 | 15 | 18 | 24 | 38 | 45 | 28 |
| | | 3 -A- 4 | 30 | 33 | 36 | 20 | 30 | 25 |
| | | 3 -A- 5 | 4 | 11 | 16 | 36 | 25 | 33 |
| | | 4 -A- 5 | 14 | 23 | 30 | 27 | 32 | – |
| | | 3 -A- 6.8 | 21 | 32 | 41 | 32 | – | – |
| 特注最小 | 600 | 3 -A- 3 | – | 14 | 46 | 7 | 15 | 31 |
| | | 3 -A- 4 | 1 | 4 | 2 | 19 | 29 | 4 |
| | | 3 -A- 5 | 4 | 12 | 12 | 31 | 2 | 14 |
| | | 4 -A- 5 | 8 | 19 | 23 | 3 | 10 | 23 |
| | | 3 -A- 6.8 | 11 | 24 | 31 | 9 | 17 | 31 |
| 特注最大 | 1700 | 3 -A- 3 | 26 | 28 | 32 | 47 | 23 | 40 |
| | | 3 -A- 4 | 3 | 9 | 45 | 32 | 43 | 31 |
| | | 3 -A- 5 | 13 | 22 | 27 | 26 | 31 | – |
| | | 4 -A- 5 | 24 | 35 | 43 | 33 | – | – |
| | | 3 -A- 6.8 | 32 | 21 | 28 | – | – | – |

### ■サーモスIIS 上げ下げ窓FS

| 機種 | | W呼称 | 023 | 033 | 057 | 066 | 071 | 特注 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | サッシW | 300 | 405 | 640 | 730 | 780 | 870 |
| H呼称 | サッシH | ガラス構成 | クリック数 | | | | | |
| 07 | 770 | 3 -A- 3 | 8 | 18 | 21 | 1 | 8 | 21 |
| | | 3 -A- 4 | 14 | 29 | 36 | 13 | 21 | 2 |
| | | 3 -A- 5 | 4 | 40 | 8 | 24 | 0 | 13 |
| | | 4 -A- 5 | 11 | 50 | 18 | 2 | 10 | 25 |
| | | 3 -A- 6.8 | 17 | 2 | 26 | 10 | 18 | 34 |
| 09 | 970 | 3 -A- 3 | 10 | 47 | 13 | 30 | 5 | 19 |
| | | 3 -A- 4 | 20 | 4 | 27 | 11 | 19 | 34 |
| | | 3 -A- 5 | 30 | 16 | 7 | 24 | 33 | 25 |
| | | 4 -A- 5 | 39 | 29 | 18 | 37 | 23 | 34 |
| | | 3 -A- 6.8 | 47 | 39 | 27 | 23 | 30 | 42 |
| 11 | 1170 | 3 -A- 3 | 30 | 15 | 5 | 21 | 30 | 23 |
| | | 3 -A- 4 | 43 | 31 | 19 | 38 | 23 | 35 |
| | | 3 -A- 5 | 55 | 5 | 33 | 27 | 34 | 47 |
| | | 4 -A- 5 | 9 | 15 | 23 | 37 | 45 | 28 |
| | | 3 -A- 6.8 | 17 | 23 | 30 | 45 | 22 | 39 |
| 13 | 1370 | 3 -A- 3 | 50 | 0 | 25 | 21 | 28 | 40 |
| | | 3 -A- 4 | 7 | 12 | 42 | 34 | 41 | 23 |
| | | 3 -A- 5 | 20 | 25 | 30 | 46 | 22 | 39 |
| | | 4 -A- 5 | 32 | 3 | 41 | 26 | 37 | 29 |
| | | 3 -A- 6.8 | 2 | 11 | 17 | 37 | 26 | 34 |
| 15 | 1570 | 3 -A- 3 | 11 | 15 | 21 | 35 | 43 | 25 |
| | | 3 -A- 4 | 26 | 30 | 34 | 17 | 27 | 45 |
| | | 3 -A- 5 | 1 | 9 | 47 | 33 | 45 | 32 |
| | | 4 -A- 5 | 11 | 20 | 27 | 26 | 31 | – |
| | | 3 -A- 6.8 | 18 | 30 | 38 | 31 | – | – |
| 特注最小 | 600 | 3 -A- 3 | – | 12 | 41 | 2 | 10 | 25 |
| | | 3 -A- 4 | – | 1 | 54 | 14 | 24 | 1 |
| | | 3 -A- 5 | 3 | 8 | 8 | 26 | 37 | 10 |
| | | 4 -A- 5 | 6 | 16 | 18 | 39 | 7 | 20 |
| | | 3 -A- 6.8 | 9 | 21 | 27 | 6 | 14 | 27 |
| 特注最大 | 1700 | 3 -A- 3 | 22 | 25 | 30 | 45 | 21 | 37 |
| | | 3 -A- 4 | 38 | 6 | 43 | 29 | 40 | 30 |
| | | 3 -A- 5 | 10 | 19 | 25 | 25 | 30 | – |
| | | 4 -A- 5 | 21 | 32 | 40 | 32 | – | – |
| | | 3 -A- 6.8 | 29 | 42 | 27 | – | – | – |

# 上げ下げ窓FS

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠警 告**

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**⚠注 意**

●障子の外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。
・障子を建込む際は、必ず左右両方のラッチストッパーを解除してください。その際、 必ず窓の上部を手前に引いて外れないことを確認してください。
●障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・下障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
・障子建込み後は、枠固定時までロックをかけておいてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**お願い**
●障子組立て時に上障子のガラスは室内側から見て、防火ラベルが右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

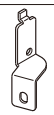
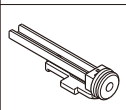
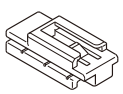
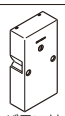
●必ず指定のねじで組立ててください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および外枠取付け用部品セットは、必ず取付けされる方にお渡しください。
●ガラス寸法はダンボールまたはカタログをご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●バランサー部品箱は別売りです。

## ■組立て順序

**1**ガラスの確認
**2**障子部材の仮配置
**3**上障子の組立て
**4**下障子の組立て
**5**枠の組立て
**6**バランサーの取付け
**7**上障子の建込み
**8**下障子の建込み
**9**バランサーの調整
**10**バランサーカバーの取付け

## ■部品・ねじ一覧表

※本文図中の㋑～㋬は、部品・ねじの種類を示します。

| 外枠組立て用 | 障子組立て用 | | | | 障子取付け用 | | バランサー取付け用 | | バランサー（別売り） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋠ | ㋡ | ㋬ |
| | |  |  | |  | | | |  |
| バインドタッピンねじ φ4×30（10本入） | ナベタッピンねじ φ4×25（8本入） | 障子固定金具（LR各1個入） | ピボットヒンジ（2個入） | トラス小ねじ M4×6（D8）（2本入） | アームスライダー（LR各1個入） | トラス小ねじ M4×6（D9.4）（2本入） | バランサーカバー（LR各1個入） | 専用取付けねじ（4本入） | バランサー（LR各1個入） |

## ■組立て順序

**1**ガラスの確認

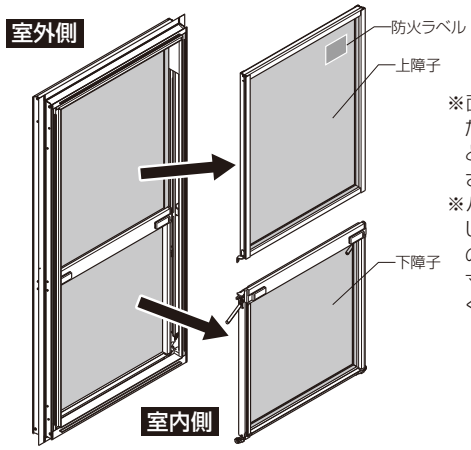
●グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。

**⚠警 告**

●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

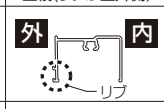
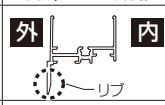
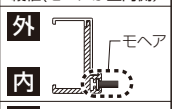
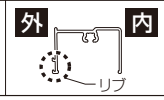
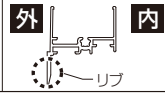
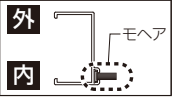
## 2障子部材の仮配置

●ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※下図を参考に 内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。



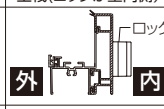
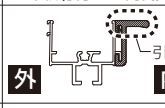
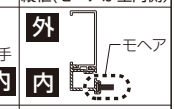
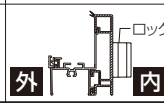
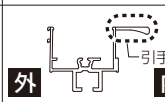
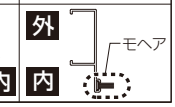

※面一構造の上げ下げ窓のため、全閉状態では上障子と、下障子が同一面に配置されています。
※バランサーを枠内に内蔵しているため、必ず上障子の方が下障子よりガラス寸法、縦框の長さとも大きくなります。

### ●上障子 形材断面および内外方向

| | 上桟(リブが室外側) | 下桟(リブが室外側) | 縦框(モヘアが室内側) |
|---|---|---|---|
| 防火戸 FG H |  |  |  |
| 防火戸 FG S |  |  |  |



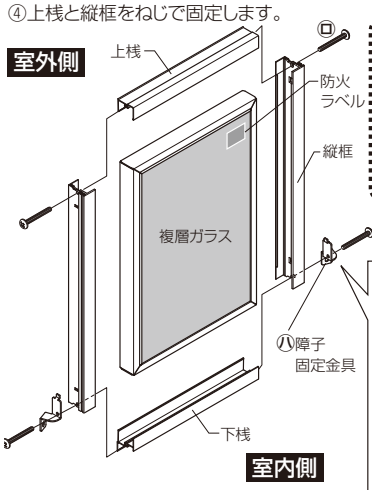
### ●下障子 形材断面および内外方向

| | 上桟(ロックが室内側) | 下桟(引手が室内側) | 縦框(モヘアが室内側) |
|---|---|---|---|
| 防火戸 FG H |  |  |  |
| 防火戸 FG S |  |  |  |

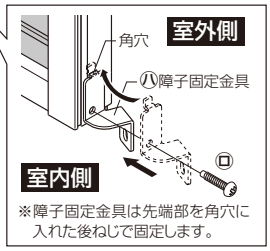


## 3上障子の組立て

①部材の内外を「2障子部材の仮配置」の表にて確認します。
②専用の複層ガラス(別売り)に下桟、縦框、上桟の順にガラスに差込みます。
③下桟と縦框部は 障子固定金具の左右を確認し、取付けた後でねじで固定します。
④上桟と縦框をねじで固定します。



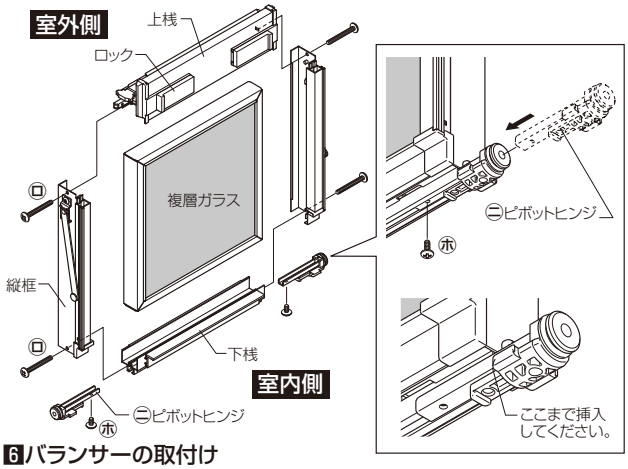

**お願い**
●障子組立て時に上障子のガラスは室内側から見て、防火ラベルが右上にくるように配置してください。




※障子固定金具は先端部を角穴に入れた後ねじで固定します。

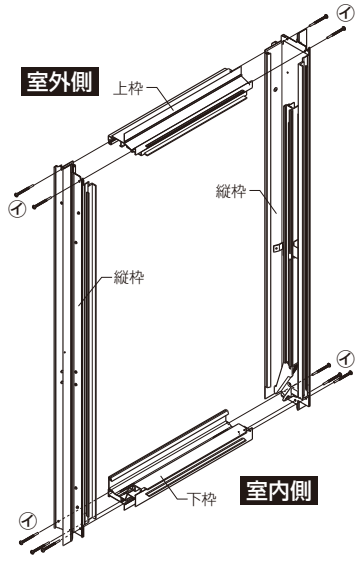
## 4下障子の組立て

①部材の内外を「2障子部材の仮配置」の表にて確認します。
②専用の複層ガラス(別売り)に下桟、縦框、上桟の順にガラスに差込みます。
下桟と縦框部は 樹脂キャップと部材が干渉しないよう組立てます。
③上下桟と縦框をねじで固定します。
④下桟にピボットヒンジを奥まで差込み、ねじ止めします。



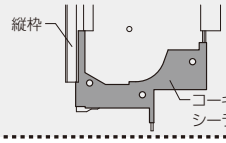

## 5枠の組立て

●各部材の向きを合わせて、ねじ止めします。



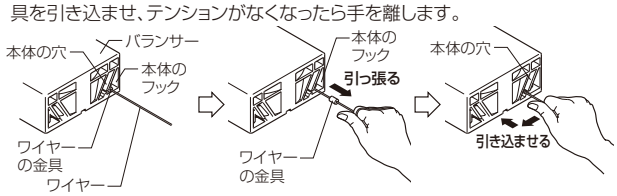

**⚠注 意**
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注 意**
●コーキングシーラーが、下枠のまわりにはみ出るように位置を合わせてねじ止めしてください。
●ねじ止め後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

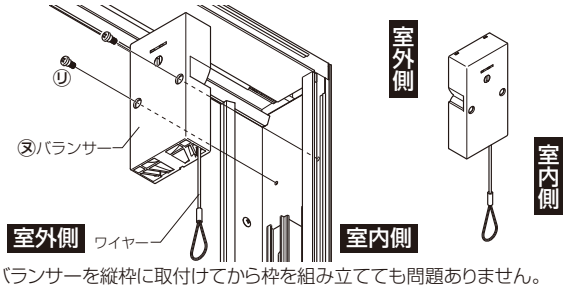



## 6バランサーの取付け

※ガラス厚さ、サッシH、W寸法によって使用するバランサーが異なります。取付け前にバランサーの機種を確認してください。
●バランサー(別売り)のワイヤーを手に巻き少し引っ張り、金具をフックから外します。ゆっくりワイヤーのテンションを緩めていき、バランサーの穴に金具を引き込ませ、テンションがなくなったら手を離します。



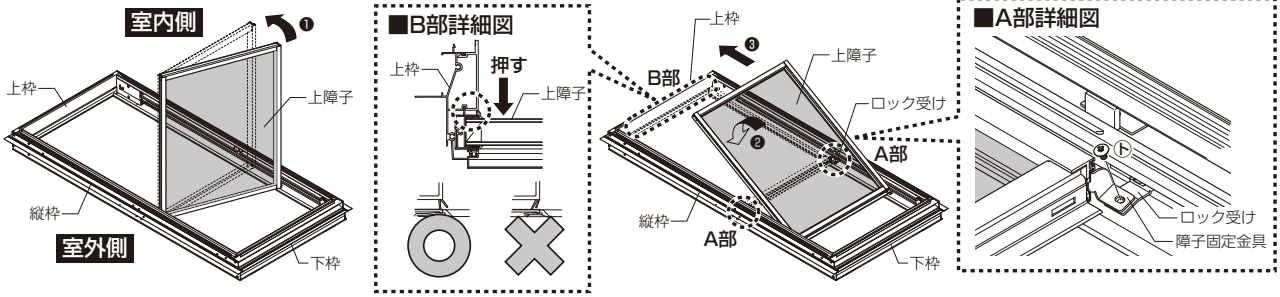

●バランサーはワイヤーが出ている方が室内側になります。このワイヤーが縦枠の溝に入るように、向きを合わせて、ねじで固定します。
※バランサーカバーは必ず調整を行った後に取付けてください。




※バランサーを縦枠に取付けてから枠を組み立てても問題ありません。

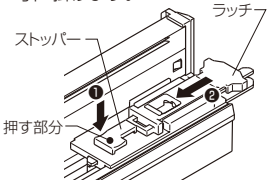
## 7 上障子の建込み

※上障子の建込みは、枠を寝かせた状態で行ってください。
①障子の下桟を、ロック受けより下枠側に下ろし、障子を斜めにして、障子固定金具を枠の溝に入れ、障子を水平にして、枠側にゆっくり倒します。
②障子を上にあげて、上枠の溝に 障子を入れ込みます。その際、挿入に抵抗がありますが、枠の気密材をしっかり当てるためなので、確実に奥まで入れてください。
※上枠の室内側気密材が巻込まれてしまった場合は、上桟部のガラス面を室内側から強く押すと解消します。
③障子下部の障子固定金具をロック受けの穴位置に合わせ、確実にねじ止めします。
④障子の位置はねじをゆるめることで調整できます。




## 8 下障子の建込み

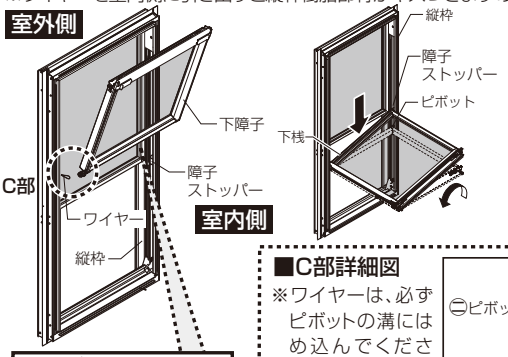
※下障子の建込みは必ず枠を立てた状態で行ってください。
①ラッチを押し込みストッパーに引っ掛けます。



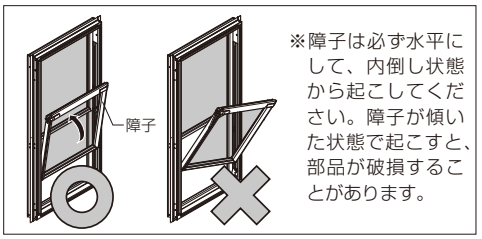

❶この部分を押さえ続けます。
❷ラッチの引手部を引き、❶を離しラッチをストッパーに引っ掛けます。
❸ラッチストッパーを解錠する際は、❶を再度押します。

**⚠ 注 意**
●障子を建込む際は、必ず左右両側のラッチストッパーを解除してください。

②ワイヤーの先端をカシメ部の出張りが室内側にくるように、ピボットの溝にはめ込みます。
③障子を斜めにして、下桟のピボット部が障子ストッパーより下にくるまで垂直に引き下ろしてください。
この位置で障子を水平にしてピボットを縦枠の溝の中に差込み、内倒し状態から障子を起こしてください。
※ワイヤーを室内側に引き出すと縦枠樹脂部材がキズつきますので、できるだけ縦枠溝付近で作業をしてください。

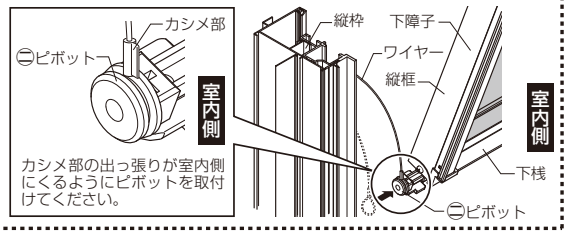



**⚠ 注 意**
●下障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。

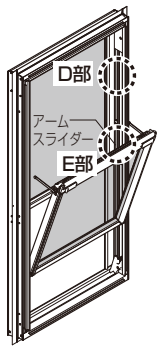


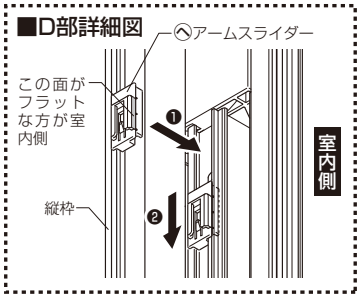

※障子は必ず水平にして、内倒し状態から起こしてください。障子が傾いた状態で起こすと、部品が破損することがあります。

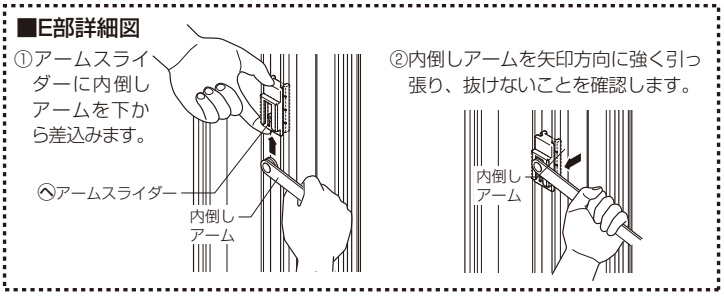
■C部詳細図
※ワイヤーは、必ずピボットの溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れると、バランサーが破損するおそれがあります。



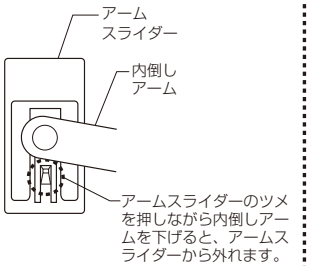

④アームスライダーの左右を確認し、縦枠の上部の切欠きから差込みます。（D部詳細図）
※H750未満には内倒しアームはついていませんので、アームスライダーは使用しません。
⑤アームスライダーに内倒しアームを固定します。（E部詳細図）



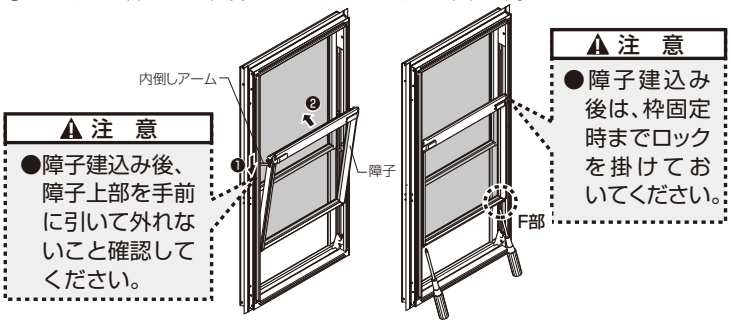



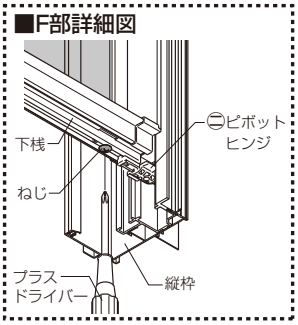




### 内倒しアームの外し方



⑥内倒しアームを押し下げながら、障子を起こし、縦枠の溝位置でラッチをストッパーから開放します。
⑦ピボットが左右に1mm程度のガタツキとなるようねじ位置を調整します。



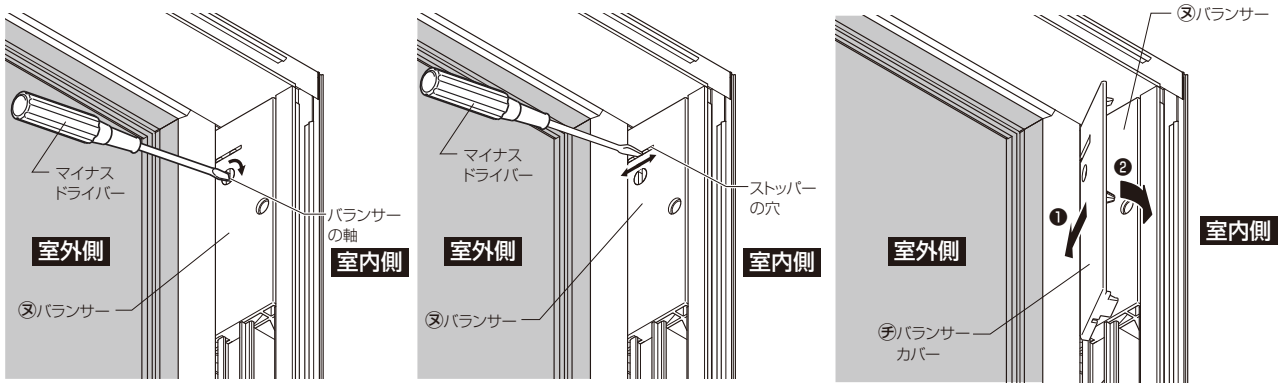




### 9バランサーの調整

※バランサーの調整は枠固定後にも必ず行ってください。
①障子を一番下に下げます。
②障子の上げと下げの力がほぼ均等になるよう、バランサーの軸をマイナスドライバーで回して調整します。(内観右側は時計回り、内観左側は反時計回り)
※左右とも同じ回転数にしてください。軸を回しすぎたときは、ストッパーの穴にマイナスドライバーを差し込んで左右にスライドさせ、戻してください。

### 10バランサーカバーの取付け

※バランサーカバーを取付けた後でも、バランサーの調整ができるよう、軸とストッパー部の位置に合わせて穴が開いています。
●バランサーカバーの左右を確認して、バランサーカバーの室外側の端面全体をもぐり込ませ、倒すように取付けてください。




## ■バランサーの調整目安表

※下表は、バランサー調整のあくまで目安です。
●建付け状態、重量などのバラツキにより変動しますので必ず障子を上げる力と下げる力が同じになるまで調整してください。
●左右の回転数は、必ず同じにしてください。
●1/7回転で「カチッ」と音がします。これを1クリックとします。

### ■防火戸FG H

| 重量機種 | | W呼称 | 023 | 033 | 057 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | サッシW | 300 | 405 | 640 |
| H呼称 | サッシH | ガラス構成 | クリック数 | | |
| 07 | 770 | 3 -A- 6.8 | 22 | 6 | 31 |
| | | 4 -A- 6.8 | 29 | 15 | 6 |
| | | 5 -A- 6.8 | 36 | 24 | 14 |
| 09 | 970 | 3 -A- 6.8 | 53 | 3 | 31 |
| | | 4 -A- 6.8 | 5 | 11 | 42 |
| | | 5 -A- 6.8 | 13 | 19 | 5 |
| 11 | 1170 | 3 -A- 6.8 | 23 | 27 | 33 |
| | | 4 -A- 6.8 | 33 | 3 | 41 |
| | | 5 -A- 6.8 | 3 | 12 | 2 |
| 13 | 1370 | 3 -A- 6.8 | 6 | 15 | 20 |
| | | 4 -A- 6.8 | 14 | 24 | 32 |
| | | 5 -A- 6.8 | 23 | 34 | 44 |
| 特注最小 | 600 | 3 -A- 6.8 | 12 | 26 | 34 |
| | | 4 -A- 6.8 | 1 | 33 | 3 |
| | | 5 -A- 6.8 | 4 | 40 | 10 |

### ■防火戸FG S

| 重量機種 | | W呼称 | 023 | 033 | 057 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | サッシW | 300 | 405 | 640 |
| H呼称 | サッシH | ガラス構成 | クリック数 | | |
| 07 | 770 | 3 -A- 6.8 | 20 | 5 | 30 |
| | | 4 -A- 6.8 | 27 | 14 | 5 |
| | | 5 -A- 6.8 | 34 | 22 | 13 |
| 09 | 970 | 3 -A- 6.8 | 51 | 2 | 29 |
| | | 4 -A- 6.8 | 3 | 10 | 40 |
| | | 5 -A- 6.8 | 11 | 18 | 5 |
| 11 | 1170 | 3 -A- 6.8 | 20 | 25 | 32 |
| | | 4 -A- 6.8 | 31 | 2 | 40 |
| | | 5 -A- 6.8 | 1 | 10 | 1 |
| 13 | 1370 | 3 -A- 6.8 | 4 | 13 | 19 |
| | | 4 -A- 6.8 | 13 | 23 | 31 |
| | | 5 -A- 6.8 | 21 | 33 | 42 |
| 特注最小 | 600 | 3 -A- 6.8 | 11 | 25 | 32 |
| | | 4 -A- 6.8 | 15 | 32 | 2 |
| | | 5 -A- 6.8 | 3 | 39 | 9 |

# 上げ下げ窓

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

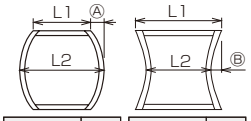
### ⚠注 意

●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・障子は必ず枠を立てた状態で建込み、開閉を行ってください。
・枠固定時までロックをかけておいてください。
・開閉確認後は、必ず左右両方の清掃モードのツマミを施錠してください。その際、必ず窓の上部を手前に引いて外れないことを確認してください。
●ロック受けの調整後は、必ず縦枠カバーが閉まっていることを確認してください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ・米松など）の場合は、φ 25mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

### ■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

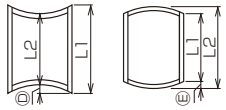
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

### ■サッシ枠対角差

L1−L2=Ⓒ

| C |
|---|
| 2 |

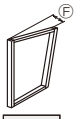
### ■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

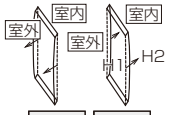
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

### ■サッシ枠のねじれ




| F |
|---|
| 2 |

### ■サッシ枠の室内外のソリ




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

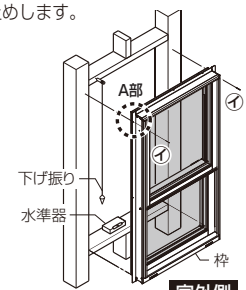
## ■部品・ねじ一覧表

| 外枠取付け用 |
|---|
| ㋑～㋩ |
| |
| 枠取付ねじ（低頭ねじ）φ3.1×25 |
| ㋥ |
| |
| 丸木ねじφ3.5×25 |

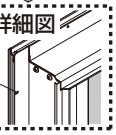
## ■取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。




### ■A部詳細図



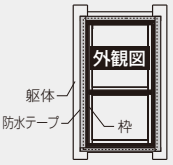

### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋓を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋐、㋥を固定します。
※固定後、必ずバランサーの調整を行ってください。
※枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。開閉不良の原因になることがあります。
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。
枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

### ⚠注 意

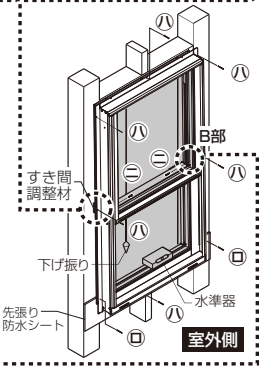
●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。




**お願い**
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

### ■B部詳細図

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

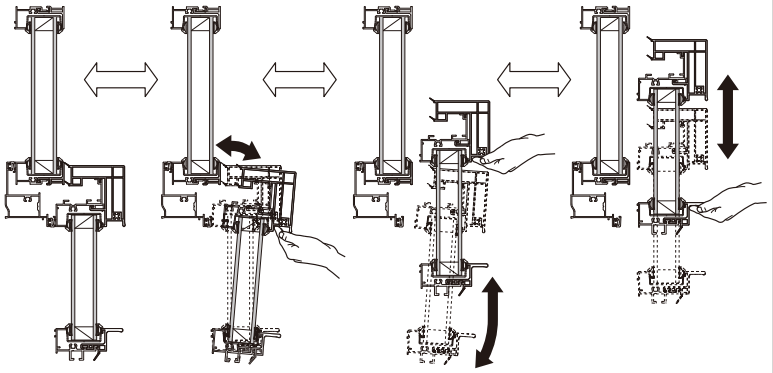


## ■障子の基本操作確認

※下記操作がスムーズに行えるか必ず確認願います。

### 1障子基本開閉操作

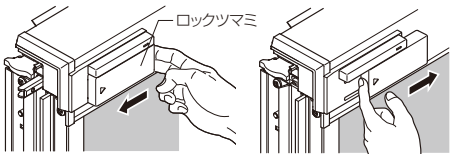
※本上げ下げの開閉操作は、下図のように一度障子を内側に引き出し、全開していきます。



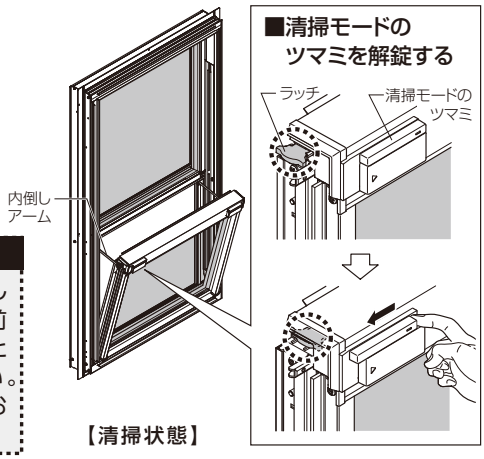
【全閉状態】　【換気状態】　【半開状態】　【全開状態】

### 2ロック基本操作

※ロック操作は全閉状態、換気状態で操作できます。




【ロック施錠】　【ロック解錠】




【清掃状態】

### 3清掃用内倒し操作

①窓を換気状態に内倒しします。
②清掃モードのツマミを解錠します。
③障子を支えながら内倒しすると、ガラスの外面の清掃が可能です。
④清掃後、窓を元に戻すときは、内倒しアームを押し下げながら、水平に窓を起こし、全閉状態にし、清掃モードのツマミを施錠します。
⑤窓の上部を手前に引いて、ラッチが外れないことを確認します。

**⚠注　意**

●清掃後、窓を元に戻したら、窓の上部を手前に引いて外れないことを確認してください。障子が落下・外れるおそれがあります。

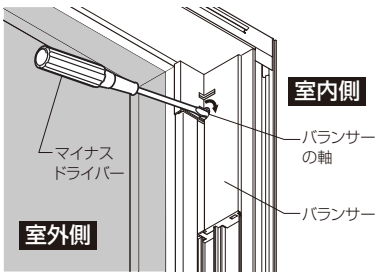
## ■障子の調整

### 1開閉操作の上げと下げで重さが異なる場合/開閉が著しく重い場合

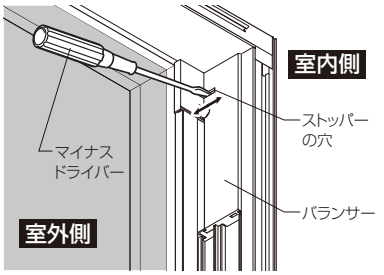
※バランサーの調整を実施してください。

**●バランサーの調整**

①障子を一番下に下げます。
②障子の上げと下げの力がほぼ均等になるよう調整します。上げが重い場合はバランサーの軸をマイナスドライバーで回して調整します。(内観右側は時計回り、内観左側は反時計回り)
※左右とも同じ回転数にしてください。




※下げが重い場合はストッパーの穴にマイナスドライバーを差込んで左右にスライドさせ、バランサーの軸を戻してください。




### 2ロックの操作が重い場合/下障子と無目の気密材が当たらない場合

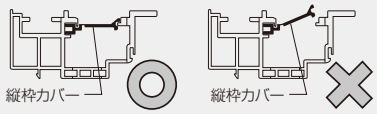
※ロック受けの調整を実施してください。

**●ロック受けの調整**

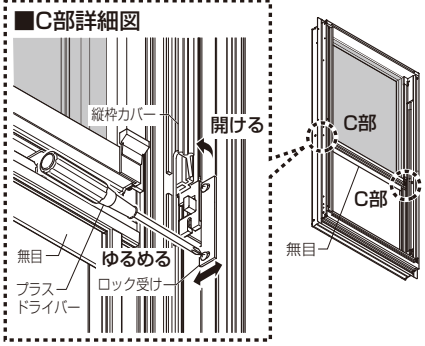
①下障子を一番下に下げ、清掃状態にします。
②縦枠カバーを開け、ロック受けのねじをプラスドライバーで1～2回転ほどゆるめます。
③ロック受けを前後に動かし調整し、ねじがゆるまないようにしっかり締めます。
④縦枠カバーを閉めます。
※ロックの操作が重い場合、室内側へ動かしてください。
※下障子と無目の気密材が当たらない場合、室外側へ動かしてください。
※下障子を外すと作業がしやすくなります。

**⚠注　意**

●ロック受けの調整後は、必ず縦枠カバーが閉まっていることを確認してください。




**■C部詳細図**

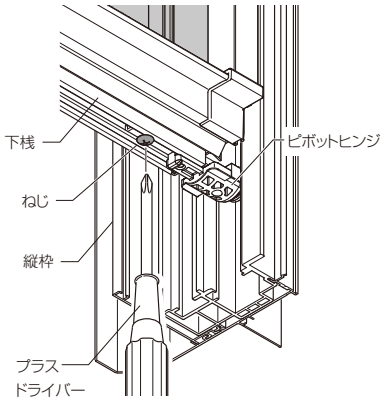



### 3下障子が左右にガタつく場合

※ピボットヒンジの調整をしてください。

**●ピボットヒンジの調整**

①下障子を全開にします。
②下障子下桟両端のねじをプラスドライバーで1～2回転ほどゆるめます。
③ピボットヒンジが左右に1mm程度のガタつきになるようねじ位置を調整し、ねじがゆるまないようにしっかり締めます。



# 上げ下げ窓FS

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠注 意

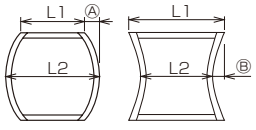
●本製品は、製品重量が最大40kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●上障子の高さ調整のねじはゆるめるだけで決して外さないでください。また、調整終了後はねじがゆるまないようしっかり締め直してください。障子の落下のおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・障子は必ず枠を立てた状態で建込み、開閉を行ってください。
・枠固定時までロックをかけておいてください。
・開閉確認後は、必ず左右両方のラッチストッパーを解除してください。その際、必ず窓の上部を手前に引いて外れないことを確認してください
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

**お願い(防火戸の場合)**
※障子組立て時に上障子のガラスは室内側から見て、防火ラベルが右上にくるように配置してください。

## ■取付け上のお願い

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

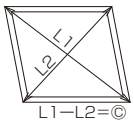
**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

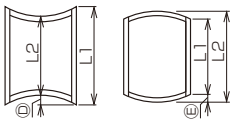
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 2 |

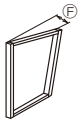
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

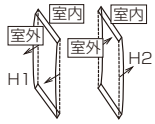
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■部品・ねじ一覧表

※本文中の㋑は、部品・ねじの種類を示します。

外枠取付け用

㋑

スクリュー釘φ2.1×32

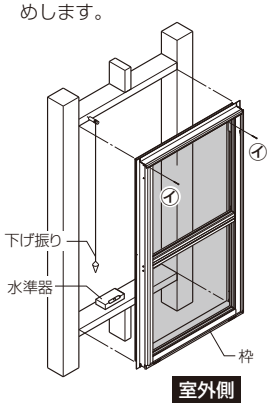
㋺

丸木ねじφ3.5×25

## ■取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

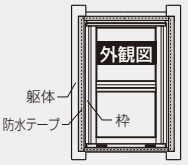



### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※固定後、必ずバランサーの調整を行ってください。
※枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。開閉不良の原因になることがあります。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

**⚠注 意**

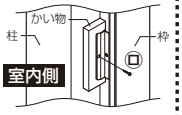
●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



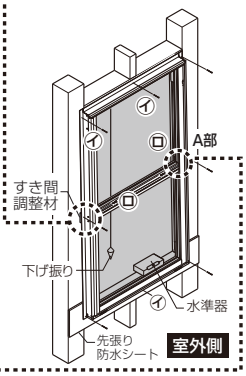

**お願い**
※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

**■A部詳細図**

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。




**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

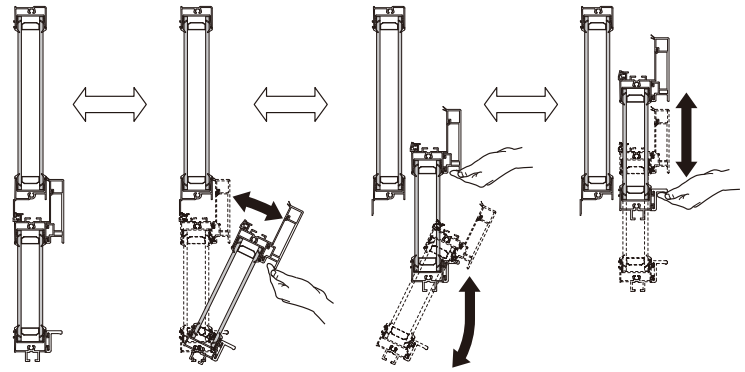


## ■障子の基本操作確認

※下記操作がスムーズに行えるか必ず確認願います。

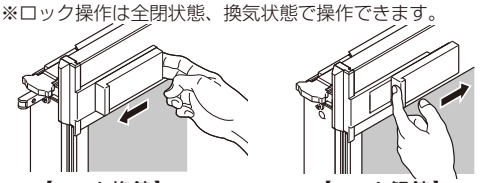
### ❶障子基本開閉操作

※本上げ下げ窓は全閉時障子が一直線になる構造となっていますので、開閉操作も、下図のように一度障子を内側に引き出し、全開していきます。




### ❷ロック基本操作

※ロック操作は全閉状態、換気状態で操作できます。

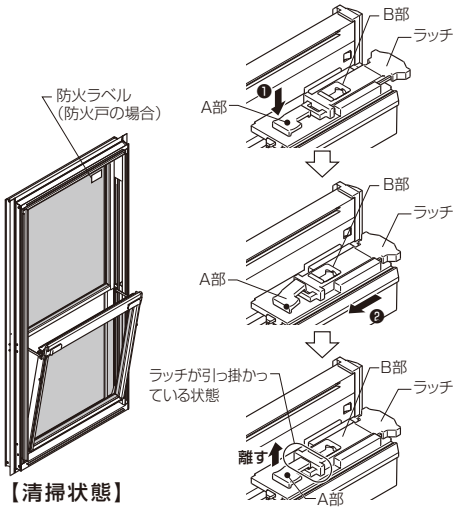



### ❸清掃用内倒し操作

①窓を換気状態に内倒しします。
②ラッチのA部を押さえ続けます。
③ラッチのB部を引き、A部を離してラッチを固定します。左右両方で①②を実施します。
④障子を支えながら内倒しすると、ガラスの外面の清掃が可能です。
⑤清掃後、窓を元に戻すときは、内倒しアームを押し下げながら、水平に窓を起こし、縦枠の溝位置で左右両方のラッチA部を押します。
⑥窓の上部を手前に引いて、ラッチが外れないことを確認します。

**⚠注　意**

●清掃後、窓を元に戻したら、窓の上部を手前に引いて外れないことを確認してください。障子が落下・外れるおそれがあります。



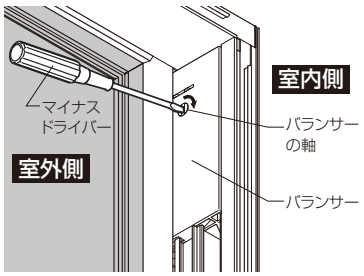

## ■障子の調整

### ❶開閉操作の上げと下げで重さが異なる場合/開閉が著しく重い場合

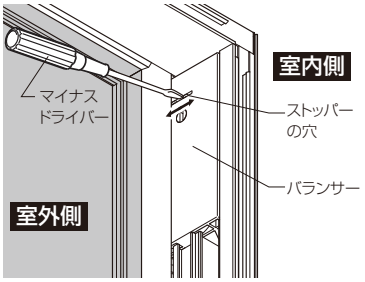
※バランサーの調整を実施してください。

**●バランサーの調整**

①障子を一番下に下げます。
②障子の上げと下げの力がほぼ均等になるよう調整します。上げが重い場合はバランサーの軸をマイナスドライバーで回して調整します。(内観右側は時計回り、内観左側は左時計回り)
※左右とも同じ回転数にしてください。




※下げが重い場合はストッパーの穴にマイナスドライバーを差込んで左右にスライドさせ、戻してください。

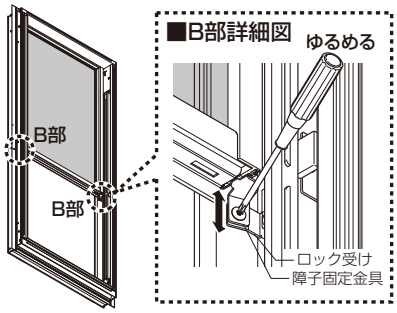



### ❷ロックラッチの操作が重い場合/下障子の室外側の気密材が当らない場合

※上障子の高さとロック受けの調整を実施してください。

**●上障子の高さ調整**

①下障子を全開にします。
②左右の障子固定金具のねじをプラスドライバーで1～2回転ほどゆるめます。
③上障子を上下に動かし調整し、ねじがゆるまないようにしっかり締めます。
※ロックラッチの操作が重い場合、上障子を上げてください。
※下障子の気密材が当らない場合、上障子を下げてください。
※下障子を外すと作業がしやすくなります。

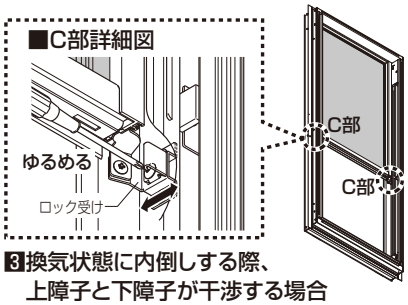



**⚠注　意**

●ねじはゆるめるだけで決して外さないでください。また、調整終了後はねじがゆるまないようしっかり締め直してください。障子の落下のおそれがあります。

**●ロック受けの調整**

①下障子を全開にします。
②ロック受けのねじをプラスドライバーで1～2回転ほどゆるめます。
③ロック受けを前後に動かし調整し、ねじがゆるまないようにしっかり締めます。
※ロックラッチの操作が重い場合、室内側へ動かしてください。
※下障子の気密材が当らない場合、室外側へ動かしてください。
※下障子を外すと作業がしやすくなります。




### ❸換気状態に内倒しする際、上障子と下障子が干渉する場合

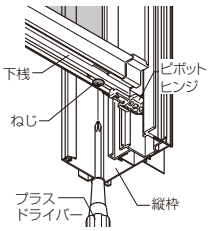
※「●上障子の高さ調整」を参照に上障子を上げてください。

### ❹下障子が左右にガタつく場合

※ピボットの調整をしてください。

**●ピボットの調整**

①下障子を全開にします。
②下障子下桟両端のねじをプラスドライバーで1～2回転ほどゆるめます。
③ピボットが左右に1mm程度のガタつきになるようねじ位置を調整し、ねじがゆるまないようにしっかり締めます。



# 上げ下げ窓FS

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

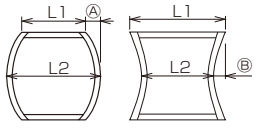
●本製品は、製品重量が最大40kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・障子は必ず枠を立てた状態で建込み、開閉を行ってください。
・枠固定時までロックをかけておいてください。
・開閉確認後は、必ず左右両方のラッチストッパーを解除してください。その際、必ず窓の上部を手前に引いて外れないことを確認してください
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

**お願い**
障子組立て時に上障子のガラスは室内側から見て、防火ラベルが右上にくるように配置してください。

## ■取付け上のお願い

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

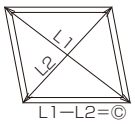
**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

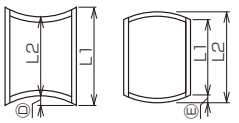
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 2 |

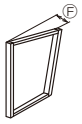
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

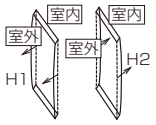
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■部品・ねじ一覧表

※本文中の㋑は、部品・ねじの種類を示します。

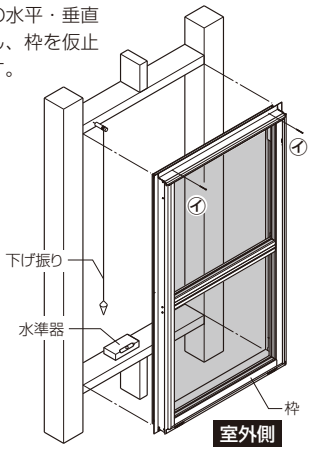
| 外枠取付け用 |
|---|
| ㋑ |

スクリュー釘φ2.1×32

## ■取付け順序

**❶枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

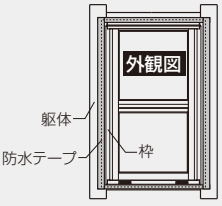



**❷枠の調整と固定**

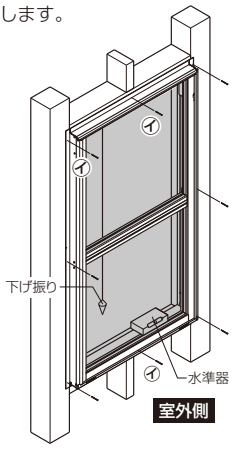
●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※固定後、必ずバランサーの調整を行ってください。
※枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
開閉不良の原因になることがあります。

**⚠注　意**

●本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。




**お願い**
※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

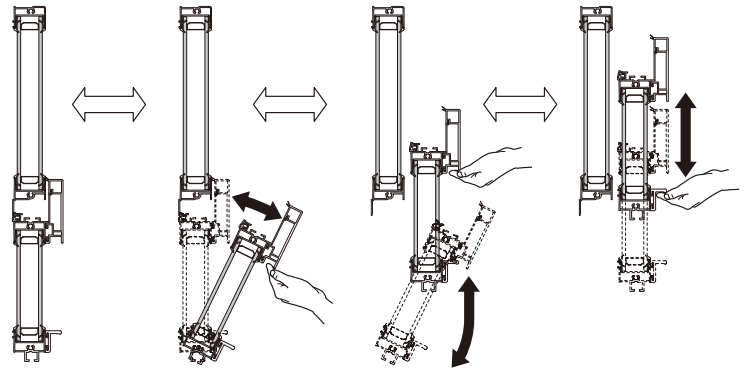


## ■障子の基本操作確認

※下記操作がスムーズに行えるか必ず確認願います。

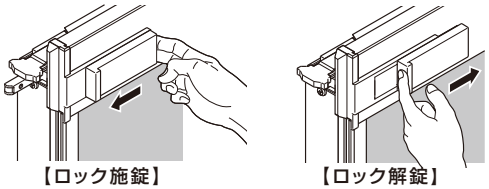
### ❶障子基本開閉操作

※本上げ下げ窓は全閉時障子が一直線になる構造となっていますので、開閉操作も、下図のように一度障子を内側に引き出し、全開していきます。




### ❷ロック基本操作

※ロック操作は全閉状態、換気状態で操作できます。

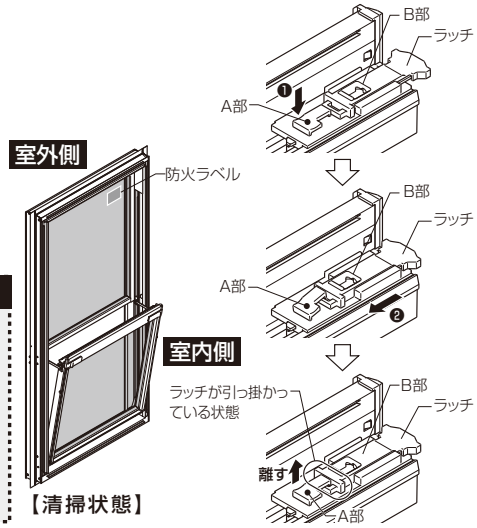



### ❸清掃用内倒し操作

①窓を換気状態に内倒しします。
②ラッチのA部を押さえ続けます。
③ラッチのB部を引き、A部を離してラッチを固定します。左右両方で①②を実施します。
④障子を支えながら内倒しすると、ガラスの外面の清掃が可能です。
⑤清掃後、窓を元に戻すときは、内倒しアームを押し下げながら、水平に窓を起こし、縦枠の溝位置で左右両方のラッチA部を押します。
⑥窓の上部を手前に引いて、ラッチが外れないことを確認します。

**⚠注　意**

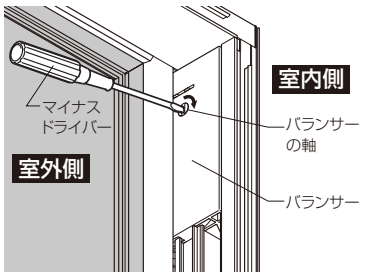
●障子の落下、外れ防止のため、必ず下記事項をお守りください。
・清掃後、窓を元に戻したら、窓の上部を手前に引いて外れないことを確認してください。



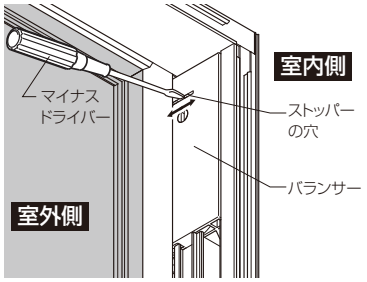

## ■障子の調整

### ❶バランサーの調整

※開閉操作で上げ下げの力が不均等な場合や、著しく開閉が重い場合、必ず実施してください。
①障子を一番下に下げます。
②障子の上げと下げの力がほぼ均等になるよう調整します。上げが重い場合はバランサーの軸をマイナスドライバーで回して調整します。(内観右側は時計回り、内観左側は左時計回り)
※左右とも同じ回転数にしてください。

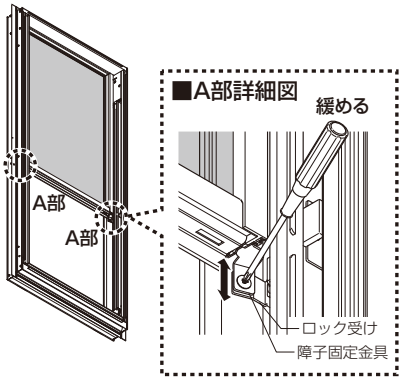



※下げが重い場合はストッパーの穴にマイナスドライバーを差し込んで左右にスライドさせ、戻してください。




### ❷上障子の高さ調整

※換気状態に内倒しする際、上障子と下障子が干渉する場合や、室外側中央部の気密材が当らない場合は、必ず実施してください。
①下障子を全開にします。
②左右の障子固定金具のねじをプラスドライバーで1～2回転ほど緩めます。
③上障子を上下に動かし調整し、ねじが緩まないようにしっかり締めます。
※下障子を外すと作業がしやすくなります。下障子の取外し方法は組立て説明書を参考にしてください。

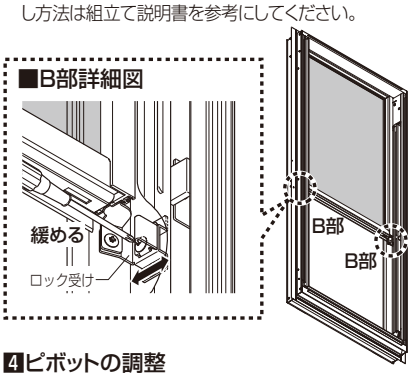



**⚠注　意**

●障子の落下のおそれがありますので、ねじは緩めるだけで決して外さないでください。調整終了後はねじが緩まないようしっかり締め直してください。

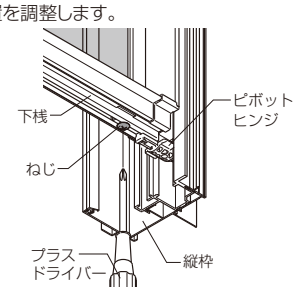
### ❸ロック受け調整

※施錠時ロック操作が重い場合や、中央部の気密材の当たりが弱い場合は必ず実施してください。
①下障子を全開にします。
②ロック受けのねじをプラスドライバーで1～2回転ほど緩めます。
③ロック受けを前後に動かし調整し、ねじが緩まないようにしっかり締めます。
※下障子を外すと作業がしやすくなります。下障子の取外し方法は組立て説明書を参考にしてください。




### ❹ピボットの調整

※ピボットが左右に1mm程度のガタツキとなるようねじ位置を調整します。



# FIX窓(外押縁タイプ)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

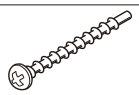
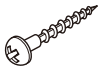
**⚠注 意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書及び取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
●連窓する場合は、連窓側の縦枠にブラケットは取付けないでください。

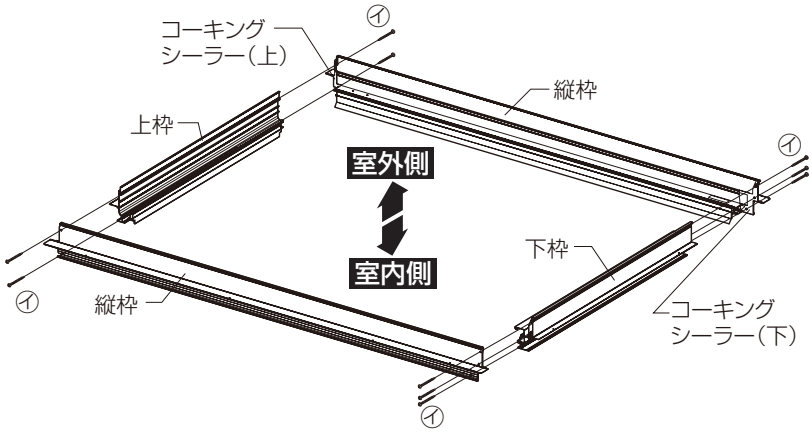
## ■ねじ・部品一覧表

| ㋑ | ㋺ |
|---|---|
|  |  |
| バインドタッピンねじ φ4×30 | 丸木ねじ φ3.5×25 |
| 組立て用 | 躯体取付け用 |

※㋺は取付け説明書といっしょに、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■組立て順序

❶各部材の室内側・室外側の向きを合わせてねじ止めします。




**⚠注 意**

●漏水防止のため、ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

# FIX窓(外押縁タイプ)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

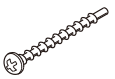
**⚠ 注 意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 縦枠と下枠の接合部はコーキングシーラーなどで段差があるため、防水シール張付けの際は段差部などにすき間ができないように押さえて形材と密着させてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書及び取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

## ■ねじ・部品一覧表

| ㋑ | ㋺ |
|---|---|
|  バインドタッピンねじ φ4×30 | 防水シール |
| 組立て用 | |

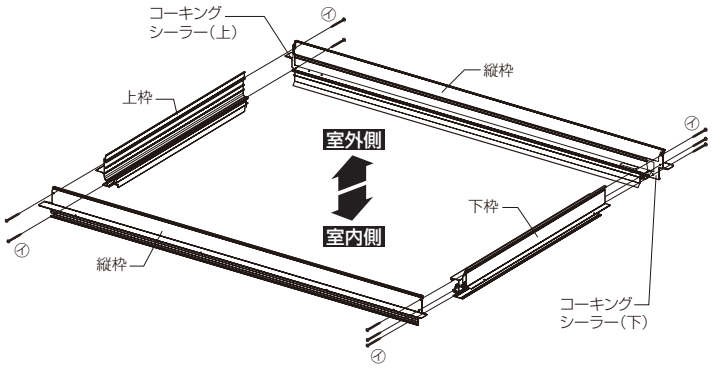
※㋺はサイズにより無い場合があります。

## ■組立て順序

**1** 各部材の室内側・室外側の向きを合わせてねじ止めします。

**⚠ 注 意**

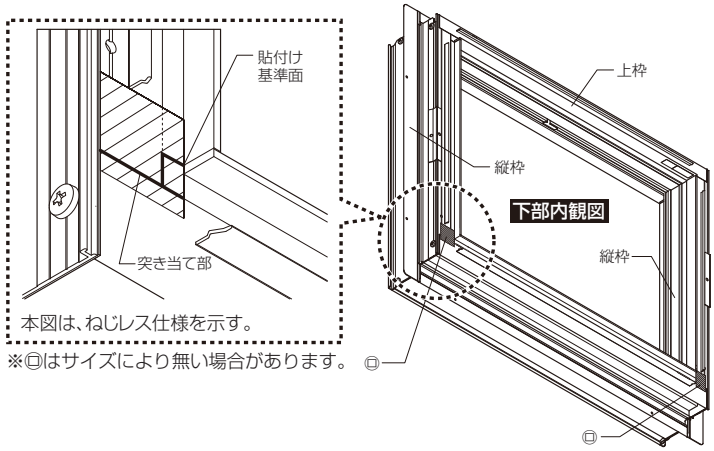
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。
●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。




**2** 防水シールを縦枠と下枠の接合部に張付けします。
※浴室で使用する場合は、本シールは張らず、浴室用防水部品セット(別売品)に同梱されている、浴室用防水シールを張付け願います。
①防水シールのリケイ紙を片面はがします。
②張付け基準：右図の太線部(縦枠と下枠の突き当て部)を塞ぐように張付けます。

**⚠ 注 意**

●縦枠と下枠の接合部はコーキングシーラーなどで段差があるため、段差部などにすき間ができないように押さえて形材と密着させてください。
漏水の原因になるおそれがあります。



# FIX窓(外押縁タイプ)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.は、ブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

●防火戸FGの場合、複層ガラス・後付けビードは必ず指定のものを使用してください。
指定部品を使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
●本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大130kgとなります。
枠の垂れ下がり・ガラス落下防止のため、下記事項をお守りください。
・必ず指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
・ガラス入れ後、ガラスを外れにくくするため、外れ止めガラス本体を、必ず指定のねじで取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)を使用してください。

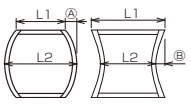
**お願い**
●防火戸 FG の場合、ガラス建込み時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

## ■取付け上のお願い

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。(204単純段差の場合は27.5mm)
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

■サッシ枠のフクレ・ツヅミ



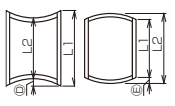

| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠対角差

| C |
|---|
| 2 |

■サッシ上下枠の内反り・外反り



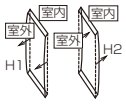

| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ

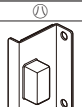
| F |
|---|
| 2 |

■サッシ枠の室内外の反り




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■取付けねじ・押縁・部品一覧表

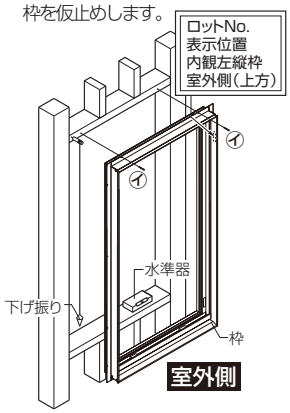
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | 押縁 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | |  | | | | | |
| スクリュー釘 φ2.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 | 外れ止めガラス本体 | ワンウェイねじ M4×12 | なべタッピンねじ3種 M4×10 | 外れ止めビード | 上用／1本 | 縦用／2本 |

※㋺はサイズにより無い場合があります。

## ■取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

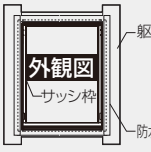



### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。
縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

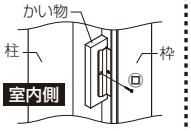
**⚠注 意**

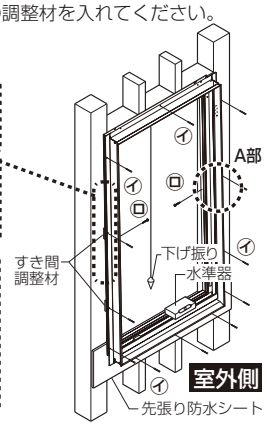
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。




**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

■A部詳細図
※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

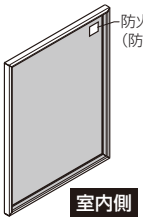


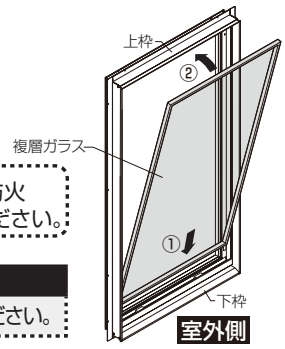



## ■取付け順序

### 3ガラスの建込み

●下枠→上枠の順にガラスを室外側からはめ込みます。
※防火戸 FG の場合、ガラスは、防火ラベルが内観右上になるようにはめ込んでください。



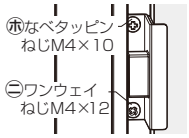



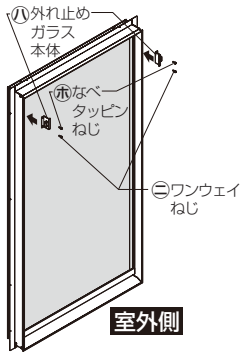

**お願い**
※防火戸 FG の場合、室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

**⚠注 意**
●複層ガラスは必ず指定のものを使用してください。

### 4外れ止めガラス本体の取付け

●外れ止めガラス本体を取付け穴に合わせ、ねじ㋩㋭で固定します。
※ねじの種類と位置を間違えないようにしてください。
※ねじが固定しにくい場合は、ガラスを片側に寄せ、十分なクリアランスを確保して固定してください。ねじを固定した後は、ガラスを中央の位置に戻してください。
※ねじの固定、取外し時にドライバーとガラスが接触しないようにしてください。

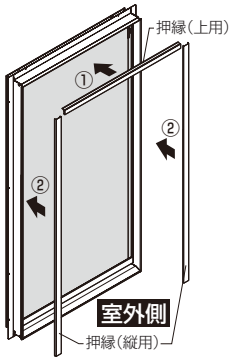


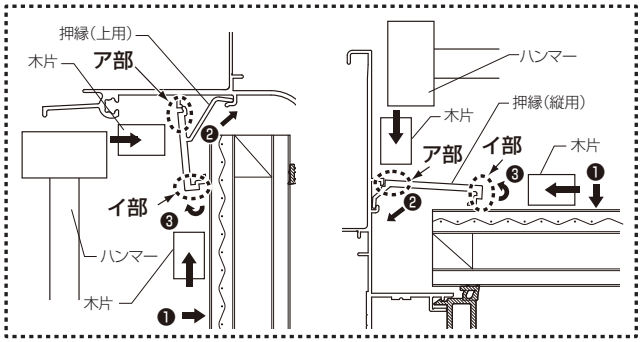




**⚠注 意**
●必ず指定のねじで取付けてください。

### 5押縁の取付け

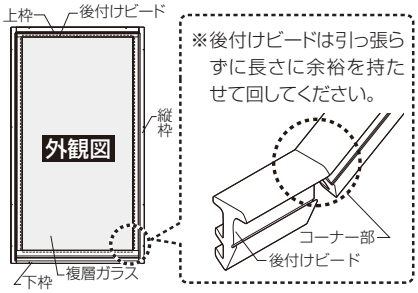
●上→縦の順に押縁を入れます。
●樹脂形材の軟質部が潰れるよう、図の❶のようにガラスを室内側に押し当てます。
●図の❷のように押縁の足部を枠の引っ掛け部に入れ、❸のように回転させます。その際押縁が入り難い場合は、木片などで当て木をし、ハンマーなどで押縁のア部、イ部の順に叩いて、入れます。

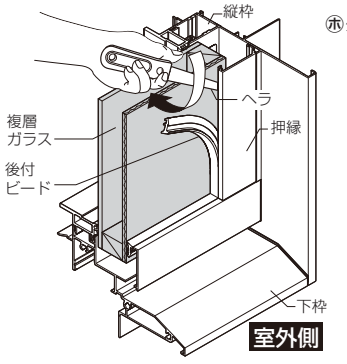


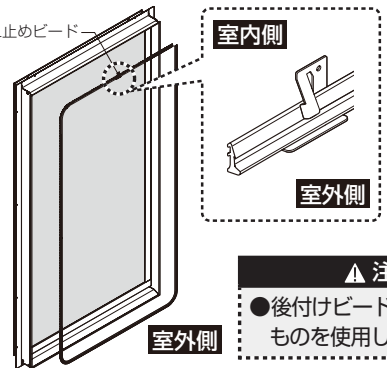




### 6後付けビード及び外れ止めビードの取付け

●㋣外れ止めビードに後付けビードを挿入し、外れ止めビードが上部中央にくるようにして四方に後付けビードを回します。
※後付けビードは、必ず上部のコーナーにつなぎ目をもってきてください。
※後付けビードは引っ張らずに長さに余裕を持たせて回してください。目安として10mm/m長くしてください。
※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。またヘラなどを押縁とガラスのクリアランスに入れ、軽くひねるなど、クリアランスを広げると後付けビードが入れやすくなります。その際、ヘラの先端でガラスのエッジをキズつけないようご注意ください。それでもきつい場合は、サーモスの場合、後付けビードC＝2（別売り）をご使用ください。また、ビードの押込みがゆるい場合は、サーモスの場合、後付けビードC=4（別売り）をご使用ください。

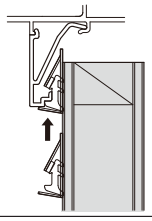



**⚠注 意**
●後付けビードは必ず指定のものを使用してください。

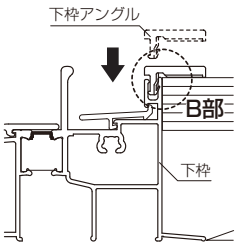
**■外れ止めビードの取付け**
※カチッと音がするまで差込んでください。



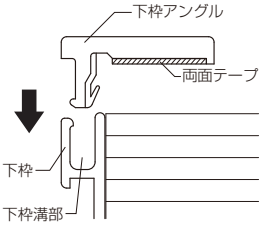
## ■下枠アングルの取付け

### ■下枠アングルの取付け（テラスのみ）

※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は、縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




**■B部詳細図**



# FIX窓（内押縁タイプ）

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

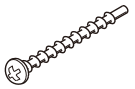
**⚠注 意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

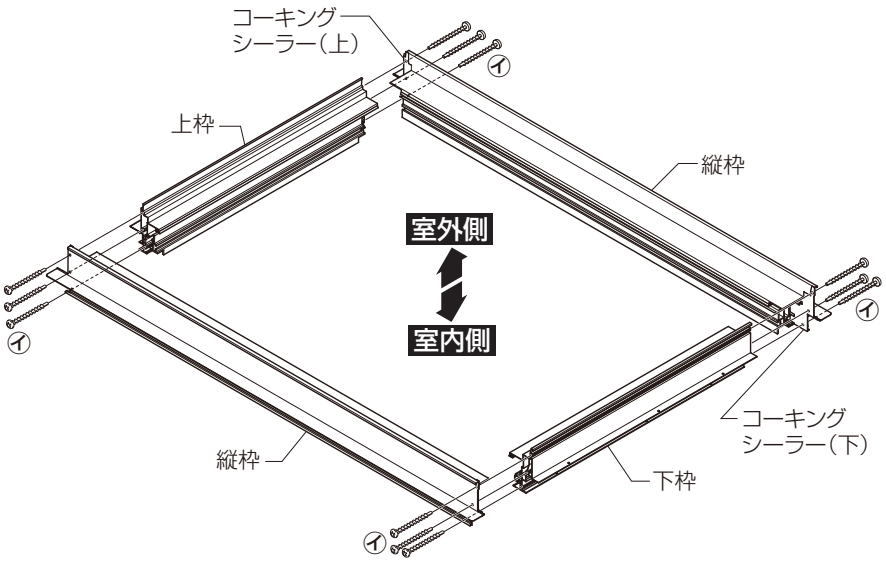
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ガラス寸法はダンボールをご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。
●連窓する場合は、連窓側の縦枠に取付けされているブラケットは外してください。

## ■ねじ・部品一覧表

| ㋑ |
|---|
|  |
| 枠組立ねじ（バインドタッピンねじ）φ4×30 |
| 組立て用 |

## ■組立て順序

❶各部材の室内側・室外側の向きを合わせてねじ止めします。




**⚠注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。
●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

# FIX窓(内押縁タイプ)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

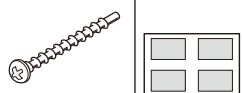
**⚠注 意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分(躯体取付側の2ヵ所)には隙間隠し部品シールの上に浴室防水部品セット(別売り)を張付けてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書及び取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ガラス寸法はダンボールをご覧ください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。(防火戸の場合は、連窓・段窓不可となります)
●連窓する場合は、連窓側の縦枠に取付けされているブラケットは外してください。

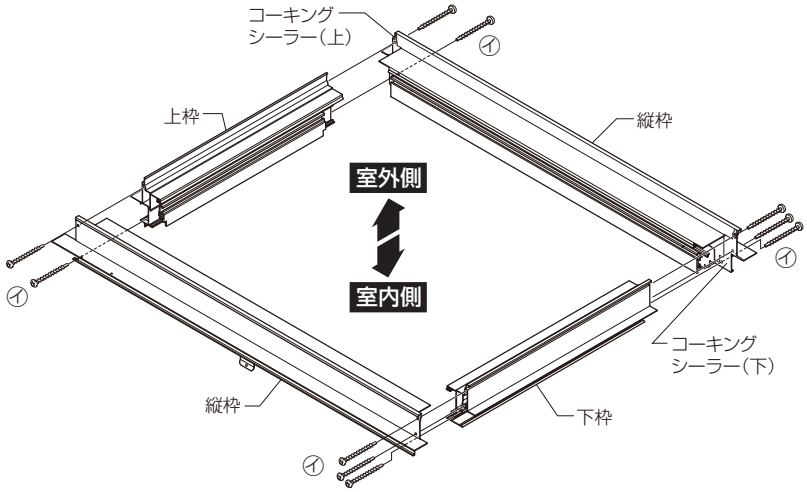
## ■ねじ・部品一覧表

| ㋑ | ㋺ |
|---|---|
|  | |
| バインドタッピンねじ φ4×30 | 隙間隠し部品シール |
| 組立て用 | |

※一部品種・機種には、隙間隠し部品セットがない場合があります。

## ■組立て順序

1 各部材の室内側・室外側の向きを合わせてねじ止めします。




**⚠注 意**

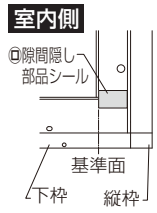
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。
●縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上·下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

## ■隙間隠し部品シールの取付け

●縦枠と上枠(下枠)の接合部分(室内側4ヵ所)に張付けてください。
①張付け側のリケイ紙をはがします。
②基準面を合わせて張付けます。

〔上部詳細図〕

〔下部詳細図〕




**…お願い**

※隙間隠し部品セットはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
※防火商品の場合は部品セットに同梱されている組立て説明書を確認ください。

**⚠注 意**

●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分(躯体取付側の2ヵ所)には隙間隠し部品シールの上に浴室防水部品セット(別売り)を張付けてください。

# FIX窓（内押縁タイプ）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.は、ブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

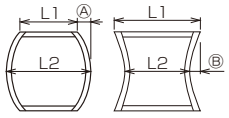
**⚠注 意**

●本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大150kgとなります。
枠の垂れ下がり・ガラス落下防止のため、下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじで枠を固定してください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・開口部を付け枠等でふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）を使用してください。

## ■取付け上のお願い

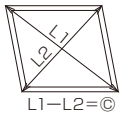
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ・米松など）の場合は、φ 2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**



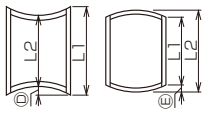

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**



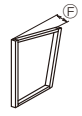

| C |
|---|
| 2 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**



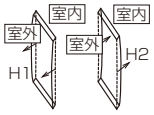

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**

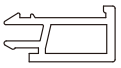



| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台（下枠取付け位置）から37.5±1mmにしてください。（204単純段差の場合は27.5mm）
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。
●特殊薄板を使用したトリプルガラス（室内側）に吸着チャック（吸盤）を使用される場合、エッジから200mm以内の位置に吸着して使用してください。ガラスのたわみの影響を受けにくく、安定して取付けることができます。

## ■取付けねじ・押縁一覧表

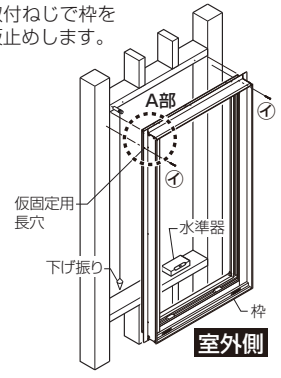
| ㋑～㋩ | ㋥ |
|---|---|
| | |
| 枠取付ねじ（低頭ねじ）φ3.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 |

| 押　縁 | |
|---|---|
| |  |
| 上用／1本 | 縦用／2本 |

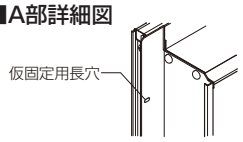
## ■取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付ねじで枠を仮止めします。




**■A部詳細図**

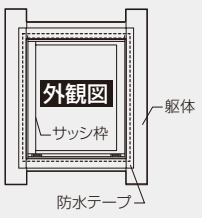



### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋺を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋑、㋥を固定します。
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付てください。枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

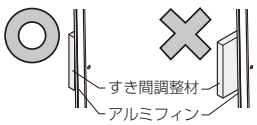
**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



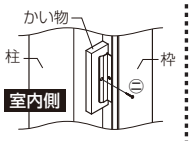

**お願い**

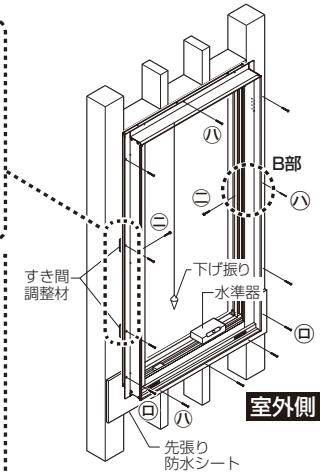
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




**■B部詳細図**

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

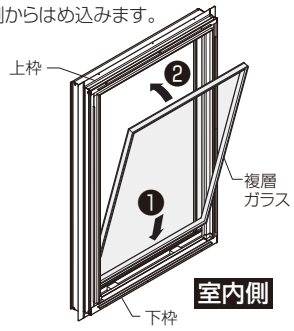


## ■取付け順序

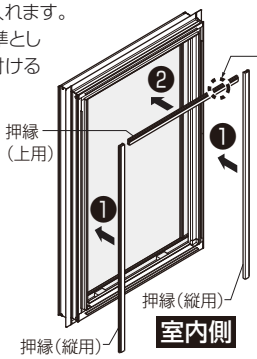
### 3 ガラスの建込み

●下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。



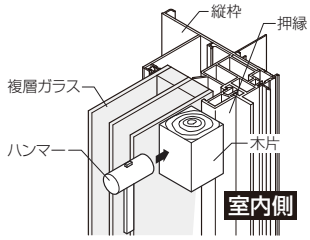

### 4 押縁の取付け

●縦→上の順に押縁を入れます。
※押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



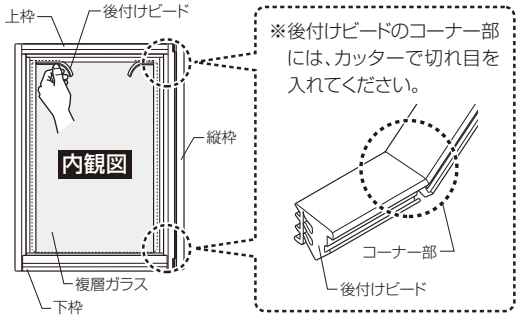

**お願い**

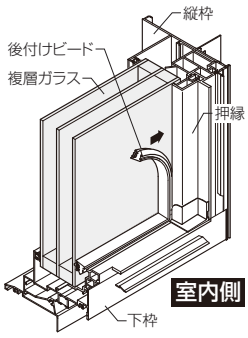
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。




### 5 後付けビードの取付け

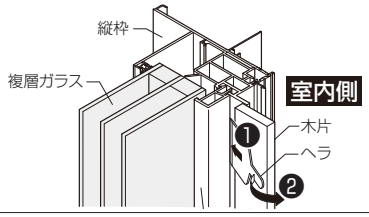
●4方に後付けビードをまわします。
※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。



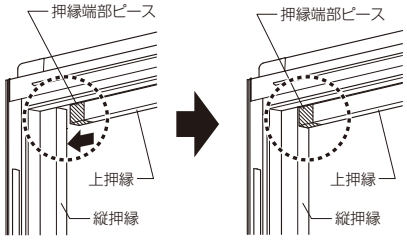

### ■ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に下図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)

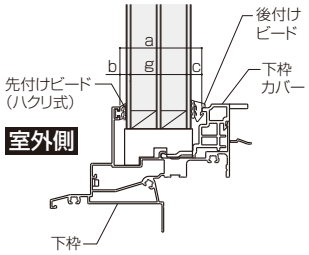



### ■押縁端部ピースの調整

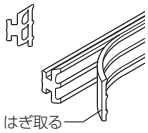
●W>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。




### ■ガラスビードの使用区分




### ■先付けビードのハクリ方法




### ■PG(複層ガラス)トリプルガラス(kr) a=34

| ガラス厚(g)(mm) | ガラス構成 | 先付けビード(b) | | 後付けビード(c)(別売り) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 22 | 3−16−3 | 4 | | 8 | ECZ□11 |
| 23 | 3−16−4 | 3(ハクリ) | | 8 | |
| 24 | 4−16−4 | 4 | | 6 | ECZ□33 |
| 25 | 5−16−4 | 3(ハクリ) | | 6 | |
| 26 | 5−16−5 | 4 | | 4 | ECZ□35 |
| 27 | 6.8−16−4<br>3-10-1.3-10-3 | 4 | | 3 | ECZ□36 |

### ■トリプルガラス(Ar) a＝45

| ガラス厚(g)(mm) | ガラス構成 | 先付けビード(b) | | 後付けビード(c)(別売り) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 35 | 3-14-1.3-14-3 | 4 | | 6 | ECZ□33 |

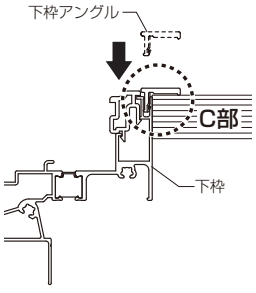
## ■下枠アングルの取付け

### ■下枠アングルの取付け(テラスのみ)

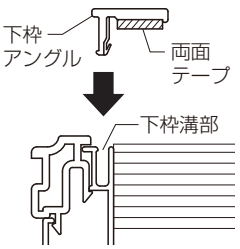
※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に3mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は、縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

**●下枠アングルがねじレスの場合**

①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




**■C部詳細図**



# FIX窓（内押縁タイプ）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.は、ブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

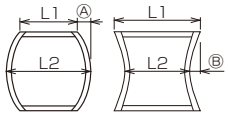
**⚠注 意**

●本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大150kgとなります。
枠の垂れ下がり・ガラス落下防止のため、下記事項をお守りください。
・必ず指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・開口部を付け枠等でふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）を使用してください。

## ■取付け上のお願い

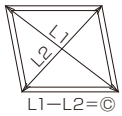
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**



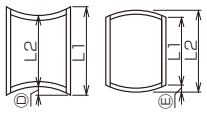

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**



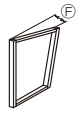

| C |
|---|
| 2 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**



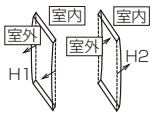

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

**■サッシ枠の室内外の反り**

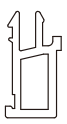
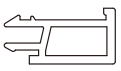



| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台（下枠取付け位置）から37.5±1mmにしてください。（204単純段差の場合は27.5mm）
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

## ■取付けねじ・押縁一覧表

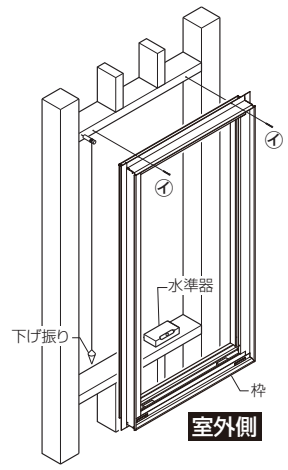
| ㋑ | ㋺ |
|---|---|
| | |
| スクリュー釘 φ2.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 |

| 押縁 | |
|---|---|
|  |  |
| 上用／1本 | 縦用／2本 |

## ■取付け順序

**1枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

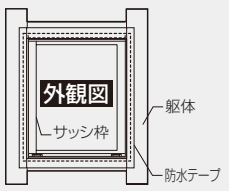



**2枠の調整と固定**

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。
縦枠および上下枠が外側にころび、不具合が発生することがあります。

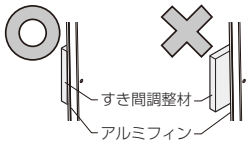
**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



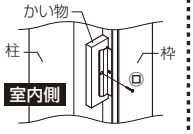

**お願い**

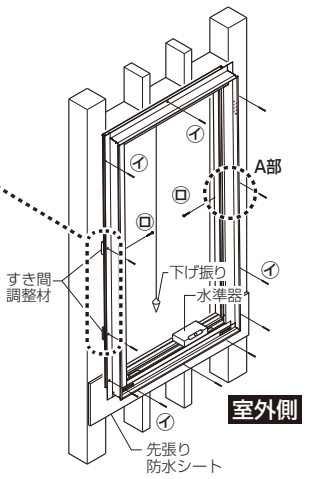
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




**■A部詳細図**

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

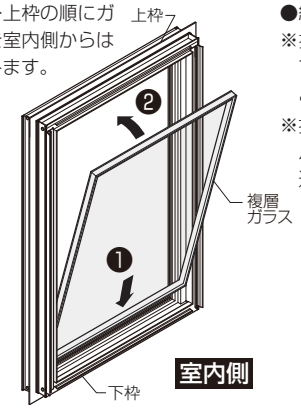


## ■取付け順序

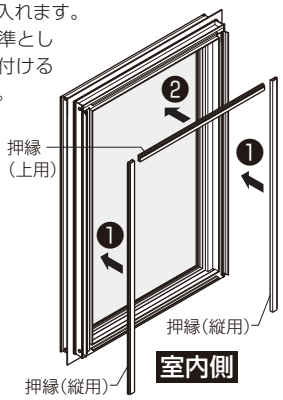
### 3ガラスの建込み

●下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。



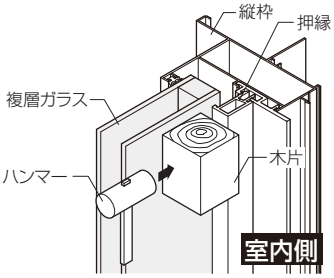

### 4押縁の取付け

●縦→上の順に押縁を入れます。
※押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



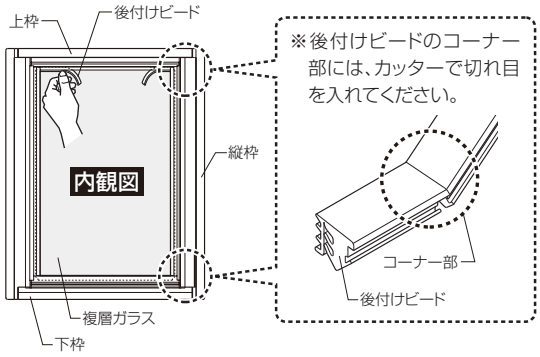

**お願い**

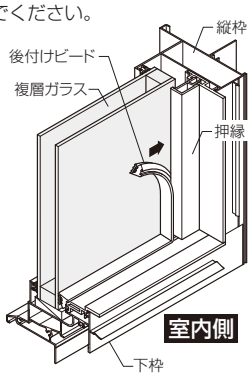
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。




### 5後付けビードの取付け

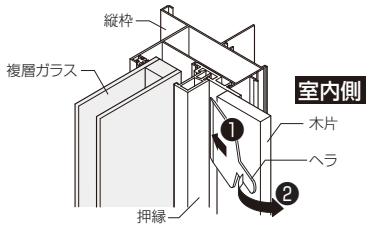
●4方に後付けビードをまわします。
※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。



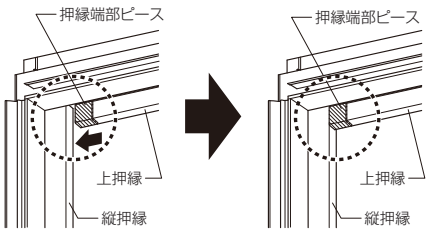

### ■ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に下図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)

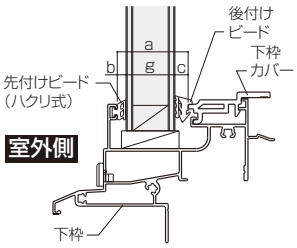



### ■押縁端部ピースの調整

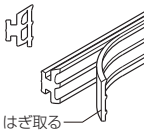
●W＞780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。




### ■ガラスビードの使用区分




### ■先付けビードのハクリ方法



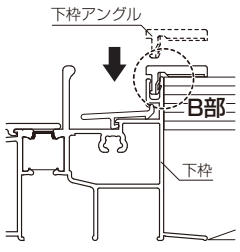

### ■PG（複層ガラス）a=32

| ガラス厚(g)(mm) | ガラス構成 | 先付けビード(b) | | 後付けビード(c)(別売り) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 22 | 3—16—3 | 4 | | 6 | |
| 23 | 3—16—4 | 3(ハクリ) | | 6 | |
| 24 | 4—16—4<br>6—12—6 | 4 | | 4 | |
| 25 | 5—16—4 | 4 | | 3 | |
| 26 | 5—16—5 | 3(ハクリ) | | 3 | |

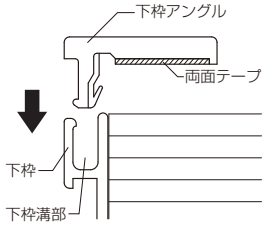
## ■下枠アングルの取付け

### ■下枠アングルの取付け（テラスのみ）

※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は、縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




### ■B部詳細図



# FIX窓（内押縁タイプ）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.は、ブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

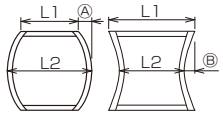
●指定のガラス・後付けビードをご使用ください。指定のガラス・後付けビードを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
●本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大70kgとなります。枠の垂れ下がり・ガラス落下防止のため、下記事項をお守りください。
・必ず指定のねじで枠を固定してください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
・ガラス保持金具（室内）取付け後、ガラス保持金具（室内）下端と下枠カバー下面の距離が15～18mmになっていること、ガラス保持金具（室内）が室内側に外れないことを確認してください。外れてしまう状態では取付けが不完全なため、所定の防火性能を満たしません。
・ガラス保持金具（室内）の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。ねじのかかりが不十分な場合、所定の防火性能を満たしません。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）を使用してください。

**お願い**
●ガラス建込み時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

## ■取付け上のお願い

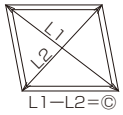
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5～2.0N・mにて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ・米松など）の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠対角差

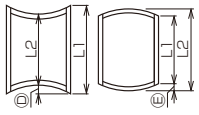



L1−L2=Ⓒ

| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| C |
|---|
| 2 |

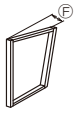
■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

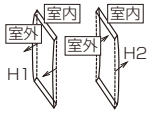
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ




| F |
|---|
| 2 |

■サッシ枠の室内外のソリ




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台（下枠取付け位置）から37.5±1mmにしてください。（204単純段差の場合は27.5mm）
アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

## ■取付けねじ・押縁・部品一覧表

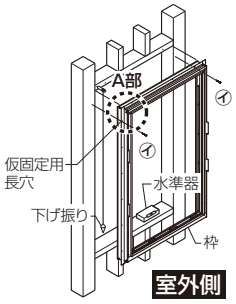
| ㋑～㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|
| | | |
| 枠取付けねじ（低頭ねじ）φ3.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 | ガラス保持金具（室内） |

| 押　縁 | |
|---|---|
| | |
| 上用／1本 | 縦用／2本 |

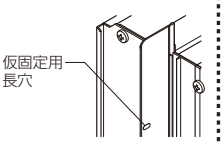
## ■取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。




■A部詳細図

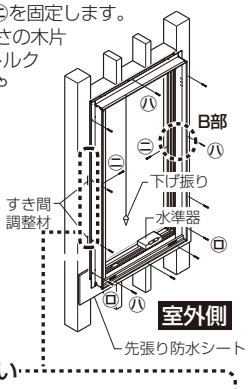



### ❷枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじⒹを固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋑、㋥を固定します。
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がころび樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

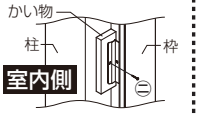
**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。




■B部詳細図

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けてください。




**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

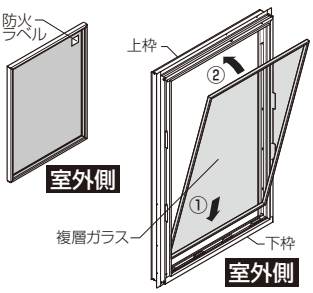
### ❸ガラスの建込み

●下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。
※ガラスは、防火認定ラベルが内観右上になるようにはめ込んでください。

**⚠注 意**

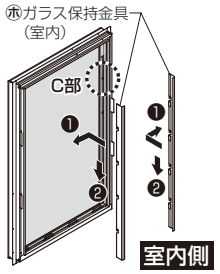
●複層ガラスは必ず指定のものを使用してください。

**お願い**
※室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

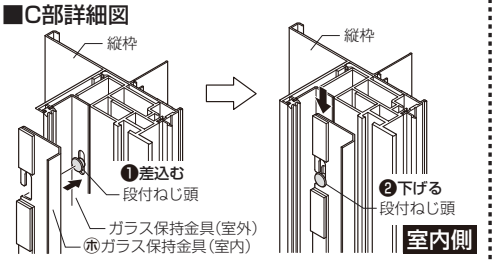


## 4ガラス保持金具（室内）の取付け

①㋭ガラス保持金具（室内）の穴部を段付ねじ頭に差込んでください。
②㋭ガラス保持金具（室内）の穴部がすべて段付ねじ頭に入っていることを確認してから、ガラス保持金具（室内）を下げてください。
※ガラス保持金具（室内）を下げられない場合は、段付ねじを**半回転**ゆるめてください。
※ガラス保持金具（室内）が取付けしにくい場合は、ガラスを中央の位置から5mm程度片側に寄せ、十分なクリアランスを確保して取付けしてください。取付け後は、ガラスを中央の位置に戻してください。

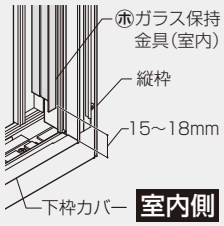



■C部詳細図



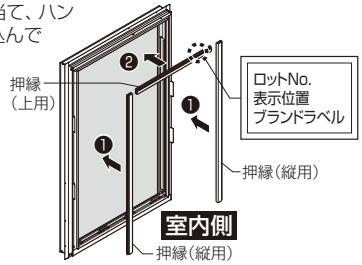

**⚠注 意**

- ガラス保持金具（室内）の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。
- ガラス保持金具（室内）取付け後、ガラス保持金具（室内）下端と下枠カバー下面の距離が図の寸法になっていること、ガラス保持金具（室内）が室内側へ外れないことを確認してください。

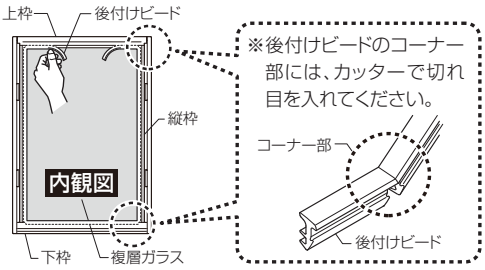


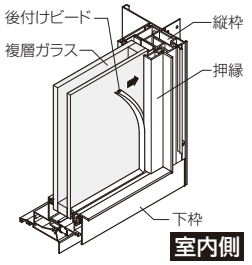

## 5押縁の取付け

①縦→上の順に押縁を入れます。
※押縁（縦用）は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。

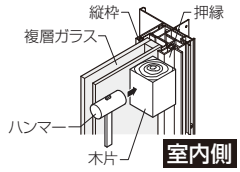



②4方に後付けビードをまわします。
※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。

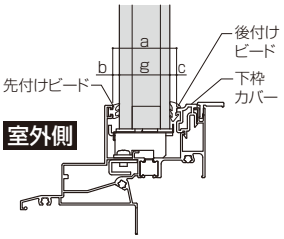



**お願い**
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



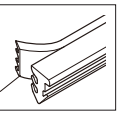

■ガラスビードの使用区分




■PG（複層ガラス）a=34

| ガラス厚(g)(mm) | ガラス構成 | 先付けビード(b) | | 後付けビード(c)(別売り) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 26 | 6.8－16－3 | 3 | | 5（ハクリ） | ECZ□33 |
| 27 | 6.8－16－4 | 3 | | 4 | |
| 27 | 6.8－15－5 | 3 | | 4 | ECZ□35 |

■後付けビードのハクリ方法

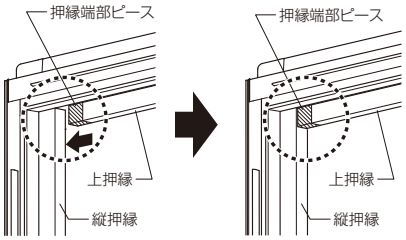



**⚠注 意**

- 後付けビードは必ず指定のものを使用してください。

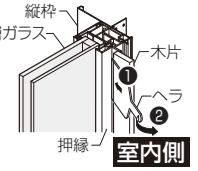
### ■押縁端部ピースの調整

●W>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。




### ■ガラスの外し方

※取付けと逆の手順で取外してください。
※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に右図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。
押縁（縦用）を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。（樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。）



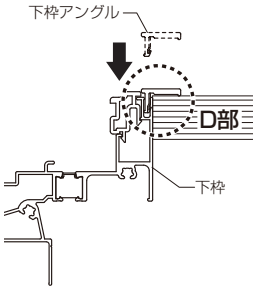

## ■下枠アングルの取付け

### ■下枠アングルの取付け（テラスのみ）

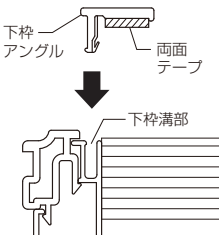
※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に3mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は、縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切り欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

**●下枠アングルがねじレスの場合**

①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




■D部詳細図



# FIX窓（内押縁タイプ）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.は、ブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

●指定のガラス・後付けビードをご使用ください。指定のガラス・後付けビードを使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
●本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大80kgとなります。
枠の垂れ下がり・ガラス落下防止のため、下記事項をお守りください。
・必ず指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
・ガラス保持金具（室内）取付け後、ガラス保持金具（室内）上端と上枠カバー下面の距離が47～50mm（H＜371のときは46～49mm）になっていること、ガラス保持金具（室内）が室内側に外れないことを確認してください。外れてしまう状態では取付けが不完全なため、所定の防火性能を満たしません。
・ガラス保持金具（室内）の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。ねじのかかりが不十分な場合、所定の防火性能を満たしません。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）を使用してください。

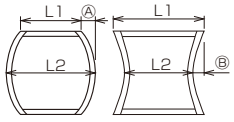
**お願い**
●ガラス建込み時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

## ■取付け上のお願い

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

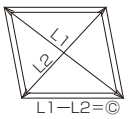
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

■サッシ枠対角差

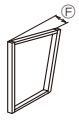



| C |
|---|
| 2 |

■サッシ上下枠の内反り・外反り

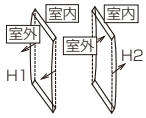
| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ




| F |
|---|
| 2 |

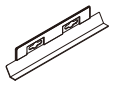
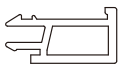
■サッシ枠の室内外の反り




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台（下枠取付け位置）から37.5±1mmにしてください。（204単純段差の場合は27.5mm）

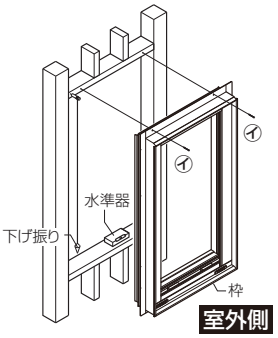
## ■取付けねじ・押縁・部品一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | 押縁 | |
|---|---|---|---|---|
| | |  | |  |
| スクリュー釘 φ2.1×32 | 丸木ねじ φ3.5×25 | ガラス保持金具（室内） | 上用／1本 | 縦用／2本 |

## ■取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

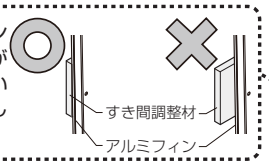



### ❷枠の調整と固定

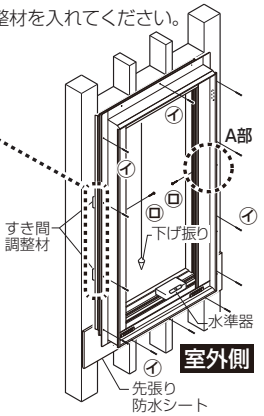
●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。
縦枠および上下枠が外側にころび、不具合が発生することがあります。

**⚠注 意**
●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。

**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




■A部詳細図
※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。



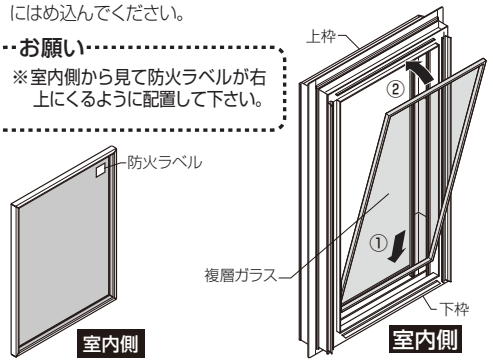
## ■取付け順序

### 3ガラスの建込み

●下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。
※ガラスは、防火認定ラベルが内観右上になるようにはめ込んでください。

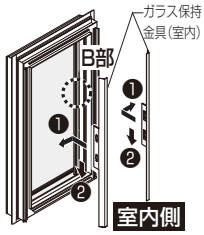
**⚠注 意**
●複層ガラスは必ず指定のものを使用してください。

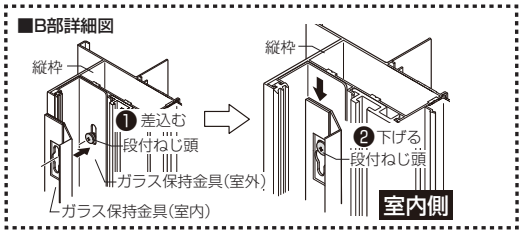
**お願い**
※室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置して下さい。



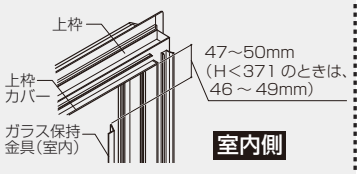

### 4ガラス保持金具（室内）の取付け

①ガラス保持金具（室内）の穴部２個所を段付ねじ頭に差込んでください。
②ガラス保持金具（室内）の穴部２個所がすべて段付ねじ頭に入っていることを確認してから、ガラス保持金具（室内）を下げてください。
※ガラス保持金具（室内）を下げられない場合は、段付ねじを**半回転**ゆるめてください。
※ガラス保持金具（室内）が取付けしにくい場合は、ガラスを中央の位置から5mm程度片側に寄せ、十分なクリアランスを確保して取付けしてください。取付け後は、ガラスを中央の位置に戻してください。



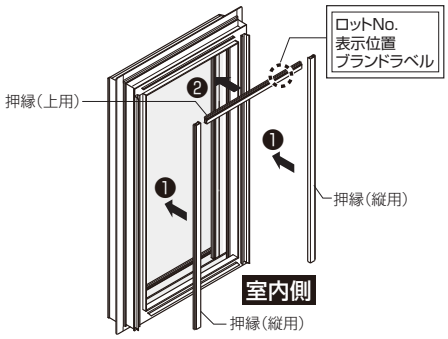




**⚠注 意**
●ガラス保持金具（室内）の取付けの際に段付ねじをゆるめる場合は、半回転以上ゆるめないでください。
●ガラス保持金具（室内）取付け後、ガラス保持金具（室内）上端と上枠カバー下面の距離が図の寸法になっていること、ガラス保持金具（室内）が室内側へ外れないことを確認してください。

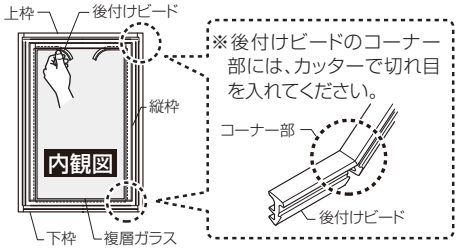


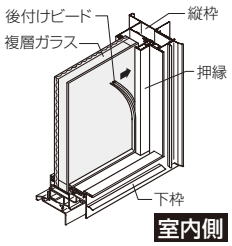

### 5押縁の取付け

①縦→上の順に押縁を入れます。
※押縁（縦用）は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



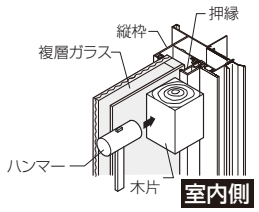

②4方に後付けビードをまわします。
※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100 mm程度に切断して上・縦の３方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。



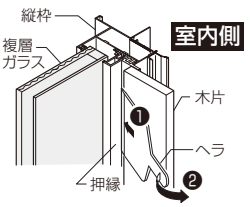




**⚠注 意**
●後付けビードは必ず指定のものを使用してください。

**お願い**
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

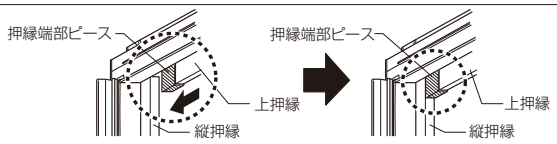



**■ガラスの外し方**
※取付けと逆の手順で取外してください。
※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に右図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。押縁（縦用）を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外す様にしてください。（樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。）




### ■押縁端部ピースの調整

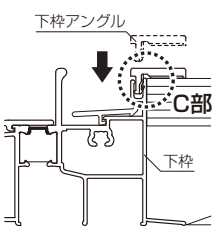
●W＞780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。

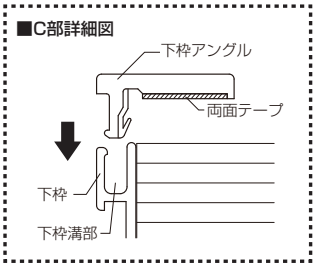



## ■下枠アングルの取付け

### ■下枠アングルの取付け（テラスのみ）

※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は、縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。



# ルーバー窓IF　本体

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

●本製品には必ず指定の専用ガラスを使用してください。室内側ガラスは、付属のパッキンを取付けるための加工が施され、端部にはホルダーからのガラス抜けを防止する部品が取付けられています。指定外のガラスを使用するとガラスが抜け、ケガをするおそれがあります。

●本製品は、最大重量が約45kgになります。組立ては対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

・ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

●本説明書は**組立て順序A「通常の組立て方法」**と**組立て順序B「枠を躯体に取付けてからガラスを建込む場合の組立て方法」**の2通りの組立て方法を記載しています。組立て方法に応じてご覧ください。

●必ず指定の組立てねじを使用してください。

●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。

●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。

●枠を躯体に取付けてからガラスを建込む場合は、必ず取付けされる方へ組立て説明書とホルダー部品セットをお渡しください。

●ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。

●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

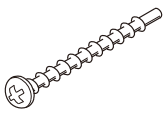
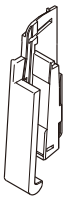
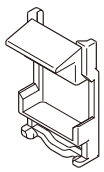
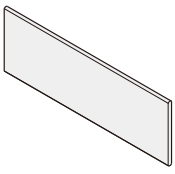
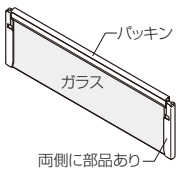
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。

●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。

●オペレーターは枠の組立て後、ガラスの建込み前に取付けしてください。

## ■部品・ねじ一覧表

| | 枠の組立て | ホルダー部品セット | | ガラス（別売り） | |
|---|---|---|---|---|---|
| 記　号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
| 姿　図 |  |  |  |  |  |
| | バインドタッピンねじ φ4×30 | ホルダー | ホルダーキャップ | 室外側ガラス | 両側に部品あり<br>室内側ガラス |

## ■組立て順序A「通常の組立て方法」

### 1 枠の組立て

●片側は縦枠と上下枠を10mmあけて仮組みしてください。

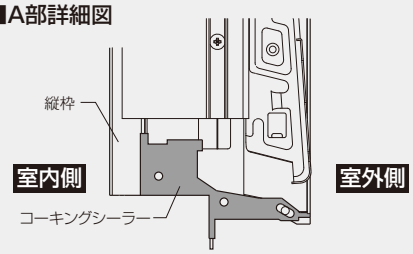
**⚠ 注 意**

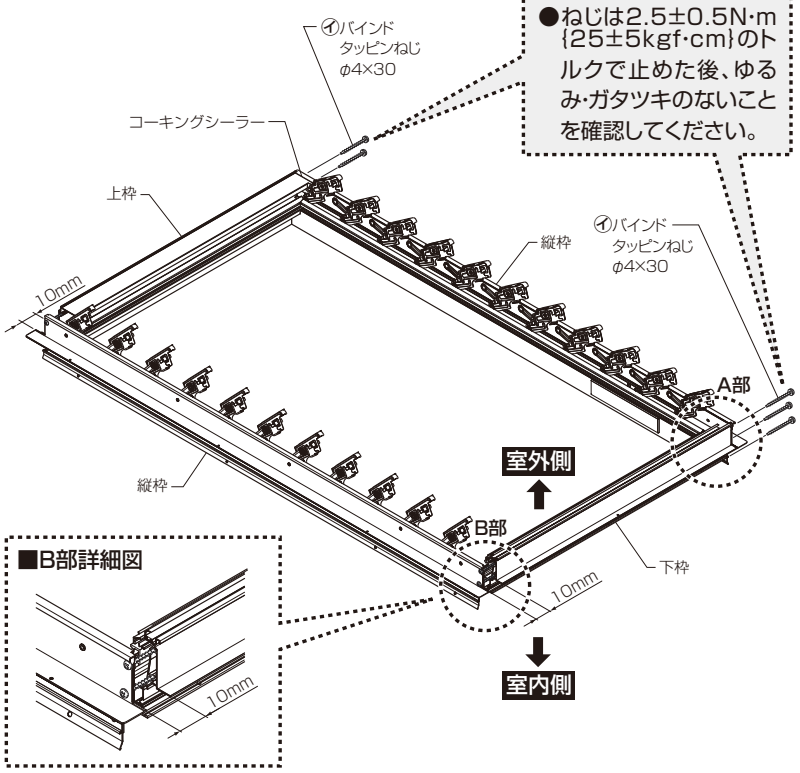
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図



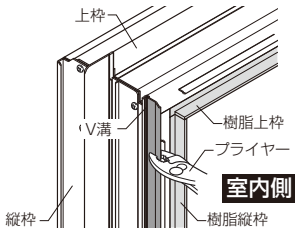




■B部詳細図




■ルーバー窓 IF を連窓する場合

●ルーバー窓IFを連窓するとき、又はアンカーを使用するときは、V溝にカッターで1～2回スジをつけて右図のように縦枠の躯体止めフィンをプライヤーなどで折り曲げて取り除いた後、組立てを行ってください。

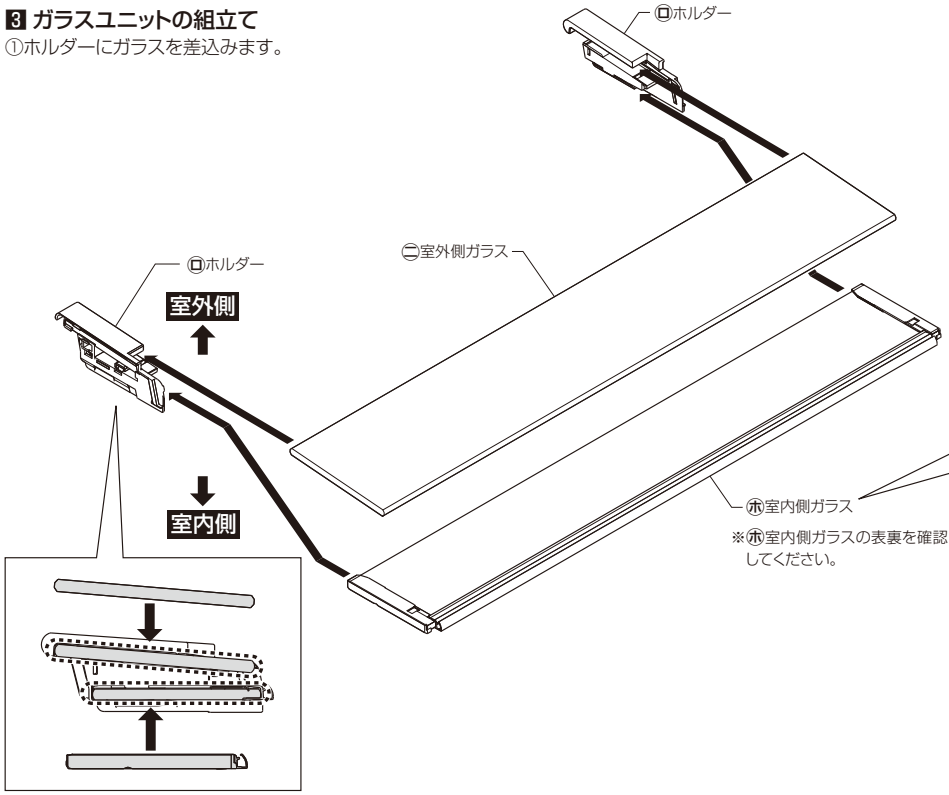



### 2 オペレーターの取付け

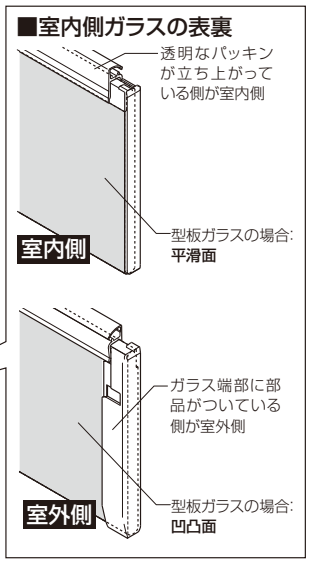
●部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。

### 3 ガラスユニットの組立て

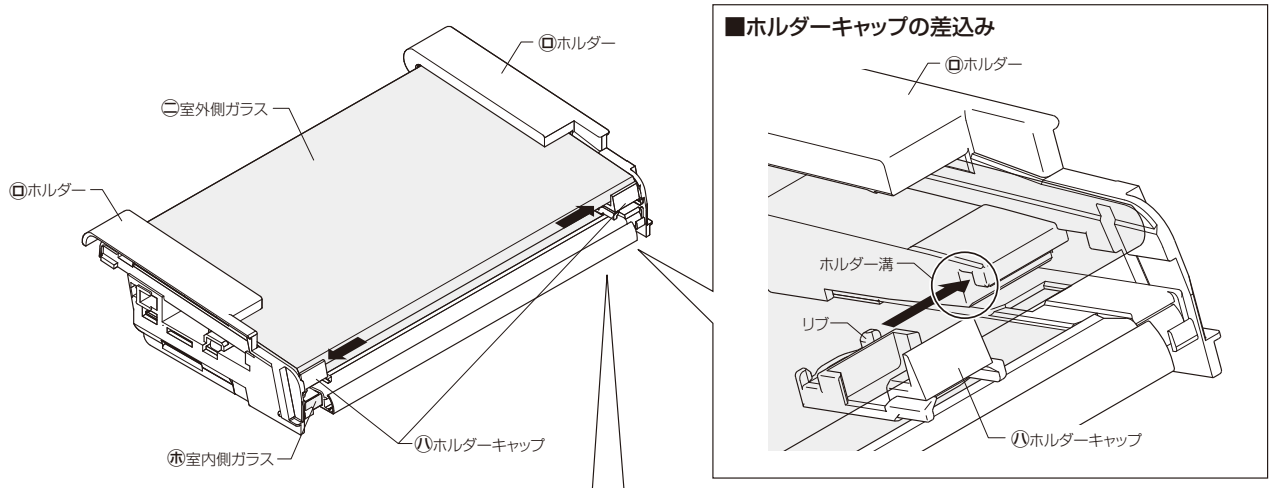
①ホルダーにガラスを差込みます。



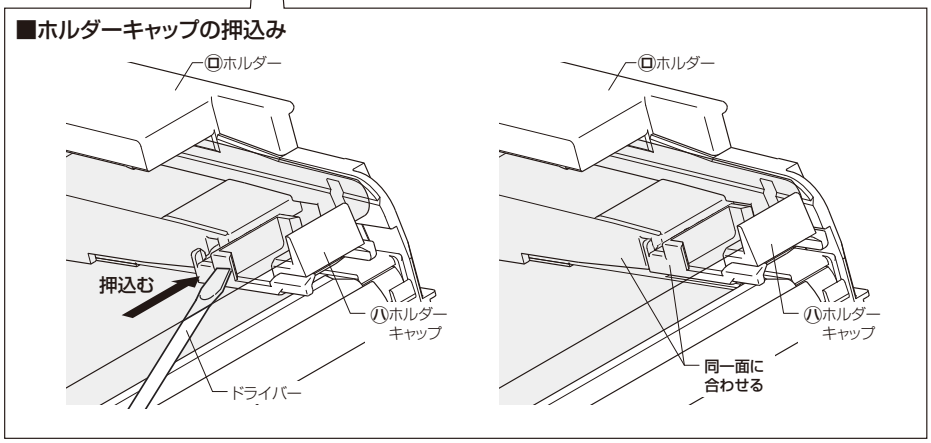

■室内側ガラスの表裏



②ホルダーキャップの取付け
(①)下図の要領で、㋑ホルダーキャップを㋭室内側ガラスと㋬室外側ガラスの間に差込みます。
(②)ホルダー側へ移動させ、ホルダー溝と㋑ホルダーキャップのリブ位置を合わせます。

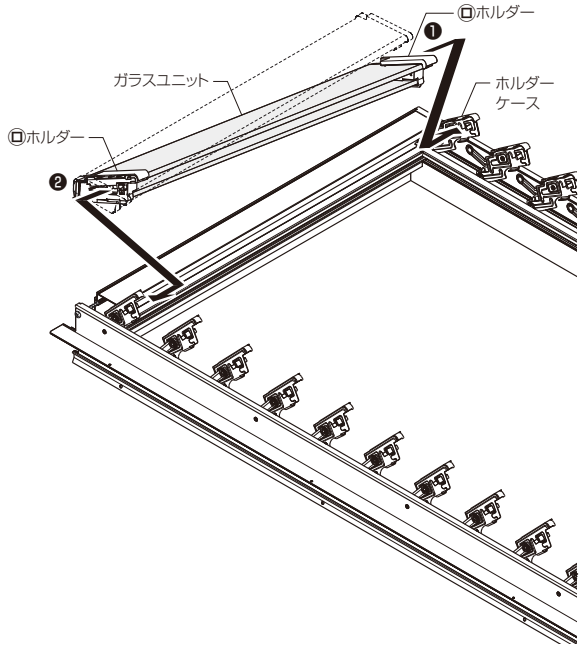


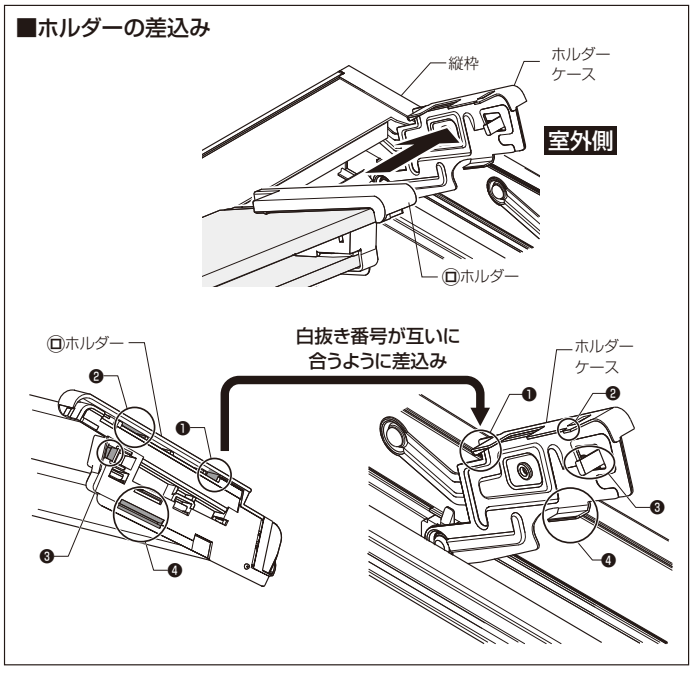

(③)ドライバーなどの先の尖ったもので、㋑ホルダーキャップを㋺ホルダーへ押込みます。
「カチッ」という音が鳴って、㋺ホルダーと㋑ホルダーキャップ側面が同一面になるようにしてください。




### 4 ガラスユニットの取付け

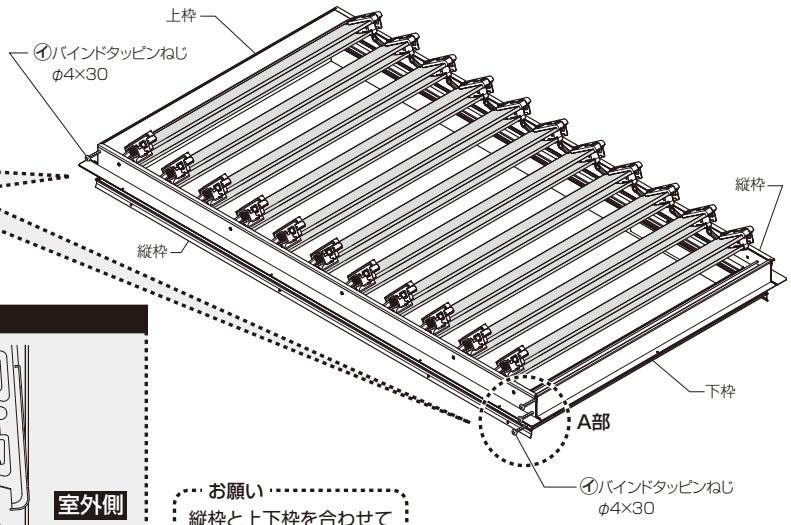
①ホルダーケースを開いた状態にします。
②下図の要領で、ガラスユニットをホルダーケースに差込ます。
③すべてのホルダーケースに同様の手順でガラスユニットを取付けてください。



### 5 枠のねじ止め

①1で仮組みしていた縦枠と上下枠をねじ止めします。



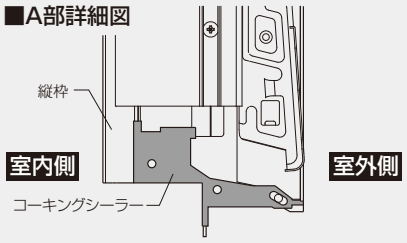

**⚠注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注 意**

●縦枠に張付けてあるコーキングシーラーが上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図



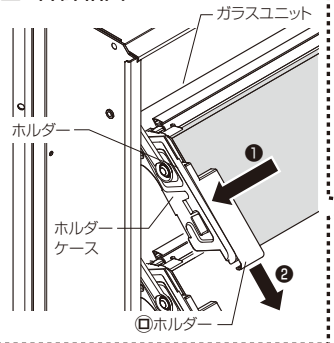

**お願い**

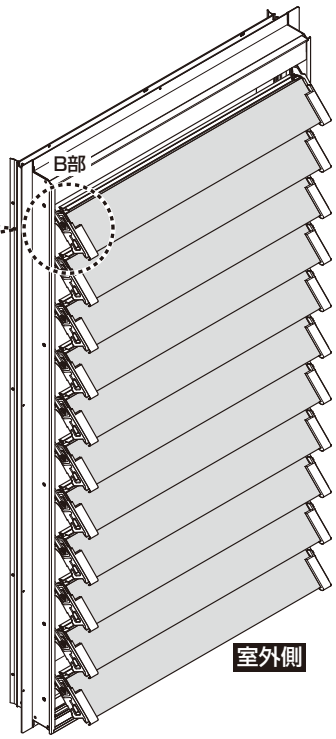
縦枠と上下枠を合わせてからねじ止めしてください。

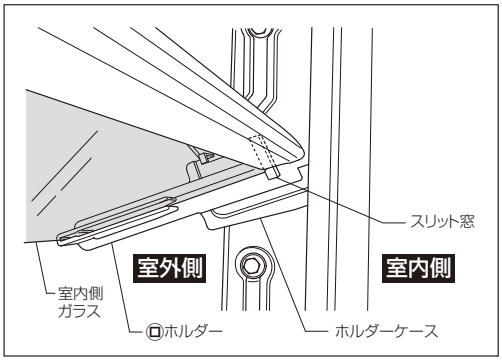
### 6 ホルダーとホルダーケースの固定

※サッシ本体を立てた状態で固定してください。
①ホルダーをホルダーケースに奥まで押し込んで、矢印方向（室内側）に押し下げます。
②全ての箇所を固定します。
③ホルダーのスリット窓からホルダーケース（金属）が見えて差込まれていることを確認してください。

■B部詳細図




### ■ガラスの取外し

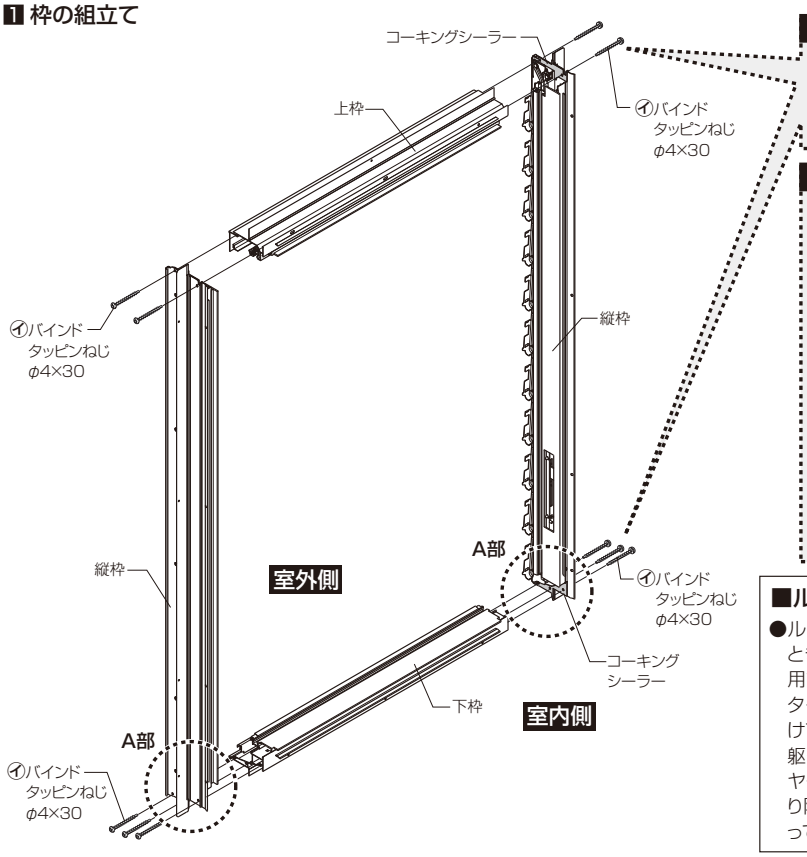
●組立て順序Bをご覧ください。

### ■ハンドルの左右交換方法

●組立て順序Bをご覧ください。

## ■組立て順序B「枠を躯体に取付けてからガラスを建込む場合の組立て方法」

### 1 枠の組立て



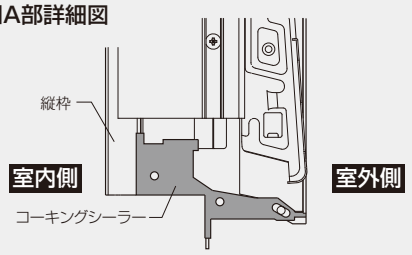

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

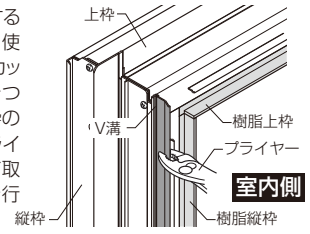
●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

■A部詳細図




**■ルーバー窓 IF を連窓する場合**

●ルーバー窓IFを連窓するとき、又はアンカーを使用するときは、V溝にカッターで1～2回スジをつけて右図のように縦枠の躯体止めフィンをプライヤーなどで折り曲げて取り除いた後、組立てを行ってください。




### 2 オペレーターの取付け

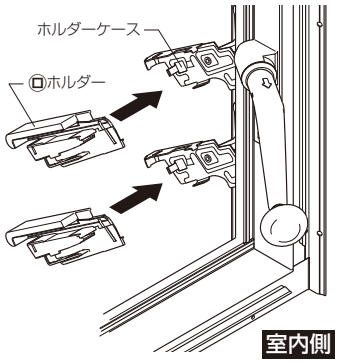
●部品箱に同梱の取付け説明書をご覧ください。

●本説明書では、オペレーターハンドルにて説明します。滑車、電動ユニットの場合は回転数と角度を参考に「**4ガラスの建込み**」を行ってください。

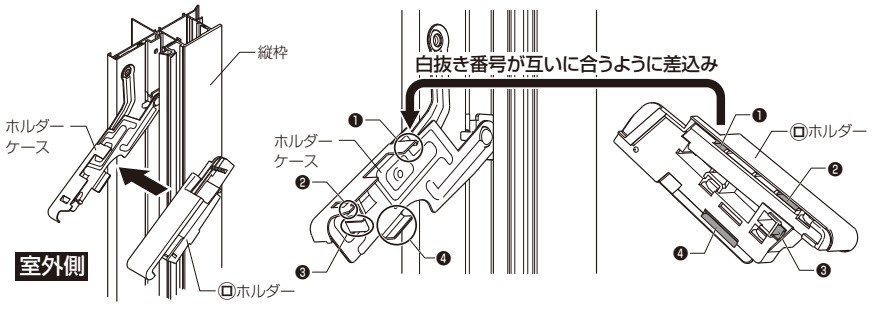
### 3ホルダーの取付け

①ホルダーケースを開いた状態にします。

②下図の要領で、㊐ホルダーをホルダーケースに差込ます。

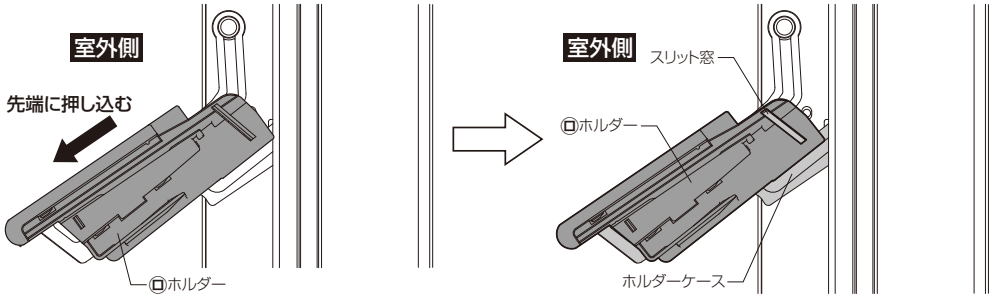



**■ホルダーの差込み**




③奥まで入ったら、矢印方向（先端）に押し込みます。押し下げると「カチッ」と音がします。

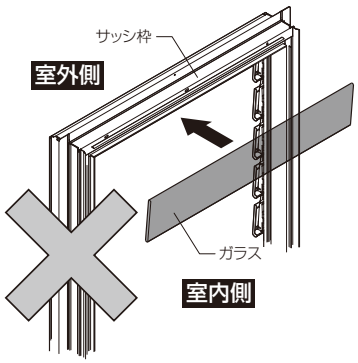
④㊐ホルダーの斜めのスリット窓から、ホルダーケース（金属）が見えて差込まれていることを確認してください。

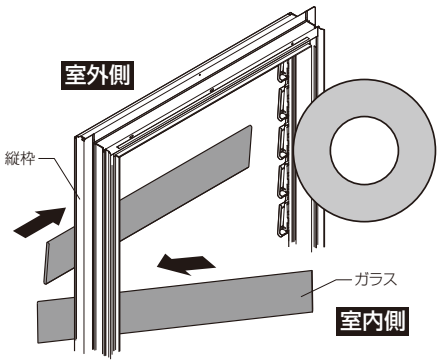


## 4ガラスの建込み

**お願い**

●ルーバー窓IFは、ホルダーが室内側正面から見えない構造となっており、枠の内法寸法より大きいガラスを使用します。
そのため、ガラス建込みの際には、縦枠を逃げながら、一度ガラスを外に出して、建込みを行ってください。



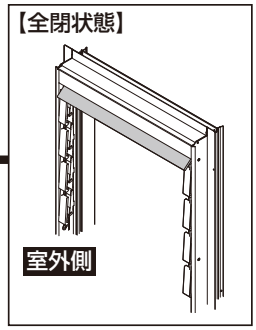



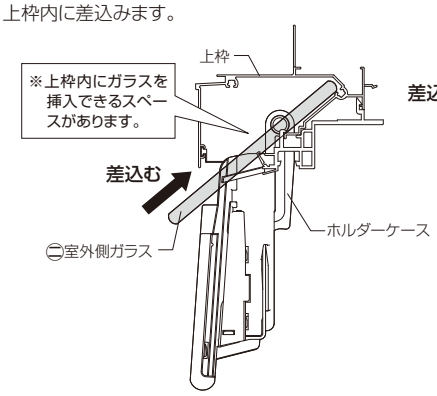

### 4-1室外側ガラスの建込み（最上段）

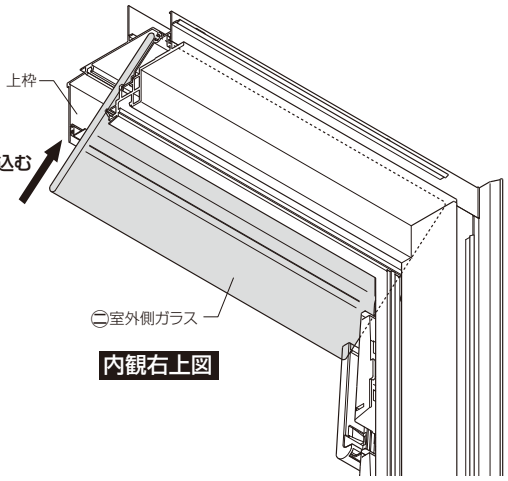
**ポイント**

※オペレーター操作でホルダーケースの角度を変えながら、ガラスを建込んでいきます。左の矢印が一連の流れです。

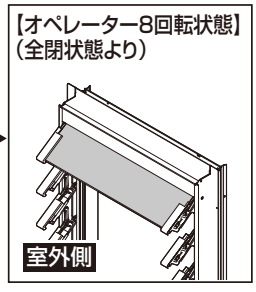
①オペレーター操作で、全閉状態にします。
②オペレーターと逆側は、この時点でオペレーター操作では開閉できませんので、手で全閉状態にします。
③㊂室外側ガラスを下図の要領で、上枠内に差込みます。

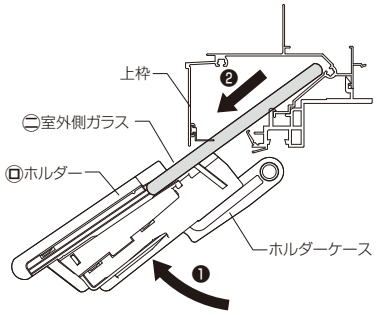


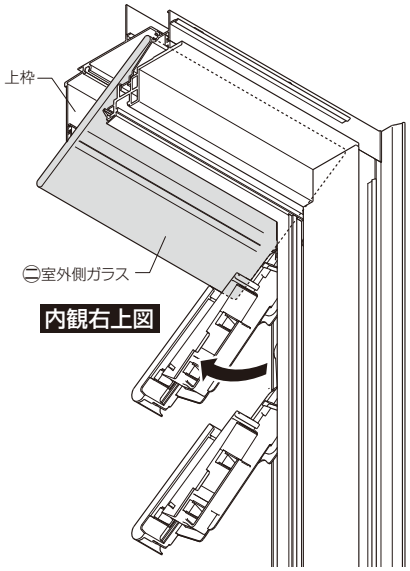



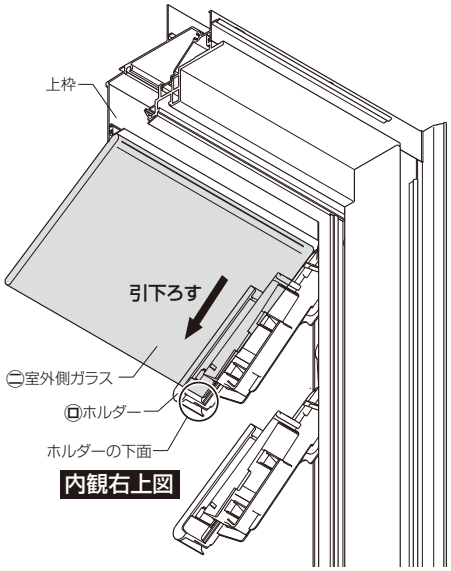




④㊂室外側ガラスを支えたまま、**オペレーターを8回転させて、ホルダーケースを開きます。**オペレーターと逆側のホルダーケースは手で同じ角度にします。
※㊀ホルダーと㊂室外側ガラスが干渉しないよう気をつけてください。ガラスに無理な力が加わると、破損するおそれがあります。
⑤㊂室外側ガラスと㊀ホルダーの溝が平行になったら、㊀ホルダーの下面までくるようにガラスを引き下ろします。



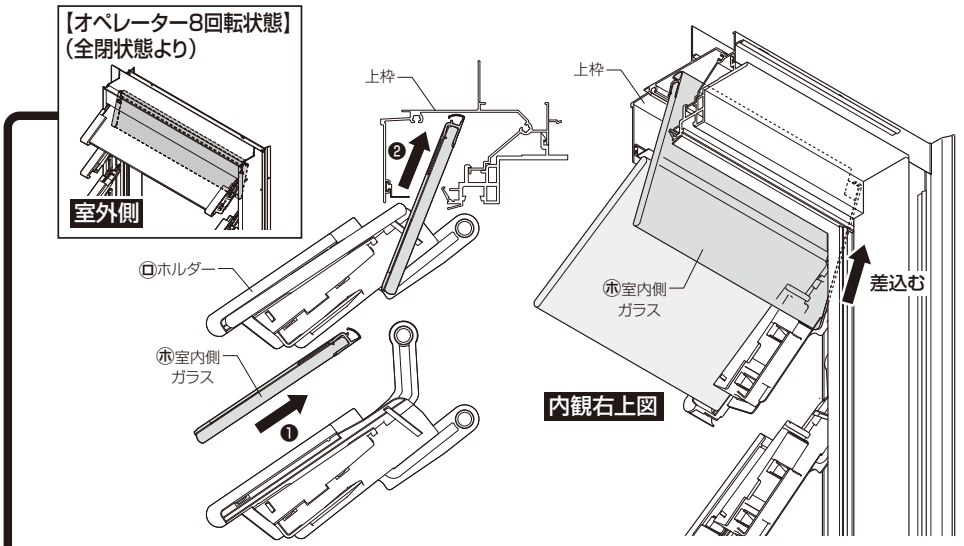



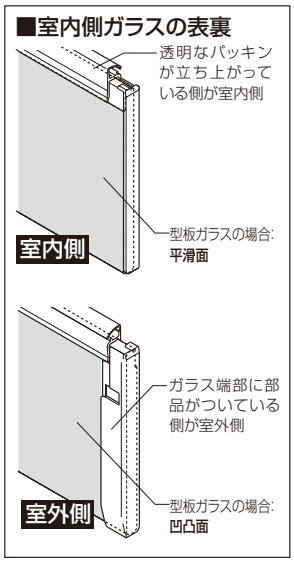



## 4-2 室内側ガラスの建込み（最上段）

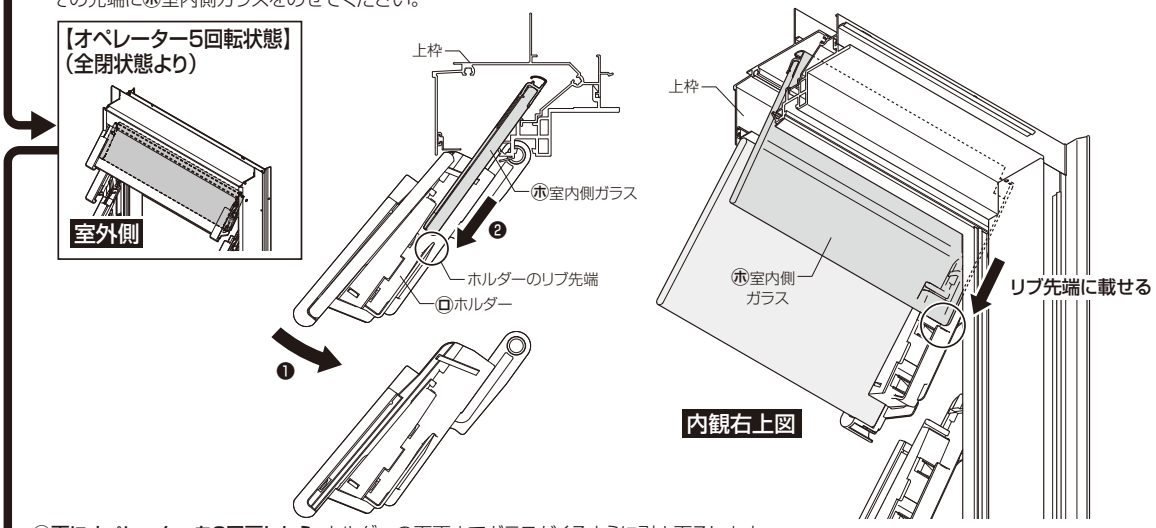
**ポイント**
※オペレーター操作でホルダーケースの角度を変えながら、ガラスを建込んでいきます。左の矢印が一連の流れです。

①**㋺ホルダーはこの角度を保ったまま、**㋭室内側ガラスを下図の要領で、上枠内に差込みます。
※㋭室内側ガラスの表裏を確認してください。

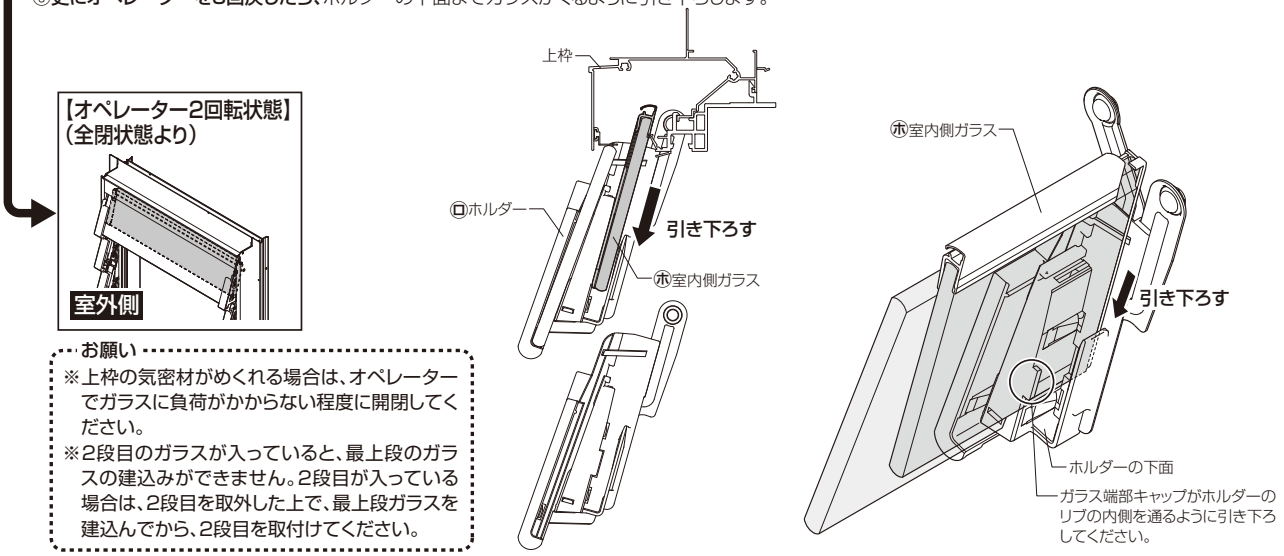



②**オペレーターを3回戻します。**（全閉状態からは5回転開いた状態）㋺ホルダーのリブ先端がガラス下部を乗り越えたら、その先端に㋭室内側ガラスをのせてください。



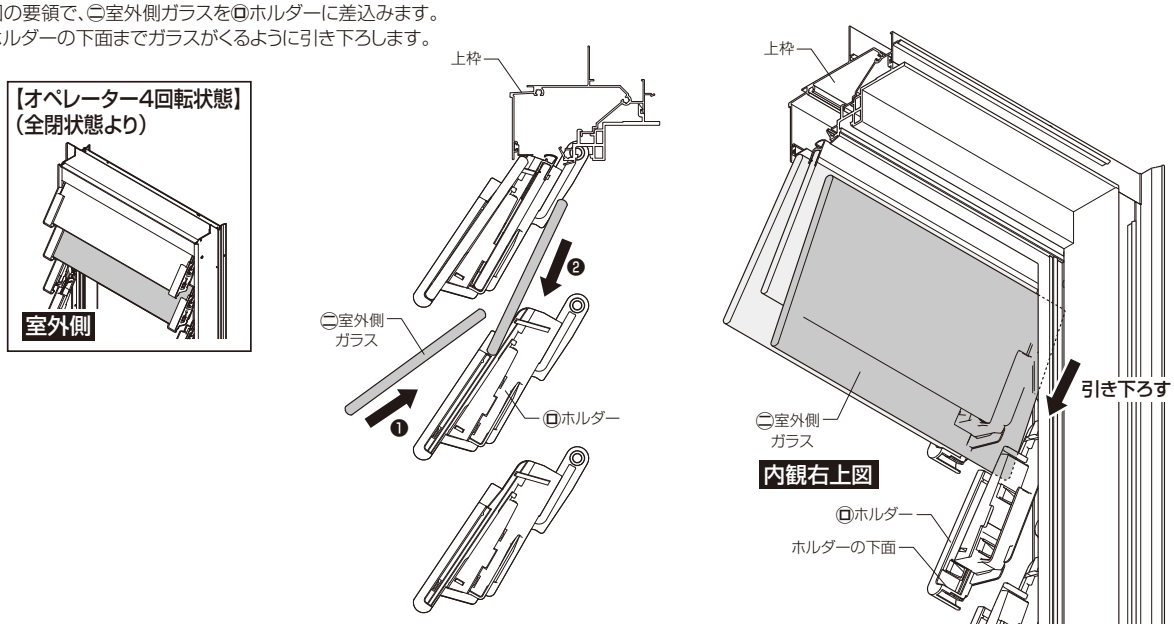

③**更にオペレーターを3回戻したら、**ホルダーの下面までガラスがくるように引き下ろします。




**お願い**
※上枠の気密材がめくれる場合は、オペレーターでガラスに負荷がかからない程度に開閉してください。
※2段目のガラスが入っていると、最上段のガラスの建込みができません。2段目が入っている場合は、2段目を取外した上で、最上段ガラスを建込んでから、2段目を取付けてください。

### 4-3 室外側ガラスの建込み（2段目より下のガラス）

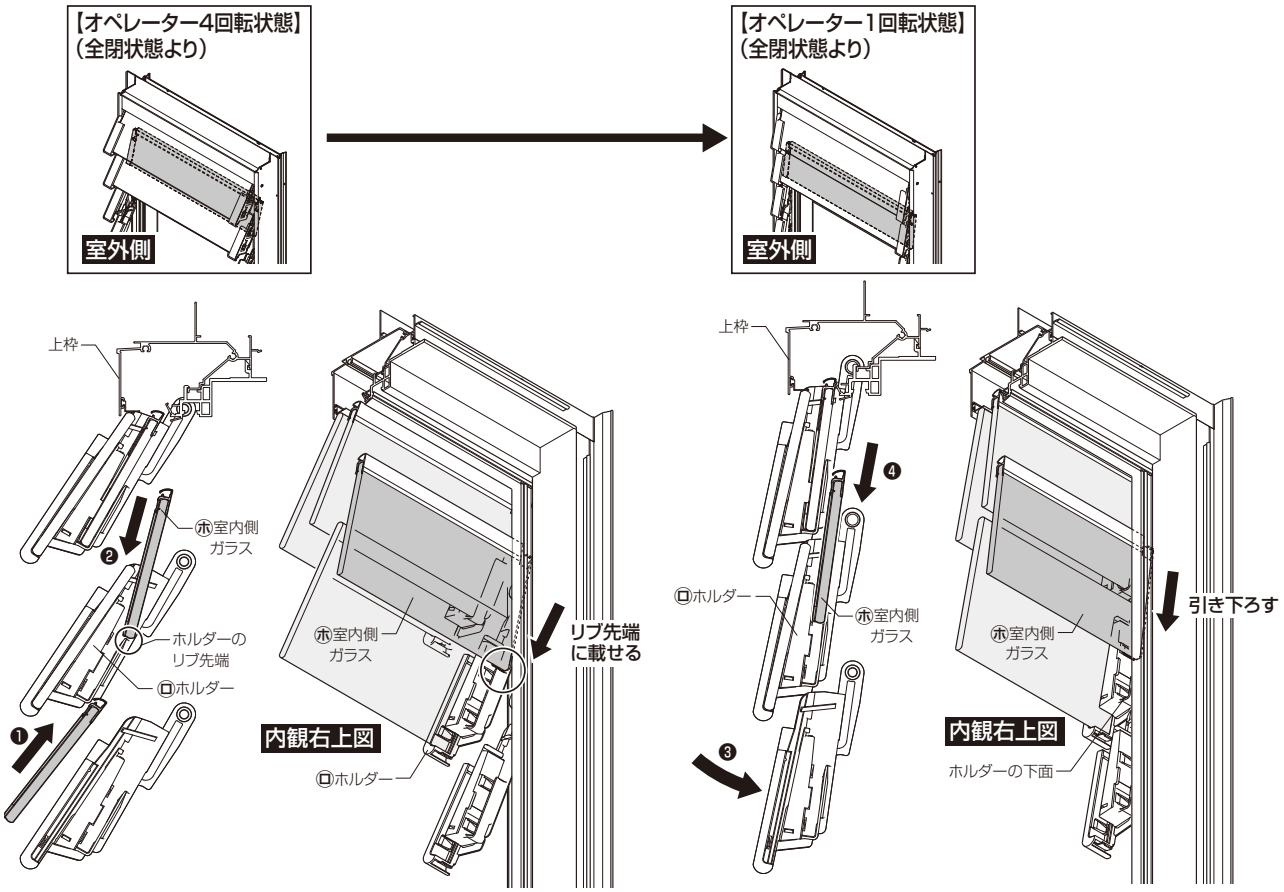
※1段ごとに室外・室内の順で建込みます。
①**オペレーター操作で、2回転させてホルダーケースを開きます。**（全閉状態からハンドルを4回転開いた状態）
②下図の要領で、㋑室外側ガラスを㋺ホルダーに差込みます。
③㋺ホルダーの下面までガラスがくるように引き下ろします。




### 4-4 室内側ガラスの建込み（2段目より下のガラス）

ポイント
※オペレーター操作でホルダーケースの角度を変えながら、ガラスを建込んでいきます。下の矢印が一連の流れです。

①**㋺ホルダーの角度はそのままで、**（全閉より4回転の位置）で下図の要領で㋩室内側ガラスを差込みます。
②下図の要領で、㋩室内側ガラスを㋺ホルダーに載せます。
③オペレーターを3回転閉める方向（全閉より1回転）に回して、㋺ホルダーの下面までガラスがくるように引き下ろします。




※4-3、4-4を繰り返して全段ガラスを入れます。

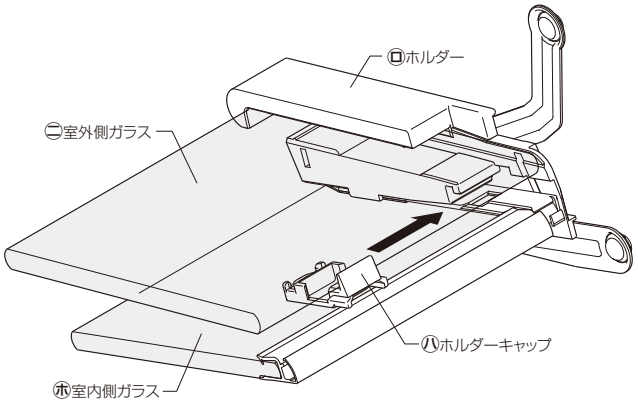
## 5ホルダーキャップの取付け

※サッシ本体を立てた状態で取付けを行ってください。

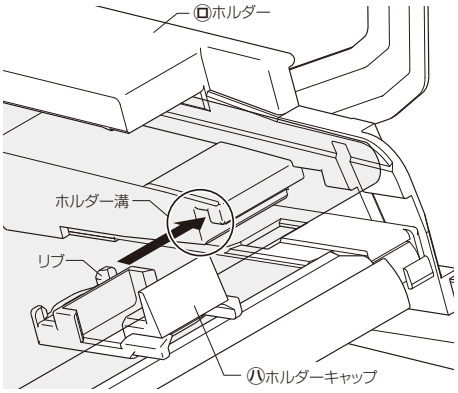
①**オペレーター操作で、ガラスを全開にします。**

②下図の要領で、㋑ホルダーキャップを㋮室内側ガラスと㋩室外側ガラスの間に差込みます。

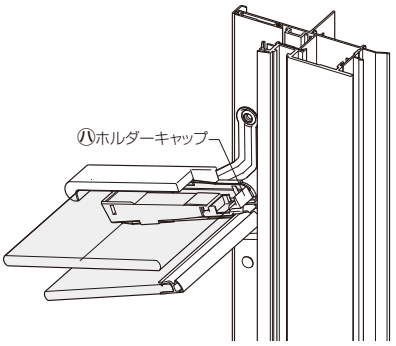
③ホルダー側へ移動させ、ホルダー溝と㋑ホルダーキャップのリブ位置を合わせます。



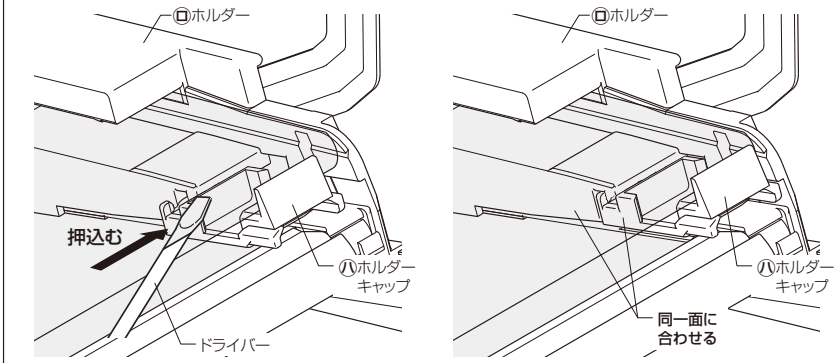

■ホルダーキャップの差込み




④ドライバーなどの先の尖ったもので、㋑ホルダーキャップを㋺ホルダーへ押込みます。
「カチッ」という音が鳴って、㋺ホルダーと㋑ホルダーキャップ側面が同一面になるようにしてください。




■ホルダーキャップの押込み

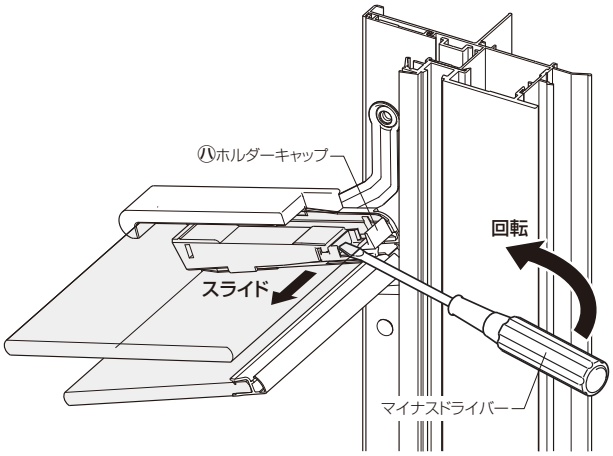



### ■ガラスの取外し

●取外しの場合は、5⇒4の順で取外してください。

●最上段ガラスを取外す場合は、その一段下のガラスを取外してから最上段ガラスを取外してください。

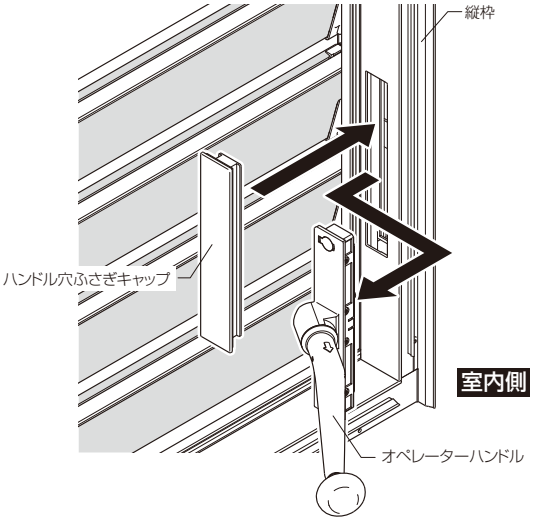
●㋑ホルダーキャップの取外し要領は以下の手順になります。
マイナスドライバーなどで、㋑ホルダーキャップ側面に差込み、テコの原理で回転させる方向に力を加えながら、ガラス中央へスライドさせてください。




### ■ハンドルの左右交換方法

●ガラスを建込み後、ハンドルを左右入れ替える場合は、**全閉状態よりオペレーター2回転の状態**で行ってください。

※全閉や全開状態で実施すると、オペレーターを取外した際にガラスが自重で動くため、危険です。



# ルーバー窓IF　オペレーター本体

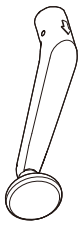
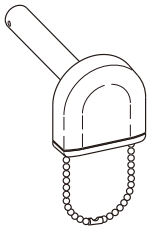
●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立て上のお願い

●オペレーター本体の取付け

・オペレーター本体は、ガラスを取付ける前に、取付けてください。

## ■部品一覧

| ㋑オペレーター本体（ねじカバー付） | ㋺ナベ小ねじ段付 M5×14 | ㋩ハンドル穴ふさぎキャップ | ㋥ハンドル（別売り）（取付けねじ付） | ㋭滑車（別売り） |
|---|---|---|---|---|
| | | |  |  |

## ■組立て順序

### ❶オペレーター本体の固定

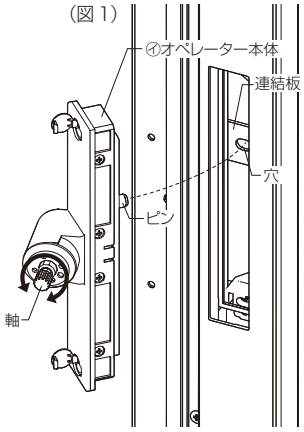
①オペレーター本体のピンが連結板の穴位置に合うよう、軸を回転させて調整します。（図1）

②縦枠にオペレーター本体を㋺ナベ小ねじで固定してください。（図2）

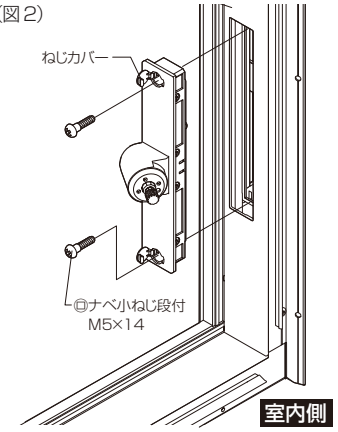
※ねじ締めの際は 2.5±0.5N·m（25±5kgf·cm）のトルクで止めてください。

③ねじカバーをはめ込んでください。

（図1）




（図2）

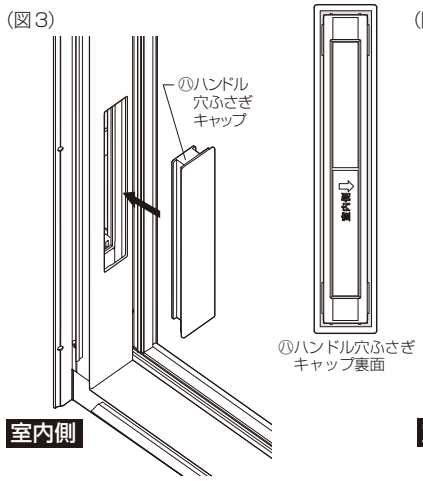



### ❷ハンドル穴ふさぎキャップの取付け

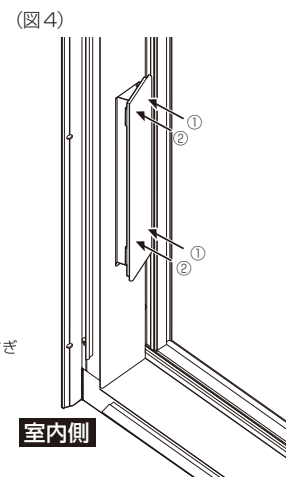
●ハンドル穴ふさぎキャップ裏面の矢印を室内側に向けて、縦枠にはめ込みます。（図3）

※（図4）の①、②の順で室外側を先に押し込んだ後、室内側を押し込んでください。取外しの場合は逆の手順で取外してください。

（図3）




（図4）

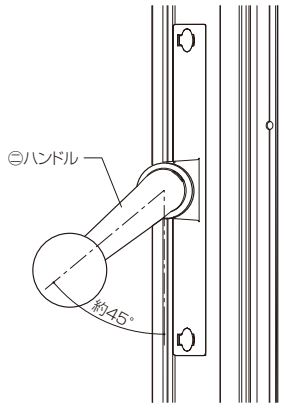



### ❸ハンドル又は滑車の取付け

※滑車の取付け方法は、滑車部品セット同梱の組立て説明書を参照しくてください。

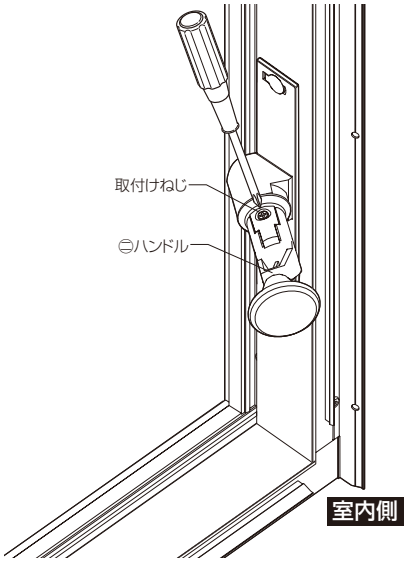
①オペレーター本体に、㋥ハンドルを差込みます。

※ハンドルの向きは、障子を閉めた状態で下図のようにハンドルが垂直下から約 45°になるように取付けてください。（ハンドルが倒せるようになります。）




②ハンドルを取付けねじで固定します。

※ねじ締めの際は 2.5±0.5N·m（25±5kgf·cm）のトルクで止めてください。



# ルーバー窓IF　チェックシート

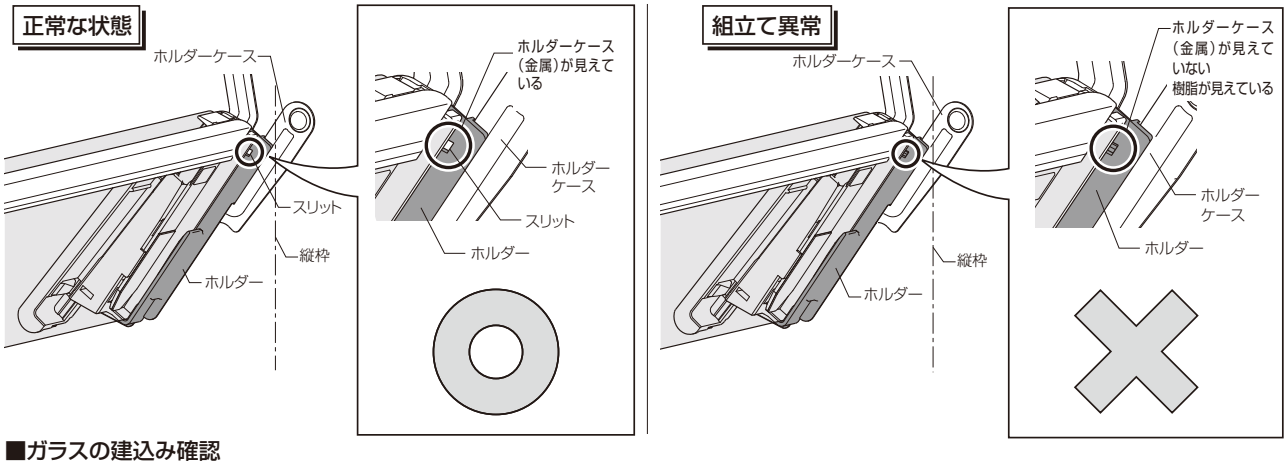
## ■組立て後のチェック

※ガラスの建込み後、ガラス全般の以下のチェックを行ってください。

### ■ホルダーの確認

●**ハンドルを6回転程度回し、**ホルダーのスリットからホルダーケース（金属）が見えているか確認をしてください。
金属が見えていない場合は、ガラスを外し、サーモスルーバー窓IF 組立て説明書 **3**の**「ホルダーの取付け」**を参照して、ホルダーの取付けを再度やり直してください。

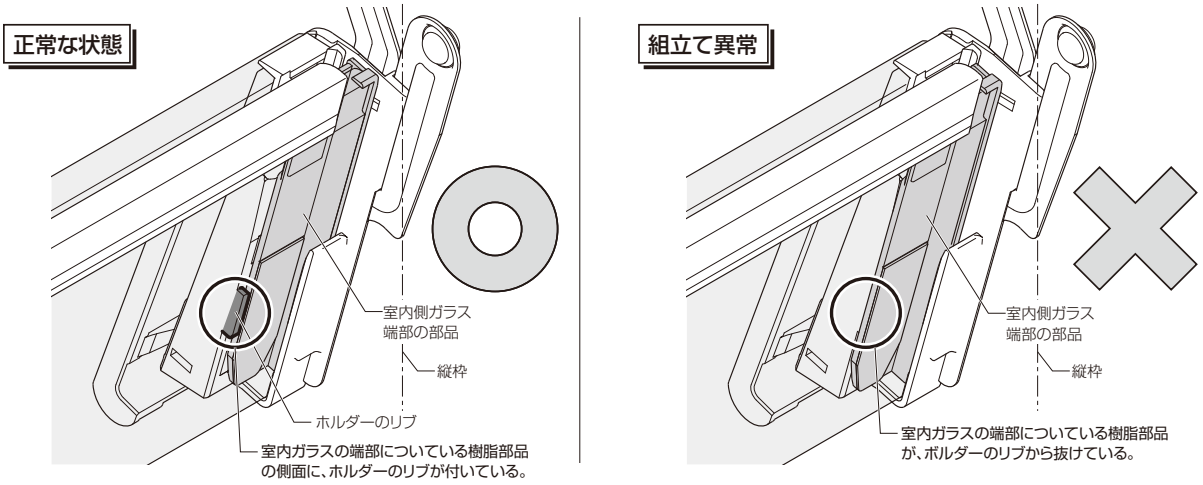
※正しく取付けられていないと、ホルダーの破損や、開閉不具合が生じます。




### ■ガラスの建込み確認

●ホルダーのリブが、室内ガラスの端部の部品に掛っているかどうか確認してください。
正しくガラスが建込んでいない場合は、ガラスを外し、サーモスルーバー窓IF 組立て説明書 **4**の**「ガラスの建込み」**を参照して、ガラスの建込みを再度やり直してください。

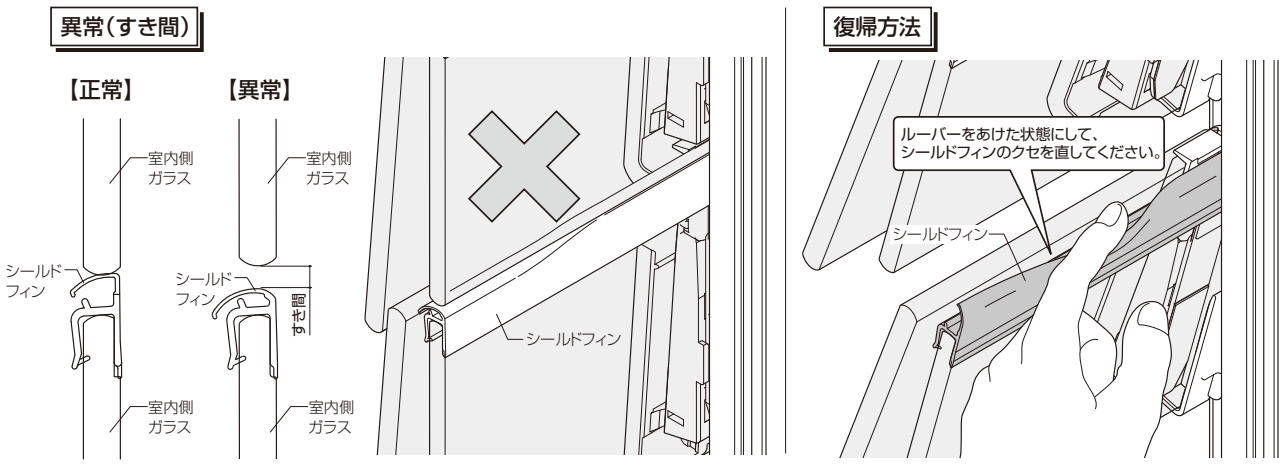
※正しく取付けられていないと、開閉不具合が生じるだけでなく、ガラスの落下の危険性があります。




### ■シールドフィン（すき間）の確認

●室内側ガラス同士のすき間がないか、確認をしてください。

※気密性能が低下します。

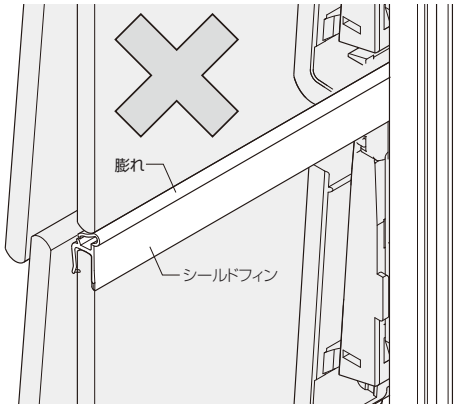


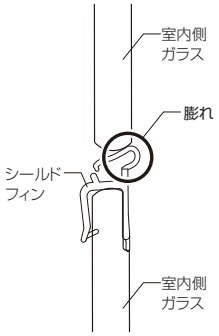
**■シールドフィン（膨れ）の確認**

●シールドフィンに膨れがないか、確認をしてください。

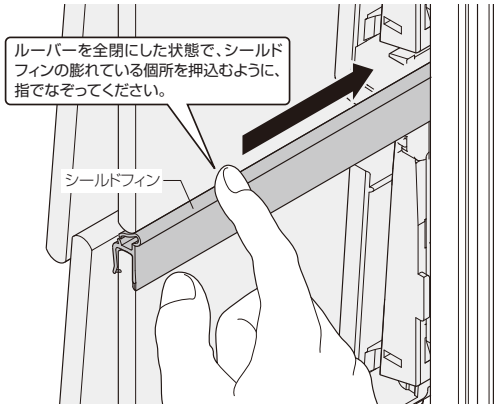
※ガラスが面一に引き寄らなくなり、気密性能が低下します。

**異常（膨れ）**



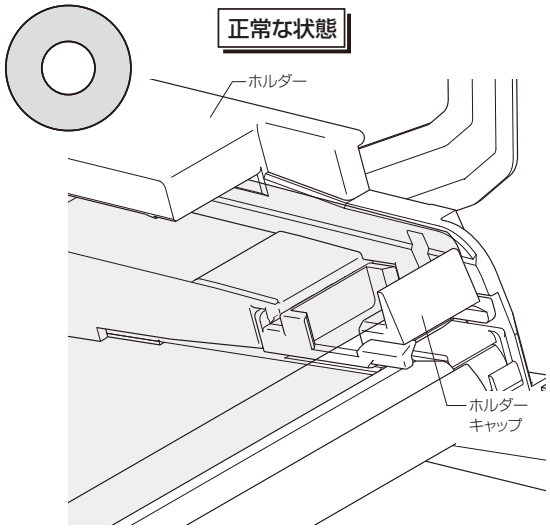

**復帰方法**

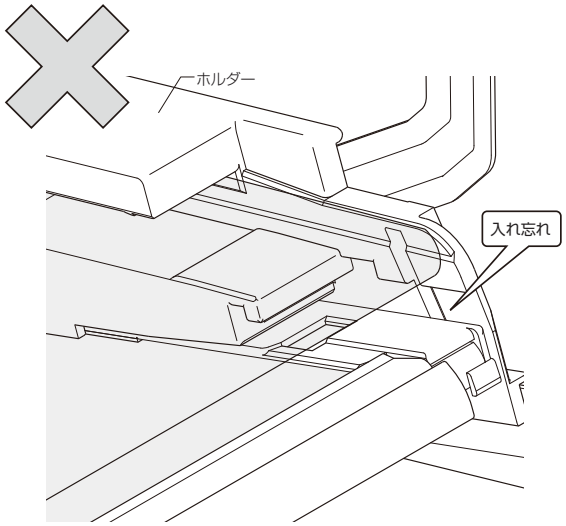


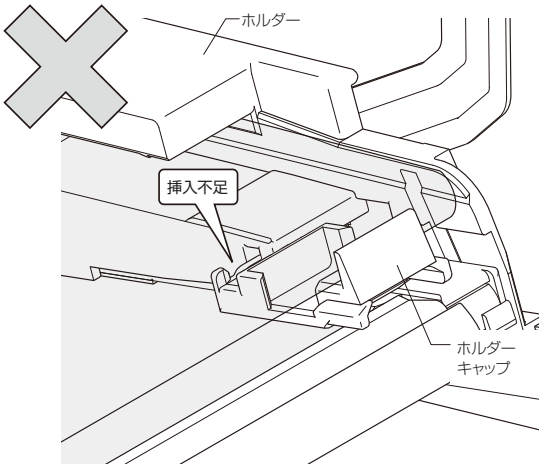

**■ホルダーキャップの確認**

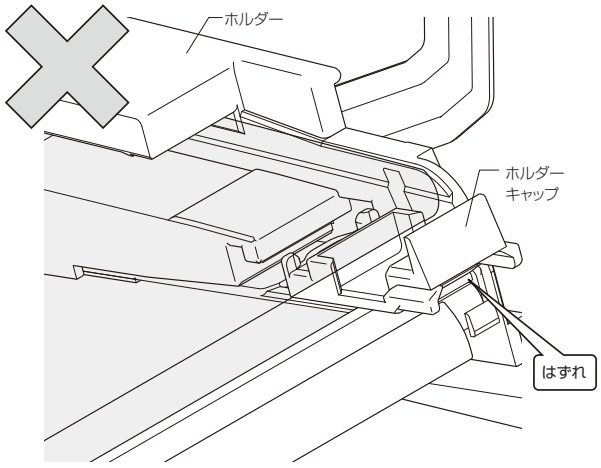
●ホルダーキャップの入れ忘れ、挿入不足、はずれなどがないか、確認をしてください。

**正常な状態**



# 内倒し窓

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアル（横すべり出し窓）の手順にしたがってください。

### ⚠注 意

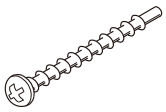
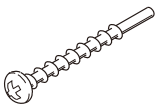
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
●アームが外れ障子が落下するおそれがありますので、アーム取付けねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**お願い**
●防火戸FGの障子は組立て時に室内側から見て防火ラベルが障子ガラスの右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定のねじで組立ててください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および外枠取付け用部品セットは、必ず施工される方にお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を建込む場合は、必ず施工される方へ障子取付けねじをお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。（防火戸FGは連窓・段窓ができません。）

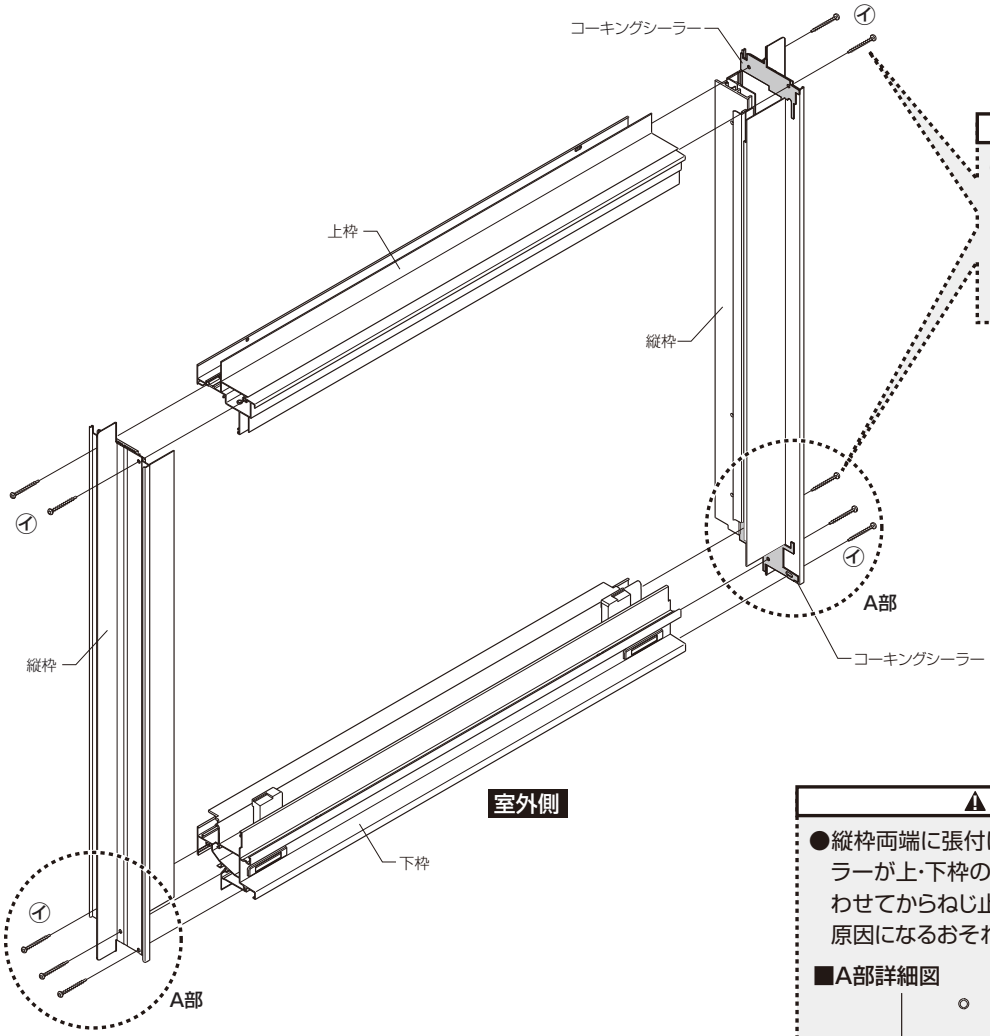
## ■ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
|  |  | |
| バインドタッピンねじ<br>φ4×30 | ナベタッピンねじ<br>φ4×25 | ナベ小ねじ<br>ワッシャー付きM4×10 |

## ■組立て順序

### 1 枠の組立て

●各部材の向きを合わせて㋑バインドタッピンねじφ4×30で取付けてください。



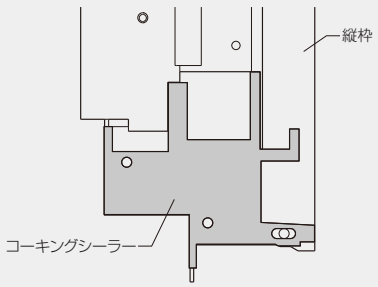

**⚠注　意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注　意**

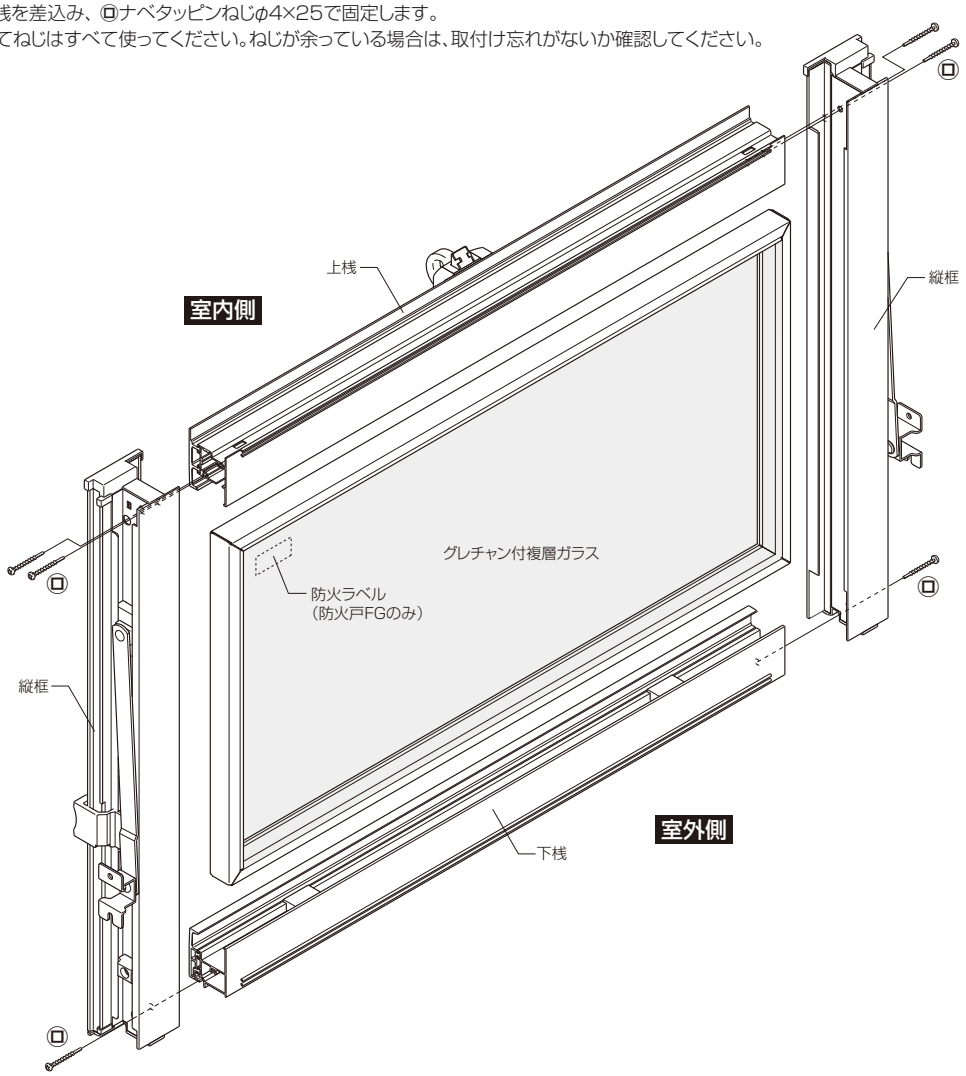
●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上·下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

■A部詳細図



## ❷ 障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
※防火戸FGの障子は組立て時に室内側から見て防火ラベルが障子ガラスの右上にくるように配置してください。
③縦框と上下桟を差込み、ⓓナベタッピンねじφ4×25で固定します。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

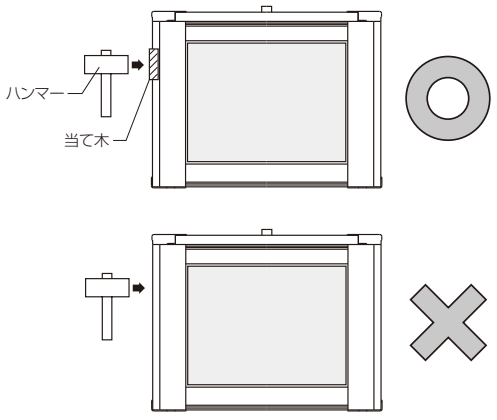



**⚠ 警　告**

- ●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアル（横すべり出し窓）の手順にしたがってください。

**お願い**

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。
部材が変形するおそれがあります。



### 3 障子の取付け

**【現場での障子を取付ける場合】**

※逆の手順で障子を取外せます。

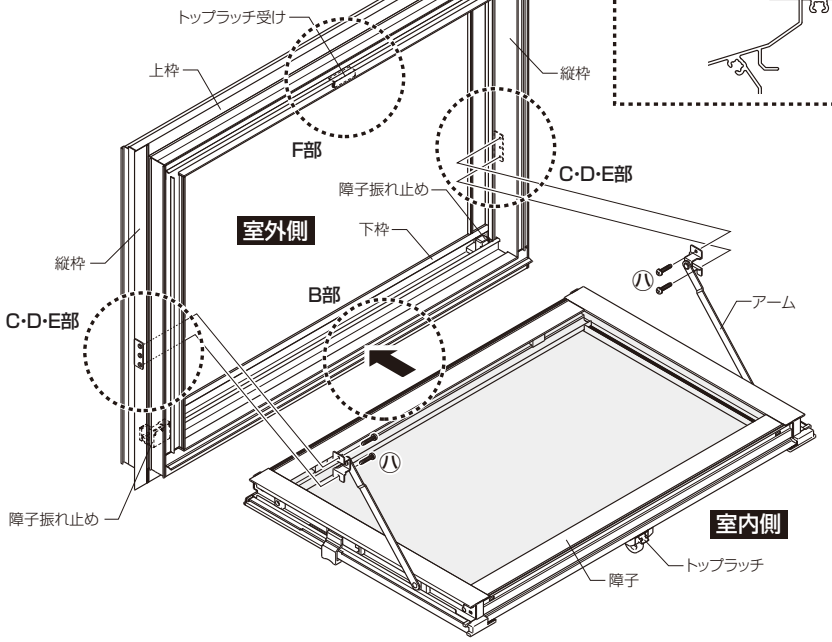
①室外側を上にして障子を寝かせ、下桟を下枠にはめ込みます。(B部詳細図)

②下枠両端に付いている障子振れ止めの間に障子が入っていることを確認し、障子を起こします。

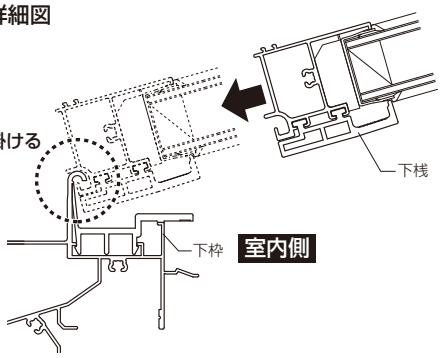
③ ㊅ナベ小ねじワッシャー付きM4×10 1本を左右縦枠の取付け穴(下側)に途中(半分)まで取付けます。(C部詳細図)

④アームの取付け座U字穴部を縦枠に取付けたねじに引っ掛けます。(D部詳細図)

⑤アーム取付けねじ4本をすべて固定します。(E部詳細図)



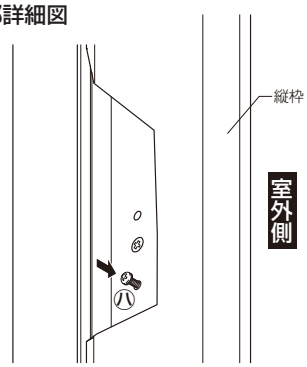

■B部詳細図



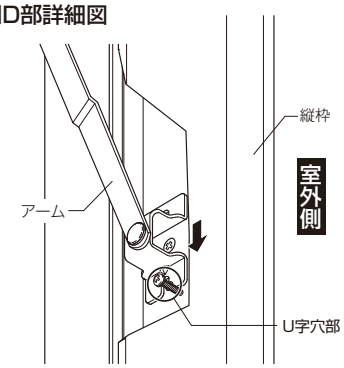

**⚠注 意**

●アームが外れ障子が落下するおそれがありますので、アーム取付けねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

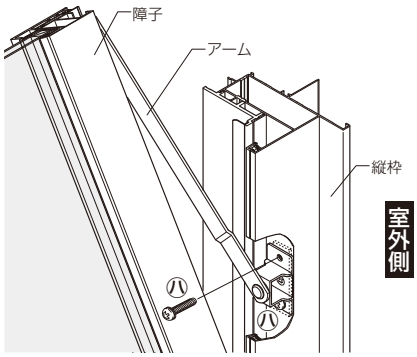
■C部詳細図




■D部詳細図



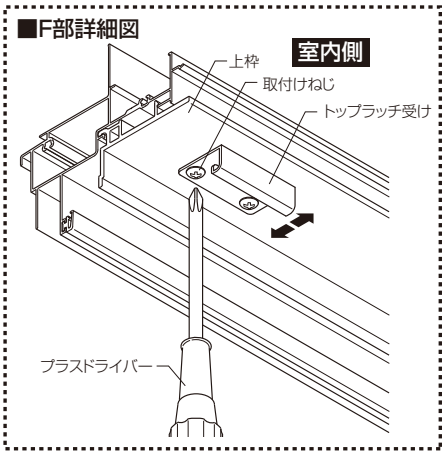

■E部詳細図




### 4 トップラッチ受けの調整

●トップラッチがトップラッチ受けに掛からない場合、又は建込んだ障子がガタつく場合は、トップラッチ受けの取付けねじをゆるめて位置を調整し、取付けねじを締直します。(F部詳細図)

■F部詳細図



# 内倒し窓

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。　※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

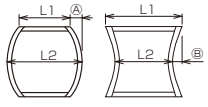
### ⚠注 意

●本製品は、製品重量が最大19kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘で枠を固定してください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。
●アームが外れ障子が落下するおそれがありますので、アーム取付けねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■取付け上のお願い

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。（防火戸 FG は連窓・段窓ができません）

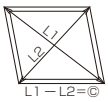
■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

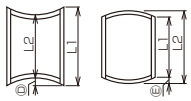
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠対角差




| C |
|---|
| 2 |

■サッシ上下枠の内反り・外反り



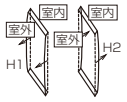

| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ

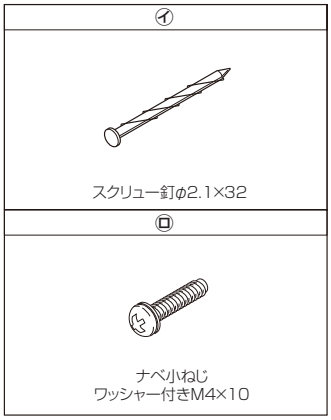
| F |
|---|
| 2 |

■サッシ枠の室内外の反り




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

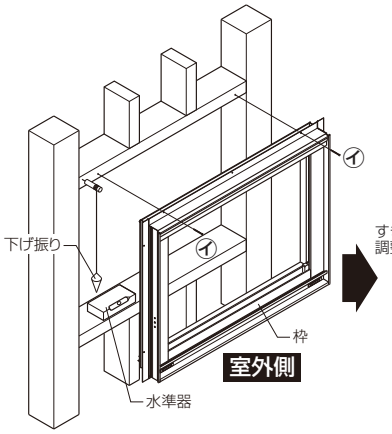
## ■ねじ一覧表




## ■取付け順序

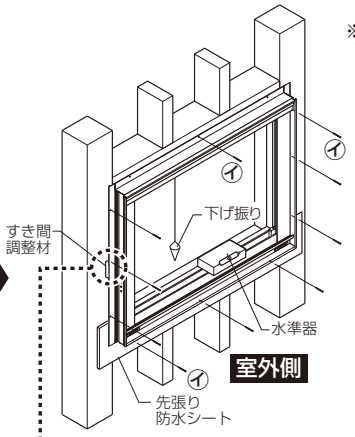
### 1 枠の仮止め

● 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



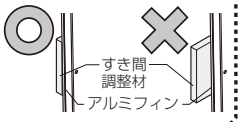

### 2 枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。



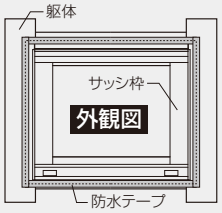

※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




### ⚠注 意

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。




**お願い**
※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

### 3 障子の取付け

**【現場での障子を取付ける場合】**

※逆の手順で障子を取外せます。

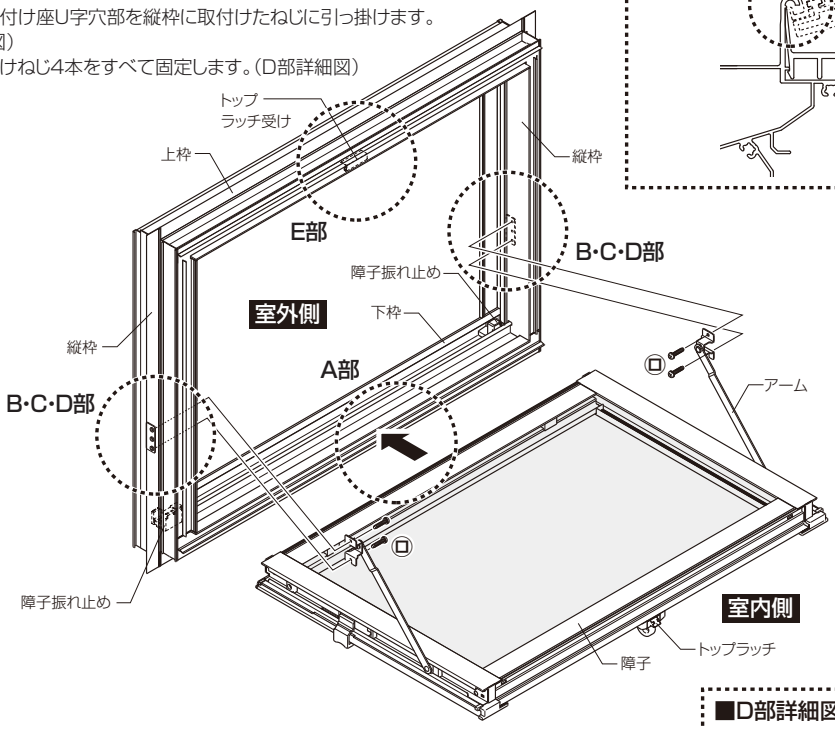
①室外側を上にして障子を寝かせ、下桟を下枠にはめ込みます。(A部詳細図)

②下枠両端に付いている障子振れ止めの間に障子が入っていることを確認し、障子を起こします。

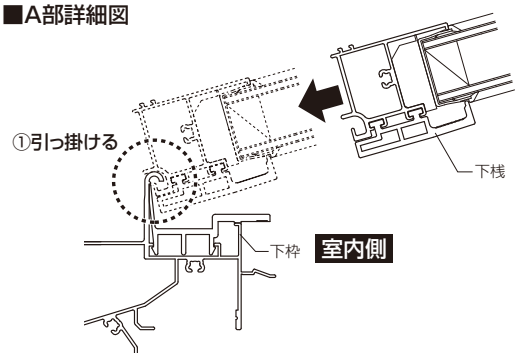
③取付けねじ1本を左右縦枠の取付け穴(下側)に途中(半分)まで取付けます。(B部詳細図)

④アームの取付け座U字穴部を縦枠に取付けたねじに引っ掛けます。(C部詳細図)

⑤アーム取付けねじ4本をすべて固定します。(D部詳細図)



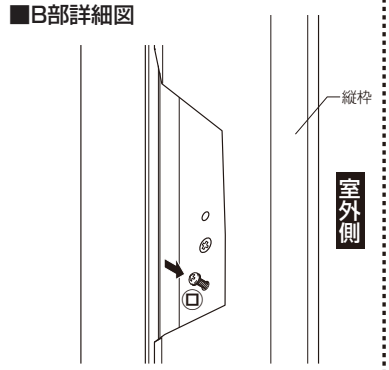

■A部詳細図



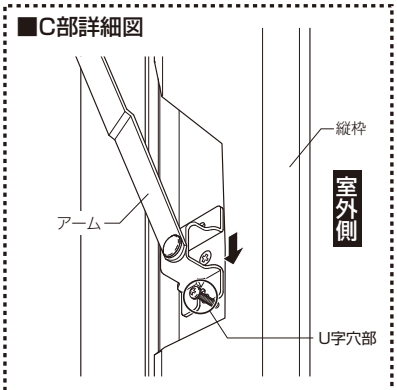

**⚠注 意**

●アームが外れ障子が落下するおそれがありますので、アーム取付けねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

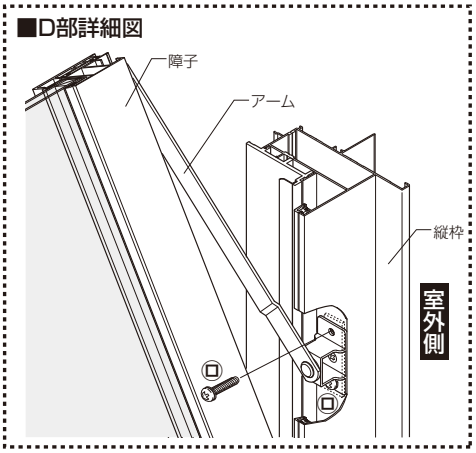
■B部詳細図




■C部詳細図



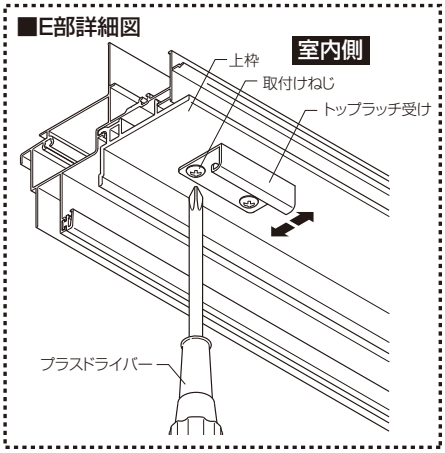

■D部詳細図




### 4 トップラッチ受けの調整

●トップラッチがトップラッチ受けに掛からない場合、又は建込んだ障子がガタつく場合は、トップラッチ受けの取付けねじをゆるめて位置を調整し、取付けねじを締直します。(E部詳細図)

■E部詳細図



# 外倒し窓

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアル（横すべり出し窓）の手順にしたがってください。

### ⚠注 意

●非常時に障子が開かなくなるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・スリーブはケーブルが抜けないように、強くかしめてください。
・連窓時は、各窓のケーブルがたわまないようにしてください。
●漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
・縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**お願い**
●防火戸FGの障子は組立て時に室内側から見て防火ラベルが障子ガラスの右上にくるように配置してください。

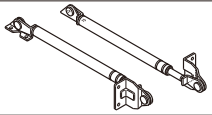
## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず施工される方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を取付ける場合は、必ず施工される方へ「障子取付けねじ·組立て説明書·オイルステー部品セット·排煙部品セット」をお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管·輸送の際は保護してください。
●連窓·段窓する場合は、必ず連窓方立·段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。（防火戸 FGは連窓·段窓ができません）

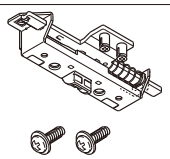
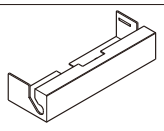
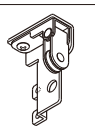
## ■ねじ・部品一覧表

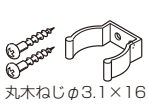
| 記 号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|---|
| 姿 図 | バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 | トラス小ねじ M4×8 |
| 部品セット表示 | 外枠組立用 | 障子組立用 | 障子取付用 |

## ■オイルステー部品セット

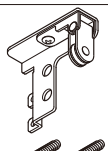
| オイルステー | ブラケット取付けねじ |
|---|---|
|  | トラス小ねじ 枠側：M4×16 障子側：M4×12 |

## ■排煙部品セット

| 排煙錠 | 排煙錠カバー | コーナー車 |
|---|---|---|
|  ナベ小ねじM4×6（ワッシャー付） |  トラス小ねじM4×6 |  トラス小ねじM4×16 |

| ケーブル | 開放用引手 | 把手ホルダー | 圧着スリーブ |
|---|---|---|---|
| 2m:単窓用 3m:二連窓用 | |  丸木ねじφ3.1×16 | |

## ■連窓部品セット

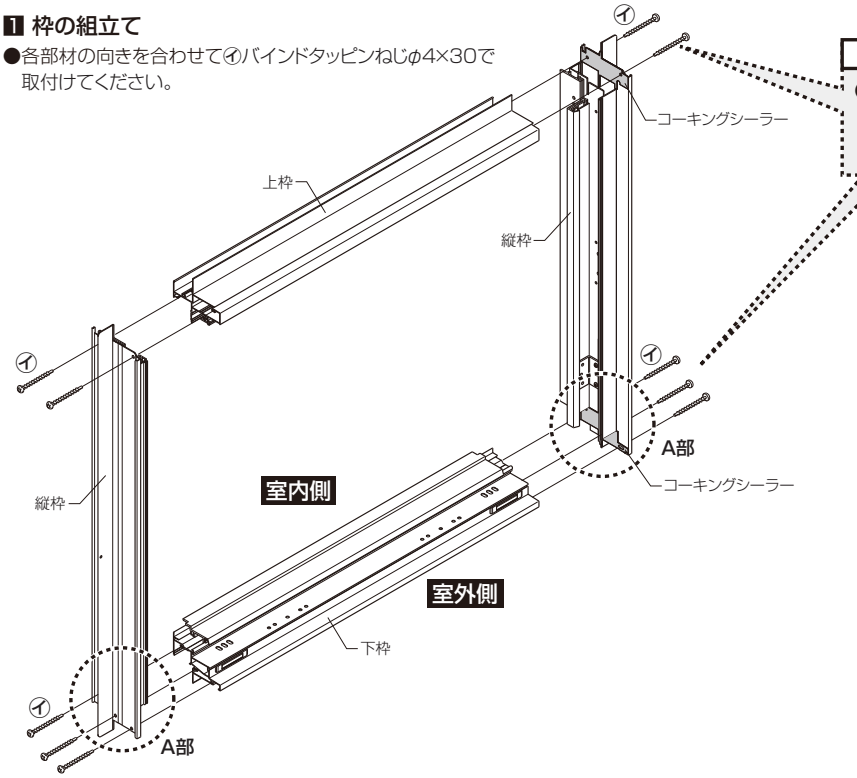
| 連窓用コーナー車 |
|---|
|  トラス小ねじM4×16 |

※連窓時に使用します。

## ■組立て順序

### 1 枠の組立て

●各部材の向きを合わせて㋑バインドタッピンねじφ4×30で取付けてください。



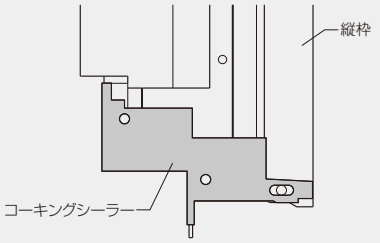

**⚠注　意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注　意**

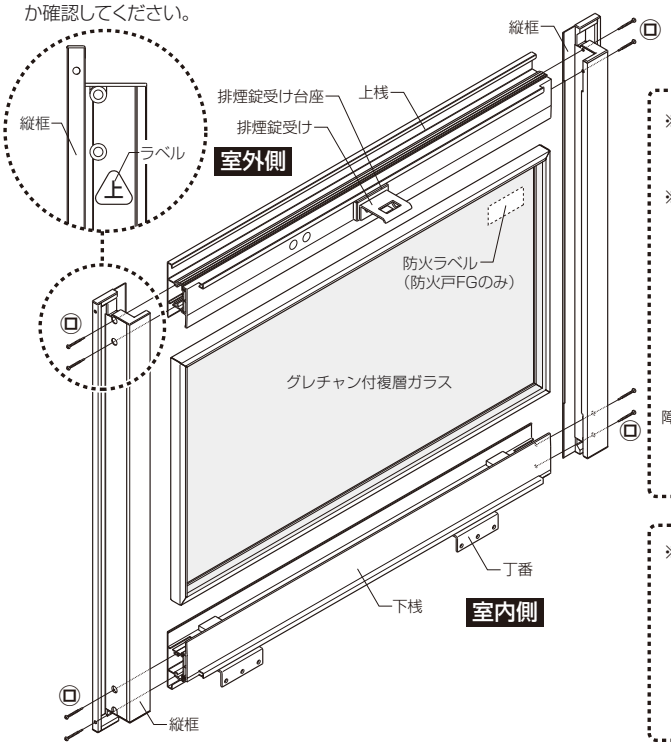
●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが、上·下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

■A部詳細図




### 2 障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外·上下·左右が正しいか必ず確認してください。
※防火戸FGの障子は組立て時に室内側から見て防火ラベルが障子ガラスの右上にくるように配置してください。
③縦框と上下桟を差込み、㋺ナベタッピンねじφ4×25で固定します。
※縦框には上下があります。上部にはラベルが張ってありますので確認してください。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

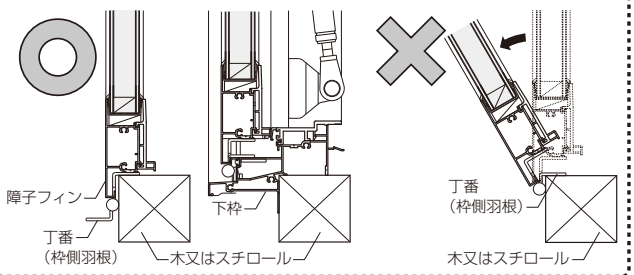



**⚠警　告**

●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

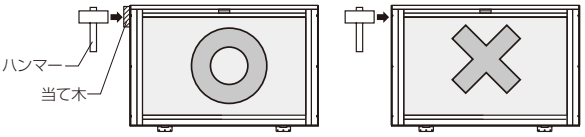
**お願い**

※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。
※丁番の枠側羽根で障子を支えないでください。障子が倒れることがあります。




**お願い**

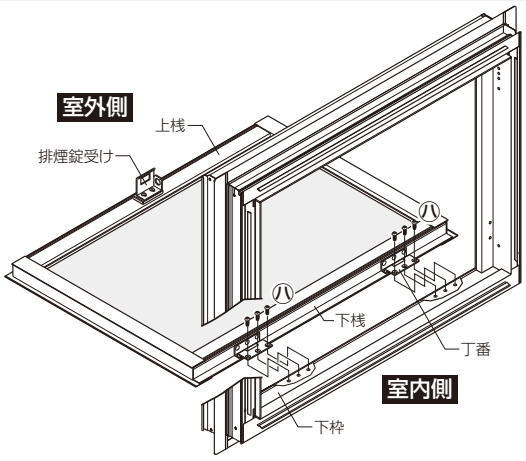
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。
部材が変形するおそれがあります。



## 3 障子の取付け

※連窓･段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。

●障子下桟の丁番を、㋑トラス小ねじM4×8で下枠に取付けます。

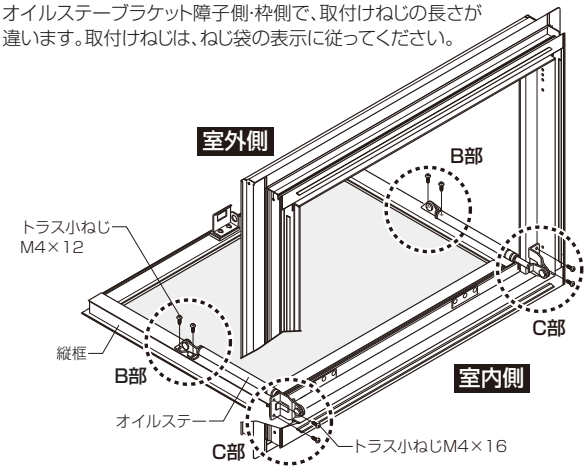



## 4 オイルステーの取付け

●オイルステーをB部･C部の順にトラス小ねじで取付けます。

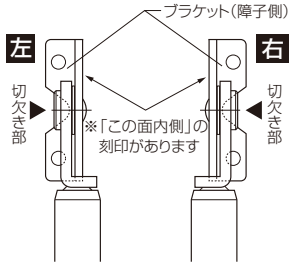
※取付け後、障子を開閉して、開閉装置の確認をしてください。

※オイルステーブラケット障子側･枠側で、取付けねじの長さが違います。取付けねじは、ねじ袋の表示に従ってください。



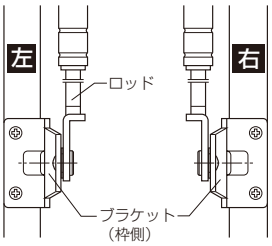

### ■B部詳細

●ブラケット（障子側）の切欠き部が、縦枠側を向くように取付けてください。




### ■C部詳細

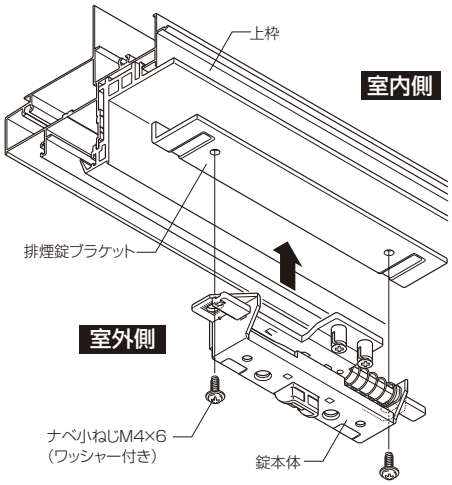
●ブラケット（枠側）が下図のように、縦枠に取付けられるよう、ロッドを回転させて向きを調整してください。




## 5 排煙錠の取付け

●錠本体を上枠に取付けてある排煙錠ブラケットに、ナベ小ねじで取付けます。

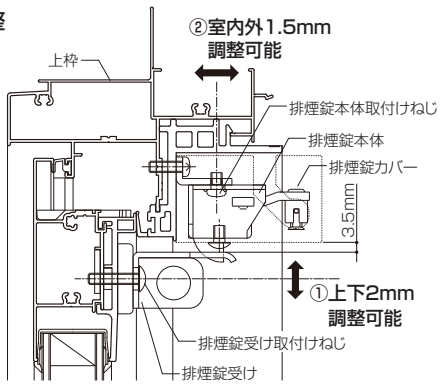
※排煙錠カバーは、最後に取付けます。

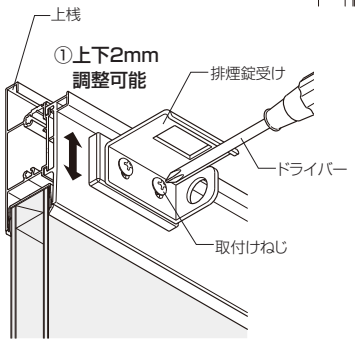


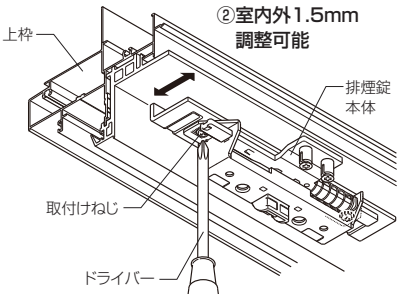

### ■排煙錠および排煙錠受けの調整

①排煙錠カバーを取付けた状態で、カバー下面と排煙錠受け上面のすき間が3.5mmになるように、排煙錠受け取付けねじをゆるめて上下に調整してください。

②排煙錠のラッチのかかりがゆるく、障子がガタつく場合は、排煙錠本体取付けねじをゆるめて室内側に調整してください。

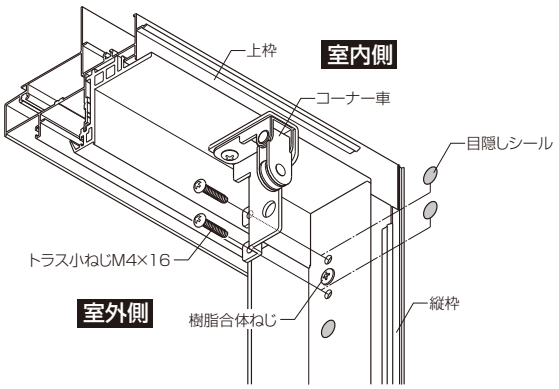


## 6 コーナー車の取付け

●室内側の右縦枠上部に張付けてある目隠しシール3枚のうち、上の2枚（樹脂合体ねじの隣にある）をはがします。
●コーナー車を右縦枠上部に、トラス小ねじで取付けます。
※開放用引手左仕様（特注）の場合は、左縦枠に取付けてください。
※連窓時は、引手取付け部のみコーナー車を取付けてください。
※連窓時は、連窓用コーナー車を連窓方立側の縦枠に取付けてください。
取付け方法はコーナー車と同じになります。



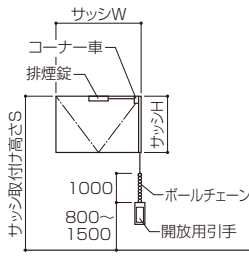

## 7 開放用引手の取付け

### 1）ケーブルの長さ設定

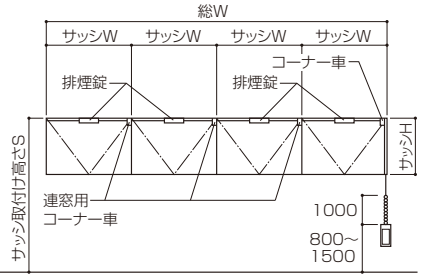
①ケーブル（2m）の長さ（L）は、次式によって算出し、ペンチなどでカットしてください。
※最小長さ（Lmin）は、必ず確保してください。
※L>2000mmの場合は、延長ケーブル（5m／別途有償部品）が必要となります。

| | ケーブル必要長さL（mm） | 最小長さLmin（mm） |
|---|---|---|
| 単窓 | $L=\frac{サッシW}{2}+S-(1800\sim2500)$ | $\frac{サッシW}{2}+100$ |
| 連窓 | $L=総W+S-\frac{サッシW}{2}-(1800\sim2500)$ | $総W+100-\frac{サッシW}{2}$ |

■単窓




■連窓

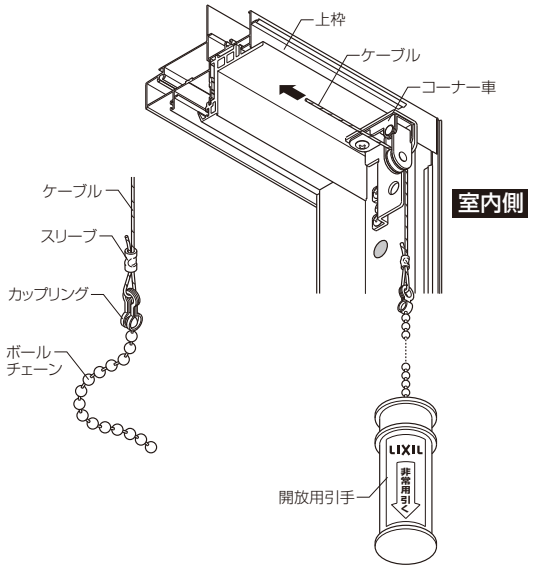



### 2）ケーブルと開放用引手の連結

①ケーブルをスリーブとカップリングに通し、ペンチなどで強くかしめます。
②ケーブルの一方をコーナー車に通してください。
※連窓時は連窓用コーナー車もケーブルを通してください。

**⚠注　意**

●ケーブルが抜けるおそれがありますので、スリーブは強くかしめてください。

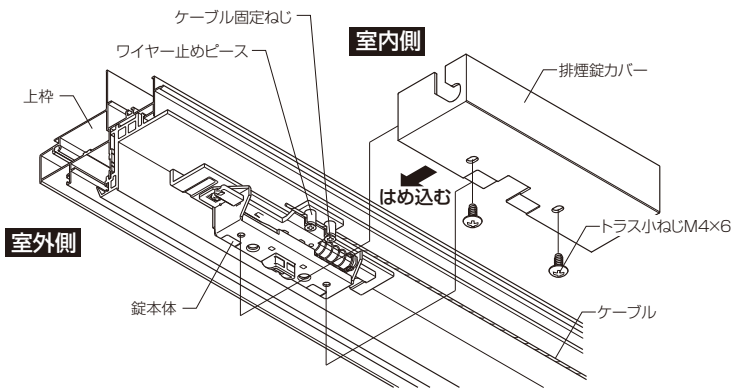



### 3）ケーブルと排煙錠の連結

①ワイヤー止めピースの穴にケーブルを通し、下部の2本のねじでしっかり固定してください。
※連窓時は、ケーブルをそれぞれ排煙錠に順に通し、最後に通した排煙錠の方からケーブルを固定してください。
②最後に排煙錠カバーをはめ込み、ねじ止めします。

**⚠注　意**

●障子が開かなくなるおそれがありますので、連窓時には、各窓のケーブルがたわまないようにしてください。



# 外倒し窓

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。　※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

●本製品は、製品重量が最大20kgとなります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。

・指定のスクリュー釘で枠を固定してください。

・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

●漏水防止のため、下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。

●ケーブルが抜けるおそれがありますので、スリーブは強くかしめてください。

●障子が開かなくなるおそれがありますので、連窓時には、各窓のケーブルがたわまないようにしてください。

## ■取付け上のお願い

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

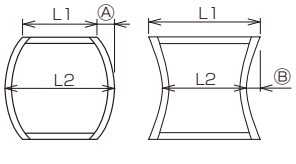
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
（防火戸 FGは連窓・段窓ができません）

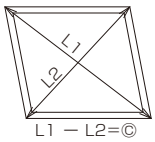
■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

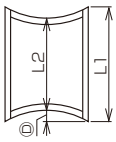
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

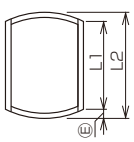
■サッシ枠対角差




| C |
|---|
| 2 |

■サッシ上下枠の内反り・外反り

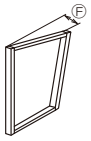



| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

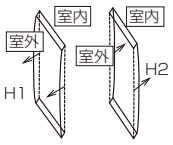
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ



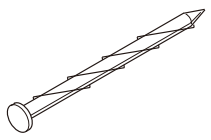
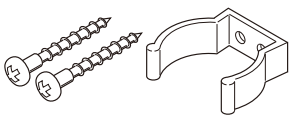

| F |
|---|
| 2 |

■サッシ枠の室内外の反り




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

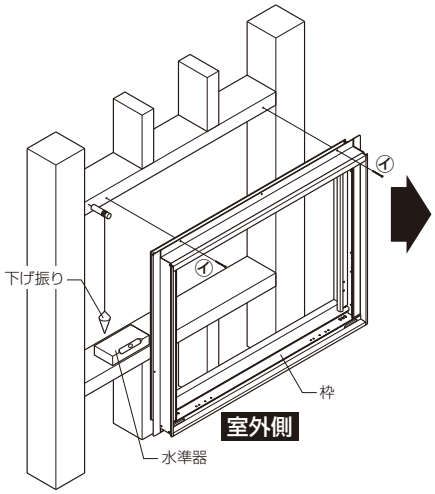
## ■ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ |
|---|---|---|
| 姿図 |  スクリュー釘φ2.1×32 |  丸木ねじφ3.1×16<br>把手ホルダー<br>（SL-80対応用には入っていません） |
| 部品セット表示 | 外枠取付け用 | 排煙把手セットに同梱 |

## ■取付け順序

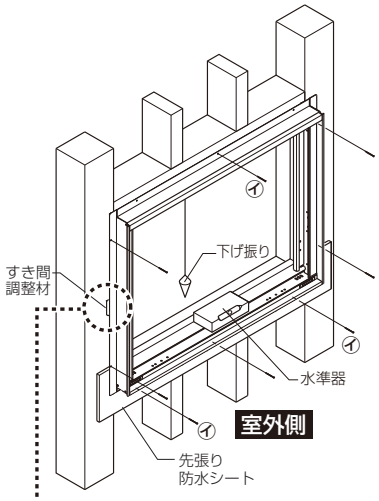
### 1 枠の仮止め

● 開口部の水平･垂直を確認し、枠を仮止めします。



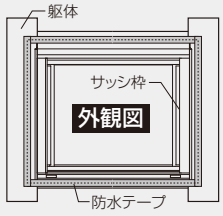

### 2 枠の調整と固定

●下げ振り･水準器で枠のねじれ･倒れ･ゆがみを直した後、固定します。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

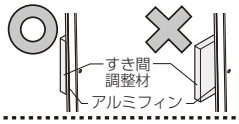



**⚠注 意**

●枠の水平･垂直を正確に出して取付けてください。
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



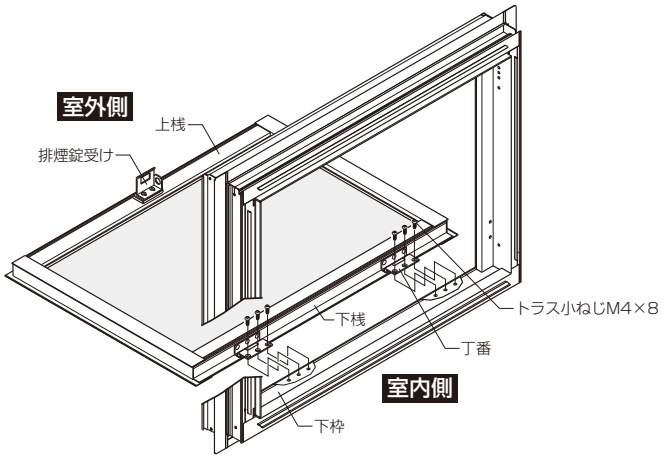

**お願い**
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




**お願い**
※枠の取付けの際には冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

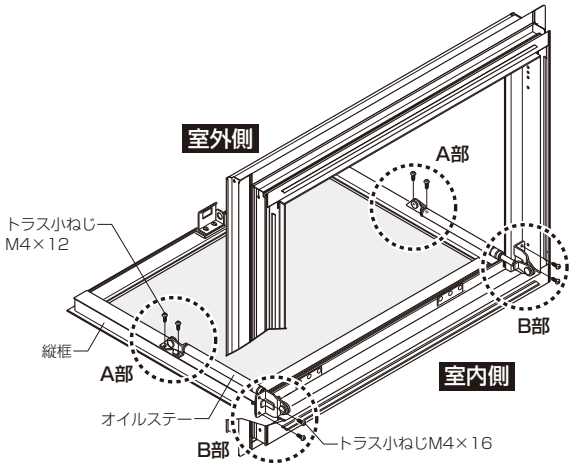
### 3 障子の取付け

※連窓･段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
●障子下桟の丁番を、トラス小ねじM4×8で下枠に取付けます。



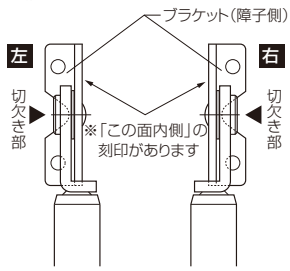

### 4オイルステーの取付け

●オイルステーをA部･B部の順にトラス小ねじで取付けます。
※取付け後、障子を開閉して、開閉装置の確認をしてください。
※オイルステーブラケット障子側･枠側で、取付けねじの長さが違います。取付けねじは、ねじ袋の表示に従ってください。



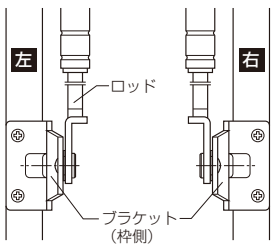

**■A部詳細**

●ブラケット（障子側）の切欠き部が、縦枠側を向くように取付けてください。



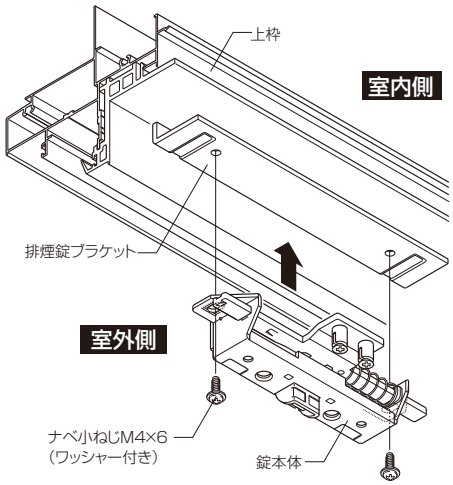

**■B部詳細**

●ブラケット（枠側）が下図のように、縦枠に取付けられるよう、ロッドを回転させて向きを調整してください。



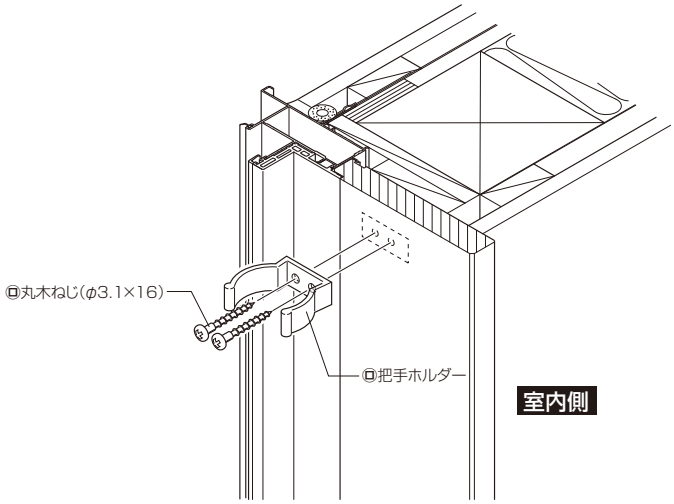
## 5排煙錠の取付け

●錠本体を上枠に取付けてある排煙錠ブラケットに、ナベ小ねじで取付けます。
※排煙錠カバーは、最後に取付けます。



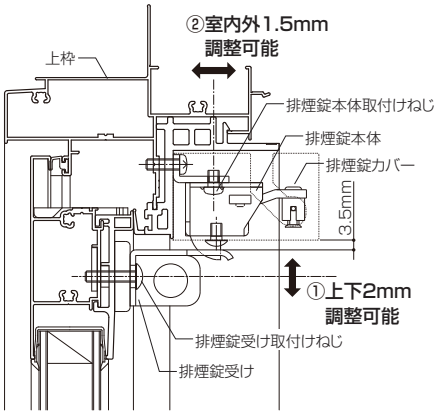

## 6 把手ホルダーの取付け（SL-80対応用での取付けはありません。）

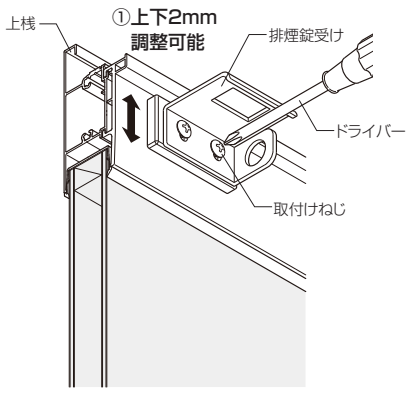
●把手ホルダーは、丸木ねじ（φ3.1×16）で造作材などに取付けてください。

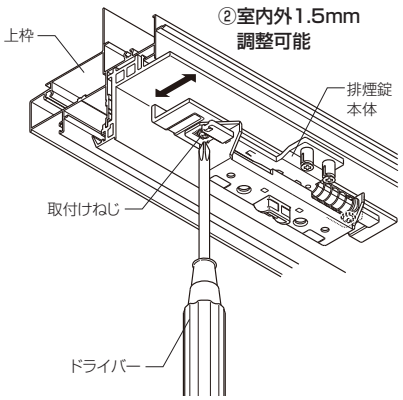



## 7排煙錠および排煙錠受けの調整（SL-80対応用での調整はありません。）

①排煙錠カバーを取付けた状態で、カバー下面と排煙錠受け上面のすき間が3.5mmになるように、排煙錠受け取付けねじをゆるめて上下に調整してください。
②排煙錠のラッチのかかりがゆるく、障子がガタつく場合は、排煙錠本体取付けねじをゆるめて室内側に調整してください。

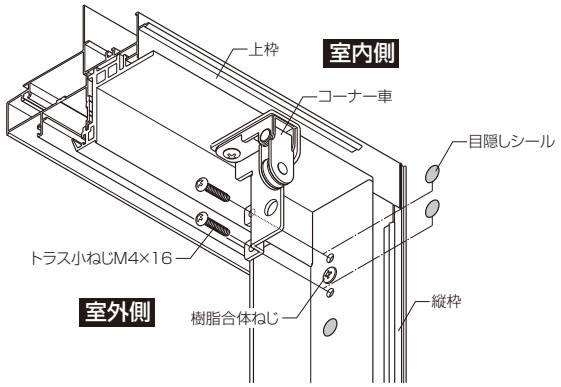


## 8 コーナー車の取付け

●室内側の右縦枠上部に張付けてある目隠しシール3枚のうち、上の2枚（樹脂合体ねじの隣にある）をはがします。
●コーナー車を右縦枠上部に、トラス小ねじで取付けます。
※開放用引手左仕様（特注）の場合は、左縦枠に取付けてください。
※連窓時は、引手取付け部のみコーナー車を取付けてください。
※連窓時は、連窓用コーナー車を連窓方立側の縦枠に取付けてください。
取付け方法はコーナー車と同じになります。



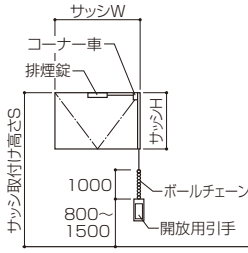

## 9 開放用引手の取付け

### 1）ケーブルの長さ設定

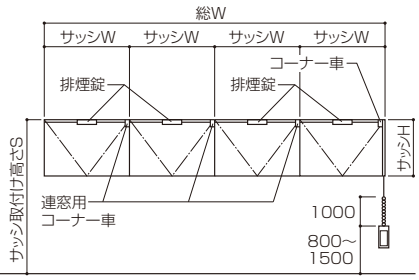
①ケーブル（2m）の長さ（L）は、次式によって算出し、ペンチなどでカットしてください。
※最小長さ（Lmin）は、必ず確保してください。
※L>2000mmの場合は、延長ケーブル（5m／別途有償部品）が必要となります。

| | ケーブル必要長さL（mm） | 最小長さLmin（mm） |
|---|---|---|
| 単窓 | $L=\frac{サッシW}{2}+S-(1800\sim2500)$ | $\frac{サッシW}{2}+100$ |
| 連窓 | $L=総W+S-\frac{サッシW}{2}-(1800\sim2500)$ | $総W+100-\frac{サッシW}{2}$ |

■単窓




■連窓

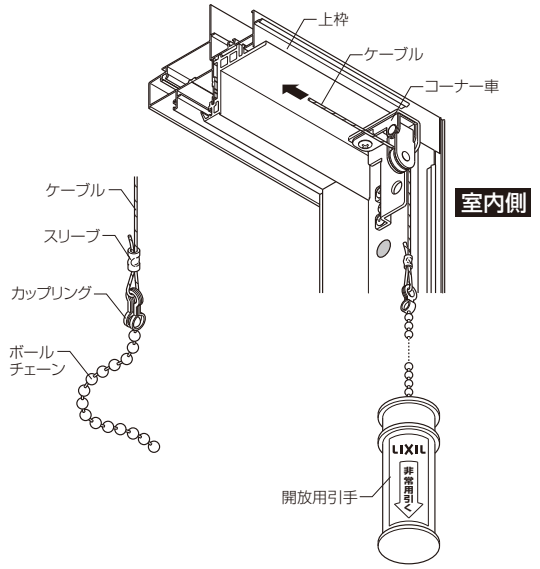



### 2）ケーブルと開放用引手の連結

①ケーブルをスリーブとカップリングに通し、ペンチなどで強くかしめます。
②ケーブルの一方をコーナー車に通してください。
※連窓時は連窓用コーナー車もケーブルを通してください。

**⚠注　意**

●ケーブルが抜けるおそれがありますので、スリーブは強くかしめてください。

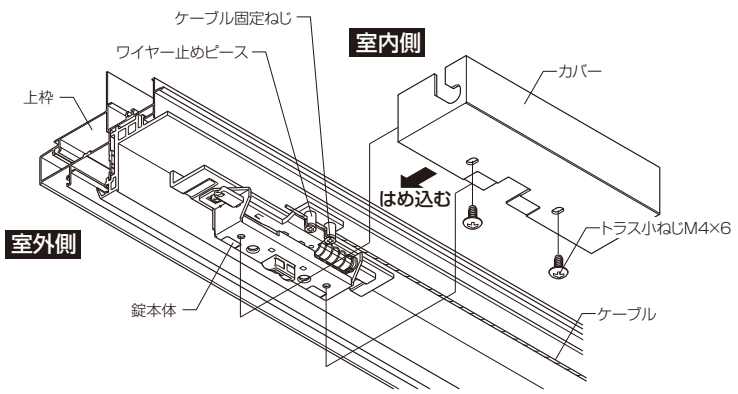



### 3）ケーブルと排煙錠の連結

①ワイヤー止めピースの穴にケーブルを通し、下部の2本のねじでしっかり固定してください。
※連窓時は、ケーブルをそれぞれ排煙錠に順に通し、最後に通した排煙錠の方からケーブルを固定してください。
②最後に排煙錠カバーをはめ込み、ねじ止めします。

**⚠注　意**

●障子が開かなくなるおそれがありますので、連窓時には、各窓のケーブルがたわまないようにしてください。



# テラスドア・開き窓テラス・採風勝手口ドアFS・勝手口ドア　枠

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

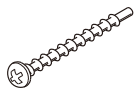
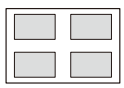
**⚠注　意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付側の2ヵ所）には隙間隠し部品シールの上に浴室防水部品セット（別売り）を張付けてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●本体の組立ては、「本体組立て説明書」をご覧ください。
●本体の吊込み・枠の取付けは、「枠取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは必ず取付けされる方へお渡しください。
●本体を枠に吊込んだ状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
●下枠シブキ止めシールは性能保持のための重要な部品です。はがれていないことを確認してください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

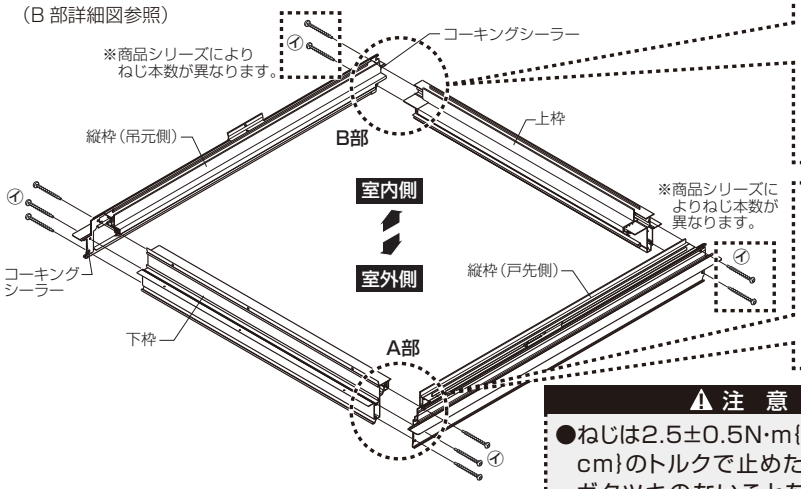
## ■部品一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ |
|---|---|---|
| 姿図 |  |  |
| | バインドタッピンねじ（2種）φ4×30 | 隙間隠し部品シール |

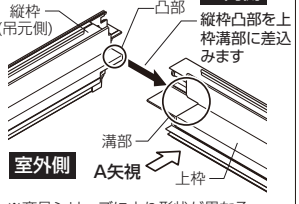
※一部品種・機種には、隙間隠し部品セットがない場合があります。

## ■組立て順序

①下枠両端に張付けてある下枠シブキ止めシールが、ずれたり・めくれたりしていないことを確認してください。
②縦枠と下枠のすき間を下枠シブキ止めシールで埋めながら、バインドタッピンねじ㋑で枠を組立ててください。（A 部詳細図参照）
③縦枠凸部を上枠溝部に差込んでから、バインドタッピンねじ㋑で枠を組立ててください。（B 部詳細図参照）

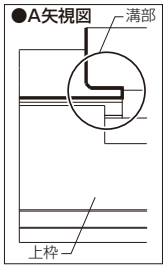



■B部詳細図



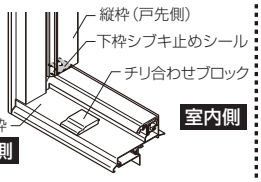

※商品シリーズにより形状が異なる場合があります。

●A矢視図




■A部詳細図

※下枠に張付けてあるチリ合わせブロックは、本体吊込み時まで外さないでください。




**⚠注　意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

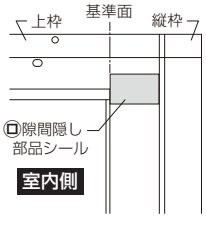
**⚠注　意**

●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが上・下枠の周りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

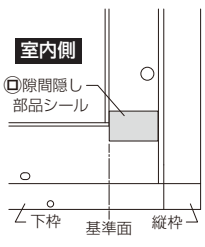
## ■隙間隠し部品シールの取付け

●縦枠と上枠（下枠）の接合部分（室内側4ヵ所）に張付けてください。
①張付け側のリケイ紙をはがします。
②基準面を合わせて張付けます。

〔上部詳細図〕




〔下部詳細図〕




**お願い**
※隙間隠し部品セットはサッシ枠を組立ててから取付けてください。
※防火商品の場合は部品セットに同梱されている組立て説明書を確認ください。

**⚠注　意**

●浴室に使用される際は、下枠と縦枠の接合部分（躯体取付側の2ヵ所）には隙間隠し部品シールの上に浴室防水部品セット（別売り）を張付けてください。

# テラスドア・開き窓テラス・採風勝手口ドア・勝手口ドア

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
※▭ 内はロットNo.表示位置を示します。　※枠のロットNo.はブランドラベルに表示しています。

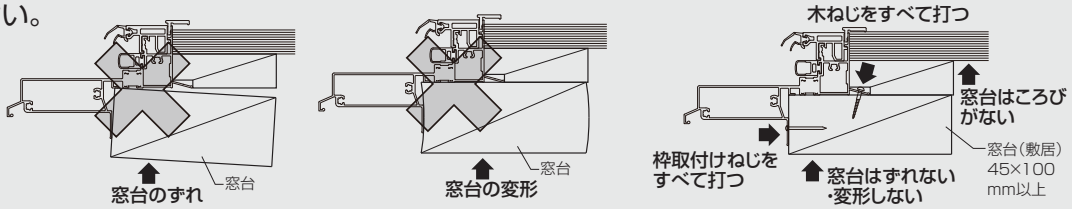
## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠注　意

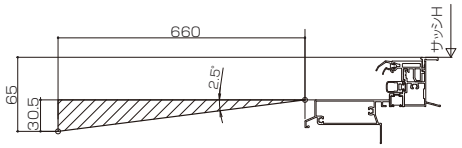
●本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の本体重量は最大55Kgになります。)
●風のあおりなどによるドア本体の落下・枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良、サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。



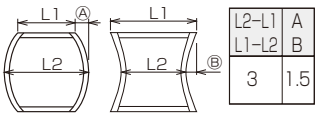

・テラスドアはフリクションアームを必ず取付けてください。
取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷するおそれがあります。
・勝手口ドアはドアクローザーを必ず取付けてください。
取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷するおそれがあります。
●漏水防止のため、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●必ず指定の取付けねじを使用してください。
●上枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。
●縦枠は必ず垂直に取付けてください。
●本体は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。
●本体の吊込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5～2.0N·mにて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●ねじは2.5±0.5N·m{25±0.5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が右図の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●室外側の仕上げが▨の範囲に入らないようにしてください。ドア本体が吊り込めないおそれがあります。

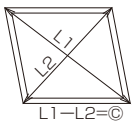



### ■サッシ枠のフクレ・ツヅミ



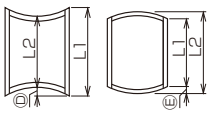

| L2−L1 | A |
|---|---|
| L1−L2 | B |
| 3 | 1.5 |

### ■サッシ枠対角差



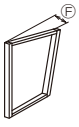

| C |
|---|
| 3 |

### ■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



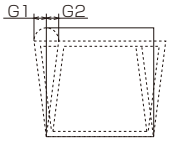

| L1−L2 | D |
|---|---|
| L2−L1 | E |
| 3 | 2 |

### ■サッシ枠のねじれ



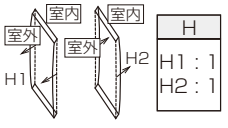

| F |
|---|
| 2 |

### ■サッシの倒れ



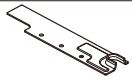

| G |
|---|
| G1 : 2 |
| G2 : 2 |

### ■サッシ枠の室内外のソリ




| H |
|---|
| H1 : 1 |
| H2 : 1 |

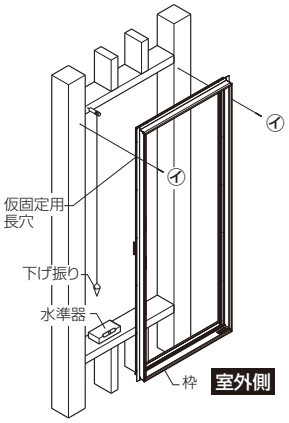
## ■取付けねじ一覧表

| 記　号 | ㋑～㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋠ | ㋮ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿　図 | | |  | | | | |
| | 枠取付けねじφ3.1×25<br>(低頭ねじ) | 枠取付けねじφ3.5×25<br>(丸木ねじ) | ピボットヒンジ取付け金具 | ㋬取付けねじM4×8<br>(トラス小ねじ) | 躯体取付けねじφ3.8×50<br>(丸木ねじ) | ㋠取付け穴ふさぎ<br>(プッシュボタン) | 段窓無目取付けねじφ4×45<br>(平ドリルねじ)<br>※段窓時に使用します。 |

## ■取付け順序

### 1 枠の仮止め

●開口部の水平･垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。




**⚠ 注 意**

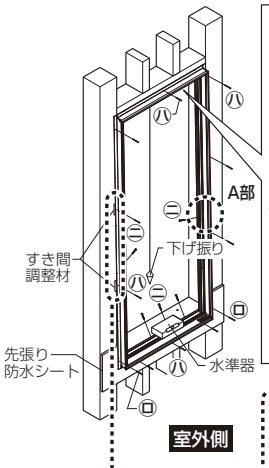
●枠の水平･垂直を正確に出して取付けてください。

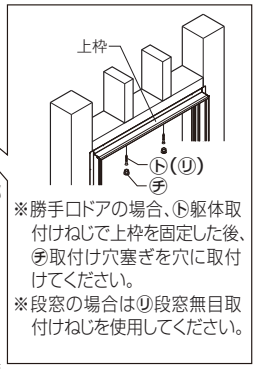
### 2 枠の調整と固定

●下げ振り･水準器で枠のねじれ･たおれ･ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋺を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋑㋩を固定します。

※縦枠は、必ず垂直に取付けてください。（開閉障害･すき間が生じるおそれがあります。）

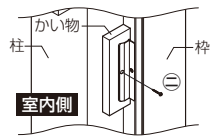
※枠取付けねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。
縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。




※勝手口ドアの場合、㋣躯体取付けねじで上枠を固定した後、㋒取付け穴塞ぎを穴に取付けてください。
※段窓の場合は㋕段窓無目取付けねじを使用してください。

**■A部詳細図**



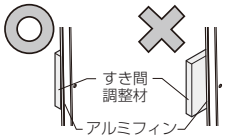

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、かい物部に木ねじで適切なトルクにて締付けてください。枠がころび、樹脂のはずれや開閉不良など不具合が発生することがあります。

**お願い**

※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

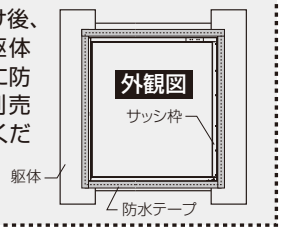
**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。

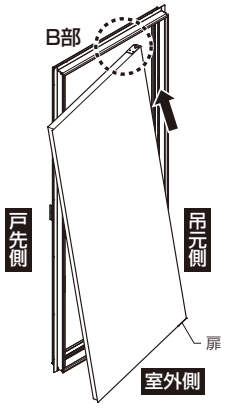



### 3 本体の吊込み

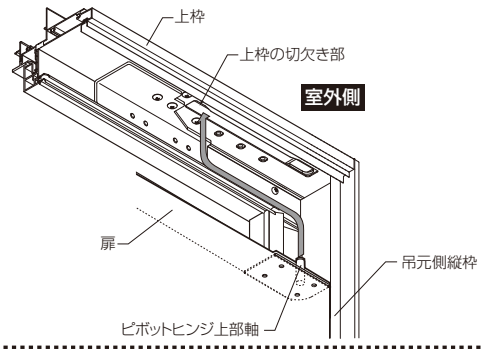
①扉を斜めに持上げ、扉の上部にあるピボットヒンジ上部軸を上枠の切欠き部の端に差込みます。

**お願い**

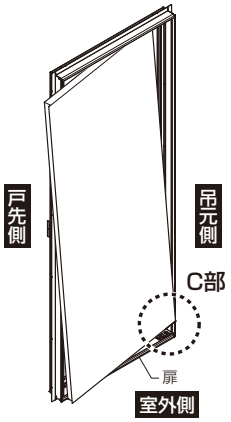
※はじめにピボットヒンジ上部軸を差込しんでください。
下部軸を先に差込むと吊込みできません。



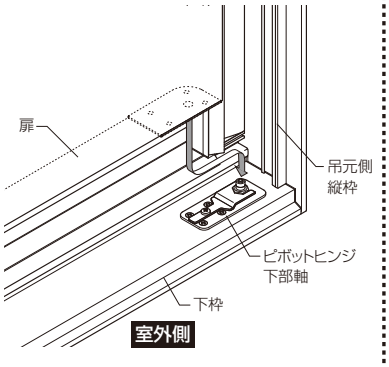

**■B部詳細図**



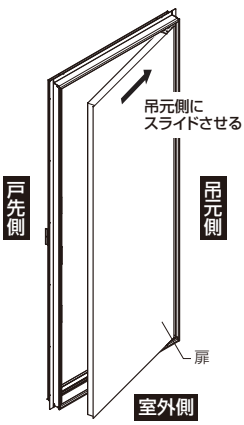

②①の状態で扉をピボットヒンジ下部軸に差込みます。

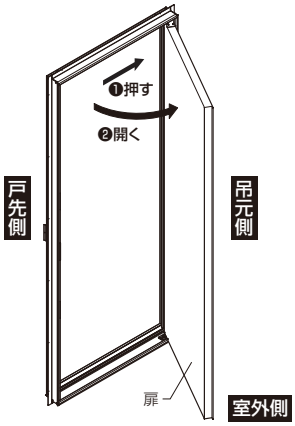



**■C部詳細図**

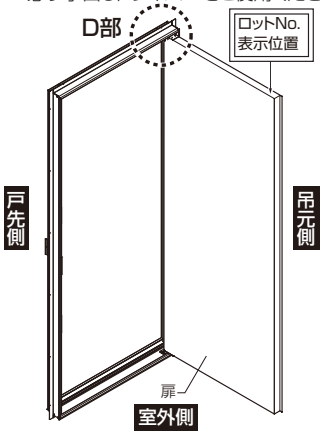


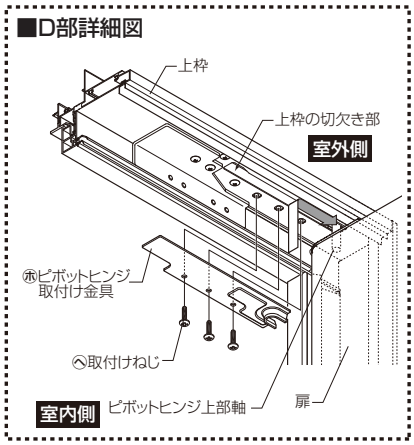

③扉の上部を吊元方向にスライドさせた後、押しながら扉を開くと正規の位置になります。



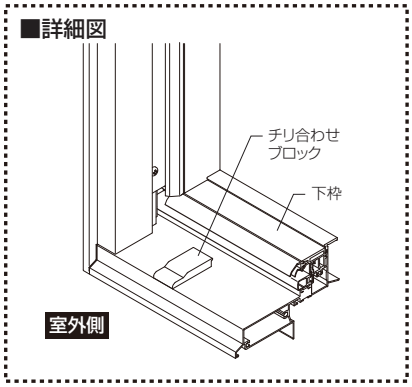



④㊮ピボットヒンジ取付け金具を、扉のピボットヒンジ上部軸に差込み、㋭取付けねじで固定します。
※必ず手回しドライバーをご使用ください。




⑤下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。

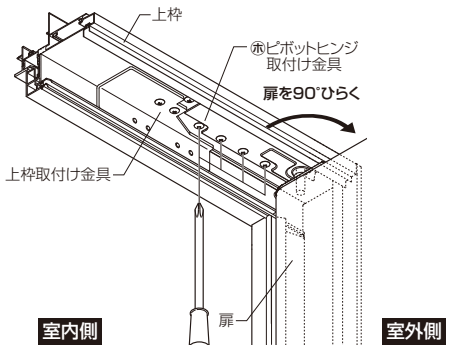


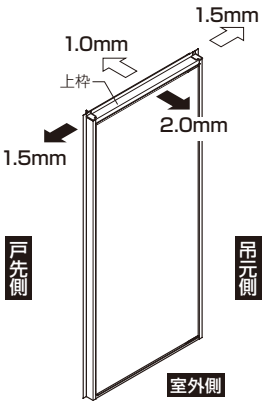

**お願い**
※取付け完了後は必ずチリ合わせブロックを取外してください。(ドアの開閉に支障がでます。)

## ■建付け調整

### ■左右方向のすき間の調整

①扉を90°開きます。
②㊮ピボットヒンジ取付け金具のねじ4本をゆるめます。
③室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。

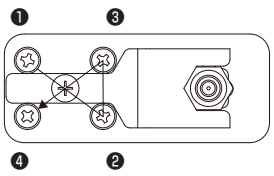


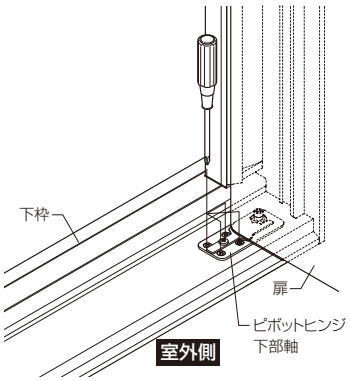



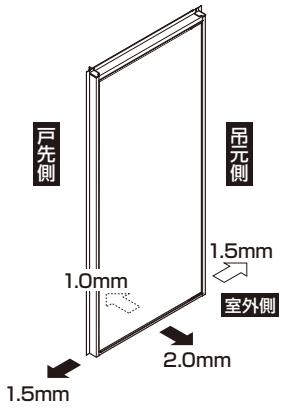

④ピボットヒンジ下部軸のねじ4本をゆるめます。
⑤室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
※必ず手回しドライバーをご使用ください。

### 建付け調整時の注意事項

下枠のピボットヒンジを調整した際、取付けネジは30kgf·cmのトルクで対角順に締め付けてください。



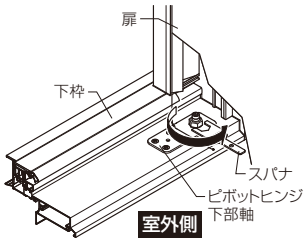



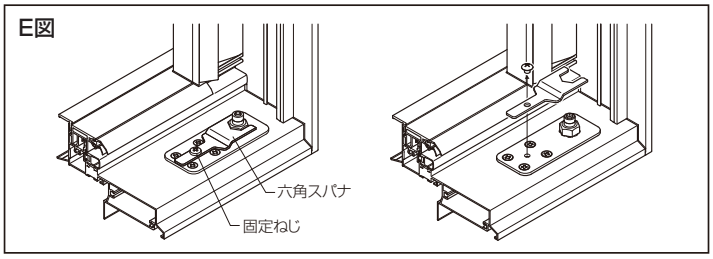
## ■上下方向のすき間の調整

●ピボットヒンジ下部軸に取付けされている六角スパナでピボットヒンジ下部軸のナットを右に回すことで上に最大3mmまで動かせます。
六角スパナの固定ねじを外して使用してください。(E図)
●調整が終わったら、六角スパナを固定ねじで元のとおりに取付けてください。

**お願い**
●スパナは必ず元どおりに取付けてください。ナットが回転して開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。
●スパナをたたくなど、締め付けすぎない様にしてください。部品が破損し、開閉に支障が出るおそれがあります。




E図

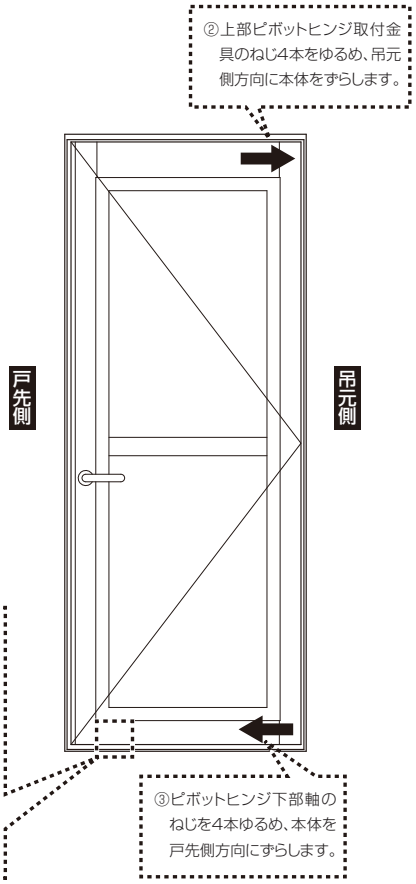



## ■本体の戸先下がりが起きた場合の調整

①ピボットヒンジ下部軸にて上下方向の調整を行なってください。

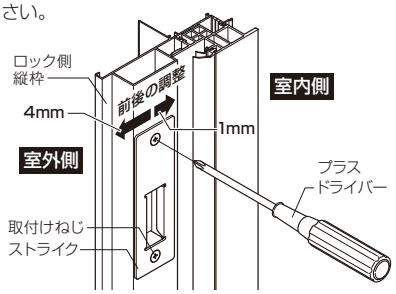
【①にて解決しない場合】
②上部ピボットヒンジ取付金具のねじ4本をゆるめ、吊元側方向に本体をずらしてください。(※下図参照)

【①②にて解決しない場合】
③ピボットヒンジ下部軸のねじを4本ゆるめ、本体を戸先側方向にずらしてください。(※下図参照)



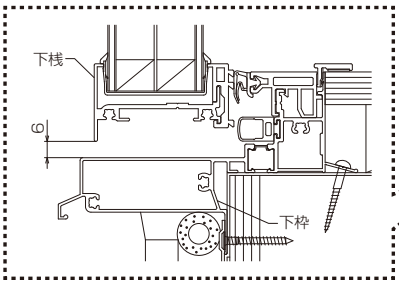

## ■ストライク調整

●ラッチがかからない場合は、以下の手順で調整してください。
①ストライクの取付けねじ2本をゆるめます。
②室外側方向に4mm、室内側方向に1mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。




## ■本体戸先下がりをチェック

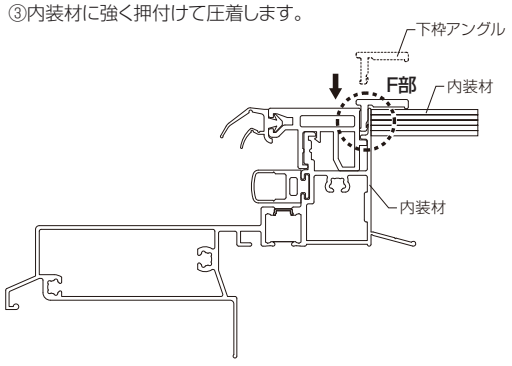
本体下桟と下枠の隙間寸法を採寸してください。
·目安寸法　6mm
上記寸法が確保出来ていない場合は調整を行い、寸法の確保をお願いします。



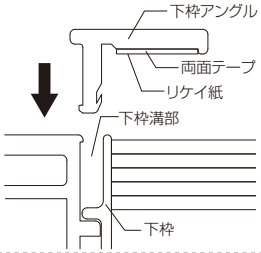

## ■下枠アングルの取付け

■下枠アングルの取付け

※204単純段差納まりの場合は、「204下枠アタッチメント」同梱の取付け説明書をご覧ください。
※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に3mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥·砂)·ホコリ·油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥·砂)·ホコリ·油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




**■F部詳細図**



# テラスドア・開き窓テラス・採風勝手口ドアFS・勝手口ドア

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。　※ロットNo.はブランドラベルに表示しています。

## ■取付けされる方へのお願い

●防火戸の場合は、枠と本体のブランドラベルの名称が防火製品であることを確認してください。枠と本体ともに防火仕様を使用しない場合、遮炎性能を満たしません。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

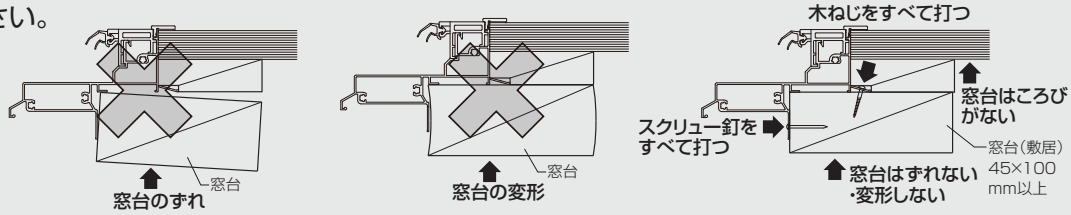
**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠注　意

●本体吊込みの際は相応の人数で行ってください。誤って本体を落下させた場合、思わぬケガをするおそれがあります。(組立て後の本体重量は最大55Kgになります。)

●風のあおりなどによるドア本体の落下・枠や外壁材の損傷・漏水・ドアの開閉不良、サッシ下枠の垂れ下がりによる気密・水密・断熱性能の低下の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。




・テラスドア・開き窓テラスはフリクションアームを必ず取付けて下さい。
取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷するおそれがあります。

・採風勝手口ドアはドアクローザーを必ず取付けて下さい。取付けないで開閉すると、枠と本体が干渉し損傷するおそれがあります。

●漏水防止のため、下記事項をお守りください。

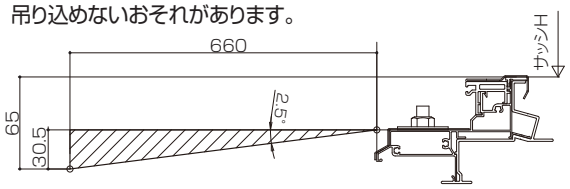
・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

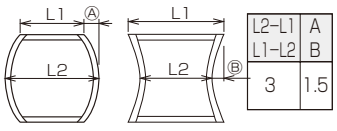
・テラスドア・開き窓テラスを浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)をご使用ください。採風勝手口ドアは浴室に使用できません。

## ■取付け上のお願い

●必ず指定の取付けねじを使用してください。
●上枠のハリ・タレは3mm以内に抑えてください。
●縦枠は必ず垂直に取付けてください。
●本体は枠を躯体に固定した後、吊込んでください。
●本体の吊込み後、必ずチリ合わせブロックを外してください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●ねじは2.5±0.5N·m{25±0.5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が右図の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。
●室外側の仕上げが▨の範囲に入らないようにしてください。ドア本体が吊り込めないおそれがあります。

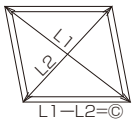



### ■サッシ枠のフクレ・ツヅミ



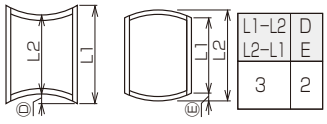

| L2−L1 | A |
|---|---|
| L1−L2 | B |
| 3 | 1.5 |

### ■サッシ枠対角差



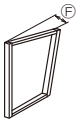

| C |
|---|
| 3 |

### ■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ



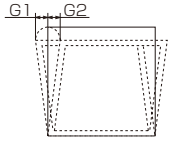

| L1−L2 | D |
|---|---|
| L2−L1 | E |
| 3 | 2 |

### ■サッシ枠のねじれ



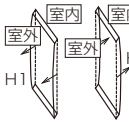

| F |
|---|
| 2 |

### ■サッシの倒れ



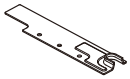

| G |
|---|
| G1 : 2 |
| G2 : 2 |

### ■サッシ枠の室内外のソリ




| H |
|---|
| H1 : 1 |
| H2 : 1 |

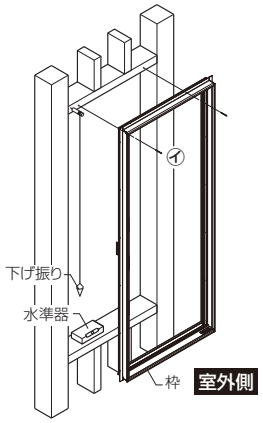
## ■取付けねじ一覧表

| 記　号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿　図 | | |  | | | | |
| | スクリュー釘<br>φ2.1×32 | 丸木ねじφ3.5×25 | ピボットヒンジ取付け金具 | トラス小ねじM4×8 | 皿木ねじφ3.5×38 | プッシュボタン | 皿ドリルねじφ4×30<br>※段窓時に使用します。<br>※防火戸では使用しません。 |

## ■取付け順序

### ❶枠の仮止め

●開口部の水平･垂直を確認し、枠を㋑スクリュー釘φ2.1×32で仮止めします。




**⚠注　意**

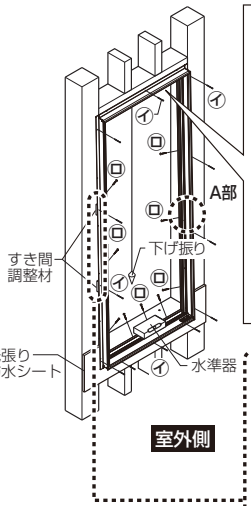
●枠の水平･垂直を正確に出して取付けてください。

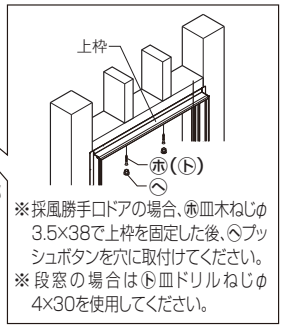
### ❷枠の調整と固定

●下げ振り･水準器で枠のねじれ･たおれ･ゆがみを直した後、枠を㋑スクリュー釘φ2.1×32と㋺丸木ねじφ35×25で固定します。

※縦枠は、必ず垂直に取付けてください。（開閉障害･すき間が生じるおそれがあります。）

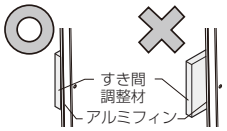
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。



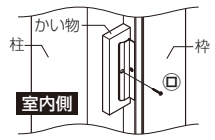




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。




**■A部詳細図**



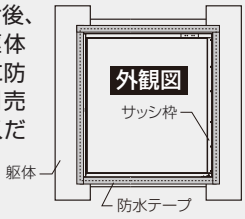

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。

**お願い**

※枠の取付けの際には 冒頭の取付け上のお願いに記載されている許容範囲内で取付けされているか確認の上、取付け調整を行ってください。許容範囲を超えると開閉不良など 不具合が生じるおそれがあります。

**⚠注　意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。

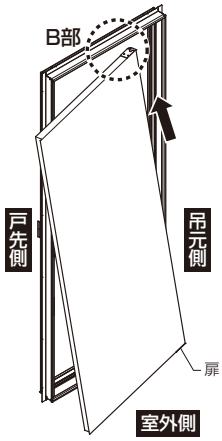



### ❸本体の吊込み

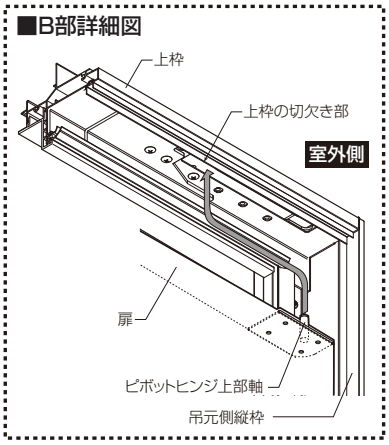
①扉を斜めに持上げ、扉の上部にあるピボットヒンジ上部軸を上枠の切欠き部の端に差込みます。

**お願い**

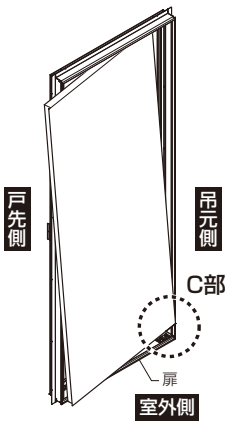
※はじめにピボットヒンジ上部軸を差込しんで下さい。下部軸を先に差込むと吊込みできません。



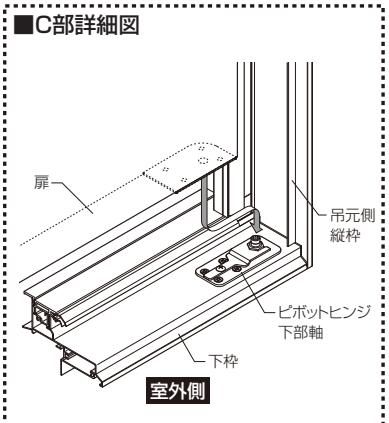

**■B部詳細図**



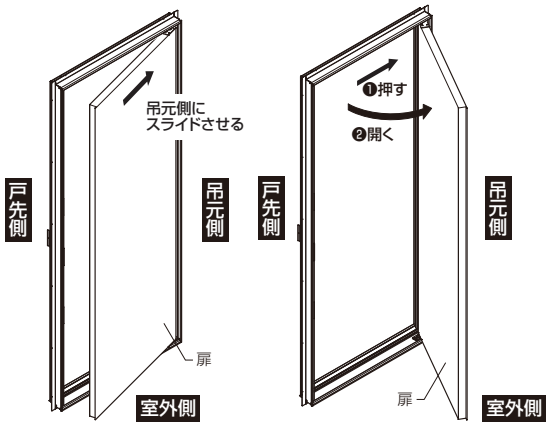

②①の状態で扉をピボットヒンジ下部軸に差込みます。



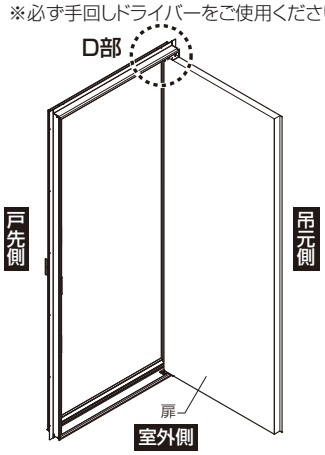

**■C部詳細図**

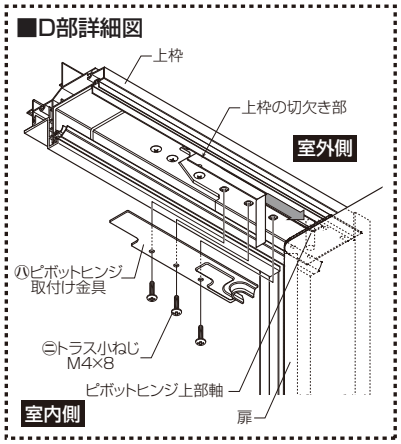



③扉の上部を吊元方向にスライドさせた後、押しながら扉を開くと正規の位置になります。

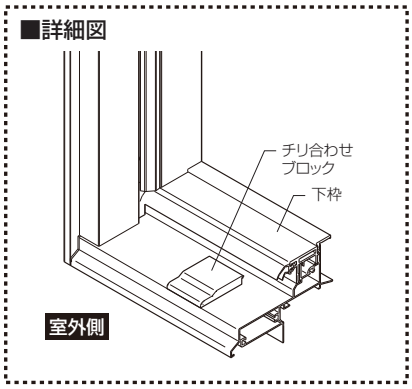


④㋑ピボットヒンジ取付け金具を、扉のピボットヒンジ上部軸に差込み、㋒トラス小ねじM4×8で固定します。
※必ず手回しドライバーをご使用ください。




⑤下枠に両面テープで張ってあるチリ合わせブロックを外します。

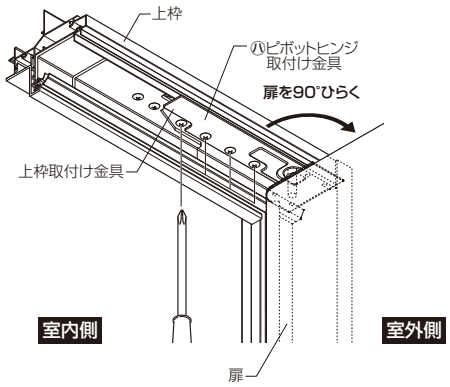


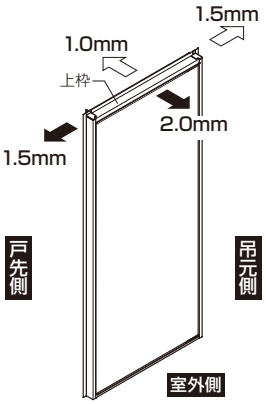

**お願い**
※取付け完了後は必ずチリ合わせブロックを取外してください。(ドアの開閉に支障がでます。)

## ■建付け調整

### ■前後左右方向の本体の調整

①扉を90°開きます。
②㋑ピボットヒンジ取付け金具のねじ4本をゆるめます。
③室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。

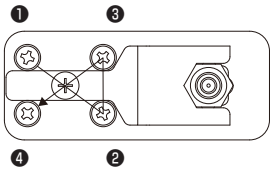


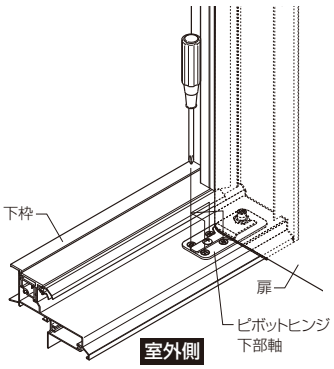



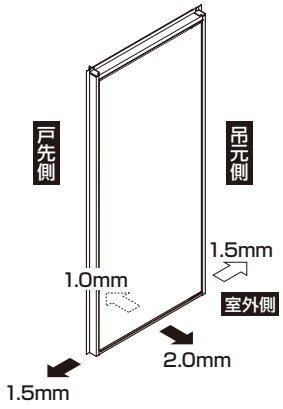

④ピボットヒンジ下部軸のねじ4本をゆるめます。
⑤室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。
※必ず手回しドライバーをご使用ください。

### 建付け調整時の注意事項

下枠のピボットヒンジを調整した際、取付けネジは30kgf·cmのトルクで対角順に締め付けてください。



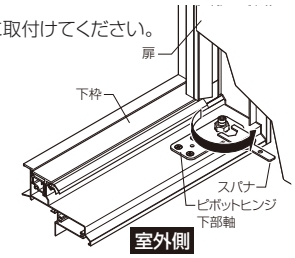



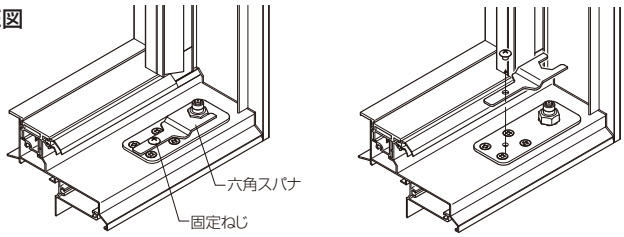
## ■上下方向の本体の調整

●ピボットヒンジ下部軸に取付けされている六角スパナでピボットヒンジ下部軸のナットを右に回すことで上に最大3mmまで動かせます。
※右に90°回すことで約0.7mm上げる事が出来ます。
※六角スパナの固定ねじを外して使用してください。(E図)
●調整が終わったら、六角スパナを固定ねじで元のとおりに取付けてください。

**お願い**
※3mmを超えて上げないでください。
また、スパナは必ず元のとおりに取付けてください。ナットが回転して開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。




E図

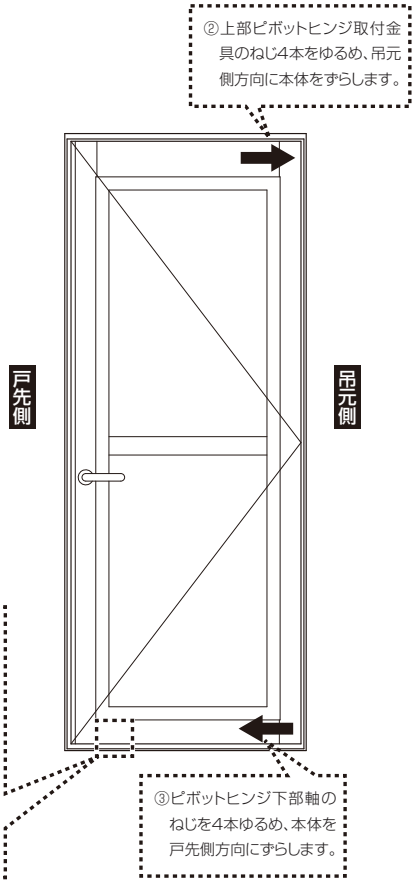



## ■本体の戸先下がりが起きた場合の調整

①ピボットヒンジ下部軸にて上下方向の調整を行なってください。

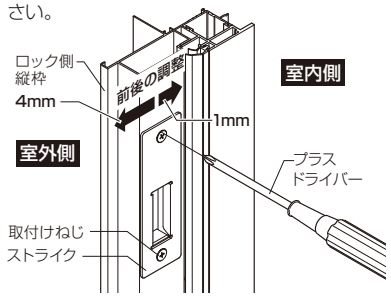
【①にて解決しない場合】
②上部ピボットヒンジ取付金具のねじ4本をゆるめ、吊元側方向に本体をずらしてください。(※下図参照)

【①②にて解決しない場合】
③ピボットヒンジ下部軸のねじを4本ゆるめ、本体を戸先側方向にずらしてください。(※下図参照)



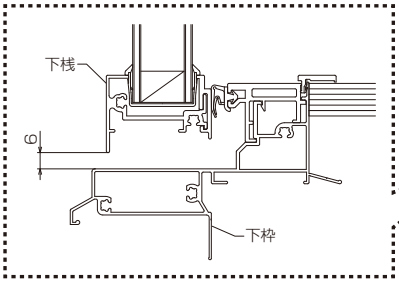

## ■ストライク調整

●ラッチがかからない場合は、以下の手順で調整してください。
①ストライクの取付けねじ2本をゆるめます。
②室外側方向に4mm、室内側方向に1mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。




## ■本体戸先下がりをチェック

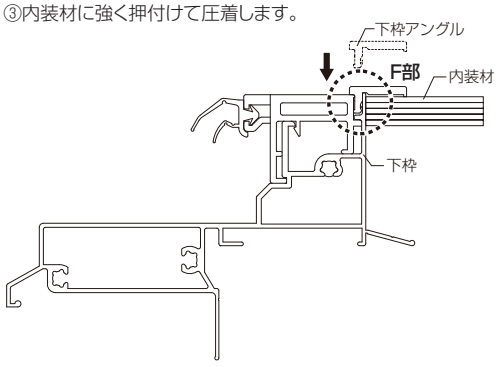
本体下桟と下枠の隙間寸法を採寸してください。
·目安寸法　6mm
上記寸法が確保出来ていない場合は調整を行い、寸法の確保をお願いします。



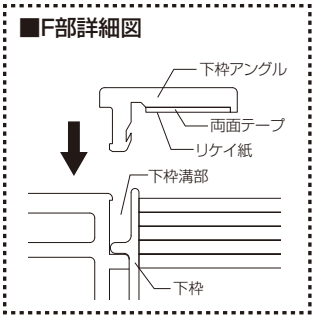

## ■下枠アングルの取付け

■下枠アングルの取付け

※204単純段差納まりの場合は、「204下枠アタッチメント」同梱の取付け説明書をご覧ください。
※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
●下枠アングルがねじレスの場合
①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥·砂)·ホコリ·油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥·砂)·ホコリ·油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
③内装材に強く押付けて圧着します。




■F部詳細図



# テラスドア・開き窓テラス・勝手口ドア　本体

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 警 告**

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。本体の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、本体を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**⚠ 注 意**

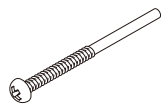
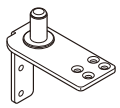
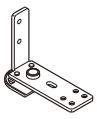
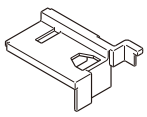
●戸先側縦框(上・下)には同梱の框キャップを必ず取付けてください。形材切断面でケガをするおそれがあります。

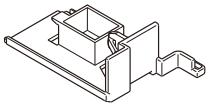
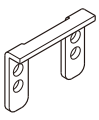
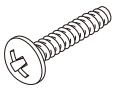
## ■組立て上のお願い

●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●枠の組立ておよび取付け・本体の吊込みは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセット、フリクションアームは必ず取付けされる方へお渡しください。
（フリクションアームはテラスドア・開き窓テラスのみ）
●本体を枠に吊込んだり、施錠した状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障が出るおそれがあります。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。

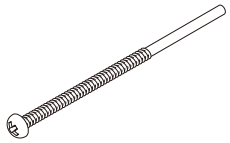
## ■組立てねじ・部品一覧表 ※商品シリーズにより、部品形状が異なる場合があります。

●本体組立部品セット

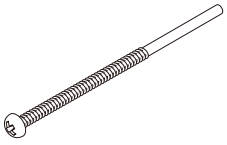
| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |  |
| | ナベタッピンねじ φ4×60（G35） | ピボットヒンジ上部軸 | ピボットヒンジ下部受 | 框キャップ（上） |

| 記号 | ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋠ |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  | |
| | 框キャップ（下） | 座金 | トラス小ねじ M4×10 | 皿小ねじ M4×6 |

サーモスH／L勝手口ドアのみ

| 記号 | �²⁰ | ㋲ |
|---|---|---|
| 姿図 |  | |
| | ナベタッピンねじφ4×90（G60） ※H/L勝手口ドアのみ | ブッシュボタン ※勝手口ドアのみ |

●中桟組立部品セット

| 記号 | ㋦ |
|---|---|
| 姿図 |  |
| | ナベタッピンねじ φ4×90（G60） |

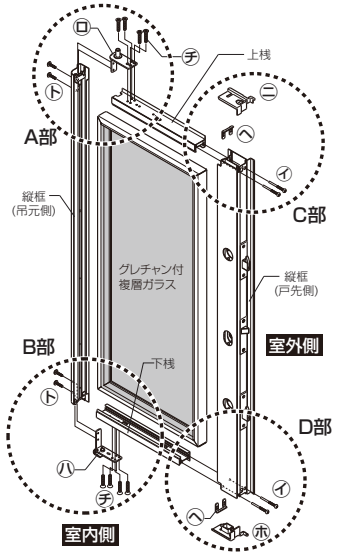
## ■取付け順序

### 1−1 本体の組立て（テラスドア・開き窓テラスの場合）

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上下桟と縦框をねじ止めします。
・縦框（吊元側）の上部にピボットヒンジ上部軸を差込み、上桟、縦框（吊元側）とそれぞれねじ止めします。（作業手順参照）
・縦框（吊元側）の下部にピボットヒンジ下部受けを差込み、下桟、縦框（吊元側）にそれぞれねじ止めします。（作業手順参照）
・縦框（戸先側）の中に座金を入れ、上下桟のタッピングホールに位置を合わせ、ナベタッピンねじを差込み、締め込みます。
※組立てた本体のW寸法が、中央部のみ大きい場合は、必ず矯正してください。

### 1−2 本体の組立て（サーモスH/L勝手口ドア、中桟付の場合）

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラス（または腰パネル）に対し、上・中・下桟を仮配置します。
※ガラスに対して、上・中・下桟が均等になるように配置します。
③上・中・下桟を差込みます。
④左右縦框を差込みます・
⑤上・中・下桟と縦框をねじ止めします。
・縦框（吊元側）の上部にピボットヒンジ上部軸を差込み、上桟、縦框（吊元側）とそれぞれねじ止めします。（作業手順参照）
・縦框（吊元側）の下部にピボットヒンジ下部受けを差込み、下桟、縦框（吊元側）にそれぞれねじ止めします。（作業手順参照）
・縦框（戸先側）の中に座金を入れ、上下桟のタッピングホールに位置を合わせ、ナベタッピンねじを差込み、締め込みます。
・上桟の下の組立てねじと、中桟組立てねじは長いねじを使用します。上桟の下の穴と戸先側の中桟組立て用の穴にプッシュボタンを取付けます。

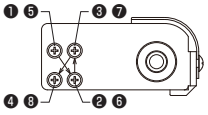



**⚠ 警 告**

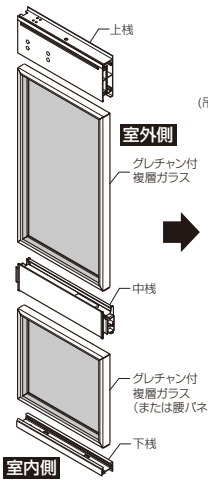
- ●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、本体を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

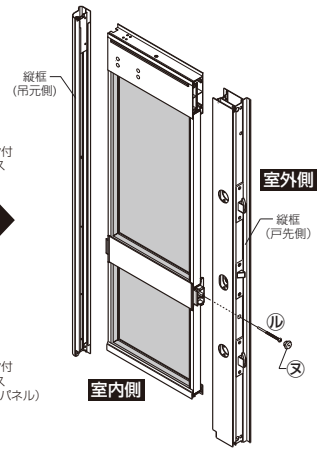
**■作業手順**

1 ㋒のねじを仮止めします。
2 ㋖のねじを以下の要領で止めてください。
① 下図の順番❶〜❹でねじを固定してください。
② ❺〜❽の順番で増し締めを行ってください。
③ 増し締めトルクは14〜20kgf·cmとします。

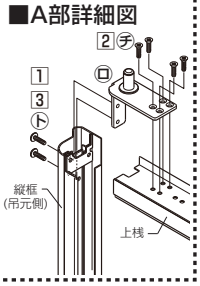



3 ㋒のねじを締めます。

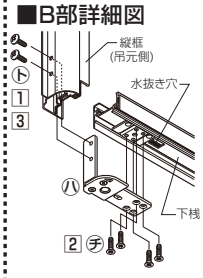


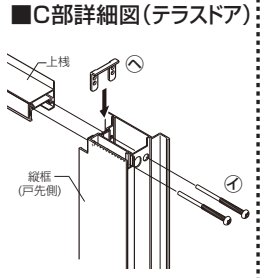

**■A部詳細図**



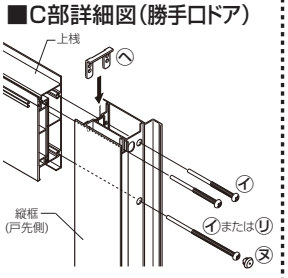

**■B部詳細図**



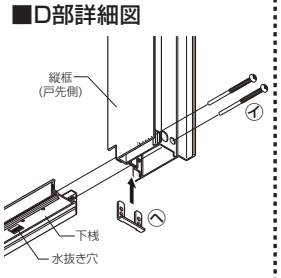

**■C部詳細図（テラスドア）**




**■C部詳細図（勝手口ドア）**

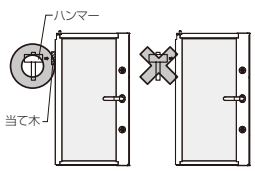



**■D部詳細図**




**お願い**

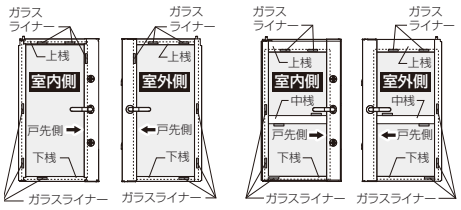
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



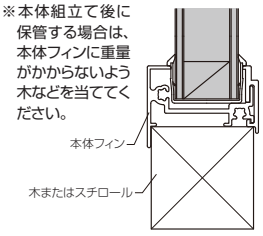

**お願い**

※ガラスライナーをはがしたり、位置をズラさないでください。戸先が下がるおそれがあります。
※上下桟を間違えないようご確認ください。
●下桟には水抜き穴があいています。
●ガラスライナーは右図の位置にきます。

〔中桟付の場合〕




※本体組立て後に保管する場合は、本体フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。

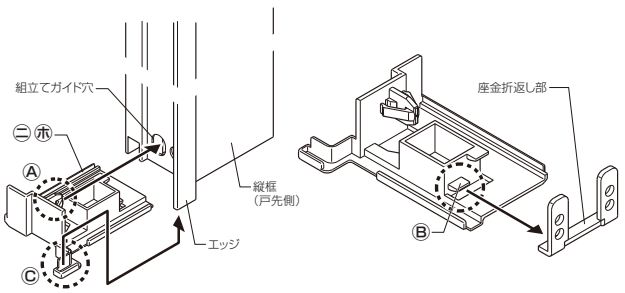



### 2 框キャップの取付け

※框キャップには、上下の使い分けがあります。確認の上使用してください。
①框キャップのⒶ部を縦框の組立てガイド穴に、Ⓑ部を座金部の折り返し部に、Ⓒ部をエッジ部分に合わせ、「パチン」と音がするまで押込みます。
②手で引いて、外れないことを確認します。
※図は縦框の下部の場合を示します。上部も同じ方法で取付けてください。

**⚠ 注 意**

- ●戸先側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。形材切断面でケガをするおそれがあります。




### 3 ハンドル·サムターン·ドアクローザーの取付け

※各セットに同梱の取付け説明書をご覧ください。

# 採風勝手口ドアFS　本体

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警　告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

### ⚠注　意

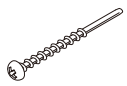
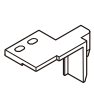
●戸先側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。形材断面でケガをするおそれがあります。

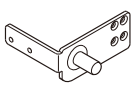
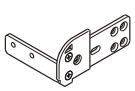
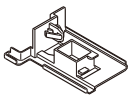
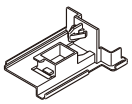
## ■組立て上のお願い

●ガラス寸法はオンサイトの作業指示書をご覧ください。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●枠の組立て及び取付け、本体の吊込みは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
●本体を枠に吊込んだり、解錠した状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
●ハンドル・サムターンの取付けは部品箱に同梱されている取付け説明書をご覧ください。

## ■組立てねじ・部品一覧表

※図は、代表例を示します。シリーズにより、部品・部材の形状・構成が異なる場合があります。

| 本体組立て | | 障子組立て | | 部品取付け用 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ |
|  | |  サーモスXの場合 | | | | |
| なべタッピンねじ 2種φ5×80（8本） | なべタッピンねじ 1種φ4×30（4本） | 上障子上ガイドピース（LR各1個） | 薄平タッピンねじ 2種φ4×30（8本） | トラス小ねじ φ4×10（4本）（サーモスXの場合（6本）） | 皿小ねじM4×6（10本）（サーモスXの場合（9本）） | 薄平小ねじM4×8（12本）（サーモスXの場合（8本）） |

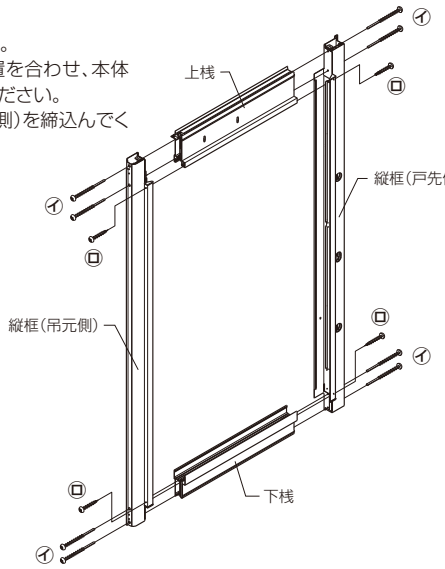
| 取付け部品 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ㋖ | ㋠ | ㋡ | ㋢ | ㋞ |
|  |  |  |  | |
| ピボットヒンジ上（1個） | ピボットヒンジ下（1個） | 框キャップ上（1個） | 框キャップ下（1個） | プッシュボタン（2個） |

## ■組立て順序

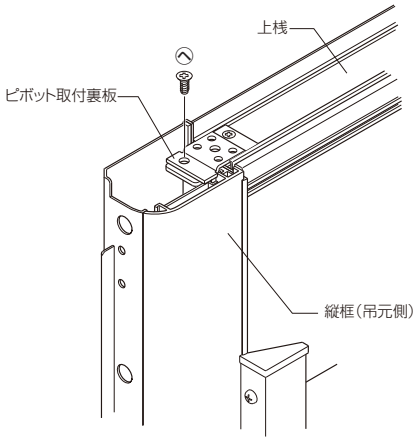
※図は、代表例を示します。シリーズにより、部品・部材の形状・構成が異なる場合があります。

### ❶ 本体の組立て

①縦框に上下桟を差込んでください。
②上下桟のタッピングホールに位置を合わせ、本体組立てねじ㋑を差込み締込んでください。
③本体組立てねじ㋺で上下桟（室内側）を締込んでください。



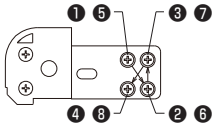

④ピボット取付裏板の縦框側を皿小ねじ㋩でねじ止めしてください。
（※サーモスXを除く）

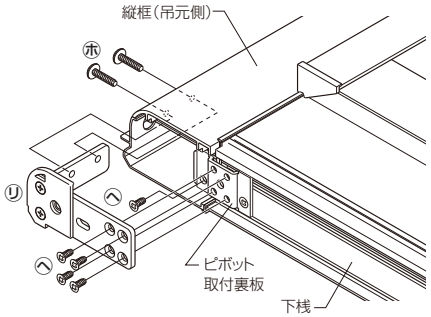



### ❷ ピボットの取付け

#### 1 ピボットヒンジ下の取付け

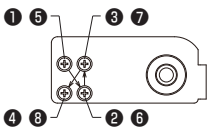
①ピボット取付裏板の縦框側を皿小ねじ㋩でねじ止めしてください。
②ピボットヒンジ下㋥を縦框（吊元側）に差込み、縦框側はトラス小ねじ㋭で、下桟側は皿小ねじ㋩で仮止めしてください。
③ピボットヒンジ下㋥の全てのねじが仮止めされたら、皿小ねじ㋩を以下の要領で止めてください。
・右図の順番❶～❹でねじを固定してください。
・❺～❽の順番で増し締めを行ってください。
④トラス小ねじ㋭を本締めしてください。

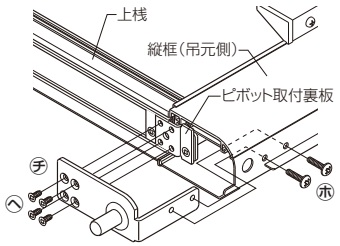



#### 2 ピボットヒンジ上の取付け

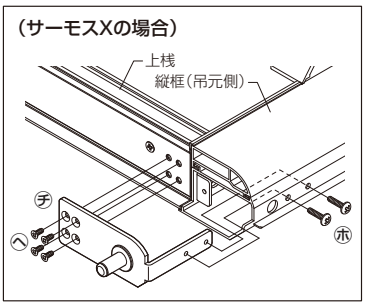
①ピボットヒンジ上㋒を縦框（吊元側）に差込み、縦框側はトラス小ねじ㋭で、上桟側は皿小ねじ㋩で仮止めしてください。
②ピボットヒンジの全てのねじが仮止めされたら、皿小ねじ㋩を以下の要領で止めてください。
・右図の順番❶～❹でねじを固定してください。
・❺～❽の順番で増し締めを行ってください。
③トラス小ねじ㋭を本締めしてください。




※ピボット取付裏板の取付け状態によりピボットヒンジ上㋒が斜めに取付く場合がありますが、機能上の問題はありません。

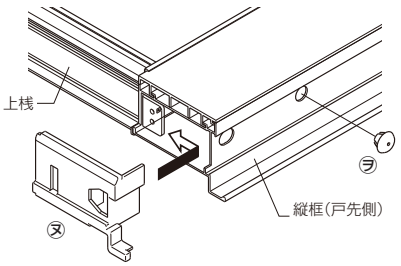
（サーモスXの場合）

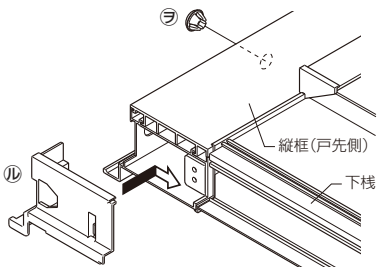



### ❸ 框キャップの取付け

※框キャップには上下があります。確認の上、使用してください。
①框キャップ上㋬、框キャップ下㋣を図のように縦框（戸先側）の上下から差込み、組立てガイド穴に「パチン」と音がするまで押込んでください。
②縦框（戸先側）にプッシュボタン㋟を差込んでください。

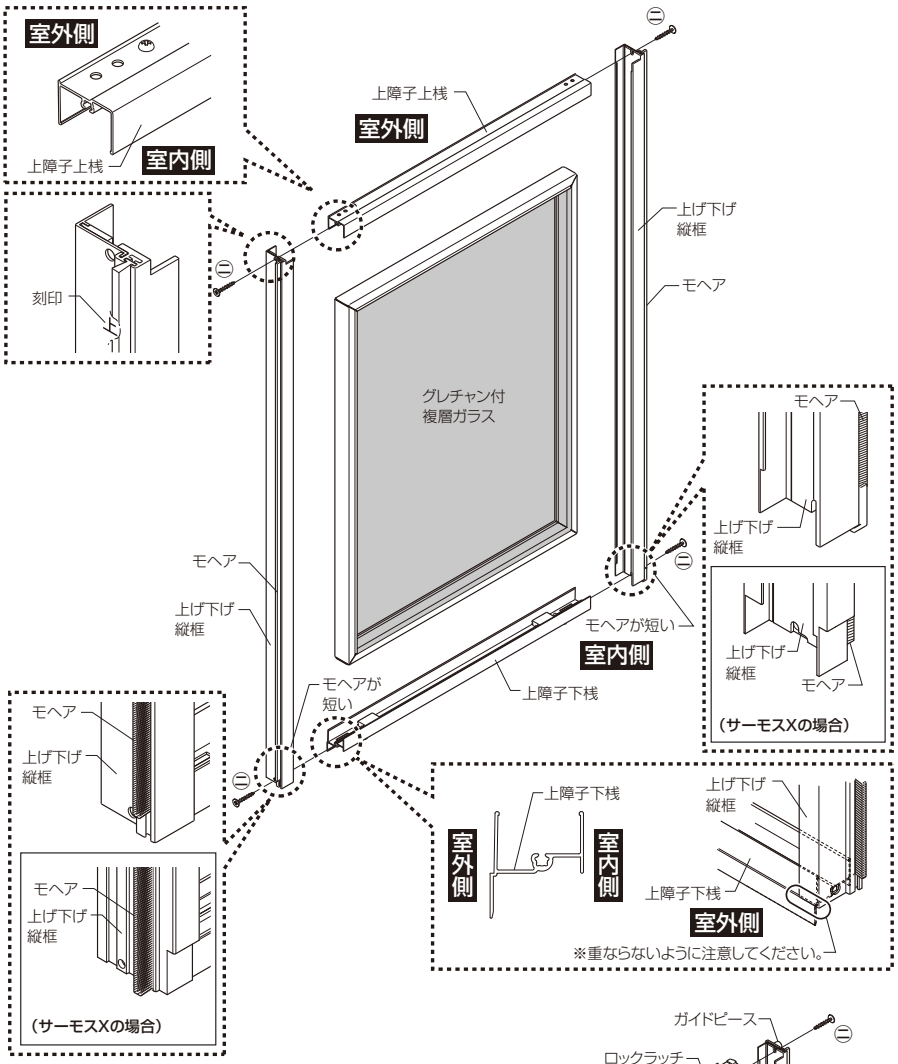
**⚠ 注 意**
●戸先側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。形材断面でケガをするおそれがあります。



## 4 障子の組立て

※縦框には上障子用、下障子用があります。
※モヘアが短い方が上障子用で、刻印の上がある方が上になります。
※サーモスXのモヘアの長さは同じです。
※ガイドピースが取付いている方が下障子用で部品がある方が上になります。




### 1 上障子の組立て

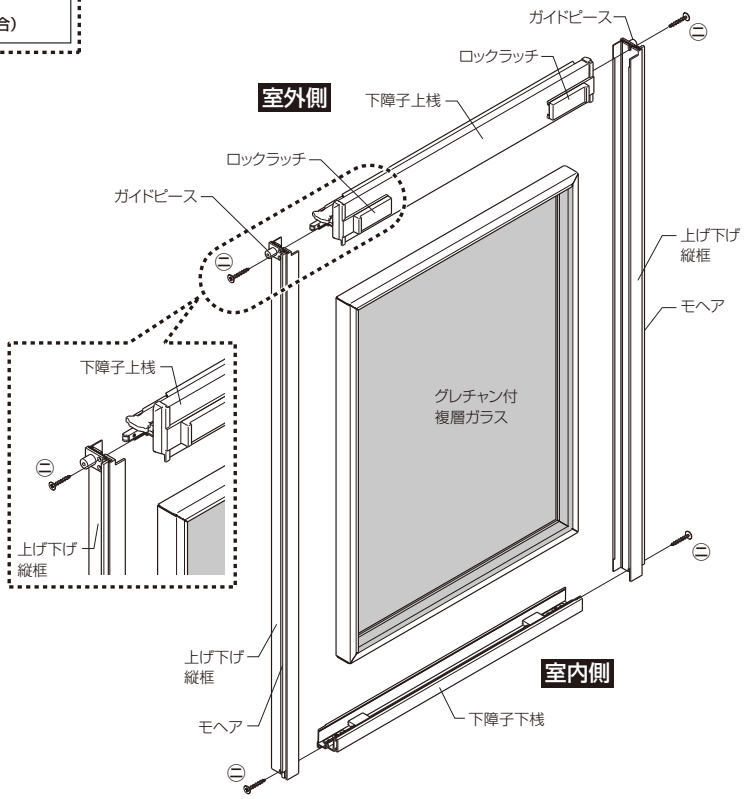
①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認してください。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置してください。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上下桟をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
※上下桟の左右が均等になるように押込んでください。
④縦框をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
⑤上桟を障子組立てねじ㊀でねじ止めしてください。
⑥下桟を障子組立てねじ㊀でねじ止めしてください。

**⚠警　告**

- ●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

### 2 下障子の組立て

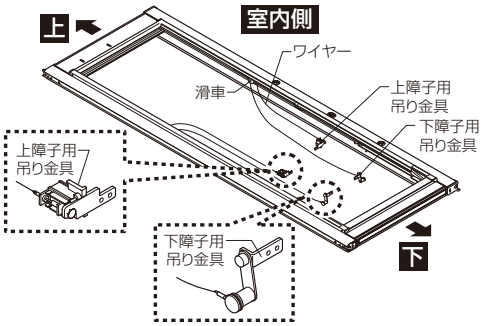
①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認してください。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置してください。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上下桟をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
※上下桟の左右が均等になるように押込んでください。
④縦框をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
⑤上桟を障子組立てねじ㊀でねじ止めします。ロックラッチは施錠状態にして組立ててください。
⑥下桟を障子組立てねじ㊀でねじ止めしてください。
※図のような組立てになっていることを確認してください。
⑦ロックラッチを解錠状態にしてください。



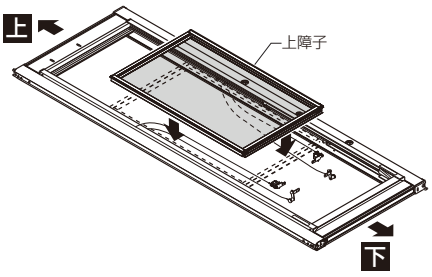
## 5 障子の吊込み

### 1 上障子の吊込み

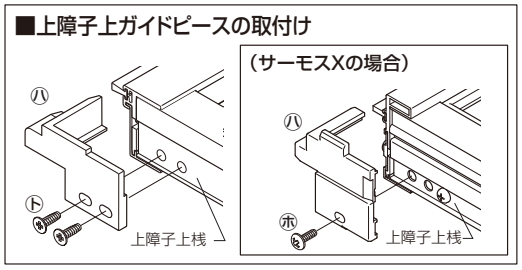
①室内側を上にして本体を寝かした状態で図のように滑車のワイヤーを障子を開けた位置くらいに配置してください。
※ワイヤーが絡んでいないことを必ず確認してください。



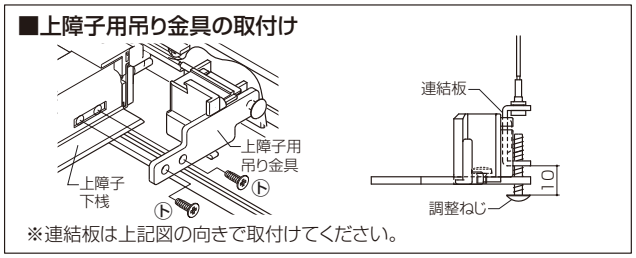

②上障子を本体の中央にくるようにずらしながら本体に置いてください。




③上障子上桟に上障子上ガイドピースⒾを薄平小ねじⓉ（サーモスXの場合、トラス小ねじⓇ）でねじ止めしてください。



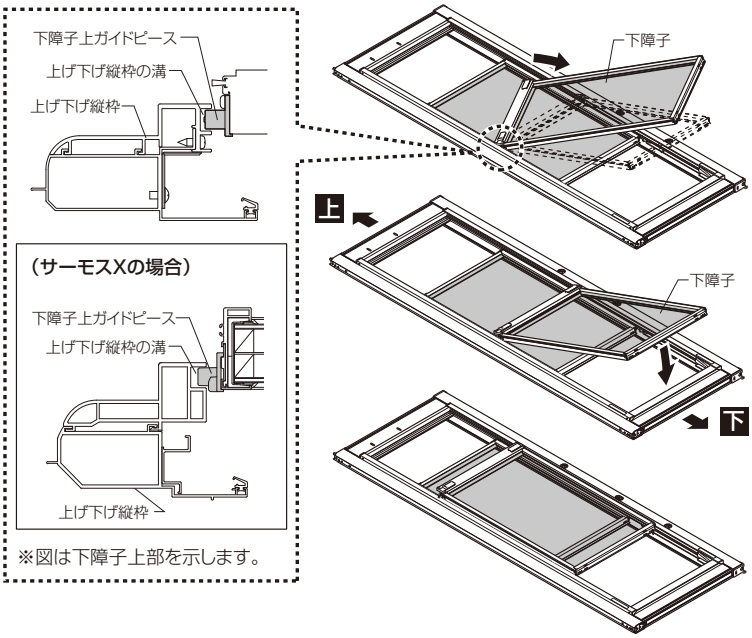

④上障子用吊り金具を薄平小ねじⓉでねじ止めしてください。
※ワイヤーがたるまないように下障子側の吊り金具を引っ張っておいてください。
※連結板と調整ねじの間隔が10mmになるようにねじを調整して取付けてください。

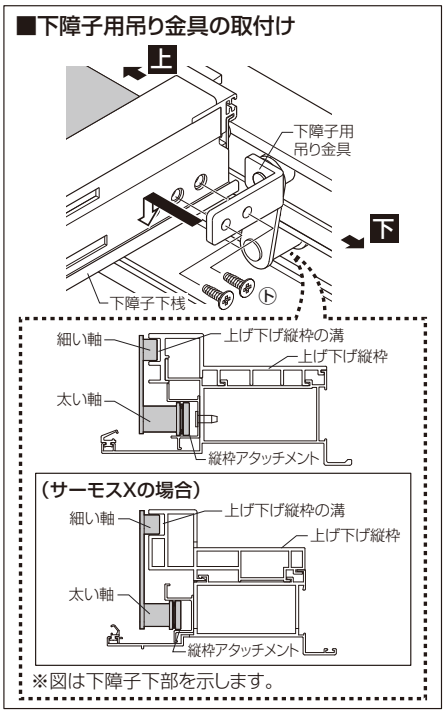



※連結板は上記図の向きで取付けてください。

### 2 下障子の吊込み

①下障子の下部を斜めに持ち上げた状態で片側の下障子上ガイドピースを上げ下げ縦枠の溝に差込んでください。回転するようにもう片側も差込んでください。
※下障子は上障子の50mm程度下にくるように置いてください。
②下障子用吊り金具を薄平小ねじⓉでねじ止めしてください。
※下障子用吊り金具を取付けた向きは、必ず太い軸が上になるようにセットしてください。逆向きになると障子が閉まりきらないおそれがあります。



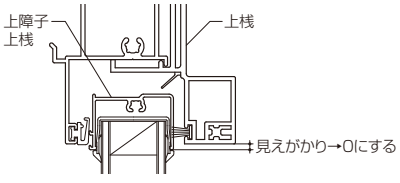




### ■障子の閉まり確認

●上障子と下障子の吊込みが終わったら、一度障子を閉めて完全に閉まることを確認してください。
※寝かした状態では絶対に障子を開けないでください。ワイヤーがからまり開閉に支障をきたす可能性があります。

### ■障子の建付け調整

●ドアを立てて、上障子下部両端にある調整ねじで障子の建付けを調整して上障子上桟の見えがかりを0としてください。
※必ずドアを立ててから障子を開けてください。ワイヤーがからまり開閉に支障をきたす可能性があります。
※調整方法は、戸先框に張付けられているラベルを参照してください。



# 採風勝手口ドアFS　本体

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警　告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

### ⚠注　意

●戸先側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。形材断面でケガをするおそれがあります。

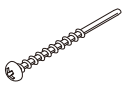
**お願い**
※障子組立て時に上障子のガラスは室内側からみて防火ラベルが右上にくるように配置してください。

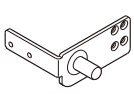
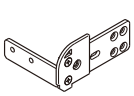
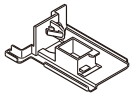
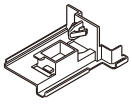
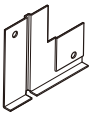
## ■組立て上のお願い

●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●枠の組立ておよび取付け、本体の吊込みは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
●本体を枠に吊込んだり、解錠した状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
●ハンドル･サムターンの取付けは部品箱に同梱されている取付け説明書をご覧ください。

## ■組立てねじ・部品一覧表

※図は、代表例を示します。シリーズにより、部品･部材の形状･構成が異なる場合があります。

| 本体組立て | | 障子組立て | | | | 部品取付け用 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋠ | ㋡ | ㋢ |
|  | | | | | | | | |
| なべタッピンねじ<br>2種φ5×80<br>（8本） | なべタッピンねじ<br>1種φ4×30<br>（4本） | 上障子<br>上ガイドピース<br>（LR各1個） | 薄平タッピンねじ<br>2種φ4×25<br>（6本） | カラー付<br>なべタッピンねじ<br>2種φ4×25<br>（2本） | 上障子上部<br>補強金具<br>（LR各1個） | トラス小ねじ<br>φ4×10<br>（6本） | 皿小ねじ<br>M4×6<br>（9本） | 薄平小ねじ<br>M4×8<br>（8本） |

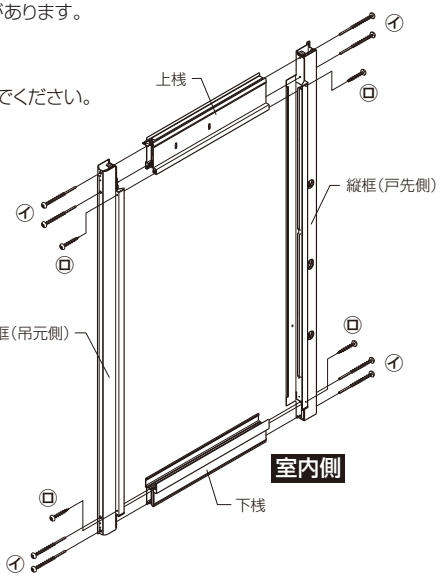
| 部品取付け用 | | 取付け部品 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ㋣ | ㋟ | ㋮ | ㋷ | ㋕ | ㋦ | ㋧ | ㋹ |
| | |  |  |  |  | |  |
| 平小ねじ<br>M4×4<br>（2本） | 平小ねじ<br>M4×6<br>（4本） | ピボットヒンジ上<br>（1個） | ピボットヒンジ下<br>（1個） | 框キャップ上<br>（1個） | 框キャップ下<br>（1個） | プッシュボタン<br>（2個） | 開き防止金具<br>（LR各1個） |

## ■組立て順序

※図は、代表例を示します。シリーズにより、部品・部材の形状・構成が異なる場合があります。

### 1 本体の組立て

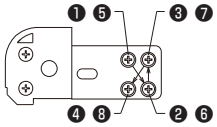
①縦框に上下桟を差込んでください。
②上下桟のタッピングホールに位置を合わせ、本体組立てねじ㋑を差込み締込んでください。
③本体組立てねじ㋺で上下桟（室内側）を締込んでください。

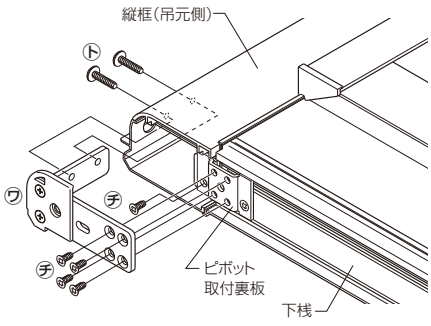



### 2 ピボットの取付け

#### 1 ピボットヒンジ下の取付け

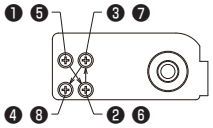
①ピボット取付裏板の縦框側を皿小ねじ㋖でねじ止めしてください。
②ピボットヒンジ下㋜を縦框（吊元側）に差込み、縦框側はトラス小ねじ㋠で、下桟側は皿小ねじ㋖で仮止めしてください。
③ピボットヒンジ下㋜の全てのねじが仮止めされたら、皿小ねじ㋖を以下の要領で止めてください。
・右図の順番❶～❹でねじを固定してください。
・❺～❽の順番で増し締めを行ってください。
④トラス小ねじ㋠を本締めしてください。

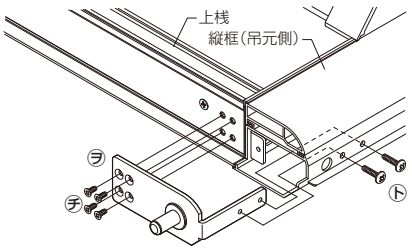



#### 2 ピボットヒンジ上の取付け

①ピボットヒンジ上㋝を縦框（吊元側）に差込み、縦框側はトラス小ねじ㋠で、上桟側は皿小ねじ㋖で仮止めしてください。
②ピボットヒンジ上㋝の全てのねじが仮止めされたら、皿小ねじ㋖を以下の要領で止めてください。
・右図の順番❶～❹でねじを固定してください。
・❺～❽の順番で増し締めを行ってください。
③トラス小ねじ㋠を本締めしてください。



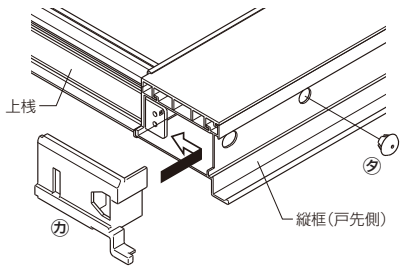

※ピボット取付裏板の取付け状態によりピボットヒンジ上㋝が斜めに取付く場合がありますが、機能上の問題はありません。

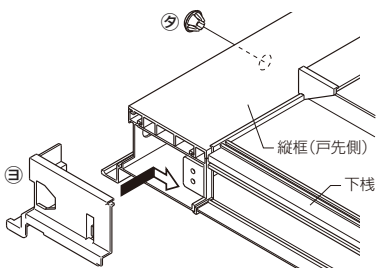
### 3 框キャップの取付け

※框キャップには上下があります。確認の上、使用してください。
①框キャップ上㋕、框キャップ下㋓を図のように縦框（戸先側）の上下から差込み、組立てガイド穴に「パチン」と音がするまで押込んでください。
②縦框（戸先側）にプッシュボタン㋡を差込んでください。

**⚠ 注 意**

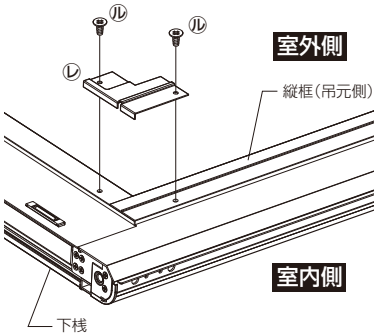
●戸先側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。形材断面でケガをするおそれがあります。




### 4 開き防止金具の取付け

●開き防止金具㋹を、平小ねじ㋺で下桟の両端と縦框に取付けてください。



## 5 障子の組立て

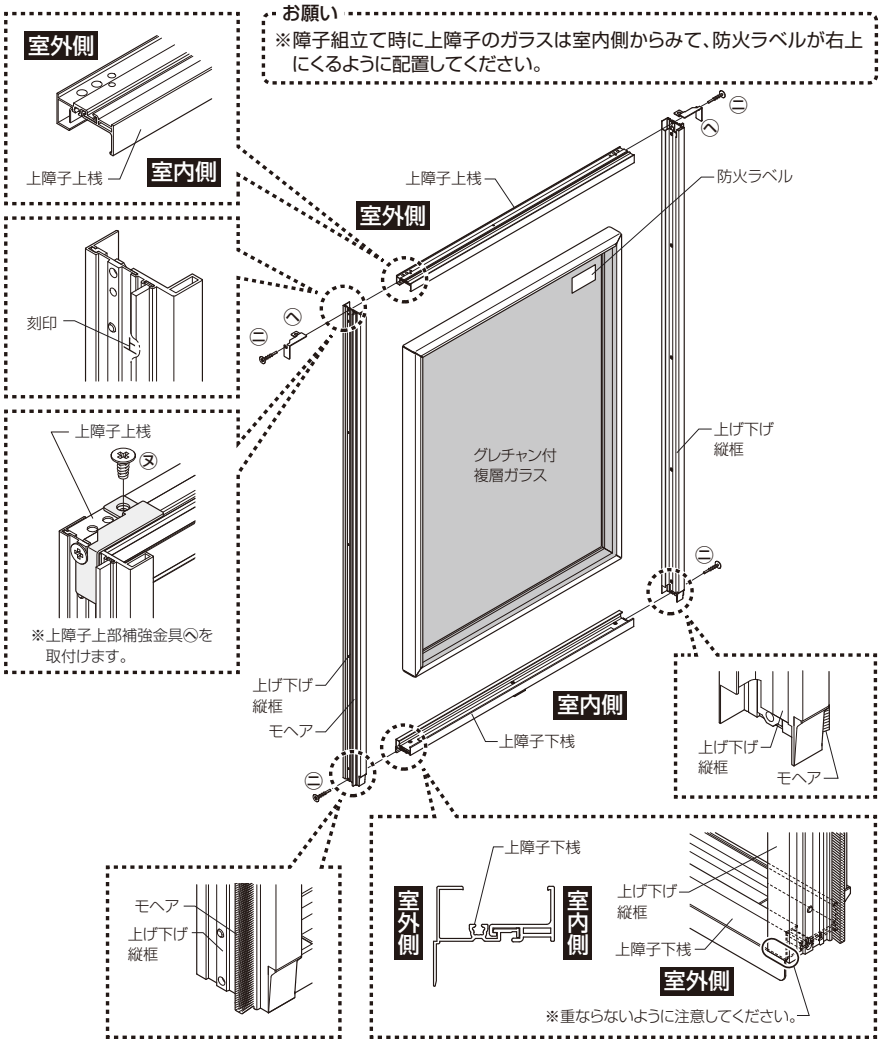
※縦框には上障子用、下障子用があります。
※上障子用は、刻印の上がある方が上になります。
※ガイドピースが取付いている方が下障子用で部品がある方が上になります。

### 1 上障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認してください。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置してください。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上下桟をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
※上下桟の左右が均等になるように押込んでください。
④縦框をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
⑤上桟を上障子上部補強金具㋑と一緒に薄平タッピンねじ㋺でねじ止めし、平小ねじ㋩でねじ止めしてください。
⑥下桟を薄平タッピンねじ㋺でねじ止めしてください。

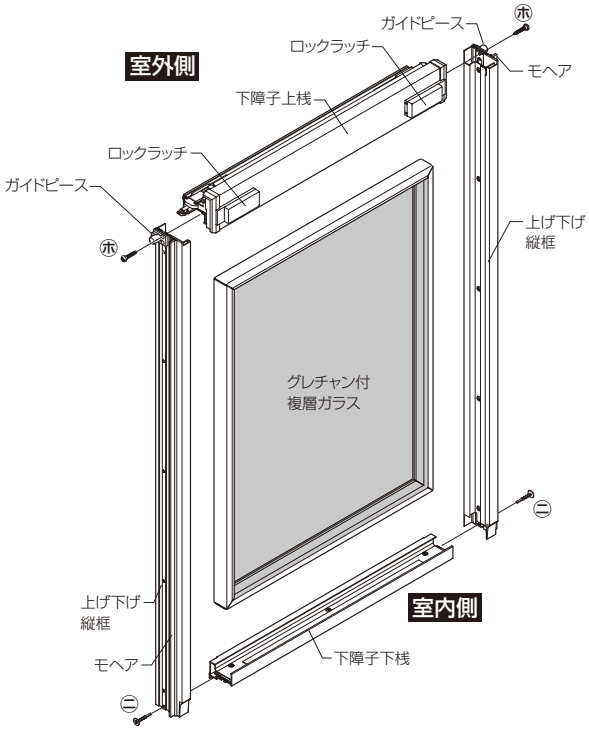
**⚠警 告**

- ●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。




### 2 下障子の組立て

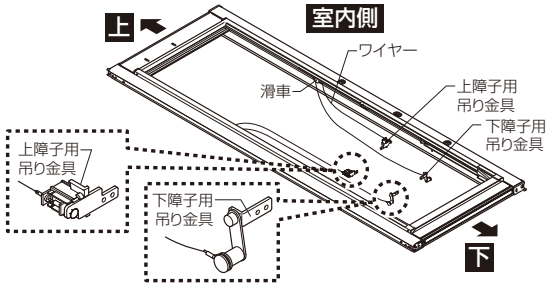
①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認してください。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置してください。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上下桟をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
※上下桟の左右が均等になるように押込んでください。
④縦框をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
⑤上桟をカラー付なべタッピンねじ㋭でねじ止めします。ロックラッチは施錠状態にして組立ててください。
⑥下桟を薄平タッピンねじ㋺でねじ止めしてください。
※図のような組立てになっていることを確認してください。
⑦ロックラッチを解錠状態にしてください。



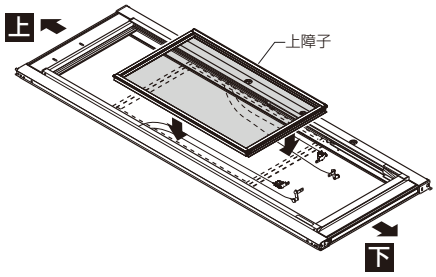
## 6 障子の吊込み

### 1 上障子の吊込み

①室内側を上にして本体を寝かした状態で図のように滑車のワイヤーを障子を開けた位置くらいに配置してください。
※ワイヤーが絡んでいないことを必ず確認してください。

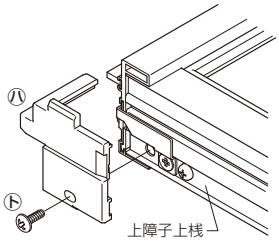



②上障子を本体の中央にくるようにずらしながら本体に置いてください。



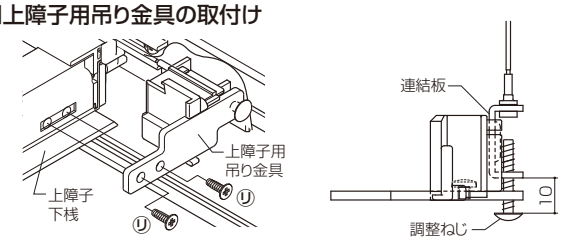

③上障子上桟に上障子上ガイドピースⒾをトラス小ねじⓉでねじ止めしてください。

■上障子上ガイドピースの取付け




④上障子用吊り金具を薄平小ねじⓊでねじ止めしてください。
※ワイヤーがたるまないように下障子側の吊り金具を引っ張っておいてください。
※連結板と調整ねじの間隔が10mmになるようにねじを調整して取付けてください。

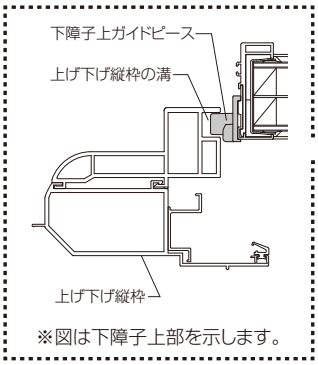
■上障子用吊り金具の取付け



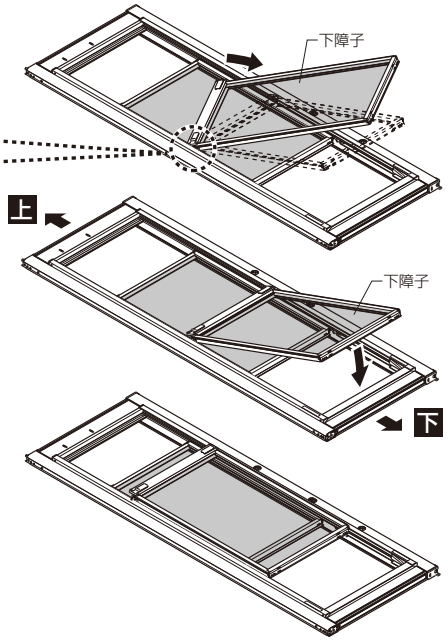

※連結板は上記図の向きで取付けてください。

### 2 下障子の吊込み

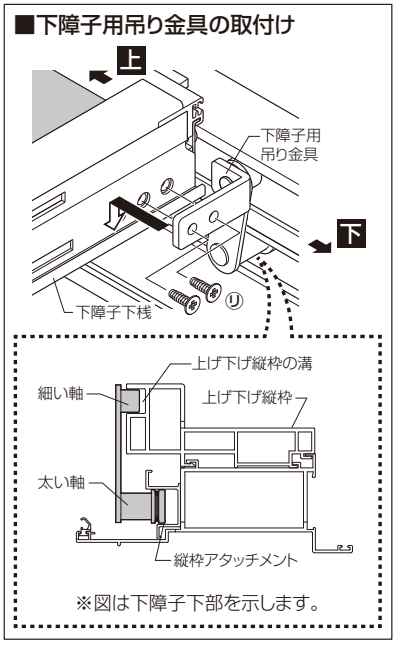
①下障子の下部を斜めに持ち上げた状態で片側の下障子上ガイドピースを上げ下げ縦枠の溝に差込んでください。回転するようにもう片側も差込んでください。
※下障子は上障子の50mm程度下にくるように置いてください。
②下障子用吊り金具を薄平小ねじⓊでねじ止めしてください。
※下障子用吊り金具を取付けた向きは、必ず太い軸が上になるようにセットしてください。逆向きになると障子が閉まりきらないおそれがあります。




※図は下障子上部を示します。




■下障子用吊り金具の取付け



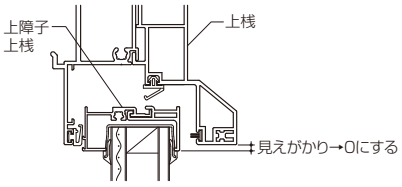

※図は下障子下部を示します。

■障子の閉まり確認

●上障子と下障子の吊込みが終わったら、一度障子を閉めて完全に閉まることを確認してください。
※寝かした状態では絶対に障子を開けないでください。ワイヤーがからまり開閉に支障をきたす可能性があります。

■障子の建付け調整

●ドアを立てて、上障子下部両端にある調整ねじで障子の建付けを調整して上障子上桟の見えがかりを0としてください。
※必ずドアを立ててから障子を開けてください。ワイヤーがからまり開閉に支障をきたす可能性があります。
※調整方法は、戸先框に張付けられているラベルを参照してください。



# 採風勝手口ドアFS　本体

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。　※ロットNo.はブランドラベルに表示しております。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警　告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

### ⚠注　意

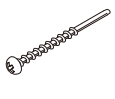
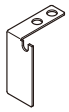
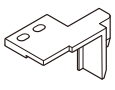
●戸先側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。形材断面でケガをするおそれがあります。

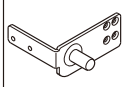
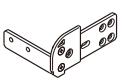
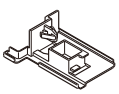
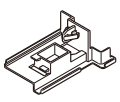
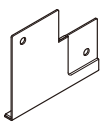
お願い
※障子組立て時に上障子のガラスは室内側からみて、防火ラベルが右上にくるように配置してください。

## ■組立て上のお願い

●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●枠の組立ておよび取付け、本体の吊込みは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
●本体を枠に吊込んだり、解錠した状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
●ハンドル･サムターンの取付けは部品箱に同梱されている取付け説明書をご覧ください。

## ■組立てねじ・部品一覧表

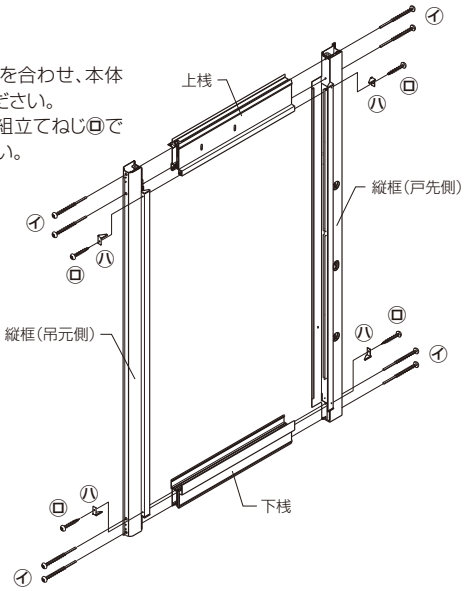
| 本体組立て | | | 障子組立て | | | 部品取付け用 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋜ | ㋞ | ㋷ |
|  | | |  |  | | | | | |
| なべタッピンねじ 2種φ5×80（8本） | なべタッピンねじ 1種φ4×30（4本） | コーナーキャップ（LR各2個） | 上障子上部補強金具（LR各1個） | 上障子上ガイドピース（LR各1個） | 薄平タッピンねじ 2種φ4×30（8本） | トラス小ねじ φ4×10（4本） | 皿小ねじ M4×6（10本） | 薄平小ねじ M4×8（12本） | 平小ねじ M4×6（4本） |

| 取付け部品 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ㋠ | ㋡ | ㋶ | ㋕ | ㋳ | ㋸ |
|  |  |  |  | |  |
| ピボットヒンジ上（1個） | ピボットヒンジ下（1個） | 框キャップ上（1個） | 框キャップ下（1個） | プッシュボタン（2個） | 開き防止金具（LR各1個） |

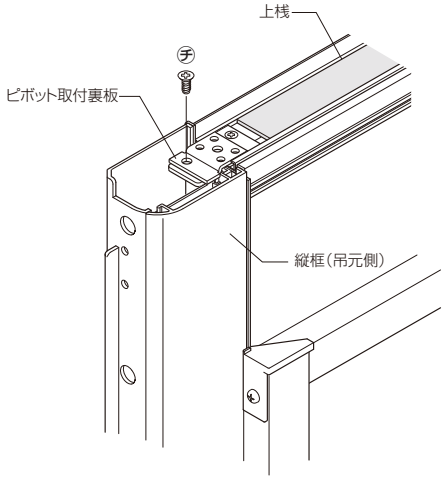
## ■組立て順序

### ❶ 本体の組立て

①縦框に上下桟を差込んでください。
②上下桟のタッピングホールに位置を合わせ、本体組立てねじ㋑を差込み締込んでください。
③コーナーキャップ㋥と一緒に本体組立てねじ㋺で上下桟（室内側）を締込んでください。



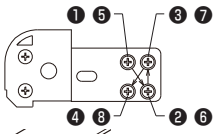

④ピボット取付裏板の縦框側を皿小ねじ㋖でねじ止めしてください。

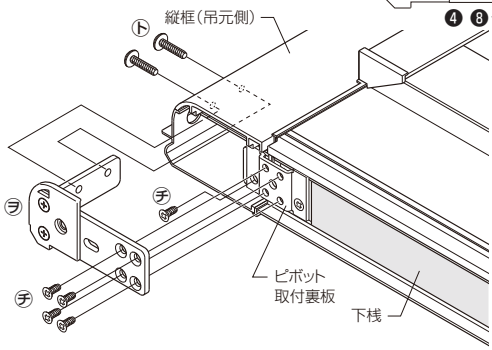



### ❷ ピボットの取付け

#### 1 ピボットヒンジ下の取付け

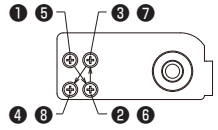
①ピボット取付裏板の縦框側を皿小ねじ㋖でねじ止めしてください。
②ピボットヒンジ下㋲を縦框（吊元側）に差込み、縦框側はトラス小ねじ㋟で、下桟側は皿小ねじ㋖で仮止めしてください。
③ピボットヒンジ下㋲の全てのねじが仮止めされたら、皿小ねじ㋖を以下の要領で止めてください。
・右図の順番❶～❹でねじを固定してください。
・❺～❽の順番で増し締めを行ってください。
④トラス小ねじ㋟を本締めしてください。



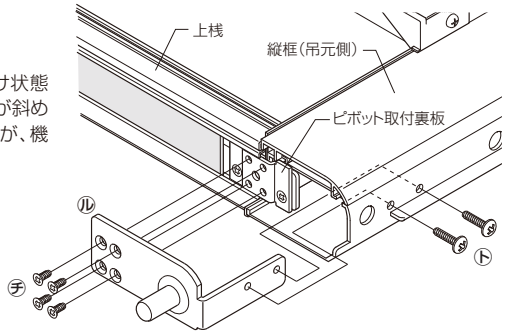




#### 2 ピボットヒンジ上の取付け

①ピボットヒンジ上㋠を縦框（吊元側）に差込み、縦框側はトラス小ねじ㋟で、上桟側は皿小ねじ㋖で仮止めしてください。
②ピボットヒンジの全てのねじが仮止めされたら、皿小ねじ㋖を以下の要領で止めてください。
・右図の順番❶～❹でねじを固定してください。
・❺～❽の順番で増し締めを行ってください。
③トラス小ねじ㋟を本締めしてください。

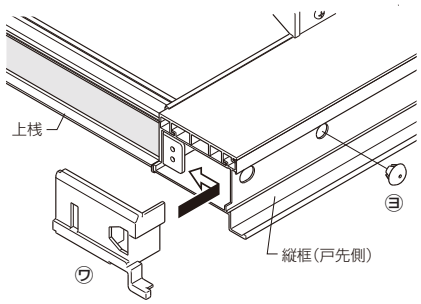


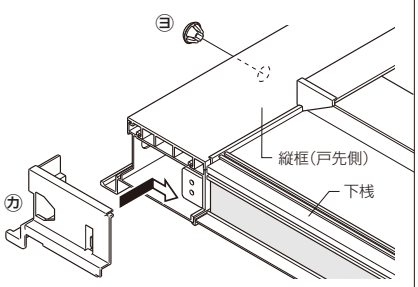

※ピボット取付裏板の取付け状態によりピボットヒンジ上㋠が斜めに取付く場合がありますが、機能上の問題はありません。




### ❸ 框キャップの取付け

※框キャップには上下があります。確認の上、使用してください。
①框キャップ上㋡、框キャップ下㋕を図のように縦框（戸先側）の上下から差込み、組立てガイド穴に「パチン」と音がするまで押込んでください。
②縦框（戸先側）にプッシュボタン㋬を差込んでください。



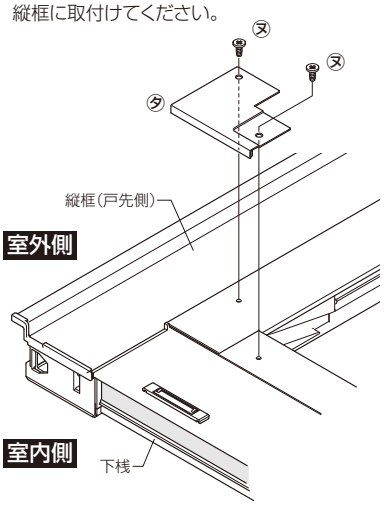




**⚠ 注 意**

●戸先側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。形材断面でケガをするおそれがあります。

### ❹ 開き防止金具の取付け

●開き防止金具㋣を、平小ねじ㋭で下桟の両端と縦框に取付けてください。



## 5 障子の組立て

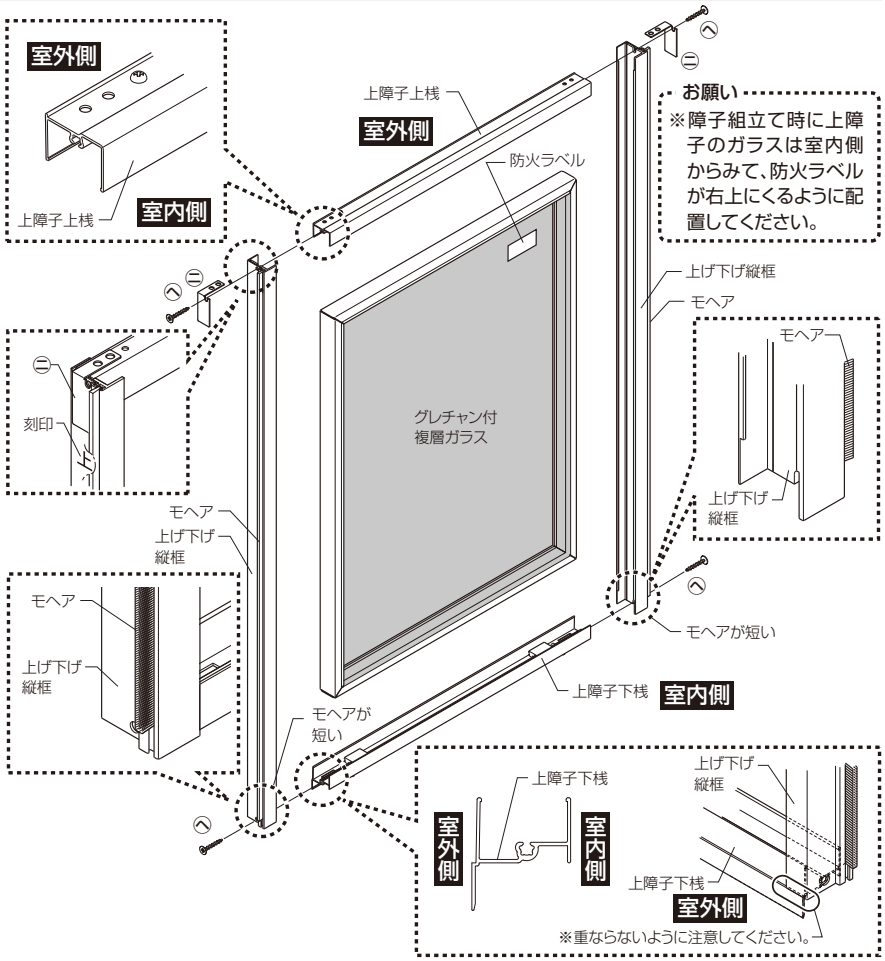
※縦框には上障子用、下障子用があります。
※モヘアが短い方が上障子用で、刻印の上がある方が上になります。
※ガイドピースが取付いている方が下障子用で部品がある方が上になります。

### 1 上障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認してください。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置してください。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上下桟をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
※上下桟の左右が均等になるように押込んでください。
④縦框をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
⑤上桟を上障子上部補強金具㋑と一緒に薄平タッピンねじ㋓でねじ止めしてください。
⑥下桟を薄平タッピンねじ㋓でねじ止めしてください。

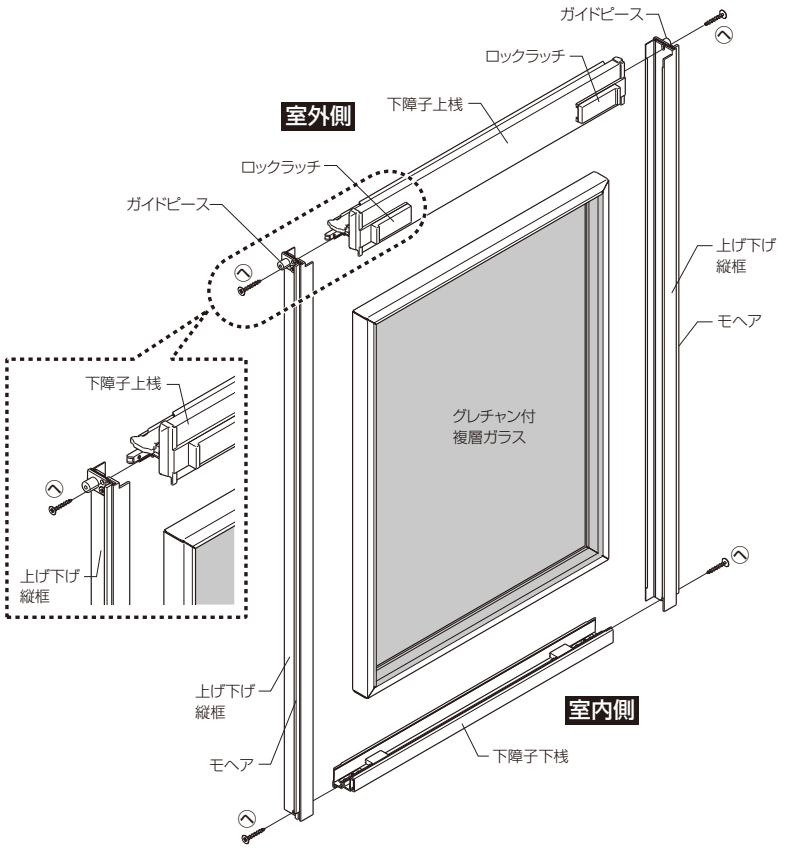
**⚠ 警 告**

- ●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。




### 2 下障子の組立て

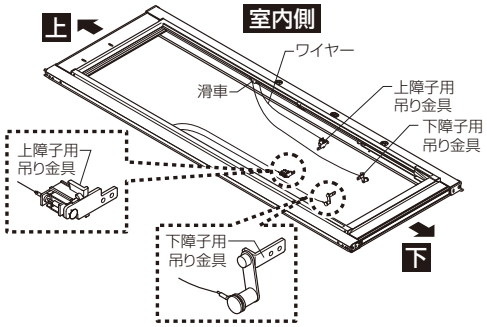
①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認してください。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置してください。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③上下桟をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
※上下桟の左右が均等になるように押込んでください。
④縦框をグレチャン付複層ガラスに押込んでください。
⑤上桟を薄平タッピンねじ㋓でねじ止めします。ロックラッチは施錠状態にして組立ててください。
⑥下桟を薄平タッピンねじ㋓でねじ止めしてください。
※図のような組立てになっていることを確認してください。
⑦ロックラッチを解錠状態にしてください。



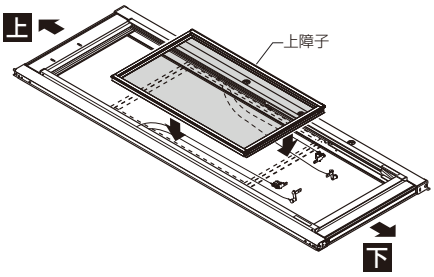
## 6 障子の吊込み

### 1 上障子の吊込み

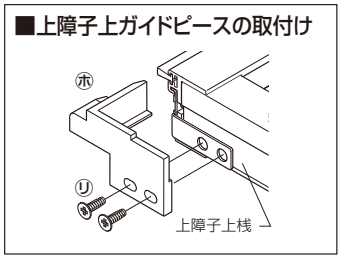
①室内側を上にして本体を寝かした状態で図のように滑車のワイヤーを障子を開けた位置くらいに配置してください。
※ワイヤーが絡んでいないことを必ず確認してください。



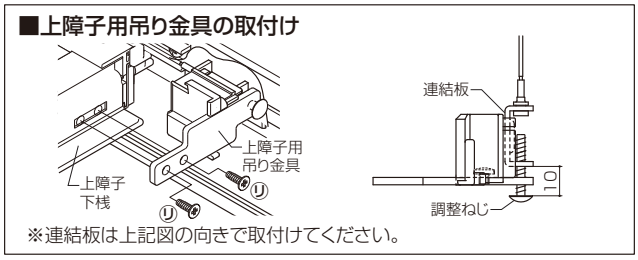

②上障子を本体の中央にくるようにずらしながら本体に置いてください。




③上障子上桟に上障子上ガイドピースⓗを薄平小ねじⓙでねじ止めしてください。

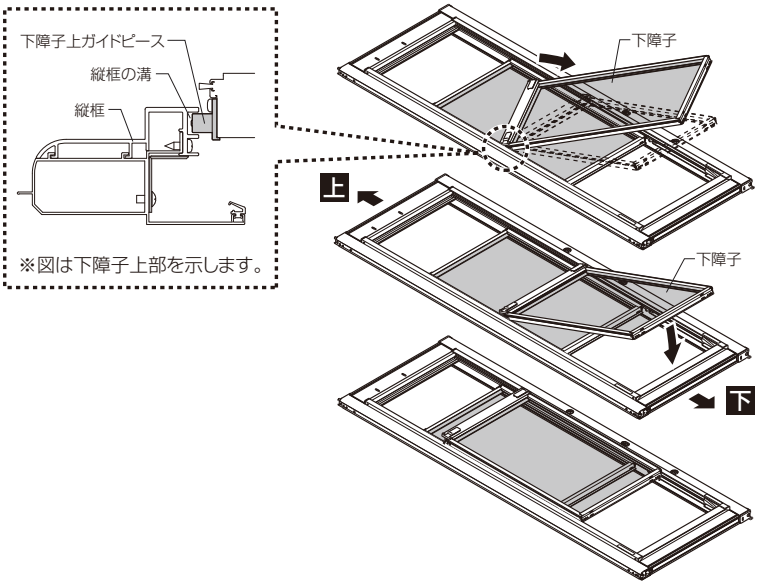


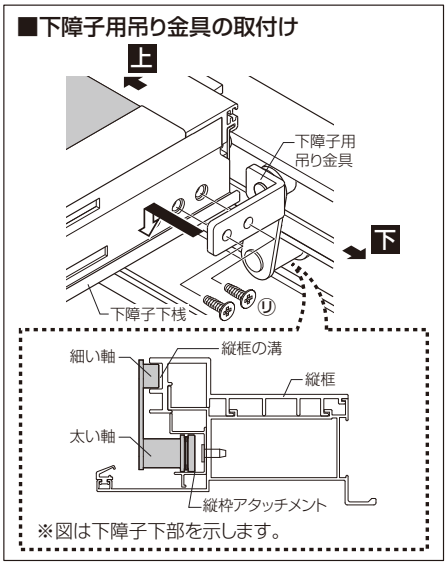

④上障子用吊り金具を薄平小ねじⓙでねじ止めしてください。
※ワイヤーがたるまないように下障子側の吊り金具を引っ張っておいてください。
※連結板と調整ねじの間隔が10mmになるようにねじを調整して取付けてください。




### 2 下障子の吊込み

①下障子の下部を斜めに持ち上げた状態で片側の下障子上ガイドピースを縦框の溝に差込んでください。回転するようにもう片側も差込んでください。
※下障子は上障子の50mm程度下にくるように置いてください。
②下障子用吊り金具を太い軸は縦枠アタッチメントに、細い軸は縦框の溝に差込み、薄平小ねじⓙでねじ止めしてください。
※下障子用吊り金具を取付けた向きは、必ず太い軸が上になるようにセットしてください。逆向きになると障子が閉まりきらないおそれがあります。



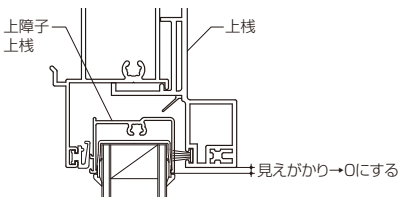




### ■障子の閉まり確認

●上障子と下障子の吊込みが終わったら、一度障子を閉めて完全に閉まることを確認してください。
※寝かした状態では絶対に障子を開けないでください。ワイヤーがからまり開閉に支障をきたす可能性があります。

### ■障子の建付け調整

●ドアを立てて、上障子下部両端にある調整ねじで障子の建付けを調整して上障子上桟の見えがかりを0としてください。
※必ずドアを立ててから障子を開けてください。ワイヤーがからまり開閉に支障をきたす可能性があります。
※調整方法は、戸先框に張付けられているラベルを参照してください。



# ガラス交換マニュアル

【対象】サーモス･防火戸FG用 グレチャン付複層ガラス(アンカー付きグレチャン)使用品種

●本マニュアルは、ガラスの交換など障子を組み直す際に、ガラスから框を取外すまでの手順を示します。
障子の組立て等については、各製品の組立て説明書の手順にしたがってください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

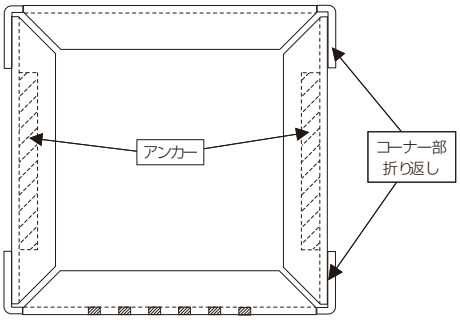
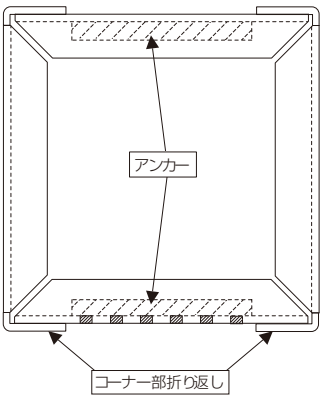
●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。
障子の落下、ガラスの抜けによるケガ防止のため下記事項をお守りください。
・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
（ガラスからグレチャンを外してしまった場合は、新しい専用ガラスを手配してください）

**ガラス交換される方へのお願い**

●再利用される際は、グレチャンにキズをつけないでください。
●本製品のガラス開口部内には、加熱発泡材が張付けられていますので、框を外す際は加熱発泡材が剥がれないよう作業をしてください。(防火戸FGの場合)

## ■はじめに

●ガラスの種類は、品種によりアンカーの位置で以下の2種類に大別されます。
縦アンカー仕様
横アンカー仕様
アンカー部はガラスと一体化されており、またコーナー部折り返しも仕様により異なります。
框の取外し時に重要になりますので、ブランドラベルで品種を確認のうえ、作業を行ってください。

| 縦アンカー仕様 | 横アンカー仕様 |
|---|---|
|  |  |
| 対象品種<br>・引違い窓<br>・縦すべり出し窓<br>・横すべり出し窓（H.S.L）<br>・テラスドア<br>・内倒し窓<br>・外倒し窓<br>・開き窓テラス<br>・勝手口ドア | 対象品種<br>・上げ下げ窓<br>・横すべり出し窓（X）<br>・**高所用**横すべり出し窓<br>・採風勝手口ドア |

## ■事前準備

●作業前に下記をご準備ください。
ヘラ3本（樹脂製、厚さ1mm前後）、潤滑剤（ガラスクリーナーを1／50に薄めたもの）、ウェス、作業台
●障子の組立てねじを取外し、框を取外せる状態にします。
(方法は各品種の組立て説明書を参照ください)

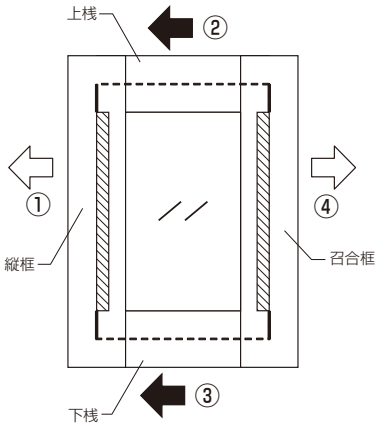
## ■品種別部材取外し順序

●品種別に①～④の順序で部材を取外してください。

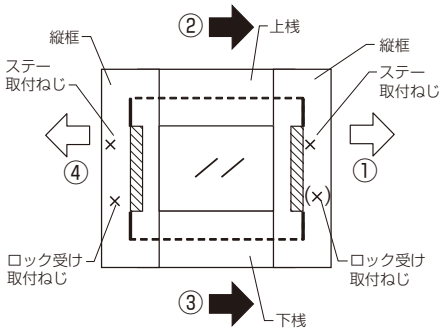
アンカー部
グレチャンコーナー部折り返し
× スライド時の障害物
A框の引抜き
B框のスライド

**縦アンカー仕様**

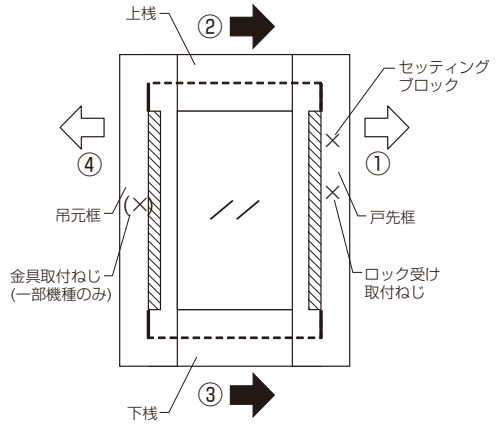
**引違い窓**



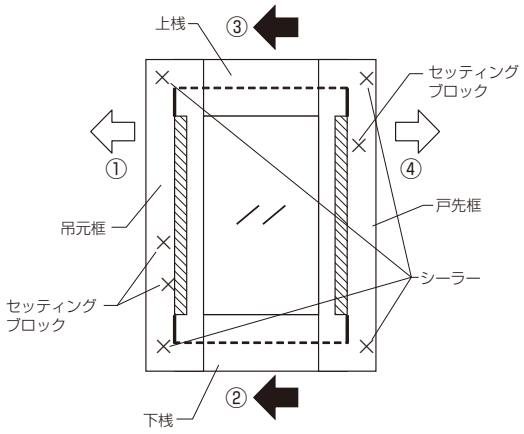

**横すべり出し窓・内倒し窓・外倒し窓**




**縦すべり出し窓**



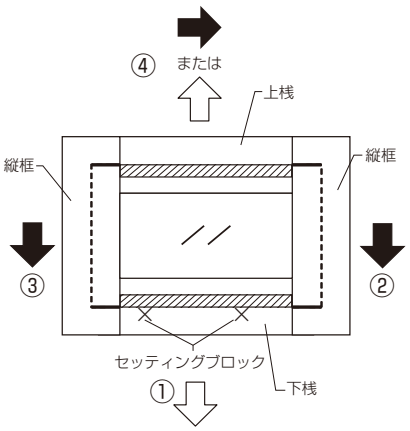

**テラスドア・開き窓テラス・勝手口ドア**



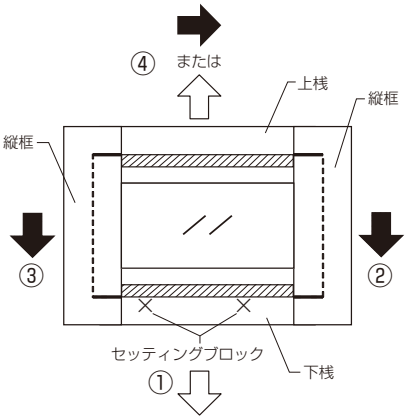

※縦アンカー仕様の場合は、上・下桟はスライドで取外してください。
引抜くと、グレチャンがガラスから外れる場合があります。

## 横アンカー仕様

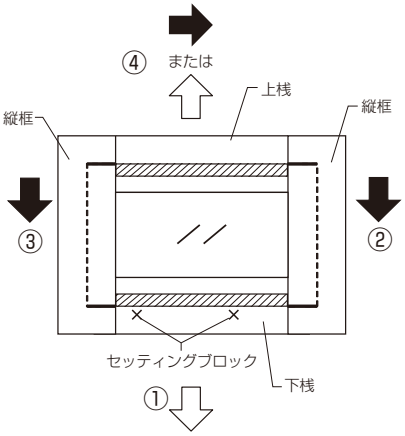
### 上げ下げ窓




### 採風勝手口ドア




### 高所用横すべり出し窓




※横アンカー仕様の場合は、縦部材はスライドで取外してください。
　引抜くと、グレチャンがガラスから外れる場合があります。

## ■框の取外し

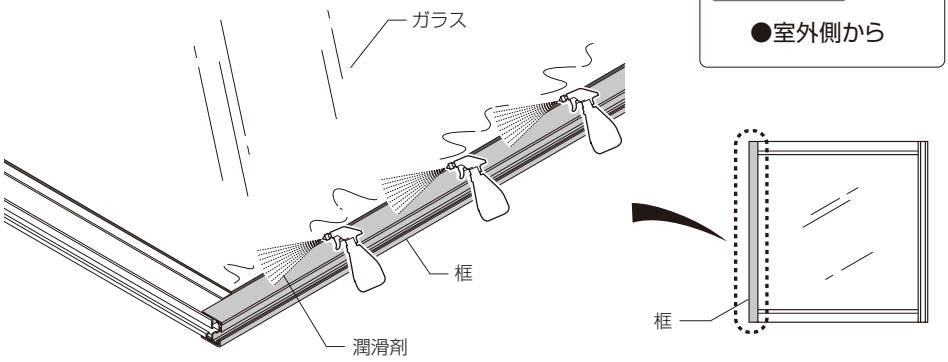
品種・部材により異なりますので、詳細は『品種別部材取外し順序』を参照ください。

共通手順・方法

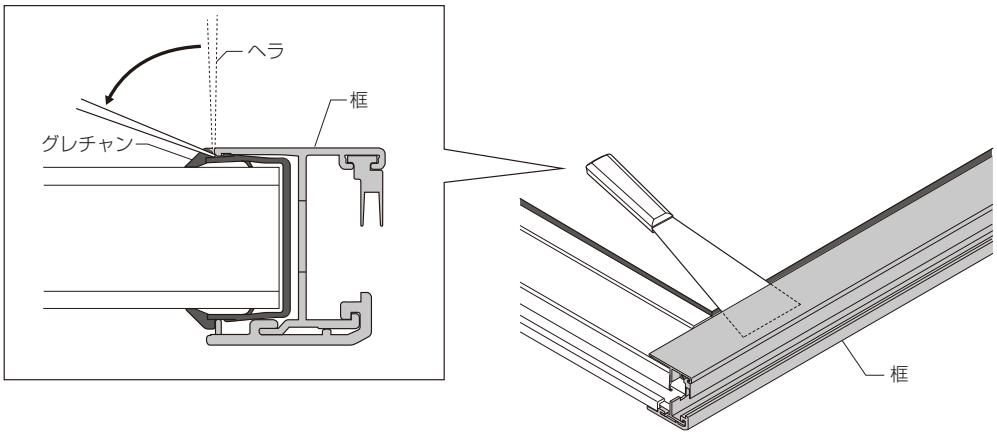
**A框の引抜き**

①室外側框、差し込むヘラに潤滑剤を吹き付けます。

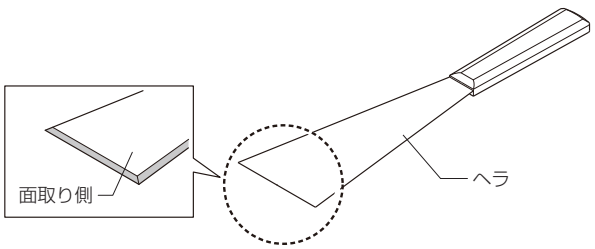
**ポイント**
●室外側から




②グレチャンと框の間にヘラを奥まで差し込みます。
いったんヘラを垂直に立ててから押し込んでください。

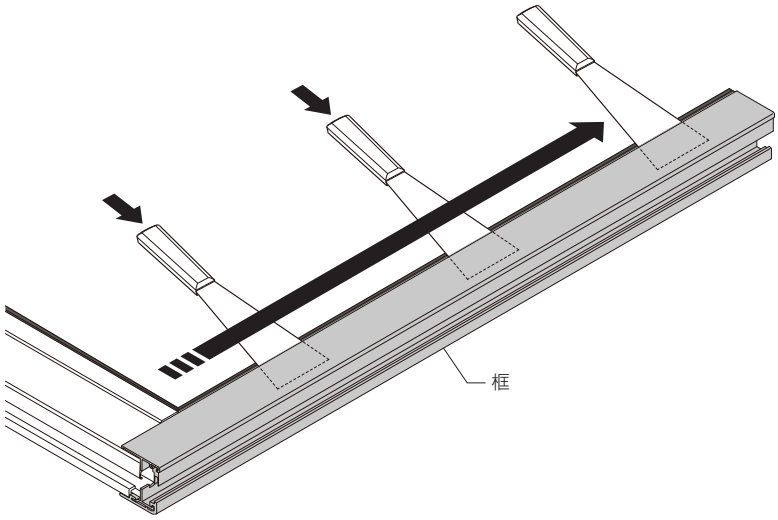



※差し込み難い場合は、差し込み部とヘラに潤滑剤を再度吹きつけてください。
※ヘラが面取りされている場合、グレチャン側に面取り側を向けて差し込んでください。



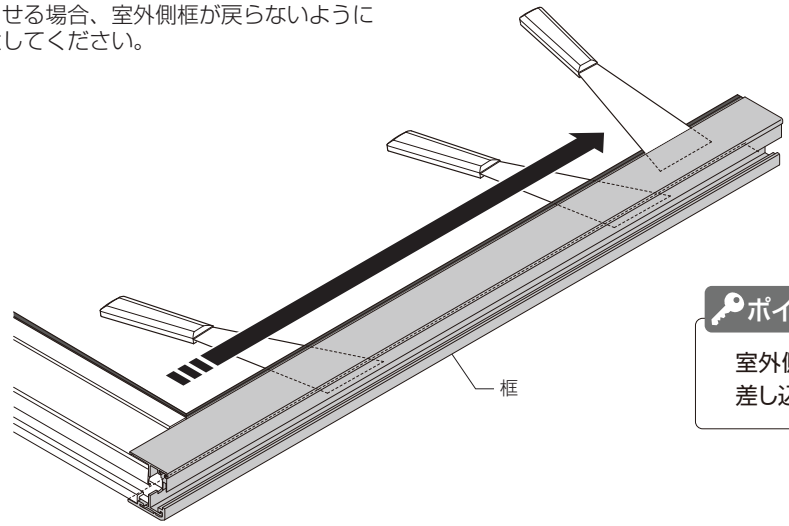
共通手順・方法

③ヘラをスライドさせ、端まですべらせて移動します。
移動後に框が戻らないように他のヘラを差し込みます。




④室内側框に再度ヘラを差し込み、同様にヘラをスライドさせ、端まですべらせて移動します。

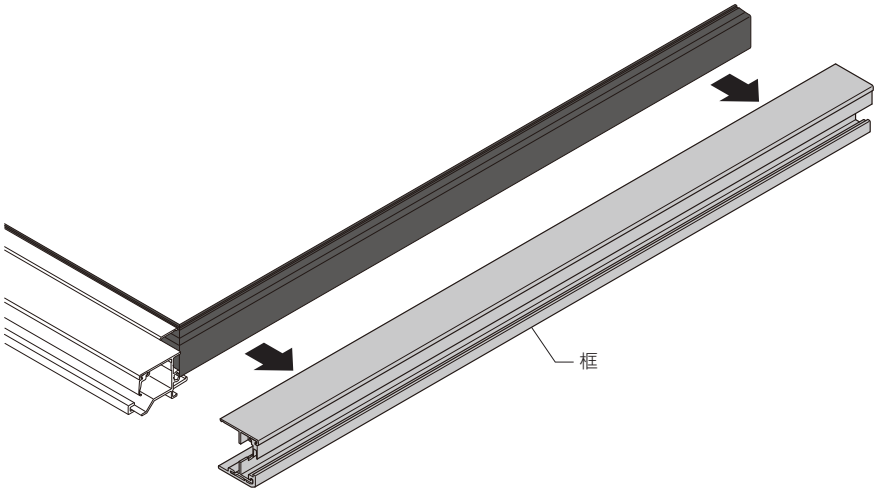
※障子を反転させる場合、室外側框が戻らないように
持ち方に注意してください。




**ポイント**

室外側のヘラは
差し込んだまま行う

⑤框をはずします。



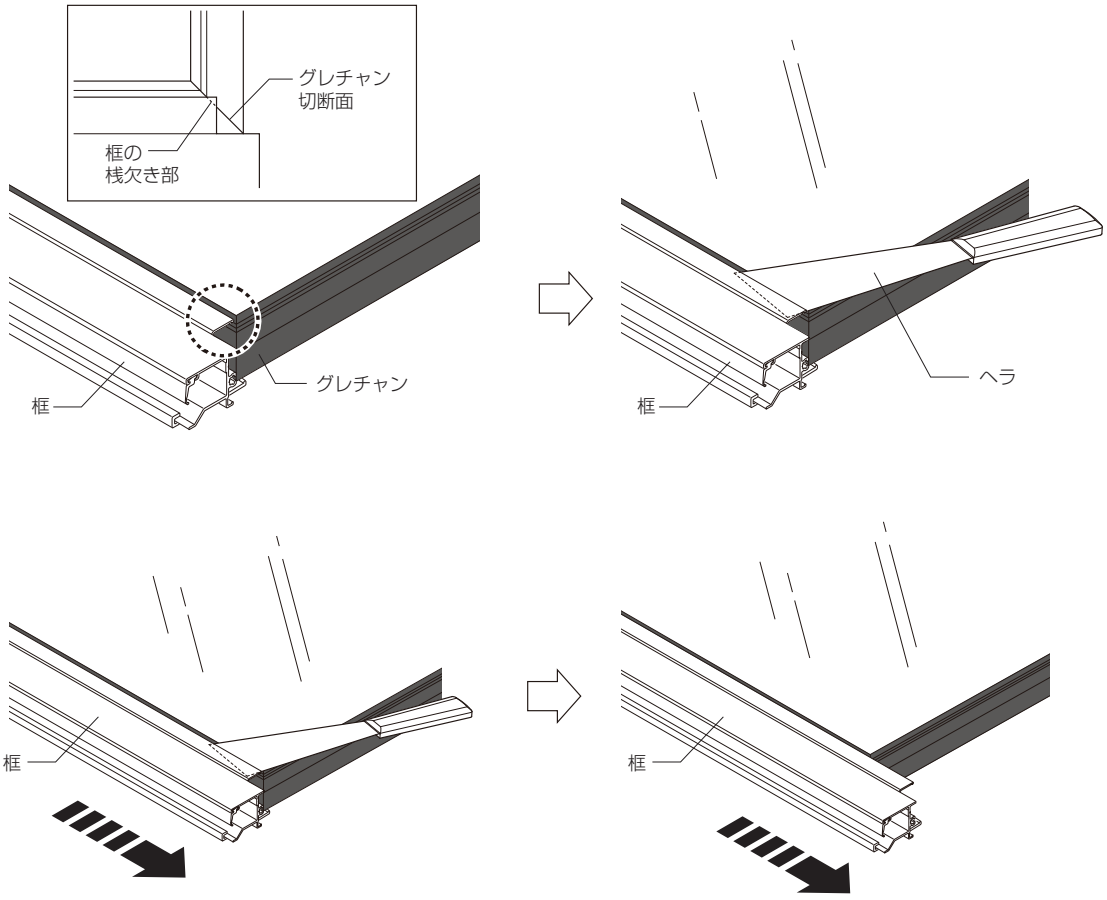
**B框のスライド**

①框を長手方向にスライドし、框を取外します。

※グレチャンのコーナー部折り返しと部品等が干渉する場合は、Aの方法で実施してください。
詳細は「品種別部材取外し順序」を参照ください。

※スライドがきつい場合は、無理にスライドさせずAの方法で実施してください。

※グレチャン切断面に框の桟欠き部がひっかからないように注意してください。
ひっかかる場合は、ヘラ（樹脂製）を差し込んで行ってください。



# 有償品　大型把手　ストッパー

●この取付け説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

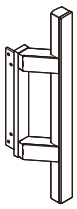
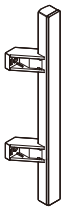
●ストッパーは必ず取付けてください。把手と框材(クレセント本体がついている)に指などを挟んでケガをするおそれがあります。

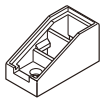
## ■取付け上のお願い

●把手・ストッパーは、必ず障子の外れ止め・クレセント受け・戸車を調整した後に取付けてください。先に取付けると、外れ止め・クレセント受けの調整は、把手・ストッパーを外さない限りできなくなります。
●障子運搬時には、把手を持って運ばないでください。把手が壊れるおそれがあります。
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

| | 把手 | ねじカバー | 把手台座 | 取付けねじ |
|---|---|---|---|---|
| 縦框用 | ㋐<br>  <br>2枚建、4枚建、HK、HKK:2個 | | | ㋕バインド小ねじM4×25<br> <br>【サーモスXの場合】<br>㋕バインド小ねじM4×16<br> <br>2枚建、4枚建、HK、HKK:4個 |
| 合掌框用 | ㋑<br>  <br>4枚建のみ:2個 | ㋒<br> <br>4枚建のみ:4個 | ㋓<br> <br>4枚建のみ:2個 | ㋖バインド小ねじM5×30<br> <br>4枚建のみ:4個 |

| | ストッパー | ストッパーカバー | 取付けねじ |
|---|---|---|---|
| ストッパーセット | ㋔<br>  <br>2枚建:2個<br>4枚建:4個 | ㋗<br> <br>2枚建:2個<br>4枚建:4個 | ㋘なべ小ねじ<br>M4×8<br> <br>2枚建:4個<br>4枚建:8個 |

※HK、HKKには使用しません。

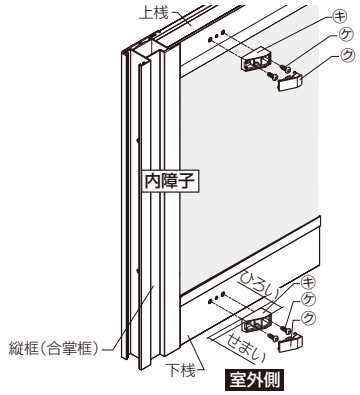
## ■取付け順序

**❶事前準備**

●障子の 建付け調整は事前に行っておいてください。

**❷ストッパーの取付け**

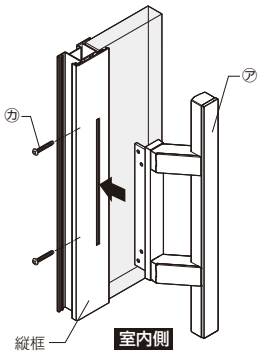
●ストッパーは、2枚建・4枚建の場合は、下図のように内障子室外側に取付け、ストッパーカバーをはめ込みます。
※取付けの向きはA図を参照してください。
※4枚建の場合は左右の内障子に取付けてください。
※HK、HKKの場合は取付けません。
※下図は、2枚建・4枚建の場合を示します。
また、(　)は4枚建を示します。




**❸把手の取付け**

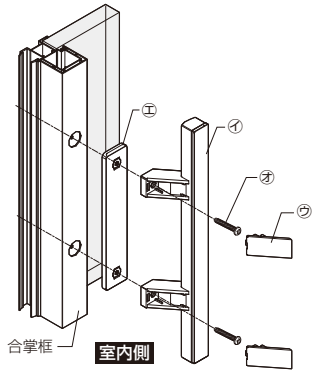
〔2枚建、HK、HKK、4枚建(縦框)の場合〕

●把手を框に差込み、ねじ止めします。
※取付けの向きはA図を参照してください。

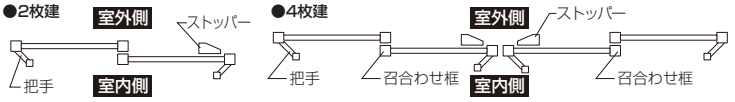



〔4枚建(合掌框)の場合〕

●把手台座、把手、取付けねじを合わせ、框にねじ止めし、ねじカバーをはめ込みます。
※取付けの向きはA図を参照してください。




**■A図　把手・ストッパー取付け向き**　※ストッパーは広い方を召合わせ框側にして取付けてください。



# 有償品　大型把手　ストッパー

●この取付け説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

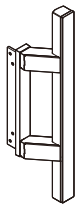
●ストッパーは必ず取付けてください。把手と框材（クレセント本体がついている）に指などを挟んでケガをするおそれがあります。

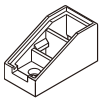
## ■取付け上のお願い

●把手・ストッパーは、必ず障子の外れ止め・クレセント受け・戸車を調整した後に取付けてください。先に取付けると、外れ止め・クレセント受けの調整は、把手・ストッパーを外さない限りできなくなります。
●障子運搬時には、把手を持って運ばないでください。把手が壊れるおそれがあります。
●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

| | 把手 | 取付けねじ |
|---|---|---|
| 縦框用 | ㋐<br>  <br>2個 | ㋑バインド小ねじM4×23<br> <br>4個 |

| | ストッパー | ストッパーカバー | 取付けねじ |
|---|---|---|---|
| ストッパーセット | ㋒<br>  <br>2個 | ㋓<br> <br>2個 | ㋔なべ小ねじ M4×8<br> <br>4個 |

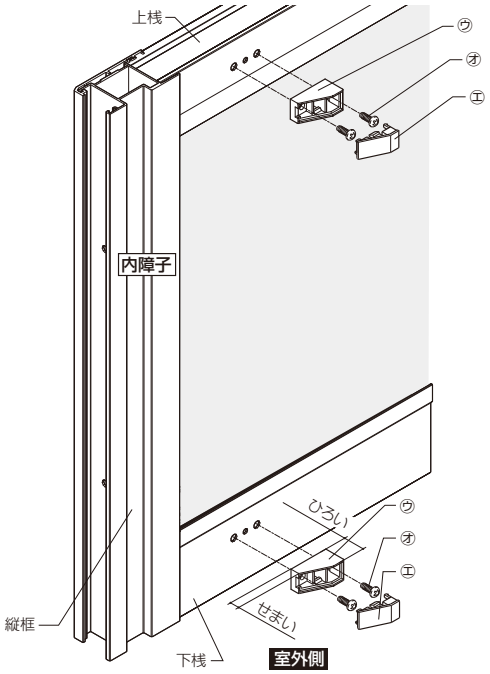
## ■取付け順序

**1事前準備**

●障子の建付け調整は事前に行っておいてください。

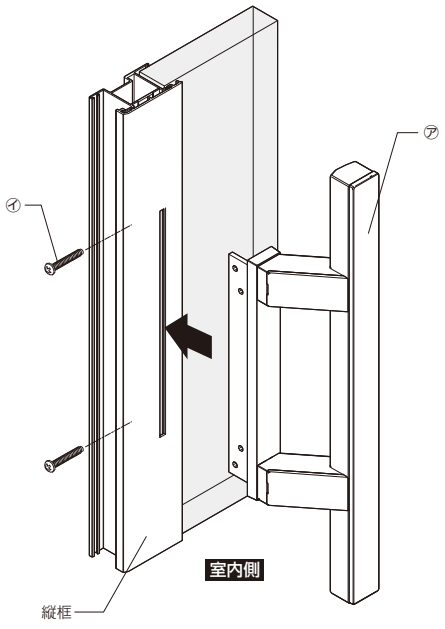
**2ストッパーの取付け**

●ストッパーは、下図のように内障子室外側に取付け、ストッパーカバーをはめ込みます。
※取付けの向きはA図を参照してください。



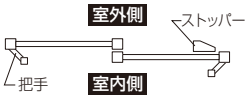

**3把手の取付け**

●把手を框に差込み、ねじ止めします。
※取付けの向きはA図を参照してください。




**■A図　把手・ストッパー取付け向き**

※ストッパーは広い方を召合せ框側にして取付けてください。



# 有償品　アシスト把手　ストッパー

●この取付け説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

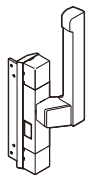
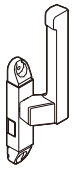
●ストッパーは必ず取付けてください。把手と框材(クレセント本体がついている)に指などを挟んでケガをするおそれがあります。

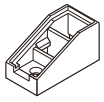
## ■取付け上のお願い

●把手・ストッパーは、必ず障子の外れ止め・クレセント受け・戸車を調整した後に取付けてください。先に取付けると、外れ止め・クレセント受けの調整は、把手・ストッパーを外さない限りできなくなります。
●障子運搬時には、把手を持って運ばないでください。把手が壊れるおそれがあります。
●ねじは2.5±0.5N·m {25±5kgf·cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

| | 把手 | ねじカバー | 把手台座 | 取付けねじ |
|---|---|---|---|---|
| 縦框用 | ㋐<br>  <br>2枚建、4枚建、HK、HKK:2個 | | | ㋕バインド小ねじM4×25<br> <br>【サーモスXの場合】<br>㋕バインド小ねじM4×16<br> <br>2枚建、4枚建、HK、HKK:4個 |
| 合掌框用 | ㋑<br>  <br>4枚建のみ:2個 | ㋒<br> <br>4枚建のみ:4個 | ㋓<br> <br>4枚建のみ:2個 | ㋔バインド小ねじM5×30<br> <br>4枚建のみ:4個 |

| | ストッパー | ストッパーカバー | 取付けねじ |
|---|---|---|---|
| ストッパーセット | ㋖<br>  <br>2枚建:2個<br>4枚建:4個 | ㋗<br> <br>2枚建:2個<br>4枚建:4個 | ㋘なべ小ねじ<br>M4×8<br> <br>2枚建:4個<br>4枚建:8個 |

※HK、HKKには使用しません。

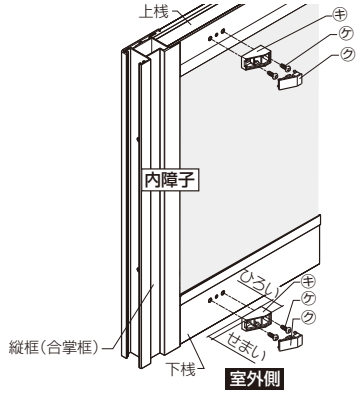
## ■取付け順序

### ❶事前準備

●障子の 建付け調整は事前に行っておいてください。

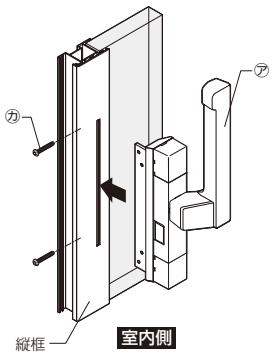
### ❷ストッパーの取付け

●ストッパーは、2枚建·4枚建の場合は、下図のように内障子室外側に取付け、ストッパーカバーをはめ込みます。
※取付けの向きはA図を参照してください。
※4枚建の場合は左右の内障子に取付けてください。
※HK、HKKの場合は取付けません。
※下図は、2枚建·4枚建の場合を示します。
また、(　)は4枚建を示します。

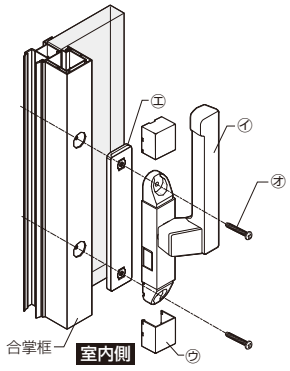



### ❸把手の取付け

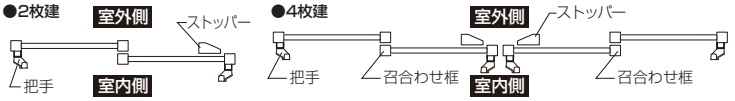
〔2枚建、HK、HKK、4枚建(縦框)の場合〕
●把手を框に差込み、ねじ止めします。
※取付けの向きはA図を参照してください。




〔4枚建(合掌框)の場合〕
●把手台座、把手、取付けねじを合わせ、框にねじ止めし、ねじカバーをはめ込みます。
※取付けの向きはA図を参照してください。




**■A図　把手·ストッパー取付け向き**　※ストッパーは広い方を召合わせ框側にして取付けてください。



# 有償品　アシスト把手　プレートおよびスペーサー

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

## ■取付け上のお願い

●プレートおよびスペーサーの取付けは、アシスト把手を付けた後で行ってください。
●プレートおよびスペーサーは、蹴り出し当り面を確保するため必ず取付けてください。
●プレートおよびスペーサーの張付け面に、油、汚れなどある場合は、ふき取ってください。

## ■部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を使用します。間違いのないよう使用してください。
※本説明書は、ねじレスショートアングルの図で説明しています。

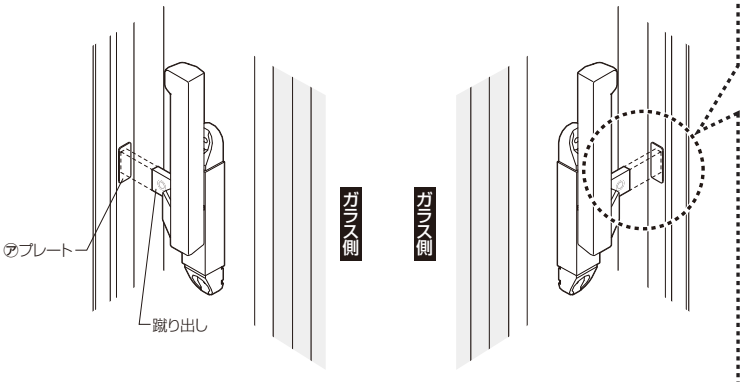
| | | アシスト把手部品セットに同梱 | |
|---|---|---|---|
| | | プレート | スペーサー |
| 姿図 | | ㋐<br> | ㋑<br> <br>※額縁シャクリがない場合に使用 |
| 使用数 | 2枚建 | 2 | 1 |
| | 4枚建 | 2 | 0 |
| | HK | 1 | 1 |
| | HKK | 2 | 2 |

## ■取付け順序

**1部品の選定**

**2外障子側のプレートの取付け**

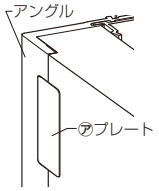
●ハンドルを引き、蹴り出し位置を確認し、プレート中央に蹴り出しが当たるように張ってください。
※4枚建ての場合は、内観右側にも取付けてください。
※取付け位置は下記の取付け位置表を参照して取付けてください。




**3内障子側のプレートおよびスペーサーの取付け**

●ハンドルを引き、蹴り出し位置を確認し、プレート中央に蹴り出しが当たるように取付けてください。
※HKKの場合は、内観左側にも取付けてください。
※取付け位置は下記の取付け位置表を参照して取付けてください。

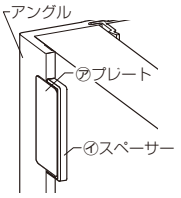
【シャクリ付き】



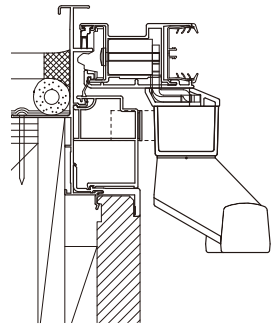
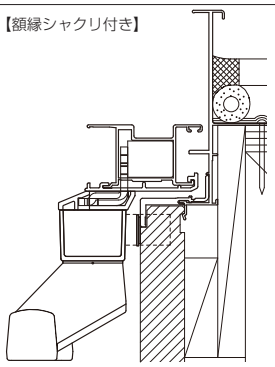
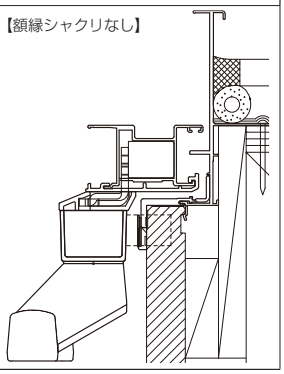

【シャクリなし】

①プレートを両面テープでスペーサーに張付けます。

②アングルの段差に合わせて、①の部品を張付けます。




## ■取付け位置

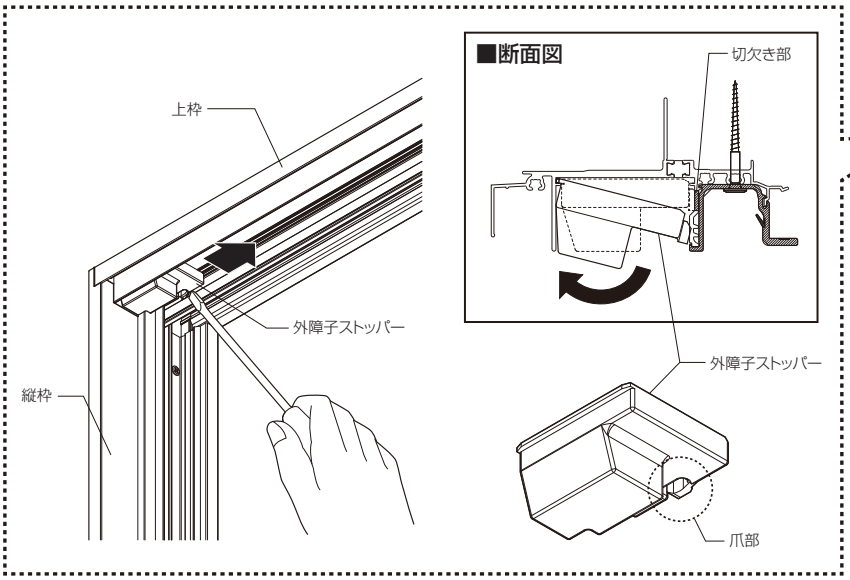
| 外障子側 | 内障子側 | |
|---|---|---|
| 【2枚建て、4枚建て、HK】 | 【額縁シャクリ付き】 | 【額縁シャクリなし】 |
|  |  |  |

# 有償品　非常用進入口ストッパー

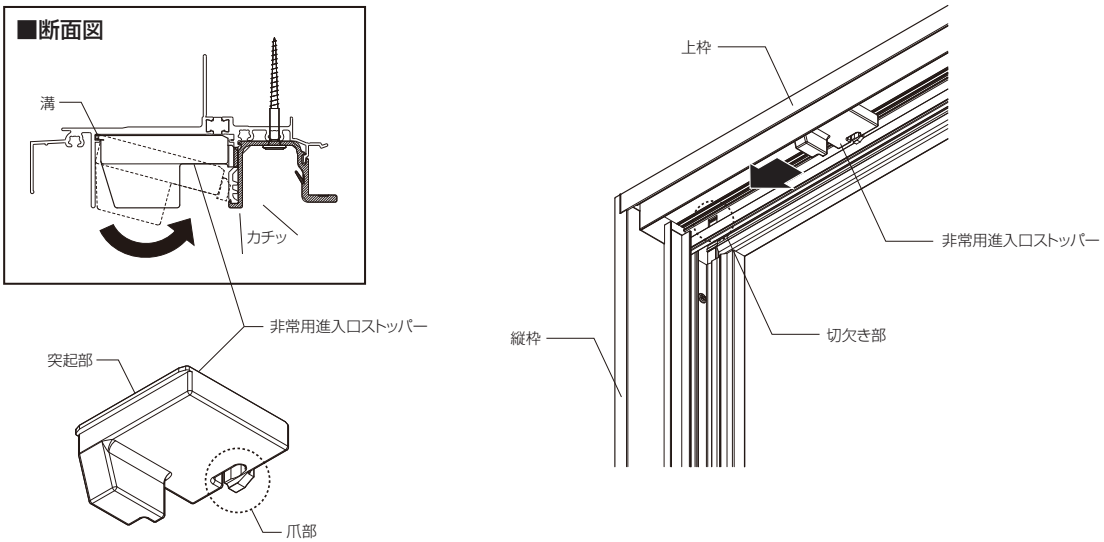
●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
●本部品を取付けることにより、引違い窓2枚建W165サイズの有効開口を750mm以上にすることができます。

## ■取付け順序

①上枠の切欠き部と外障子ストッパーの爪の間に、マイナスドライバーを差込みながら、外障子ストッパーをスライドさせます。
②スライド後、外障子ストッパーを室外側に回転しながら外します。




③非常用進入口ストッパーの突起部を上枠の溝に突き当ててから、部品を下から上に押し込みます。
④非常用進入口ストッパーの爪部が上枠の切欠き部にかん合するまで、スライドさせます。
　必ず、カチッと音がするまで確実にかん合させてください。



# 有償品　非常用進入口専用品

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

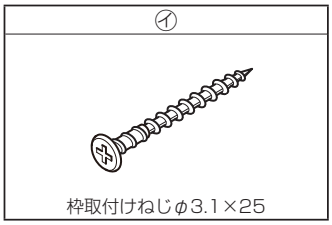
**⚠ 注 意**

●漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。
・縦枠補強金具部は必ず指定の取付けねじで固定してください。
・縦枠から縦枠補強金具を取り外さないでください。

## ■取付け上のお願い

●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5～2.0N･mにて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ･米松など）の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●サッシ枠その他の取付け及びサッシ寸法許容差については、サッシ本体の取付け説明書をご覧ください。

## ■取付けねじ一覧表

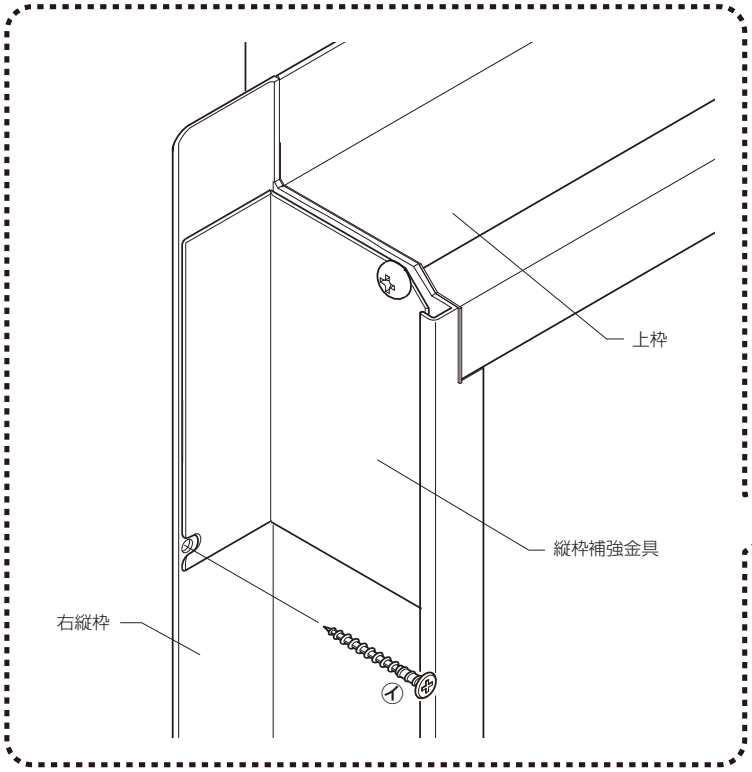



## ■枠の取付け

※枠の取付けに関しては、「引違い窓 取付け説明書」をご覧ください。

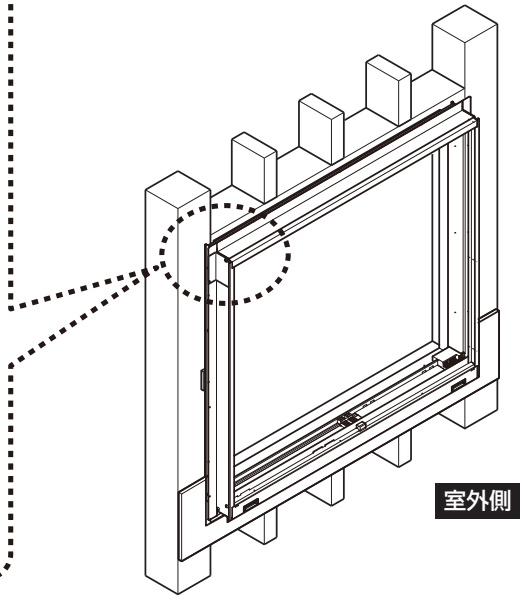
### ❶枠の固定

右縦枠上部の補強金具部を固定します。




**⚠ 注 意**

●縦枠補強金具部は必ず指定の取付けねじで固定してください。
漏水の原因となるおそれがあります。



# 有償品　指はさみ防止部品(縦枠用)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
●この説明書は、取付け後、必ず施主さまにお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●誤った取付けを行うと指はさみ防止部品の機能が発揮されず、指などを挟んでケガをするおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

●指はさみ防止部品の張付け面のホコリ・油・汚れなどをふき取ってください。
●指はさみ防止部品は、平行になるように取付けてください。
●本品は室外側障子サッシ枠・室内側障子サッシ枠のどちらか一方へ取付けてください。
●合掌框には、合掌框用指はさみ防止部品をご使用ください。(裏面を参照ください。)
●同梱ねじで固定できない場合は、現場に合わせてねじを用意してください。

## ■部品・ねじ一覧表

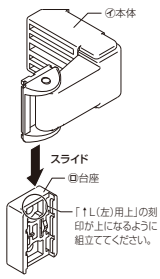
| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | | | | | | |
| | 本体（縦枠用） | 台座 | 取付け説明書 | スペーサー | トラス小ねじ M4×20 | トラスタッピンねじ φ4×25 | ターンナット |
| 入数 | 1 組 | 1 個 | 1枚 | 1 個 | 2本 | 2本 | 2 個 |

## ■取付け順序

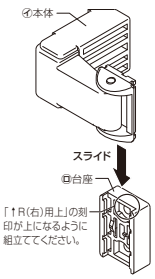
### ❶指はさみ防止部品の組立て

①㋑本体を㋺台座に、上からスライドさせて組立てます。
（台座の上下に注意してください。）

〔室外側障子 L(左)用〕
〔HKK、室内側障子 L(左)用を含む〕




〔室内側障子 R(右)用〕

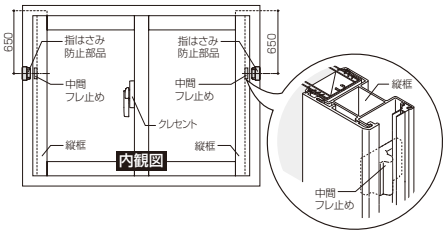



③指はさみ防止部品を取付けてください。

### ❷サッシ枠への指はさみ防止部品の取付け

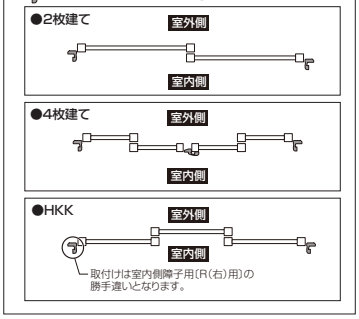
①部品を取付ける高さを決めます。
※障子(縦框)に取付けられている中間フレ止め(上端より650mm)に合わせて指はさみ防止部品を取付けてください。
②部品を取付ける面のホコリ・油・汚れなどをふき取ります。
※取付け向きは、(A図)を参照してください。

【サッシへの取付け位置】




### (A図) 指はさみ防止部品取付け向き

…指はさみ防止部品(縦枠用)　…指はさみ防止部品(合掌用)



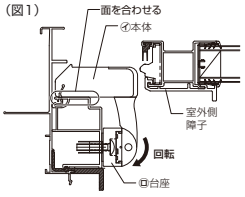

## ■取付け詳細

**③−1【室外側障子用〈L(左)用〉】**
**※HKK、室内側障子 L(左)用は室内側障子〈R(右)用〉の勝手違いとなります。(③−2を参照ください。)**

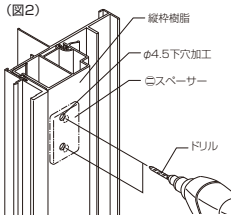
**【サーモスIIの場合】**

❶㋑本体と㋺台座を組合わせたものと㋷スペーサーを重ねて位置を出します。(図1)
❷㋷スペーサーを残した状態でケガキをして㋷スペーサーを外して縦枠樹脂にφ4.5の穴をあけます。(図2)
❸φ4.5の下穴をさらにφ8.2のドリルで穴をあけます。(図3)
❹㋣ターンナットを図の向きで差込みます。(図5参照)
❺㋣ターンナットの位置に合わせて㋺台座の両面テープをはがし平行になるよう張付けます。(図3)
❻㋑本体を㋺台座よりスライドさせて外します。
❼㋺台座を㋭トラス小ねじで手締め固定します。(図3)
❽㋑本体を㋺台座に上からスライドさせて組立てます。
※㋷スペーサーは、室外側障子の場合は、穴あけの位置合わせ以外では使用しません。

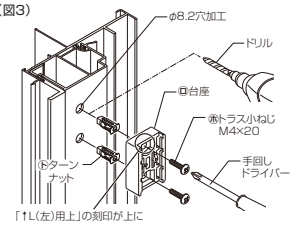
(図1)




(図2)




(図3)

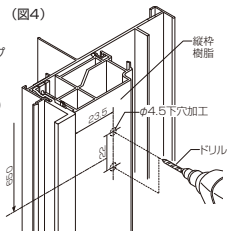



「↑L(左)用上」の刻印が上になるように取付けてください。

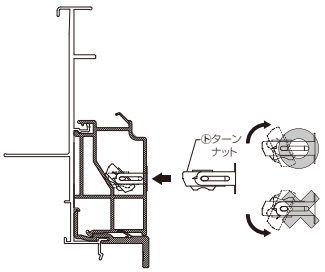
**【サーモスXの場合】**

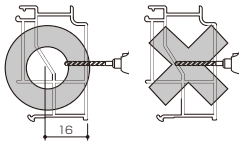
❶縦枠樹脂にφ4.5の穴をあけます。(図4)
❷φ4.5の下穴をさらにφ8.2のドリルで穴をあけます。
❸㋣ターンナットを図の向きで差込みます。(図5)
❹㋣ターンナットの位置に合わせて㋺台座の両面テープをはがし平行になるよう張付けます。(図3参照)
❺㋑本体を㋺台座よりスライドさせて外します。
❻㋺台座を㋭トラス小ねじで手締め固定します。(図3参照)
❼㋑本体を㋺台座に上からスライドさせて組立てます。

(図4)




(図5)



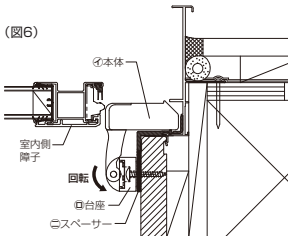




※φ4.5とφ8.2の穴は2枚目の壁を貫通しないようにしてください。

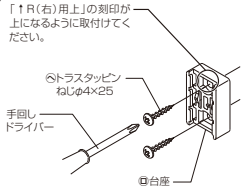
**③−2【室内側障子用〈R(右)用〉】**
**※HKK、室内側障子 L(左)用は、本取付けの勝手違いとなります。**

❶㋑本体と㋺台座を組合わせたものを両面テープをはがし張付けます。(図6)
（樹脂アングルと段差がある場合は㋷スペーサーを入れてください。）
❷㋑本体を㋺台座よりスライドさせて外します。
❸㋺台座を㋬トラスタッピンねじで手締め固定します。(図7)
※同梱ねじで固定できない場合は、現場に合わせてねじを用意してください。
❹㋑本体を㋺台座に上からスライドさせて組立てます。

(図6)



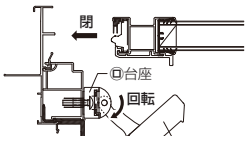

(図7)



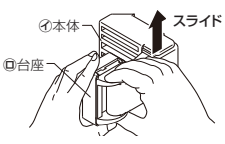

④部品がスムーズに動くか確認してください。

## ■操作方法(お施主さまへ)

●障子を閉める際は、指はさみ防止部品本体を回転させた状態で、障子を操作してください。




●指はさみ防止部品は、本体を上にスライドさせて、簡単に台座から取外すことができます。(取外す際は、台座を押さえながら行ってください。)




※指はさみ防止部品は、小さなお子さまのための安全補助部品です。
部品を引っ張ったり、サッシを必要以上に強く閉めないでください。
また、お子さまのいたずらなどへのご注意も忘れずにお願いします。

# 有償品　指はさみ防止部品（合掌用）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
●この説明書は、取付け後、必ず施主さまにお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

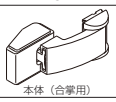
**⚠注　意**

●誤った取付けを行うと指はさみ防止部品の機能が発揮されず、指などを挟んでケガをするおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

●指はさみ防止部品の張付け面のホコリ・油・汚れなどをふき取ってください。
●指はさみ防止部品は、平行になるように取付けてください。
●縦枠には、縦枠用指はさみ防止部品をご使用ください。（裏面を参照ください。）

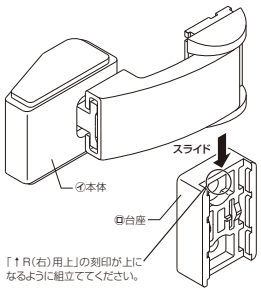
## ■部品・ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | | | |
| | 本体（合掌用） | 台座 | 取付け説明書 | トラスタッピンねじ φ4×25 |
| 入数 | 1組 | 1個 | 1枚 | 1個 |

## ■取付け順序

**❶指はさみ防止部品の組立て**

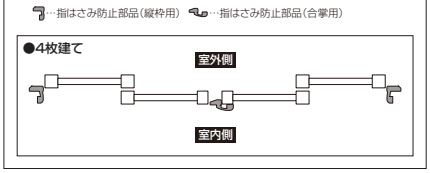
①㋑本体を㋺台座に、上からスライドさせて組立てます。
（台座の上下に注意してください。）



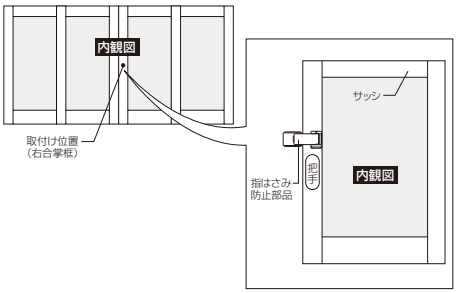

**❷サッシへの指はさみ防止部品の取付け**

①部品を取付ける高さを決めます。
（縦枠用がある場合は、高さを合わせてください。）
※小さなお子さまの手の届かない
（把手がある場合は、上部の干渉しない）ところに取付けてください。
②部品を取付ける面のホコリ・油・汚れなどをふき取ります。
※取付け向きは、（A図）を参照してください。

（A図）指はさみ防止部品取付け向き



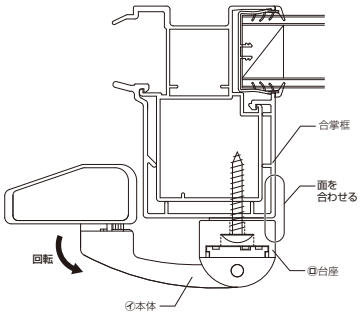

【サッシへの取付け位置】

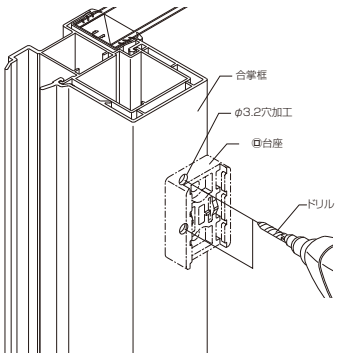


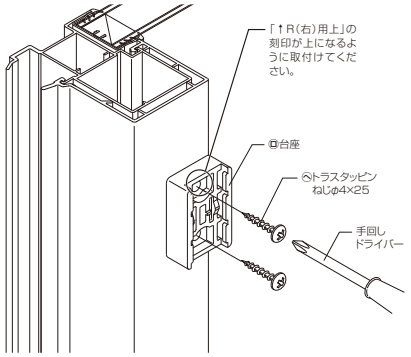

③指はさみ防止部品を取付けてください。

### ■取付け詳細

❶㋑本体と㋺台座を組合わせたもので位置を出します。
❷㋺台座の両面テープをはがし、㋺台座の側面と、合掌框の側面を合わせます。
❸㋑本体を㋺台座よりスライドさせて外します。
❹㋺台座を残した状態でケガキをして合掌框にφ3.2の下穴をあけます。
❺㋺台座を㋥トラスタッピンねじで手締め固定します。
❻㋑本体を㋺台座に上からスライドさせて組立てます。



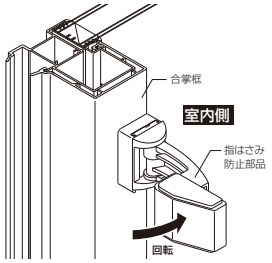



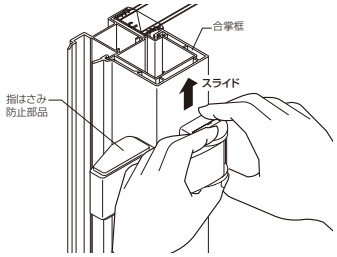

④部品がスムーズに動くか確認してください。

## ■操作方法（お施主さまへ）

●障子を閉める際は、指はさみ防止部品本体を回転させた状態で、障子を操作してください。




●指はさみ防止部品は、本体を上にスライドさせて、簡単に台座から取外すことができます。（取外す際は、台座を押さえながら行ってください。）




※指はさみ防止部品は、小さなお子さまのための安全補助部品です。部品を引っ張ったり、サッシを必要以上に強く閉めないでください。
また、お子さまのいたずらなどへのご注意も忘れずにお願いします。

# 有償品　フィルター付上桟一体換気窓

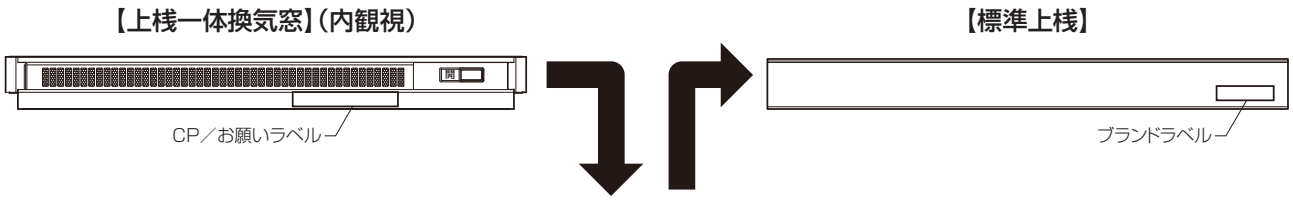
●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

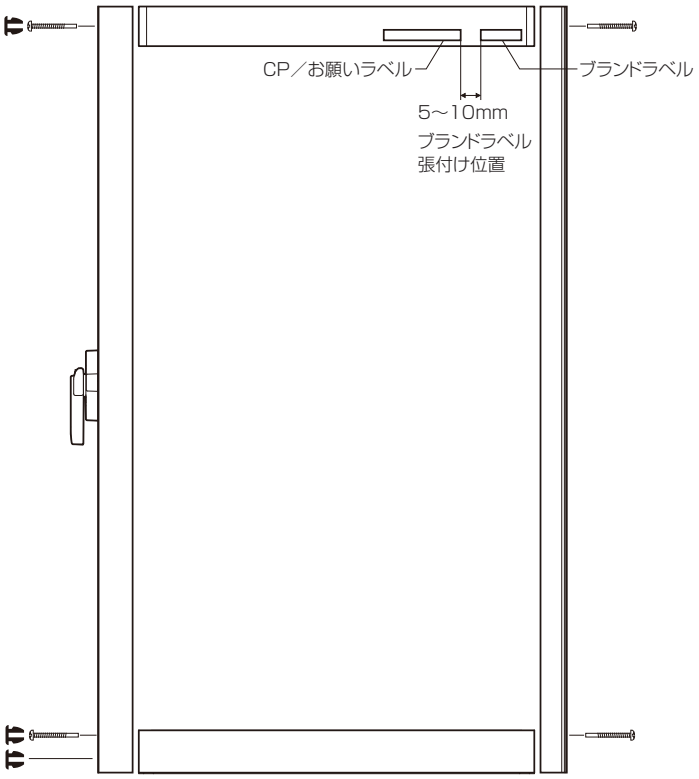
## ■ 組立てされる方へのお願い

●障子の組立てについては、障子の「組立て説明書」をご覧ください。
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。
●本製品は切詰めできません。
●交換する標準上桟にブランドラベルが張ってある場合は、標準上桟のブランドラベルをはがし、上桟一体換気窓に張付けてください。
●洗浄液などを換気窓の内部にかけないでください。洗浄液の付着によりレバーが操作できなくなるおそれがあります。
●万が一端部キャップが外れてしまい取付けしなおす場合は、取付け後にレバーが操作できることを確認してください。操作できない場合は、端部キャップが正規の位置に取付けされていないおそれがありますので取付けしなおしてください。

### ■上桟一体換気窓・障子の組立て

●障子の上桟のかわりに上桟一体換気窓を使用し、上下桟と縦框を組立ててください。
※上桟一体換気窓を使用する場合、元の標準上桟は不要になります。
※ガラス寸法は通常の標準上桟を使用した場合と同じです。



# 有償品　フラットアタッチメント（単体引違い窓用）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●下枠前面の水抜き穴部および網戸レールアタッチメント下面の水抜き穴部は、モルタルなどでふさがないでください。漏水の原因になるおそれがあります。

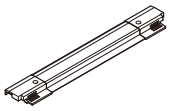
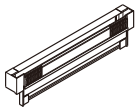
## ■取付け上のお願い

●網戸レールアタッチメント取付は、障子を建込んでいない状態で行ってください。障子を建込んでいると㈧排水ピースの取付けができなくなります。

●外レールアタッチメントの取付けは、障子を建込んだ後で行ってください。外レールアタッチメント取付け後は、障子の建込みができなくなります。

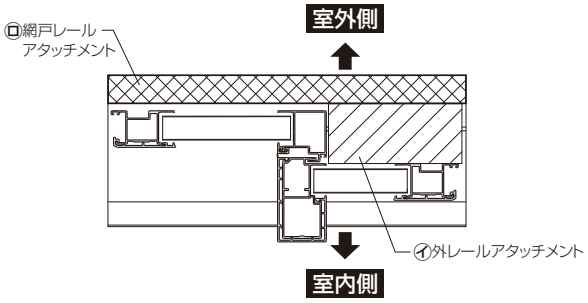
## ■部品・ねじ一覧表

※下表の記号㈠～㈢は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

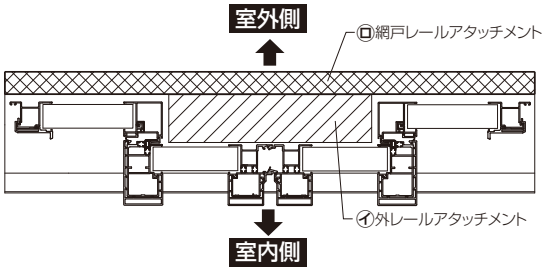
| | ㈠ | ㈡ | ㈧ | ㈢ |
|---|---|---|---|---|
| |  外レールアタッチメント |  網戸レールアタッチメント | 排水ピース | ドリルねじφ4×13（網戸レールアタッチメント取付け用） |
| デッキ納まり用アタッチメント | | ● | ● | ● |
| 外障子固定用アタッチメント | ● | ● | ● | ● |

## ■アタッチメントセット配置図

**■2枚建**




**■4枚建**



## ■取付け順序

**1網戸レールアタッチメントの取付け**

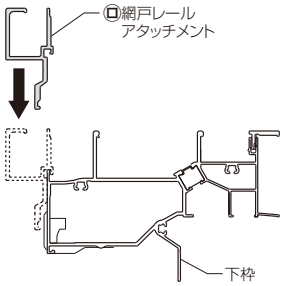
**2障子の建込み**

**3外レールアタッチメントの取付け**

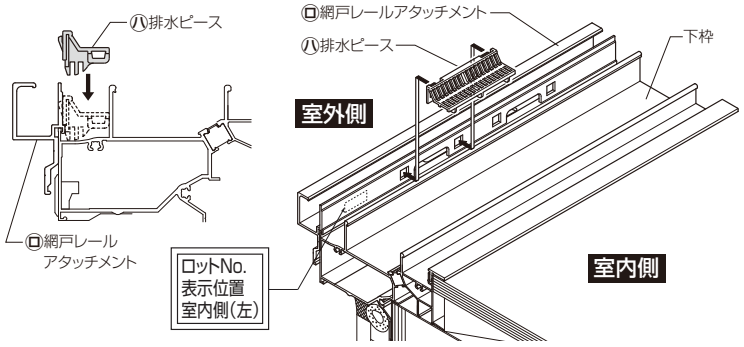
## ■取付け詳細

### 1網戸レールアタッチメントの取付け

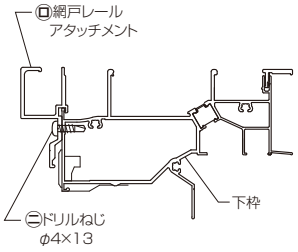
①下枠に㊐網戸レールアタッチメントを、サッシの下枠の網戸レールに引っ掛けるようにセットしてください。
※先に㊐網戸レールアタッチメントをねじで固定してしまうと、㊃排水ピースが取付かなくなる場合がありますので、㊐網戸レールアタッチメントの固定は㊃排水ピースの取付け後、行ってください。




②㊃排水ピースを㊐網戸レールアタッチメントの穴位置に合せて、垂直に押込み取付けてください。

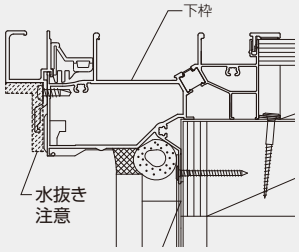



③㊐網戸レールアタッチメントの取付け穴に合わせ、㊒ドリルねじで固定してください。




**⚠注 意**

●斜線部はモルタルなどで絶対にふさがないでください。漏水の原因になるおそれがあります。

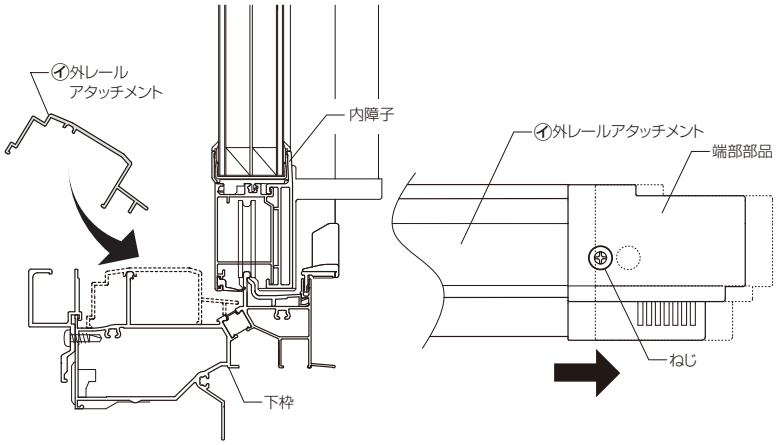



### 2障子の建込み

●障子を建込み、建付け調整をしてください。

### 3外レールアタッチメントの取付け

①外障子を閉めた状態で、㋑外レールアタッチメントを内障子の下にもぐり込ませるようにして取付けてください。
②㋑外レールアタッチメントの両端部に付いている部品のねじを緩めて、2枚建の場合は召合わせと縦枠の間、4枚建ては召合せ間で外障子が動かないように調節して固定してください。
※外レールアタッチメント取付け後は、外障子はあけることができません。



# 有償品　フラットアタッチメント（単体引違い窓用）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠ 注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注　意**

●下枠前面の水抜き穴部および網戸レールアタッチメント下面の水抜き穴部は、モルタルなどでふさがないでください。漏水の原因になるおそれがあります。

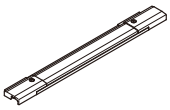
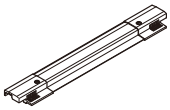
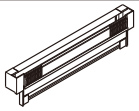
## ■取付け上のお願い

●網戸レールアタッチメント取付は、障子を建込んでいない状態で行ってください。障子を建込んでいると㋭排水ピースの取付けができなくなります。

●内・外レールアタッチメントの取付けは、障子を建込んだ後で行ってください。内・外レールアタッチメント取付け後は、障子の建込みができなくなります。

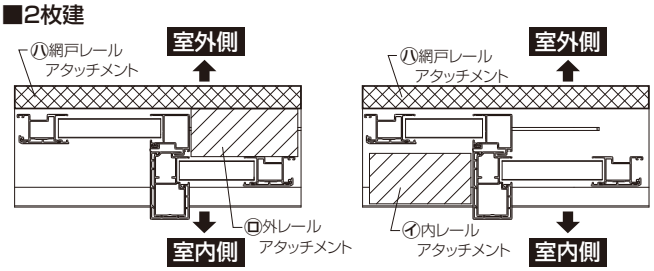
## ■部品・ねじ一覧表

※下表の記号㋑～㋬は本文中の記号を示します。間違いのないように使用してください。

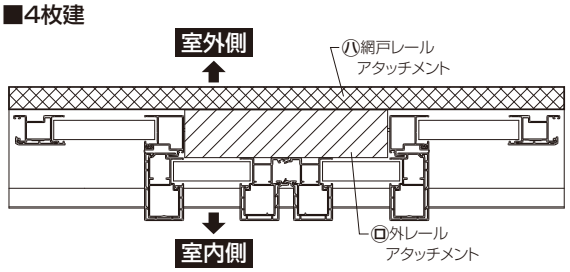
| | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋭ | ㋬ |
|---|---|---|---|---|---|
| |  内レールアタッチメント |  外レールアタッチメント |  網戸レールアタッチメント | 排水ピース | ドリルねじφ4×13（網戸レールアタッチメント取付け用） |
| デッキ納まり用アタッチメント | | | ● | ● | ● |
| 外障子固定用アタッチメント | | ● | ● | ● | ● |
| 内障子固定用アタッチメント | ● | | ● | ● | ● |

## ■アタッチメントセット配置図

### ■2枚建




### ■4枚建




## ■取付け順序

**❶網戸レールアタッチメントの取付け**

**❷障子の建込み**

**❸レールアタッチメントの取付け**

1 外レールアタッチメントの取付け

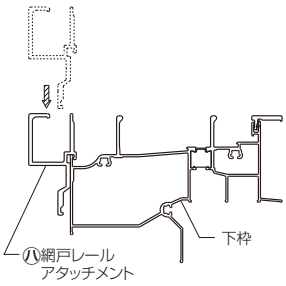
2 内レールアタッチメントの取付け

## ■取付け詳細

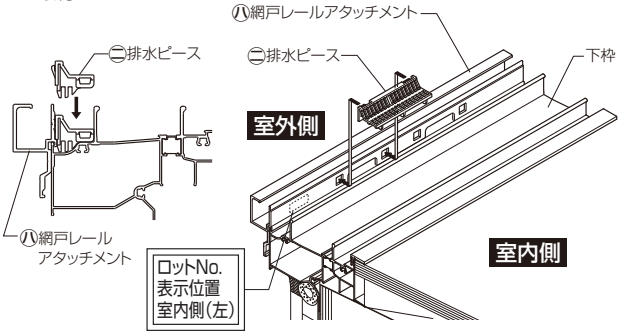
**❶網戸レールアタッチメントの取付け**

①下枠に㋩網戸レールアタッチメントを、サッシの下枠の網戸レールに引っ掛けるようにセットしてください。

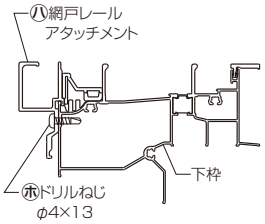
※先に㋩網戸レールアタッチメントをねじで固定してしまうと、㋭排水ピースが取付かなくなる場合がありますので、㋩網戸レールアタッチメントの固定は㋭排水ピースの取付け後、行ってください。




②㋭排水ピースを㋩網戸レールアタッチメントの穴位置に合せて、垂直に押込み取付けてください。

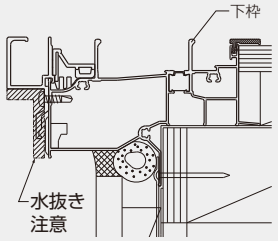



③㋩網戸レールアタッチメントの取付け穴に合わせ、㋬ドリルねじで固定してください。




**⚠注 意**

●斜線部はモルタルなどで絶対にふさがないでください。漏水の原因になるおそれがあります。



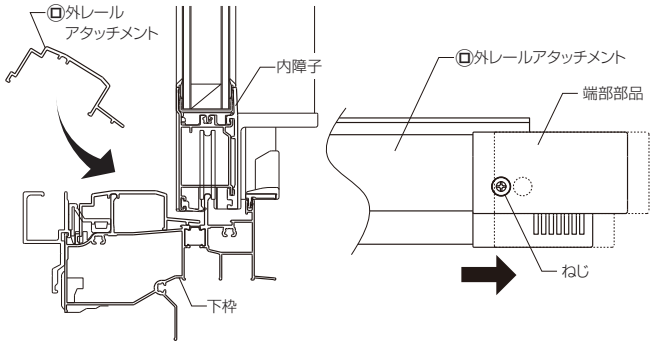
## 2障子の建込み

●障子を建込み、建付け調整をしてください。

## 3レールアタッチメントの取付け

### 1外レールアタッチメントの取付け

①外障子を閉めた状態で、㋺外レールアタッチメントを内障子の下にもぐり込ませるようにして取付けてください。
②㋺外レールアタッチメントの両端部に付いている部品のねじを緩めて、2枚建の場合は召合わせと縦枠の間、4枚建ては召合せ間で外障子が動かないように調節して固定してください。

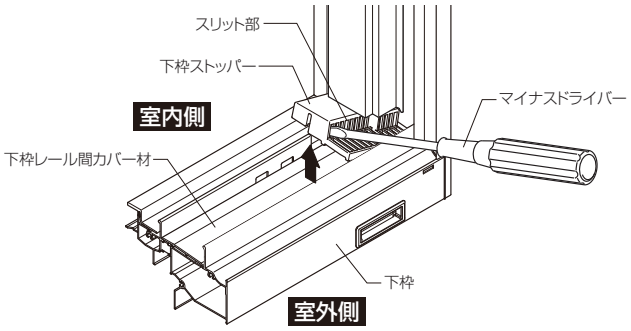



※外レールアタッチメント取付け後は、外障子はあけることができません。

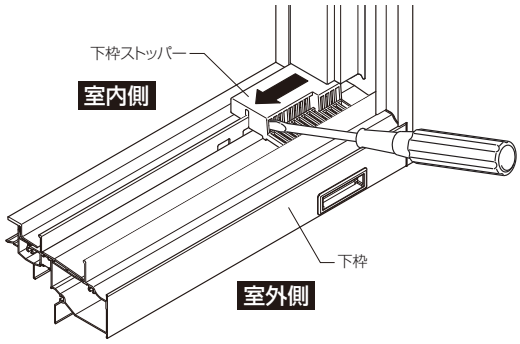
### 2内レールアタッチメントの取付け

①下レール間カバー材がある場合は、以下a)～d)の手順で、下レール間カバー材を外してから内レールアタッチメントを取付けしてください。
※下レール間カバー材がない場合は「②」に進んでください。

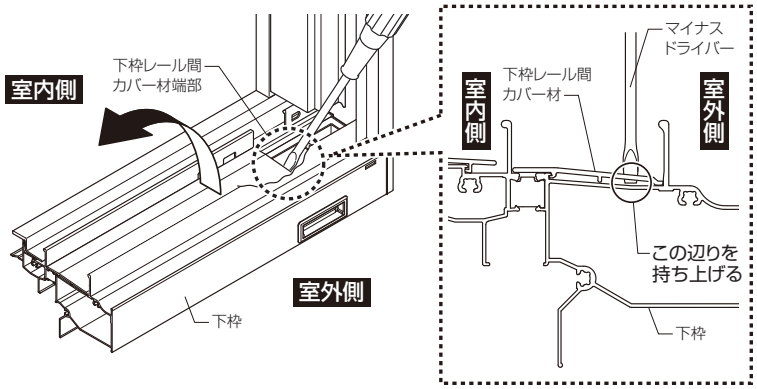
a)下枠ストッパーのスリット部にマイナスドライバーを差込み、下枠ストッパーを少し上に持ち上げてください。



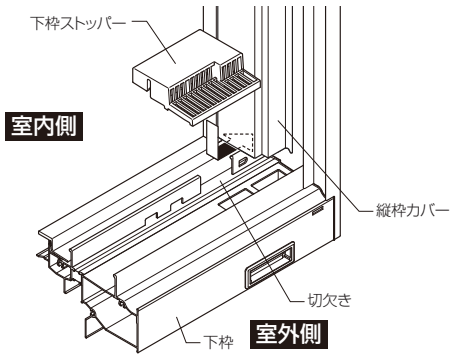

b)下枠ストッパーを矢印方向に引き出して外してください。



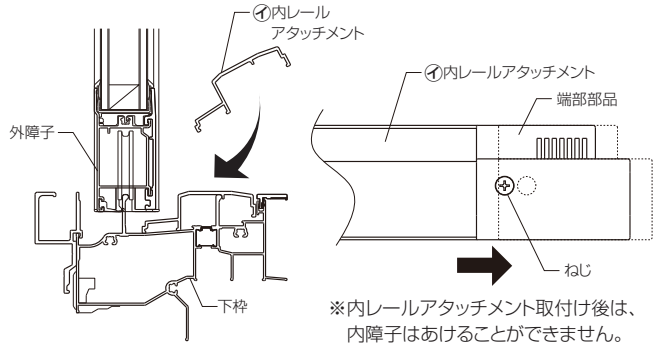

c)下枠レール間カバー材端部の室外側をマイナスドライバー先端で持ち上げて外してください。



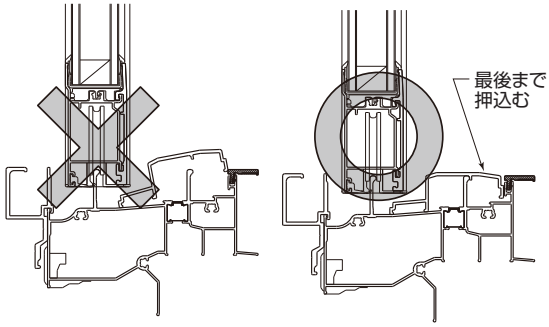

d)下枠ストッパーを矢印のように下枠切欠きに合わせて上からはめ込み、縦枠カバーの下に奥まで挿入して取付けてください。




②内障子を閉めた状態で、㋑内レールアタッチメントを外障子の下にもぐり込ませるようにして取付けてください。このとき、必ず最後まで押込んで取付けてください。
③㋑内レールアタッチメントの両端部に付いている部品のねじを緩めて、召合せと縦枠の間で内障子が動かないように調節して固定してください。




※内レールアタッチメント取付け後は、内障子はあけることができません。



# 有償品　フラットアタッチメント（シャッター付引違い窓用）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

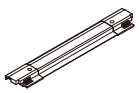
●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
●下枠前面の水抜き穴部および下枠アタッチメント下面の水抜き穴部はモルタルなどでふさがないでください。漏水の原因になるおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

●下枠アタッチメントの取付けは、障子を建込んでいない状態で行ってください。障子を建込んでいると、排水ピースの取付けができなくなります。
●すでにガイドレールを取付けている場合は、ガイドレールを外してから取付けてください。
●BF用ガイドレールを使用しない場合は、ガイドレールを切断してから取付けてください。
●BF用シャッター本体を使用しない場合は、手動については「フラットアタッチメント仕様手動幅木」への交換が必要となります。（電動タイプの場合はそのまま使用できます。）
●外レールアタッチメントの取付けは、障子を建込んだ後で行ってください。外レールアタッチメント取付け後は障子の建込みができなくなります。

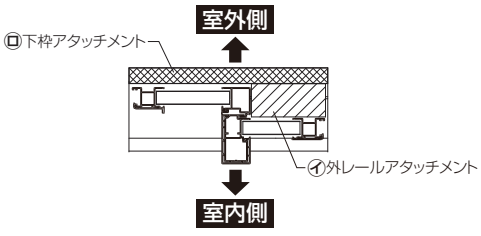
## ■取付け部品・ねじ一覧表

※下表の記号㋑～㋭は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

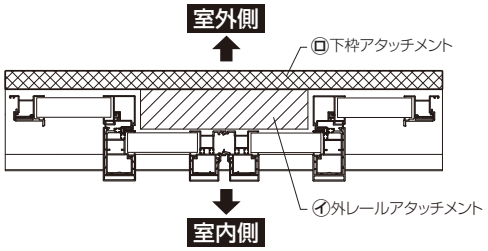
| | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋬ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| |  外レールアタッチメント | 下枠アタッチメント | 排水ピース | ドリルねじφ4×13（下枠アタッチメント取付け用） | 端部キャップ | 皿タッピンねじ M4×8 |
| デッキ納まり用アタッチメント | | ● | ● | ● | ● | ● |
| 外障子固定用アタッチメント | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

## ■フラットアタッチメントセット配置図

■2枚建

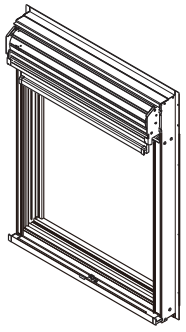



■4枚建




## ■取付け順序

**●ガイドレールの取外し**
**※ガイドレールを取付けている場合**



**●（手動タイプ）手動幅木への交換**
**※BF用シャッター本体を使用しない場合**

・交換方法については、交換部品に同梱の取付け説明書をご覧ください。

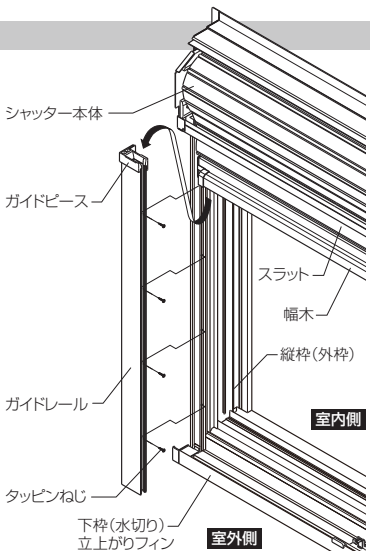
## ■取付け詳細

**●ガイドレールの取外し**
**※ガイドレールを取付けている場合**

①ガイドレールを縦枠に取付けているタッピンねじを、ドライバーでゆるめて取外してください。
②ガイドレールを上にスライドさせて、下枠（水切り）立上がりフィンをこえるように外側へ取外してください。
※取外したねじは、再度ガイドレールを取付ける際に必要ですので保管してください。ガイドレールは下枠アタッチメント取付け後、取付けてください。

### ■BF用ガイドレールを使用しない場合

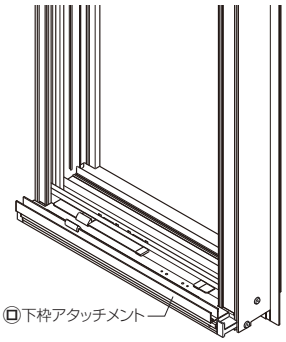
●ガイドレール（2本）を下側から下記寸法で切断してください。



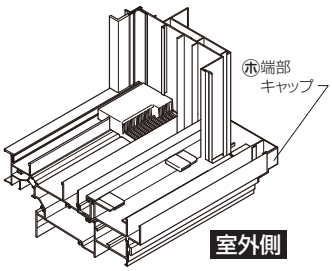
## ■取付け順序

### ❶下枠の幅木ガイドの取外し

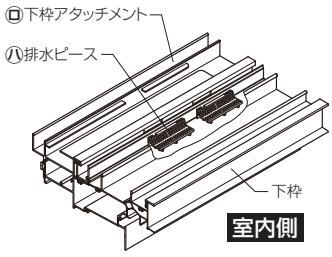
### ❷下枠アタッチメントの取付け




### ❸端部キャップの取付け



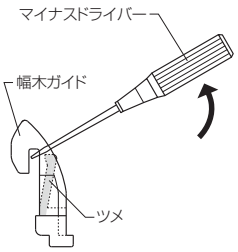

### ❹排水ピースの取付け

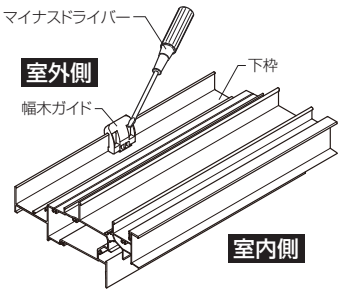



## ■取付け詳細

### ❶下枠の幅木ガイドの取外し

●幅木ガイドの内側のツメ（2カ所）を細いマイナスドライバーなどで浮かせて上に抜いてください。



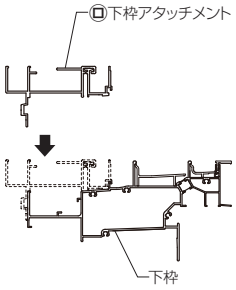

### ❷下枠アタッチメントの取付け

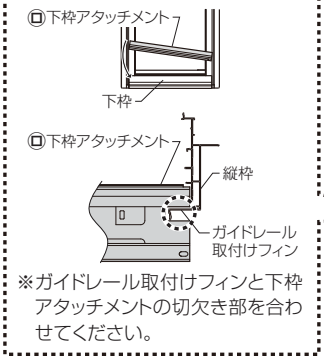
●㊐下枠アタッチメントを斜めに傾け、一方の端の切欠きを縦枠のガイドレール取付けフィンに合わせて、下枠の網戸レールに引っ掛けるように下枠にセットしてください。

※先に㊐下枠アタッチメントをねじで固定してしまうと、㊒排水ピースが取付かなくなる場合がありますので、㊐下枠アタッチメントの固定は㊒排水ピースの取付け後、行ってください。

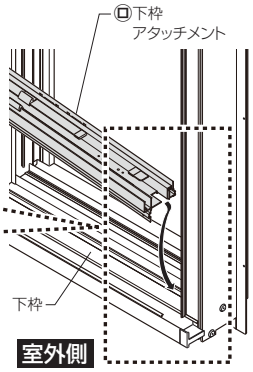
※㊐下枠アタッチメントが抜け落ちた場合は、断面図のとおりに挿入してください。

■断面図



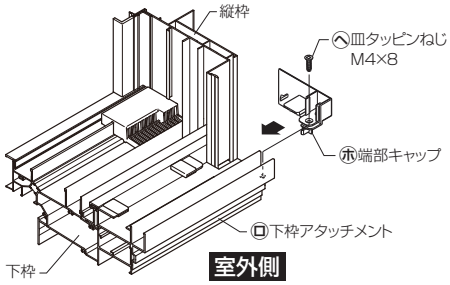

※ガイドレール取付けフィンと下枠アタッチメントの切欠き部を合わせてください。




### ❸端部キャップの取付け

●㊓端部キャップを㊐下枠アタッチメントの両端に差込み、㊇皿タッピンねじで固定してください。

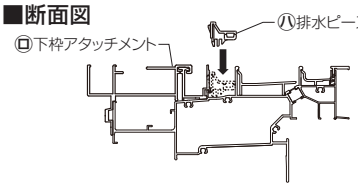
※㊐下枠アタッチメントが左右均等になるように位置を合わせてください。




### ❹排水ピースの取付け

①㊒排水ピースを㊐下枠アタッチメントの穴位置に合わせて垂直に押込み取付けてください。

■断面図

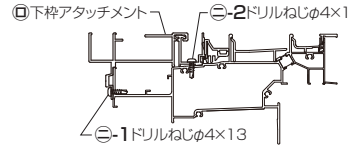


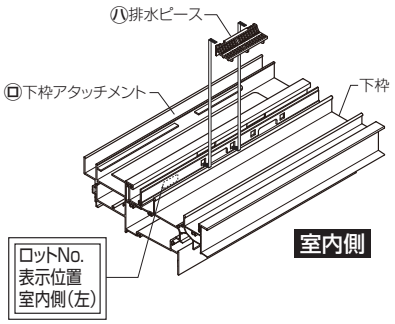

②㊐下枠アタッチメントを同梱の㊂ドリルねじで固定してください。

※㊂-1のねじを先に固定した後、㊐下枠アタッチメントの形材端部がそろっていることを確認し、㊂-2のねじを固定してください。

※ねじで固定する際、㊐下枠アタッチメントにキズをつけないようにしてください。

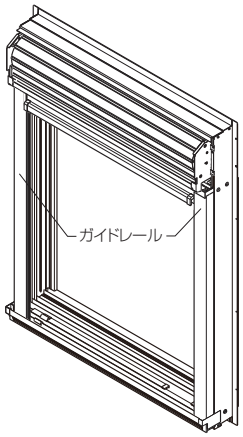
■断面図



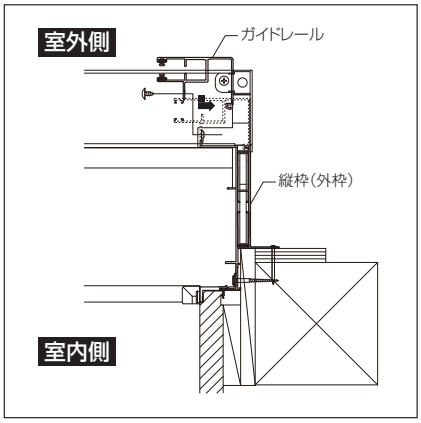

ロットNo.
表示位置
室内側(左)

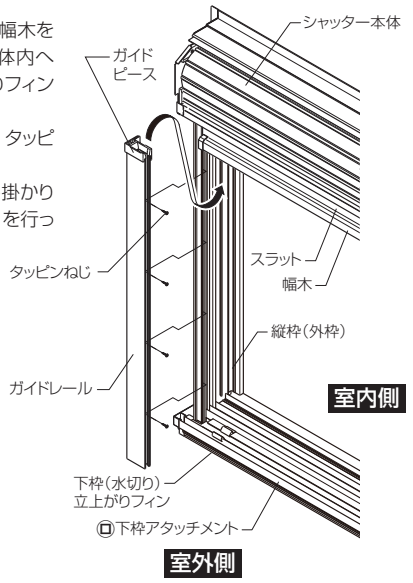
## 5ガイドレールの取付け




## 5ガイドレールの取付け

①幅木を引下げて、ガイドレールの上端（ガイドピース）に幅木を引込んでください。そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠（水切り）立ち上がりフィンをこえるように内側へ入れてください。
②ガイドレールをスライドさせて、縦枠（外枠）にはめ込み、タッピンねじで固定してください。
※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、「**6スラットの横ズレの確認**」を行ってください。




**お願い**
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。

## 6スラットの横ズレの確認

①幅木の中央を持ち、開口の1／3程度までスラットをゆっくり下げてください。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

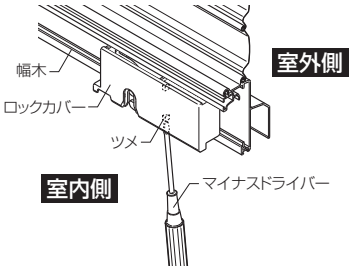
**⚠注 意**
●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

※縦枠（外枠）・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げてください。

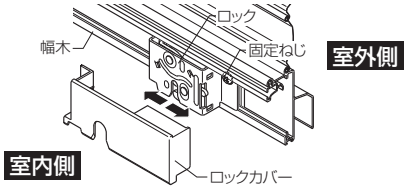
## 7ロック位置の調整と確認

【手動タイプ】

①幅木に付いているロックの下からマイナスドライバーなどを差込んでツメを外し、ロックカバーを取外してください。

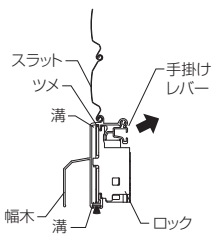



②ロックの固定ねじをゆるめてください。
③幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠（水切り）のロック受けの位置へスライドさせて合わせ、仮止めしてください。
④数回ロックの施・解錠をくり返し、かかりと作動を確認してください。
⑤ロックの固定ねじを締付け、ロックカバーを正面から押込んでください。

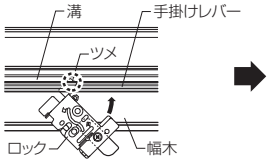



### ■ロックの取付け方法

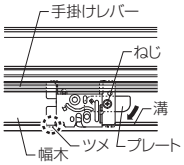
※ロックの位置を変更する際、ロックが幅木から外れた場合は、下記の手順で取付け直してください。



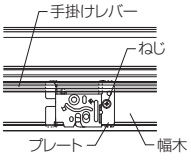

①手掛けレバーを持ち上げ、ロックを傾けてツメを幅木の溝に入れてください。




②下のツメを溝に入れ、ロックを水平に起こして取付け位置までスライドさせてください。

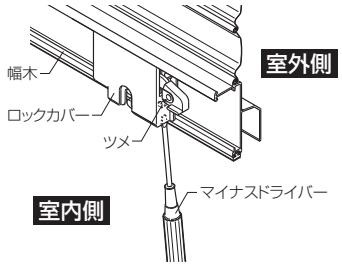



③プレートを右に回し、縦にしてねじを固定してください。

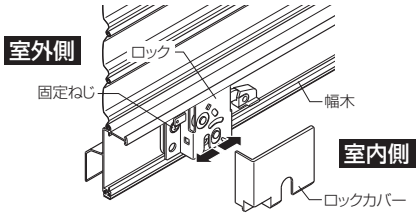


【電動タイプ】

①幅木に付いているロックの下からマイナスドライバーなどを差込んでツメを外し、ロックカバーを取外してください。

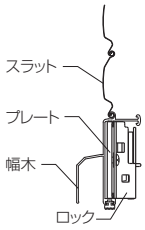



②ロックの固定ねじをゆるめてください。
③幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠（水切り）のロック受けの位置へスライドさせて合わせ、仮止めしてください。
④数回ロックの施・解錠をくり返し、かかりと作動を確認してください。
⑤ロックの固定ねじを締付け、ロックカバーを正面から押込んでください。

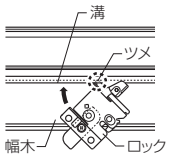



**■ロックの取付け方法**

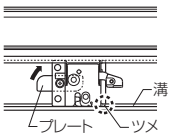
※ロックの位置を変更する際、ロックが幅木から外れた場合は、下記の手順で取付け直してください。



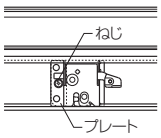

①ロックを傾けてツメを幅木の溝に入れてください。




②下のツメを溝に入れ、ロックを水平に起こして取付け位置までスライドさせてください。

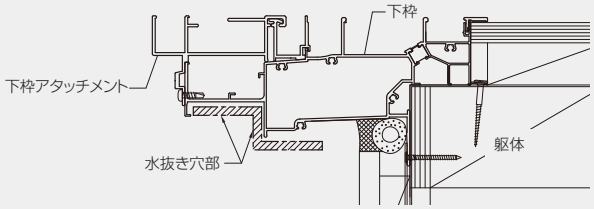



③プレートを右に回し、縦にしてねじを固定してください。




**⚠注 意**

●斜線部はモルタルなどで絶対にふさがないでください。
漏水の原因になるおそれがあります。

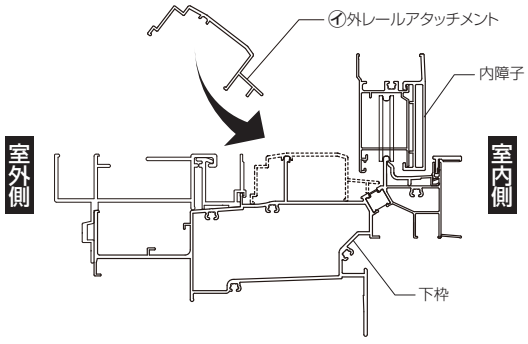


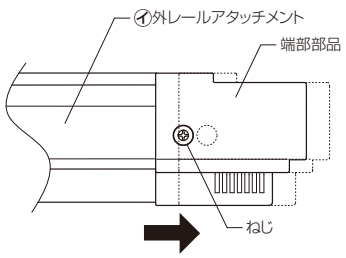

**8障子の建込み**

●障子を建込み、建付け調整をしてください。

**9外レールアタッチメントの取付け**

①外障子を閉めた状態で㋑外レールアタッチメントを内障子の下にもぐり込ませるようにして取付けてください。
②㋑外レールアタッチメントの両端部に付いている部品のねじをゆるめて、2枚建ての場合は召合せと縦枠の間、4枚建ては召合せ間で外障子が動かないように調節して固定してください。
※外レールアタッチメント取付け後は、外障子はあけることができません。



# 有償品　フラットアタッチメント（シャッター付引違い窓用）

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。　※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

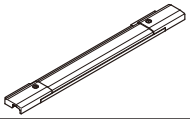
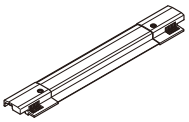
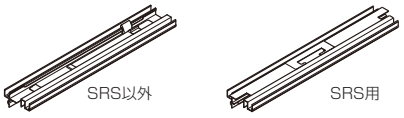
**⚠注　意**

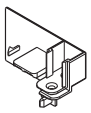
●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。素手で行うとケガをするおそれがあります。
●下枠前面の水抜き穴部および下枠アタッチメント下面の水抜き穴部はモルタルなどでふさがないでください。漏水の原因になるおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

●下枠アタッチメントの取付けは、障子を建込んでいない状態で行ってください。障子を建込んでいると、排水ピースの取付けができなくなります。
●すでにガイドレールを取付けている場合は、ガイドレールを外してから取付けてください。
●BF用ガイドレールを使用しない場合は、ガイドレールを切断してから取付けてください。
●BF用シャッター本体を使用しない場合は、手動については「フラットアタッチメント仕様手動幅木」への交換、SRSについては「フラットアタッチメント仕様SRS本体ロック」への交換が必要となります。（PRSの場合はそのまま使用できます。）
●内・外レールアタッチメントの取付けは、障子を建込んだ後で行ってください。内・外レールアタッチメント取付け後は障子の建込みができなくなります。

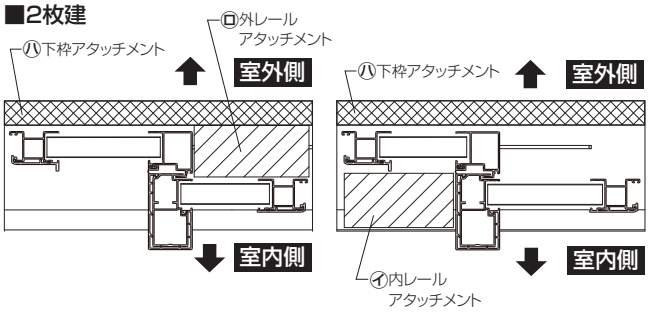
## ■取付け部品・ねじ一覧表

| | ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|---|
| |  |  |  |
| | 内レールアタッチメント | 外レールアタッチメント | 下枠アタッチメント |
| デッキ納まり用アタッチメント | | | ● |
| 外障子固定用アタッチメント | | ● | ● |
| 内障子固定用アタッチメント | ● | | ● |

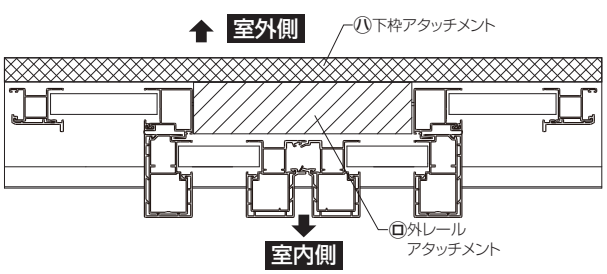
| | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋠ |
|---|---|---|---|---|
| | | |  | |
| | 排水ピース | ドリルねじφ4×13（下枠アタッチメント取付け用） | 端部キャップ | 皿タッピンねじ M4×8 |
| デッキ納まり用アタッチメント | ● | ● | ● | ● |
| 外障子固定用アタッチメント | ● | ● | ● | ● |
| 内障子固定用アタッチメント | ● | ● | ● | ● |

## ■フラットアタッチメントセット配置図

■2枚建

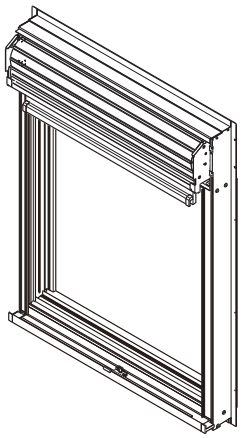



■4枚建



## ■取付け順序

### ●ガイドレールの取外し
### ※ガイドレールを取付けている場合

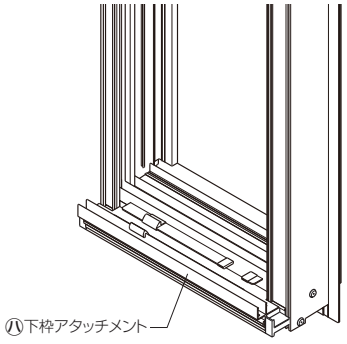


### ●（手動タイプ）手動幅木への交換
### （SRSタイプ）SRS本体ロックへの交換
### ※BF用シャッター本体を使用しない場合

・交換方法については、交換部品に同梱の取付け説明書をご覧ください。

### 1 下枠の幅木ガイドの取外し

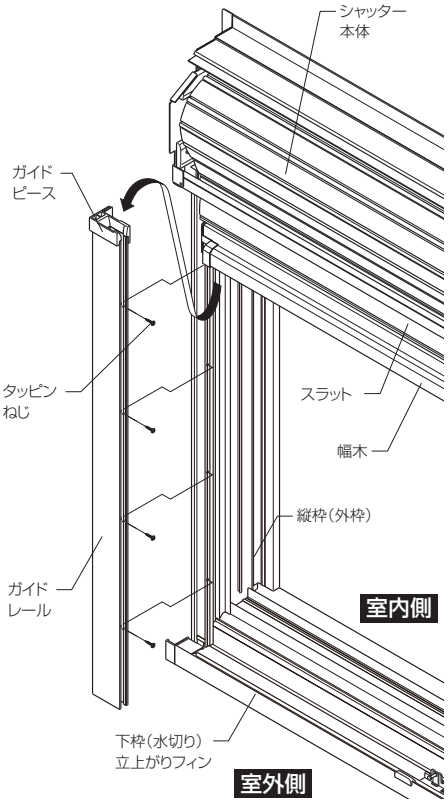
### 2 下枠アタッチメントの取付け




## ■取付け詳細

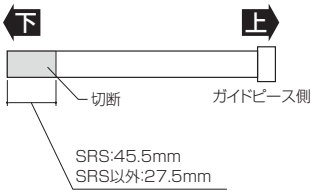
### ●ガイドレールの取外し
### ※ガイドレールを取付けている場合

①ガイドレールを縦枠に取付けているタッピンねじを、ドライバーでゆるめて取外してください。
②ガイドレールを上にスライドさせて、下枠（水切り）立上がりフィンをこえるように外側へ取外してください。
※取外したねじは、再度ガイドレールを取付ける際に必要ですので保管してください。ガイドレールは下枠アタッチメント取付け後、取付けてください。




#### ■BF用ガイドレールを使用しない場合

●ガイドレール（2本）を下側から下記寸法で切断してください。

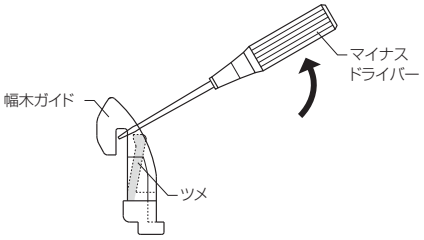


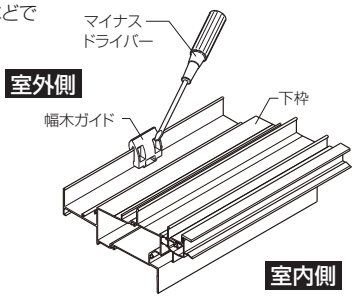

※アリーズの場合、切断後「SRS本体ロック」に同梱のガイドレールBF用キャップを取付けます。取付け方法については、同梱の取付け説明書をご覧ください。

**※本説明書はSRS以外の場合で説明していますが、SRS用の場合も取付け方法は同じです。**

### 1 下枠の幅木ガイドの取外し

●幅木ガイドの内側のツメ（2カ所）を細いマイナスドライバーなどで浮かせて上に抜いてください。

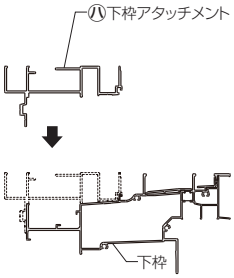


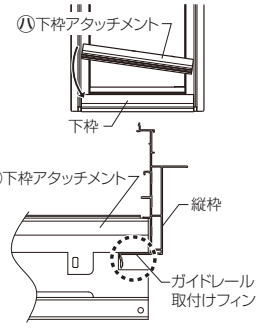




### 2 下枠アタッチメントの取付け

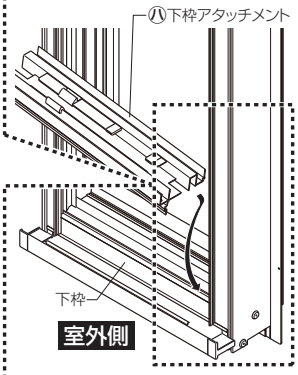
●㋑下枠アタッチメントを斜めに傾け、一方の端の切欠きを縦枠のガイドレール取付けフィンに合わせて、下枠の網戸レールに引っ掛けるように下枠にセットしてください。
※先に㋑下枠アタッチメントをねじで固定してしまうと、㋒排水ピースが取付かなくなる場合がありますので、㋑下枠アタッチメントの固定は㋒排水ピースの取付け後、行ってください。

#### ■断面図

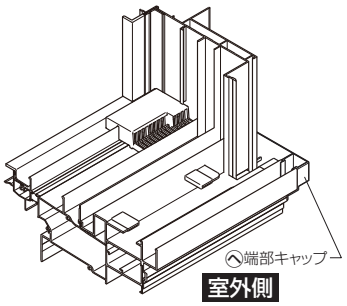


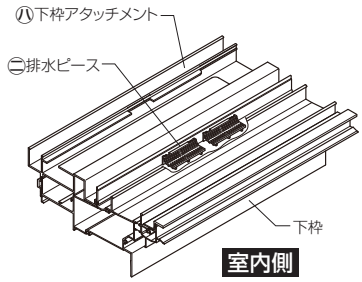

※ガイドレール取付けフィンと下枠アタッチメントの切欠き部を合わせてください。



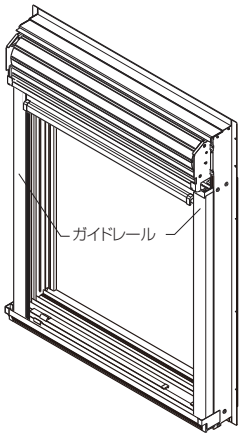
### 3端部キャップの取付け




### 4排水ピースの取付け

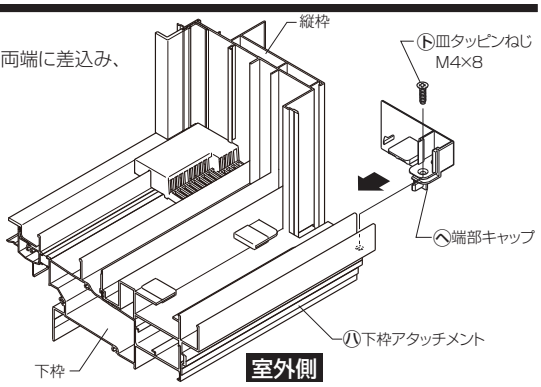



### 5ガイドレールの取付け




### 3端部キャップの取付け

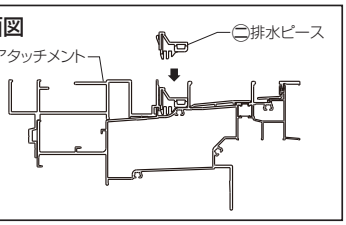
●㋓端部キャップを㋑下枠アタッチメントの両端に差込み、㋔皿タッピンねじで固定してください。

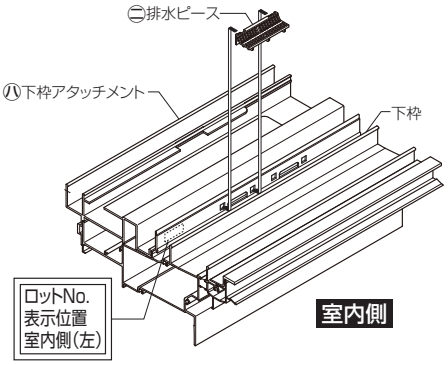



### 4排水ピースの取付け

①㋒排水ピースを㋑下枠アタッチメントの穴位置に合わせて垂直に押込み取付けてください。

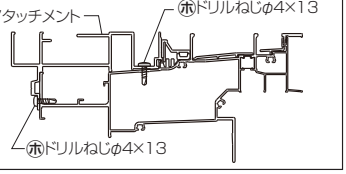
■断面図




②㋑下枠アタッチメントを同梱の㋖ドリルねじで固定してください。

■断面図

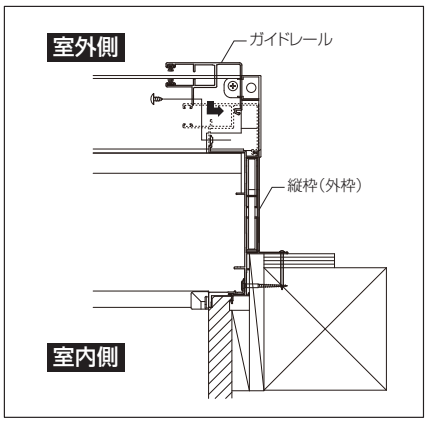



### 5ガイドレールの取付け

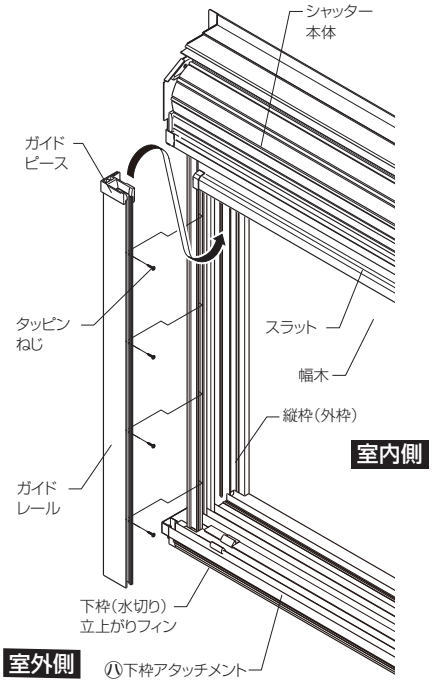
①幅木を引下げて、ガイドレールの上端（ガイドピース）に幅木を引込んでください。そのままガイドレールの上端を本体内へ挿入し、ガイドレールの下端が下枠（水切り）立ち上がりフィンをこえるように内側へ入れてください。

②ガイドレールをスライドさせて、縦枠（外枠）にはめ込み、タッピンねじで固定してください。

※取付け完了後、開閉作動チェックをしてください。引っ掛かりなどの支障がある場合は、**「6スラットの横ズレの確認」**を行ってください。




お願い
※ねじ山がつぶれるおそれがありますので、インパクトドライバーなどは使用しないでください。



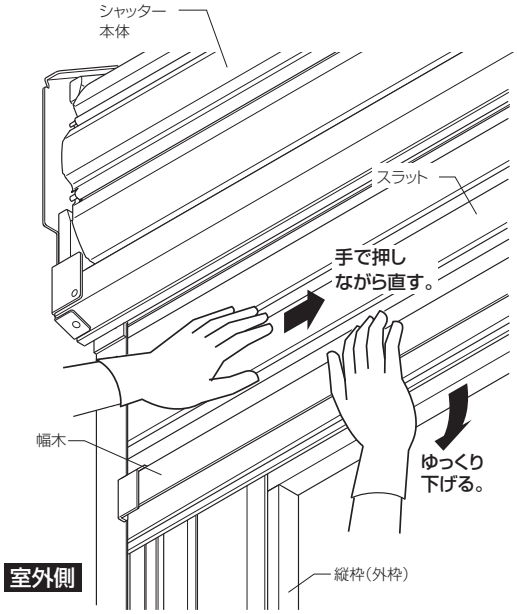
## 6スラットの横ズレの確認

①幅木の中央を持ち、開口の1／3程度までスラットをゆっくり下げてください。
※横ズレがある場合は、スラットを手で押しながら直してください。

**⚠注　意**

●スラットの横ズレを直す場合は、手袋をしてください。

※縦枠（外枠）・本体にスラットが引っ掛からないようにしてください。
※幅木が本体の中に巻込まれないようにしてください。
②スラットをゆっくり上げてください。

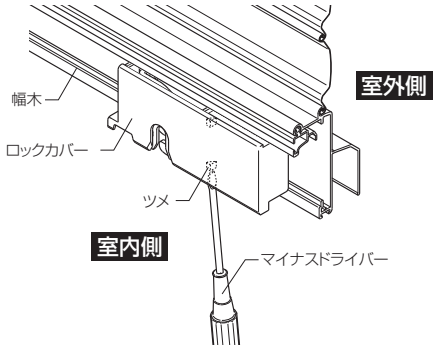


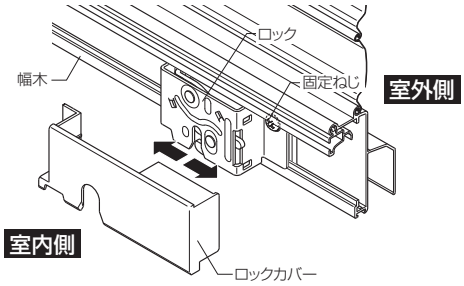

## 7ロック位置の調整と確認

【手動タイプ】

①幅木に付いているロックの下からマイナスドライバーなどを差込んでツメを外し、ロックカバーを取外してください。

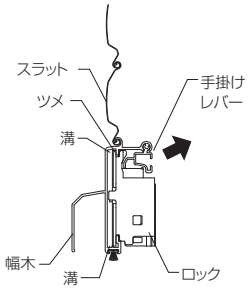
②ロックの固定ねじをゆるめてください。
③幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠（水切り）のロック受けの位置へスライドさせて合わせ、仮止めしてください。
④数回ロックの施・解錠をくり返し、かかりと作動を確認してください。
⑤ロックの固定ねじを締付け、ロックカバーを正面から押込んでください。



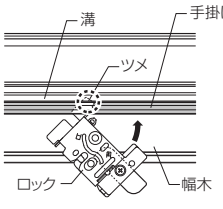




### ■ロックの取付け方法

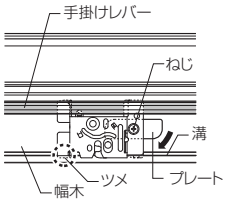
※ロックの位置を変更する際、ロックが幅木から外れた場合は、下記の手順で取付け直してください。



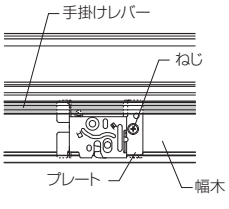

①手掛けレバーを持ち上げ、ロックを傾けてツメを幅木の溝に入れてください。




②下のツメを溝に入れ、ロックを水平に起こして取付け位置までスライドさせてください。

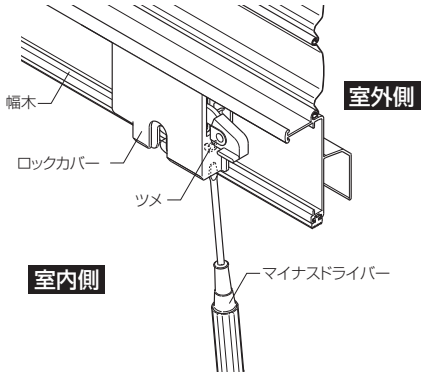



③プレートを右に回し、縦にしてねじを固定してください。

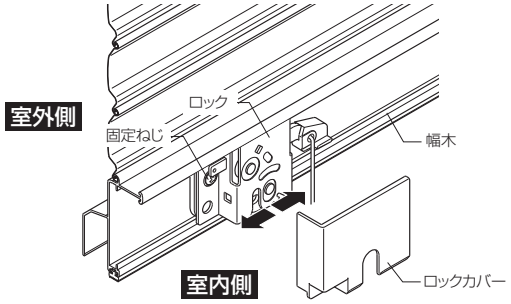


【PRSタイプ】

①幅木に付いているロックの下からマイナスドライバーなどを差込んでツメを外し、ロックカバーを取外してください。

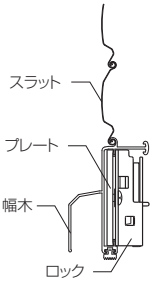



②ロックの固定ねじをゆるめてください。
③幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠（水切り）のロック受けの位置へスライドさせて合わせ、仮止めしてください。
④数回ロックの施･解錠をくり返し、かかりと作動を確認してください。
⑤ロックの固定ねじを締付け、ロックカバーを正面から押込んでください。

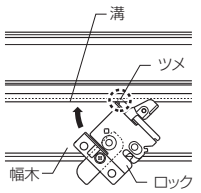



**■ロックの取付け方法**

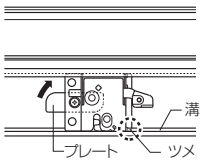
※ロックの位置を変更する際、ロックが幅木から外れた場合は、下記の手順で取付け直してください。



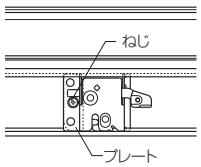

①ロックを傾けてツメを幅木の溝に入れてください。




②下のツメを溝に入れ、ロックを水平に起こして取付け位置までスライドさせてください。

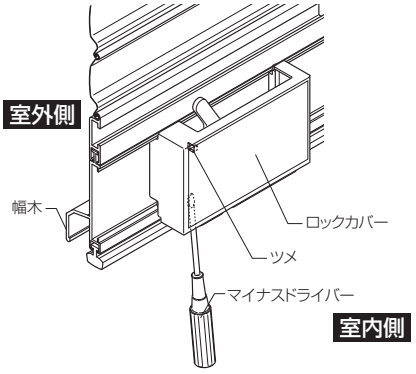



③プレートを右に回し、縦にしてねじを固定してください。

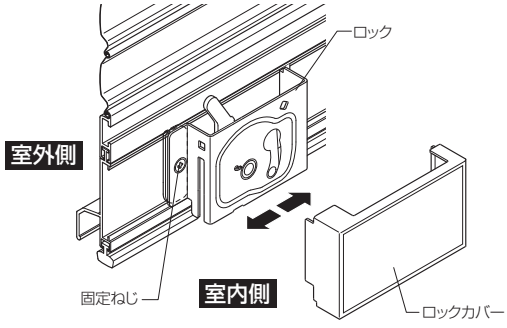



【SRSタイプ】

①幅木に付いているロックの下からマイナスドライバーなどを差込んでツメを外し、ロックカバーを取外してください。

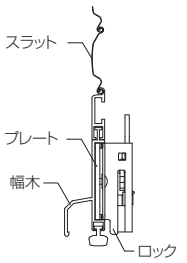



②ロックの固定ねじをゆるめてください。
③幅木を左右均等の位置にし、ロックを下枠（水切り）のロック受けの位置へスライドさせて合わせ、仮止めしてください。
④数回ロックの施･解錠をくり返し、かかりと作動を確認してください。
⑤ロックの固定ねじを締付け、ロックカバーを正面から押込んでください。

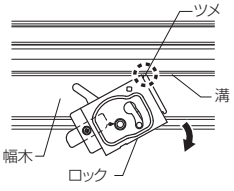



**■ロックの取付け方法**

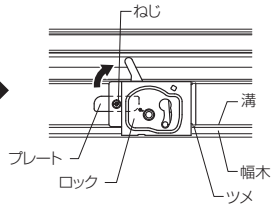
※ロックの位置を変更する際、ロックが幅木から外れた場合は、下記の手順で取付け直してください。



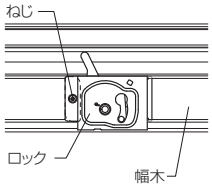

①ロックを傾けてツメを幅木の溝に入れてください。




②下のツメを溝に入れ、ロックを水平に起こして取付け位置までスライドさせてください。

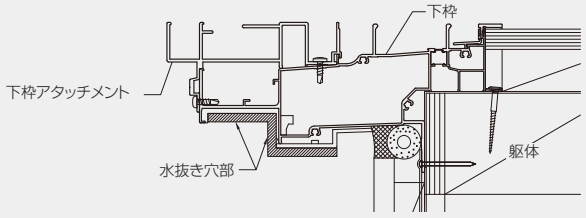



③プレートを右に回し、縦にしてねじを固定してください。



**⚠注　意**

●斜線部はモルタルなどで絶対にふさがないでください。
漏水の原因になるおそれがあります。



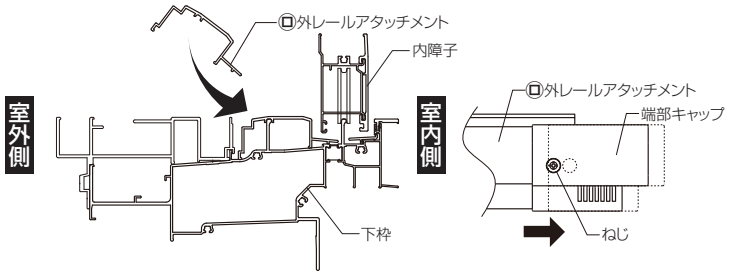

**8障子の建込み**

●障子を建込み、建付け調整をしてください。

**9レールアタッチメントの取付け**

**1外レールアタッチメントの取付け**

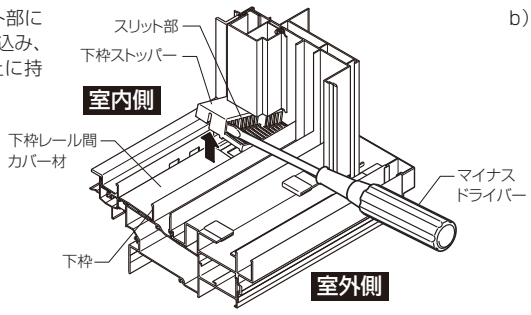
①外障子を閉めた状態で㋺外レールアタッチメントを内障子の下にもぐり込ませるようにして取付けてください。
②㋺外レールアタッチメントの両端部に付いている部品のねじをゆるめて、2枚建ての場合は召合せと縦枠の間、4枚建ては召合せ間で外障子が動かないように調節して固定してください。
※外レールアタッチメント取付け後は、外障子はあけることができません。



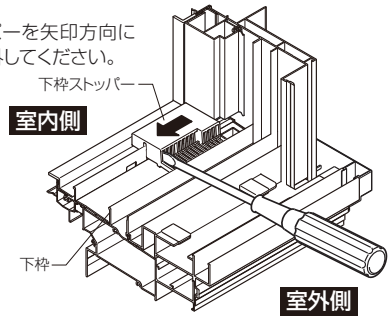

**2内レールアタッチメントの取付け**

①下レール間カバー材がある場合は、以下a)～d)の手順で、下レール間カバー材を外してから内レールアタッチメントを取付けしてください。
※下レール間カバー材がない場合は「②」に進んでください。

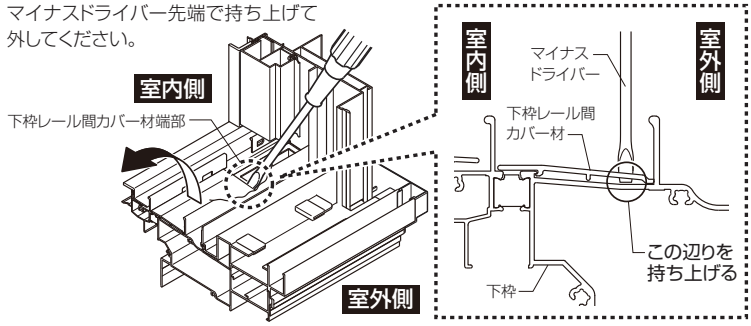
a)下枠ストッパーのスリット部にマイナスドライバーを差込み、下枠ストッパーを少し上に持ち上げてください。



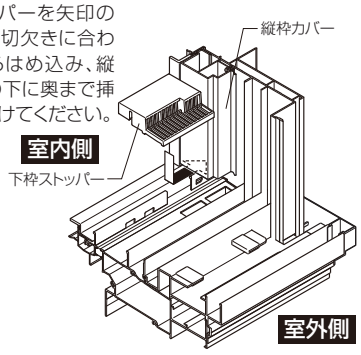

b)下枠ストッパーを矢印方向に引き出して外してください。



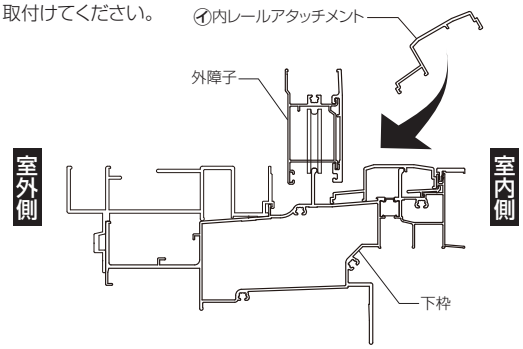

c)下枠レール間カバー材端部の室外側をマイナスドライバー先端で持ち上げて外してください。



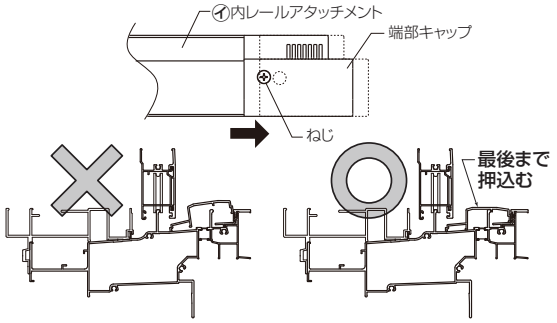

d)下枠ストッパーを矢印のように下枠切欠きに合わせて上からはめ込み、縦枠カバーの下に奥まで挿入して取付けてください。




②内障子を閉めた状態で㋑内レールアタッチメントを外障子の下にもぐり込ませるようにして取付けてください。このとき、必ず最後まで押込んで取付けてください。




③㋑内レールアタッチメントの両端部に付いている部品のねじをゆるめて、召合せを縦枠の間で内障子が動かないように調節して固定してください。
※内レールアタッチメント取付け後は内障子はあけることができません。



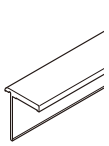
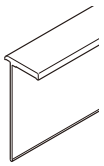
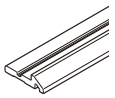
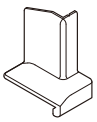
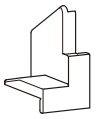
# 有償品　204下枠アタッチメント

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願い

●L型アタッチメントを使用の場合は、床と下枠との間に1mmのクリアランスをあけておいてください。
●樹脂は、割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂部材をねじ止めする際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
●アングルコーナーピースは、内装仕上げ後、取付けてください。
●取付け前は、樹脂が熱により変形するおそれがありますので、直射日光に当てた状態で放置しないでください。

## ■部材・部品一覧表

| 名称 | | L型アタッチメント 掃出し・単純段差用アタッチメント | L型アタッチメント 和室用アタッチメント | 単純段差24mm用スペーサー | 皿木ねじ φ3.1×20 | アングルコーナーピース ※内装仕上げ後、取付けてください。【ねじレスショートアングル用】 | アングルコーナーピース ※内装仕上げ後、取付けてください。【ねじ付アングル用】 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿　図 | |  |  |  | |  |  |
| 引違い | 掃出し用／単純段差27mm ～用 | ● | | | ● | ● | ● |
| | 単純段差24mm用 | ● | | ● | ● | ● | ● |
| | 和室用 | | ● | | ● | ● | ● |
| FIX／ドア | 単純段差用27mm ～用 | ● | | | ● | ● | ● |
| | 単純段差24mm用 | ● | | ● | ● | ● | ● |

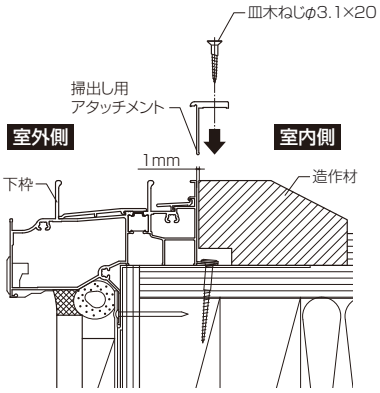
## ■取付け順序

**■L型アタッチメントを使用の場合…床又は敷居と下枠との間（1mmのクリアランス）に差込みます。**

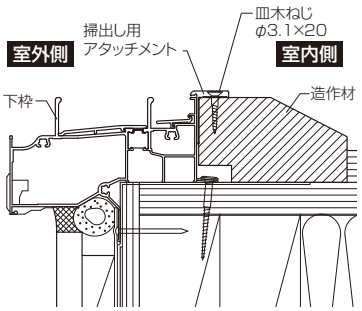
**【引違い：掃出し・単純段差用・和室用、FIX／ドア：単純段差用の場合】**

### ❶アタッチメントの取付け

①アタッチメントを、上から下枠と床又は造作材の間に差込み、縦枠アングルとのすき間が左右均等になるように位置を合わせます。
※下枠と床又は造作材の間に 1mm のクリアランスをあけてください。クリアランスが大きい場合は波打ちの原因になります。
②皿木ねじで額縁に固定します。




※図は掃出し用アタッチメントの場合を例で示します。




### ❷アングルコーナーピースの取付け

（アングルコーナーピースは、内装仕上げ後、取付けてください。）
①アングルコーナーピースの取付けは、【アングルコーナーピース取付け説明書】（アングルコーナーピースに同梱）にしたがって取付けを行ってください。

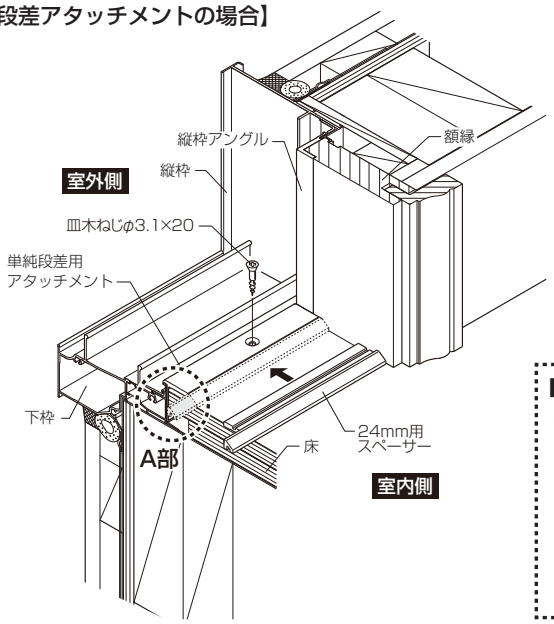
**【引違い／FIX／ドア：床厚24mm用単純段差アタッチメントの場合】**

### ❶アタッチメント・スペーサーの取付け

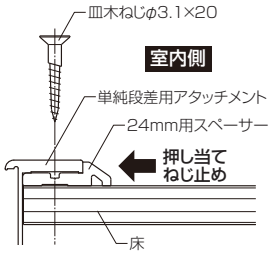
①単純段差アタッチメントを、上から下枠と床の間に差込み、縦枠アングルとのすき間が左右均等になるように位置を合わせます。
※下枠と床の間に 1mm のクリアランスをあけてください。クリアランスが大きい場合は波打ちの原因になります。
②床と単純段差アタッチメントの間に24mmスペーサー（同梱）を差込み、皿木ねじで床に固定してください。

### ❷アングルコーナーピースの取付け

（アングルコーナーピースは、内装仕上げ後、取付けてください。）
①アングルコーナーピースの取付けは、【アングルコーナーピース取付け説明書】（アングルコーナーピースに同梱）にしたがって取付けを行ってください。

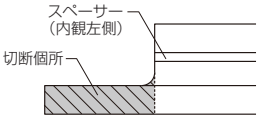



**■取付け詳細図**




**■A部詳細図**

※額縁と干渉する部分は、額縁内々に合わせて切断します。



# 有償品　枠付水切り

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。取付け後は、サッシまわりのシーリングをされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

●両面テープが十分に接着されず水切りが外れるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・サッシ下枠の両面テープ張付け面は清掃して油分や汚れを取除いてください。
・両面テープは張付け後、下枠に強く押付けて圧着してください。
・両面テープの保持力が発揮されるまでは24時間かかります。それまでは水切りに過剰な力がかからないように注意してください。
●漏水の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
・指定のねじを使用してください。
・ねじは1.5±0.5N・m{15±5kgf・ｃm}のトルクで締めてください。ねじがきかなくなるおそれがあります。ねじがきかない場合は、ねじを外して、元穴から位置をずらして再度ねじ止めし直します。空いた穴はシーリング材を充てん後、ブチルテープ(別途)にて穴をふさいでください。
・下枠ブラケットがつく場合、または連窓タイプの場合には、水切りの切欠き部に必ずコーキング材を充てんしてください。

## ■部品一覧表

| 姿図 | 皿木ねじφ3.1×32 | ボンデットワッシャー M4 用 | 特平ドリル小ねじ M4 × 18.5 |
|---|---|---|---|
| 取付け品種 | 全て | 引違い窓 | |

※皿木ねじはサッシ下枠を躯体に固定するためのねじです。必ずサッシを取付けされる方にお渡しください。
※サイズによりねじが余る場合があります。

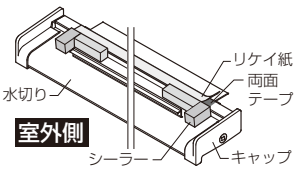
## ■取付け順序

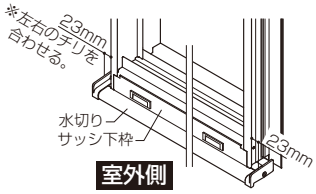
### ❶水切りの取付け

①サッシ下枠の両面テープ張付け面の油分・汚れを取除きます。

**【引違い窓の場合】**

②両面テープのリケイ紙をはがし、水切りをサッシ下枠に押し当て、左右のチリをあわせながら水切りを回転させて両面テープを下枠に張付けます。
※張付け後、水切りを下枠に押付けて圧着してください。

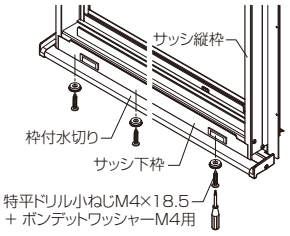



③枠付水切りをサッシ下枠に押さえつけながら穴に合わせてねじ止めをしてください。

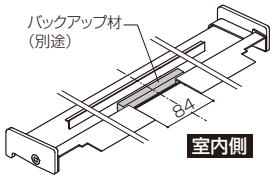
**⚠注 意**

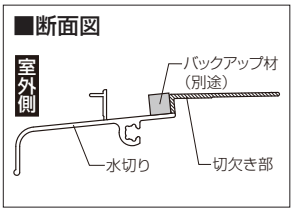
●ねじは1.5±0.5N・m{15±5kgf・ｃm}のトルクで締めてください。ねじがきかなくなるおそれがあります。ねじがきかない場合は、ねじを外して、元穴から位置をずらして再度ねじ止めし直します。空いた穴はシーリング材を充てん後、ブチルテープ(別途)にて穴をふさいでください。



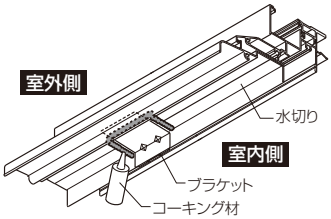

**【サーモスⅡH・サーモスX　W≧3001　テラスの場合】**

②下枠ブラケットの位置にあわせて水切りを切欠き(切欠き幅84㎜)、バックアップ材(別途)を取付けます。



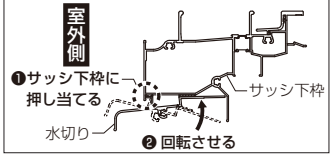

③水切り取付け後に水切りの切欠き部にコーキング材を充てんします。



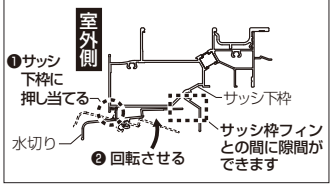

**⚠注 意**

●水切りの切欠き部に必ずコーキング材を充てんしてください。

### ■断面図（サーモスⅡH/S）




### ■断面図（サーモスX）

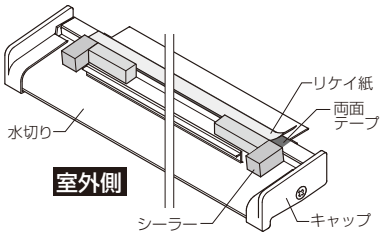


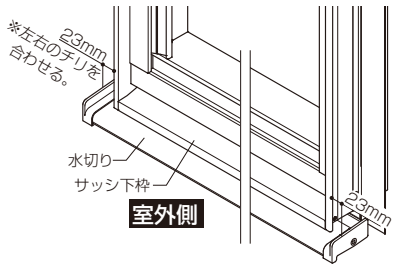

### ■サッシ下側から見た図

【装飾窓の場合】

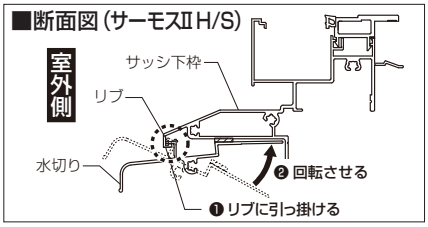
②両面テープのリケイ紙をはがし、水切りをサッシ下枠のリブに引っ掛け、左右のチリをあわせながら水切りを回転させて両面テープを下枠に張付けます。

※張付け後、水切りを下枠に押付けて圧着してください。

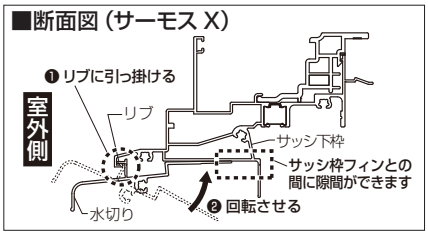



■断面図（サーモスⅡH/S）

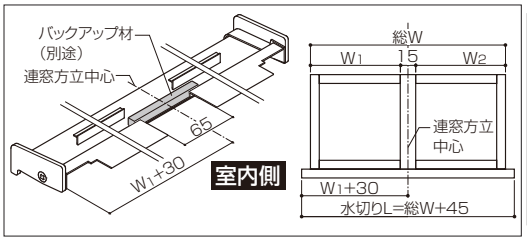



■断面図（サーモス X）

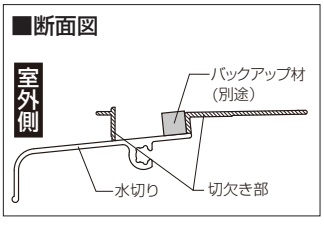



【装飾窓 連窓タイプの場合】※サーモスXユニット連窓は除きます。

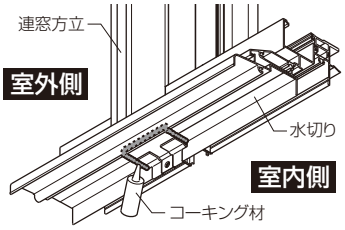
①連窓方立の位置にあわせて水切りを切欠き、バックアップ材（別途）張付けます。




■断面図




②水切り取付け後に水切りの切欠き部にコーキング材を充てんします。



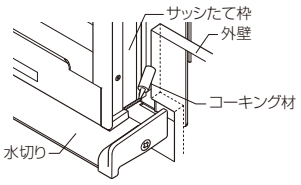

**⚠注 意**

●水切りの切欠き部に必ずコーキング材を充てんしてください。

## ■シーリングをされる方へ

※水切り端部は接着性を高めるために必ずプライマー処理をしてからシーリングしてください。

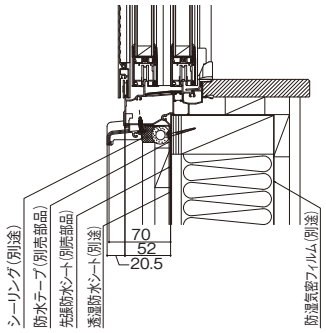
※外壁厚が22mm以下の場合は、右図のようにサッシたて枠と水切りの間にコーキング材を充てんしてください。



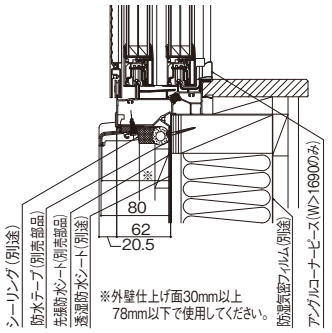

## ■参考納まり図

### ■引違い窓用

●縦断面図（サーモスⅡH/S）

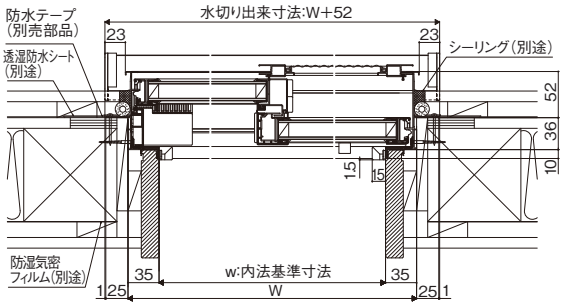



●縦断面図（サーモス X）



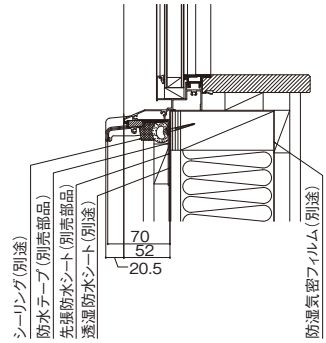

●横断面図（サーモスⅡH/S）

※サーモスXの水切り出来寸法はサーモスⅡH/Sと同じです。

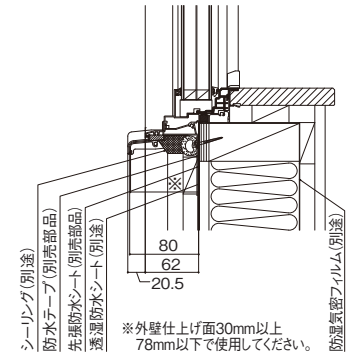



### ■装飾窓用

●縦断面図（サーモスⅡH/S）

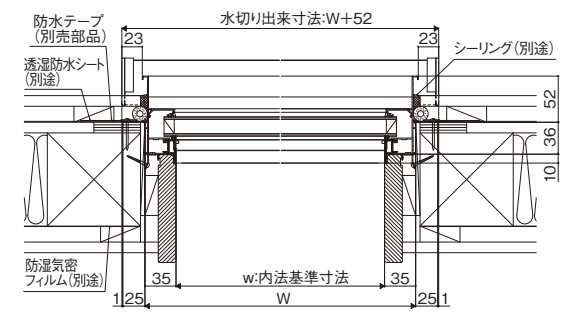



●縦断面図（サーモス X）




●横断面図（サーモスⅡH/S）

※サーモスXの水切り出来寸法はサーモスⅡH/Sと同じです。



# 有償品　小開口アーム(縦すべり出し窓オペレーター用)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

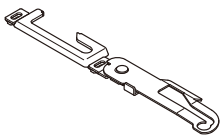
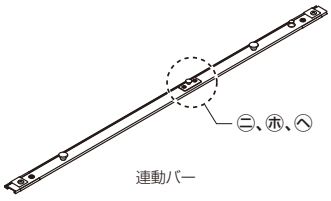
**⚠注 意**

●アーム・アーム受け取付けねじは2.0±0.5N·m{20±5kgf·cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

●アームを室内側に傾けて取付けないでください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。
●アーム受けには取付け向きがあります。正しい向きに取付けてください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。
●取外したロック受けスペーサー、外れ止めピース、外れ止めピース取付けねじは再度使用しますので紛失しないようにしてください。
●連動バーにアーム受け取付け用の穴加工をする際は、キズを付けたり、変形させたりしないよう注意してください。
●取付け後、必ず小開口状態、全開状態になることを確認してください。

## ■部品・ねじ一覧表

| | | 全仕様共通 | | | 連動バーが同梱されていない場合 | | | 連動バーが同梱されている場合 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記　号 | | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ |
| 姿　図 | |  | | | | | |  |
| | | アーム | トラス小ねじ | 操作説明ラベル | アーム受け | 裏板 | 皿小ねじ 緩み止め付き | 連動バー |
| 商品コード | Z-01 L/R - BXSF | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | − |
| | Z-11～Z14 L/R - BXSF | 1 | 2 | 1 | − | − | − | 1 |

※㋣連動バー（㋥アーム受け・㋭裏板・㋬皿小ねじ組付け済み）は商品コードによって同梱されている場合とされていない場合があります。
※連動バーが同梱されていない場合は、サッシ縦枠に取付いている連動バーを使用しますが、アーム受け取付け穴の有無によって取付け手順が異なりますので連動バーの仕様を確認してから作業を進めてください。

## ■取付け順序

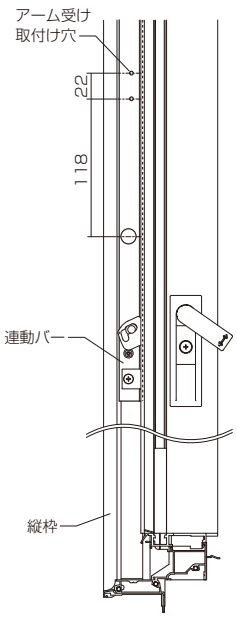
### 1 連動バーの確認

#### ■連動バーが同梱されていない場合

●サッシ縦枠に取付いている連動バーの仕様を確認してください。
※連動バーの右図の位置にアーム受け取付け穴(2個)があいている場合は手順5の作業を行う必要はありません。

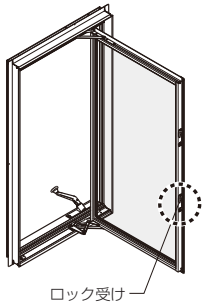
#### ■連動バーが同梱されている場合

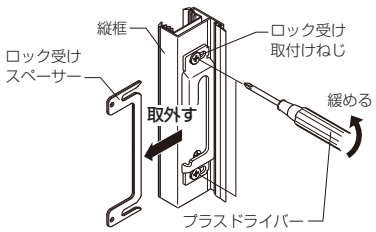
●同梱されている連動バーにはアーム受けが取付けてあります。手順5と6の作業を行う必要はありません。

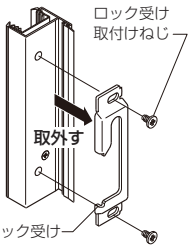



### 2 ロック受け(下部側)の取外し

①縦框下部側のロック受けのロック受け取付けねじを緩めロック受けスペーサーを取外してください。
※サッシ出荷時はロック受けスペーサーが2枚取付けされていますが、現場によっては1枚もしくはついていない場合もあります。
※ねじを緩めすぎるとねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。
②ねじを取外し、ロック受けを取外してください。



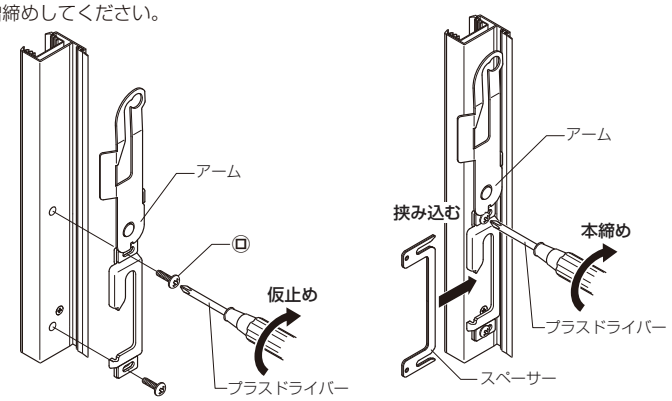



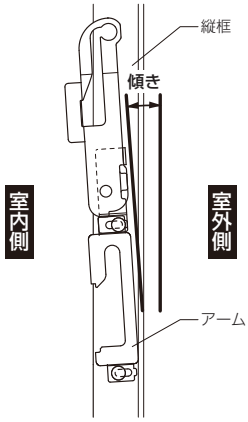

**お願い**
※取外したロック受けスペーサーは再度使用しますので紛失しないようにしてください。

## 3 アームの取付け

①アームを㊐トラス小ねじで仮止めして取付けてください。
②ロック受けを外した時に取外したロック受けスペーサーを挟み込み、ねじを本締めしてください。
最後に増締めしてください。

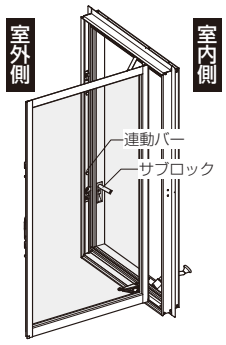



**お願い**
※アームを室内側に傾けて取付けないでください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

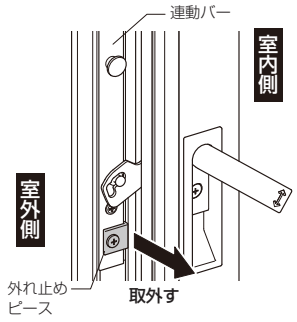



**⚠注 意**
●アーム・アーム受け取付けねじは2.0±0.5N·m{20±5kgf·cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

## 4 連動バーの取外し

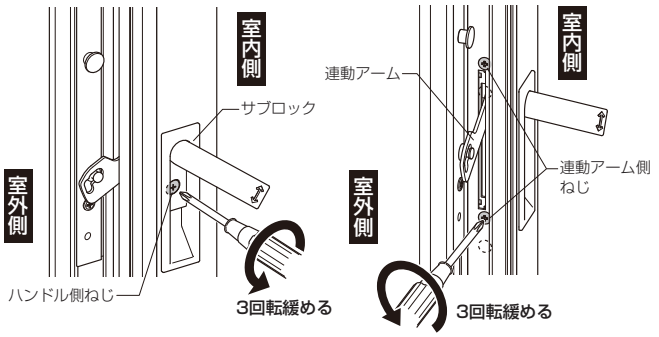



①連動バー上下2個所の外れ止めピースを取外します。

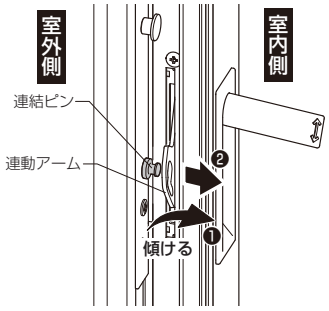



**お願い**
※取外した外れ止めピース、外れ止めピース取付けねじは再度使用しますので紛失しないようにしてください。

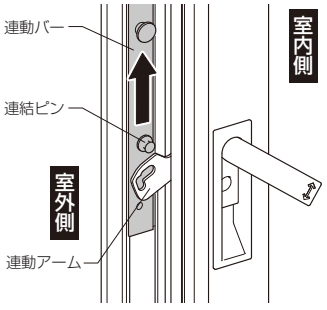
②サブロックのハンドル側1個所、連動アーム側のねじ2個所を3回転緩めてください。
（ねじを緩めることによりサブロックの連動アームを左右に傾けることができ、連動バーが外れやすくなります。）



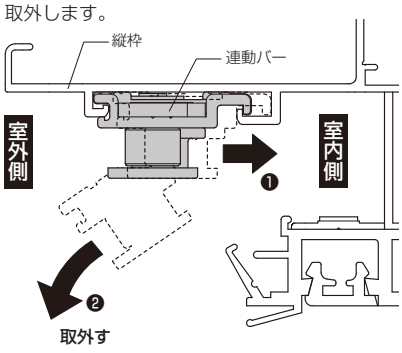

③サブロックの連動アームを傾けて連動バーの連結ピンから外します。




④連動バーを上にずらし、連動バーの連結ピンが連動アームより上になるようにします。

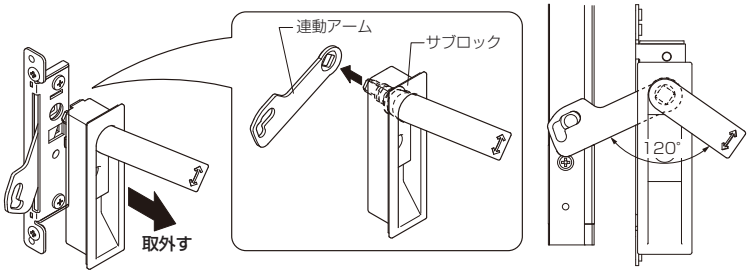



⑤連動バーを室内側に寄せてから傾けて縦枠から取外します。




### ■縦枠から連動バーが外れにくい場合

※サッシH 700mm～750mmはねじを緩めただけでは縦枠から連動バーが外れにくい場合があります。
①サブロックのハンドル側ねじを完全に取外し、サブロックを取外してから外してください。
②サブロックをもとに戻す時はハンドルと連動アームを右図の位置（組込み角度）で取付けてください。
※組込み角度を間違うとハンドルが収納できません。



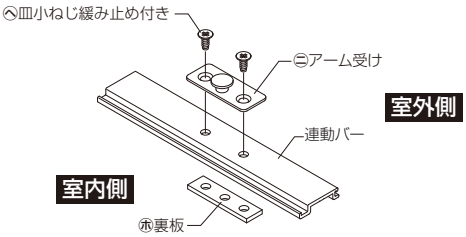
## 5 連動バーの加工

※本作業は連動バーが同梱されている場合と、サッシ縦枠に取付いている連動バーにアーム受け取付け用の穴加工がされている場合は作業を行う必要はありません。
①本取付け説明書の最後に型紙があります。型紙を切取り、連動バーの裏面に型紙を合わせてφ5貫通穴を2カ所あけてください。
※加工穴にバリがあるとアーム受けが取付けられませんので、バリをヤスリなどできれいに処理してください。

**お願い**
※連動バーにアーム受け取付け用の穴加工をする際は、キズを付けたり、変形させたりしないよう注意してください。

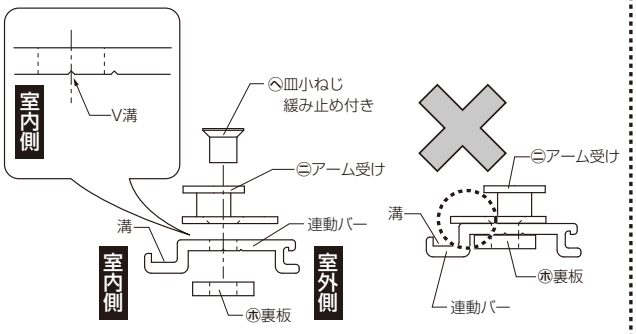
## 6 アーム受けの取付け

※本作業は連動バーが同梱されている場合は作業を行う必要はありません。
①アーム受けを連動バーに㋑皿小ねじ緩み止め付きで取付けてください。




**⚠注 意**
●アーム・アーム受け取付けねじは2.0±0.5N·m {20±5kgf·cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

**お願い**
※アーム受けには取付け向きがあります。正しい向きに取付けてください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。
※連動バーの溝側にアーム受けがはみださないように取付けてください。




※連動バーの溝側にアーム受けがはみださないように取付けてください。

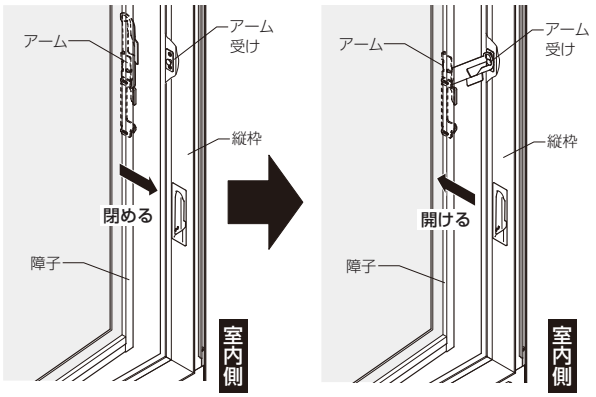
## 7 連動バーの取付け

●縦枠に連動バーを「**4 連動バーの取外し**」と逆の手順で取付けます。
※連動バーが同梱されている場合は、連動バーの上下2個所の外れ止めピースを一度取外してから作業をしてください。

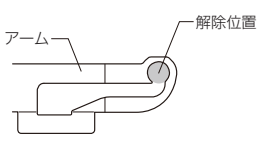
## 8 障子の開閉確認

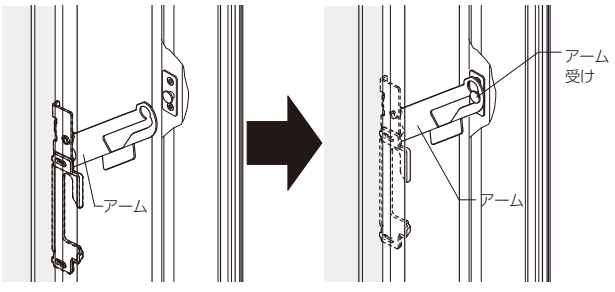
**お願い**
※取付け後、必ず小開口状態、全開状態になることを確認してください。

①小開口状態の確認
●障子を閉めると自動的に小開口状態になります。再度障子をあけて、小開口状態になっているか確認してください。
●障子を閉めた状態でサブロック操作ができることを確認してください。




②全開状態の確認
●アームを解除位置にてアーム受けから抜き、障子を90°まであけることができるか確認してください。（障子を閉めると再び小開口状態に戻ります。）

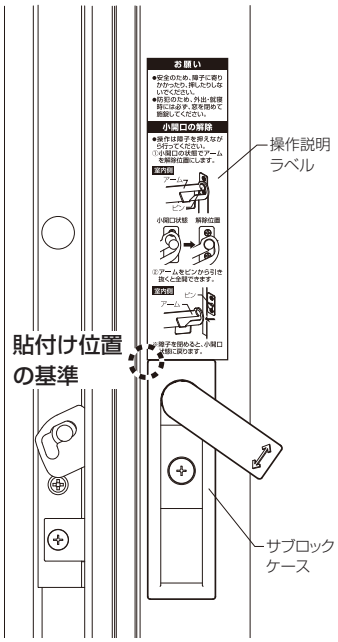



※障子が閉まらない場合、サブロックの操作が重い場合、小開口状態にならない場合は、障子の建付け調整、アームとロック受けの調整、ロック受けスペーサーの調整を行ってください。

## 9 操作説明ラベルの貼付け

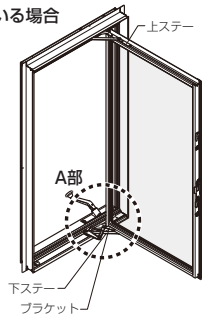
●下図のようにサブロックケースを貼付け位置の基準にして操作説明ラベルを貼付けてください。



## ■障子の建付け調整

### ■障子の戸先が下がっている場合

●上·下ステーと下桟のブラケットで調整してください。




### ●上下ステーの調整

※上·下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、図1のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度緩めて調整します。

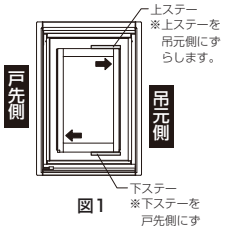



図1

### ●ブラケットの調整

※下のステーの位置を調整したら必ず、図2のようにブラケットの調整をしてください。
下ステーを移動したのと同じだけブラケットを吊元側に動かしてください。
（下ステーの位置を調整しない場合は、ブラケットの調整も不要です）
（ブラケットは出荷時は長穴の中心で固定されています。）
※ブラケットの固定ねじを一度緩めて調整します。

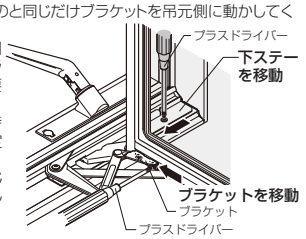
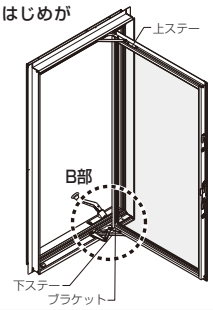



図2（A部詳細図）

### ■ハンドルでの障子開けはじめが重い場合

●上·下ステーと下桟のブラケットで調整してください。




### ●上下ステーの調整

※上·下のステーの固定穴は長穴になっています。ハンドルでの障子開けはじめが重い場合は、図3のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度緩めて調整します。

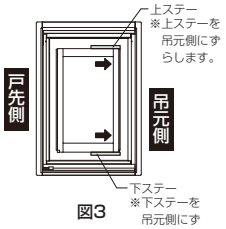



図3

### ●ブラケットの調整

※下のステーの位置を調整したら必ず、図4のようにブラケットの調整をしてください。下ステーを移動したのと同じだけブラケットを戸先側に動かしてください。
（下ステーの位置を調整しない場合は、ブラケットの調整も不要です）
（ブラケットは出荷時は長穴の中心で固定されています。）
※ブラケットの固定ねじを一度緩めて調整します。

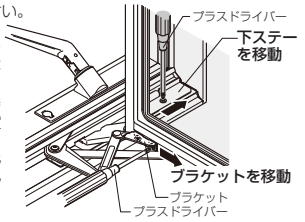
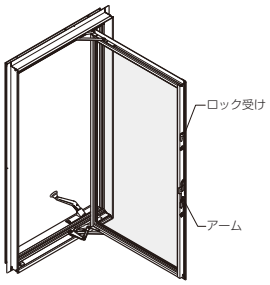



図4（B部詳細図）

### ■サブロックの操作が重い場合

●アームとロック受けの位置調整またはロック受けスペーサーの高さ調整をしてください。

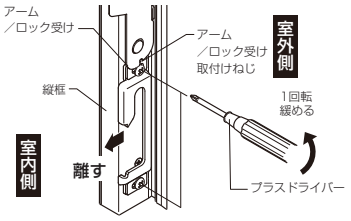
※詳細イラストはサーモスにアームを取付けた状態を表示していますが、ロック受けの場合や防火戸FGも同様です。



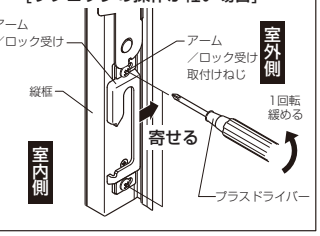

### ●アームとロック受けの位置調整

※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でアームとロック受けを調整してください。
※アームまたはロック受け取付けねじを緩め（上下1回転）、位置を調整してください。
※ねじを緩めすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[サブロックの操作が重い場合]

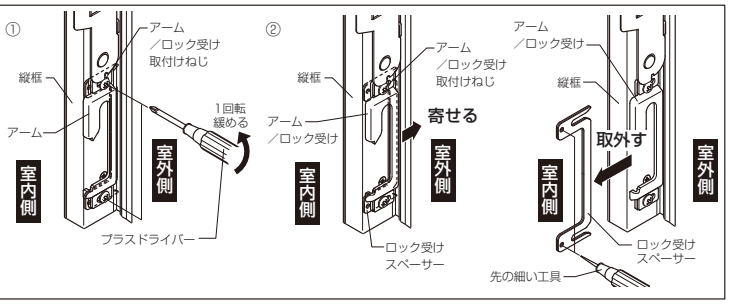



[サブロックの操作が軽い場合]




### ●ロック受けスペーサーの高さ調整

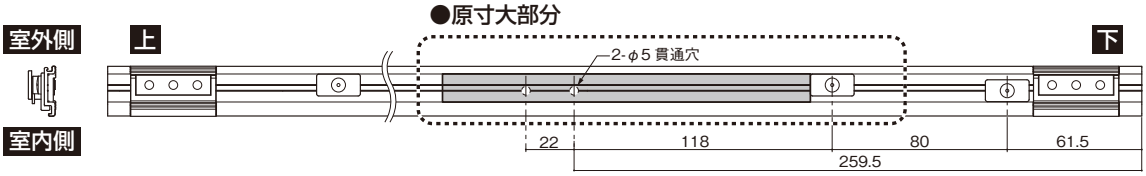
※サッシ出荷時はロック受けスペーサーが2枚取付けされていますが、現場によっては1枚もしくはついていない場合もあります。
①アームまたはロック受け取付けねじを緩めます。（上下1回転）
※ねじを緩めすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。
②アームまたはロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
※取外しにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。（サーモスの場合のみ）
※スペーサーを1枚取外すと0.75mm、2枚外すと1.5mm、アームまたはロック受けが縦框側に寄ります。（防火戸FGの場合は1枚0.5mm）
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でアームとロック受けを調整してください。
※①～③の作業を全てのアームとロック受けで行ってください。



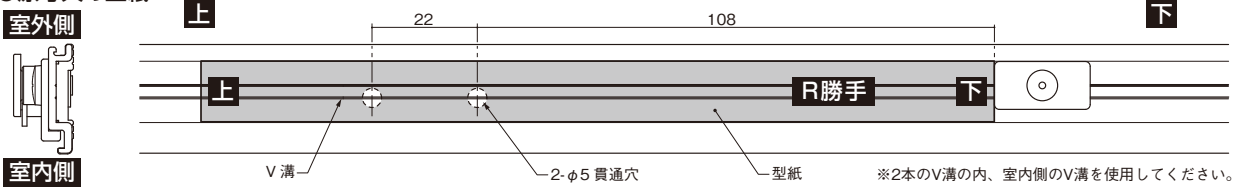

## ■位置決め紙

※原寸大の型紙を切取り、連動バーの裏面に型紙を合わせて、φ5貫通穴を2カ所あけてください。
※下図はR勝手を示します。L勝手の場合は裏向きにして使用してください。

●原寸大部分




●原寸大の型紙




※2本のV溝の内、室内側のV溝を使用してください。

# 有償品　小開口アーム(縦すべり出し窓カムラッチ用)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 警 告**

●ステー取付けねじは障子の落下防止の為下記事項をお守りください。
・ステー取付けねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●アーム取付けねじは2.0±0.2N・m{20±2kgf・cm}、アーム受け取付けねじは1.7±0.3N・m{17±3kgf・cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になり、思わぬケガをするおそれがあります。
●枠が躯体に取付いている場合は、本製品を取付ける際、障子を取外すことになります。障子は最大25kgとなりますので、重量に見合った人数で作業してください。思わぬケガをするおそれがあります。

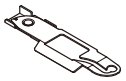
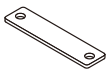
## ■取付け上のお願い

●取外した障子固定用のねじは再度使用しますので紛失しないようにしてください。
●取付け後、必ず小開口状態、全開状態になることを開閉を繰返し確認してください。
●取付けねじの締付けは手回しドライバーを使用し、電動工具を使用しないでください。
●必ず指定の取付けねじと取付け金具を使用してください。
●電動ドリル使用時は、必要のない所まで貫通しないようにご注意ください。
●ドリルにて、ねじの下穴加工をする際は、縦框、パッキンにキズを付けないよう注意してください。

## ■使用工具一覧

| ドライバー(+) | 電動ドリル |
|---|---|
| | |
| ドリル | 仮止め用テープ |
| φ3.5 | |

## ■部品・ねじ一覧表

| 記　号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿　図 |  | | | |  | |
| | アーム | アーム取付けねじ<br>バインド小ねじ | 操作説明ラベル | アーム受け | アーム取付け台座 | アームスペーサー<br>※1枚は調整用 |
| 商品コード　Z-01　L/R BXVH | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 |

## ■取付け順序

**1障子の取外し**

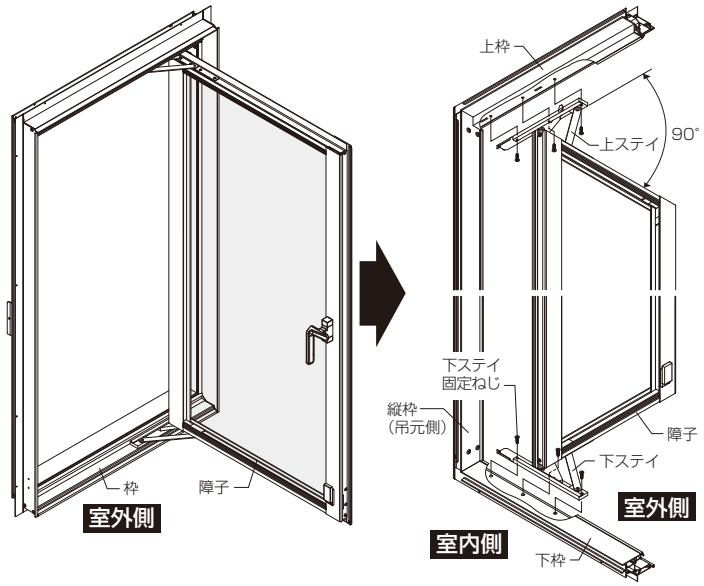
**⚠ 注 意**

●枠が躯体に取付いている場合は、本製品を取付ける際、障子を取外すことになります。障子は最大25kgとなりますので、重量に見合った人数で作業してください。思わぬケガをするおそれがあります。

※障子吊込み前の取付けの場合は、この作業は不要です。

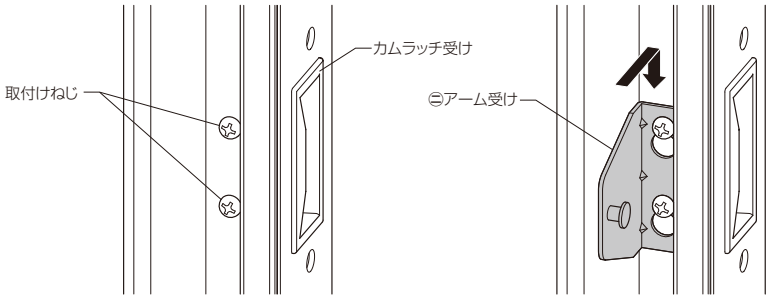
●障子を90°開きステイ固定ねじを外し、障子を枠から取外します。

**お願い**
※取外した障子固定用の“ねじ”は再度使用しますので、紛失しないようにしてください。



## ❷アーム受けの取付け

①カムラッチ受けの取付けねじをゆるめ（アーム受けの板厚分1.5mm程度）、㋑アーム受けを上からねじに引っかけます。
※ねじをゆるめすぎるとねじの落下、紛失につながります。
②ねじの頭で㋑アーム受けを挟み込んだことを確認し、ねじを本締めしてください。

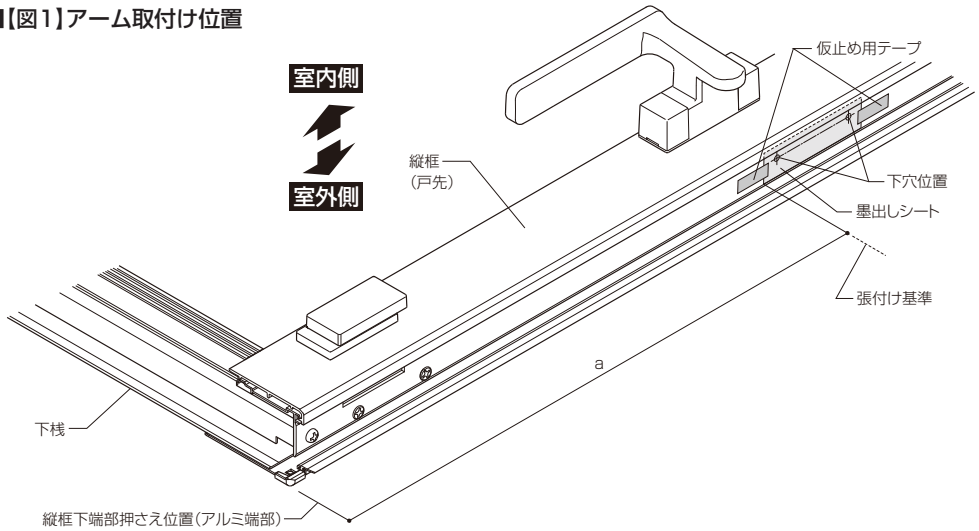



**▲ 注 意**
●アーム受け取付けねじは1.7±0.3N・m{17±3kgf・cm}のトルクで止めてください。部品の破損の原因になるおそれがあります。

## ❸アームの取付け

①本取付け説明書の最後に墨出しシートがあります。切り取って【図1】の位置で仮止めテープで仮止めしてください。サイズにより位置が異なります。【表1】を参照ください。
②下穴位置を墨出しした後、φ3.5のドリルで下穴を2カ所あけます。

■【図1】アーム取付け位置



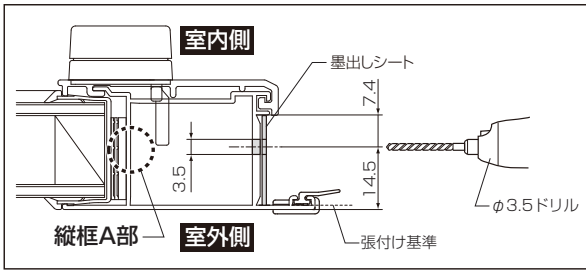

■【表1】

＜規格品の場合＞

| 呼称 | Hサイズ | a |
|---|---|---|
| 07 | 770 | 400 |
| 09 | 970 | 500 |
| 11 | 1170 | 600 |
| 13 | 1370 | 700 |
| 15 | 1570 | 800 |
| 18 | 1870 | 950 |
| 20 | 2070 | 1050 |
| 22 | 2270 | 1150 |

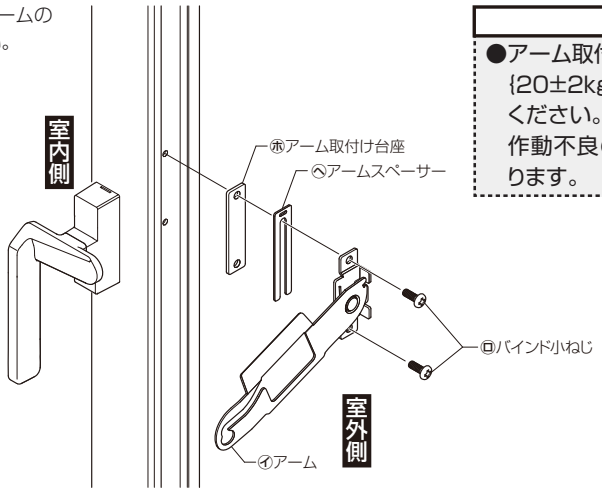
＜特注品の場合＞

| a |
|---|
| H/2+15 |




**お願い**
※ドリルにて、ねじの下穴加工をする際は、縦框、パッキンにキズをつけないよう注意してください。縦框A部にドリルで穴をあけないでください。

③㋥アーム取付け台座、㋭アームスペーサー、㋑アームの順で重ね、㋕バインド小ねじで取付けてください。




**▲ 注 意**
●アーム取付けねじは2.0±0.2N・m{20±2kgf・cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

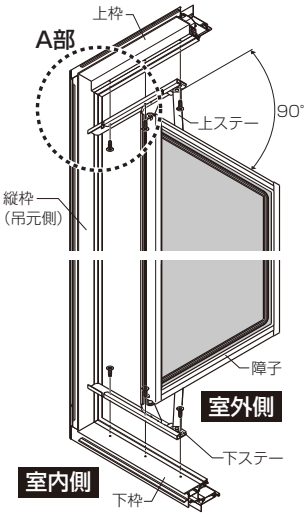
## 4障子の取付け

※連窓・段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。

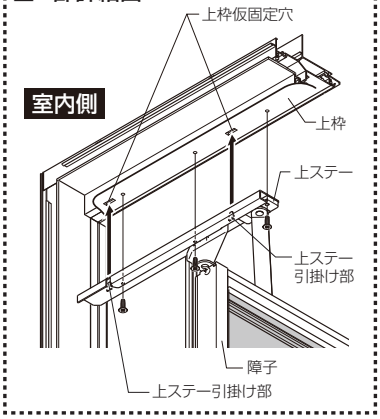
●1で取外した障子を再度取付けます。

①障子に付いている上･下ステーを引出し、90°に広げます。

②上ステーの引掛け部を上枠仮固定穴に差込みます。(2個所)




■A部詳細図



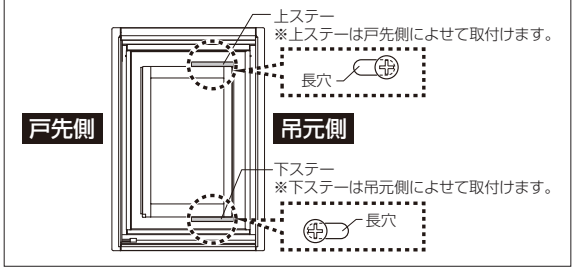

③下ステーを下枠にのせます。

④下ステーのねじを最初に取付けます。(障子が仮止めされます。)

⑤残ったねじをすべて固定します。

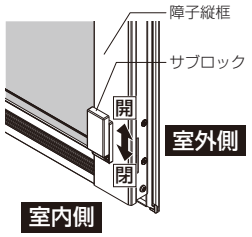
■障子の取付け位置

※上･下のステーの固定穴は長穴になっています。
障子の取付けの際は下図のように位置決めしてください。




■サブロックの開閉位置

※障子開閉の際は、サブロックを必ず開の状態にしてください。

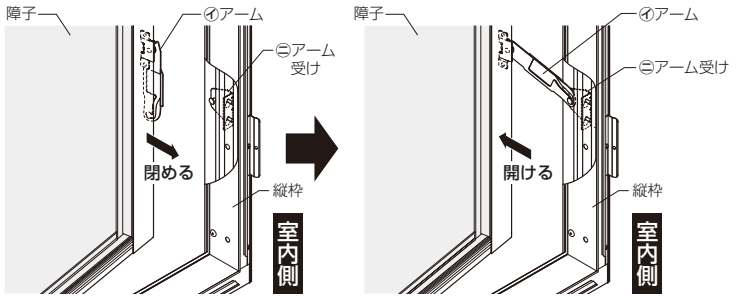



## 5障子の開閉確認

お願い
※取付け後、必ず小開口状態、全開状態になることを開閉を繰返し確認してください。

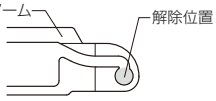
①小開口状態の確認

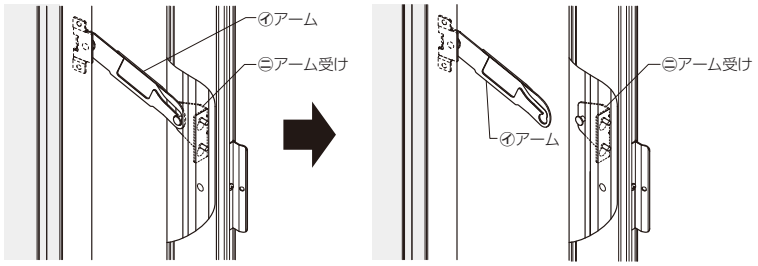
●障子を閉めると自動的に小開口状態になります。再度障子をあけて、小開口状態になっているか確認してください。




②全開状態の確認

●㋑アームを解除位置にて㋒アーム受けから抜き、障子を90°まであけることができるか確認してください。(障子を閉めると再び小開口状態に戻ります。)



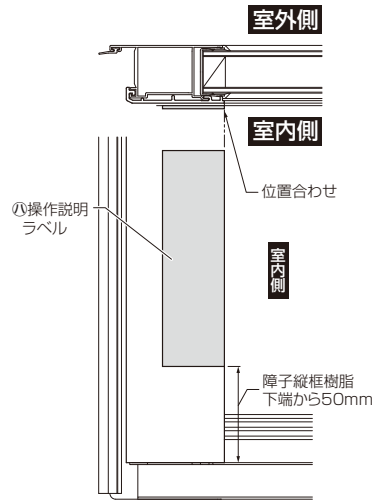




※障子が閉まらない場合、ハンドルの操作が重い場合、小開口状態にならない場合は、障子の建付け調整、アームスペーサーによる調整を行ってください。

※アームが受けに当たり逆に回転してしまう場合は、手で戻してから調整を行ってください。

## 6操作説明ラベルの張付け

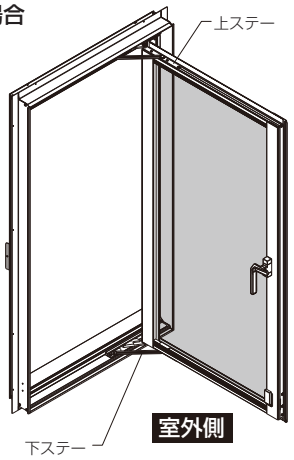
●㋐操作説明ラベルを障子吊元側縦框下部の室内側に張付けます。



## ■障子の建付け調整

### ■障子の戸先が下がっている場合

上・下ステーで調整してください。




●上下ステーの調整

※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、図1のようにステーの位置を調整してください。

※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。

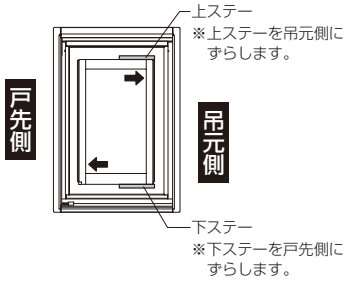



図1

### ■アームスペーサーの調整

※アームスペーサーは、通常１枚の設定です。

※アームが受けに当たり障子が閉まらない場合は、スペーサーを抜いてください。

※小開口状態にならない（アームがかからない）場合は、調整用スペーサー１枚を追加してください。

①アーム取付けねじをゆるめます。（上下半回転）

※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

②**[抜くとき]**

上部からアームスペーサーを引き抜きます。

※引抜きにくい場合は、先の細い工具でアームスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。（長穴に爪を引っかけると外しやすくなります。）

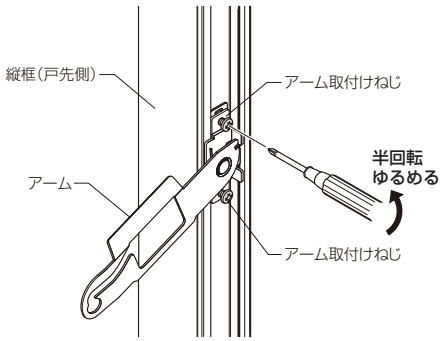
※アームスペーサーを1枚取外すと1mm、アームが縦框側に寄ります。

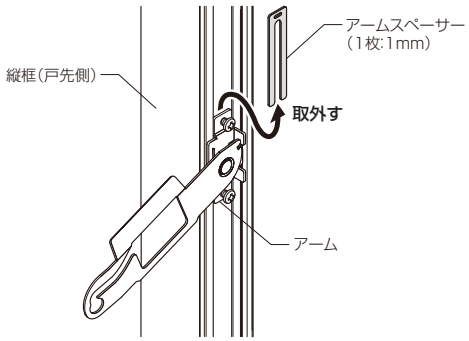
**[追加するとき]**

最初に1回転半ゆるめて上からまっすぐ差し込んでください。

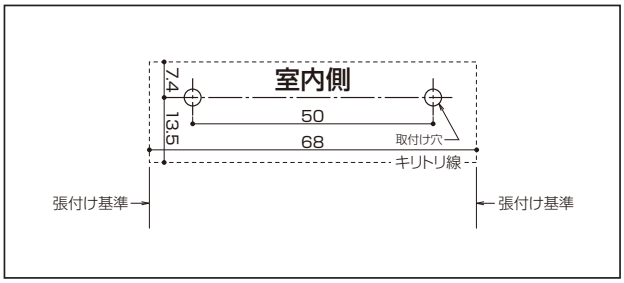
※アームスペーサーを1枚追加すると1mm、アームが縦枠側に寄ります。

③ゆるめたねじを元に戻してください。




### ◆墨出しシート



# 有償品　小開口アーム(縦すべり出し窓グレモン用)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

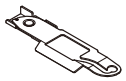
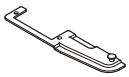
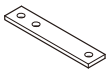
●アーム・アーム受け取付けねじは2.0+0.5N・m{20+5kgf・cm}、連結板取付けねじは3.0±0.5N・m{30±5kgf・cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

●取外したロック受け、ロック受けスペーサー、外れ止めピース、外れ止めピース取付けねじは再度使用しますので紛失しないようにしてください。

●取付け後、必ず小開口状態、全開状態になることを確認してください。

## ■部品・ねじ一覧表

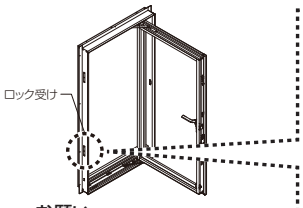
| 記 号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿 図 |  | | |  |  | | |
| | アーム | アーム取付けねじ<br>バインド小ねじM4×6<br>ゆるみ止め付き | 操作説明ラベル | アーム受け | アーム取付け裏板 | アーム受け取付けねじ<br>バインド小ねじM4×10<br>ゆるみ止め付き | アーム取付け裏板取付けねじ<br>薄平小ねじM4×5 |
| 商品コード Z-01 L/R BXVH | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 |

## ■取付け順序

### 1ロック受け(下部側)の取外し

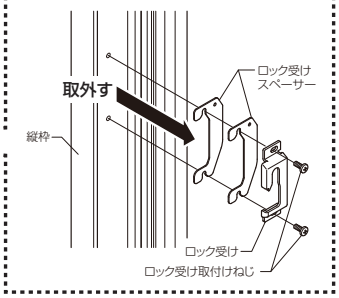
縦枠下部側のロック受けのロック受け取付けねじを取外し、ロック受けとロック受けスペーサーを取外してください。

※サッシ出荷時はロック受けスペーサーが2枚取付けされていますが、現場によっては1枚もしくは付いていない場合もあります。




**お願い**

※取外したロック受け、ロック受けスペーサーは再度使用しますので紛失しないようにしてください。

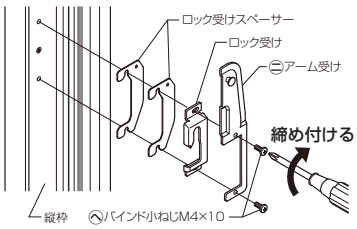



### 2アーム受けの取付け

1で取外したロック受けスペーサー、ロック受けと㋥アーム受けを㋭バインド小ねじM4×10で取付けてください。

**⚠注 意**

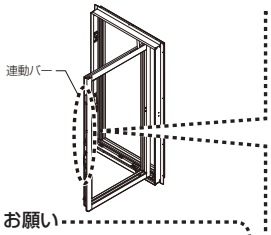
●アーム・アーム受け取付けねじは2.0+0.5N・m{20+5kgf・cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。




### 3連動バーの取外し

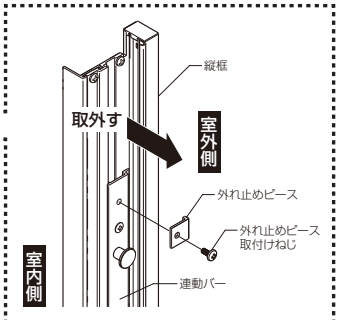
①連動バー上中下3ヵ所の外れ止めピースを取外します。

※サッシサイズにより上下2ヵ所の場合があります。

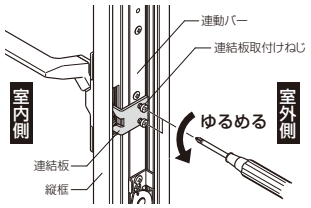



**お願い**

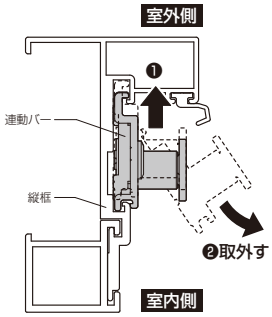
※取外した外れ止めピース、外れ止めピース取付けねじは再度使用しますので紛失しないようにしてください。




②連動バーに付いている連結板取付けねじをゆるめます。

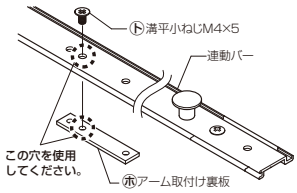



③連動バーを室外側に寄せてから傾けて縦框から取外します。




### 4アーム取付け裏板の取付け

㋬アーム取付け裏板を連動バーに㋣薄平小ねじM4×5で取付けてください。




### 5連動バーの取付け

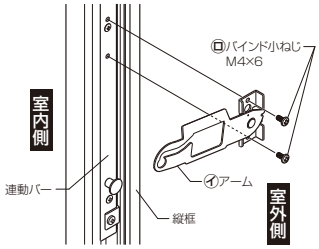
縦框に連動バーを「3連動バーの取外し」と逆の手順で取付けます。

**⚠注 意**

●連結板取付けねじは3.0±0.5N・m{30±5kgf・cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

### 6アームの取付け

㋑アームを連動バーに㋺バインド小ねじM4×6で取付けてください。



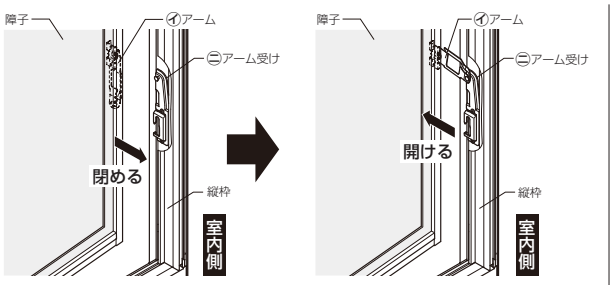

**⚠注 意**

●アーム・アーム受け取付けねじは2.0+0.5N・m{20+5kgf・cm}のトルクで止めてください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

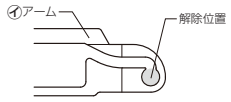
## 7障子の開閉確認

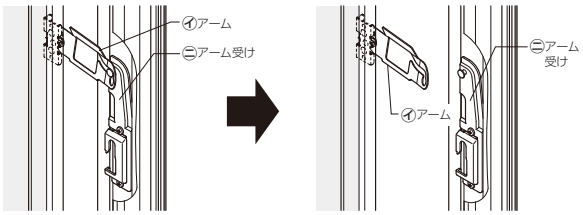
**お願い**
※取付け後、必ず小開口状態、全開状態になることを確認してください。

①小開口状態の確認
●障子を閉めると自動的に小開口状態になります。再度障子をあけて、小開口状態になっているか確認してください。
●障子を閉めた状態でハンドル操作ができることを確認してください。




②全開状態の確認
●㋑アームを解除位置にて㋺アーム受けから抜き、障子を90°まであけることができるか確認してください。（障子を閉めると再び小開口状態に戻ります。）

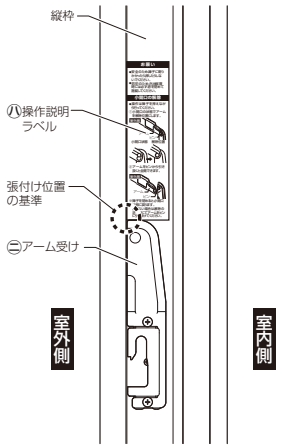



※障子が閉まらない場合、ハンドルの操作が重い場合、小開口状態にならない場合は、障子の建付け調整、ロック受けの調整、ロック受けスペーサーの調整を行ってください。

## 8操作説明ラベルの張付け

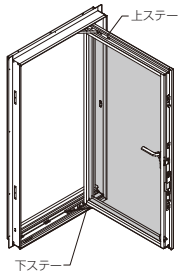
●下図のように㋺アーム受けを張付け位置の基準にして操作説明ラベルを張付けてください。



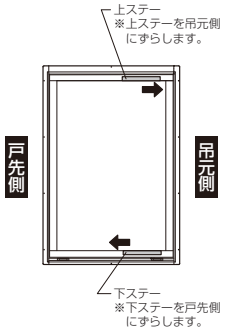

## ■障子の建付け調整

### ■障子の戸先が下がっている場合

上・下ステーで調整してください。

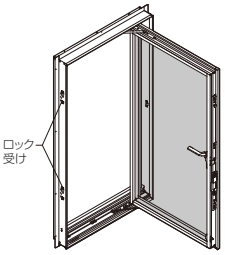



**●上下ステーの調整**
※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、下図のようにステーの位置を調整してください。
※ステーの固定ねじを一度ゆるめて調整します。



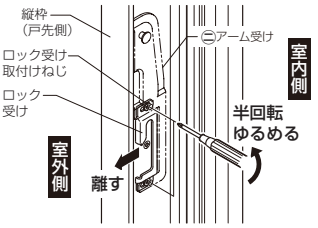

### ■ハンドル操作が重い場合

ロック受けまたは、ロック受けスペーサーで調整してください。

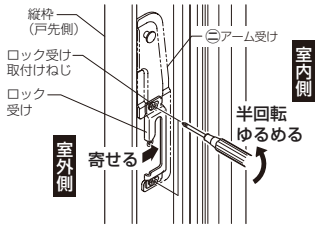



**●ロック受けの調整**
※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。
※ロック受け取付けねじをゆるめ（上下半回転）、位置を調整してください。
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

［ハンドルの操作が重い場合］

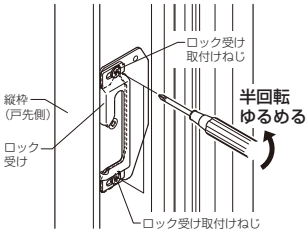



［ハンドルの操作が軽い場合］

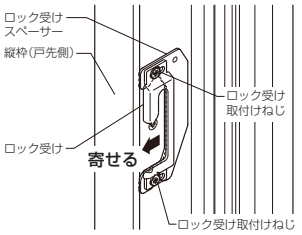


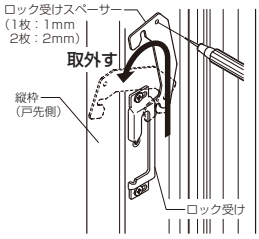

**●ロック受けスペーサーの調整（上部の場合）**
※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
※サッシ出荷時はロック受けスペーサーが2枚取付けされていますが、現場によっては1枚もしくは付いていない場合もあります。
※①～③の作業を上部のロック受けで行ってください。

①ロック受け取付けねじをゆるめます。（上下半回転）
※ねじをゆるめすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。



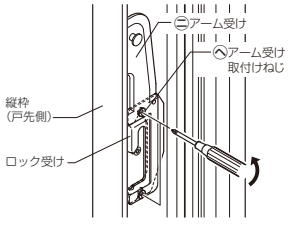

②ロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
※引抜きにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴にひっかけて引抜いてください。
※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。（ロック受けの調整を参照）



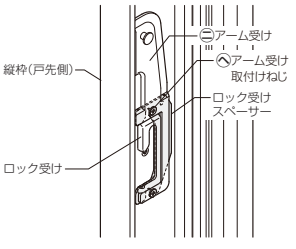




**●ロック受けスペーサーの調整（下部の場合）**
※ロック受けスペーサーは、あらかじめロック受け部に2枚取付けてあります。
※サッシ出荷時はロック受けスペーサーが2枚取付けされていますが、現場によっては1枚もしくは付いていない場合もあります。
※①～③の作業を下部のロック受けで行ってください。

①㋥アーム受け取付けねじを取外します。




②ロック受けスペーサーを1枚または2枚外して、ロック受け、アーム受けを取付けてください。
※スペーサーを1枚取外すと1mm、2枚外すと2mm、ロック受けが縦枠側に寄ります。
③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でロック受けを調整してください。（ロック受けの調整を参照）



# 有償品　別体換気窓

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。

・必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
・ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
・ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアルの手順にしたがってください。

**お願い**

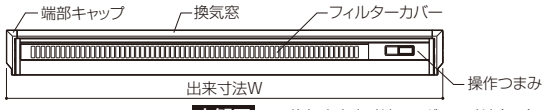
※縦すべり出し窓に換気窓を取付ける場合、指定された位置にセッティングブロックを張付けてください。障子が閉まらなくなるおそれがあります。

※上げ下げ窓に換気窓を取付ける場合、上障子に取付けてください。下障子に取付けると開閉のバランスがとれなくなるおそれがあります。

## ■ 組立てされる方へのお願い

●障子の組立てについては、障子の「組立て説明書」をご覧ください。
●ねじは 2.5 ± 0.5N・m{25 ± 5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。ガラスは通常のガラス寸法 (gh) より 44mm 小さくなります。
●洗浄液などを換気窓の内部にかけないでください。洗浄液の付着により操作つまみが操作できなくなるおそれがあります。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、部材をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

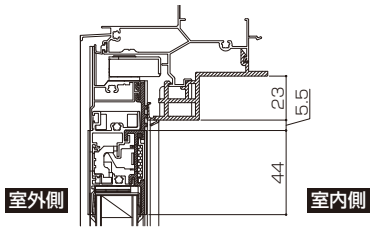
## ■ 姿図




内観図　※換気窓出来寸法W=ガラス寸法(gw)

## ■ 参考納まり図

【サーモスⅡ H/L 縦すべり出し窓の場合】



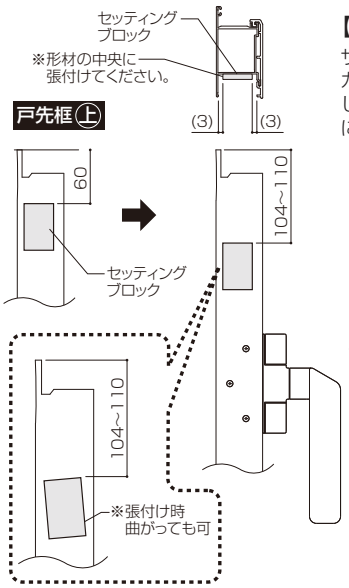

## ■ 組立て順序

### ❶セッティングブロックの張付け（縦すべり出し窓の場合のみ）

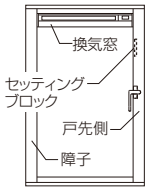
**お願い**

※縦すべり出し窓に換気窓を取付ける場合、指定された位置にセッティングブロックを張付けてください。障子が閉まらなくなるおそれがあります。

※戸先框についているセッティングブロックをはがし、右図の位置に取付けてください。

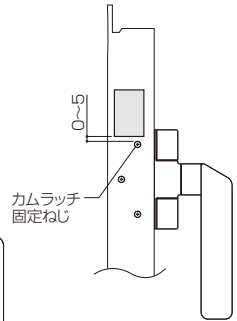



**■セッティングブロックの位置**



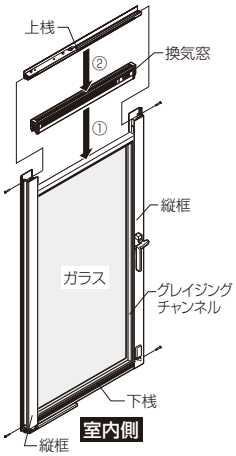

**【H < 360 の場合】**

サッシ H < 360 の場合はカムラッチ固定ねじと干渉しない位置（ねじの上部）に取付けてください。




### ❷障子・換気窓の組立て

①障子の縦框と下桟をガラスに差込んだ後、換気窓を差込んでください。
②上桟を差込み組立ててください。




**お願い**

※上げ下げ窓に換気窓を取付ける場合、上障子に取付けてください。下障子に取付けると開閉のバランスがとれなくなるおそれがあります。

# 有償品　ハンドル用オペレーター

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

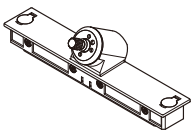
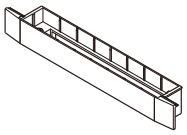
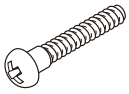
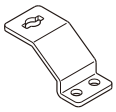
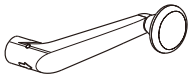
**⚠注　意**

●各部品の取付けねじは、ゆるみ、落下防止のため下記事項をお守りください。
・各部品の取付けねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆがみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■取付け上のお願い

●オペレーター本体は、障子を取付ける前に、取付けてください。
●サッシの組立ておよび取付けは、各々の説明書をお読みください。

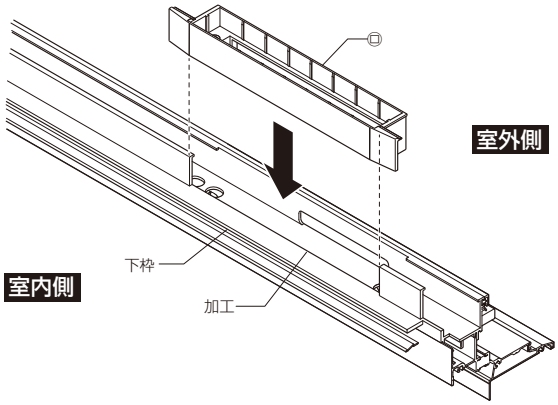
## ■部品一覧

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |  | |  |
| | オペレーター本体（ねじカバー付） | 気密箱 | オペレーター取付ねじ なべ小ねじ 段付M5×35 | 連結金具 | 連結金具取付ねじ 平小ねじ M4×7 | ハンドル（別売り）（取付ねじ付） |

## ■取付け順序

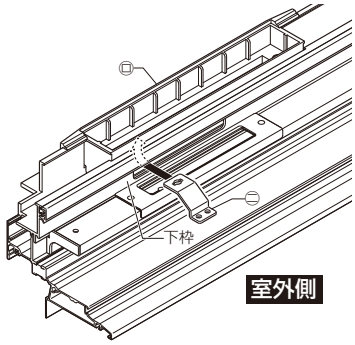
### ❶気密箱の取付け

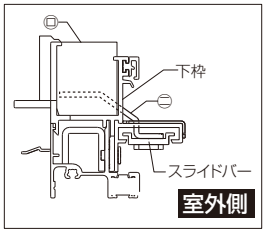
①㋺気密箱を下枠の加工部にはめ込んでください。



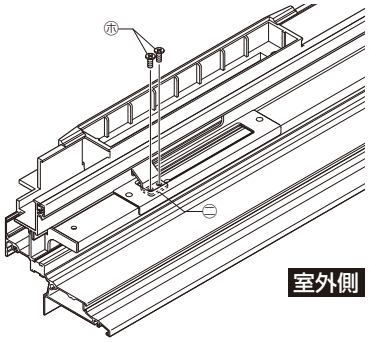

### ❷連結金具の取付け

①下枠の室外側にある角孔から㋺気密箱の中に㋥連結金具を差し込んでください。



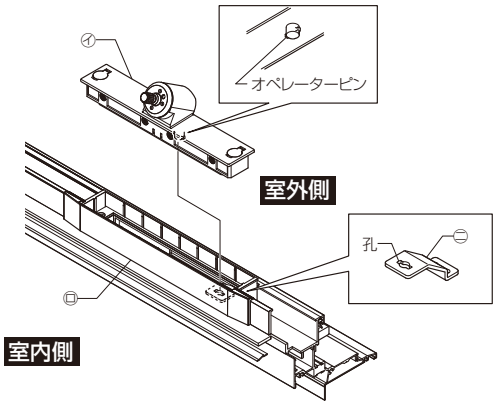



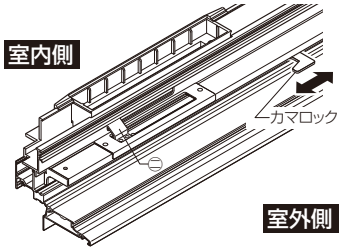

②㋥連結金具を㋭平小ねじM4×7でスライドバーに固定してください。
※ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



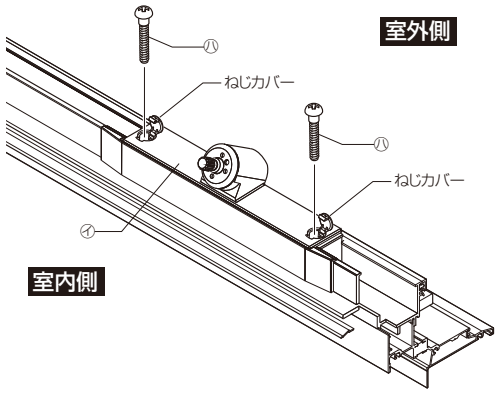
## 3オペレーターの取付け

①㋑オペレーター本体の裏側のピンの位置に㋷連結金具の孔位置を合わせて㋑オペレーター本体を㋺気密箱にはめ込んでください。
㋷連結金具の位置合わせはカマロックで行えます。



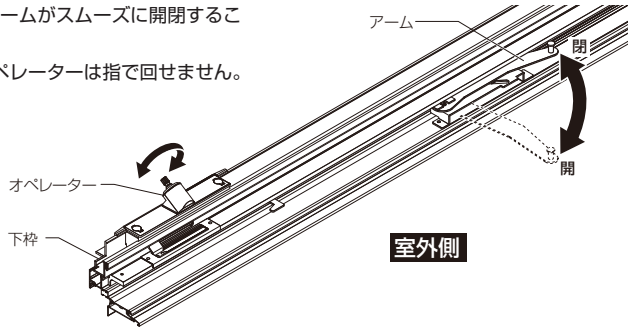




②㋥なべ小ねじ段付M5×35で㋑オペレーター本体を固定してください。
③㋑オペレーター本体のねじカバーを閉じてください。




**⚠注 意**
●ねじは 2.5 ± 0.5N·m {25 ± 5kgf·cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**お願い**
※オペレーター本体固定後に、オペレーターの軸を左右に指で回して、アームがスムーズに開閉することを確認してください。
オペレーターのピンが連結金具の孔に正しく挿入されていないと、オペレーターは指で回せません。
※作動確認後、アームは閉じておいてください。

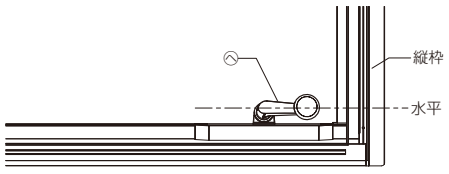



## 4サッシ枠・障子の組立て

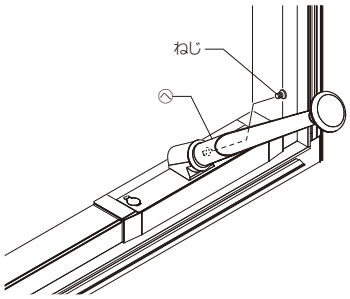
サッシ枠・障子の組立ては、サッシの説明書に従ってください。

## 5ハンドルの取付け

※ハンドルの取付けは、サッシの組立てが終わってから行ってください。
①㋑オペレーター本体に、別売りの㋭ハンドルを差し込みます。ハンドルの向きは障子を閉めた状態で、縦枠側に水平の位置で取付けると折りたたんだ際に邪魔になりません。




②㋭ハンドルに付属のねじで固定してください。
※ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



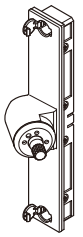
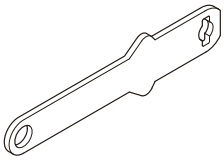
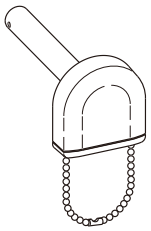
# 有償品　オペレーター　本体

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立て上のお願い

●オペレーター本体の取付け
・オペレーター本体は、障子を取付ける前に、取付けてください。

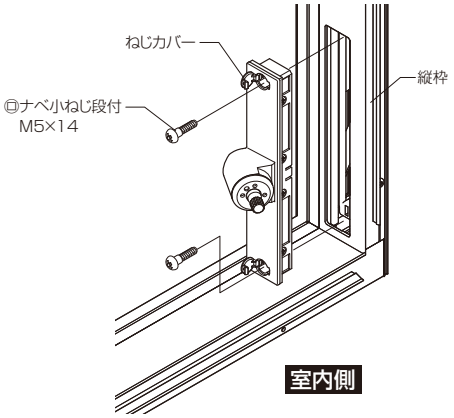
## ■部品一覧

| ㋑オペレーター本体（ねじカバー付） | ㋺ナベ小ねじ段付 M5 × 14 | ㋩アーム | ㋥ハンドル（別売り）（取付けねじ付） | ㋭滑車（別売り） |
|---|---|---|---|---|
|  | |  | |  |

## ■組立て順序

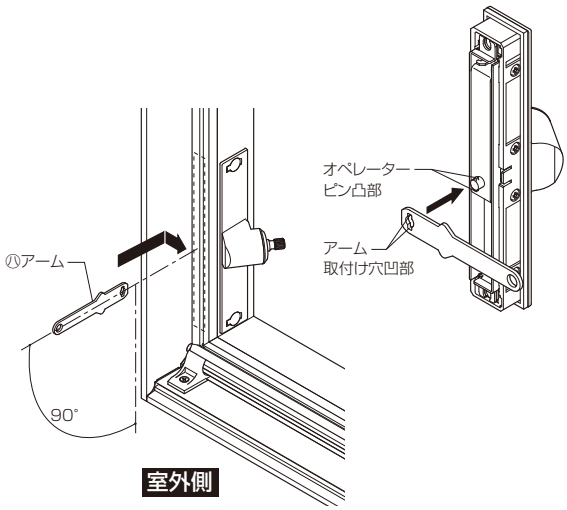
### ❶オペレーター本体の固定

①縦枠にオペレーター本体を㋺ナベ小ねじで固定してください。
※ねじ締めの際は 2.5 ± 0.5N・m（25 ± 5kgf・cm）のトルクで止めてください。
②ねじカバーをはめ込んでください。



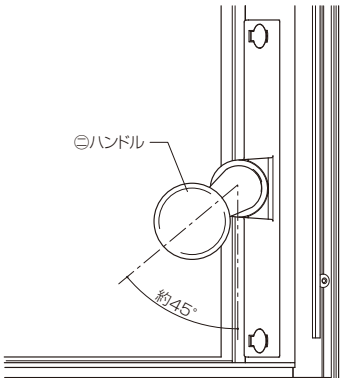

### ❷アームの取付け

①アームをオペレーターピンへ差込みます。
※㋩アームは、下図のように垂直下から約 90° の向きにして、オペレーターピン凸部にアーム取付け穴の凹部を合わせて差込んでください。

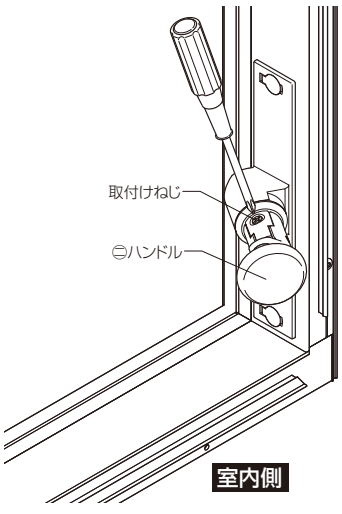



### ❸ハンドル又は滑車の取付け

※滑車の取付け方法は、滑車部品セット同梱の組立て説明書を参照しくてください。
①オペレーター本体に、㋥ハンドルを差込みます。
※ハンドルの向きは、障子を閉めた状態で下図のようにハンドルが垂直下から約 45° になるように取付けてください。（ハンドルが倒せるようになります。）




②ハンドルを取付けねじで固定します。
※ねじ締めの際は 2.0 ± 0.5N・m（20 ± 5kgf・cm）のトルクで止めてください。



# 有償品　チェーン式オペレーター　滑車

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

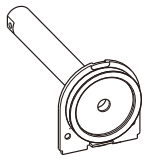
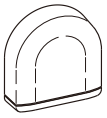
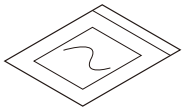
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

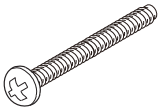
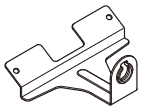
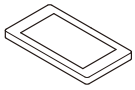
**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●各部品の取付けねじは、ゆるみ、落下防止のため下記事項をお守りください。
・滑車取付けねじは2.0N・m{20kgf・cm}～3.5N・m{35kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
・オペレーター取付けねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■部品・ねじ一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭※ |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  | | |  |
| | 滑車 | 滑車カバー | 十字穴付きナベ小ねじ　M5×8 | 皿タッピンねじ　M4×8 | ボールチェーンクリップセット |

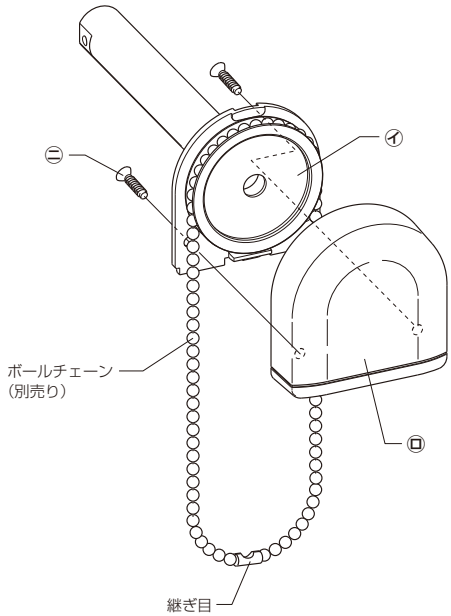
| 記号 | ㋬ | ㋣ | ㋖ | |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  | |
| | バインド小ねじ　M5×35 | 補助ブラケット<br>L100、L152用 | スペーサー　L100、L152用<br>シャクリなし額縁用 | ボールチェーン（別売り）<br>（3m～） |

※㋭ボールチェーンクリップセットは、お施主さまが安全にご使用いただくための部品です。必ずお施主さまにお渡しください。

## ■取付け順序

**❶滑車カバーの固定**

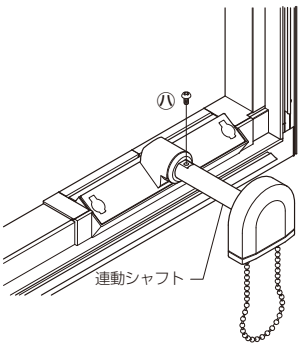
①ボールチェーンを㋑滑車に巻付けます。
※ボールチェーンは、必ず3m以上にしてください。
　チェーンが短いと継ぎ目が滑車にあたり、全開または全閉できません。
②㋺カバーを㋥皿タッピンねじで固定します。




**❷滑車の取付け**

**【滑車L44の場合】**

①オペレーター本体に、連動シャフトを差し込み、㋩十字穴付きナベ小ねじで固定します。
※全開・全閉して継ぎ目が滑車カバーにあたる場合は、継ぎ目の位置を調整してから連動シャフトを固定してください。

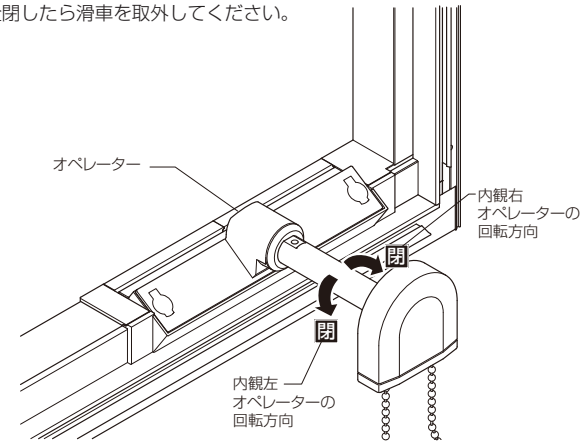



**⚠ 注 意**

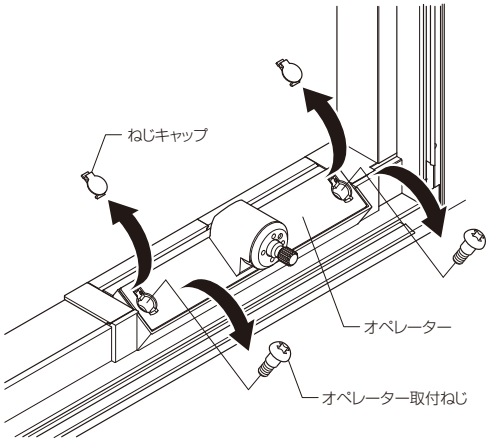
●ゆるみ･ガタツキ防止のため､ねじは2.0N･m{20kgf･cm}～3.5N･m{35kgf･cm}のトルクで止めてください。

**【滑車L100、L152の場合】**

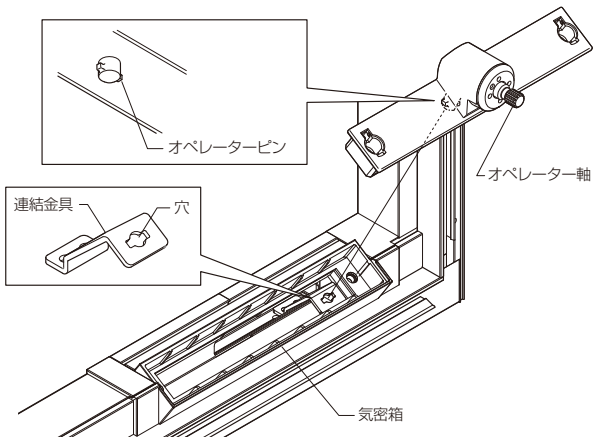
①滑車をオペレーターの軸に差込んで、回せなくなるまで障子全閉方向に回転させてください。
全閉したら滑車を取外してください。



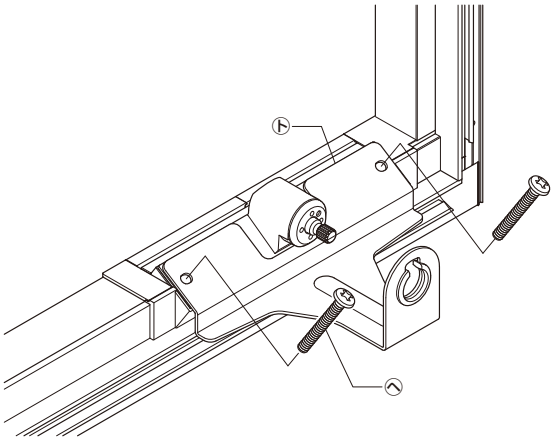

②オペレーターのねじキャップを取外し、オペレーター取付けねじを外します。（取外したねじとキャップは使用しません。）




③オペレーターの裏側のピンを連結金具の穴に差込みながらオペレーターを気密箱にはめ込んでください。ピンが金具の穴に入らない場合は、オペレーターの軸を回してピンの位置を調整してください。



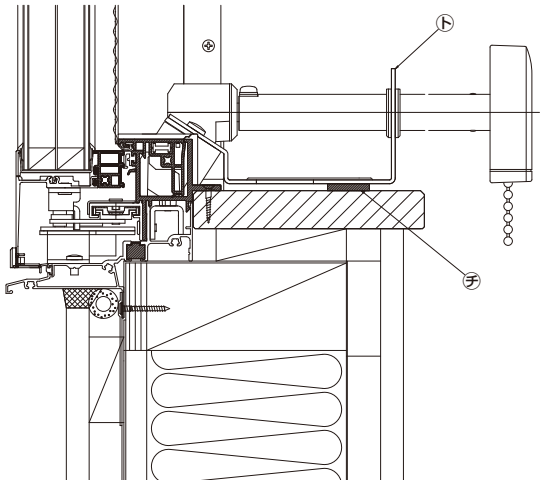

④㋒補助ブラケットを㋑バインド小ねじM5×35で固定してください。
⑤**1** **2**の手順で滑車を取付けてください。



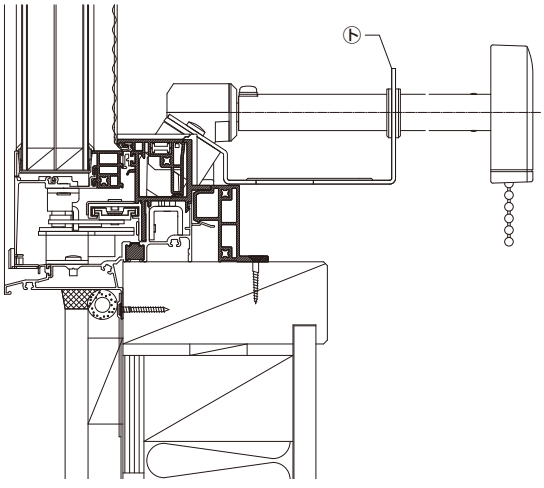

**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

⑥㋓スペーサーは室内額縁がシャクリなしの場合に㋒補助ブラケットに張り付けてご使用ください。



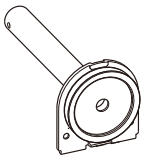
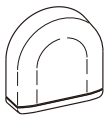
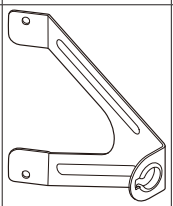
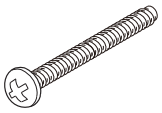

※シャクリ付の額縁や真壁納まり等の場合は、㋓スペーサーは不要です。



# 有償品　チェーン式オペレーター　滑車

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

## ■部品・ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ |
|---|---|---|---|---|---|
|  |  | | |  |  |
| 滑車 | 滑車カバー | 十字穴付きナベ小ねじ M5×8 | 皿小ねじM4×8 | 補助ブラケット | バインド小ねじ M5×35 |

## ■別売り部品

●ボールチェーン(3m～)

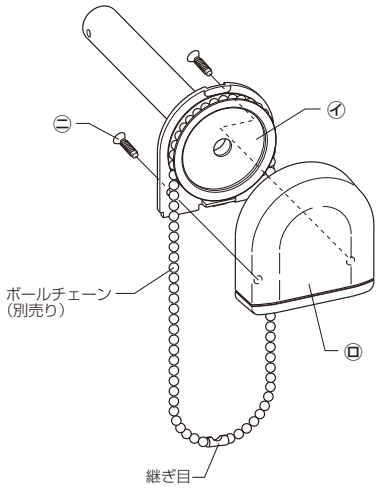
## ■取付け順序

### 1チェーンカバーの固定

①ボールチェーンを滑車に巻付けます。

※ボールチェーンは、必ず3m以上にしてください。
　チェーンが短いと継ぎ目が滑車にあたり、全開または全閉できません。

②カバーを㋥皿小ねじで固定します。

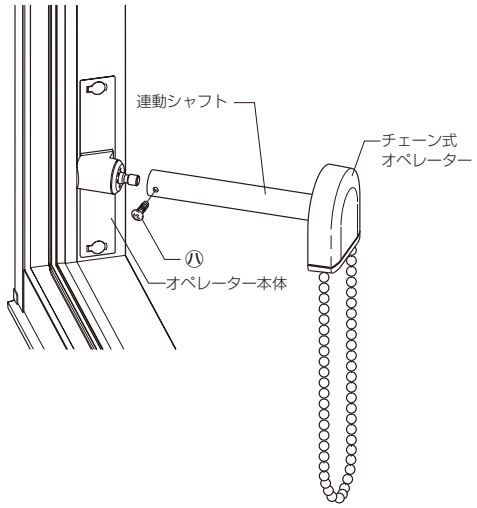



### 2連動シャフトの取付け

①オペレーター本体に、連動シャフトを㋩十字穴付きナベ小ねじで固定します。

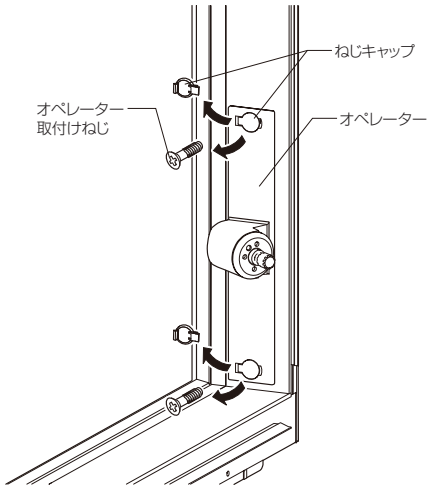
※全開・全閉して継ぎ目が滑車にあたる場合は、継ぎ目の位置を調整してから連動シャフトを固定してください。

※ゆるみ・ガタツキ防止のため、ねじは2.0N·m {20kgf·cm} ～3.5N·m {35kgf·cm} のトルクで止めてください。

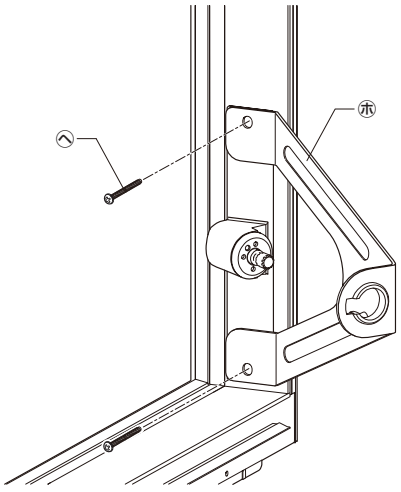



### 【滑車L209の場合】

①オペレーターのねじキャップを取外し、オペレーター取付けねじを外します。




②補助ブラケットをねじ止めします。




③1 2の手順で滑車を取付けしてください。

# 有償品　チェーン式オペレーター　オペレーター本体

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

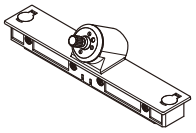
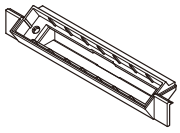
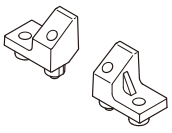
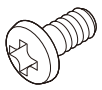
**⚠ 注 意**

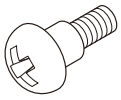
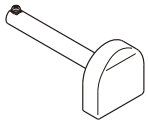
●各部品の取付けねじは、ゆるみ、落下防止のため下記事項をお守りください。
・各部品の取付けねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■取付け上のお願い

●オペレーター本体は、障子を取付ける前に、取付けてください。
●サッシの組立ておよび取付けは、各々の説明書に従ってください。

## ■部品・ねじ一覧表

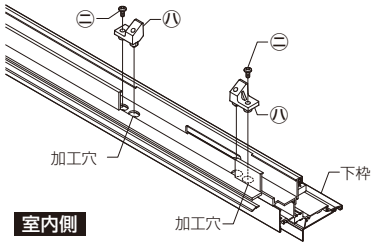
| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |  | |
| | オペレーター本体（ねじカバー付） | 気密箱 | 取付ブロック | 取付ブロック取付ねじ バインド小ねじ　M5×16 | 連結金具 |

| 記号 | ㋬ | ㋣ | | |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 | |  |  | |
| | 連結金具取付ねじ 平小ねじ　M4×7 | オペレーター取付ねじ なべ小ねじ段付　M5×15 | 滑車（別売り） | ボールチェーン（別売り）（3m～） |

## ■取付け順序

### ❶気密箱の取付け

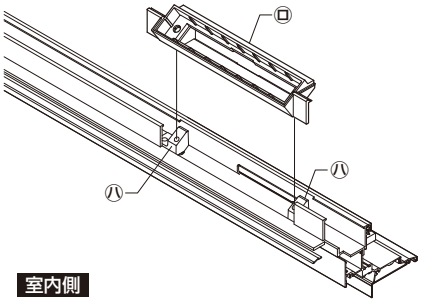
①下枠の加工部にある孔に㋩取付ブロックをはめ込み、㋥バインド小ねじM5×16で固定してください。
※取付ブロックには左右勝手がありますので下図のように取付けてください。




**⚠ 注 意**

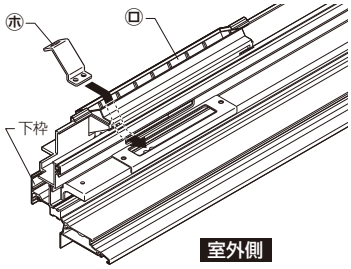
● ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

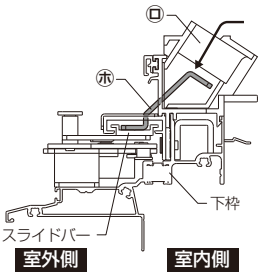
②㋺気密箱を㋩取付ブロックの間にはめ込んでください。



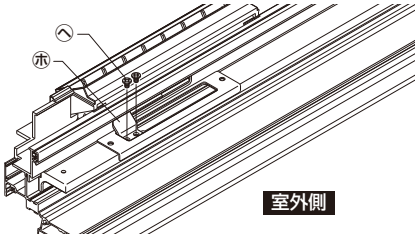

### ❷連結金具の取付け

①㋭連結金具を㋺気密箱の内側から下枠の角穴の室外側に差し込んでください。



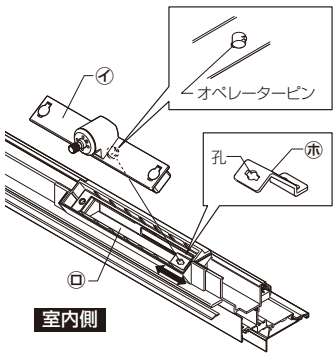



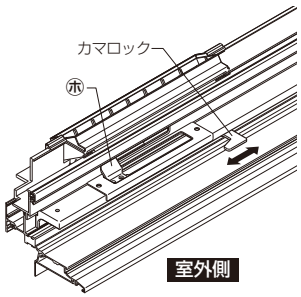

②㋭連結金具を㋬平小ねじM4×7でスライドバーに固定してください。
※ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



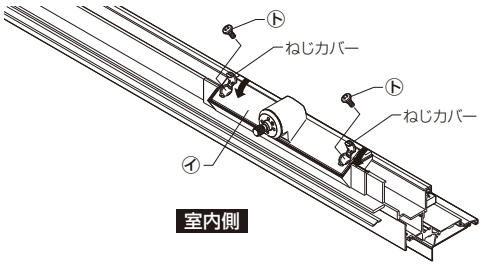
## 3オペレーターの取付け

①㋑オペレーターの裏側のピンの位置に㋭連結金具の穴位置を合わせて㋑オペレーターを㋺気密箱にはめ込んでください。
㋭連結金具の位置合わせはカマロックで行えます。




②㋒なべ小ねじ段付M5×15で㋑オペレーターを固定してください。
③㋑オペレーターのねじカバーを閉じてください。

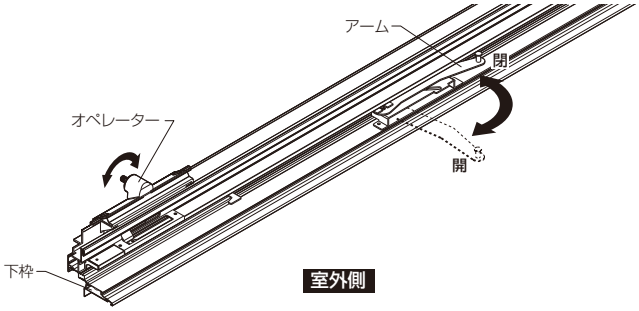



**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**お願い**

※オペレーター本体固定後に、オペレーターの軸を左右に指で回して、アームがスムーズに開閉することを確認してください。
オペレーターのピンが連結金具の穴に正しく挿入されていないと、オペレーターは指で回せません。
※作動確認後、アームは閉じておいてください。




## 4サッシの組立て、および滑車の取付け

サッシの組立、および滑車の取付けは、各々の説明書に従ってください。

# 有償品　電動ユニット

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警　告

●火災・感電の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
・電気配線工事（電源コードの切断および再接続・コンセントの増設）は、電気工事店に依頼してください。
・機器を改造しないでください。
・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
・風呂・シャワー室などの湿気の高い場所で使用しないでください。
・電源コードのみを持って運ばないでください。

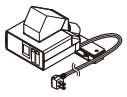
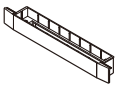
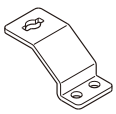
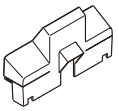
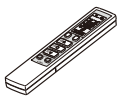
### ⚠注　意

●各部品の取付けねじは、ゆるみ、落下防止のため下記事項をお守りください。
・各部品の取付けねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆがみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■取付け上のお願い

●電動ユニットは、取付け作業をやりやすくするために、ガラスまたは障子を入れる前にサッシ枠に取付けてください。
●ガラスまたは、障子を入れない状態で電動ユニットを動かさないでください。
●サッシの組立ておよび取付けは、各々の説明書をお読みください。
●必ず指定のねじを使用してください。

## ■部品一覧表

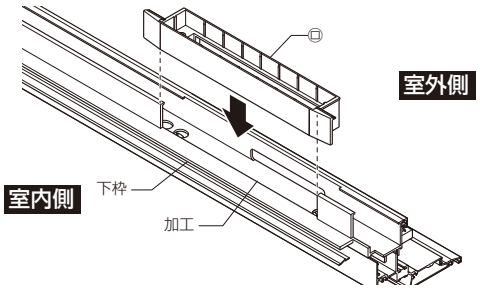
| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋠ | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  | | | |  | |  |
| | 電動ユニット | 気密箱 | 連結金具 | 連結金具取付ねじ 平小ねじ M4×7 | 電動ユニット取付ねじ バインド小ねじ M5×45 | 取付け工具 | カバー | ひさし ※受光部用 | リモコン（別売り） |

※取付け工具は、取付け終了後リモコンと一緒に必ずお施主さまにお渡しください。
※別売りの手動用オペレーター本体およびハンドルを使用すると、ガラスまたは障子の建て込みがし易くなります。建て込みが終わってからオペレーター本体およびハンドルを外して電動ユニットを取付けてください。

## ■取付け順序

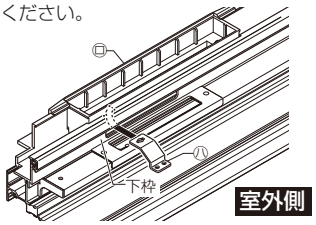
### ❶気密箱の取付け

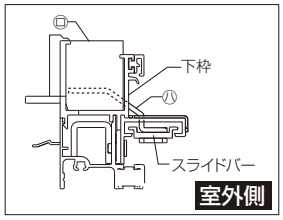
①㋺気密箱を下枠の加工部にはめ込んでください。



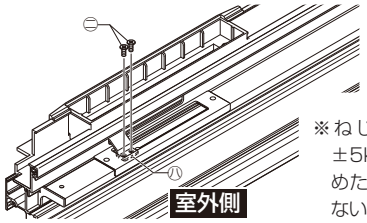

### ❷連結金具の取付け

①下枠の室外側にある角孔から㋺気密箱の中に㋩連結金具を差し込んでください。



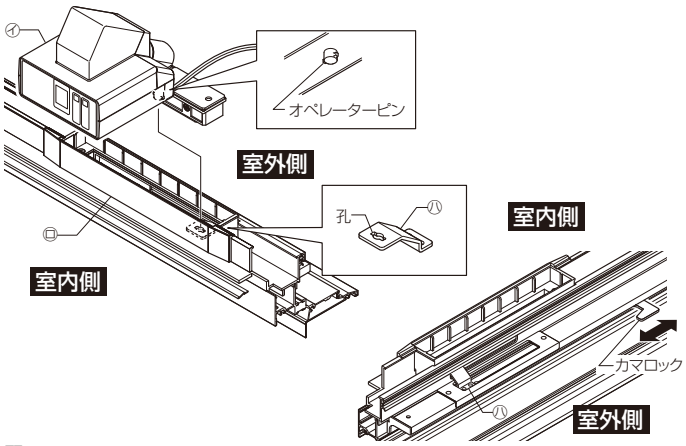

②連結金具を㋥平小ねじM4×7でスライドバーに固定してください。



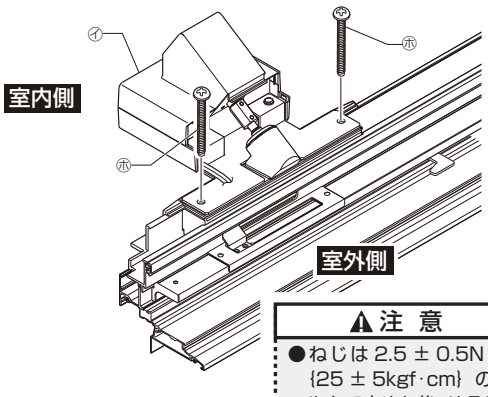

※ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

### 3電動ユニットの取付け

①㋑電動ユニットの裏側のピンの位置に㋩連結金具の孔位置を合わせて
㋑電動ユニットを㋥気密箱にはめ込んでください。
㋩連結金具の位置合わせはカマロックで行えます。

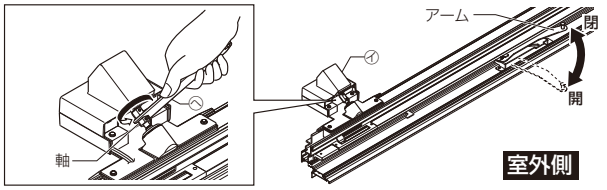



②㋭バインド小ねじM5×45で㋑電動ユニットを固定してください。



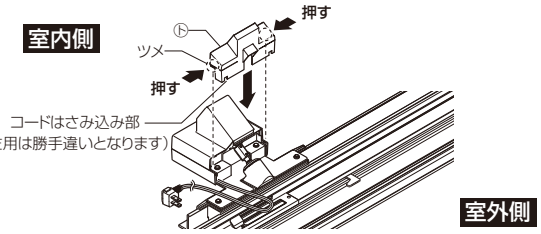

**⚠注 意**
●ねじは 2.5 ± 0.5N·m {25 ± 5kgf·cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**お願い**
※電動ユニット固定後に㋬取付け工具で軸を左右に回して、アームがスムーズに開閉することを確認してください。
電動ユニットのピンが連結金具の孔に正しく挿入されていないと、アームが作動しません。
※作動確認後、アームは閉じておいてください。



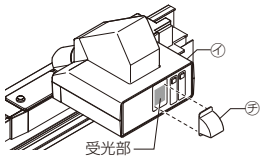

### 4カバーの取付け

●㋠カバーを矢印の方向に押しながらツメをはめ込んでください。




### 5ひさしの取付け

●高所に取付ける場合、または、外からの太陽光などが直接受光部に当たる場合は、㋑電動ユニット受光部に㋶ひさしを張り付けてください。



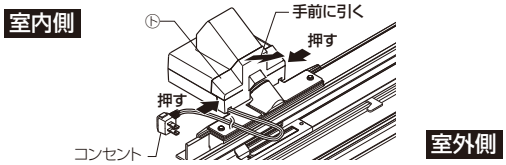

### 6サッシ枠・障子の組立て

サッシ枠・障子の組立ては、各々の説明書に従ってください。

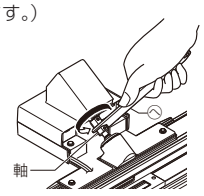
## ■停電時の操作方法

### ■障子を開けた状態で停電になった場合

※安全のため、コンセントを抜いてください。
①㋠カバーを矢印の方向に押しながら手前に引いて外してください。



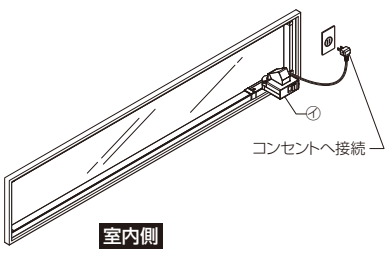

②㋬取付け工具で軸を回転させます。下図の矢印の方向に回すと障子が閉まります。（図は右勝手を示します。）
※万が一、開けたい場合は、逆方向に回してください。

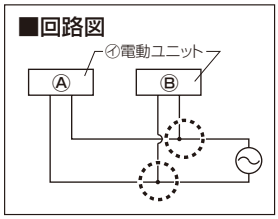



## ■電源の接続

### 1単窓時

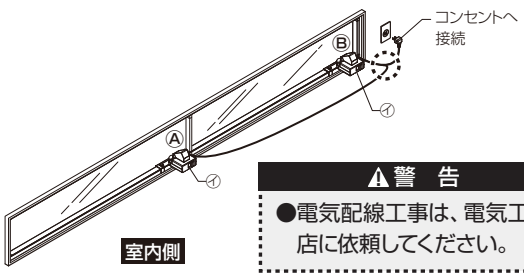
●電源コンセントへ接続してください。
※コンセントの増設が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。




### 2連窓時

●電源コンセントが1ヵ所しかない場合は、電源コードを切断し、その後接続コネクタなどで電源コードを接続してください。




**⚠警 告**
●電気配線工事は、電気工事店に依頼してください。

# 有償品　電動ユニット

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

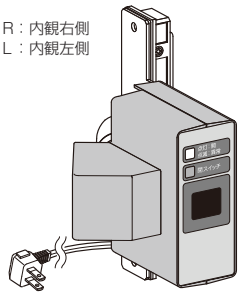
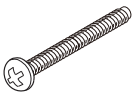
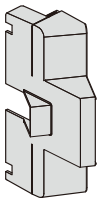
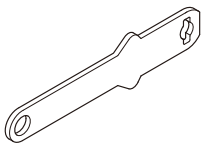
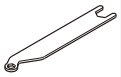
**⚠警　告**

●火災・感電の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
・電気配線工事（電源コードの切断および再接続・コンセントの増設）は、電気工事店に依頼してください。
・機器を改造しないでください。
・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
・風呂・シャワー室などの湿気の高い場所で使用しないでください。
・電源コードのみを持って運ばないでください。

## ■取付け上のお願い

●電動ユニットは、取付け作業をやりやすくするために、ガラスまたは障子を入れる前にサッシ枠に取付けてください。
●ガラスまたは、障子を入れない状態で電動ユニットを動かさないでください。
●障子の組立ておよび取付けは、各々の説明書をお読みください。
●ガラスルーバー窓のガラスの建て込みの際に作業がしづらい場合には、対応する人数で行ってください。
●必ず指定のねじを使用してください。（連結用ねじは、サッシ本体に同梱されています。）

## ■部品一覧表

| ㋑電動ユニット | ㋺電動ユニット取付けねじ | ㋩カバー | ㋥アーム | ㋭ハンドル穴ふさぎキャップ | ㋬取付け工具 | ㋣ひさし | ㋠連結用ねじ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R：内観右側<br>L：内観左側<br>  |  <br>バインド小ねじ M5×35 |  | 高所横すべり出し窓のみに同梱<br>  | ルーバ窓のみに同梱<br> |  | <br>※受光部用 | 高所横すべり出し窓のみに使用<br>**※サッシ本体に同梱**<br> <br>トラス小ねじ M4×6 |

※取付け工具は、取付け終了後リモコンと一緒に必ずお施主さまにお渡しください。
※別売りの手動用オペレーター本体およびハンドルを使用すると、ガラスまたは障子の建て込みがし易くなります。建て込みが終わってからオペレーター本体およびハンドルを外して電動ユニットを取付けてください。

## ■取付け順序

### 1事前準備

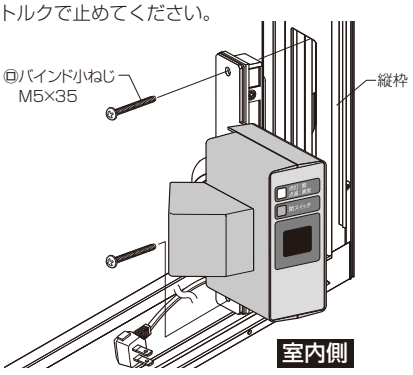
●手動オペレーターが障子に取付けられている場合は、取外してください。

### 2電動ユニットの固定

#### ■高所横すべり出し窓の場合

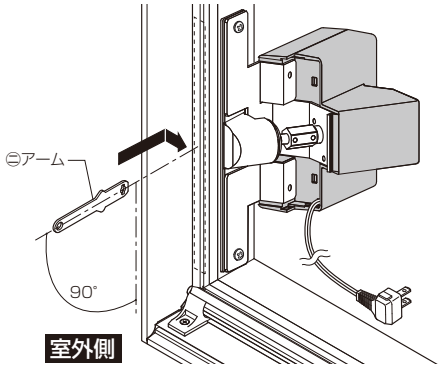
**1電動ユニットの固定（右用）**

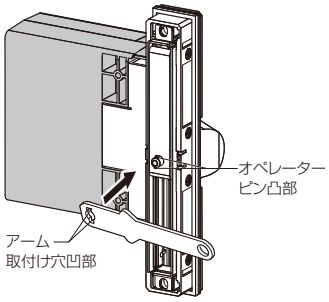
●縦枠に電動ユニット本体を㋺バインド小ねじで固定してください。
※ねじ締めの際は2.5±0.5N·m（25±5kgf·cm）のトルクで止めてください。




**2アームの取付け**

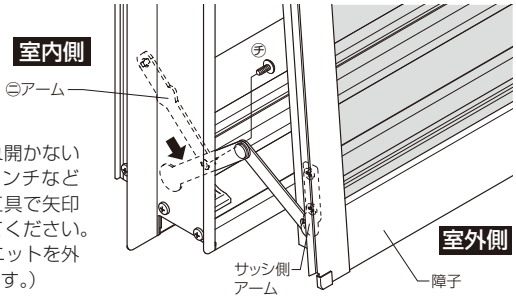
●アームをオペレーターピンへ差込みます。
※㋥アームは、下図のように垂直下から約 90˚の向きにして、オペレーターピン凸部にアーム取付け穴の凹部を合わせて差込んでください。



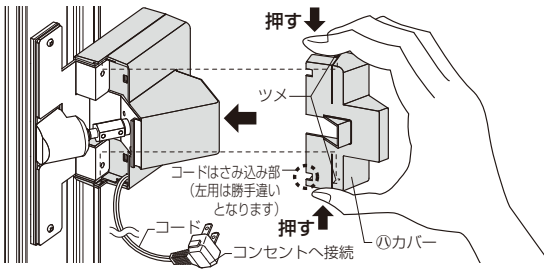
### 3 障子との接続

●㋑アームとサッシ側アームをねじ止めします。




### 4 カバーの取付け

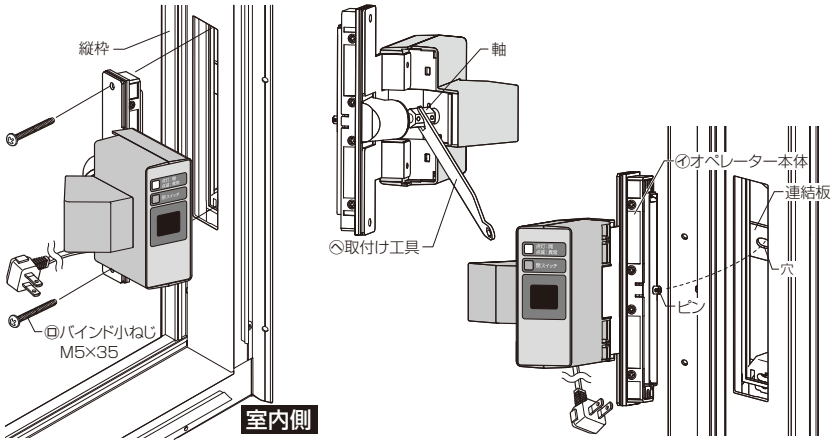
●㋕カバーを矢印の方向に押しながらツメをはめ込んでください。




## ■ルーバー窓の場合

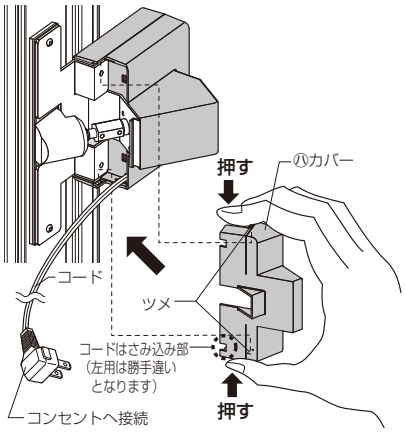
### 1 電動ユニットの固定（右用）

①縦枠に電動ユニット本体を㋖バインド小ねじで固定してください。
※ねじ締めの際は2.5±0.5N·m（25±5kgf·cm）のトルクで止めてください。
②電動ユニットのピンが連結板の穴位置に合うように㋔取付け工具で軸を回転させ調整します。



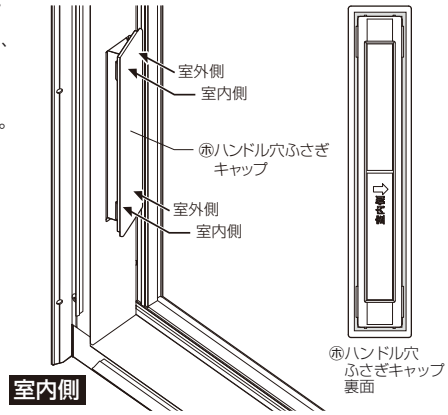

### 2 カバーの取付け

●㋕カバーを矢印の方向に押しながらツメをはめ込んでください。



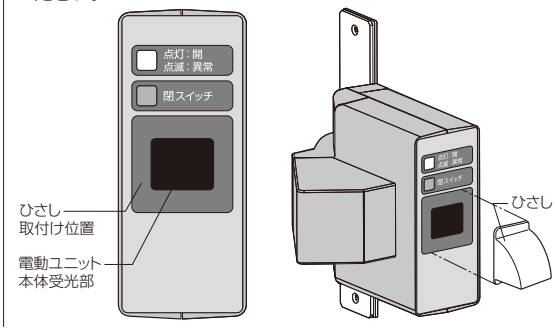

### 3 ハンドル穴ふさぎキャップの取付け

●㋗ハンドル穴ふさぎキャップ内側の矢印を室内側に向けて、縦枠にはめ込みます。
※室外側を先に押し込んだ後、室内側を押し込んでください。取り外す場合は逆の順序で行ってください。




### 3 ひさしの取付け

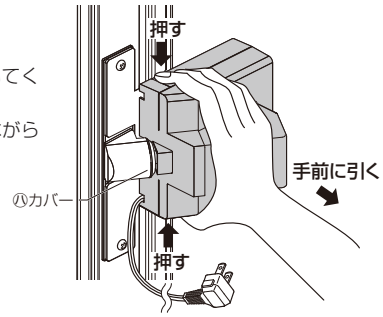
●高所に取付ける場合、又は、外からの太陽光などが直接受光部に当たる場合は、電動ユニット受光部にひさしを張り付けてください。



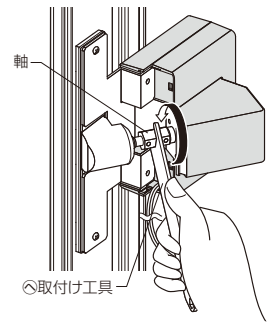

## ■停電時の操作方法

### ■障子を開けた状態で停電になった場合

※安全のため、コンセントを抜いてください。
①㋕カバーを矢印の方向に押しながら手前に引いて外してください。



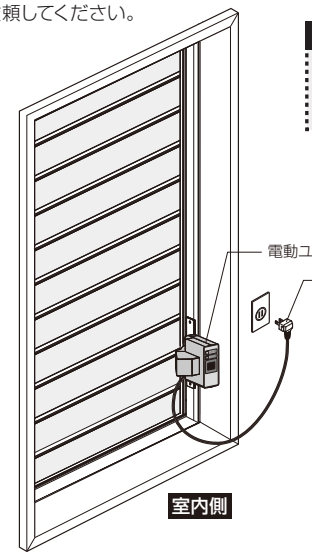

②㋔取付け工具で軸を回転させます。下図の矢印の方向に回すと障子が閉まります。
※万が一、開けたい場合は、逆方向に回してください。



## ■電源の接続

### 1単窓時

●電源コンセントへ接続してください。
※コンセントの増設が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

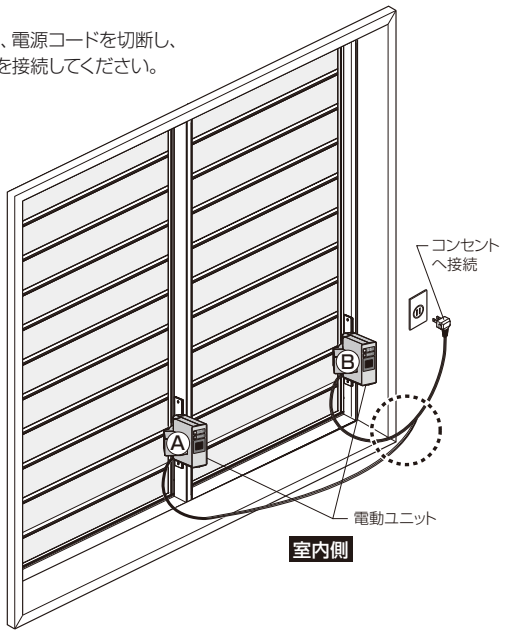



### 2連窓時

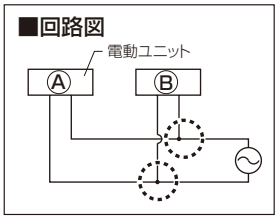
●電源コンセントが1個所しかない場合は、電源コードを切断し、その後接続コネクタなどで電源コードを接続してください。

**⚠警　告**

●電気配線工事は、電気工事店に依頼してください。




**■回路図**

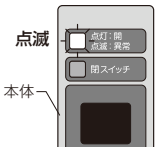
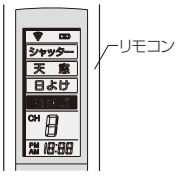
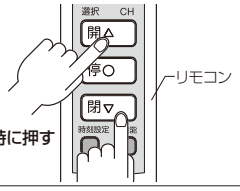
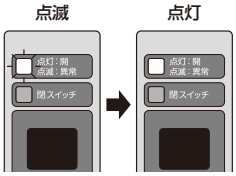



## ■動作確認

●電動ユニットを動作させるためには、共通リモコン又は、単機能リモコンが必要になります。
●以下の手順でリモコン登録を行い、正常に作動するか確認してください。
・登録した品種・チャンネルの選定。
・開・閉・停…全開・全閉位置での自動停止、任意位置での動作停止。
※リモコンの登録および操作の仕方は以下の項目にしたがってください。

### 1リモコンの登録の仕方

●各種の窓を操作するリモコン（ID）を登録します。

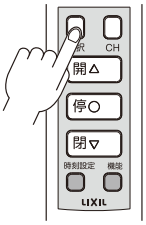
| 手　順 | 表示状態 | 備　考 |
|---|---|---|
| ①過電流遮断器（ブレーカー）を入れ直します。本体表示ランプ（赤）がゆっくり「点滅」します。（1秒ON→1秒OFF） |  | |
| ②停ボタンを2回押した後、設定したい品種およびチャンネルを選択してください。このとき品種表示とチャンネル番号が「点滅」します。 | 例）  | ●登録状態を解除する場合は、停ボタンを押してください。「点滅」している品種・チャンネルが「点灯」します。<br>●「0」チャンネルは、登録する必要はありません。 |
| ③本体に向けて、開・閉ボタンを3秒以上(品種表示およびチャンネル番号の「点滅」が「点灯」になるまで)、同時に押してください。 |  | |
| ④本体の表示ランプ（赤）が「点滅」から「点灯」になって、登録が完了しました。 |  | ●5秒間「点灯」後、「消灯」します。<br>※窓が開いている場合は、再び点灯します。 |
| ⑤同じリモコンで他に登録したい品種がある場合は、②～④の手順を繰返してください。<br>※ただし約2分を過ぎて、本体の表示ランプ（赤）が「点滅」から「点灯」になった場合は、もう一度、①から登録操作をやり直してください。 | | |

※登録済みのリモコンを再度、登録したい場合、リモコンを紛失して新規にリモコンを登録する場合は、登録操作①～⑤を行ってください。

## 2リモコン操作の仕方

手　順

①品種を選択してください。

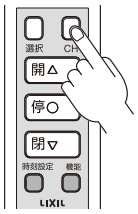



●選択ボタンを押すことで、以下の順序で品種を選択できます。

全選択（全ての品種）→シャッター→天窓→天窓用日よけ→特殊窓

※単機能リモコンの場合、本操作はありません。

②CH(チャンネル)を選択してください。




●CHボタンを押すことで、登録したチャンネルが順次表示されます。

【「9」チャンネル登録した場合】

0（全てのチャンネル）→1→2→3→4→5→6→7→8→9

●「0」チャンネルにした場合は、すべての設定チャンネルで操作できます。

※単機能リモコンの場合、本操作はありません。

③開ける場合

・開ボタンを押してください。

④閉める場合

・閉ボタンを押してください。

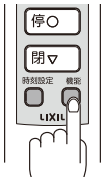
⑤途中で停める場合

・停ボタンを押してください。

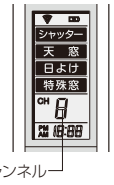
●続けて2回押すと、リモコン登録状態となり、開·閉ボタンを押しても操作できなくなります。もう一度、停ボタンを押して登録状態を解除してください。

⑥ワンタッチスリット（シャッターのみ）

・機能ボタンを押してください。




⑦複数の窓を開閉する場合




●「0」チャンネルを選択した場合は、設定したすべての窓を同時に操作することができます。

●連窓で取付けられている、又は複数の壁スイッチ（シャッターのみ）が離れているときは、同時に操作することができないことがあります。各々の受光部にリモコンを向けて操作してください。

⑧リモコン操作可能範囲

●信号の到達距離は、受光部正面から直線で約9mです。受光部の正面からずれるほど受光可能な範囲は短くなります。

※特殊窓のうち、高所に取付ける場合は、付属のひさしを電動ユニット受光部に取付けてください。

## ■こんな時はどうするの？

### ■症状対策表

| 症　状 | 原　因 | 対　策 |
|---|---|---|
| 動かない | ●電池の向きが違っている。 | ●正しい向きに電池を入れ直してください。 |
| | ●電池の寿命切れ。 | ●新しい電池と交換してください。 |
| | ●電動ユニット受光部に太陽光や強い照明光が当たっている。 | ●付属されているひさしを取付けて、光を遮ってください。 |
| | ●品種設定チャンネルが登録したものと違っている。 | ●品種·チャンネルを登録した状態にしてください。 |
| | ●停電している。 | ●停電が終わるまでお待ちください。<br>※手動による開閉も可能です。（「**■停電時の操作方法**」を参照ください。） |
| | ●ブレーカーが落ちている。 | ●ブレーカーを入れてください。 |
| | ●電源プラグがコンセントから外れている。 | ●コンセントに電源プラグを差してください。 |
| | ●障害物が挟まっている。 | ●障害物を取除いてください。 |
| | ●障子が凍結している。 | ●凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。<br>無理に作動させると故障の原因となります。 |
| | ●リモコンの紛失。 | ●電動ユニット本体閉ボタンを押し続けてください。<br>※開くためには、取付け工具を使用するか、新規にリモコンを設定してください。 |
| 登録ができない | ●電池の向きが違っている。 | ●正しい向きに電池を入れ直してください。 |
| | ●電動ユニット受光部に太陽光や強い照明光が当たっている。 | ●付属されているひさしを取付けて、光を遮ってください。 |
| | ●リモコンからの登録信号が電動ユニットに届かない。 | ●電動ユニット本体にリモコンを向けてください。 |
| 操作距離が短い | ●電池の寿命が近づいています。 | ●新しい電池と交換してください。 |
| | ●電動ユニット受光部に太陽光や強い照明光が当たっている。 | ●付属されているひさしを取付けて、光を遮ってください。 |

# 有償品　連窓方立180°

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 注　意

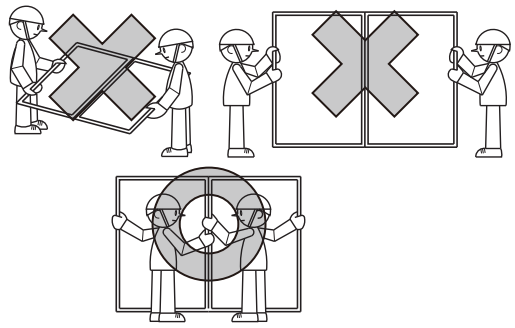
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
- ・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・浴室には使用しないでください。
- ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。
- ・ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
●枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
●連窓後の取付けは、「連窓方立取付け説明書」を参照してください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

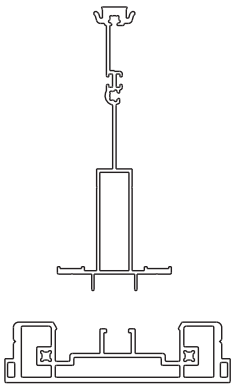
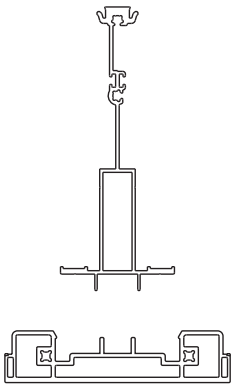
## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



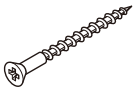
## ■連窓方立180°の種類

連窓方立180°

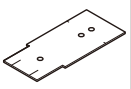
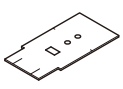
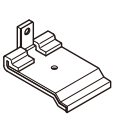
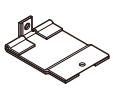
| 【ねじ付アングル】 | 【ねじレスショートアングル】 |
|---|---|
|  |  |

## ■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
※㋑は取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡しください。

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|
| | |  | |
| 枠取付けねじφ4×13（なべドリルねじ） | 方立キャップ取付けねじφ4×20（バインドタッピンねじ） | 皿木ねじφ3.8×25 | 皿タッピンねじφ4×12 |
| 組立て用 | | 躯体取付け用 | アングル取付けねじ |

## ■部品一覧表

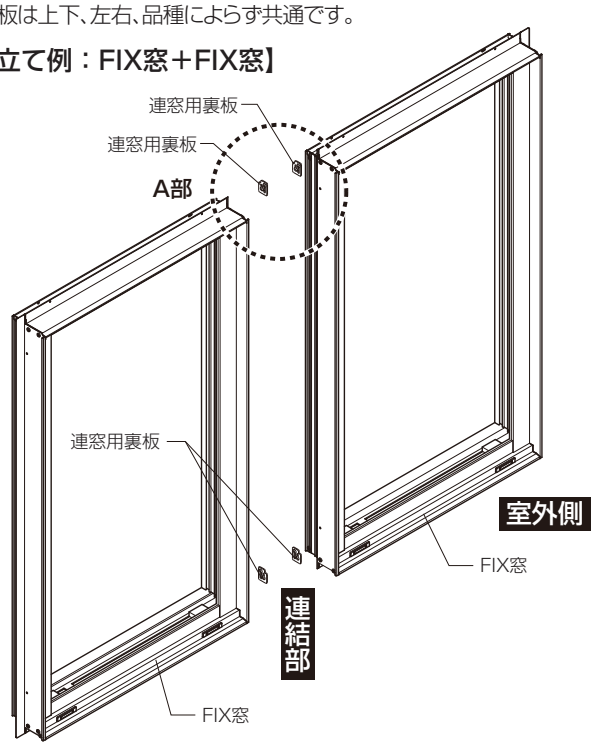
| |  |  |  |  |
|---|---|---|---|---|
| 連窓用裏板 | 防水テープ㋭ | 防水テープ㋬ | 上部キャップ | 下部キャップ |

## ■組立て順序

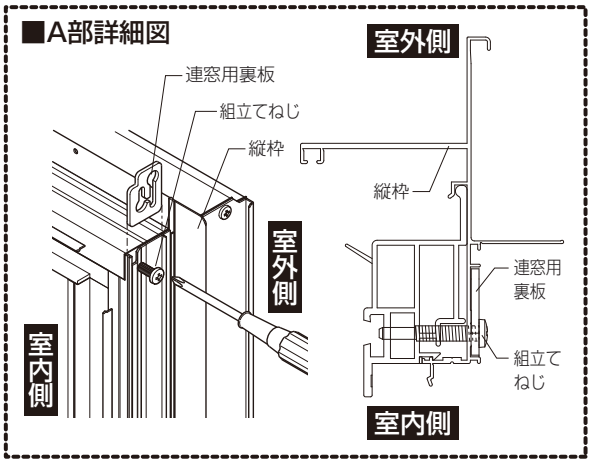
### ❶連窓用裏板の取付け

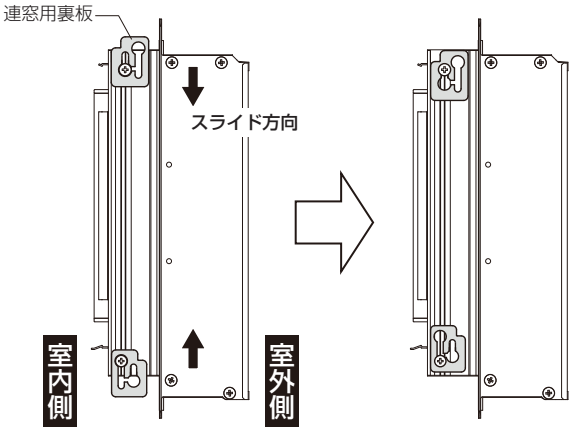
●連結部上下（室内側）に連窓用裏板を入れ、枠をそれぞれ組立てます。
①連結側縦枠上下2カ所の室内側組立てねじをゆるめます。
②ゆるめたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けてスライドさせ、ねじを締直してください。
　連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。
※裏板は上下、左右、品種によらず共通です。

**【組立て例：FIX窓＋FIX窓】**



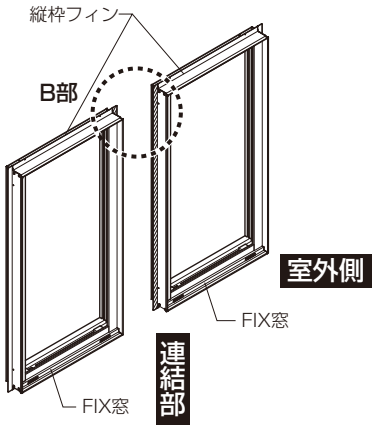

**■A部詳細図**



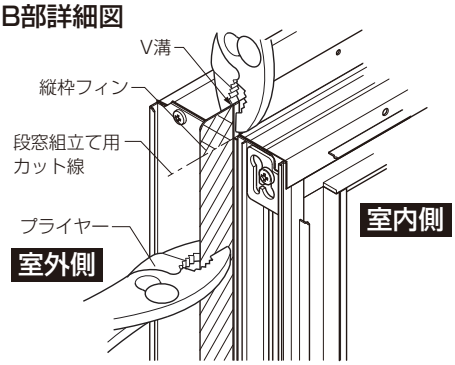




### ❷縦枠フィンのカット

①連結する側の縦枠のフィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
②プライヤーなどでまず ▨ 部を、次に ▨ 部を折り曲げながら取去ります。
※縦枠上部は、カットしない部分をプライヤーなどで固定して折り取ってください。




**■B部詳細図**

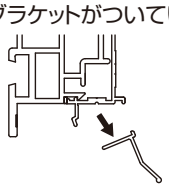



**⚠ 注　意**

●縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
　また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

**お願い**

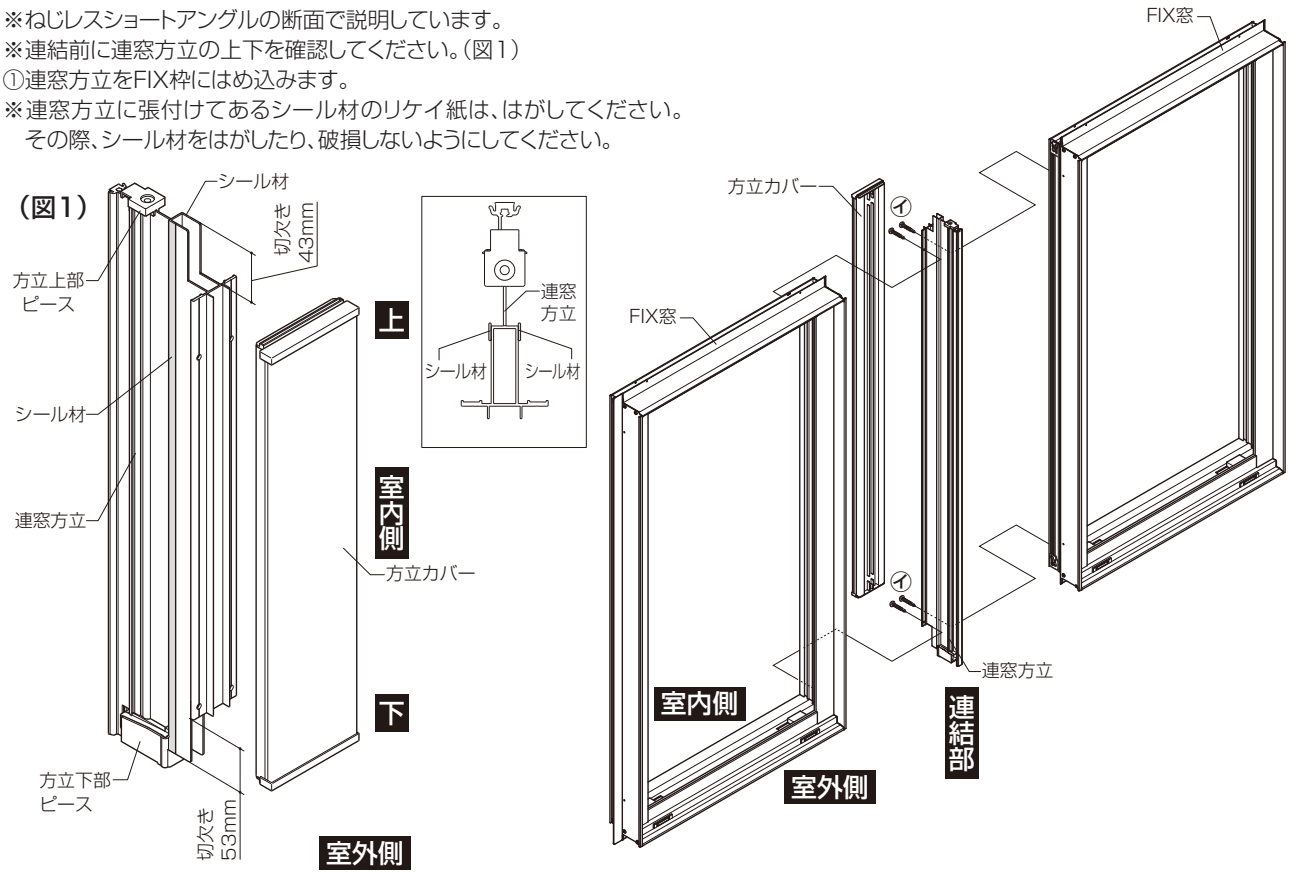
●連結部の縦枠にブラケットがついている場合ははずしてください。

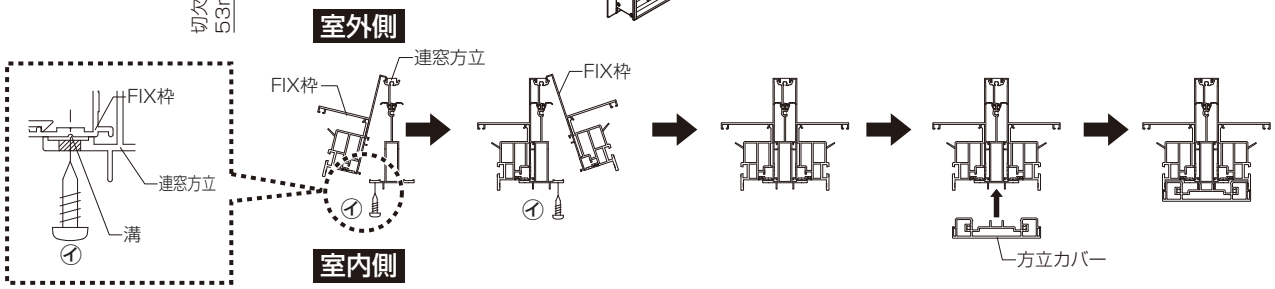


## ❸連窓方立との連結

※ねじレスショートアングルの断面で説明しています。
※連結前に連窓方立の上下を確認してください。（図1）
①連窓方立をFIX枠にはめ込みます。
※連窓方立に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。
その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。

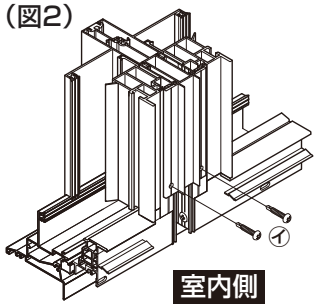
（図1）



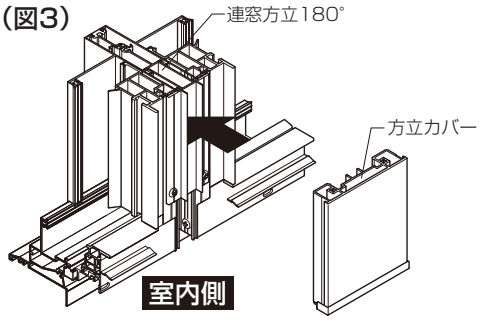




②FIX枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。（㋑のねじ）
※下端のみサッシ枠に下穴があいています。（サッシ枠に取付いているプッシュボタンは取外してください。）（図2）
それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
③方立カバーは、方立カバーに取付いている端部ピースとサッシアングルの位置を合わせはめ込みます。（図3）
※連窓方立浴室用と連窓方立では方立カバーの取付け位置が異なります。（図4）
※方立カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。（ねじレスショートアングルの場合のみ）

（図2）

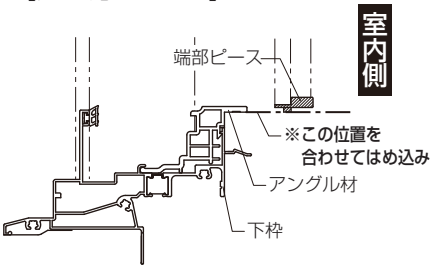



（図3）

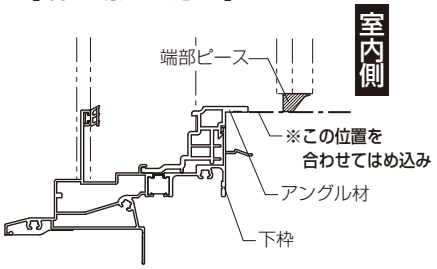



（図4）

【連窓方立180°】



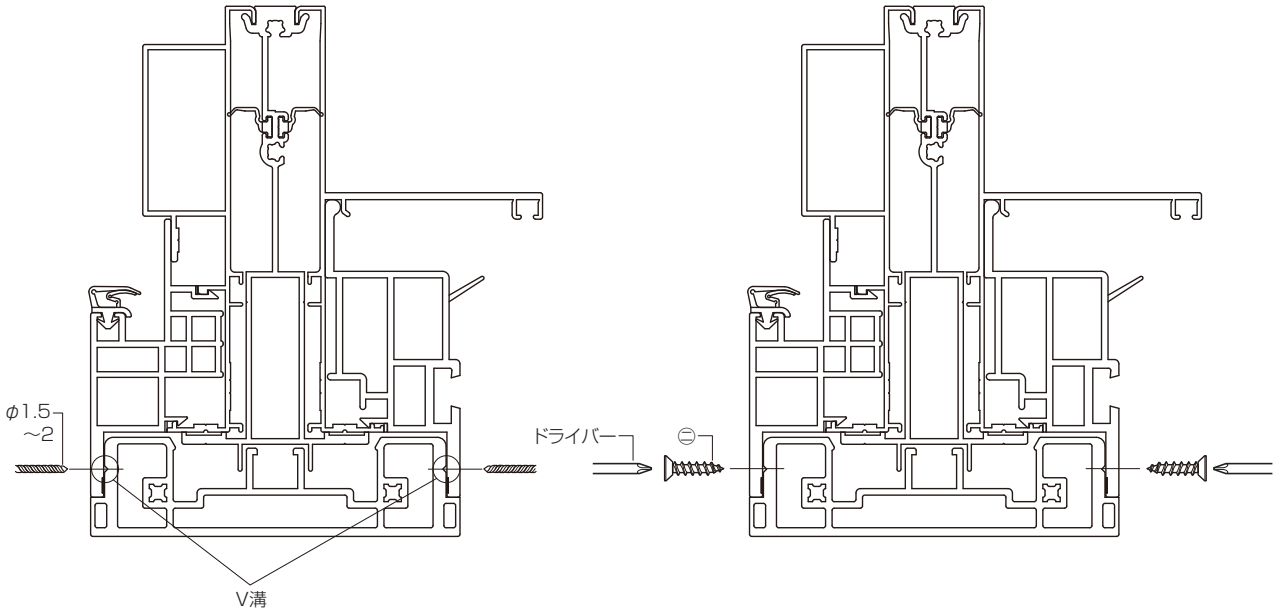

【浴室用連窓方立】



## 【ねじ付アングルの場合】

④サッシ本体のアングル取付け穴から立方のV溝に、
φ1.5～2のドリルで下穴を開けます。

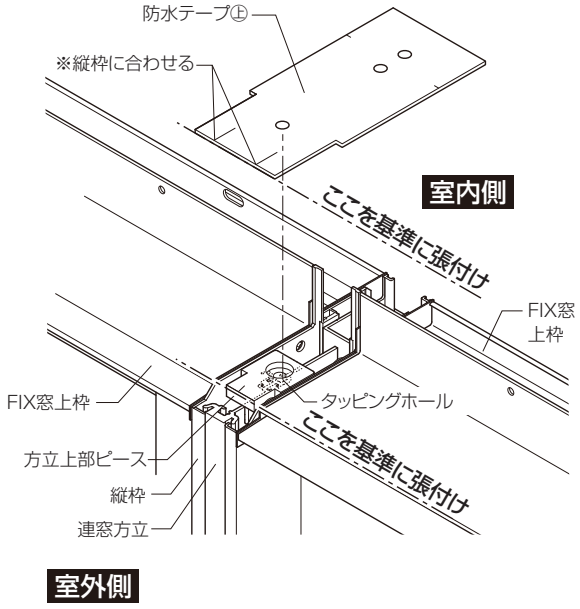
⑤アングル取付けねじを取付けます。
※方位カバーの浮き･ガタツキがないことを確認してください。
※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
※アングルねじの締めすぎに注意してください。
形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。



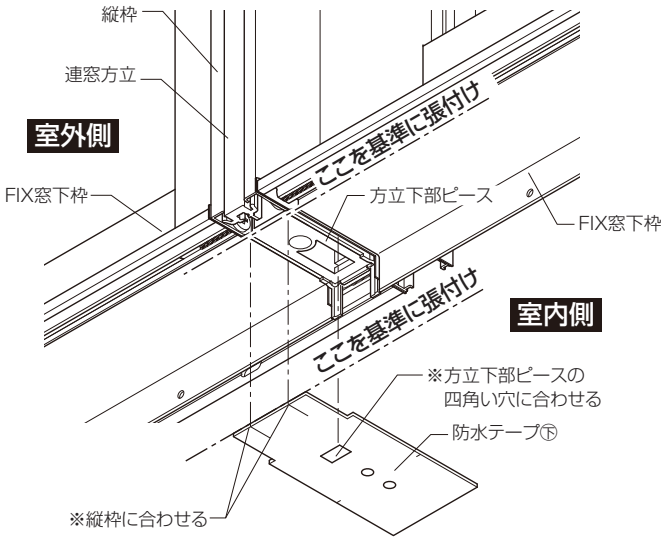

### 4防水テープの張付け

●防水テープを張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。
①上部は、防水テープ㊤を上枠先端に合わせ、防水テープ㊤の切込みをサッシ縦枠に合わせます。（図3㊤）
下部は、防水テープ㊦を方立下部ピース先端に合わせ、防水テープ㊦の切込みをサッシ縦枠に合わせます。（図3㊦）

（図3㊤）

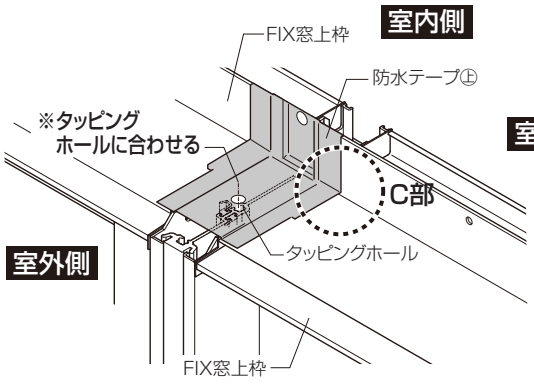



（図3㊦）

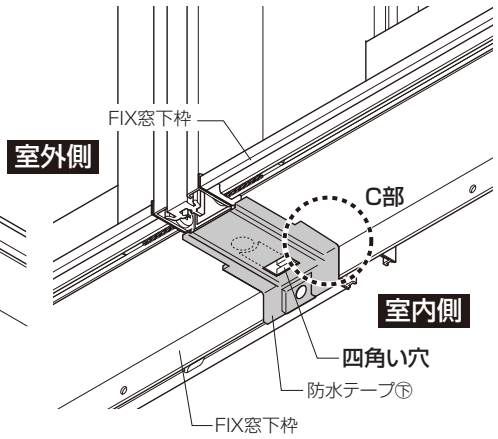


②上部は、防水テープ㊤の穴位置と連窓方立のタッピングホールを合わせ、サッシ枠に沿って張ります。（図4㊤）
　下部は、防水テープ㊦の穴位置と方立下部ピースの四角い穴位置を合わせ、サッシ枠に沿って張ります。（図4㊦）
※コーナー部は、必ず押さえてすき間があかないようにしてください。

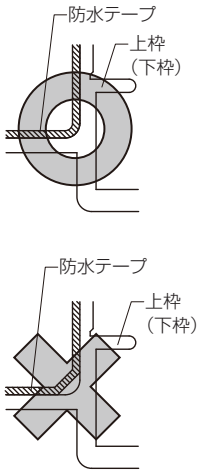
（図4㊤）




（図4㊦）



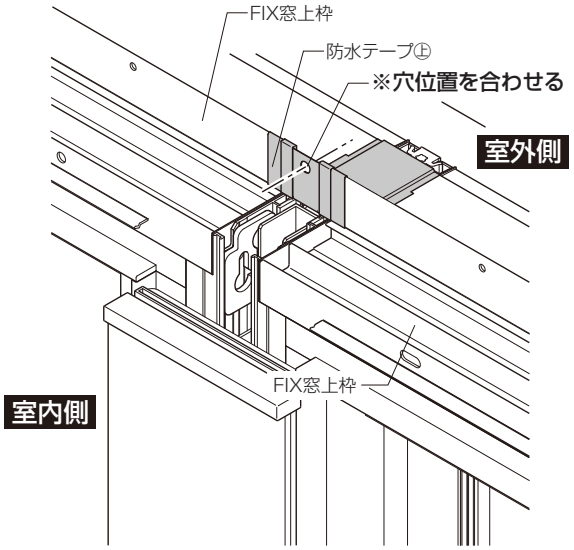

■C部詳細図



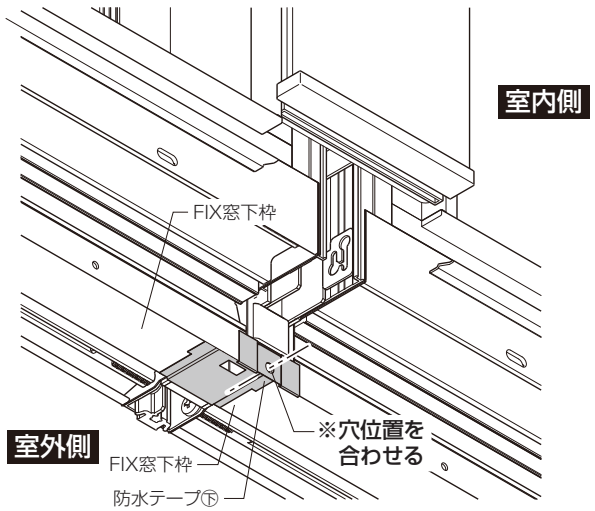

③防水テープ切込み部で釘打ちフィンを折り返し、釘打ちフィン裏側まで張ります。
※防水テープの2つの穴位置を合わせて折り返してください。（図5㊤㊦）

**⚠ 注　意**
●防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。

（図5㊤）




（図5㊦）



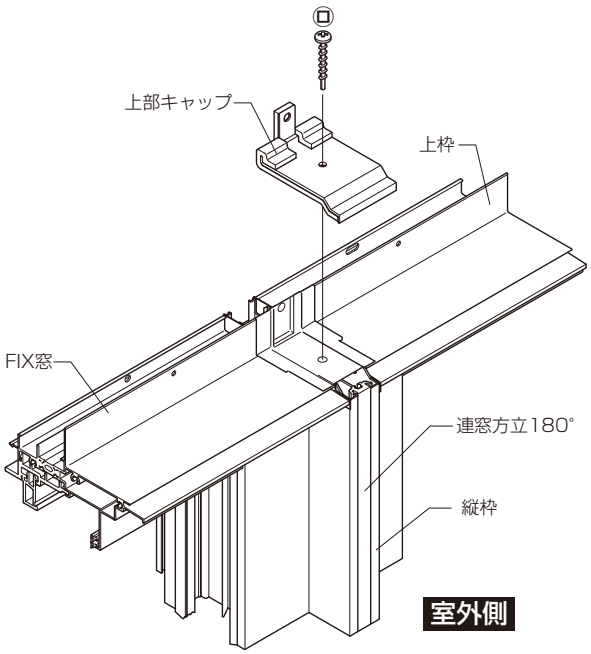
## 5 上・下キャップの取付け

●連結部の上・下にキャップをねじ止めします。
※キャップには上・下がありますので確認してください。
※下部キャップは、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。

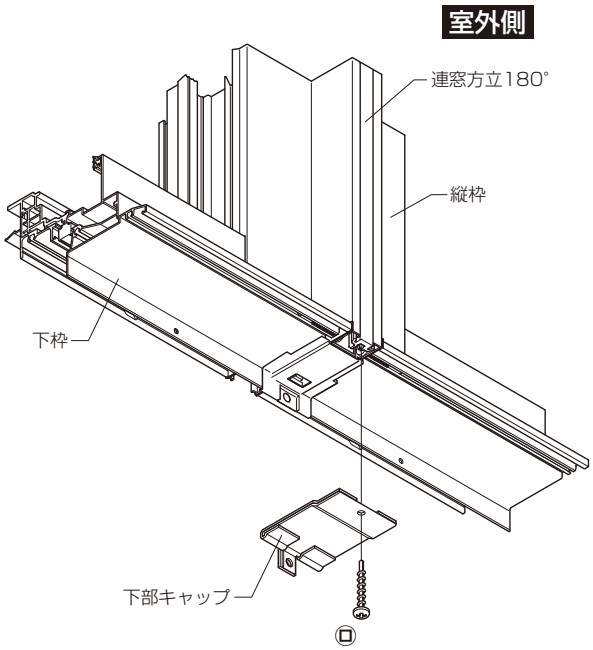
**⚠ 注 意**

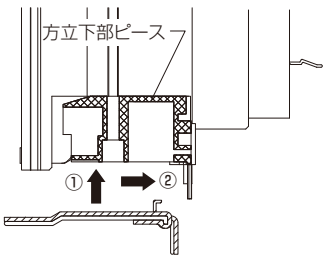
●ねじは、2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

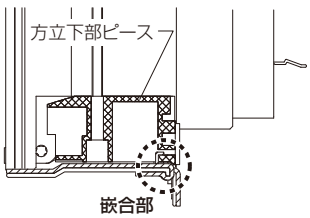
【上キャップの取付け】




【下キャップの取付け】



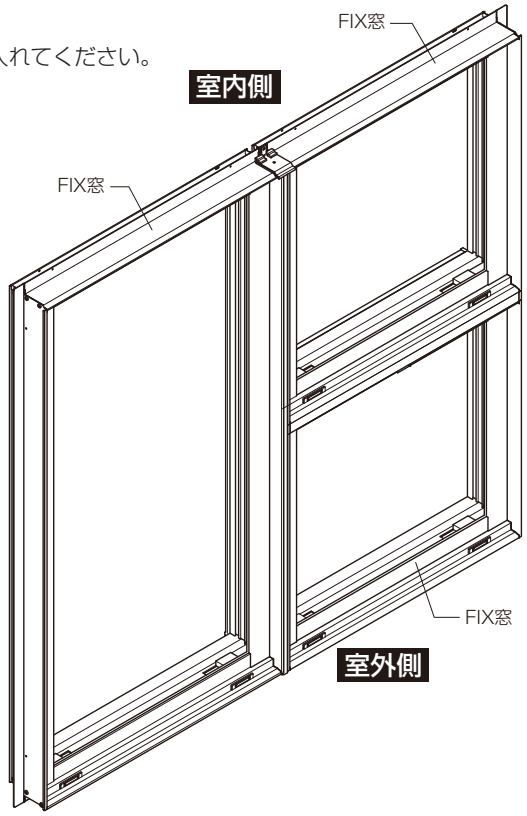



## ■連段窓の場合の組立て順序

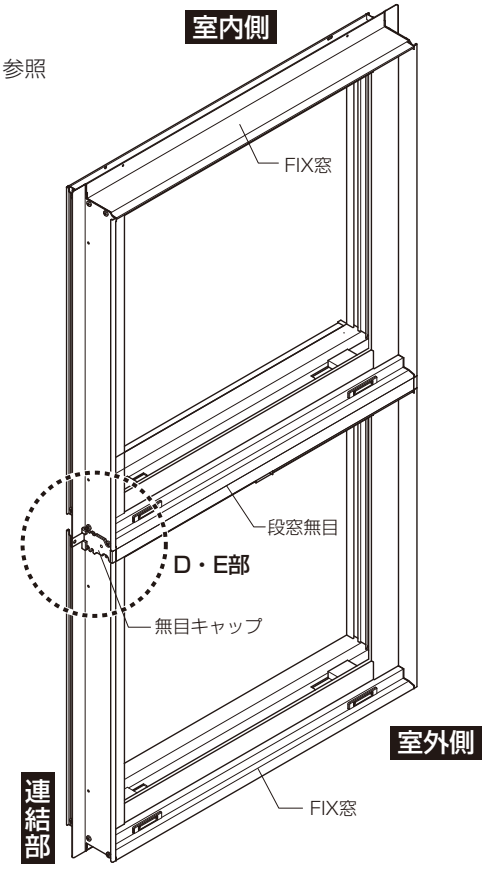
### 【組立て例：FIX窓＋FIX窓＋FIX窓】

※障子・ガラスは、枠を躯体に固定した後に入れてください。

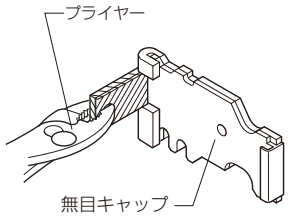



### ❶段窓部の組立て

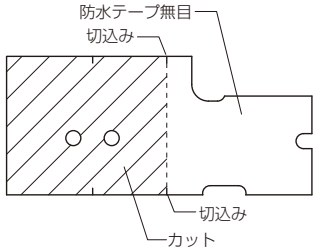
※詳細は、**「段窓無目組立て説明書」**を参照してください。
①連結部上下（室内側）に連窓用裏板を入れて組立てます。**（❶連窓用裏板の取付け）**参照
②連結部の縦枠フィンを折り取ります。**（❷縦枠フィンのカット）**参照
③無目キャップの連結部のフィンを折り取ります。（D部詳細図）
※無目キャップのV溝にカッターで1～2回スジをつけ、プライヤーなどで
▨ 部を取去ります。
④防水テープ無目の連結部をカットします。（E部詳細図）




**■D部詳細図**

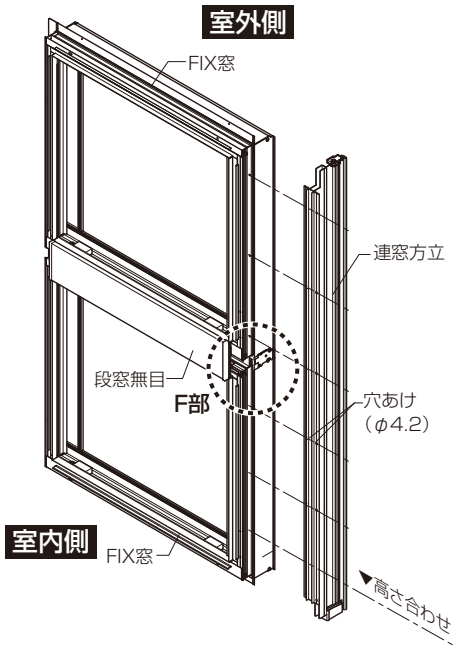


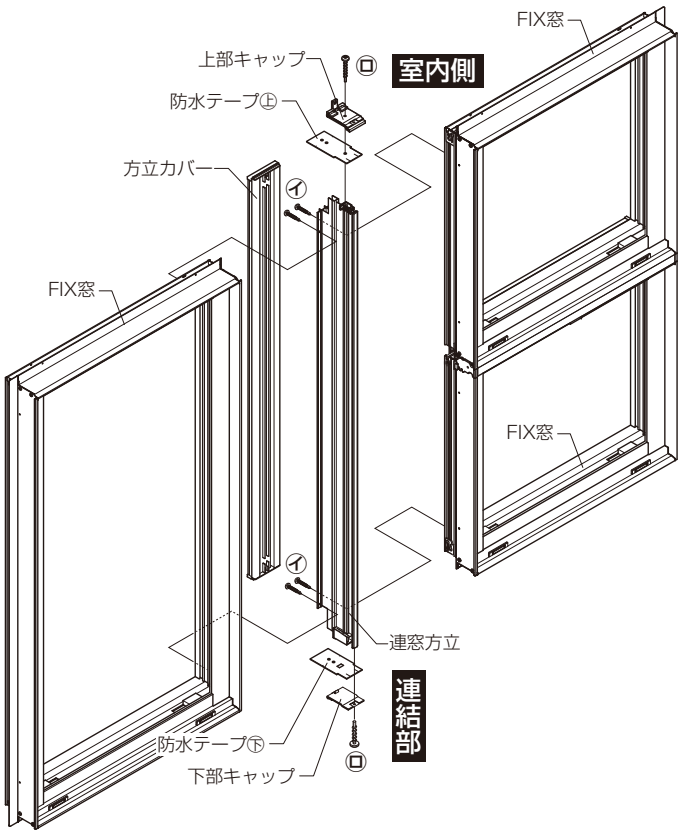

**■E部詳細図**



## 2連窓部の組立て

①組立て順序「**3連窓方立との連結**」を参照してください。
※連窓方立の穴が、F部の段窓サッシの縦枠（連結する相手部材）がない部分にきた場合、連窓方立の穴を上又は下にずらして穴（φ4.2）をあけてください。
②組立て順序「**4防水テープの張付け**、**5上・下キャップの取付け**」を参照してください。



# 有償品　連窓方立180°

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

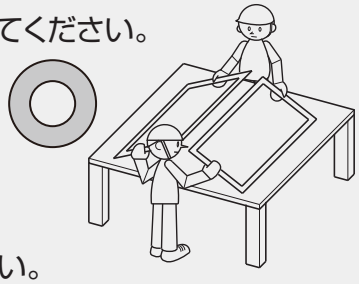
## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠ 注　意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠釘打フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。
- 連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- 浴室には浴室用連窓方立を使用してください。
- シール材を欠損させたまま組立てたり、浮きやズレがないようにしてください。
- サイズ･重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。
- ねじ止めは、連窓方立の溝とFIX枠の溝を一致させてください。
- 嵌合にズレやすき間がないようにしてください。
- 防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
- 下部キャップは、ツメが変形していないこと、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。
- 上･下キャップの取付けには、電動ドライバーは使用しないでください。
- ねじは2.5±0.5N･m{25±5kgf･cm}のトルクで止めた後、ゆるみ･ガタツキがないこと、また排水穴にすき間があることを確認してください。
- 排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。

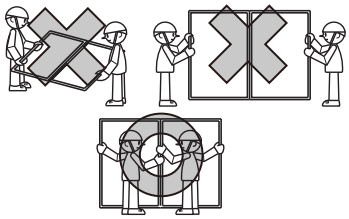


## ■組立て上のお願い

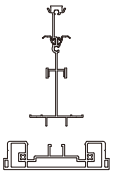
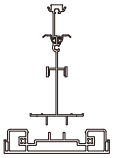
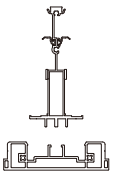
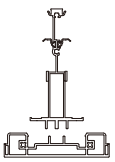
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
●枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
●連窓後の取付けは、「連窓方立取付け説明書」を参照してください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



## ■連窓方立180°の種類

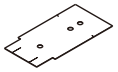
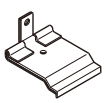
| 連窓方立180°（マド） | |
|---|---|
| 【ねじ付アングル】 | 【ねじレスショートアングル】 |
|  |  |
| 連窓方立180°（テラス） | |
| 【ねじ付アングル】 | 【ねじレスショートアングル】 |
|  |  |

## ■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
※㊀は取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡しください。

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ねじ付アングルに同梱 ㋥ |
|---|---|---|---|
| | | | |
| なべドリルねじ φ4×8 | バインドタッピンねじ φ4×20 | 皿木ねじ φ3.8×25 | 皿タッピンねじ φ4×12 |
| 組立て用 | | 躯体取付け用 | アングル取付けねじ |

## ■部品一覧表

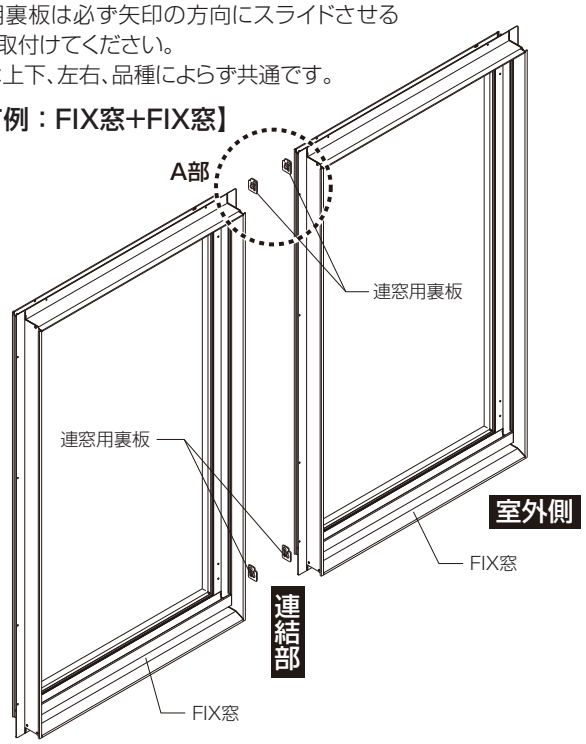
| |  | |  | |
|---|---|---|---|---|
| 連窓用裏板 | 防水テープ㊤ | 防水テープ㊦ | 上部キャップ | 下部キャップ |

## ■組立て順序

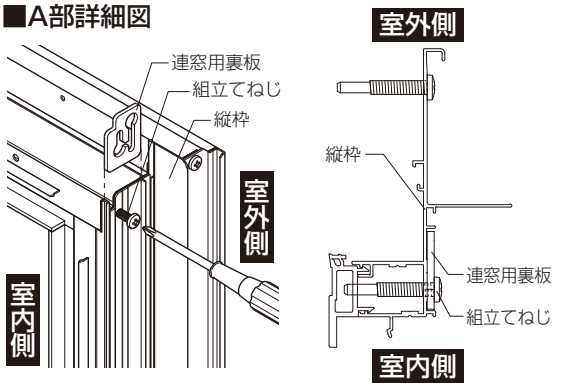
### ❶連窓用裏板の取付け

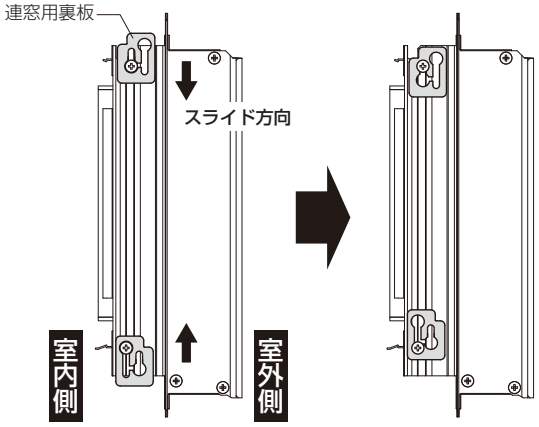
●連結部上下（室内側）に連窓用裏板を入れ、枠をそれぞれ組立てます。
①連結側縦枠上下2ヵ所の室内側組立てねじをゆるめます。
②ゆるめたねじ頭に連窓用裏板の丸穴を引っ掛けてスライドさせ、ねじを締直してください。
連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。
※裏板は上下、左右、品種によらず共通です。

**【組立て例：FIX窓+FIX窓】**



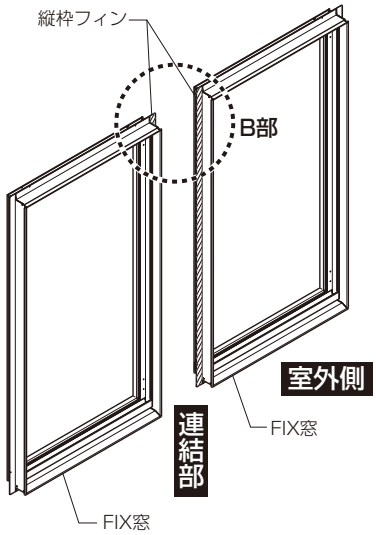

■A部詳細図



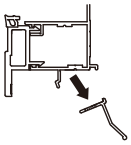




### ❷連結する側の縦枠釘打フィンのカット

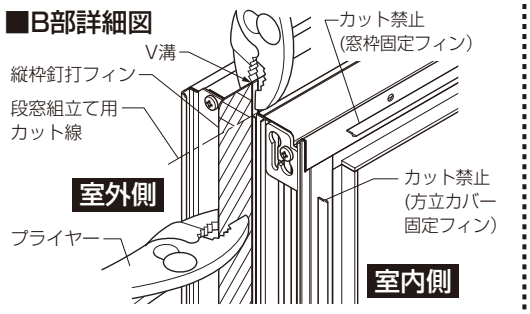
※規格品の場合、▨部は折り取り済みです。
①連結する側の縦枠釘打フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
②プライヤーなどで▩部を、次に▨部を折り曲げながら取去ります。
※縦枠上部は、カットしない部分をプライヤーなどで固定して折り取ってください。




お願い
※連結部の縦枠にブラケットがついている場合ははずしてください。

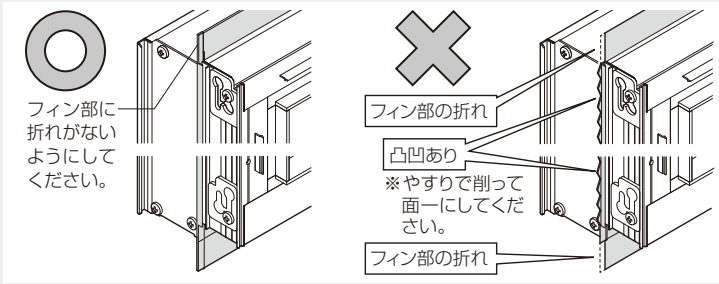


■B部詳細図




**⚠注　意**

●縦枠釘打フィンのカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。方立部との圧着が弱くなり、漏水の原因になるおそれがあります。



## 3連窓方立との連結

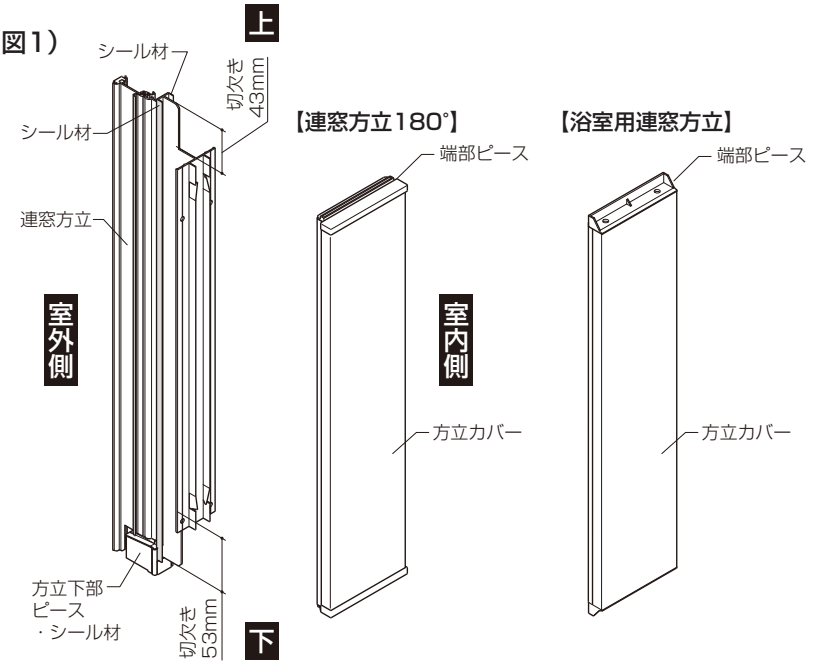
※以下の説明は連窓方立180°／ねじレスショートアングルで説明しています。
浴室用連窓方立と仕様が違う個所は別途記載しております。

※連結前に連窓方立の上下を確認してください。（図1）
（方立カバーに上下はありません。）

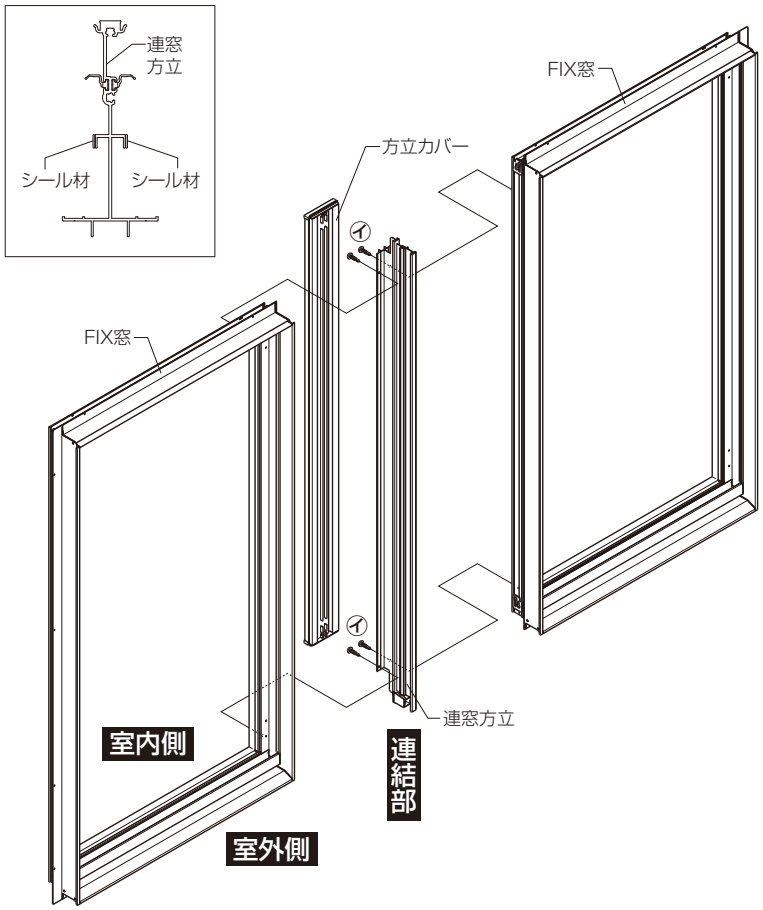
**⚠ 注 意**

●浴室には浴室用連窓方立を使用してください。

（図1）

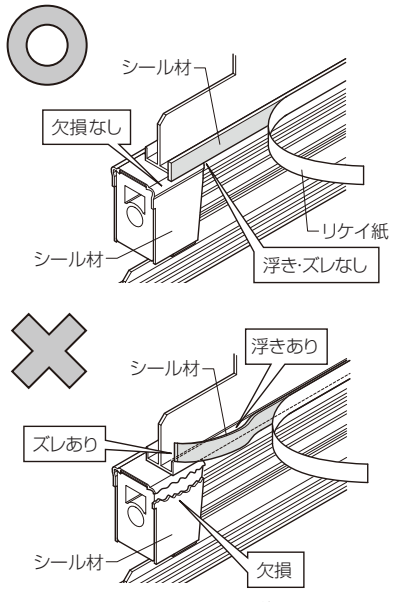



①連窓方立をFIX枠にはめ込みます。
※連窓方立に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。




**⚠ 注 意**

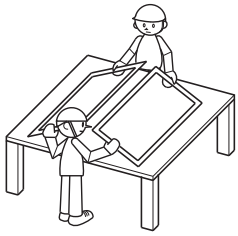
●連窓方立に張付けてあるシール材は浮きやズレがないようにリケイ紙をゆっくり剥がしてください。また、シール材を欠損させたまま組立てないでください。漏水の原因になるおそれがあります。その場合は、部品を交換してください。




※部品を交換してください。

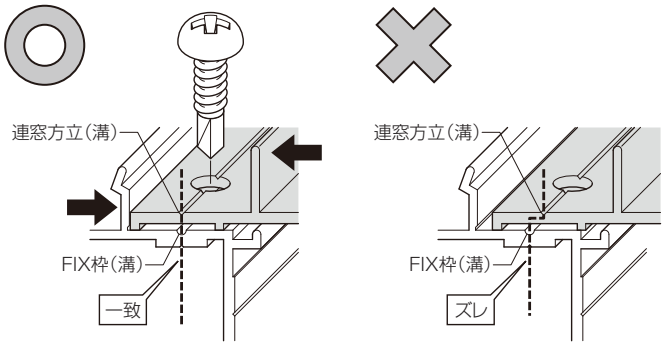
## ⚠注　意

●サイズ･重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。



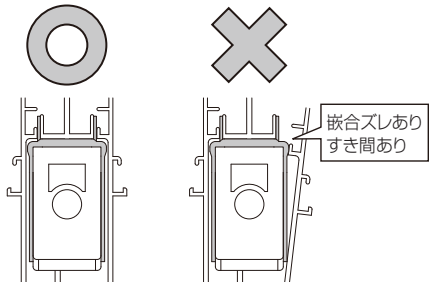
## ⚠注　意

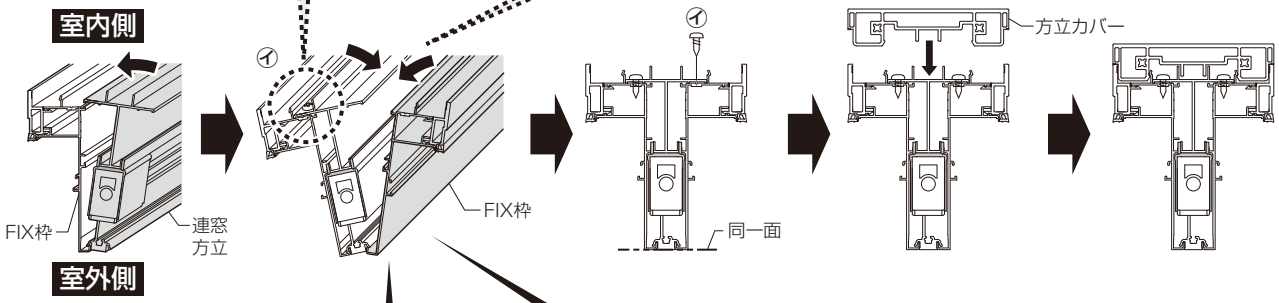
●ねじ止めは、連窓方立の溝とFIX枠の溝を一致させてください。




## ⚠注　意

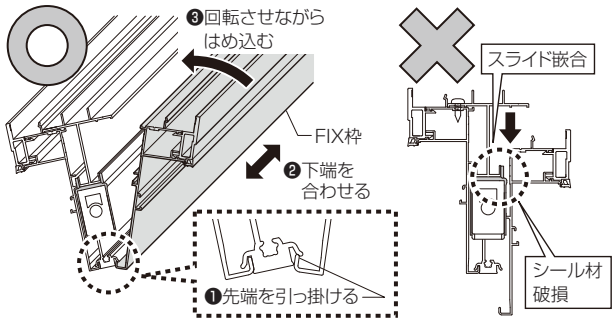
●嵌合にズレやすき間がないようにしてください。漏水の原因になるおそれがあります。



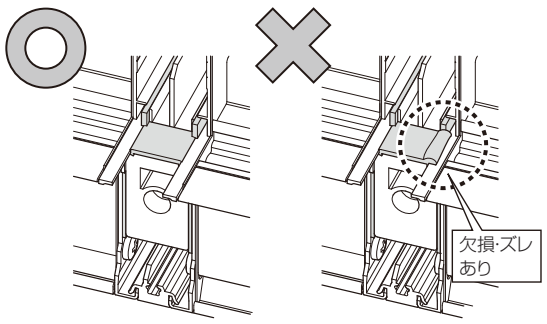

## ⚠注　意

●方立と縦枠の連結は下記の手順で行ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



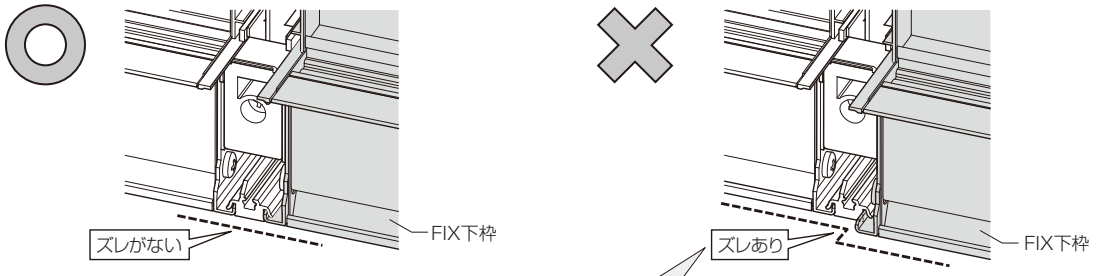

## ⚠注　意

●連結後シール材に欠損、ズレがないようにしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

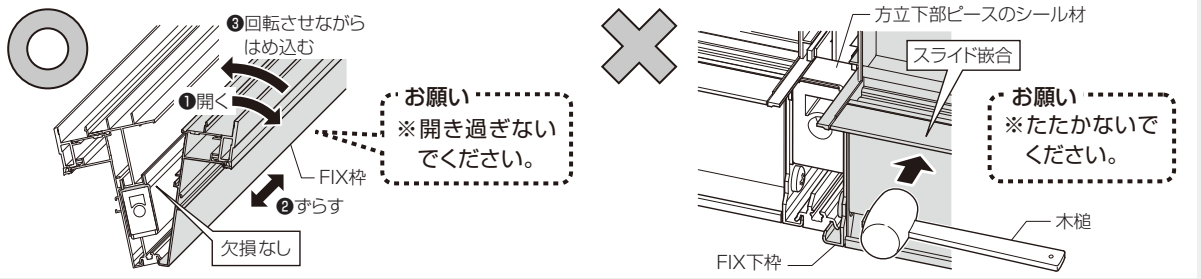


## ⚠注　意

●下側を基準に嵌合にズレがないようにしてください。上下キャップ取付けの際、圧着が弱まり、漏水の原因になるおそれがあります。

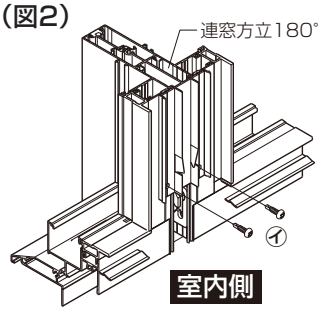



●ズレがある場合は下図の手順に従って修正してください。方立下部ピースのシール材が切れ、漏水の原因になるおそれがあります。

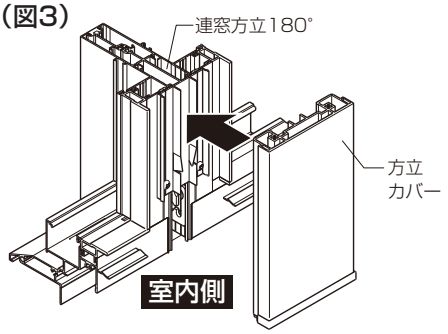



②FIX枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めします。(㋑のねじ)
※下端のみサッシ枠に下穴があいています。(サッシ枠に取付いているプッシュボタンは取外してください。)(図2)
それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
③方立カバーは、方立カバーに取付いている端部ピースとサッシアングルの位置を合わせはめ込みます。(図3)
※連窓方立と連窓方立浴室用では方立カバーの取付け位置が異なります。(図4)
※方立カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。(ねじレスショートアングルの場合のみ)

(図2)

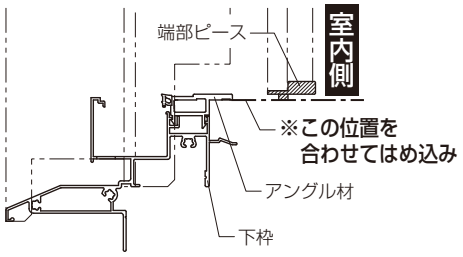



(図3)

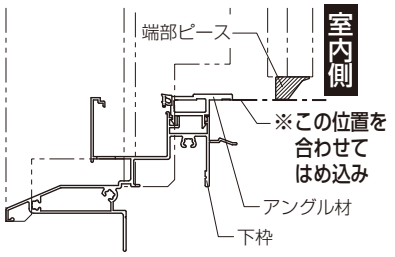



(図4)

【連窓方立180°】

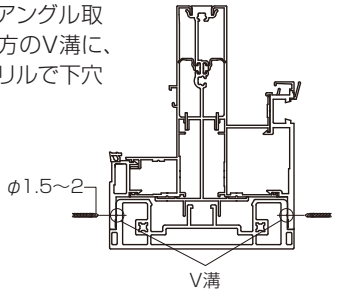



【浴室用連窓方立】

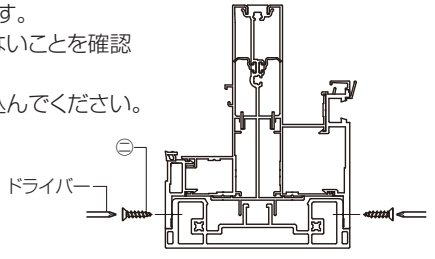



### 【ねじ付アングルの場合】

④サッシ本体のアングル取付け穴から立方のV溝に、φ1.5～2のドリルで下穴を開けます。



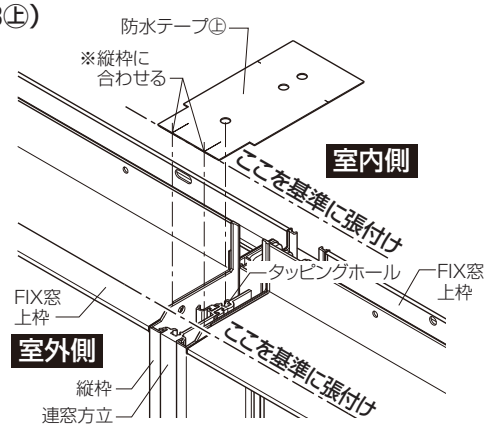

⑤アングル取付けねじを取付けます。
※方立カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。
※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
※アングルねじの締めすぎに注意してください。
形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。



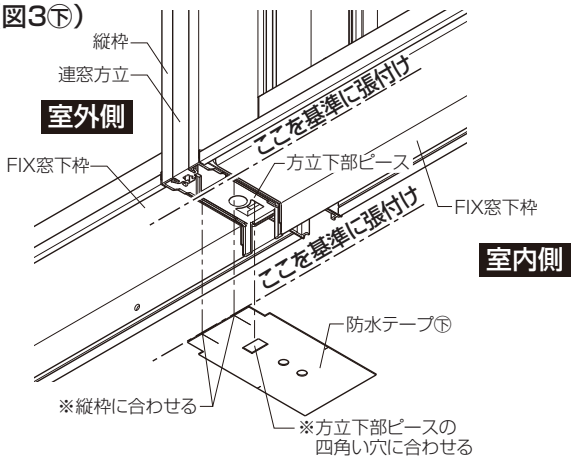
## 4 防水テープの張付け

●防水テープを張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。
①上部は、防水テープ㊤を上枠先端に合わせ、防水テープ㊤の切込みをサッシ縦枠に合わせます。（図3㊤）
　下部は、防水テープ㊦を方立下部ピース先端に合わせ、防水テープ㊦の切込みをサッシ縦枠に合わせます。（図3㊦）

（図3㊤）

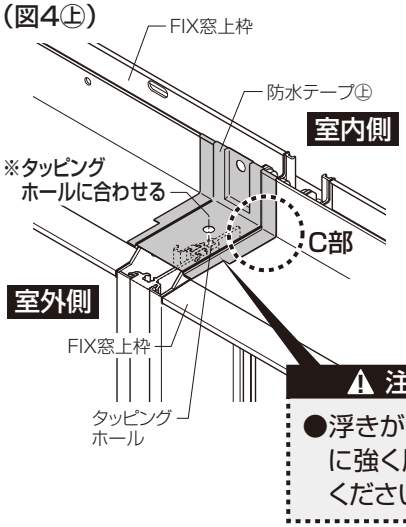



（図3㊦）

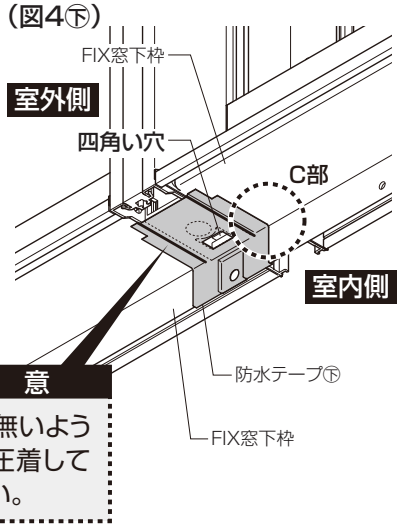



②上部は、防水テープ㊤の穴位置と連窓方立のタッピングホールを合わせ、サッシ枠に沿って張ります。（図4㊤）
　下部は、防水テープ㊦の穴位置と方立下部ピースの四角い穴位置を合わせ、サッシ枠に沿って張ります。（図4㊦）
※コーナー部は、必ず押さえてすき間があかないようにしてください。

（図4㊤）



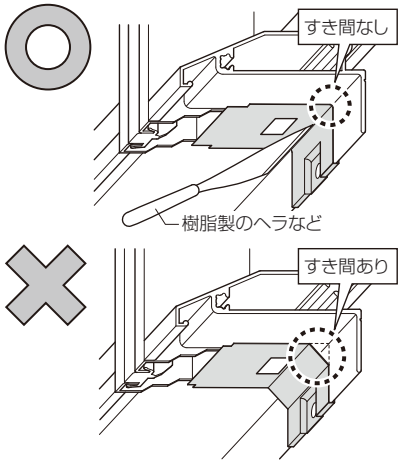

（図4㊦）




**⚠ 注 意**
●浮きが無いように強く圧着してください。

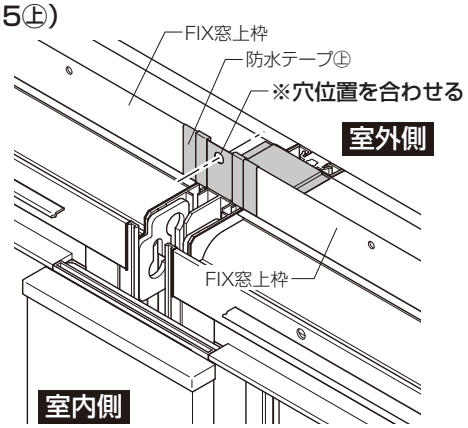
**⚠ 注 意**
●防水テープはサッシ枠に沿って必ず圧着してください。また、押え過ぎて切れないようにしてください。
漏水の原因になるおそれがあります。

■C部詳細図 ※図は下枠を示します。上枠も同様に圧着してください。

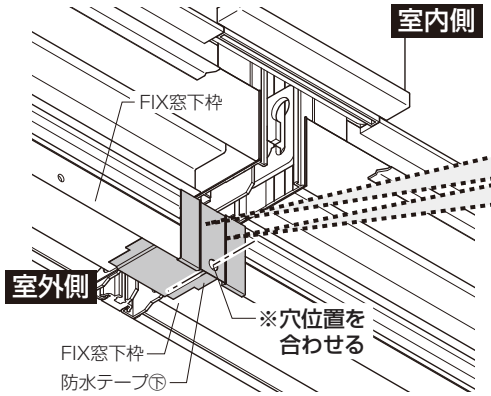



③防水テープ切込み部で釘打ちフィンを折り返し、釘打ちフィン裏側まで張ります。
※防水テープの2つの穴位置を合わせて折り返してください。（図5㊤㊦）

（図5㊤）




（図5㊦）

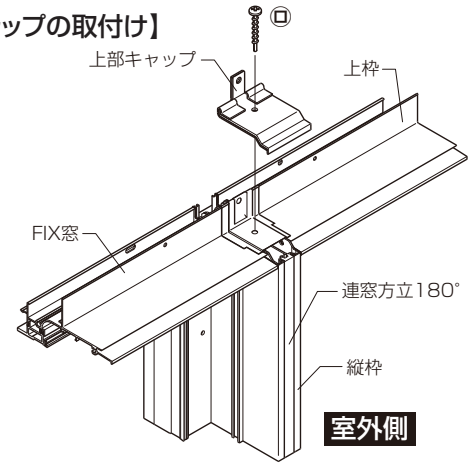



**⚠ 注 意**
●浮きが無いように強く圧着してください。

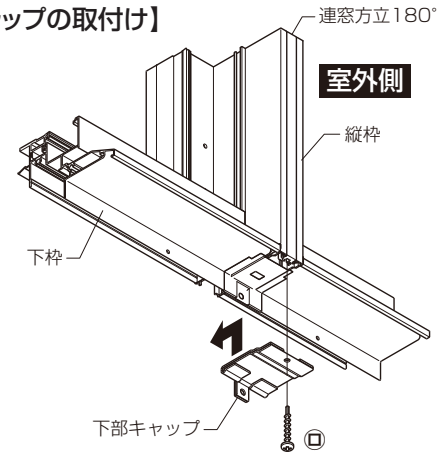
## 5 上・下キャップの取付け

●連結部の上・下にキャップをねじ止めします。
※キャップには上・下がありますので確認してください。

【上キャップの取付け】

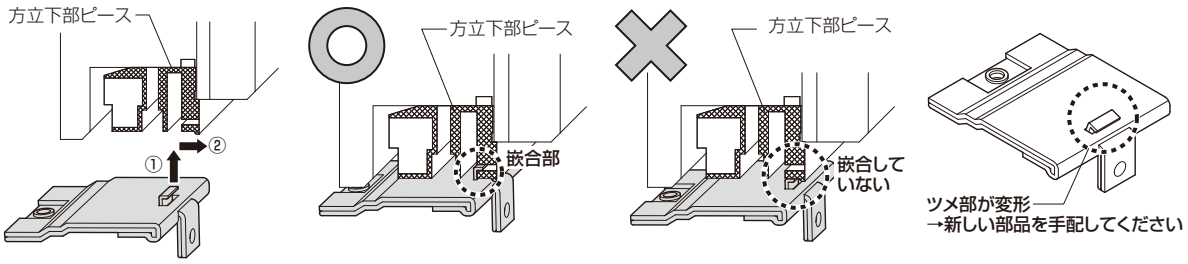



【下キャップの取付け】

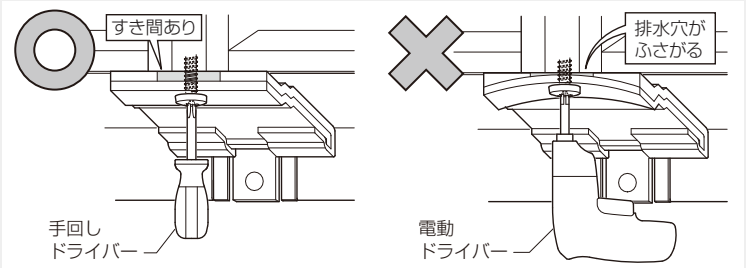



### ⚠ 注　意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・下部キャップは、ツメが変形していないこと、方立下部ピースに嵌合していることを確認してください。



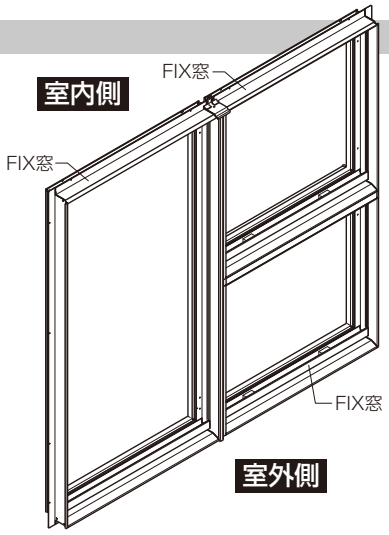

・電動ドライバーは使用しないでください。
・ねじは、2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないこと、また排水穴にすき間があることを確認してください。




### ■連段窓の場合の組立て順序

【組立て例：FIX窓＋FIX窓＋FIX窓】

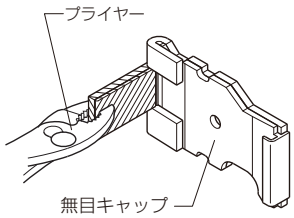
※障子・ガラスは、枠を躯体に固定した後に入れてください。



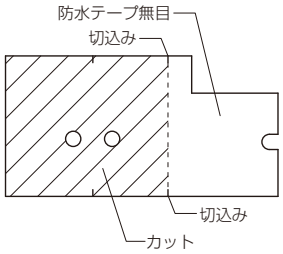
## ❶段窓部の組立て

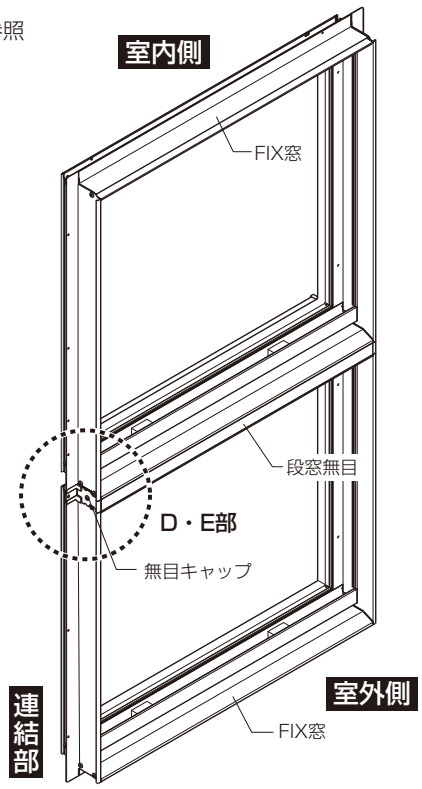
※詳細は、**「段窓無目組立て説明書」**を参照してください。
①連結部上下（室内側）に連窓用裏板を入れて組立てます。**（❶連窓用裏板の取付け）**参照
②連結部の縦枠フィンを折り取ります。**（❷縦枠フィンのカット）**参照
③無目キャップの連結部のフィンを折り取ります。（D部詳細図）
※無目キャップのV溝にカッターで1～2回スジをつけ、プライヤーなどで
▨部を取去ります。
④防水テープ無目の連結部をカットします。（E部詳細図）

**■D部詳細図**



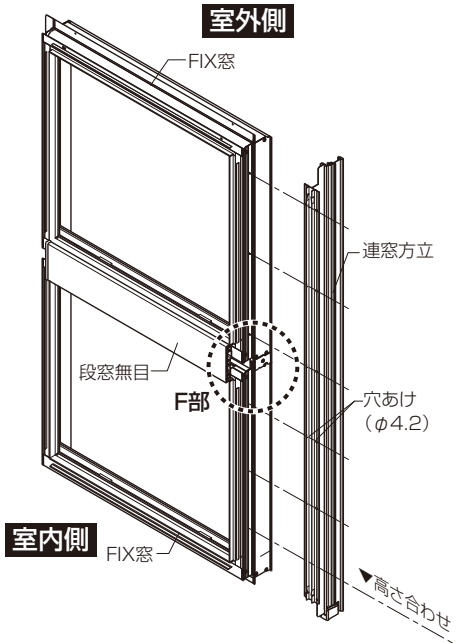

**■E部詳細図**

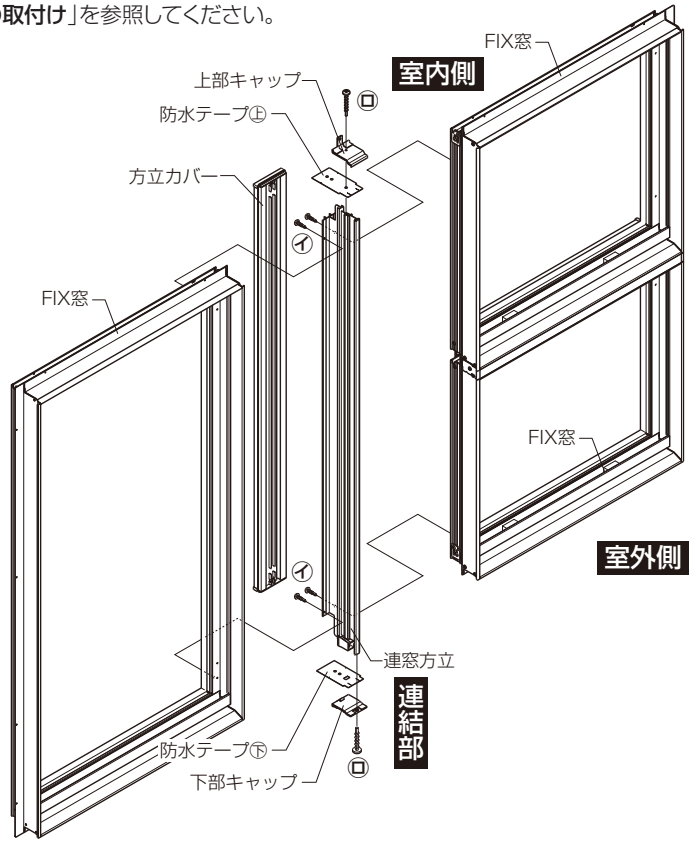



## ❷連窓部の組立て

①組立て順序「**❸連窓方立との連結**」を参照してください。
※連窓方立の穴が、F部の段窓サッシの縦枠（連結する相手部材）がない部分にきた場合、連窓方立の穴を上または下にずらして穴（φ4.2）をあけてください。
②組立て順序「**❹防水テープの張付け、❺上・下キャップの取付け**」を参照してください。



# 有償品　連窓方立180°

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。　※□内は、ロットNO. 表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

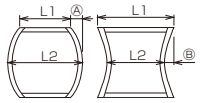
**⚠注 意**

●本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・サッシ枠との張り合わせ部分・防水テープの上下キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・指定のねじで必ず、上・下キャップを固定してください。
・浴室にご使用の場合は必ず、浴室用連窓方立をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ・米松など）の場合は、φ 2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

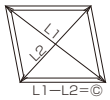
■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠対角差




| C |
|---|
| 2 |

■サッシ上下枠の内反り・外反り

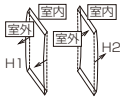
| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

■サッシ枠のねじれ

| F |
|---|
| 2 |

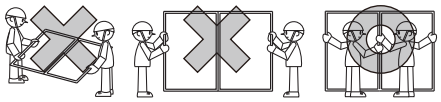
■サッシ枠の室内外の反り




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



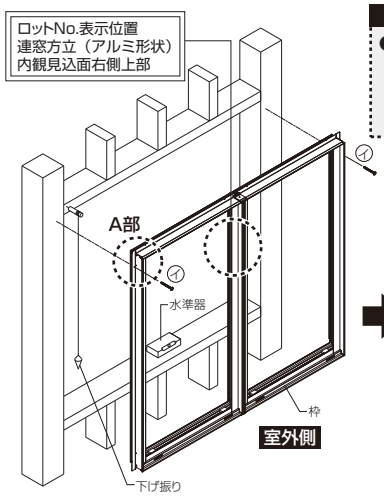
## ■ねじ一覧表

| ㋑～㋩ | ㋥ |
|---|---|
| | |
| 枠取付けねじ（低頭ねじ）φ3.1×32 | 皿木ねじφ3.8×25 |

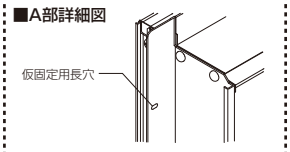
## ■取付け順序

**❶枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。




■A部詳細図

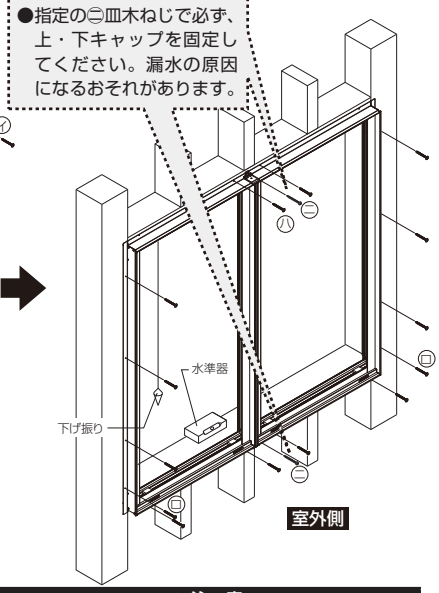



**❷枠の調整と固定**

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじⒷを固定します。
枠の対角差を調整後、その他のねじ㋐、㋒を固定します。

**⚠注 意**

●指定の㋒皿木ねじで必ず、上・下キャップを固定してください。漏水の原因になるおそれがあります。

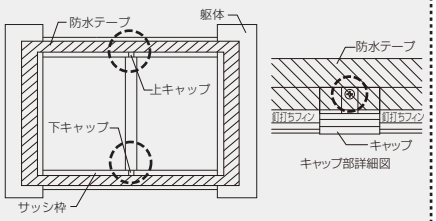



**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

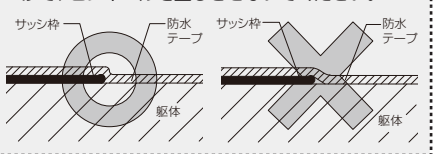
**⚠注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
●防水テープの上下キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。




**⚠注 意**

●サッシ枠との張り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。



# 有償品　連窓方立180°

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

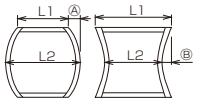
**⚠注 意**

●本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。取付け対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。
・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・サッシ枠との張り合わせ部分・防水テープの上下キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・指定のねじで必ず、上・下キャップを固定してください。
・浴室にご使用の場合は必ず、浴室用連窓方立をご使用ください。

## ■取付け上のお願い

●サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**

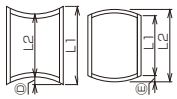



| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**

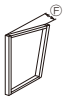
| C |
|---|
| 2 |

**■サッシ上下枠の内反り・外反り**



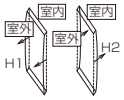

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

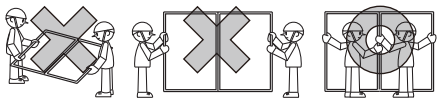
**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



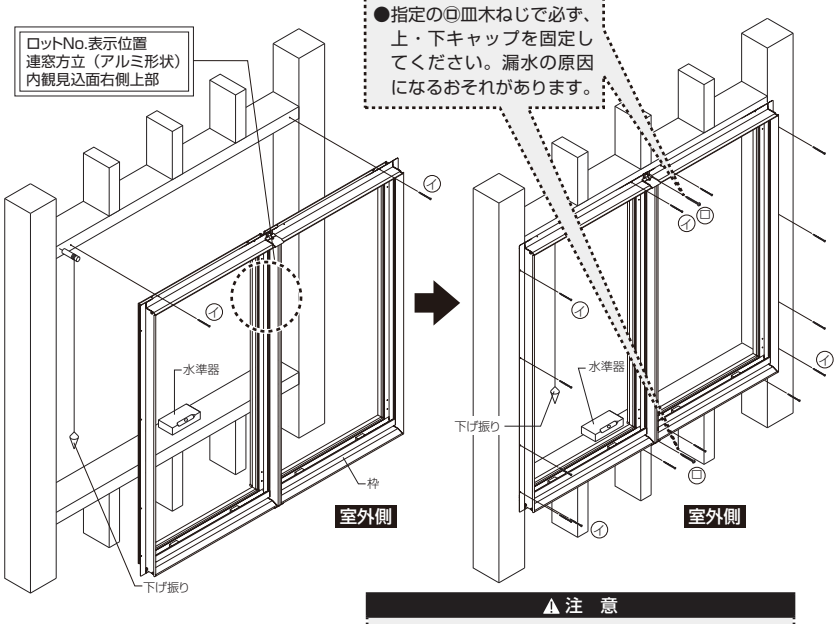
## ■ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ |
|---|---|
| | |
| スクリュー釘φ2.1×32 | 皿木ねじφ3.8×25 |

## ■取付け順序

**❶枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。




**❷枠の調整と固定**

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後固定します。

**⚠注 意**

●指定の㋺皿木ねじで必ず、上・下キャップを固定してください。漏水の原因になるおそれがあります。

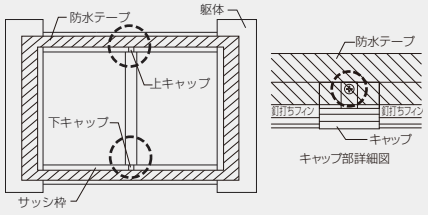



**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

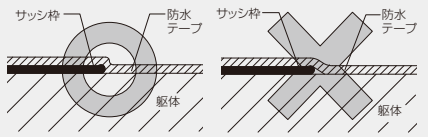
**⚠注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
●防水テープの上下キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。




**⚠注 意**

●サッシ枠との張り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。



# 有償品　連窓方立・角度枠

●この説明書は、必ず組立てされる方へお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

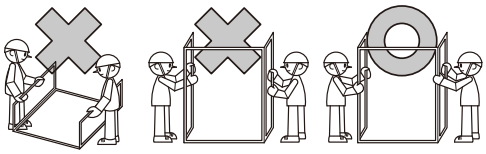
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・指定個所には必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
- ・連窓方立と角度枠に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・浴室には使用しないでください。
- ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。
- ・ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。
- ・上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール（同梱）を張付けてください。

## ■組立て上のお願い

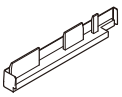
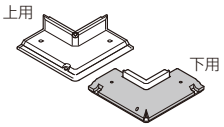
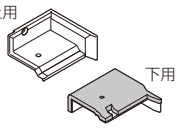
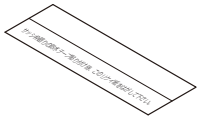
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
●枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
●連窓後の取付けは、「連窓方立・角度枠取付け説明書」を参照してください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立てた後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけると枠が変形するおそれがあります。
●移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。



## ■部品一覧表

| | | |
|---|---|---|
| 連窓用裏板 | 連窓方立用収縮かくしピース |  角度枠用収縮かくしピース |
|   連窓方立用上・下キャップ |   角度枠用上・下キャップ |  防水補助シール |

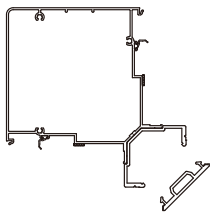
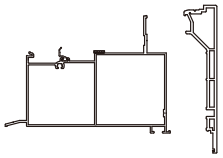
※キャップは上用・下用がありますので、ご注意ください。（組立て詳細図参照）

## ■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

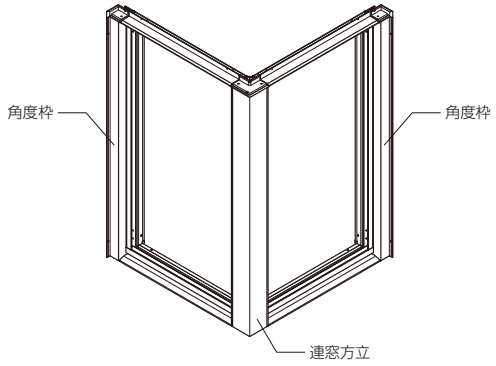
| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
| なべドリルねじ φ4×8 | 皿タッピンねじ φ4×12 | バインドタッピンねじ φ4×20 |

## ■連窓方立・角度枠の種類

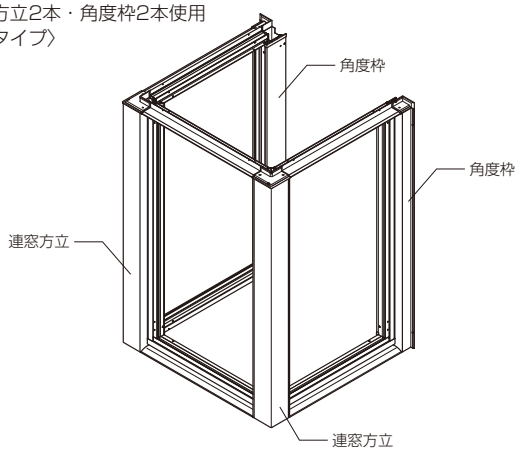
| 連窓方立 | 角度枠 |
|---|---|
|  |  |

## ■連窓方立・角度枠の使用例

●連窓方立1本・角度枠2本使用
〈L型タイプ〉



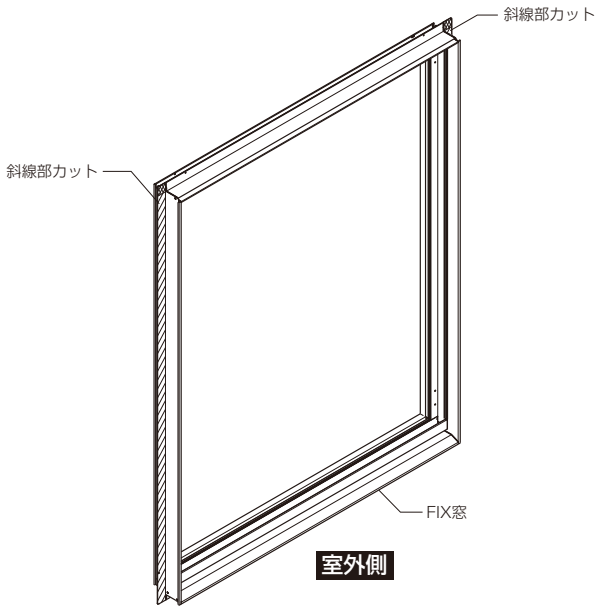

●連窓方立2本・角度枠2本使用
〈コ型タイプ〉

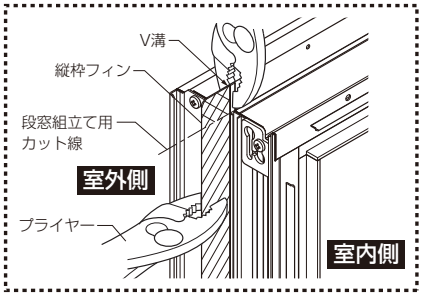



## ■組立て順序

### ❶縦枠フィンのカット

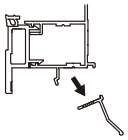
①連結する側の縦枠フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
②プライヤーなどでまず ▨ 部を、次に ▨ 部を折曲げながら取り去ります。
※縦枠上部は、カットしない部分をプライヤーなどで固定して折り取ってください。




**お願い**

●連結部の縦枠にブラケットがついている場合ははずしてください。

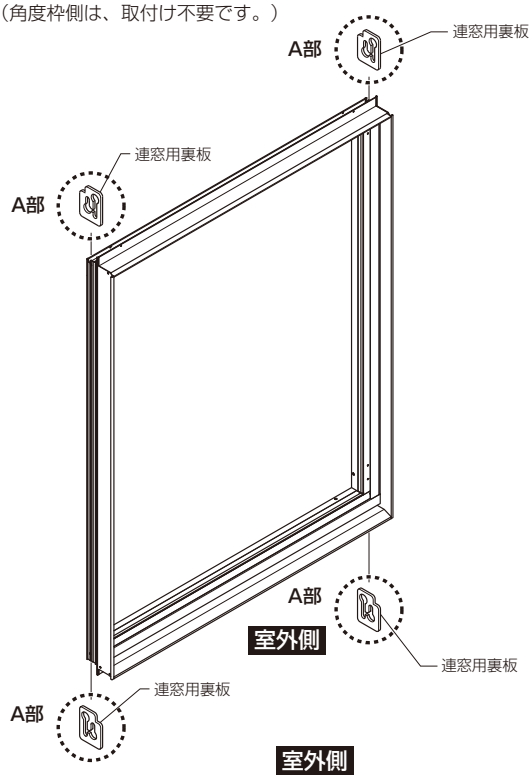


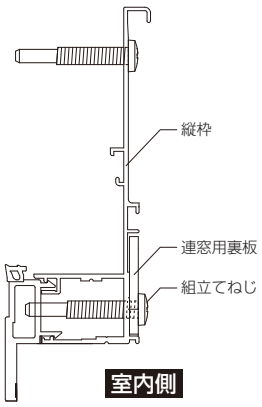
**⚠ 注 意**

●縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

### ❷連窓用裏板の取付け

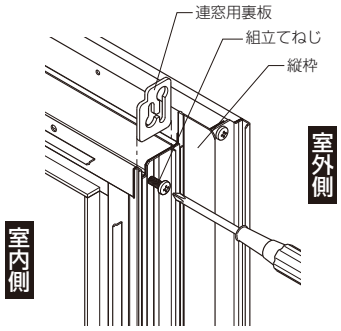
●連窓方立と連結する前に縦枠に取付けてください。
●連窓方立と連結する縦枠のみ取付けてください。（上・下2ヵ所）
（角度枠側は、取付け不要です。）

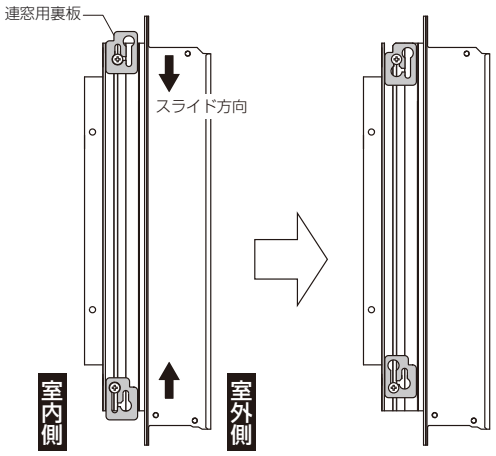


## ■A部詳細図

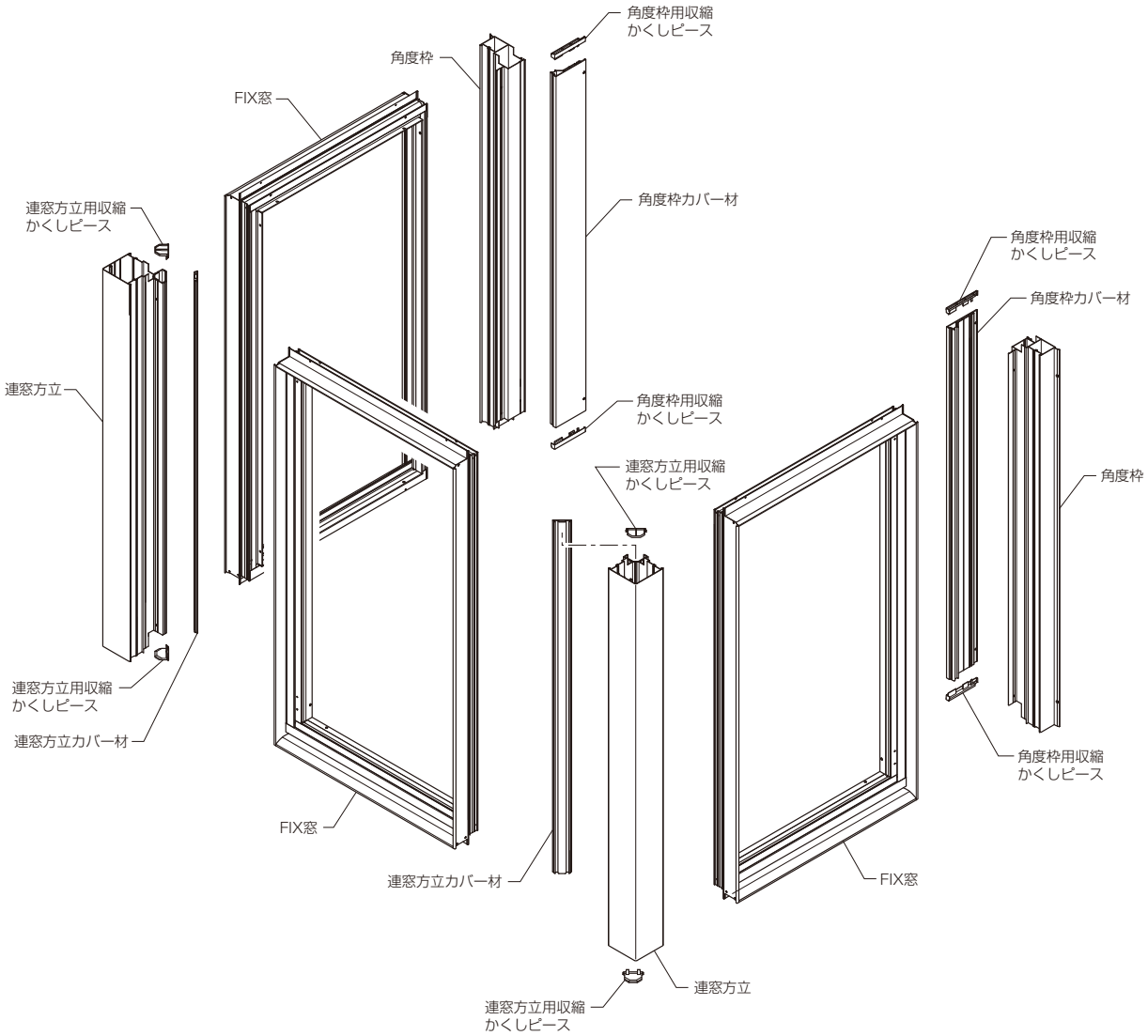
①枠組立て用ねじをゆるめて連結用裏板を図のようにはめ込みます。
②矢印の方向に連窓用裏板をいっぱいにスライドさせて、ねじを本締めしてください。
（連窓用裏板は必ず矢印の方向にスライドさせるように取付けてください。）

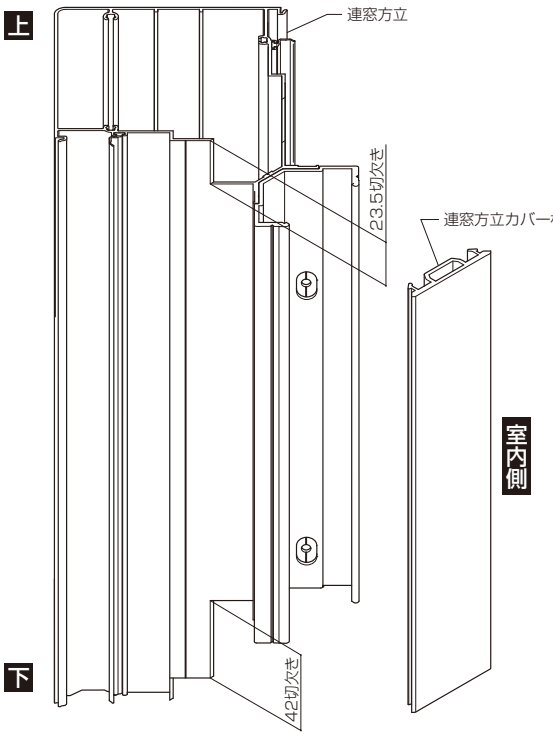


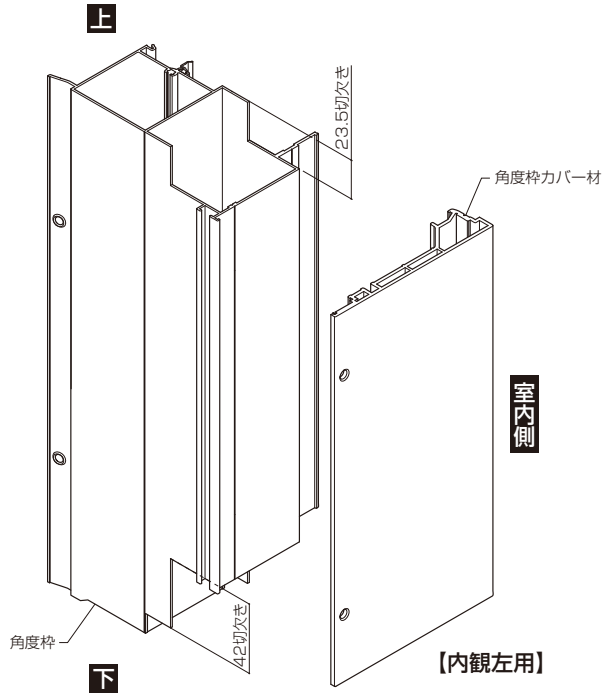




## 3部材の上下左右確認

※連結前に連窓方立と角度枠を確認してください。
●角度枠には、上・下、左右があります。組立て前によく確認してください。

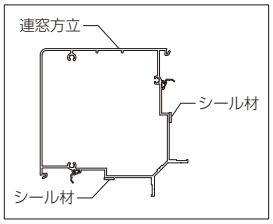


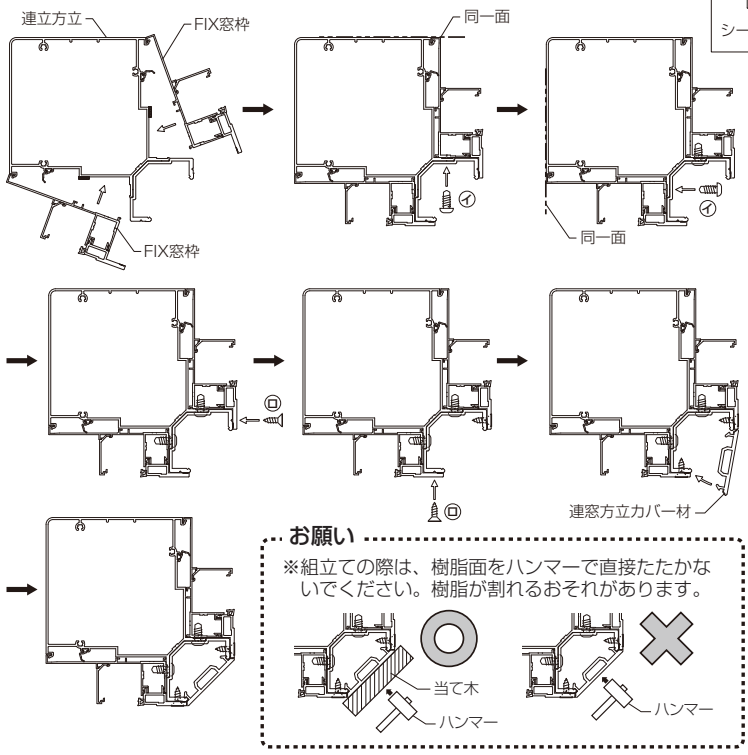



### 4連窓方立の連結と連窓方立カバーの取付け

①FIX窓縦枠のプッシュボタンを取ってから、はめ合わせをします。
②連窓方立に張付けてあるシール材のリケイ紙を、はがしてください。その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
③連窓方立をFIX窓枠にはめ込みます。
④FIX窓枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら、穴をすべて㋑でねじ止めします。
※連窓方立とサッシ縦枠の室外側が同一面になっていることを確認してください。
※下端のみサッシ枠に下穴があいています。
それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
⑤FIX窓枠のアングル部の穴をすべて㋺でねじ止めします。
⑥連窓方立用収縮かくしピースを連窓方立カバー材の上・下に差込み、連窓方立用収縮かくしピースと連窓方立カバーにすき間があかないようにして、連窓方立カバー材を連窓方立にはめ込みます。

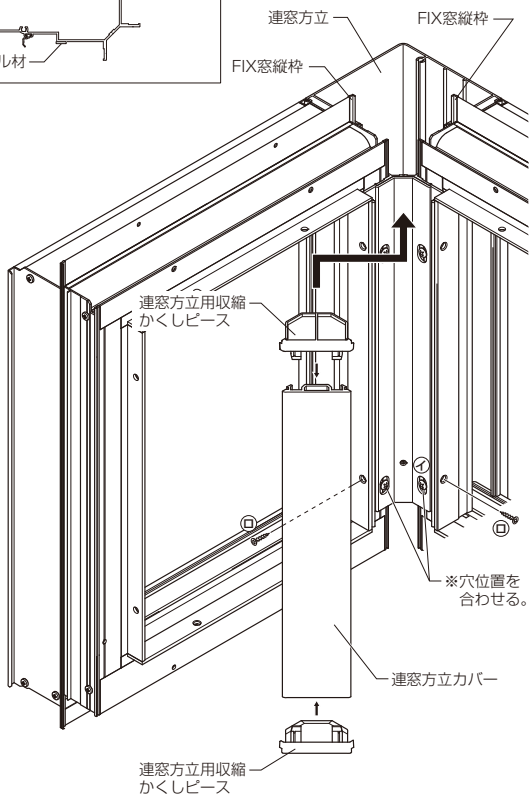



**お願い**

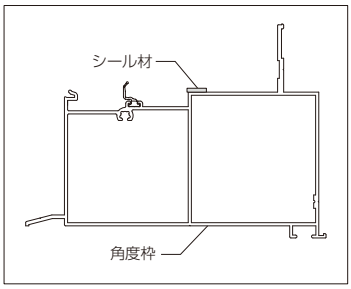
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

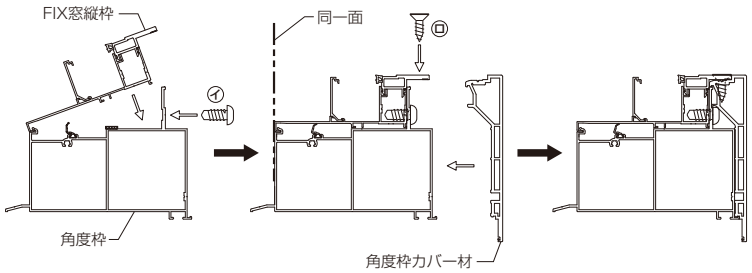


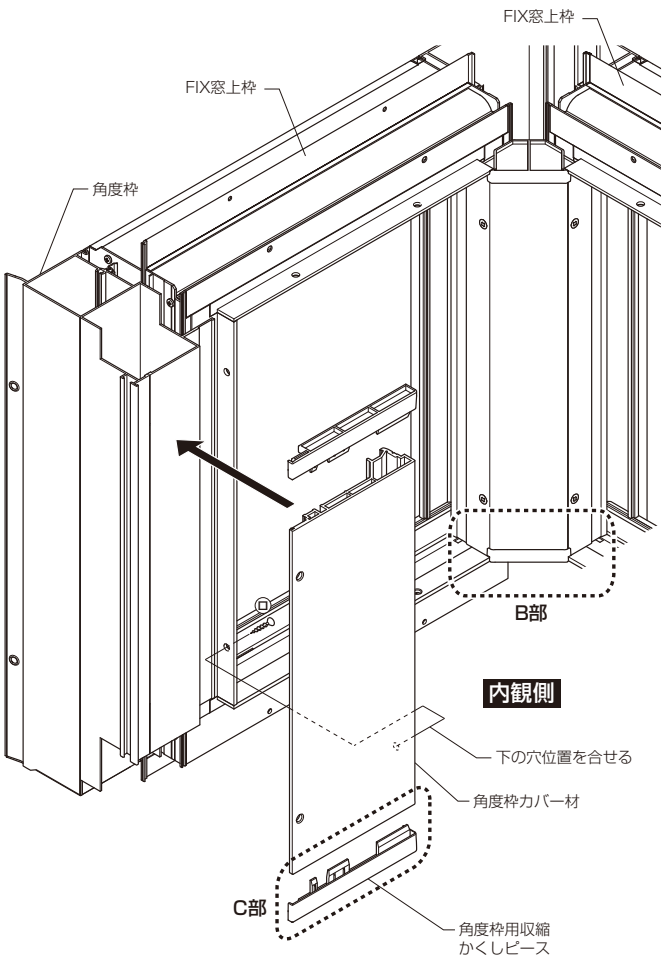



## ❺角度枠の連結と角度枠カバー材の取付け

①FIX窓縦枠のプッシュボタンを取ってから、はめ合わせをします。
②角度枠をFIX窓枠にはめ込みます。
※角度枠に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
③FIX窓枠を角度枠にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら、穴をすべて㋑でねじ止めします。
※角度枠とサッシ縦枠の室外側が同一面になっていることを確認してください。
※下端のみサッシ枠に下穴があいています。
それ以外の穴はサッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
④角度枠用収縮かくしピースを角度枠カバー材の上・下に差込みます。
⑤カバー材を角度枠に差込み、下端の穴位置を合わせながら穴をすべて㋺でねじ止めします。
※下端のみ角度枠カバー材に下穴があいています。
それ以外の穴は角度枠カバー材の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めします。
下端の下穴が合わない品種が、一部あります。
その場合は、角度枠カバーを上下均等に配置し、ねじ止めしてください。

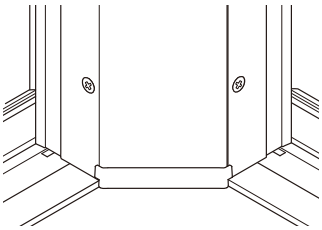


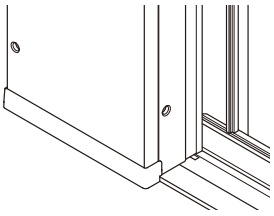

### ■B部詳細図

※連窓方立用収縮かくしピース取付け状態図

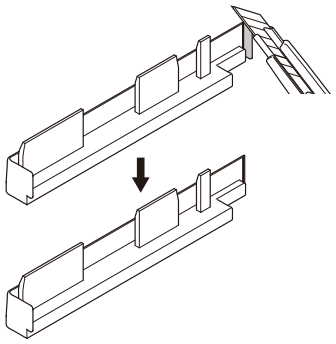


### ■C部詳細図

※角度枠用収縮かくしピース取付け状態図



※納まりに応じて□部をカッターなどでていねいに切ってください。納まりによっては、ピッタリ合わないことがあります。その場合は、ヤスリなどで調整してください。



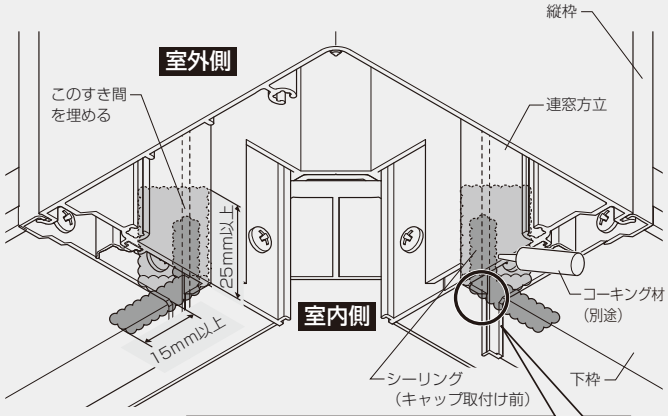
## 6 シーリング処理（下部室外側）

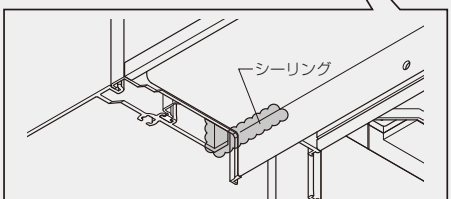
●連窓方立または角度枠と下枠、縦枠の突き合わせ部をシーリング処理してください。

**⚠ 注 意**

●下キャップの、止水性を確保するため指定個所（□ 部）にコーキング材（別途）を充てんしてください。

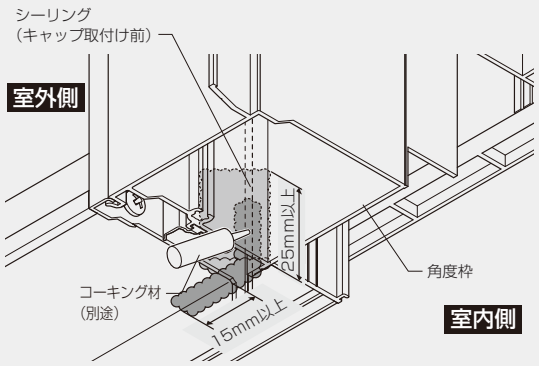
【連窓方立用キャップ取付け前（外観図）】




下枠の角部は、必ず15mm以上シーリングしてください。

【角度枠用キャップ取付け前（外観右図）】

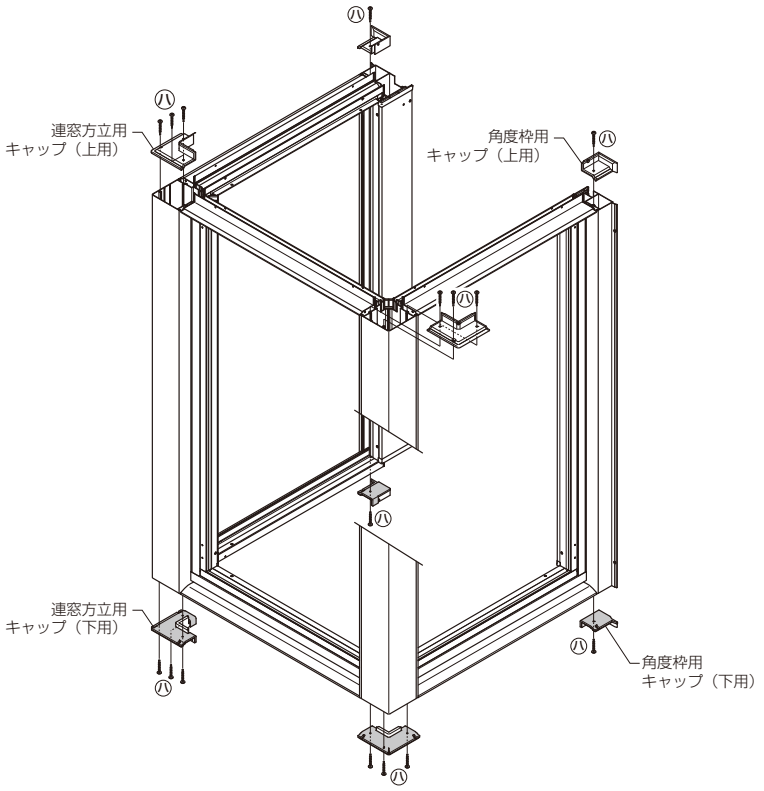



**コーキング材について**

シリコン系コーキング材は使用しないでください。
ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。

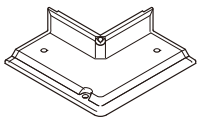
## 7 上・下キャップの取付け

●連結部の上・下にキャップを取付けます。
※キャップには上用・下用がありますので、確認してください。

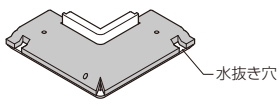



**■連窓方立用キャップ**

（上用）



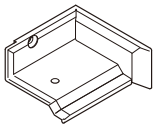
（下用）



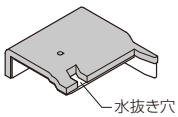

**■角度枠用キャップ**

※図は内観左用を示します。

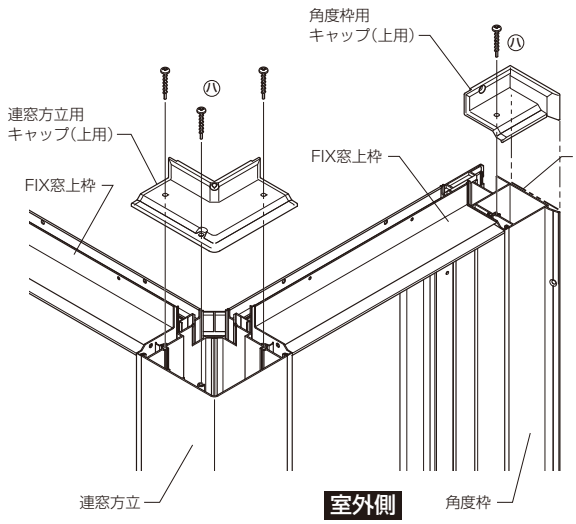
（上用）



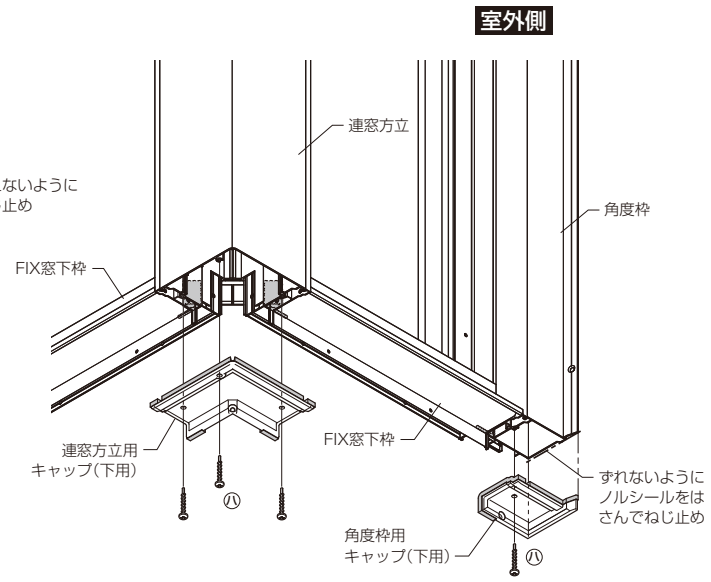
（下用）



●上キャップ取付けの場合




●下キャップ取付けの場合



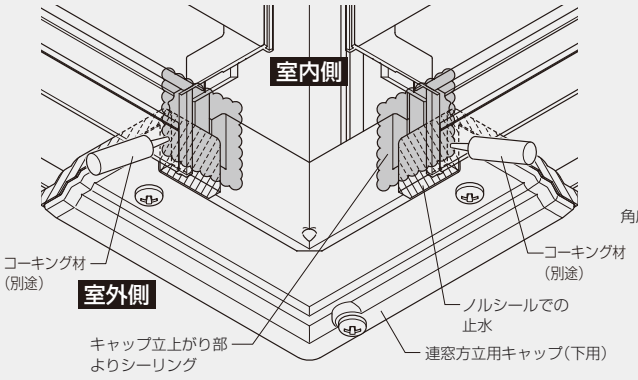

**8シーリング処理（下部室内側）**

●下キャップと下枠、連窓方立または角度枠の突き合わせ部をシーリング処理してください。

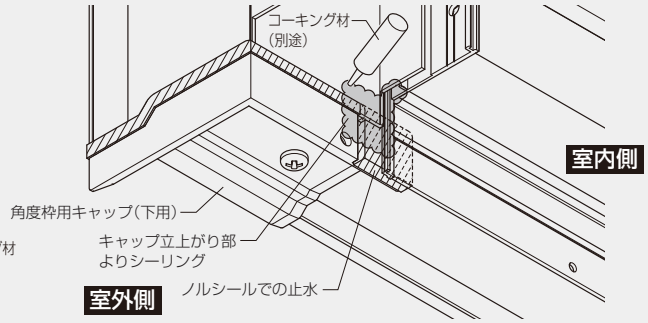
**⚠ 注　意**

●下キャップは、止水性を確保するため、コーキング材（別途）を充てんしてください。

【連窓方立用キャップ取付け後（内観図）】




【角度枠用キャップ取付け後（内観左図）】



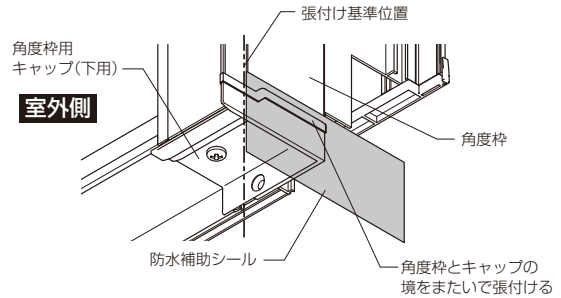
## 9防水補助シールの張付け

●フィンの裏面より防水補助シールを張付けます。

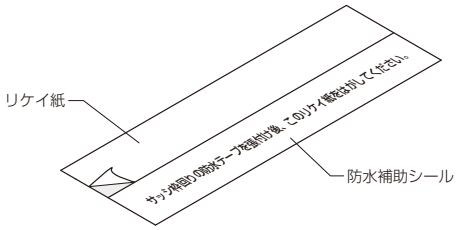
**⚠ 注 意**

●上・下キャップ取付け後、指定個所に防水補助シール(同梱)を張付けてください。

**■角度枠キャップ(下用)の防水補助シール張付け位置**



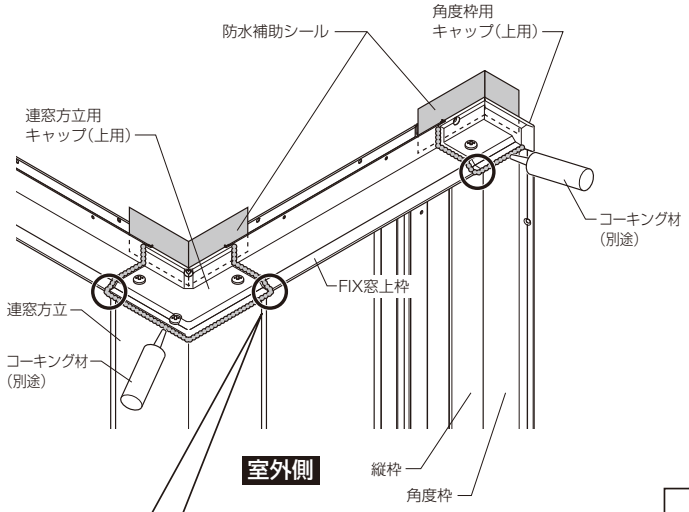

●片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に張付けます。
※必ず文字の書いていない方をはがしてください。
角度枠下キャップの場合、角度枠の段差部を基準に防水補助シールを張付けてください。

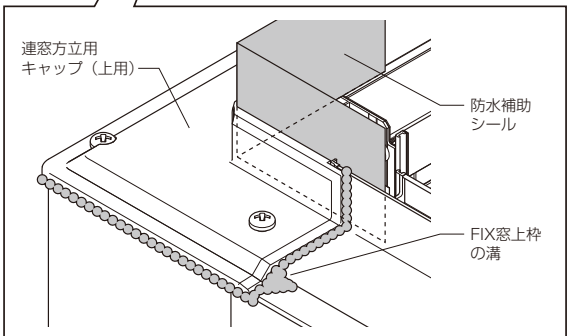



## 10シーリング処理（上・下キャップまわり）

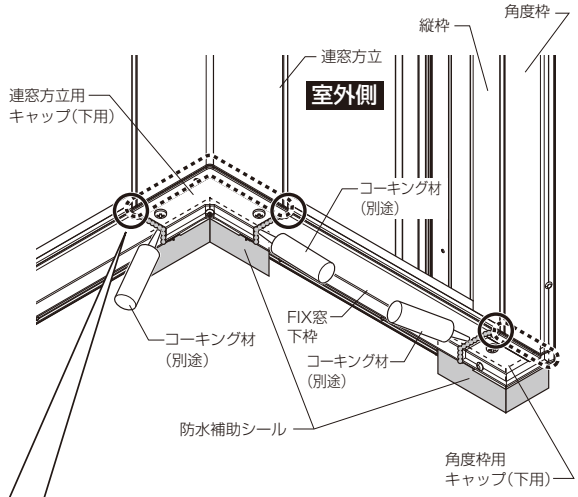
**⚠ 注 意**

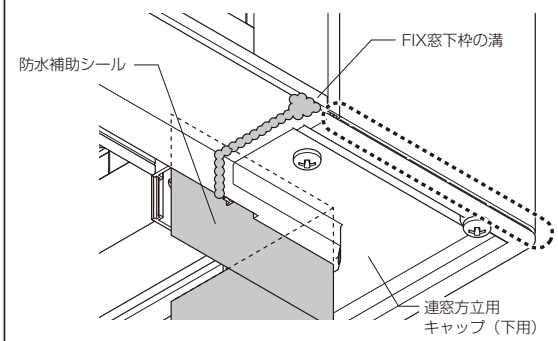
●上・下キャップ取付け後、止水性を確保するため指定個所(▭部)にコーキング材（別途）を充てんしてください。




FIX窓上枠の溝の奥までシーリングしてください。
※角度枠用キャップ（上用）も同様です。




FIX窓下枠の溝の奥までシーリングしてください。
※角度枠用キャップ（下用）も同様です。

**⚠ 注 意**

●排水経路を確保するため、下キャップの前面部にはシーリングしないでください。（上図◌部）

# 有償品　連窓方立・角度枠

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。※□内は、ロット No. 表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

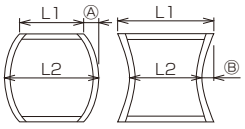
### ⚠注　意

●本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・サッシ枠周りの防水テープを張る前に、必ず上・下キャップ周りの防水補助シールのリケイ紙をはがしてください。
・指定のねじで必ず、上・下キャップを固定してください。
・浴室には使用しないでください。

## ■取付け上のお願い

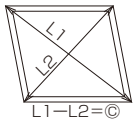
●サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
●取付けの際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**



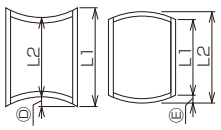

| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**



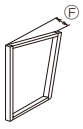

| C |
|---|
| 2 |

**■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ**



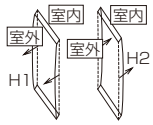

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

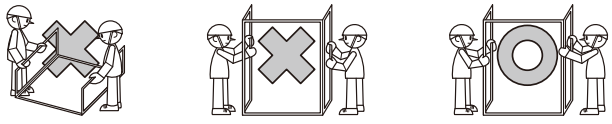
**■サッシ枠の室内外のソリ**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破損するおそれがあります。



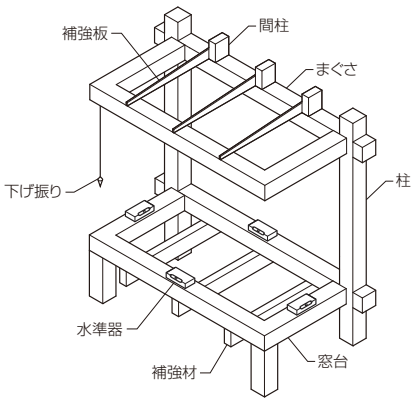
## ■取付けねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
| | | |
| スクリュー釘 φ2.1×32 | 皿木ねじ φ3.8×25 | 皿タッピンねじ（1種） φ4×35 |

## ■取付け順序

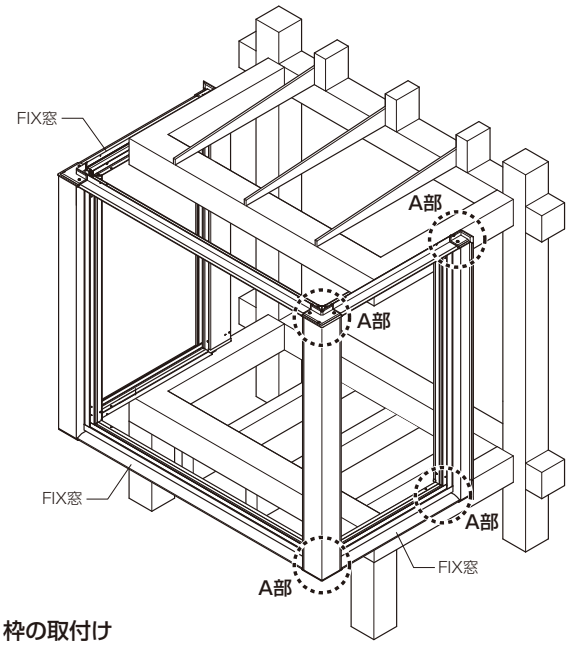
### ❶開口部の作り方

●開口部の水平・垂直を確認します。
※開口寸法が正確でないと枠が取付かなかったり、ガラスが入らないなど不具合の原因になりますので注意してください。
※開口部の詳細はカタログに記載されている**「開口部寸法割出公式」**をご覧ください。
※開口部に対して、本体を左右均等に配置してください。
※サッシ本体、角度枠固定ねじがくる位置に受け材（まぐさ・窓台・柱・補強材）を設置してください。

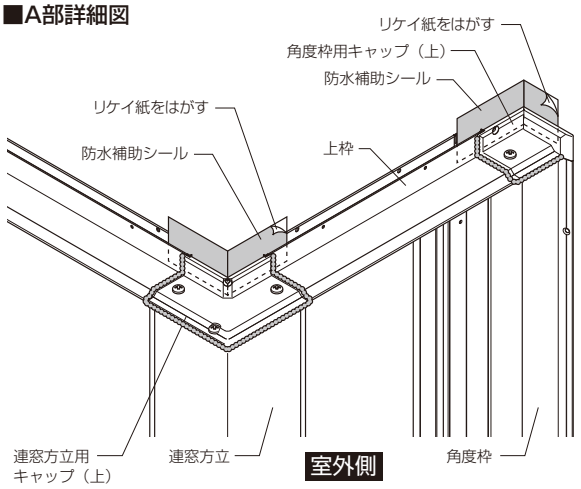


## 2 枠の組込み

●組立てたサッシ枠を窓台にのせ、左右のチリを均一にします。




■A部詳細図



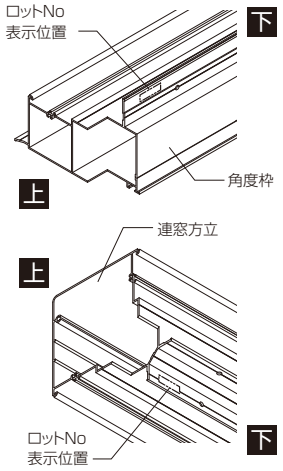

**⚠ 注 意**

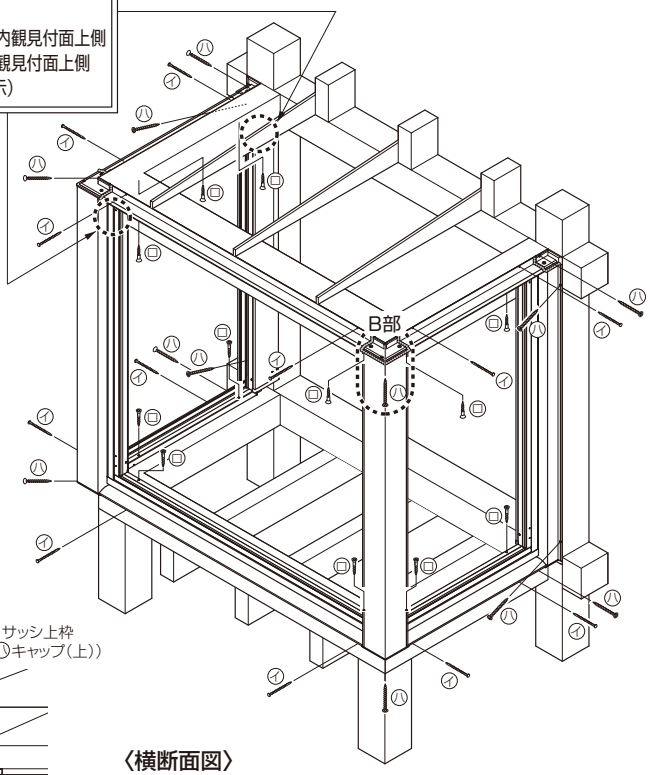
●サッシ枠周りの防水テープを張る前に必ず上・下キャップ周りの防水補助シールのリケイ紙をはがしてください。

## 3 枠の取付け

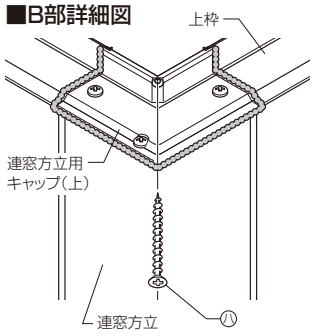
●上枠を仮止めし、枠の水平・垂直・ねじれを調整した後、本固定します。
※躯体と枠のすき間は、かい物を入れて調整してください。

ロットNo.表示位置
・連窓方立（アルミ形材）内観見付面上側
・角度枠（アルミ形材）内観見付面上側
（内観右用に表示）




■B部詳細図

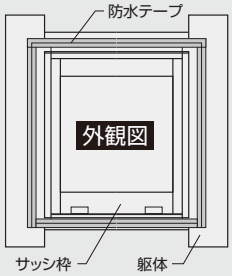



**⚠ 注 意**

●指定のねじで必ず、上・下キャップを固定してください。漏水の原因になるおそれがあります。

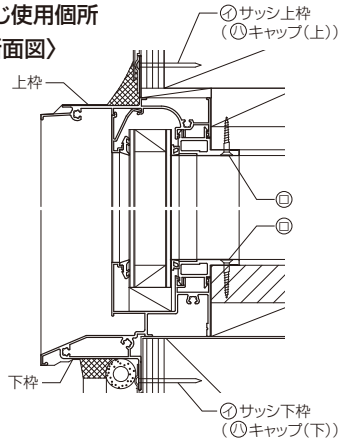
**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



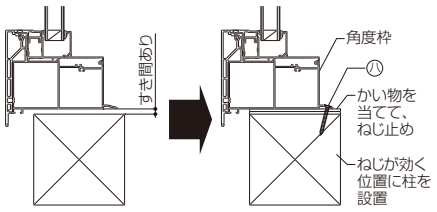

■ねじ使用個所

〈縦断面図〉




〈横断面図〉

※躯体と角度枠の間にすき間が発生している場合は、必ずかい物などをあてて、角度枠が反らないように固定してください。



# 有償品　浴室用連窓方立

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠注　意

●本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

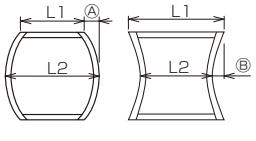
●下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・サッシ枠との張り合わせ部分・防水テープの上下キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・指定のねじで必ず、上・下キャップを固定してください。
・サッシのアングル周りは、シリコン系コーキング材（別途）で必ずシーリング処理してください。
・サッシには、必ず浴室防水部品セット（別売り）を使用してください。

## ■取付け上のお願い

●サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるあそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～ 2.0N・m にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ・米松など）の場合は、φ 2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

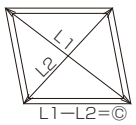
**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

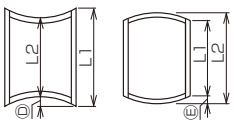
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 2 |

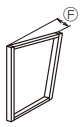
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

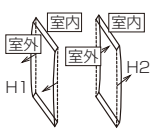
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

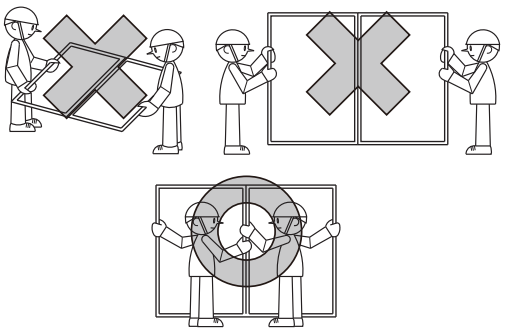
**■サッシ枠の室内外の反り**



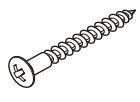
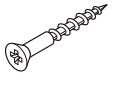
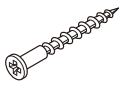

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



## ■ねじ一覧表

| ㋑～㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 枠取付けねじφ3.1×32（低頭ねじ） | 皿木ねじφ3.8×25 | 薄平木ねじφ3.8×38 |

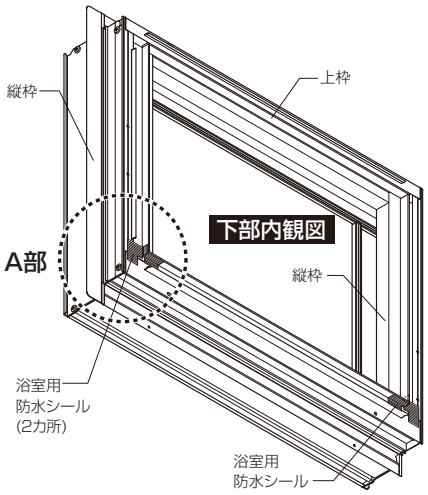
## ■取付け順序

### ❶躯体取付け前の確認

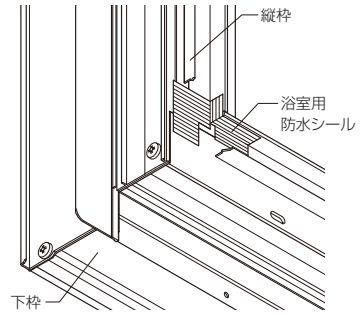
●本体室内側下部に張付けられている浴室用防水シールのリケイ紙はサッシ枠を躯体に取付ける前に必ずはがしてください。

**⚠ 注 意**

●サッシには、必ず浴室防水部品セット（別売り）を使用してください。

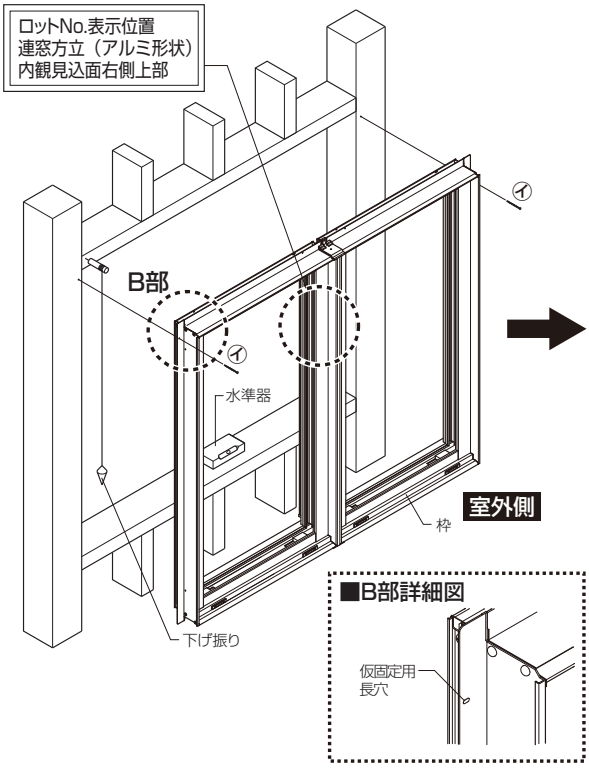



■A部詳細図




### ❷枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。




■B部詳細図

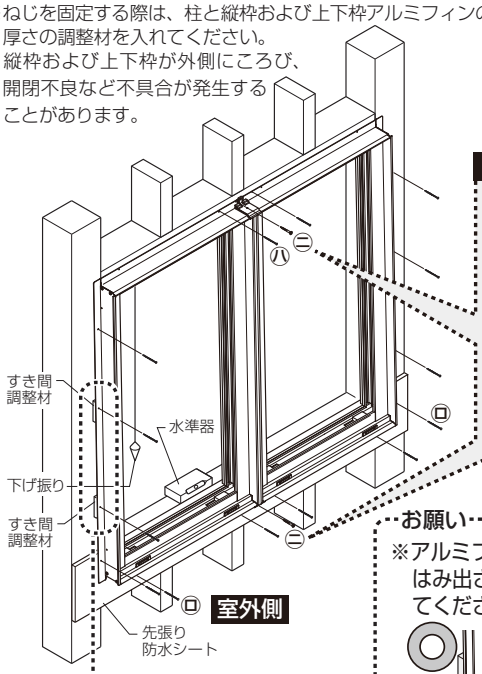



### ❸枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじ㋺を固定します。枠の対角差を調整後、その他のねじ㋑、㋩を固定します。

※引違いの躯体取付けは、㋑薄平木ねじにコーキングワッシャー（浴室用部品セットに同梱）を使用してください。

※ねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。
縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

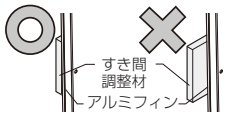



**⚠ 注 意**

●指定の㋩皿木ねじで必ず、上・下キャップを固定してください。漏水の原因になるおそれがあります。

**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

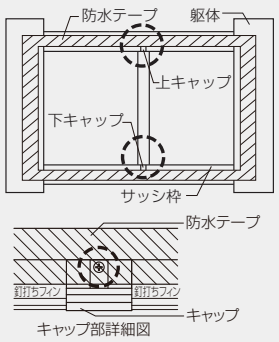



**⚠ 注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。

●防水テープの上下キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。

●引違いの躯体取付けねじには、浴室用部品セットに同梱されているコーキングワッシャーを使用してください。

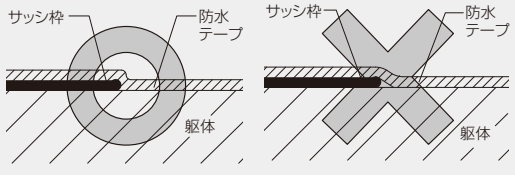



**⚠ 注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**⚠ 注 意**

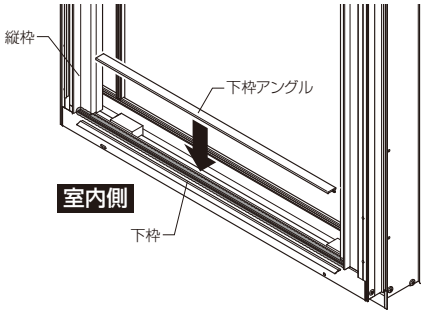
●サッシ枠との張り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。

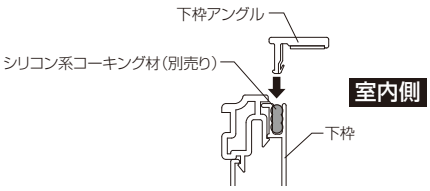


## 4サッシまわりのシーリング処理

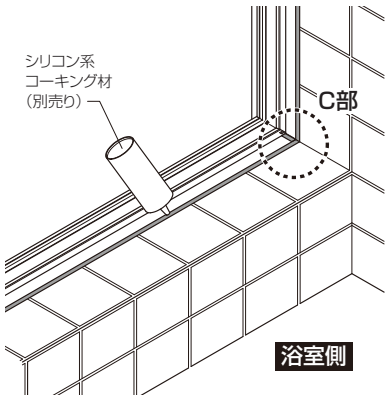
【FIX(テラス)、テラスドアの場合】

●下枠アングル取付け前に下枠の溝部にシリコン系コーキング材（別途）を充てんしてから下枠アングルを取付けてください。




●サッシ枠の室内側アングルまわり(▭部)は、シリコン系コーキング材(別途)でシーリング処理してください。
C部のアングル部のシーリング個所は品種により異なります。(C部詳細図)

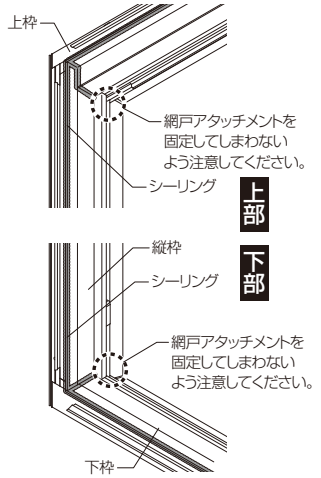



### ■C部詳細図

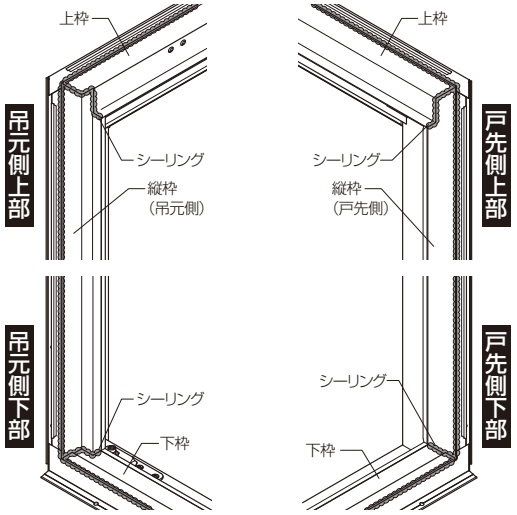
※テラスドア以外の図は内観左縦枠を示します。内観右縦枠も同様の処置をしてください。

**●FIX 窓**

**●縦すべり出し窓**
**●横すべり出し窓**



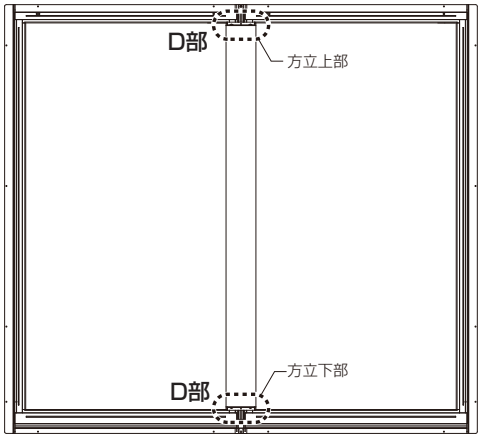

**●テラスドア**




## 5方立まわりのシーリング処理

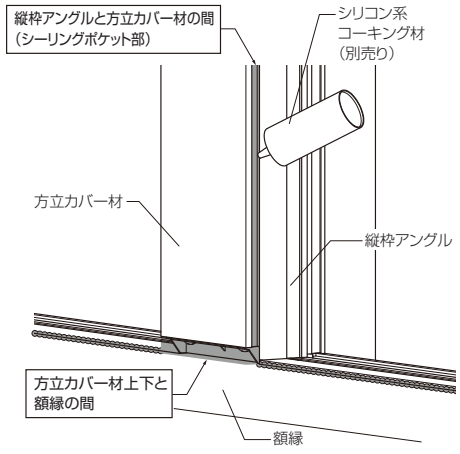
●サッシ縦枠の室内側アングルと方立カバー材の間（シーリングポケット部）、方立カバー材と額縁の間(▭部)は、シリコン系コーキング材(別途)でシーリング処理してください。

※サッシまわりおよび方立カバー材まわりのシーリングは、切れ目なく連続的に処理してください。




内観図

### ■D部詳細図



# 有償品　浴室用連窓方立

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠注　意

●本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

●下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
- 必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。
- 開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
- サッシ枠との張り合わせ部分・防水テープの上下キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。
- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- 指定のねじで必ず、上・下キャップを固定してください。
- サッシのアングル周りは、シリコン系コーキング材(別途)で必ずシーリング処理してください。
- サッシには、必ず浴室防水部品セット(別売り)を使用してください。
- 引違いの躯体取付けねじには、浴室用防水部品セットに同梱されているコーキングワッシャーを使用してください。

## ■取付け上のお願い

●サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

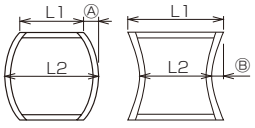
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるあそれがあります。

●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

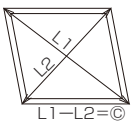
**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

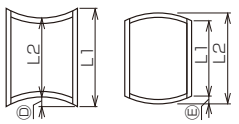
| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 2 |

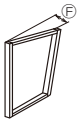
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

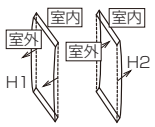
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**




| F |
|---|
| 2 |

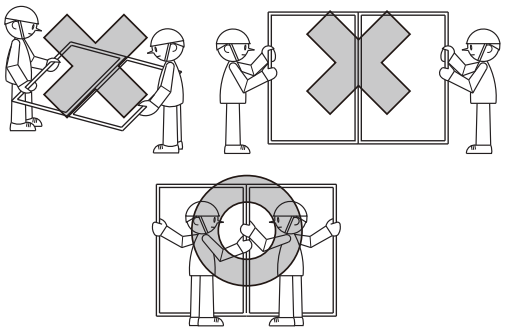
**■サッシ枠の室内外の反り**



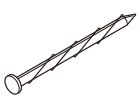
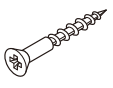
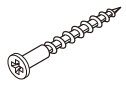

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



## ■ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
|  |  |  |
| スクリュー釘φ2.1×32 | 皿木ねじφ3.8×25 | 薄平木ねじφ3.8×38 |

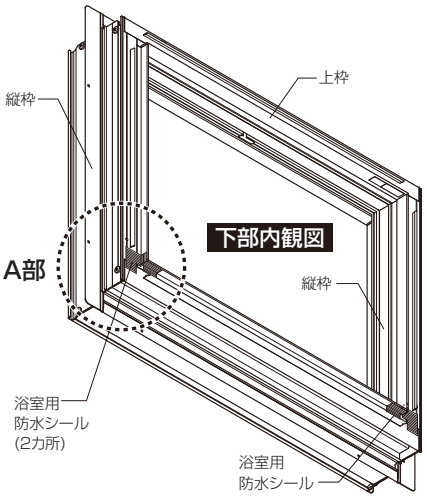
## ■取付け順序

### ❶躯体取付け前の確認

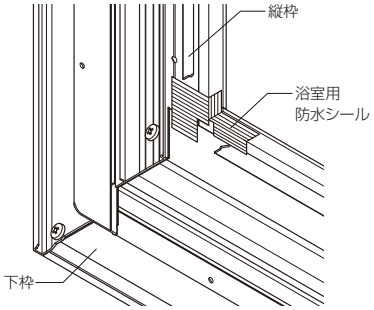
●本体室内側下部に張付けられている浴室用防水シールのリケイ紙はサッシ枠を躯体に取付ける前に必ずはがしてください。

**⚠注　意**

●サッシには、必ず浴室防水部品セット(別売り)を使用してください。



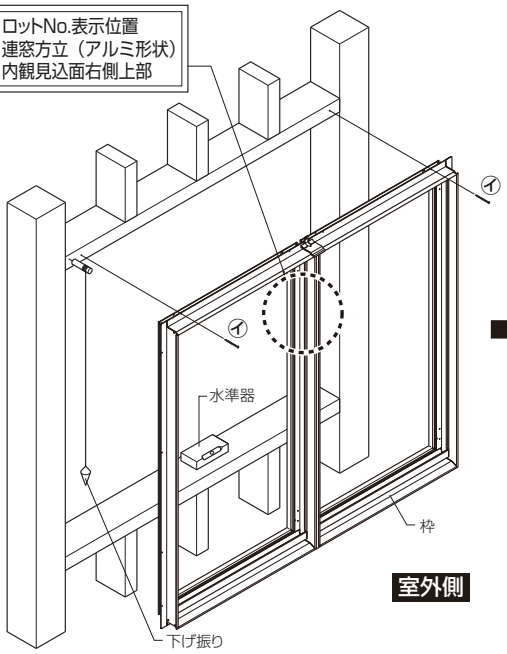

■A部詳細図




### ❷枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

ロットNo.表示位置
連窓方立（アルミ形状）
内観見込面右側上部

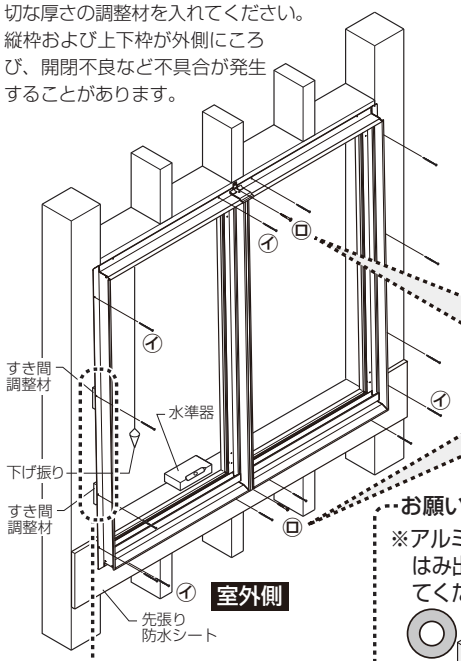



### ❸枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。

※引違いの躯体取付けは、㋑薄平木ねじにコーキングワッシャー（浴室用部品セットに同梱)を使用してください。

※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

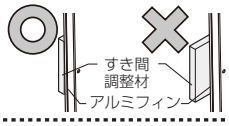



**⚠注　意**

●指定の㋺皿木ねじで必ず、上・下キャップを固定してください。漏水の原因になるおそれがあります。

**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

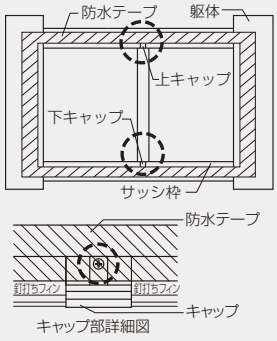



**⚠注　意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

●防水テープの上下キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。

●引違いの躯体取付けねじには、浴室用部品セットに同梱されているコーキングワッシャーを使用してください。

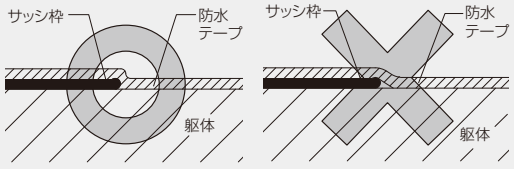



**⚠注　意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**⚠注　意**

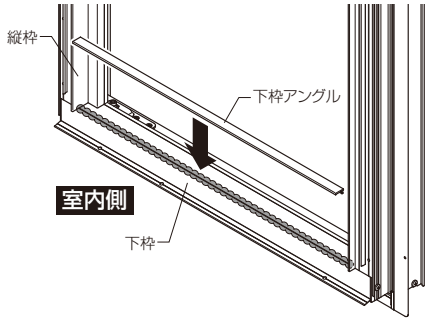
●サッシ枠との張り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。

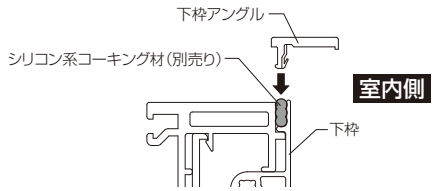


## 4サッシまわりのシーリング処理

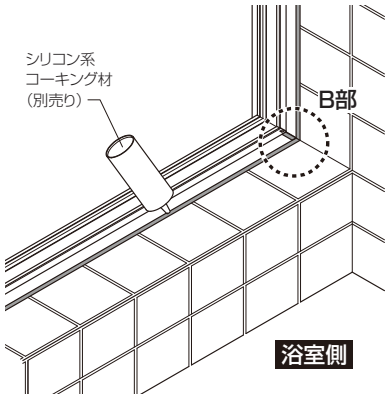
【FIX(テラス)、引違い(テラス)、テラスドアの場合】

●下枠アングル取付け前に下枠の溝部にシリコン系コーキング材（別途）を充てんしてから下枠アングルを取付けてください。



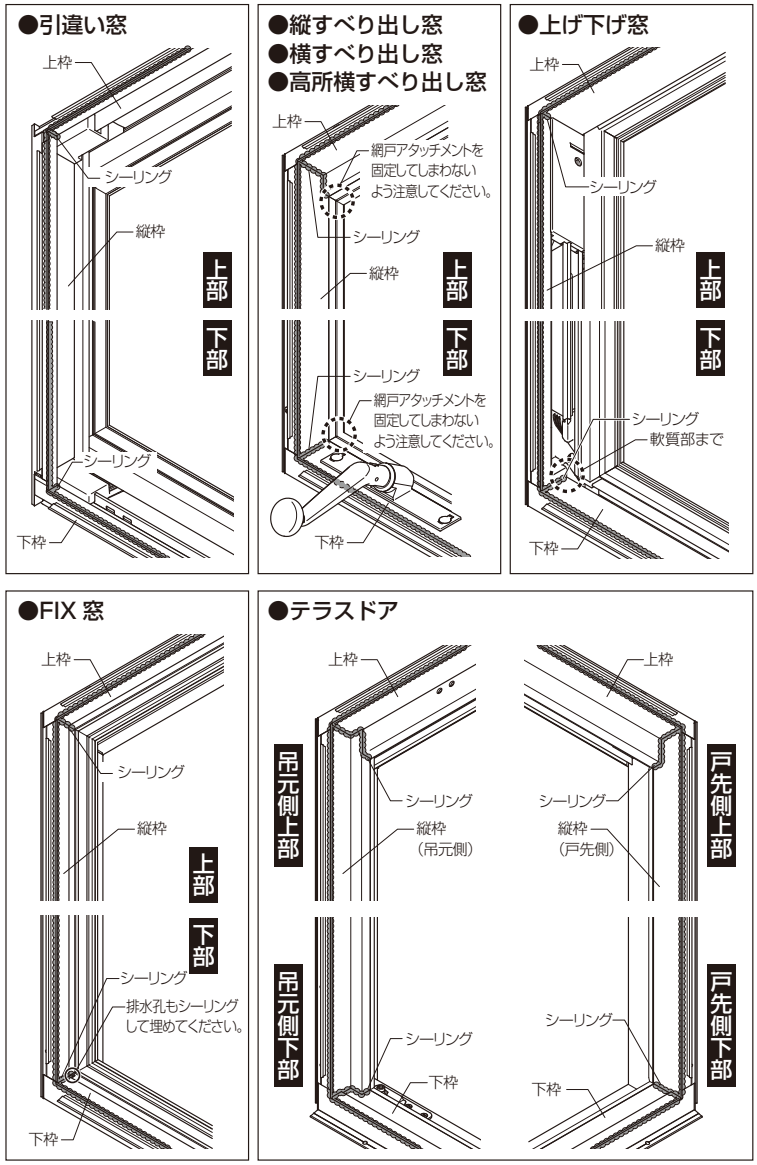




●サッシ枠の室内側アングルまわり（▭部）は、シリコン系コーキング材(別途)でシーリング処理してください。
B部のアングル部のシーリング個所は品種により異なります。(B部詳細図)




■B部詳細図

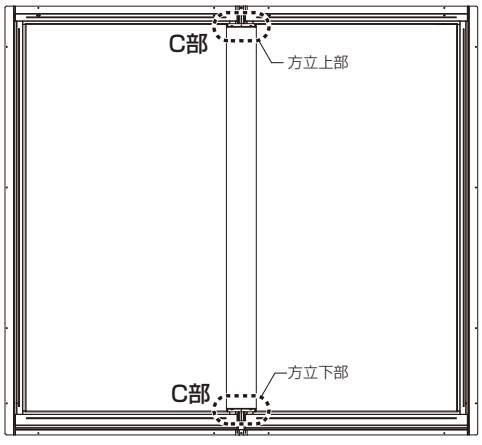
※テラスドア以外の図は内観左縦枠を示します。内観右縦枠も同様の処置をしてください。



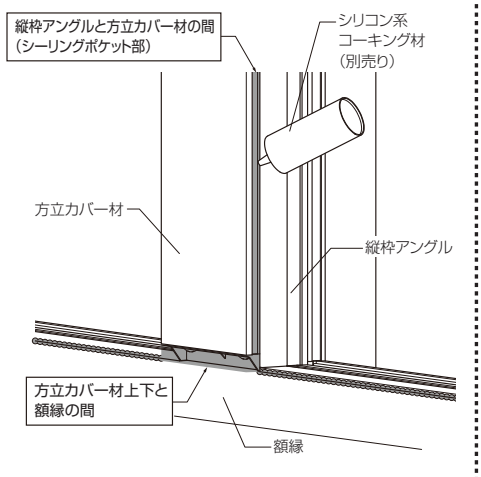

## 5方立まわりのシーリング処理

●サッシ縦枠の室内側アングルと方立カバー材の間（シーリングポケット部）、方立カバー材と額縁の間(▭部)は、シリコン系コーキング材(別途)でシーリング処理してください。

※サッシまわりおよび方立カバー材まわりのシーリングは、切れ目なく連続的に処理してください。




■C部詳細図



# 有償品　段窓無目

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

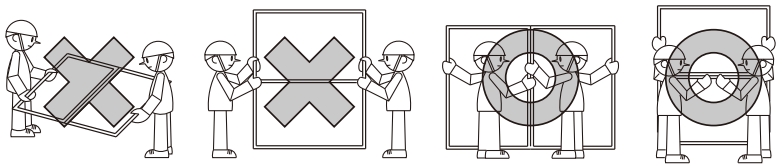
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
- 段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
  また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
●枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
●段窓組立て後の取付けは、「段窓無目取付け説明書」を参照してください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

## ■組立て後の取扱いとお願い

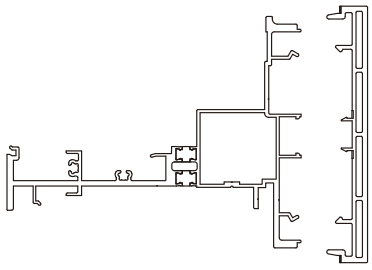
●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



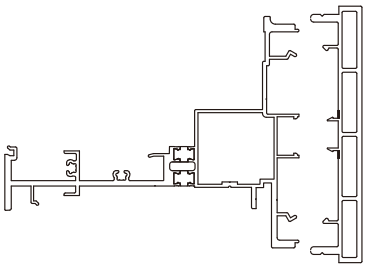
## ■段窓無目の種類

段窓無目

【ねじレスショートアングル】



【ねじ付アングル】

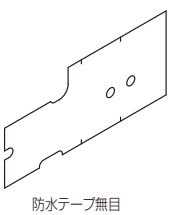
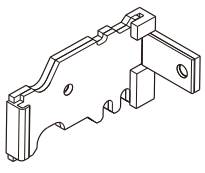


## ■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
※㋓は、取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡しください。

| ㋑ | 引違いサッシに同梱 ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| バインド小ねじ M4×8 | 特平ドリル小ねじ φ4×18.5 | バインドタッピングねじ φ4×20 | 皿木ねじ φ3.8×25 | 皿小ねじ M4×6 |
| 組立て用 | | | 躯体取付け用 | アングル取付けねじ |

## ■部品一覧表

| | |
|---|---|
|  |  |
| 防水テープ無目 | 無目キャップ |

## ■組立て順序

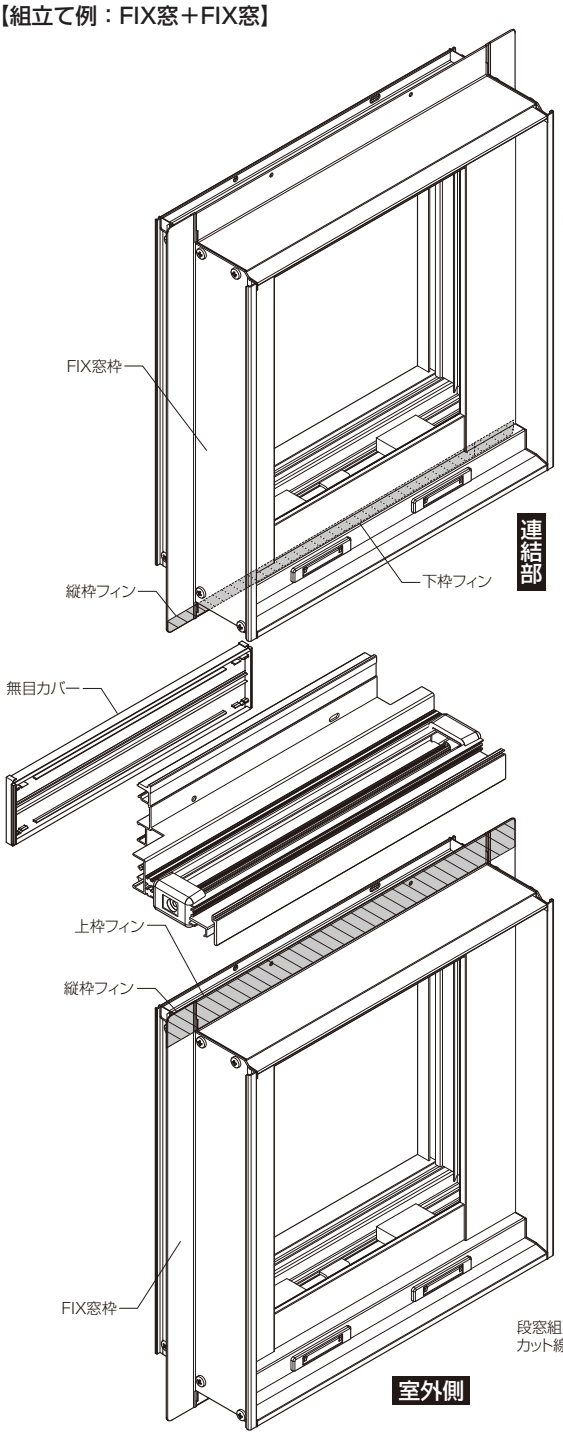
### ❶上下枠のフィンカット

※ねじレスショートアングルの断面で説明しています。
①連結部の縦枠・上下枠フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
②プライヤーで、▨部を折曲げながら取除きます。
③コーキングシーラーの ▭ を切取ります。
※上下枠のフィンカット部は各々2カ所あります。

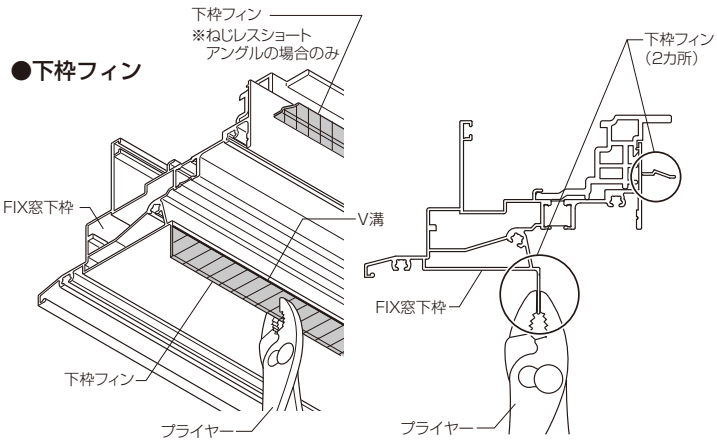
**⚠注　意**

●フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

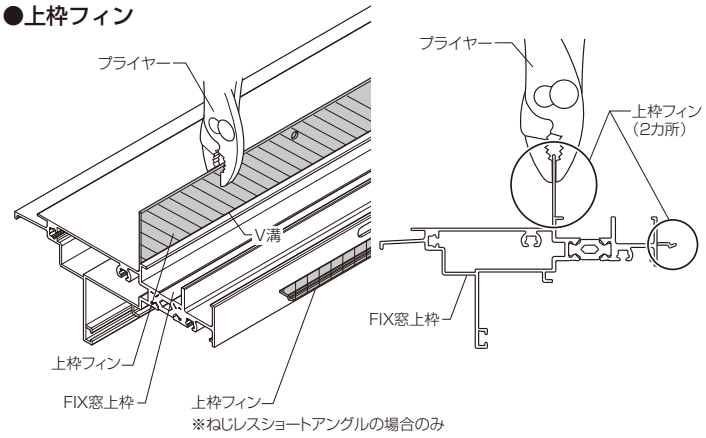
**【組立て例：FIX窓＋FIX窓】**



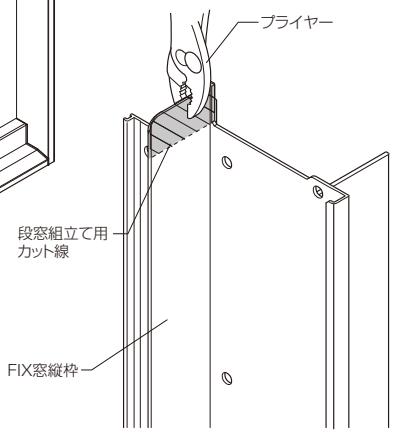

●下枠フィン



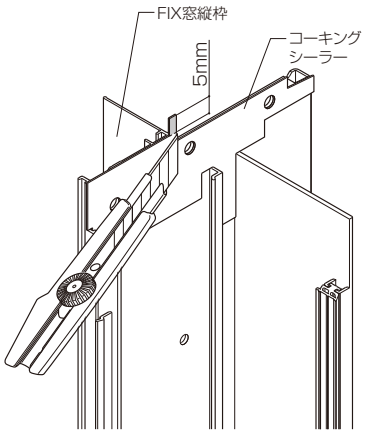

●上枠フィン




●縦枠フィン



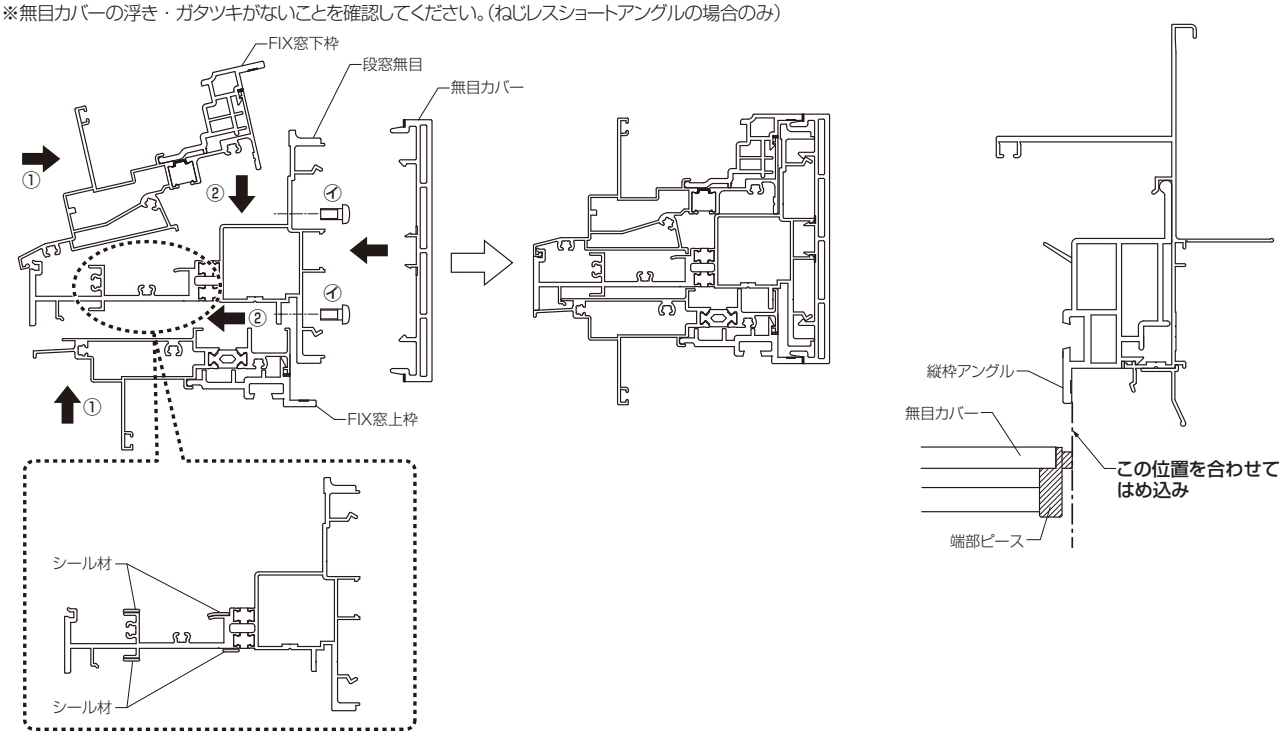

●コーキングシーラー



## ❷段窓無目との連結

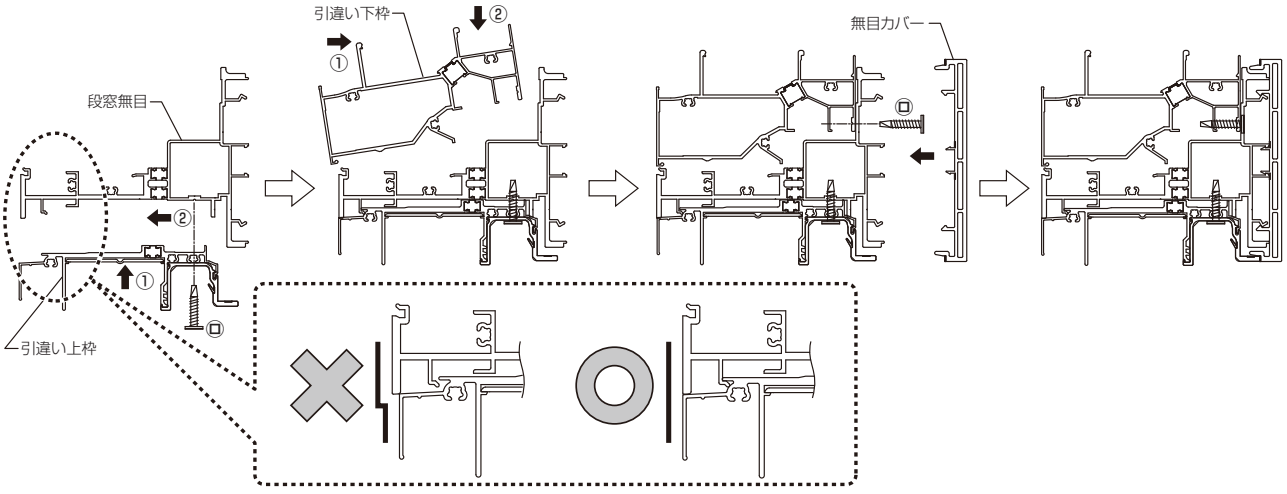
### ＜装飾窓／装飾窓の場合＞

※ねじレスショートアングルの断面で説明しています。
①上下のサッシ枠をそれぞれ組立てます。
②段窓無目と上下枠を一体に組合わせ、端部を面一に合わせ、右端の穴から段窓無目の穴をすべて㋑でねじ止めします。
※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。
その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
※段窓無目とサッシ上・下枠の室外側面が同一面になっていることを確認してください。
③無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。
※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。（ねじレスショートアングルの場合のみ）



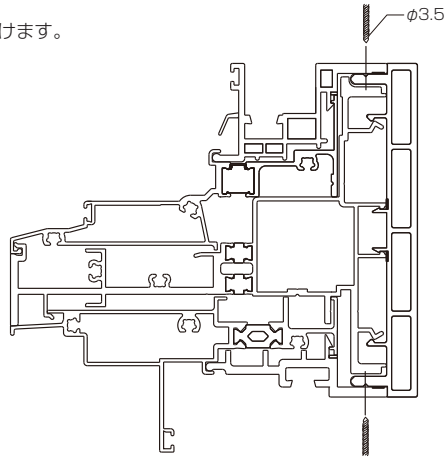

### ＜引違い／引違いの場合＞

①上下の引違い枠をそれぞれ組立てます。
②段窓無目と引違い上枠の両端を合わせ、引違いサッシに同梱されている㋺特平ドリル小ねじで固定します。
その際、室外側の面ズレがないようにして組立てます。（下記の詳細図参照）
※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。
その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
③段窓無目と引違い下枠の両端を合わせ、下枠を段窓無目に押しつけ、段窓無目の穴に合わせて、引違いサッシに同梱されている
㋺特平ドリル小ねじで固定します。その際、室外側の面ズレがないように組立てます。
④上下枠の穴をすべてねじ止めします。
※引違いの上下枠には穴はあいていません。
⑤無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。
※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。（ねじレスショートアングルの場合のみ）

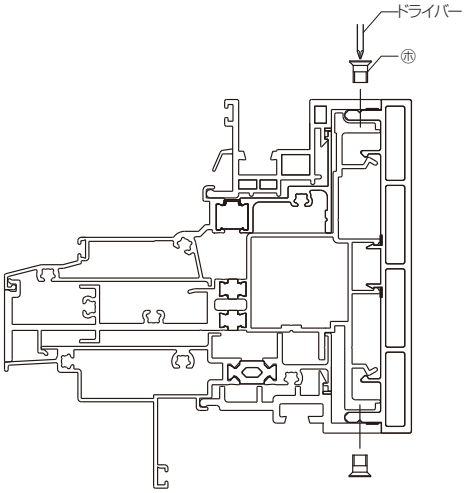


**【ねじ付アングルの場合】**

⑥サッシ本体のアングル取付け穴から無目のV溝に、φ3.5の下穴を開けます。
※無目アルミ形材まで穴を開けても問題ありません。

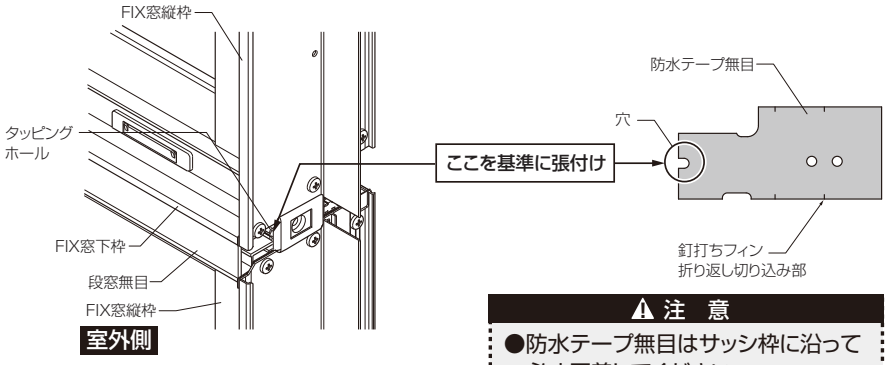



⑦アングル取付ねじを取付けます。
※無目カバーの浮き･ガタツキがないことを確認してください。
※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
※アングルねじの締めすぎに注意してください。
形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。



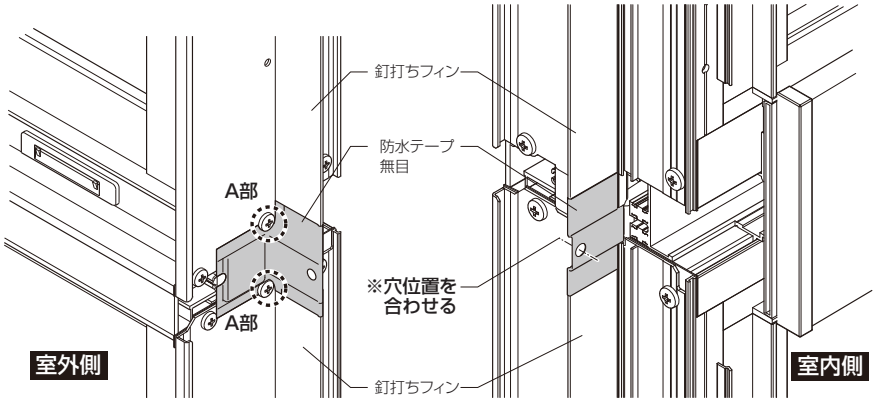

**❸防水テープ無目の張付け**

●防水テープ無目を張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。
※防水テープ無目にはL･Rがありますので確認してください。
①防水テープ無目の穴と段窓無目のタッピングホール位置を合わせ、サッシ枠に沿って防水テープ無目を張っていきます。
※コーナー部は必ず押えてすき間があかないようにしてください。
②防水テープ無目の切込み部で釘打ちフィンを折り返し、釘打ちフィンの裏側まで張ります。
※防水テープ無目の2つの穴位置を合わせて折り返してください。

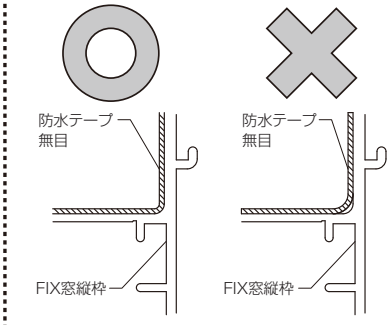



**⚠ 注 意**

●防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。




**■A部詳細図**

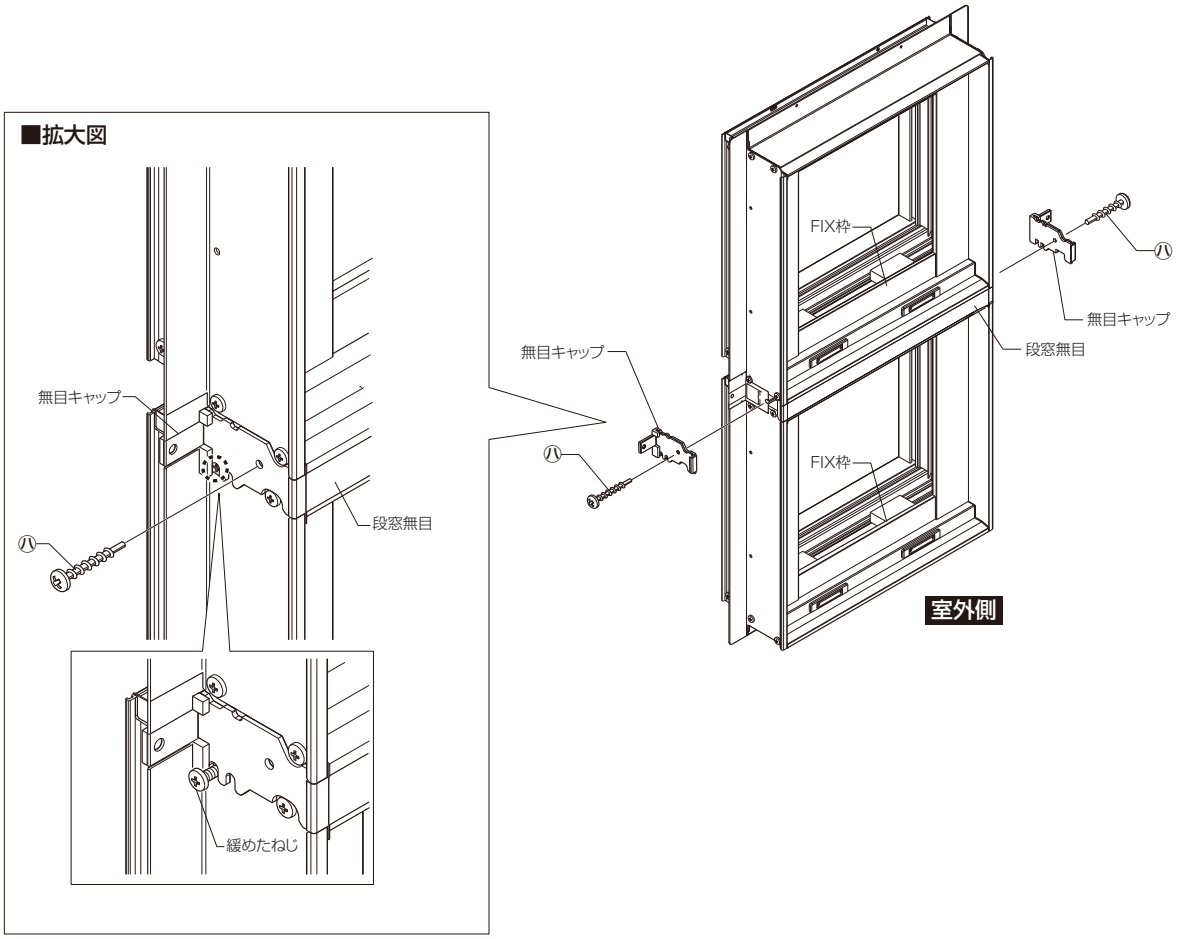


## 4無目キャップの取付け

①上枠の組立てねじを緩めてください。
②連結部に無目キャップを㋑でねじ止めします。
※キャップにはL・Rがありますので確認してください。
③緩めたねじを確実に元に戻してください。

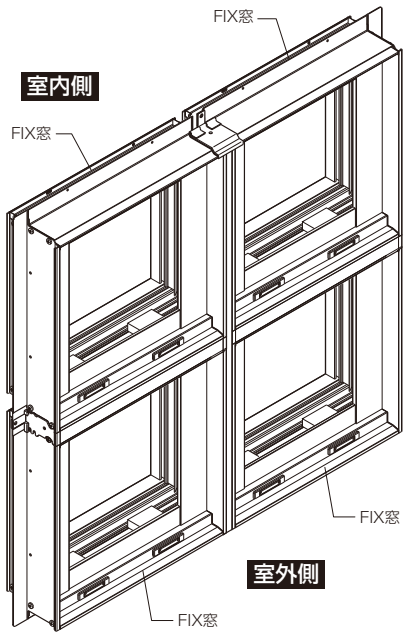
**⚠注　意**

●ねじは、2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



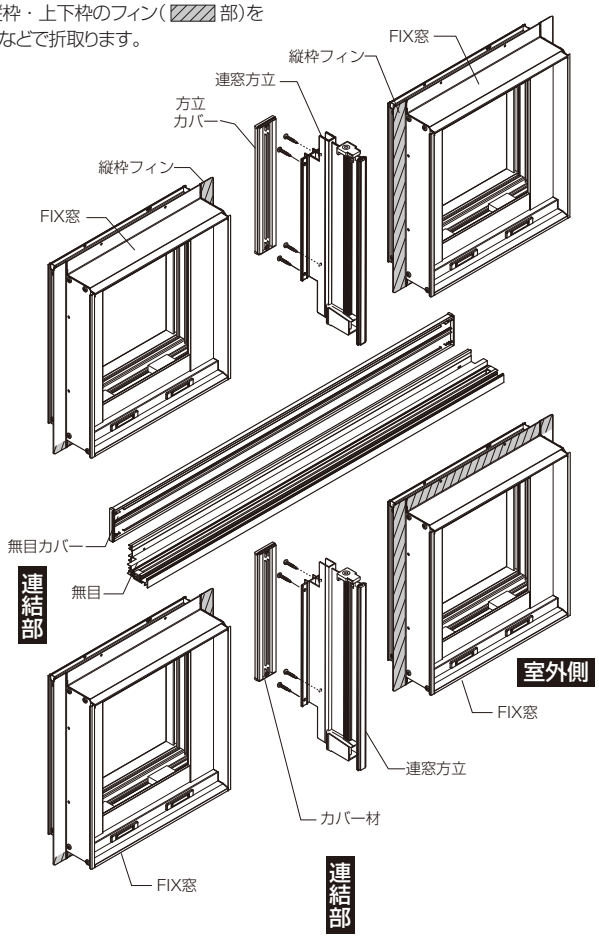
## ■連段窓の場合の組立て順序

＜FIX連窓＋FIX連窓の場合＞




### ❶連結前の準備

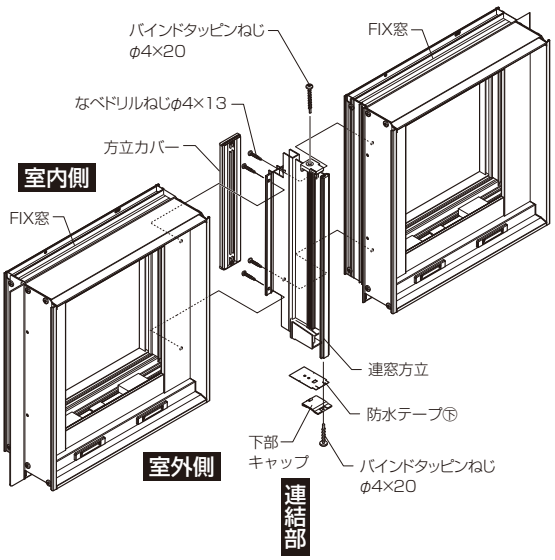
※連窓部の詳細は、**「連窓方立180°組立て説明書」**を参照してください。
①FIX窓の枠をそれぞれ組立てます。
②連結部の縦枠・上下枠のフィン( ▨ 部)をプライヤーなどで折取ります。



## ❷連窓部の組立て

①「**連窓方立180°組立て説明書**」にしたがって、連窓方立と左右のサッシ枠を連結します。
②上部に段窓無目がある場合、連窓方立下端に防水テープⓉ・下部キャップを取付けます。この場合、防水テープⓁ・上部キャップは使用しません。
※下部に段窓無目がある場合は、この逆になります。

**【上部に段窓無目がある場合】**

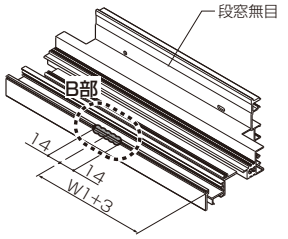



## ❸段窓部の組立て

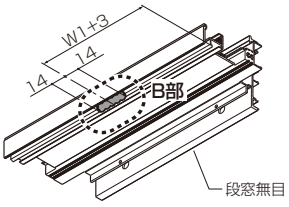
※「**❷段窓無目との連結**」に従って、段窓無目と上下サッシ枠を連結します。
①段窓無目の連窓方立接続部（○○○部）を切欠きます。
※方立が複数の場合は、それぞれの連窓方立の接続部に対して切欠きを行ってください。

**●連窓方立**

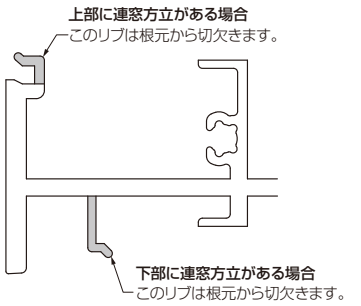
**【上部に連窓方立がある場合】**



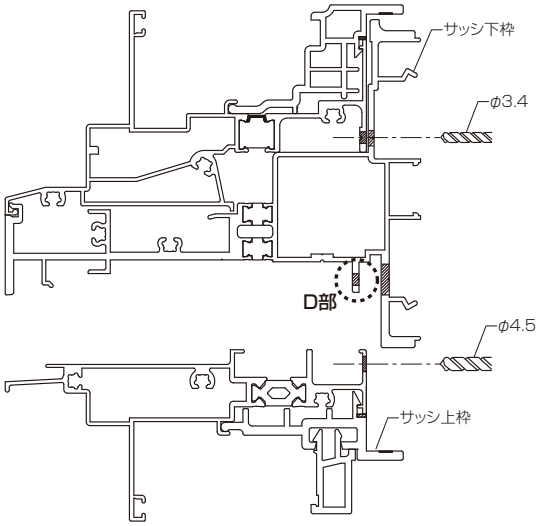

**【下部に連窓方立がある場合】**

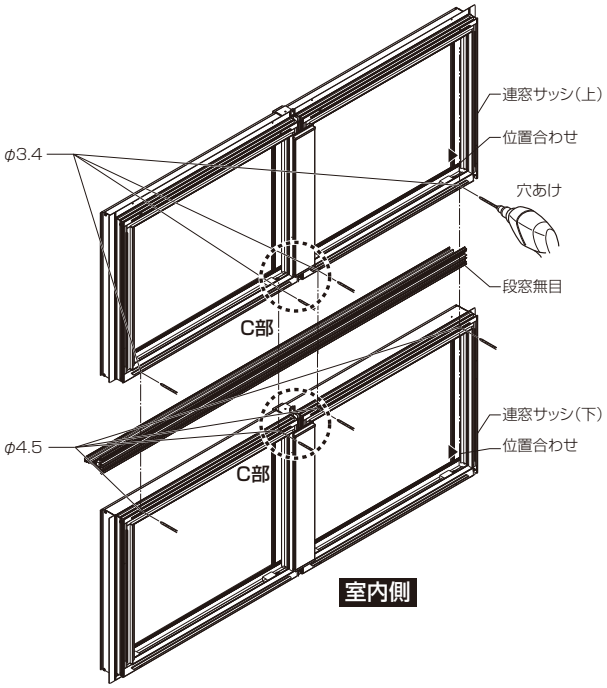



**■B部詳細図**



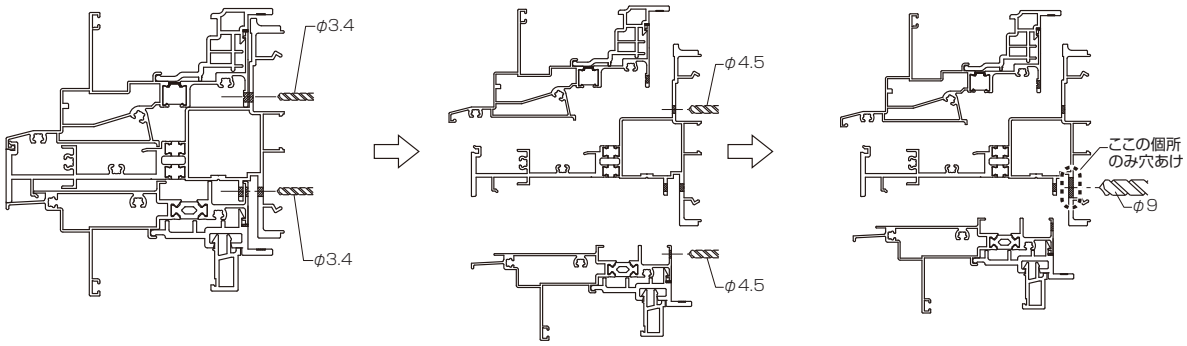
②連窓サッシ（上）と段窓無目の右端の穴で位置を合わせ、段窓無目のすべての穴に合わせてサッシ下枠にφ3.4の穴あけを行います。
※段窓無目にサッシ下枠を押し当てて穴あけを行ってください。
③連窓サッシ（下）と段窓無目の右端の穴で位置を合わせ、段窓無目のすべての穴に合わせてサッシ上枠にφ4.5の穴あけを行います。
※段窓無目にサッシ上枠を押し当てて穴位置を決めてください。φ4.5の穴あけは段窓無目から連窓サッシを外した状態で行ってください。D部にφ4.5の穴をあけるとねじが止まらなくなります。



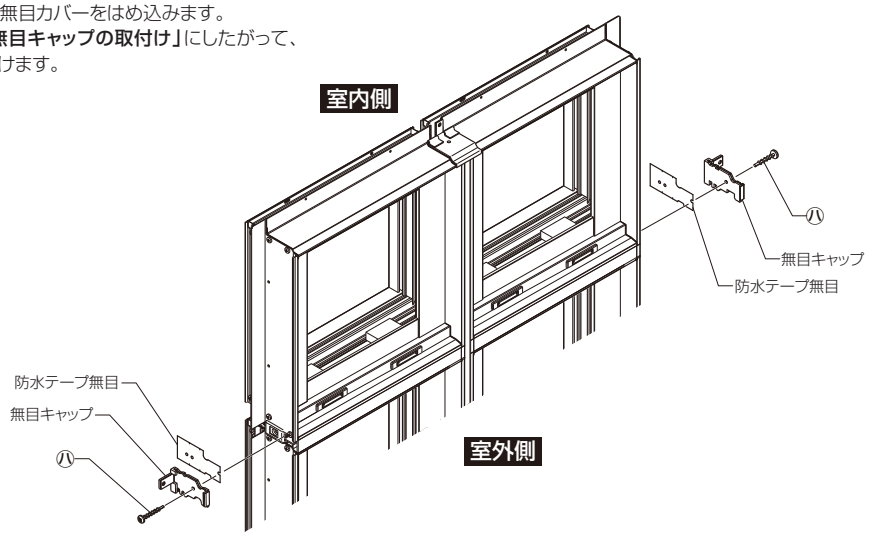




※段窓無目の穴がC部（連結する相手部材がない）にきた場合、右又は左に20mm程度ずらして以下の加工を行ってください。

**【φ3.4の穴あけ】**　**【φ4.5の穴あけ】**　**【φ9の穴あけ】**




④段窓無目のすべての穴をねじ止めし、無目カバーをはめ込みます。
⑤**「③防水テープ無目の張付け」「④無目キャップの取付け」**にしたがって、防水テープ無目、無目キャップを取付けます。



# 有償品　段窓無目

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

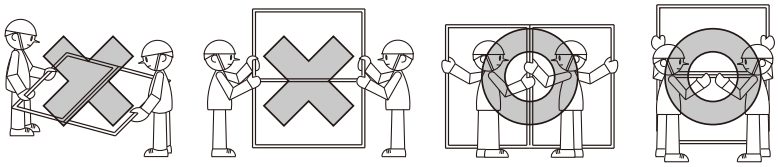
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
- 段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 上下枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
  また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
●枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
●段窓組立て後の取付けは、「段窓無目取付け説明書」を参照してください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

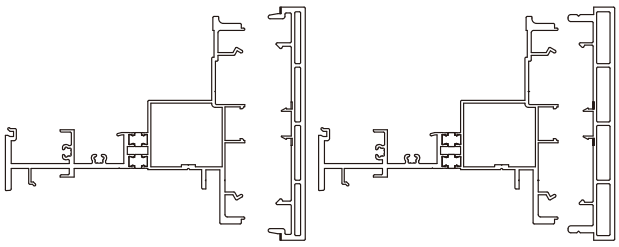
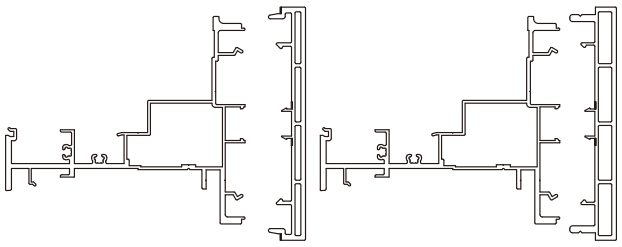
## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



## ■段窓無目の種類

段窓無目

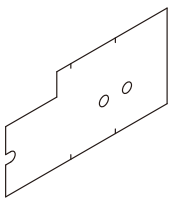
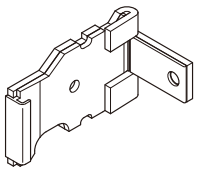
| H用 | S用 |
|---|---|
| 【ねじレスショートアングル】 【ねじ付アングル】 | 【ねじレスショートアングル】 【ねじ付アングル】 |
|  |  |

## ■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
※㊂は、取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡しください。

| ㋑ | 引違いサッシに同梱 ㋺ | ㋩ | ㋥ | ねじ付アングルに同梱 ㋭ |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| バインド小ねじ M4×8 | 特平ドリル小ねじ φ4×18.5 | バインドタッピングねじ φ4×20 | 皿木ねじ φ3.8×25 | 皿小ねじ M4×6 |
| 組立て用 | | | 躯体取付け用 | アングル取付けねじ |

## ■部品一覧表

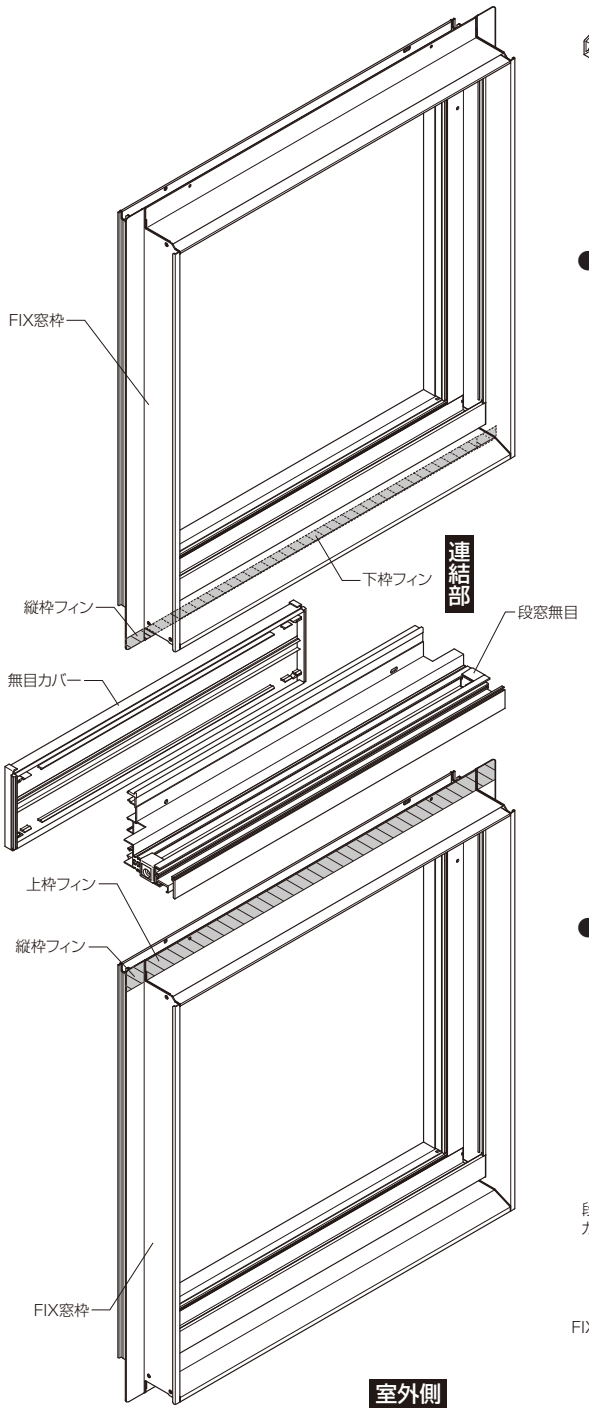
|  |  |
|---|---|
| 防水テープ無目 | 無目キャップ |

## ■組立て順序

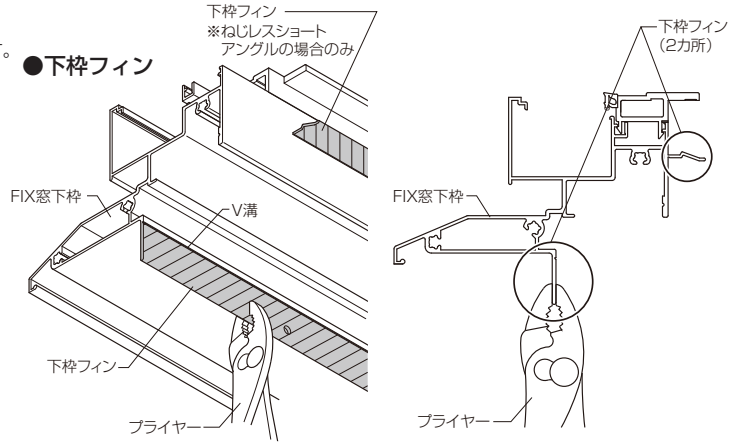
### ❶上下枠のフィンカット

※ねじレスショートアングルの断面で説明しています。
①連結部の縦枠・上下枠フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
②プライヤーで、▨部を折曲げながら取除きます。
③コーキングシーラーの ▭ を切取ります。
※上下枠のフィンカット部は各々2カ所あります。

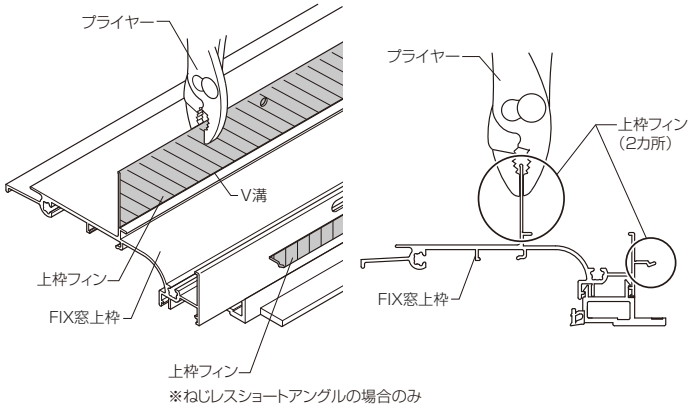
**【組立て例：FIX窓＋FIX窓】**




**●下枠フィン**



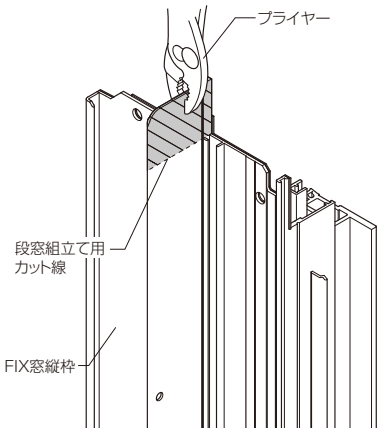

**●上枠フィン**



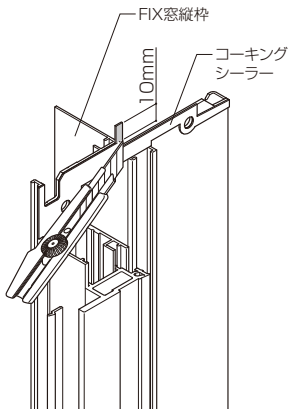

**⚠注　意**

●縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

**●縦枠フィン**



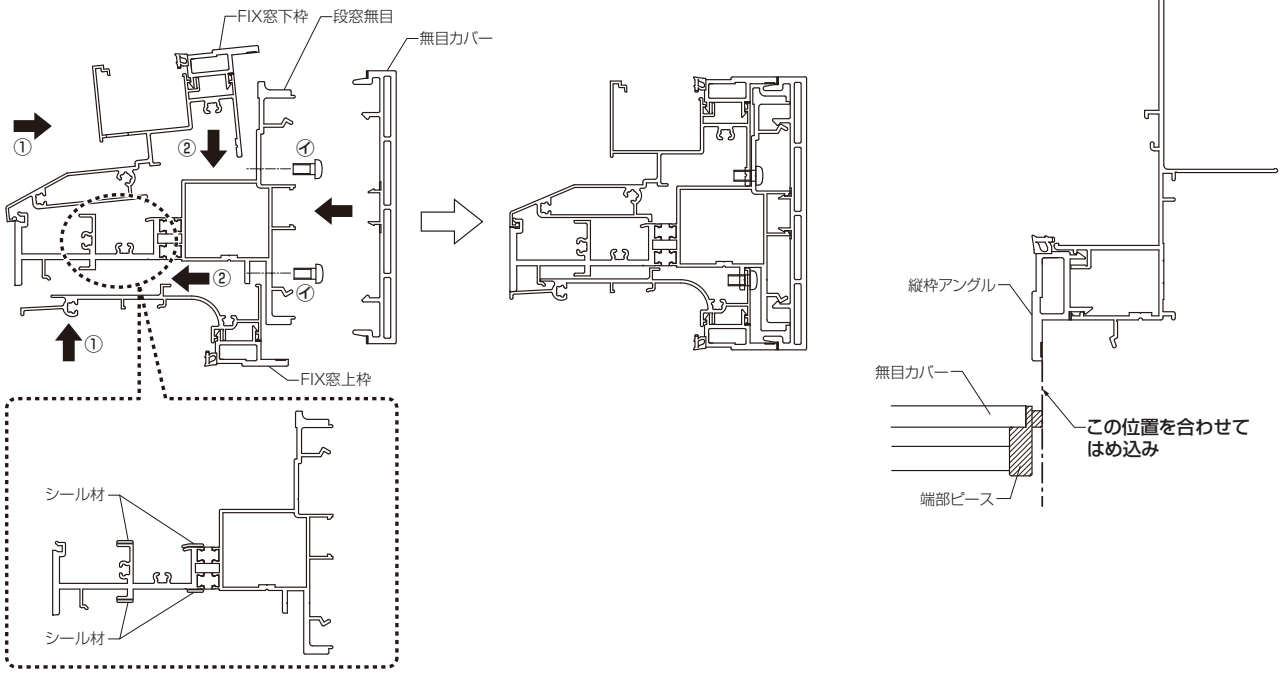

**●コーキングシーラー**



## ❷段窓無目との連結

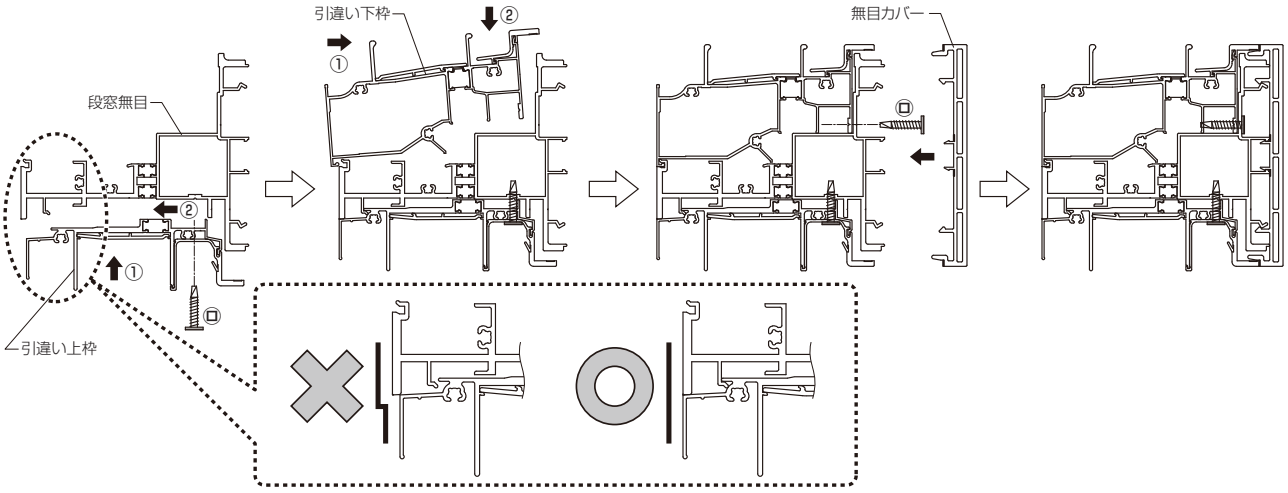
### ＜装飾窓／装飾窓の場合＞

※ねじレスショートアングルの断面で説明しています。
①上下のサッシ枠をそれぞれ組立てます。
②段窓無目と上下枠を一体に組合わせ、端部を面一に合わせ、右端の穴から段窓無目の穴をすべて㋑でねじ止めします。
※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。
その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
※段窓無目とサッシ上・下枠の室外側面が同一面になっていることを確認してください。
③無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。
※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。（ねじレスショートアングルの場合のみ）



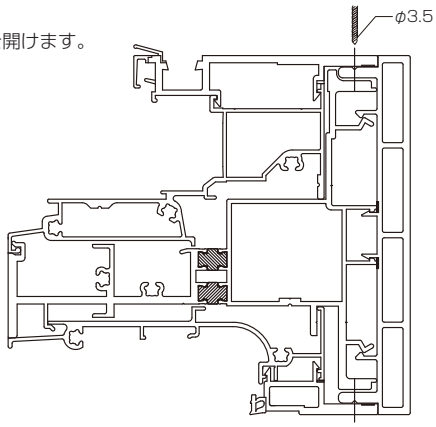

### ＜引違い／引違いの場合＞

①上下の引違い枠をそれぞれ組立てます。
②段窓無目と引違い上枠の両端を合わせ、引違いサッシに同梱されている㋺特平ドリル小ねじで固定します。
その際、室外側の面ズレがないようにして組立てます。（下記の詳細図参照）
※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。
その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
③段窓無目と引違い下枠の両端を合わせ、下枠を段窓無目に押しつけ、段窓無目の穴に合わせて、引違いサッシに同梱されている㋺特平ドリル小ねじで固定します。その際、室外側の面ズレがないように組立てます。
④上下枠の穴をすべてねじ止めします。
※引違いの上下枠には穴はあいていません。
⑤無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。
※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。（ねじレスショートアングルの場合のみ）

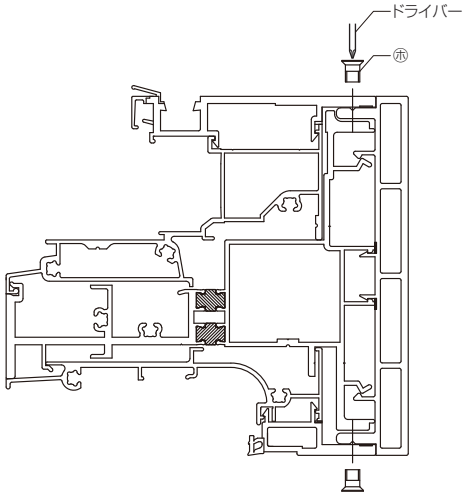


**【ねじ付アングルの場合】**

⑥サッシ本体のアングル取付け穴から無目のV溝に、φ3.5の下穴を開けます。
※無目アルミ形材まで穴を開けても問題ありません。

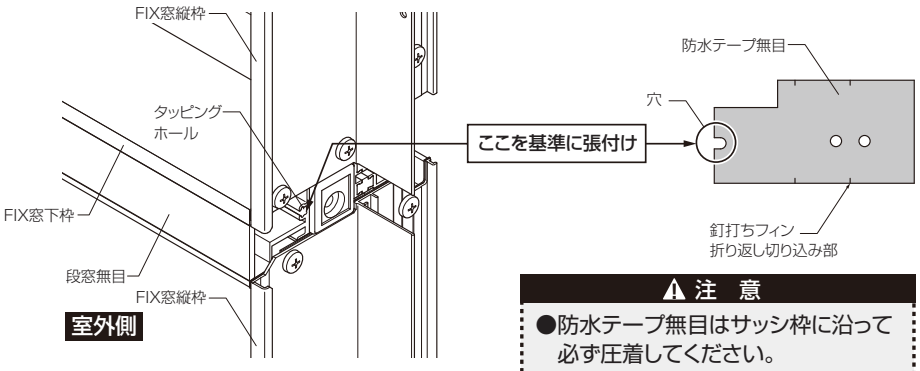



⑦アングル取付ねじを取付けます。
※無目カバーの浮き･ガタツキがないことを確認してください。
※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
※アングルねじの締めすぎに注意してください。
形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。



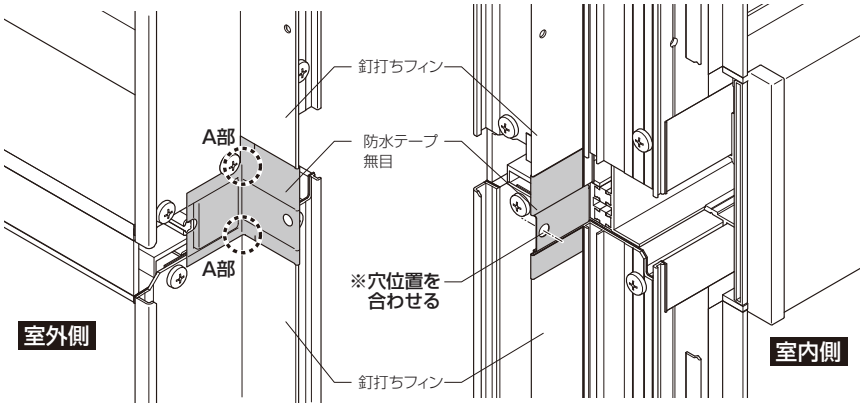

**3防水テープ無目の張付け**

●防水テープ無目を張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。
※防水テープ無目にはL･Rがありますので確認してください。
①防水テープ無目の穴と段窓無目のタッピングホール位置を合わせ、サッシ枠に沿って防水テープ無目を張っていきます。
※コーナー部は必ず押えてすき間があかないようにしてください。
②防水テープ無目の切込み部で釘打ちフィンを折り返し、釘打ちフィンの裏側まで張ります。
※防水テープ無目の2つの穴位置を合わせて折り返してください。

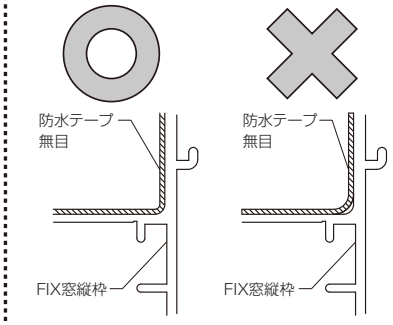



**⚠注 意**

●防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。




**■A部詳細図**

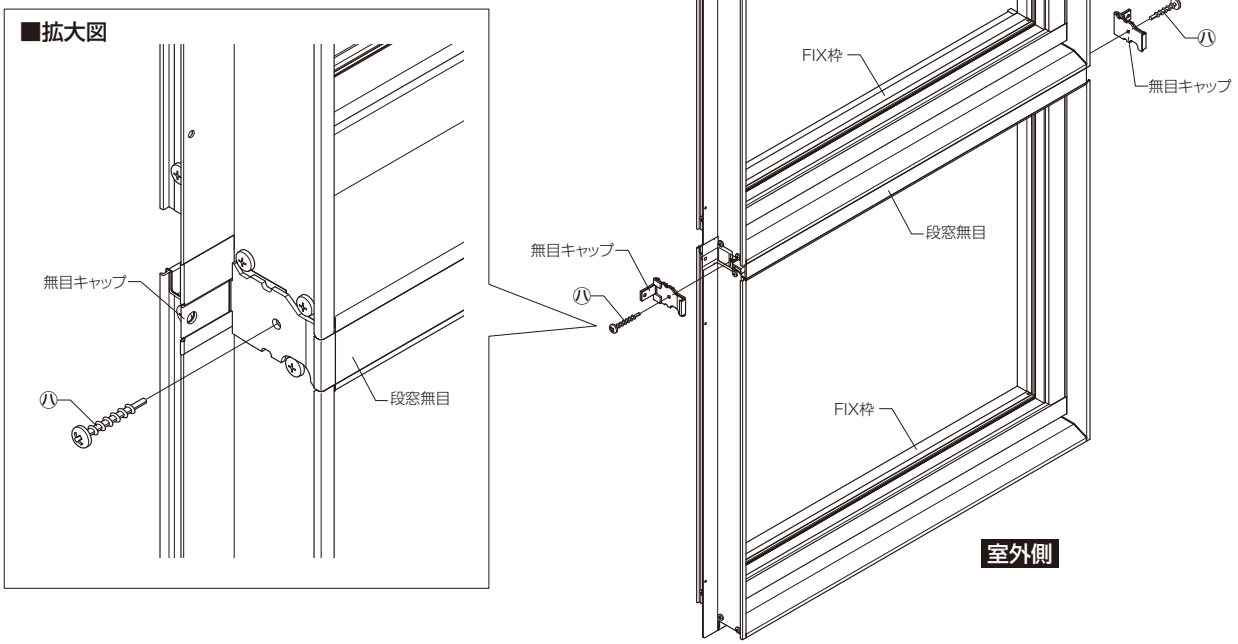


## 4無目キャップの取付け

●連結部に無目キャップを㋑でねじ止めします。
※キャップにはL・Rがありますので確認してください。

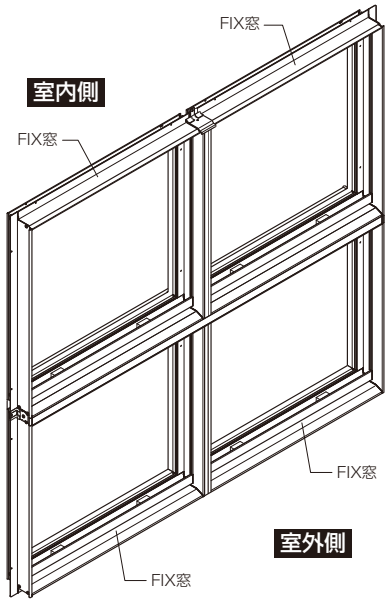
**⚠注　意**

●ねじは、2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



## ■連段窓の場合の組立て順序

＜FIX連窓＋FIX連窓の場合＞

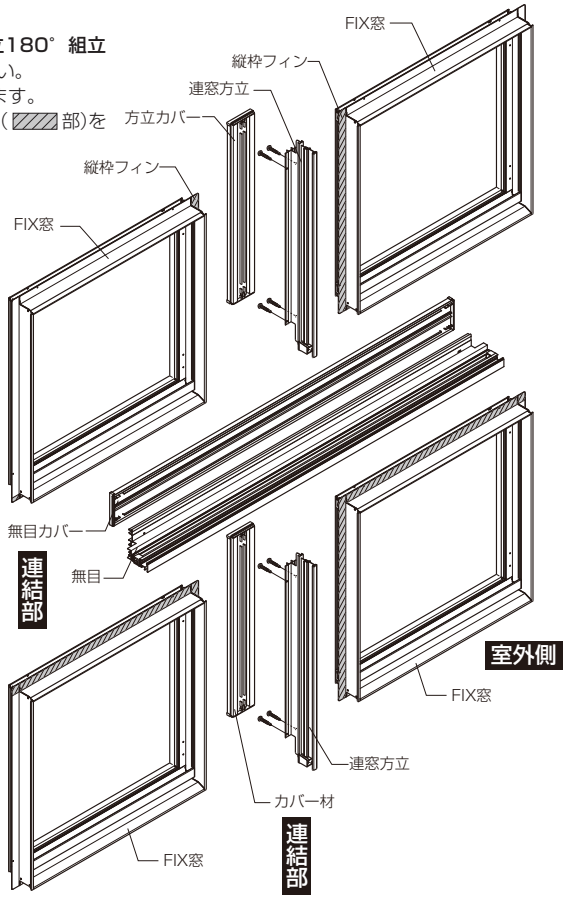



### ❶連結前の準備

※連窓部の詳細は、**「連窓方立180°組立て説明書」**を参照してください。

①FIX窓の枠をそれぞれ組立てます。

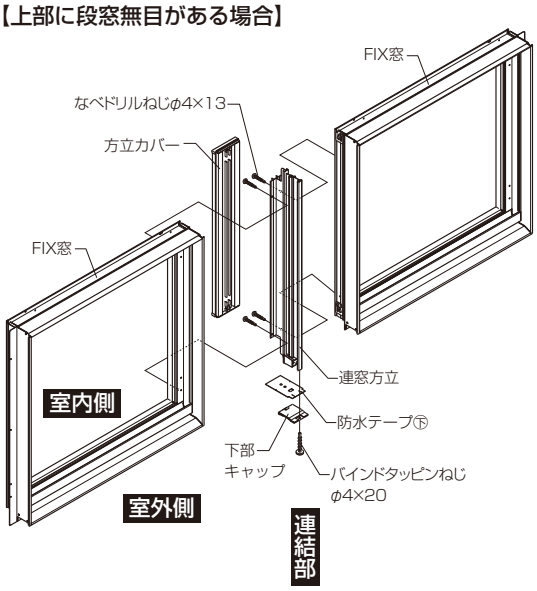
②連結部の縦枠・上下枠のフィン（▨部）をプライヤーなどで折取ります。



## ❷連窓部の組立て

①**「連窓方立180°組立て説明書」**にしたがって、連窓方立と左右のサッシ枠を連結します。
②上部に段窓無目がある場合、連窓方立下端に防水テープⓉ・下部キャップを取付けます。この場合、防水テープⓁ・上部キャップは使用しません。
※下部に段窓無目がある場合は、この逆になります。

**【上部に段窓無目がある場合】**

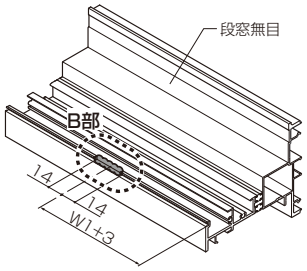



## ❸段窓部の組立て

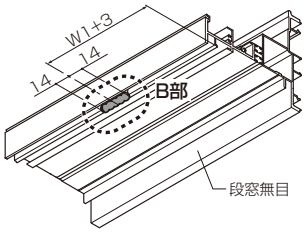
※**「❷段窓無目との連結」**に従って、段窓無目と上下サッシ枠を連結します。
①段窓無目の連窓方立接続部（⬭部）を切欠きます。
※方立が複数の場合は、それぞれの連窓方立の接続部に対して切欠きを行ってください。

**●連窓方立**

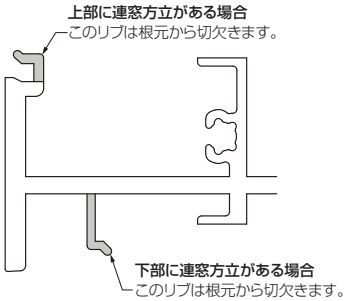
**【上部に連窓方立がある場合】**



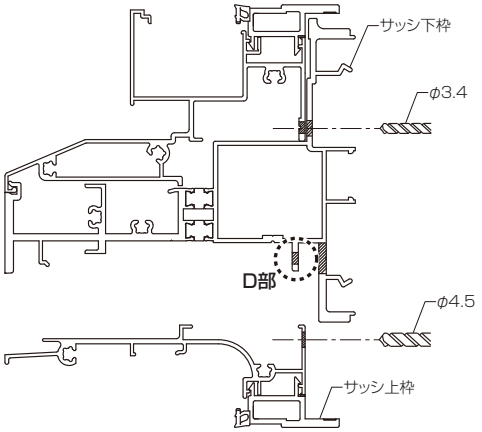

**【下部に連窓方立がある場合】**

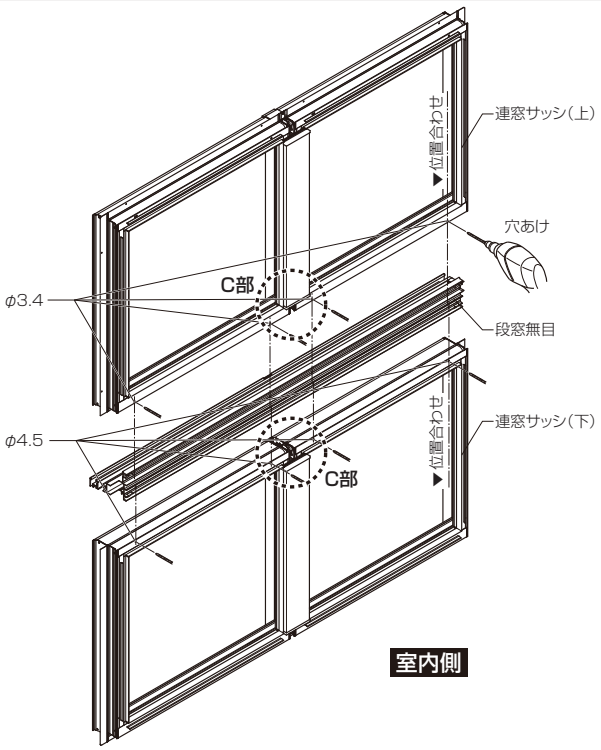



**■B部詳細図**



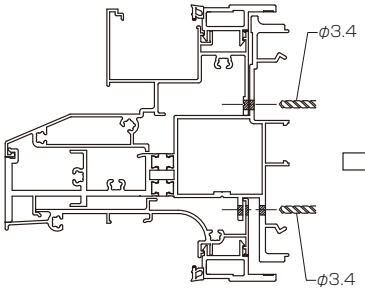
②連窓サッシ（上）と段窓無目の右端の穴で位置を合わせ、段窓無目のすべての穴に合わせてサッシ下枠にφ3.4の穴あけを行います。
※段窓無目にサッシ下枠を押し当てて穴あけを行ってください。
③連窓サッシ（下）と段窓無目の右端の穴で位置を合わせ、段窓無目のすべての穴に合わせてサッシ上枠にφ4.5の穴あけを行います。
※段窓無目にサッシ上枠を押し当てて穴位置を決めてください。φ4.5の穴あけは段窓無目から連窓サッシを外した状態で行ってください。D部にφ4.5の穴をあけるとねじが止まらなくなります。



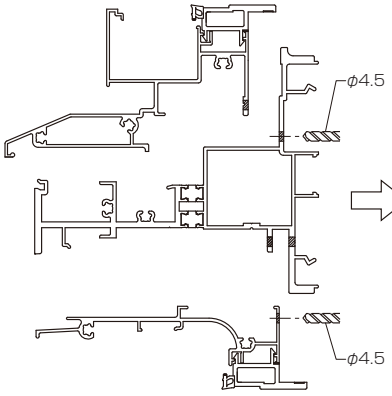




※段窓無目の穴がC部（連結する相手部材がない）にきた場合、右又は左に20mm程度ずらして以下の加工を行ってください。

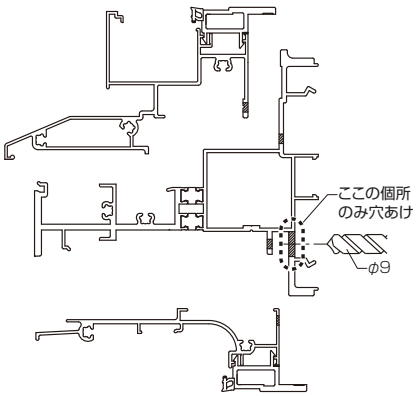
**【φ3.4の穴あけ】**



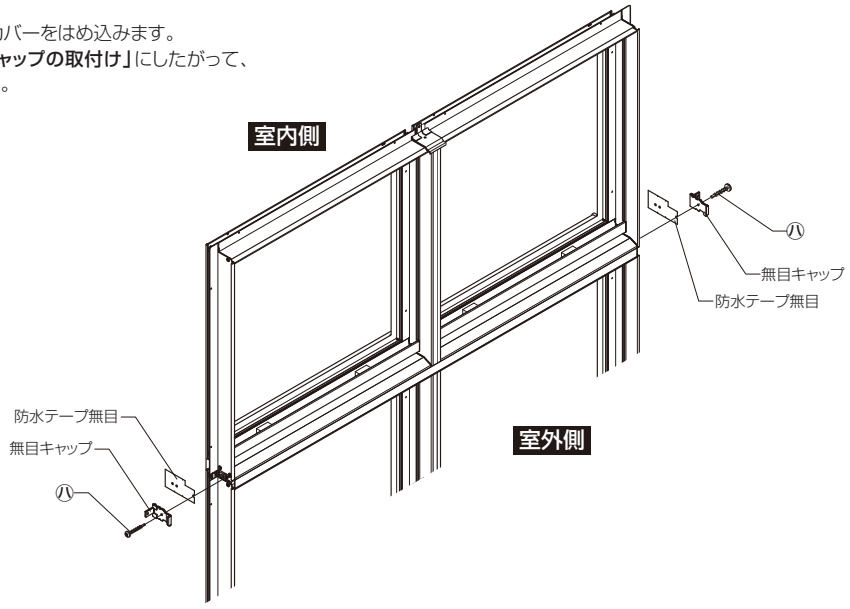

**【φ4.5の穴あけ】**




**【φ9の穴あけ】**




④段窓無目のすべての穴をねじ止めし、無目カバーをはめ込みます。
⑤「**③防水テープ無目の張付け**」「**④無目キャップの取付け**」にしたがって、防水テープ無目、無目キャップを取付けます。



# 有償品　段窓無目

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

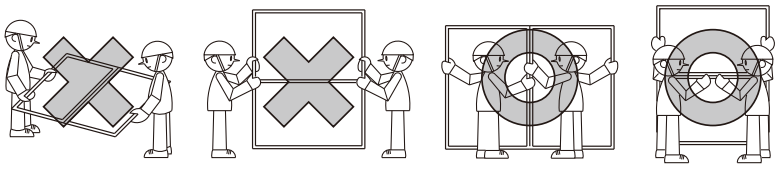
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
・段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
・ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ガラス破損防止のため、障子やガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
●段窓の組合せは上段：縦すべり出し窓、下段：FIX窓になります。上下の入替えはできません。
●枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
●段窓組立て後の取付けは、「段窓無目取付け説明書」を参照してください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

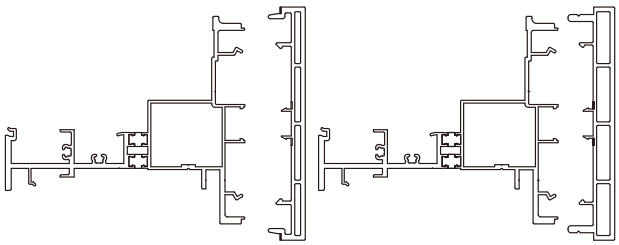
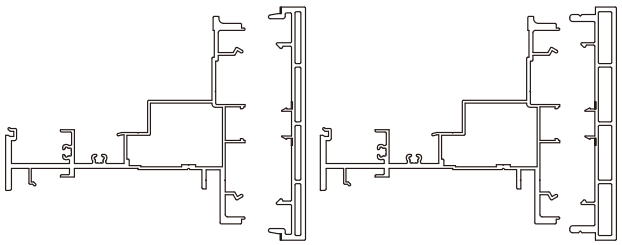
## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



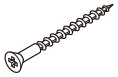
## ■段窓無目の種類

段窓無目

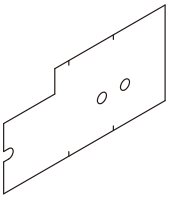
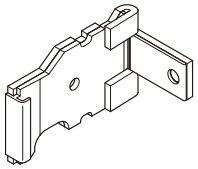
| H用 | S用 |
|---|---|
| 【ねじレスショートアングル】　【ねじ付アングル】 | 【ねじレスショートアングル】　【ねじ付アングル】 |
|  |  |

## ■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
※Ⓚは、取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡しください。

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ねじ付アングルに同梱 ㋥ |
|---|---|---|---|
| | |  | |
| バインド小ねじ M4×8 | バインドタッピングねじ φ4×20 | 皿木ねじ φ3.8×25 | 皿小ねじ M4×6 |
| 組立て用 | | 躯体取付け用 | アングル取付けねじ |

## ■部品一覧表

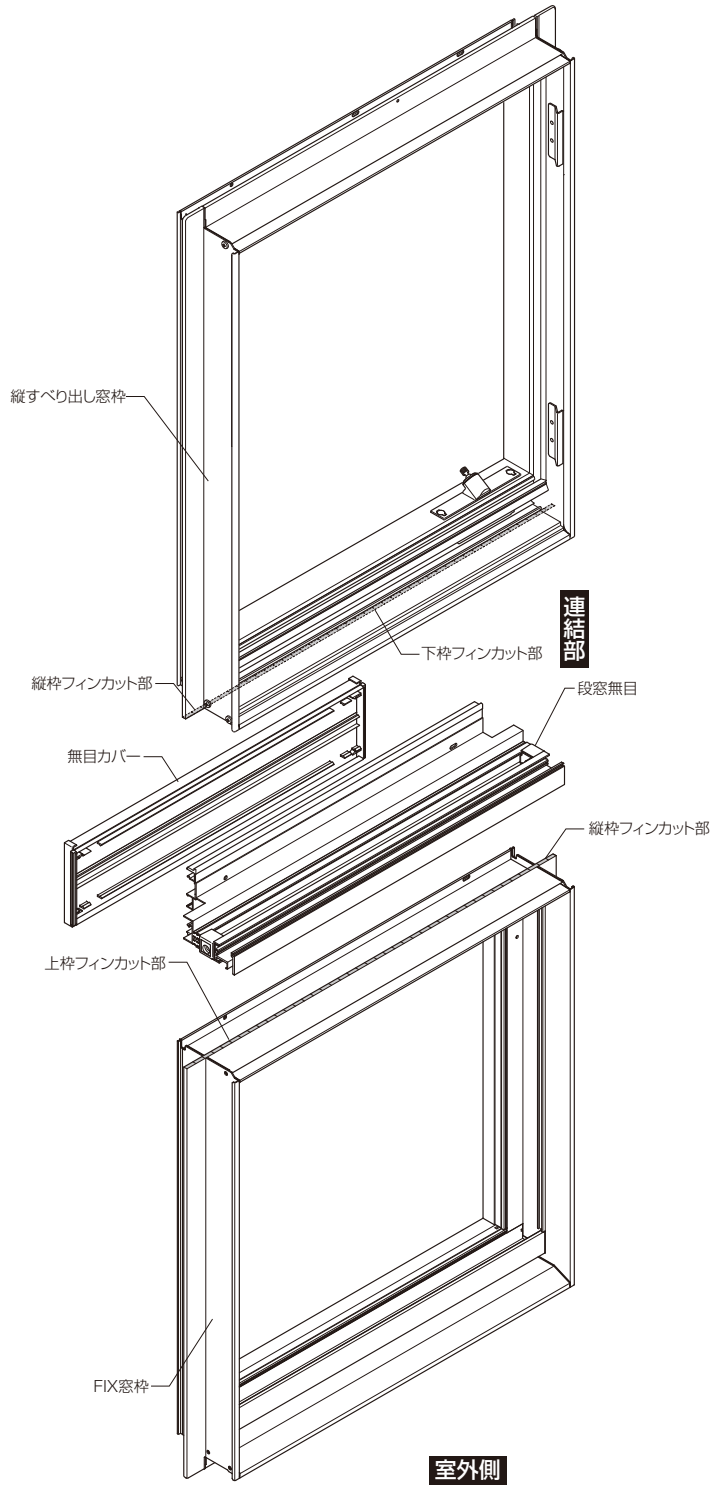
| | |
|---|---|
|  |  |
| 防水テープ無目 | 無目キャップ |

## ■組立て順序

### ❶上下サッシの配置

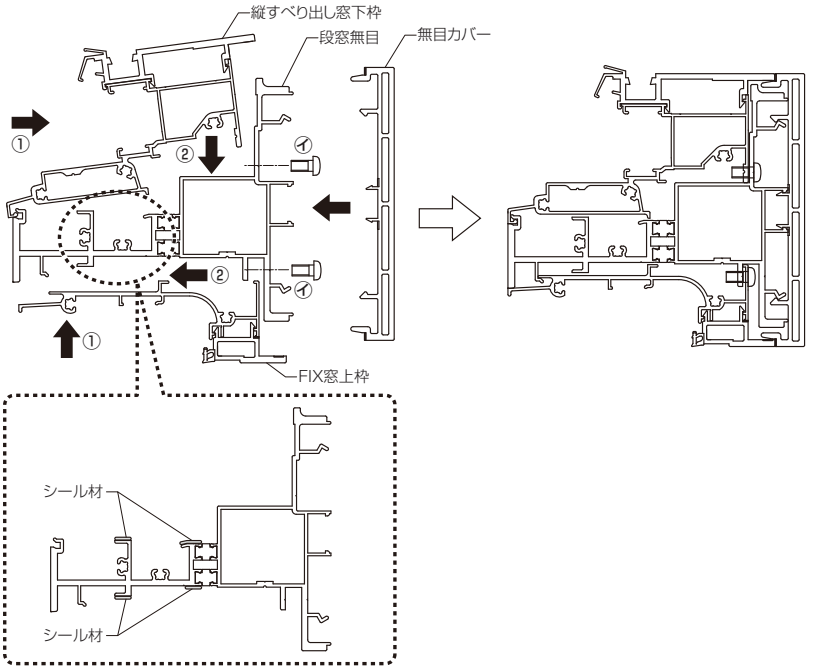
※ねじレスショートアングルで説明しています。
※上下サッシのフィンカットは不要です。上段：縦すべり出し窓、下段：FIX窓に配置してください。

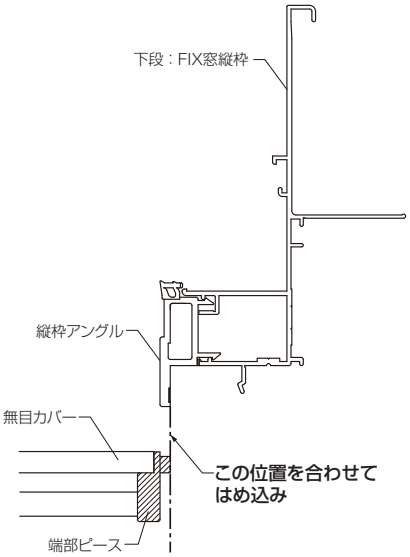
**【組立て例：縦すべり出し窓＋FIX窓（外押縁タイプ）】**



## ❷段窓無目との連結

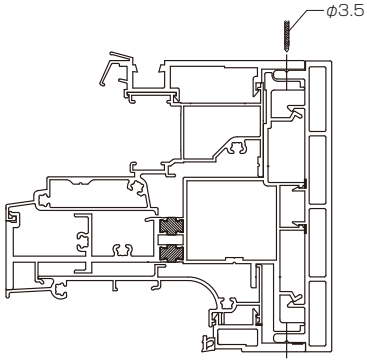
※ねじレスショートアングルの断面で説明しています。
①上下のサッシ枠をそれぞれ組立てます。
②段窓無目と上下枠を一体に組合わせ、端部を面一に合わせ、右端の穴から段窓無目の穴をすべて㋑でねじ止めします。
※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。
その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
※段窓無目とサッシ上・下枠の室外側面が同一面になっていることを確認してください。
③無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。
※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。（ねじレスショートアングルの場合のみ）

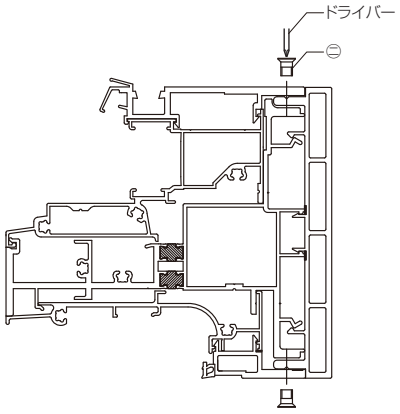



### ＜ねじ付アングルの場合＞

①サッシ本体のアングル取付け穴から無目のV溝に、φ3.5の下穴を開けます。
※無目アルミ形材まで穴を開けても問題ありません。

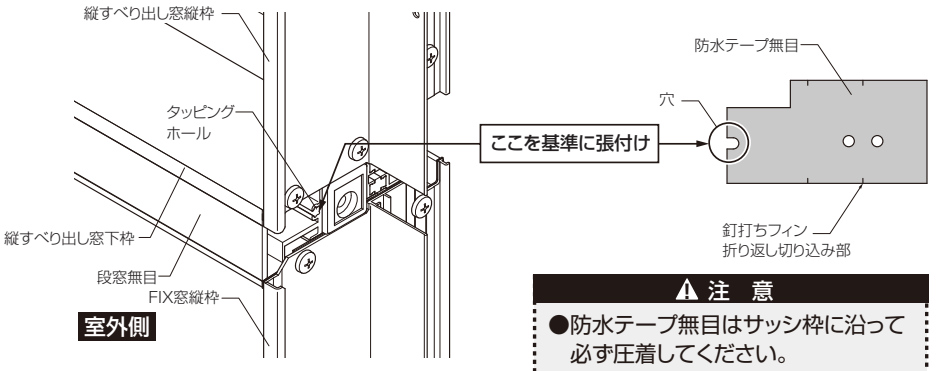


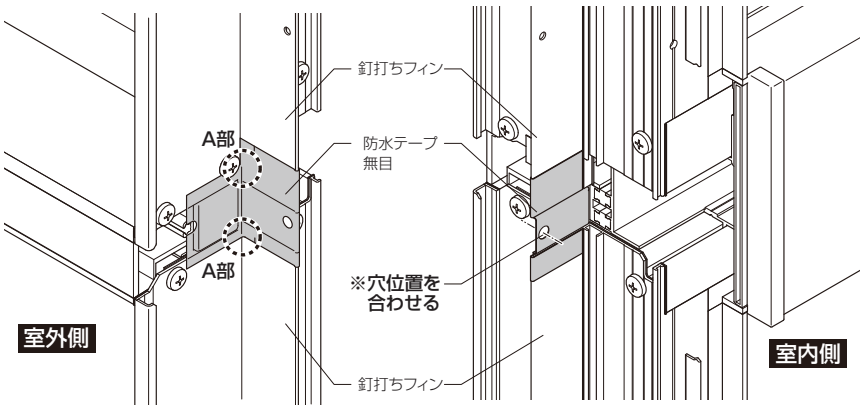

②アングル取付ねじを取付けます。
※無目カバーの浮き･ガタツキがないことを確認してください。
※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
※アングルねじの締めすぎに注意してください。
形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。

## 3防水テープ無目の張付け

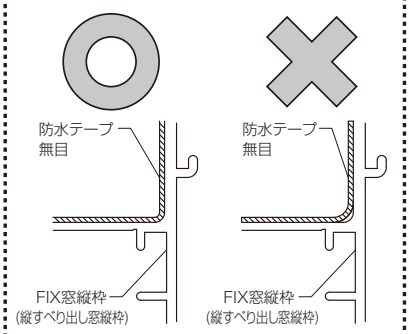
●防水テープ無目を張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。
※防水テープ無目にはL·Rがありますので確認してください。
①防水テープ無目の穴と段窓無目のタッピングホール位置を合わせ、サッシ枠に沿って防水テープ無目を張っていきます。
※コーナー部は必ず押えてすき間があかないようにしてください。
②防水テープ無目の切込み部で釘打ちフィンを折り返し、釘打ちフィンの裏側まで張ります。
※防水テープ無目の2つの穴位置を合わせて折り返してください。




**⚠ 注 意**
●防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。



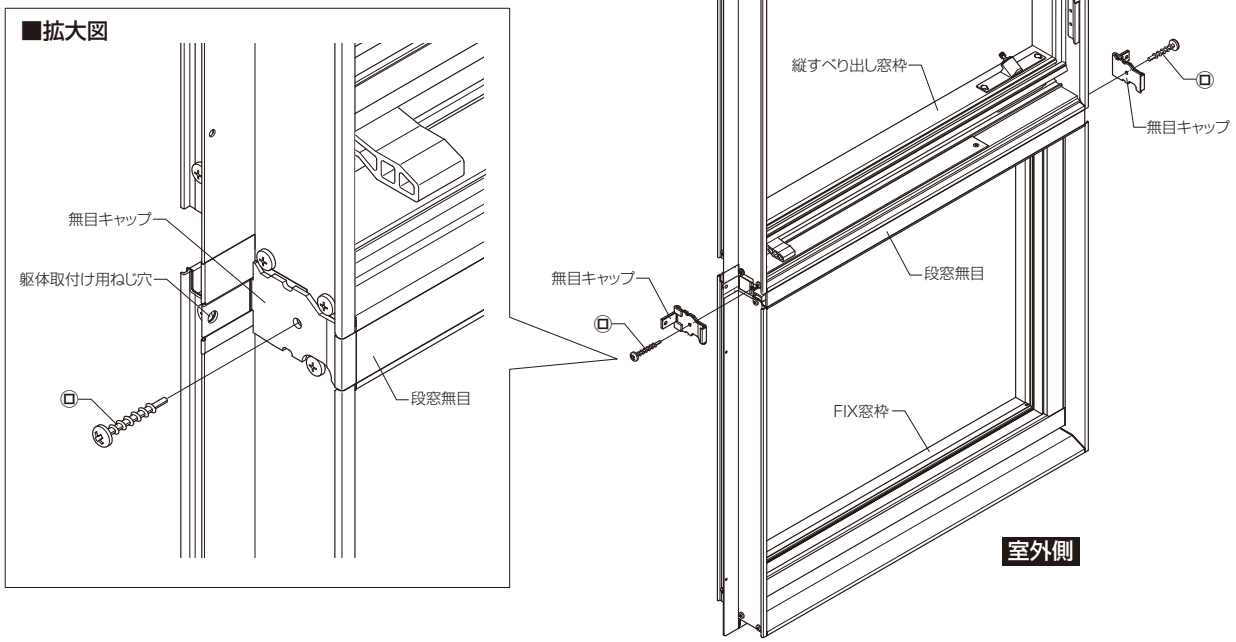

■A部詳細図




## 4無目キャップの取付け

●連結部に無目キャップを◻でねじ止めします。
※キャップにはL・Rがありますので確認してください。

**⚠ 注 意**
●ねじは、2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



# 有償品　段窓無目

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。　※□内は、ロットNO. 表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

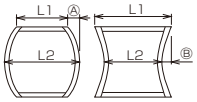
**⚠注 意**

●本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
●下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
・指定のねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。
・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
・サッシ枠との張り合わせ部分・防水テープの無目キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。
・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
・指定のねじで必ず段窓無目外側カバーを固定してください。

## ■取付け上のお願い

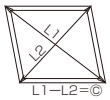
●サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5 ～2.0N・m にて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ・米松など）の場合は、φ 2.5mm 以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




| C |
|---|
| 2 |

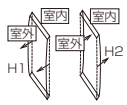
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**

| F |
|---|
| 2 |

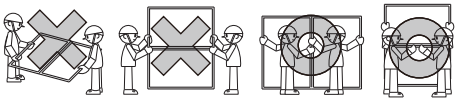
**■サッシ枠の室内外の反り**




| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、段窓無目部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



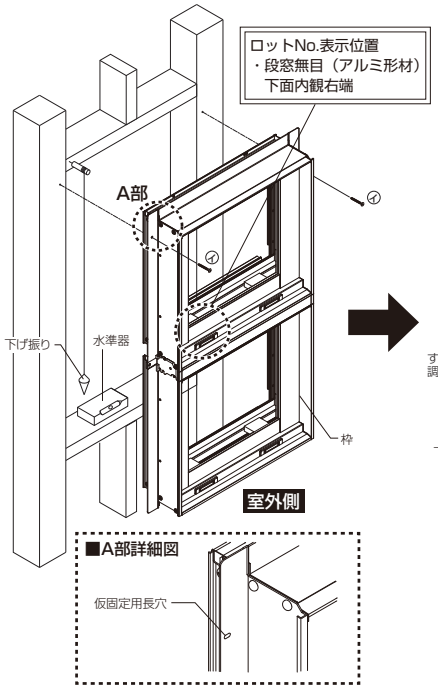
## ■ねじ一覧表

| ㋑～㋭ | ㋬ |
|---|---|
| | |
| 枠取付けねじ（低頭ねじ）φ3.1×32 | 皿木ねじφ3.8×25 |

## ■取付け順序

**❶枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、縦枠上部の仮固定用長穴の中央に㋑枠取付けねじで枠を仮止めします。

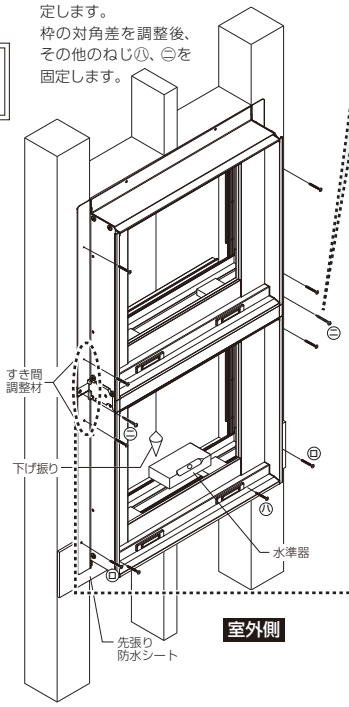



■A部詳細図




**❷枠の調整と固定**

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、縦枠下部ねじⒹを固定します。
枠の対角差を調整後、その他のねじ㋭、㋬を固定します。




**⚠注 意**

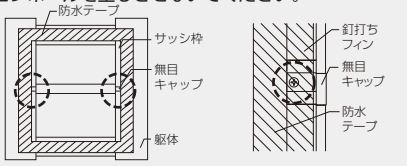
●指定の㋬皿木ねじで必ず、無目キャップを固定してください。漏水の原因になるおそれがあります。

**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

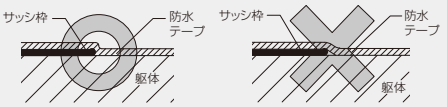
**⚠注 意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
●防水テープの無目キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。




**⚠注 意**

●サッシ枠との張り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

※ねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

# 有償品　段窓無目

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

**■取付けされる方へのお願い**

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

●本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

●下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。

・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。

・指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。

・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

・サッシ枠との張り合わせ部分・防水テープの無目キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。

・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

・指定のねじで必ず段窓無目外側カバーを固定してください。

**■取付け上のお願い**

●サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。

●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。

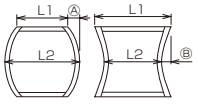
●樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

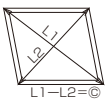
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

**■サッシ枠のフクレ・ツヅミ**




| L2−L1 | A | L1−L2 | B |
|---|---|---|---|
| 3 | 1.5 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠対角差**




L1−L2=Ⓒ

| C |
|---|
| 2 |

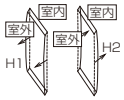
**■サッシ上下枠の内反り・外反り**

| L1−L2 | D | L2−L1 | E |
|---|---|---|---|
| 3 | 2 | 3 | 1.5 |

**■サッシ枠のねじれ**

| F |
|---|
| 2 |

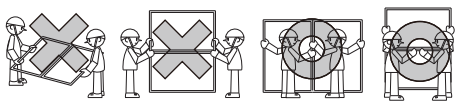
**■サッシ枠の室内外の反り**



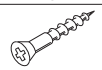

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

**■組立て後の取扱いとお願い**

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。又、移動する場合は、段窓無目部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



**■ねじ一覧表**

| ㋐ | ㋑ |
|---|---|
| |  |
| スクリュー釘 φ2.1×32 | 皿木ねじφ3.8×25 |

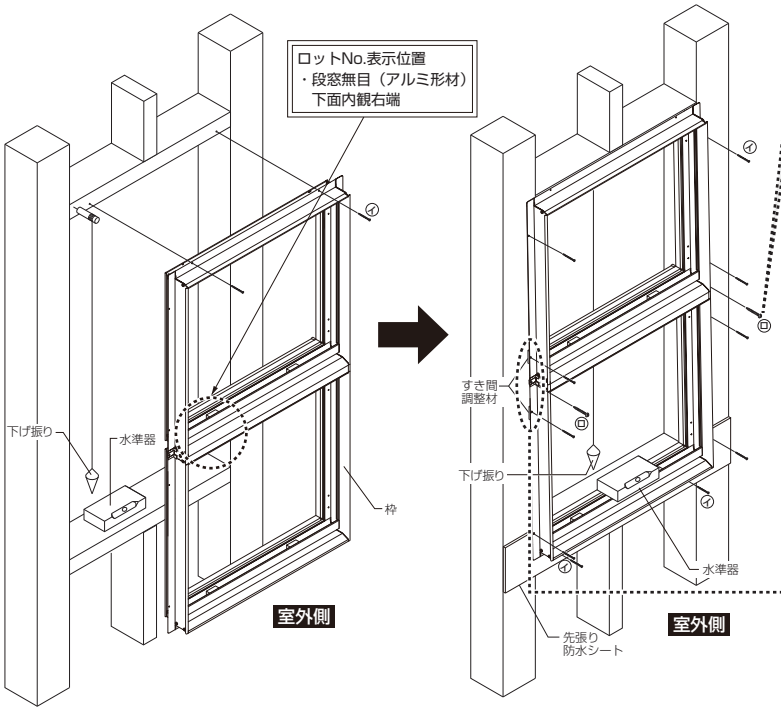
**■取付け順序**

**1枠の仮止め**

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

**2枠の調整と固定**

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後固定します。




**⚠注 意**

●指定の㋒皿木ねじで必ず、無目キャップを固定してください。漏水の原因になるおそれがあります。

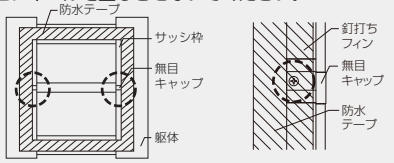
**⚠注 意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

**⚠注 意**

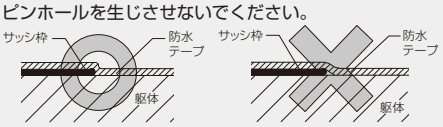
●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

●防水テープの無目キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。




**⚠注 意**

●サッシ枠との張り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

# 有償品　浴室用段窓無目

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

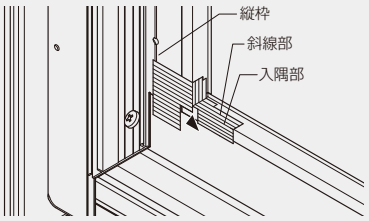
## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠注　意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 上下枠フィン・縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。
- 段窓の組立て前に、浴室用部品セットを使用し、所定の防水処理（防水シールの張付け）を行ってください。
- 段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- 指定個所には、必ずコーキング材（別途）を充てんしてください。
- 連結部のアングル取付けねじを固定する前に、ねじ穴にコーキング材（別途）を充てんしてください。
- 防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。
- ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- 入隅部はヘラなどで押さえ、すき間のないようにしてください。
- 縦枠と下枠の接合部はコーキングシーラーなどで段差があるため、段差部などに空間（すき間）ができないように押さえて、形材と密着させてください。
- 右図の▲印部に空間（すき間）ができないように押さえて、形材と密着させてください。

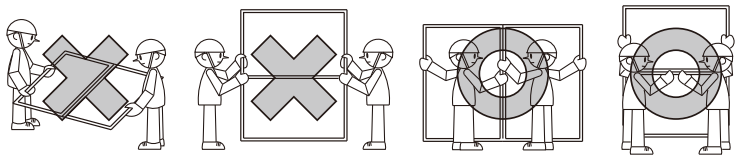



## ■組立て上のお願い

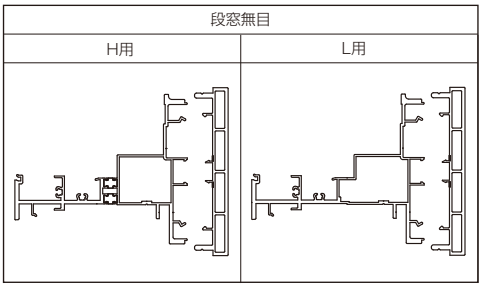
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
●枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。
●段窓組立て後の取付けは、「浴室用段窓無目取付け説明書」を参照してください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま段窓無目部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



## ■段窓無目の種類

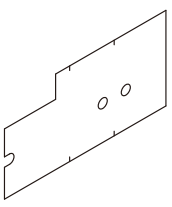
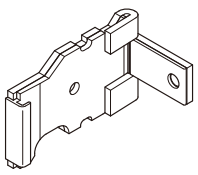



## ■組立てねじ一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。
※㊂は、取付け説明書と一緒に、必ず取付けされる方にお渡しください。

| ㋑ | 引違いサッシに同梱 ㋺ | ㋩ | ㋥ | ねじ付アングルに同梱 ㋭ |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| バインド小ねじ M4×8 | 特平ドリル小ねじ φ4×18.5 | バインドタッピングねじ φ4×20 | 皿木ねじ φ3.8×25 | 皿小ねじ M4×6 |
| 組立て用 | | | 躯体取付け用 | アングル取付けねじ |

## ■部品一覧表

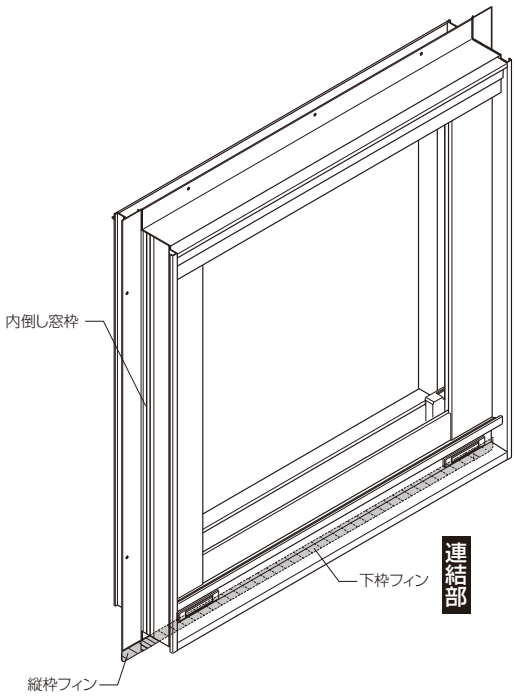
| | |
|---|---|
|  |  |
| 防水テープ無目 | 無目キャップ |

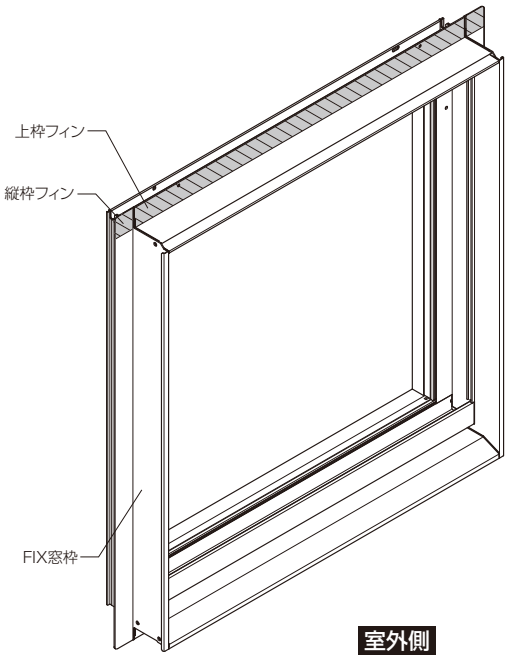
## ■組立て順序

### ❶上下枠のフィンカット

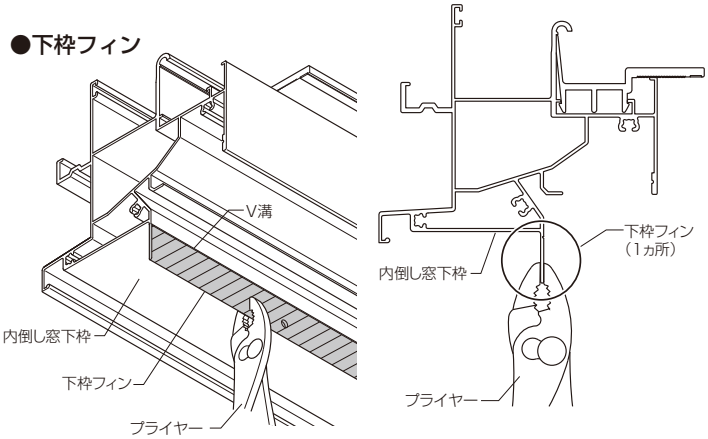
①連結部の縦枠・上下枠フィンのV溝にカッターで1～2回スジをつけます。
②プライヤーで、▨部を折曲げながら取除きます。
③コーキングシーラーの ▭ を切取ります。
※上下枠のフィンカット部は各々1ヵ所あります。

**【組立て例：内倒し窓＋FIX窓】**

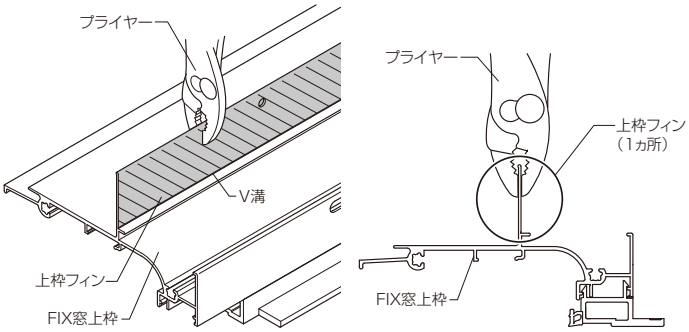


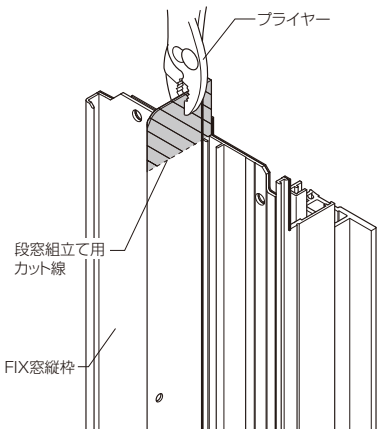

**●下枠フィン**



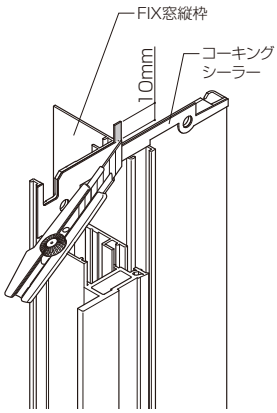

**●上枠フィン**




**●縦枠フィン**




**●コーキングシーラー**



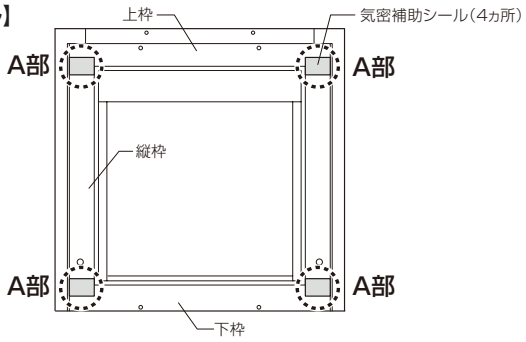

**⚠注　意**

●上下枠フィン･縦枠フィンカット時、フィンカットしない部分が破損・変形しないようにしてください。
また、フィンカットした部分は凹凸がないようにしてください。

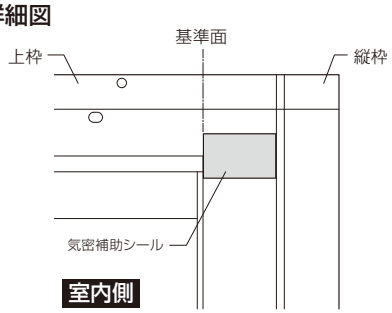
## ❷気密補助シール（本体同梱）、浴室用防水シール（別途手配）の張付け

①本体に同梱されている気密補助シールを張付けてください。
②下枠の気密補助シールのリケイ紙をはがして、別途オプション品に同梱されている浴室用防水シールを重ねて張付けてください。
③連結側となる上段サッシ下枠の浴室用防水シールのリケイ紙を一部だけはがしてください。

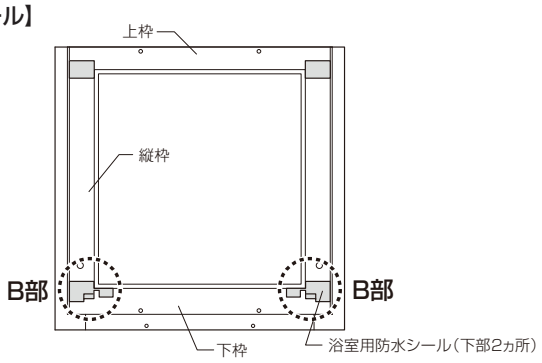
【気密補助シール】



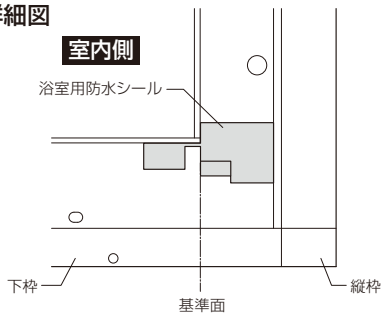

■A部詳細図




【浴室用防水シール】



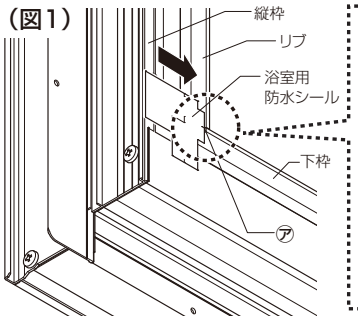

■B部詳細図



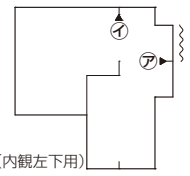

### ■B部浴室用防水シール張付け順序

※反対側も同じ手順で行ってください。
①浴室用防水シールの切込み（㋐部）を縦枠アングル下部に合わせてリケイ紙をはがします。縦枠リブに沿ってリブとのすき間がないように位置を合わせながら部分的に張付けます。
※(C図)の ～～ 部を縦枠リブに合わせて部分的に張付けます。

(図1)



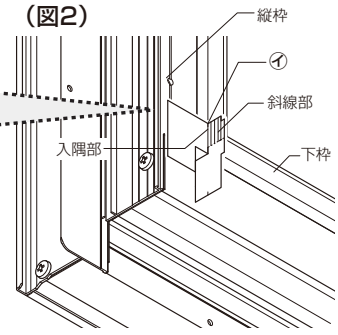

●浴室用防水シール(C図)
※浴室用防水シールは、左右兼用となっています。




②浴室用防水シールの切込み（㋑部）をアングル入隅部に位置を合わせ、(図2)の斜線部を張付けます。

**⚠注 意**
●入隅部はヘラなどで押さえ、すき間のないようにしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

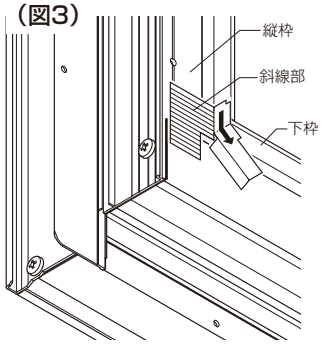
(図2)




③(図3)の斜線部を張付けてください。

**⚠注 意**
●縦枠と下枠の接合部はコーキングシーラーなどで段差があるため、段差部など(図3)の斜線部に空間（すき間）ができないように押さえて、形材と密着させてください。漏水の原因になるおそれがあります。

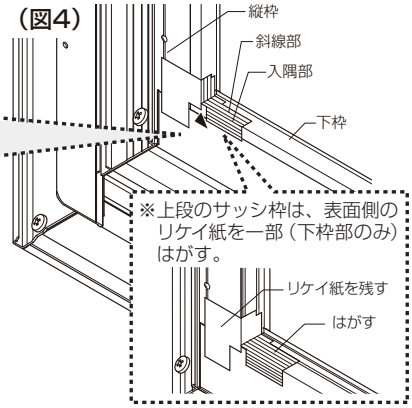
(図3)




④(図4)の斜線部を折曲げ、下枠に張付けてください。

**⚠注 意**
●入隅部はヘラなどで押さえ、すき間のないようにしてください。漏水の原因になるおそれがあります。
●(図4)の▲印部に空間（すき間）ができないように押さえて、形材と密着させてください。漏水の原因になるおそれがあります。

(図4)

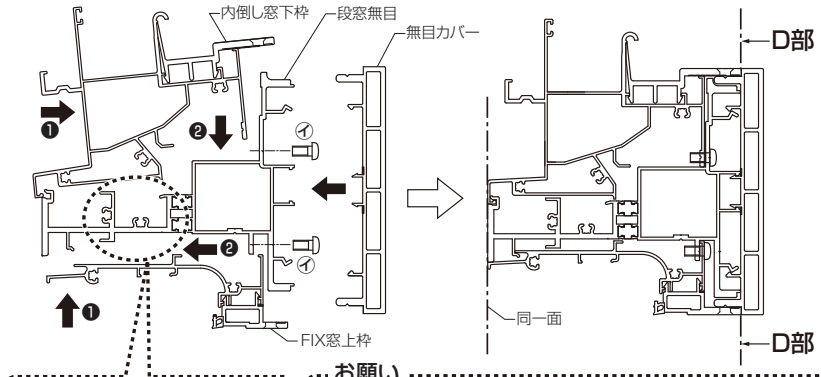


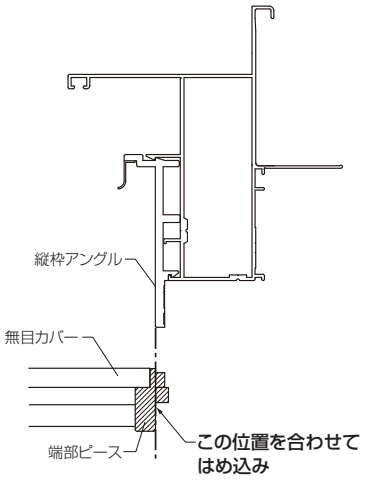
## ❸段窓無目との連結

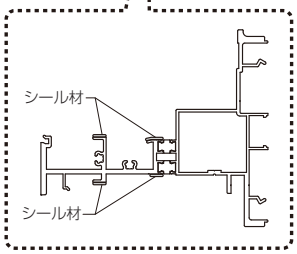
**【装飾窓＋装飾窓の場合】**

①上下のサッシ枠をそれぞれ組立てます。
②段窓無目と上下枠を一体に組合わせ、端部を面一に合わせ、右端の穴から段窓無目の穴をすべて㋑でねじ止めします。
※段窓無目に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。
その際、シール材をはがしたり、破損しないようにしてください。
※段窓無目とサッシ上・下枠の室外側面が同一面になっていることを確認してください。
③無目カバーに取付いている端部ピースとサッシ縦枠アングルの位置を合わせ、無目カバーをはめ込みます。
※無目カバーと上窓下枠カバー、下窓上枠カバーにすき間が無いようにしてください。（**D部**）
※かたい場合は、当て木をしてハンマーでたたいて取付けてください。

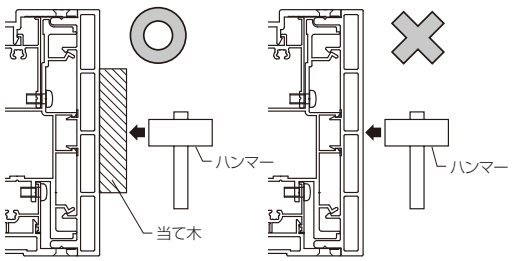
**⚠注　意**
●段窓無目に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。



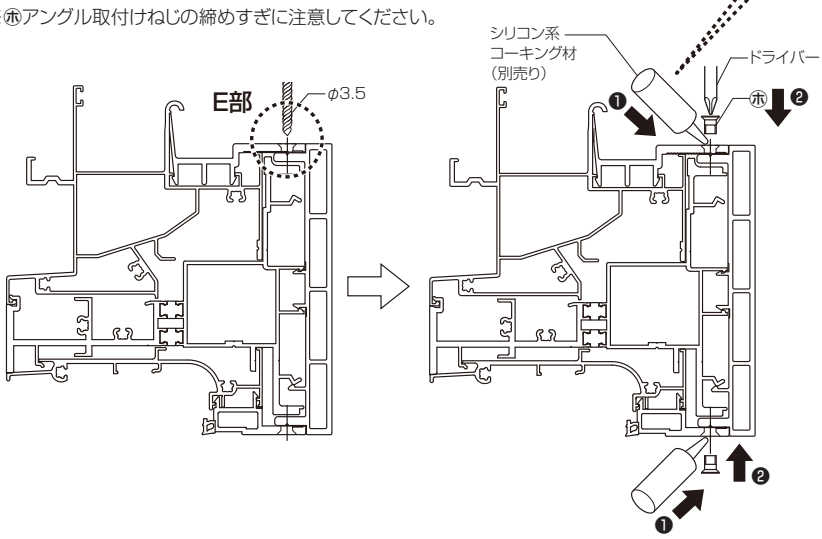



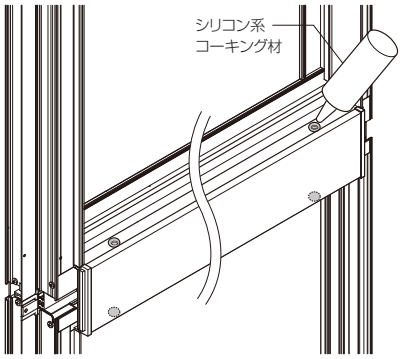

**お願い**
※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。



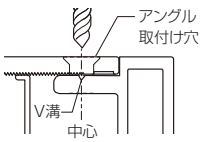

④サッシ本体のアングル取付け穴から無目に、φ3.5の下穴を垂直に開けます。
※無目アルミ形材まで穴を開けても問題ありません。
⑤上・下のねじ穴に、必ずシリコン系コーキング材（別途）を充てんしてください。
※無目部に、溶室部品セットに同梱されているコーキングワッシャー（防水部品セット同梱）は使用しません。
⑥㋭アングル取付けねじを取付けます。
※無目カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。
※㋭アングル取付けねじはまっすぐにねじ込んでください。
※㋭アングル取付けねじの締めすぎに注意してください。



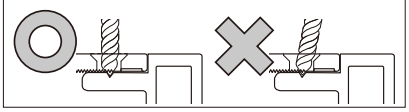

**⚠注　意**
●連結部のアングル取付けねじを固定する前に、ねじ穴にコーキング材（別途）を充てんしてください。




**■E部詳細図**
アングル取付け穴の中心をV溝に合わせ、下穴を開けてください。

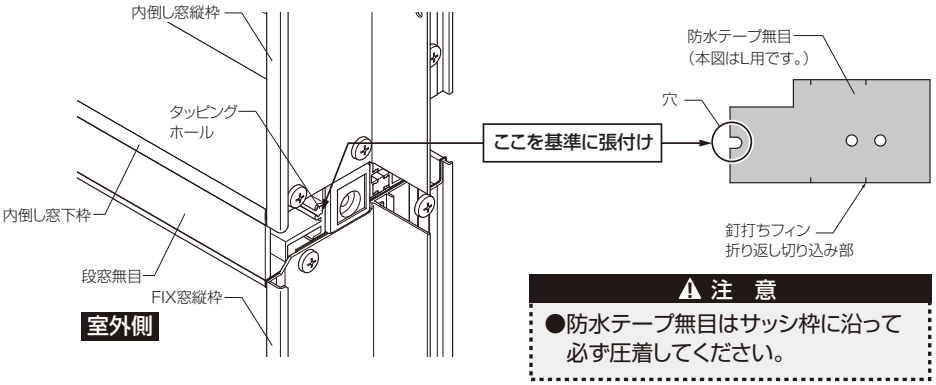



下穴をナナメに開けると、D部に空間（すき間）ができます。



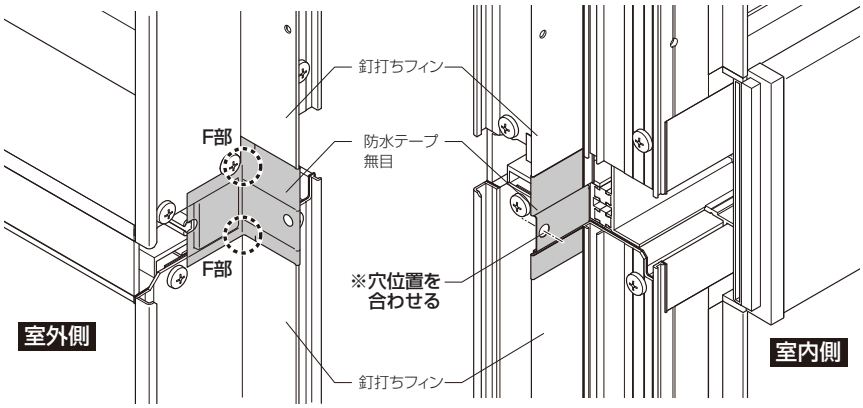
## ❹防水テープ無目の張付け

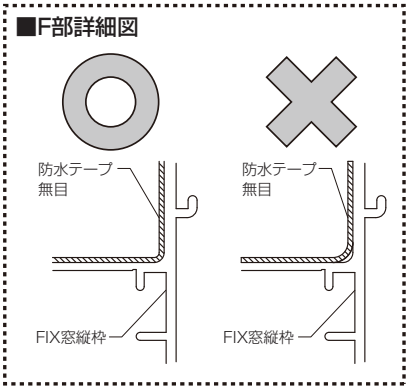
●防水テープ無目を張付け基準位置に合わせ、サッシ枠に沿って張付けます。
※防水テープ無目にはL·Rがありますので確認してください。
①防水テープ無目の穴と段窓無目のタッピングホール位置を合わせ、サッシ枠に沿って防水テープ無目を張っていきます。
※コーナー部は必ず押えてすき間があかないようにしてください。
②防水テープ無目の切込み部で釘打ちフィンを境に折り返し、釘打ちフィンの裏側まで張ります。
※防水テープ無目の2つの穴位置を合わせて折り返してください。




**⚠ 注 意**

●防水テープ無目はサッシ枠に沿って必ず圧着してください。



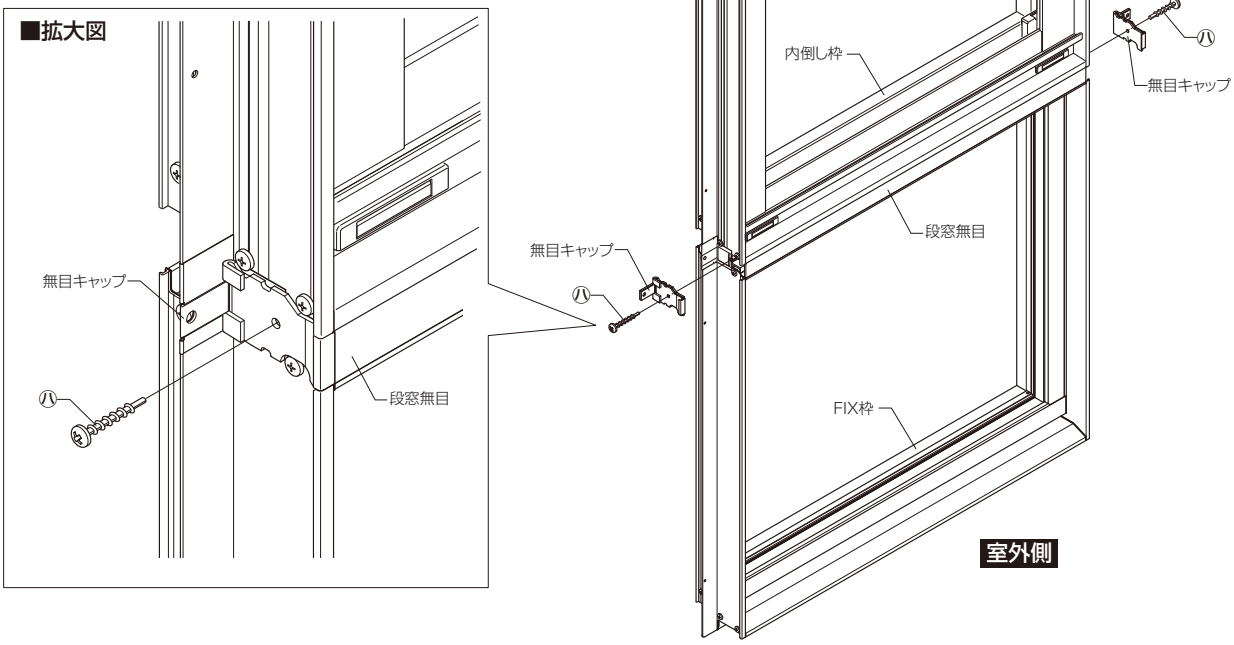



**5無目キャップの取付け**

●連結部に無目キャップを㋑でねじ止めします。
※キャップにはL・Rがありますので確認してください。

**⚠ 注　意**

●ねじは、2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



# 有償品　浴室用段窓無目

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。　※ ▭ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠注　意

●本製品は、組立て後の製品重量は最大50kgになります。取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。

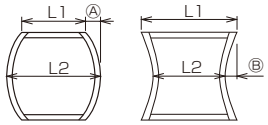
●下枠が垂下がり、障子が落下するおそれがありますので下記事項をお守りください。
- 必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
- 指定のスクリュー釘・木ねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。
- 開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
- サッシ枠との張り合わせ部分・防水テープの無目キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。
- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- 指定のねじで必ず段窓無目外側カバーを固定してください。
- サッシのアングル周りは、シリコン系コーキング材（別途）で必ずシーリング処理してください。
- サッシには、必ず浴室用防水部品セット（別売り）を使用してください。
- 引違いの躯体取付けねじには、浴室用部品セットに同梱されているコーキングワッシャーを使用してください。
- アングル取付け木ねじには、浴室用防水部品セットに同梱されているコーキングワッシャー又はシリコン系コーキング材（別途）で必ずシーリング処理をしてください。

## ■取付け上のお願い

●サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方などは各製品の取付け説明書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

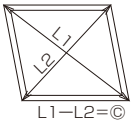
### ■サッシ枠のフクレ・ツヅミ




| L2−L1 | A |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

| L1−L2 | B |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

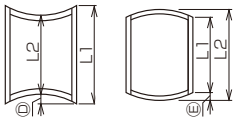
### ■サッシ枠対角差




L1−L2=Ⓒ

| C |
|---|
| 2 |

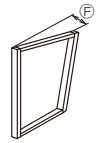
### ■サッシ上下枠の内ソリ・外ソリ




| L1−L2 | D |
|---|---|
| 3 | 2 |

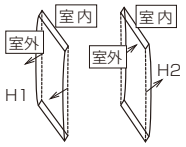
| L2−L1 | E |
|---|---|
| 3 | 1.5 |

### ■サッシ枠のねじれ




| F |
|---|
| 2 |

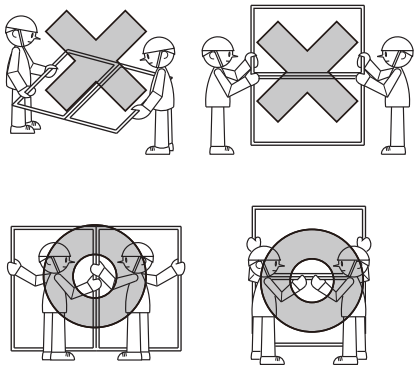
### ■サッシ枠の室内外のソリ



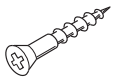

| H1 | H2 |
|---|---|
| 1 | 1 |

## ■組立て後の取扱いとお願い

●組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、段窓無目部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



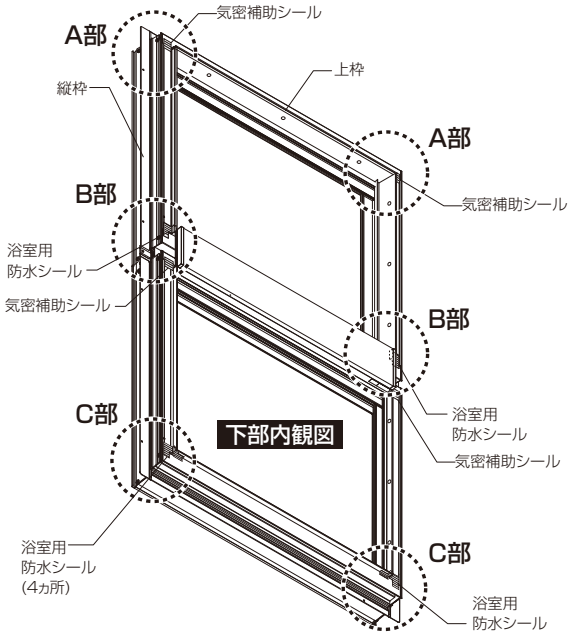
## ■ねじ一覧表

| ㋑ | ㋺ |
|---|---|
| |  |
| スクリュー釘 φ2.1×32 | 皿木ねじφ3.8×25 |

## ■取付け順序

### 1躯体取付け前の確認

●室内側下部に張付けられている浴室用防水シール、気密補助シールのリケイ紙（▤部）はサッシ枠を躯体に取付ける前に必ずはがしてください。

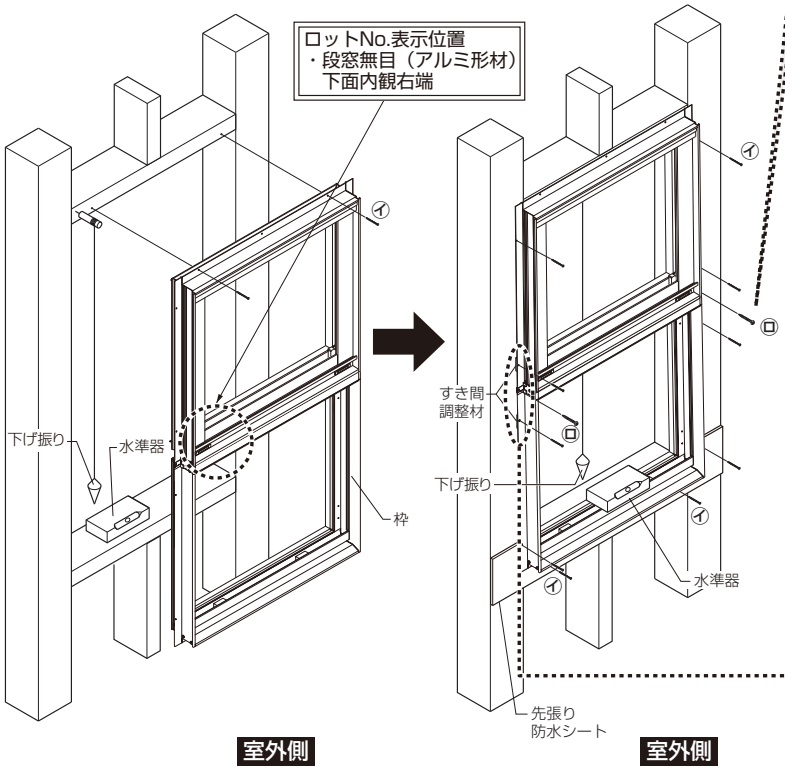



### 2枠の仮止め

●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

### 3枠の調整と固定

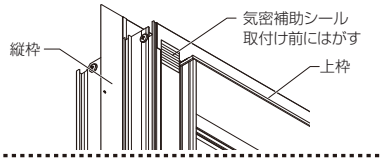
●下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後固定します。



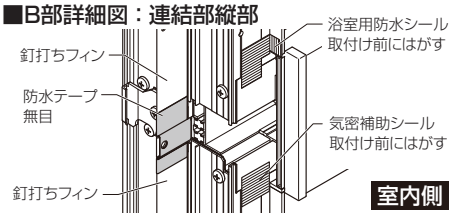

**⚠注　意**

●サッシには、必ず浴室防水部品セット（別売り）を使用してください。

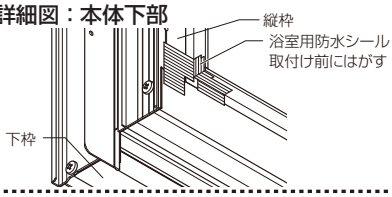
■A部詳細図：本体上部




■B部詳細図：連結部縦部




■C部詳細図：本体下部




**⚠注　意**

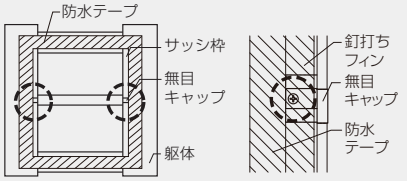
●指定の㋺皿木ねじで必ず、無目キャップを固定してください。漏水の原因になるおそれがあります。

**⚠注　意**

●枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。

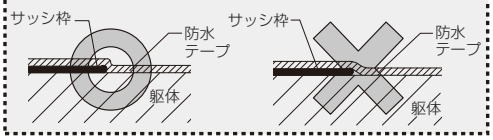
**⚠注　意**

●本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
●防水テープの無目キャップ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。




**⚠注　意**

●サッシ枠との張り合わせ部分は、必ず強くこすりつけて、ピンホールを生じさせないでください。




**お願い**

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

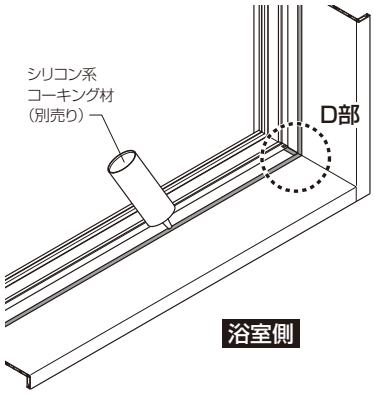
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にころび、開閉不良など不具合が発生することがあります。

## 4浴室用窓額縁の取付け

取付け方法は、浴室用窓額縁に同梱されている取付け説明書を参照してください。

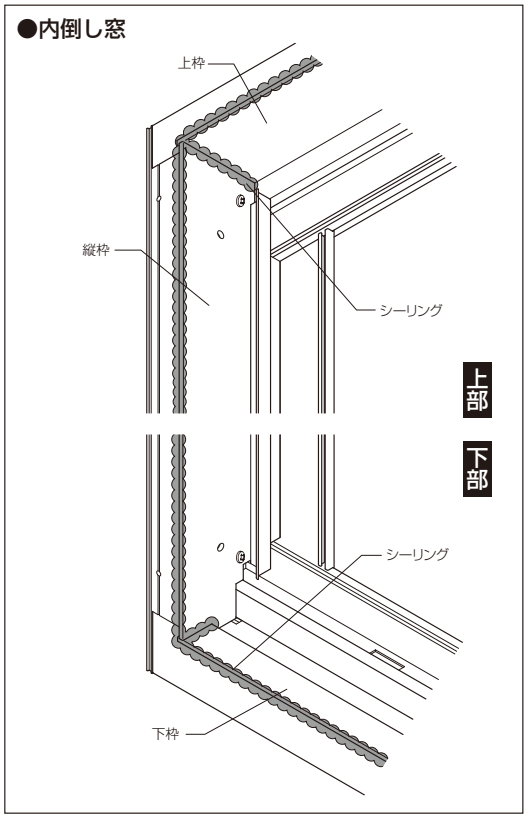
## 5サッシまわりのシーリング処理

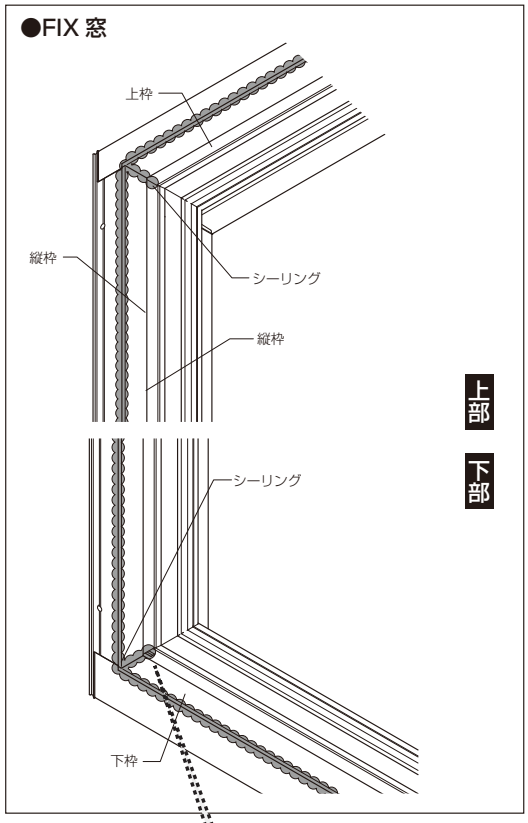
●サッシ枠の室内側アングルまわり（▭部）は、シリコン系コーキング材（別途）でシーリング処理してください。
D部のアングル部のシーリング個所は品種により異なります。
D部詳細図は、代表品種の施工例です。他品種は、『浴室用防水部品セット』に同梱されている組立て・取付け説明書を参照してください。




■D部詳細図（代表例）

※図は内観左縦枠を示します。内観右縦枠も同様の処理をしてください。



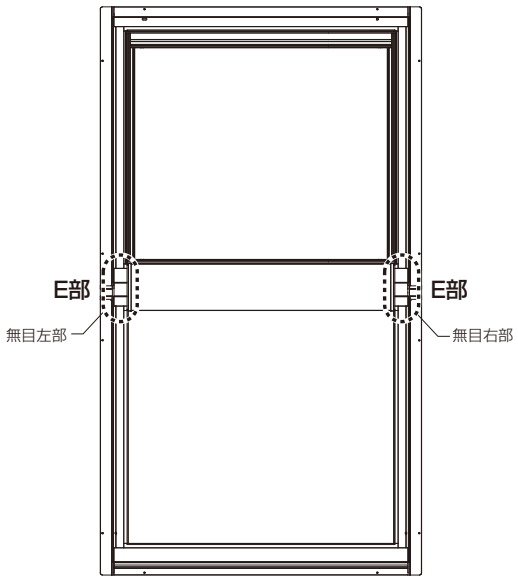




**⚠注　意**

●排水穴もシーリングして埋めてください。漏水の原因になるおそれがあります。

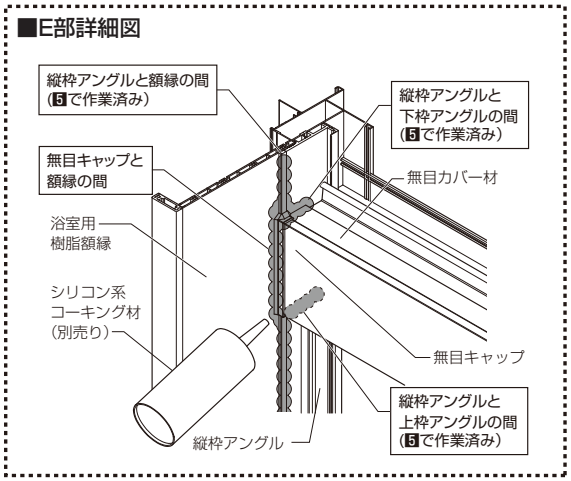
## 6無目まわりのシーリング処理

●サッシ上下枠の室内側アングルと無目カバー材の間(シーリングポケット部)、
無目カバー材と額縁の間(■部)は、シリコン系コーキング材(別途)でシーリング処理してください。
サッシまわりおよび無目カバーまわりのシーリングは、切れ目なく連続的に処理してください。




内観図

■E部詳細図



# 有償品　枠付面格子(ブラケット短)

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。　　※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

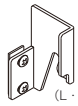
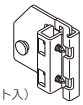
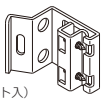
**⚠注 意**

●面格子の落下・転落防止のため、下記事項をお守りください。
・面格子は手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
・面格子取付け後、ゆすってみて緩み・ガタツキのないことを確認してください。

## ■取付け上のお願い

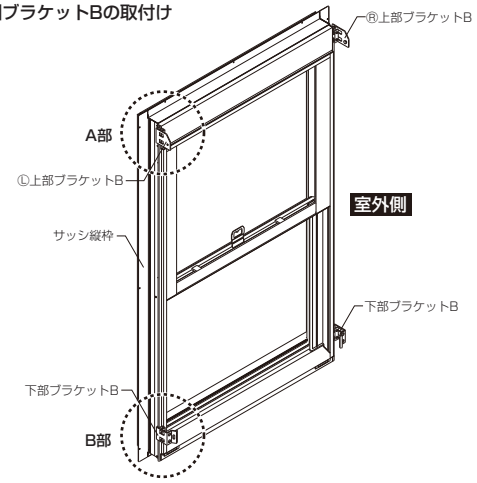
●面格子は室内側からねじ止めするため、ガラスおよび障子を組込む前に取付けてください。
●面格子を取外す際、ナベワンウェイねじは専用ビット工具(別売品)で外してください。
●上部・下部ブラケットBは、必ず外壁施工前にサッシ縦枠に取付けてください。(ブラケットBがサッシ縦枠の裏側に入らず、取付けできないことがあります。)

## ■取付け部品一覧

| 上部ブラケットA | 下部ブラケットA | 上部ブラケットB | 下部ブラケットB | ナベワンウェイねじM4×12(G=5) |
|---|---|---|---|---|
|  (L・R1セット入) | (2セット入) |  (L・R1セット入) |  (2セット入) | (2本入) |

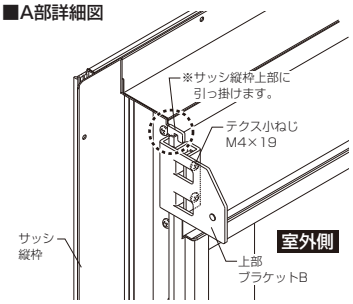
## ■取付け順序

### ❶ブラケットBの取付け



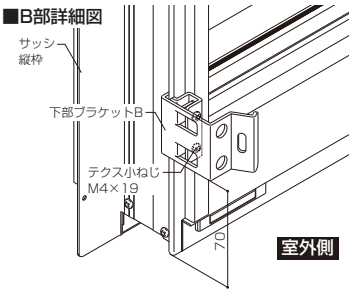

①上部ブラケットBをサッシ縦枠上部に引っ掛け、ねじ止め(テクス小ねじM4×19)します。
※上部ブラケットBには、L・Rがありますのでご注意ください。

■A部詳細図



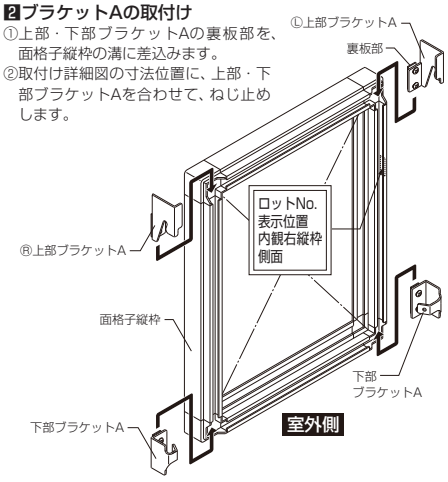

②下部ブラケットBをB部詳細図の寸法位置に合わせ、サッシ縦枠にねじ止め(テクス小ねじM4×19)します。

■B部詳細図

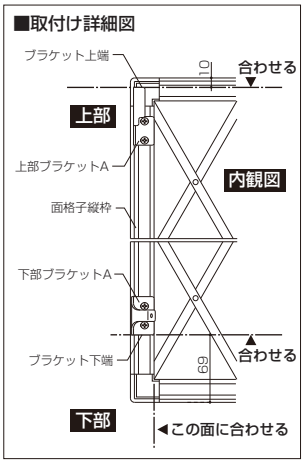



### ❷ブラケットAの取付け

①上部・下部ブラケットAの裏板部を、面格子縦枠の溝に差込みます。
②取付け詳細図の寸法位置に、上部・下部ブラケットAを合わせて、ねじ止めします。

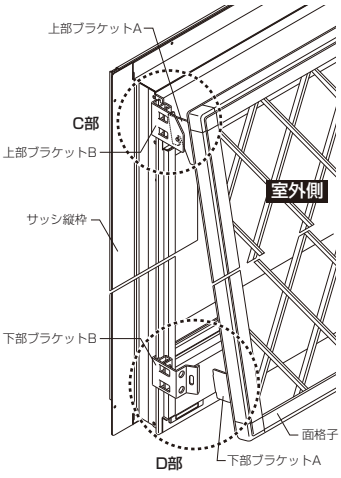



■取付け詳細図

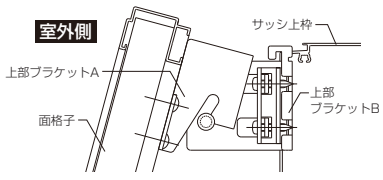



### ❸面格子の取付け

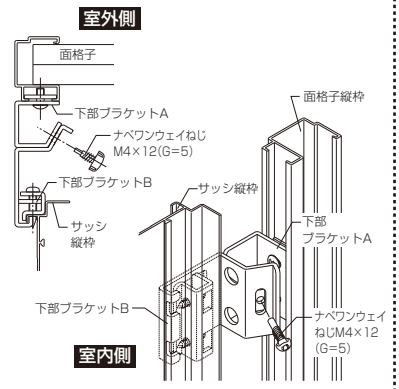
※面格子は、ガラスおよび障子を組込む前に取付けてください。
①上部ブラケットAを上部ブラケットBに引っ掛けます。
②下部ブラケットA・Bを、ナベワンウェイねじで室内側から固定します。
※ねじ穴が合わない場合は、面格子側のブラケット位置を調整してください。




■C部詳細図




■D部詳細図



# 有償品　枠付面格子(ブラケット長)

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。　※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

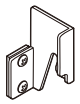
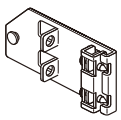
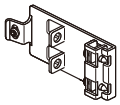
**⚠ 注 意**

●面格子の落下・転落防止のため、下記事項をお守りください。
・面格子は手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度がありません。
・面格子取付け後、ゆすってみてゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

## ■取付け上のお願い

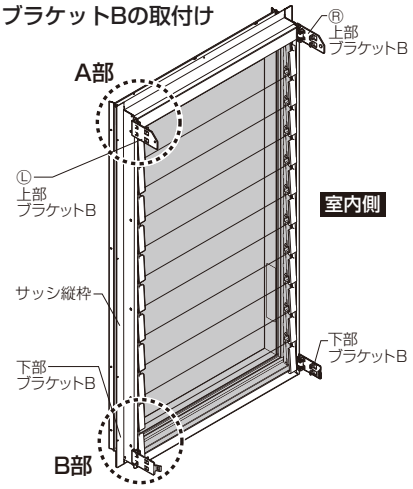
●枠付面格子(ブラケット 長)はガラス、障子を組み込んだ後に、取付けてください。面格子をつけると、ガラス、障子を組み込むのが難しくなります。
●面格子を取外す際、なべワンウェイねじは専用ビット工具(別売品)で外してください。
●上部・下部ブラケットBは、必ず外壁施工前にサッシ縦枠に取付けてください。(ブラケットBがサッシ縦枠の裏側に入らず、取付けできないことがあります。)

## ■取付け部品一覧

| 上部ブラケットA | 下部ブラケットA | 上部ブラケットB | 下部ブラケットB | なべワンウェイねじ M4×8 |
|---|---|---|---|---|
|  | |  |  | |
| (L·R1セット入) | (2セット入) | (L·R1セット入) | (2セット入) | (2本入) |

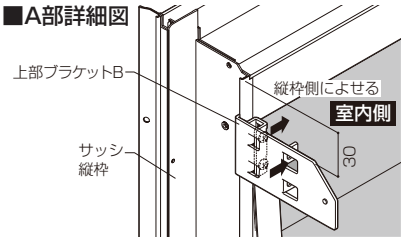
## ■取付け順序

### ❶ブラケットBの取付け



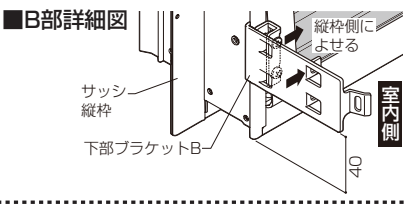

①上部ブラケットBをA部詳細図の寸法位置に合わせ、サッシ縦枠にねじ止めします。その際、ブラケットをできるだけ縦枠側によせて固定してください。
※上部ブラケットBには、L·Rがありますのでご注意ください。

**■A部詳細図**



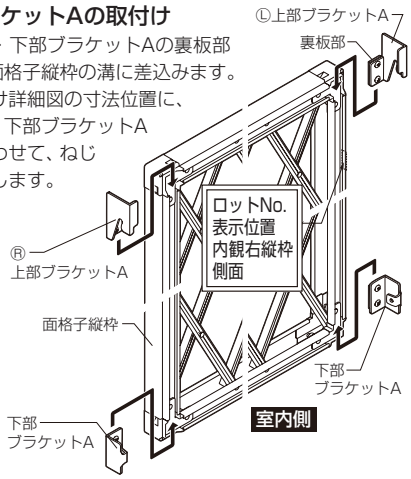

②下部ブラケットBをB部詳細図の寸法位置に合わせ、サッシ縦枠にねじ止めします。その際、ブラケットをできるだけ縦枠側によせて固定してください。

**■B部詳細図**

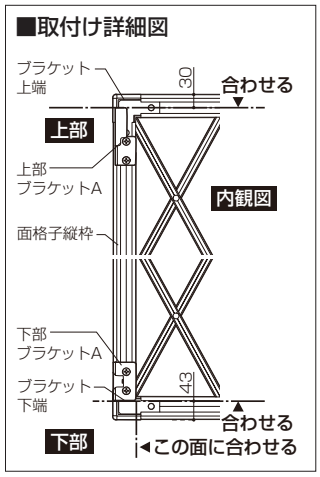



### ❷ブラケットAの取付け

①上部・下部ブラケットAの裏板部を、面格子縦枠の溝に差込みます。
②取付け詳細図の寸法位置に、上部·下部ブラケットAを合わせて、ねじ止めします。

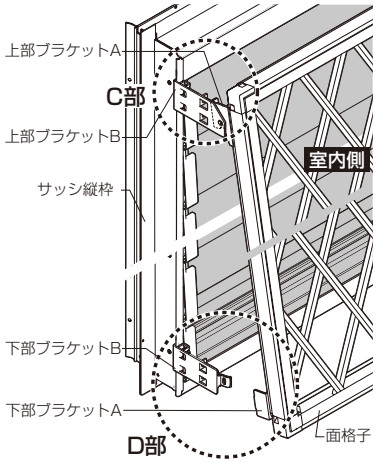



**■取付け詳細図**

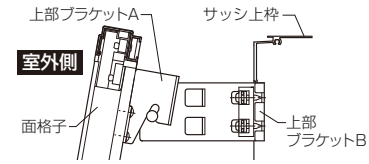



### ❸面格子の取付け

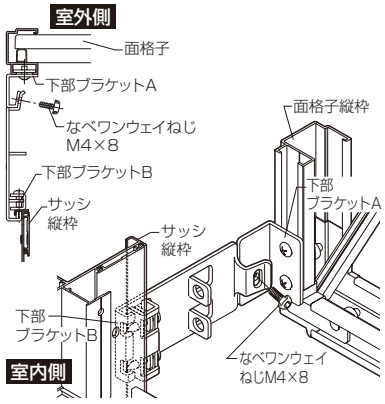
※枠付面格子(ブラケット 長)はガラス、障子を組み込んだ後に取付けてください。
①上部ブラケットAを上部ブラケットBに引っ掛けます。
②下部ブラケットA·Bを、なべワンウェイねじで固定します。
※ねじ穴が合わない場合は、面格子側のブラケット位置を調整してください。




**■C部詳細図**




**■D部詳細図**



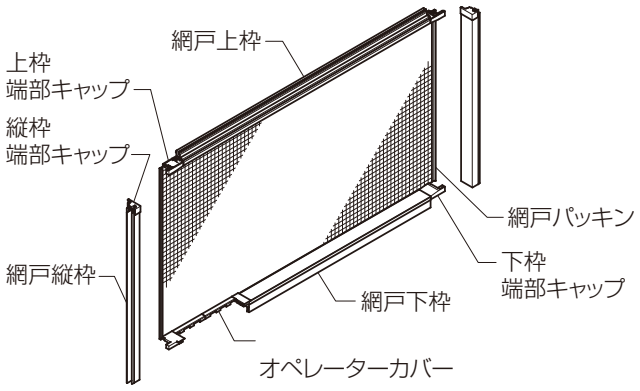
# 有償品　固定式網戸（高所用横すべり出し窓用）

●本説明書は取付け後、お施主さまにお渡しください。

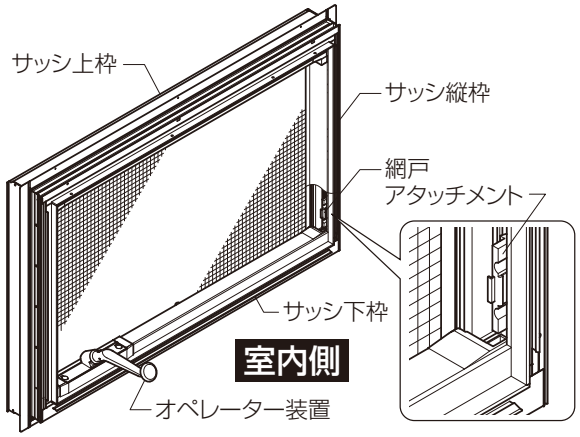
## ■取付け・取扱い上のお願い

●ソリ防止のため、網戸枠を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●網戸枠は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。

## ■網戸の各部名称



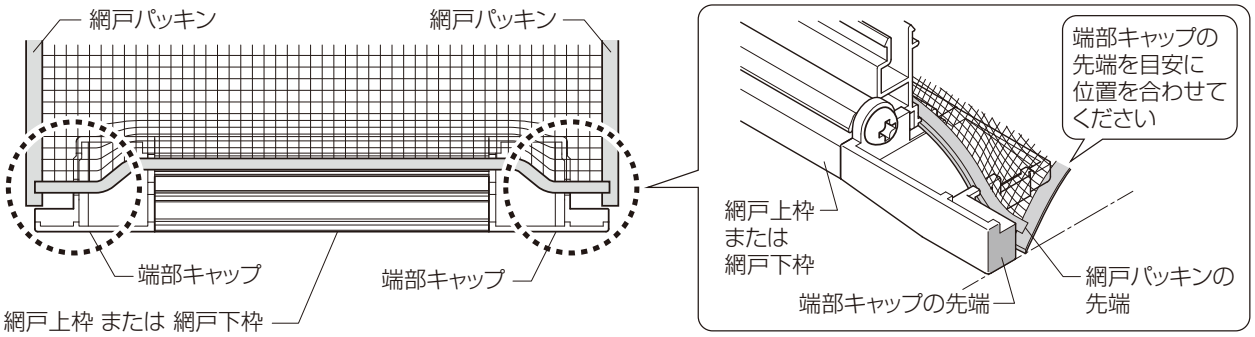

## ■網戸取付状態図



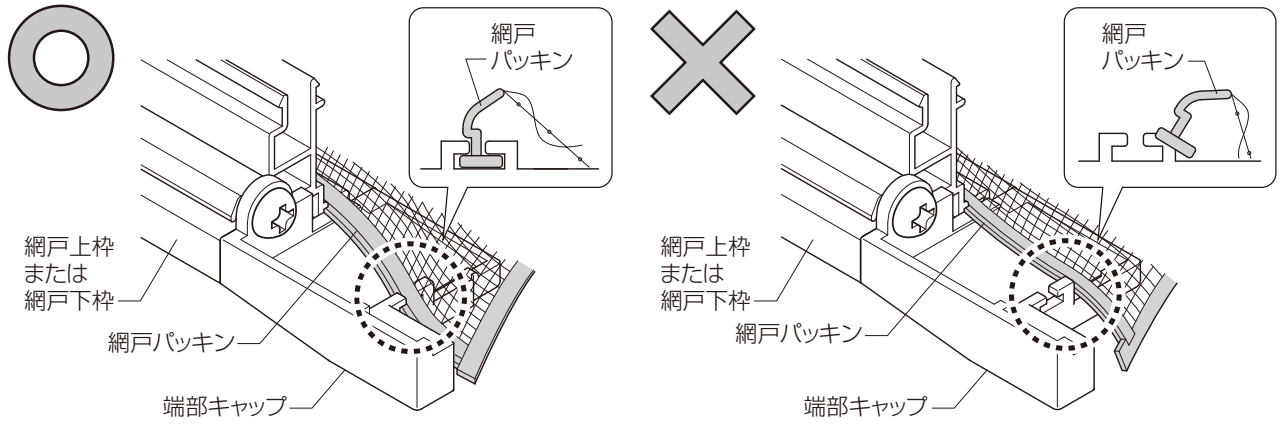

## ■網戸の取付け

### ❶網戸取付け前の確認

※網戸取付け前に、溝部のゴミを除去してください。
※網戸上枠、網戸下枠の網戸パッキン先端と端部キャップ先端の位置が合う様に調整してください。

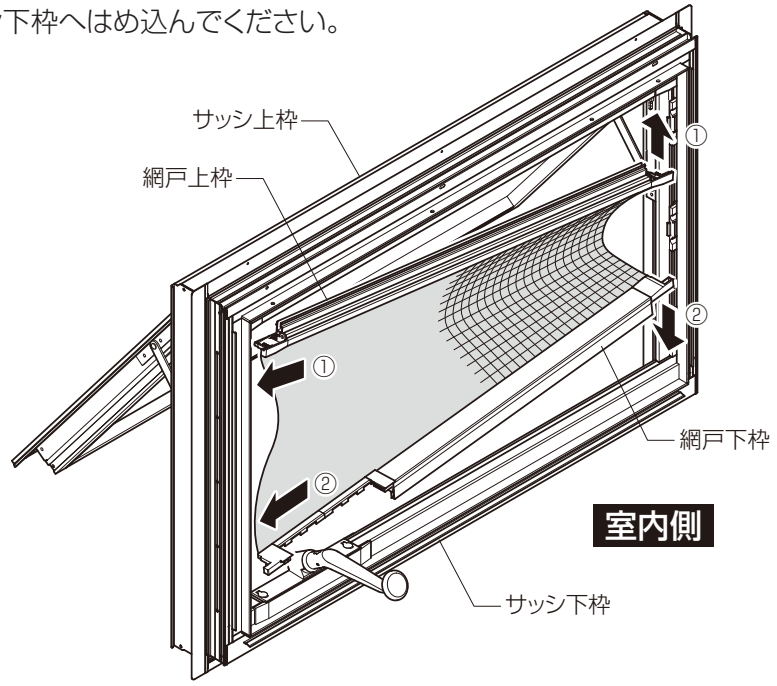



※網戸上枠（または下枠）の端部キャップから網戸パッキンが外れている場合、はめ込んでください。はめ込みされていないと、網戸枠が最後まではめ込みできなくなります。



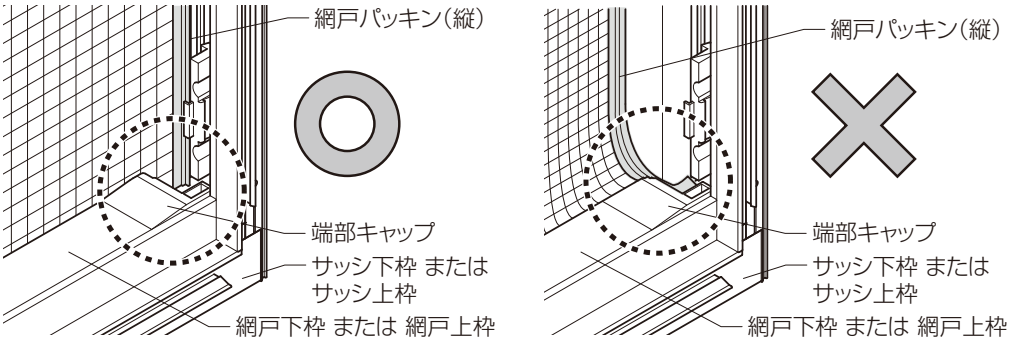
## ❷網戸上下枠の取付け

①網戸上枠をサッシ上枠へはめ込んでください。
②網戸下枠をサッシ下枠へはめ込んでください。




**お願い**

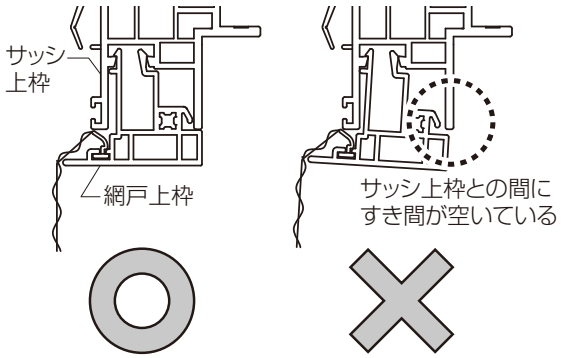
※端部キャップで網戸パッキン(縦)をはさまない様にしてください



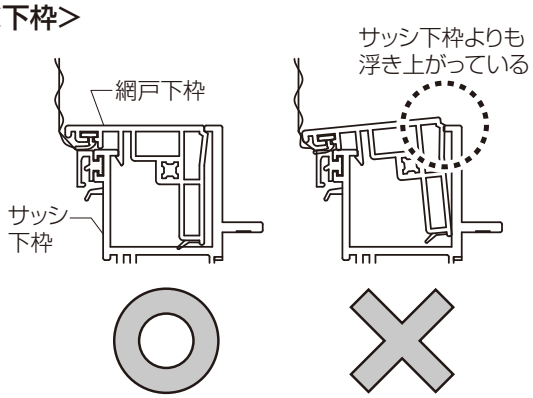

**お願い**

※網戸上下枠は、最後まではめ込みしてください。最後まではめ込みされていないと網戸が外れやすくなるおそれがあります。

<上枠>

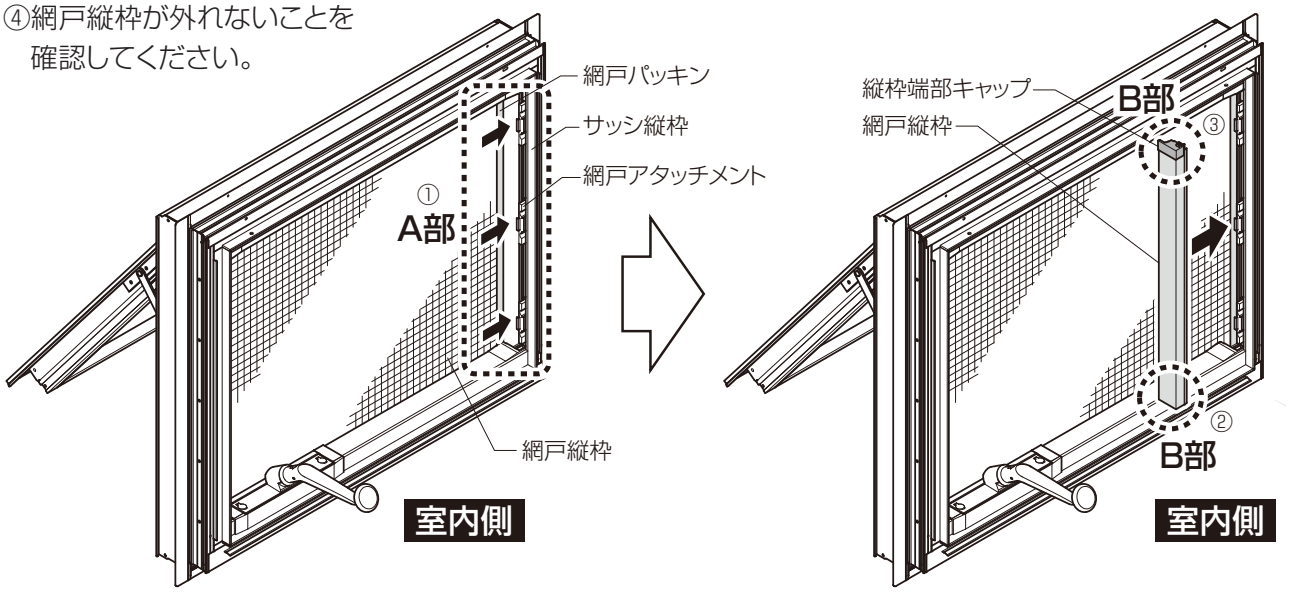



<下枠>

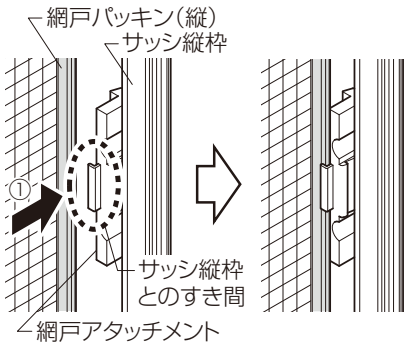


## 3 網戸縦枠の取付け

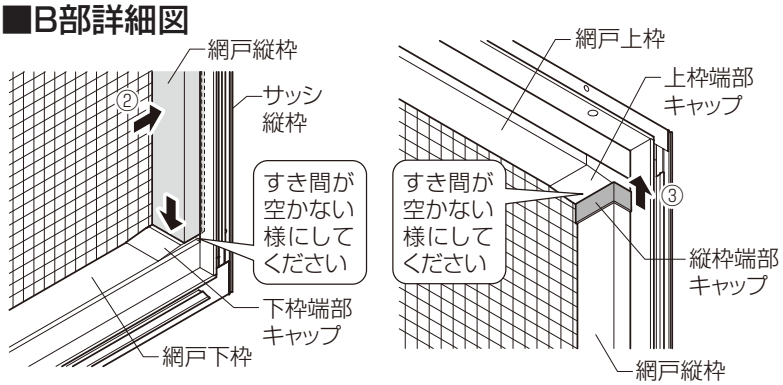
①網戸パッキン（縦）をサッシ縦枠と網戸アタッチメントのすき間にはめ込んでください（A部）。
②下枠端部キャップとのすき間が空かない様に、網戸縦枠をサッシ縦枠へはめ込んでください。
※端部キャップが付いている方を上にしてください。
※端部キャップが上がっている場合は下げてください。
③上枠端部キャップとのすき間が無くなるまで縦枠端部キャップを上げてください。
※縦枠端部キャップが網戸アタッチメントに引っかかります。
④網戸縦枠が外れないことを確認してください。




### ■A部詳細図



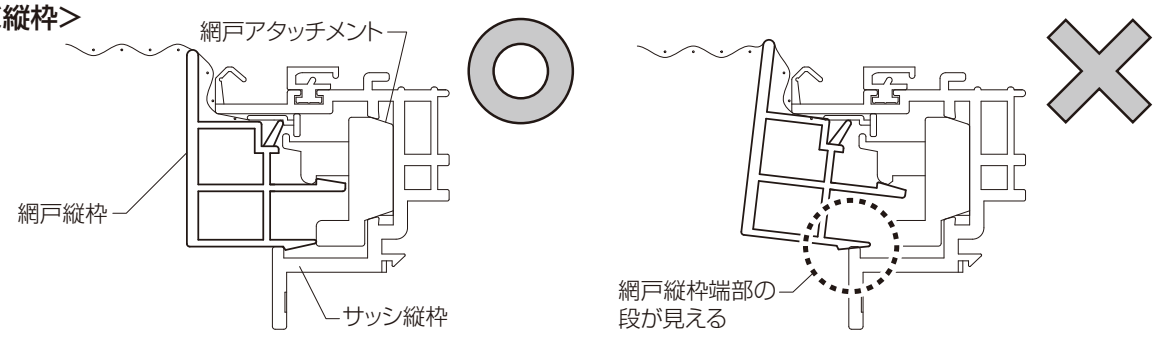

### ■B部詳細図




### お願い

※網戸縦枠は、最後まではめ込みしてください。最後まではめ込みされていないと網戸が外れやすくなるおそれがあります。

<縦枠>



## ■網戸の取外し

**お願い**

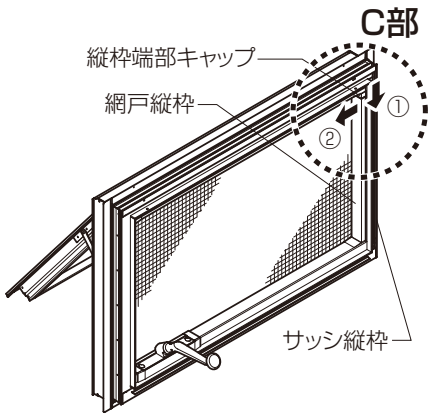
※網戸枠は、両手でゆっくりと取外ししてください。網戸枠の急な落下や外れで網戸枠が破損したり網が破れるおそれがあります。

※網戸枠は、窓を開けた状態で取外ししてください。

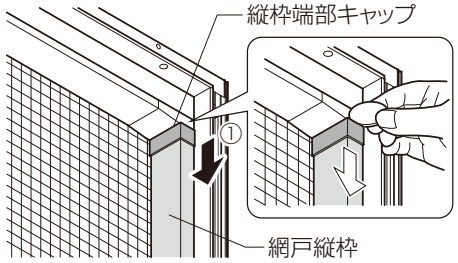
### ❶網戸縦枠の取外し

①網戸縦枠の端部キャップを下げてください。

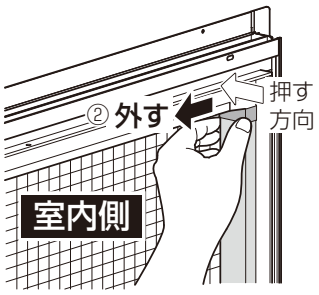
②網戸縦枠を上端部から引っ張り、ゆっくりとサッシ縦枠から外してください。




**■C部詳細図**




※下がりにくい場合は上枠端部キャップとのすき間に硬貨などを差し込んで下げてください。

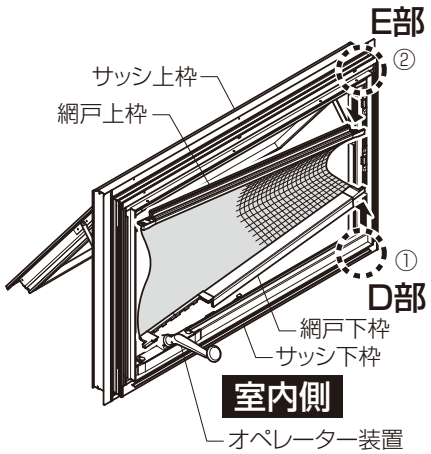



※外れにくい場合は網戸縦枠を**室外側**へ押しながら外してください。

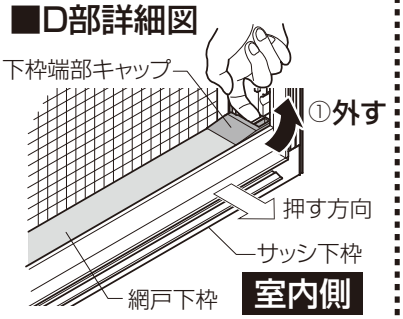
### ❷網戸上下枠の取外し

①網戸下枠は、オペレーター装置が付いていない側の端部からキャップを引き上げ、ゆっくりとサッシ下枠から外してください。

②上枠端部キャップをつまんで、網戸上枠を端部からゆっくりとサッシ上枠から外してください。

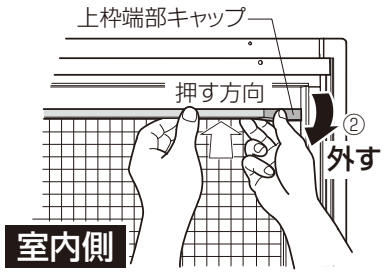



**■D部詳細図**




※外れにくい場合は網戸下枠を**室内側**へ押しながら外してください。

**■E部詳細図**

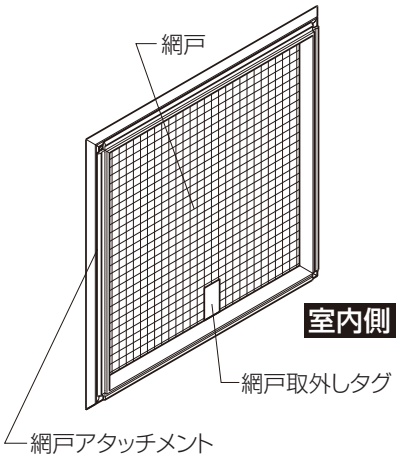


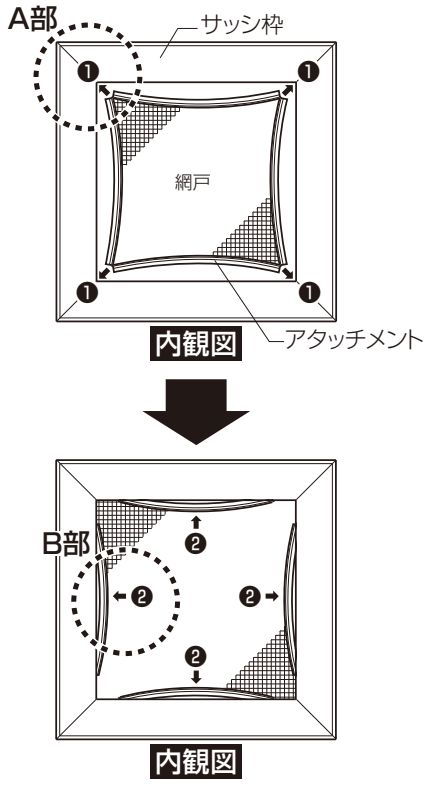

※外れにくい場合は網戸上枠を**室外側**へ押しながら外してください。

# 有償品　固定式網戸

●本説明書は取付け後、お施主さまにお渡しください。

## ■各部の名称



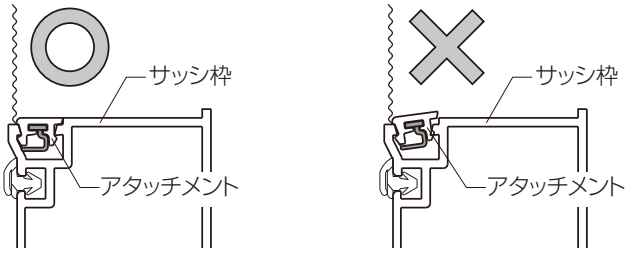

## ■網戸の取付け

**お願い**

※はめ込み前に、溝部のゴミを除去してください。

※アタッチメントは、最後まではめ込みしてください。サッシ枠よりも浮上っている状態では、最後まではめ込みされていません。

この場合、網戸が外れやすくなるおそれがあります。




### ■網戸の取付け順序

●網戸アタッチメントを、枠の面の溝部へはめ込んでください。

①アタッチメントコーナー部を、枠のコーナー溝部へ押込んではめ込んでください。（A部）

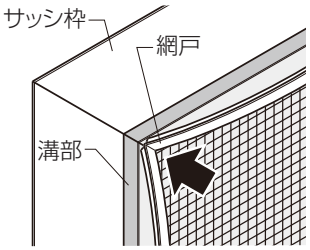
※アタッチメントは樹脂製のため、たわませながらはめ込みできます。

**お願い**

**■A部詳細図**

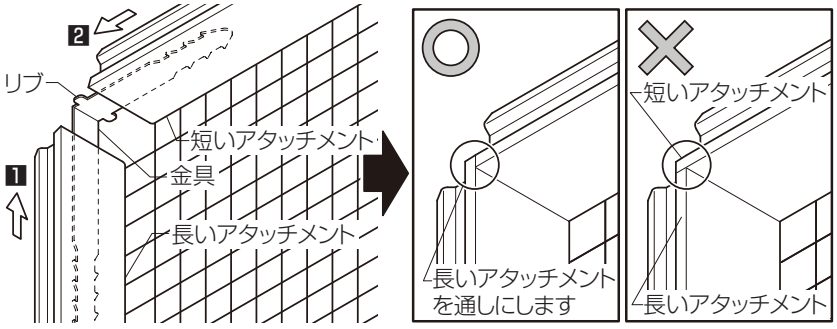
※アタッチメントは、ねじれさせないでまっすぐはめ込んでください。

※アタッチメントの角を枠の角に合わせてください。




※はめ込む前に網戸コーナー部のアタッチメントにすき間がある場合は、❶長い方のアタッチメントを先に金具の根元まで押し込み、続いて❷短い方のアタッチメントを金具に押し込んでから網戸を取付けてください。

（短い方のアタッチメント側には金具にリブがついています）



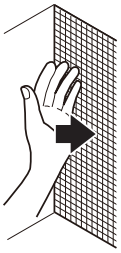

②残りの直線部をはめ込んでください。（B部）

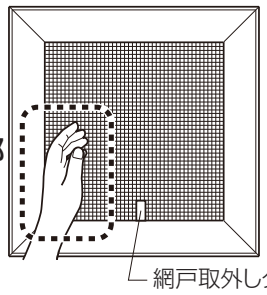
※コーナー部の網が、シワにならないようにアタッチメントをはめ込んでください。

**お願い**

**■C部詳細図**

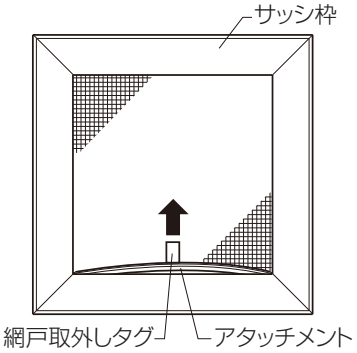
※網戸取付け後、自然にアタッチメントが外れてくる場合は網の縁を軽く押し、網の張りを少し緩めてください。
網の張りが強すぎると網戸が外れやすくなる場合があります。





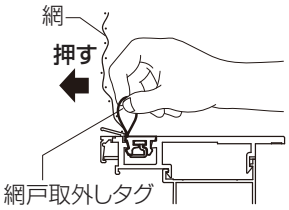

## ■網戸の取外し

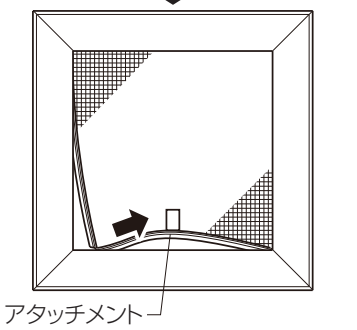
### ■網戸の取外し順序




①網戸取外しタグを持ち、上に引っ張り、下のアタッチメントを外してください。
※サッシ枠の溝から外れたら、それ以上は引っ張らないでください。

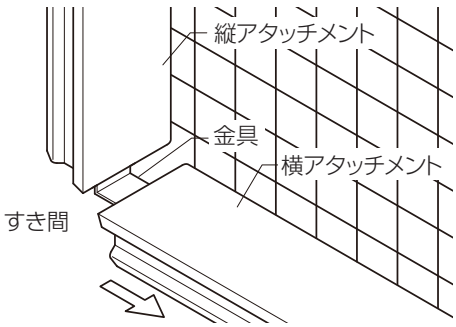
※網戸が外れにくい場合は、網戸取外しタグを持ちながら網を室外側に押して外してください。



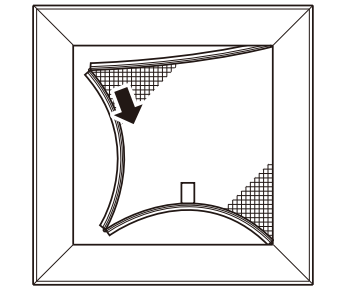

②次に下のアタッチメントを横方向へゆっくりと引っ張り、縦のアタッチメントを外してください。端が外れたら、残りの部分は手で引っ張って外してください。

※アタッチメントを引っ張ると、縦と横のアタッチメントにすき間ができますがそのまま引っ張って外してください。




**お願い**

**※アタッチメントは、ねじれさせないでサッシ枠の溝に沿ってまっすぐ引っ張ってください。**



③さらに縦のアタッチメントをゆっくりと下に引っ張り、上のアタッチメントを外してください。端が外れたら、残りの部分は手で引っ張って外してください。

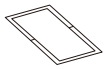
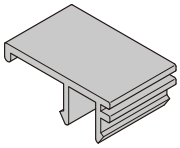
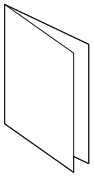
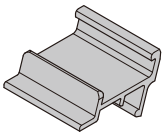
④以下、同様の手順で残りの部分を外してください。

# 有償品　可動式網戸

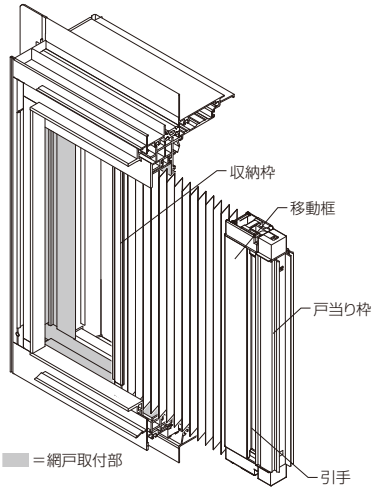
●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。　※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■梱包内容

※取付け前に梱包内の部品を確認してください。

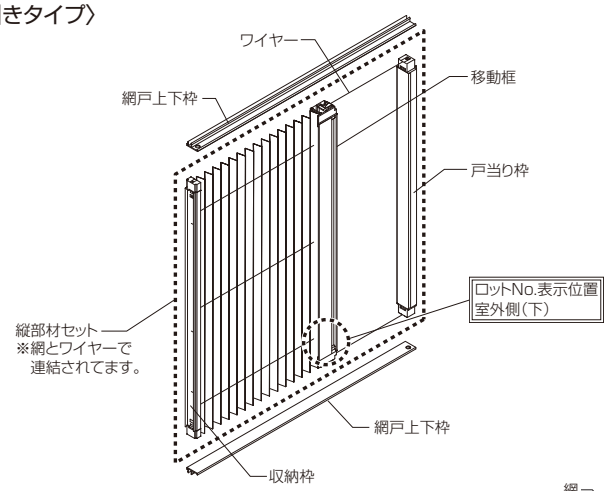
| 養生シートラベル | 下枠スペーサー |
|---|---|
|  (W<350) |  (W<640) |
| 取扱い説明書 | 網戸固定部品セット |
|  |  |

## ■網戸取付部詳細

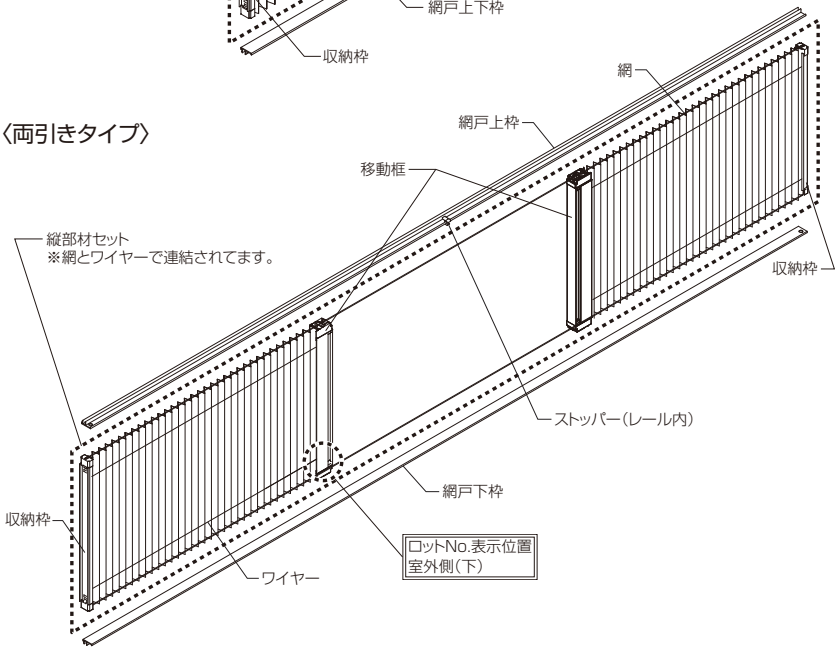



## ■各部の名称

〈片引きタイプ〉




〈両引きタイプ〉




## ■取付け順序

### 1左右勝手の確認

●縦すべり出し窓に取付ける場合、収納枠をサッシの吊元側にします。

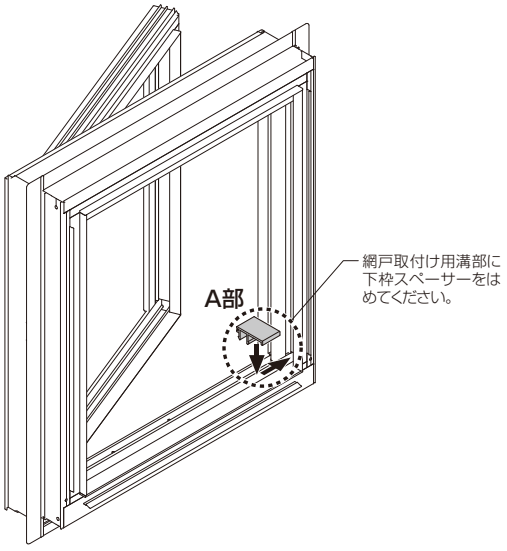
※片引きタイプの場合は左右勝手はありません。上下反転して、左右どちらでも取付けできます。

●横すべり出し窓に取付けされる場合、収納の左右勝手を決めてください。
Wサイズ400以下の場合は内観左側に取付けてください。

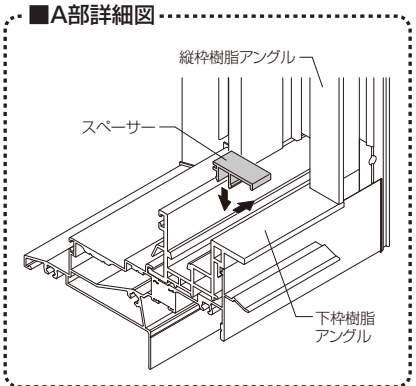
●両引きタイプの場合は左右勝手があります。**4縦部材セットの建て込み**を参照してください。

### 2下枠スペーサーの取付け（W<640）

●サッシ下枠の網戸取付け用溝部に下枠スペーサーをはめた後、網戸戸当り枠側にスライドさせてください。




### ■A部詳細図

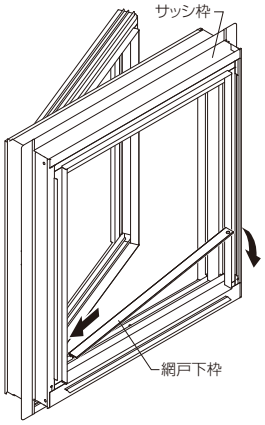


## ●取付け順序3～5は、サイズによって取付け方が異なります。

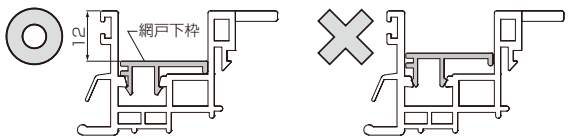
### ■W＜350の場合

**3網戸下枠の取付け**

●網戸下枠をサッシ下枠の溝にはめ込みます。
（網戸上枠は取付け順序5で取付けてください。）
※片側をサッシ枠の溝に差し込み、たわませながらはめ込んでください。
※ハンマーなどで叩き込む場合は、樹脂が破損しないように当て木などを使ってください。（収納枠、戸当り枠も同様です。）

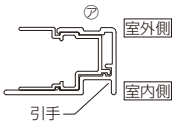


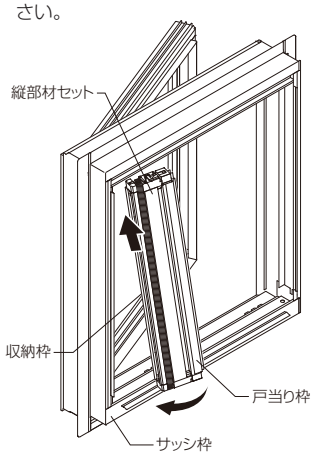

**お願い**
※はめ込み前に、溝部のゴミを除去してください。
※網戸下枠は最後まではめ込みしてください。
最後まではめ込みされてないと網戸が外れる可能性や網戸の開閉ができなくなります。

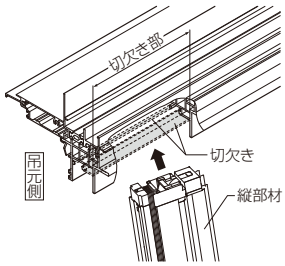



**4縦部材セットの建て込み**

●縦部材セットをサッシ枠の溝に建て込みます。
移動框の引手のある面が室内側です。
※《縦すべり出し窓（W＜300）の場合》
縦部材の上部をサッシ吊元側上枠の切欠き部に突き当てて網戸を入れます。
※縦部材セットの3部材が一緒に入らない場合は、収納枠、移動框、戸当り枠を別々に入れてください。



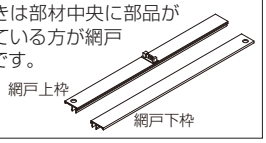

**お願い**
※建て込みする時は窓額縁を傷つけないように同梱の養生シートラベルを使用してください。

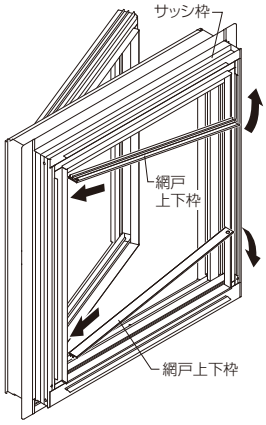
### ■350≦Wの場合

**3網戸上下枠の取付け**

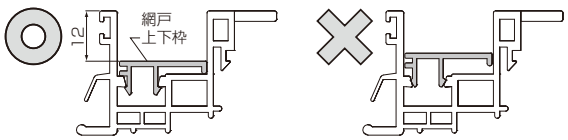
●網戸上下枠をサッシ枠の溝にはめ込みます。
※片側をサッシ枠の溝に差し込み、たわませながらはめ込んでください。
※ハンマーなどで叩き込む場合は、樹脂が破損しないように当て木などを使ってください。（収納枠、戸当り枠も同様です。）

●片引きは網戸上下枠の区別はありません。
両引きは部材中央に部品がついている方が網戸上枠です。



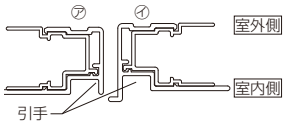



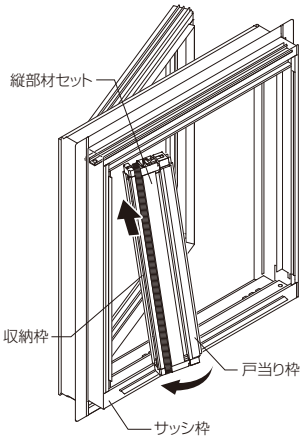

**お願い**
※はめ込み前に、溝部のゴミを除去してください。
※網戸上下枠は最後まではめ込みしてください。
最後まではめ込みされてないと網戸が外れる可能性や網戸の開閉ができなくなります。




**4縦部材セットの建て込み**

●縦部材セットをサッシ枠の溝に建て込みます。移動框の引手のある面が室内側です。
両引きの移動框は左右で形状が異なります。
㋑が内観右になるように取付けてください。
※縦部材セットの3部材が一緒に入らない場合は、収納枠、移動框、戸当り枠を別々に入れてください。



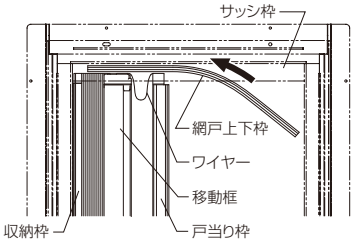

**お願い**
※建て込みする時は窓額縁を傷つけないように養生をしてください。

➡6に進む

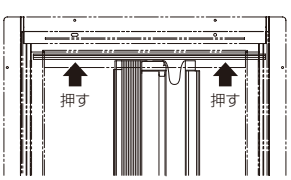
**5網戸上枠の取付け**

●サッシ上枠と網戸上部の間に網戸上下枠をすべり込ませはめ込みます。

**お願い**
※ワイヤーを傷つけないようにしてください。




**お願い**
※網戸上下枠は最後まではめ込みしてください。最後まではめ込みされてないと網戸上下枠の落下や網戸が外れる可能性、網戸の開閉ができなくなります。

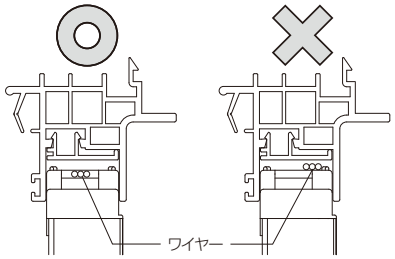


## 6縦部材セットの取付け

●収納枠・戸当り枠をサッシ枠の溝に取付けます。
収納枠はサッシ枠にひっかけ、網戸固定部品で固定してください。
※片側の枠を固定する際、もう一方の枠が倒れないようにしてください。
Wサイズが大きい場合は片側の枠をテープなどで仮固定した後、もう一方を固定すると、取付けやすくなります。

**お願い**

※ワイヤーがねじれないように取付けしてください。
※ワイヤーが噛み込まないように、移動框・戸当り枠・収納枠の上下キャップの溝に納まるように取付けしてください。
※取付け後、移動框を動かしスムーズに動くことを確認してください。
操作が重い、スムーズに動かない場合は、ワイヤーがねじれているか、噛み込んでいる可能性がありますので取付け直してください。

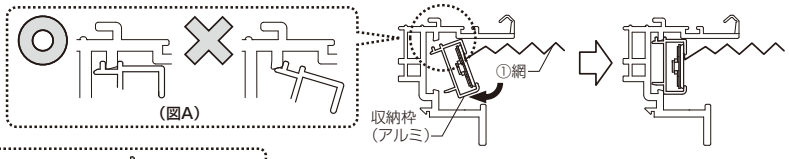



**お願い**

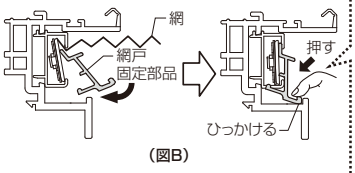
**●収納枠**

※収納枠は必ずサッシ枠にひっかけ、網戸固定部品で固定してください。収納枠がサッシ枠にひっかかっていないと、網戸が外れる可能性や網戸の開閉ができなくなります。

①網を広げます。
②サッシ枠室外側のリブに収納枠のリブをはめます。**（図A）**




③網戸固定部品を取付けます。**（図B）**

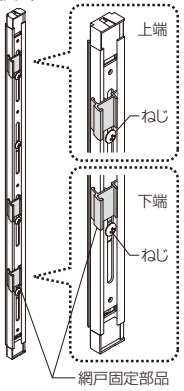



部品の突起に指をかけ、室内側に押し込むように取付けてください。

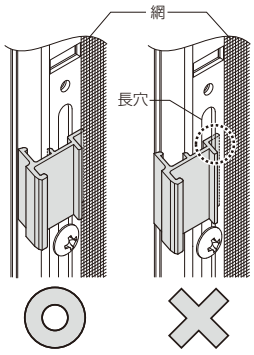
固くて入りづらい場合は、柄の短いマイナスドライバーなどで押し込んでください。

※取付け数量はHサイズにより必要な数量が入っています。（ワイヤー本数と同数ではありません。）
※取付け位置については、**（図C）**を参照してください。
上下端の網戸固定部品の位置は、上端は一番上のねじの上部、下端は一番下のねじの上部に取付けてください。残りの網戸固定部品は中間にある調整ねじの上に取付けし、ワイヤーと干渉しないようにしてください。
※取付け時は長穴に差し込まないようにしてください。
取り外しできなくなるおそれがあります。**（図D）**

**（図C）**

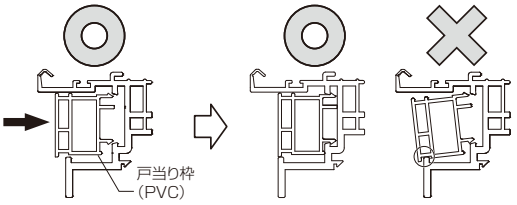



**（図D）**




**●戸当り枠**

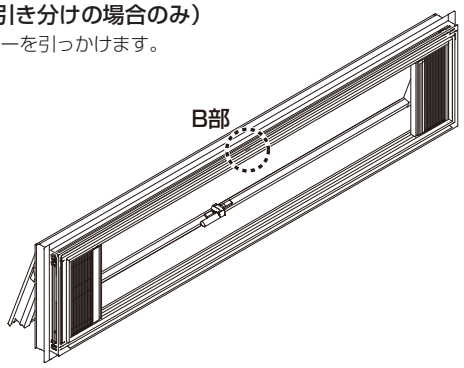
※戸当り枠は最後まではめ込みしてください。
戸当り枠が最後まで取付けされていないと、網戸が外れる可能性や網戸の開閉ができなくなります。
①戸当り枠を、まっすぐはめ込みます。



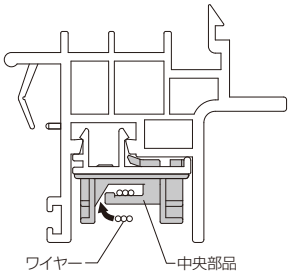

室内側のアングルに戸当り枠の溝が乗ると嵌合できません。

## 7ワイヤーの引っかけ（両引き分けの場合のみ）

●網戸上枠の中央部品にワイヤーを引っかけます。




**■B部詳細図**



## ■調整

●下記「**■ワイヤーの確認方法**」を参照してワイヤーの張り具合を確認します。ワイヤーの張り具合が適切でない場合、調整ねじを上下方向に移動させてワイヤーの張り具合を調整します。

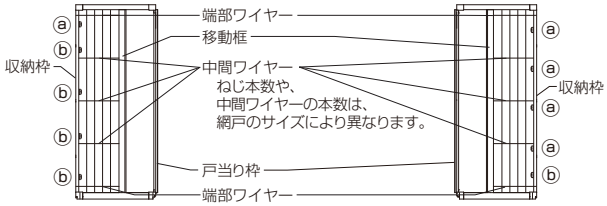
※網戸固定部品がついている場合は、邪魔にならないところまでスライド、もしくは取外してから調整をしてください。調整後、取外した部品はねじの上部に取付け直してください。

※全てのワイヤーが同じ張り具合になるように調整をしてください。

※不具合の内容により、移動するねじが異なります。

※ねじをゆるめすぎないようにしてください。(2回転以下)ゆるめすぎると、ねじ・調整裏板の落下、紛失につながります。
下記「**■調整方法**」の表を参照してください。

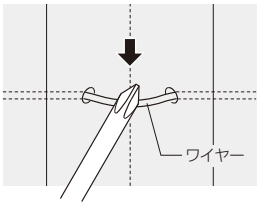
**〈内観図〉**




### ■ワイヤーの確認方法

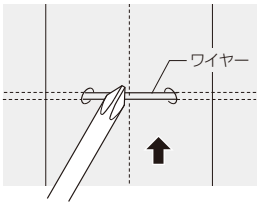
①ドライバーをワイヤーに軽くのせます。

※ワイヤーがたわまない場合は張りすぎです。



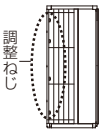
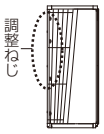
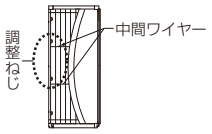
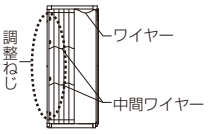

②ドライバーをワイヤーから離します。

※ワイヤーが元に戻らない場合はゆるみすぎです。

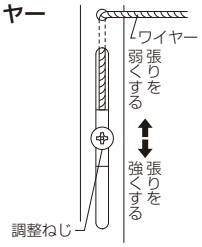



### ■調整方法

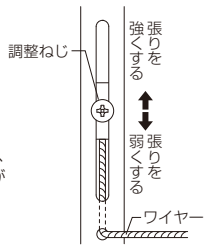
※調整は網戸を使用状態にして行ってください。

| | 開閉が重い | 収納時上側が開く | 移動框にソリが発生 | 上枠からワイヤーが垂れ下がる 中間ワイヤーがたるむ |
|---|---|---|---|---|
| 不具合現象 |   |   |   |   |
| 調整方法 | ●ワイヤーの張りが強いため、ねじをゆるめてワイヤーの張りを弱くする方向に移動させます。 | ●ワイヤーの張りが弱いため、ねじをゆるめてワイヤーの張りを強くする方向に移動させます。 | ●中央部のワイヤーの張りが強いため、ねじをゆるめてワイヤーの張りを弱くする方向に移動させます。 | ●ワイヤーの張りが弱いため、ねじをゆるめてワイヤーの張りを強くする方向に移動させます。 |

**■ⓐのワイヤー**




**■ⓑのワイヤー**



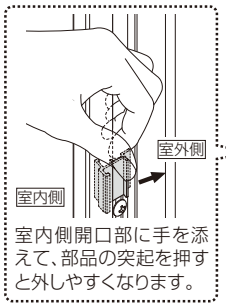

※収納の左右勝手によって、中間ワイヤーの調整方向が変わります。

## ■網戸の取外し方法

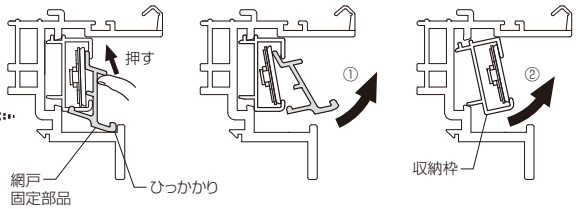
**■網戸固定部品、収納枠**

①網戸固定部品を室外側に向かって斜め方向に押し、ひっかかりをはずすようにして取外してください。

②収納枠を取外します。



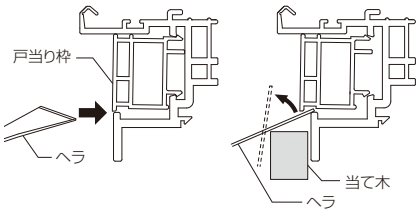

室内側開口部に手を添えて、部品の突起を押すと外しやすくなります。




※固くて外れない場合は、マイナスドライバーなどで押してください。

**■戸当り枠**

戸当り枠と室内アングルのすき間にヘラを差込み、戸当り枠の溝にヘラの先端を押しあてながら引き出すようにします。




※縦枠の樹脂を傷つけないようにしてください。

**■網戸上下枠、下枠スペーサー**

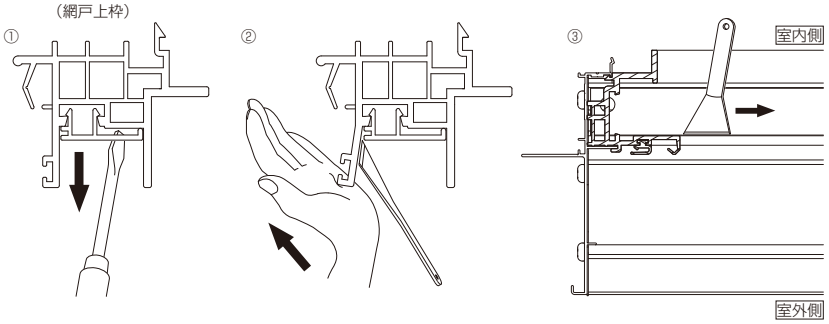
網戸上下枠は収納枠と戸当り枠の嵌合を外した後、作業します。

①網戸上枠は内観左側、網戸下枠は内観右側にある丸穴にマイナスドライバーを差込み、嵌合を外します。

②サッシ上下枠の外側を手で押し広げ、できた隙間にヘラを差込み端から嵌合を外していきます。

③中央に向かって②をくり返し、網戸上下枠が浮いてきたところでたわませながら抜きとります。

④下枠スペーサーを取付け順序と逆の順序で取外します。(W<640)

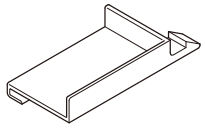
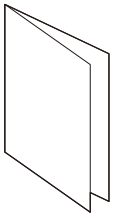


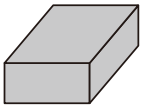
# 有償品　可動式網戸

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

## ■梱包内容

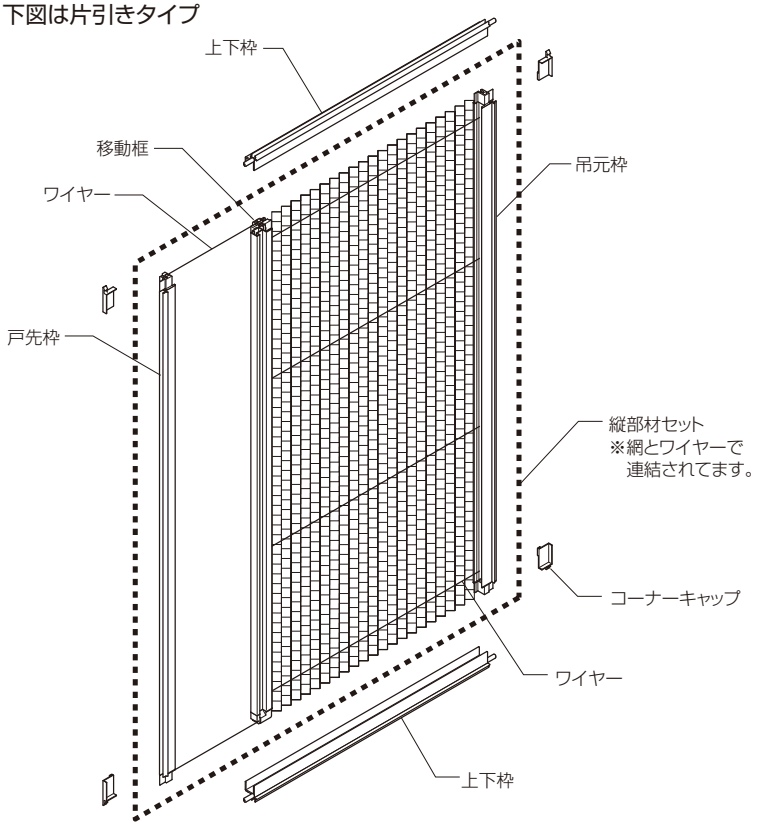
※取付け前に梱包内の部品を確認してください。

| コーナーキャップ | 取扱い説明書 |
|---|---|
|  |  |
| 4 | 1 |

| 上部コーナー気密部品 |
|---|
|  |
| 2 |

## ■各部の名称

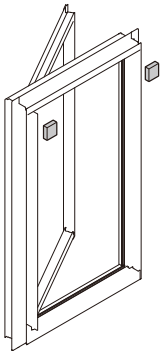
※下図は片引きタイプ



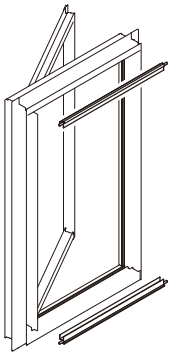

## ■取付け順序

**1** 左右勝手の確認

**2** 気密部品の取付け



**3** 上下枠の取付け



## ■取付け詳細

### 1 左右勝手の確認

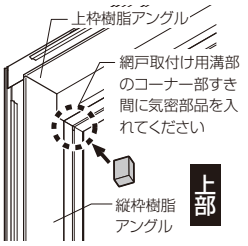
●縦すべり出し窓に取付ける場合、網戸の吊元をサッシの吊元と反対側にすることをお勧めします。
サッシのお掃除ポジションが使用できなくなります。

※本製品に左右勝手はありません。上下反転して、左右どちらでも取付けできます。

### 2 気密部品の取付け

●気密部品を右図のようにサッシ上部のコーナー2ヵ所に入れてください。

※コーナー部のすき間が埋まるように押込んでください。



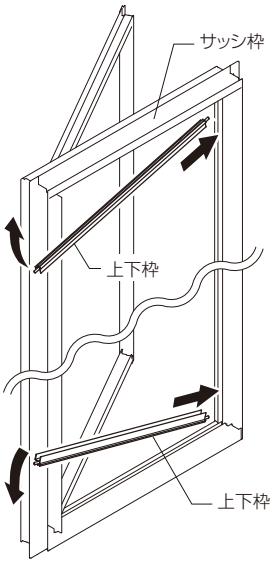

### 3 上下枠の取付け

●上下枠をサッシ枠の溝にはめ込みます。

※取付けの際は上下枠に張付けしているラベルを確認してください。

※片側をサッシ縦枠の溝に差込み回転させながら差し込んでください。

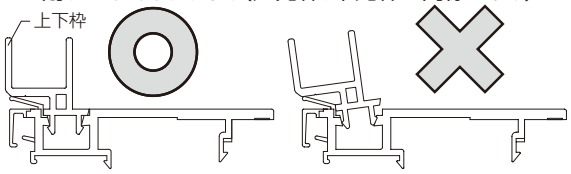
※ハンマーなどで叩き込む場合は、樹脂が破損しないように当て木などを使ってください。（戸先枠、吊元枠も同様です。）



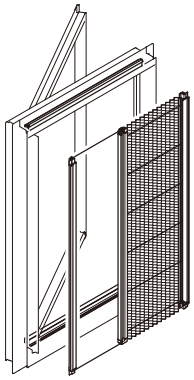

**お願い**

※はめ込み前に、溝部のゴミを除去してください。

※枠は最後まではめ込みしてください。最後まではめ込みされてないと網戸が外れる可能性やガラスと接触し障子が閉まらなくなります。（戸先枠、吊元枠も同様です。）

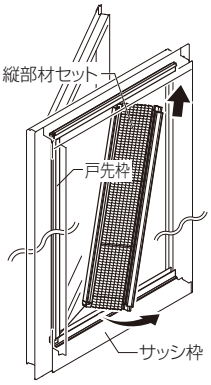


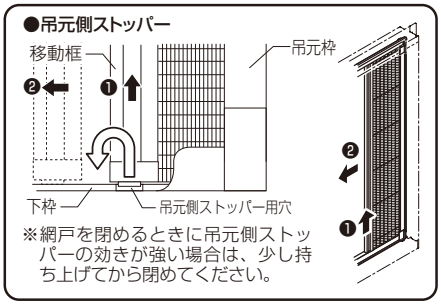
### 4 縦部材セットの取付け



### 4 縦部材セットの取付け

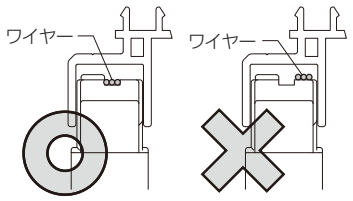
●縦部材セットをサッシ枠の溝にはめ込みます。
※縦部材は下枠に寄せて取付けてください。吊元側ストッパーの効きが悪くなります。
※《片引きの場合》戸先枠をはめ込んだ後に、吊元枠をはめ込んでください。
《両引き分けの場合》吊元枠を片側ずつ取付けしてください。



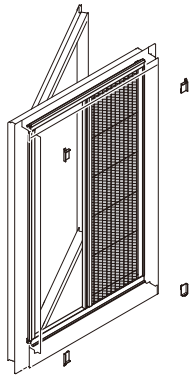



※網戸を閉めるときに吊元側ストッパーの効きが強い場合は、少し持ち上げてから閉めてください。

**お願い**
※ワイヤーがねじれないように取付けしてください。
※ワイヤーが噛み込まないように、移動框の上下キャップの溝に納まるように取付けしてください。
※取付け後、移動框を動かしスムーズに動くことを確認してください。
操作が重い、スムーズに動かない場合は、ワイヤーがねじれているか、噛み込んでいる可能性がありますので取付け直してください。

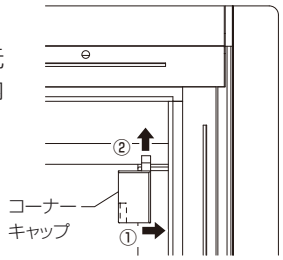


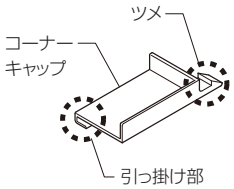

### 5 コーナーキャップの取付け



### 5 コーナーキャップの取付け

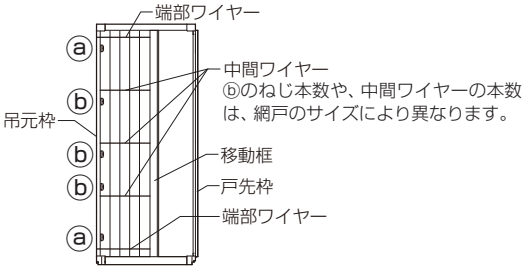
●コーナーキャップを戸先枠･吊元枠に引っ掛け、スライドして室内側の4コーナーに取付けてください。



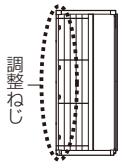
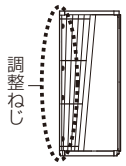
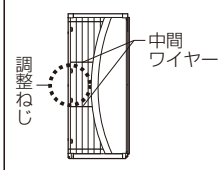
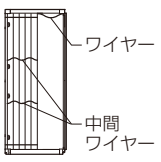
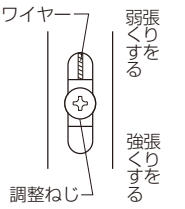
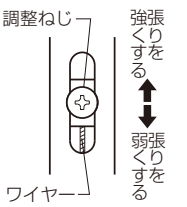

## ■調整

●吊元枠の調整ねじを移動し、ワイヤーの張りの強さを変えて調整します。
※不具合の内容により、移動するねじが異なります。次表を参照してください。




### ■調整方法

※調整は網を閉めた状態で行ってください。

| | 開閉が重い | 収納時上側が開く | 移動框にソリが発生 | 上枠からワイヤーが垂れ下がる 中間ワイヤーがたるむ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 不具合現象 |   |   |   |   | ■中央と中央より上のワイヤー   |
| 調整方法 | ●ワイヤーの張りが強いため、ねじをゆるめてワイヤーの張りを弱くする方向に移動させます。 | ●ワイヤーの張りが弱いため、ねじをゆるめてワイヤーの張りを強くする方向に移動させます。 | ●中央部のワイヤーの張りが強いため、ねじをゆるめてワイヤーの張りを弱くする方向に移動させます。 | ●ワイヤーの張りが弱いため、ねじをゆるめてワイヤーの張りを強くする方向に移動させます。 | ※片引きの場合、中央は吊元が内観左の場合、調整方向が逆になります。<br>■中央より下のワイヤー   |

# 有償品　横引きロール網戸

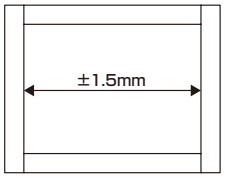
●この説明書は、必ず取付けおよび施工される方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

●木額縁が正確に施工されていることを確認してください（木額縁内法許容差：± 1.5mm）。網戸を取付けた際、動作不良および本体脱落の原因になります。

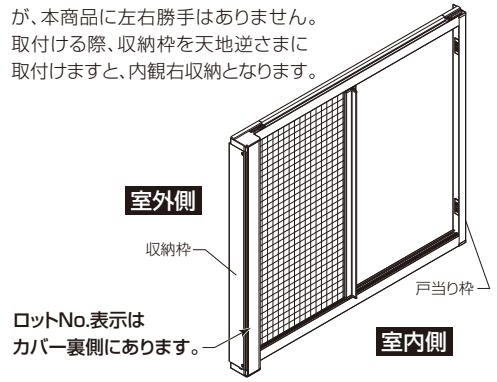



**⚠注　意**

●浴室で使用する場合は指定個所には必ずシーリング処理を実施してください。漏水の原因になるおそれがあります。

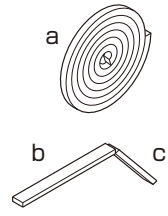
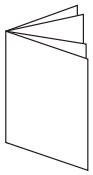
## ■姿図

※本図は、内観左収納を示していますが、本商品に左右勝手はありません。取付ける際、収納枠を天地逆さまに取付けますと、内観右収納となります。




## ■部品一覧表

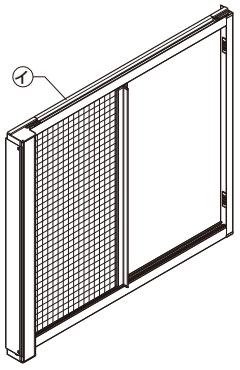
※取付ける前に梱包内の部品を確認してください。

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿図・名称 |  | | ターンナット M4 | バインド小ねじ M4×14 |  |
| | シール材 | アタッチ | 網戸固定部品セット | | 取扱い説明書 |
| 個数 | 1～2セット | 1本 | 1セット | | 1 |

## ■取付け順序

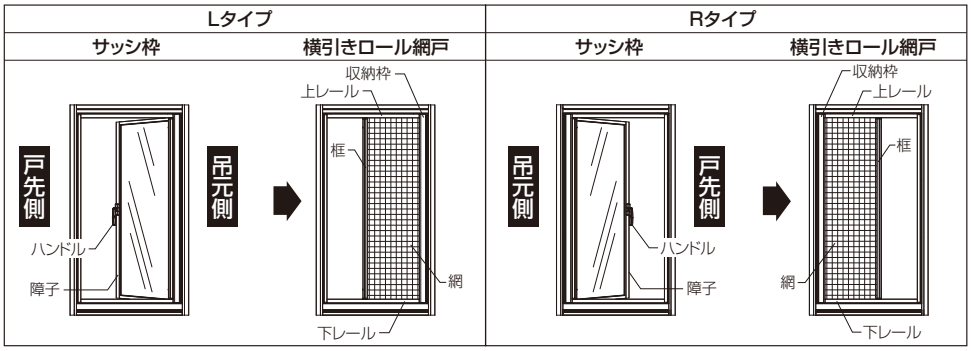
**1左右勝手の確認**

**2シール材の張付け**



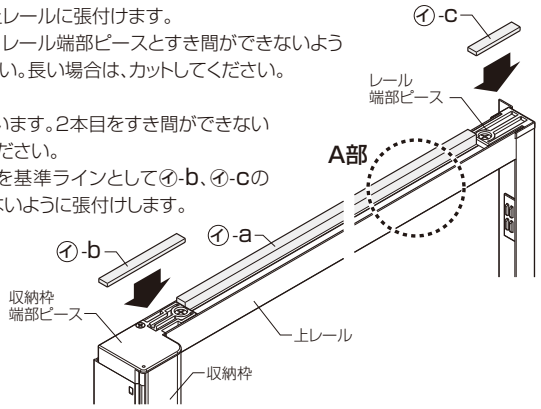

## ■取付け詳細

**1左右勝手の確認** ●縦すべり出し窓に取付けされる場合、収納枠を障子の吊元側にします。
※本商品に左右勝手はありません。取付ける際、収納の左右勝手が決まります。
※横すべり出し窓に取付けされる場合、取付ける際、収納の左右勝手を決めてください。

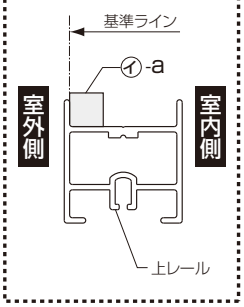



**2シール材の張付け**

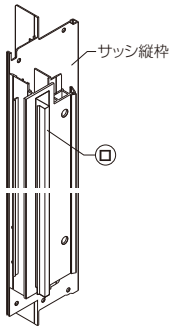
●シール材を引張らないように網戸上部に張付けます。
①㋑巻き物のシール材aを上レールに張付けます。
※左右の収納枠端部ピース、レール端部ピースとすき間ができないように注意して張付けてください。長い場合は、カットしてください。
**【サッシW691以上の場合】**
※シール材が2セット入っています。2本目をすき間ができないように注意して張付けてください。
②①で張付けしたシール材を基準ラインとして㋑-b、㋑-cのシール材をすき間ができないように張付けします。




**■A部張付け位置**

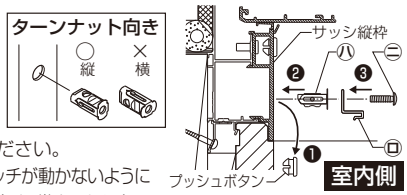


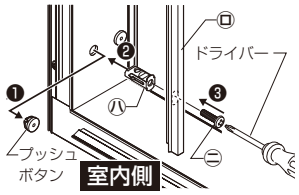
## ❸アタッチの取付け



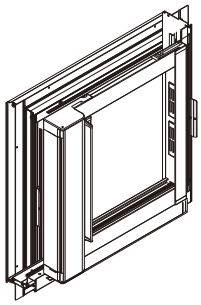

### ❸アタッチの取付け

①収納枠側にするサッシ縦枠のプッシュボタン（室内側）を外します。
②①のプッシュボタンがはまっていた穴に㋑ ターンナットを挿入します。ターンナットの向きに注意してください。
③サッシ縦枠に㋩バインド小ねじで㋺アタッチが動かないように固定してください。（ターンナットの構造上、通常よりねじを回す数が多くなります。目安は10〜11回転です。）



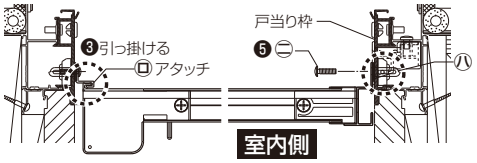



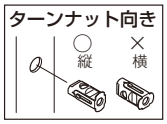

## ❹網戸の取付け

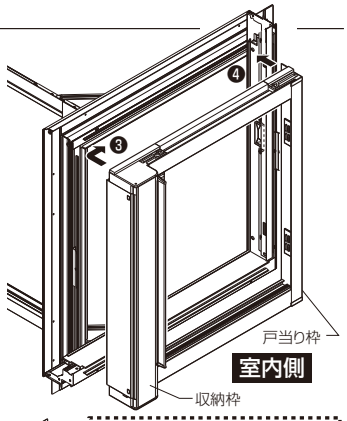


### ❹網戸の取付け

①戸当り枠側のサッシ縦枠のプッシュボタン（室内側）を外します。
②①のプッシュボタンがはまっていた穴に㋑ターンナットを挿入します。ターンナットの向きに注意してください。
③収納枠をサッシ枠に取付けた㋺ アタッチに引っ掛けます。
④網戸の戸当り枠側をサッシ縦枠内に挿入します。
⑤㋩バインド小ねじで網戸戸当り枠が動かないように固定してください。（ターンナットの構造上、通常よりねじを回す数が多くなります。目安は10〜11回転です。）



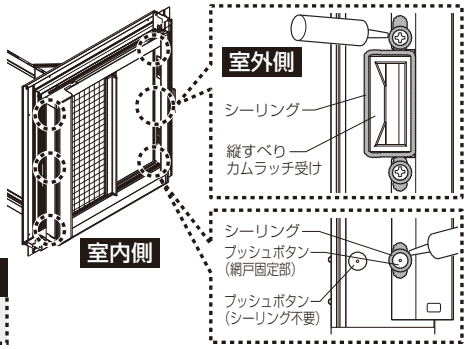




**お願い**

※網戸のねじれ、たおれ、ゆがみなどがないよう取付けてください。網が閉まらない、網の動きが悪いなど支障が生じるおそれがあります。
※取付け後、収納枠を引き、アタッチから外れないことを確認してください。

※浴室などの水のかかる場所でご使用の場合、取付けに使用したねじ頭周りと長穴に、必ずコーキング材でシーリング処理してください。縦すべり出し窓の場合はカムラッチ受けの周りにもシーリング処理を行ってください。水が躯体に周り漏水の原因になります。

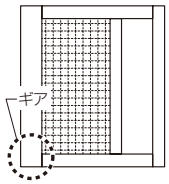



**⚠注　意**

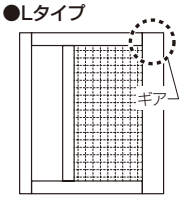
●浴室で使用する場合は、シーリング処理を必ず実施してください。

## ❺巻取りスピードの確認および調整

●Rタイプ



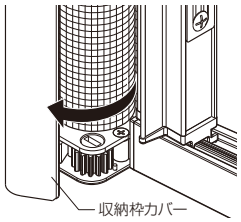

●Lタイプ




### ❺巻取りスピードの確認および調整

#### ■巻取りスピードの確認

●巻取りスピードが適切かどうかを確認してください。スピードの目安は網を一番引張り出した状態で手を放し、網が完全に巻取られるときに框が収納枠に軽くパチンと当たる状態です。この状態でない場合は、右記の調節を行ってください。
※網が収納枠に入りきらない、網がたるむなどの原因になるおそれがあります。

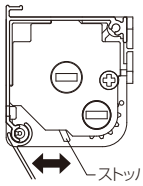



#### ■巻取りスピードの調整

①収納枠カバーをひらきます。
②ギアの調整を行います。
※ギアはLタイプは上側、Rタイプは下側にあります。

**【巻取りスピードが速い場合】**

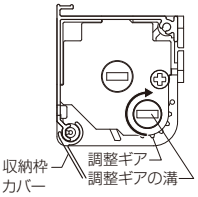
●ストッパーを奥まで押して戻す。
1往復でギアが1山戻ります。開閉操作で確認しながら適切な速度になるようにストッパーで調整してください。




③調整が完了後、収納枠カバーを閉めます。

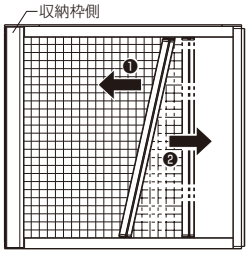
**【巻取りスピードが遅い場合】**

●調整ギアの溝にマイナスドライバーなどを差込み、矢印方向にギアを2〜3山回してください。



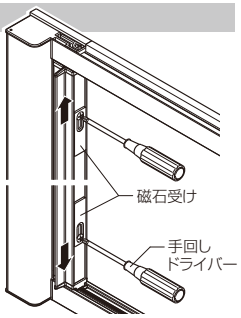

### ■網がななめになった場合や網が途中で止まっている場合

●網をいったん収納枠側に戻して引出し直して手を離してください。
1回で納まらない場合は、開閉操作を2、3回行ってください。




### ■マグネットが強い場合

●マグネットが強い場合は、ねじをゆるめ磁石受けを矢印の方向にずらしてください。マグネットと磁石受けの当たる面積が少なくなりマグネットが弱くなります。
マグネットが弱い場合は矢印と反対方向にずらしてください。
※必ず手回しドライバーを使用してください。



# 有償品　上げ下げロール網戸

●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

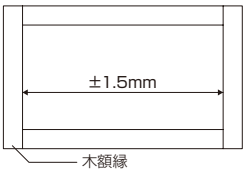
**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●網戸ボックス落下の原因になりますので、下記事項をお守りください。
・指定のねじでブラケット・網戸ボックスを固定してください。
・網戸ボックスの取付けねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますと、ねじがから回りし、固定できなくなるおそれがあります。

## ■お願い

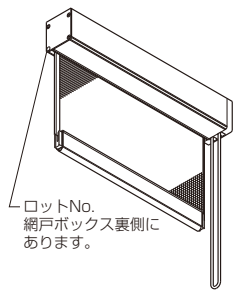
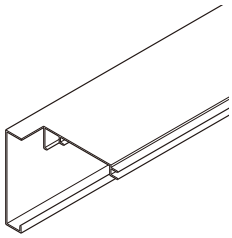
●網戸の動作不良防止のため、木額縁が右図の範囲内で施工されていることを確認してください。




## ■部品一覧表

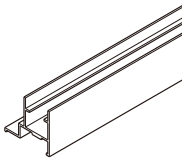
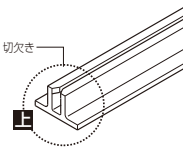
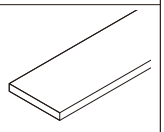
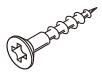
●取付ける前に梱包内の部品を確認してください。

●本体用部品

| 網戸ボックス | ブラケット | 丸木ねじφ3.5×20 |
|---|---|---|
|  |  | |
| | | 薄平小ねじM4×5 |
| | | |



●ガイドレール用部品

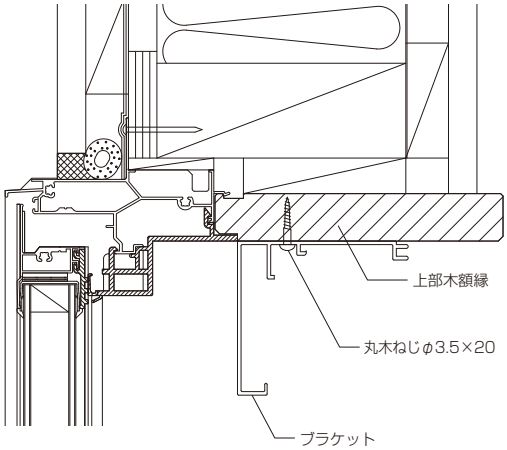
| ガイドレール | インナーレール | スペーサー |
|---|---|---|
|  |  |  |
| | | 皿木ねじφ3.1×20 |
| | |  |



## ■取付け順序【しゃくり有りの場合】

### ❶ブラケットの取付け

図のようにブラケットを上枠樹脂アングルの端に合わせて、ブラケット取付け用丸木ねじφ3.5×20でブラケットを固定します。

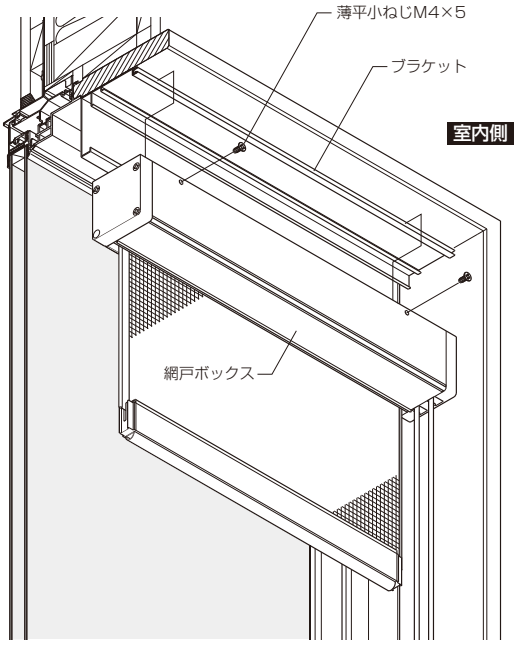


## ❷網戸ボックスの取付け

●網戸ボックスをブラケットに引っ掛け、ボックス固定用薄平小ねじM4×5で固定します。

**⚠ 注 意**

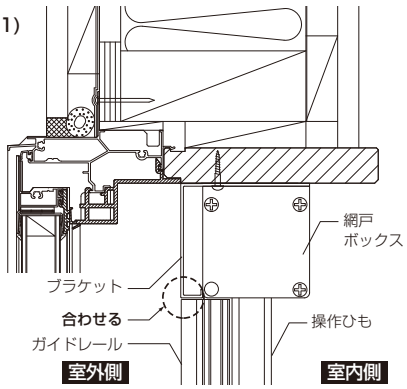
ねじは必ず手で止めてください。
強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますと、ねじがかから回りし、固定できなくなるおそれがあります。

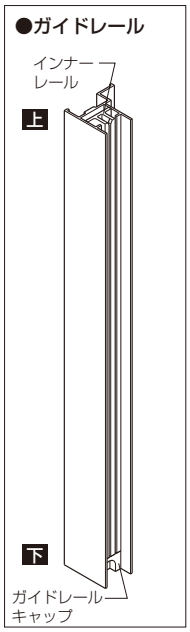


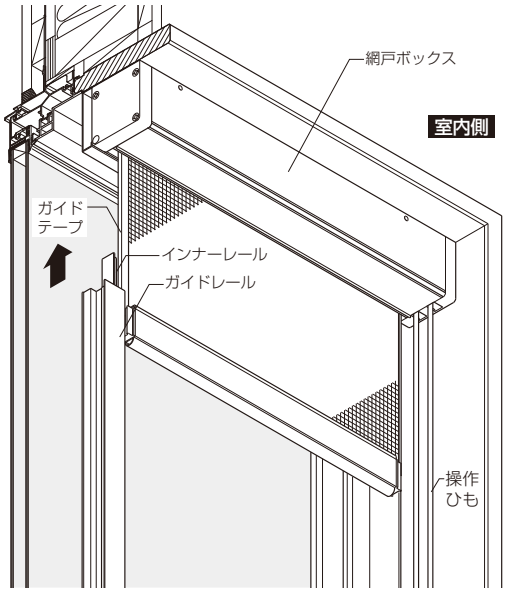

## ❸ガイドレールの取付け

❶網戸ボックスの操作ひもを引き、網戸を10cm程下げます。
❷網戸の左右のガイドテープの先端をインナーレールのすき間に上方から差込みます。
❸(図1)のようにブラケットとガイドレールの室外側のラインを垂直に合わせて、皿木ねじφ3.1×20で左右木額縁に固定します。
注)ガイドレールはキャップの付いている方が下となります。

(図1)



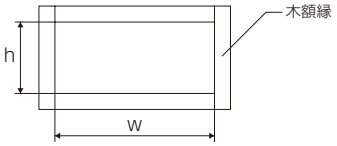
## ■取付け順序【しゃくり無しの場合】

### ❶スペーサーの取付け

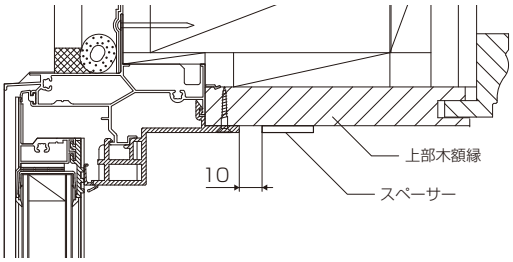
※木額縁がしゃくり無しの場合、同梱スペーサーを使用します。
※木額縁の開口寸法に合わせてスペーサーをカットしてください。開口hと開口wでスペーサーの長さが違います。

**スペーサーの長さ**

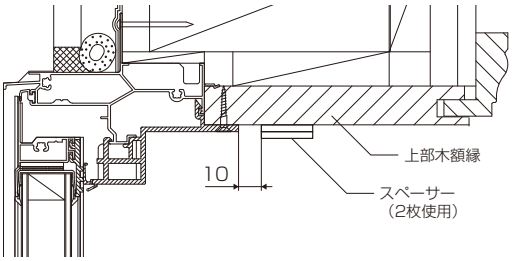
| | | | |
|---|---|---|---|
| 開口h | ≦ | 1106の場合 | L＝1115 |
| 1107≦開口h | ≦ | 1171の場合 | L＝1180 |
| 1172≦開口h | | の場合 | L＝1115（片側2枚使用） |
| 開口w用 | | | L＝1205 |



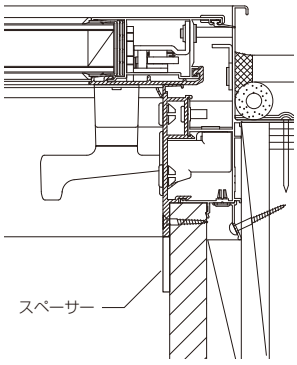

❶下図のように上枠樹脂アングル端部から10mmの位置にスペーサーを張付けしてください。
※上下額縁ともしゃくり無しの場合はスペーサーを2枚使用して木額縁に張付けしてください。
※下枠側にスペーサーは張付けません。

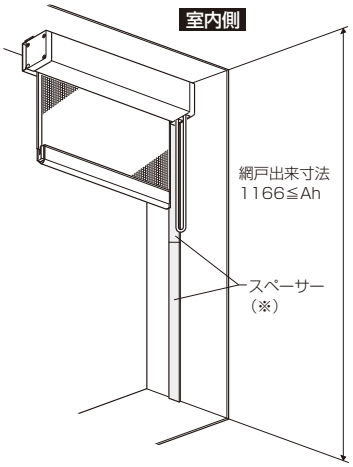



【上下額縁ともしゃくり無しの場合】



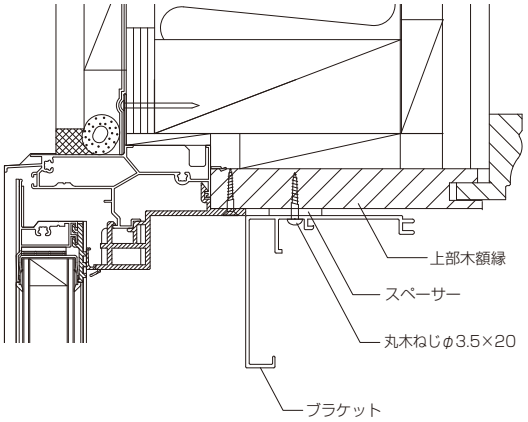

❷左右の樹脂アングル端部に合わせてスペーサーを張付けしてください。
※網戸出来寸法Ahが1166以上の場合は、スペーサー(L＝1115)を縦に2枚つなげて使用します。(※)




### ❷ブラケットの取付け

図のようにブラケットを上枠樹脂アングルの端に合わせて、ブラケット取付け用丸木ねじφ3.5×20でブラケットを固定します。

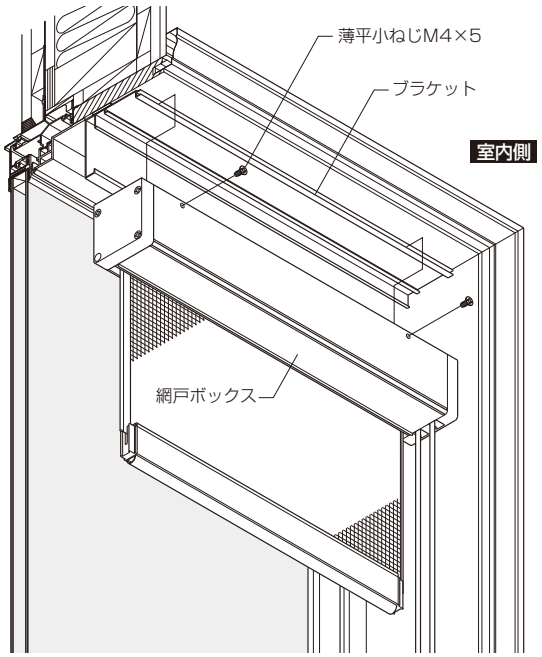


## 3網戸ボックスの取付け

●網戸ボックスをブラケットに引っ掛け、ボックス固定用薄平小ねじM4×5で固定します。

**⚠ 注 意**

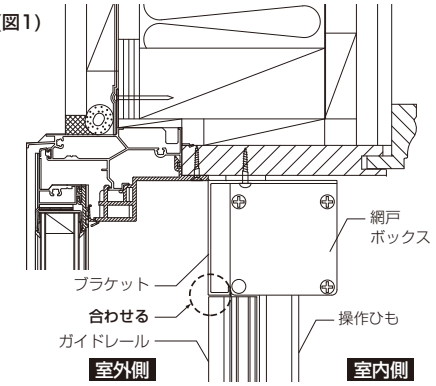
ねじは必ず手で止めてください。
強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますと、ねじがかから回りし、固定できなくなるおそれがあります。

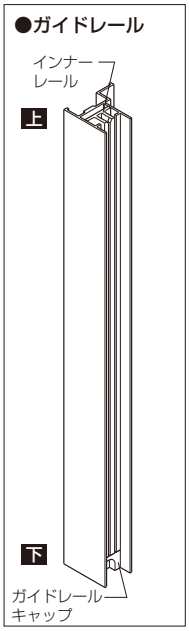


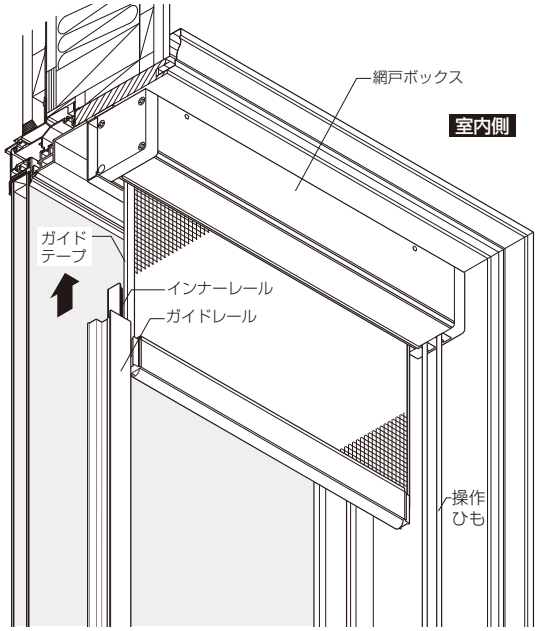

## 4ガイドレールの取付け

❶網戸ボックスの操作ひもを引き、網戸を10cm程下げます。
❷網戸の左右のガイドテープの先端をインナーレールのすき間に上方から差込みます。
❸(図1)のようにブラケットとガイドレールの室外側のラインを垂直に合わせて、皿木ねじφ3.1×20で左右木額縁に固定します。
注)ガイドレールはキャップの付いている方が下となります。

(図1)



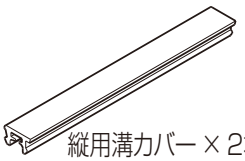
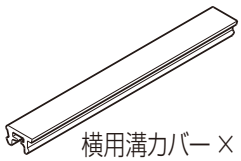



# 有償品　網戸溝カバー オペレーター用

## ■取付け上のお願い

●上下用溝カバー取付け後に、縦用溝カバーをサッシ枠に取付けてください。手順通りに取付けないと溝カバーが取付けられなくなります。

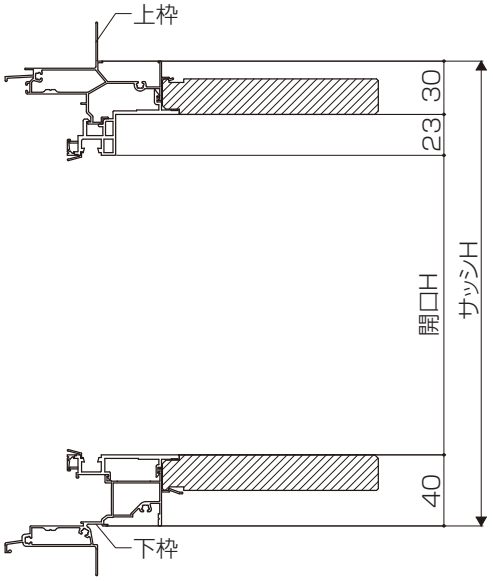
## ■部品一覧表

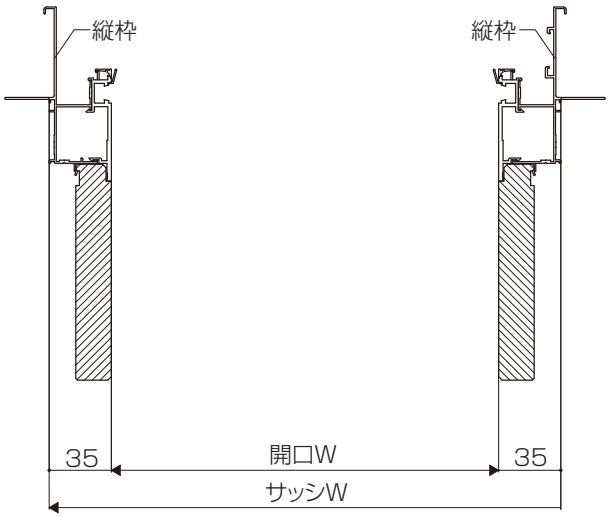
| | | |
|---|---|---|
| 姿図 |  縦用溝カバー×2本 |  横用溝カバー×2本 |
| 使用部位 | 枠 | |

## ■溝カバーの切断

### ❶サッシ枠開口寸法採寸

●溝カバーが取付くサッシの、下図「開口W」と「開口H」（または「サッシW」と「サッシH」）を採寸してください。




### ❷溝カバー切断寸法の算出

●❶で採寸した寸法を以下の公式にあてはめて、溝カバー縦用、横用の切断寸法を求めてください。

**①「開口W」、「開口H」から求める場合**

・溝カバー縦用切断寸法=開口H（mm）
・溝カバー横用切断寸法=開口W+18（mm）

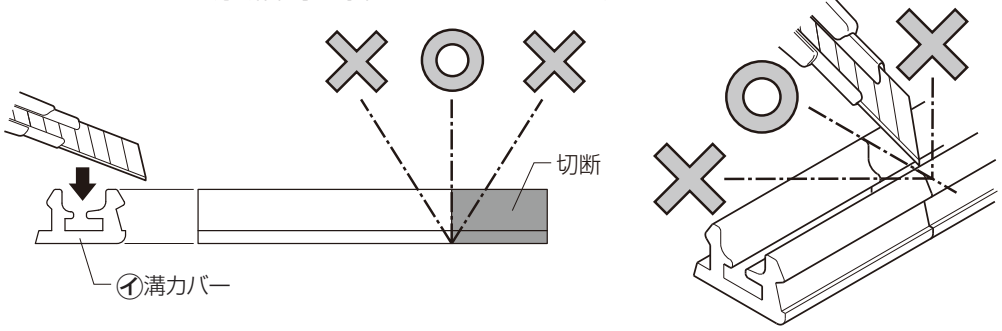
**②「サッシW」、「サッシH」から求める場合**

・溝カバー縦用切断寸法=サッシH−92（mm）
・溝カバー横用切断寸法=サッシW−52（mm）

### ❸溝カバーの切断

※溝カバーは縦用と横用があります。よく確認してから切断してください。

●カッターで溝カバーを切断してください。切断の際は、平らな場所で溝カバーを下図のように置いて切断してください。このとき、切断部分が斜めにならないように注意してください。

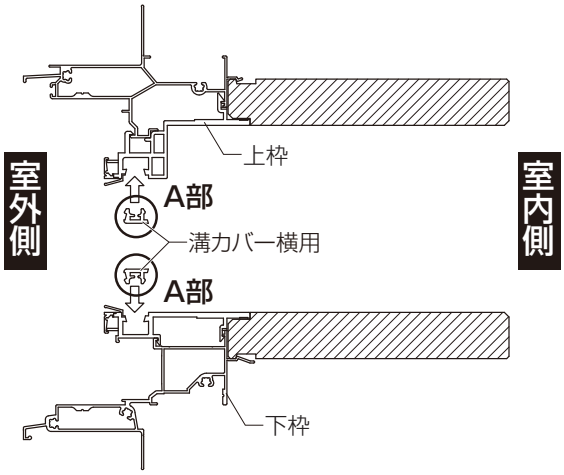


## ■溝カバーの取付け

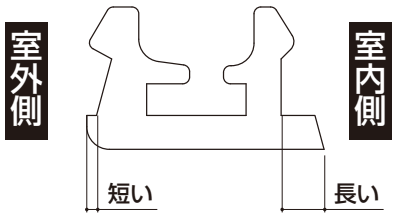
**お願い**
※以下の手順で溝カバーをサッシ枠に取付けてください。
手順通りに取付けないと溝カバーが取付けられなくなります。

### ❶上下用溝カバーの取付け

※サッシ上枠と下枠に溝カバー横用を以下に注意して取付けてください。
①溝カバー横用の向きが下図になるように取付けてください。

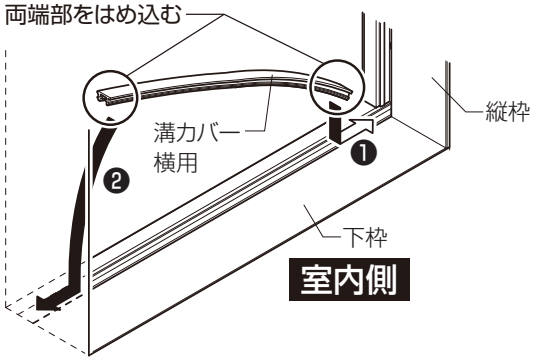



**■A部詳細図**

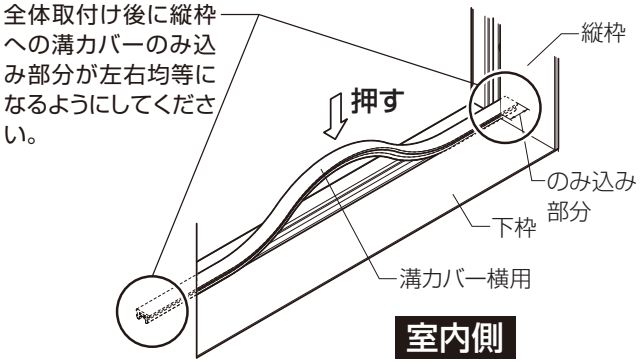



※長い方が室内側になるように取付けてください。

②溝カバー横用の両端部を先に下枠（又は上枠）に取付けて、縦枠側にスライドさせてください。

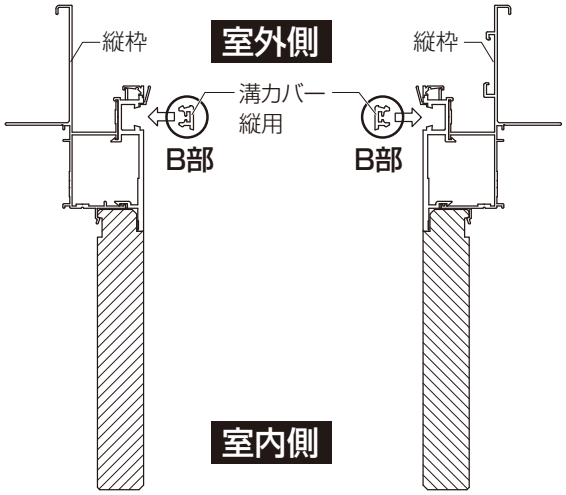



②溝カバー横用の中央部を押して全体を取付けてください。

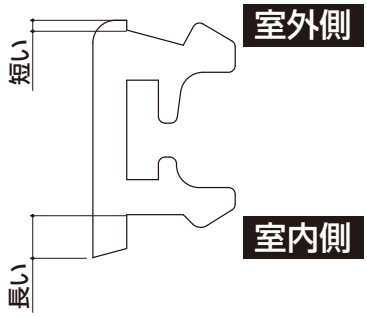



### ❷縦用溝カバーの取付け

●サッシ縦枠に溝カバー縦用を取付けてください。




**■B部詳細図**




※長い方が室内側になるように取付けてください。

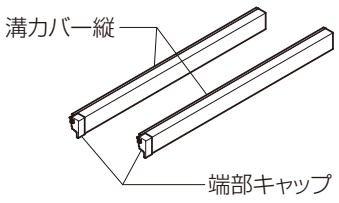
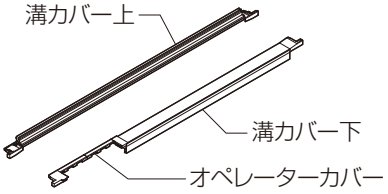
# 有償品　網戸溝カバー（高所用横すべり出し窓）

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願い

●溝カバー横用取付け後に、溝カバー縦用をサッシ枠に取付けてください。手順通りに取付けないと溝カバーが取付けられなくなります。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管･輸送の際は保護してください。

## ■取付け上のお願い

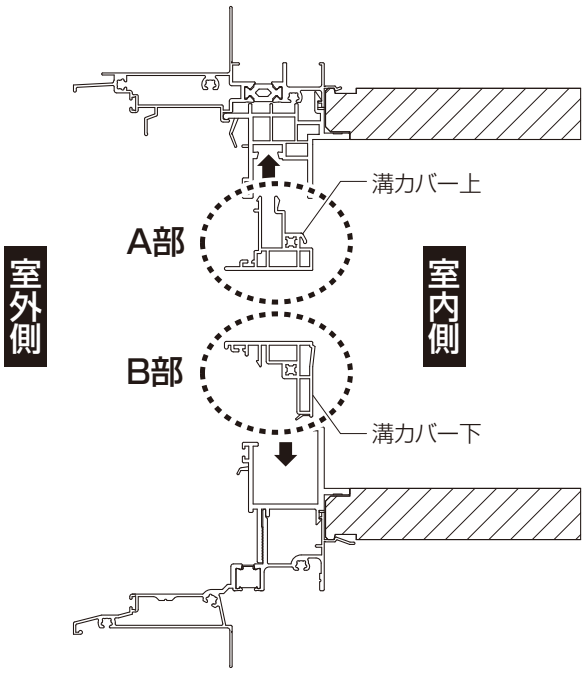
| | | |
|---|---|---|
| 姿図 |  <br>＜溝カバー縦用＞<br>・溝カバー縦×2本 |  <br>＜溝カバー横用＞<br>・溝カバー上×1本<br>・溝カバー下×1本 |
| 使用部位 | 枠 | |

## ■溝カバーの取付け

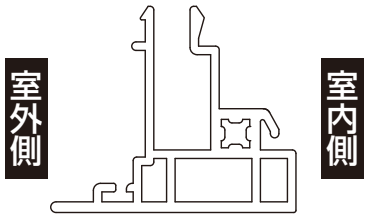
**お願い**
※以下の手順で溝カバーをサッシ枠に取付けてください。
手順通りに取付けないと溝カバーが取付けられなくなります。

### ❶溝カバー横用の取付け

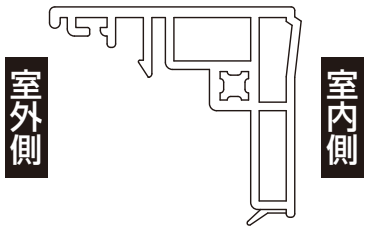
※はめ込み前に、溝部のゴミを除去してください。
●サッシ上枠と下枠に溝カバー横用を取付けてください。




■A部詳細図




■B部詳細図



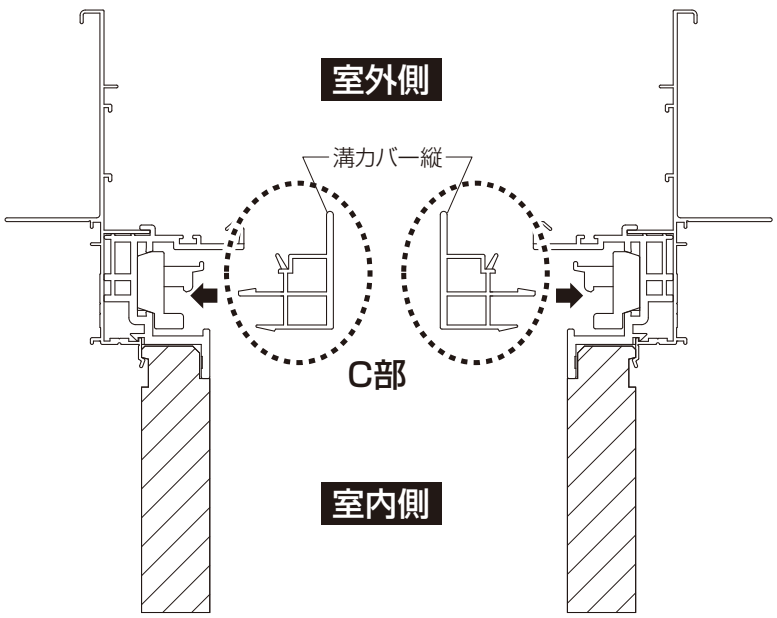
## ❷溝カバー縦用の取付け

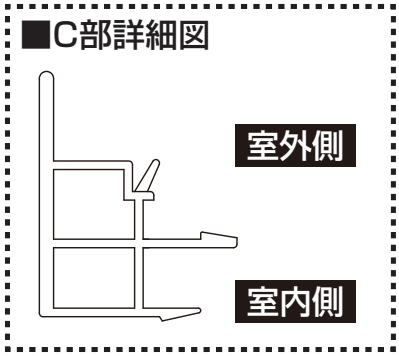
※はめ込み前に、溝部のゴミを除去してください。

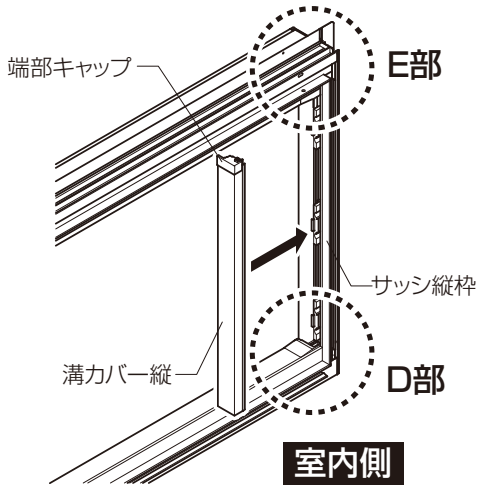
①下枠端部キャップとのすき間が空かない様に、溝カバー縦をサッシ縦枠へはめ込んでください。
※端部キャップが付いている方を上にしてください。
※端部キャップが上がっている場合は下げてください。

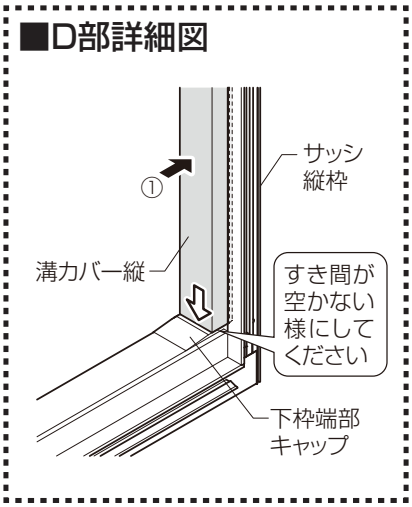
②上枠端部キャップとのすき間が無くなるまで縦枠端部キャップを上げてください。
※縦枠端部キャップがサッシ縦枠の部品に引っかかります。

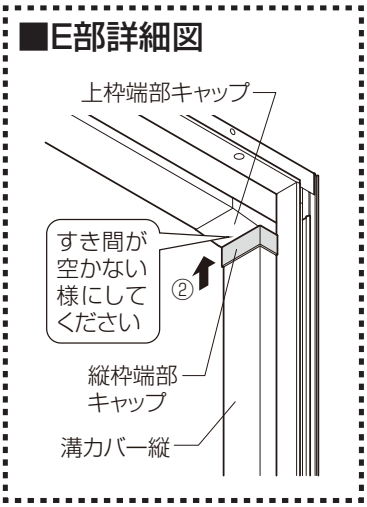
③溝カバー縦が外れないことを確認してください。



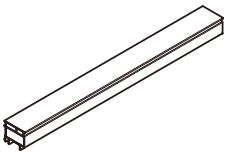
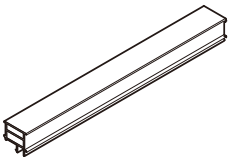
# 有償品　網戸溝カバー グレモン用

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願い

●溝カバー横用取付け後に、溝カバー縦用をサッシ枠に取付けてください。手順通りに取付けないと溝カバーが取付けられなくなります。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●溝カバー取付けの際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

## ■部品一覧表

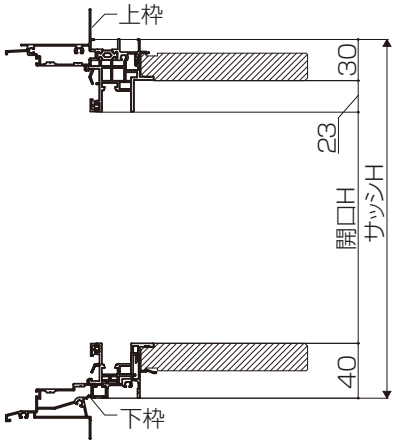
| | | |
|---|---|---|
| 姿 図 |  溝カバー縦用 × 2本 |  溝カバー横用 × 2本 |
| 使用部位 | 枠 | |

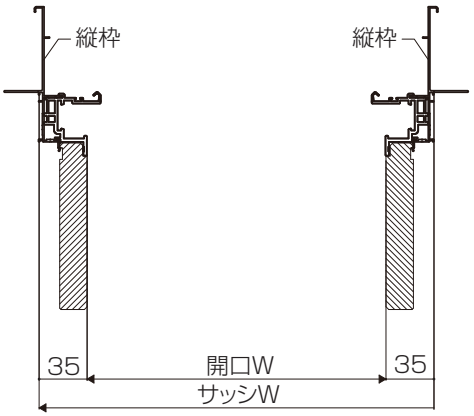
## ■溝カバーの切断（指定サイズより大きい規格サイズを切断して使用する場合）

※指定サイズで手配済みの場合は、次ページ「■溝カバーの取付け」から作業してください。

### ❶サッシ枠開口寸法採寸

●溝カバーが取付くサッシの、下図「開口W」と「開口H」（または「サッシW」と「サッシH」）を採寸してください。




### ❷溝カバー切断寸法の算出

●❶で採寸した寸法を以下の公式にあてはめて、溝カバー縦用、横用の切断寸法を求めてください。

**①「開口W」、「開口H」から求める場合**

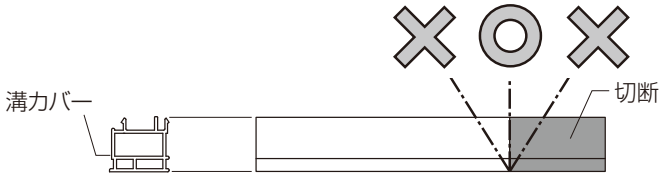
・溝カバー縦用切断寸法=開口H（mm）
・溝カバー横用切断寸法=開口W+32.5（mm）

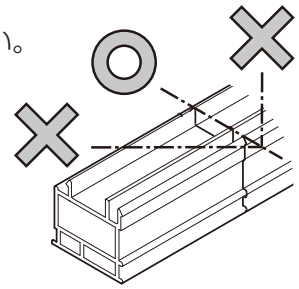
**②「サッシW」、「サッシH」から求める場合**

・溝カバー縦用切断寸法=サッシH−93（mm）
・溝カバー横用切断寸法=サッシW−37.5（mm）

### ❸溝カバーの切断

※溝カバーは縦用と横用があります。よく確認してから切断してください。
●切断部分が斜めにならないように注意してください。



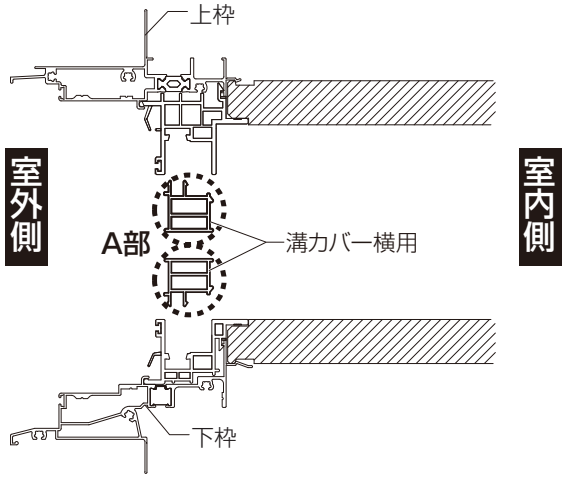



## ■溝カバーの取付け

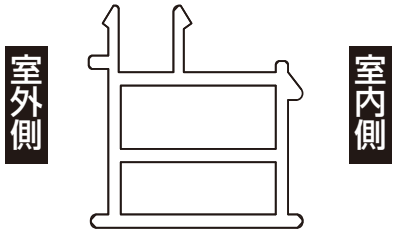
**お願い**
※以下の手順で溝カバーをサッシ枠に取付けてください。
　手順通りに取付けないと溝カバーが取付けられなくなります。
※溝カバー取付けの際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

### ❶溝カバー横用の取付け

※はめ込み前に、溝部のゴミを除去してください。
●サッシ上枠と下枠に溝カバー横用を取付けてください。
※溝カバーに木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。

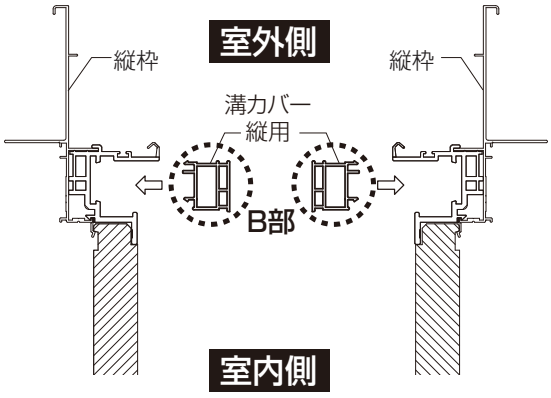



■A部詳細図

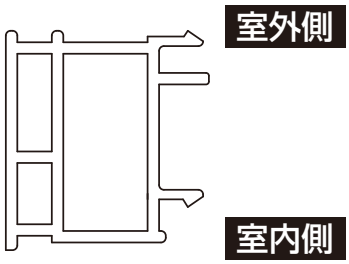


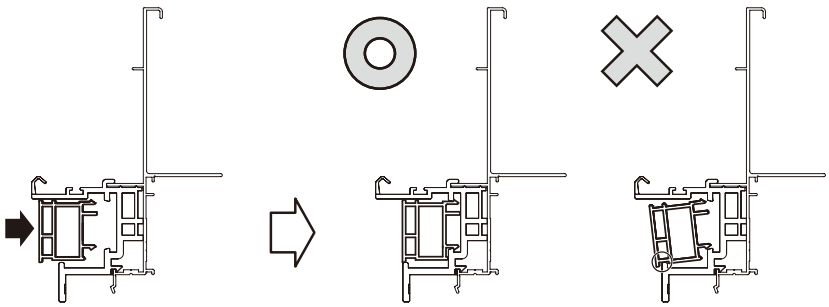

### ❷溝カバー縦用の取付け

●サッシ縦枠に溝カバー縦用を取付けてください。
※溝カバーに木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。




■B部詳細図



室内側のアングルに溝カバー縦用の溝が乗ると嵌合できません。

# 有償品　FIX窓外押縁防犯部品セット

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

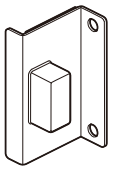
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●ガラス入れ後、ガラスを外れにくくするため、外れ止めガラス本体を必ず指定のねじで取付けてください。取付けないとガラス落下の原因となります。

## ■取付けねじ・部品一覧表

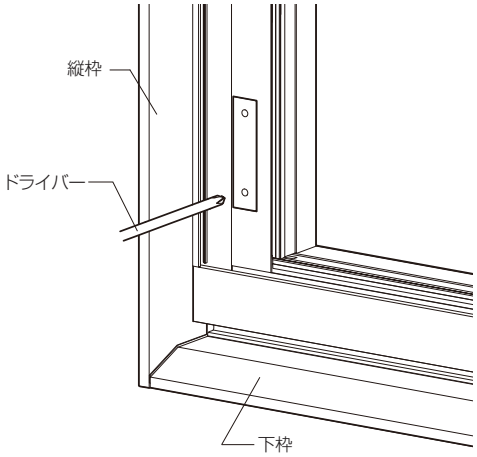
| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
|  | | |
| 外れ止めガラス本体 | ワンウェイねじ M4×12 | なべタッピンねじ3種 M4×10 |

## ■取付け順序

**1取付け穴の確認**

●縦枠に張ってあるシールの上から穴位置を確認し、ドライバーなどで穴をあけます。（2ヵ所）

※ガラスを建込む前に行なってください。




**2外れ止めガラス本体の取付け**

●外れ止めガラス本体を取付け穴に合わせ、ねじ㋺、㋩で固定します。

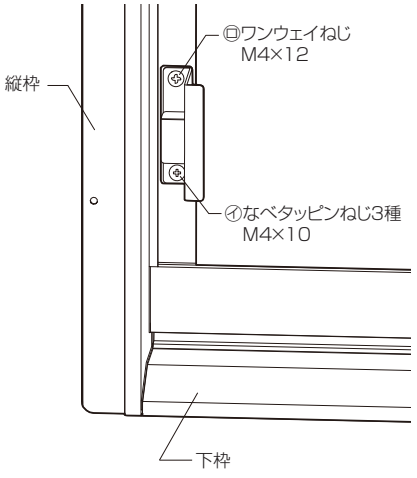
※ねじの種類と位置を間違えないようにしてください。

※ガラスを建込んだ後で取付けてください。ガラスを建込む前に取付けると、ガラスが建込めません。

※必ず左右の縦枠に取付けてください。

**⚠ 注 意**

●必ず指定のねじで取付けてください。



# 有償品　外倒し窓用　SL80

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警 告**…組立てを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ⚠警 告

●本製品で使用するグレチャン付複層ガラスは、特殊な構造によりグレチャンとガラスを一体化した専用ガラスです。障子の落下、ガラスの抜けによるケガの防止のため下記事項をお守りください。
- 必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
- ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアル（横すべり出し窓）の手順にしたがってください。

### ⚠注 意

●漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
- 縦枠両側に張付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

●障子の取付け後は、必ず障子開き止め部品を取付け、オペレーター装置を取付けるまでは外さないでください。障子が開放し、おもわぬケガをするおそれがあります。

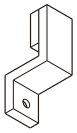
## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●取付けは、「取付け説明書」をご覧ください。
●取付け説明書および取付けねじセットは、必ず施工される方へお渡しください。
●枠を躯体に取付けてから障子を取付ける場合は、必ず施工される方へ「障子取付けねじ・組立て説明書・オイルステー部品セット・排煙部品セット」をお渡しください。
●ガラス寸法はオンサイトシステムの作業指示書をご覧ください。
●ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。部材が変形するおそれがあります。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
●連窓・段窓する場合は、必ず連窓方立・段窓無目の組立て説明書もご覧ください。専用部品の取付けおよび組立ての手順が異なります。
●オイルステー部品セットは、本説明書と一緒に必ずオペレーター装置を取付ける方へお渡しください。

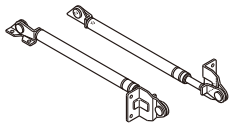
## ■ねじ・部品一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|---|
| 姿図 | バインドタッピンねじ φ4×30 | ナベタッピンねじ φ4×25 | トラス小ねじ M4×8 |
| 部品セット表示 | 外枠組立用 | 障子組立用 | 障子取付用 |

### ■障子開き止め部品セット

| 障子開き止め | 取付けねじ |
|---|---|
|  | バインド小ねじ M4×16 |

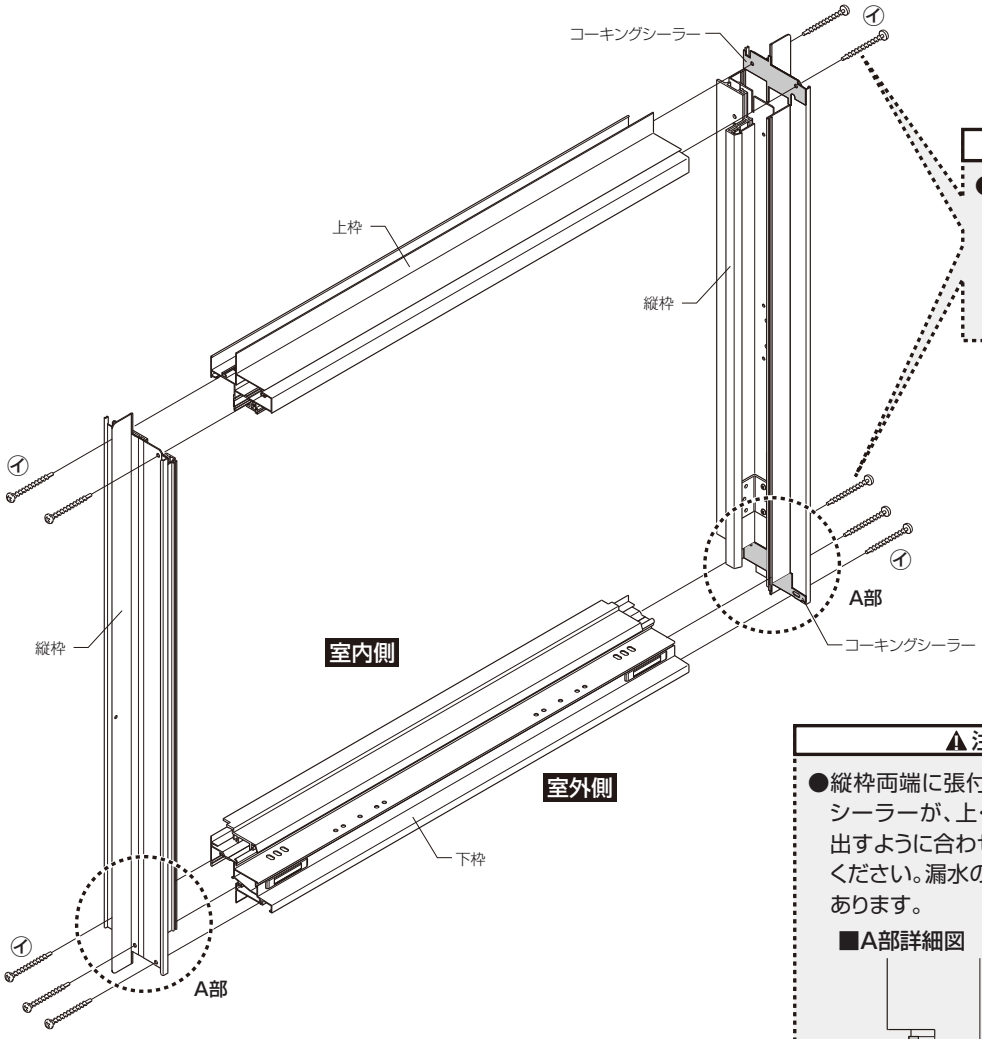
### ■オイルステー部品セット

| オイルステー | ブラケット取付けねじ |
|---|---|
|  | トラス小ねじ 枠側：M4×16 障子側：M4×12 |

## ■組立て順序

### 1 枠の組立て

●各部材の向きを合わせて㋑バインドタッピンねじφ4×30で取付けてください。



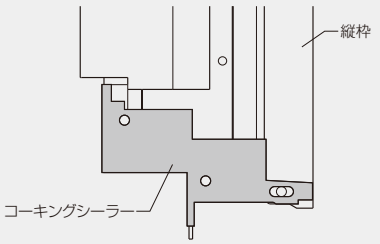

**⚠注 意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注 意**

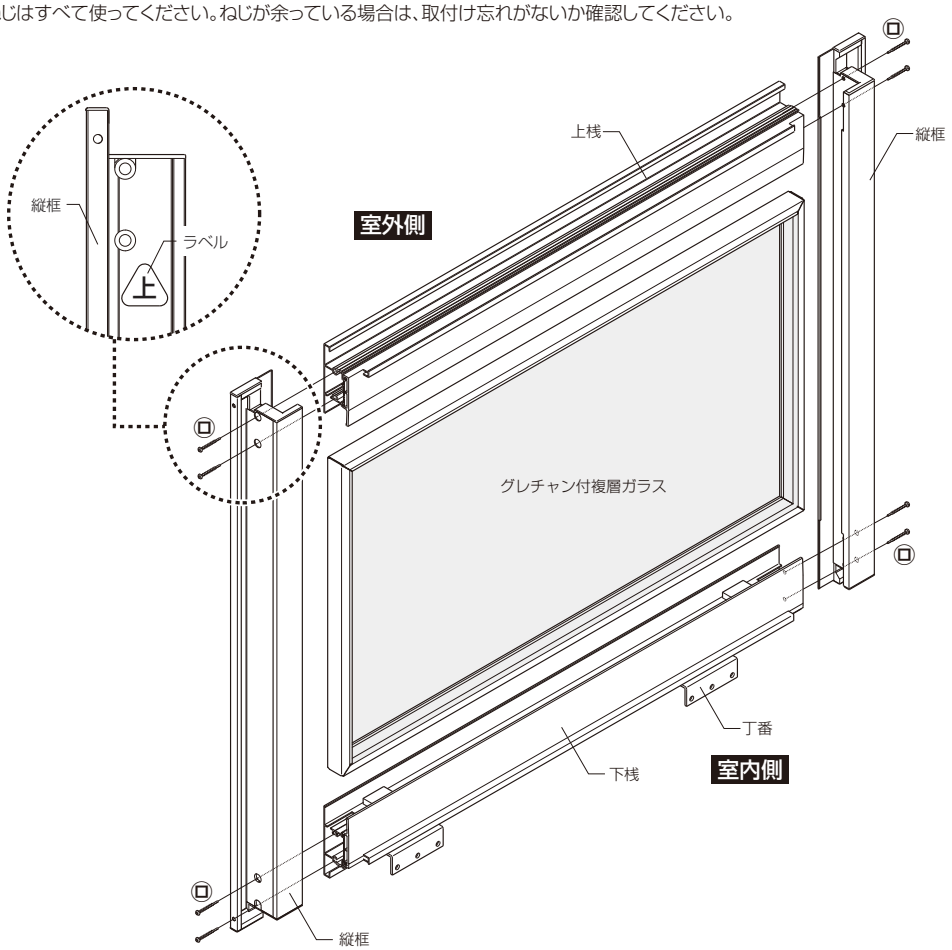
●縦枠両端に張付けてあるコーキングシーラーが、上·下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

■A部詳細図



## 2 障子の組立て

①グレチャン付複層ガラスに記載されている対象品種、ガラス寸法を確認します。
※品種によりガラスの仕様が異なります。
②ガラスに対し、各部材を仮配置します。
※内外・上下・左右が正しいか必ず確認してください。
③縦框と上下桟を差込み、◻ナベタッピンねじφ4×25で固定します。
※縦框には上下があります。上部にはラベルが張ってありますので確認してください。
※障子の組立てねじはすべて使ってください。ねじが余っている場合は、取付け忘れがないか確認してください。

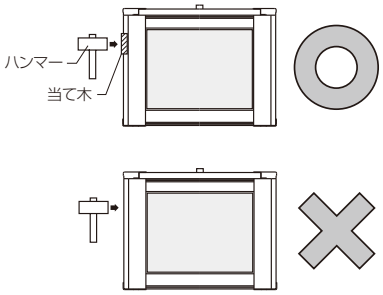



**⚠ 警 告**

- ●必ず指定のグレチャン付複層ガラスを使用してください。
- ●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。
- ●ガラスの交換など、障子を組み直す場合は、必ずガラス交換マニュアル（横すべり出し窓）の手順にしたがってください。

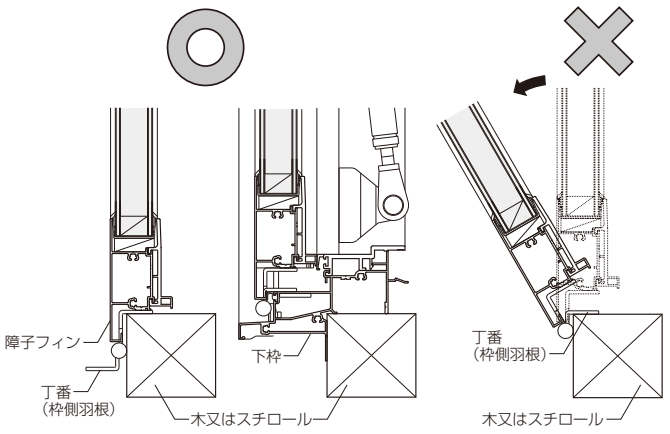
**お願い**

※組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。
部材が変形するおそれがあります。



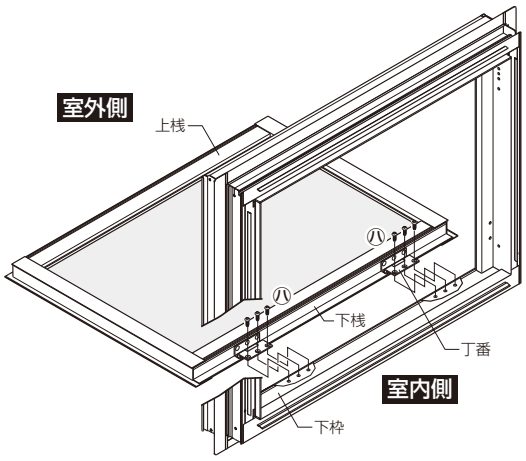

**お願い**

※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。又、障子取付け後に保管する場合も同様に、釘打ちフィンに重量がかからないよう木などを当ててください。
※丁番の枠側羽根で障子を支えないでください。障子が倒れることがあります。



## 3 障子の取付け

※連窓･段窓の場合は、ガラス破損防止のため、障子は枠を躯体に固定した後に入れてください。
●障子下桟の丁番を、㋑トラス小ねじM4×8で下枠に取付けます。

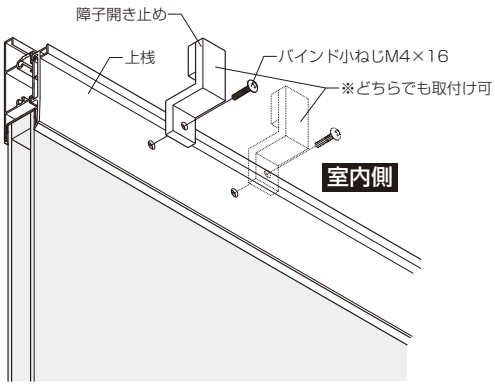



## 4 障子開き止めの取付け

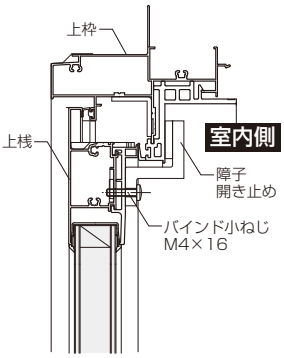
●障子を立て起し、上桟に障子開き止めをねじで固定します。
※上枠を挟込むように取付けます。
※上桟には2つ穴があいていますが、そのどちらに取付けても構いません。

**⚠注　意**

●障子の取付け後は、必ず障子開き止め部品を取付け、オペレーター装置を取付けるまでは外さないでください。障子が開放し、おもわぬケガをするおそれがあります。

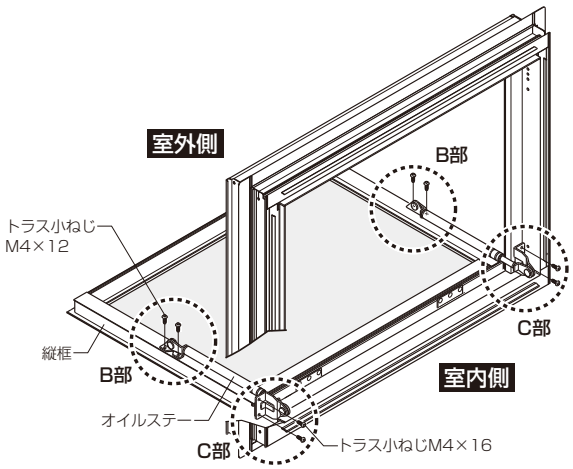



**■取付け詳細図**



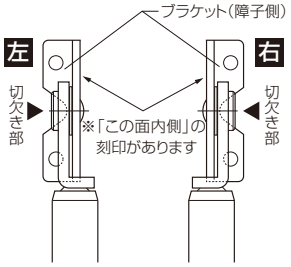

## 5 オイルステーの取付け

●オイルステーをB部･C部の順にトラス小ねじで取付けます。
※取付け後、障子を開閉して、開閉装置の確認をしてください。
※オイルステーブラケット障子側･枠側で、取付けねじの長さが違います。取付けねじは、ねじ袋の表示に従ってください。



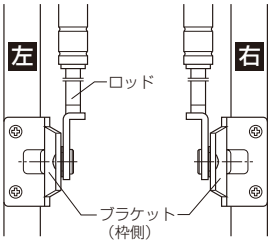

**■B部詳細**

●ブラケット（障子側）の切欠き部が、縦枠側を向くように取付けてください。




**■C部詳細**

●ブラケット（枠側）が下図のように、縦枠に取付けられるよう、ロッドを回転させて向きを調整してください。




お願い

※オイルステー部品セットは、本説明書と一緒に必ずオペレーター装置を取付ける方へお渡しください。

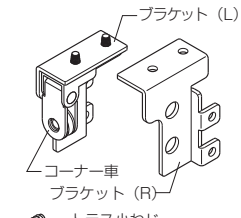
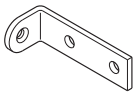
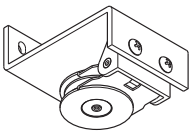
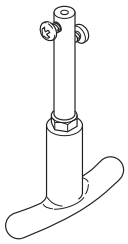
# 有償品　外倒し窓用　復帰セット

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願い

●復帰セットは、単窓・連窓とも1窓に対し1セット必要となります。
●コーナー車は通常、ブラケット(L)に取付けられていますのでブラケット(R)は不要となります。開放用引手が本体の内観左側にある場合(特注品)は、コーナー車をブラケット(R)に付け換えてください。この場合ブラケット(L)は不要となります。

## ■部品一覧表

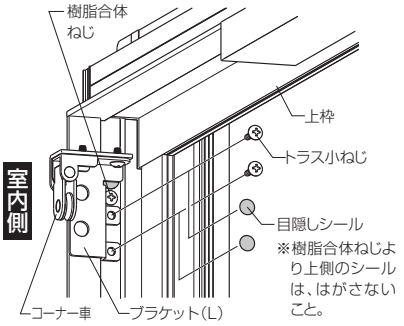
| コーナー車 | ワイヤー止め金具 | プーリー | 復帰用引手 | 復帰用ケーブル |
|---|---|---|---|---|
|  トラス小ねじ ※コーナー車と同梱 デュオ：M4×12 シンフォニー・サーモス 防火戸FG：M4×16 |  ワイヤー止め金具 トラス小ねじ ※ワイヤー止め金具と同梱 デュオ：M4×8 シンフォニー・サーモス 防火戸FG：M4×16 |  プーリー トラス小ねじ ※プーリーと同梱 デュオ：M4×8 シンフォニー・サーモス 防火戸FG：M4×16 |  | (3m) |

## ■取付け順序

※図はデュオを表します。シンフォニー・サーモス・防火戸FGの場合も手順は同様です。
※図は開放用引手が内観右側の場合です。開放用引手が内観左側にある場合（特注品）は本図と左右対称になります。

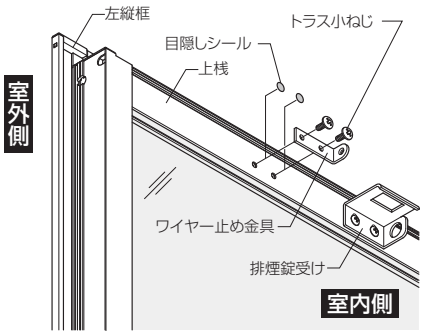
### 1コーナー車の取付け

①室内側の左縦枠上部に張付けてある目隠しシール3枚のうち、樹脂合体ねじより下側にある2枚をはがします。
②ブラケットを付属のねじ（トラス小ねじ）で縦枠に取付けます。



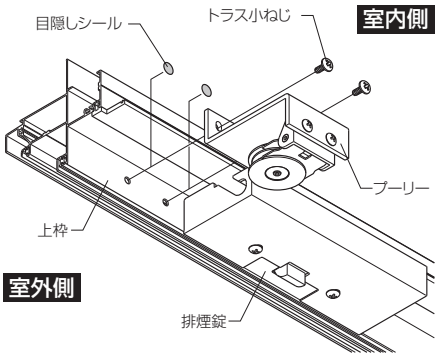

### 2ワイヤー止め金具の取付け

①上桟室内側に張付けてある目隠しシール（2枚）をはがします。
②ワイヤー止め金具を付属のねじ（トラス小ねじ）で上桟に取付けます。
※ワイヤー止め金具の曲げ部分が排煙錠受けの方を向くようにしてください。




### 3プーリーの取付け

①上枠室内側に張付けてある目隠しシール（2枚）をはがします。
②プーリーを付属のねじ（トラス小ねじ）で上枠に取付けます。

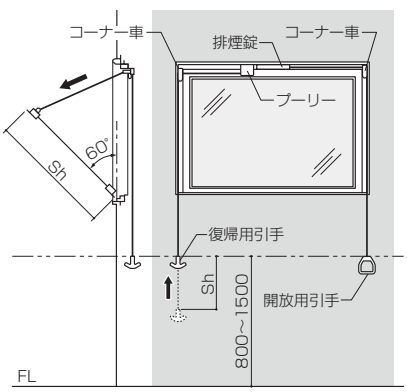


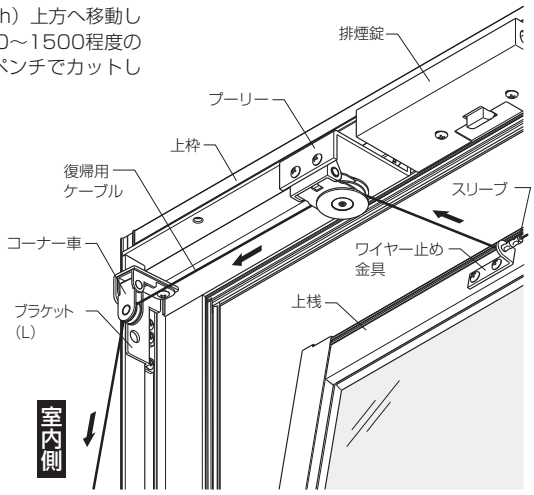

### 4復帰用ケーブルの取付け

①復帰用ケーブルのスリーブが付いていない方から下図のように順に通します。

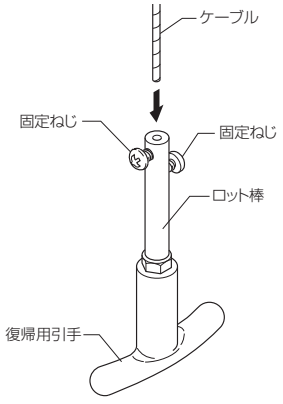
**【ケーブルの長さ設定】**

※復帰用引手は、障子開放と同時に障子高さ分（Sh）上方へ移動しますので、障子を全開にした状態で床から800～1500程度の位置に引手がくるように設定します。余りはペンチでカットしてください。




①復帰用引手のロット棒部分にある固定ねじ（2本）をゆるめ、ケーブルを奥まで挿入し、再び固定ねじ（2本）を強く締付け、ケーブルが開閉操作中に引手から抜けないことを確認してください。



# 有償品　シリンダー・サムターン

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

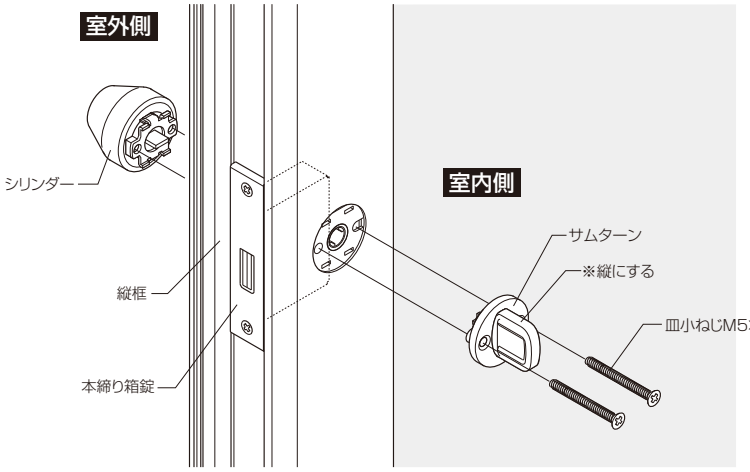
## ■取付け上のお願い

●本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油（CRC556など）やミシン油を注入しないでください。不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑剤（DASZ020）又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

## ■取付け順序

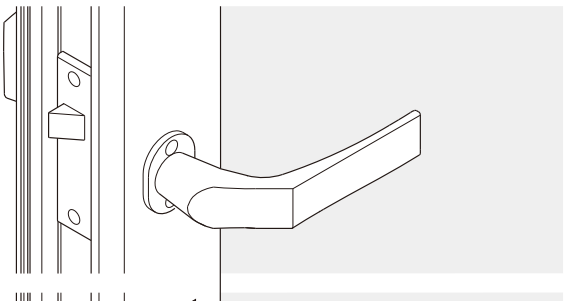
### 1シリンダー・サムターンの取付け

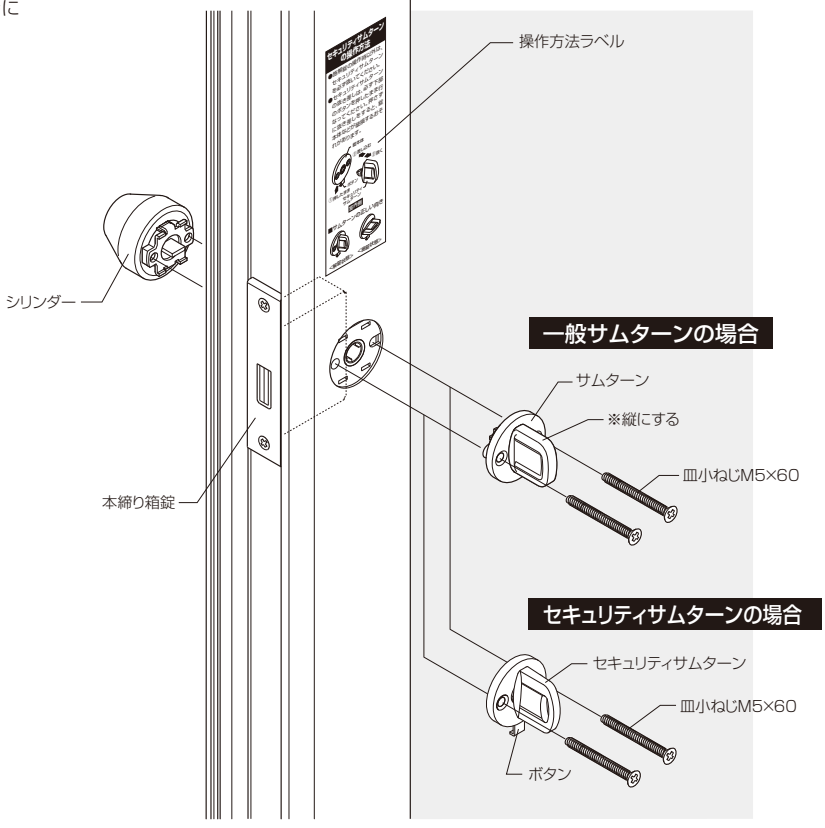
①シリンダーを箱錠の丸穴に差し込みます。
※シリンダーに上下の向きはありません。
②サムターンを箱錠の丸穴に差し込みます。
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差し込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
③サムターンをシリンダーにねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
※上・下用のシリンダー・サムターンの区別はありません。




### 2コンストラクション装置について（装置付きの場合）

●シリンダー2個のうち、封印シールが張られていないシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。
施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
●封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。





# 有償品　シリンダー・サムターン

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

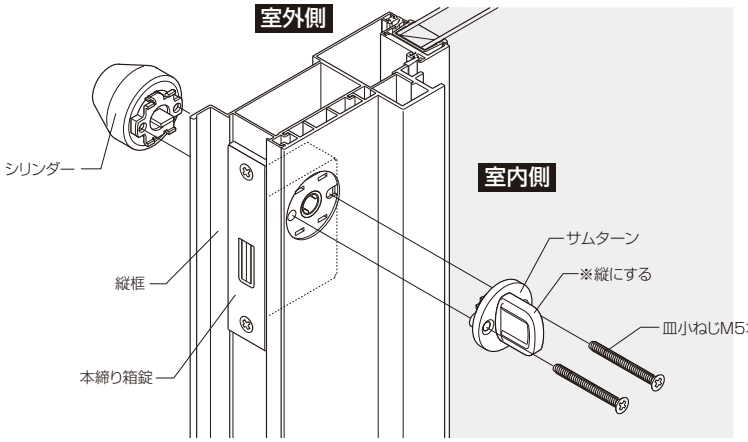
## ■取付け上のお願い

●本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油（CRC556など）やミシン油を注入しないでください。不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑剤（DASZ020）又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

## ■取付け順序

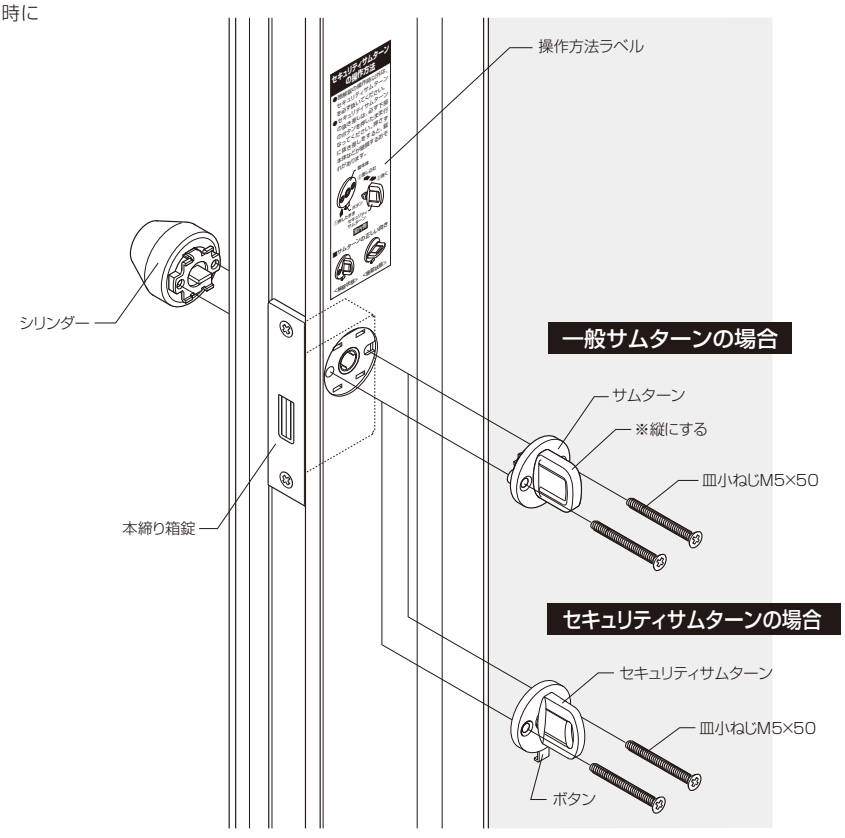
### 1シリンダー・サムターンの取付け

①シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
※シリンダーに上下の向きはありません。
②サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
③サムターンをシリンダーにねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
※上・下用のシリンダー・サムターンの区別はありません。




### 2コンストラクション装置について（装置付きの場合）

●シリンダー2個のうち、封印シールが張られていないシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。
施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
●封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。



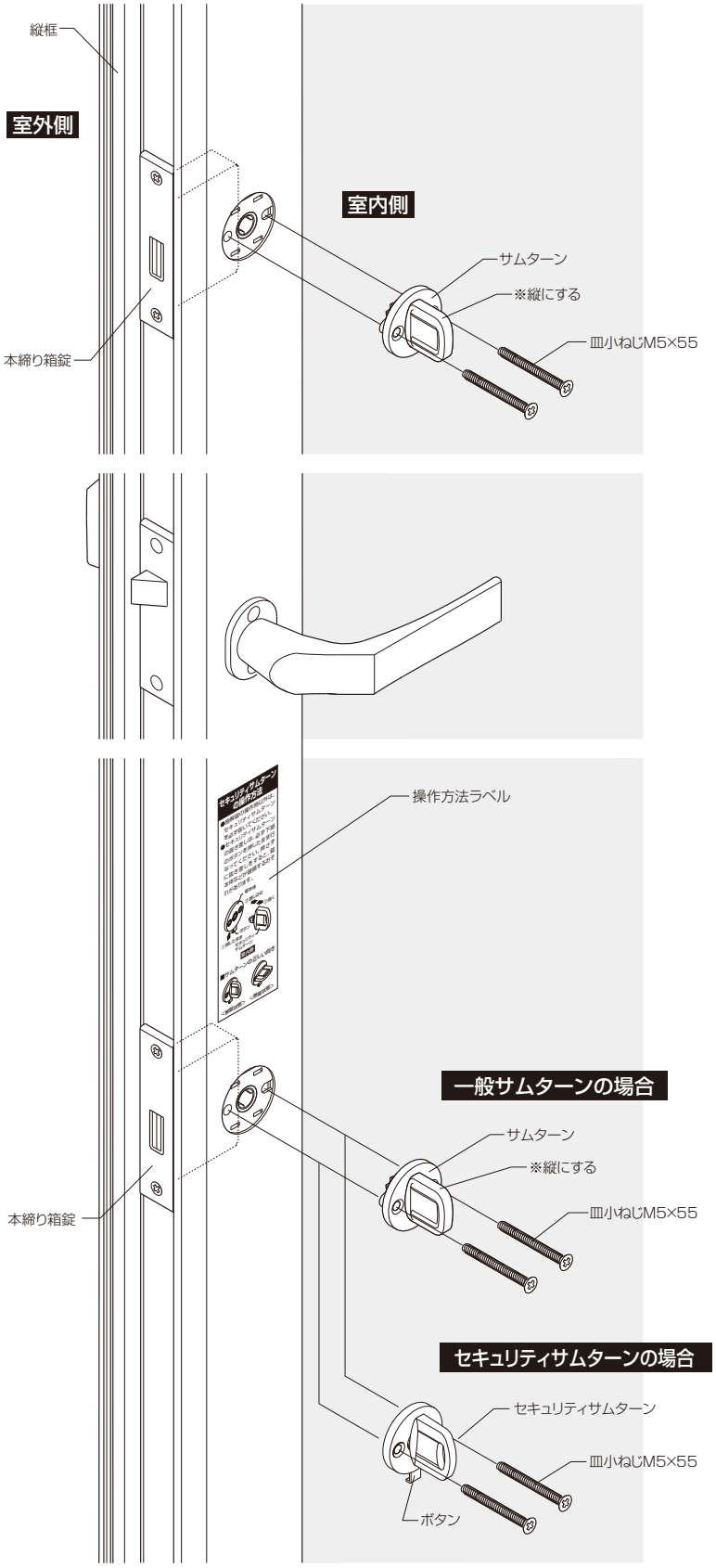
# 有償品　サムターン

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け順序

### 1サムターンの取付け

①サムターンを箱錠の丸穴に差し込みます。
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差し込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
②サムターンを本締り箱錠にねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
※上・下用のサムターンの区別はありません。



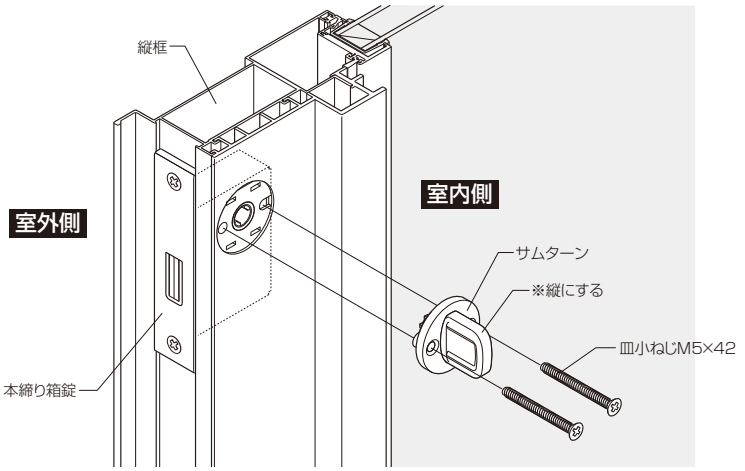
# 有償品　サムターン

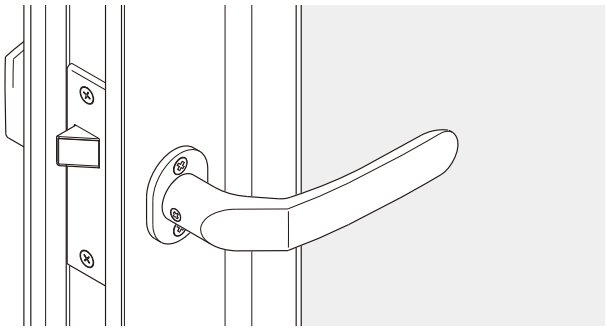
●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

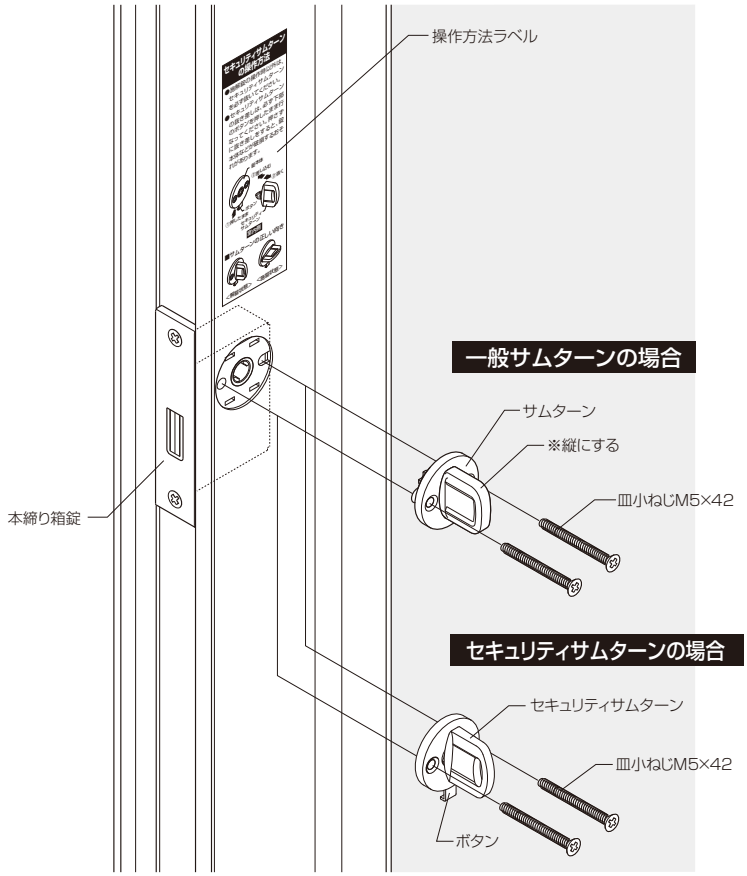
## ■取付け順序

### 1サムターンの取付け

①サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
②サムターンを本締り箱錠にねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
※上・下用のサムターンの区別はありません。





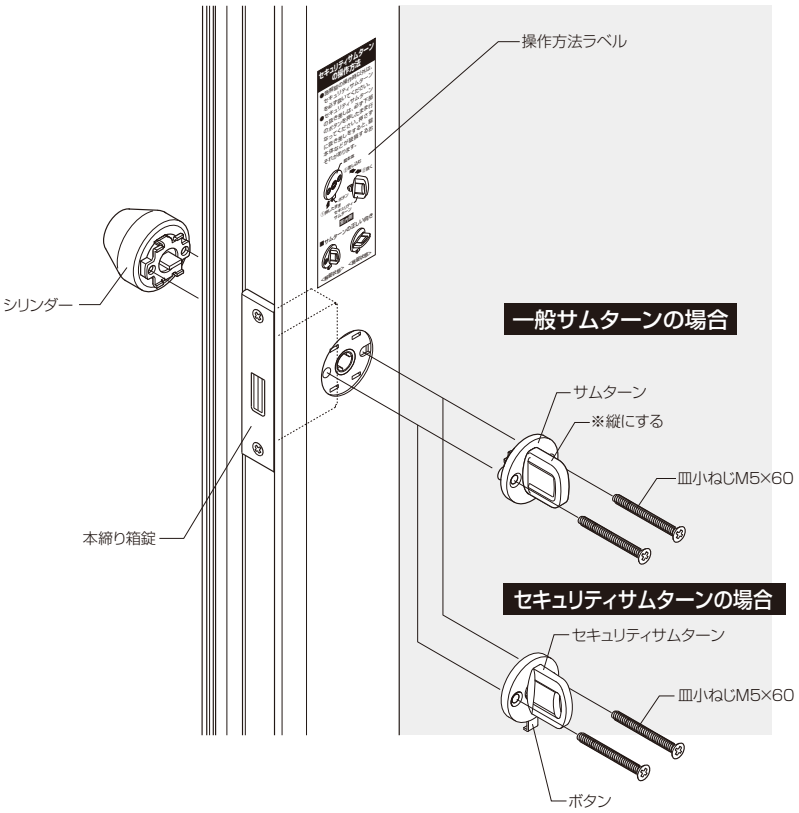
# 有償品　取替用サムターン

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け順序

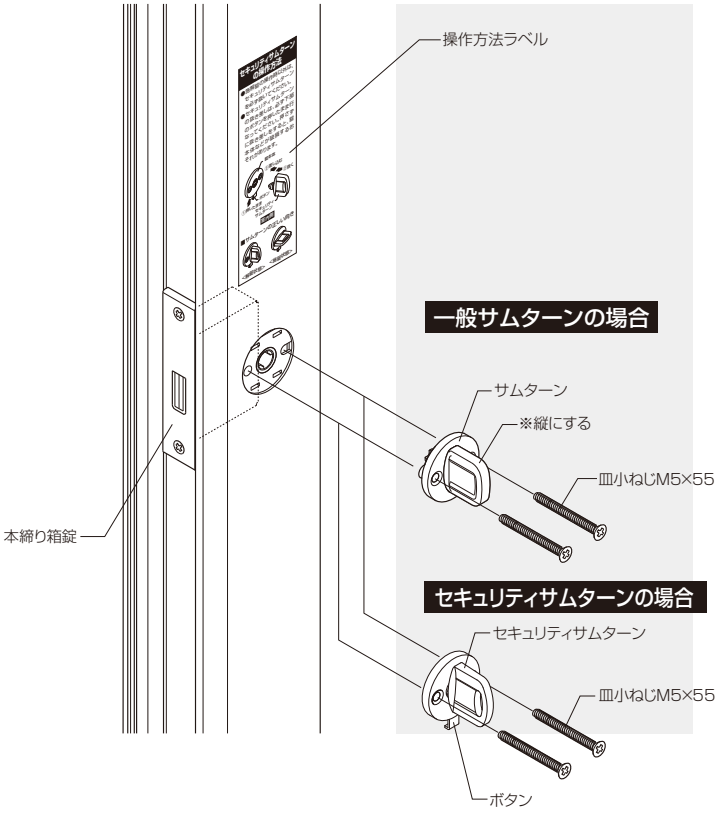
### 1シリンダー付きの場合

①シリンダーを箱錠の丸穴に差し込みます。
※シリンダーに上下の向きはありません。
②サムターンを箱錠の丸穴に差し込みます。
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差し込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
③サムターンをシリンダーにねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
※上・下用のシリンダー・サムターンの区別はありません。




### 2シリンダー無しの場合

①サムターンを箱錠の丸穴に差し込みます。
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差し込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
②サムターンを本締り箱錠にねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
※上・下用のサムターンの区別はありません。



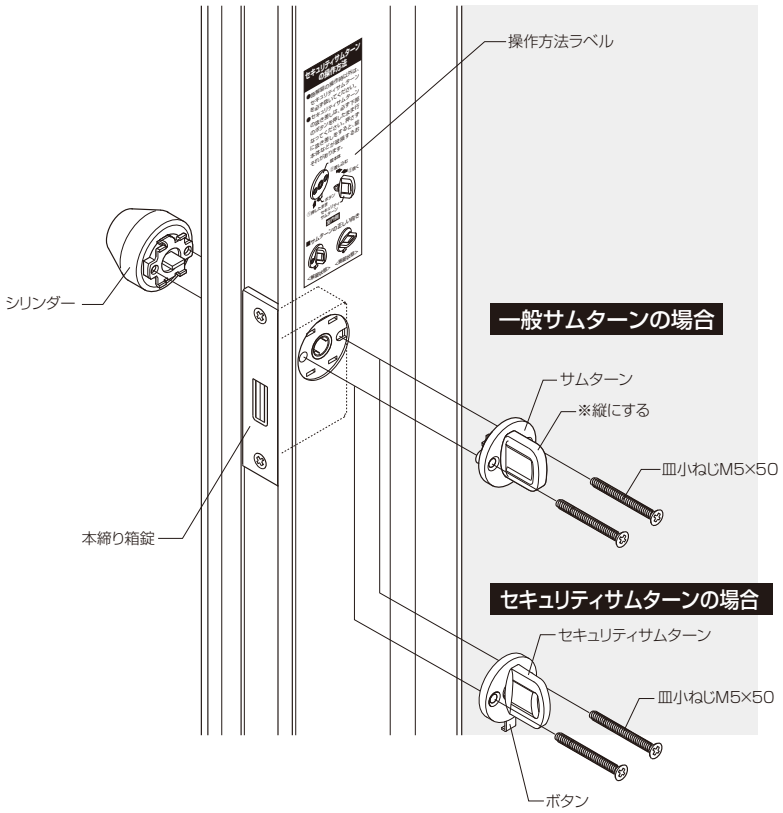
# 有償品　取替用サムターン

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け順序

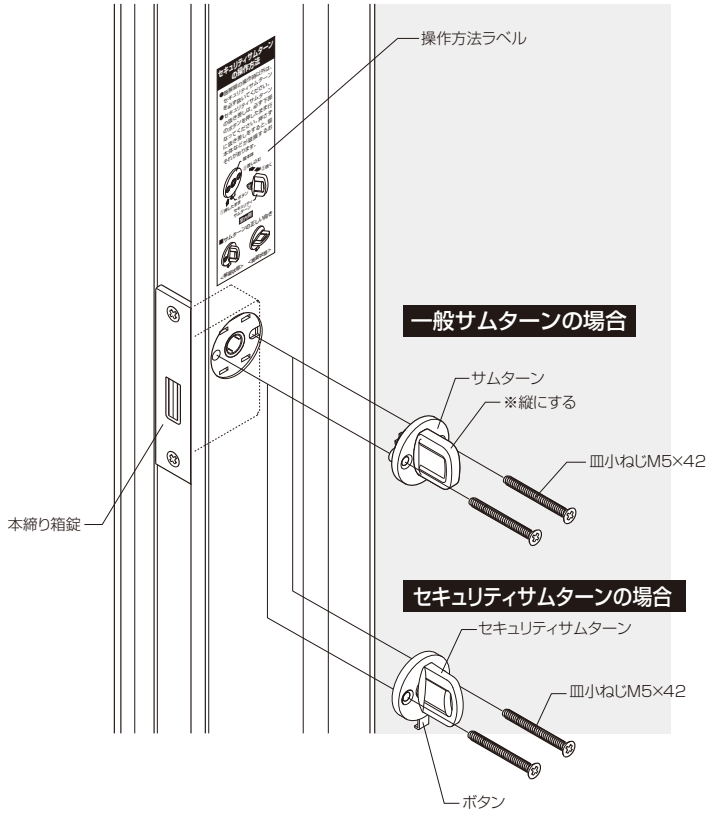
### 1シリンダー付きの場合

①シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
※シリンダーに上下の向きはありません。
②サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
③サムターンをシリンダーにねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
※上・下用のシリンダー・サムターンの区別はありません。




### 2シリンダー無しの場合

①サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※セキュリティサムターンの場合は、ボタンを下にして箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
②サムターンを本締り箱錠にねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの上に張ってください。
※上・下用のサムターンの区別はありません。



# 有償品　CPシリンダー・サムターン

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

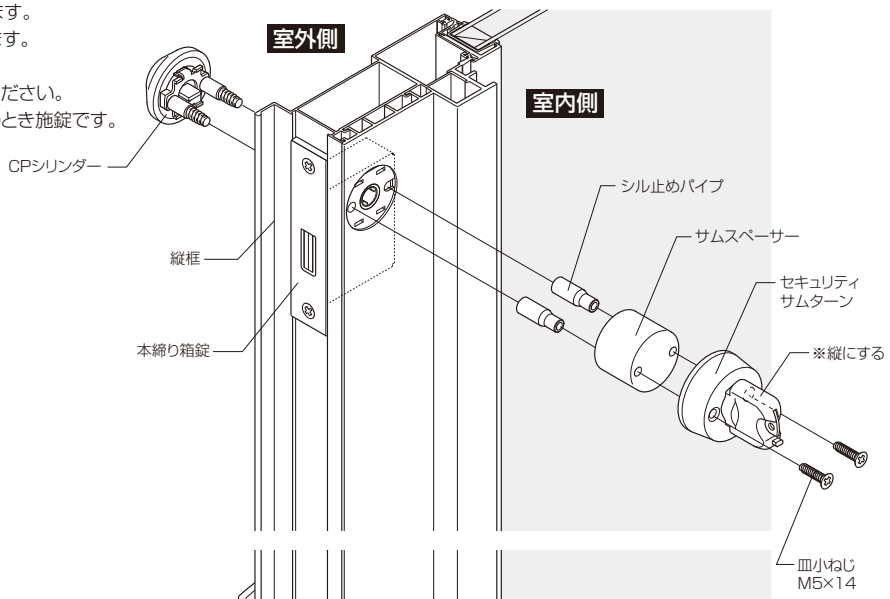
## ■取付け上のお願い

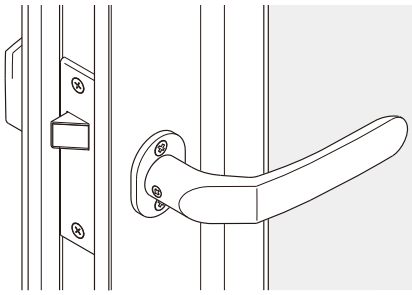
●本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油（CRC556など）やミシン油を注入しないでください。不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴用パウダー潤滑剤（DASZ020）又は鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

## ■取付け順序

### 1 CPシリンダー・セキュリティサムターンの取付け

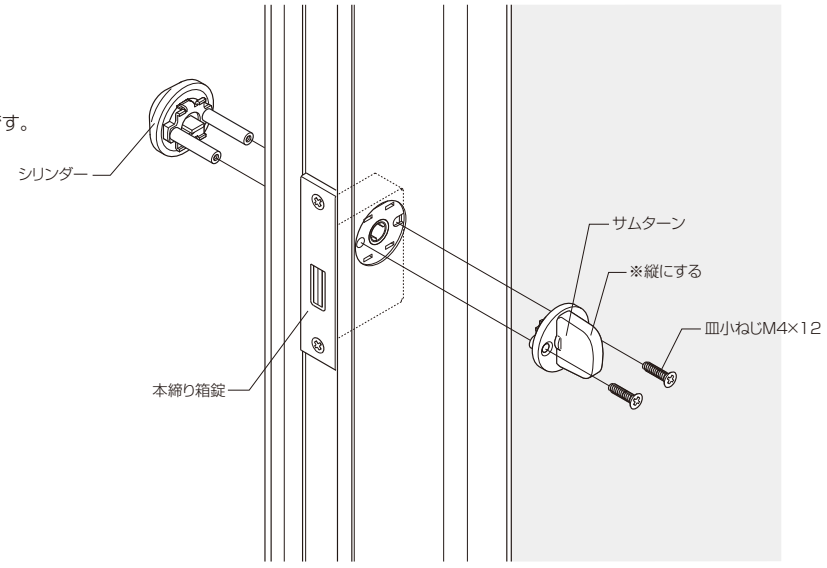
①CPシリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
※CPシリンダーに上下の向きはありません。
②シル止めパイプをCPシリンダーに締めこみます。
③サムスペーサーをシル止めパイプに差込みます。
④セキュリティサムターンをねじ止めします。
※セキュリティサムターンのツマミは縦にしてください。
※セキュリティサムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。



### 2 シリンダー・サムターンの取付け

①シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
※シリンダーに上下の向きはありません。
②サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
※サムターンのツマミは縦にしてください。
③サムターンをシリンダーにねじ止めします。
※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。



# 有償品　ハンドル

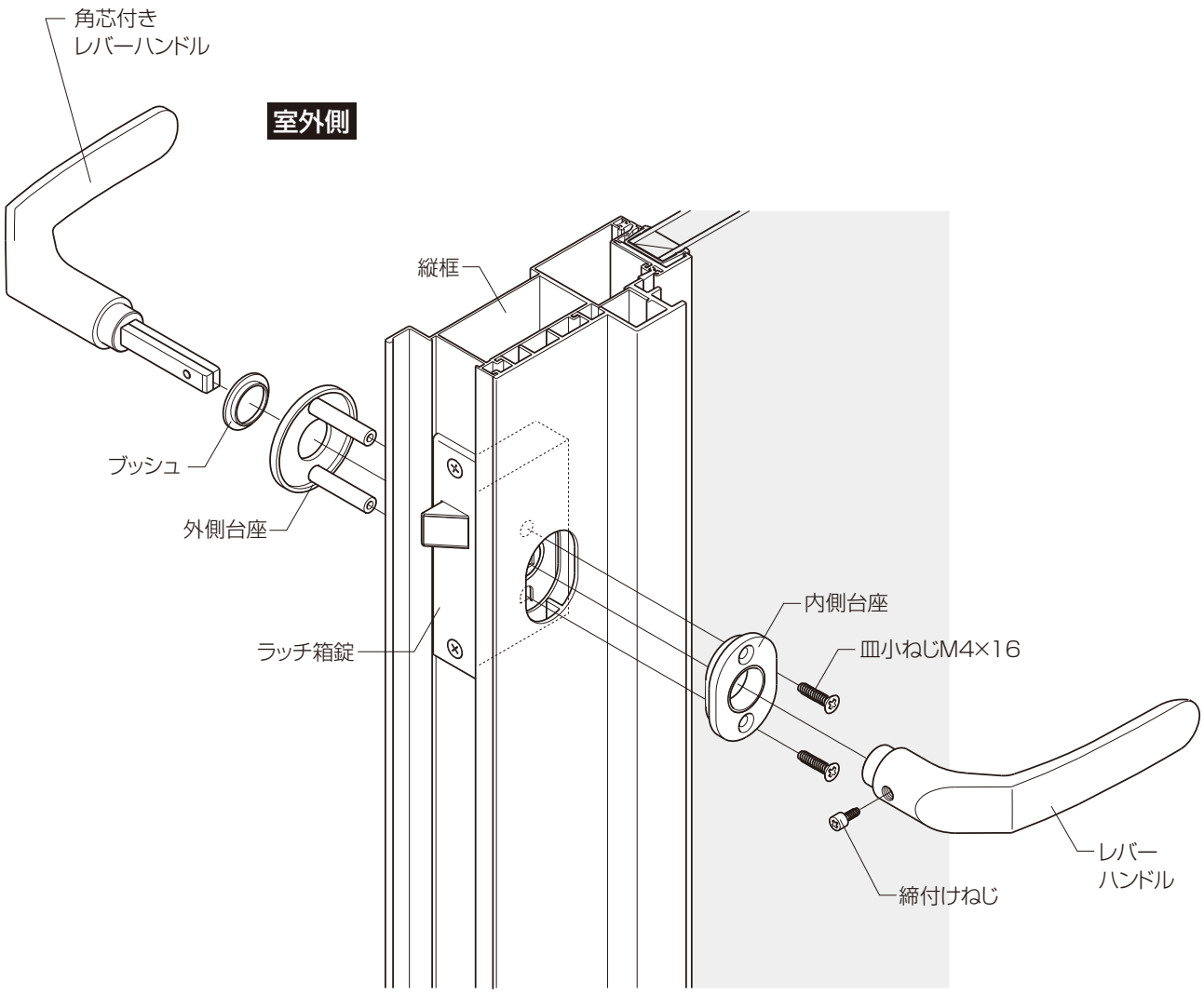
## ●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付け順序

①外側台座を室外側から差込みます。
②内側台座を室内側から外側台座にねじ止めします。
③角芯付きレバーハンドルを室外側から差込みます。
④レバーハンドルを室内側から差込み、締付けねじで固定します。

**お願い**

※締付けねじは必ずレバーハンドルの中に沈むまで締付けてください。締付けがあまいと、開閉に支障が出るおそれがあります。ねじ止めした後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



# 有償品　ピボットヒンジ

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠警告**…取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

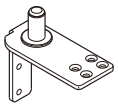
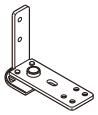
**⚠警　告**

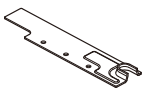
●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。障子の落下、ガラスの抜けによるケガのおそれがあります。

## ■取付け上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
●樹脂材に荷重がかからないよう、保管の際は保護してください。
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·がたつきのないことを確認してください。

## ■取付けねじ·部品一覧表

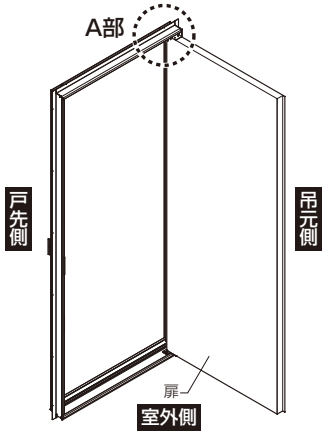
| 記　号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿　図 |  |  | | |
| | ピボットヒンジ上部軸 | ピボットヒンジ下部受 | トラス小ねじ M4×10(4本) | 皿小ねじ M4×6(8本) |

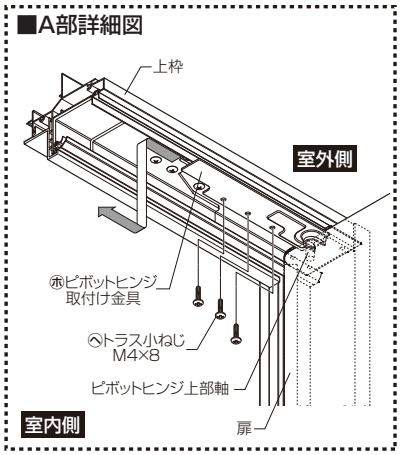
| 記　号 | ㋭ | ㋬ |
|---|---|---|
| 姿　図 |  | |
| | ピボットヒンジ取付け金具 | トラス小ねじ M4×8(3本) |

## ■取付け順序

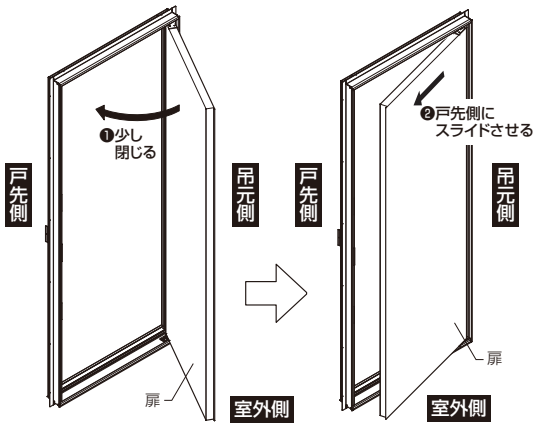
### ❶本体の取外し

①本体を90°に開き、上枠のピボットヒンジ取付け金具を固定しているトラス小ねじM4×8を外し、ピボットヒンジ取付け金具を外します。



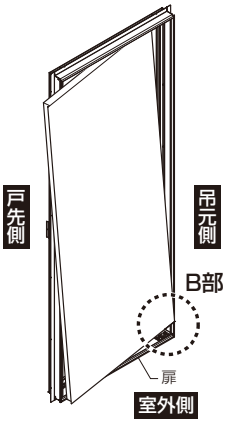



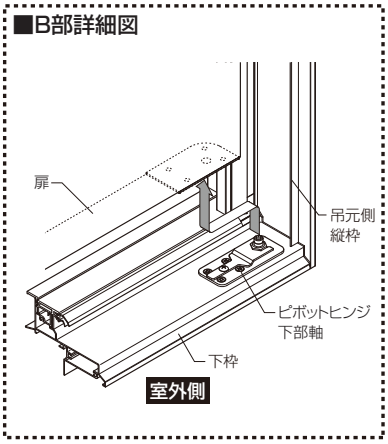

②扉を少し閉じて、扉の上部を戸先方向に引いてスライドさせてください。



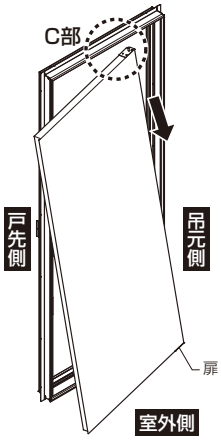

※必ず手回しドライバーをご使用ください。
※ピボットヒンジ取付け金具のみの交換の場合は上記と逆の手順で新品の㋭ピボットヒンジ取付け金具と㋬トラス小ねじM4×8に交換して取付けて、「❹建付け調整」に進んでください。

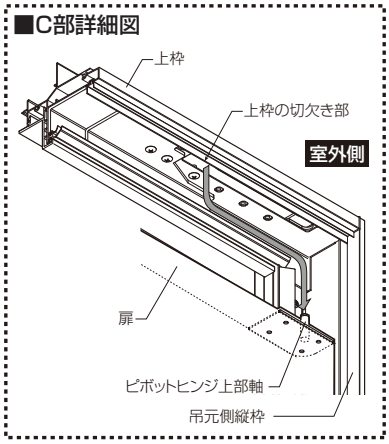
③扉の上部はスライドさせたまま、扉の下部をピボットヒンジ下部軸から外してください。




④扉を斜めに引き下げ、扉の上部にあるピボットヒンジ上部軸を、上枠の切欠き部から外してください。



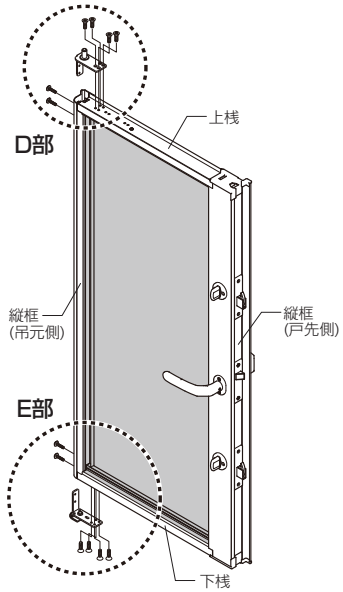



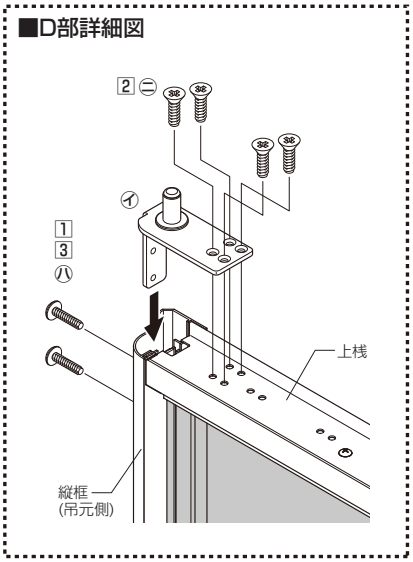

**2 本体部品交換**

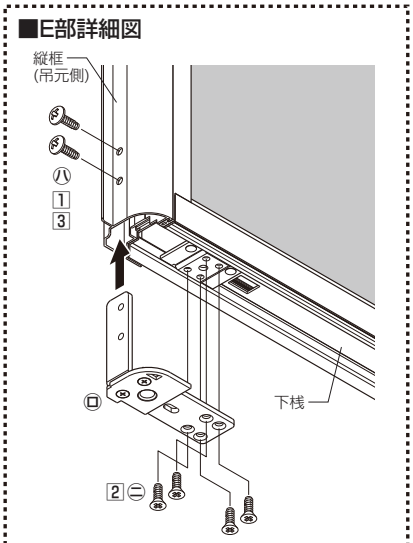
①吊元側縦框上部のピボットヒンジ上部軸と、下部のピボットヒンジ下部受を固定しているねじを外して、ピボットヒンジ上部軸と、ピボットヒンジ下部受を取外してください。

**⚠警　告**

●ガラスからグレチャンを外さないように取扱ってください。障子の落下、ガラスの抜けによるケガのおそれがあります。



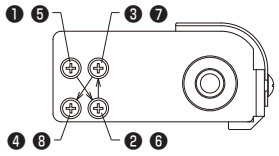




②①で外したピボットヒンジ上部軸、ピボットヒンジ下部受、トラス小ねじM4×10、皿小ねじM4×6を新しい部品に交換して取付けてください。その際、ねじは以下の順番で取付けしてください。

**■作業手順**

1 ㋩のねじを仮止めします。
2 ㋒のねじを以下の要領で止めてください。
　① 右図の順番❶～❹でねじを固定してください。
　② ❺～❽の順番で増し締めを行ってください。
　③ 増し締めトルクは14～20kgf・cmとします。
3 ㋩のねじを締めます。




お願い
※ねじは必ず新しいねじを使用してください。

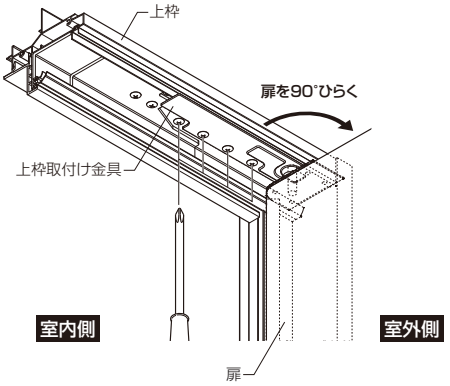
**3 本体取付け**

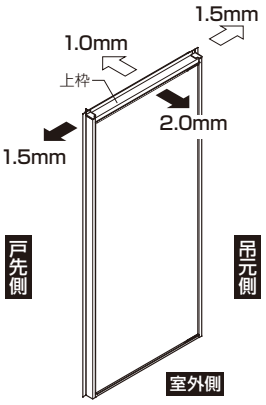
※本体取付けは1の逆の手順で取付けしてください。

## 4建付け調整

### ■左右方向のすき間の調整

①扉を90°開きます。
②上枠取付け金具のねじ4本をゆるめます。
③室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締め直してください。

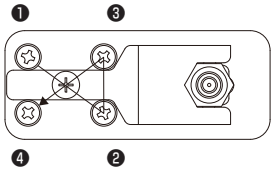


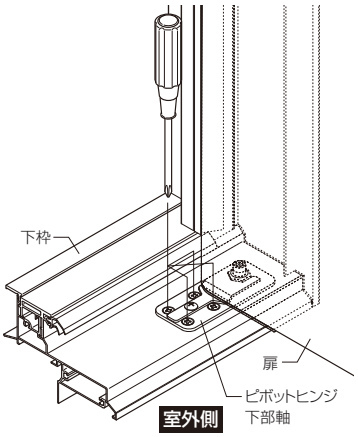



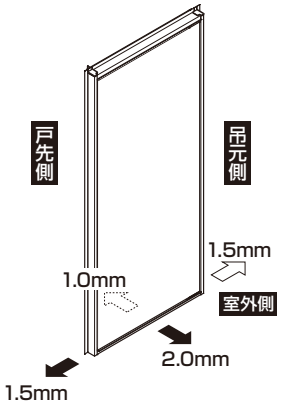

④ピボットヒンジ下部軸のねじ4本をゆるめます。
⑤室外側方向に2.0mm、室内側方向に1.0mm、戸先側方向に1.5mm、吊元側方向に1.5mm動きますので、位置が決まったらねじを締直してください。
※必ず手回しドライバーをご使用ください。

### 建付け調整時の注意事項

下枠のピボットヒンジを調整した際、取付けねじは30kgf·cmのトルクで対角順に締め付けてください。

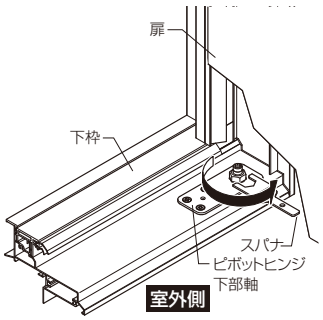


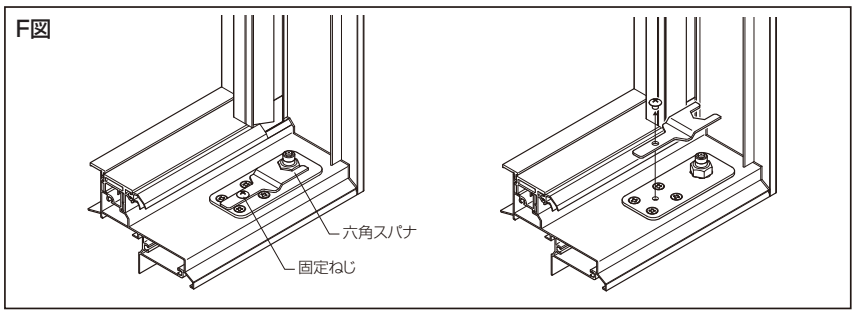




### ■上下方向のすき間の調整

●ピボットヒンジ下部軸に取付けされている六角スパナでピボットヒンジ下部軸のナットを右に回すことで上に最大3mmまで動かせます。
六角スパナの固定ねじを外して使用してください。(F図)
●調整が終わったら、六角スパナを固定ねじで元どおりに取付けてください。




お願い
●スパナは必ず元どおりに取付けてください。
ナットが回転して開閉不良など不具合が生じるおそれがあります。

# 有償品　フリクションアーム

## ■取付け上のお願い

●必ず指定の取付けねじ(同梱)を使用してください。ねじ長さが合わない場合、ドアの開閉に支障がでることがあります。
●図は外観右吊元で説明しています。左吊元の場合も、同じ要領で取付けてください。

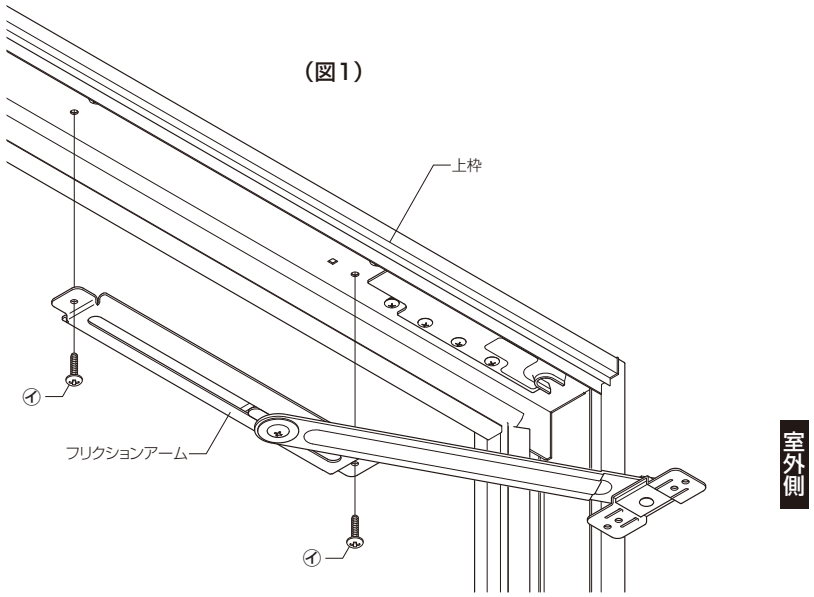
## ■取付けねじ

| ㋑ |
| --- |
| |
| トラス小ねじ<br>M4×8(6本) |

## ■取付け順序

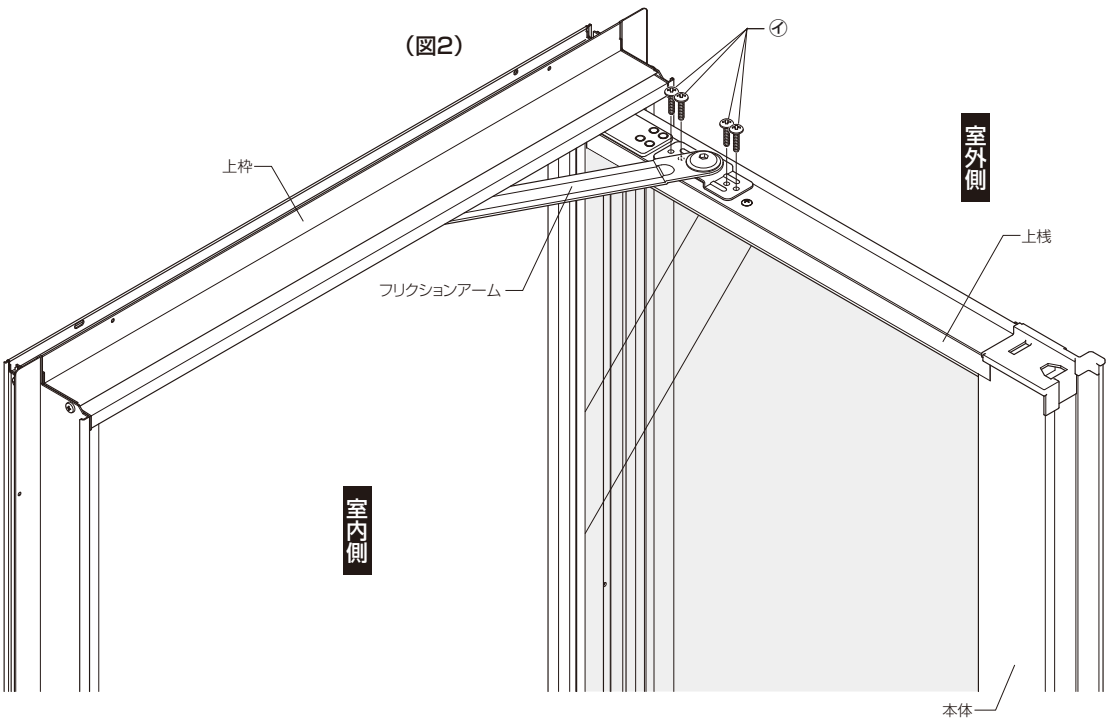
①フリクションアームを上枠にねじ止めします。(図1)

(図1)




②枠の組立て･取付け･本体の吊込み後、フリクションアームのアーム金具を引出し、本体の上桟に固定します。(図2)

(図2)



# 有償品　内付ドアクローザ

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

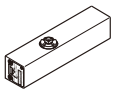
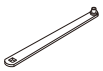
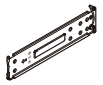
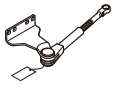
●このドアクローザは、室内側に取り付けます。
●本説明書は、外観右吊元用で説明してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取り付けてください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●各種取付けねじは、必ず2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで締め付けてください。締め付けがゆるいと落下・故障の原因になります。
●各種取付けねじは、付属のねじで所定個所に使用してください。所定の個所に使用しないと落下・故障の原因になります。
●ゆるみ防止剤付きのねじは、水に触れたものは使用しないでください。ゆるみ防止効果が無くなり、落下の原因になります。
●各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。

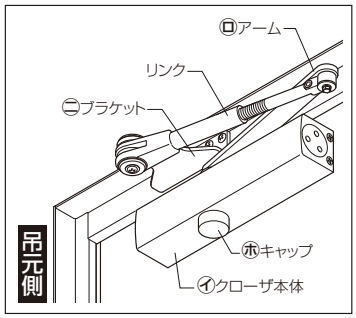
## ■部品一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |
| | クローザ本体 | アーム | 本体ブラケット |
| 記号 | ㋥ | ㋭ | ㋬ |
| 姿図 |  | | |
| | ブラケット | キャップ | アーム止めねじ（ゆるみ防止剤付き）（2本） |

## ■ねじ一覧表

| 記号 | ㋒ | ㋓ |
|---|---|---|
| 姿図 | | |
| | 丸皿小ねじ M5×12（ゆるみ防止剤付き） | 丸皿小ねじ M5×12（ゆるみ防止剤付き） |
| 入数 | 4 | 6 |

## ■各部名称

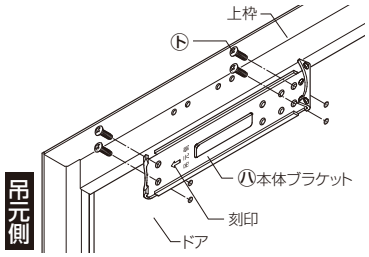



## ■取付け順序

### 1本体ブラケットの取付け

●㋩本体ブラケットの刻印（⇦）を吊元側に向け、㋒丸皿小ねじM5×12でドアに取付けます。

**■本体ブラケット止めねじ**
ゆるみ防止剤
㋒丸皿小ねじM5×12（ゆるみ防止剤付き）



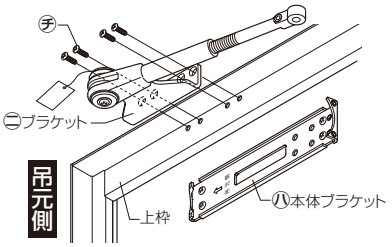

**⚠ 注 意**

●本体ブラケット止めねじは必ず2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで締め付けてください。本体ブラケット止めねじの締め付けがゆるいと、本体がぐらつき落下·故障の原因になります。

### 2ブラケットの取付け

●㋥ブラケットを上枠に、㋓丸皿小ねじM5×12でしっかりと取付けます。

**■ブラケット止めねじ**
ゆるみ防止剤
㋓丸皿小ねじM5×12（ゆるみ防止剤付き）



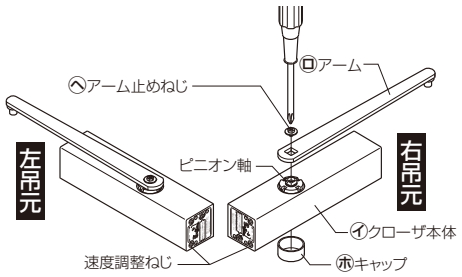

**⚠ 注 意**

●ブラケット止めねじは必ず2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで締め付けてください。ブラケット止めねじの締め付けがゆるいと、ブラケットリンクがぐらつき落下·故障の原因になります。

### 3アームの取付け

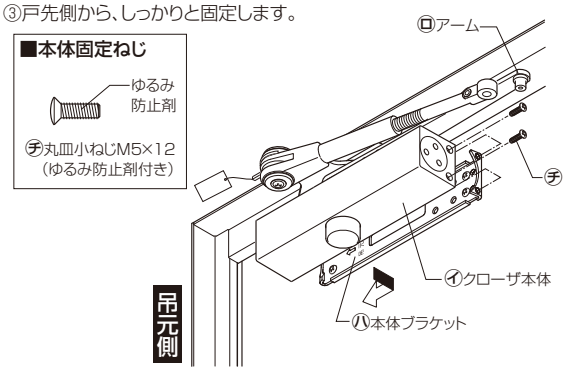
①㋑クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
②ピニオン軸に㋺アームを右図の向きでほめ、㋬アーム止めねじを、しっかりと締め付けます。
③㋭キャップを下から取付けます。

**お願い**
※アームはめ込み時、ハンマーなどでたたかないでください。たたくと破損や油もれの原因になります。
※取付けねじの締め付けがゆるいと、アームが外れ故障の原因になります。



### 4クローザ本体の取付け

①㋑クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
②㋑クローザ本体を下図のようにスライドさせて、㋑本体ブラケットにはめ合わせます。
③戸先側から、しっかりと固定します。



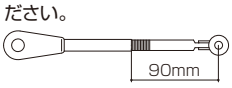

**⚠注 意**

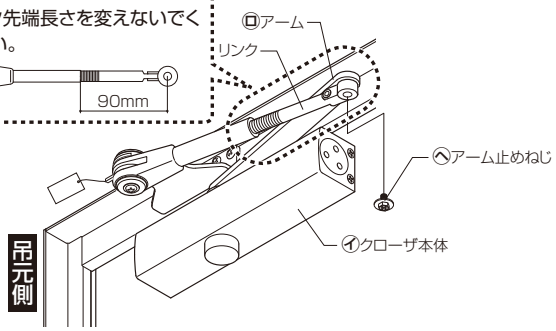
●本体固定ねじは必ず2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで締付けてください。本体固定ねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

### 5アームの連結

●リンク先端の穴に㋺アーム先端のピンを差し込み、㋩アーム止めねじを、しっかりと締め付けます。

お願い
※リンク先端長さを変えないでください。




**⚠注 意**

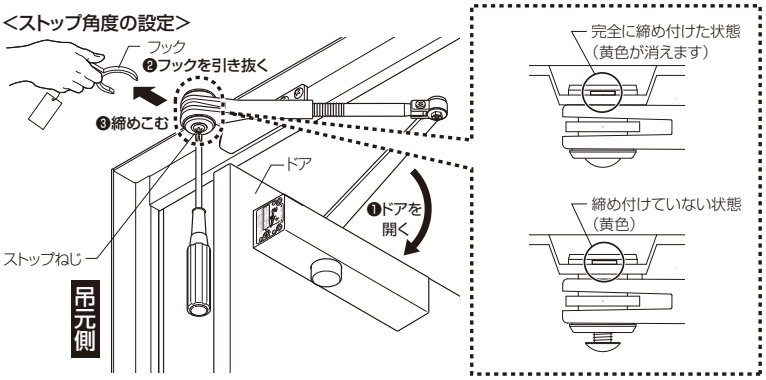
●アーム止めねじは必ず2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで締付けてください。
アーム止めねじの締付けがゆるいと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

## ■ストップ装置の設定

### 1ストップ角度の設定

①ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
②フックを引き抜いてください。
③開いた位置でストップねじをドライバーで締めこんでください。その際、識別マーク（黄色い部分）が見えなくなるまで締め込んでください。完全に締まりきらない場合はドアを前後にゆすりながら締め込んでください。
※識別マーク（黄色）が見える場合は、ストップねじの締付けが不十分です。

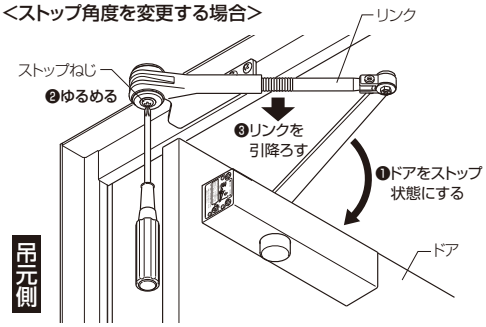
<ストップ角度の設定>




### 2ストップ角度を変更（再設定）する場合

①ドアを開きストップ状態にしてください。
②ストップねじが回らなくなるまでドライバーでねじをゆるめてください。
③ドアを開く方向に押しながら、リンクの⬇部をいっぱいに引降ろすとストップ機構が解除され設定前の状態に戻ります。
④再度 **1ストップ角度の設定** 手順①～③にしたがってストップ角度の設定を行ってください。

<ストップ角度を変更する場合>

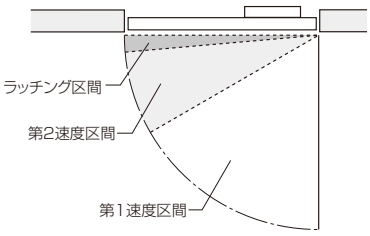



## ■ドア（扉）閉じ速度の調整

### 1閉じ速度の調整

①閉じ速度は、第1速度区間および第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。

お願い
※調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
※調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こし、正常に機能しなくなるおそれがあります。



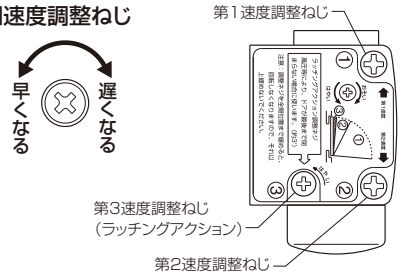

### 2ラッチングアクションの調整

※ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前（約3°）まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。
●調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。

**⚠注 意**

●各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。

■速度調整ねじ



# 有償品　内付ドアクローザ

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

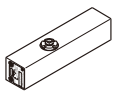
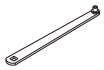
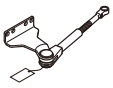
●このドアクローザは、室内側に取り付けます。
●本説明書は、外観右吊元用で説明してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取り付けてください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注 意**

●各種取付けねじは、必ず2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで締め付けてください。締付けが緩いと落下・故障の原因になります。
●各種取付けねじは、付属のねじで所定個所に使用してください。所定の個所に使用しないと落下・故障の原因になります。
●緩み防止剤付きのねじは、水に触れたものは使用しないでください。緩み防止効果が無くなり、落下の原因になります。
●各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじを緩めすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。

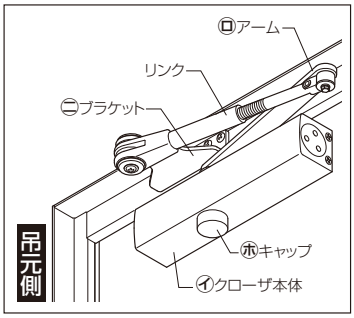
## ■部品一覧表

| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  | |
| | クローザ本体 | アーム | 本体ブラケット |
| 記号 | ㋥ | ㋭ | ㋬ |
| 姿図 |  | | |
| | ブラケット | キャップ | アーム止めねじ（緩み防止剤付き）（2本） |

## ■ねじ一覧表

| 記号 | ㋒ | ㋖ | ㋕ |
|---|---|---|---|
| 姿図 | | | |
| 採風勝手口 | 丸皿小ねじ M5×20（緩み防止剤付き） | 丸皿小ねじ M5×16（緩み防止剤付き） | 丸皿小ねじ M5×12（緩み防止剤付き） |
| 勝手口 | 丸皿小ねじ M5×12（緩み防止剤付き） | | |
| 色 | シルバーメッキ | クローザ本体同色 | クローザ本体同色 |
| 入数 | 4 | 4 | 2 |

## ■各部名称



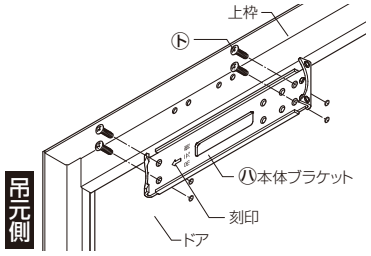

## ■取付け順序

### 1本体ブラケットの取付け

●㋩本体ブラケットの刻印(⇦)を吊元側に向け、㋒丸皿小ねじでドアに取り付けます。

**■本体ブラケット止めねじ**

採風勝手口
㋒丸皿小ねじM5×20（緩み防止剤付き）
勝手口
㋒丸皿小ねじM5×12（緩み防止剤付き）

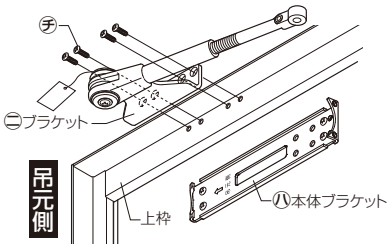



### 2ブラケットの取付け

●㋥ブラケットを上枠に、㋖丸皿小ねじM5×16でしっかりと取り付けます。

**■ブラケット止めねじ**

㋖丸皿小ねじM5×16（緩み防止剤付き）




**⚠ 注 意**

●本体ブラケット止めねじは必ず2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで締め付けてください。本体ブラケット止めねじの締付けが緩いと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

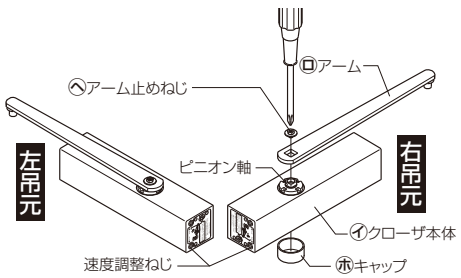
**⚠ 注 意**

●ブラケット止めねじは必ず2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで締め付けてください。ブラケット止めねじの締付けが緩いと、ブラケットリンクがぐらつき落下・故障の原因になります。

### 3アームの取付け

①㋑クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
②ピニオン軸に㋺アームを右図の向きではめ、㋭アーム止めねじを、しっかりと締め付けます。
③㋬キャップを下から取り付けます。

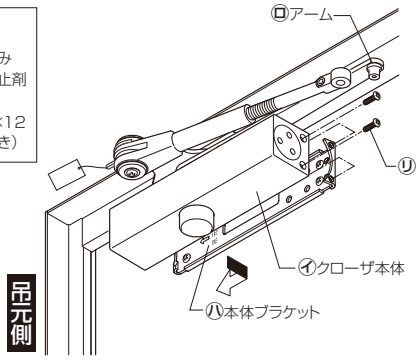
**お願い**
※アームはめ込み時、ハンマーなどでたたかないでください。たたくと破損や油もれの原因になります。
※取付けねじの締付けが緩いと、アームが外れ故障の原因になります。



### 4クローザ本体の取付け

①㋑クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
②㋑クローザ本体を下図のようにスライドさせて、㋑本体ブラケットにはめ合わせます。
③戸先側から、しっかりと固定します。

■本体固定ねじ
緩み防止剤
㋩丸皿小ねじM5×12（緩み防止剤付き）

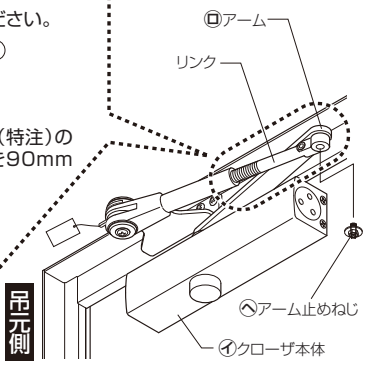



**⚠注 意**
●本体固定ねじは必ず2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで締め付けてください。本体固定ねじの締付けが緩いと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

### 5アームの連結

●リンク先端の穴に㋺アーム先端のピンを差込み、㋭アーム止めねじを、しっかりと締め付けます。

お願い
※リンク先端長さをご確認ください。
100mm
（初期設定）
※500≦基本寸法W<515（特注）の場合のみリンク先端長さを90mmに調整してください。
90mm



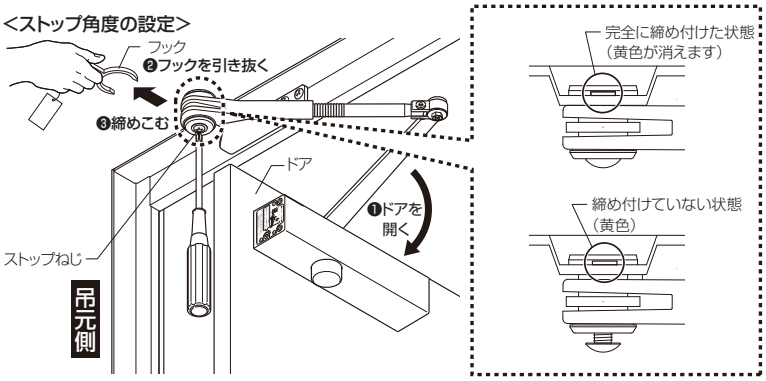

お願い
※アーム止めねじは必ず2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで締め付けてください。
アーム止めねじの締付けが緩いと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

## ■ストップ装置の設定

### 1ストップ角度の設定

①ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
②フックを引き抜いてください。
③開いた位置でストップねじをドライバーで締めこんでください。その際、識別マーク（黄色い部分）が見えなくなるまで締め込んでください。完全に締まりきらない場合はドアを前後にゆすりながら締め込んでください。
※識別マーク（黄色）が見える場合は、ストップねじの締付けが不十分です。

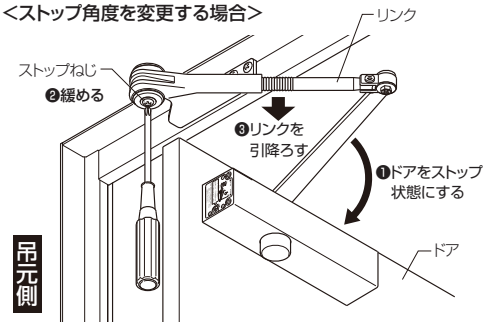
<ストップ角度の設定>




### 2ストップ角度を変更（再設定）する場合

①ドアを開きストップ状態にしてください。
②ストップねじが回らなくなるまでドライバーでねじを緩めてください。
③ドアを開く方向に押しながら、リンクの⬇部をいっぱいに引降ろすとストップ機構が解除され設定前の状態に戻ります。
④再度 **1ストップ角度の設定** 手順①～③にしたがってストップ角度の設定を行ってください。

<ストップ角度を変更する場合>

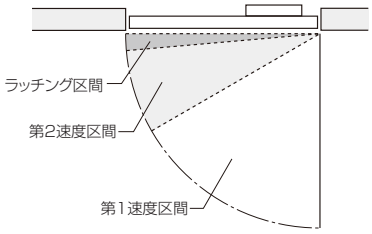



## ■ドア（扉）閉じ速度の調整

### 1閉じ速度の調整

①閉じ速度は、第1速度区間および第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。

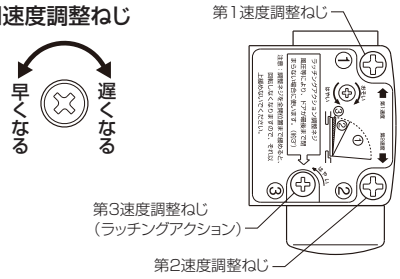
お願い
※調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
※調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こし、正常に機能しなくなるおそれがあります。




### 2ラッチングアクションの調整

※ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前（約3°）まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。
●調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。

■速度調整ねじ

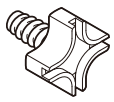



**⚠注 意**
●各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじを緩めすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。

# 有償品　網付格子

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。　※□内はロットNo.表示位置を示します。

## ■取付けねじ



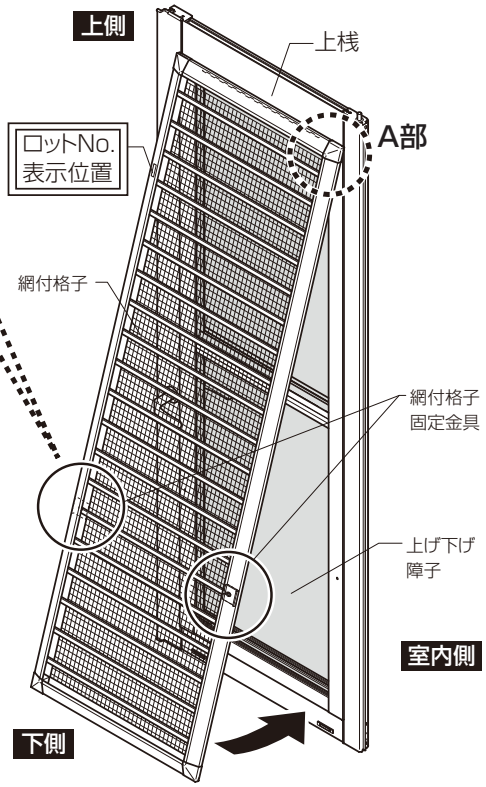
取付ねじ2本

## ■取付け順序

①網付格子上部を上桟に引っ掛けてください。

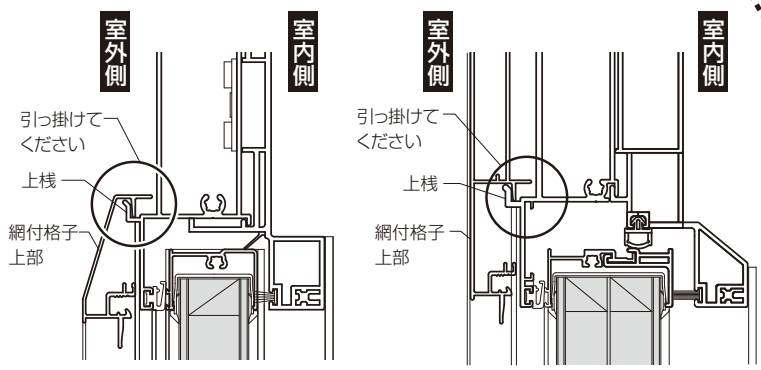
**お願い**

※網付格子固定金具が下側になるように取付けてください。

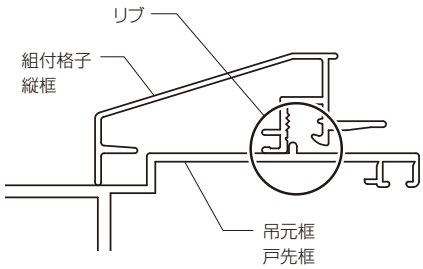



### ■A部詳細図

●デザイン横格子の場合

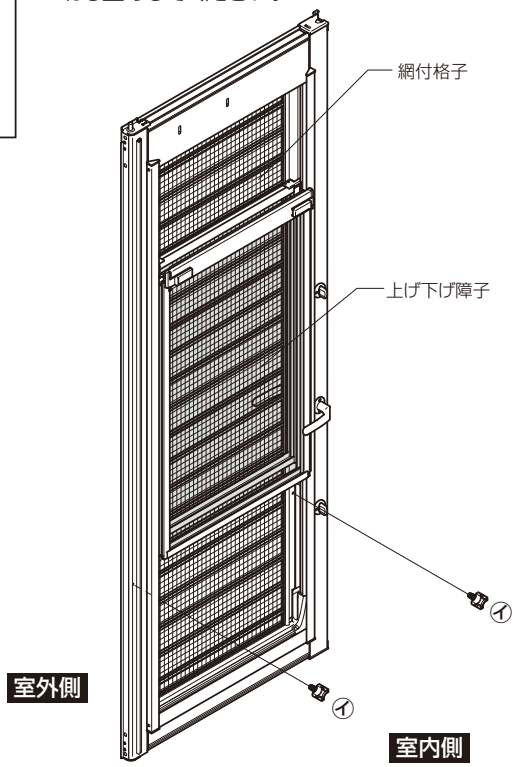


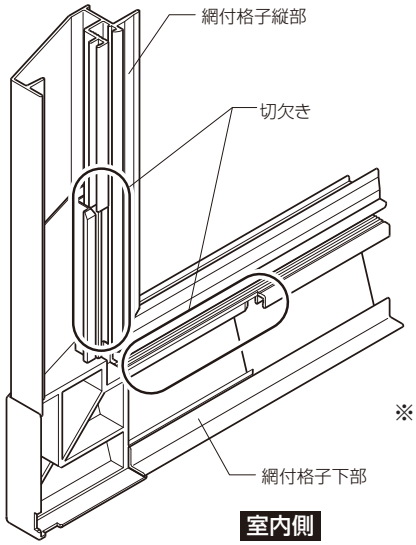

●サーモスXの場合




吊元框、戸先框のリブが図のようになるように位置合わせして下さい。

②上げ下げ障子を全開にした状態で室内側よりねじ止めしてください。




※防火戸FG 網付格子は網付格子縦部、網付格子下部に切欠きがあります。

# 有償品　しまえるんですJ　本体

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

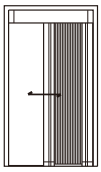
**⚠ 注 意**

●レールの両面テープの接着力が低下し、網戸脱落の原因になるおそれがありますので、下記項目をお守りください。
・張直しをしないでください。
・取付け前に床を必ず清掃し、汚れ（泥・砂）・ホコリ・油などを取ってください。
・床に強く押付け、必ず圧着してください。
・接着効果を確保するため、24時間放置してください。
●収納枠取付け後、収納枠を引き、躯体額縁から外れないことを確認してください。

## ■取付け上のお願い

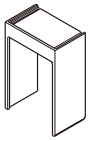
●取付け面がクロス（壁紙）仕上げの場合、アンカープレートの両面テープでクロス表面をキズ付けるおそれがあるため、両面テープのリケイ紙は、はがさずにねじ止めしてください。
また、下部に幅木などを回す場合は、事前に取付け面を確保してください。
●必ず指定のねじで取付けしてください。

●姿図　〈片引き〉

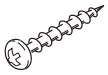


## ■取付け部品一覧表

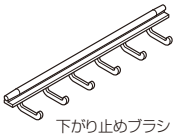
部品セット


上枠キャップ

ナベタッピンねじ
φ3.5×16


ナベタッピンねじ
φ4×25

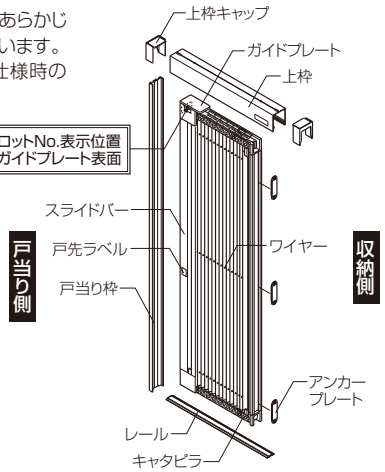
下がり止めブラシセット


下がり止めブラシ

ブラシストッパー

## ■姿図

※アンカープレートは、あらかじめ収納枠に取付いています。
※戸当り枠は、片引き仕様時のみ使用します。



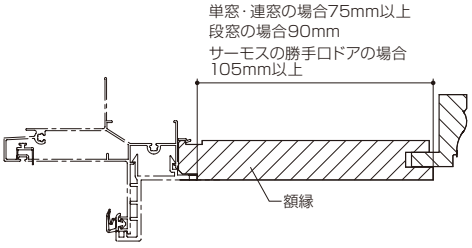

## ■取付け順序

**❶取付け位置の確認**
**❷取付け個所の清掃**
**❸枠材の取付け**
**❹本体の取付け**
**❺作動確認**

## ■取付け詳細

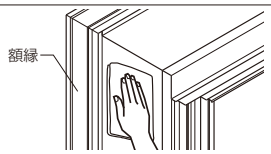
### ❶取付け位置の確認

●網戸の開閉に支障がないように、下記事項を確認して取付け位置を決めてください。
①取付け面および床に段差がなく、単窓・連窓の場合75mm以上、段窓の場合90mm以上の取付け幅があることを確認してください。
※サーモス勝手口ドアの場合は、105mm以上の取付け幅が必要になります。
②開口部の水平・垂直が正しく出ていることを確認してください。
③クロス納まりで下部に幅木などを回す場合は、事前に取付け面を確保してください。




### ❷取付け個所の清掃

①網戸取付け面を、必ず布などで清掃してください。
②清掃した面にホコリ・油などが付いていないことを確認してください。

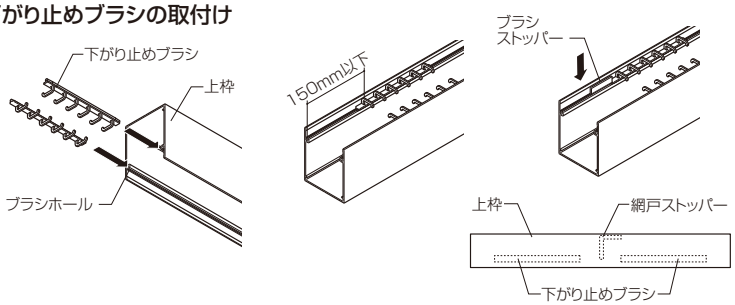


## 3 枠材の取付け

### 1 下がり止めブラシの取付け

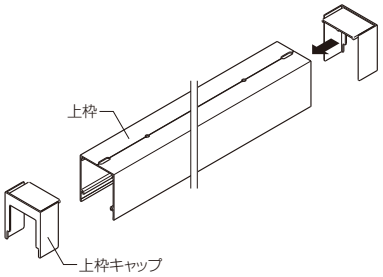
①下がり止めブラシを上枠のブラシホールに挿入してください。
※両側のブラシホールに同数挿入します。
②下がり止めブラシは、上枠のほぼ中央にくるようにしてください。両端の下がり止めブラシが無いところの寸法が150mm以下の場合は、下がり止めブラシを1つ外してください。
③ブラシストッパーのリケイ紙をはがしてください。
④ブラシホールにブラシストッパーを差込み、上枠内側に張付けて下がり止めブラシを固定します。
※ブラシストッパーに上下はありません。
※引き分けの場合は網戸ストッパー位置に合わせて下がり止めブラシを振分けてください。

### ●下がり止めブラシの取付け




### 2 上枠キャップの取付け

①上枠キャップを上枠の両端に差込んでください。

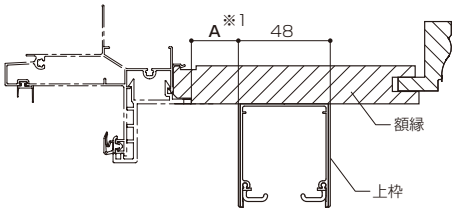


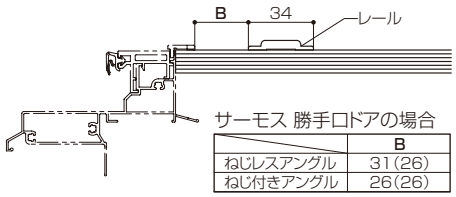

### 3 上枠の固定

①上枠とレールを取付ける位置に印を付けます。
※1 サーモス勝手口ドアに上枠を取付ける場合は、必ずクローザカバーの取付け説明書を参照してください。

| | A | B |
|---|---|---|
| サーモス | 24 | 31(26) |
| 連窓 | 24 | 31(26) |
| 段窓 | 39 | 46(41) |

※( )は204単純段差の場合



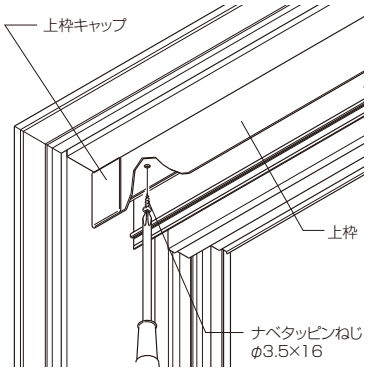




サーモス 勝手口ドアの場合

| | B |
|---|---|
| ねじレスアングル | 31(26) |
| ねじ付きアングル | 26(26) |

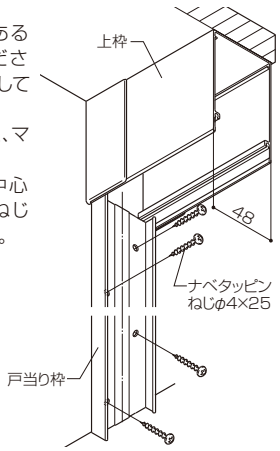
※( )は204単純段差の場合

②上枠を、戸当り側にすき間がないように位置決めし、ナベタッピンねじφ3.5×16で固定してください。
※サーモス勝手口ドアの場合は、必ずクローザカバーに同梱されているねじ・プッシュボタンを使用してください。上枠の取付け方法はクローザカバーの取付け説明書を参照してください。
③網戸ストッパーを上枠の取付け穴に合わせてトラスタッピンねじφ4×18で固定してください。（引き分けのみ）
※網戸ストッパーの穴と上枠の取付け穴の位置が合わないときは、網戸ストッパーを逆向きにすると穴位置が合います。
④上枠キャップを取付け枠にすき間がなくなるまで押付けてください。




### 4 戸当り枠の取付け

●戸当り枠は、上側シールがある方を上にして、取付けてください。取付け後、シールははがしてください。
※上下を逆にして取付けますと、マグネットが付かなくなります。
●戸当り枠の中心と上枠の中心を合わせて、ナベタッピンねじφ4×25で固定してください。

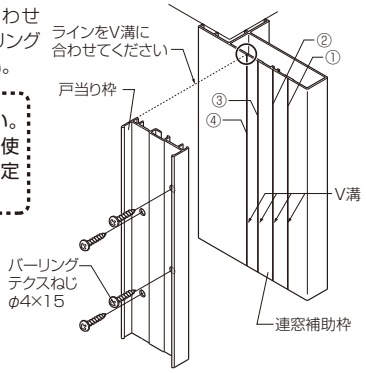



### ■連窓補助枠納まりの場合

●戸当り枠を連窓補助枠のV溝④に合わせて、連窓補助枠の部品セット中のバーリングテクスねじφ4×15で固定してください。

**お願い**
**※ねじは最後、必ず手で止めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますと取付け穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。**

※ねじがきかない場合は、新しいねじで位置をずらして固定し直します。（一度締めたねじは、ねじがきかない場合でも取外さないでください。）

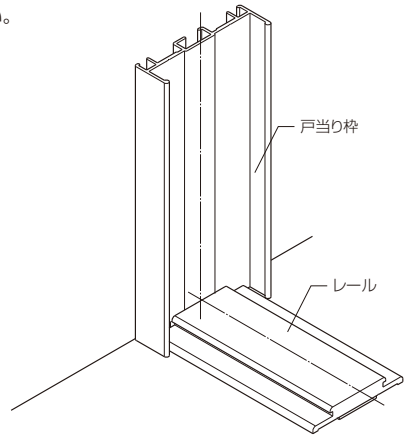


**5レールの取付け**

①レールの両面テープのリケイ紙をはがし、床に強く押付けて圧着してください。

**お願い**

※戸当り枠とレールは、中心を合わせてすき間がないように取付けてください。中心がずれると、作動不良になるおそれがあります。




**4本体の取付け**

※取付け面がクロス仕上げの場合は、次項の**「■取付け面がクロス（壁紙）仕上げの場合」**を参照してください。

①製品本体の上下を確認してください。「上側」シールを上にしてください。

**お願い**

※上下を逆に取付けると、作動不良になります。
※取付けが完了するまで、製品を開閉させないでください。キャタピラが外れるおそれがあります。

②収納枠裏側に付いているアンカープレートのリケイ紙をはがしてください。

③製品本体を斜めにして上枠とレールの間に入れてください。

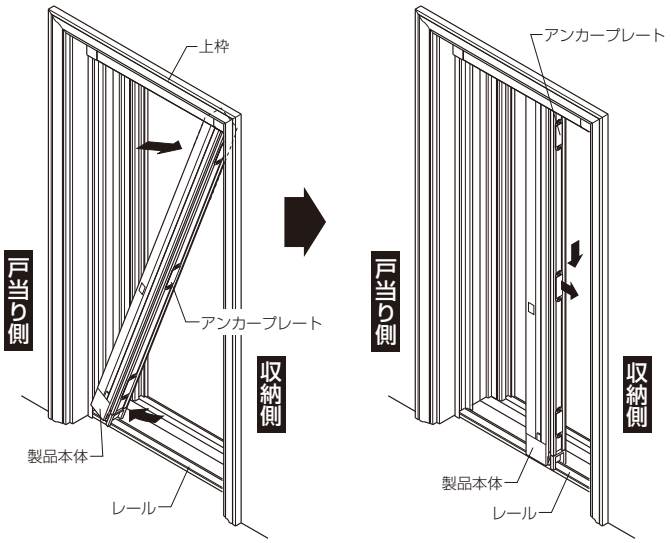
④製品本体がレールから浮かないように、レール側に押付けながら、収納側の取付け面に押付けてください。

⑤網戸本体の収納枠に両手をかけ、戸当り方向に引っ張ると取付枠から製品が外れます。このとき、網戸本体をレールから少し浮かせて、左右どちらかの方向へひねると容易に取外すことができます。

⑥収納枠に付いていたアンカープレートは両面テープにより仮止めされますのでタッピンねじで固定してください。

**お願い**

※ねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますとアンカープレートが変形する場合があります。

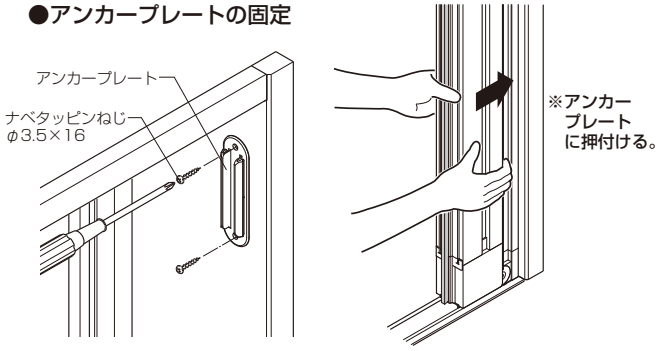



⑦製品本体の取付け時と同じ要領で製品が浮かないように収納枠をアンカープレートの突起に合わせ、「パチン」と音がするまで押付けると固定されます。

**⚠注　意**

●取付け後、収納枠を引き、躯体額縁から外れないことを確認してください。

**●アンカープレートの固定**



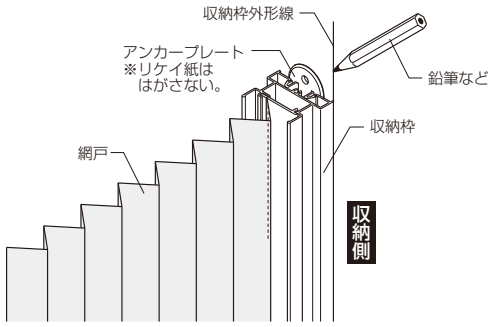
### ■取付け面がクロス（壁紙）仕上げの場合

**お願い**
※アンカープレートの両面テープでクロス（壁紙）表面をキズ付けるおそれがあるため、両面テープのリケイ紙は、はがさずにねじ止めしてください。

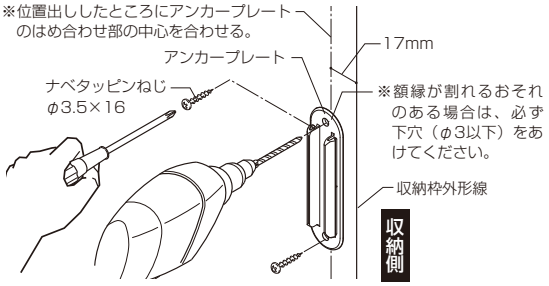
①製品本体の上下を確認してください。
「上側」シールを上にしてください。
②アンカープレートの両面テープのリケイ紙をはがさずに製品本体を取付け面に合わせます。
③鉛筆など（後で消せるもの）でアンカープレートのある位置に印を付けます。（アンカープレートは3～4個付いています。）
④製品本体をいったん取外し、アンカープレートを取付ける位置出しを取付け面に行います。
⑤アンカープレートを収納枠から取外し、取付け面に位置出ししたところに同梱のねじで取付けます。この場合も、両面テープのリケイ紙ははがさないでください。
※アンカープレートは、はめ込み式です。マイナスドライバーなどをすき間に入れると取外しやすくなります。

**お願い**
※同梱のねじ（φ3.5×16）で、柱などにねじが届かない場合は、必ず柱などに10mm以上かかるねじを別途手配して取付けてください。その際は、アンカープレートのベース部より、ねじの頭が出ないようにしてください。

⑥「**4本体の取付け**」の③と④にしたがい、製品本体を取付けます。
※収納枠とアンカープレートをはめ込むと「パチン」と音がします。
⑦取付け面に鉛筆などで付けた目印を消します。



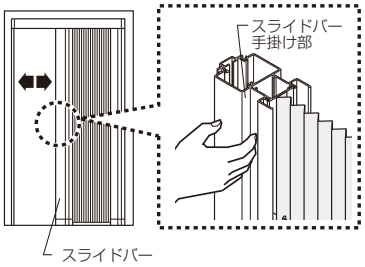

**⚠注 意**
●取付け後、収納枠を引き、躯体額縁から外れないことを確認してください。




### 5作動確認

①スライドバーの手掛けに手を掛け、作動を確認してください。異常（大きなガタツキ・蛇行・外れなど）がある場合は、説明書の各手順を確認し、修正してください。
※引き分けは、両側とも確認してください。

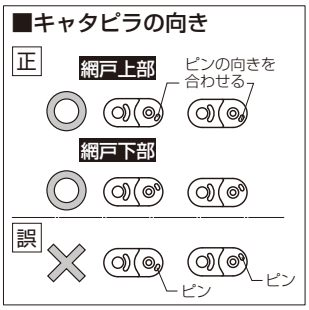
**お願い**
※油などの潤滑剤は使用しないでください。ホコリなどが付着し、故障の原因となります。



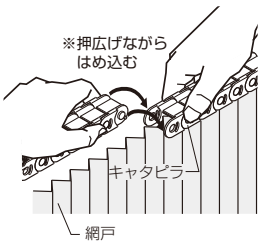

### 6各種調整

**【キャタピラが外れてしまった場合】**
①キャタピラが外れてしまった場合には、下図のようにキャタピラの向きに注意しながらはめ込んでください。
②はめ込む時は、下図のように押広げながらはめ込むと、簡単にできます。

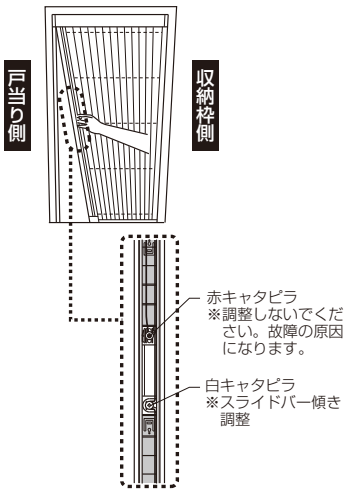
**■キャタピラの向き**




**■キャタピラのはめ方**



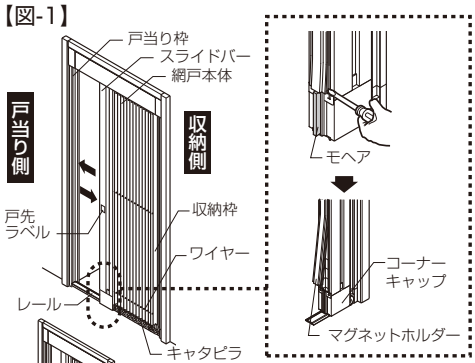

**【戸当り側又は、収納枠側の額縁が下図のように反っていて、網戸を閉めてもスライドバーが固定されない場合】**



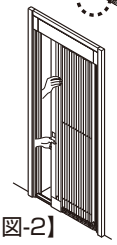

※以下の手順にしたがい、調整してください。
①スライドバーの建付け調整ねじは、スライドバーの内側にあります。スライドバーに付いているマグネットホルダーを外してから調整します。
②スライドバー戸先面に付いている、マグネットホルダー下部とモヘヤの間にマイナスドライバーの先端を斜めから差込み、持ち上げるとマグネットホルダーがスライドバーから外れます。外れた部分を持って下から引きはがすようにして上まで全部外します。【図-1】
③白キャタピラの調整ねじをゆるめます。
④【図-2】のようにスライドバーの上下を持って傾きを調整します。
⑤白キャタピラの調整ねじを締付け固定します。

**お願い**
※ねじは必ず手で締めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますとねじが破損する場合があります。

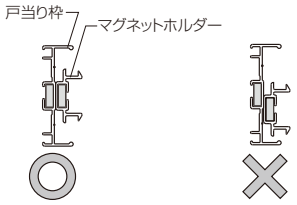
【図-1】



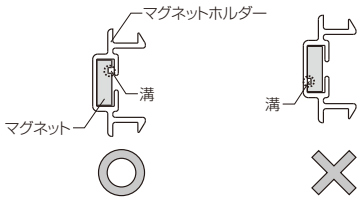

【図-2】



⑥マグネットホルダーが戸当り枠のマグネットホルダーに固定できるか確認してください。

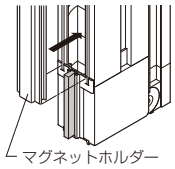



※上図のようにマグネットホルダーがずれて固定される場合は、マグネットの溝を図の通りにしてください。




⑦すべての確認が完了したらマグネットホルダーを取付けてください。

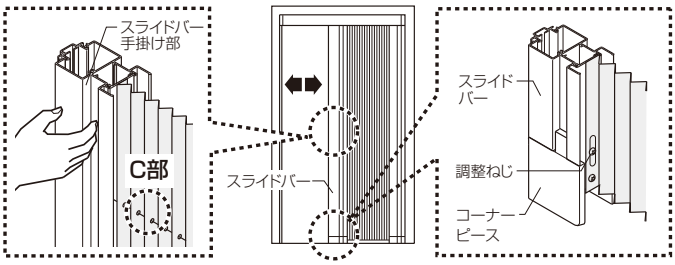
**■マグネットホルダーの取付け**




※マグネットホルダーを、スライドバー下部の溝に合わせ押付け取付けます。
※下から順にマグネットホルダーをスライドバーに押付け取付けます。

**【ワイヤーの張りが強く、網戸を閉めても開いてしまう場合】**

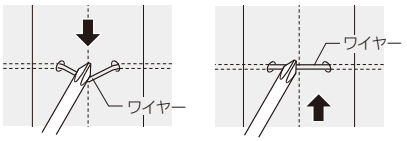
①網戸を閉めた状態にします。
②スライドバー下部にある調整ねじが中央の位置にあることを確認します。
（調整ねじが中央にない場合は調整ねじを中央に移動させてください）

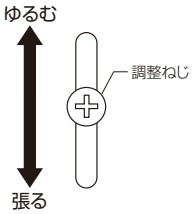



③下記「■ワイヤーの確認方法」を参照してワイヤーの張り具合を確認します。ワイヤーの張り具合が適切でない場合、調整ねじを上下方向に移動させてワイヤーの張り具合を調整します。
※全てのワイヤーが同じ張り具合になるように調整をしてください。

**■ワイヤーの確認方法（C部詳細図）**

①ドライバーをワイヤーに軽くのせます。
※ワイヤーがたるまない場合は張りすぎです。
②ドライバーをワイヤーから離します。
※ワイヤーが元に戻らない場合はゆるみすぎです。

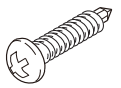
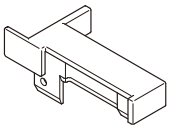
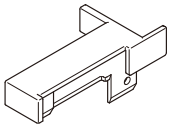


# 有償品　しまえるんですJ　連窓補助枠

●取付けの際は本説明書をよくお読みの上で、取付けてください。
●本体の取付けは、本体に同梱されている取付け説明書をご覧ください。

## ■取付け部品一覧表

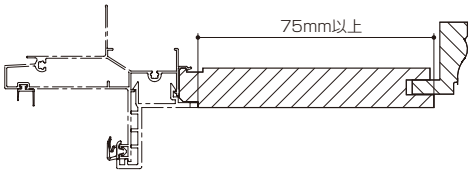
| 連窓補助枠部品セット | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ |
|  |  |  | | |
| （※戸当り枠取付けねじ）<br>バーリングドリルねじ<br>φ4×15 | 連窓補助枠<br>端部ピースR | 連窓補助枠<br>端部ピースL | トラスタッピンねじ<br>φ4×16 | トラス小ねじ<br>M4×6 |

※㋑バーリングドリルねじφ4×15は、しまえるんですJ戸当り枠取付けにご使用ください。
※㋑バーリングドリルねじは、必ず施工される方にお渡しください。

## ■取付け順序

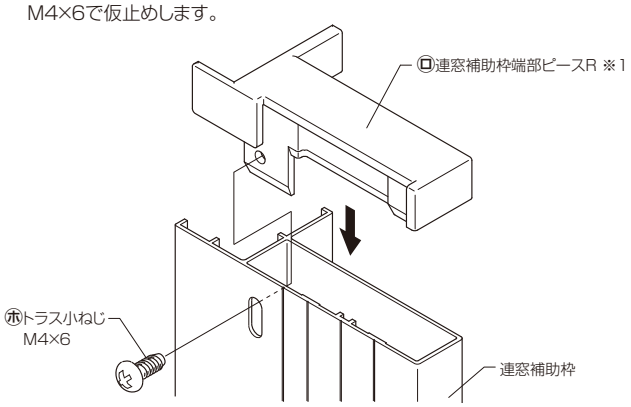
### ❶取付け位置の確認

●網戸の開閉に支障がないように、下記事項を確認して取付け位置を決めてください。
①取付け面に段差がなく、75mm以上の取付け幅があることを確認してください。
②開口部の水平･垂直が正しく出ていることを確認してください。



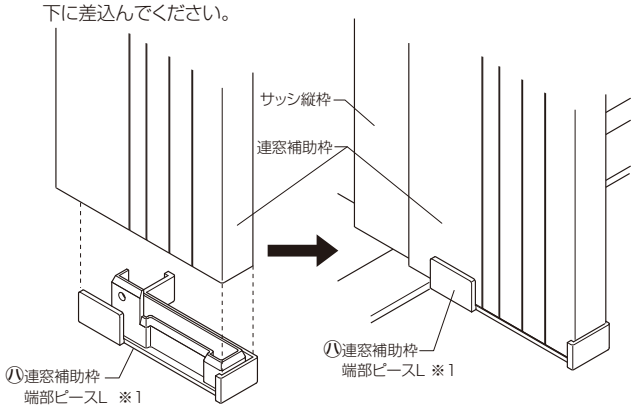

### ❷枠材の取付け

①㋺連窓補助枠端部ピースRを連窓補助枠の上に差込み、㋭トラス小ねじM4×6で仮止めします。

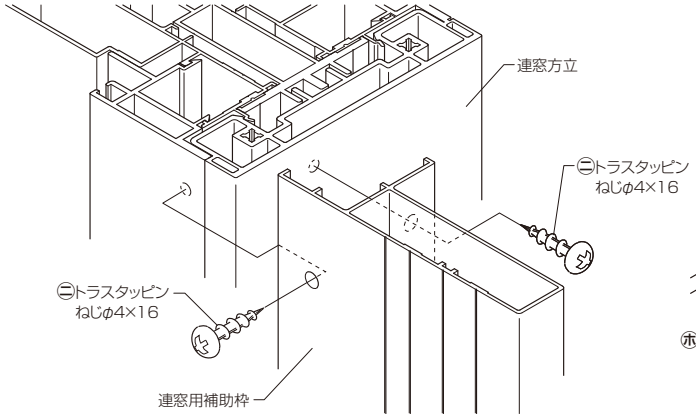



**【サッシ下枠と額縁（床）との間に段差がある場合】**

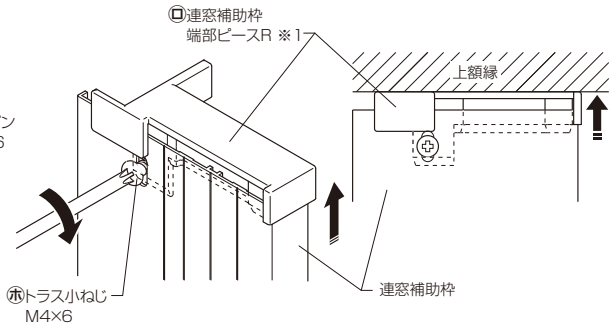
●連窓補助枠を取付ける際に㋩連窓補助枠端部ピースLを連窓補助枠の下に差込んでください。




②連窓方立に、㋥トラスタッピンねじφ4×16で連窓補助枠を固定します。




③㋺連窓補助枠端部ピースRを上額縁にすき間がなくなるまで押しつけてから、㋭トラス小ねじM4×6で固定してください。




※1.連窓補助枠の取付勝手が逆の場合は、連窓補助枠端部ピースの「R」「L」が逆になります。

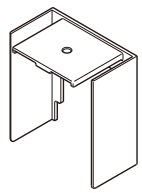
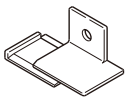
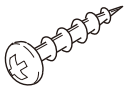
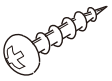
# 有償品　しまえるんですJ　段窓補助部材

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願い

●取付けの際は本説明書をよくお読みの上で、取付けてください。
●本体の取付けは、本体に同梱されている取付け説明書をご覧ください。

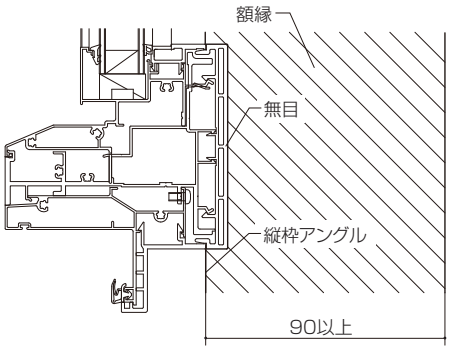
## ■取付け部品一覧表

| ランマカバー部品セット | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ |
|  |  |  | |  | |
| ランマカバー用上枠キャップ | ランマカバーキャップ | ナベタッピンねじ(黒)<br>φ3.5×16 | トラス小ねじM4×6 | トラスタッピンねじ<br>φ4×16 | 穴ふさぎラベル |

## ■取付け順序

### ❶取付け位置の確認

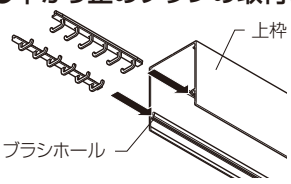
●網戸の開閉に支障がないように、下記事項を確認して取付け位置を決めてください。
①取付け面に段差がなく、90mm以上の取付け幅があることを確認してください。
※詳細については**「■参考納まり図」**を参照してください。
②開口部の水平・垂直が正しく出ていることを確認してください。

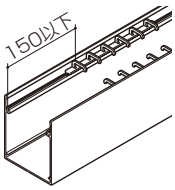


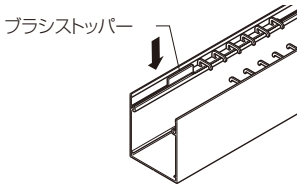

### ❷下がり止めブラシの取付け

※上枠･下がり止めブラシ･ブラシストッパーは本体に同梱されています。
①下がり止めブラシを上枠のブラシホールに挿入してください。
※両側のブラシホールに同数挿入します。
②下がり止めブラシは、上枠のほぼ中央にくるようにしてください。両側の下がり止めブラシが無いところの寸法が150mm以下の場合は下がり止めブラシを1つ外してください。
③ブラシストッパーのリケイ紙をはがしてください。
④ブラシホールにブラシストッパーを差込み、上枠内側に張付けて下がり止めブラシを固定します。
※ブラシストッパーに上下はありません。

**●下がり止めブラシの取付け**

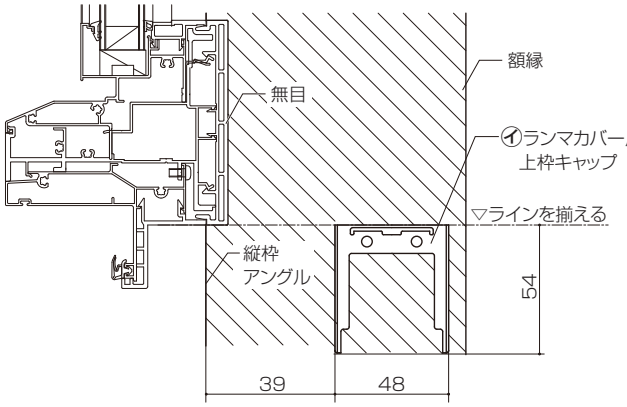


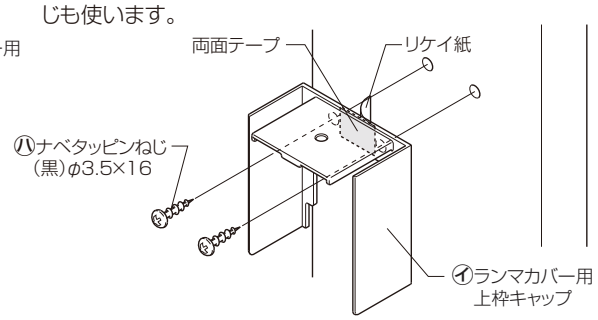




### ❸枠材の取付け

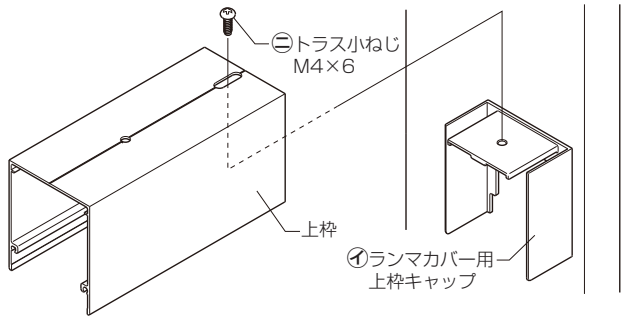
①㋑ランマカバー用上枠キャップの取付ける位置に印を付けます。



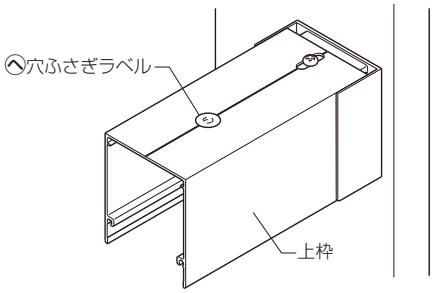

②㋑ランマカバー用上枠キャップ裏側にある両面テープのリケイ紙をはがし、印に合わせて押付けます。
仮止めした後、㋩ナベタッピンねじ(黒)φ3.5×16で固定します。
※㋩ナベタッピンねじ(黒)φ3.5×16は本体に同梱されているねじも使います。



③㋑ランマカバー用上枠キャップに上から上枠をのせて、㋒トラス小ねじM4×6で固定します。

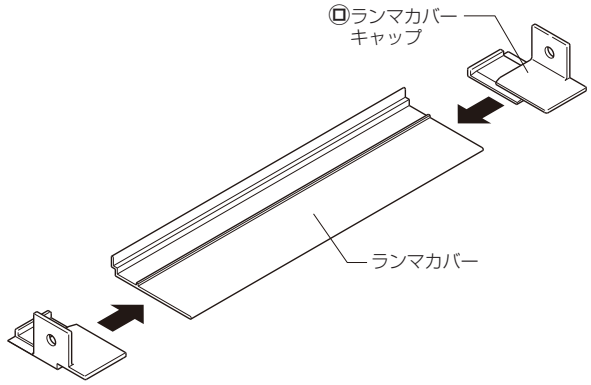



④上枠の使用しない穴に㋓穴ふさぎラベルを張付けます。

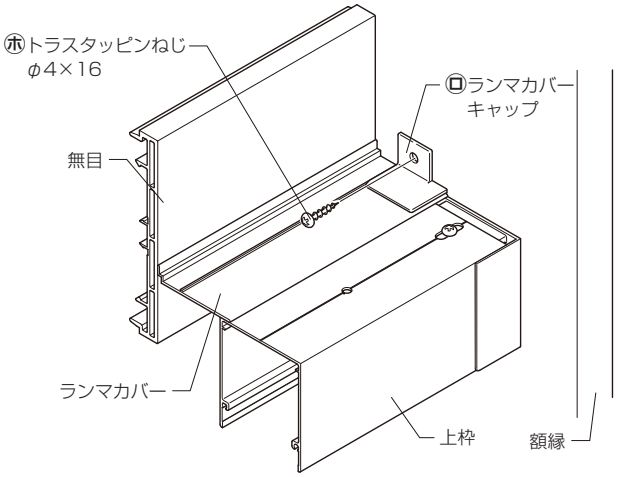



## 4ランマカバーの取付け

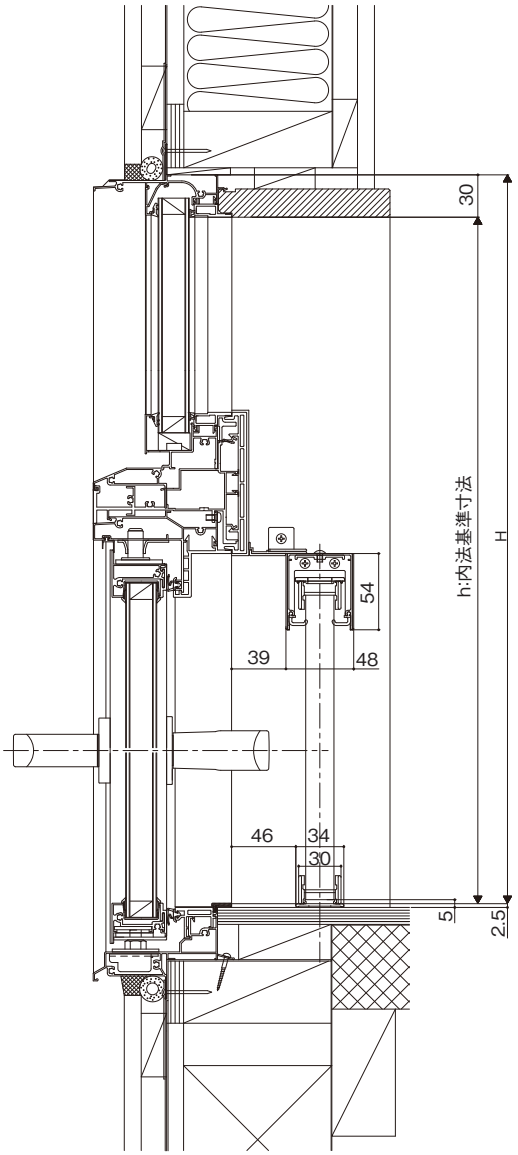
①ランマカバーの両端に㋺ランマカバーキャップを差込みます。




②上枠の上にランマカバーをのせ、ランマカバーをドアの無目に当てます。
③㋺ランマカバーキャップを額縁にすき間がなくなるまで押付けて、㋭トラスタッピンねじφ4×16で固定します。




## ■参考納まり図



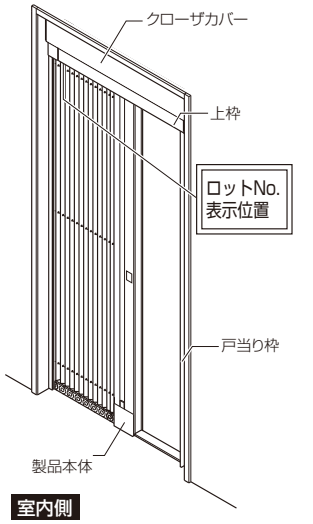
# 有償品　しまえるんですJ　クローザカバー

●本部品セットは、勝手口ドアに横引収納網戸を取付けるために使用します。
●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
●取付けの際は本説明書をよくお読みの上で取付けてください。
※▭ 内は、ロット No. 表示位置を示します。

## ■取付け部品一覧表

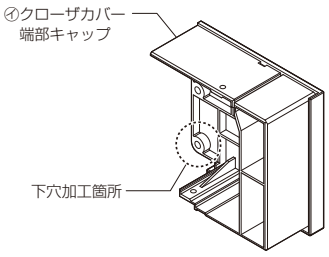
| | クローザカバー部品セット | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 記号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | ㋭ | ㋬ | ㋣ |
| 姿図 | | | | | | | |
| | クローザカバー端部キャップ | 長穴用プッシュボタン φ8×14 | なべタッピンねじ 1種 φ4×20 | なべタッピンねじ 3種 φ4×8 | プッシュボタン φ5用 ※段窓用 | なべタッピンねじ 1種 φ4×50 ※クロス納まり用 | なべタッピンねじ 1種 φ4×65 ※クロス納まり用 |
| 入数 | L/R各1 | 4 | 8 | 6 | 4 | 4 | 4 |

## ■姿図

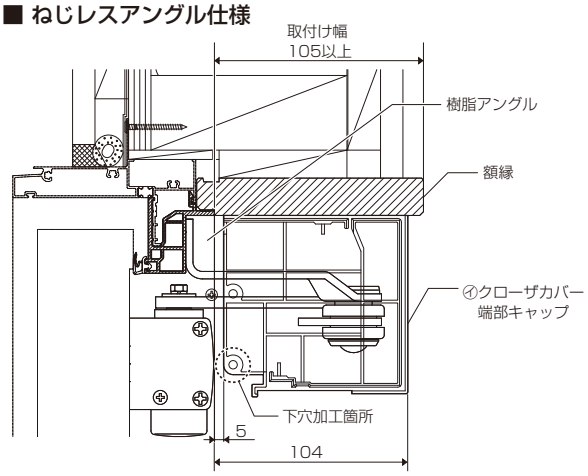



## ■取付け順序(単窓仕様の場合)

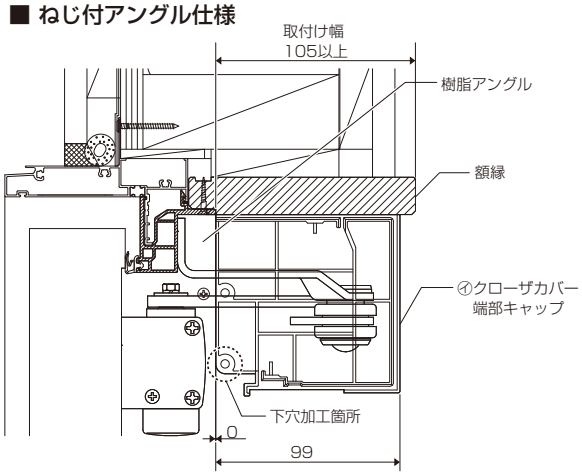
①クローザカバーを取付ける額縁の取付け幅は105mm以上あることを確認してください。
②勝手口ドア本体を開いてください。
③㋑クローザカバー端部キャップを縦枠の樹脂アングルにあて、部品の下側の穴を使用してφ3の下穴をあけてください。
同じように反対側にもφ3の下穴をあけてください。
<ねじレスアングルの場合>縦枠の樹脂アングルより5mmの位置に㋑クローザカバー端部キャップをあてる。
<ねじ付アングルの場合>縦枠の樹脂アングルに㋑クローザカバー端部キャップをあてる。
※ねじレスアングルの場合とねじ付アングルの場合は取付け位置が違います。
位置を間違えるとドアが開かなくなるおそれがあります。



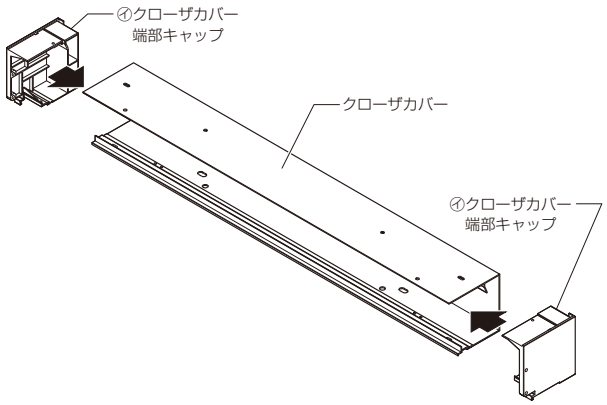

### ■ ねじレスアングル仕様



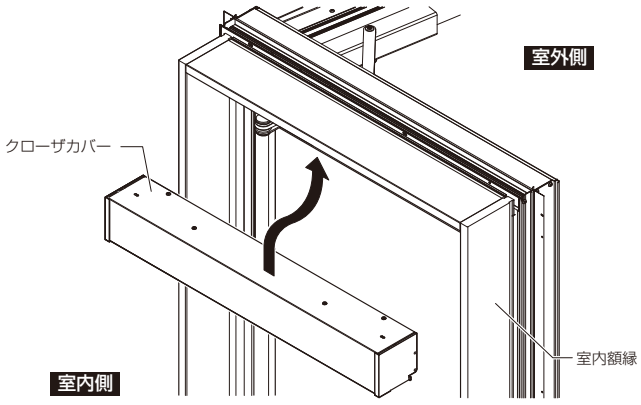

### ■ ねじ付アングル仕様



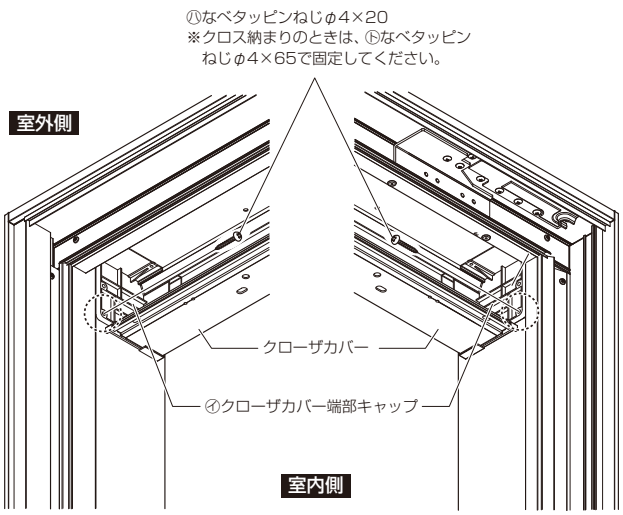

④クローザカバーの両端に㋑クローザカバー端部キャップを差し込みます。



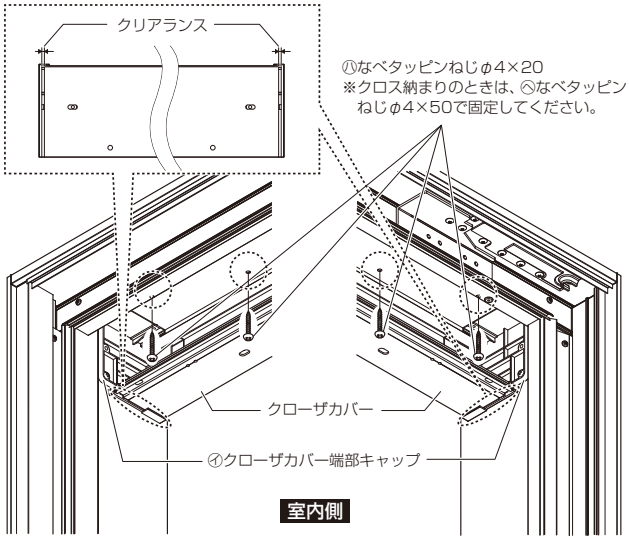

⑤ ④のクローザカバーを室内額縁の内側にいれます。



⑥㋑クローザカバー端部キャップと③であけた下穴に㋥なべタッピンねじφ4×20で固定します。

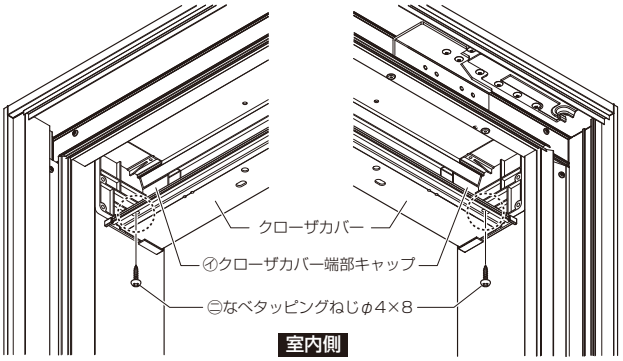



⑦クローザカバーと㋑クローザカバー端部キャップのクリアランスが均等になるようにし、㋥なべタッピンねじφ4×20で固定します。

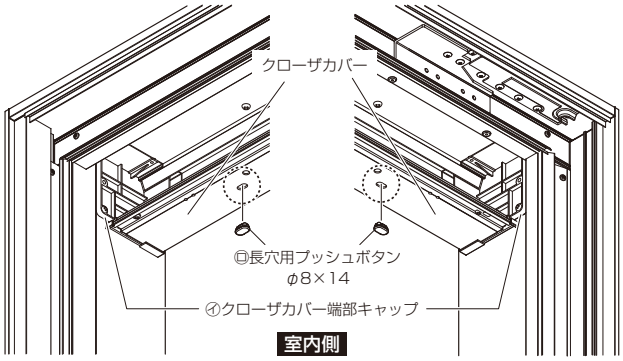



⑧クローザカバーと㋑クローザカバー端部キャップを㋷なべタッピンねじφ4×8で固定します。

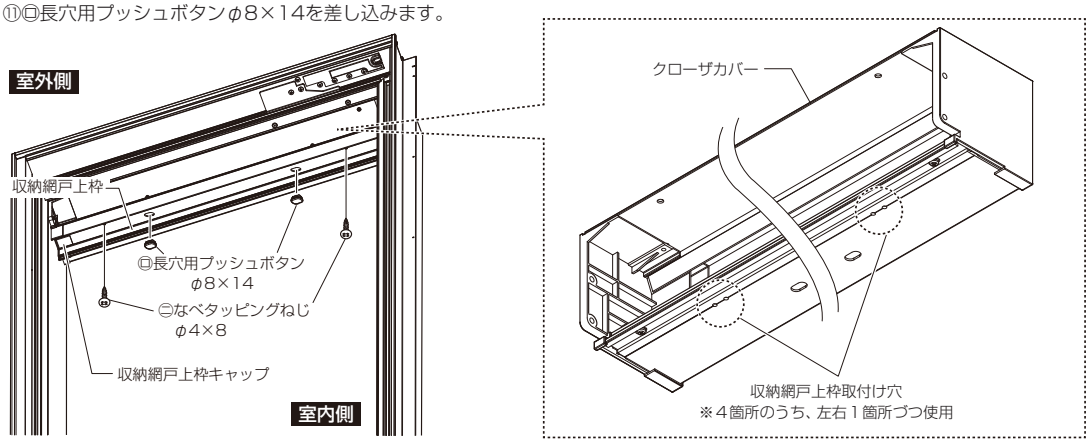
**お願い**
※ねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますと、取付け穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。




⑨ドアクローザ角度調整穴に㋟長穴用プッシュボタンφ8×14を差し込みます。

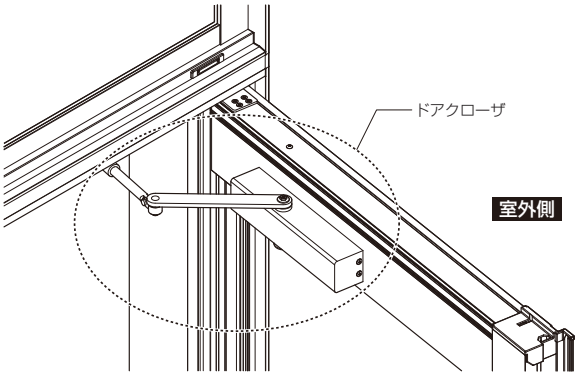



⑩クローザカバーと収納納戸の上枠を㋷なべタッピンねじφ4×8で固定します。
※収納網戸の上枠は戸当り縦枠側に寄せて取付けてください。
※収納網戸の上枠キャップを忘れずに取付けてください。
※収納網戸の上枠はラベルの張ってある方を室内側にして取付けてください。
⑪㋟長穴用プッシュボタンφ8×14を差し込みます。



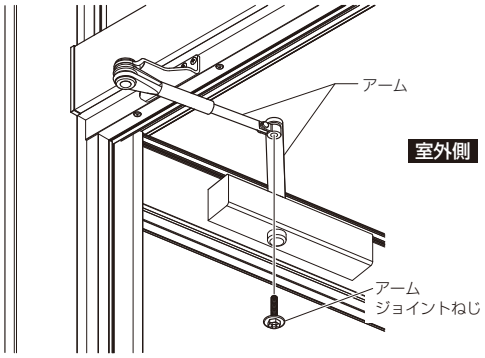
## ■取付け順序（段窓仕様の場合）

①勝手口ドア本体を開いてください。

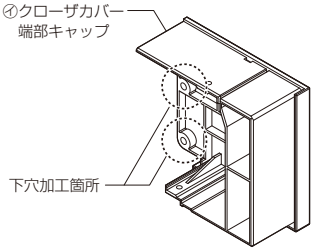



②ドアクローザのアームジョイントねじをはずしてアームをフリーな状態にしてください。

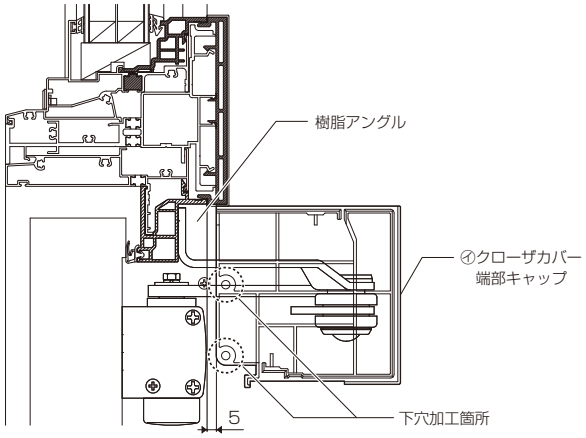
**お願い**
※アームジョイントねじは再度使用しますので紛失しないようにしてください。



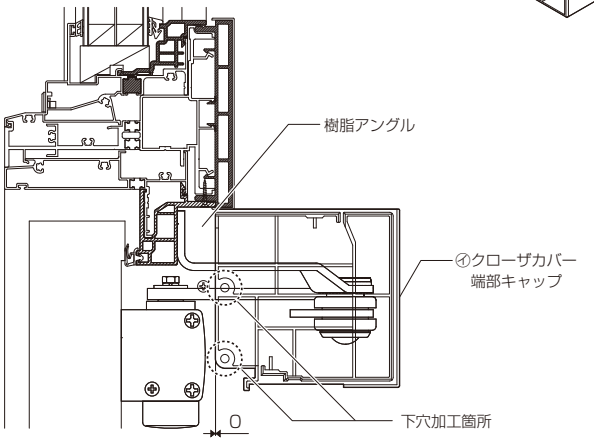

③㋑クローザカバー端部キャップを縦枠の樹脂アングルにあて、部品の穴2箇所を使用してφ3の下穴をあけてください。
同じように反対側にもφ3の下穴をあけてください。
<ねじレスアングルの場合>縦枠の樹脂アングルより5mmの位置に㋑クローザカバー端部キャップをあてる。
<ねじ付アングルの場合>縦枠の樹脂アングルに㋑クローザカバー端部キャップをあてる。
※ねじレスアングルの場合とねじ付アングルの場合は取付け位置が違います。
位置を間違えるとドアが開かなくなるおそれがあります。



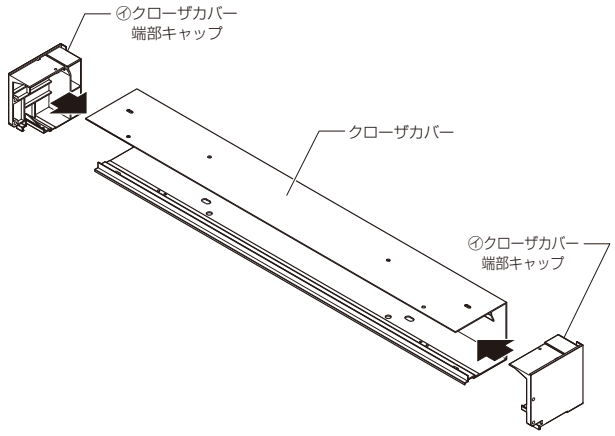

### ■ ねじレスアングル仕様



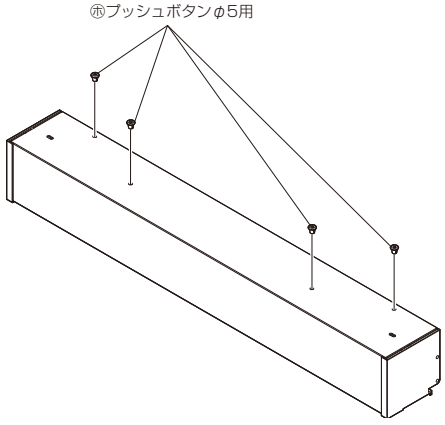

### ■ ねじ付アングル仕様



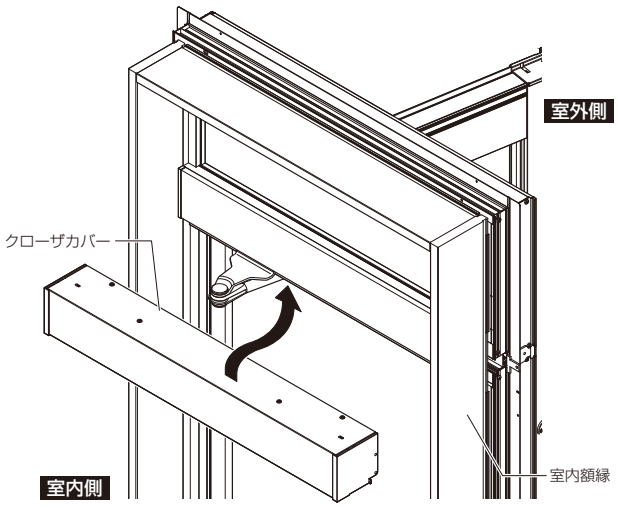

④クローザカバーの両端に㋑クローザカバー端部キャップを差し込みます。



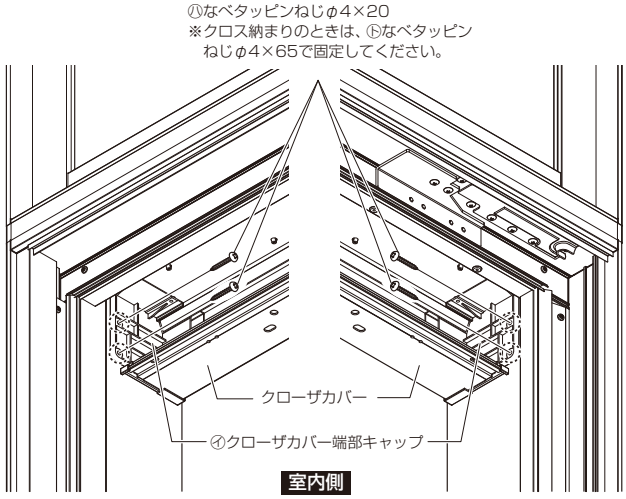

⑤クローザカバーの上部の穴4箇所に㋕プッシュボタンφ5用を差し込みます。



⑥ ⑤のクローザカバーを室内額縁の内側にいれます。

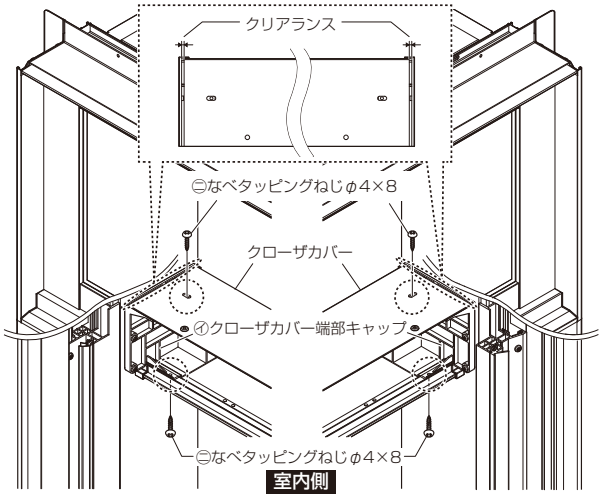



⑦㋑クローザカバー端部キャップと③であけた下穴に㋥なべタッピンねじφ4×20で固定します。

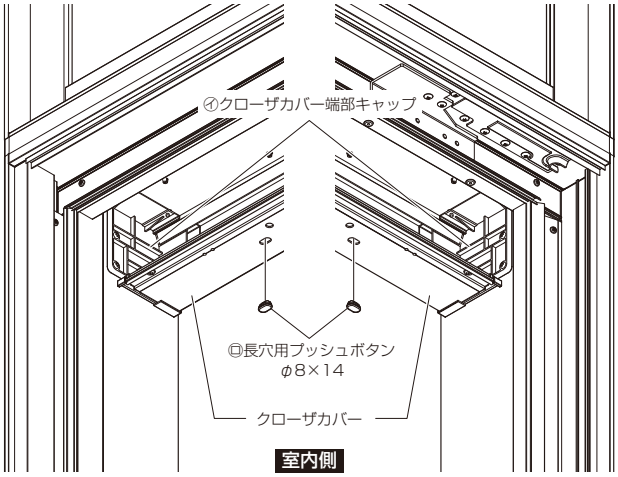



⑧クローザカバーと㋑クローザカバー端部キャップのクリアランスが均等になるようにし、クローザカバーと㋑クローザカバー端部キャップを㋷なべタッピンねじφ4×8で固定します。

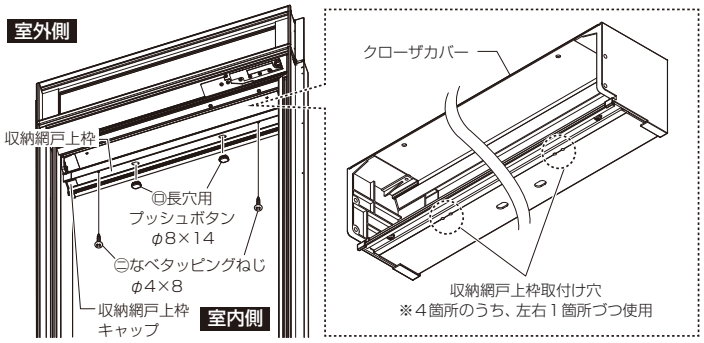
**お願い**
※ねじは必ず手で止めてください。強く締めすぎたり、電気ドライバーを使用しますと、取付け穴が大きくなり、固定できなくなるおそれがあります。




⑨ドアクローザ角度調整穴に㋫長穴用プッシュボタンφ8×14を差し込みます。

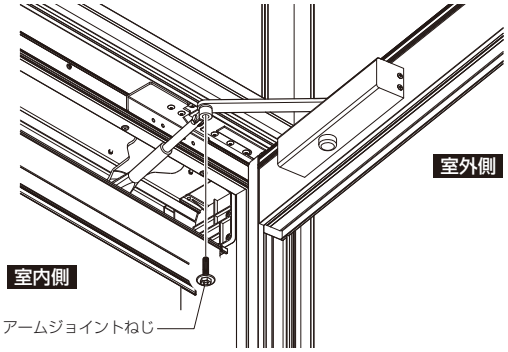



⑩クローザカバーと収納網戸の上枠を㋷なべタッピンねじφ4×8で固定します。
※収納網戸の上枠は戸当り縦枠側に寄せて取付けてください。
※収納網戸の上枠キャップを忘れずに取付けてください。
※収納網戸の上枠はラベルの張ってある方を室内側にして取付けてください。
⑪㋫長穴用プッシュボタンφ8×14を差し込みます。




⑫ドアクローザのアームジョイントねじを付けてください。

**お願い**
※アームジョイントねじは必ず2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで締め付けてください。アームジョイントねじの締め付けがゆるいとアームの連結が外れるおそれがあります。

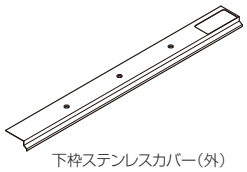
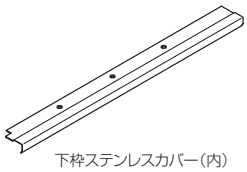
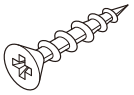
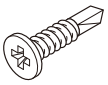


# 有償品　下枠ステンレスカバー

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■部品・ねじ一覧表

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

| 記　号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿　図 |  |  |  |  |
| | 下枠ステンレスカバー(外) | 下枠ステンレスカバー(内) | 皿タッピンねじφ4×12 | 平ドリル小ねじM4×10 |

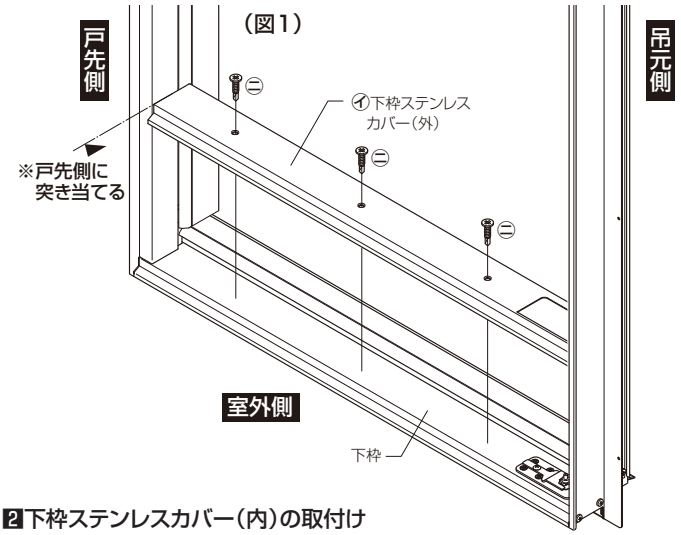
## ■取付け順序

### ❶下枠ステンレスカバー(外)の取付け

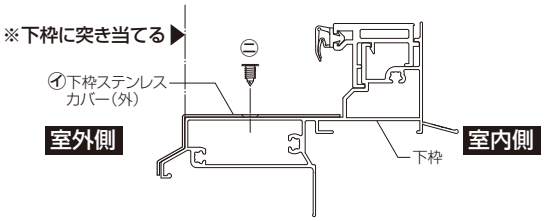
①下枠ステンレスカバー(外)㋑を下枠の室外側にかぶせてください。その際、ステンレスカバー(外)㋑を戸先側に突き当ててください。(図1)

②下枠ステンレスカバー(外)㋑を(図2)のように突き当て、平ドリル小ねじM4×10㋥で取り付けてください。(図2)

(図1)




(図2)




**お願い**

※下枠ステンレスカバー(外)は必ず下枠に突き当てて取り付けてください。開閉に支障が出るおそれがあります。

※ねじの最後の締付けは手回しで止めてください。ねじ頭が破損するおそれがあります。ねじ止めした後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

### ❷下枠ステンレスカバー(内)の取付け

①土間納まりアンカー(別売部品)を取り付けてください。(図3)

※土間納まり用アンカーの取付けは、「土間納まり用アンカー」取付け説明書をご覧ください。

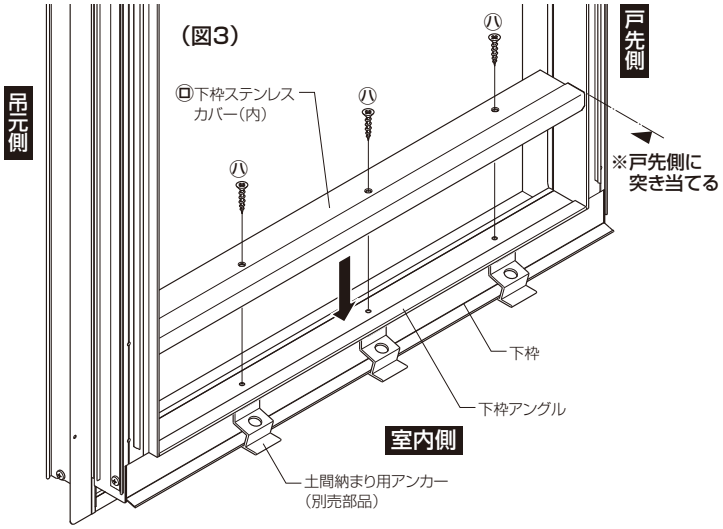
②下枠アングル(枠同梱部材)をリケイ紙を剥がして、下枠溝部に差し込んでください。(図4)

③下枠ステンレスカバー(内)㋺を下枠アングルにかぶせてください。その際、下枠ステンレスカバー(内)㋺を戸先側に突き当ててください。(図3)

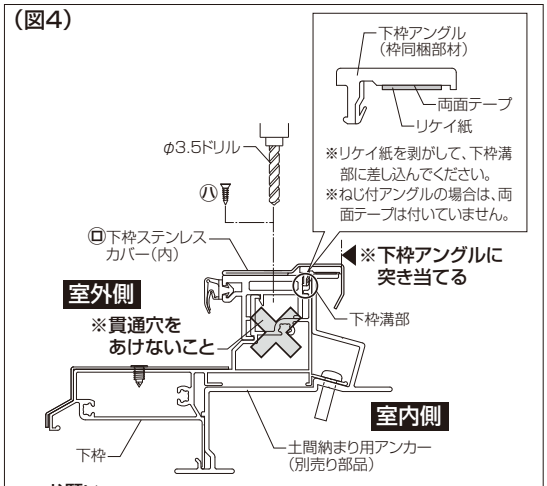
④下枠ステンレスカバー(内)㋺を(図4)のように突き当て、取付け穴の中心に合わせてφ3.5のドリルで下穴をあけてください。

⑤下枠ステンレスカバー(内)㋺を皿タッピンねじφ4×12㋩で取り付けてください。(図4)

(図3)




(図4)




**お願い**

※下枠ステンレスカバー(内)は必ず下枠アングルに突き当てて取り付けてください。開閉に支障が出るおそれがあります。

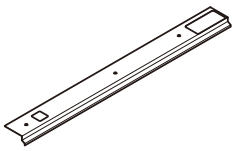
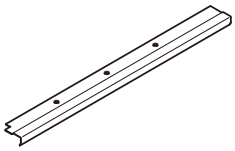
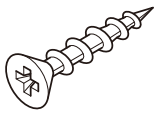
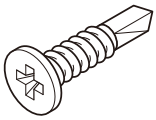
※ねじの最後の締付けは手回しで止めてください。締めすぎるとねじが効かなくなるおそれがあります。ねじ止めした後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

# 有償品　下枠ステンレスカバー(テラスドア用)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■部品・ねじ一覧表

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

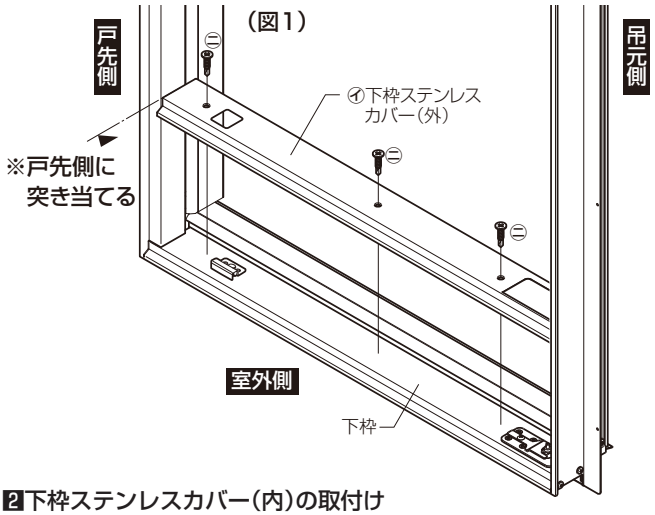
| 記　号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |  |
| | 下枠ステンレスカバー(外) | 下枠ステンレスカバー(内) | 皿タッピンねじφ4×12 | 平ドリル小ねじM4×10 |

## ■取付け順序

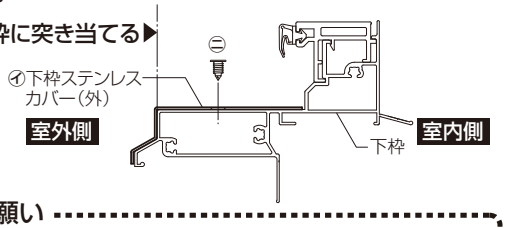
### ❶下枠ステンレスカバー(外)の取付け

①下枠ステンレスカバー(外)㋑を下枠の室外側にかぶせてください。その際、ステンレスカバー(外)㋑を戸先側に突き当ててください。(図1)
②下枠ステンレスカバー(外)㋑を(図2)のように突き当て、平ドリル小ねじM4×10㋥で取付けてください。(図2)

(図1)




(図2)

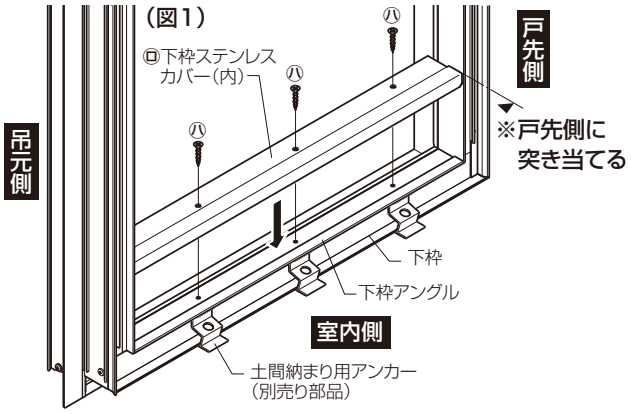



**お願い**
- ●下枠ステンレスカバー(外)㋑は必ず下枠に突き当てて取付けてください。開閉に支障が出るおそれがあります。
- ●ねじの最後の締付けは手回しで止めてください。締めすぎるとねじが効かなくなるおそれがあります。ねじ止めした後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

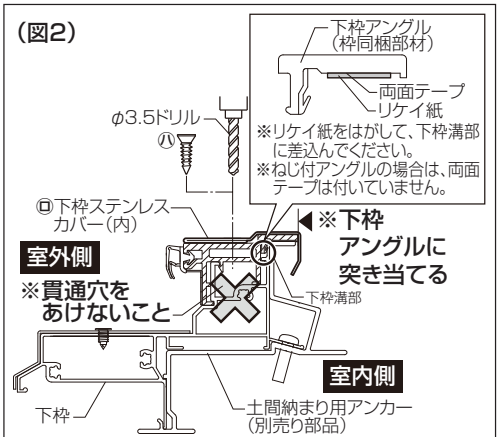
### ❷下枠ステンレスカバー(内)の取付け

①土間納まり用アンカー(別売り部品)を取付けてください。(図1)
※土間納まり用アンカーの取付けは、「土間納まり用アンカー」取付け説明書をご覧ください。
②下枠アングル(枠同梱部材)をリケイ紙をはがして、下枠溝部に差込んでください。(図2)
③下枠ステンレスカバー(内)㋺を下枠アングルにかぶせてください。その際、下枠ステンレスカバー(内)㋺を戸先側に突き当ててください。(図1)
④下枠ステンレスカバー(内)㋺を(図2)のように突き当て、取付け穴の中心に合わせてφ3.5のドリルで下穴をあけてください。
⑤下枠ステンレスカバー(内)㋺を皿タッピンねじφ4×12㋩で取付けてください。(図2)

(図1)




(図2)



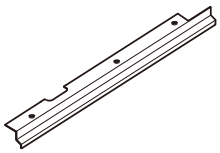
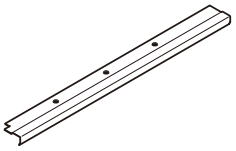
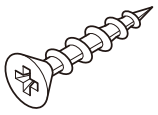
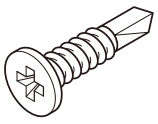

**お願い**
- ●下枠ステンレスカバー(内)㋺は必ず下枠アングルに突き当てて取付けてください。開閉に支障が出るおそれがあります。
- ●ねじの最後の締付けは手回しで止めてください。締めすぎるとねじが効かなくなるおそれがあります。ねじ止めした後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

# 有償品　下枠ステンレスカバー(採風勝手口ドアFS用)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■部品・ねじ一覧表

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

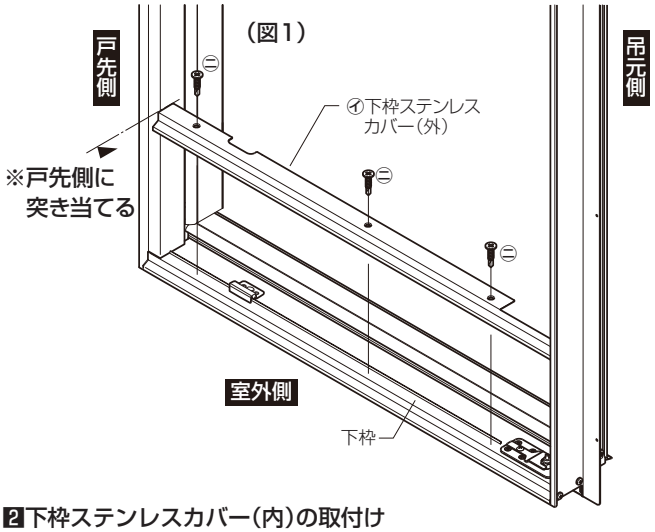
| 記　号 | ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |  |
| | 下枠ステンレスカバー(外) | 下枠ステンレスカバー(内) | 皿タッピンねじφ4×12 | 平ドリル小ねじM4×10 |

## ■取付け順序

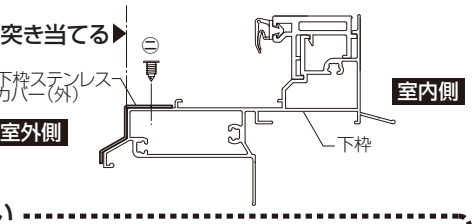
### ❶下枠ステンレスカバー(外)の取付け

①下枠ステンレスカバー(外)㋑を下枠の室外側にかぶせてください。その際、ステンレスカバー(外)㋑を戸先側に突き当ててください。(図1)
②下枠ステンレスカバー(外)㋑を(図2)のように突き当て、平ドリル小ねじM4×10㋥で取付けてください。(図2)

(図1)




(図2)



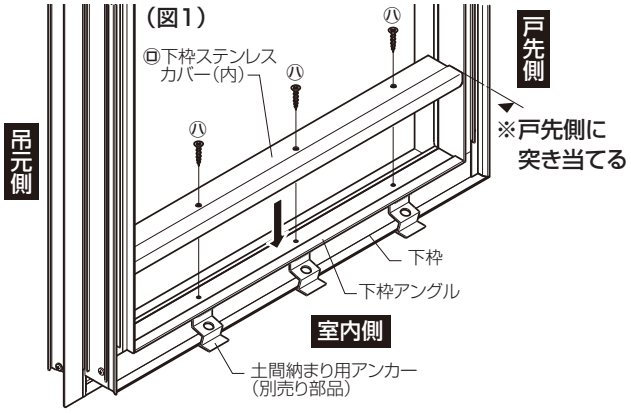

**お願い**

●下枠ステンレスカバー(外)㋑は必ず下枠に突き当てて取付けてください。開閉に支障が出るおそれがあります。
●ねじの最後の締付けは手回しで止めてください。締めすぎるとねじが効かなくなるおそれがあります。ねじ止めした後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

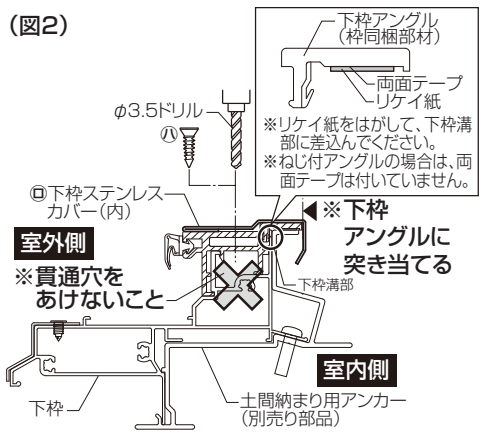
### ❷下枠ステンレスカバー(内)の取付け

①土間納まり用アンカー(別売り部品)を取付けてください。(図1)
※土間納まり用アンカーの取付けは、「土間納まり用アンカー」取付け説明書をご覧ください。
②下枠アングル(枠同梱部材)をリケイ紙をはがして、下枠溝部に差込んでください。(図2)
③下枠ステンレスカバー(内)㋺を下枠アングルにかぶせてください。その際、下枠ステンレスカバー(内)㋺を戸先側に突き当ててください。(図1)
④下枠ステンレスカバー(内)㋺を(図2)のように突き当て、取付け穴の中心に合わせてφ3.5のドリルで下穴をあけてください。
⑤下枠ステンレスカバー(内)㋺を皿タッピンねじφ4×12㋩で取付けてください。(図2)

(図1)




(図2)




**お願い**

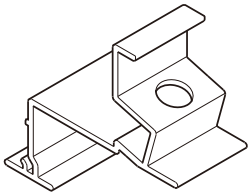
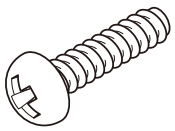
●下枠ステンレスカバー(内)㋺は必ず下枠アングルに突き当てて取付けてください。開閉に支障が出るおそれがあります。
●ねじの最後の締付けは手回しで止めてください。締めすぎるとねじが効かなくなるおそれがあります。ねじ止めした後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

# 有償品　土間納まり用アンカー

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

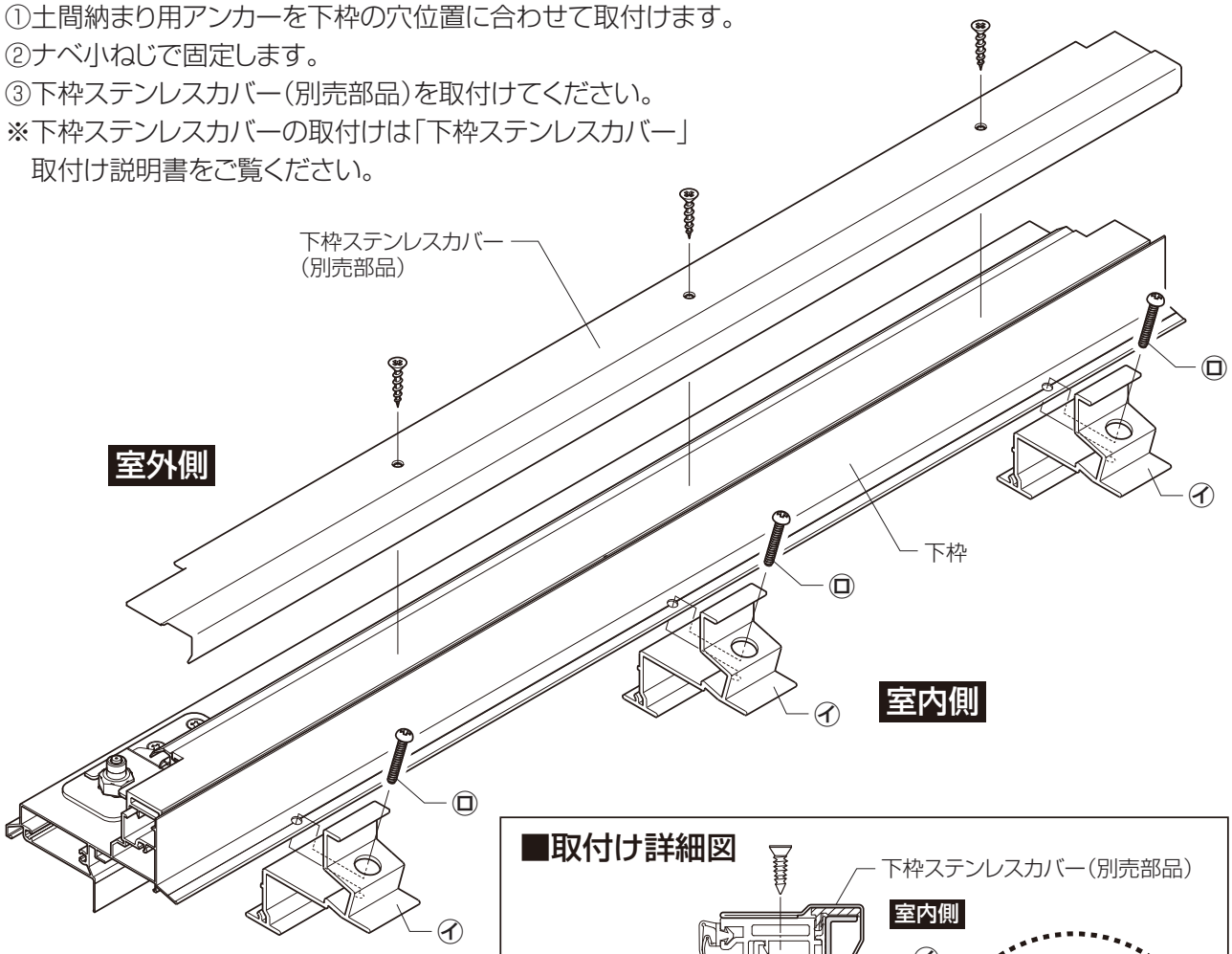
## ■部品・ねじ一覧表

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

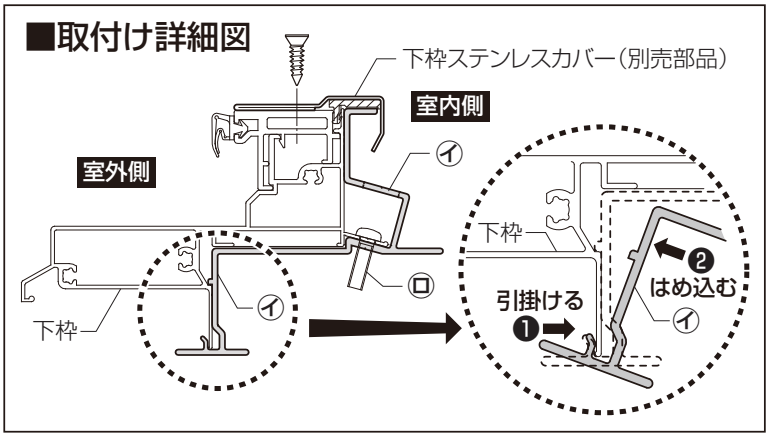
| 記号 | ㋑ | ㋺ |
|---|---|---|
| 姿図 |  |  |
| | 土間納まり用アンカー | ナベ小ねじM4×20 |

## ■取付け順序

①土間納まり用アンカーを下枠の穴位置に合わせて取付けます。
②ナベ小ねじで固定します。
③下枠ステンレスカバー（別売部品）を取付けてください。
※下枠ステンレスカバーの取付けは「下枠ステンレスカバー」
　取付け説明書をご覧ください。




## ■取付け詳細図



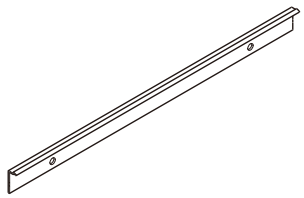
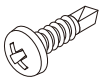
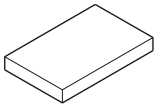
# 有償品　窓枠受けフィン

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

## ■取付け上のお願い

●窓枠受けフィンの使用個数は、商品のサイズによって異なります。取付けの際、使用個数を確認のうえ、取付けてください。
●必ず指定の取付けねじを使用してください。
●引違い窓とドアは取付け方法が異なりますので、必ず下図を参照願います。

## ■部品一覧表

| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 窓枠受けフィン（1本） | バーリングドリルねじM4×10（2本） | セッティングブロック（2個） |

## ■使用個数表

【引違い窓の場合】

| W基本寸法(mm) | 使用個数 |
|---|---|
| W<936 | 1 |
| 936≦W<1536 | 2 |
| 1536≦W<2136 | 3 |
| 2136≦W<2736 | 4 |
| 2736≦W<3336 | 5 |
| 3336≦W<3936 | 6 |
| 3936≦W<4536 | 7 |
| 4536≦W<5136 | 8 |
| 5136≦W | 9 |

【ドアの場合】

| W基本寸法(mm) | 使用個数 |
|---|---|
| W<936 | 1 |
| 936≦W≦1000 | 2 |

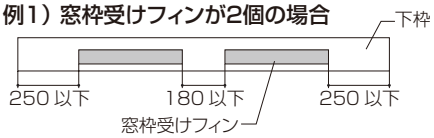
## ■窓枠受けフィン（下枠用）取付け位置と取付け方法

### ■窓枠受けフィン取付け位置

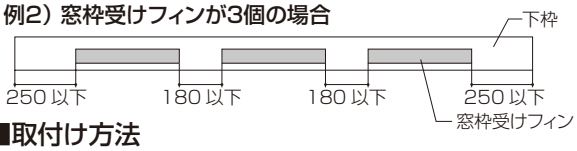
※端部から窓枠受けフィンの間隔を250mm以下、窓枠受けフィンの間隔を180mm以下にして下枠に取付けてください。
※窓枠受けフィンを取付ける前に配置して取付け位置を確認してください。
**位置をあやまると、下枠内に窓枠受けフィンが納まらずに取付けできない場合があります。**

横方向

例1）窓枠受けフィンが2個の場合

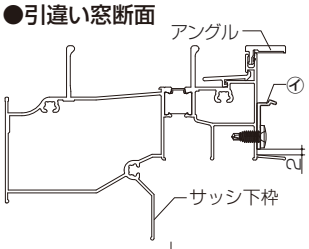



例2）窓枠受けフィンが3個の場合

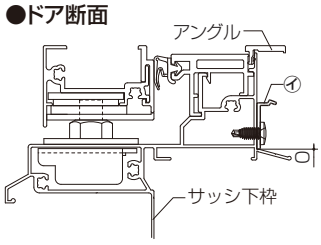



高さ方向

●引違い窓断面




●ドア断面



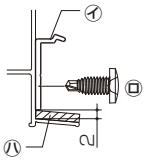

### ■取付け方法

【引違い窓の場合】

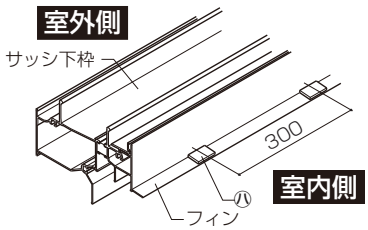
①㋩セッティングブロックを㋩窓枠受けフィンの下にくるようにサッシ下枠のフィン部に貼ってください。
②㋑窓枠受けフィンを㋩セッティングブロックの上にのせて位置決めし、両面テープで仮止めしてください。
③㋺バーリングドリルねじでサッシ下枠に取付けてください。

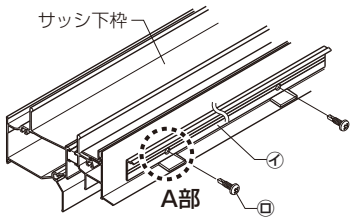
※バーリングドリルねじは、2.0±0.5N·m{20±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

■A部詳細図




④㋩セッティングブロックを取外してください。
⑤㋑窓枠受けフィンが複数ある場合は、①～④を繰り返してください。



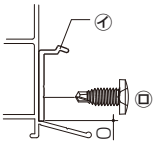




【ドアの場合】

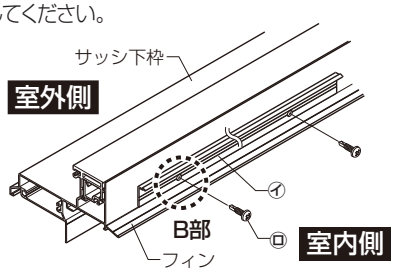
①㋑窓枠受けフィンをサッシ下枠のフィンの上にのせて位置決めし、両面テープで仮止めしてください。
②㋺バーリングドリルねじで下枠に取付けてください。

※バーリングドリルねじは、2.0±0.5N·m{20±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

■B部詳細図




③㋑窓枠受けフィンが複数ある場合は、①～②を繰り返してください。



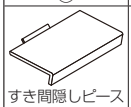
# 有償品　アングルカバー（ねじレスショートアングル用）

●この説明書は、必ず組立て・取付けされる方にお渡しください。

## ■組立て・取付け上のお願い

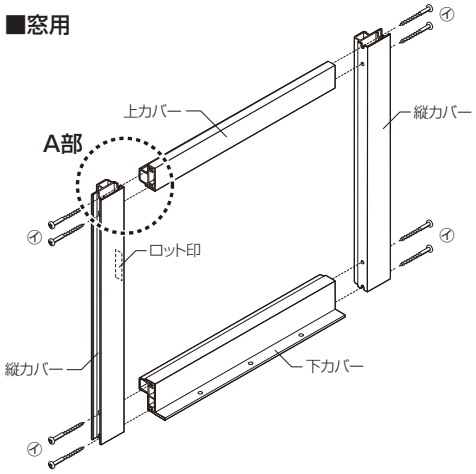
●必ず指定の組立て・取付けねじを使用してください。
●ソリや伸びを防止するため、直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズがついたりしやすいため、ぶつけたり、こすったりしないでください。
●樹脂が割れたり変形するおそれがありますので、組立てねじは1.0～1.5N·m{10～15kgf·cm}のトルクで止めてください。
●縦用造作材は縦カバーから26mm以上あけて取付けてください。㋩すき間隠しピースが取付けできなくなります。
●浴室には取付けできません。
●フレームインタイプには取付けできません。

## ■使用部品一覧表

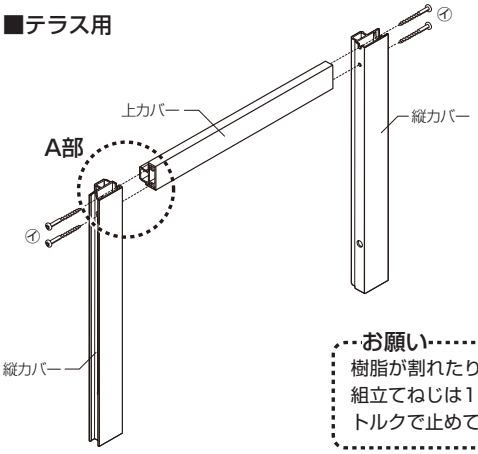
| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
| 丸木ねじ φ3.8×50 | 皿木ねじ φ3.1×20 | 丸木ねじ φ3.8×38 |
| ㋥ | ㋭ | |
|  すき間隠しピース | プッシュボタン | |

## ■アングルカバーの組立て

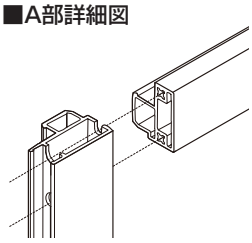
■窓用




■テラス用




■A部詳細図



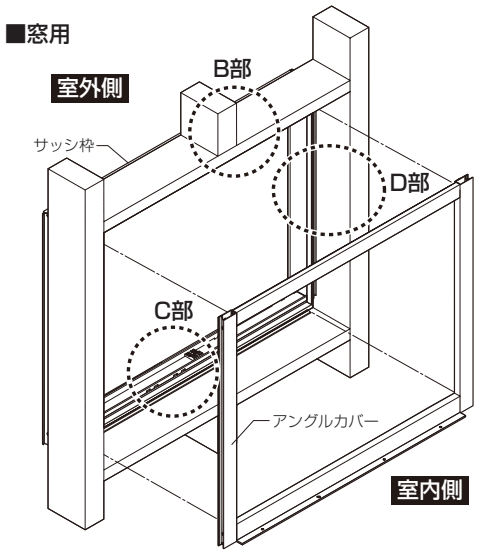
※上下を間違えないようにして組立ててください。

**お願い**
樹脂が割れたり変形するおそれがありますので、組立てねじは1.0～1.5N·m{10～15kgf·cm}のトルクで止めてください。

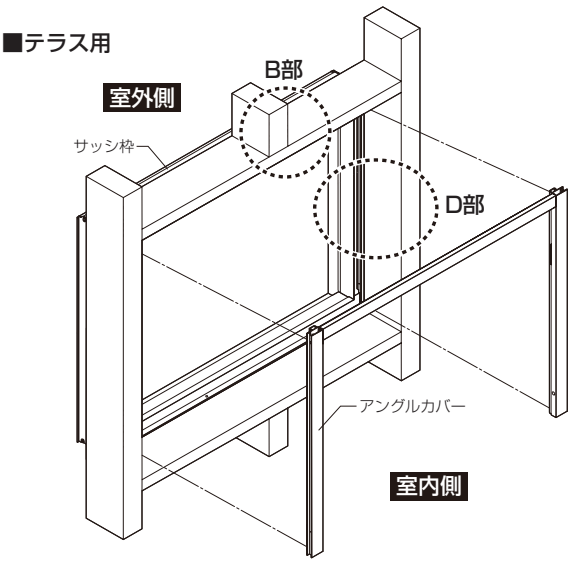
## ■サッシ枠への取付け

①取付けられたサッシ枠にアングルカバーを挿入します。

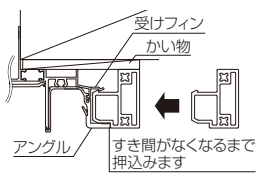
■窓用




■テラス用

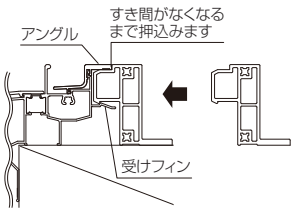



■B部詳細図

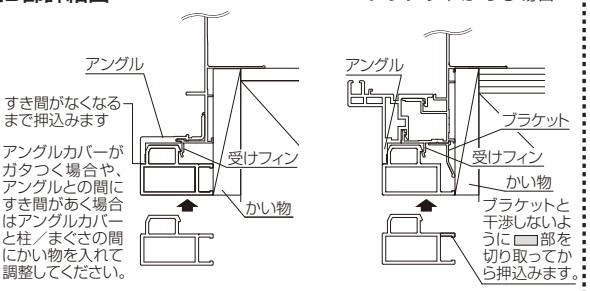



※アングルカバーがガタつく場合や、アングルとの間にすき間があく場合はアングルカバーと柱／まぐさの間にかい物を入れて調整してください。

■C部詳細図



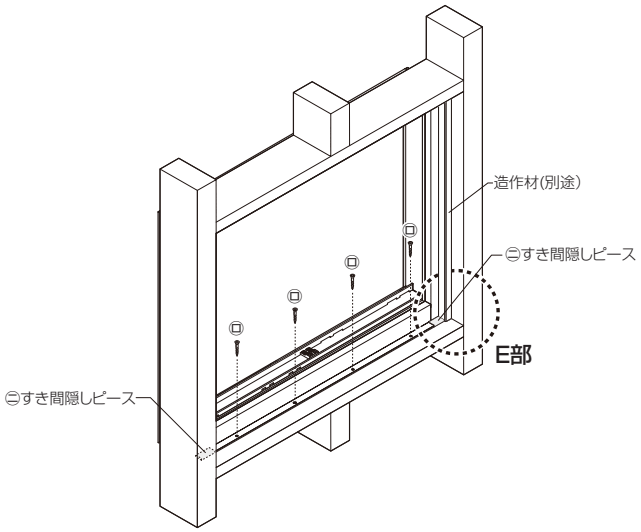

■D部詳細図　＜ブラケットがある場合＞



## ■アングルカバーの固定

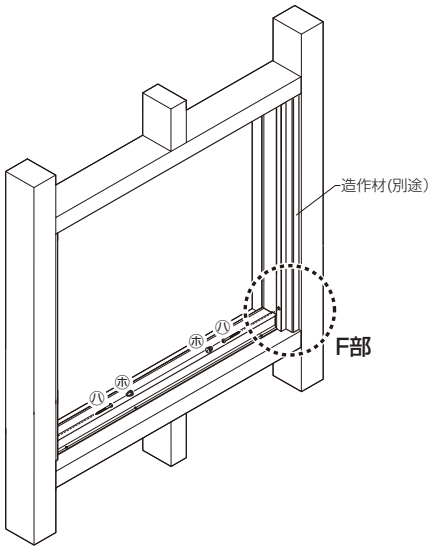
### ■窓用

①アングルカバー下枠を㋥皿木ねじで固定してください。
②造作材などでアングルカバーと柱／まぐさのすき間を隠します。
③㋭すき間隠しピースを取付けます。



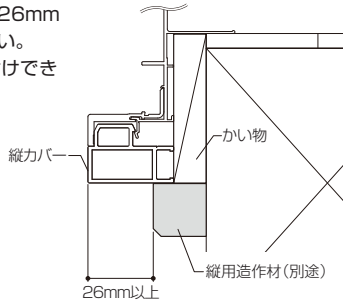

### ■テラス用

①アングルカバー縦枠の下部を㋑丸木ねじで固定し、㋷プッシュボタンで穴をふさいでください。
※㋑丸木ねじで固定する際は、必ずかい物をしてください。
②造作材などでアングルカバーと柱／まぐさのすき間を隠します。

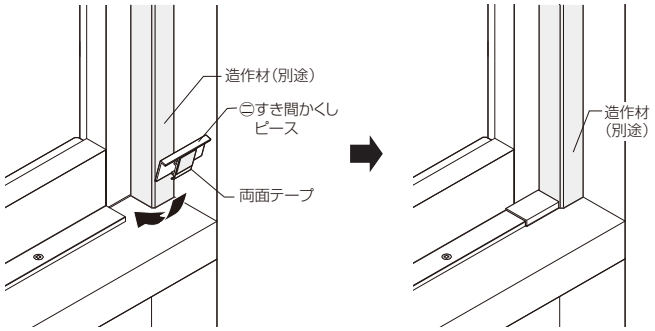



**お願い**

縦用造作材は縦カバーから26mm以上あけて取付けてください。
㋭すき間隠しピースが取付けできなくなります。

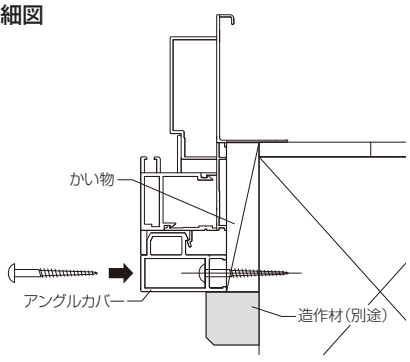



### ■E部詳細図




※縦のアングルカバーの下に㋭をもぐり込ませ、造作材とのすき間を隠します。

### ■F部詳細図




※ねじ固定部に柱とサッシの間にすき間がある場合は、必ずかい物を入れてからねじ止めしてください。
アングルカバーがころんだり、変形するおそれがあります。

# 有償品　アングルカバー（ねじ付アングル用）

●この説明書は、必ず組立て・取付けされる方にお渡しください。

## ■組立て・取付け上のお願い

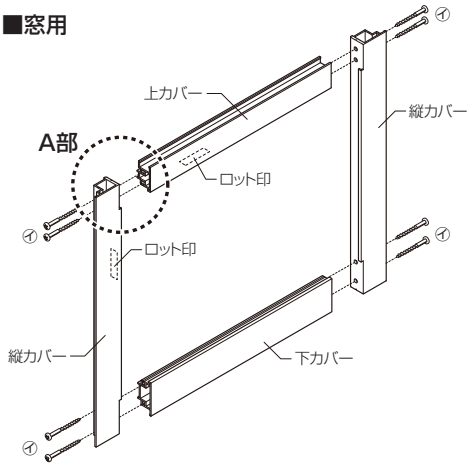
●必ず指定の組立て・取付けねじを使用してください。
●ソリや伸びを防止するため、直射日光に当てた状態で放置しないでください。
●樹脂は割れたりキズがついたりしやすいため、ぶつけたり、こすったりしないでください。
●樹脂が割れたり変形するおそれがありますので、組立てねじは1.0～1.5N·m{10～15kgf·cm}のトルクで止めてください。
●浴室には取付けできません。
●フレームインタイプには取付けできません。

## ■使用部品一覧表

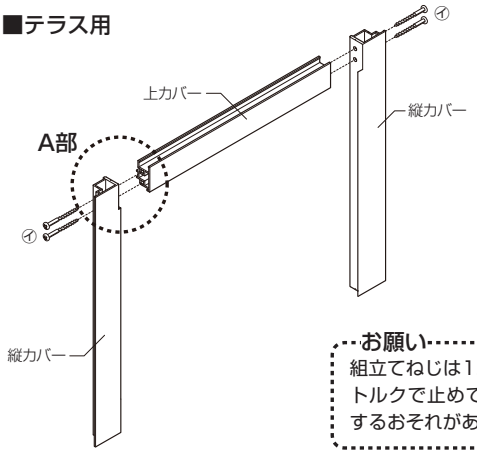
| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
| | | |
| 丸木ねじ φ3.8×50 | 皿タッピンねじ φ4×12 | 皿木ねじ φ3.1×56 |

## ■アングルカバーの組立て

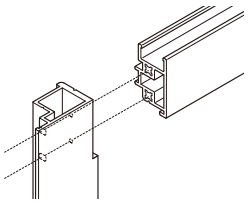
■窓用




■テラス用




■A部詳細図



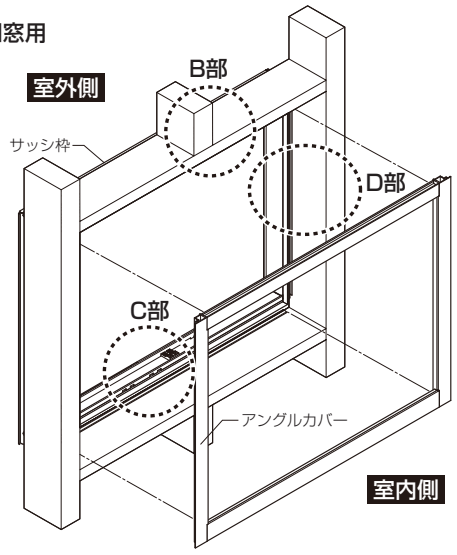
※上下を間違えないようにして組立ててください。

**お願い**
組立てねじは1.0～1.5N·m{10～15kgf·cm}のトルクで止めてください。樹脂が割れたり変形するおそれがあります。

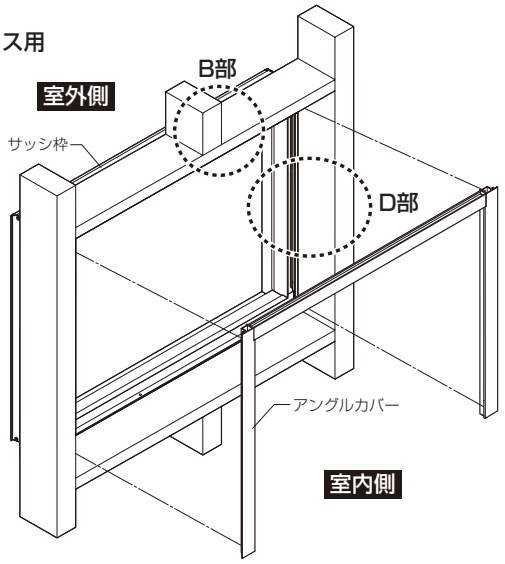
## ■サッシ枠への取付け

①取付けられたサッシ枠にアングルカバーを挿入します。

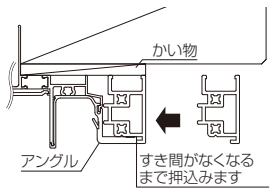
■窓用




■テラス用

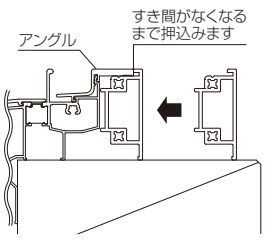



■B部詳細図

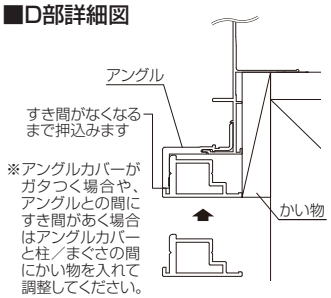



※アングルカバーがガタつく場合や、アングルとの間にすき間があく場合はアングルカバーと柱／まぐさの間にかい物を入れて調整してください。

■C部詳細図




■D部詳細図

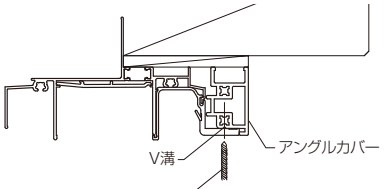



※アングルカバーがガタつく場合や、アングルとの間にすき間があく場合はアングルカバーと柱／まぐさの間にかい物を入れて調整してください。

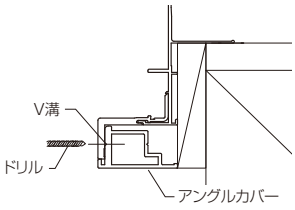
## ■アングルカバーの固定

①アングルカバーをサッシアングルにすき間なく押し当て、アングルの皿穴加工部から、
アングルカバーのV溝にφ1.5～2のドリルで下穴を開けます。

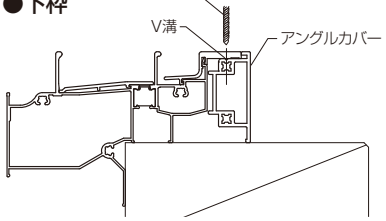
●上枠




●縦枠

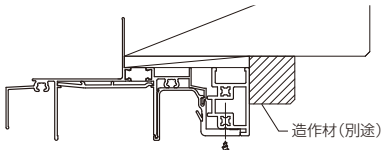



●下枠

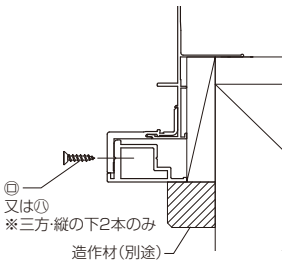



②◻皿タッピンねじで固定してください。
※三方･縦の下2本は㋑のねじで固定してください。
※アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。
※アングルねじの締めすぎに注意してください。
形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。
③造作材などでアングルカバーと柱／まぐさのすき間を隠します。

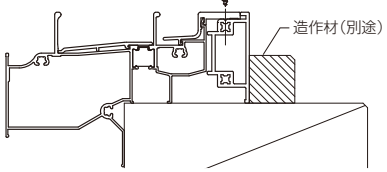
●上枠

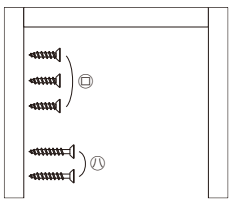



●縦枠




●下枠



# 有償品　タイル用四方額縁

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・コーキングシーラーが形材の周りにはみ出すように位置を合わせてからねじ止めしてください。
・ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

## ■組立て上のお願い

●テラスサイズのサッシには、お使いになれません。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●躯体への取付けは、「タイル用四方額縁　取付け説明書」をご覧ください。
●同梱の額縁取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。

## ■部品·ねじ一覧表

**■組立てねじセット**

| ㋑ | ㋺ | ㋩ |
|---|---|---|
| | | |
| ナベタッピンねじ φ4×30 | 額縁上下キャップ | ナベ小ねじ M4×10 |

**■ブラケットセット**

| ㋥ | ㋭ | ㋬ |
|---|---|---|
| | | |
| ナベ小ねじ M4×10 | ブラケット | ブラケット裏板 |

## ■組立て順序

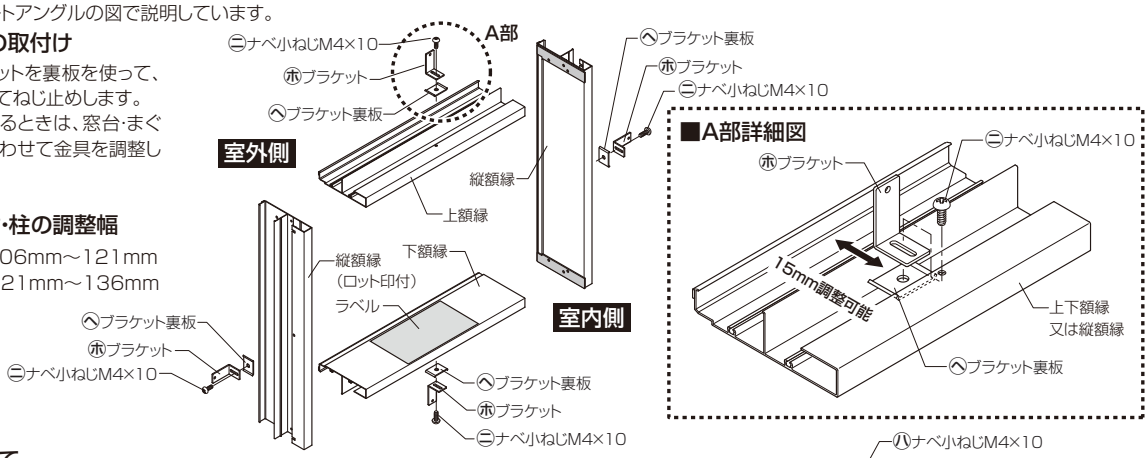
※ねじレスショートアングルの図で説明しています。

### 1ブラケットの取付け

●額縁にブラケットを裏板を使って、室内側に寄せてねじ止めします。
※躯体に取付けるときは、窓台·まぐさ·柱の幅に合わせて金具を調整してください。

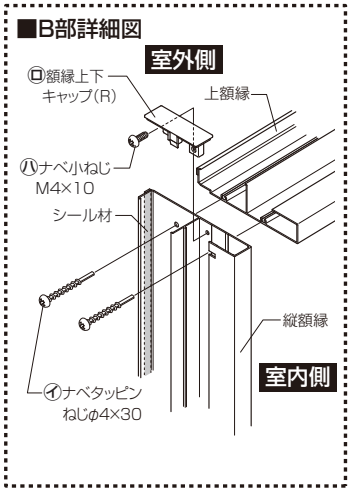
**■窓台·まぐさ·柱の調整幅**

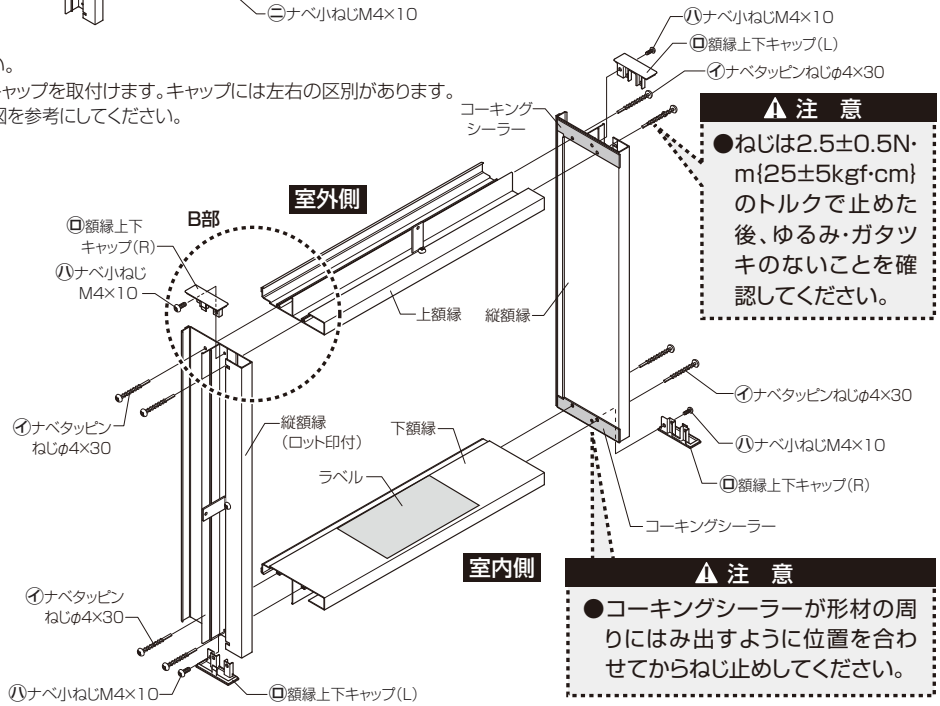
標準タイプ……106mm～121mm
厚壁サイズ……121mm～136mm




### 2額縁の組立て

①シール材を上面にして、組立ててください。
②額縁を組立てた後、縦額縁の上·下端にキャップを取付けます。キャップには左右の区別があります。
※額縁上下キャップ(L)(R)の使い分けは下図を参考にしてください。




**⚠注　意**

●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ·ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注　意**

●コーキングシーラーが形材の周りにはみ出すように位置を合わせてからねじ止めしてください。

# 有償品　窓モール

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注 意**

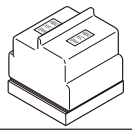
●ねじは2.5±0.5N·m{25±5kgf·cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

## ■組立て上のお願い

●同梱されている上枠位置決めピース、ねじセット、取付け説明書は必ず取付けされる方へお渡しください。

●窓モールを組立てた後移動させるときは、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形・破損するおそれがあります。

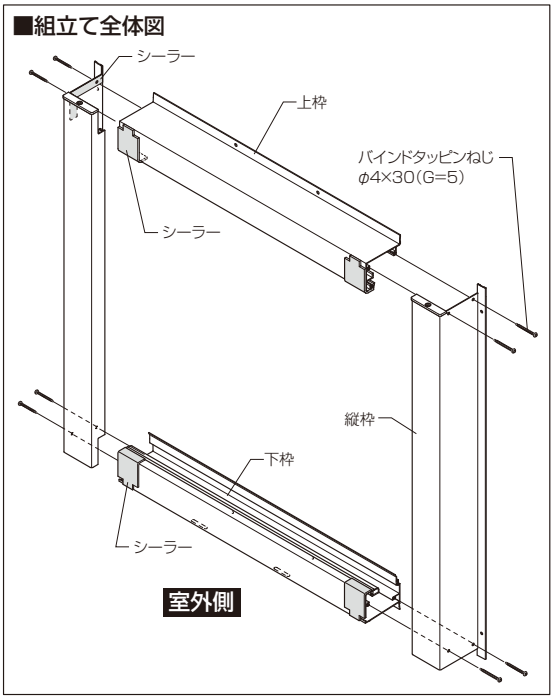
## ■部品セット

| 上枠位置決めピース | 枠組立てねじ |
|---|---|
|  | バインドタッピンねじ φ4×30(G=5) |

※上枠位置決めピースは窓モール取付け時に使用します。必ず取付けされる方へお渡しください。

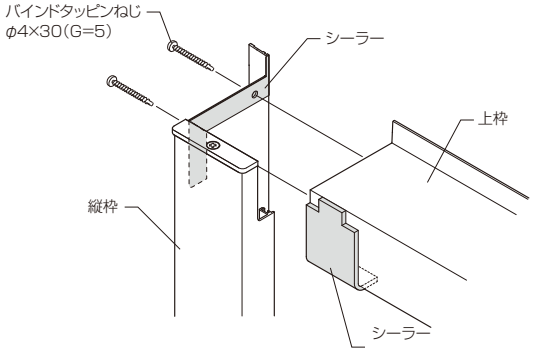
## ■組立て詳細

### ■組立て全体図




### ❶上枠と縦枠の組立て

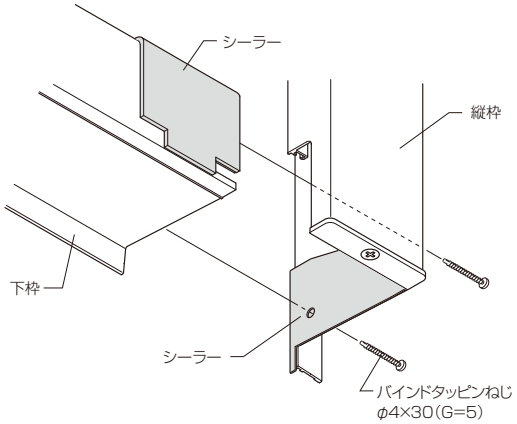
●上枠を縦枠のシーラーに当て、ねじ止めします。



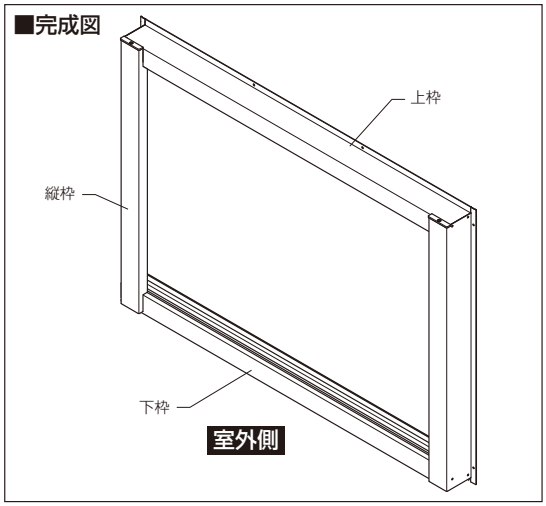

※シーラーがはがれないようにして上枠と縦枠を取付けてください。

### ❷下枠と縦枠の組立て

●❶と同様に下枠を縦枠のシーラーに当て、ねじ止めします。




### ■完成図




※同梱されている上枠位置決めピース、ねじセット、取付け説明書は必ず取付けされる方へお渡しください。

# 有償品　アングルねじ

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

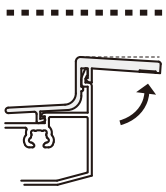
## ■取付け上のお願い

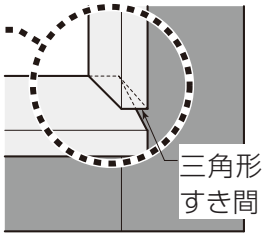
●テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台（下枠取付けの位置）から 37 ± 1mm にしてください。アングル波打ちの原因となるおそれがあります。

## ■施工上のお願い

●アングルの波打ちを防止するため、アングルを窓枠側に若干倒してあります。窓枠施工前は三角形のすき間が発生している場合がありますが、窓枠を施工すればきれいに仕上がります。

※額縁施工の際には、アングルを立て起こすように施工してください。






●アングルねじはまっすぐねじ込んでください。ねじ頭が出っ張るおそれがあります。

### 1 額縁の取付け

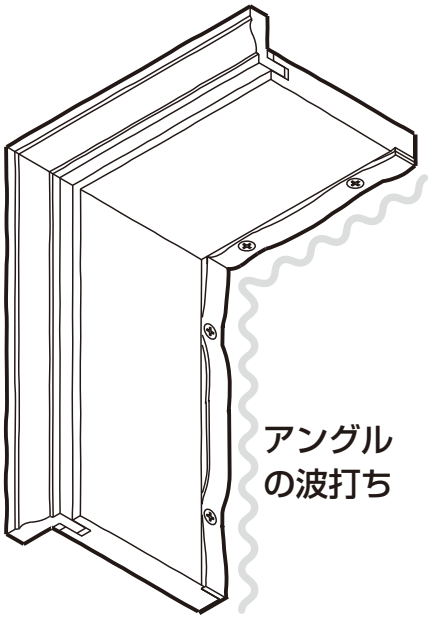
※額縁とアングルの間にすき間がないようにしてください。

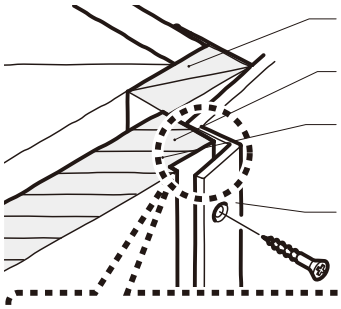
①サッシ枠がつづみにならないように施工してください。

②かい木は、開口部とサッシの間にちょうど入る厚さにしてください。

③額縁開口が大きく額縁とアングルの間にすき間が発生する場合は額縁を切詰めしてください。

④左右のチリが均等になるように額縁を施工してください。




※アングルねじを打つ前にすき間がないようにしてください。

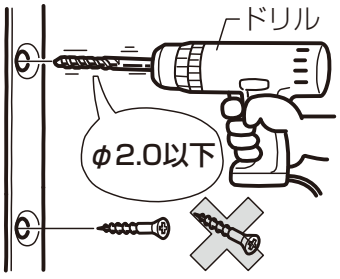
※額縁とアングルの間にすき間がある状態のままねじを打つと、アングルが波打ち現象となります。

### 2 アングルねじの取付け

①アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。

②アングルねじの締めすぎに注意してください。

※形材が変形などおこさない程度に締付けしてください。




※φ2.0mm以下のドリルで下穴をあけてください。ねじをまっすぐに打込んでください。

③窓枠を現場採寸により取付ける場合、アングルの倒れ込みを考慮して採寸してください。

※波打ちを防止するため、アングルを窓枠側に若干倒してあります。アングルを立て起こすように採寸してください。（上下枠アングルは縦枠アングルに押付けた状態で採寸してください。）

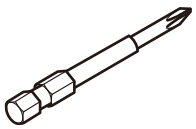
# 有償品　枠取付けねじ（低頭ねじ）

## ●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付け上のお願い

●枠取付けねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。
●電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5～2.0N･mにて取付けを行ってください。
●節などの硬い部分や、硬い木（ヒノキ・米松など）の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
●サッシ枠の寸法許容差については、サッシ本体の取付け説明書をご覧ください。

### ■取付けねじ一覧表

| | |
|---|---|
| 枠取付けねじ<br>φ3.1×25またはφ3.1×32 |  躯体取付けねじ用ビット<br>（商品コード：Z-01-BXTY） |

※有償品にて、専用の取付けビットを準備しています。ねじ頭に合わせて先端が細くなっており、取付けがしやすくなります。

# 有償品　ユニットバス用アタッチメント(マド)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠ 注　意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠と下枠の接合部のすき間以外の個所はコーキング材が付かないようにマスキングテープなどを張付けてコーキング材を塗布してください。
- シーリング処理後、マスキングテープははがしてください。
- コーキングシーラーが形材の周りにはみ出すように位置を合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- アタッチメントを組立てるときは、縦枠に張ってあるラベルが下枠側にくるようにしてください。
- 縦枠と上下枠の間にすき間がなくなるようにコーキング材を充てんし、ヘラで面一にしてください。
- シーリング処理後、必ず縦枠のラベルをはがしてください。
- アタッチメントをサッシ枠にはめ込む前に、必ず浴室用防水シールのリケイ紙をはがしてください。
- アタッチメントーサッシ枠アングルの取合せ部には、必ずコーキング材でシーリング処理してください。
- シーリング処理をするときは、必ず空気が入らないようにコーキング材を充てんしてください。
- サッシ枠とアタッチメントを合体後に運搬する場合は、必ずサッシ枠とアタッチメントを2個所以上で固定してから運搬してください。また、コーキング切れ防止のため、ねじれたり、過度の負荷がかからないようにしてください。
- ホコリ等の付着防止の為、シーリング部に養生テープを張る場合は、シーリング部の硬化後、行ってください。

## ■組立て上のお願い

●テラスサイズのサッシには、お使いになれません。
●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●躯体への取付けは、サーモス「ユニットバス用アタッチメント 取付け説明書」をご覧ください。
●同梱のアタッチメント取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。

## ■組立て部品・ねじ一覧表

**■組立て部品セット**

| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ |
|---|---|---|---|
| | | | |
| ナベタッピンねじ φ4×30 | コーキング材 | 浴室用防水シール(2枚) | マスキングテープ |

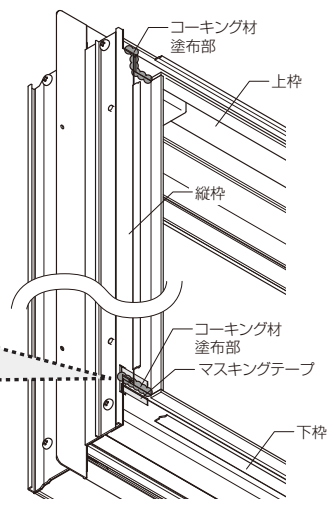
## ■組立て順序

**❶サッシ枠へのシーリング処理**

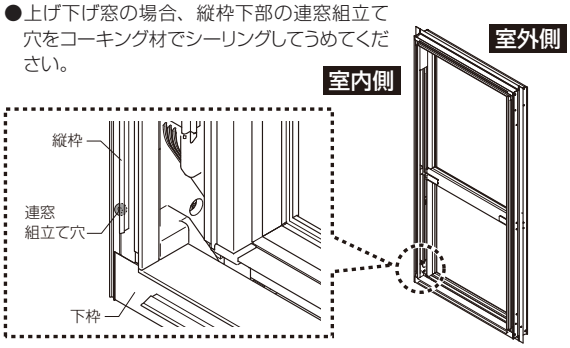
●引違いの場合、縦枠と上枠の接合部と、縦枠と下枠の接合部のすき間を、シリコン系コーキング材でシーリングしてください。コーキング材を塗付し、軽くふき取ってください。
※反対側も同じ手順で行ってください。

**⚠ 注　意**

●縦枠と下枠の接合部のすき間以外の個所はコーキング材が付かないようにマスキングテープなどを張付けてコーキング材を塗布してください。漏水の原因となるおそれがあります。
●シーリング処理後、マスキングテープははがしてください。




●上げ下げ窓の場合、縦枠下部の連窓組立て穴をコーキング材でシーリングしてうめてください。



## ❷浴室用防水シールの張付け

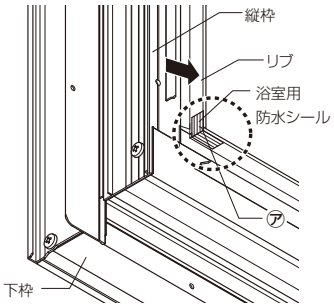
・以下の手順にしたがってサッシ枠室内側下部に浴室用防水シールを張付けてください。

※反対側も同じ手順で行ってください。

①浴室用防水シールの切込み(㋐部)を縦枠アングル下部に合わせてリケイ紙をはがします。
縦枠リブに沿ってリブとのすき間がないように位置を合わせながら部分的に張付けます。

※ ～～ 部を縦枠リブに合わせて部分的に張付けます。

②㋐部を折り曲げ、下枠に張付けます。

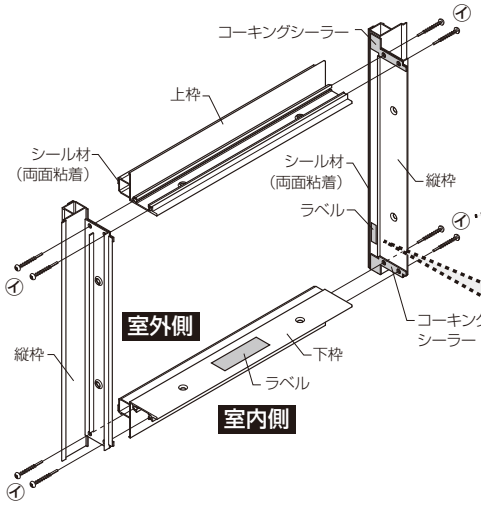



**●浴室用防水シール**

※浴室用防水シールは、左右兼用となっています。

## ❸アタッチメントの組立て

※シール材を上面にして、組立ててください。




**⚠ 注 意**

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠ 注 意**

●縦枠に張ってあるラベルが下枠側にくるようにしてください。

**⚠ 注 意**

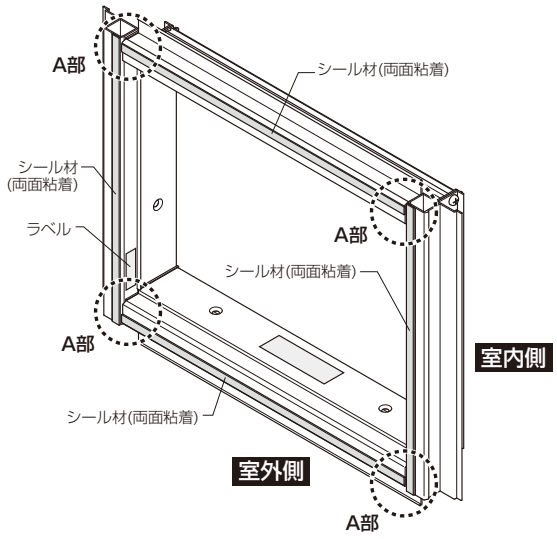
●コーキングシーラーが形材の周りにはみ出すように位置を合わせてからねじ止めしてください。

## ❹アタッチメントの取付け

①シール材に付いているリケイ紙をはがしてください。

②上下枠と縦枠のシール材の継ぎ目に同梱されているコーキング材を使ってシーリング処理をします。(四方全て)

※シーリング処理後、コーキング材が固まる前に⑤のアタッチメントのサッシ枠へのはめ込みまでの手順を行ってください。



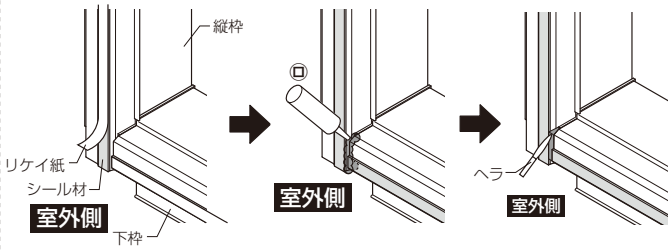

③シーリング処理後、縦枠のラベルをはがしてください。(左右2個所)

**⚠ 注 意**

●シーリング処理後、必ず縦枠のラベルをはがしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

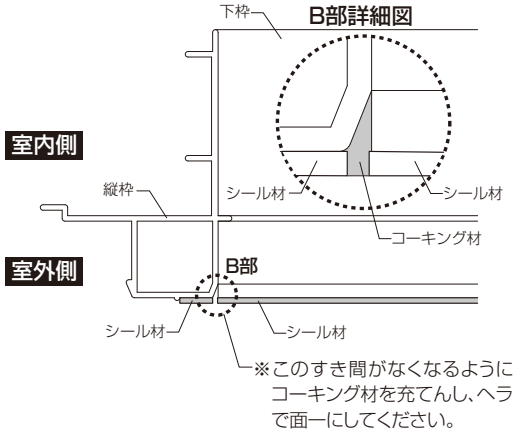
**■A部詳細図**

※すき間がなくなるようにコーキング材を充てんし、ヘラで面一にしてください。




**⚠ 注 意**

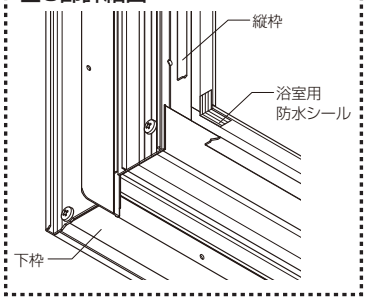
●縦枠と上下枠の間にすき間がなくなるようにコーキング材を充てんし、ヘラで面一にしてください。

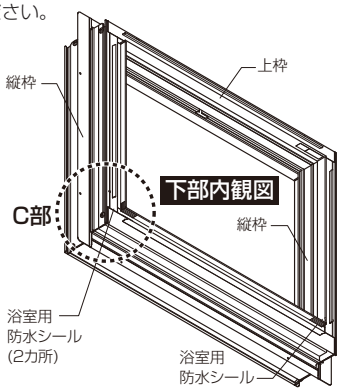


④浴室用防水シールのリケイ紙をはがしてください。

●サッシ枠室内側下部に張付けられている浴室用防水シールのリケイ紙をサッシ枠にはめ込む前に必ずはがしてください。

■C部詳細図

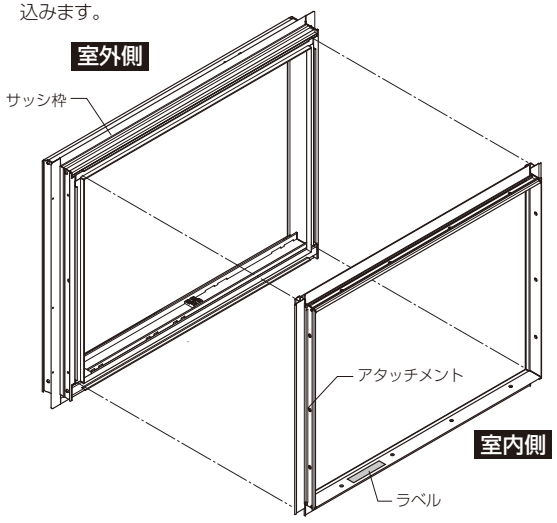



**⚠ 注 意**

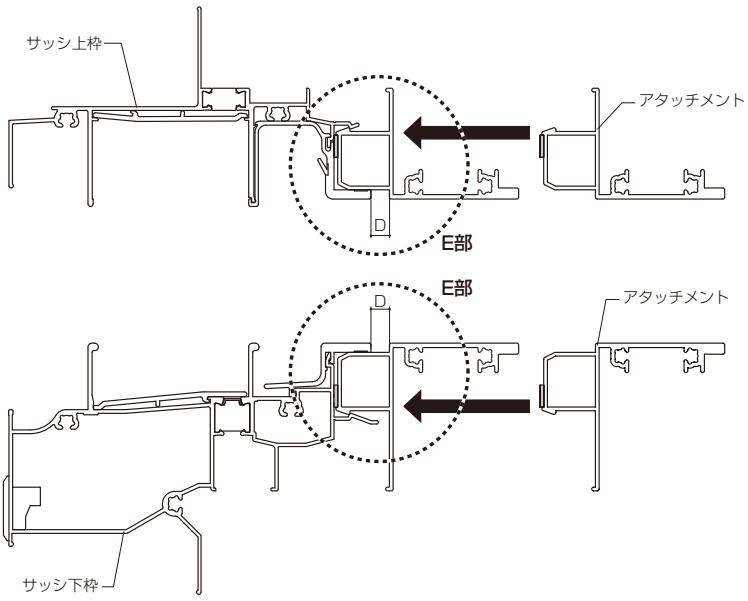
●アタッチメントをサッシ枠にはめ込む前に、必ず浴室用防水シールのリケイ紙をはがしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

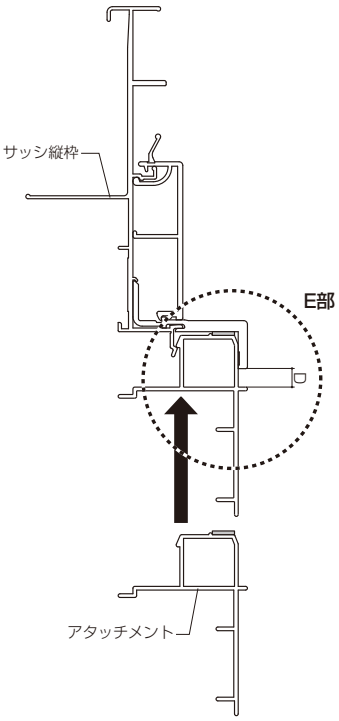
⑤ラベルが付いている方を下にし、アタッチメントをサッシ枠にはめ込みます。




●D寸法が5mm（目安）になるまで押込んでください。

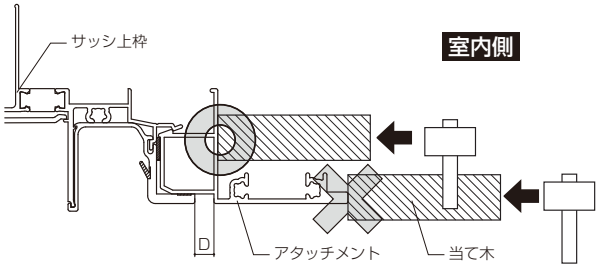
※D寸法が5mmにならない場合は下図のように当て木をあて、たたいてください。




■E部詳細図

※アタッチメントは必ず ◎ 部をたたいてください。 ✕ 部をたたくとアタッチメントが変形する可能性があります。

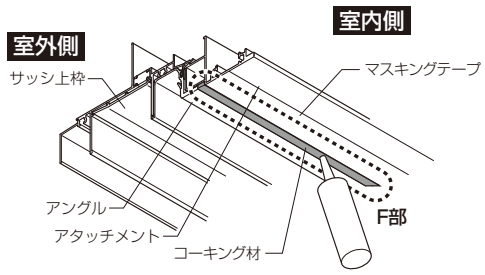



※D寸法が5mmになるまで押し込んでください。

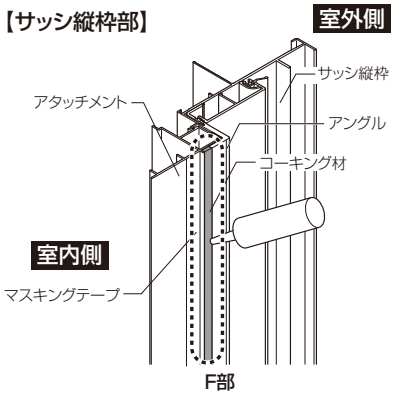
## 5 サッシ周りのシーリング処理

①アングルーアタッチメント取合せ部(F部)にホコリ等の付着がないよう、清掃してください。
②アングルーアタッチメント取合せ部(F部)の両側にマスキングテープを張り、シーリング処理をしてください。

【サッシ上枠部】



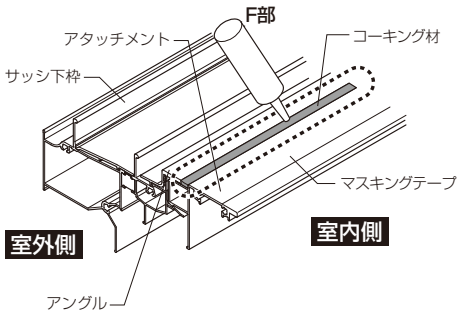

【サッシ縦枠部】




**⚠ 注 意**

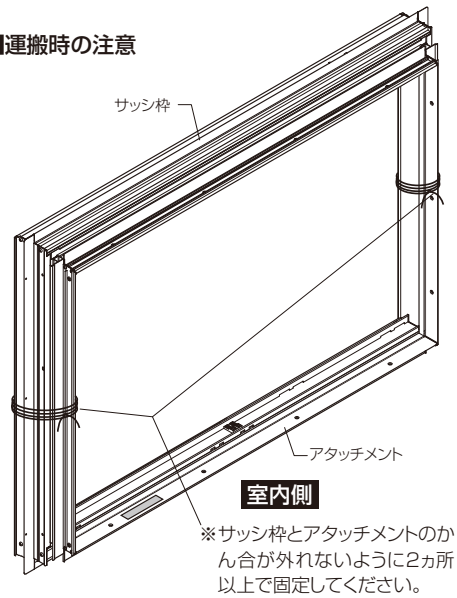
- ●アタッチメントーサッシ枠アングル部の取合せ部には、必ずコーキング材でシーリングしてください。
- ●必ず空気が入らないようにコーキング材を充てんしてください。

【サッシ下枠部】




③コーナー部(G部)にシーリング処理をしてください。

## 6 運搬時の注意



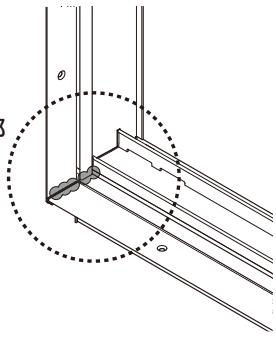

※サッシ枠とアタッチメントのかん合が外れないように2ヵ所以上で固定してください。

**⚠ 注 意**

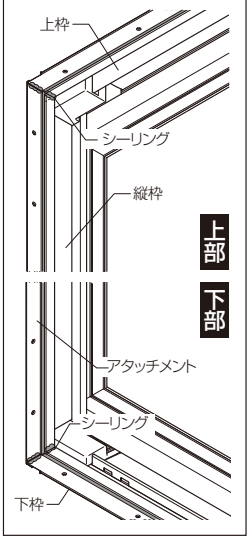
- ●サッシ枠とアタッチメントを合体後に運搬する場合は、必ずサッシ枠とアタッチメントを2個所以上で固定してから運搬してください。また、コーキング切れ防止のため、ねじれたり、過度の負荷がかからないようにしてください。
- ●ホコリ等の付着防止の為、シーリング部に養生テープを張る場合は、シーリング部の硬化後、行ってください。

### ■G部詳細図

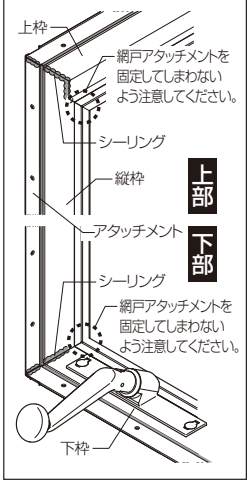
※図は内観左縦枠を示します。
内観右縦枠も同様の処置をしてください。



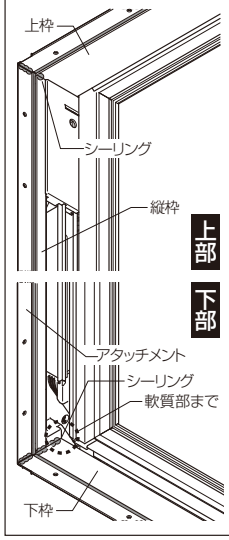

●引違い窓



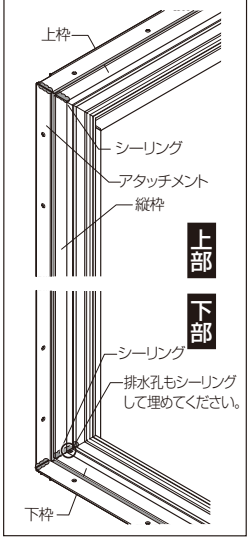

●縦すべり出し窓
●横すべり出し窓
●高所横すべり出し窓




●上げ下げ窓




●FIX 窓



# 有償品　ユニットバス用アタッチメント(テラス)

●この説明書は、必ず組立てされる方にお渡しください。

## ■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立てを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**⚠注　意**

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 縦枠と下枠の接合部のすき間以外の個所はコーキング材が付かないようにマスキングテープなどを張付けてコーキング材を塗布してください。
- シーリング処理後、マスキングテープははがしてください。
- コーキングシーラーが形材の周りにはみ出すように位置を合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- アタッチメントを組立てるときは、縦枠に張ってあるラベルが下枠側にくるようにしてください。
- 縦枠と上下枠の間にすき間がなくなるようにコーキング材を充てんし、ヘラで面一にしてください。
- シーリング処理後、必ず縦枠のラベルをはがしてください。
- アタッチメントをサッシ枠にはめ込む前に、必ず浴室用防水シールのリケイ紙をはがしてください。
- アタッチメントーサッシ枠アングルの取合せ部には、必ずコーキング材でシーリング処理してください。
- シーリング処理をするときは、必ず空気が入らないようにコーキング材を充てんしてください。
- サッシ枠とアタッチメントを合体後に運搬する場合は、必ずサッシ枠とアタッチメントを2個所以上で固定してから運搬してください。また、コーキング切れ防止のため、ねじれたり、過度の負荷がかからないようにしてください。
- ホコリ等の付着防止の為、シーリング部に養生テープを張る場合は、シーリング部の硬化後、行ってください。

## ■組立て上のお願い

●必ず指定の組立てねじを使用してください。
●躯体への取付けは、サーモス「ユニットバス用アタッチメント 取付け説明書」をご覧ください。
●同梱のアタッチメント取付けねじセットは、必ず取付けされる方へお渡しください。

## ■組立て部品・ねじ一覧表

**■組立て部品セット**

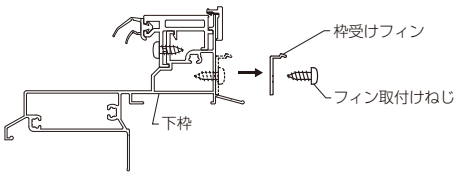
| ㋑ | ㋺ | ㋩ | ㋥ | |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| ナベタッピンねじ φ4×30 | コーキング材 | 浴室用防水シール(2枚) | マスキングテープ | |
| ㋭ | ㋬ | ㋣ | ㋠ | ㋡ |
| | | | | |
| 連結金具（テラスドア下枠用） | 連結金具（テラスドア縦枠用） | 連結金具（引違い下枠用） | バーリングドリルねじ φ4.0×10 | トラスタッピン3種 φ4.0×10 |

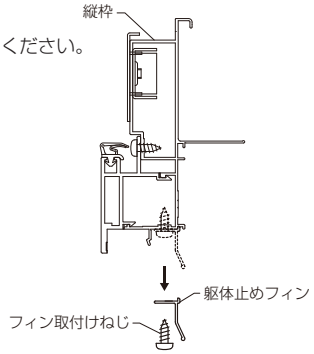
## ■組立て順序

### 1サッシ枠への連結金具の取付け

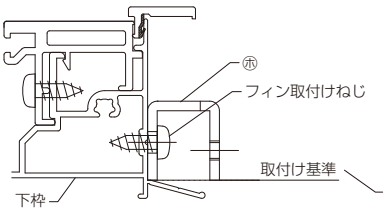
**●テラスドアの場合**

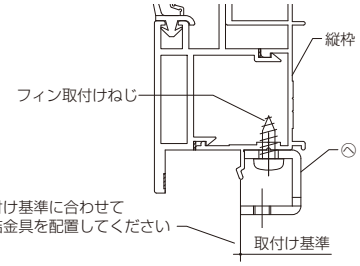
①下枠の枠受けフィン(ねじ3 ヵ所)および縦枠の躯体止めフィン(各1 ヵ所)を取外してください。
※取外したねじは②で使用するため失くさないでください。



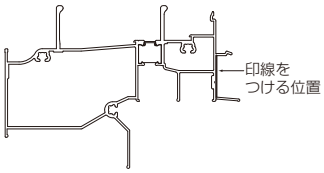

②枠受けフィンおよび躯体止めフィンが取付けられていた穴に対して、下枠に㋮連結金具(テラスドア下枠用)、
縦枠に㋬連結金具(テラスドア縦枠用)を①で取外したフィン取付けねじを用いて取付けてください。

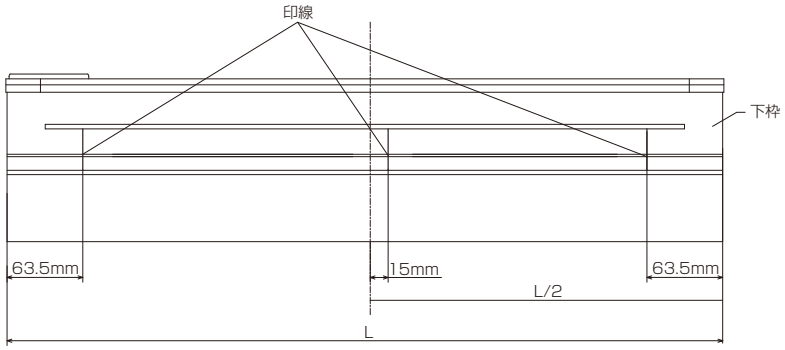



**●引違いの場合**

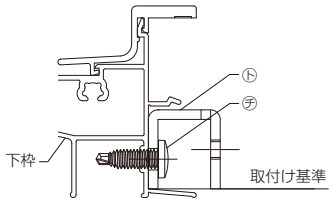
①下枠の下図の位置に印を付けてください。

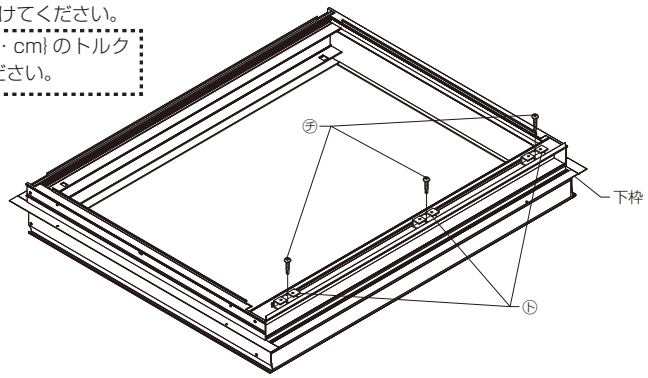



②下枠に㋣バーリングドリルねじを用いて、㋠連結金具(引違い下枠用)を取付けてください。
左右方向は上図、縦方向は下図の取付け基準に合わせて取付けてください。

※バーリングドリルねじは、2.0±0.5N・m {20±5kgf・cm} のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



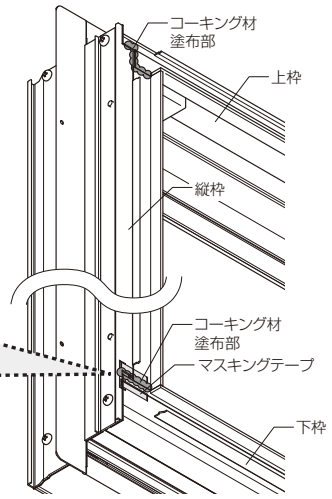




**●サッシ枠に連結金具(㋮、㋬、㋠)を取付ける際に、ねじが空廻りした場合の対処方法**

①テラスドアの場合、ねじ取付け穴から、左もしくは右にずらした位置に、φ3.4の穴を開けた後取付けてください。
引違いの場合、左もしくは右にずらした位置に印を付けた後、取付けてください。
②①でずらした寸法と同様にアタッチメントの連結金具(㋮、㋬、㋠)を取付ける位置をずらしてφ5の穴をあけてください。

## ❷サッシ枠へのシーリング処理

●縦枠と上枠の接合部と、縦枠と下枠の接合部のすき間を、シリコン系コーキング材でシーリングしてください。コーキング材を塗付し、軽くふき取ってください。
※反対側も同じ手順で行ってください。

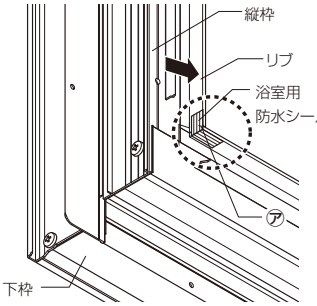



**⚠注　意**

●縦枠と下枠の接合部のすき間以外の個所はコーキング材が付かないようにマスキングテープなどを張付けてコーキング材を塗布してください。漏水の原因となるおそれがあります。
●シーリング処理後、マスキングテープははがしてください。

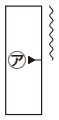
## ❸浴室用防水シールの張付け

・以下の手順にしたがってサッシ枠室内側下部に浴室用防水シールを張付けてください。
※反対側も同じ手順で行ってください。
①浴室用防水シールの切込み(㋐部)を縦枠アングル下部に合わせてリケイ紙をはがします。
縦枠リブに沿ってリブとのすき間がないように位置を合わせながら部分的に張付けます。
※ ～～ 部を縦枠リブに合わせて部分的に張付けます。
②㋐部を折り曲げ、下枠に張付けます。




**●浴室用防水シール**

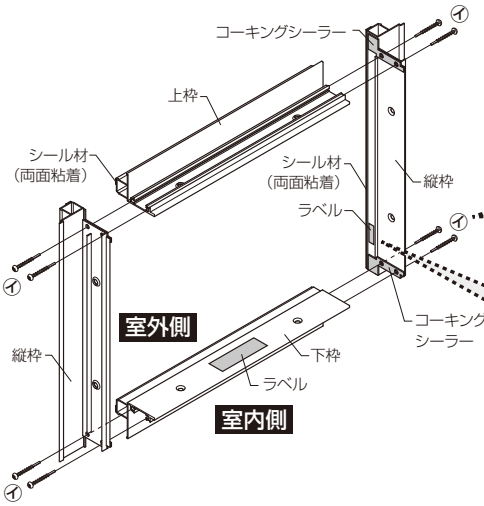
※浴室用防水シールは、左右兼用となっています。




（内観左下用）

## ❹アタッチメントの組立て

※シール材を上面にして、組立ててください。




**⚠注　意**

●ねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

**⚠注　意**

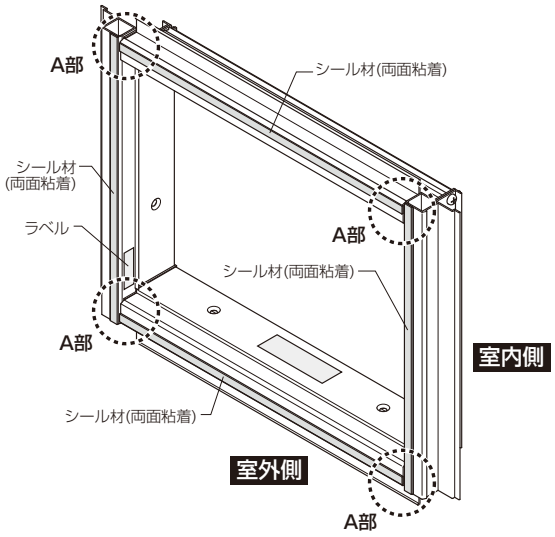
●縦枠に張ってあるラベルが下枠側にくるようにしてください。

**⚠注　意**

●コーキングシーラーが形材の周りにはみ出すように位置を合わせてからねじ止めしてください。

## 5 アタッチメントの取付け

①シール材に付いているリケイ紙をはがしてください。
②上下枠と縦枠のシール材の継ぎ目に同梱されているコーキング材を使ってシーリング処理をします。(四方全て)
※シーリング処理後、コーキング材が固まる前に⑤のアタッチメントのサッシ枠へのはめ込みまでの手順を行ってください。



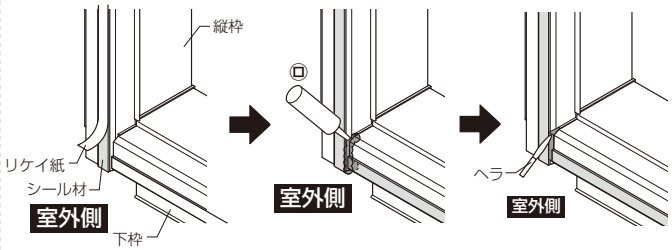

③シーリング処理後、縦枠のラベルをはがしてください。(左右2個所)

**⚠ 注 意**

●シーリング処理後、必ず縦枠のラベルをはがしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

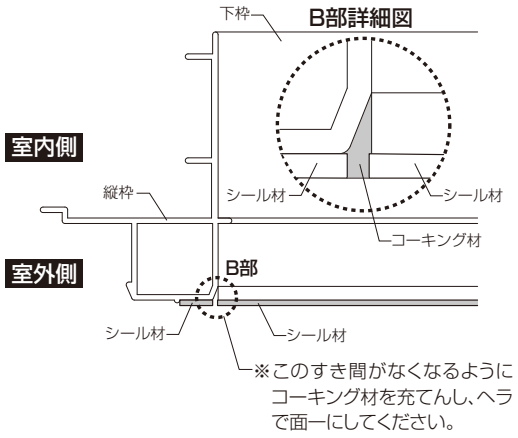
### ■A部詳細図

※すき間がなくなるようにコーキング材を充てんし、ヘラで面一にしてください。



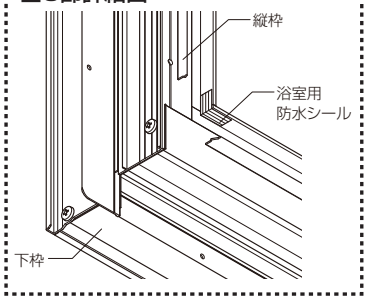

**⚠ 注 意**

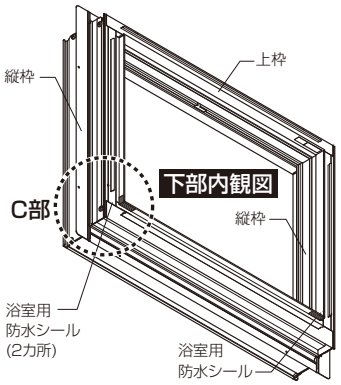
●縦枠と上下枠の間にすき間がなくなるようにコーキング材を充てんし、ヘラで面一にしてください。




④浴室用防水シールのリケイ紙をはがしてください。
●サッシ枠室内側下部に張付けられている浴室用防水シールのリケイ紙をサッシ枠にはめ込む前に必ずはがしてください。

### ■C部詳細図

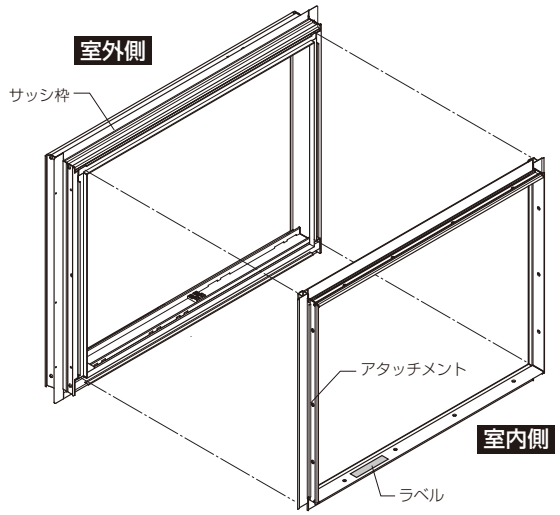



**⚠ 注 意**

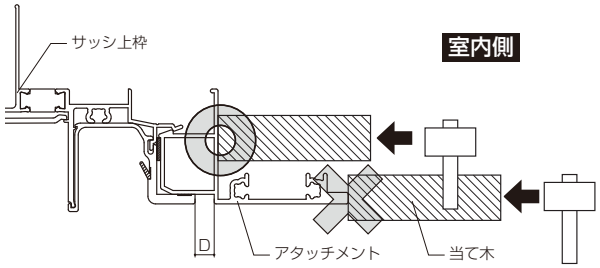
●アタッチメントをサッシ枠にはめ込む前に、必ず浴室用防水シールのリケイ紙をはがしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

⑤ラベルが付いている方を下にし、アタッチメントをサッシ枠にはめ込みます。



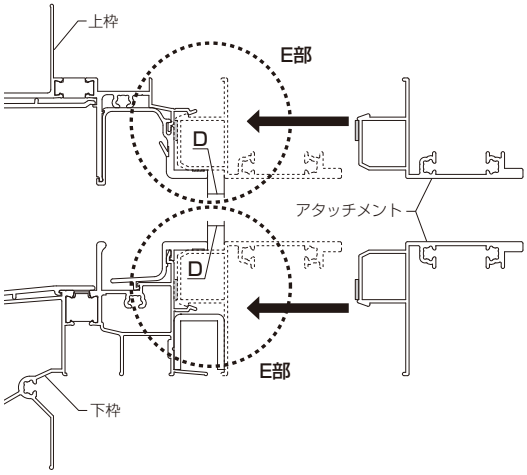

■E部詳細図

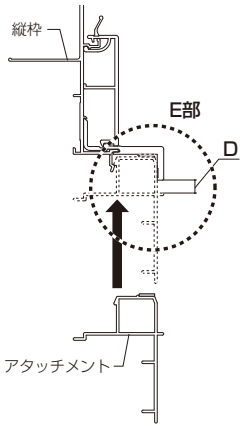
※アタッチメントは必ず ◎ 部をたたいてください。✕ 部をたたくとアタッチメントが変形する可能性があります。



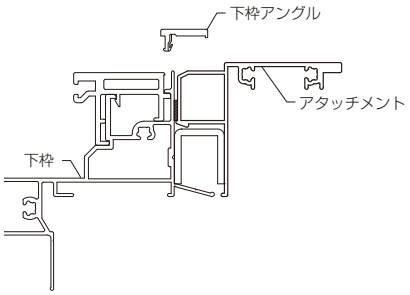

※D寸法が5mmになるまで押し込んでください。

●D寸法が5mm(目安)になるまで押込んでください。
※D寸法が5mmにならない場合は下図のように当て木をあて、たたいてください。



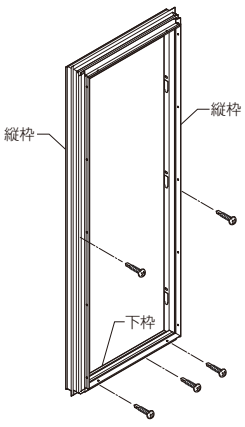




●テラスドアの場合
下枠アングルを取付ける前にアタッチメントを取付けてください。
※下枠アングルは6サッシ周りのシーリング処理のタイミングで取付けてください。

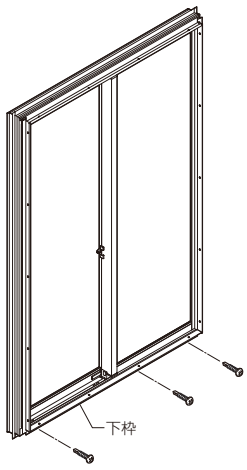



⑥アタッチメントと枠に取付けた連結金具(㋮、㋭、㋟)を⑰トラスタッピン３種を用いて固定してください。

●テラスドアの場合



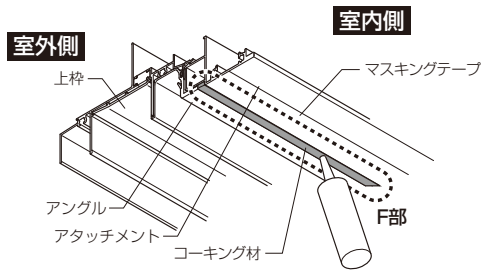

●引違いの場合



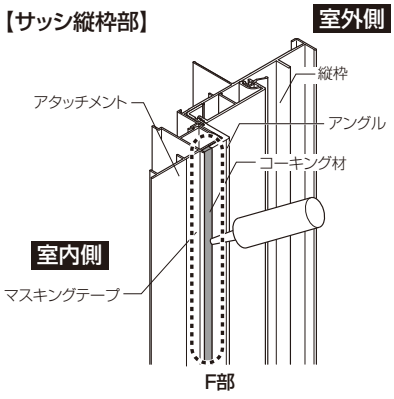
## 6 サッシ周りのシーリング処理

①アングルーアタッチメント取合せ部（F部）にホコリ等の付着がないよう、清掃してください。
②アングルーアタッチメント取合せ部（F部）の両側にマスキングテープを張り、シーリング処理をしてください。

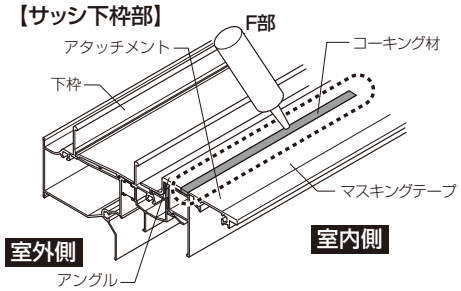
【サッシ上枠部】




【サッシ縦枠部】




【サッシ下枠部】

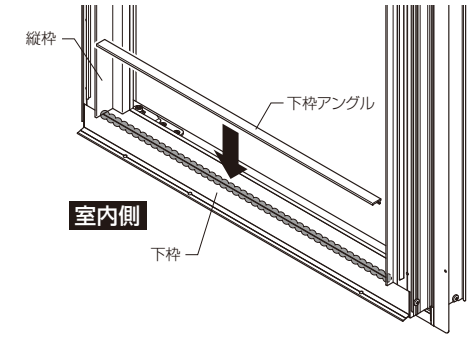


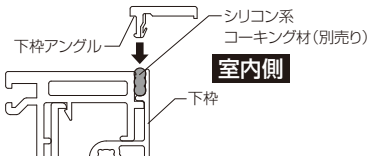

**⚠ 注　意**

- ●アタッチメントーサッシ枠アングル部の取合せ部には、必ずコーキング材でシーリングしてください。
- ●必ず空気が入らないようにコーキング材を充てんしてください。

### ●テラスドアの場合

下枠アングル取付け前に下枠の溝部にシリコン系コーキング材（別売り）を充てんしてから下枠アングルを取付けてください。

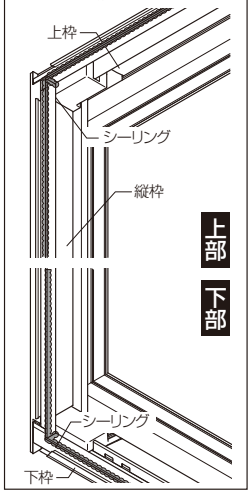


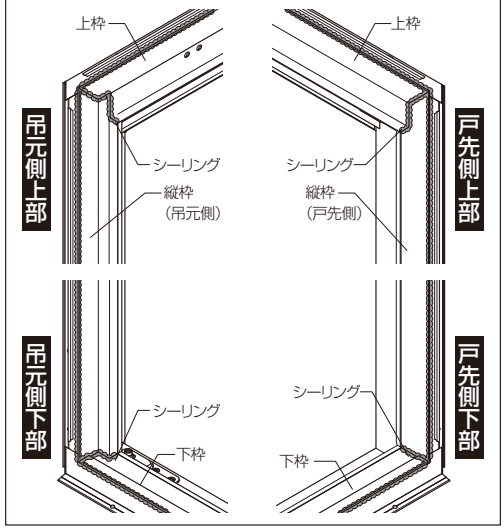

③コーナー部にシーリング処理をしてください。

**●引違い窓**

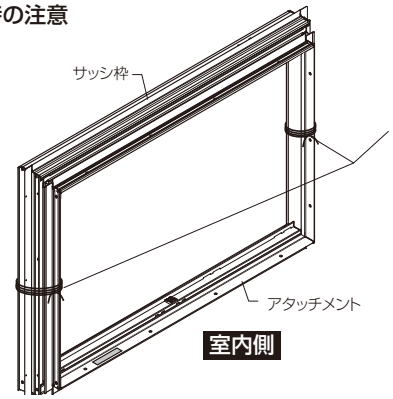
※内観左縦枠を示します。内観右縦枠も同様の処置をしてください。




**●テラスドア**




## 7 運搬時の注意




※サッシ枠とアタッチメントのかん合が外れないように2ヵ所以上で固定してください。

**⚠ 注　意**

- ●サッシ枠とアタッチメントを合体後に運搬する場合は、必ずサッシ枠とアタッチメントを2個所以上で固定してから運搬してください。また、コーキング切れ防止のため、ねじれたり、過度の負荷がかからないようにしてください。
- ●ホコリ等の付着防止の為、シーリング部に養生テープを張る場合は、シーリング部の硬化後、行ってください。

# 有償品　浴室用防水部品セット

## ■組立て・取付けされる方へのお願い

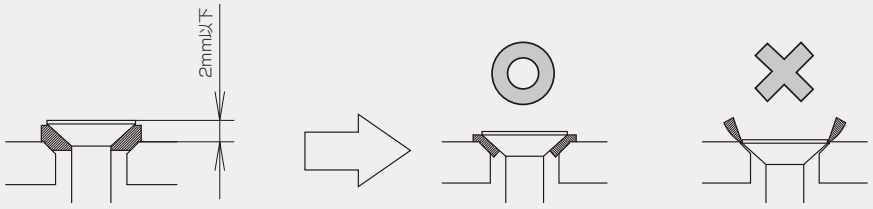
●本説明書は必ず取付けされる方へお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**⚠注 意**…組立て・取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

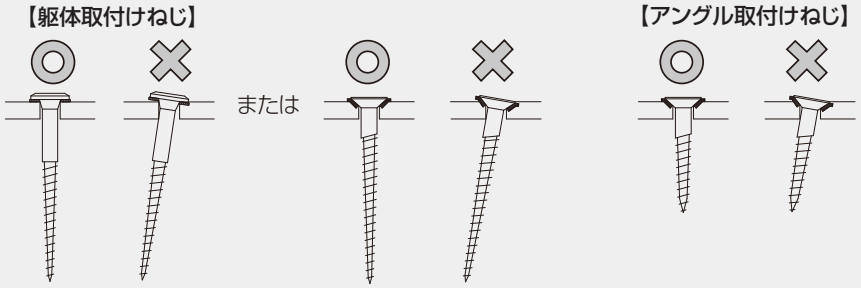
### ⚠注　意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・縦枠と下枠の接合部はコーキングシーラーなどで段差があるため、段差部などにすき間ができないように押さえて形材と密着させてください。
・入隅部はヘラなどで押さえてすき間のないようにしてください。
・サッシのアングルまわりは、シリコン系コーキング材（別売り）で必ずシーリング処理してください。
・引違いの躯体取付けねじには、同梱されているコーキングワッシャーまたはシリコン系コーキング材（別売り）で必ずシーリング処理してください。但し、コーキングワッシャーの浮き・巻れ・切れがないようにしてください。

・ねじ付アングルの場合、アングル取付けねじには、同梱されているコーキングワッシャーを使用するか、ねじ穴にシリコン系コーキング材（別売り）を充てんしてねじ止めをしてください。
・アングル取付けねじは、ねじ頭飛び出しを 2mm 以下まで締め込んでください。但し、コーキングワッシャーの浮き・巻れ・切れがないようにしてください。




・アングル取付けねじをねじ止めをする際は、着座時に手締めにて締付けてください。インパクトドライバーなどで締めすぎるとねじが空まわりするおそれがあります。
・取付けねじはまっすぐに打込んでください。

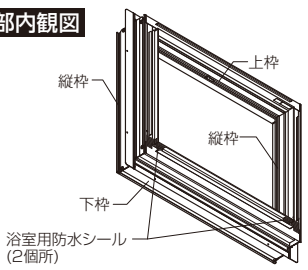



## ■組立て上のお願い

●浴室用防水シールは両面シールになっておりますので躯体取付け側のリケイ紙ははがさないでください。

## ■姿図

**下部内観図**



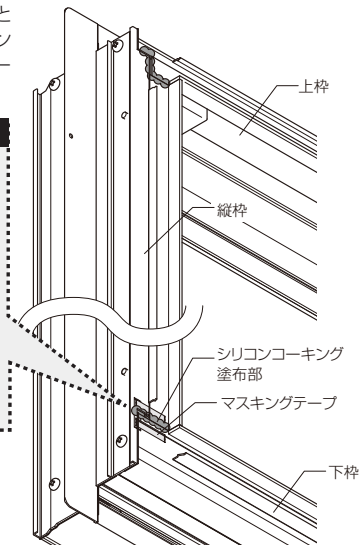
## ■防水シール張付けの前に

●引違いの場合、縦枠と上枠の接合部と、縦枠と下枠の接合部のすき間を、シリコン系コーキング材（別売り）でシーリングしてください。コーキング材を塗付し、軽くふき取ってください。

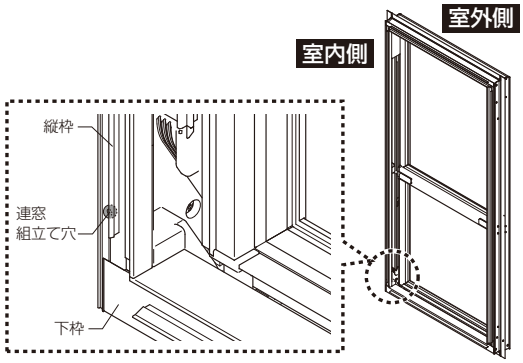
**⚠注　意**

●縦枠と下枠の接合部のすき間以外の個所はコーキング材が付かないようにマスキングテープ(別途)などを張付けてコーキング材を塗布してください。漏水の原因となるおそれがあります。

●防水シールは、マスキングテープ（別途）をはがして張付けてください。漏水の原因となるおそれがあります。




●上げ下げ窓の場合、縦枠下部の連窓組立て穴をシリコン系コーキング材（別売り）でシーリングしてうめてください。



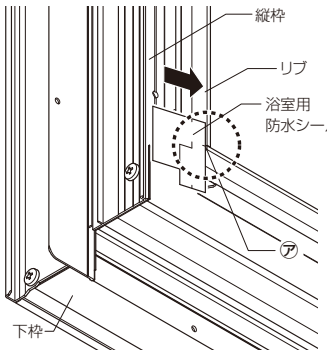

## ■防水シール張付け順序

※反対側も同じ手順で行ってください。

①浴室用防水シールの切込み(ア部)を縦枠アングル下部に合わせてリケイ紙をはがします。縦枠リブに沿ってリブとのすき間がないように位置を合わせながら部分的に張付けます。

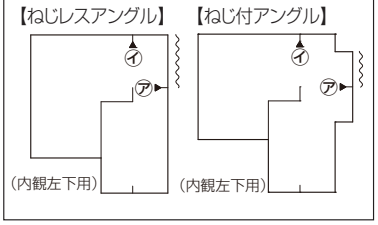
※(B図)の〜〜〜 部を縦枠リブに合わせて部分的に張付けます。

(図 1)



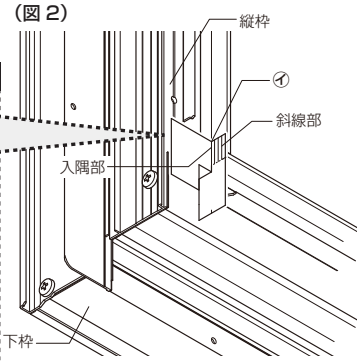

**●浴室用防水シール（B図）**

※浴室用防水シールは、左右兼用となっています。




②浴室用防水シールの切込み(イ部)をアングル入隅部に位置を合わせ、(図2)斜線部を張付けます。

(図 2)

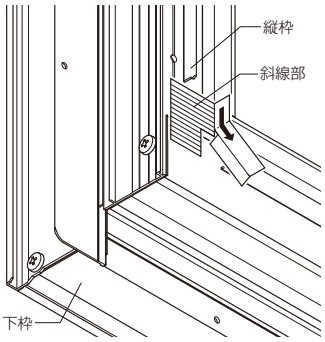



**⚠注　意**

●入隅部はヘラなどで押さえ、すき間のないようにしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

③(図 3)の斜線部を張付けてください。

(図 3)

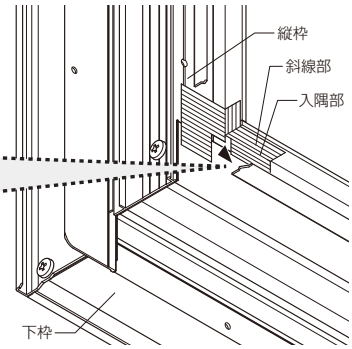



**⚠注　意**

●縦枠と下枠の接合部はコーキングシーラーなどで段差があるため、段差部など(図3斜線部)に空間(すき間)ができないように押さえて、形材と密着させてください。漏水の原因になるおそれがあります。

④(図4)の斜線部を折曲げ、下枠に張付けてください。

(図 4)




**⚠注　意**

●入隅部はヘラなどで押さえ、すき間のないようにしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

●(図4)の▲印部に空間(すき間)ができないように押さえて、形材と密着させてください。漏水の原因になるおそれがあります。

## ■取付け順序

**1**躯体取付け前の確認

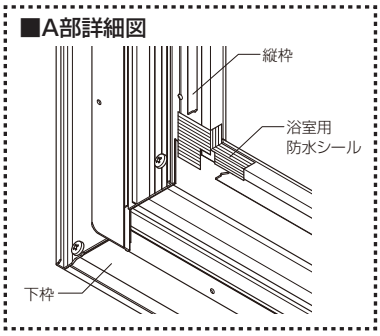
**2**サッシ枠取付け

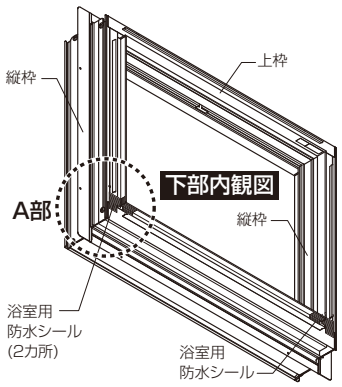
**3**サッシまわりのシーリング処理

## ■取付け詳細

### 1躯体取付け前の確認

●本体室内側下部に張付けられている浴室用防水シールのリケイ紙はサッシ枠を躯体に取付ける前に必ずはがしてください。




### 2サッシ枠取付け

●サッシ枠を躯体に取付けます。

※引違いの躯体取付けねじにはコーキングワッシャー（同梱）を使用してください。

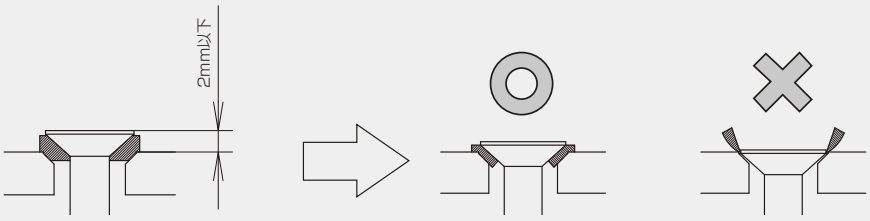
※ねじ付アングルの場合、室内側アングルの取付けは、皿木ねじにコーキングワッシャー（同梱）を使用するか、ねじ穴にシリコン系コーキング材（別売り）を充てんしてねじ止めをしてください。

**⚠注 意**

●引違いの躯体取付けねじには、同梱されているコーキングワッシャーまたはシリコン系コーキング材（別売り）で必ずシーリング処理してください。但し、コーキングワッシャーの浮き・捲れ・切れがないようにしてください。

●ねじ付アングルの場合、アングル取付けねじには、同梱されているコーキングワッシャーを使用するかねじ穴にシリコン系コーキング材（別売り）を充てんしてねじ止めをしてください。

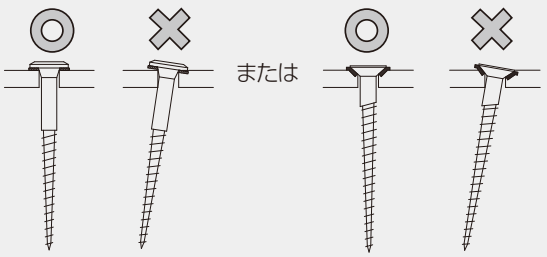
●アングル取付けねじは、ねじ頭飛び出しを 2mm 以下まで締め込んでください。但し、コーキングワッシャーの浮き・捲れ・切れがないようにしてください。



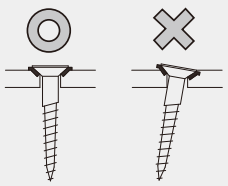

●アングル取付けねじをねじ止めをする際は、着座時に手締めにて締付けてください。インパクトドライバーなどで締めすぎるとねじが空まわりするおそれがあります。

●取付けねじはまっすぐに打込んでください。

【躯体取付けねじ】



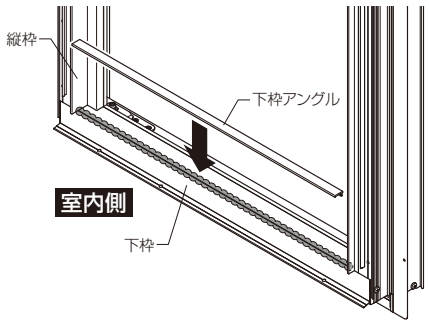

【アングル取付けねじ】

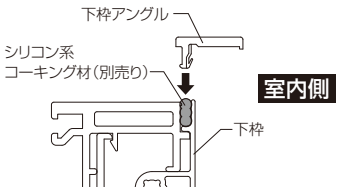


## 3サッシまわりのシーリング処理

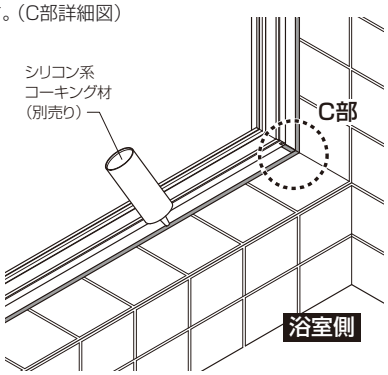
【FIX(テラス)、引違い(テラス)、テラスドア、開き窓テラスの場合】

●下枠アングル取付け前に下枠の溝部にシリコン系コーキング材（別売り）を充てんしてから下枠アングルを取付けてください。



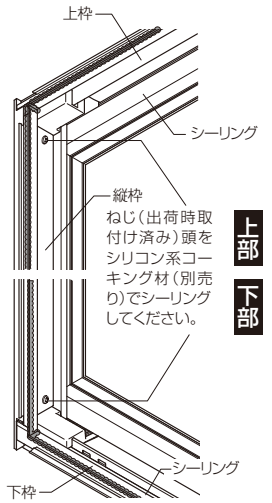

●サッシ枠の室内側アングルまわり（▭部）は、シリコン系コーキング材(別売り)でシーリング処理してください。C部のアングル部のシーリング個所は品種により異なります。(C部詳細図)



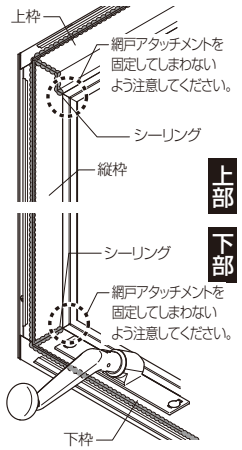

### ■C部詳細図

※テラスドア以外の図は内観左縦枠を示します。内観右縦枠も同様の処置をしてください。

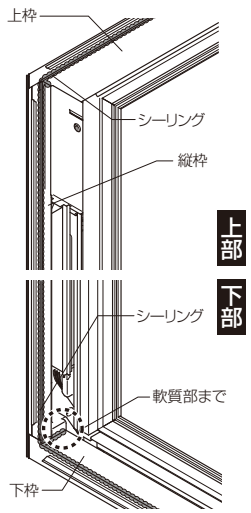
**●引違い窓**



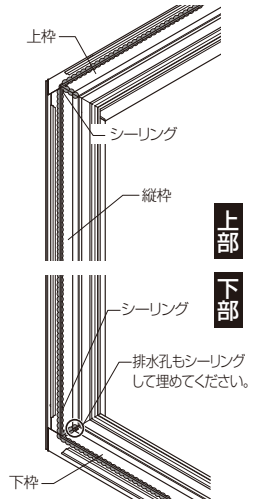

**●縦すべり出し窓**
**●横すべり出し窓**
**●高所横すべり出し窓**



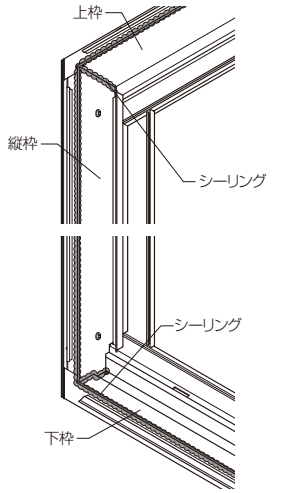

**●上げ下げ窓**



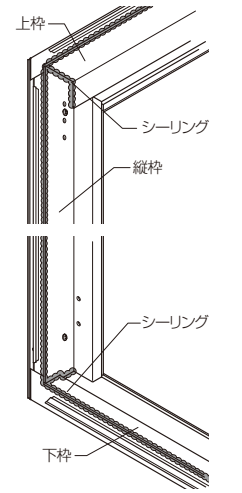

**●FIX 窓**



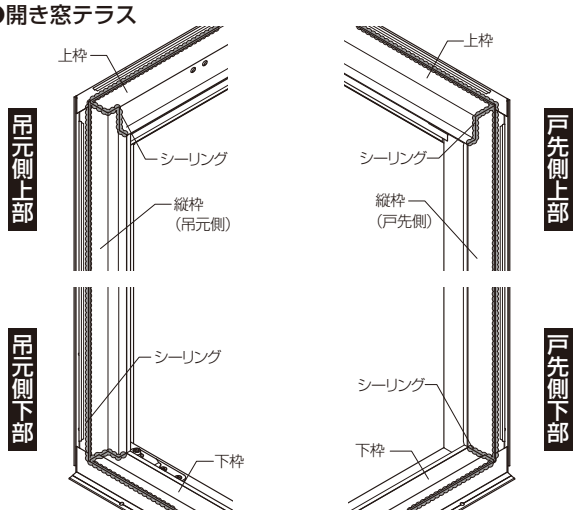

**●内倒し窓**




**●外倒し窓**




**●テラスドア**
**●開き窓テラス**



# MEMO

## 株式会社 LIXIL

**商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで**
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

**TEL.0120-126-001　FAX.03-3638-8447**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

**修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで**
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

**TEL.0120-413-433　FAX.0120-413-436**

http://www.lixil.co.jp/support/


**安全に関するご注意**
ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

**個人情報保護について**
当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。


●仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
●本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

LIXIL
Link to Good Living

地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしていきます。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

# http://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

| 業務用 | SK0300 | 02 | 2018.01.31 発行 |
|---|---|---|---|

*SK0300*